

# 日本医科大学研究業績年報

Nippon Medical School Research Annual

平成 29 (2017) 年度

April 2017 — March 2018



# 目次

〔1〕基礎科学.....	1
1 医療心理学.....	2
2 数学.....	4
3 物理学.....	5
4 化学.....	6
5 生物学.....	7
6 英語.....	8
7 スポーツ科学.....	9
〔2〕基礎医学.....	10
1 分子解剖学分野.....	11
2 解剖学・神経生物学分野.....	13
3 感覚情報科学分野.....	15
4 生体統御科学分野.....	16
5 代謝・栄養学分野.....	18
6 分子遺伝医学分野.....	20
7 薬理学分野.....	24
8 解析人体病理学分野.....	26
9 統御機構診断病理学分野.....	33
10 微生物学・免疫学分野.....	36
11 衛生学公衆衛生学分野.....	38
12 法医学分野.....	43
13 医療管理学分野.....	44
〔3〕先端医学研究所.....	45
1 分子細胞構造学分野.....	46
2 細胞生物学分野.....	47
3 遺伝子制御学分野.....	48
4 生体機能制御学分野.....	49
〔4〕臨床医学.....	50
1 総合医療・健康科学分野.....	51
2 循環器内科学分野.....	53
3 神経内科学分野.....	71
4 腎臓内科学分野.....	77
5 内分泌糖尿病代謝内科学分野.....	80
6 アレルギー膠原病内科学分野.....	85
7 血液内科学分野.....	93
8 消化器内科学分野.....	100
9 呼吸器内科学分野.....	114
10 精神・行動医学分野.....	129

11 小児・思春期医学分野 .....	132
12 臨床放射線医学分野 .....	139
13 皮膚粘膜病態学分野 .....	145
14 消化器外科学分野 .....	153
15 乳腺外科学分野 .....	177
16 内分泌外科学分野 .....	181
17 心臓血管外科学分野 .....	187
18 呼吸器外科学分野 .....	190
19 脳神経外科学分野 .....	195
20 整形外科学分野 .....	207
21 女性生殖発達病態学分野 .....	212
22 頭頸部・感覚器科学分野 .....	224
23 男性生殖器・泌尿器科学分野 .....	230
24 眼科学分野 .....	237
25 疼痛制御麻酔科学分野 .....	243
26 救急医学分野 .....	247
27 形成再建再生医学分野 .....	265
28 リハビリテーション学分野 .....	272
〔5〕 付置施設等 .....	273
1 共同研究施設 .....	274
2 形態解析共同研究施設 .....	275
3 実験動物管理室 .....	276
4 学生相談室 .....	277
5 医学教育センター .....	278
〔6〕 付属病院付置施設等 .....	279
1 付属病院感染制御室 .....	280
2 付属病院老年内科 .....	281
3 付属病院緩和ケア科 .....	282
4 付属病院病理診断科 .....	283
5 付属病院外科系集中治療科 .....	286
6 付属病院口腔科（周術期） .....	289
7 付属病院病理部 .....	290
8 付属病院内視鏡センター .....	291
9 付属病院臨床検査部 .....	298
10 付属病院保険診療指導部 .....	299
11 腎クリニック .....	300
12 呼吸ケアクリニック .....	301
13 健診医療センター .....	302
14 ワクチン療法研究施設 .....	304

〔7〕 武蔵小杉病院付置施設等 .....	305
1 武蔵小杉病院病理診断科 .....	306
2 武蔵小杉病院消化器病センター .....	307
3 武蔵小杉病院中央検査室 .....	311
〔8〕 多摩永山病院付置施設等 .....	312
1 多摩永山病院病理診断部 .....	313
2 多摩永山病院中央検査室 .....	314
〔9〕 千葉北総病院付置施設等 .....	315
1 千葉北総病院緩和ケア科 .....	316
2 千葉北総病院病理診断科・病理部 .....	317
3 千葉北総病院歯科 .....	318
4 千葉北総病院集中治療室 .....	319
5 成田国際空港クリニック .....	321



## 〔 1 〕 基礎科学

# 1 医療心理学

## 研究業績

### 論文等

- 1) Takaki Fukumori, Hiromi Kuroda, Masaya Ito, Masami Kashimura : Effect of guided, structured, writing program on self-harm ideations and emotion regulation. The journal of medical investigation : JMI 2017; 64 (1.2) :74-78. doi: 10.2152/jmi.64.74.
- 2) 田附 あえか, 野村 俊明 : 【日常診療における病識・病感・負担感の取り扱い-治療効果を高めるための工夫-】 子どもの語る病識・病感・負担感. 臨床精神医学 2017; 46 (12) :1539-1544.
- 3) 樫村 正美 : 【高齢者の反社会的行動】 高齢者にみられる迷惑行為. 老年精神医学雑誌 2017;28(11):1222-1228.
- 4) 野村 俊明 : 【高齢者の反社会的行動】 高齢者の反社会的行動をめぐって 高齢受刑者の増加問題を中心に. 老年精神医学雑誌 2017; 28(11) :1193-1199.
- 5) 野村 俊明 : 【精神療法家が守らなければならないこと 倫理的原則と実践的課題】 (第1部)精神療法の倫理的基礎 精神療法のインフォームド・コンセント. 精神療法 2018; 44 (1) :15-20.
- 6) 樫村 正美 : 【診断と治療のABC[132]老年精神医学】 (第1章)総論 高齢者への心理療法. 最新医学 2018; 別冊 (老年精神医学) :28-35.
- 7) 野村 俊明, 樫村 正美 : 【認知行動療法のこれから-取り組むべき課題】 スーパービジョン体験を多領域でいかす 医学生を対象とする認知行動療法の教育. 精神療法 2017; (増刊4) :120-125.
- 8) 原 祐子, 深津 亮, 野村 俊明 : 【高齢者の反社会的行動】 高齢者の反社会的行為とその処遇. 老年精神医学雑誌 2017; 28 (11) :1242-1252.
- 9) 樫村 正美, 野村 俊明 : 介護家族および介護準備家族を対象とした集団版認知行動的プログラムの試み. 家族療法研究 = Japanese journal of family therapy 2017; 34 (3) :281-290.
- 10) 樫村 正美, 野村 俊明 : 介護家族および介護準備家族を対象とした集団版認知行動的プログラムの試み. 家族療法研究 2017; 34 (3) :281-290.
- 11) 川西 智也, 野村 俊明, 原 祐子, 樫村 正美, 奥村 雄介, 北村 伸 : 刑務所初入所の高齢受刑者のプロフィール 経済状況・家族関係・犯罪種別に着目して. 老年精神医学雑誌 2017; 28 (増刊II) :175.
- 12) 樫村 正美, 野村 俊明, 川西 智也, 原 祐子, 北村 伸 : 地域在住高齢者にみられる迷惑行為に関する検討 : 地域包括支援センターを対象としたフォーカスグループ. 老年精神医学雑誌 2018; 29 (1) :65-74.
- 13) 野村 俊明 : 認知症と紛らわしい疾患の見きわめ : せん妄と認知症 (特集 認知症の問診と病歴の取り方). 日本医事新報 2017; (4862) :41-45.
- 14) 工藤 喬, 菊地 俊暁, 原 祐子, 色本 涼, 樫村 正美 : 認知症の認知行動療法 (第16回日本認知療法学会シンポジウム). 認知療法研究 = Japanese journal of cognitive therapy 2017; 10 (2) :171-180.
- 15) 野村 俊明 : 高齢受刑者への支援 (特集 犯罪・非行臨床を学ぼう) -- (犯罪・非行臨床を学ぼう). 臨床心理学 = Japanese journal of clinical psychology 2017; 17 (6) :800-803.
- 16) 樫村 正美, 野村 俊明, 館野 周, 石渡 明子 : 高齢者に向けた精神療法の応用 認知症患者とその介護者を対象とした認知行動的なアプローチ. 日本抗加齢医学会総会プログラム・抄録集 2017; 17回:113.

### 著書

- 1) Potter-Efron, Ronald T., Potter-Efron, Patricia S.[著], 堀越 勝, 樫村 正美 : [共訳] 30分でできる怒りのセルフコントロール. 2017, 金剛出版.
- 2) 青木 紀久代, 野村 俊明 : [共編者(共編著者)] 4 不安 (これからの対人援助を考える 暮らしの中の心理臨床). 2017, 福村出版.
- 3) 野村 俊明, 青木 紀久代, 堀越 勝, 北村 伸 : [監修] 5 認知症 (これからの対人援助を考える 暮らしの中の心理臨床). 2017, 福村出版.
- 4) 樫村 正美 : [分担執筆] pp.45-64, 79-84, 201-210, 218-224. 暮らしの中の心理臨床第5巻 認知症. 2017, 福村出版.



## 学会発表

- 1) 樫村 正美, 野村 俊明, 館野 周, 石渡 明子 : 高齢者に向けた精神療法の応用 認知症患者とその介護者を対象とした認知行動的なアプローチ. 日本抗加齢医学会総会プログラム・抄録集, 2017. 6.

## 2 数学

### 研究業績

#### 論文等

- 1) 貝塚 公一 : A characterization of the  $L^2$ -range of the Poisson transform with real and singular spectral parameter on symmetric spaces of noncompact type. 数理解析研究所講究録「スペクトル・散乱理論とその周辺」 2017; 2045:100-116.
- 2) Kiyoshi Mochizuki, Hideo Nakazawa : Uniform resolvent estimates for stationary dissipative wave equations in an exterior domain and their application to the principle of limiting amplitude. New trends in analysis and interdisciplinary applications, Trends Math. Res. Perspect., 2017. 2017:521-527.
- 3) 貝塚 公一 : 書評「谷島賢二：シュレディンガー方程式 I, II (朝倉数学体系 5, 6)」. 日本数学会「数学」 2018; 70 (1) :101-106.

#### 学会発表

- 1) 貝塚 公一 : A characterization of the  $L^2$ -range of the Poisson transform with real and singular spectral parameter on symmetric spaces. 研究集会「微分方程式と幾何学」, 立命館大学, 2017. 6.
- 2) 貝塚 公一 : A characterization of the  $L^2$ -range of the Poisson transform with real and singular spectral parameter on symmetric spaces of noncompact type. 第 149 回神楽坂解析セミナー, 東京理科大学, 2017. 6.
- 3) 貝塚 公一 : Stationary scattering theory on symmetric spaces. RIMS 合宿型セミナー「Workshop on linear and nonlinear dispersive equations and related topics」, 2017. 5.

## 3 物理学

### 研究業績

#### 論文等

- 1) Yasuhiro Matsunaga, Tsutomu Yamane, Tohru Terada, Kei Moritsugu, Hiroshi Fujisaki, Satoshi Murakami, Mitsunori Ikeguchi, Akinori Kidera : Energetics and conformational pathways of functional rotation in the multidrug transporter AcrB. *eLife* 2018; 7 doi: 10.7554/eLife.31715.
- 2) 藤崎弘士, 森次圭, 米澤康滋, 楯真一 : Pin1 酵素における異性化反応への重み付きアンサンブル法の適用. 分子シミュレーション討論会講演要旨集 2017; 31st
- 3) 岡本 研, 菊地 浩人 : キサンチン酸化還元酵素 : 物理学から臨床医学まで. 日本医科大学基礎科学紀要 = The Bulletin of liberal arts & sciences, Nippon Medical School 2017; (46) :37-69.
- 4) 藤崎 弘士 : 教育報告 「生」と「死」を考える医学教養教育科目の軌跡(2)2012 年度から 2017 年度まで. 日本医科大学基礎科学紀要 = The Bulletin of liberal arts & sciences, Nippon Medical School 2017; (46) :71-81.
- 5) 小田切健太, 藤崎弘士 : 機械的刺激の効果を考慮した創傷治癒の数理モデル. 日本物理学会講演概要集(CD-ROM) 2017; 72 (2)
- 6) 藤崎 弘士 : 生体分子におけるレアイベントの探求. *生物物理* 2017; 57 (1) :40-41. doi: 10.2142/biophys.57.040.
- 7) 藤崎 弘士 : 生体分子におけるレアイベントサンプリング : Onsager-Machlup 作用を用いた計算方法 (ランダム力学系理論とその応用). 数理解析研究所講究録 2017; 2028 (2028) :38-48.
- 8) 藤崎弘士, 末谷大道, 光武垂代理 : 生体分子の分子シミュレーションから反応座標をどう抜き出すか. 日本物理学会講演概要集(CD-ROM) 2017; 72 (1) :3237.
- 9) 藤崎 弘士 : 連載「分子系における遷移・反応レートの計算法について III」. *アンサンブル* 2017; 18 (1) :39-44.
- 10) 藤崎弘士, 森次圭, 末谷大道 : 重み付きアンサンブル法を用いたタンパク質のパスサンプリング. 日本物理学会講演概要集(CD-ROM) 2017; 72 (2)

## 4 化学

### 研究業績

#### 論文等

- 1) 中村成夫：フラレーンの化学的性質とその誘導体の合成. 日本医科大学基礎科学紀要 2017; 46:21-36.
- 2) 梅沢隆太郎, 北川原弓奈, 高橋恭子, 中村成夫, 阿部晃子, 関根修一, 伊藤晃成, 大江知之, 増野匡彦：代謝活性化を回避した新規ベンズプロマロン類縁体の合成およびその毒性評価. 日本薬学会関東支部大会講演要旨集 2017; 61st
- 3) 大江知之, 高橋恭子, 中村成夫, 増野匡彦：肝毒性を示す医薬品の代謝活性化機構の解析とそれに基づいた創薬戦略. YAKUGAKU ZASSHI 2017; 137 (3) :249-255. doi: 10.1248/yakushi.16-00230-1.

#### 学会発表

- 1) 正堺雄大, 大江知之, 高橋恭子, 中村成夫, 増野匡彦：HIV 逆転写酵素阻害活性を有するジドブジン結合型新規フラレーン誘導体の創製. 第 61 回日本薬学会関東支部大会, 2017. 9.
- 2) 山田晶子, 大江知之, 小川真依, 高橋恭子, 中村成夫, 増野匡彦：グルクロン酸抱合経由の代謝活性化を回避したジクロフェナク類縁体の創製. 日本薬学会第 138 年会, 2018. 3.
- 3) 梅沢隆太郎, 北川原弓奈, 高橋恭子, 中村成夫, 阿部晃子, 関根修一, 伊藤晃成, 大江知之, 増野匡彦：代謝活性化を回避した新規ベンズプロマロン類縁体の合成およびその毒性評価. 第 61 回日本薬学会関東支部大会, 2017. 9.
- 4) 安野拓実, Halil Ibrahim Chiftci, 大江知之, 高橋恭子, 藤田美歌子, 中村成夫, 大塚雅巳, 増野匡彦：抗 HIV 薬を目指した新規ピリジニウム型フラレーン誘導体の創製. 第 35 回メディシナルケミストリーシンポジウム, 2017. 10.
- 5) 安野拓実, 大江知之, 高橋恭子, 中村成夫, 増野匡彦：抗がん薬を目指した新規ピリジニウム型 C<sub>60</sub> 誘導体の創製. 第 7 回ナノカーボンバイオシンポジウム, 2017. 9.
- 6) 伊藤理人, 比留川史也, 高橋恭子, 中村成夫, 大江知之, 増野匡彦：抗酸化活性を有する非フェノール型尿酸アナログの創製. 日本薬学会第 138 年会, 2018. 3.

## 5 生物学

### 研究業績

#### 論文等

- 1) Nga Luu, Liezhen Fu, Kenta Fujimoto, Yun-Bo Shi : Direct Regulation of Histidine Ammonia-Lyase 2 Gene by Thyroid Hormone in the Developing Adult Intestinal Stem Cells. ENDOCRINOLOGY 2017; 158 (4) :1022-1033. doi: 10.1210/en.2016-1558.
- 2) Takashi Hasebe, Kenta Fujimoto, Mitsuko Kajita, Atsuko Ishizuya-Oka : Essential Roles of Thyroid Hormone-Regulated Hyaluronan/CD44 Signaling in Adult Stem Cell Development During *Xenopus laevis* Intestinal Remodeling. STEM CELLS 2017; 35(10):2175-2183. doi: 10.1002/stem.2671.
- 3) Liezhen Fu, Biswajit Das, Kazuo Matsuura, Kenta Fujimoto, Rachel A. Heimeier, Yun-Bo Shi : Genome-wide identification of thyroid hormone receptor targets in the remodeling intestine during *Xenopus tropicalis* metamorphosis. SCIENTIFIC REPORTS 2017; 7 (1) :6414. doi: 10.1038/s41598-017-06679-x.
- 4) Choi J, Ishizuya-Oka A, Buchholz DR : Growth, Development, and Intestinal Remodeling Occurs in the Absence of Thyroid Hormone Receptor  $\alpha$  in Tadpoles of *Xenopus tropicalis*. Endocrinology 2017; 158 (6) :1623-1633. doi: 10.1210/en.2016-1955.
- 5) Atsuko Ishizuya-Oka : How thyroid hormone regulates transformation of larval epithelial cells into adult stem cells in the amphibian intestine. Molecular and Cellular Endocrinology 2017; 459:98-103. doi: 10.1016/j.mce.2017.02.026.
- 6) Atsuko Ishizuya-Oka : Organ culture of the *Xenopus* tadpole intestine. Cold Spring Harbor Protocols 2017; 2017 (10) :780-784. doi: 10.1101/pdb.prot097683.
- 7) Takashi Hasebe, Kenta Fujimoto, Mitsuko Kajita, Liezhen Fu, Yun-Bo Shi, Atsuko Ishizuya-Oka : Thyroid Hormone-Induced Activation of Notch Signaling Is Required for Adult Intestinal Stem Cell Development During *Xenopus laevis* Metamorphosis. STEM CELLS 2017; 35 (4) :1028-1039. doi: 10.1002/stem.2544.

## 6 英語

### 研究業績

#### 著書

- 1) 西川 純恵 : 〔共著〕 Revised Polestar English Expression II (文部科学省検定済教科書高等学校外国語科用) . 2017, 数研出版.
- 2) 崎村 耕二 : 〔単著〕 最新 英語論文によく使う表現 基本編. 2017, 創元社.

#### 学会発表

- 1) Steven Kirk : The function of rhythm and interactive alignment in creating confluence in conversation. British Association of Applied Linguistics (BAAL), Leeds, UK, 2017. 9.
- 2) 西川 純恵 : Timed Reading 活用による 学習成果の「見える化」を目指した授業実践. 外国語教育メディア教育学会, 2017. 8.

## 7 スポーツ科学

### 研究業績

#### 論文等

- 1) 武藤 三千代, 渡部 隼二, 白石 まりも : 08 測-10-ポ-28 (28) ラジオ体操を励行している高齢者の体力および健康関連 QOL について. 日本体育学会大会予稿集 2017; 68 (0) :199\_2. doi: 10.20693/jspehss.68.199\_2.
- 2) Mikami T, Sorimachi M : Uric acid contributes greatly to hepatic antioxidant capacity besides protein. Physiological Research 2017; 66 (6) :1001-1007.
- 3) 平田 紀美子, 勝又 聖夫, 佐藤 麻衣子, 稲垣 弘文, 武藤 三千代, 川田 智之 : カラムスイッチングシステムを用いた HPLC による唾液中カテコールアミン代謝物の同時分析法(3). 日本薬学会年会要旨集 2018; 138 年会 (3) :237.
- 4) 武藤 三千代, 渡部 隼二, 若山 葉子, 渡部 月子 : ラジオ体操を継続実施している高齢者の生活習慣と健康関連 QOL について. 日本公衆衛生学会総会抄録集 2017; 76 回:498.
- 5) 若山葉子, 武藤三千代, 川田智之 : 中高年を対象とした「運動教室」参加者の健康調査成績. 日本健康学会誌 2017; 83 (Appendix)
- 6) 若山 葉子, 武藤 三千代, 渡部 隼二, 渡部 月子, 川田 智之 : 中高年を対象とした「運動教室」参加者の健康調査成績 2003 年-2016 年の推移. 日本公衆衛生学会総会抄録集 2017; 76 回:542.
- 7) 若山葉子, 武藤三千代, 渡部隼二, 渡部月子, 川田智之 : 中高年を対象とした「運動教室」参加者の健康調査成績—2003 年 - 2016 年の推移—. 日本公衆衛生学会総会抄録集 2017; 76th:542.
- 8) 勝又 聖夫, 平田 紀美子, 武藤 三千代, 川田 智之 : 日本体育協会加盟団体等へのタバコ対策を中心としたアンケート調査(2). 日本公衆衛生学会総会抄録集 2017; 76 回:445.
- 9) 武藤三千代, 桜田敬子, 渡部隼二 : 有料老人ホームにおける体操指導の効果. 運動とスポーツの科学 2018; 23 (2) :144.

## 〔2〕 基礎医学



# 1 分子解剖学分野

## 研究業績

### 論文等

- 1) Haruhiko Shimada, Yuuki Yamaguchi, Takami Takizawa, Hironori Takahashi, Akihiko Ohkuchi, Toshiyuki Takeshita, Shigeki Matsubara, Toshihiro Takizawa : 3D IMAGING OF FULL-TERM HUMAN PLACENTAL VILLI BY SERIAL BLOCK FACE-SCANNING ELECTRON MICROSCOPY. *PLACENTA* 2017; 59:175-176.
- 2) Chaw Kyi-Tha-Thu, Toshihiro Takizawa : DECIDUAL NATURAL KILLER CELLS EXPRESS GLUCOSE TRANSPORTER TYPE 1 (SLC2A1) DURING MOUSE PREGNANCY. *PLACENTA* 2017; 59:172.
- 3) Toshihiro Takizawa, Hironori Takahashi, Chaw Kyi-Tha-Thu, Manabu Ogoyama, Akihiko Ohkuchi, Toshiyuki Takeshita, Shigeki Matsubara : DICER1 is present in the syncytiotrophoblast of the human full-term placenta. *JOURNAL OF REPRODUCTIVE IMMUNOLOGY* 2017; 124:73. doi: 10.1016/j.jri.2017.10.008.
- 4) 瀧澤 俊広, 高橋 宏典, Kyi-Tha-Thu Chaw, 小古山 学, 大口 昭英, 竹下 俊行, 松原 茂樹 : DICER1 はヒト満期胎盤の合体栄養膜細胞に発現している. *Reproductive Immunology and Biology* 2017; 32 (1-2) :88.
- 5) Chaw Kyi-Tha-Thu, Xiaohui Song, Takami Takizawa, Toshihiro Takizawa : Expression of 1700108J01Rik long non-coding RNA in the mouse testis. *JOURNAL OF REPRODUCTIVE IMMUNOLOGY* 2017; 124:83-84. doi: 10.1016/j.jri.2017.10.038.
- 6) Chaw Kyi-Tha-Thu, Toshihiro Takizawa : Histochemical analysis of glucose transporter type 1 expression in mouse uterine natural killer cells. *JOURNAL OF REPRODUCTIVE IMMUNOLOGY* 2017; 124:83. doi: 10.1016/j.jri.2017.10.036.
- 7) Misawa A, Takayama KI, Inoue S : Long non-coding RNAs and prostate cancer. *Cancer science* 2017; 108 (11) :2107-2114. doi: 10.1111/cas.13352.
- 8) Manabu Ogoyama, Akihiko Ohkuchi, Tomoko Shima, Shigeru Saito, Toshihiro Takizawa, Chaw Kyi-Tha-Thu, Xiaohui Song : MicroRNA expression analysis of peripheral and decidual natural killer cells in early miscarriage. *JOURNAL OF REPRODUCTIVE IMMUNOLOGY* 2017; 124:83. doi: 10.1016/j.jri.2017.10.037.
- 9) Kinue Shimizu, Megumi Sano, Aoi Kita, Nobuhiko Sawai, Akiko Iizuka-Kogo, Hiroshi Kogo, Takeo Aoki, Kuniaki Takata, Toshiyuki Matsuzaki : Phosphorylation and dephosphorylation of aquaporin-2 at serine 269 and its subcellular distribution during vasopressin-induced exocytosis and subsequent endocytosis in the rat kidney. *Archives of Histology and Cytology* 2017; 77 (1) :25-38. doi: 10.1679/aohc.77.25.
- 10) Ken-ichi Takayama, Aya Misawa, Satoshi Inoue : Significance of microRNAs in Androgen Signaling and Prostate Cancer Progression. *CANCERS* 2017; 9 (8) :102. doi: 10.3390/cancers9080102.
- 11) Chaw Kyi-Tha-Thu, Toshihiro Takizawa : The Complex Structure of the Mouse Placental Labyrinth Revealed by Double Immunofluorescence Labeling of Slc2a1 and Gjb2. *JOURNAL OF NIPPON MEDICAL SCHOOL* 2017; 84 (3) :108-109. doi: 10.1272/jnms.84.108.
- 12) 高橋 宏典, 小古山 学, 石田 洋一, 大口 昭英, 瀧澤 俊広, 松原 茂樹 : WNT10B による CD44 を介した絨毛外栄養膜の浸潤促進. *日本産科婦人科学会雑誌* 2018; 70 (2) :688.
- 13) 瀧澤 俊広, 高橋 宏典, Chaw Kyi-Tha-Thu, 小古山 学, 大口 昭英, 竹下 俊行, 松原 茂樹 : ヒト胎盤合体栄養膜細胞は miRNA 合成酵素の DICER1 を発現している. *日本産科婦人科学会雑誌* 2018; 70 (2) :882.
- 14) 石田 洋一, 大口 昭英, 鈴木 達也, 高橋 宏典, 瀧澤 俊広, 松原 茂樹 : 卵胞期から黄体期にかけての母体末梢血 NK 細胞の変動. *Reproductive Immunology and Biology* 2017; 32 (1-2) :101.
- 15) 大口 昭英, 鈴木 寛正, 瀧澤 俊広, 白砂 孔明, 松原 茂樹 : 周産期・新生児医学と腎臓病 妊娠高血圧腎症の分子基盤. *日本腎臓学会誌* 2017; 59 (3) :200.
- 16) 小古山 学, 大口 昭英, 島 友子, 松原 茂樹, 齋藤 滋, 瀧澤 俊広 : 妊娠初期流産における末梢血および脱落膜 NK 細胞の遺伝子発現解析 mRNA-miRNA 解析. *日本産科婦人科学会雑誌* 2018; 70 (2) :825.
- 17) 小古山 学, 大口 昭英, 島 友子, 齋藤 滋, 瀧澤 俊広 : 妊娠初期流産における末梢血および脱落膜 natural killer 細胞の microRNA 発現

プロフィール解析. *Reproductive Immunology and Biology* 2017; 32 (1-2) :102.

- 18) 澤井信彦, 趙東威, 瀧澤俊広 : 性ホルモンによる視床下部室傍核 TRH および生殖関連ペプチド受容体の亜核間 mRNA 発現量変化の比較解析. 日本解剖学会総会・全国学術集会講演プログラム・抄録集 2017; 122nd:171.

## 学会発表

- 1) 瀧澤俊広, 高橋宏典, Chaw Kyi-Tha-Th, 小古山学, 口昭, 下俊, 原 : DICER1 はヒト満期胎盤の合胞体栄養膜細胞に発現している. 第 32 回日本生殖免疫学会総会・学術集会, 2017. 12.
- 2) Xiaohui Song, Chaw Kyi-Tha-Thu, Banyar Than Naing, Takami Takizaw, Toshihiro Takiza : In situ hybridization analysis of mouse long noncoding RNA 1700101O22Rik. The 12th China-Japan Joint Seminar on Histochemistry and Cytochemistry, 2017. 8.
- 3) チータートウー チョウ, 瀧澤 俊広 : マウス妊娠子宮ナチュラルキラー細胞における I 型グルコース輸送体の組織化学的解析. 第 32 回日本生殖免疫学会, 2017. 12.
- 4) チータートウー チョウ, 瀧澤 俊広 : マウス子宮ナチュラルキラー細胞に発現している Slc2a1 の組織化学的解析. 第 123 回日本解剖学会総会全国学術集会, 2018. 3.
- 5) チータートウー チョウ, 宋 暁輝, 瀧澤 敬美, 瀧澤 俊広 : マウス精巣における 1700108J01Rik 長鎖ノンコーディング RNA の発現解析. 第 32 回日本生殖免疫学会, 2017. 12.
- 6) Chaw Kyi-Tha-Thu, 瀧澤俊広 : マウス脱落膜ナチュラルキラー細胞は I 型グルコース輸送体を発現している. 第 25 回日本胎盤学会学術集会, 2017. 11.
- 7) 瀧澤敬美, 瀧澤俊広 : 新しい学生中心型能動的グループ学習法 TEO (Teach Each Other) の開発 (第 3 報) : 電子黒板の導入など新たな工夫を加えて. 第 123 回日本解剖学会総会・全国学術集会(東京), 2018. 3.
- 8) 趙東威, 澤井信彦, 瀧澤俊広 : 視床下部室傍核へのキスペプチンとニューロキニン B の入力 ~オキシトシンニューロンおよび TRH ニューロンにおける受容体発現の検証. 第 123 回日本解剖学会総会・全国学術集会, 2018. 3.

## 2 解剖学・神経生物学分野

### 研究業績

#### 論文等

- 1) Ieda N, Watanabe Y, Bun C, Vutha P, Uenoyama Y : Characterization of Smallholder Livestock Farming in Kampong Cham Province, Cambodia — A Pilot Study in Prey Chhor District —. *Journal of International Cooperation for Agricultural Development* 2017; 15:42-47. doi: 10.18999/jouica.15.42.
- 2) Ishii H, Hattori Y, Munetomo A, Watanabe H, Sakuma Y, Ozawa H : Characterization of rodent constitutively active estrogen receptor  $\alpha$  variants and their constitutive transactivation mechanisms. *General and comparative endocrinology* 2017; 248:16-26. doi: 10.1016/j.ygcen.2017.04.009.
- 3) 石井寛高, 服部裕次郎, 服部裕次郎, 渡部寛, 渡部寛, 小澤一史 : C末端欠損型性ステロイド受容体変異体の恒常的転写活性化能獲得機構の解明. *日本解剖学会総会・全国学術集会講演プログラム・抄録集* 2017; 122nd:190.
- 4) Norio Iijima, Shinji Miyamoto, Keisuke Matsumoto, Ken Takumi, Yoichi Ueta, Hitoshi Ozawa : Development of an imaging system for in vivo real-time monitoring of neuronal activity in deep brain of free-moving rats. *Histochemistry and Cell Biology* 2017; 148 (3) :289-298. doi: 10.1007/s00418-017-1576-2.
- 5) Moeko Kanaya, Kinuyo Iwata, Hitoshi Ozawa : Distinct dynorphin expression patterns with low- and high-dose estrogen treatment in the arcuate nucleus of female rats. *BIOLOGY OF REPRODUCTION* 2017; 97 (5) :709-718. doi: 10.1093/biolre/iox131.
- 6) Kinuyo Iwata, Yuyu Kunitamura, Keisuke Matsumoto, Hitoshi Ozawa : Effect of androgen on Kiss1 expression and luteinizing hormone release in female rats. *JOURNAL OF ENDOCRINOLOGY* 2017; 233 (3) :281-292. doi: 10.1530/JOE-16-0568.
- 7) Kenji Takahashi, Hiroshi Nakamura, Hitoshi Ozawa, Sanshiro Hashimoto, Norio Iijima, Shimpei Higo, Hiroshi Watanabe, Yusuke Mochizuki, Shinro Takai : Effectiveness of Radiofrequency Hyperthermia for Treating Cartilage in Guinea Pigs with Primary Osteoarthritis. *CARTILAGE* 2018; 9 (1) :71-79. doi: 10.1177/1947603516678974.
- 8) Y. Watanabe, K. Ikegami, R. Ishigaki, N. Ieda, Y. Uenoyama, K. I. Maeda, H. Tsukamura, N. Inoue : Enhancement of the luteinising hormone surge by male olfactory signals is associated with anteroventral periventricular Kiss1 cell activation in female rats. *JOURNAL OF NEUROENDOCRINOLOGY* 2017; 29 (8) doi: 10.1111/jne.12505.
- 9) Kimihiko Nakao, Kinuyo Iwata, Toshiyuki Takeshita, Hitoshi Ozawa : Expression of hypothalamic kisspeptin, neurokinin B, and dynorphin A neurons attenuates in female Zucker fatty rats. *Neuroscience Letters* 2018; 665:135-139. doi: 10.1016/j.neulet.2017.12.002.
- 10) Yuji Tomori, Ken Takumi, Norio Iijima, Shinro Takai, Hitoshi Ozawa : Kisspeptin expression is decreased in the arcuate nucleus of hypothyroid female rats with irregular estrus cycles. *NEUROSCIENCE RESEARCH* 2017; 117:35-41. doi: 10.1016/j.neures.2016.11.005.
- 11) Minabe S, Ieda N, Watanabe Y, Inoue N, Uenoyama Y, Maeda KI, Tsukamura H : Long-Term Neonatal Estrogen Exposure Causes Irreversible Inhibition of LH Pulses by Suppressing Arcuate Kisspeptin Expression via Estrogen Receptors  $\alpha$  and  $\beta$  in Female Rodents. *Endocrinology* 2017; 158 (9) :2918-2929. doi: 10.1210/en.2016-1144.
- 12) Atsushi Tsukiyama, Yujiro Hattori (co-first author, and corresponding), Shigeyuki Tahara, Eitaro Ishisaka, Daijiro Morimoto, Kenichi Oyama, Akira Teramoto, Akio Morita : New Technique for Chiasmopathy Using Iliac Crest Bone Graft: 2 Cases of Visual Impairment Caused by Empty Sella Syndrome. *World neurosurgery* 2017; 107:1051.e19-1051.e25-1051.e25. doi: 10.1016/j.wneu.2017.08.080.
- 13) Eitaro Ishisaka, Yasuo Murai, Akio Morita, Kazutaka Shirokane, Yujiro Hattori, Eiichi Baba : Radiological findings of transorbital penetrating intracranial injury in a child. *Child's nervous system : ChNS : official journal of the International Society for Pediatric Neurosurgery* 2017; 33 (11) :2061-2064. doi: 10.1007/s00381-017-3510-2.
- 14) 中尾 仁彦, 岩田 衣世, 竹下 俊行, 小澤 一史 : Zucker fatty 雌ラットにおける神経内分泌学的生殖制御機構の組織化学的解析. *日本内分泌学会雑誌* 2017; 93 (4) :1221.
- 15) 服部 裕次郎, 田原 重志 : 【機能的内分泌疾患に対する外科治療と内科治療】クッシング病 外科治療, 内分泌・糖尿病・代謝内科 2017; 45 (5) :312-319.

- 16) 服部 裕次郎, 田原 重志 : 【視床下部と下垂体-神経内分泌の最新情報】内分泌機能障害の診断と治療 SIADH(SIAD). Clinical Neuroscience 2017; 35 (4) :422-426.
- 17) 渡部寛, 渡部寛, 石井寛高, 高橋謙治, 高井信朗, 小澤一史 : 変形性膝関節症滑膜での最適参照遺伝子の選定に基づいたステロイドホルモン受容体の発現解析とその BMI,性との相関について. 日本解剖学会総会・全国学術集会講演プログラム・抄録集 2017; 122nd:163.
- 18) 石井 寛高, 小澤 一史 : 強い恒常的転写活性化能を持つ新規ヒト C 末端欠損型エストロゲン受容体  $\alpha$  変異体の同定とその意義. 日本内分泌学会雑誌 2017; 93 (4) :1222.
- 19) 佐藤 真梨萌, 美辺 詩織, 渡辺 雄貴, 松田 二子, 前多 敬一郎 : 後脳上衣細胞のグルコースセンサー細胞としての可能性. 日本内分泌学会雑誌 2017; 93 (4) :1334.
- 20) 楊春英, 託見健, 小澤一史 : 性成熟に伴う正中隆起の星状グリア細胞の形態変化及び GnRH ニューロン軸索終末との連関. 日本解剖学会総会・全国学術集会講演プログラム・抄録集 2017; 122nd:174.
- 21) 立澤 孝幸, 杉山 誠, 野村 素弘, 築山 敦, 馬場 栄一, 服部 裕次郎, 白銀 一貴, 廣中 浩平, 茂野 卓, 森田 明夫 : 慢性硬膜下血腫 179 件における術後再発因子の検討. 日本脳神経外傷学会プログラム・抄録集 2018; 41 回:103.
- 22) 飯島典生, 託見健, 石井寛高, 岩田衣世, 楊春英, 肥後心平, 小澤一史 : 日本医科大学における実習手順一全体のデザイン,モチベーション,評価一. 日本解剖学会総会・全国学術集会講演プログラム・抄録集 2017; 122nd:110.
- 23) 渡部 寛, 高橋 謙治, 石井 寛高, 小澤 一史, 高井 信朗 : 滑膜における real-time PCR 定量法に最適な housekeeping 遺伝子の選定およびステロイド受容体の発現解析. 日本整形外科学会雑誌 2017; 91 (8) :S1779.
- 24) 中尾 仁彦, 岩田 衣世, 竹下 俊行, 小澤 一史 : 肥満、不妊を呈するレプチン受容体異常ラットにおける神経内分泌学的生殖制御機構の変化に関する組織化学的解析. 日本生殖医学会雑誌 2017; 62 (4) :521.
- 25) 服部 裕次郎, 田原 重志, 石坂 栄太郎, 森田 明夫 : 術前診断が困難であった鞍上部血管芽腫の一例. 日本内分泌学会雑誌 2017; 93 (2) :605.
- 26) 田原重志, 服部裕次郎, 石坂栄太郎, 喜多村孝幸, 寺本明, 森田明夫 : 被膜外摘出後にくも膜下出血・水頭症を来した非機能性下垂体腺腫の一例. 日本神経内視鏡学会プログラム・抄録集 2017; 24th
- 27) 國村有弓, 岩田衣世, 石神昭人, 小澤一史 : 雌雄ラットのパルス状 LH 分泌と弓状核キスペプチン,ニューロキニン B,ダイノルフィンニューロン発現の加齢変化に関する研究. 日本解剖学会総会・全国学術集会講演プログラム・抄録集 2017; 122nd

## 著書

- 1) 服部裕次郎, 田原重志 : 〔分担執筆〕【視床下部と下垂体-神経内分泌の最新情報】 内分泌機能障害の診断と治療 SIADH(SIAD). Clinical Neuroscience. 2017
- 2) 服部裕次郎, 田原重志 : 〔分担執筆〕【機能性内分泌疾患に対する外科治療と内科治療】クッシング病 外科治療. 内分泌・糖尿病・代謝内科. 2017, 科学評論社.

## 学会発表

- 1) Watanabe Y : Augmentation of the LH surge by male olfactory signals is associated with AVPV Kiss1 cell activation in female rats. Endocrine meeting/Kp meeting, 2017.
- 2) 肥後 心平 : 広いリガンド結合特性を持つニューロペプチド FF 受容体のラット全脳マッピング. 第 123 回日本解剖学会総会全国学術集会, 2018. 3.

### 3 感覚情報科学分野

#### 研究業績

##### 論文等

- 1) Tetsuya Kimura, Mamiko Suzuki, Takumi Akagi : Age-dependent changes in synaptic plasticity enhance tau oligomerization in the mouse hippocampus. ACTA NEUROPATHOLOGICA COMMUNICATIONS 2017; 5 (1) :67. doi: 10.1186/s40478-017-0469-x.
- 2) Stolz J.R, Ishii T, Swanson G.T : Comparative studies of AMPA receptor positive allosteric modulators PF-04958242 and PF-04531686. FASEB J. 2017; 31 (1) :663.1.
- 3) Ogiwara, I : Dravet syndrome pathophysiology: lessons from mouse models. Annual Report of the Japan Epilepsy Research Foundation 2017; 28:11-20.
- 4) Tristan P. Hedrick, William P. Nobis, Kendall M. Foote, Toshiyuki Ishii, Dane M. Chetkovich, Geoffrey T. Swanson : Excitatory synaptic input to hilar mossy cells under basal and hyperexcitable conditions. eNeuro 2017; 4 (6) doi: 10.1523/ENEURO.0364-17.2017.
- 5) Ogiwara, I, Tatsukawa, T, Mazaki, E, Yamakawa, K : Generation of transgenic mouse lines that express the green fluorescent protein under the control of the Scn1a promoters. Annual Report of the Japan Epilepsy Research Foundation 2017; 28:47-54.
- 6) Tetsushi Yamagata, Ikuo Ogiwara, Emi Mazaki, Yuchio Yanagawa, Kazuhiro Yamakawa : Nav1.2 is expressed in caudal ganglionic eminence-derived disinhibitory interneurons: Mutually exclusive distributions of Nav1.1 and Nav1.2. BIOCHEMICAL AND BIOPHYSICAL RESEARCH COMMUNICATIONS 2017; 491 (4) :1070-1076. doi: 10.1016/j.bbrc.2017.08.013.
- 7) Toshiyuki Ishii, Kohei Homma, Asuka Mano, Takumi Akagi, Yasuhide Shigematsu, Yukio Shimoda, Hiroyoshi Inoue, Yoshihiko Kakinuma, Makoto Kaneda : Novel channel-mediated choline transport in cholinergic neurons of the mouse retina. JOURNAL OF NEUROPHYSIOLOGY 2017; 118 (4) :1952-1961. doi: 10.1152/jn.00506.2016.
- 8) 荻原 郁夫 : SCN1A 遺伝子変異とてんかん原性 Dravet 症候群と GEFS+ の病態解明にむけて Scn1a 変異マウスを用いた病態研究(Dravet 症候群のモデルとして). てんかん研究 2017; 35 (2) :373.
- 9) 荻原 郁夫 : 電位依存性ナトリウムチャンネル Nav1.1 と相互作用するタンパクの探索. てんかん研究 2017; 35 (2) :539.

##### 著書

- 1) 濱田知宏 : [分担執筆] Sexual dimorphism in the preoptic area: An adaptive outcome to environment. Adaptation Biology and Medicine Vol.8. 2017, Narosa Publishing House.

##### 学会発表

- 1) AKAGI Takumi, DILIP Rai, KIYAMA Yuko, OGIWARA Ikuo, KANEDA Makoto : Analysis of molecular mechanisms controlling the polarized targeting of metabotropic glutamate receptor type 6. Journal of Physiological Sciences, 2017.
- 2) Stolz J.R, Ishii T, Swanson G.T : Comparative studies of AMPA receptor positive allosteric modulators PF-04958242 and PF-04531686. Experimental Biology 2017 (ASPET), 2017. 4.
- 3) Ishii T, Ichinohe S, Suzuki C, Takahashi H, Kaneda M : Contribution of P2X3 receptor to light responses in the mouse retina. 日本神経科学大会, 2017. 7.
- 4) AKAGI Takumi, RAI Dilip, OGIWARA Ikuo, KANEDA Makoto : Determination of regions required for plasma membrane expression in metabotropic glutamate receptor type 6. Journal of Physiological Sciences, 2018. 3.
- 5) 荻原 郁夫 : SCN1A 遺伝子変異とてんかん原性 Dravet 症候群と GEFS+ の病態解明にむけて Scn1a 変異マウスを用いた病態研究(Dravet 症候群のモデルとして). てんかん研究, 2017. 9.
- 6) 荻原 郁夫 : 電位依存性ナトリウムチャンネル Nav1.1 と相互作用するタンパクの探索. てんかん研究, 2017. 9.

## 4 生体統御科学分野

### 研究業績

#### 論文等

- 1) Yoshitaka Imamichi, Toshio Sekiguchi, Takeshi Kitano, Takashi Kajitani, Reiko Okada, Yoshihiko Inaoka, Kaoru Miyamoto, Junsuke Uwada, Satoru Takahashi, Takahiro Nemoto, Asuka Mano, Md Rafiqul Islam Khan, Md Tariqul Islam, Koh-Ichi Yuhki, Hitoshi Kashiwagi, Fumitaka Ushikubi, Nobuo Suzuki, Takanobu Taniguchi, Takashi Yazawa : Diethylstilbestrol administration inhibits theca cell androgen and granulosa cell estrogen production in immature rat ovary. *Scientific reports* 2017; 7 (1) :8374. doi: 10.1038/s41598-017-08780-7.
- 2) Waragai M, Ho G, Takamatsu Y, Sekiyama K, Sugama S, Takenouchi T, Masliah E, Hashimoto M : Importance of adiponectin activity in the pathogenesis of Alzheimer's disease. *Ann Clin Transl Neurol* 2017; 4 (8) :591-600.
- 3) Mori S, Sugama S, Nguyen W, Michel T, Sanna MG, Sanchez-Alavez M, Cintron-Colon R, Moroncini G, Kakinuma Y, Maher P, Conti B : Lack of interleukin-13 receptor  $\alpha 1$  delays the loss of dopaminergic neurons during chronic stress. *Journal of neuroinflammation* 2017; 14 (1) :88. doi: 10.1186/s12974-017-0862-1.
- 4) Toshiyuki Ishii, Kohei Homma, Asuka Mano, Takumi Akagi, Yasuhide Shigematsu, Yukio Shimoda, Hiroyoshi Inoue, Yoshihiko Kakinuma, Makoto Kaneda : Novel channel-mediated choline transport in cholinergic neurons of the mouse retina. *JOURNAL OF NEUROPHYSIOLOGY* 2017; 118 (4) :1952-1961. doi: 10.1152/jn.00506.2016.
- 5) Shino Oikawa, Yuko Kai, Asuka Mano, Hisayuki Ohata, Takahiro Nemoto, Yoshihiko Kakinuma : Various Regulatory Modes for Circadian Rhythmicity and Sexual Dimorphism in the Non-Neuronal Cardiac Cholinergic System. *JOURNAL OF CARDIOVASCULAR TRANSLATIONAL RESEARCH* 2017; 10 (4) :411-422. doi: 10.1007/s12265-017-9750-4.
- 6) Shino Oikawa, Yuko Kai, Asuka Mano, Hisayuki Ohata, Takahiro Nemoto, Yoshihiko Kakinuma : Various Regulatory Modes for Circadian Rhythmicity and Sexual Dimorphism in the Non-Neuronal Cardiac Cholinergic System (pg 1, 2017). *JOURNAL OF CARDIOVASCULAR TRANSLATIONAL RESEARCH* 2017; 10 (4) :435. doi: 10.1007/s12265-017-9760-2.
- 7) 山口祐司, 岡崎幹子, 久保田万葉, 山田裕士, 大庭健史, 周東佑樹, 仲村優子, 原田太郎, 稲垣恭子, 眞野あすか, 松下晃, 中村慶春, 福田いづみ, 内田英二, 杉原仁 : クッシング症候群を合併したパラガングリオーマの 1 例. *日本臨床内分秘病理学会学術総会プログラム・抄録集* 2017; 21st:62.
- 8) 山口 祐司, 岡崎 幹子, 久保田 万葉, 山田 裕士, 大庭 健史, 周東 佑樹, 仲村 優子, 原田 太郎, 稲垣 恭子, 眞野 あすか, 松下 晃, 中村 慶春, 福田 いづみ, 内田 英二, 杉原 仁 : クッシング症候群を合併したパラガングリオーマの 1 例. *日本内分秘学会雑誌* 2017; 93 (4) :1462.
- 9) 岡崎 幹子, 根本 崇宏, 長尾 元嗣, 芝崎 保, 杉原 仁 : ニコチン投与母ラットからの出生仔における成長後の耐糖能異常の検討. *日本内分秘学会雑誌* 2017; 93 (1) :329.
- 10) 眞野 あすか, 根本 崇宏, 柿沼 由彦, 芝崎 保 : 下垂体における CRF1 型受容体様免疫活性に関する免疫組織化学的解析. *日本内分秘学会雑誌* 2017; 93 (1) :351.
- 11) 根本 崇宏 : 胎生期低栄養低出生体重ラットへのメチルドナー補充効果. *ACTH RELATED PEPTIDES* 2017; 28:2-3.

#### 学会発表

- 1) 中野 貴成, 井上 郁夫, 竹中 康浩, 片山 茂裕, 村越 隆之 : NPC1L1 阻害による腸管経由のコレステロール逆輸送機序の解明. *ConBio2017*, 2017. 12.
- 2) 根本 崇宏 : ストレスとホルモン. 第 90 回 日本内分秘学会学術集会, 2017. 4.
- 3) 柿沼 由彦 : 心筋自らがつ ACh 産生系 non-neuronal cardiac cholinergic system とその脳心連関のもつ意義. 第 137 回 日本薬理学会関東部会, 2017. 10.
- 4) 根本 崇宏 : 胎生期低栄養低出生体重ラットとその次世代仔へのメチルドナー補充効果の検討. 2017 年生命科学系学会合同年次大会

(ConBio2017), 2017. 12.

## 5 代謝・栄養学分野

### 研究業績

#### 論文等

- 1) Han Matsuda, Kei Sakamoto, Tomohiro Matsumura, Shiho Saito, Susumu Shindo, Kunihiro Fukushima, Shin-ya Nishio, Ryosuke Kitoh, Osamu Shibasaki, Akinori Ito, Ryuichiro Araki, Shin-ichi Usami, Mamoru Suzuki, Kaoru Ogawa, Tomonori Hasegawa, Yoshiaki Hagiwara, Yasuhiro Kase, Tetsuo Ikezono : A nationwide multicenter study of the Cochlin tomo-protein detection test: clinical characteristics of perilymphatic fistula cases. ACTA OTO-LARYNGOLOGICA 2017; 137 ( sup565 ) :S53-S59. doi: 10.1080/00016489.2017.1300940.
- 2) Yoshimitsu Kuwabara, Akira Katayama, Sachiko Kurihara, Marie Ito, Mirei Yonezawa, Nozomi Ouchi, Ryuhei Kurashina, Tomoko Ichikawa, Rintaro Sawa, Akihito Nakai, Hideo Orimo, Toshiyuki Takeshita : Diversity of progesterone action on lipopolysaccharide-induced expression changes in cultured human cervical fibroblasts according to inflammation and treatment timing. American journal of reproductive immunology (New York, N.Y. : 1989) 2017; 78 (5) doi: 10.1111/aji.12731.
- 3) Kuwon Sekine, Tomohiro Matsumura, Toshihiro Takizawa, Yurika Kimura, Shiho Saito, Kyoko Shiiba, Susumu Shindo, Kimihiro Okubo, Tetsuo Ikezono : Expression Profiling of MicroRNAs in the Inner Ear of Elderly People by Real-Time PCR Quantification. AUDIOLOGY AND NEURO-OTOLOGY 2017; 22 (3) :135-145. doi: 10.1159/000479724.
- 4) Tetsuo Ikezono, Tomohiro Matsumura, Han Matsuda, Satomi Shikaze, Shiho Saitoh, Susumu Shindo, Setsuo Hasegawa, Seung Ha Oh, Yoshiaki Hagiwara, Yasuo Ogawa, Hiroshi Ogawa, Hiroaki Sato, Tetsuya Tono, Ryuichiro Araki, Yukihide Maeda, Shin-ichi Usami, Yasuhiro Kase : The diagnostic performance of a novel ELISA for human CTP (Cochlin-tomoprotein) to detect perilymph leakage. PLoS ONE 2018; 13 (1) :e0191498. doi: 10.1371/journal.pone.0191498.
- 5) Taguchi AT, Miyajima-Nakano Y, Fukazawa R, Lin MT, Baldansuren A, Gennis RB, Hasegawa K, Kumasaka T, Dikanov SA, Iwasaki T : Unpaired Electron Spin Density Distribution across Reduced [2Fe-2S] Cluster Ligands by  $^{13}\text{C}_\beta$ -Cysteine Labeling. Inorganic Chemistry 2018; 57 (2) :741-746. doi: 10.1021/acs.inorgchem.7b02676.
- 6) 谷 崇, 藤原 めぐみ, 片山 映, 岡本 研, 鶴岡 秀一 : XOR 阻害薬が虚血再灌流障害に与える代謝変動のメタボローム解析. 日本腎臓学会誌 2017; 59 (3) :374.
- 7) 関根舞, 草野輝男, 永田宏次, 西野武士, 西野武士, 岡本研 : ウサギ網状赤血球のプリン代謝調節. 日本生化学会大会 2017; 90th:ROMBUNNO.2LBA - 002 (WEB ONLY).
- 8) 谷崇, 岡本研 : キサンチンオキシダーゼ阻害薬による臓器保護効果の機構解明. 日本痛風・核酸代謝学会総会プログラム・抄録集 2017; 50th:114.
- 9) 岡本 研, 菊地 浩人 : キサンチン酸化還元酵素 : 物理学から臨床医学まで. 日本医科大学基礎科学紀要 = The Bulletin of liberal arts & sciences, Nippon Medical School 2017; (46) :37-69.
- 10) 細山田真, 山崎綾子, 富岡直子, 押鐘浩之, 岡本研 : ヒト尿酸トランスポーターURAT1 のリコンビナント発現・精製系の検討. 日本痛風・核酸代謝学会総会プログラム・抄録集 2018; 51st:80.
- 11) 折茂 英生, 渡邊 淳, 齊藤 智望, 松村 智裕, 齋藤 志ほ, 佐々木 元子, 岡田 尚巳, Chen Bee Chin, Chew Hui Bein, Keng Wee Teik : マレーシア人低ホスファターゼ症患者に見出された組織非特異型アルカリホスファターゼ遺伝子変異の解析. 生命科学系学会合同年次大会 2017; 2017 年度:[2P-1092].
- 12) 岡本研, 西野武士 : 尿酸,XOR と内皮細胞障害 1)XOR と活性酸素. 高尿酸血症と痛風 2018; 26 (1) :24 - 31.
- 13) 谷 崇, 岡本 研 : 虚血再灌流臓器における XOR 阻害薬による代謝変動解析. 痛風と核酸代謝 2017; 41(1):22-23. doi: 10.6032/gnam.41.22.
- 14) 岡本研, 谷崇 : 非プリンキサンチンオキシダーゼ阻害薬による組織保護効果機構. 日本痛風・核酸代謝学会総会プログラム・抄録集 2018; 51st:93.
- 15) 加藤雅子, 加藤信介, 岡本研, 西野武士 : 非プリン型キサンチン酸化還元酵素阻害剤(npXORI)によるアルツハイマー病モデルマウスの病理組織学的抑制効果の証明:アルツハイマー病新規治療薬開発への新戦略. 日本痛風・核酸代謝学会総会プログラム・抄録集 2018; 51st:107.



16) 岡本研：高尿酸血症 III.高尿酸血症の臨床 高尿酸血症の治療 薬物療法 尿酸生成抑制薬. 日本臨床 2017; 75 (12) :1864 - 1868.

## 学会発表

- 1) 宗田亜佑美, 齋藤志ほ, 松村智裕, 草野輝男, 折茂英生：PVDF 膜に固定化した熱変性させた組織非特異型アルカリホスファターゼのリフォールディング. 第 90 回 日本生化学会大会, 2017. 12.
- 2) 宗田亜佑美, 松村智裕, 草野輝男, 折茂英生：PVDF 膜上での組織非特異型アルカリホスファターゼの再構成. 日本医科大学医学会雑誌, 2017. 10.
- 3) Kusano T, Nishino T, Okamoto K: ROLE OF URIC ACID AS A SCAVENGER OF REACTIVE OXYGEN SPECIES IN THE NEURONAL CELL. 17th Symposium on Purine and Pyrimidine Metabolism in Man, 2017. 9.
- 4) 関根舞, 草野輝男, 永田宏次, 西野武士, 岡本研：ウサギ網状赤血球のプリン代謝調節. 第 90 回 日本生化学会大会, 2017. 12.
- 5) 草野輝男, 岡本研：マウス神経細胞において活性酸素種の役割:XOR 変異マウスとプリン誘導体のメタボローム解析. 日本痛風・核酸代謝学会総会プログラム・抄録集, 2018. 1.

## 6 分子遺伝医学分野

### 研究業績

#### 論文等

- 1) Masanori Nakata, Sawako Yamamoto, Takashi Okada, Toshihiko Yada : AAV-mediated IL-10 gene transfer counteracts inflammation in the hypothalamic arcuate nucleus and obesity induced by high-fat diet. *NEUROPEPTIDES* 2017; 62:87-92. doi: 10.1016/j.npep.2016.11.009.
- 2) 梅原 慶太, 森本 祥隆, 影山 康德, 藤田 桂, 高田 弥生, 小山 初枝, 渡邊 淳 : ALPL 遺伝子変異ヘテロ接合を有する骨粗鬆症に対し連日投与型テリパラチドが有効であった 1 例. *日本骨粗鬆症学会雑誌* 2017; 3 (Suppl.1) :356.
- 3) Tamai H, Yamaguchi H, Miyake K, Takatori M, Kitano T, Yamanaka S, Yui S, Fukunaga K, Nakayama K, Inokuchi K : Amlexanox Downregulates S100A6 to Sensitize *KMT2A/AFF1*-Positive Acute Lymphoblastic Leukemia to TNF $\alpha$  Treatment. *Cancer research* 2017; 77 (16) :4426-4433. doi: 10.1158/0008-5472.CAN-16-2974.
- 4) 笠原 優子, 仁田原, 島津 苑子, 増田 千明, 積田 奈々, 水本 秀二, 井上 由紀子, 井上 高良, 吉沢 隆浩, 高橋 有希, 池上 良, 中山 淳, 武田 伸一, 渡邊 淳, 古庄 知己, 岡田 尚巳 : CRISPR/Cas9 を用いた Musculocontractural Ehlers-Danlos Syndrome-CHST14 ノックアウトマウスの作製と病態解析. *生命科学系学会合同年次大会* 2017; 2017 年度:[2PT26-04(3P).
- 5) 笠原(仁田原) 優子, 島津苑子, 増田千明, 積田奈々, 水本秀二, 井上(上野) 由紀子, 井上高良, 吉沢隆浩, 高橋有希, 池上良, 中山淳, 武田伸一, 渡邊淳, 古庄知己, 岡田尚巳 : CRISPR/Cas9 を用いた Musculocontractural Ehlers - Danlos Syndrome - CHST14 ノックアウトマウスの作製と病態解析. *日本生化学会大会* 2017; 90th:ROMBUNNO.2PT26 - 04(3P - 1127) (WEB ONLY).
- 6) Osamu Samura, Akihiko Sekizawa, Nobuhiro Suzumori, Aiko Sasaki, Seiji Wada, Haruka Hamanoue, Fumiki Hirahara, Hideaki Sawai, Hiroaki Nakamura, Takahiro Yamada, Kiyonori Miura, Hideaki Masuzaki, Setsuko Nakayama, Takashi Okai, Yoshimasa Kamei, Akira Namba, Jun Murotsuki, Tomohiro Tanemoto, Akimune Fukushima, Kazufumi Haino, Shinya Tairaku, Keiichi Matsubara, Kazuhisa Maeda, Takashi Kaji, Masanobu Ogawa, Hisao Osada, Haruki Nishizawa, Yoko Okamoto, Takeshi Kanagawa, Aiko Kakigano, Michihiro Kitagawa, Masaki Ogawa, Shunichiro Izumi, Yukiko Katagiri, Naoki Takeshita, Yasuyo Kasai, Katsuhiko Naruse, Reiko Neki, Hisashi Masuyama, Maki Hyodo, Yukie Kawano, Takashi Ohba, Kiyotake Ichizuka, Yasuhiro Kido, Toshiyuki Fukao, Norio Mihar, Takeshi Nagamatsu, Atsushi Watanabe, Naoki Hamajima, Masaya Hirose, Ayako Sanui, Nahoko Shirato, Junko Yotsumoto, Miyuki Nishiyama, Tatsuko Hirose, Haruhiko Sago : Current status of non-invasive prenatal testing in Japan. *JOURNAL OF OBSTETRICS AND GYNAECOLOGY RESEARCH* 2017; 43 (8) :1245-1255. doi: 10.1111/jog.13373.
- 7) Ikuko Omori, Hiroki Yamaguchi, Koichi Miyake, Noriko Miyake, Tomoaki Kitano, Koiti Inokuchi : D816V mutation in the KIT gene activation loop has greater cell-proliferative and anti-apoptotic ability than N822K mutation in core-binding factor acute myeloid leukemia. *EXPERIMENTAL HEMATOLOGY* 2017; 52:56-64. doi: 10.1016/j.exphem.2017.05.003.
- 8) 高木 篤史, 喜納 裕美, 笠原 優子, 川上 康彦, 岡田 尚巳, 伊藤 保彦 : DMD マウス行動解析における情動障害定量的評価システムの構築. *脳と発達* 2017; 49 (Suppl.) :S415.
- 9) Sadanori Miyoshi, Tohru Tezuka, Sumimasa Arimura, Taro Tomono, Takashi Okada, Yuji Yamanashi : DOK7 gene therapy enhances motor activity and life span in ALS model mice. *EMBO MOLECULAR MEDICINE* 2017; 9 (7) :880-889. doi: 10.15252/emmm.201607298.
- 10) Yoshitaka Miyagawa, Gianluca Verlengia, Bonnie Reinhart, Fang Han, Hiroaki Uchida, Silvia Zucchini, William F. Goins, Michele Simonato, Justus B. Cohen, Joseph C. Glorioso : Deletion of the Virion Host Shut-off Gene Enhances Neuronal-Selective Transgene Expression from an HSV Vector Lacking Functional IE Genes. *MOLECULAR THERAPY-METHODS & CLINICAL DEVELOPMENT* 2017; 6:79-90. doi: 10.1016/j.omtm.2017.06.001.
- 11) Michihiko Koeda, Atsushi Watanabe, Kumiko Tsuda, Miwako Matsumoto, Yumiko Ikeda, Woochan Kim, Amane Tateno, Banyar Than Naing, Hiroyuki Karibe, Takashi Shimada, Hidenori Suzuki, Masato Matsuura, Yoshiro Okubo : EFFECT OF CNTNAP2 POLYMORPHISMS ON CEREBRAL RESPONSE TO HUMAN VOICE PERCEPTION AND HANDEDNESS: AN FMRI STUDY. *JOURNAL OF NEUROLOGY NEUROSURGERY AND PSYCHIATRY* 2017; 88 (8) :E25-E26. doi: 10.1136/jnnp-2017-BNPA.55.
- 12) Tomohiro Kaneko, Momoko Arai, Atsushi Watanabe, Shuichi Tsuruoka : Effectiveness of measuring genetic polymorphisms in

- metabolizing enzymes of tacrolimus within one medical facility. *Journal of Nippon Medical School* 2017; 84 (6) :274-279. doi: 10.1272/jnms.84.274.
- 13) Kazuhisa Takahashi, Tsutomu Igarashi, Koichi Miyake, Maika Kobayashi, Chiemi Yaguchi, Osamu Iijima, Yoshiyuki Yamazaki, Noriko Miyake, Shuhei Kameya, Takashi Shimada, Hiroshi Takahashi, Takashi Okada : Efficient Transduction of Inner Retina by Surgical Internal Limiting Membrane (ILM) Peeling Before Intravitreal AAV Vector Injection in Cynomolgus Monkeys. *MOLECULAR THERAPY* 2017; 25 (5) :111.
  - 14) Gianluca Verlengia, Yoshitaka Miyagawa, Selene Ingusci, Justus B. Cohen, Michele Simonato, Joseph C. Glorioso : Engineered HSV vector achieves safe long-term transgene expression in the central nervous system. *SCIENTIFIC REPORTS* 2017; 7 (1) :1507. doi: 10.1038/s41598-017-01635-1.
  - 15) Yusaku Iwasaki, Mio Sendo, Katsuya Dezaki, Tohru Hira, Takehiro Sato, Masanori Nakata, Chayon Goswami, Ryohei Aoki, Takeshi Arai, Parmila Kumari, Masaki Hayakawa, Chiaki Masuda, Takashi Okada, Hiroshi Hara, Daniel J Drucker, Yuichiro Yamada, Masaaki Tokuda, Toshihiko Yada : GLP-1 release and vagal afferent activation mediate the beneficial metabolic and chronotherapeutic effects of D-allulose. *Nature communications* 2018; 9 (1) :113. doi: 10.1038/s41467-017-02488-y.
  - 16) R. Okawa, O. Iijima, M. Kishino, H. Okawa, S. Toyosawa, H. Sugano-Tajima, T. Shimada, T. Okada, K. Ozono, T. Ooshima, K. Nakano : Gene therapy improves dental manifestations in hypophosphatasia model mice. *JOURNAL OF PERIODONTAL RESEARCH* 2017; 52 (3) :471-478. doi: 10.1111/jre.12412.
  - 17) Ishii K, Mukherjee K, Okada T, Liao EC : Genetic Requirement of talin1 for Proliferation of Cranial Neural Crest Cells during Palate Development. *Plast Reconstr Surg Glob Open*. 2018; 6 (3) :e1633. doi: 10.1097/GOX.0000000000001633.
  - 18) Janek Hyzewicz, Jun Tanihata, Mutsuki Kuraoka, Yuko Nitahara-Kasahara, Teiva Beylier, Urs T. Ruegg, Axel Vater, Shin'ichi Takeda : Low-Intensity Training and the C5a Complement Antagonist NOX-D21 Rescue the mdx Phenotype through Modulation of Inflammation. *The American Journal of Pathology* 2017; 187 (5) :1147-1161. doi: 10.1016/j.ajpath.2016.12.019.
  - 19) Masataka Nakajima, Chikako Nito, Kota Sowa, Satoshi Suda, Yasuhiro Nishiyama, Aki Nakamura-Takahashi, Yuko Nitahara-Kasahara, Kiwamu Imagawa, Tohru Hirato, Masayuki Ueda, Kazumi Kimura, Takashi Okada : Mesenchymal Stem Cells Overexpressing Interleukin-10 Promote Neuroprotection in Experimental Acute Ischemic Stroke. *Molecular Therapy - Methods & Clinical Development* 2017; 6:102-111. doi: 10.1016/j.omtm.2017.06.005.
  - 20) Atsushi Sakai, Fumihito Saitow, Motoyo Maruyama, Noriko Miyake, Koichi Miyake, Takashi Shimada, Takashi Okada, Hidenori Suzuki : MicroRNA cluster miR-17-92 regulates multiple functionally related voltage-gated potassium channels in chronic neuropathic pain. *NATURE COMMUNICATIONS* 2017; 8:16079. doi: 10.1038/ncomms16079.
  - 21) 中谷中, 渡邊淳 : NGS を用いたクリニカルシーケンスにおけるハーモナイゼーション. *臨床化学* 2017; 46:216.
  - 22) Yuichiro Takahashi, Hideaki Sawai, Jun Murotsuki, Shuhei Satoh, Takahiro Yamada, Hiromi Hayakawa, Yutaka Kouduma, Masakatsu Sase, Atsushi Watanabe, Osamu Miyazaki, Gen Nishimura : Parental serum alkaline phosphatase activity as an auxiliary tool for prenatal diagnosis of hypophosphatasia. *PRENATAL DIAGNOSIS* 2017; 37 (5) :491-496. doi: 10.1002/pd.5040.
  - 23) Yuko N. Kasahara, Mutsuki Kuraoka, Hiromi Kinoh, Kiwamu Imagawa, Tohru Hirato, Shin'ichi Takeda, Takashi Okada : Safe and Effective Cell Therapy Using Dental Pulp Stromal Cells for Duchenne Muscular Dystrophy. *MOLECULAR THERAPY* 2017; 25 (5) :195.
  - 24) Taichi Kitaoka, Toshihiro Tajima, Keisuke Nagasaki, Toru Kikuchi, Katsusuke Yamamoto, Toshimi Michigami, Satoshi Okada, Ikuma Fujiwara, Masayuki Kokaji, Hiroshi Mochizuki, Tsutomu Ogata, Koji Tatebayashi, Atsushi Watanabe, Shuichi Yatsuga, Takuo Kubota, Keiichi Ozono : Safety and efficacy of treatment with asfotase alfa in patients with hypophosphatasia: Results from a Japanese clinical trial. *CLINICAL ENDOCRINOLOGY* 2017; 87 (1) :10-19. doi: 10.1111/cen.13343.
  - 25) Ichiyama S, Matayoshi T, Kaneko T, Shimizu A, Osada SI, Watanabe A, Kanzaki A, Mitsui K, Tsuruoka S, Iwakiri K, Kawana S, Saeki H : Successful multitarget therapy using prednisolone, mizoribine and tacrolimus for Henoch-Schönlein purpura nephritis in children. *The Journal of dermatology* 2017; 44 (4) :E56-E57. doi: 10.1111/1346-8138.13614.
  - 26) Taro Tomono, Yukihiko Hirai, Hironori Okada, Yoshitaka Miyagawa, Kumi Adachi, Yasuhiro Kawano, Hideto Chono, Junichi Mineno, Akiko Ishii, Takashi Shimada, Masafumi Onodera, Akira Tamaoka, Takashi Okada : Ultracentrifugation-Free

- Chromatography-Mediated Purification of Recombinant Adeno-Associated Virus Serotype 9 (rAAV9). MOLECULAR THERAPY 2017; 25 (5) :149-150.
- 27) Takahiro Yoshizawa, Shuji Mizumoto, Yuki Takahashi, Shin Shimada, Kazuyuki Sugahara, Jun Nakayama, Shin'ichi Takeda, Yoshihiro Nomura, Yuko Nitahara-Kasahara, Takashi Okada, Kiyoshi Matsumoto, Shuhei Yamada, Tomoki Kosho : Vascular abnormalities in the placenta of Chst14-/- fetuses: implications in the pathophysiology of perinatal lethality of the murine model and vascular lesions in human CHST14/D4ST1 deficiency. Glycobiology 2018; 28 (2) :80-89. doi: 10.1093/glycob/cwx099.
- 28) Noriko Miyake, Koichi Miyake, Motoko Yamamoto, Takashi Shimada, Takashi Okada : Why Are scAAV9 Vectors Able to Pass Through the BBB but Not ssAAV9?; The Difference Between the ssAAV9 and scAAV9 Vector in Transduction of CNS by Intravenous Injection. MOLECULAR THERAPY 2017; 25 (5) :320-321.
- 29) Hironori Okada, Taro Tomono, Kumi Adachi, Yukihiko Hirai, Masaaki Ouchi, Yuko Utsunomiya, Hideto Chono, Junichi Mineno, Takashi Okada : rAAV-8 Production by Using HEK293 Derivatives, Xeno-Free Media and Flow Electroporation-Based Transfection. MOLECULAR THERAPY 2017; 25 (5) :152.
- 30) Hiromi Hayashita-Kinoh, Yuko N. Kasahara, Mutsuki Kuraoka, Hironori Okada, Kiwamu Imagawa, Tohru Hirato, Shin'ichi Takeda, Takashi Okada : rAAV-Microdystrophin Transduction with MSCs Pre-Treatment of Canine X-Linked Muscular Dystrophy Improved Transgene Expression and Their DMD Phenotype. MOLECULAR THERAPY 2017; 25 (5) :99-100.
- 31) 渡邊 淳 : 【難病の早期診断のために小児歯科医ができること-低ホスファターゼ症-】 希少疾患のこども・家族との向き合い方 低ホスファターゼ症を通して. 小児歯科臨床 2018; 23 (2) :33-37. doi: 10.20776/S13448846-23-2-P33.
- 32) 中山 智祥, 糸賀 栄, 青木 留美子, 野村 文夫, 横田 浩充, 南木 融, 渡邊 直樹, 内海 健, 斉藤 邦明, 末岡 榮三朗, 末広 寛, 長井 篤, 菱沼 昭, 宮島 栄治, 宮地 勇人, 村上 正巳, 和田 隆志, 竹越 一博, 東田 修二, 中谷 中, 渡邊 淳, 松下一之, 中西 豊文, 日高 恵以子, 竹田 真由, 曾川 一幸, 草場 耕二, 松本 竹久, 渡邊 正治, 渡 智久, 清祐 麻紀子, 品川 雅明, 中村 明子, 大隈 雅紀, 東山 智宣, 長田 誠, 藤本 英也, 中條 聖子, 山口 敏和, 福井 崇史, 神山 誠, 森 篤雄, 三浦 俊昭, 関口 幸恵, 松山 由美子, 濱崎 梓, 副島 隆浩, 日本臨床検査自動化学会 : いまどきの遺伝子・プロテオミクス技術と自動分析機器 2017. 日本臨床検査自動化学会誌 2017; 42 (Suppl.2) :1-267.
- 33) ZHANG Shujuan, 山崎吉之, 宮川世志幸, 渡邊淳, 岡田尚巳 : がん治療用ウイルスベクター産生ヒト歯髄幹細胞培養系の確立. 日本医科大学医学会雑誌 2017; 13 (3) :164 - 165(J - STAGE).
- 34) 五十嵐 勉, 高橋 和久, 三宅 弘一, 小林 舞香, 矢口 智恵美, 山崎 吉之, 三宅 紀子, 亀谷 修平, 島田 隆, 岡田 尚巳, 高橋 浩 : アデノ随伴ウイルスベクターによる遺伝子治療と内境界膜剥離. 日本眼科学会雑誌 2018; 122 (3) :251-252.
- 35) 増田 千明, 伴野太郎, 宮川世志幸, 岡田浩典, 平井幸彦, 岡田尚巳 : イオン交換カラムクロマトグラフィー技術による組換え 5 型アデノ随伴ウイルス精製法の開発. 日本生化学会大会 2017; 90th
- 36) 伴野太郎, 伴野太郎, 増田千明, 宮川世志幸, 岡田浩典, 平井幸彦, 石井亜紀子, 玉岡晃, 岡田尚巳 : クロマトグラフィー技術を用いた 8 型アデノ随伴ウイルスベクター(rAAV8)の精製. 日本生化学会大会 2017; 90th
- 37) 五十嵐 勉, 高橋 和久, 三宅 弘一, 小林 舞香, 矢口 智恵美, 山崎 吉之, 喜納 裕美, 三宅 紀子, 亀谷 修平, 島田 隆, 岡田 尚巳, 高橋 浩 : サルに対する AAV ベクター硝子体投与による血中抗体価の検討. 日本眼科学会雑誌 2018; 122 (臨増) :260.
- 38) 高橋和久, 高橋和久, 五十嵐勉 三宅弘一, 小林舞香, 矢口智恵美, 飯島修, 山崎吉之, 亀谷修平, 島田隆, 高橋浩, 岡田尚巳 : サルに対する内境界膜剥離併用硝子体手術による遺伝子導入法の開発. 日本緑内障学会抄録集 2017; 28th
- 39) 大塚 喜久, 金川 基, 千代 智子, 小林 千浩, 岡田 尚巳, 武田 伸一, 戸田 達史 : ジストログリカノパチーに対する LARGE 遺伝子治療. 日本筋学会学術集会プログラム・抄録集 2017; 3 回:142.
- 40) 折茂 英生, 渡邊 淳, 齊藤 智望, 松村 智裕, 齋藤 志ほ, 佐々木 元子, 岡田 尚巳, Chen Bee Chin, Chew Hui Bein, Keng Wee Teik : マレーシア人低ホスファターゼ症患者に見出された組織非特異型アルカリホスファターゼ遺伝子変異の解析. 生命科学系学会合同年次大会 2017; 2017 年度:[2P-1092].
- 41) 佐々木元子, 渡邊淳, 三宅秀彦, 鈴木由美, 保坂愛, 峯克也, 米澤美令, 倉品隆平, 川端伊久乃, 大内望, 島田隆, 竹下俊行 : 不育症・習慣流産による染色体異常を考慮した出生前診断の遺伝カウンセリング. 日本人類遺伝学会大会プログラム・抄録集 2017; 62nd:321.
- 42) 倉岡 睦季, 笠原 優子, 立岡 久照, 加藤 直広, 木村 円, 青木 吉嗣, 柴崎 浩之, シン 明彦, 武田 伸一 : 加速度センサを用いたイ

- ス筋ジストロフィーモデルの運動機能評価. 日本獣医学会学術集会講演要旨集 2017; 160 回:521.
- 43) 倉岡 睦季, 笠原 優子, 立森 久照, 加藤 直広, 木村 円, 青木 吉嗣, 柴崎 浩之, 武田 伸一 : 加速度・角速度センサを用いたイヌ筋ジストロフィーモデルの運動機能評価. 日本筋学会学術集会プログラム・抄録集 2017; 3 回:153.
- 44) 渡邊 淳, 市石 博, 巽 純子, 中川 奈保子, 松田 雅代, 米田 勝将, 武田 正道, 大野 智久, 菅野 治虫, 佐々木 元子, 田村 和朗, 櫻井 晃洋 : 学校教育における「ヒトの遺伝・遺伝学」導入の実践 : 初等・中等教育において「ヒトの遺伝」をどのように導入するか 第 41 回 日本遺伝カウンセリング学会学術集市民公開講座から. 遺伝 : 生物の科学 2018; 72 (1) :86-92.
- 45) 黒田誠司, 黒田誠司, 黒田誠司, 宮川世志幸, 足立久美, 山本基子, COHEN Justus B., GLORIOSO JOSEPH C., 鈴木英之, 内田英二, 岡田尚巳 : 新規ウイルス産生細胞を用いた無毒化ヘルペスウイルスベクターの生産系の確立. 日本生化学会大会 2017; 90th
- 46) 喜納(早下) 裕美, 岡田 尚巳 : 特集 遺伝子治療における技術革新の現状と課題 3.筋ジストロフィーの遺伝子治療. 医薬ジャーナル 2018; 54 (1) :67-71. doi: 10.20837/1201801067.
- 47) 五十嵐勉, 三宅弘一, 小林舞香, 高橋和久, 中元兼二, 岡田尚巳, 高橋浩 : 眼科分野における遺伝子導入法の開発. 日本医科大学医学雑誌 2017; 13 (2) :88-96.
- 48) 五十嵐勉, 三宅弘一, 高橋和久, 中元兼二, 岡田尚巳, 高橋浩 : 遺伝子治療による網膜神経節細胞保護治療の現状と問題点. 日本緑内障学会抄録集 2017; 28th
- 49) 池上 良, 高橋 有希, 佐藤 亨, 笠原 正貴, 村松 敬, 岡田 尚巳 : 重症乳児型低ホスファターゼ症モデルマウスに対する酵素補充遺伝子治療の顎骨・歯への治療効果. 歯科学報 2017; 117 (3) :265.
- 50) 宮川世志幸, 黒田誠司, 丸山基世, 喜納裕美, 山本基子, VERLENGIA Gianluca, SIMONATO Michele, COHEN Justus, GLORIOSO Joseph, 岡田尚巳 : 難治性神経・筋疾患の遺伝子治療に向けた新規無毒化ヘルペスウイルスベクターの開発. 日本生化学会大会 2017; 90th

## 著書

- 1) 渡邊 淳 : [単著] 診療・研究にダイレクトにつながる 遺伝医学. 2017, 羊土社.

## 学会発表

- 1) Takahashi K, Igarashi T, Miyake K, Kobayashi M, Yaguchi C, Iijima O, Yamazaki Y, Miyake N, Kameya S, Shimada T, Takahashi H, Okada T : Efficient transduction of inner retina by surgical internal limiting membrane (ILM) peeling before intravitreal AAV vector injection in cynomolgus monkeys. The 20th Annual Meeting of the American Society of Gene and Cell Therapy (ASGCT)., 2017. 5.
- 2) Takahashi K, Igarashi T, Miyake K, Kobayashi M, Yaguchi C, Iijima O, Yamazaki Y, Miyake N, Kameya S, Shimada T, Takahashi H, Okada T : Transduction of anterior segment is not affected by vitrectomy before triple-mutated scAAV2 vector injection into vitreous. The 23rd Annual Meeting of Japan Society of Gene and Cell Therapy (JSGCT)., 2017. 7.
- 3) 笠原 優子, 島津 苑子, 増田 千明, 積田 奈々, 水本 秀二, 井上(上野) 由紀子, 井上 高良, 吉沢 隆浩, 池上 良, 中山 淳, 武田 伸一, 渡邊 淳, 古庄 知己, 岡田 尚巳 : デルマタン 4-O-硫酸基転移酵素-1 欠損に基づくエーラスダンロス症候群モデルマウス作製と病態解析. 2017 年度生命科学系学会合同年次大会 (ConBio2017) , 2017. 12.
- 4) 笠原 優子, 小田 ゆき, 喜納 裕美, 倉岡 睦季, 今川 究, 平戸 徹, 武田 伸一, 岡田 尚巳 : 歯髄幹細胞を用いた筋ジストロフィーに対する細胞治療. 第 17 回日本再生医療学会, 2018. 3.

## 7 薬理学分野

### 研究業績

#### 論文等

- 1) Katsunori Kobayashi : Activity modifies adult brain maturity. *ONCOTARGET* 2017; 8 (29) :46708-46709. doi: 10.18632/oncotarget.18560.
- 2) Reiko Nagano, Masatoshi Nagano, Akihito Nakai, Toshiyuki Takeshita, Hidenori Suzuki : DIFFERENTIAL EFFECTS OF NEONATAL SSRI TREATMENTS ON HYPOXIA-INDUCED BEHAVIORAL CHANGES IN MALE AND FEMALE OFFSPRING. *NEUROSCIENCE* 2017; 360:95-105. doi: 10.1016/j.neuroscience.2017.07.051.
- 3) Michihiko Koeda, Atsushi Watanabe, Kumiko Tsuda, Miwako Matsumoto, Yumiko Ikeda, Woochan Kim, Amane Tateno, Banyar Than Naing, Hiroyuki Karibe, Takashi Shimada, Hidenori Suzuki, Masato Matsuura, Yoshiro Okubo : EFFECT OF CNTNAP2 POLYMORPHISMS ON CEREBRAL RESPONSE TO HUMAN VOICE PERCEPTION AND HANDEDNESS: AN FMRI STUDY. *JOURNAL OF NEUROLOGY NEUROSURGERY AND PSYCHIATRY* 2017; 88 (8) :E25-E26. doi: 10.1136/jnnp-2017-BNPA.55.
- 4) Tateno A, Sakayori T, Kim WC, Koeda M, Kumita S, Suzuki H, Okubo Y : Effect of apolipoprotein E phenotype on the association of plasma amyloid  $\beta$  and amyloid positron emission tomography imaging in Japan. *Alzheimer's & dementia (Amsterdam, Netherlands)* 2017; 9:51-56. doi: 10.1016/j.dadm.2017.08.002.
- 5) Michihiko Koeda, Yumiko Ikeda, Amane Tateno, Hidenori Suzuki, Yoshiro Okubo : MAZINDOL EFFECT ON CEREBRAL RESPONSE TO NONVERBAL AFFECTIVE VOCALISATION IN HEALTHY INDIVIDUALS: AN FMRI STUDY. *JOURNAL OF NEUROLOGY NEUROSURGERY AND PSYCHIATRY* 2017; 88 (8) :E35-E36. doi: 10.1136/jnnp-2017-BNPA.80.
- 6) Atsushi Sakai, Fumihito Saitow, Motoyo Maruyama, Noriko Miyake, Koichi Miyake, Takashi Shimada, Takashi Okada, Hidenori Suzuki : MicroRNA cluster miR-17-92 regulates multiple functionally related voltage-gated potassium channels in chronic neuropathic pain. *NATURE COMMUNICATIONS* 2017; 8:16079. doi: 10.1038/ncomms16079.
- 7) Yumiko Ikeda, Takuya Funayama, Amane Tateno, Haruhisa Fukayama, Yoshiro Okubo, Hidenori Suzuki : Modafinil enhances alerting-related brain activity in attention networks. *PSYCHOPHARMACOLOGY* 2017; 234 (14) :2077-2089. doi: 10.1007/s00213-017-4614-9.
- 8) Naohiro Hashimoto, Tohru Kiyono, Fumihito Saitow, Minoru Asada, Masaki Yoshida : Reversible differentiation of immortalized human bladder smooth muscle cells accompanied by actin bundle reorganization. *PLOS ONE* 2017; 12 (10) :e0186584. doi: 10.1371/journal.pone.0186584.
- 9) Nobuhiro Nakai, Masatoshi Nagano, Fumihito Saitow, Yasuhito Watanabe, Yoshinobu Kawamura, Akiko Kawamoto, Kota Tamada, Hiroshi Mizuma, Hirota Onoe, Yasuyoshi Watanabe, Hiromu Monai, Hajime Hirase, Jin Nakatani, Hirofumi Inagaki, Tomoyuki Kawada, Taisuke Miyazaki, Masahiko Watanabe, Yuka Sato, Shigeo Okabe, Kazuo Kitamura, Masanobu Kano, Kouichi Hashimoto, Hidenori Suzuki, Toru Takumi : Serotonin rebalances cortical tuning and behavior linked to autism symptoms in 15q11-13 CNV mice. *SCIENCE ADVANCES* 2017; 3 (6) :e1603001. doi: 10.1126/sciadv.1603001.
- 10) 瀬木 恵里, 西田 井本 有基, 小林 克典 : 【脳機能とその破綻に対する時間・階層縦断的アプローチと治療戦略】 電気けいれん刺激による海馬神経の成熟制御 精神疾患の新たな治療戦略. *日本薬理学雑誌* 2017; 150 (5) :218-222. doi: 10.1254/fpj.150.218.
- 11) 肥田 道彦, 濱 智子, 池田 裕美子, 館野 周, 鈴木 秀典, 大久保 善朗 : ブロピオンの情動認知時脳賦活に与える影響 予備的 fMRI 研究. *日本生物学的精神医学会・日本神経精神薬理学会合同年会プログラム・抄録集* 2017; 39 回・47 回:154.
- 12) 肥田道彦, 長谷武志, 濱智子, 濱智子, 池田裕美子, 館野周, 鈴木秀典, 大久保善朗 : ロラゼパム投与時の不安軽減度と恐怖感情認知脳内ネットワークの分布の関連:機能的 MRI 研究. *日本臨床精神神経薬理学会プログラム・抄録集* 2017; 27th:119.
- 13) 坂井敦, 丸山基世, 岩崎宏俊, 鈴木秀典 : 後根神経節に高発現する長鎖非コード RNA の神経障害性疼痛における変化. *Pain Research* 2017; 32 (2) :129.
- 14) 濱 智子, 肥田 道彦, 池田 裕美子, 館野 周, 鈴木 秀典, 大久保 善朗 : 音声情動認知時の機能的結合に対するブロピオンの効果 予備的 fMRI 研究. *日本生物学的精神医学会・日本神経精神薬理学会合同年会プログラム・抄録集* 2017; 39 回・47 回:164.
- 15) 濱智子, 肥田道彦, 池田裕美子, 館野周, 鈴木秀典, 大久保善朗 : 音声情動認知時の機能的結合に対するブロピオンの効果:予備的

fMRI 研究. 日本神経精神薬理学会プログラム・抄録集 2017; 47th:164.

## 8 解析人体病理学分野

### 研究業績

#### 論文等

- 1) Akiko Kanzaki, Shin-ichi Ansai, Takashi Ueno, Seiji Kawana, Akira Shimizu, Zenya Naito, Hidehisa Saeki : A Case of Metastatic Basal Cell Carcinoma Treated with Cisplatin and Adriamycin. JOURNAL OF NIPPON MEDICAL SCHOOL 2017; 84 (6) :286-290. doi: 10.1272/jnms.84.286.
- 2) Shinichi Nishi, Eri Muso, Akira Shimizu, Hitoshi Sugiyama, Hitoshi Yokoyama, Yukio Ando, Shunsuke Goto, Hideki Fujii : A clinical evaluation of renal amyloidosis in the Japan renal biopsy registry: a cross-sectional study. CLINICAL AND EXPERIMENTAL NEPHROLOGY 2017; 21 (4) :624-632. doi: 10.1007/s10157-016-1326-0.
- 3) 八尋錦之助, 小倉康平, 寺崎泰弘, 秋山徹, 寺崎美佳, 野田公俊 : ADP - リボシル化毒素 Cholix の肝臓細胞障害機構の解明. 日本生化学会大会 2017; 90th:ROMBUNNO.1P - 0446 (WEB ONLY).
- 4) Masahiro Seike, Cheol-Hong Kim, Fenfei Zou, Rintaro Noro, Mika Chiba, Arimi Ishikawa, Shinobu Kunugi, Kaoru Kubota, Akihiko Gemma : AXL and GAS6 co-expression in lung adenocarcinoma as a prognostic classifier. ONCOLOGY REPORTS 2017; 37 (6) :3261-3269. doi: 10.3892/or.2017.5594.
- 5) Tomohiro Udagawa, Tohaku Jo, Takeshi Yanagihara, Akira Shimizu, Jun Mitsui, Shoji Tsuji, Shinichi Morishita, Reiko Onai, Kenichiro Miura, Shoichiro Kanda, Yuko Kajihō, Haruko Tsurumi, Akira Oka, Motoshi Hattori, Yutaka Harita : Altered expression of Crb2 in podocytes expands a variation of CRB2 mutations in steroid-resistant nephrotic syndrome. PEDIATRIC NEPHROLOGY 2017; 32 (5) :801-809. doi: 10.1007/s00467-016-3549-4.
- 6) 北見 菜々恵, 木内 善太郎, 羽田 伊知郎, 尾田 高志, 清水 章, 土屋 正己, 楊 國昌 : A 群溶連菌感染により発症した紫斑病性腎炎と急性糸球体腎炎の合併例. 日本小児腎臓病学会雑誌 2017; 30 (1Suppl.) :200.
- 7) Ryuji Ohashi, Ryuji Fukazawa, Makoto Watanabe, Koji Hashimoto, Nobuko Suzuki, Noriko Nagi-Miura, Naohito Ohno, Akira Shimizu, Yasuhiko Itoh : Characterization of a murine model with arteritis induced by Nod1 ligand, FK565: A comparative study with a CAWS-induced model. MODERN RHEUMATOLOGY 2017; 27 (6) :1024-1030. doi: 10.1080/14397595.2017.1287150.
- 8) Naoki Nakagawa, Naoyuki Hasebe, Motoshi Hattori, Michio Nagata, Hitoshi Yokoyama, Hiroshi Sato, Hitoshi Sugiyama, Akira Shimizu, Yoshitaka Isaka, Shoichi Maruyama, Ichiei Narita : Clinical features and pathogenesis of membranoproliferative glomerulonephritis: a nationwide analysis of the Japan renal biopsy registry from 2007 to 2015. Clinical and Experimental Nephrology 2017; 22 (4) :1-11. doi: 10.1007/s10157-017-1513-7.
- 9) Yasuhiro Terasaki, Soichiro Ikushima, Shoko Matsui, Akira Hebisawa, Yasunori Ichimura, Shinyu Izumi, Masuo Ujita, Machiko Arita, Keisuke Tomii, Yuko Komase, Isoko Owan, Tetsuji Kawamura, Yasuo Matsuzawa, Miho Murakami, Hiroshi Ishimoto, Hiroshi Kimura, Masashi Bando, Norihiro Nishimoto, Yoshinori Kawabata, Yuh Fukuda, Takashi Ogura : Comparison of clinical and pathological features of lung lesions of systemic IgG4-related disease and idiopathic multicentric Castleman's disease. HISTOPATHOLOGY 2017; 70 (7) :1114-1124. doi: 10.1111/his.13186.
- 10) Takashi Tani, Hideo Orimo, Akira Shimizu, Shuichi Tsuruoka : Development of a novel chronic kidney disease mouse model to evaluate the progression of hyperphosphatemia and associated mineral bone disease. SCIENTIFIC REPORTS 2017; 7 (1) :2233. doi: 10.1038/s41598-017-02351-6.
- 11) Hisashi Sahara, Mitsuhiro Sekijima, Yuichi Ariyoshi, Akihiro Kawai, Kohei Miura, Shiori Waki, Louras Nathan, Yusuke Tomita, Takehiro Iwanaga, Kazuaki Nakano, Hitomi Matsunari, Hiroshi Date, Hiroshi Nagashima, Akira Shimizu, Kazuhiko Yamada : Effects of carbon monoxide on early dysfunction and microangiopathy following GalT-KO porcine pulmonary xenotransplantation in cynomolgus monkeys. Xenotransplantation 2018; 25 (1) doi: 10.1111/xen.12359.
- 12) Takeru Kashiwada, Yoshinobu Saito, Yuji Minegishi, Nariaki Kokuho, Akihiko Takahashi, Satoshi Takahashi, Kenichiro Atsumi, Masahiro Seike, Arata Azuma, Kaoru Kubota, Yasuhiro Terasaki, Akihiko Gemma : Granuloma-forming interstitial pneumonia induced



- by nivolumab: a possible immune-related adverse event of the lung. International cancer conference journal 2017; 6 (3) :131-134. doi: 10.1007/s13691-017-0291-0.
- 13) Hironosuke Watanabe, Hisashi Sahara, Shunichiro Nomura, Tatsu Tanabe, Ryoichiro Doi, Dilrukshi Ekanayake-Alper, Lennan Boyd, Makenzie Danton, John Arn, Robert Hawley, Akira Shimizu, Marc Lorber, Megan Sykes, David Sachs, Kazuhiko Yamada : Histologically proven survival of porcine lung xenografts in baboons for up to 10 days using double transgenic hCD47/hCD55 GalT-KO donors. XENOTRANSPLANTATION 2017; 24 (5)
- 14) 杉山 斉, 清水 章, 佐藤 博, 横山 仁 : ICT と腎臓病学 past、present and future 日本腎生検レジストリー(J-RBR)10年の経過と現状、そして今後. 日本腎臓学会誌 2017; 59 (3) :195.
- 15) 清水 章, 横山 仁, 杉山 斉 : ICT と腎臓病学 past、present and future 腎臓病理分野での ICT と今後の展開. 日本腎臓学会誌 2017; 59 (3) :196.
- 16) Sae Aratani, Akiko Mii, Ryo Yuzawa, Megumi Morita, Tomoaki Kumagai, Yukinao Sakai, Akira Shimizu, Shuichi Tsuruoka : LONG-TERM COMPLETE REMISSION IN A PATIENT WITH FOCAL SEGMENTAL GLOMERULOSCLEROSIS ASSOCIATED WITH GUILLAIN-BARRE SYNDROME. NEPHROLOGY 2017; 22 (10) :821. doi: 10.1111/nep.12944.
- 17) Nariaki Kokuho, Yasuhiro Terasaki, Shinobu Kunugi, Naomi Onda, Hirokazu Urushiyama, Mika Terasaki, Mitsunori Hino, Akihiko Gemma, Tsutomu Hatori, Akira Shimizu : Localized pulmonary crystal-storing histiocytosis complicating pulmonary mucosa-associated lymphoid tissue lymphoma presenting with multiple mass lesions. HUMAN PATHOLOGY 2017; 65:180-186. doi: 10.1016/j.humpath.2016.10.028.
- 18) Nao Wakabayashi, Hiroki Umezawa, Noriko M. Matsumoto, Yoko Endo, Zenya Naito, Rei Ogawa : Low-grade cribriform cystadenocarcinoma: A review of the literature and case report. Plastic and Reconstructive Surgery - Global Open 2017; 5 (4) :e1306. doi: 10.1097/GOX.0000000000001306.
- 19) Shoichiro Kanda, Shigeru Horita, Takeshi Yanagihara, Akira Shimizu, Motoshi Hattori : M-type phospholipase A(2) receptor (PLA(2)R) glomerular staining in pediatric idiopathic membranous nephropathy. PEDIATRIC NEPHROLOGY 2017; 32 (4) :713-717. doi: 10.1007/s00467-016-3552-9.
- 20) 井上由佳理, 杉谷巖, 五十嵐健人, 岡村律子, 長岡竜太, 眞田麻梨恵, 清水一雄, 赤須東樹, 軸菌智雄, 梶本雄介, 寺崎泰弘, 清水章, 渡邊淳 : MEN2A の甲状腺髄様癌に乳頭癌が合併した一例. 日本内分泌学会関東甲信越支部学術集会プログラム抄録集 2017; 18th:109.
- 21) 井上 由佳理, 杉谷 巖, 五十嵐 健人, 岡村 律子, 長岡 竜太, 眞田 麻梨恵, 清水 一雄, 赤須 東樹, 軸菌 智雄, 梶本 雄介, 寺崎 泰弘, 清水 章, 渡邊 淳 : MEN2A の甲状腺髄様癌に乳頭癌が合併した一例. 日本内分泌学会雑誌 2017; 93 (3) :784.
- 22) 佐原 寿史, 関島 光裕, 室川 剛廣, 有吉 勇一, 岩永 健裕, 市成 ゆりか, 清水 章, 山田 和彦 : MHC 確立クラウンミニブタを用いたアデノシン A2A 受容体アゴニスト (CGS21680) 投与による移植肺免疫寛容誘導. 日本呼吸器外科学会雑誌 2017; 31 (3) :O16-5.
- 23) 関島 光裕, 有吉 勇一, 佐原 寿史, 岩永 健裕, 室川 剛廣, 市成 ゆりか, 清水 章, 山田 和彦 : MHC 確立クラウン系ミニブタを用いた慢性大動物移植実験による常温灌流保存法 (NMP 法: Normothermic Machine Perfusion) の有効性評価. 移植 2017; 52 (総会臨時) :442.
- 24) Megumu Fukunaga, Kiyotaka Nagahama, Michiko Aoki, Akira Shimizu, Shigeo Hara, Akira Matsunaga, Eri Muso, Takao Saito : Membranous Nephropathy-Like Apolipoprotein E Deposition Disease with Apolipoprotein E Toyonaka (Ser197Cys) and a Homozygous Apolipoprotein E2/2. Case Reports in Nephrology and Dialysis 2018; 8 (1) :45-55. doi: 10.1159/000487919.
- 25) Yu Ishimoto, Reiko Inagi, Daisuke Yoshihara, Masanori Kugita, Shizuko Nagao, Akira Shimizu, Norihiko Takeda, Masaki Wake, Kenjiro Honda, Jing Zhou, Masaomi Nangaku : Mitochondrial Abnormality Facilitates Cyst Formation in Autosomal Dominant Polycystic Kidney Disease. MOLECULAR AND CELLULAR BIOLOGY 2017; 37 (24) doi: 10.1128/MCB.00337-17.
- 26) Hirokazu Urushiyama, Yasuhiro Terasaki, Shinya Nagasaka, Yasuhiro Yamauchi, Nariaki Kokuho, Shinobu Kunugi, Hirotaka Matsuzaki, Yoshihisa Hiraishi, Yu Mikami, Satoshi Noguchi, Masafumi Horie, Takahide Nagase : Naftopidil, a selective alpha 1 adrenoceptor antagonist, inhibits the growth of lung fibroblasts and attenuates bleomycin-induced lung fibrosis in mice. EUROPEAN RESPIRATORY JOURNAL 2017; 50 doi: 10.1183/1393003.congress-2017.PA901.
- 27) T. Fujisawa, T. Suda, M. Mikamo, K. Mori, Y. Enomoto, N. Enomoto, Y. Nakamura, T. Ohno, J. Fukuoka, T. Johkoh, Y. Kondoh, H. Taniguchi, N. Inase, S. Homma : Nationwide Cloud-Based Integrated Database With Clinical, Radiological And Pathological

- Data Of Idiopathic Interstitial Pneumonias For Multidisciplinary Discussions. AMERICAN JOURNAL OF RESPIRATORY AND CRITICAL CARE MEDICINE 2017; 195
- 28) Kanzaki G, Puelles VG, Cullen-McEwen LA, Hoy WE, Okabayashi Y, Tsuboi N, Shimizu A, Denton KM, Hughson MD, Yokoo T, Bertram JF : New insights on glomerular hyperfiltration: a Japanese autopsy study. JCI insight 2017; 2 (19) doi: 10.1172/jci.insight.94334.
  - 29) Michiko Aoki, Dedong Kang, Akira Katayama, Naomi Kuwahara, Shinya Nagasaka, Yoko Endo, Mika Terasaki, Shinobu Kunugi, Yasuhiro Terasaki, Akira Shimizu : Optimal conditions and the advantages of using laser microdissection and liquid chromatography tandem mass spectrometry for diagnosing renal amyloidosis. Clinical and Experimental Nephrology 2018; 22 (4) :1-10. doi: 10.1007/s10157-018-1533-y.
  - 30) Ryuji Ohashi, Keiko Yanagihara, Shigeki Namimatsu, Takashi Sakatani, Hiroyuki Takei, Zenya Naito, Akira Shimizu : Osteoclast-like giant cells in invasive breast cancer predominantly possess M2-macrophage phenotype. Pathology Research and Practice 2018; 214 (2) :253-258. doi: 10.1016/j.prp.2017.11.002.
  - 31) Takeshi Arima, Masaaki Uchiyama, Yuichiro Nakano, Shinya Nagasaka, Dedong Kang, Akira Shimizu, Hiroshi Takahashi : Peroxisome proliferator-activated receptor alpha agonist suppresses neovascularization by reducing both vascular endothelial growth factor and angiopoietin-2 in corneal alkali burn. SCIENTIFIC REPORTS 2017; 7 (1) :17763. doi: 10.1038/s41598-017-18113-3.
  - 32) Kenichi Kobayashi, Masahiro Seike, Fenfei Zou, Rintaro Noro, Mika Chiba, Arimi Ishikawa, Shinobu Kunugi, Kaoru Kubota, Akihiko Gemma : Prognostic Significance of NSCLC and Response to EGFR-TKIs of EGFR-Mutated NSCLC Based on PD-L1 Expression. Anticancer research 2018; 38 (2) :753-762. doi: 10.21873/anticancer.12281.
  - 33) Fenfei Zou, Masahiro Seike, Rintaro Noro, Shinobu Kunugi, Kaoru Kubota, Akihiko Gemma : Prognostic significance of ABCB1 in stage I lung adenocarcinoma. ONCOLOGY LETTERS 2017; 14 (1) :313-321. doi: 10.3892/ol.2017.6145.
  - 34) Satoshi Hisano, Kensuke Joh, Ritsuko Katafuchi, Akira Shimizu, Noriaki Hashiguchi, Tetsuya Kawamura, Seiichi Matsuo : Reproducibility for pathological prognostic parameters of the Oxford classification of IgA nephropathy: the authors reply. CLINICAL AND EXPERIMENTAL NEPHROLOGY 2017; 21 (6) :1137-1138. doi: 10.1007/s10157-017-1422-9.
  - 35) T. Tanabe, H. Watanabe, J. A. Shah, H. Sahara, A. Shimizu, S. Nomura, A. Asfour, M. Danton, L. Boyd, A. Dardenne Meyers, D. K. Ekanayake-Alper, D. H. Sachs, K. Yamada : Role of Intrinsic (Graft) Versus Extrinsic (Host) Factors in the Growth of Transplanted Organs Following Allogeneic and Xenogeneic Transplantation. AMERICAN JOURNAL OF TRANSPLANTATION 2017; 17 (7) :1778-1790. doi: 10.1111/ajt.14210.
  - 36) Ichiyama S, Matayoshi T, Kaneko T, Shimizu A, Osada SI, Watanabe A, Kanzaki A, Mitsui K, Tsuruoka S, Iwakiri K, Kawana S, Saeki H : Successful multitarget therapy using prednisolone, mizoribine and tacrolimus for Henoch-Schönlein purpura nephritis in children. The Journal of dermatology 2017; 44 (4) :E56-E57. doi: 10.1111/1346-8138.13614.
  - 37) 宮本 大資, 船越 俊貴, 荒川 裕輔, 平間 章郎, 三井 亜希子, 酒井 行直, 杉崎 祐一, 清水 章, 鶴岡 秀一 : TAFRO 様症状と腎血管性微小血管症の病理像を認めたステロイドが奏功した 1 例. 日本腎臓学会誌 2017; 59 (6) :864.
  - 38) Y. Terasaki, N. Kokuho, S. Kunugi, Y. Saito, M. Terasa, H. Urushiyama, A. Gemma : The Analyses Of Alveolar Epithelial Injury Through The Lipid Metabolic Stress In The Mammalian Target Of Rapamycin Inhibitor Induced Lung Disease. AMERICAN JOURNAL OF RESPIRATORY AND CRITICAL CARE MEDICINE 2017; 195
  - 39) Nobuo Tsuboi, Yusuke Okabayashi, Akira Shimizu, Takashi Yokoo : The Renal Pathology of Obesity. Kidney International Reports 2017; 2 (2) :251-260. doi: 10.1016/j.ekir.2017.01.007.
  - 40) Kazuhiko Yamada, Tatsu Tanabe, Miguel Lanasa, Hironosuke Watanabe, Christopher Rivard, Mitsuhiro Sekijima, Jigesh Shah, Masayuki Tasaki, Hisashi Sahara, Akira Shimizu, David Sachs, Richard Johnson : The roles of CD80 upregulation and human CD47 expression on glomerular podocytes in development of proteinuria following pig-to baboon renal xenotransplantation. XENOTRANSPLANTATION 2017; 24 (5)
  - 41) Shimizu A, Hoashi T, Kataoka K, Shirakawa N, Mayumi N, Funasaka Y, Saeki H : Two Cases of Verrucous Carcinoma: Revisiting the Definition. Journal of Nippon Medical School = Nippon Ika Daigaku zasshi 2018; 85 (1) :47-50. doi: 10.1272/jnms.2018.85-7.
  - 42) Kohei Ogura, Yasuhiro Terasaki, Tohru Miyoshi-Akiyama, Mika Terasaki, Joel Moss, Masatoshi Noda, Kinnosuke Yahiro : Vibrio

- cholerae Cholix Toxin-Induced HepG2 Cell Death is Enhanced by Tumor Necrosis Factor-Alpha Through ROS and Intracellular Signal-Regulated Kinases. TOXICOLOGICAL SCIENCES 2017; 156 (2) :455-468. doi: 10.1093/toxsci/kfx009.
- 43) 有馬 武志, 内山 昌明, 仲野 裕一郎, 清水 章, 高橋 浩 : peroxisome proliferator activated receptor alpha 点眼剤の治療効果. 日本眼科学会雑誌 2018; 122 (臨増) :181.
- 44) 蛸井 浩行, 国保 成暁, 久世 眞之, 柏田 建, 林 宏紀, 神尾 孝一郎, 齋藤 好信, 藤田 和恵, 阿部 信二, 功刀 しのぶ, 寺崎 泰弘, 久保田 馨, 吾妻 安良太, 弦間 昭彦 : possible UIP パターンに対する TBLB の有用性. 気管支学 2017; 39 (Suppl.) :S275.
- 45) 新井 孝司, 片岡 光枝, 清水 章 : 【腎生検・病理診断-臨床と病理の架け橋】(第2章)臨床医が知っておくべき腎生検標本の作製と観察の実際 光顕の標本の作製と観察 PAM 染色の実際とポイント. 腎と透析 2017; 82 (増刊) :61-66.
- 46) 益田 幸成, 康 徳東, 清水 章 : 【腎生検・病理診断-臨床と病理の架け橋】(第4章)腎生検病理診断の実際とトピックス 係蹄基底膜の障害. 腎と透析 2017; 82 (増刊) :360-365.
- 47) 遠藤 陽子, 清水 章 : 【腎臓学 この一年の進歩】腎生検病理診断学の最近の進歩. 日本腎臓学会誌 2018; 60 (1) :28-35.
- 48) 荒谷 紗絵, 清水 章 : 【補体と腎疾患】補体をめぐる基礎知識 腎生検の蛍光抗体法による補体検査. 腎と透析 2017; 83 (4) :544-549.
- 49) 寺崎 泰弘, 国保 成暁, 寺崎 美佳, 功刀 しのぶ : 【間質性肺炎の診断 Up to Date】慢性経過の間質性肺炎に対する MDD 診断 病理医の立場から. 臨床画像 2018; 34 (2) :214-224.
- 50) 橋 靖子, 湯村 和子, 清水 章 : 【高齢者の CKD-保存期から透析まで-】加齢に伴う腎臓の組織学的変化の特徴. Geriatric Medicine 2017; 55 (12) :1317-1321.
- 51) 室川 剛廣, 佐原 寿史, 関島 光裕, 岩永 健裕, 有吉 勇一, 市成 ゆりか, 清水 章, 山田 和彦 : クラウン系ミニプタを用いた肝虚血再灌流障害(IRI)に対する一酸化炭素(CO)の有効性評価. 移植 2017; 52 (総会臨時) :443.
- 52) 丸野 紗也子, 三枝 華子, 松村 実美子, 清水 章, 高野 秀樹 : トラゾドンによる薬剤性間質性腎炎で急性腎不全となった 1 例. 日本腎臓学会誌 2017; 59 (6) :865.
- 53) 丸野 紗也子, 三枝 華子, 松村 実美子, 清水 章, 高野 秀樹 : トラゾドンによる薬剤性間質性腎炎により急性腎不全となった 1 例. 日本内科学会関東地方会 2017; 634 回:23.
- 54) 上春 光司, 橋本 佳亮, 橋本 康司, 山西 慎吾, 五十嵐 徹, 清水 章, 伊藤 保彦 : ネフローゼ症候群(NS)を呈した ISKDC grade 2 の紫斑病性腎炎(HSPN)の 1 例. 日本小児科学会雑誌 2018; 122 (2) :404.
- 55) 山口 美保, 宇仁 理恵, 松村 実美子, 東原 崇明, 清水 章, 高野 秀樹 : パファリンが原因となった急性尿細管間質性腎炎の一例. 日本腎臓学会誌 2017; 59 (6) :891.
- 56) 清水 章, 長田 道夫 : ファブリー病の腎病理診断. 日本小児腎臓病学会雑誌 2017; 30 (1Suppl.) :99.
- 57) 梁 非, 康 徳東, 蘭 平, 益田 幸成, 石川 吾利美, 若松 恭子, 永坂 眞也, 長濱 清隆, 清水 章 : ラット発生過程における腎糸球体係蹄の成熟. 日本医科大学医学会雑誌 2017; 13 (3) :161-162.
- 58) 鍋木 翔太, 高野 夏希, 菅野 哲平, 松本 優, 野呂 林太郎, 武内 進, 加藤 友美, 中山 幸治, 高橋 聡, 小林 研一, 峯岸 裕司, 清家 正博, 久保田 馨, 弦間 昭彦, 山本 晃人, 黒瀬 圭輔, 大橋 隆治, 寺崎 泰弘, 功刀 しのぶ, 白田 実男 : 卵巣莖膜細胞腫への腫瘍内転移をきたした肺大細胞神経内分泌癌の 1 例. 肺癌 2017; 57 (6) :794.
- 59) 蘭 平, 康 徳東, 梁 非, 益田 幸成, 石川 吾利美, 新井 孝司, 永坂 眞也, 長濱 清隆, 清水 章 : 実験的ラット Heymann 腎炎モデルにおける糸球体係蹄基底膜傷害. 日本医科大学医学会雑誌 2017; 13 (3) :162.
- 60) 長田 道夫, 清水 章 : 小児の特性から腎病理を考えてみる. 日本小児腎臓病学会雑誌 2017; 30 (1Suppl.) :78.
- 61) 坪井 伸夫, 神崎 剛, 岡林 佑典, ジョン・パートラム, 清水 章, 横尾 隆 : 慢性腎臓病研究の進歩から見えてきた高血圧成因 日本人のネフロン数と高血圧. 日本高血圧学会総会プログラム・抄録集 2017; 40 回:254.
- 62) 神崎 剛, 岡林 佑典, 坪井 伸夫, 清水 章, 横尾 隆, Bertram JF : 戦前後における日本人ネフロン数の変化. DOHaD 研究 2017; 6 (1) :62.
- 63) 岡林 佑典, 永坂 眞也, 神崎 剛, 荒谷 紗絵, 田川 雅子, 勝馬 愛, 青木 路子, 金光 剛史, 梶本 雄介, 康 徳東, 長濱 清隆, 清水 章 : 抗糸球体基底膜腎炎ラットにおいて PPAR $\alpha$  は CD8 陽性細胞浸潤抑制を介して半月体形成を抑制する. 日本腎臓学会誌 2017; 59 (3) :245.
- 64) 大高 望, 川北 智英子, 木野村 賢, 北川 正史, 田邊 克幸, 江口 潤, 内田 治仁, 杉山 齊, 和田 淳, 清水 章 : 抗血管内皮細胞増

- 殖因子(VEGF)葉硝子体内注射による腎障害が示唆された糖尿病性腎症の1例. 日本腎臓学会誌 2017; 59 (6) :731.
- 65) 鎌田 芳則, 佐藤 博, 城 謙輔, 土屋 善慎, 田熊 淑男, 功刀 しのぶ, 清水 章, 今田 恒夫, 吾妻 安良太: 日本において腎生検により評価した腎サルコイドーシスの臨床的特徴(Clinical Features of Renal Sarcoidosis Evaluated by Renal Biopsy in Japan). 日本腎臓学会誌 2017; 59 (3) :261.
- 66) 神崎 剛, 坪井 伸夫, 岡林 佑典, 小倉 誠, 清水 章, 横尾 隆: 日本人のネフロン数からみた慢性腎臓病の病態解析. 日本内科学会雑誌 2018; 107 (Suppl.) :210.
- 67) 神崎 剛, 坪井 伸夫, 岡林 佑典, 小倉 誠, 清水 章, 横尾 隆: 日本人ネフロン数の特徴. 日本内科学会雑誌 2018; 107 (Suppl.) :211.
- 68) 麦島 康司, 山田 剛久, 由井 静香, 板垣 史朗, 柏木 哲也, 鶴岡 秀一, 吉田 幸恵, 清水 章, 肥後 清一郎: 早期診断によって治療に成功した抗糸球体基底膜(GBM)抗体病の一例. 日本腎臓学会誌 2017; 59 (6) :889.
- 69) 青木 路子, 梶本 雄介, 遠藤 陽子, 永坂 真也, 寺崎 美佳, 清水 章: 液体クロマトグラフィタンデム型質量分析法によるアミロイド前駆蛋白の同定. 日本医科大学医学会雑誌 2017; 13 (4) :252.
- 70) 青木 路子, 康 徳東, 桑原 尚美, 新井 孝司, 岡林 佑典, 永坂 真也, 遠藤 陽子, 寺崎 美佳, 清水 章: 液体クロマトグラフィタンデム型質量分析法によるアミロイド蛋白の同定. 日本腎臓学会誌 2017; 59 (3) :308.
- 71) 佐原 寿史, 渡邊 洋之助, 清水 章, 永安 武, 山田 和彦: 異種移植 世界最長の GalT-KO ブタ・霊長類間異種移植肺生着への道のりと今後の課題. Organ Biology 2017; 24 (3) :72.
- 72) 大橋 隆治, 葉山 綾子, 松原 美幸, 渡會 泰彦, 石井 英昭, 坂谷 貴司, 武井 寛幸, 内藤 善哉, 清水 章: 破骨型巨細胞を伴う乳癌の細胞病理組織像の検討. 日本臨床細胞学会雑誌 2017; 56 (Suppl.2) :856.
- 73) 寺崎 美佳, 米山 剛一, 山本 晃人, 川瀬 里衣子, 黒瀬 圭輔, 竹下 俊行, 清水 章: 破骨細胞型巨細胞を伴う平滑筋肉腫の腫瘍発現因子の検討. 日本婦人科腫瘍学会雑誌 2017; 35 (3) :528.
- 74) 佐原 寿史, 岩永 健裕, 関島 光裕, 有吉 勇一, 室川 剛廣, 市成 ゆりか, 清水 章, 山田 和彦: 移植後における免疫寛容の誘導 MHC 確立クラウン系ミニブタ脳死肺移植モデルを用いた新たな免疫寛容誘導戦略. 移植 2017; 52 (総会臨時) :252.
- 75) 永坂 真也, 片桐 大輔, 高橋 景子, 高橋 孝宗, 清水 章: 糖尿病性腎症における糸球体内皮細胞由来 NO によるポドサイト NFAT2 発現制御. 日本腎臓学会誌 2017; 59 (3) :295.
- 76) 岩田 和希子, 久保田 浩之, 加藤 秀樹, 清水 章, 松本 道宏, 寺内 康夫, 南学 正臣, 春日 雅人, 鍋木 康志: 糸球体上皮細胞における mTOR 複合体 1(mTORC1)の役割と腎機能への影響の解析. 糖尿病 2017; 60 (Suppl.1) :S-260.
- 77) 木村 英人, 三井 亜希子, 若松 恭子, 鶴岡 秀一, 清水 章: 糸球体腎炎における NETs 形成に関わるシトルリン化ヒストンを有する好中球. 日本腎臓学会誌 2017; 59 (3) :245.
- 78) 田辺 雄次郎, 楊井 瑛美, 尾崎 優介, 山西 慎吾, 徐 東博, 柳原 剛, 五十嵐 徹, 清水 章, 伊藤 保彦, 上杉 憲子: 細動脈の壊死性動脈炎を伴った紫斑病性腎炎の13歳女児例. 日本小児腎臓病学会雑誌 2017; 30 (2) :194.
- 79) 櫻井 祐成, 山本 祐子, 小野寺 健太, 雪吹 周生, 清水 章, 稲葉 雅章, 葉山 修陽, 栗原 怜: 維持透析 3 症例へのデノスマブ投与. 日本透析医学会雑誌 2017; 50 (Suppl.1) :581.
- 80) 宇仁 理恵, 松村 実美子, 東原 崇明, 光武 明彦, 椎尾 康, 平 賢一郎, 清水 潤, 清水 章, 高野 秀樹: 腎生検にて診断し、神経生検でも特徴的な所見を得た孤発型 Fabry 病の一例. 日本腎臓学会誌 2017; 59 (6) :928.
- 81) 杉山 斉, 清水 章, 佐藤 博: 腎臓病総合レジストリー(J-RBR/J-KDR)の2016年次報告と経過報告. 日本腎臓学会誌 2017; 59 (3) :216.
- 82) 葉山 綾子, 土屋 紳一, 松澤 こず恵, 松原 美雪, 渡會 泰彦, 大橋 隆治, 坂谷 貴司, 石井 英昭, 内藤 善哉, 武井 寛幸, 清水 章: 良悪の鑑別が問題になった乳管内乳頭腫の1例. 日本臨床細胞学会雑誌 2017; 56 (Suppl.2) :736.
- 83) 梶本 雄介, 肥後 清一郎, 神崎 剛, 永坂 真也, 長濱 清隆, 益田 幸成, 清水 章: 菲薄基底膜病における糸球体係蹄変化と臨床病理学的検討. 日本腎臓学会誌 2017; 59 (3) :253.
- 84) 梶本 雄介, 清水 章, 青木 路子, 岡林 佑典, 勝馬 愛, 永坂 真也: 菲薄基底膜病における糸球体係蹄変化と臨床病理学的検討. 日本病理学会会誌 2017; 106 (2) :93.
- 85) 横山 仁, 杉山 斉, 佐藤 博, 清水 章: 血管疾患・血管病変の臨床. 日本腎臓学会誌 2017; 59 (6) :697.
- 86) 酒田 美香, 大橋 隆治, 北川 泰之, 松原 美幸, 渡會 泰彦, 石井 英昭, 坂谷 貴司, 内藤 善哉, 清水 章: 術前診断に苦慮した仙骨脊索腫の一例. 日本臨床細胞学会雑誌 2017; 56 (Suppl.2) :864.

- 87) 森田 俊平, 佐々木 峻也, 服部 大樹, 本多 佑, 伊藤 秀之, 矢萩 裕一, 石川 匡洋, 山崎 博之, 清水 章, 横尾 隆 : 診断に質量分析が有用であった軽鎖免疫染色陰性 AL 腎アミロイドーシスの 1 例. 日本内科学会関東地方会 2017; 638 回:47.
- 88) 谷 崇, 金子 朋広, 池田 まり子, 清水 章, 鶴岡 秀一 : 透析導入期における末梢動脈の中膜石灰化合併リスクの検討. 日本透析医学会雑誌 2017; 50 (Suppl.1) :586.
- 89) 柏田建, 阿部信二, 蛸井浩行, 渥美健一郎, 林宏紀, 藤田和恵, 齋藤好信, 弦間昭彦, 久保田馨, 國保成暁, 寺崎泰弘, 吾妻安良太 : 金属加工業者に発症し,DLST,HLA - DPB1 アレルより診断した慢性ペリリウム肺の一例. 日本サルコイドーシス/肉芽腫性疾患学会雑誌 2017; 37 (1-2) :69.
- 90) 寺崎泰弘, 國保成暁, 寺崎美佳, 功刀しのぶ : 間質性肺炎の診断 Up to Date 慢性経過の間質性肺炎に対する MDD 診断:病理医の立場から. 臨床画像 2018; 34 (2) :214 - 224.
- 91) 肥後 清一郎, 山田 剛久, 板垣 史朗, 吉田 幸恵, 酒井 行直, 清水 章, 鶴岡 秀一 : 限定地域に発症した抗 GBM 抗体, ANCA 関連疾患発症患者の病理学的・検査データの検討. 日本腎臓学会誌 2017; 59 (3) :328.
- 92) 川村哲也, 鈴木祐介, 石村栄治, 市川大介, 伊藤孝史, 内田俊也, 小倉 誠, 香美祥二, 片渕律子, 木村健二郎, 佐藤光博, 柴垣有吾, 柴田孝則, 清水 章, 城 謙輔, 白井小百合, 鈴木 仁, 坪井伸夫, 富野康日己, 西野友哉, 橋口明典, 幡谷浩史, 服部元史, 久野 敏, 堀越 哲, 松崎慶一, 松島雅人, 宮崎陽一, 安田 隆, 安田宜成, 横尾 隆 : 難治性腎疾患に関する調査研究 IgA 腎症ワーキンググループ. 難治性腎疾患に関する調査研究 平成 28 年度 総括・分担研究報告書 2017:28-33.

## 著書

- 1) 寺崎 泰弘 : [分担執筆] 慢性経過の間質性肺炎に対する MDD (multi-disciplinary discussion)診断-病理医の立場から. 特集: 間質性肺炎の診断 Up to Date--臨床画像. 2018, 臨床画像-メジカルビュー.
- 2) 寺崎 泰弘 : [分担執筆] 第 2 章 閉塞性細気管支炎の病理. 日本呼吸器学会監修. 厚生労働科学研究費補助金難治性疾患等政策研究事業「びまん性肺疾患に関する調査研究」班・難治性びまん性肺疾患診療の手引き作成委員会編集. 難治性びまん性肺疾患診療の手引き. 2017, 南江堂.

## 学会発表

- 1) 八尋錦之助, 小倉康平, 寺崎泰弘, 秋山徹, 寺崎美佳, 野田公俊 : ADP - リポシル化毒素 Cholix の肝臓細胞障害機構の解明. 日本生化学会大会(Web), 2017.
- 2) Shinobu Kunugi, Yasuhiro Terasaki, Nariaki Kokuho, Mika Terasaki, Akira Shimizu : Primary Pulmonary Nuclear Protein in Testis Carcinoma. the Pulmonary Pathology Society 2017 Biennial Meeting, 2017. 6.
- 3) Y Terasaki, N Kokuho, S Kunugi, M Terasaki, H Urushiyama, A Gemma, M : The analyses of alveolar epithelial injury through the lipid metabolic stress in the mammalian target of rapamycin inhibitor induced lung disease. ATS (American Thoracic Society) International Conference (Washington, DC, USA 2017.5.21-24) , 2017. 5.
- 4) 蛸井 浩行, 國保 成暁, 久世 眞之, 柏田 建, 林 宏紀, 神尾 孝一郎, 齋藤 好信, 藤田 和恵, 阿部 信二, 功刀 しのぶ, 寺崎 泰弘, 久保田 馨, 吾妻 安良太, 弦間 昭彦 : possible UIP パターンに対する TBLB の有用性. 気管支学, 2017. 5.
- 5) 津浦 海里, 寺崎 美佳, 桑原 尚美, 康 徳東, 青木 路子, 長濱 清隆, 寺崎 泰弘, 功刀 しのぶ, 國保 成暁, 清水 章 : 卵巣における内膜症性嚢胞と明細胞腺癌の LCMS/MS を用いた網羅的タンパク解析. 第 106 回日本病理学会総会. (東京) , 2017.
- 6) 久保田 夢音, 山本 晃人, 川瀬 里衣子, 磯村 真理子, 中西 一步, 松橋 智彦, 山田 隆, 米山 剛一, 鴨井 青龍, 寺崎 美佳, 彭 為霞, 黒瀬 圭輔 : 卵巣低悪性度漿液性腺癌の一例. 日本臨床細胞学会雑誌(0387-1193)56 卷 Suppl.2 Page742(2017.10), 2017.
- 7) 鍋木 翔太, 高野 夏希, 菅野 哲平, 松本 優, 野呂 林太郎, 武内 進, 加藤 友美, 中山 幸治, 高橋 聡, 小林 研一, 峯岸 裕司, 清家 正博, 久保田 馨, 弦間 昭彦, 山本 晃人, 黒瀬 圭輔, 大橋 隆治, 寺崎 泰弘, 功刀 しのぶ, 白田 実男 : 卵巣莖膜細胞腫への腫瘍内転移をきたした肺大細胞神経内分泌癌の 1 例. 肺癌, 2017. 11.
- 8) 高田 康幸, 寺崎 泰弘, 國保 成暁, 功刀 しのぶ, 寺崎 美佳, 小野 ゆり, 内藤 善哉, 清水 章 : 形質細胞増殖病態に合併する肺の結晶沈着病変に関する LC/MS/MS を用いた解析. 第 106 回日本病理学会総会. (東京) , 2017.
- 9) 鎌田 芳則, 佐藤 博, 城 謙輔, 土屋 善慎, 田熊 淑男, 功刀 しのぶ, 清水 章, 今田 恒夫, 吾妻 安良太 : 日本において腎生検によ

り評価した腎サルコイドーシスの臨床的特徴(Clinical Features of Renal Sarcoidosis Evaluated by Renal Biopsy in Japan). 日本腎臓学会誌, 2017. 4.

- 10) 青木 路子, 解析人体病理学, 梶本 雄介, 遠藤 陽子, 永坂 真也, 寺崎 美佳, 清水 章 : 液体クロマトグラフィタンデム型質量分析法によるアミロイド前駆蛋白の同定. 日本医科大学医学会雑誌, 2017. 10.
- 11) 青木 路子, 康 徳東, 桑原 尚美, 新井 孝司, 岡林 佑典, 永坂 真也, 遠藤 陽子, 寺崎 美佳, 清水 章 : 液体クロマトグラフィタンデム型質量分析法によるアミロイド蛋白の同定. 日本腎臓学会誌(0385-2385)59 巻 3 号 Page308(2017.04). (東京) , 2017.
- 12) 寺崎 美佳, 米山 剛一, 山本 晃人, 川瀬 里衣子, 黒瀬 圭輔, 竹下 俊行, 清水 章 : 破骨細胞型巨細胞を伴う平滑筋肉腫の腫瘍発現因子の検討. 第 59 回日本婦人科腫瘍学会学術講演会. (熊本) , 2017.
- 13) 磯村 真理子, 黒瀬 圭輔, 山本 晃人, 川瀬 里衣子, 久保田 夢音, 中西 一步, 松橋 智彦, 山田 隆, 米山 剛一, 彭 為霞, 寺崎 美佳, 大橋 隆治, 鴨井 青龍 : 胆嚢癌を原発とする転移性卵巣腫瘍の 1 例. 日本臨床細胞学会雑誌(0387-1193)56 巻 Suppl.2 Page742(2017.10), 2017.

## 9 統御機構診断病理学分野

### 研究業績

#### 論文等

- 1) Akiko Kanzaki, Shin-ichi Ansai, Takashi Ueno, Seiji Kawana, Akira Shimizu, Zenya Naito, Hidehisa Saeki : A Case of Metastatic Basal Cell Carcinoma Treated with Cisplatin and Adriamycin. JOURNAL OF NIPPON MEDICAL SCHOOL 2017; 84 (6) :286-290. doi: 10.1272/jnms.84.286.
- 2) Yasuyuki Yokoyama, Ryuichi Wada, Takeshi Yamada, Eiji Uchida, Zenya Naito : A case of ulcerative colitis with squamous cell carcinomas and multiple foci of squamous dysplasia. PATHOLOGY INTERNATIONAL 2017; 67 (8) :414-418. doi: 10.1111/pin.12539.
- 3) Ryuji Ohashi, Kiyoko Kawahara, Shigeki Namimatsu, Takehito Igarashi, Takashi Sakatani, Iwao Sugitani, Zenya Naito : Clinicopathological significance of a solid component in papillary thyroid carcinoma. HISTOPATHOLOGY 2017; 70 (5) :775-781. doi: 10.1111/his.13132.
- 4) Arai H, Wada R, Ishino K, Kudo M, Uchida E, Naito Z : Expression of DNA damage response proteins in gastric cancer: Comprehensive protein profiling and histological analysis. International Journal of Oncology 2018; 52 (3) :978-988. doi: 10.3892/ijo.2018.4238.
- 5) Ryuji Ohashi, Kiyoko Kawahara, Shigeki Namimatsu, Ritsuko Okamura, Takehito Igarashi, Iwao Sugitani, Zenya Naito : Expression of MRP1 and ABCG2 is associated with adverse clinical outcomes of papillary thyroid carcinoma with a solid component. HUMAN PATHOLOGY 2017; 67:11-17. doi: 10.1016/j.humpath.2017.03.012.
- 6) Ryuji Ohashi, Yukihiko Murase, Miyuki Matsubara, Yasuhiko Watarai, Takehito Igarashi, Iwao Sugitani, Zenya Naito : Fine needle aspiration cytology of the papillary thyroid carcinoma with a solid component: A cytological and clinical correlation. DIAGNOSTIC CYTOPATHOLOGY 2017; 45 (5) :391-398. doi: 10.1002/dc.23679.
- 7) Yoshikazu Kanazawa, Itsuo Fujita, Daisuke Kakinuma, Yuto Aoki, Hitoshi Kanno, Hiroki Arai, Kunihiko Matsuno, Tomohiro Shimoda, Takeshi Matsutani, Nobutoshi Hagiwara, Tsutomu Nomura, Takeshi Yamada, Shunji Kato, Zenya Naito, Hideaki Takasaki, Eiji Uchida : Five-year Survival After Surgical Removal and Gamma Knife Stereotactic Radiosurgery for a Cerebellar Metastasis from an Esophagogastric Junction Cancer: A Case Report and Literature Review. IN VIVO 2017; 31 (6) :1209-1214. doi: 10.21873/invivo.11192.
- 8) Kanazawa Y, Fujita I, Kakinuma D, Kanno H, Arai H, Matsutani T, Hagiwara N, Nomura T, Kato S, Naito Z, Uchida E : Five-year survival of Advanced Esophagogastric junction cancer with achieved by complete response preoperative S-1 + CDDP combination therapy and surgical resection. International cancer conference journal 2017; 6 (2) :60-64. doi: 10.1007/s13691-017-0279-9.
- 9) Noriko M Matsumoto, Wei-Xia Peng, Masayo Aoki, Satoshi Akaishi, Ryuji Ohashi, Rei Ogawa, Zenya Naito : Histological analysis of hyalinised keloidal collagen formation in earlobe keloids over time: collagen hyalinisation starts in the perivascular area. International wound journal 2017; 14 (6) :1088-1093. doi: 10.1111/iwj.12763.
- 10) Ryuji Ohashi, Maoka Sangen, Shigeki Namimatsu, Hiroyuki Takei, Zenya Naito : IMP3 contributes to poor prognosis of patients with metaplastic breast carcinoma: A clinicopathological study. ANNALS OF DIAGNOSTIC PATHOLOGY 2017; 31:30-35. doi: 10.1016/j.anndiagpath.2017.05.015.
- 11) 近藤 亮太, 中村 慶春, 金谷 洋平, 勝野 暁, 内田 英二, 和田 龍一, 清水 道生, 内藤 善哉 : IPMC と鑑別が困難であった Follicular pancreatitis の一例. 膵臓 2017; 32 (3) :659.
- 12) Wakabayashi N, Umezawa H, Matsumoto NM, Endo Y, Naito Z, Ogawa R : Low-grade Cribriform Cystadenocarcinoma: A Review of the Literature and Case Report. Plastic and reconstructive surgery. Global open 2017; 5 (4) :e1306. doi: 10.1097/GOX.0000000000001306.
- 13) Ryuji Ohashi, Keiko Yanagihara, Shigeki Namimatsu, Takashi Sakatani, Hiroyuki Takei, Zenya Naito, Akira Shimizu : Osteoclast-like giant cells in invasive breast cancer predominantly possess M2-macrophage phenotype. Pathology Research and Practice 2018; 214 (2) :253-258. doi: 10.1016/j.prp.2017.11.002.
- 14) R. Ohashi, M. Matsubara, Y. Watarai, K. Yanagihara, K. Yamashita, S. -I. Tsuchiya, H. Takei, Z. Naito : Pleomorphic lobular carcinoma of the breast: a comparison of cytopathological features with other lobular carcinoma variants. CYTOPATHOLOGY 2017; 28

(2) :122-130. doi: 10.1111/cyt.12362.

- 15) Ryuji Ohashi, Maoka Sangen, Shigeki Namimatsu, Keiko Yanagihara, Koji Yamashita, Takashi Sakatani, Hiroyuki Takei, Zenya Naito : Prognostic value of IMP3 expression as a determinant of chemosensitivity in triple-negative breast cancer. PATHOLOGY RESEARCH AND PRACTICE 2017; 213 (9) :1160-1165. doi: 10.1016/j.prp.2017.07.002.
- 16) 眞田麻梨恵, 長岡竜太, 軸菌智雄, 岡村律子, 五十嵐健人, 呉壮香, 和田龍一, 内藤善哉, 杉谷巖, 清水一雄 : VANS 法で治療した小児の低分化成分を伴う乳頭癌の一例. 日本内分泌・甲状腺外科学会雑誌 2017; 34 (Supplement2) :S273. doi: 10.11226/jaesjsts.34.Supplement2\_S273.
- 17) 大橋隆治, 森田真央香, 並松茂樹, 坂谷貴司, 坂谷貴司, 武井寛幸, 内藤善哉, 内藤善哉 : 乳腺化生癌における IMP3 発現の意義. 日本病理学会会誌 2017; 106 (1)
- 18) 三軒 真央香, 工藤 光洋, 大橋 隆治, 藤井 雄文, 河本 陽子, 手塚 潔, 川原 清子, 坂谷 貴司, 和田 龍一, 内藤 善哉 : 多形腺腫由来癌(CXPA)における IMP3 の発現とその意義. 日本癌学会総会記事 2017; 76 回:P-1317.
- 19) 近藤亮太, 吉岡正人, 谷合信彦, 清水哲也, 神田知洋, 金谷洋平, 古木裕康, 青木悠人, 川野陽一, 内藤善哉, 内田英二 : 大腸癌肝転移巣の化学療法効果判定(画像所見と病理学的所見の対比). 日本外科学会定期学術集会 2017; 117th:ROMBUNNO.PS - 122 - 4 (WEB ONLY)-122.
- 20) 坂谷 貴司, 内藤 善哉 : 専門医のためのアトラス 腹腔洗浄細胞診. 胃がん perspective 2017; 9 (3) :210-214.
- 21) 呉 壮香, 和田 龍一, 彭 為霞, 坂谷 貴司, 内藤 善哉 : 平滑筋分化を伴った低悪性度子宮内膜間質肉腫の 1 例. 診断病理 2017; 34 (3) :167-172.
- 22) 金 潤載, 山口 哲男, 久次米 公誠, 長村 航, 原 啓, 呉 壮香, 田村 浩一 : 東京通信病院 CPC 肺腺癌を背景に肺非結核性抗酸菌症・気胸を併発し死亡した 72 歳男性 (CPC(第 10 回)) 2017; 69 (2) :97-104.
- 23) 石野孔祐, 工藤光洋, PENG Wei-Xia, 呉壮香, 河本陽子, 手塚潔, 藤井雄文, 恩田宗彦, 和田龍一, 内藤善哉 : 液状検体で利用可能な新規膵がん腫瘍マーカーのタンパク質網羅的探索. 日本病理学会会誌 2017; 106 (1)
- 24) 大橋 隆治, 葉山 綾子, 松原 美幸, 渡會 泰彦, 石井 英昭, 坂谷 貴司, 武井 寛幸, 内藤 善哉, 清水 章 : 破骨型巨細胞を伴う乳癌の細胞病理組織像の検討. 日本臨床細胞学会雑誌 2017; 56 (Suppl.2) :856.
- 25) 新井 洋紀, 和田 龍一, 石野 孔祐, 工藤 光洋, 内藤 善哉 : 胃癌における DNA 損傷応答関連分子の発現 網羅的蛋白発現解析と病理組織学的検討(Expression of DNA damage response molecules in gastric cancer: Comprehensive protein profiling and histological study). 日本病理学会会誌 2017; 106 (2) :81.
- 26) 中村 慶春, 松下 晃, 勝野 暁, 山初 和也, 住吉 宏樹, 近藤 亮太, 横山 正, 内藤 善哉, 内田 英二 : 腹腔鏡手術時代の膵鉤部解剖について 膵頭神経叢を適切に把握するために. 膵臓 2017; 32 (3) :485.
- 27) 葉山 綾子, 土屋 紳一, 松澤 こず恵, 松原 美雪, 渡會 泰彦, 大橋 隆治, 坂谷 貴司, 石井 英昭, 内藤 善哉, 武井 寛幸, 清水 章 : 良悪の鑑別が問題になった乳管内乳頭腫の 1 例. 日本臨床細胞学会雑誌 2017; 56 (Suppl.2) :736.
- 28) 酒田 美香, 大橋 隆治, 北川 泰之, 松原 美幸, 渡會 泰彦, 石井 英昭, 坂谷 貴司, 内藤 善哉, 清水 章 : 術前診断に苦慮した仙骨脊索腫の一例. 日本臨床細胞学会雑誌 2017; 56 (Suppl.2) :864.

## 学会発表

- 1) 森田真央香, 工藤光洋, 大橋隆治, 藤井雄文, 手塚 潔, 川原清子, 坂谷貴司, 和田龍一, 内藤善哉 : CXPA における Insulin-like growth factor 2 binding protein (IMP3) と H19 の発現とその意義. 第 106 回日本病理学会総会, 2017. 4.
- 2) 新井洋紀, 和田龍一, 石野孔祐, 工藤光洋, 内藤善哉 : Expression of DNA damage response molecules in gastric cancer : Comprehensive protein profiling and histological study. 第 63 回日本病理学会秋期特別総会, 2017. 11.
- 3) 近藤 亮太, 中村 慶春, 金谷 洋平, 勝野 暁, 内田 英二, 和田 龍一, 清水 道生, 内藤 善哉 : IPMC と鑑別が困難であった Follicular pancreatitis の一例. 第 48 回日本膵臓学会大会, 2017.
- 4) 和田 龍一, 藤井 雄文, 工藤 光洋, 内藤 善哉 : Mitogen-activated protein kinase ファミリー分子、MAPK4 の発現と局在の組織学的検討. 第 106 回日本病理学会総会, 2017.
- 5) 坂谷貴司, 葉山綾子, 大橋隆治, 和田龍一, 内藤善哉 : 乳腺腫瘍の WHO 組織診断分類と細胞診 -乳管内増殖性病変・乳頭状病変-. 第 58



回日本臨床細胞学会総会, 2017. 5.

- 6) 三軒真央香, 工藤光洋, 大橋隆治, 藤井雄文, 河本陽子, 川原清子, 坂谷貴司, 和田龍一, 内藤善哉: 多形腺腫由来癌 (CXPA) における IMP3 の発現とその意義. 第 76 回日本癌学会学術総会, 2017. 9.
- 7) 石野孔祐, 工藤光洋, 彭為霞, 呉壯香, 河本陽子, 手塚潔, 藤井雄文, 恩田宗彦, 和田龍一, 内藤善哉: 液状検体で利用可能な新規膵がん腫瘍マーカーのタンパク質網羅的探索. 第 106 回日本病理学会総会・ポスター発表@新宿. (東京), 2017. 4.
- 8) 坂谷貴司, 佐々木毅, 田中伸哉, 内藤善哉: 病理部門が院内の医療安全体制に与える影響に関する検討. 第 12 回医療の質・安全学会学術集会, 2017. 11.
- 9) 近藤亮太, 石野孔祐, 金谷洋平, 高田英誌, 彭為霞, 工藤光洋, 谷合信彦, 和田龍一, 内藤善哉: 肝細胞癌において PDIA3 は Jak/STAT 経路の活性化を介し細胞増殖能を制御する. 第 106 回日本病理学会総会, 2017. 4.
- 10) 新井洋紀, 和田龍一, 石野孔祐, 工藤光洋, 内藤善哉: 胃癌における DNA 損傷応答関連分子の発現: 網羅的蛋白発現解析と病理組織学的検討. 第 63 回日本病理学会秋期特別総会・ポスター発表@東京. (東京), 2017. 11.
- 11) 中村慶春, 松下晃, 勝野暁, 山初和也, 住吉宏樹, 近藤亮太, 横山正, 内藤善哉, 内田英二: 腹腔鏡手術時代の膵鉤部解剖について 膵頭神経叢を適切に把握するために(. 第 48 回日本膵臓学会大会, 2017.

## 10 微生物学・免疫学分野

### 研究業績

#### 論文等

- 1) Yasuyuki Negishi, Yoshio Shima, Toshiyuki Takeshita, Hidemi Takahashi : Distribution of invariant natural killer T cells and dendritic cells in late pre-term birth without acute chorioamnionitis. *American Journal of Reproductive Immunology* 2017; 77 (6) doi: 10.1111/aji.12658.
- 2) Wakabayashi Ayako, Shimizu Masumi, Yonekawa Michiyuki, Ishii Kazuhito, Kumagai Yoshihiro, Takahashi Hidemi : Enhancement of epithelial cell death, cytoplasmic HMGB1 expression in IECs, and increase of HMGB1 release by oral CT-stimulation. *日本免疫学会総会・学術集会記録* 2017; 46 (Proceedings) :1-B.
- 3) Yasuyuki Negishi : FUNCTIONAL DIFFERENCE BETWEEN DECIDUAL DENDRITIC CELLS IN LATE PRETERM BIRTH WITH AND WITHOUT ACUTE CHORIOAMNIONITIS. *PLACENTA* 2017; 59:175.
- 4) Toshio Asayama, Hideto Tamura, Mariko Ishibashi, Yasuko Kuribayashi-Hamada, Asaka Onodera-Kondo, Namiko Okuyama, Akiko Yamada, Masumi Shimizu, Keiichi Moriya, Hidemi Takahashi, Koiti Inokuchi : Functional expression of Tim-3 on blasts and clinical impact of its ligand galectin-9 in myelodysplastic syndromes. *Oncotarget* 2017; 8 (51) :88904-88917. doi: 10.18632/oncotarget.21492.
- 5) Shun Takaku, Masumi Shimizu, Hidemi Takahashi : Japanese Kampo medicine ninjin'yoeito synergistically enhances tumor vaccine effects mediated by CD8(+) T cells. *ONCOLOGY LETTERS* 2017; 13 (5) :3471-3478. doi: 10.3892/ol.2017.5937.
- 6) WAKABAYASHI Ayako, YONEKAWA Michiyuki, ISHII Kazuhito, TAKAHASHI Hidemi : Predominant distribution of DCIR2+ dendritic cells in the intestinal tissues and their activation with high mobility group box protein 1 released by cholera toxin. *アレルギー* 2017; 66 (4/5) :519.
- 7) Yasuyuki Negishi, Tomoko Ichikawa, Yoshio Shima, Toshiyuki Takeshita, Hidemi Takahashi : Role of innate immune cells in preterm birth and miscarriages induced by sterile inflammation in mice and humans. *JOURNAL OF REPRODUCTIVE IMMUNOLOGY* 2017; 124:73. doi: 10.1016/j.jri.2017.10.007.
- 8) Kogo H, Shimizu M, Negishi Y, Uchida E, Takahashi H : Suppression of murine tumour growth through CD8<sup>+</sup> cytotoxic T lymphocytes via activated DEC-205<sup>+</sup> dendritic cells by sequential administration of  $\alpha$ -galactosylceramide in vivo. *Immunology* 2017; 151 (3) :324-339. doi: 10.1111/imm.12733.
- 9) Mariko Ishibashi, Hideto Tamura, Toshio Asayama, Yasuko Kuribayashi-Hamada, Asaka Onodera, Keiichi Moriya, Makoto Sasaki, Hiroshi Handa, Yoichi Imai, Norina Tanaka, Junji Tanaka, Sakae Tanosaki, Shigeki Ito, Norio Komatsu, Koiti Inokuchi : The New Immunoreceptor SLAMF3 Promotes Aggressive Biological and Clinical Characteristics in Multiple Myeloma. *BLOOD* 2017; 130
- 10) 村上 亮介, 清水 真澄, 若林 あや子, 根岸 靖幸, 大久保 公裕, 高橋 秀実 : その他の動物モデル 樹状細胞亜群の選択的活性化によるアレルギー制御の可能性. *アレルギー* 2017; 66 (4-5) :573.
- 11) 根岸靖幸, 根岸靖幸, 島義雄, 市川智子, 竹下俊行, 高橋秀実 : ヒト,マウスにおける無菌性炎症を機転とする流早産の発症と自然免疫の役割. *Reproductive Immunology and Biology* 2017; 32 (1-2) :87.
- 12) 市川 智子, 根岸 靖幸, 高橋 秀実, 竹下 俊行 : マウス妊娠子宮筋層の DEC-205+DCs の  $\alpha$ -Galactosylceramide による選択的活性化. *Reproductive Immunology and Biology* 2017; 32 (1-2) :99.
- 13) 大園 英一, 野呂瀬 嘉彦, 高久 俊, 新谷 英滋, 本田 和美, 井上 有紀, 市村 恭子, 鎌野 千佐子, 高橋 秀実 : 人工透析用透析液製造システムの微生物汚染の起源. *BACTERIAL ADHERENCE & BIOFILM* 2017; 30:95-99.
- 14) 高久 俊, 高久 千鶴乃, 平馬 直樹, 高橋 秀実 : 少量の玉屏風散末内服の体質改善薬としての有用性. *日本東洋医学雑誌* 2017; 68 (3) :202-211.
- 15) 根岸靖幸, 島義雄, 高橋秀実, 竹下俊行 : 後期早産脱着膜中に存在する樹状細胞の機能と絨毛膜羊膜炎との相関. *日本絨毛性疾患研究会・日本胎盤学会学術集会プログラム・抄録集* 2017; 35th-25th:91.
- 16) 新谷英滋 : 樹状細胞 CD1 分子による脂質抗原提示に対する HIV-1 感染の影響. *日本医科大学医学会雑誌* 2017; 13 (4) :180 - 189(J-STAGE). doi: 10.1272/manms.13.180.

- 17) 村上亮介, 清水真澄, 若林あや子, 根岸靖幸, 大久保公裕, 高橋秀実: 樹状細胞亜群の選択的活性化によるアレルギー制御の可能性. アレルギー 2017; 66 (4/5) :573.
- 18) 島義雄, 根岸靖幸, 竹下俊行, 高橋秀実: 自然免疫から考える後期早産. 日本周産期・新生児医学会雑誌 2017; 53 (2) :489.
- 19) 島義雄, 根岸靖幸, 竹下俊行, 高橋秀実: 自然炎症としての後期早産. 日本新生児成育医学会雑誌 2017; 29 (3) :602.
- 20) 大藪 英一, 野呂瀬 嘉彦, 高久 俊, 新谷 英滋, 本田 和美, 井上 有紀, 市村 恭子, 鎌野 千佐子, 高橋 秀実: 透析機器の搬入前汚染対策に有効な施設設備後の初期洗浄法. BACTERIAL ADHERENCE & BIOFILM 2017; 30:101-105.

## 学会発表

- 1) 根岸 靖幸: Accumulation of dendritic cells and invariant natural killer T cells in the decidua of late preterm birth without acute chorioamnionitis. 第37回米国生殖免疫学会, 2017. 9.
- 2) 根岸 靖幸: Adoptive transfer of innate immune cells induce murine fetal loss. 第46回日本免疫学会, 2017. 12.
- 3) Wakabayashi Ayako, Shimizu Masumi, Yonekawa Michiyuki, Ishii Kazuhito, Kumagai Yoshihiro, Takahashi Hidemi: Enhancement of epithelial cell death, cytoplasmic HMGB1 expression in IECs, and increase of HMGB1 release by oral CT-stimulation. 第46回日本免疫学会学術集会. (仙台), 2017. 12.
- 4) SHINYA Eiji, Atsuko OWAKI, Jiro MATSUMURA, Sadayuki OKURA, Yohei OTSUKA, Shun TAKAKU, Hidemi TAKAHASHI: Hematopoietic cell kinase (Hck) augmented the interaction between HIV-1 Nef and SERINC5, which might promote HIV-1 infection by excluding SERINC5 from virion incorporation in immature dendritic cells. 日本免疫学会学術集会, 2017. 12.
- 5) Eiji SHINYA, Atsuko OWAKI, Jiro MATSUMURA, Sadayuki OKURA, Yohei OTSUKA, Shun TAKAKU, Hidemi TAKAHASHI: Hematopoietic cell kinase (Hck) augmented the interaction between HIV-1 Nef and SERINC5, which might promote HIV-1 infection by excluding SERINC5 from virion incorporation in immature dendritic cells. 第46回日本免疫学会, 2017. 12.
- 6) Wakabayashi Ayako, Yonekawa Michiyuki, Ishii Kazuhito, Takahashi Hidemi: Predominant distribution of DCIR2+ dendritic cells in the intestinal tissues and their activation by with high mobility group box protein 1 released through by cholera toxin. 第66回日本アレルギー学会学術大会. (東京), 2017. 6.
- 7) Mariko Ishibashi, Hideto Tamura, Toshio Asayama, Yasuko Kuribayashi-hamada, Asaka Onodera, Keiichi Moriya, Makoto Sasaki, Hiroshi Handa, Yoichi Imai, Norina Tanaka, Junji Tanaka, Sakae Tanosaki, Shigeki Ito, Norio Komatsu, Koiti Inokuchi: The new immunoreceptor SLAMF3 promotes aggressive biological and clinical characteristics in multiple myeloma. 59th American Society of Hematology Annual Meeting, 2017. 12.
- 8) 若林 あや子: アレルギーの食品栄養学. アレルギー大学 (千葉) ベーシックプログラム, 2017. 7.
- 9) 新谷 英滋: エイズ治療にむけて. 日仏医学コロック, 2017. 7.
- 10) 根岸 靖幸: ヒト、マウスにおける無菌性炎症を機転とする流早産の発症と自然免疫の役割. 第32回日本生殖免疫学会, 2017. 12.
- 11) Mariko Ishibashi, Gakusuke Umezawa, Hideto Tamura, Toshio Asayama, Yasuko Kuribayashi-hamada, Keiichi Moriya, Yoichi Imai, Junji Tanaka, Hiroshi Handa, Makoto Sasaki, Sakae Tanosaki, Shigeki Ito, Norio Komatsu, Koiti Inokuchi: 多発性骨髄腫患者における CD86 可溶型と細胞表面発現の臨床的意義. 第79回日本血液学会学術総会, 2017. 10.
- 12) 根岸 靖幸: 後期早産脱落膜中に存在する樹状細胞の機能と絨毛膜羊膜炎との相関. 第25回日本胎盤学会, 2017. 11.
- 13) 村上亮介, 中川洋子, 清水真澄, 若林あや子, 根岸靖幸, 廣井隆親, 大久保公裕, 高橋秀実: 樹状細胞亜群の選択的活性化によるアレルギー制御の可能性. 第66回日本アレルギー学会学術大会. (東京), 2017. 6.
- 14) 羽田 俊彦, 前田 賢司, 安藤 聡一郎, 野村 英樹, 平和 伸仁, 山本 典子, 萩野 昇, 新谷 英滋: 私たちは何故 FACP を取得したのか? 目指すのか? 若人よ、FACP を目指そう. Annual Meeting of Japan Chapter, American College of Physicians, 2017. 6.
- 15) 大藪 英一, 本田 和美, 井上 有紀, 市村 恭子, 野呂瀬 嘉彦, 高久 俊, 新谷 英滋, 高橋 秀実: 臨床使用中の人工透析機器から検出される菌の動向. 日本バイオフィーム学会学術集会プログラム・抄録集, 2017. 7.
- 16) 若林 あや子: 食品学の基礎. 第12期アレルギー大学 (千葉), 2017. 6.

## 11 衛生学公衆衛生学分野

### 研究業績

#### 論文等

- 1) 大塚 俊昭, 西城 由之, 加藤 活人, 西山 康裕, 木村 和美, 川田 智之 : (脈波シンポジウム)「脈波解析の臨床応用の可能性と課題」 健診受診者における頭部 MRI での早期大脳白質病変と高血圧および CAVI との関連性. 日本臨床生理学会雑誌 2017; 47 (4) :88.
- 2) Tomoyuki Kawada : Anxiety symptoms and functioning in patients with type 2 diabetes. JOURNAL OF DIABETES 2017; 9 (6) :634. doi: 10.1111/1753-0407.12530.
- 3) Tomoyuki Kawada : Apple body type information improves validity of the STOP-BANG questionnaire for detecting obstructive sleep apnea. JOURNAL OF CLINICAL ANESTHESIA 2017; 40:24. doi: 10.1016/j.jclinane.2017.04.007.
- 4) 加藤 活人, 大塚 俊昭, 清野 精彦, 米本 直裕, 野々木 宏, 長尾 建 : 塩分摂取量と院外心停止との関連性( Association between Salt Intake and Out of Hospital Cardiac Arrest). 日本循環器学会学術集会抄録集 2018; 82 回:PJ065-6.
- 5) Tomoyuki Kawada : Association of Depression and Cardiovascular Disease: Which Comes First?. JAMA Cardiology 2017; 2 (6) :702-703. doi: 10.1001/jamacardio.2016.5987.
- 6) Tomoyuki Kawada : Baseline estimated glomerular filtration rate and subsequent incident chronic kidney disease. Nephrology 2017; 22 (9) :731. doi: 10.1111/nep.12943.
- 7) 西城 由之, 大塚 俊昭, 加藤 活人 : CAVI(Cardio-Ankle Vascular Index)と高血圧が大脳白質病変へ与える影響についての検討. 日本高血圧学会総会プログラム・抄録集 2017; 40 回:443.
- 8) Tomoyuki Kawada : Cardiac stress and inflammatory markers as predictors of heart failure in patients with type 2 diabetes: The ADVANCE trial. Diabetes care 2017;40:1203-1209. Diabetes Care 2018; 41 (3) :e38. doi: 10.2337/dc17-2319.
- 9) Tomoyuki Kawada : Chronic obstructive pulmonary disease in miners with special reference to smoking. Occupational Medicine 2017; 67 (4) :319-320. doi: 10.1093/occmed/kqx026.
- 10) Tomoyuki Kawada : Depression and diabetes mellitus. Endocrine 2017; 56 (2) :450-451. doi: 10.1007/s12020-017-1246-0.
- 11) Tomoyuki Kawada : Dietary diversity and the risk reduction of mild cognitive impairment/dementia in older adults. Geriatrics & Gerontology International 2017; 17 (6) :1037-1038. doi: 10.1111/ggi.12992.
- 12) Ying-Ji Li, Maiko Kobayashi, Takako Shimizu, Yukiyo Hirata, Hirofumi Inagaki, Arata Azuma, Hajime Takizawa, Tomoyuki Kawada : Effects of diesel exhaust particle in human bronchial epithelial cell migration and the intracellular signaling pathway. Respirology 2017; 22:172.
- 13) Tomoyuki Kawada : Effect and risk of novel oral anticoagulants versus warfarin in patients with non-valvular atrial fibrillation. Journal of Cardiology 2017; 70 (1-2) :99. doi: 10.1016/j.jjcc.2016.12.017.
- 14) Tomoyuki Kawada : Effect of Continuous Positive Airway Pressure Therapy on Cardiovascular Outcomes: Risk Assessment. American Journal of Respiratory and Critical Care Medicine 2017; 196 (5) :661-662. doi: 10.1164/rccm.201701-0239LE.
- 15) Tomoyuki Kawada : Effect of Nintedanib in Patients with Idiopathic Pulmonary Fibrosis. American Journal of Respiratory and Critical Care Medicine 2017; 195 (9) :1274-1275.
- 16) Tomoyuki Kawada : Excessive daytime sleepiness, sympathetic nervous system activation and arterial stiffening in patients with mild-to-moderate obstructive sleep apnoea. International Journal of Cardiology 2017; 249:414. doi: 10.1016/j.ijcard.2017.06.019.
- 17) Tomoyuki Kawada : Factors affecting blood glucose screening in the elderly with special reference to physical activity. Journal of Diabetes 2017; 9 (9) :884. doi: 10.1111/1753-0407.12564.
- 18) Tomoyuki Kawada : Factors affecting serum sclerostin in postmenopausal women. Archives of Gynecology and Obstetrics 2017; 296 (1) :133. doi: 10.1007/s00404-017-4394-9.
- 19) Tomoyuki Kawada : Fractional flow reserve as an indicator of coronary circulation with special reference to kidney function. Journal of Nuclear

- Cardiology 2017; 24 (4) :1458. doi: 10.1007/s12350-017-0786-2.
- 20) Seiji Kano, Masanori Yamamoto, Tetsuro Shimura, Ai Kagase, Masanao Tsuzuki, Atsuko Kodama, Yutaka Koyama, Toshihiro Kobayashi, Kenichi Shibata, Norio Tada, Toru Naganuma, Motoharu Araki, Futoshi Yamanaka, Shinichi Shirai, Kazuki Mizutani, Minoru Tabata, Hiroshi Ueno, Kensuke Takagi, Akihiro Higashimori, Toshiaki Otsuka, Yusuke Watanabe, Kentaro Hayashida : Gait speed can predict advanced clinical outcomes in patients who undergo transcatheter aortic valve replacement insights from a Japanese multicenter registry. *Circulation: Cardiovascular Interventions* 2017; 10 (8) doi: 10.1161/CIRCINTERVENTIONS.117.005088.
  - 21) Tetsuro Shimura, Masanori Yamamoto, Seiji Kano, Ai Kagase, Atsuko Kodama, Yutaka Koyama, Toshiaki Otsuka, Shun Kohsaka, Norio Tada, Futoshi Yamanaka, Toru Naganuma, Motoharu Araki, Shinichi Shirai, Kazuki Mizutani, Minoru Tabata, Hiroshi Ueno, Kensuke Takagi, Akihiro Higashimori, Yusuke Watanabe, Kentaro Hayashida : Impact of frailty markers on outcomes after transcatheter aortic valve replacement: Insights from a Japanese multicenter registry. *Annals of Cardiothoracic Surgery* 2017; 6 (5) :532-537. doi: 10.21037/acs.2017.09.06.
  - 22) Tetsuro Shimura, Masanori Yamamoto, Seiji Kano, Ai Kagase, Atsuko Kodama, Yutaka Koyama, Etsuo Tsuchikane, Takahiko Suzuki, Toshiaki Otsuka, Shun Kohsaka, Norio Tada, Futoshi Yamanaka, Toru Naganuma, Motoharu Araki, Shinichi Shirai, Yusuke Watanabe, Kentaro Hayashida : Impact of the clinical frailty scale on outcomes after transcatheter aortic valve replacement. *Circulation* 2017; 135 (21) :2013-2024. doi: 10.1161/CIRCULATIONAHA.116.025630.
  - 23) Tomoyuki Kawada : Letter Re: Dementia risk in renal dysfunction: A systematic review and meta-analysis of prospective studies. *Neurology* 2017; 89 (21) :2214. doi: 10.1212/WNL.0000000000004661.
  - 24) Tomoyuki Kawada : Letter by Kawada Regarding Article, "Cannabis, Tobacco, Alcohol Use, and the Risk of Early Stroke: A Population-Based Cohort Study of 45 000 Swedish Men". *STROKE* 2017; 48 (5) :E132. doi: 10.1161/STROKEAHA.117.016910.
  - 25) Tomoyuki Kawada : Letter by Kawada Regarding Article, "Silent Brain Infarctions and Leukoaraiosis in Patients With Retinal Ischemia: A Prospective Single-Center Observational Study". *STROKE* 2017; 48 (8) :E229. doi: 10.1161/STROKEAHA.117.017897.
  - 26) Tomoyuki Kawada : Management of mental health, job professionalism and job satisfaction in junior gynecologists. *ARCHIVES OF GYNECOLOGY AND OBSTETRICS* 2017; 295 (4) :1055. doi: 10.1007/s00404-017-4332-x.
  - 27) Tomoyuki Kawada : Multifaceted changes and mortality in older adults. *Geriatrics & Gerontology International* 2017; 17 (12) :2643. doi: 10.1111/ggi.13173.
  - 28) 稲垣 弘文, 平田 幸代 : NK92MI 細胞が産生する Granzyme 3 の性状. 生命科学系学会合同年次大会 2017; 2017 年度:[2P-0930].
  - 29) 稲垣 弘文, 平田 幸代 : NK92MI 細胞によるグランザイム 3 産生への Brefeldin A の影響. 日本薬学会年会要旨集 2018; 138 年会 (3) :168.
  - 30) Tomoyuki Kawada : Obstructive sleep apnea syndrome in children: Risk assessment. *Pediatric Pulmonology* 2017; 52 (8) :983. doi: 10.1002/ppul.23745.
  - 31) Tomoyuki Kawada : Obstructive sleep apnea, excessive daytime sleepiness, and adherence to antihypertensive treatment: Questionnaire survey. *Journal of Clinical Hypertension* 2017; 19 (12) :1383. doi: 10.1111/jch.13082.
  - 32) Toshiaki Otsuka, Kyoichi Mizuno, Tomohiro Shinozaki, Yuko Kachi, Haruo Nakamura : Preventive effect of pravastatin on the development of hypertension in patients with hypercholesterolemia: A post-hoc analysis of the Management of Elevated Cholesterol in the Primary Prevention Group of Adult Japanese (MEGA) Study. *Journal of Clinical Lipidology* 2017; 11 (4) :998-1006. doi: 10.1016/j.jacl.2017.05.015.
  - 33) Hirotake Okazaki, Akihiro Shirakabe, Toshiaki Otsuka, Nobuaki Kobayashi, Noritake Hata, Takuro Shinada, Masato Matsushita, Yoshiya Yamamoto, Junsuke Shibuya, Reiko Shiomura, Suguru Nishigoori, Kuniya Asai, Wataru Shimizu : Response to letter regarding article, "The prognostic impact of uric acid in patients with severely decompensated acute heart failure". *Journal of Cardiology* 2017; 70 (2) :200. doi: 10.1016/j.jcc.2017.02.001.
  - 34) Tomoyuki Kawada : Restless leg syndrome and periodic limb movements in sleep: risk for cardiovascular disease. *SLEEP MEDICINE* 2017; 36:180. doi: 10.1016/j.sleep.2017.04.001.
  - 35) Hiroshige Jinnouchi, Akihiko Kitamura, Kazumasa Yamagishi, Masahiko Kiyama, Hironori Imano, Takeo Okada, Renzhe Cui, Mitsumasa Umesawa, Isao Muraki, Mina Hayama-Terada, Ryo Kawasaki, Tomoko Sankai, Tetsuya Ohira, Hiroyasu Iso : Retinal

- Vascular Changes and Prospective Risk of Disabling Dementia: the Circulatory Risk in Communities Study (CIRCS). *J Atherosclero Thromb.* 2017; 24 (7) :687-695. doi: 10.5551/jat.37291.
- 36) Tomoyuki Kawada : Risk assessment of mortality in middle-aged adults. *International Journal of Cardiology* 2017; 247:9. doi: 10.1016/j.ijcard.2017.04.069.
- 37) 小谷英太郎, 大塚俊昭, 緒方憲一, 草間芳樹 : SGLT2 阻害薬による体重減少作用と 2 型糖尿病に合併する高血圧の関係. *日本高血圧学会総会プログラム・抄録集* 2017; 40th:380.
- 38) Tomoyuki Kawada : Short sleep duration and obesity among children. *Journal of Paediatrics and Child Health* 2017; 53 (12) :1245-1246. doi: 10.1111/jpc.13729.
- 39) Tomoyuki Kawada : Screening of obstructive sleep apnea by STOP-BANG questionnaire in patients with epilepsy. *Epilepsy Research* 2017; 134:49. doi: 10.1016/j.eplepsyres.2017.03.010.
- 40) Nobuhiro Nakai, Masatoshi Nagano, Fumihito Saitow, Yasuhito Watanabe, Yoshinobu Kawamura, Akiko Kawamoto, Kota Tamada, Hiroshi Mizuma, Hirotaka Onoe, Yasuyoshi Watanabe, Hiromu Monai, Hajime Hirase, Jin Nakatani, Hirofumi Inagaki, Tomoyuki Kawada, Taisuke Miyazaki, Masahiko Watanabe, Yuka Sato, Shigeo Okabe, Kazuo Kitamura, Masanobu Kano, Kouichi Hashimoto, Hidenori Suzuki, Toru Takumi : Serotonin rebalances cortical tuning and behavior linked to autism symptoms in 15q11-13 CNV mice. *Science advances* 2017; 3 (6) :e1603001. doi: 10.1126/sciadv.1603001.
- 41) Tomoyuki Kawada : Serum gamma-glutamyltransferase and subsequent chronic kidney disease in a prospective study. *INTERNATIONAL UROLOGY AND NEPHROLOGY* 2017; 49 (12) :2273-2274. doi: 10.1007/s11255-017-1681-0.
- 42) Tomoyuki Kawada : Sleep Duration and Impaired Glycemic Control. *American Journal of Medicine* 2017; 130 (7) doi: 10.1016/j.amjmed.2017.01.042.
- 43) Tomoyuki Kawada : Sleep duration and cognitive impairment in older adults. *Aging Clinical and Experimental Research* 2017; 29 (4) :817. doi: 10.1007/s40520-016-0631-5.
- 44) Tomoyuki Kawada : Sleep, Depression, and Burnout in Medical Students: Risk Assessment. *Academic Psychiatry* 2017; 41 (5) :682-683. doi: 10.1007/s40596-017-0773-6.
- 45) Tomoyuki Kawada, Masao Katsumata, Hirofumi Inagaki, Takayuki Nakamura, Yoichi Kon : Sleep-disordered breathing and disorders of glucose metabolism. *Diabetes and Metabolic Syndrome: Clinical Research and Reviews* 2017; 11 (3) :189-191. doi: 10.1016/j.dsx.2016.09.001.
- 46) Tomoyuki Kawada : Soy isoflavone intake and depressive symptoms during pregnancy. *European Journal of Nutrition* 2017; 56 (4) :1789-1790. doi: 10.1007/s00394-017-1427-x.
- 47) Tomoyuki Kawada : Television Viewing Time and All-Cause Mortality in Patients With Cardiovascular Disease. *Heart Lung and Circulation* 2017; 26 (11) :E96-E97. doi: 10.1016/j.hlc.2016.12.015.
- 48) Tomoyuki Kawada : Untreated sleep apnea syndrome and glycemic control in patients with type 2 diabetes. *Journal of Diabetes* 2017; 9 (7) :717. doi: 10.1111/1753-0407.12537.
- 49) 平田 紀美子, 勝又 聖夫, 佐藤 麻衣子, 稲垣 弘文, 武藤 三千代, 川田 智之 : カラムスイッチングシステムを用いた HPLC による唾液中カテコールアミン代謝物の同時分析法(3). *日本薬学会年会要旨集* 2018; 138 年会 (3) :237.
- 50) 李 英姫, 清水 孝子, 小林 麻衣子, 加藤 活人, 武田 健, 山本 雅之, 川田 智之 : ディーゼル排気ガス曝露による気道炎症病態における Nrf2 の役割. *日本衛生学雑誌* 2018; 73 (Suppl.) :S232.
- 51) 平田 幸代, 佐藤 美奈代, 稲垣 弘文, 川田 智之 : ヒト血清コリンエステラーゼに対する Sandwich ELISA の確立. *生命科学系学会合同年次大会* 2017; 2017 年度:[2P-1116].
- 52) 可知悠子 : ヘルシーエイジングを目指して 3)研究者の立場から—「働き方」から考えるヘルシーエイジング. *健康管理* 2017; 64 (4) :16 - 21.
- 53) 西城 由之, 大塚 俊昭, 加藤 活人, 川田 智之 : 労働年齢集団においてメタボリックシンドロームが医療費および入院に与える影響の検討. *日本循環器病予防学会誌* 2017; 52 (2) :94-102.
- 54) 陣内 裕成, 松平 浩 : 慢性腰痛の運動療法. *ペインクリニック* 2018; 39 (3) :343-353.
- 55) 勝又 聖夫, 平田 紀美子, 武藤 三千代, 川田 智之 : 日本体育協会加盟団体等へのタバコ対策を中心としたアンケート調査(2). *日本公衆*

衛生学会総会抄録集 2017; 76 回:445.

- 56) 大塚 俊昭, 加藤 活人, 川田 智之: 職域集団における健診時血圧値とその後の医療費との関連性. 日本公衆衛生学会総会抄録集 2017; 76 回:441.
- 57) 加藤 活人, 大塚 俊昭, 川田 智之: 血中 CRP と前糖尿病についての検討. 日本公衆衛生学会総会抄録集 2017; 76 回:431.
- 58) 平田 幸代, 佐藤 美奈代, 稲垣 弘文, 川田 智之: 血清コリンエステラーゼの ELISA に対するコリンエステラーゼ阻害剤の影響. 日本薬学会年会要旨集 2018; 138 年会 (3) :230.
- 59) 加藤活人, 大塚俊昭, 清野精彦, 米本直裕, 野々木宏, 長尾建: 食塩摂取と院外心停止との関連. 日本循環器学会学術集会 2018; 82 回:PJ065-6.

## 学会発表

- 1) 大塚 俊昭, 西城 由之, 加藤 活人, 西山 康裕, 木村 和美, 川田 智之:(脈波シンポジウム)「脈波解析の臨床応用の可能性と課題」健診受診者における頭部 MRI での早期大脳白質病変と高血圧および CAVI との関連性. 日本臨床生理学会雑誌, 2017. 10.
- 2) 加藤 活人, 大塚 俊昭, 清野 精彦, 米本 直裕, 野々木 宏, 長尾 建: 塩分摂取量と院外心停止との関連性( Association between Salt Intake and Out of Hospital Cardiac Arrest). 日本循環器学会学術集会抄録集, 2018. 3.
- 3) 西城 由之, 大塚 俊昭, 加藤 活人: CAVI(Cardio-Ankle Vascular Index)と高血圧が大脳白質病変へ与える影響についての検討. 日本高血圧学会総会プログラム・抄録集, 2017. 10.
- 4) Li Y, Kobayashi M, Shimizu T, Hirata Y, Inagaki H, Azuma A, Takizawa H, Kawada T: Effects of diesel exhaust particle in human bronchial epithelial cell migration and the intracellular signaling pathway. 22nd Congress of Asian Pacific Society of Respiriology (APSR), 2017. 11.
- 5) 小谷英太郎, 大塚俊昭, 緒方憲一, 草間芳樹: SGLT2 阻害薬による体重減少作用と 2 型糖尿病に合併する高血圧の関係. 日本高血圧学会総会プログラム・抄録集, 2017. 10.
- 6) Kitamura A, Jinnouchi H, Kakihana H, Imano H, Kiyama M, Iso H: The Association Between Chronic Low Back and/or Knee Pain and Overweight in Japanese Elderly. The 21st International Association of Gerontology and Geriatrics World Congress, 2017. 7.
- 7) 可知 悠子: はじめての臨床研究 立案～データを読み解くまで 観察研究の勧め 各研究デザインとバイアスへの対応策. 日本臨床麻酔学会誌, 2017. 10.
- 8) 李英姫, 清水孝子, 小林麻衣子, 加藤活人, 武田健, 山本雅之, 川田智之: ディーゼル排気ガス曝露による気道炎症病態における Nrf2 の役割. 第 88 回日本衛生学会学術総会, 2018. 3.
- 9) 可知 悠子: 健康の社会的決定要因を学ぶ公衆衛生学教育. 医学教育, 2017. 8.
- 10) 西城 由之, 大塚 俊昭, 加藤 活人, 川田 智之: 労働年齢集団においてメタボリックシンドロームが医療費および入院に与える影響の検討. 日本循環器病予防学会誌, 2017. 5.
- 11) 和田 眞慧, 可知 悠子: 在宅ワークと高い飲酒頻度との関連 若年男女を対象とした全国調査より. 日本医科大学医学会雑誌, 2017. 10.
- 12) 藤田 和樹, 陣内 裕成, 柿花 宏信, 島本 英樹: 地域高齢者における認知リスクとロコモティブシンドローム該当者数の関連. 日本公衆衛生学会総会抄録集, 2017. 10.
- 13) 浅葉 淳, 渡邊 陸, 可知 悠子: 学歴が喫煙率に及ぼす影響 全国の成人男女における検討. 日本医科大学医学会雑誌, 2017. 10.
- 14) 窪田杏奈, 可知悠子: 小学校 5 年生の放課後の孤立と抑うつとの関連. 日本行動医学会学術総会プログラム・抄録集, 2017. 12.
- 15) 可知 悠子, 橋本 英樹, 江口 尚: 持続的な雇用不安と心理的ストレス反応との関連に扶養家族の有無が及ぼす影響. 日本公衆衛生学会総会抄録集, 2017. 10.
- 16) 可知悠子: 現実的な選択としての非正規雇用. 日本行動医学会学術総会プログラム・抄録集, 2017. 12.
- 17) 池上晴彦, 大塚俊昭, 小谷英太郎, 酒部宏一, 高見光央, 幡野浩一, 弘中学, 深井健一, 吉本一哉: 睡眠の質の低下は発作性心房細動と関連する~玉川医師会主導心房細動横断研究(TAMAGAWA - AF)第 1 報~. 日本心臓病学会学術集会(Web), 2017.
- 18) 大塚 俊昭, 加藤 活人, 川田 智之: 職域集団における健診時血圧値とその後の医療費との関連性. 日本公衆衛生学会総会抄録集, 2017. 10.
- 19) 加藤 活人, 大塚 俊昭, 川田 智之: 血中 CRP と前糖尿病についての検討. 日本公衆衛生学会総会抄録集, 2017. 10.

- 20) 可知悠子, 藤原武男, 山岡祐衣, 加藤承彦: 親の社会経済的地位が児の生後 18 ヶ月までの体重増加不良に与える影響. 日本疫学会学会術  
総会講演集(Web), 2018. 2.



## 12 法医学分野

### 研究業績

#### 論文等

- 1) 林田眞喜子, 滝埜昌彦, 安部寛子, 植草協子, 大野曜吉 : トリカブト植物体の QTOF 分析. 日本法医学雑誌 2017; 71 (1) :66.
- 2) 奈女良昭, 植草協子, 林田眞喜子, 齊藤剛, 村田和大, 大野曜吉, 長尾正崇 : パルプロ酸の簡易 GC/MS 分析法の開発と施設間誤差の検討. 日本法医学雑誌 2017; 71 (1) :96.

#### 学会発表

- 1) Tanioka T, Shinozaki S, Matsuda R, Naruo M, Okuda T, Haseba T, Hara S : Role of S-nitrosoglutathione reductase (GSNOR) on inflammation. 13th World Congress on Inflammation., 2017. 7.
- 2) Okuda T, Maruyama M, Akimoto T, Ohno Y, Haseba T : The role of Class III Alcohol Dehydrogenase (ADH3) in alcohol-related disorder on liver and bone. 16th Congress of European Society for Biomedical Research on Alcoholism (ESBRA), 2017. 10.
- 3) 金涌佳雅, 谷藤隆信, 石橋祐輔, 福永龍繁, 大野曜吉 : 入浴死ならび非入浴中の循環器疾患死亡の発生率比の検討. 第 86 回日本法医学会学術関東地方集会. (東京), 2017.
- 4) 金涌佳雅 : 在宅医療と孤独死. 神奈川県 在宅看取り研修会. (横浜), 2017.
- 5) 金涌佳雅, 谷藤隆信, 大野曜吉 : 年齢構成と人口規模の違いを調整した東京都 23 区の孤独死標準化死亡比. 第 101 次日本法医学会学術全国集会. (岐阜), 2017.
- 6) 山口晃志 : 日本における違法薬物乱用現状と検査. 中日法医病理、毒理及毒物分析学術会議. (広州), 2017. 8.
- 7) 金涌佳雅 : 東京都区部の異状死と 監察医務院. 中日法医病理、毒理及毒物分析学術会議. (広州/Guangzhou), 2017.

## 13 医療管理学分野

### 研究業績

#### 論文等

- 1) 松山 琴音 : ICH-E6 の renovation を見据えた臨床研究の質の確保 Quality by Design(QbD)による研究計画の作りこみ. 臨床薬理 2017; 48: Suppl. S121.
- 2) 小宮山 靖, 松山 琴音 : ネットワーキングで広がる製薬医学の世界 臨床試験における Quality by Design と Risk Based Approach リスクベースアプローチによるモニタリングとデータの質確保. 臨床医薬 2017; 33(11): 873-878.
- 3) 松山 琴音 : 臨床試験の実施に向けた品質の確保のために アカデミア PM の視点から(第 3 回) 臨床試験計画における Quality by Design. Clinical Research Professionals 2017; 63 :28-33.
- 4)

### 〔3〕先端医学研究所

# 1 分子細胞構造学分野

## 研究業績

### 論文等

- 1) Koichi Miura, Takashi Nojiri, Yoshiharu Akitake, Koji Ando, Shigetomo Fukuhara, Masahiro Zenitani, Toru Kimura, Jun Hino, Mikiya Miyazato, Hiroshi Hosoda, Kenji Kangawa : CCM2 and PAK4 act downstream of atrial natriuretic peptide signaling to promote cell spreading. *BIOCHEMICAL JOURNAL* 2017; 474 (11) :1897-1918. doi: 10.1042/BCJ20160841.
- 2) Seung-Sik Rho, Koji Ando, Shigetomo Fukuhara : Dynamic Regulation of Vascular Permeability by Vascular Endothelial Cadherin-Mediated Endothelial Cell-Cell Junctions. *JOURNAL OF NIPPON MEDICAL SCHOOL* 2017; 84 (4) :148-159. doi: 10.1272/jnms.84.148.
- 3) Kazuhiro Takara, Daisuke Eino, Koji Ando, Daisuke Yasuda, Hisamichi Naito, Yohei Tsukada, Tomohiro Iba, Taku Wakabayashi, Fumitaka Muramatsu, Hiroyasu Kidoya, Shigetomo Fukuhara, Naoki Mochizuki, Satoshi Ishii, Haruhiko Kishima, Nobuyuki Takakura : Lysophosphatidic Acid Receptor 4 Activation Augments Drug Delivery in Tumors by Tightening Endothelial Cell-Cell Contact. *CELL REPORTS* 2017; 20 (9) :2072-2086. doi: 10.1016/j.celrep.2017.07.080.
- 4) Koichi Nishiyama, Yuichiro Arima, Shigetomo Fukuhara, Yoshimi Yamaguchi, Michie Uchikawa, Yuji Nashimoto, Akiko Nakamasu, Ryuji Yokokawa, Takashi Miura : Reconstitutive analyses of impacts of pericytes and blood flow on angiogenic morphogenesis using a microfluidic device. *MECHANISMS OF DEVELOPMENT* 2017; 145:S69. doi: 10.1016/j.mod.2017.04.158.
- 5) 弓削進弥, 有馬勇一郎, 花田三四郎, 若山勇紀, 横川隆司, 三浦岳, 望月直樹, 西山功一, 福原茂朋 : ゼブラフィッシュの蛍光ライブイメージングを用いた内腔圧による血管新生制御機構の解明. 日本心血管内分泌代謝学会学術総会プログラム及び抄録集 2017; 21st:93.
- 6) 弓削進弥, 有馬勇一郎, 國田樹, 若山勇紀, 横川隆司, 三浦岳, 望月直樹, 西山功一, 福原茂朋 : 内腔圧が血管新生を調節する-ゼブラフィッシュ成魚皮膚のライブイメージングによる発見. 日本細胞生物学会大会 2017; 69th
- 7) 弓削進弥, 有馬勇一郎, 花田三四郎, 若山勇紀, 望月直樹, 西山功一, 福原茂朋 : 創傷治癒における血管新生のライブイメージングにより明らかになった新たな血管新生の制御機構. 日本心血管内分泌代謝学会学術総会プログラム及び抄録集 2017; 21st:68.
- 8) 弓削進弥, 藤原正和, 福原茂朋 : 新しい医療を拓くメカノバイオロジー 5.血管新生のメカノバイオロジー. *医薬ジャーナル* 2017; 53 (6) :1451 - 1454-82. doi: 10.20837/1201706079.
- 9) 福原 茂朋 : 血管の安定化・成熟化を制御する分子メカニズムの解明 2017; 33:153-161.
- 10) 福原 茂朋 : 血管透過性のダイナミックかつ巧妙な制御を可能にするシグナル伝達系. *生化学* 2017; 89:368-376.

### 学会発表

- 1) 弓削 進弥, 有馬 勇一郎, 花田 三四郎, 若山 勇紀, 横川 隆司, 三浦 岳, 望月 直樹, 西山 功一, 福原 茂朋 : ゼブラフィッシュの蛍光ライブイメージングを用いた内腔圧による血管新生制御機構の解明. 第 25 回日本血管生物医学学会学術集会 (心血管代謝週間 [CVMW] 2017) . (大阪 (大阪国際交流センター)), 2017. 12.
- 2) 弓削 進弥, 有馬 勇一郎, 花田 三四郎, 若山 勇紀, 横川 隆司, 三浦 岳, 望月 直樹, 西山 功一, 福原 茂朋 : ゼブラフィッシュ成魚の蛍光生体イメージングによる創傷皮膚での血管新生機構の解明. 第 88 回日本動物学会大会. (富山 (富山県民会館)), 2017. 9.
- 3) 弓削 進弥 : ゼブラフィッシュ蛍光ライブイメージングを用いた新しい血管新生制御機構の解明. 平成 29 年度日本医科大学先端医学研究所公開セミナー. (川崎 (日本医科大学先端医学研究所)), 2017. 9.
- 4) 弓削進弥, 有馬勇一郎, 國田樹, 若山勇紀, 横川隆司, 三浦岳, 望月直樹, 西山功一, 福原茂朋 : 内腔圧が血管新生を調節する-ゼブラフィッシュ成魚皮膚のライブイメージングによる発見. 第 69 回日本細胞生物学会大会. (仙台 (仙台国際センター)), 2017. 6.
- 5) 弓削 進弥, 有馬 勇一郎, 花田 三四郎, 若山 勇紀, 横川 隆司, 三浦 岳, 望月 直樹, 西山 功一, 福原 茂朋 : 内腔圧による血管新生の新たな制御機構の解明. *Molecular Cardiovascular Metabolic Conference* 2017. (神戸 (神戸ベイシェラトン&タワーズ)), 2017. 9.
- 6) 藤原 正和 : 血管新生における内皮細胞の集団細胞移動を制御する仕組みの解明. 第 69 回日本細胞生物学会, 2017. 6.

## 2 細胞生物学分野

### 研究業績

#### 論文等

- 1) Yuya Nakashima, Shigeo Ohta, Alexander M. Wolf : Blue light-induced oxidative stress in live skin. FREE RADICAL BIOLOGY AND MEDICINE 2017; 108:300-310. doi: 10.1016/j.freeradbiomed.2017.03.010.
- 2) Taku Amo, Naomi Kamimura, Hiromasa Asano, Sadamitsu Asoh, Shigeo Ohta : Cisplatin selects short forms of the mitochondrial DNA OriB variant (16184-16193 poly-cytosine tract), which confer resistance to cisplatin. SCIENTIFIC REPORTS 2017; 7:46240. doi: 10.1038/srep46240.
- 3) Nishimaki K, Asada T, Ohsawa I, Nakajima E, Ikejima C, Yokota T, Kamimura N, Ohta S : Effects of Molecular Hydrogen Assessed by an Animal Model and a Randomized Clinical Study on Mild Cognitive Impairment. Current Alzheimer research 2018; 15 (5) :482-492. doi: 10.2174/1567205014666171106145017.
- 4) Mai Watanabe, Naomi Kamimura, Katsuya Iuchi, Kiyomi Nishimaki, Takashi Yokota, Rei Ogawa, Shigeo Ohta : Protective Effect of Hydrogen Gas Inhalation on Muscular Damage Using a Mouse Hindlimb Ischemia-Reperfusion Injury Model. Plastic and reconstructive surgery 2017; 140 (6) :1195-1206. doi: 10.1097/PRS.0000000000003878.
- 5) 上村尚美, WOLF Alexander, 西槇貴代美, 横田隆, 一宮治美, 井内勝哉, 太田成男 : in vivo 酸化ストレスモニターマウスを用いた糖尿病モデルマウスの酸化ストレス測定と分子状水素の効果. 日本抗加齢医学会総会プログラム・抄録集 2017; 17th
- 6) 上村 尚美, 太田 成男 : 水素水による脳機能維持効果と健康増進への展望. 体力科学 2017; 66 (1) :63. doi: 10.7600/jspfsm.66.63\_2.
- 7) 横田 隆, Alexander Wolf, 上村 尚美, 小原澤 英彰, 五十嵐 勉, 高橋 浩, 太田 成男 : 青色光照射後の酸化ストレスによるマウス網膜組織への影響. 生命科学系学会合同年次大会 2017; 2017 年度:[2P-1035].

### 3 遺伝子制御学分野

#### 研究業績

#### 論文等

- 1) 阿部芳憲, 武内進, 枝川聖子, 三次亮太郎, 田中信之 : CRISPR/Cas9 システムによる GLI1 ノックアウト肺腺癌細胞の解析. 日本生化学会大会 2017; 90th:ROMBUNNO.1P - 1048 (WEB ONLY).
- 2) 上原郁野, 田中信之 : I型インターフェロンの癌幹細胞及び発がんに対する効果. 日本生化学会大会 2017; 90th
- 3) Yoshinori Abe, Nobuyuki Tanaka : Roles of the Hedgehog signaling pathway in epidermal and hair follicle development, homeostasis, and cancer. *Journal of Developmental Biology* 2017; 5 (4) doi: 10.3390/jdb5040012.
- 4) 土佐真美子, 阿部芳憲, 赤石論史, 田中信之 : ケロイド病変部位における遺伝子発現プロファイルの検討. 日本形成外科学会基礎学術集会プログラム・抄録集 2017; 26th
- 5) 中嶋 亘, 浅野 由ミ, 武井 寛幸, 田中 信之 : 乳癌細胞株の微小管阻害薬パクリタキセルに対する分子機構の解析. 生命科学系学会合同年次大会 2017; 2017 年度:[2P-0514].
- 6) 中嶋 亘 : 再発乳がん治療薬エリプリンの治療効果を決定づける因子の探索と治療予測効果の検討. 日本医科大学医学会雑誌 2017; 13 (4) :234.
- 7) 中道 真仁, 中嶋 亘, 松本 優, 田中 信之 : 非小細胞肺癌細胞株におけるシスプラチンによるアポトーシスの考察. 生命科学系学会合同年次大会 2017; 2017 年度:[2P-0381].

#### 学会発表

- 1) 阿部芳憲, 武内進, 枝川聖子, 三次亮太郎, 田中信之 : CRISPR/Cas9 システムによる GLI1 ノックアウト肺腺癌細胞の解析. 日本生化学会大会(Web), 2017.
- 2) 上原郁野, 田中信之 : I型インターフェロンの癌幹細胞及び発がんに対する効果. 日本生化学会大会(Web), 2017.
- 3) 谷村 篤子, 中里茜, 田中信之 : MyD88 シグナルは NF $\kappa$ B-HIF1 $\alpha$  を介して癌化を誘導する. 第 40 回 日本分子生物学会年会, 2017. 12.
- 4) 清水幹容, 田中信之 : ケモカイン IL - 8 による糖代謝の制御機構とがん幹細胞への影響. 日本生化学会大会(Web), 2017.
- 5) 土佐真美子, 阿部芳憲, 赤石論史, 田中信之 : ケロイド病変部位における遺伝子発現プロファイルの検討. 日本形成外科学会基礎学術集会プログラム・抄録集, 2017. 9.
- 6) 中嶋亘, 浅野由ミ, 武井寛幸, 田中信之 : 乳癌細胞株の微小管阻害薬パクリタキセルに対する分子機構の解析. 日本生化学会大会(Web), 2017.
- 7) 中嶋 亘 : 平成 28 年度 丸山記念研究助成金受賞記念講演 (1) . 日医大医学会誌, 2017.
- 8) 中道真仁, 中嶋亘, 松本優, 田中信之 : 非小細胞肺癌細胞株におけるシスプラチンによるアポトーシスの考察. 日本生化学会大会(Web), 2017.

## 4 生体機能制御学分野

### 研究業績

#### 論文等

- 1) Yuka Toyoshima, Reiko Tokita, Yusuke Taguchi, Fumiaki Yoshizawa, Shin-Ichiro Takahashi, Hisanori Kato, Shiro Minami : AN INCREASE IN 4E-BP1 LEVEL MEDIATES TO ENHANCE TRIGLYCERIDE ACCUMULATION IN RAT LIVER UNDER PROTEIN MALNUTRITION. ANNALS OF NUTRITION AND METABOLISM 2017; 71:440.
- 2) Mami Horiuchi, Tomoya Takeda, Hiroyuki Takahashi, Yori Ozaki-Masuzawa, Yusuke Taguchi, Yuka Toyoshima, Lila Otani, Hisanori Kato, Meri Sone-Yonezawa, Fumihiko Hakuno, Shin-Ichiro Takahashi, Asako Takenaka : Branched-chain amino acid supplementation restores reduced insulinotropic activity of a low-protein diet through the vagus nerve in rats. NUTRITION & METABOLISM 2017; 14:59. doi: 10.1186/s12986-017-0215-1.
- 3) Hiroki Nishi, Daisuke Yamanaka, Hiroyasu Kamei, Yuki Goda, Mikako Kumano, Yuka Toyoshima, Asako Takenaka, Kazuhiro Chida, Fumihiko Hakuno, Shin-Ichiro Takahashi : HEPATIC STEATOSIS INDUCED BY AMINO ACID DEFICIENCY OR BY MANIPULATION OF THE DIETARY AMINO ACID COMPOSITION. ANNALS OF NUTRITION AND METABOLISM 2017; 71:446.
- 4) Yusuke Taguchi, Yuka Toyoshima, Reiko Tokita, Hisanori Kato, Shin-Ichiro Takahashi, Shiro Minami : Triglyceride synthesis in hepatocytes isolated from rats fed a low-protein diet is enhanced independently of upregulation of insulin signaling. BIOCHEMICAL AND BIOPHYSICAL RESEARCH COMMUNICATIONS 2017; 490 (3) :800-805. doi: 10.1016/j.bbrc.2017.06.120.
- 5) 熊野 未佳子, 西 宏起, 山中 大介, 合田 祐貴, 豊島 由香, 竹中 麻子, 伯野 史彦, 高橋 伸一郎 : アミノ酸欠乏に应答した肝臓の糖新生酵素遺伝子の発現抑制機構の解明. 生命科学系学会合同年次大会 2017; 2017 年度:[1P-0103].
- 6) 西 宏起, 山中 大介, 合田 祐貴, 熊野 未佳子, 豊島 由香, 竹中 麻子, 伯野 史彦, 高橋 伸一郎 : アミノ酸欠乏に应答して肝細胞に脂質蓄積を引き起こす新機構の解明. 生命科学系学会合同年次大会 2017; 2017 年度:[2P-0059].
- 7) 高橋 伸一郎, 伯野 史彦, 竹中 麻子, 豊島 由香, 増田 正人, 加藤 久典, 潮 秀樹 : シン・メタボリズム～代謝が関わる多彩な生命現象～ 古くて新しいアミノ酸シグナルによるインスリン様活性の調節機構. 生命科学系学会合同年次大会 2017; 2017 年度:[2PW05-7].
- 8) 豊島 由香, 時田 玲子, 田口 雄亮, 高橋 伸一郎, 加藤 久典, 南 史朗 : タンパク質・アミノ酸と生活習慣病 タンパク質・アミノ酸の多様な生体機能調節機構 低タンパク質栄養による肝臓脂質蓄積機構 新規メカニズムの探索. 日本栄養・食糧学会大会講演要旨集 2017; 71 回:175.
- 9) 豊島 由香 : 低タンパク質栄養によるインスリン活性増強機構とその生理的意義. アミノ酸研究 2017; 10 (1) :49-55.
- 10) 熊野 未佳子, 西 宏起, 山中 大介, 合田 祐貴, 豊島 由香, 竹中 麻子, 伯野 史彦, 高橋 伸一郎 : 肝細胞におけるアミノ酸欠乏に应答した糖新生酵素遺伝子の新しい発現抑制機構. アミノ酸研究 2018; 11 (2) :102.

#### 学会発表

- 1) An increase in 4E-BP1 level mediates to enhance triglyceride accumulation in rat liver under protein malnutrition. IUNS 21st ICN International Congress of Nutrition, 2017. 10.
- 2) Social isolation facilitates maternal care in sexually naïve female, ddN mice : Social isolation facilitates maternal care in sexually naïve female ddN mice., 2017.
- 3) 低タンパク質栄養による肝臓脂質蓄積機構 –新規メカニズムの探索–. 第 71 回日本栄養・食糧学会大会, 2017. 5.

## 〔4〕 臨床医学



# 1 総合医療・健康科学分野

## 研究業績

### 論文等

- 1) Toshihiko Hoashi, Kazue Fujita, Yoko Funasaka, Akihiko Gemma, Hidehisa Saeki : A case of cutaneous metastatic lung cancer difficult to distinguish from malignant nodular hidradenoma. *Australasian Journal of Dermatology* 2018; 59 (1) :e80-e81. doi: 10.1111/ajd.12643.
- 2) Hiroki Hayashi, Takahito Nei, Shinji Abe, Yoshinobu Saito, Nariaki Kokuho, Kenichiro Atsumi, Kazue Fujita, Takefumi Saito, Takahiro Tanaka, Akihiko Gemma, Arata Azuma : BODY MASS INDEX AND ARTERIAL BLOOD OXYGENATION AS PROGNOSTIC FACTORS IN PATIENTS WITH IDIOPATHIC PLEUROPARENCHYMAL FIBROELASTOSIS. SARCOIDOSIS VASCULITIS AND DIFFUSE LUNG DISEASES 2017; 34 (1) :35-40.
- 3) 高橋 聡, 渥美 健一郎, 樋口 明日香, 矢嶋 知佳, 中山 幸治, 蓮見 健太, 青山 純一, 久世 眞之, 小林 研一, 蛸井 浩行, 高橋 明子, 柏田 建, 揖斐 孝之, 武内 進, 井上 達哉, 林 宏紀, 藤田 和恵, 齋藤 好信, 清家 正博, 白田 実男, 久保田 馨, 弦間 昭彦 : EBUS-TBNA 後に生じた縦隔炎の 2 症例. *気管支学* 2017; 39 (Suppl.) :S385.
- 4) Kenichiro Atsumi, Yoshinobu Saito, Naoyuki Kuse, Kenichi Kobayashi, Toru Tanaka, Takeru Kashiwada, Minoru Inomata, Nariaki Kokuho, Hiroki Hayashi, Koichiro Kamio, Kazue Fujita, Shinji Abe, Arata Azuma, Kaoru Kubota, Akihiko Gemma : Prognostic Factors in the Acute Exacerbation of Idiopathic Pulmonary Fibrosis: A Retrospective Single-center Study. *Internal medicine (Tokyo, Japan)* 2018; 57 (5) :655-661. doi: 10.2169/internalmedicine.9331-17.
- 5) Mariko Ishibashi, Hideto Tamura, Toshio Asayama, Yasuko Kuribayashi-Hamada, Asaka Onodera, Keiichi Moriya, Makoto Sasaki, Hiroshi Handa, Yoichi Imai, Norina Tanaka, Junji Tanaka, Sakae Tanosaki, Shigeki Ito, Norio Komatsu, Koiti Inokuchi : The New Immunoreceptor SLAMF3 Promotes Aggressive Biological and Clinical Characteristics in Multiple Myeloma. *BLOOD* 2017; 130
- 6) Koichiro Kamio, Arata Azuma, Jiro Usuki, Kuniko Matsuda, Minoru Inomata, Nobuhiko Nishijima, Shioto Itakura, Hiroki Hayashi, Takeru Kashiwada, Nariaki Kokuho, Kenichiro Atsumi, Tomoyoshi Yamaguchi, Kazue Fujita, Yoshinobu Saito, Shinji Abe, Kaoru Kubota, Akihiko Gemma : XPLN is modulated by HDAC inhibitors and negatively regulates SPARC expression by targeting mTORC2 in human lung fibroblasts. *PULMONARY PHARMACOLOGY & THERAPEUTICS* 2017; 44:61-69. doi: 10.1016/j.pupt.2017.03.003.
- 7) 蛸井 浩行, 國保 成暁, 久世 眞之, 柏田 建, 林 宏紀, 神尾 孝一郎, 齋藤 好信, 藤田 和恵, 阿部 信二, 功刀 しのぶ, 寺崎 泰弘, 久保田 馨, 吾妻 安良太, 弦間 昭彦 : possible UIP パターンに対する TBLB の有用性. *気管支学* 2017; 39 (Suppl.) :S275.
- 8) 安武 正弘 : 【ER、ICU のための循環器疾患の見方、考え方-エキスパートの診断テクニック-】 胸痛・背部痛 総論 疼痛の鑑別. *救急・集中治療* 2018; 30 (2) :171-175. doi: 10.15052/00003326.
- 9) 須崎 真, 安武 正弘, 横田 裕行 : 【すぐそこにある心血管エマージェンシー】 心血管エマージェンシーに対する ER の役割と展望. *内科* 2017; 120 (6) :1207-1212. doi: 10.15106/j\_naika120\_1207.
- 10) 菊池 友太, 安武 正弘, 兵働 英也, 古木 裕康, 内田 英二 : 【腹部救急疾患に対する診断と初期治療-総合診療医の役割-】 急性腹症における大学病院総合診療部門の役割. *日本腹部救急医学会雑誌* 2017; 37 (6) :853-857. doi: 10.11231/jaem.37.853.
- 11) 小原 俊彦, 若栗 太朗, 出川 龍哉, 三枝 太郎, 須崎 真, 桐木 園子, 小野寺 麻加, 小野寺 直子, 兵働 英也, 松村 典昭, 川井 真, 安武 正弘 : たこつば心筋症経過観察中に脳梗塞を合併した 1 例. *日本病院総合診療医学会雑誌* 2017; 13 (1) :106.
- 12) 松井 亮介, 若栗 太朗, 出川 龍哉, 三枝 太郎, 高橋 健太, 鈴木 健太郎, 小原 俊彦, 清水 渉, 川井 真, 安武 正弘 : てんかん発作を契機として発症したたこつば型心筋症の 1 例. *日本内科学会関東地方会* 2017; 635 回:39.
- 13) 猪俣 稔, 神尾 孝一郎, 吾妻 安良太, 松田 久仁子, 柏田 建, 國保 成暁, 渥美 健一郎, 林 宏紀, 藤田 和恵, 齋藤 好信, 阿部 信二, 弦間 昭彦 : エクソソーム由来 microRNA の肺線維化マーカー抑制効果に関する検討. *日本呼吸器学会誌* 2018; 7 (増刊) :166.
- 14) 西本 崇良, 三井 啓吾, 片岡 宏章, 梅田 隆満, 高木 信介, 大森 順, 秋元 直彦, 佐藤 航, 鈴木 将大, 馬來 康太郎, 江原 彰仁, 米澤 真興, 田中 周, 辰口 篤志, 藤森 俊二, 岩切 勝彦 : クロウン病の薬物療法・手術療法のすべて クロウン病のバルーン内視鏡による病勢評価と内視鏡的バルーン拡張術の外科手術率に対する影響. *日本消化管学会雑誌* 2018; 2 (Suppl.) :192.
- 15) 西本 崇良, 藤森 俊二, 野田 啓人, 大久保 知美, 大森 順, 新井 泰央, 秋元 直彦, 糸川 典夫, 厚川 正則, 米澤 真興, 岩切 勝彦

- 彦：ポノプラザンを用いた H.Pylori 除菌治療の検討. 日本消化器病学会雑誌 2017; 114 (臨増大会) :A718.
- 16) 須崎 真, 小原 俊彦, 若栗 大朗, 桐木 園子, 小野寺 直子, 兵働 英也, 柴田 泰史, 宮内 雅人, 川井 真, 安武 正弘, 横田 裕行：二次救急医療における臨床検査の現状と課題 救急医が必要とする検査情報とその要件 時間・精度・安全. 日本臨床救急医学会雑誌 2017; 20 (2) :250.
  - 17) 若栗 大朗, 出川 龍哉, 三枝 太郎, 須崎 真, 桐木 園子, 小野寺 麻加, 小野寺 直子, 松村 典昭, 兵働 英也, 小原 俊彦, 安武 正弘, 川井 真：全身性炎症反応症候群(SIRS)患者における血清ヘプシジン-25 値の臨床的意義. 日本病院総合診療医学会雑誌 2017; 13 (1) :98.
  - 18) 須崎 真, 小原 俊彦, 若栗 大朗, 桐木 園子, 小野寺 直子, 兵働 英也, 宮内 雅人, 川井 真, 横田 裕行, 安武 正弘：救急医療現場における他科連携 当院総合診療センターでの外科系他科との連携. 日本外科系連合学会誌 2017; 42 (3) :481.
  - 19) 須崎 真, 藤田 和恵, 渥美 健一郎, 林 宏紀, 小野寺 直子, 兵働 英也, 小原 俊彦, 宮内 雅人, 齋藤 好信, 弦間 昭彦, 安武 正弘：日本医科大学付属病院総合診療センターにおける感染症診療の現状と課題. 感染症学雑誌 2017; 91 (3) :459.
  - 20) 藤田 和恵, 中山 幸治, 高橋 明子, 中道 真仁, 齋藤 好信, 清家 正博, 久保田 馨, 弦間 昭彦：気管支鏡検査が診断に有用であった *Nocardia exalbida* による肺化膿症の一例. 気管支学 2017; 39 (Suppl.) :S332.
  - 21) 石橋 真理子, 田村 秀人, 高橋 理紗, 坪田 朝子, 朝山 敏夫, 栗林 泰子, 小野寺 麻加, 守屋 慶一, 今井 陽一, 半田 寛, 佐々木 純, 小松 則夫, 田野崎 栄, 伊藤 薫樹, 猪口 孝一：病因・病態・予後 免疫関連分子 SLAMF3 による多発性骨髄腫の増悪化メカニズム. *International Journal of Myeloma* 2017; 7 (1) :35.
  - 22) 小原 俊彦, 若栗 大朗, 出川 龍哉, 三枝 太郎, 須崎 真, 桐木 園子, 小野寺 麻加, 小野寺 直子, 兵働 英也, 松村 典昭, 川井 真, 安武 正弘：発熱に伴い一過性の Brugada 症候群様の心電図変化をきたした 4 症例の検討. 日本病院総合診療医学会雑誌 2017; 13 (1) :104.
  - 23) 淀川 顕司, 清野 精彦, 岩崎 雄樹, 林 明聡, 宮内 靖史, 小原 俊彦, 八島 正明, 清水 渉：肺サルコイドーシスにおける心室遅延電位の検出および臨床的意義. 心電図 2018; 38 (Suppl.1) :S-1.
  - 24) 鍋木 翔太, 蛸井 浩行, 田中 徹, 渥美 健一郎, 林 宏紀, 藤田 和恵, 齋藤 好信, 阿部 信二, 木村 弘, 久保田 馨, 清家 正博, 弦間 昭彦：過粘稠性肺炎桿菌による重症肺炎・肺膿瘍の 2 例. 日本結核病学会関東支部学会・日本呼吸器学会関東地方会合同学会プログラム・抄録集 2018; 173 回・228 回:29.
  - 25) 柏田 建, 阿部 信二, 蛸井 浩行, 渥美 健一郎, 林 宏紀, 藤田 和恵, 齋藤 好信, 弦間 昭彦, 久保田 馨, 國保 成暁, 寺崎 泰弘, 吾妻 安良太：金属加工業者に発症し、DLST、HLA-DPB1 アレルより診断した慢性ペリリウム肺の一例. 日本サルコイドーシス/肉芽腫性疾患学会雑誌 2017; 37 (1-2) :69.
  - 26) 柏田 建, 齋藤 好信, 高橋 聡, 小林 研一, 渥美 健一郎, 菅野 哲平, 武内 進, 林 宏紀, 野呂 林太郎, 峯岸 裕司, 藤田 和恵, 阿部 信二, 清家 正博, 久保田 馨, 弦間 昭彦：非小細胞肺癌へ対する nab-Paclitaxel 療法による薬剤性肺障害の検討. 日本呼吸器学会誌 2018; 7 (増刊) :235.
  - 27) 多田 杏子, 渡邊 健太郎, 石井 康大, 羽田 幸里香, 三枝 太郎, 高瀬 薫, 亀田 亘, 諏佐 真治, 大泉 俊英, 鈴木 達也, 安武 正弘, 大庭 建三, 加藤 丈夫：非糖尿病群の臨床的特徴 HbA1c を用いた検討. 糖尿病 2017; 60 (Suppl.1) :S-219.
  - 28) 石井 康大, 渡邊 健太郎, 羽田 幸里香, 鈴木 佑弥, 三枝 太郎, 鈴木 達也, 安武 正弘, 大庭 建三, 加藤 丈夫：高齢者非糖尿病群の臨床的特徴 HbA1c を用いた検討. 日本老年医学会雑誌 2017; 54 (Suppl.) :164.

## 学会発表

- 1) 松井 亮介, 若栗 大朗, 出川 龍哉, 三枝 太郎, 高橋 健太, 鈴木 健太郎, 小原 俊彦, 清水 渉, 川井 真, 安武 正弘：てんかん発作を契機として発症したたこぼ型心筋症の 1 例. . 第 635 回日本内科学会関東地方会, 2017. 9.
- 2) 若栗 大朗, 出川 龍哉, 三枝 太郎, 須崎 真, 桐木 園子, 小野寺 直子, 松村 典昭, 兵働 英也, 小原 俊彦, 川井 真, 安武 正弘：全身性炎症反応症候群(SIRS)患者における血清ヘプシジン-25 値の臨床的意義. . 第 16 回日本病院総合診療医学会, 2018. 3.
- 3) 多田 杏子, 渡邊 健太郎, 石井 康大, 羽田 幸里香, 三枝 太郎, 高瀬 薫, 亀田 亘, 諏佐 真治, 大泉 俊英, 鈴木 達也, 安武 正弘, 大庭 建三, 加藤 丈夫：非糖尿病群の臨床的特徴-HbA1c を用いた検討. 第 60 回日本糖尿病学会年次学術集会, 2017. 5.
- 4) 石井 康大, 渡邊 健太郎, 羽田 幸里香, 鈴木 佑弥, 三枝 太郎, 鈴木 達也, 安武 正弘, 大庭 建三, 加藤 丈夫三枝太郎：高齢者非糖尿病群の臨床的特徴-HbA1c を用いた検討. 第 59 回日本老年医学会学術集会, 2017. 6.

## 2 循環器内科学分野

### 研究業績

#### 論文等

- 1) Kosuke Nakasuka, Koji Miyamoto, Takashi Noda, Tsukasa Kamakura, Mitsuru Wada, Ikutaro Nakajima, Kohei Ishibashi, Yuko Inoue, Hideo Okamura, Satoshi Nagase, Takeshi Aiba, Shiro Kamakura, Wataru Shimizu, Teruo Noguchi, Toshihisa Anzai, Satoshi Yasuda, Nobuyuki Ohte, Kengo Kusano : "Window Sliding" analysis combined with high-density and rapid electroanatomical mapping: its efficacy and the outcome of catheter ablation of atrial tachycardia. HEART AND VESSELS 2017; 32 (8) :984-996. doi: 10.1007/s00380-017-0959-6.
- 2) 貴岡 正史, 大野 敦, 菅野 一男, 小谷 英太郎, 重田 真幸, 藤井 仁美, 松下 隆哉, 宮川 高一 : 2 型糖尿病患者を対象としたダバグリフロジンの食事行動に対する影響多施設共同並行群間試験. 糖尿病 2017; 60 (Suppl.1) :S-307.
- 3) Amano Yasuo, Amano Yasuo, Yanagisawa Fumi, Yanagisawa Fumi, Tachi Masaki, Asai Kuniya, Suzuki Yasuyuki, Hashimoto Hidenobu, Hashimoto Hidenobu, Ishihara Kiyohisa, Kumita Shinichiro : 3 次元心臓 MR イメージング: 関連技術と臨床的応用. Magnetic Resonance in Medical Sciences 2017; 16 (3) :183-189. doi: 10.2463/mrms.rev.2016-0116.
- 4) 小川邦康, 佐々木達佳, 米田茂樹, 辻中久美子, 朝井律子 : 98 個の RF コイルを持つ NMR 計測装置による PEFC 内の電流分布計測. NMR マイクロイメージング研究会講演要旨集 2017; 21st
- 5) Takashi Yoshizane, Takeshi Yamamoto, Hiroshi Hayashi, Mitsunobu Kitamura, Hideki Miyachi, Yusuke Hosokawa, Koichi Akutsu, Wataru Shimizu : A Case of Primary Bacterial Pericarditis with Recurrent Cardiac Tamponade. JOURNAL OF NIPPON MEDICAL SCHOOL 2017; 84 (3) :133-138. doi: 10.1272/jnms.84.133.
- 6) Hideto Sangen, Shuhei Tara, Takahisa Tanaka, Hitoshi Takano, Kunio Tanaka, Wataru Shimizu : A novel application of the culotte stent technique to bail out a jailed common iliac artery. Journal of vascular surgery cases and innovative techniques 2017; 3 (4) :236-239. doi: 10.1016/j.jvscit.2017.09.005.
- 7) Tatsuya Miyamoto, Masashi Inoue, Masahiro Tanemura, Megumi Yamaguchi, Toshimitsu Irei, Kentaro Tamaru, Shingo Seo, Toshihiro Misumi, Wataru Shimizu, Takahisa Suzuki, Takashi Onoe, Takeshi Sudo, Yosuke Shimizu, Takao Hinoi, Hirotake Tashiro : A resectable case of TS-1 therapy useful in distinguishing primary lung cancer from lung metastases of pancreatic cancer. Japanese Journal of Cancer and Chemotherapy 2018; 45 (1) :88-90.
- 8) Maruyama M, Uetake S, Miyauchi Y, Seino Y, Shimizu W : Analyses of the Mode of Termination During Diagnostic Ventricular Pacing to Differentiate the Mechanisms of Supraventricular Tachycardias. JACC. Clinical electrophysiology 2017; 3 (11) :1252-1261. doi: 10.1016/j.jacep.2017.05.014.
- 9) Inoue M, Sudo T, Yamaguchi M, Seo S, Miyamoto T, Misumi T, Shimizu W, Irei T, Suzuki T, Onoe T, Shimizu Y, Hinoi T, Tashiro H : Aneurysm of the inferior vena cava with thrombosis. Clinical case reports 2018; 6 (2) :402-406. doi: 10.1002/ccr3.1321.
- 10) Takekazu Miyoshi, Yasuki Maeno, Haruhiko Sago, Noboru Inamura, Satoshi Yasukochi, Motoyoshi Kawataki, Hitoshi Horigome, Hitoshi Yoda, Mio Taketazu, Makio Shozu, Masaki Nii, Akiko Hagiwara, Hitoshi Kato, Wataru Shimizu, Lsao Shiraishi, Heima Sakaguchi, Keiko Ueda, Shinji Katsuragi, Tomoaki Ikeda, Haruko Yamamoto, Toshimitsu Hamasaki : Antenatal antiarrhythmic treatment for fetal tachyarrhythmias: a study protocol for a prospective multicentre trial. BMJ OPEN 2017; 7 (8) :e016597. doi: 10.1136/bmjopen-2017-016597.
- 11) Hirotake Okazaki, Akihiro Shirakabe, Nobuaki Kobayashi, Noritake Hata, Takuro Shinada, Masato Matsushita, Yoshiya Yamamoto, Yusaku Shibata, Junsuke Shibuya, Reiko Shiomura, Suguru Nishigoori, Kuniya Asai, Wataru Shimizu : Are atherosclerotic risk factors associated with a poor prognosis in patients with hyperuricemic acute heart failure? The evaluation of the causal dependence of acute heart failure and hyperuricemia. HEART AND VESSELS 2017; 32 (4) :436-445. doi: 10.1007/s00380-016-0893-z.
- 12) Ishibashi K, Aiba T, Kamiya C, Miyazaki A, Sakaguchi H, Wada M, Nakajima I, Miyamoto K, Okamura H, Noda T, Yamauchi

- T, Itoh H, Ohno S, Motomura H, Ogawa Y, Goto H, Minami T, Yagihara N, Watanabe H, Hasegawa K, Terasawa A, Mikami H, Ogino K, Nakano Y, Imashiro S, Fukushima Y, Tsuzuki Y, Asakura K, Yoshimatsu J, Shiraiishi I, Kamakura S, Miyamoto Y, Yasuda S, Akasaka T, Horie M, Shimizu W, Kusano K : Arrhythmia risk and  $\beta$ -blocker therapy in pregnant women with long QT syndrome. *Heart (British Cardiac Society)* 2017; 103 (17) :1374-1379. doi: 10.1136/heartjnl-2016-310617.
- 13) Matthieu Legrand, Pierre-Olivier Ludes, Ziad Massy, Patrick Rossignol, Jiri Parenica, Jin-Joo Park, Shiro Ishihara, Khalid F AlHabib, Aldo Maggioni, Òscar Miró, Naoki Sato, Alain Cohen-Solal, Enrique Fairman, Johan Lassus, Veli-Pekka Harjola, Christian Mueller, Franck W Peacock, Dong-Ju Choi, Patrick Plaisance, Jindřich Spinar, Mikhail Kosiborod, Alexandre Mebazaa, Etienne Gayat : Association between hypo- and hyperkalemia and outcome in acute heart failure patients: the role of medications. *Clinical research in cardiology : official journal of the German Cardiac Society* 2018; 107 (3) :214-221. doi: 10.1007/s00392-017-1173-3.
- 14) Masato Matsushita, Akihiro Shirakabe, Noritake Hata, Takuro Shinada, Nobuaki Kobayashi, Kazunori Tomita, Masafumi Tsurumi, Hirotake Okazaki, Yoshiya Yamamoto, Kuniya Asai, Wataru Shimizu : Association between the body mass index and the clinical findings in patients with acute heart failure: evaluation of the obesity paradox in patients with severely decompensated acute heart failure. *HEART AND VESSELS* 2017; 32 (5) :600-608. doi: 10.1007/s00380-016-0908-9.
- 15) 山本 剛 : 【CCU の現状を識る:循環器医がするべきこと】 診る 東京の心血管救急診療 全体と施設間の差. *Heart View* 2017 ; 21(10): 1010-1015.
- 16) 丹野 郁, 小林 義典, 上野 亮, 深水 誠二, 佐々木 毅, 渡辺 則和, 村田 広茂, 山本 剛, 長尾 建, 高山 守正, 東京都 CCU ネットワーク学術委員会 : CCU にて Electrical Storm を併発した急性心筋梗塞患者の特徴. *ICU と CCU* 2017; 41 (別冊) :S85-S86.
- 17) Koshi Nakamura, Emiko Okada, Shigekazu Ukawa, Makoto Hirata, Akiko Nagai, Zentaro Yamagata, Yutaka Kiyohara, Kaori Muto, Yoichiro Kamatani, Toshiharu Ninomiya, Koichi Matsuda, Michiaki Kubo, Yusuke Nakamura, Akiko Tamakoshi, Hiromasa Harada, Sunao Matsubayashi, Rieko Komi, Kazuo Misumi, Shiro Minami, Hitoshi Sugihara, Eitaro Kodani, Akio Kanazawa, Hiromasa Gotoh, Hidenori Haruna, Satoshi Asai, Mitsuhiko Moriyama, Yasuo Takahashi, Tomoaki Fujioka, Wataru Obara, Seiji Mori, Hideki Ito, Satoshi Nagayama, Yoshio Miki, Akihide Masumoto, Akira Yamada, Yasuko Nishizawa, Ken Kodama, Satoshi Ugi, Shinichi Araki, Yukihiko Koretsune, Hideki Taki, Takayuki Nakagawa : Characteristics and prognosis of Japanese female breast cancer patients: The BioBank Japan project. *Journal of Epidemiology* 2017; 27:S98-S106. doi: 10.1016/j.je.2016.12.012.
- 18) Hiroshi Yokomichi, Hokuto Noda, Akiko Nagai, Makoto Hirata, Akiko Tamakoshi, Yoichiro Kamatani, Yutaka Kiyohara, Koichi Matsuda, Kaori Muto, Toshiharu Ninomiya, Michiaki Kubo, Yusuke Nakamura, Zentaro Yamagata, Kazuo Misumi, Kiyoshi Iha, Sunao Matsubayashi, Kei Matsuura, Shiro Minami, Hitoshi Sugihara, Eitaro Kodani, Naoto Tamura, Masakazu Matsushita, Akihiko Gotoh, Satoshi Asai, Mitsuhiko Moriyama, Yasuo Takahashi, Tomoaki Fujioka, Wataru Obara, Seiji Mori, Hideki Ito, Satoshi Nagayama, Yoshio Miki, Akihide Masumoto, Akira Yamada, Yasuko Nishizawa, Ken Kodama, Satoshi Ugi, Hiroshi Maegawa, Yukihiko Koretsune, Hideo Kusuoka, Masao Okumura : Cholesterol levels of Japanese dyslipidaemic patients with various comorbidities: BioBank Japan. *Journal of Epidemiology* 2017; 27 (3) :S77-S83. doi: 10.1016/j.je.2016.12.014.
- 19) Junya Matsuda, Mitsunobu Kitamura, Morimasa Takayama, Yoichi Imori, Junsuke Shibuya, Yoshiaki Kubota, Hideto Sangen, Shunichi Nakamura, Hitoshi Takano, Kuniya Asai, Wataru Shimizu : Chronic phase improvements in electrocardiographic and echocardiographic manifestations of left ventricular hypertrophy after alcohol septal ablation for drug-refractory hypertrophic obstructive cardiomyopathy. *Heart and Vessels* 2018; 33 (3) :246-254. doi: 10.1007/s00380-017-1053-9.
- 20) Akihiro Shirakabe, Noritake Hata, Nobuaki Kobayashi, Hirotake Okazaki, Masato Matsushita, Yusaku Shibata, Suguru Nishigoori, Saori Uchiyama, Kuniya Asai, Wataru Shimizu : Clinical Usefulness of Urinary Liver Fatty Acid-Binding Protein Excretion for Predicting Acute Kidney Injury during the First 7 Days and the Short-Term Prognosis in Acute Heart Failure Patients with Non-Chronic Kidney Disease. *CARDIORENAL MEDICINE* 2017; 7 (4) :301-315. doi: 10.1159/000477825.
- 21) Lei Xing, Takumi Higuma, Zhao Wang, Aaron D. Aguirre, Kyoichi Mizuno, Masamichi Takano, Harold L. Dauerman, Seung-Jung Park, Yangsoo Jang, Chong-Jin Kim, Soo-Joong Kim, So-Yeon Choi, Tomonori Itoh, Shiro Uemura, Harry Lowe, Darren L. Walters, Peter Barlis, Stephen Lee, Amir Lerman, Catalin Toma, Jack Wei Chieh Tan, Erika Yamamoto, Krzysztof Bryniarski, Jiannan Dai, Thomas Zanchin, Shaosong Zhang, Bo Yu, Hang Lee, James Fujimoto, Valentin Fuster, Ik-Kyung Jang : Clinical

- significance of lipid-rich plaque detected by optical coherence tomography. *Journal of the American College of Cardiology* 2017; 69 (20) :2502-2513. doi: 10.1016/j.jacc.2017.03.556.
- 22) 桐木 園子, 宮本 正章, 高木 元, 高圓 雅博, 久保田 芳明, 太良 修平, 白井 悠一郎, 桑名 正隆, 清水 渉 : DDS 徐放化 b-FGF 血管再生治療等の治療が奏功した好酸球性多発血管炎性肉芽腫症による指尖部難治性潰瘍の一例. *日本創傷治療学会プログラム・抄録集* 2017; 47 回:157.
- 23) 小谷 英太郎 : DOAC はどれも同じか (特集 不整脈診療 : ずっと疑問・まだ疑問) -- (抗凝固療法を考える). *循環器ジャーナル* 2017; 65 (3) :463-472.
- 24) Cameron Best, Shuhei Tara, Matthew Wiet, James Reinhardt, Victoria Pepper, Matthew Ball, Tai Yi, Toshiharu Shinoka, Christopher Breuer : Deconstructing the Tissue Engineered Vascular Graft: Evaluating Scaffold Pre-Wetting, Conditioned Media Incubation, and Determining the Optimal Mononuclear Cell Source. *ACS biomaterials science & engineering* 2017; 3 (9) :1972-1979. doi: 10.1021/acsbomaterials.6b00123.
- 25) Akihiro Shirakabe, Noritake Hata, Nobuaki Kobayashi, Hirotake Okazaki, Masato Matsushita, Yusaku Shibata, Suguru Nishigoori, Saori Uchiyama, Kazutaka Kiuchi, Fumitaka Okajima, Toshiaki Otsuka, Kuniya Asai, Wataru Shimizu : Decreased blood glucose at admission has a prognostic impact in patients with severely decompensated acute heart failure complicated with diabetes mellitus. *Heart and Vessels* 2018; 33 (9) :1-14. doi: 10.1007/s00380-018-1151-3.
- 26) Tsukasa Kamakura, Mitsuru Wada, Kohei Ishibashi, Yuko Y. Inoue, Koji Miyamoto, Hideo Okamura, Satoshi Nagase, Takashi Noda, Takeshi Aiba, Satoshi Yasuda, Wataru Shimizu, Shiro Kamakura, Kengo Kusano : Differences in the onset mode of ventricular tachyarrhythmia between patients with J wave in anterior leads and those with J wave in inferolateral leads. *HEART RHYTHM* 2017; 14 (4) :553-561. doi: 10.1016/j.hrthm.2016.11.027.
- 27) Yvonne May Fen Chia, Tiew-Hwa Katherine Teng, Eugene S.J. Tan, Wan Ting Tay, A. Mark Richards, Calvin Woon Loong Chin, Wataru Shimizu, Sang Weon Park, Chung-Lieh Hung, Lieng H. Ling, Tachapong Ngarmukos, Razali Omar, Bambang B. Siswanto, Calambur Narasimhan, Eugene B. Reyes, Cheuk-Man Yu, Inder Anand, Michael R. MacDonald, Jonathan Yap, Shu Zhang, Eric A. Finkelstein, Carolyn S.P. Lam : Disparity between indications for and utilization of implantable cardioverter defibrillators in asian patients with heart failure. *Circulation: Cardiovascular Quality and Outcomes* 2017; 10 (11) doi: 10.1161/CIRCOUTCOMES.116.003651.
- 28) SHIRAKABE Akihiro, IKEDA Yoshiyuki, SAITO Toshiro, ZAI Peiyong, HATA Noritake, ASAI Kuniya, SHIMIZU Wataru, SADOSHIMA Jyunichi : Drp1 依存的性ミトコンドリアオートファジーは圧過剰負荷誘導ミトコンドリア機能障害と心不全に対して保護的な役割を果たす. *Journal of Physiological Sciences* 2017; 67 (Supplement 1)
- 29) 樋口 聡, 鈴木 誠, 堀内 優, 宮内 克己, 山崎 正雄, 田中 博之, 吉川 雅智, 山下 淳, 岩田 洋, 岸 幹夫, 佐地 真育, 吉野 秀朗, 山本 剛, 長尾 建, 高山 守正 : EBM vs.anti EBM 血栓吸引療法の適応 EBM・ガイドラインに基づいた適応 「血栓吸引が院内死亡に与える影響:東京 CCU ネットワークからの報告」. *日本心血管インターベンション治療学会抄録集* 2017; 26 回:S7-3.
- 30) Kenichi Matsushita, Kazumasa Harada, Tetsuro Miyazaki, Takamichi Miyamoto, Shun Kohsaka, Kiyoshi Iida, Shuzou Tanimoto, Mayuko Yagawa, Yasuyuki Shiraishi, Hideaki Yoshino, Takeshi Yamamoto, Ken Nagao, Morimasa Takayama : Effect of Heart Failure Secondary to Ischemic Cardiomyopathy on Body Weight and Blood Pressure. *AMERICAN JOURNAL OF CARDIOLOGY* 2017; 120 (9) :1589-1594. doi: 10.1016/j.amjcard.2017.07.054.
- 31) Kenzo Hirao, Kazutaka Aonuma, Koichiro Kumagai, Koichi Inoue, Masaomi Kimura, Yasushi Miyauchi, Eiki Tsushima, Ken Okumura : Effects and Risks of Heparin Bridging and Different Modes of Interruption/Resumption of Rivaroxaban on Perioperative Complications of Catheter Ablation for Atrial Fibrillation - Another Analysis of the JACRE-R Registry. *Circulation journal : official journal of the Japanese Circulation Society* 2018; 82 (2) :346-352. doi: 10.1253/circj.CJ-17-0509.
- 32) Kenichi Matsushita, Kazumasa Harada, Tetsuro Miyazaki, Takamichi Miyamoto, Kiyoshi Iida, Shuzou Tanimoto, Mayuko Yagawa, Makoto Takei, Yuji Nagatomo, Toru Hosoda, Hideaki Yoshino, Takeshi Yamamoto, Ken Nagao, Morimasa Takayama : Effects of glycemic control on in-hospital mortality among acute heart failure patients with reduced, mid-range, and preserved ejection fraction. *Heart and Vessels* 2018; 33 (9) :1-7. doi: 10.1007/s00380-018-1152-2.
- 33) Yoshiko Kuribayashi, Kisho Ohtani, Tsunenori Saito, Tomomi Ide : Electron microscopy gain a glimpse into the pathogenesis of cardiac

- sarcoidosis. *European heart journal. Cardiovascular Imaging* 2017; 18 (8) :944. doi: 10.1093/ehjci/jex152.
- 34) Chikage Noishiki, Gen Takagi, Yoshiaki Kubota, Rei Ogawa : Endothelial dysfunction may promote keloid growth. *Wound Repair and Regeneration* 2017; 25 (6) :976-983. doi: 10.1111/wrr.12601.
- 35) 松田 淳也 : 【ER、ICUのための循環器疾患の見方、考え方-エキスパートの診断テクニック-】 発熱(感染症) 感染性心内膜炎. 救急・集中治療 2018; 30(2) : 249-255.
- 36) 鈴木 啓士 : 【ER、ICUのための循環器疾患の見方、考え方-エキスパートの診断テクニック-】 胸痛・背部痛 急性心膜炎. 救急・集中治療 2018; 30(2) : 188-192.
- 37) Rie Aoyama, Hitoshi Takano, Yasuhiro Kobayashi, Mitsunobu Kitamura, Kuniya Asai, Yasuo Amano, Shin-ichiro Kumita, Wataru Shimizu : Evaluation of myocardial glucose metabolism in hypertrophic cardiomyopathy using F-18-fluorodeoxyglucose positron emission tomography. *PLOS ONE* 2017; 12 (11) :e0188479-e0188494. doi: 10.1371/journal.pone.0188479.
- 38) Emiri Tanaka, Derya Aytemiz, Shuhei Tara, Yasumoto Nakazawa : Fabrication and characterization of elastin-crosslinked silk fibroin material for tissue engineering. *Kobunshi Ronbunshu* 2018; 75 (1) :80-83. doi: 10.1295/koron.2017-0068.
- 39) Osamu Inaba, Yasuhiro Satoh, Mitsuaki Isobe, Takeshi Yamamoto, Ken Nagao, Morimasa Takayama : Factors and values at admission that predict a fulminant course of acute myocarditis: data from Tokyo CCU network database. *HEART AND VESSELS* 2017; 32 (8) :952-959. doi: 10.1007/s00380-017-0960-0.
- 40) Tadahisa Sugiura, Shuhei Tara, Hidetaka Nakayama, Tai Yi, Yong-Ung Lee, Toshihiro Shoji, Christopher K Breuer, Toshiharu Shinoka : Fast-degrading bioresorbable arterial vascular graft with high cellular infiltration inhibits calcification of the graft. *Journal of vascular surgery* 2017; 66 (1) :243-250. doi: 10.1016/j.jvs.2016.05.096.
- 41) Tomonari Kiriya, Yoshimitsu Fukushima, Hiromitsu Hayashi, Hitoshi Takano, Shin-Ichiro Kumita : Feasibility of combined risk stratification with coronary CT angiography and stress myocardial SPECT in patients with chronic coronary artery disease. *Annals of nuclear medicine* 2018; 32 (1) :22-33. doi: 10.1007/s12149-017-1214-z.
- 42) Nobuaki Kobayashi, Masamichi Takano, Masafumi Tsurumi, Yusaku Shibata, Suguru Nishigoori, Saori Uchiyama, Hirotake Okazaki, Akihiro Shirakabe, Yoshihiko Seino, Noritake Hata, Wataru Shimizu : Features and Outcomes of Patients with Calcified Nodules at Culprit Lesions of Acute Coronary Syndrome: An Optical Coherence Tomography Study. *Cardiology (Switzerland)* 2018; 139 (2) :90-100. doi: 10.1159/000481931.
- 43) 小宮山 浩大, 中村 正人, 田邊 健吾, 藤本 肇, 及川 恵子, 代田 浩之, 山本 剛, 長尾 建, 高山 守正, 東京都 CCU ネットワーク 学術委員会 : GRACE スコアによる院内死亡率は日本の ACS 患者にも有用である 東京都 CCU ネットワークデータベースからの解析. *ICU と CCU* 2017; 41 (別冊) :S31-S33.
- 44) 小宮山 浩大, 中村 正人, 田邊 健吾, 藤本 肇, 及川 恵子, 代田 浩之, 山本 剛, 長尾 建, 高山 守正, 東京都 CCU ネットワーク : GRACE リスクスコアによるハイリスク急性冠症候群の検討 東京都 CCU ネットワークデータからの解析. *日本心臓病学会学術集会抄録* 2017; 65 回:np7.
- 45) Suguru Nishiuchi, Takeru Makiyama, Takeshi Aiba, Kenzaburo Nakajima, Sayako Hirose, Hirohiko Kohjitani, Yuta Yamamoto, Takeshi Harita, Mamoru Hayano, Yimin Wuriyanghai, Jiarong Chen, Kenichi Sasaki, Nobue Yagihara, Taisuke Ishikawa, Kenji Onoue, Nobuyuki Murakoshi, Ichiro Watanabe, Kimie Ohkubo, Hiroshi Watanabe, Seiko Ohno, Takahiro Doi, Satoshi Shizuta, Tohru Minamino, Yoshihiko Saito, Yasushi Oginosawa, Akihiko Nogami, Kazutaka Aonuma, Kengo Kusano, Naomasa Makita, Wataru Shimizu, Minoru Horie, Takeshi Kimura : Gene-Based Risk Stratification for Cardiac Disorders in LMNA Mutation Carriers. *CIRCULATION-CARDIOVASCULAR GENETICS* 2017; 10 (6) doi: 10.1161/CIRCGENETICS.116.001603.
- 46) Kenichiro Yamagata, Minoru Horie, Takeshi Aiba, Satoshi Ogawa, Yoshifusa Aizawa, Tohru Ohe, Masakazu Yamagishi, Naomasa Makita, Harumizu Sakurada, Toshihiro Tanaka, Akihiko Shimizu, Nobuhisa Hagiwara, Ryoji Kishi, Yukiko Nakano, Masahiko Takagi, Takeru Makiyama, Seiko Ohno, Keiichi Fukuda, Hiroshi Watanabe, Hiroshi Morita, Kenshi Hayashi, Kengo Kusano, Shiro Kamakura, Satoshi Yasuda, Hisao Ogawa, Yoshihiro Miyamoto, Jamie D. Kapplinger, Michael J. Ackerman, Wataru Shimizu : Genotype-Phenotype Correlation of SCN5A Mutation for the Clinical and Electrocardiographic Characteristics of Proband With Brugada Syndrome A Japanese Multicenter Registry. *CIRCULATION* 2017; 135 (23) :2255-+. doi: 10.1161/CIRCULATIONAHA.117.027983.

- 47) Kazutaka Aonuma, Tsuyoshi Shiga, Hirotsugu Atarashi, Kosuke Doki, Hirotoshi Echizen, Nobuhisa Hagiwara, Junichi Hasegawa, Hideharu Hayashi, Kenzo Hirao, Fukiko Ichida, Takanori Ikeda, Yorinobu Maeda, Naoki Matsumoto, Toshiyuki Sakaeda, Wataru Shimizu, Mitsuru Sugawara, Kyoichi Totsuka, Yoshimasa Tsuchishita, Kazuyuki Ueno, Eiichi Watanabe, Masayuki Hashiguchi, Sumio Hirata, Hidefumi Kasai, Yoshiaki Matsumoto, Akihiko Nogami, Yukio Sekiguchi, Tokuko Shinohara, Atsushi Sugiyama, Naokata Sumitomo, Atsushi Suzuki, Naohiko Takahashi, Eiji Yukawa, Masato Homma, Minoru Horie, Hiroshi Inoue, Hiroshi Ito, Takanori Miura, Tohru Ohe, Kimikazu Shinozaki, Kazuhiko Tanaka : Guidelines for Therapeutic Drug Monitoring of Cardiovascular Drugs Clinical Use of Blood Drug Concentration Monitoring (JCS 2015) - Digest Version. CIRCULATION JOURNAL 2017; 81 (4) :581-612. doi: 10.1253/circj.CJ-66-0138.
- 48) Yoshitaka Kimura, Takashi Noda, Taka-aki Matsuyama, Yosuke Otsuka, Tsukasa Kamakura, Mitsuru Wada, Kohei Ishibashi, Yuko Inoue, Koji Miyamoto, Hideo Okamura, Satoshi Nagase, Takeshi Aiba, Shiro Kamakura, Teruo Noguchi, Toshihisa Anzai, Kazuhiro Satomi, Yuko Wada, Seiko Ohno, Minoru Horie, Wataru Shimizu, Satoshi Yasuda, Hiroaki Shimokawa, Kengo Kusano : Heart failure in patients with arrhythmogenic right ventricular cardiomyopathy: What are the risk factors?. INTERNATIONAL JOURNAL OF CARDIOLOGY 2017; 241:288-294. doi: 10.1016/j.ijcard.2017.04.061.
- 49) Etienne Gayat, Mattia Arrigo, Simona Littnerova, Naoki Sato, Jiri Parenica, Shiro Ishihara, Jindrich Spinar, Christian Müller, Veli-Pekka Harjola, Johan Lassus, Òscar Miró, Aldo P Maggioni, Khalid F AlHabib, Dong-Ju Choi, Jin Joo Park, Yuhui Zhang, Jian Zhang, James L Januzzi Jr, Katsuya Kajimoto, Alain Cohen-Solal, Alexandre Mebazaa : Heart failure oral therapies at discharge are associated with better outcome in acute heart failure: a propensity-score matched study. European journal of heart failure 2018; 20 (2) :345-354. doi: 10.1002/ejhf.932.
- 50) Shotaro Kuji, Masami Kosuge, Kazuo Kimura, Koichi Nakao, Yukio Ozaki, Junya Ako, Teruo Noguchi, Satoshi Yasuda, Satoru Suwa, Kazuteru Fujimoto, Yasuharu Nakama, Takashi Morita, Wataru Shimizu, Yoshihiko Saito, Atsushi Hirohata, Yasuhiro Morita, Teruo Inoue, Kunihiro Nishimura, Yoshihiro Miyamoto, Masaharu Ishihara : Impact of Acute Kidney Injury on In-Hospital Outcomes of Patients With Acute Myocardial Infarction - Results From the Japanese Registry of Acute Myocardial Infarction Diagnosed by Universal Definition (J-MINUET) Substudy -. CIRCULATION JOURNAL 2017; 81 (5) :733-739. doi: 10.1253/circj.CJ-16-1094.
- 51) Shiraishi Y, Kohsaka S, Abe T, Harada K, Miyazaki T, Miyamoto T, Iida K, Tanimoto S, Yagawa M, Takei M, Nagatomo Y, Hosoda T, Yamamoto T, Nagao K, Takayama M, Tokyo CCU Network Scientific Committee : Impact of Triggering Events on Outcomes of Acute Heart Failure. The American journal of medicine 2018; 131 (2) :156-164.e2. doi: 10.1016/j.amjmed.2017.09.008.
- 52) Eitaro Kodani, Hirotsugu Atarashi, Hiroshi Inoue, Ken Okumura, Takeshi Yamashita, Hideki Origasa : Impact of creatinine clearance on outcomes in patients with non-valvular atrial fibrillation: a subanalysis of the J-RHYTHM Registry. European heart journal. Quality of care & clinical outcomes 2018; 4 (1) :59-68. doi: 10.1093/ehjqcco/qcx032.
- 53) Masashi Fujino, Masaharu Ishihara, Hisao Ogawa, Koichi Nakao, Satoshi Yasuda, Teruo Noguchi, Yukio Ozaki, Kazuo Kimura, Satoru Suwa, Kazuteru Fujimoto, Yasuharu Nakama, Takashi Morita, Wataru Shimizu, Yoshihiko Saito, Atsushi Hirohata, Yasuhiro Morita, Teruo Inoue, Atsunori Okamura, Masaaki Uematsu, Junya Ako, Michikazu Nakai, Kunihiro Nishimura, Yoshihiro Miyamoto : Impact of symptom presentation on in-hospital outcomes in patients with acute myocardial infarction. JOURNAL OF CARDIOLOGY 2017; 70 (1-2) :29-34. doi: 10.1016/j.jjcc.2016.10.002.
- 54) Komiyama K, Nakamura M, Tanabe K, Niikura H, Fujimoto H, Oikawa K, Daida H, Yamamoto T, Nagao K, Takayama M, Tokyo CCU Network Scientific Committee : In-hospital mortality analysis of Japanese patients with acute coronary syndrome using the Tokyo CCU Network database: Applicability of the GRACE risk score. Journal of cardiology 2018; 71 (3) :251-258. doi: 10.1016/j.jjcc.2017.09.006.
- 55) Kohei Wakabayashi, Naoki Sato, Katsuya Kajimoto, Yuichiro Minami, Masayuki Mizuno, Takehiko Keida, Kuniya Asai, Ryo Munakata, Koji Murai, Yasushi Sakata, Hiroshi Suzuki, Teruo Takano : Incidence and predictors of in-hospital non-cardiac death in patients with acute heart failure. European heart journal. Acute cardiovascular care 2017; 6 (5) :441-449. doi: 10.1177/2048872615593388.
- 56) Yuji Murakawa, Teiichi Yamane, Masahiko Goya, Koichi Inoue, Shigeto Naito, Koichiro Kumagai, Yasushi Miyauchi, Norishige Morita, Akihiko Nogami, Morio Shoda, Ken Okumura, Kenzo Hirao : Incidence and predictors of pericardial effusion as an early complication of catheter ablation for atrial fibrillation: The Japanese Catheter Ablation Registry of Atrial Fibrillation (J-CARAF). Journal of

- arrhythmia 2017; 33 (5) :430-433. doi: 10.1016/j.joa.2017.04.009.
- 57) Victoria K. Pepper, Elizabeth S. Clark, Cameron A. Best, Ekene A. Onwuka, Tadahisa Sugiura, Eric D. Heuer, Lilamarie E. Moko, Shinka Miyamoto, Hideki Miyachi, Darren P. Berman, Sharon L. Cheatham, Joanne L. Chisolm, Toshiharu Shinoka, Christopher K. Breuer, John P. Cheatham : Intravascular Ultrasound Characterization of a Tissue-Engineered Vascular Graft in an Ovine Model. JOURNAL OF CARDIOVASCULAR TRANSLATIONAL RESEARCH 2017; 10 (2) :128-138. doi: 10.1007/s12265-016-9725-x.
- 58) Katsuya Kajimoto, Yuichiro Minami, Shigeru Otsubo, Naoki Sato, Naoki Sato, Kuniya Asai, Ryo Munakata, Toshiyuki Aokage, Asuka Yoshida, Yuichiro Minami, Dai Yumino, Masayuki Mizuno, Erisa Kawada, Kentaro Yoshida, Yuri Ozaki, Tomohito Kogure, Shintaro Haruki, Masayuki Mizuno, Katsuya Kajimoto, Koichi Nakao, Tadashi Sawamura, Toshiaki Nuki, Ryoji Ishiki, Shigeki Yokota, Hiroyuki Fujinaga, Takashi Yamamoto, Kenji Harada, Akihiro Saito, Norihito Kageyama, Takanobu Okumura, Noritake Hata, Koji Murai, Ayaka Nozaki, Hidekazu Kawanaka, Jun Tanabe, Yukihito Sato, Katsuhisa Ishii, Hitoshi Oiwa, Tomoaki Matsumoto, Daisuke Yoshida, Nobuo Kato, Hiroshi Suzuki, Nobuyuki Shimizu, Takehiko Keida, Masaki Fujita, Kentaro Nakamura, Toshiya Chinen, Kentaro Meguro, Tatsuro Kikuchi, Toshiyuki Nishikido, Marohito Nakata, Tatsuya Yamashita, Masaya Nakata, Akitoshi Hirono, Kazuaki Mitsudo, Kazushige Kadota, Noriko Makita, Nagisa Watanabe, Masaaki Kawabata, Kenichi Fujii, Shinichi Okuda, Shigeki Kobayashi, Ikuo Moriuchi, Kiyo o. Mizuno, Kazuo Osato, Tatsuaki Murakami, Yoshifumi Shimada, Katsushi Misawa, Hiromasa Kokado, Takashi Fujita, Yoshitomo Fukuoka, Syu Takabatake, Yoshifumi Takata, Manabu Miyagi, Nobuhiro Tanaka, Akira Yamashina, Shinji Sudo, Koichi Shimamura, Michitaka Nagashima, Tomoya Kaneda, Kosei Ueda, Hiromasa Kato, Toshinori Higashikata, Kanichi Fujimori, Hiroshi Kobayashi, Shinya Fujii, Masahiro Yagi, Yuri Ozaki, Jyunko Takaki, Eiji Yamashita, Takuji Toyama, Tetsuo Hirata, Kazuho Kamisihima, Toshiaki Oka, Ryushi Komatsu, Akira Itoh, Takahiko Naruko, Yukio Abe, Eiichirou Nakagawa, Atsuko Furukawa : Ischemic or Nonischemic Functional Mitral Regurgitation and Outcomes in Patients With Acute Decompensated Heart Failure With Preserved or Reduced Ejection Fraction. American Journal of Cardiology 2017; 120 (5) :809-816. doi: 10.1016/j.amjcard.2017.05.051.
- 59) Charles Antzelevitch, Gan-Xin Yan, Michael J. Ackerman, Martin Borggrefe, Domenico Corrado, Jihong Guo, Ihor Gussak, Can Hasdemir, Minoru Horie, Heikki Huikuri, Changsheng Ma, Hiroshi Morita, Gi-Byoung Nam, Frederic Sacher, Wataru Shimizu, Sami Viskin, Arthur A. M. Wilde : J-Wave syndromes expert consensus conference report: Emerging concepts and gaps in knowledge. EUROPACE 2017; 19 (4) :665-694. doi: 10.1093/europace/euw235.
- 60) Masaharu Ishihara, Koichi Nakao, Yukio Ozaki, Kazuo Kimura, Junya Ako, Teruo Noguchi, Masashi Fujino, Satoshi Yasuda, Satoru Suwa, Kazuteru Fujimoto, Yasuharu Nakama, Takashi Morita, Wataru Shimizu, Yoshihiko Saito, Atsushi Hirohata, Yasuhiro Morita, Teruo Inoue, Atsunori Okamura, Masaaki Uematsu, Kazuhito Hirata, Kengo Tanabe, Yoshisato Shibata, Mafumi Owa, Kenichi Tsujita, Hiroshi Funayama, Nobuaki Kokubu, Ken Kozuma, Tetsuya Tobaru, Shigeru Oshima, Michikazu Nakai, Kunihiro Nishimura, Yoshihiro Miyamoto, Hisao Ogawa : Long-Term Outcomes of Non-ST-Elevation Myocardial Infarction Without Creatine Kinase Elevation - The J-MINUET Study -. CIRCULATION JOURNAL 2017; 81 (7) :958-+. doi: 10.1253/circj.CJ-17-0033.
- 61) Takeshi Yamamoto : Management of patients with high-risk pulmonary embolism: A narrative review. Journal of Intensive Care 2018; 6 (1) :16. doi: 10.1186/s40560-018-0286-8.
- 62) Aya Miyazaki, Heima Sakaguchi, Yu Matsumura, Yosuke Hayama, Kanae Noritake, Jun Negishi, Etsuko Tsuda, Yoshihiro Miyamoto, Takeshi Aiba, Wataru Shimizu, Kengo Kusano, Isao Shiraishi, Hideo Ohuchi : Mid-Term Follow-up of School-Aged Children With Borderline Long QT Interval. CIRCULATION JOURNAL 2017; 81 (5) :726-+. doi: 10.1253/circj.CJ-16-0991.
- 63) Nancy Luo, Tiew-Hwa Katherine Teng, Wan Ting Tay, Inder S. Anand, William E. Kraus, Houng Bang Liew, Lieng Hsi Ling, Christopher M. O'Connor, Ileana L. Pina, A. Mark Richards, Wataru Shimizu, David J. Whellan, Jonathan Yap, Carolyn S. P. Lam, Robert J. Mentz : Multinational and multiethnic variations in health-related quality of life in patients with chronic heart failure. AMERICAN HEART JOURNAL 2017; 191:75-81. doi: 10.1016/j.ahj.2017.06.016.
- 64) Eitaro Kodani, Takehiko Nagao : Novel Therapeutic Target of Anticoagulation Therapy in Patients With Atrial Fibrillation - Cognitive Decline and Dementia. Circulation journal : official journal of the Japanese Circulation Society 2018; 82 (3) :644-645. doi: 10.1253/circj.CJ-18-0045.
- 65) Mark W Maxfield, Mitchel R Stacy, Hirotsugu Kurobe, Shuhei Tara, Tai Yi, Muriel A Cleary, Zhen W Zhuang, Manuel I Rodriguez-



- Davalos, Sukru H Emre, Yasuko Iwakiri, Toshiharu Shinoka, Christopher K Breuer : Novel application and serial evaluation of tissue-engineered portal vein grafts in a murine model. *Regenerative medicine* 2017; 12 (8) :929-938. doi: 10.2217/rme-2017-0021.
- 66) Manabu Ogita, Satoru Suwa, Hideki Ebina, Koichi Nakao, Yukio Ozaki, Kazuo Kimura, Junya Ako, Teruo Noguchi, Satoshi Yasuda, Kazuteru Fujimoto, Yasuharu Nakama, Takashi Morita, Wataru Shimizu, Yoshihiko Saito, Atsushi Hirohata, Yasuhiro Morita, Teruo Inoue, Atsunori Okamura, Masaaki Uematsu, Kazuhito Hirata, Kengo Tanabe, Yoshisato Shibata, Mafumi Owa, Seiji Hokimoto, Hiroshi Funayama, Nobuaki Kokubu, Ken Kozuma, Shiro Uemura, Tetsuya Toubaru, Keiji Saku, Shigeru Oshima, Kunihiro Nishimura, Yoshihiro Miyamoto, Masaharu Ishihara : Off-hours presentation does not affect in-hospital mortality of Japanese patients with acute myocardial infarction: J-MINUET substudy. *JOURNAL OF CARDIOLOGY* 2017; 70 (5-6) :553-558. doi: 10.1016/j.jjcc.2017.05.006.
- 67) 橋本伸吾, 川崎達也, 笠井健一, 城田あゆみ, 酒井千恵子, 張本邦泰, 岡田博史, 安田孝志, 神谷匡昭 : PI(perfusion index:灌流指標)を用いた,運動負荷に伴う血流評価の検討. *日本下肢救済・足病学会誌* 2017; 9 (2)
- 68) Maruyama M, Uetake S, Miyauchi Y, Seino Y, Shimizu W : Peri-coronary sinus atrial flutter associated with prior slow pathway ablation. *HeartRhythm case reports* 2018; 4 (1) :10-13. doi: 10.1016/j.hrcr.2017.10.012.
- 69) Kenichiro Yamagata, Atsushi Doi, Hiro Kawata, Hisaki Makimoto, Teruki Yokoyama, Yuko Inoue, Hideo Okamura, Takashi Noda, Wataru Shimizu, Naohiko Aihara, Takayuki Maki, Shiro Kamakura, Kengo Kusano, Kazuhiro Satomi : Persistent tachycardia within isolated pulmonary veins during atrial fibrillation ablation. *HEART AND VESSELS* 2017; 32 (8) :1006-1012. doi: 10.1007/s00380-017-0963-x.
- 70) Atsushi Mizuno, Mitsunori Miyashita, Akitoshi Hayashi, Fujimi Kawai, Koichiro Niwa, Akemi Utsunomiya, Shun Kohsaka, Takashi Kohno, Takeshi Yamamoto, Morimasa Takayama, Toshihisa Anzai : Potential palliative care quality indicators in heart disease patients: A review of the literature. *JOURNAL OF CARDIOLOGY* 2017; 70 (3-4) :335-341. doi: 10.1016/j.jjcc.2017.02.010.
- 71) Akihiro Shirakabe, Noritake Hata, Nobuaki Kobayashi, Hirotake Okazaki, Masato Matsushita, Yusaku Shibata, Suguru Nishigoori, Saori Uchiyama, Kuniya Asai, Wataru Shimizu : Prognostic benefit of maintaining the hemoglobin level during the acute phase in patients with severely decompensated acute heart failure. *Heart and Vessels* 2018; 33 (3) :264-278. doi: 10.1007/s00380-017-1057-5.
- 72) Yu-Ki Iwasaki : Pulmonary vein remodeling in hypertension: Mechanistic insight into primary prevention of atrial fibrillation. *Anatolian Journal of Cardiology* 2018; 19 (3) :176. doi: 10.14744/AnatolJCardiol.2017.25931.
- 73) Fujimoto Yuhi, Yodogawa Kenji, Maru Yujin, Oka Eiichiro, Takahashi Kenta, Hayashi Hiroshi, Yamamoto Teppei, Iwasaki Yuki, Hayashi Meiso, Shimizu Wataru : P波ノッチ成分は電氣的除細動後の心房細動再発の新しい心電図指標である (Notched P Wave Component is a New Electrocardiographic Marker for Recurrence of Atrial Fibrillation after Electrical Cardioversion). *日本循環器学会学術集会抄録集* 2018; 82回:PE012-6.
- 74) Fujimoto Yuhi, Yodogawa Kenji, Takahashi Kenta, Tsuboi Ippei, Hayashi Hiroshi, Uetake Shunsuke, Iwasaki Yu-ki, Hayashi Meiso, Miyauchi Yasushi, Shimizu Wataru : P波分散による心房細動カテーテルアブレーション後の逆心房リモデリングの非侵襲的評価 (Noninvasive evaluation of reverse atrial remodeling after catheter ablation of atrial fibrillation by P wave dispersion). *Heart and Vessels* 2017; 32 (11) :1375-1381. doi: 10.1007/s00380-017-1008-1.
- 75) 山下 武志, 鈴木 信也, 小谷 英太郎, 赤尾 昌治 : ROUND TABLE DISCUSSION 心房細動リスクスコアと日本人 (MAIN CONTENTS 心房細動リスクスコアを整理する). *Cardio-coagulation = カーディオコアギュレーション : 循環器における抗凝固療法* 2017; 4 (2) :70-78.
- 76) Javed Butler, Carine E Hamo, James E Udelson, Christopher O'Connor, Hani N Sabbah, Marco Metra, Sanjiv J Shah, Dalane W Kitzman, John R Teerlink, Harold S Bernstein, Gabriel Brooks, Christophe Depre, Mary M DeSouza, Wilfried Dinh, Mark Donovan, Regina Frische-Danielson, Robert J Frost, Dahlia Garza, Udo-Michael Gohring, Jennifer Hellawell, Judith Hsia, Shiro Ishihara, Patricia Kay-Mugford, Joerg Koglin, Marc Kozinn, Christopher J Larson, Martha Mayo, Li-Ming Gan, Pierre Mugnier, Sekayi Mushonga, Lothar Roessig, Cesare Russo, Afshin Salsali, Carol Satler, Victor Shi, Barry Ticho, Michael van der Laan, Clyde Yancy, Norman Stockbridge, Mihai Gheorghiadu : Reassessing Phase II Heart Failure Clinical Trials: Consensus Recommendations. *Circulation. Heart failure* 2017; 10 (4) doi: 10.1161/CIRCHEARTFAILURE.116.003800.
- 77) Heller Simon R, Bergenstal Richard M, White William B, Kupfer Stuart, Bakris George L, Cushman William C, Mehta Cyrus R,

- Nissen Steven E, Wilson Craig A, Zannad Faiez, Liu Yuyin, Gourlie Noah M, Cannon Christopher P, EXAMINE Investigators : Relationship of glycosylated haemoglobin and reported hypoglycaemia to cardiovascular outcomes in patients with type 2 diabetes and recent acute coronary syndrome events: The EXAMINE trial. *Diabetes, Obesity & Metabolism* 2017; 19 (5) :664-671. doi: 10.1111/dom.12871.
- 78) Yuji Murakawa, Akihiko Nogami, Morio Shoda, Koichi Inoue, Shigeto Naito, Koichiro Kumagai, Yasushi Miyauchi, Teiichi Yamane, Norishige Morita, Hideo Mitamura, Ken Okumura, Kenzo Hirao : Report of periprocedural oral anticoagulants in catheter ablation for atrial fibrillation: The Japanese Catheter Ablation Registry of Atrial Fibrillation (J-CARAF). *Journal of arrhythmia* 2017; 33 (3) :172-176. doi: 10.1016/j.joa.2016.10.002.
- 79) Kenichiro Yamagata, Takeshi Aiba, Wataru Shimizu : Response by Yamagata et al to Letter Regarding Article, "Genotype-Phenotype Correlation of SCN5A Mutation for the Clinical and Electrocardiographic Characteristics of Proband With Brugada Syndrome: A Japanese Multicenter Registry". *CIRCULATION* 2017; 136 (23) :2289-2290. doi: 10.1161/CIRCULATIONAHA.117.030845.
- 80) Hirotake Okazaki, Akihiro Shirakabe, Toshiaki Otsuka, Nobuaki Kobayashi, Noritake Hata, Takuro Shinada, Masato Matsushita, Yoshiya Yamamoto, Junsuke Shibuya, Reiko Shiomura, Suguru Nishigoori, Kuniya Asai, Wataru Shimizu : Response to letter regarding article, "The prognostic impact of uric acid in patients with severely decompensated acute heart failure". *JOURNAL OF CARDIOLOGY* 2017; 70 (1-2) :200. doi: 10.1016/j.jjcc.2017.02.001.
- 81) Takuma Fukunishi, Cameron A Best, Chin Siang Ong, Tyler Groehl, James Reinhardt, Tai Yi, Hideki Miyachi, Huaitao Zhang, Toshiharu Shinoka, Christopher K Breuer, Jed Johnson, Narutoshi Hibino : Role of Bone Marrow Mononuclear Cell Seeding for Nanofiber Vascular Grafts. *Tissue engineering. Part A* 2018; 24 (1-2) :135-144. doi: 10.1089/ten.TEA.2017.0044.
- 82) 小谷英太郎, 大塚俊昭, 緒方憲一, 草間芳樹 : SGLT2 阻害薬による体重減少作用と 2 型糖尿病に合併する高血圧の関係. *日本高血圧学会総会プログラム・抄録集* 2017; 40th:380.
- 83) 戸村 泰規, 岩崎 雄樹, 萩原 かな子, 岡 英一郎, 高橋 健太, 林 洋史, 山本 哲平, 淀川 顕司, 清水 渉, 鈴木 健一, 市場 晋吾 : SOUNDSTAR による心房中隔穿刺部タグとガイドワイヤーContour によるアブレーションカテーテルの左房アプローチ法における有効性と安全性の検討. *日本循環器学会学術集会抄録集* 2018; 82 回:CP32-5.
- 84) Taichirou Morisawa, Akihiro Nakagomi, Keiichi Kohashi, Yoshiki Kusama, Wataru Shimizu : Serum tartrate-resistant acid phosphatase-5b levels are associated with the severity and extent of coronary atherosclerosis in patients with coronary artery disease. *Journal of Atherosclerosis and Thrombosis* 2017; 24 (10) :1058-1068. doi: 10.5551/jat.39339.
- 85) Taisuke Ishikawa, Seiko Ohno, Takashi Murakami, Kentaro Yoshida, Hiroyuki Mishima, Tetsuya Fukuoka, Hiroki Kimoto, Risa Sakamoto, Takafumi Ohkusa, Takeshi Aiba, Akihiko Nogami, Naokata Sumitomo, Wataru Shimizu, Koh-ichiro Yoshiura, Hitoshi Horigome, Minoru Horie, Naomasa Makita : Sick sinus syndrome with HCN4 mutations shows early onset and frequent association with atrial fibrillation and left ventricular noncompaction. *Heart Rhythm* 2017; 14 (5) :717-724. doi: 10.1016/j.hrthm.2017.01.020.
- 86) Tsukasa Kamakura, Mitsuru Wada, Kohei Ishibashi, Yuko Y. Inoue, Koji Miyamoto, Hideo Okamura, Satoshi Nagase, Takashi Noda, Takeshi Aiba, Satoshi Yasuda, Wataru Shimizu, Shiro Kamakura, Kengo Kusano : Significance of coronary artery spasm diagnosis in patients with early repolarization syndrome. *Journal of the American Heart Association* 2018; 7 (4) doi: 10.1161/JAHA.117.007942.
- 87) Shinka Miyamoto, Toshihiro Shoji, Hideki Miyachi, Toshiharu Shinoka : Smart Biomaterials for Cardiovascular Tissue Engineering. *RSC Smart Materials* 2017; 2017-January (25) :230-257. doi: 10.1039/9781788010542-00230.
- 88) 柴田 祐作, 小林 宣明, 内山 沙央里, 西郡 卓, 岡崎 大武, 白壁 章宏, 畑 典武, 清水 渉 : Stanford A 型急性大動脈解離による右冠動脈入口部圧排を光干渉断層装置(OCT)で観察した 1 症例. *日本集中治療医学会雑誌* 2018; 25 (Suppl.) :[P30-5].
- 89) Reiko Shiomura, Yasuhiro Takahashi, Erito Furuse, Junya Matsuda, Taisuke Sato, Wataru Shimizu : Successful Endovascular Treatment of Chronic Total Superficial Femoral Artery Occlusion Using a Side-hole Sheath and Re-entry Catheter. *JOURNAL OF THE AMERICAN COLLEGE OF CARDIOLOGY* 2017; 69 (16) :S300-S301.
- 90) Yasuhiro Takahashi, Reiko Shiomura, Erito Furuse, Junya Matsuda, Taisuke Sato, Wataru Shimizu : Successful Trans-collateral Approach for Chronic Total Occlusion of the Superficial Femoral Artery Using a Side-hole Sheath. *JOURNAL OF THE AMERICAN COLLEGE OF CARDIOLOGY* 2017; 69 (16) :S329-S331.
- 91) Yukiko Nakano, Shimizu Wataru : Syncope in patients with inherited arrhythmias. *Journal of Arrhythmia* 2017; 33 (6) :572-578. doi:

- 10.1016/j.joa.2017.07.007.
- 92) Aoyama Rie, Takano Hitoshi, Suzuki Keishi, Kubota Yoshiaki, Inui Keisuke, Tokita Yukichi, Shimizu Wataru : The impact of blood pressure variability on coronary plaque vulnerability in stable angina: an analysis using optical coherence tomography. *Coronary artery disease* 2017; 28 (3) :225-231. doi: 10.1097/MCA.0000000000000462.
- 93) Ayaka Nozaki, Akihiro Shirakabe, Noritake Hata, Nobuaki Kobayashi, Hirotake Okazaki, Masato Matsushita, Yusaku Shibata, Suguru Nishigoori, Saori Uchiyama, Yoshiki Kusama, Kuniya Asai, Wataru Shimizu : The prognostic impact of gender in patients with acute heart failure - An evaluation of the age of female patients with severely decompensated acute heart failure. *Journal of Cardiology* 2017; 70 (3-4) :255-262. doi: 10.1016/j.jjcc.2016.11.015.
- 94) Akihiro Shirakabe, Noritake Hata, Nobuaki Kobayashi, Hirotake Okazaki, Masato Matsushita, Yusaku Shibata, Suguru Nishigoori, Saori Uchiyama, Kuniya Asai, Wataru Shimizu : The prognostic impact of malnutrition in patients with severely decompensated acute heart failure, as assessed using the Prognostic Nutritional Index (PNI) and Controlling Nutritional Status (CONUT) score. *Heart and Vessels* 2018; 33 (2) :134-144. doi: 10.1007/s00380-017-1034-z.
- 95) Erito Furuse, Hitoshi Takano, Takeshi Yamamoto, Yoshiaki Kubota, Takashi Yoshizane, Mitsunobu Kitamura, Hideki Miyachi, Yusuke Hosokawa, Wataru Shimizu : Time course of the antiplatelet effect after switching to clopidogrel from initial prasugrel therapy in patients with acute coronary syndrome. *HEART AND VESSELS* 2017; 32 (12) :1432-1438. doi: 10.1007/s00380-017-1016-1.
- 96) Joseph D. Drews, Hideki Miyachi, Toshiharu Shinoka : Tissue-engineered vascular grafts for congenital cardiac disease: Clinical experience and current status. *Trends in Cardiovascular Medicine* 2017; 27 (8) :521-531. doi: 10.1016/j.tcm.2017.06.013.
- 97) Yasuhiro Takahashi, Taisuke Sato, Hirotake Okazaki, Ayaka Nozaki, Masato Matsushita, Masataka Kamiya, Wataru Shimizu : Transvenous Intravascular Ultrasound-Guided Endovascular Treatment for Chronic Total Occlusion of the Infringuinal Arteries. *Journal of Endovascular Therapy* 2017; 24 (5) :718-726. doi: 10.1177/1526602817723139.
- 98) Tadahisa Sugiura, Riddhima Agarwal, Shuhei Tara, Tai Yi, Yong-Ung Lee, Christopher K Breuer, Anthony S Weiss, Toshiharu Shinoka : Tropoelastin inhibits intimal hyperplasia of mouse bioresorbable arterial vascular grafts. *Acta biomaterialia* 2017; 52:74-80. doi: 10.1016/j.actbio.2016.12.044.
- 99) 樋口 聡, 宮内 克己, 山崎 正雄, 田中 博之, 吉川 雅智, 山下 淳, 堀内 優, 岸 幹夫, 吉野 秀朗, 長尾 建, 山本 剛, 高山 守正, 東京都 CCU ネットワーク学術委員会 : Type2 心筋梗塞の臨床的特徴 東京都 CCU ネットワークからの報告. *ICU と CCU* 2017; 41 (別冊) :S24-S25.
- 100) Yasushi Miyauchi : Uncommon atrial flutter. Catheter Ablation: A Current Approach on Cardiac Arrhythmias 2018:101-108. doi: 10.1007/978-981-10-4463-2\_10.
- 101) Mitsunobu Kitamura, Yasuo Amano, Morimasa Takayama, Junsuke Shibuya, Junya Matsuda, Hideto Sangen, Shunichi Nakamura, Hitoshi Takano, Kuniya Asai, Shinichiro Kumita, Wataru Shimizu : Usefulness of Non-Anteroseptal Region Left Ventricular Hypertrophy Using Cardiac Magnetic Resonance to Predict Repeat Alcohol Septal Ablation for Refractory Obstructive Hypertrophic Cardiomyopathy. *American Journal of Cardiology* 2017; 120 (1) :124-130. doi: 10.1016/j.amjcard.2017.03.248.
- 102) 松田 淳也 : 【ER、ICU のための循環器疾患の見方、考え方-エキスパートの診断テクニック-】浮腫 収縮性心膜炎(慢性の急性増悪も含む). *救急・集中治療* 2018; 30 (2) :276-280.
- 103) 嶋原 祥太, 佐藤 直樹 : 【ER・ICU における手技の基本と実際-ベテランに学ぶトラブル回避法-】急性期管理 IABP(大動脈内バルーンポンピング). *救急・集中治療* 2017; 29 (臨増) :e195-e199.
- 104) 小谷 英太郎 : 【不整脈-知りたかった現在および近未来の治療スタンダード】実地医家が知っておくべき不整脈診療 心房細動による脳塞栓症予防のための抗凝固療法の進めかた リアルワールドエビデンスに基づいて. *Medical Practice* 2017; 34 (6) :904-914.
- 105) 小谷 英太郎 : 【不整脈診療-ずっと疑問・まだ疑問】抗凝固療法を考える DOAC はどれも同じか. *循環器ジャーナル* 2017; 65 (3) :463-472. doi: 10.11477/mf.1438200069.
- 106) 村田 広茂, 清水 渉 : 【先制医療-予防医療の最前線-】先制医療・予防医療の実際 心臓突然死. *診断と治療* 2018; 106 (1) :41-47.
- 107) 萩原 かな子, 岩崎 雄樹, 清水 渉 : 【循環器診療 薬のギモン-エキスパートに学ぶ薬物治療のテクニック】不整脈診療でのギモン AF に対する抗不整脈薬, 抗コリン薬は, どのような人に使ったらいいの? アミオダロンはどのようなときに使うの?. *循環器ジャーナル* 2018; 66

- (1) :108-114. doi: 10.11477/mf.1438200123.
- 108)岩崎 雄樹, 清水 渉 : 【心不全予防に向けた疾患とリスク管理】 心不全予防に対する心房細動の管理. 循環器内科 2017; 81 (5) :419-422.
- 109)岩崎 雄樹 : 【心房細動リスクスコアを整理する】 大出血リスクスコア HAS-BLED スコア、HEMORR2HAGES スコア、ORBIT スコア、ATRIA 出血リスクスコア. Cardio-Coagulation 2017; 4 (2) :87-92.
- 110)岩崎 雄樹, 清水 渉 : 【心臓ビギナー集まれ!治療もケアもしっかりわかる 循環器の病気ずかん】 (第1章)心臓の世界へようこそ! 刺激伝導系をみてみよう. ハートナーシング 2017; (2017 春季増刊) :17.
- 111)清水 渉, 長谷川 泰弘, 草野 研吾, 木村 和美 : 【無症候性心房細動をどう捉えるか】 潜因性脳梗塞と無症候性心房細動. Cardio-Coagulation 2018; 4 (4) :210-217.
- 112)高木 元, 古山 景子 : こんなとき,どうする?: 明日からできる実践編 (特集 循環器ナース必読! フットケアをはじめよう!) -- (循環器外来の事例). 循環器ナーシング 2017; 7 (4) :64-73.
- 113)脇田 真希, 井守 洋一, 高野 仁司, 小野寺 健太, 塩村 玲子, 野間 さつき, 黄 俊憲, 三軒 豪仁, 久保田 芳明, 中村 俊一, 太良 修平, 時田 祐吉, 山本 剛, 浅井 邦也, 清水 渉 : たこつば型心筋症の院内アウトカムにおけるストレス誘因の影響. 日本心臓病学会学術集会抄録 2017; 65 回:O-213.
- 114)前川 裕一郎, 吉川 勉, 上田 哲郎, 坂田 好美, 磯貝 俊明, 村上 力, 山口 徹雄, 井守 洋一, 寺岡 邦彦, 長尾 建, 山本 剛, 高山 守正, 東京都 CCU ネットワーク学術委員会たこつば心筋症班 : たこつば心筋症における入院時白血球数の意義. ICU と CCU 2017; 41 (別冊) :S28-S30.
- 115)轟 崇弘, 高野 仁司, 井守 洋一, 泉 佑樹, 小野寺 健太, 松田 淳也, 北村 光信, 三軒 豪仁, 野間 さつき, 黄 俊憲, 中村 有希, 久保田 芳明, 細川 雄亮, 太良 修平, 時田 祐吉, 山本 剛, 浅井 邦也, 清水 渉 : アルコール中隔焼灼術が肥大型閉塞性心筋症患者の左室拡張機能に及ぼす効果(Impact of Alcohol Septal Ablation on Left Ventricular Diastolic Function in Patients with Hypertrophic Obstructive Cardiomyopathy). 日本循環器学会学術集会抄録集 2018; 82 回:PJ040-1.
- 116)Iwasaki Yuki, Maru Yujin, Fujimoto Yuhi, Oka Eiichiro, Hagiwara Kanako, Takahashi Kenta, Hayashi Hiroshi, Yamamoto Teppei, Yodogawa Kenji, Hayashi Meiso, Shimizu Wataru : カテーテルアブレーション手技と関連した血管アクセス合併症の発生率と治療 (Incidence and Management of Vascular Access Complication Associated with Catheter Ablation Procedure). 日本循環器学会学術集会抄録集 2018; 82 回:PE119-4.
- 117)小宮山 英徳, 高野 雅充, 村上 大介, 小林 宣明, 栗原 理, 松下 誠人, 池田 健, 宮國 知世, 澤谷 倫史, 谷 憲一, 宮内 靖史, 清野 精彦, 清水 渉 : ガイドライナーを用いた Buddy Wire テクニック. 日本心血管インターベンション治療学会抄録集 2017; 26 回:MP144.
- 118)太良 修平, 黄 俊憲, 増永 直久, 大森 郁子, 高橋 健太, 三軒 豪仁, 細川 雄亮, 山口 博樹, 山本 剛, 清水 渉 : シクロフォスファミド心筋炎に対して補助循環を確立し骨髄移植を成功し得た再生不良性貧血の一例. 日本集中治療医学会雑誌 2018; 25 (Suppl.) :[O39-3].
- 119)Kubota Yoshiaki, Asai Kuniya, Nakajima Ikutarou, Noda Takashi, Wada Mitsuru, Ishibashi Kohei, Hagiwara Nobuhisa, Ikeda Takanori, Kurita Takashi, Shimizu Wataru : トルバプタンの投与を受けた心不全患者の臨床的特徴と転帰:ASIAN HF Registry の日本人コホートデータから. 日本心不全学会学術集会プログラム・抄録集 2017; 21st
- 120)村田 哲平, 山本 剛, 原 信博, 問淵 圭, 水野 篤, 田辺 康宏, 久武 真二, 野里 寿史, 尾林 徹, 長尾 建, 高山 守正 : ハイリスク肺塞栓症の 10 年間、2006~2015 年 東京 CCU ネットワーク(The 10 Years of High-risk Pulmonary Embolism, 2006 to 2015: Tokyo CCU Network). 日本循環器学会学術集会抄録集 2018; 82 回:OJ13-3.
- 121)池田 健, 小宮山 英徳, 高野 雅充, 宮國 知世, 松下 誠人, 栗原 理, 稲見 徹, 村上 大介, 宮内 靖史, 清野 精彦, 水野 杏一, 清水 渉 : バルーン閉塞型血管内視鏡と新規血流維持型血管内視鏡の直接比較. 心臓血管内視鏡 2017; 3 (Suppl.) :s46.
- 122)Almheiri Shaikha Saeed Butti Ali, 太良 修平, 大坪 春美, 高木 元, 宮本 正章, 清水 渉 : マゴット分泌液の最適な採取法の検討. 日本医科大学医学会雑誌 2017; 13 (3) :162-163.
- 123)天野康雄, 柳澤美美, 城正樹, 汲田伸一郎, 乾恵輔, 浅井邦也, 鈴木康之, 松本直也 : マルチモダリティによる Cardiac Imaging 2017 臨床編 II MRI のストラテジー&アウトカム 心臓 MRI の最新動向と今後の展望. Innervision 2017; 32 (5)
- 124)杉原 加寿子, 小谷 英太郎, 草間 芳樹, 高瀬 久光 : メトホルミン投与例におけるヨード造影剤使用後の腎機能の変化. 日本病院薬剤師

- 会雑誌 = Journal of Japanese Society of Hospital Pharmacists 2018; 54 (2) :191-196.
- 125)三軒豪仁, 山本剛, 小野寺健太, 黄俊憲, 高橋健太, 宮地秀樹, 細川雄亮, 太良修平, 時田祐吉, 高野仁司, 浅井邦也, 清水渉 : 三次救急システムでトリアージされた複雑な急性心筋梗塞患者の臨床的特徴と経過. 日本循環器学会学術集会 2018; 82回:PJ065-3.
- 126)小谷英太郎 : 不整脈 実地医家が知っておくべき不整脈診療 心房細動による脳塞栓症予防のための抗凝固療法の進めかたーリアルワールドエビデンスに基づいてー. Medical Practice 2017; 34 (6) :904-914.
- 127)桐木(市川) 園子, 高木 元, 宮本 正章 : 中高年ダイバーの循環器疾患リスク評価の重要性 (第 51 回学術総会シンポジウム ダイバーの健康診断). 日本高気圧環境・潜水医学会雑誌 = The Japanese journal of hyperbaric and undersea medicine 2017; 52 (2) :62-64.
- 128)淀川 顕司 : 丸山論文に対する Editorial Comment. 心臓 2017; 49 (7) :678.
- 129)諸岡 雅城, 山本 哲平, 岩崎 雄樹, 佐藤 達志, 茂澤 幸右, 野間 さつき, 吉永 綾, 塚田 弥生, 浅井 邦也, 清水 渉 : 僧帽弁の感染性心内膜炎治療後に大動脈弁に新規非感染性疣腫を発症した 1 例. 日本内科学会関東地方会 2017; 634 回:35.
- 130)浅野 和宏, 萩原 かな子, 久保田 芳明, 井守 洋一, 吉川 雅智, 岩崎 雄樹, 清水 渉 : 免疫抑制剤の投与中に発症したレジオネラ肺炎の 1 例. 日本内科学会関東地方会 2017; 633 回:32.
- 131)羽田 朋人, 高木 元, 宮本 正章, 太良 修平, 桐木 園子, 高木 郁代, 清水 渉 : 全身血管機能改善に向けた血管再生治療研究. 脈管学 2017; 57 (Suppl.) :S181.
- 132)高木 元, 宮本 正章, 桐木 園子, 太良 修平, 羽田 朋人, 高木 郁代, 清水 渉 : 再生医療の応用 再生医療による創傷治癒学の未来 虚血性潰瘍への幹細胞移植効率向上は高気圧酸素で制する. 日本創傷治癒学会プログラム・抄録集 2017; 47 回:84.
- 133)小宮山 英徳, 高野 雅充, 宮國 知世, 池田 健, 松下 誠人, 栗原 理, 稲見 徹, 村上 大介, 宮内 靖史, 清野 精彦, 水野 杏一, 清水 渉 : 冠動脈プラーク形態とずり応力の関係性. 心臓血管内視鏡 2017; 3 (Suppl.) :s37.
- 134)高木 元, 宮本 正章, 清水 渉 : 創傷治療の多様化する治療法とその未来. 日本フットケア学会雑誌 2017; 15 (3) :112-115. doi: 10.18970/footcare.19.
- 135)門岡 浩介, 高橋 健太, 増永 直久, 黄 俊憲, 三軒 豪仁, 太良 修平, 細川 雄亮, 山本 剛, 清水 渉, 西村 隆 : 劇症型心筋炎を発症し両心補助人工心臓を必要とした 1 例. 日本集中治療医学会雑誌 2018; 25 (Suppl.) :[P65-5].
- 136)小谷 英太郎, 金子 朋広, 藤井 仁美, 中村 弘之, 佐々部 一, 伊野 勲, 田村 豊 : 国民健康保険加入者の特定健診を利用した心房細動の早期検出の試み 多摩市医師会プロジェクト AF. 日本心臓病学会学術集会抄録 2017; 65 回:P-303.
- 137)小谷英太郎, 金子朋広, 藤井仁美, 中村弘之, 佐々部一, 伊野勲, 田村豊, 新博次 : 国民健康保険加入者の特定健診を利用した心房細動の検出ー多摩市医師会プロジェクト AFー. 心電図 2018; 38 (Supplement 1) :35.
- 138)大野 敦, 植木 彬夫, 小谷 英太郎, 関口 芳弘, 宮川 高一 : 多摩地域の内科医対象のアンケート調査結果から見た糖尿病の薬物療法の選択状況に関する年次推移. 日本内科学会雑誌 2018; 107 (Suppl.) :166.
- 139)藤井仁美, 藤井仁美, 明石のぞみ, 黒石川誠, 小谷英太郎, 佐々部一, 中村弘, 本城聡, 渡辺敏樹, 伊野勲, 宮川高一, 宮川高一, 田村豊 : 多摩市「糖尿病重症化予防事業」の成果と考察ー医師会の立場から. 糖尿病合併症 2017; 31 (Supplement 1) :266.
- 140)三軒豪仁, 山本剛, 小野寺健太, 黄俊憲, 高橋健太, 井守洋一, 太良修平, 高野仁司, 浅井邦也, 清水渉 : 大動脈内バルーンポンピング(IABP)が血行動態を悪化させた流出路狭窄を伴うたこっぼ型心筋症の一例. 日本心臓病学会学術集会 2017; 65th
- 141)三軒 豪仁, 山本 剛, 小野寺 健太, 黄 俊憲, 高橋 健太, 井守 洋一, 太良 修平, 高野 仁司, 浅井 邦也, 清水 渉 : 大動脈内バルーンポンピング(IABP)が血行動態を悪化させた流出路狭窄を伴うたこっぼ型心筋症の一例. 日本心臓病学会学術集会抄録 2017; 65 回:O-207.
- 142)鈴木 幹人, 久保田 芳明, 星加 優, 小野 芹奈, 脇田 真希, 高圓 雅博, 井守 洋一, 岩崎 雄樹, 清水 渉 : 妊娠経過中に一過性の左室肥大と心不全を呈した 1 例. 日本内科学会関東地方会 2017; 636 回:29.
- 143)KAWAMATA Hirofumi, KAWASAKI Tatsuya, KASAI Kenichi, HASHIMOTO Shingo, SHIROTA Ayumi, SAKAI Chieko, HARIMOTO Kuniyasu, MIKI Shigeyuki, KAMITANI Tadaaki : 安定型心不全患者における運動への異常な血圧反応と運動耐容能. 日本心不全学会学術集会プログラム・抄録集 2017; 21st
- 144)松田 淳也, 高橋 保裕, 塩村 玲子, 福泉 偉, 佐藤 太亮, 清水 渉 : 左主幹部入口部病変に対するステント位置決め Filtrap が有用であった一例. 日本心血管インターベンション治療学会抄録集 2017; 26 回:YI2-5.
- 145)池田 隆徳, 木下 利雄, 三輪 陽介, 淀川 顕司, 吉岡 公一郎, 中村 紘規, 渡邊 英一, 中川 幹子, 中村 健太郎, 柚須 悟, 渡邊 哲,

- 寒川 睦子, 中原 志朗, 水牧 功一: 左室機能不全患者の心臓死に関する心電図マーカーを用いたリスク層別化 JANIES-LVD 試験(Risk Stratification for Cardiac Mortality Using Electrocardiographic Markers in Patients with Left Ventricular Dysfunction: The JANIES-LVD Study). 日本循環器学会学術集会抄録集 2018; 82 回:LBCS2-4.
- 146)久保田芳明, 岩崎雄樹, 齊藤研, 轟崇弘, 菅原一樹, 藤本雄飛, 萩原かな子, 泉佑樹, 淀川顕司, 浅井邦也, 清水渉, 川瀬康裕, 坂本俊一郎, 石井庸介, 新田隆: 巨大左心耳内に頻脈性心房細動を伴う心不全発症により血栓を生じた滲出性収縮性心膜炎の一例. 日本循環器学会関東甲信越地方会 2017; 243rd
- 147)宮地 秀樹: 循環器集中治療の現状の課題と展望、循環器医への教育をどうする? 日米間の比較に基づいた STEMI 管理の改善案(The Proposal for Improving STEMI Management Based on a Comparison between Japan and the United States). 日本循環器学会学術集会抄録集 2018; 82 回:SY06-3.
- 148)久保田芳明, 浅井邦也, 乾恵輔, 時田祐吉, 塚田弥生, 宮本正章, 清水渉: 心不全合併糖尿病患者における SGLT2 阻害薬の有用性と安全性-腎機能障害別の検討-. 糖尿病 2017; 60 (Suppl)
- 149)久保田芳明, 浅井邦也, 吉永綾, 泉佑樹, 村井綱児, 時田祐吉, 吉川雅智, 塚田弥生, 清水渉: 心不全患者における不眠症とベンゾジアゼピンの影響. 日本循環器学会学術集会 2017; 81st
- 150)三宅友彬, 吉永綾, 佐藤達志, 茂澤幸右, 西祐吾, 丸有人, 岡英一郎, 野間さつき, 林洋史, 山本哲平, 岩崎雄樹, 清水渉: 心不全発症を契機に診断された心臓限局性サルコイドーシスの一例. 日本循環器学会関東甲信越地方会 2017; 246th
- 151)丸 有人, 高橋 健太, 中島 大智, 笹本 希, 小野寺 健太, 福泉 偉, 黄 俊憲, 三軒 豪仁, 太良 修平, 坏 宏一, 山本 剛, 清水 渉: 心停止後症候群に伴う痙攣発作を繰り返したが、低体温療法および適切な痙攣管理により神経学転帰が良好であった1例. ICU と CCU 2017; 41 (別冊) :S48.
- 152)山本 剛, 高山 守正: 心原性ショックの疫学: レジストリーデータから (特集 心原性ショック). ICU と CCU = Japanese journal of intensive care medicine: 集中治療医学 2017; 41 (9) :531-537.
- 153)戸村 泰規, 八重田 知見, 豊富 達智, 大和田 恵子, 内田 千草, 黄川田 弥生, 鈴木 健一, 市場 晋吾, 高橋 健太, 岩崎 雄樹, 林 明聡, 清水 渉, 青山 純也, 宮城 泰雄, 新田 隆: 心室性期外収縮に対する開胸下凍結凝固術における CARTO3 システムを用いた開胸下心外膜マッピング. 日本臨床工学技士会誌 2017; (60) :167.
- 154)磯貝 俊明, 吉川 勉, 上田 哲郎, 前川 裕一郎, 坂田 好美, 村上 力, 山口 徹雄, 山本 剛, 長尾 建, 高山 守正, 東京都 CCU ネットワーク学術委員会: 心尖部型たこつば心筋症と急性前壁心筋梗塞の比較検討. ICU と CCU 2017; 41 (別冊) :S87-S91.
- 155)藤本 雄飛, 淀川 顕司, 八島 正明, 岡 英一郎, 高橋 健太, 林 洋史, 山本 哲平, 岩崎 雄樹, 林 明聡, 清水 渉: 心房細動に対する電気的除細動後に認める"Notched P wave"の臨床的意義. 心電図 2018; 38 (Suppl.1) :S-67.
- 156)藤本雄飛, 淀川顕司, 八島正明, 岡英一郎, 高橋健太, 林洋史, 山本哲平, 岩崎雄樹, 林明聡, 清水渉: 心房細動に対する電気的除細動後に認める"Notched P wave"の臨床的意義. 心電図 2018; 38 (Supplement 1) :67.
- 157)小谷 英太郎, 金子 朋広, 藤井 仁美, 中村 弘之, 佐々部 一, 伊野 勲, 田村 豊, 新 博次: 心房細動の検出とリスク評価 国民健康保険加入者の特定健診を利用した心房細動の検出 多摩市医師会プロジェクト AF. 心電図 2018; 38 (Suppl.1) :S-35.
- 158)岩崎 雄樹: 心房細動カテーテルアブレーション時代における心電計の役割と展望. 心電図 2018; 38 (Suppl.1) :S-1.
- 159)淀川 顕司: 心房静止の臨床症例. 心電図 2018; 38 (Suppl.1) :S-1.
- 160)SAITO Tsunenori, ASAI Kuniya, SATO Shigeru, SHIMIZU Wataru: 心機能の回復を予測する拡張型心筋症患者における心臓 MRI と心筋超微細構造との比較. 日本心不全学会学術集会プログラム・抄録集 2017; 21st
- 161)淀川 顕司: 心臓微小電位の発展. 心電図 2018; 38 (Suppl.1) :S-1.
- 162)木下 利雄, 三輪 陽介, 吉岡 公一郎, 橋本 賢一, 淀川 顕司, 中川 幹子, 中村 紘規, 池田 隆徳: 心臓突然死の病態解明と予知・予防 左室機能不全患者における心臓死予測のためのリスク層別化法 JANIES 研究の初回報告(Risk Stratification Techniques for Prediction of Cardiac Mortality in Patients with Left Ventricular Dysfunction: First Report of the JANIES Study). 日本循環器学会学術集会抄録集 2018; 82 回:SY05-7.
- 163)笹本希, 坏宏一, 三軒豪仁, 細川雄亮, 太良修平, 山本剛, 浅井邦也, 師田哲郎, 新田隆, 清水渉: 急性大動脈解離における血圧の左右差の検討. 日本集中治療医学会学術集会 2017; 44th
- 164)笹本 希, 坏 宏一, 黄 俊憲, 高橋 健太, 三軒 豪仁, 細川 雄亮, 太良 修平, 山本 剛, 浅井 邦也, 師田 哲郎, 新田 隆, 清水

- 渉：急性大動脈解離における血圧の左右差の検討. 脈管学 2017; 57 (Suppl.) :S167.
- 165) 塚 宏一, 吉野 秀朗, 桃原 哲也, 渡邊 雄介, 高橋 寿由樹, 薄井 宙男, 渡辺 和宏, 深町 大介, 萩谷 健一, 下川 智樹, 渡邊 善則, 萩野 均, 山本 剛, 長尾 建, 高山 守正, 東京都 CCU ネットワーク学術委員会：急性大動脈解離の発症直後の血圧は高いのか? A 型と B 型の比較 CCU ネットワークの疫学データの解析. 日本心臓病学会学術集会抄録 2017; 65 回:DP-25.
- 166) Shirakabe Akihiro, Hata Noritake, Kobayashi Nobuaki, Okazaki Hirotake, Matsushita Masato, Shibata Yusaku, Nishigoori Suguru, Uchiyama Saori, Asai Kuniya, Shimizu Wataru：急性心不全における急性腎不全の評価のための腎機能悪化の定義は十分か?. 日本心不全学会学術集会プログラム・抄録集 2017; 21st
- 167) Shirakabe Akihiro, Hata Noritake, Kobayashi Nobuaki, Okazaki Hirotake, Matsushita Masato, Shibata Yusaku, Nishigoori Suguru, Uchiyama Saori, Aai Kuniya, Shimizu Wataru：急性心不全患者における急性腎障害の検出および予測のためのバイオマーカー戦略. 日本心不全学会学術集会プログラム・抄録集 2017; 21st
- 168) 小野寺 健太, 三軒 豪仁, 高野 仁司, 福泉 偉, 野間 さつき, 高圓 雅博, 黄 俊憲, 中村 有希, 乾 恵輔, 久保田 芳明, 青山 里恵, 井守 洋一, 太良 修平, 時田 祐吉, 塚 宏一, 山本 剛, 浅井 邦也, 清水 渉：急性心筋梗塞における親子カテーテル法による血栓吸引の安全性と有効性. 日本心血管インターベンション治療学会抄録集 2017; 26 回:MP186.
- 169) 上野亮, 小林義典, 村田広茂, 佐々木毅, 深水誠二, 渡辺則和, 丹野郁, 山本剛, 長尾建, 高山守正：急性心筋梗塞に合併した頻発性致死性心室不整脈(エレクトリカルストーム)の頻度と臨床的特徴:東京都 CCU ネットワークでの検討. ICU と CCU 2017; 41
- 170) 佐々木 毅, 小林 義典, 上野 亮, 村田 広茂, 深水 誠二, 丹野 郁, 渡辺 則和, 山本 剛, 長尾 建, 高山 守正, 東京都 CCU ネットワーク学術委員会：急性心筋梗塞後に Electrical ストームを認めた患者における院内死亡の予測因子に関する検討 Multicenter Registry from Tokyo CCU Network. ICU と CCU 2017; 41 (別冊) :S111-S112.
- 171) 福間 長知, 高圓 雅博, 時田 美和, 清水 渉, 齊藤 克代, 林 正弘：急性心筋梗塞後患者において cortisol は鉱質コルチコイド受容体活性化における病態生理学的役割を担う(Cortisol Plays Pathophysiological Role in Mineralocorticoid Receptor Activation in Patients after Acute Myocardial Infarction). 日本循環器学会学術集会抄録集 2018; 82 回:PJ050-5.
- 172) 山方 俊弘, 増永 直久, 黄 俊憲, 太良 修平, 山本 剛：急性心筋梗塞患者における早期経腸栄養の導入の実態と予後についての検討. 日本集中治療医学会雑誌 2018; 25 (Suppl.) :[P5-6].
- 173) 山崎 正雄, 岸 幹夫, 宮内 克己, 田中 博之, 宮地 秀樹, 山下 淳, 山本 剛, 長尾 建, 高山 守正, 東京都 CCU ネットワーク学術委員会：急性心筋梗塞治療における性差の影響について・東京都 CCU ネットワークからの報告. ICU と CCU 2017; 41 (別冊) :S26-S27.
- 174) 白石 泰之, 香坂 俊, 原田 和昌, 宮本 貴庸, 谷本 周三, 飯田 圭, 酒井 哲朗, 宮崎 哲郎, 矢川 真弓子, 松下 健一, 降旗 修太, 佐藤 直樹, 福田 恵一, 山本 剛, 長尾 建, 高山 守正, 東京都 CCU ネットワーク学術委員会：急性非代償性心不全における急性期の血圧変動と予後への影響. ICU と CCU 2017; 41 (別冊) :S95-S101.
- 175) 柴田 祐作, 小林 宜明, 辻林 亨, 木内 一貴, 内山 沙央里, 西郡 卓, 岡崎 大武, 白壁 章宏, 畑 典武, 清水 渉：感染性塞栓物により生じた急性心筋梗塞後に形成された冠動脈瘤. 日本心血管インターベンション治療学会抄録集 2017; 26 回:MO025.
- 176) 木村 徳宏, 高野 仁司, 野間 さつき, 黄 俊憲, 中村 有希, 三軒 豪仁, 久保田 芳明, 井守 洋一, 宮地 秀樹, 太良 修平, 細川 雄亮, 時田 祐吉, 山本 剛, 浅井 邦也, 清水 渉：抗血小板療法中患者における経皮的冠動脈インターベンション後の胃腸出血 (Gastrointestinal Bleeding after Percutaneous Coronary Intervention in Patients on Antiplatelet Therapy). 日本循環器学会学術集会抄録集 2018; 82 回:PJ061-1.
- 177) 木村徳宏, 高野仁司, 野間さつき, 黄俊憲, 中村有希, 三軒豪仁, 久保田芳明, 井守洋一, 宮地秀樹, 太良修平, 細川雄亮, 時田祐吉, 山本剛, 浅井邦也, 清水渉：抗血小板療法患者における経皮的冠動脈インターベンション後の消化管出血. 日本循環器学会学術集会 2018; 82 回:PJ061-1.
- 178) 乾恵輔, 浅井邦也, 城正樹, 久保田芳明, 桐木園子, 宮本正章, 清水渉：拡張型心筋症における糖尿病の影響-T1 マッピングを用いた心臓 MRI による検討-. 糖尿病 2017; 60 (Suppl)
- 179) 藤本 肇, 小宮山 浩大, 及川 恵子, 朴沢 英成, 原田 和昌, 中村 正人, 代田 浩之, 山本 剛, 長尾 建, 高山 守正, 東京都 CCU ネットワーク学術委員会：救急要請された冠攣縮性狭心症発作の日内分布についての検討 東京都 CCU ネットワーク・コホート研究. ICU と CCU 2017; 41 (別冊) :S104-S105.
- 180) 太良 修平, 山本 剛, 高木 郁代, 清水 渉：日常臨床における急性静脈血栓塞栓症に対するリパーロキサパンの有効性. 静脈学 2017; 28

(2) :268.

- 181)佐々木 拓也, 岩崎 雄樹, 淀川 顕司, 林 明総, 鈴木 健一, 市場 晋吾, 清水 渉, 新田 隆 : 日本医科大学付属病院における、着用型自動除細動器の使用経験と CE の役割. 日本臨床工学技士会誌 2017; (60) :279.
- 182)伊藤 亮介, 山下 淳, 岩田 洋, 佐地 真育, 鈴木 誠, 間瀬 卓頭, 安部 開人, 樋口 聡, 吉川 雅智, 田中 博之, 山崎 正雄, 宮内 克己, 近森 大志郎, 山本 剛, 長尾 建, 高山 守正 : 最近の心筋梗塞の臨床的特徴 東京都 CCU ネットワークデータベースからの知見 (Clinical Features of Recent Myocardial Infarction: Insights from Tokyo CCU Network Database). 日本循環器学会学術集会抄録集 2018; 82 回:PJ049-3.
- 183)高木 元, 桐木 園子, 太良 修平, 宮本 正章, 清水 渉 : 末梢動脈疾患に対する高気圧酸素治療の長期予後調査. 日本高気圧環境・潜水医学会雑誌 2017; 52 (Suppl.) :40.
- 184)岸 幹夫, 山崎 正雄, 堀内 優, 樋口 聡, 山下 淳, 吉川 雅智, 田中 博之, 宮内 克己, 長尾 建, 山本 剛, 高山 守正, 東京都 CCU ネットワーク学術委員会 : 本邦における夜間休日に搬送された STEMI 患者の短期予後. ICU と CCU 2017; 41 (別冊) :S22-S23.
- 185)田邊康宏, 尾林徹, 村上哲平, 間淵圭, 水野篤, 野里寿史, 山本剛, 高山守正, 長尾建 : 東京都 CCU ネットワークレジストリーデータからみた急性肺血栓塞栓症の性差. ICU と CCU 2017; 41 (別冊) :S34 - S35-S35.
- 186)谷 憲一, 澤谷 倫史, 宮國 知世, 池田 健, 栗原 理, 松下 誠人, 小宮山 英徳, 村上 大介, 高野 雅充, 宮内 靖史, 清野 精彦, 清水 渉 : 正常腎機能と慢性腎不全症例の造影剤投与による腎微小血管抵抗反応に関する比較検討. 日本心血管インターベンション治療学会抄録集 2017; 26 回:MO336.
- 187)岡 英一郎, 岩崎 雄樹, 宮内 靖史, 林 明聡, 淀川 顕司, 山本 哲平, 坪井 一平, 林 洋史, 高橋 健太, 萩原 かな子, 藤本 雄飛, 丸 有人, 清水 渉 : 洞不全症候群に対する DDD ペースメーカー植込み後、部分的心房静止に伴う右房隔離を生じ、右室ペースング後の逆行性左房収縮により心不全を惹起した 1 例. 臨床心臓電気生理 2017; 40:229-233.
- 188)塚田 弥生, 小久保 まゆみ, Wang Shu, 荻野 良隆, 新田 隆 : 海外臨床研修における血液・体液暴露事故対策. Campus Health 2018; 55 (1) :257-259.
- 189)中村 有希, 時田 祐吉, 小野寺 健太, 福泉 偉, 野間 さつき, 高圓 雅博, 黄 俊憲, 三軒 豪人, 乾 恵輔, 久保田 芳明, 青山 理恵, 井守 洋一, 太良 修平, 山本 剛, 高野 仁司, 浅井 邦也, 清水 渉 : 無症候性患者に対する遠隔期のルーチンフォローアップ CAG. 日本心血管インターベンション治療学会抄録集 2017; 26 回:MP146.
- 190)時田 祐吉, 羽田 朋人, 小野寺 健太, 高橋 健太, 黄 俊憲, 三軒 豪仁, 太良 修平, 山本 剛, 高野 仁司, 清水 渉 : 特発性冠動脈解離により発症した急性心筋梗塞の 2 症例. 心臓血管内視鏡 2017; 3 (Suppl.) :s42.
- 191)池上 晴彦, 大塚 俊昭, 小谷 英太郎, 酒部 宏一, 高見 光央, 幡野 浩一, 弘中 学, 深井 健一, 吉本 一哉 : 睡眠の質の低下は発作性心房細動と関連する 玉川医師会主導心房細動横断研究(TAMAGAWA-AF)(第 1 報). 日本心臓病学会学術集会抄録 2017; 65 回:O-046.
- 192)黄 俊憲, 小野寺 健太, 鈴木 啓士, 高橋 健太, 三軒 豪仁, 太良 修平, 坪 宏一, 山本 剛, 石井 庸介, 清水 渉 : 硬膜外血腫の手術翌日に心停止となり、浮遊性右心腔内血栓による三尖弁閉塞の関与が疑われた肺塞栓症の 1 例. 心臓 2017; 49 (7) :754.
- 193)小谷 英太郎 : 第 37 回日本ホルター・ノンインベシブ心電学研究会の御礼と『心電図』への期待. 心電図 2017; 37 (3) :161-162. doi: 10.5105/jse.37.161.
- 194)三軒 豪仁, 高野 仁司, 小野寺 健太, 福泉 偉, 野間 さつき, 高圓 雅博, 黄 俊憲, 中村 有希, 乾 恵輔, 久保田 芳明, 青山 里恵, 井守 洋一, 太良 修平, 時田 祐吉, 坪 宏一, 山本 剛, 浅井 邦也, 清水 渉 : 第 3 世代薬剤溶出性ステントのステント内再狭窄の光干渉断層法(OCT)所見と血管内視鏡所見. 日本心血管インターベンション治療学会抄録集 2017; 26 回:MP098.
- 195)三軒 豪仁, 山本 剛, 小野寺 健太, 黄 俊憲, 高橋 健太, 宮地 秀樹, 細川 雄亮, 太良 修平, 時田 祐吉, 高野 仁司, 浅井 邦也, 清水 渉 : 第三次救急医療体制においてトリアージされた合併症のある急性心筋梗塞患者の臨床的特徴および経過(Clinical Characteristics and Courses of Complicated Acute Myocardial Infarction Patients Triaged in Tertiary Emergency System). 日本循環器学会学術集会抄録集 2018; 82 回:PJ065-3.
- 196)谷田 篤史, 高野 仁司, 久保田 芳明, 小野寺 健太, 野間 さつき, 黄 俊憲, 中村 有希, 三軒 豪仁, 井守 洋一, 太良 修平, 時田 祐吉, 山本 剛, 浅井 邦也, 清水 渉 : 糖尿病性心血管合併症の病態と新たな治療 糖負荷試験後の緩徐な血糖ピーク値到達が SYNTAX スコアに及ぼす影響(Influence of Slow Peak Post-challenge Plasma Glucose Level on Syntax Score). 日本循環器学会学術集会抄録集 2018; 82 回:SY21-2.



- 197)大野 敦, 植木 彬夫, 小谷 英太郎, 住友 秀孝, 関口 芳弘, 宮川 高一 : 糖尿病患者における食後高血糖と大血管障害の管理に関するアンケート調査 多摩地域での 2004 年~2016 年の推移. 糖尿病合併症 2017; 31 (Suppl.1) :366.
- 198)大野 敦, 植木 彬夫, 小谷 英太郎, 住友 秀孝, 関口 芳弘, 宮川 高一 : 糖尿病患者の食後高血糖管理に関するアンケート調査(第 1 報) 血糖測定時間とその評価基準. 肥満研究 2017; 23 (Suppl.) :175.
- 199)大野 敦, 植木 彬夫, 小谷 英太郎, 住友 秀孝, 関口 芳弘, 宮川 高一 : 糖尿病患者の食後高血糖管理に関するアンケート調査(第 2 報) 血糖値・IRI 値別の経口薬の選択. 肥満研究 2017; 23 (Suppl.) :175.
- 200)淀川 顕司, 清水 渉, 吾妻 安良太, 清野 精彦 : 緩徐進行性の房室伝導障害に対し早期にステロイドを導入し伝導改善を認めたサルコイドーシスの 1 例. 日本サルコイドーシス/肉芽腫性疾患学会雑誌 2017; 37 (1-2) :70-71.
- 201)高橋 健太, 岩崎 雄樹, 清水 渉 : 老年医学の展望 高齢者における頻脈性不整脈に対する緊急カテーテルアブレーション治療. 日本老年医学会雑誌 2017; 54 (3) :314-321. doi: 10.3143/geriatrics.54.314.
- 202)轟崇弘, 高野仁司, 井守洋一, 泉佑樹, 小野寺健太, 松田淳也, 北村光信, 三軒豪仁, 野間さつき, 黄俊憲, 中村有希, 久保田芳明, 細川雄亮, 太良修平, 時田祐吉, 山本剛, 浅井邦也, 清水渉 : 肥大型閉塞性心筋症患者における左室拡張機能に対するアルコール中隔アブレーションの影響. 日本循環器学会学術集会 2018; 82 回:PJ040-1.
- 203)大野 敦, 植木 彬夫, 小谷 英太郎, 住友 秀孝, 関口 芳弘, 宮川 高一 : 肥満糖尿病患者の管理に関するアンケート調査 多摩地域での 2004 年と 2016 年の比較. 日本内分泌学会雑誌 2017; 93 (1) :364.
- 204)淀川 顕司, 清野 精彦, 岩崎 雄樹, 林 明聡, 宮内 靖史, 小原 俊彦, 八島 正明, 清水 渉 : 肺サルコイドーシスにおける心室遅延電位の検出および臨床的意義. 心電図 2018; 38 (Suppl.1) :S-1.
- 205)山本 剛, 細川 雄亮 : 肺血栓塞栓症に対する血栓溶解療法 (特集 血栓溶解療法の今). 血液フロンティア 2017; 27 (10) :1399-1404.
- 206)藤井 仁美, 明石 のぞみ, 黒石川 誠, 小谷 英太郎, 佐々部 一, 中村 弘, 本城 聡, 渡辺 敏樹, 伊野 勲, 宮川 高一, 田村 豊 : 腎症 多摩市「糖尿病重症化予防事業」の成果と考察 医師会の立場から. 糖尿病合併症 2017; 31 (Suppl.1) :266.
- 207)服巻 浩平, 平澤 泰宏, 合田 浩紀, 澁谷 淳介, 池田 健, 田中 邦夫 : 著明な心嚢液貯留と肺うっ血像、両側内頸動脈狭窄を呈していた甲状腺機能低下症の 1 例. 日本内科学会関東地方会 2017; 637 回:35.
- 208)中込 明裕, 森澤 太郎, 小橋 啓一, 小杉 宗範, 斎藤 恒徳, 小谷 英太郎, 草間 芳樹, 清水 渉 : 虚血性心疾患と冠微小循環障害 微小血管狭心症において、炎症は発症、長期予後に関与する. 日本心臓病学会学術集会抄録 2017; 65 回:S5-5.
- 209)轟 崇弘, 三軒 豪仁, 小野寺 健太, 羽田 朋人, 黄 俊憲, 高橋 健太, 中村 有希, 久保田 芳明, 井守 洋一, 太良 修平, 細川 雄亮, 時田 祐吉, 山本 剛, 高野 仁司, 清水 渉 : 血管内超音波(IVUS)ガイドステント留置にてペイルアウトし得た医原性大動脈解離の 1 例. 日本冠疾患学会雑誌 2017; (Suppl.) :157.
- 210)中田 淳, 山本 剛, 高野 仁司, 清水 渉, 田邊 潤, 新田 隆, 上田 達夫, 田島 廣之, 栗田 二郎 : 誰がステントグラフト治療の未来を開きますか?-Aortic team の重要性- 低侵襲治療を考慮した大動脈疾患の最適治療のための aortic team における心臓専門医の役割(The Role of Cardiologist in Aortic Team for Appropriate Management of Aortic Diseases in Consideration of Minimal Invasive Treatment). 日本循環器学会学術集会抄録集 2018; 82 回:SY03-3.
- 211)淀川 顕司 : 連想心電図 波形と疾患のロジック 実践編 疾患から波形を見つめる 早期再分極症候群の心電図を読む. Heart View 2017; 21 (4) :438-440.
- 212)清水 渉 : 遺伝性不整脈の診断と治療. 日本内科学会雑誌 2018; 107 (3) :521 - 526.
- 213)増永 直久, 門岡 浩介, 小野寺 健太, 高橋 健太, 黄 俊憲, 三軒 豪仁, 細川 雄亮, 太良 修平, 山本 剛, 清水 渉 : 重症心筋梗塞患者の後期感染合併症についての検討. 日本集中治療医学会雑誌 2018; 25 (Suppl.) :[P36-7].
- 214)澤谷 倫史, 小宮山 英徳, 高野 雅充, 小林 宣明, 清野 精彦, 宮内 靖史, 村上 大介, 松下 誠人, 栗原 理, 池田 健, 宮國 知世, 谷 憲一, 清水 渉 : 長軸方向のねじれをコバルトクロムエベロリムス溶出性ステントに認めた 2 症例. 日本心血管インターベンション治療学会抄録集 2017; 26 回:MP010.
- 215)宮國 知世, 小宮山 英徳, 高野 雅充, 谷 憲一, 澤谷 倫史, 池田 健, 松下 誠人, 栗原 理, 村上 大介, 小林 宣明, 畑 典武, 宮内 靖史, 清野 精彦, 清水 渉 : 閉塞性下肢動脈硬化症患者は下肢の筋力と関係するか. 日本心血管インターベンション治療学会抄録集 2017; 26 回:MO084.
- 216)井守洋一, 高野仁司, 時田祐吉, 久保田芳明, 山本剛, 浅井邦也, 高山守正, 清水渉 : 閉塞性肥大型心筋症に対する非左冠動脈前下行

- 枝起源の中隔枝を経由した経皮的中隔心筋焼灼術. 日本医科大学医学会雑誌 2017; 13 (4)
- 217)木下 侑里, 山瀬 綾, 森田 孝, 幸野 健, 澤谷 倫史: 陰茎壊死を契機に診断に至ったカルシフィラキシスの 1 例. 日本皮膚科学会雑誌 2018; 128 (2) :226-227.
- 218)岩崎 雄樹: 集中治療専門医に必要な循環器診療のアップデート～不整脈～ 集中治療領域における頻脈性不整脈に対する薬物治療. 日本集中治療医学会雑誌 2018; 25 (Suppl.) :[JS-1].
- 219)桐木 園子, 宮本 正章, 高木 元, 高圓 雅博, 久保田 芳明, 太良 修平, 白井 悠一郎, 桑名 正隆, 清水 渉: 集学的治療が奏効した好酸球性多発血管炎性肉芽腫症による指尖部難治性潰瘍の一例. 日本高気圧環境・潜水医学会雑誌 2017; 52 (4) :259.
- 220)土方奈奈子, 山本哲平, 菅原一樹, 西祐吾, 野間さつき, 吉永綾, 岩崎雄樹, 塚田弥生, 浅井邦也, 清水渉: 非典型的な臨床経過をたどり,心膜液貯留を契機に診断に至った IgG4 関連疾患の 1 例. 日本内科学会関東支部関東地方会 2017; 631st:56.
- 221)栗原 健, 松田 淳也, 塩村 玲子, 福泉 偉, 佐藤 太亮, 高橋 保裕, 清水 渉: 非閉塞性腸間膜虚血に急性下肢虚血が続発し救命を得た一例. 日本集中治療医学会雑誌 2018; 25 (Suppl.) :[O7-1].
- 222)青山里恵, 中村有希, 久保田芳明, 時田美和, 時田祐吉, 塚田弥生, 浅井邦也, 清水渉: 骨粗鬆症患者における脊椎変形は心機能に影響するか?. 日本老年医学会雑誌 2017; 54
- 223)青山里恵, 高野仁司, 久保田芳明, 乾恵輔, 太良修平, 時田祐吉, 高木元, 塚田弥生, 浅井邦也, 清水渉: 骨髄増殖性疾患患者における血管内皮機能について. 日本心臓病学会学術集会 2017; 65th
- 224)青山 里恵, 高野 仁司, 久保田 芳明, 乾 恵輔, 太良 修平, 時田 祐吉, 高木 元, 塚田 弥生, 浅井 邦也, 清水 渉: 骨髄増殖性疾患患者における血管内皮機能について. 日本心臓病学会学術集会抄録 2017; 65 回:P-435.
- 225)田中 泉, 村田 智, 上田 達夫, 杉原 史恵, 安井 大祐, 齊藤 英正, 清水 渉, 汲田 伸一郎: 高度石灰化を伴う長区域の浅大腿動脈慢性完全閉塞に対し、subintimal approach により血行再建に成功した一例. 脈管学 2017; 57 (Suppl.) :S255-S256.
- 226)鈴木 英正, 鈴木 健一, 豊富 達智, 中山 拓也, 石津 健太, 市場 晋吾, 太良 修平, 高木 元, 桐木 園子, 宮本 正章: 高気圧環境下におけるシリジポンプ CSP-110 の動作検証. 日本高気圧環境・潜水医学会雑誌 2017; 52 (Suppl.) :49.
- 227)中山 拓也, 鈴木 健一, 豊富 達智, 石津 健太, 鈴木 英正, 市場 晋吾, 太良 修平, 高木 元, 桐木 園子, 宮本 正章: 高気圧環境下における輸液ポンプ CIP-100T の動作検証. 日本高気圧環境・潜水医学会雑誌 2017; 52 (Suppl.) :49.

## 著書

- 1) 清水 渉: 〔分担執筆〕Chapter 1, Clinical Diagnosis and Manifestation of Early Repolarization Syndrome. Early Repolarization Syndrome. 2017
- 2) 高野雅充, 清野精彦: 〔分担執筆〕ST 上昇型と非 ST 上昇型心筋梗塞における血管内画像所見の相違. ICU と CCU. 2017; 41(12) P751-755.
- 3) 高野 仁司: 〔分担執筆〕肥大型心筋症の診断概論. 循環器内科. 2017, 科学評論社.
- 4) 鈴木啓士, 佐藤直樹: 〔分担執筆〕救急・集中治療. 2018, 総合医学社.
- 5) 高木元: 〔分担執筆〕糖尿病性足病変. 臨床脈管学. 2017; pp.305-306, 日本医学出版.
- 6) 高野雅充;〔分担執筆〕光干渉断層法 (OCT) . 臨床脈管学. 2017; P140-142. 日本医学出版

## 学会発表

- 1) 齋藤 恒徳: Comparison between cardiac magnetic resonance and myocardial ultrastructural features in patients with dilated cardiomyopathy to predict recovery of cardiac function. 第 21 回日本心不全学会学術集会, 2017. 10.
- 2) 芝田匡史, 栗田二郎, 宮城泰雄, 高木元, 坂谷貴司, 田畑泰彦, 内藤善哉, 宮本正章, 新田隆: DDS 徐放化 PRP による胸骨正中切開後の胸骨癒合促進における新治療法の開発. 日本外科学会定期学術集会 (第 117 回) . (横浜) , 2017. 4.
- 3) 高木 元, 桐木-市川園子, 宮本 正章, 高圓雅博, 久保田芳明, 太良修平, 白井悠一郎, 桑名正隆, 清水 渉: DDS 徐放化 b-FGF 再生治療予後と有効性を確認した EGPA 難治性潰瘍の一例. DDS 再生医療研究会(第 7 回) . (東京) , 2017. 12.
- 4) 桐木園子, 宮本正章, 高木元, 高圓雅博, 久保田芳明, 太良修平, 白井悠一郎, 桑名正隆, 清水渉: DDS 徐放化 b-FGF 血管再生治療等の集学的治療が奏効した好酸球性多発血管炎性肉芽腫症による指尖部難治性潰瘍の 1 例. 日本創傷治癒学会 (第 47 回) . (京都) , 2017.

- 11.
- 5) TakagiG, TaraS, KirinokiS, KubotaY, TakagiI, ShimizuW : Fundamental therapeutic approach to critical limb ischemia. 日本循環器学会学術集会 (第 82 回) , 2018. 3.
  - 6) 高野雅充 : Practical use of a slender angioscopic catheter, Smart-i for coronary and peripheral artery disease. 第 26 回 日本心血管インターベンション治療学会, 2017. 7.
  - 7) 太良 修平 : Rivaroxaban for the treatment of acute VTE in routine clinical practice. 第 37 回日本静脈学会総会, 2017. 6.
  - 8) 太良 修平 : The role of the bioresorbable scaffold in a tissue engineered arterial graft for vascular regeneration. 日本循環器学会学術集会, 2018. 3.
  - 9) 太良 修平, 黄 俊憲, 増永 直久, 大森 郁子, 高橋 健太, 三軒 豪仁, 細川 雄亮, 山口 博樹, 山本 剛, 清水 渉: シクロフォスファミド心筋炎に対して補助循環を確立し骨髄移植を成功し得た再生不良性貧血の一例. 第 45 回日本集中治療医学会学術集会, 2018. 2.
  - 10) 鈴木唯美, 杉山未緒, 渡邊友起子, 本城和義, 片山志郎, 高木元, 桐木園子, 永積渉, 酒井良子, 杉山理恵 : ビタミン B1 含有アミノ酸加糖電解質輸液の適正使用に関する取り組み (ICT との連携) . 日本静脈経腸栄養学会学術集会 (第 33 回) . (神奈川県横浜市 パシフィコ横浜) , 2018. 2.
  - 11) 齋藤 恒徳 : ワークショップ 7 心内膜心筋生検による病理診断の役割と重要性; 拡張型心筋症の心内膜心筋生検標本における電子顕微鏡所見の臨床的有用性. 第 106 回日本病理学会総会, 2017. 4.
  - 12) 羽田朋人, 高木元, 宮本正章, 太良修平, 桐木園子, 高木郁代, 清水渉 : 全身血管機能改善に向けた血管再生治療研究. 日本脈管学会総会 (第 58 回) . (名古屋) , 2017. 10.
  - 13) 佐野仁美, 高木元, 久保田芳明, 太良修平, 小川令, 宮本正章, 清水渉 : 新時代のハイブリッド治療: 重症下肢虚血における第二種高気圧酸素療法の役割. 日本形成外科学会総会・学術集会 (第 60 回) . (大阪) , 2017. 4.
  - 14) 高木元, 桐木園子, 太良修平, 宮本正章, 清水渉 : 末梢動脈疾患に対する高気圧酸素治療の長期予後調査. 日本高気圧環境・潜水医学会学術総会 (第 52 回) . (沖縄) , 2017. 11.
  - 15) Yuuki Nakamura, Yukichi Tokita, Kenta Onodera, Isamu Fukuizumi, Satsuki Noma, Masahiro Koen, Toshinori Ko, Hideto Sangen, Keisuke Inui, Yoshiaki Kubota, Rie Aoyama, Yoichi Imori, Shuhei Tara, Takeshi Yamamoto, Hitoshi Takano, Kuniya Asai, Wataru Shimizu : 経皮的冠動脈インターベンション後の無症候患者に対する数年後の冠動脈造影検査. 第 26 回日本心血管インターベンション治療学会, 2017. 7.
  - 16) 芝田匡史, 宮本正章, 栗田二郎, 宮城泰雄, 高木元, 工藤光洋, 坂谷貴司, 内藤善哉, 田畑泰彦, 新田隆 : 胸骨癒合不全ハイリスク症例に対する DDS 徐放化 PRP による新治療法の開発. 日本 DDS 学会学術集会 (第 33 回) . (京都) , 2017. 7.
  - 17) 嶋原 祥太, 大熊 慧, 曾根 教子, 高木 宏治, 中摩 健二, 菊池 有史, 石原 嗣郎, 石川 昌弘, 佐藤 直樹, 清水 渉 : 薬剤抵抗性頻脈性心房細動を合併し心不全治療に難渋した敗血症の一例. 日本集中治療医学会雑誌, 2018. 2.
  - 18) 高木 元, 宮本正章, 桐木園子, 太良修平, 羽田朋人, 高木郁代, 清水 渉 : 虚血性潰瘍を酸素で制する～高気圧酸素治療の効果判断～. 日本創傷治癒学会 (第 47 回) . (京都) , 2017. 11.
  - 19) 高野雅充 : 血管内 imaging による vulnerable plaque 診断の現状. 第 26 回 日本心血管インターベンション治療学会, 2017. 7.
  - 20) 高野雅充 : 血管内視鏡による vulnerable plaque の診断. 第 31 回 日本心臓血管内視鏡学会, 2017. 10.
  - 21) 高野雅充 : 血管内視鏡の臨床的意義について. Alliance for Revolution and Interventional Cardiology Advancement 2017, 2017. 11.
  - 22) 羽田朋人, 高木元, 宮本正章, 太良修平, 桐木園子, 高木郁代, 清水渉 : 血管再生治療と全身血管内皮機能への影響機序. 日本血管不全学会学術総会・総会 (第 2 回) . (東京) , 2017. 4.
  - 23) 太良 修平 : 重症下肢虚血における細胞治療の現状と将来像. 第 7 回豊橋ライブデモンストラーション, 2017. 5.
  - 24) 桐木園子, 宮本正章, 高木元, 高圓雅博, 久保田芳明, 太良修平, 白井悠一郎, 桑名正隆, 清水渉 : 集学的治療が奏効した好酸球性多発血管炎性肉芽腫症による指尖部難治性潰瘍の 1 例. 日本高気圧環境・潜水医学会学術総会 (第 52 回) . (沖縄) , 2017. 11.
  - 25) 青山里恵, 高野仁司, 久保田芳明, 太良修平, 時田祐吉, 高木元, 塚田弥生, 浅井那也, 清水渉 : 骨髄増殖性疾患患者における血管内皮機能について. 日本心臓病学会学術集会 (第 65 回) . (大阪) , 2017. 10.
  - 26) 鈴木英正, 鈴木健一, 豊富達智, 中山拓也, 石津健太, 市場晋吾, 太良修平, 高木元, 桐木園子, 宮本正章 : 高気圧環境下におけるシリンジポンプ CSP-110 の動作検証. 日本高気圧環境・潜水医学会学術総会 (第 52 回) . (沖縄) , 2017. 11.

- 27) 中山拓也, 鈴木健一, 豊富達智, 石津健太, 鈴木英正, 市場晋吾, 太良修平, 高木元, 桐木園子, 宮本正章 : 高気圧環境下における輸液ポンプ CIP-100T の動作検証. 日本高気圧環境・潜水医学会学術総会 (第 52 回) . (沖縄) , 2017. 11.
- 28) 佐野仁美, 高木元, 桐木園子, 久保田芳明, 太良修平, 小川令, 宮本正章, 清水渉 : 高気圧酸素療法による難治性下肢潰瘍の予後改善効果. 日本創傷外科学会総会・学術集会 (第 9 回) . (岐阜) , 2017. 7.
- 29) 高木元, 桐木園子, 杉山理恵, 酒井良子, 鈴木唯美, 本城和義, 八島久美子, 永積渉, 日ノ澤進一郎, 杉山未緒, 渡邊友起子, 三原恵理 : 高齢動脈硬化患者から学ぶリスク管理. 日本静脈経腸栄養学会学術集会 (第 33 回) . (横浜) , 2018. 2.

### 3 神経内科学分野

#### 研究業績

#### 論文等

- 1) 三品雅洋, 鈴木正彦, 石橋賢士, 坂田宗之, 我妻慧, 豊原潤, 張明栄, 木村和美, 石渡喜一 : <sup>11</sup>C-ITMM PET を用いた未治療パーキンソン病における mGluR1 密度と症状との関係. 核医学 2017; 54 (Supplement)
- 2) 大塚 俊昭, 西城 由之, 加藤 活人, 西山 康裕, 木村 和美, 川田 智之 : (脈波シンポジウム)「脈波解析の臨床応用の可能性と課題」 健診受診者における頭部 MRI での早期大脳白質病変と高血圧および CAVI との関連性. 日本臨床生理学会雑誌 2017; 47 (4) :88.
- 3) 三品 雅洋, 鈴木 正彦, 石井 賢二, 石橋 賢士, 坂田 宗之, 我妻 慧, 豊原 潤, 張 明栄, 木村 和美, 石渡 喜一, 東京都健康長寿医療センター研究所神経画像研究チーム : <sup>11</sup>C-ITMM PET を用いた未治療パーキンソン病における mGluR1 密度と症状との関係. 核医学 2017; 54 (Suppl.) :S206.
- 4) Masafumi Arakawa, Takashi Shimoyama, Noriko Matsumoto, Satoshi Suda, Jiro Kurita, Kazumi Kimura : A case of cerebral embolism with a large thrombus in the left atrium, and a recurrence of thrombus in the left atrium after the maze procedure. Clinical Neurology 2017; 57 (10) :584-590. doi: 10.5692/clinicalneuro.lcn-001069.
- 5) Koichiro Nagai, Junya Aoki, Yuki Sakamoto, Kazumi Kimura : About 30% of wake-up stroke patients may be candidate for the tPA therapy using Negative-FLAIR as a "tissue clock". JOURNAL OF THE NEUROLOGICAL SCIENCES 2017; 382:101-104. doi: 10.1016/j.jns.2017.09.042.
- 6) Tomoko Omura, Mahito Kimura, Kyongsong Kim, Masahiro Mishina, Takayuki Mizunari, Shiro Kobayashi, Akio Morita : Acute Poststroke Depression Is Associated with Thalamic Lesions and Clinical Outcomes: A Case-Control Study. Journal of Stroke and Cerebrovascular Diseases 2018; 27 (2) :499-505. doi: 10.1016/j.jstrokecerebrovasdis.2017.09.028.
- 7) Masahiro Mishina, Kenji Ishii, Yuichi Kimura, Masahiko Suzuki, Shin Kitamura, Kenji Ishibashi, Muneyuki Sakata, Keiichi Oda, Shiro Kobayashi, Kazumi Kimura, Kiichi Ishiwata : Adenosine A(1) receptors measured with C-11-MPDX PET in early Parkinson's disease. SYNAPSE 2017; 71 (8) :e21979. doi: 10.1002/syn.21979.
- 8) Satoshi Yamanaka, Kazutaka Nakayama, Hayato Tamai, Masanori Sakamaki, Koiti Inokuchi : Adult T-cell leukemia-lymphoma complicated by Takotsubo cardiomyopathy and HTLV-1-associated myelopathy after treatment with the anti-CCR4 antibody mogamulizumab. [Rinsho ketsueki] The Japanese journal of clinical hematology 2017; 58 (4) :309-314. doi: 10.11406/rinketsu.58.309.
- 9) Masahiro Mishina, Yuichi Kimura, Muneyuki Sakata, Kenji Ishii, Keiichi Oda, Jun Toyohara, Kazumi Kimura, Kiichi Ishiwata : Age-Related Decrease in Male Extra-Striatal Adenosine A(1) Receptors Measured Using C-11-MPDX PET. FRONTIERS IN PHARMACOLOGY 2017; 8:903. doi: 10.3389/fphar.2017.00903.
- 10) Yoshino Kinjo, Satoshi Suda, Yuki Sakamoto, Seiji Okubo, Kazumi Kimura : Ataxic Hemiparesis Associated with Cortical Infarct Localized in the Postcentral Gyrus. INTERNAL MEDICINE 2017; 56 (18) :2503-2505. doi: 10.2169/internalmedicine.8806-17.
- 11) 片野 雄大, 高山 洋平, 白井 源紀, 山岡 由美子, 大久保 誠二, 重枝 諒太, 熊谷 真一, 本間 博邦, 井上 智弘, 木村 和美 : CAPTIVE technique 施行し白色血栓を回収した一例. 脳血管内治療 2017; 2 (Suppl.) :S304.
- 12) Suda Satoshi, Sakamoto Yuki, Aoki Junya, Shimoyama Takashi, Kanamaru Takuya, Suzuki Kentaro, Okubo Seiji, Nishiyama Yasuhiro, Mishina Masahiro, Kimura Kazumi : Current Status of Reperfusion Therapy and Functional Outcome in Acute Ischemic Stroke Patients With Non-Valvular Atrial Fibrillation: a Single-Center, Six-Year Experience of Consecutive 546 Patients. STROKE 2018; 49
- 13) 青木 淳哉, 鈴木 健太郎, 金丸 拓也, 荒川 将史, 西 佑治, 竹子 優歩, 阿部 新, 西山 康裕, 木村 和美 : DWI-ASPECTS $\leq$ 4 例に対する超急性期血行再建術の検討. 脳血管内治療 2017; 2 (Suppl.) :S182.
- 14) 片野 雄大, 神澤 孝夫, 美原 盤, 木村 和美 : Embolic stroke of undetermined source(ESUS). 脳卒中 2017; 39 (6) :470-475.
- 15) Koji Abe, Yasuto Itoyama, Shoji Tsuji, Gen Sobue, Masashi Aoki, Manabu Doyu, Chikuma Hamada, Hidenao Sasaki, Asako Takei, Isao Yamashita, Takashi Imai, Imaharu Nakano, Koichi Okamoto, Yuichi Maruki, Shuichi Mishima, Jin Nishimiya, Yasuo Iwasaki,

- Mineo Yamazaki, Yuji Takahashi, Mieko Ogino, Yutaka Ogino, Masafumi Ogawa, Tetsumasa Kamei, Tsuyoshi Uchiyama, Hirohisa Watanabe, Yasumasa Kokubo, Hideyuki Sawada, Takanori Hazama, Fumiharu Kimura, Harutoshi Fujimura, Hirofumi Kusaka, Tsukasa Hashimoto, Fakeshi Yamada, Yuji Kanamori, Kenji Yamasaki, Shizuma Kaku, Hitoshi Kikuchi, Shigehiro Imamura, Seiichiro Sugimoto, Masahiko Kishi, Masahiko Tanaka, Makoto Akimotot, Kazue Nakamura, Hiroshi Naito, Aiko Murakami, Hajime Sakamoto, Takatomo Yoneoka, Katsuyuki Enjoji, Junko Ogawa, Kiyoe Yano, Makiko Yashiro, Manabu Hirai, Keiko Furuta, Kouichi Sasaki, Youichi Shiide, Gen Takayanagi, Fumihiko Takahashi, Tomohisa Iwasaki, Kazuoki Kondo, Hiide Yoshino : Exploratory double-blind, parallel-group, placebo-controlled extension study of edaravone (MCI-186) in a yotrophic lateral sclerosis. *AMYOTROPHIC LATERAL SCLEROSIS AND FRONTOTEMPORAL DEGENERATION* 2017; 18 ( 10 ) :20-31. doi: 10.1080/21078421.2017.1362000.
- 16) Ayako Takuma, Arata Abe, Yoshikazu Saito, Chikako Nito, Masayuki Ueda, Yoshiro Ishimaru, Hideki Harada, Keiko Abe, Kazumi Kimura, Tomiko Asakura : Gene Expression Analysis of the Effect of Ischemic Infarction in Whole Blood. *International journal of molecular sciences* 2017; 18 (11) doi: 10.3390/ijms18112335.
- 17) Satoshi Takahashi, Yoshio Tanizaki, Kazunori Akaji, Hiroaki Kimura, Takehiro Katano, Kentaro Suzuki, Yoichi Mochizuki, Satoka Shidoh, Masaki Nakazawa, Kazunari Yoshida, Ban Mihara : Identification of hemodynamically compromised regions by means of cerebral blood volume mapping utilizing computed tomography perfusion imaging. *JOURNAL OF CLINICAL NEUROSCIENCE* 2017; 38:74-78. doi: 10.1016/j.jocn.2016.11.005.
- 18) Tomohisa Nezu, Takaya Kitano, Satoshi Kubo, Junichi Uemura, Shinji Yamashita, Takeshi Iwanaga, Takeshi Inoue, Naohisa Hosomi, Hirofumi Maruyama, Masayasu Matsumoto, Kazumi Kimura, Yoshiki Yagita : Impact of D-dimer levels for short-term or long-term outcomes in cryptogenic stroke patients. *Journal of Neurology* 2018; 265 (3) :628-636. doi: 10.1007/s00415-018-8742-x.
- 19) Sae Aratani, Akiko Mii, Ryo Yuzawa, Megumi Morita, Tomoaki Kumagai, Yukinao Sakai, Akira Shimizu, Shuichi Tsuruoka : LONG-TERM COMPLETE REMISSION IN A PATIENT WITH FOCAL SEGMENTAL GLOMERULOSCLEROSIS ASSOCIATED WITH GUILLAIN-BARRE SYNDROME. *NEPHROLOGY* 2017; 22 (10) :821. doi: 10.1111/nep.12944.
- 20) Georgios Tsivgoulis, Aristeidis H. Katsanos, Ramin Zand : Letter by Tsivgoulis et al Regarding Article, "Microbleeds, Cerebral Hemorrhage, and Functional Outcome After Stroke Thrombolysis: Individual Patient Data Meta-Analysis". *STROKE* 2017; 48 (11) :E331. doi: 10.1161/STROKEAHA.117.019002.
- 21) Suda Satoshi, Shimoyama Takashi, Aoki Junya, Kanamaru Takuya, Suzuki Kentaro, Sakamoto Yuki, Nagai Koichiro, Sato Takahiro, Arakawa Masafumi, Takeshi Yuho, Nishiyama Yasuhiro, Mishina Masahiro, Kimura Kazumi : Low Free Triiodothyronine Should Be Associated With 3-Month Poor Functional Outcome After Acute Stroke. *STROKE* 2018; 49 doi: 10.1016/j.jns.2016.06.063.
- 22) Satoshi Suda, Junya Aoki, Takashi Shimoyama, Kentaro Suzuki, Yuki Sakamoto, Takehiro Katano, Seiji Okubo, Chikako Nito, Yasuhiro Nishiyama, Masahiro Mishina, Kazumi Kimura : Low Free Triiodothyronine at Admission Predicts Poststroke Infection. *Journal of stroke and cerebrovascular diseases : the official journal of National Stroke Association* 2018; 27 (2) :397-403. doi: 10.1016/j.jstrokecerebrovasdis.2017.09.012.
- 23) Kentaro Suzuki, Junya Aoki, Yuki Sakamoto, Arata Abe, Satoshi Suda, Seiji Okubo, Takehiko Nagao, Kazumi Kimura : Low risk of ICH after reperfusion therapy in acute stroke patients treated with direct oral anti-coagulant. *JOURNAL OF THE NEUROLOGICAL SCIENCES* 2017; 379:207-211. doi: 10.1016/j.jns.2017.06.004.
- 24) 沓名 章仁, 鈴木 健太郎, 西 佑治, 荒川 将史, 片野 雄大, 金丸 拓也, 青木 淳哉, 西山 康裕, 木村 和美 : M2 閉塞例に対する tPA 静注単独療法と血管内治療の成績. *脳血管内治療* 2017; 2 (Suppl) :S119.
- 25) 野上 茜, 永山 寛, 呉 壮香, 山崎 峰雄, 木村 和美 : MIBG 心筋シンチグラフィー集積低下を認めた多系統萎縮症 2 剖検例の神経病理学的検討. *自律神経* 2017; 54 (2) :164.
- 26) Masataka Nakajima, Chikako Nito, Kota Sowa, Satoshi Suda, Yasuhiro Nishiyama, Aki Nakamura-Takahashi, Yuko Nitahara-Kasahara, Kiwamu Imagawa, Tohru Hirato, Masayuki Ueda, Kazumi Kimura, Takashi Okada : Mesenchymal Stem Cells Overexpressing Interleukin-10 Promote Neuroprotection in Experimental Acute Ischemic Stroke. *Molecular therapy. Methods & clinical development* 2017; 6:102-111. doi: 10.1016/j.omtm.2017.06.005.

- 27) Eitaro Kodani, Takehiko Nagao : Novel Therapeutic Target of Anticoagulation Therapy in Patients With Atrial Fibrillation - Cognitive Decline and Dementia. *Circulation journal : official journal of the Japanese Circulation Society* 2018; 82 (3) :644-645. doi: 10.1253/circj.CJ-18-0045.
- 28) Koji Abe, Masashi Aoki, Shoji Tsuji, Yasuto Itoyama, Gen Sobue, Masanori Togo, Chikuma Hamada, Hidenao Sasaki, Lchiro Yabe, Shizuki Doi, Hitoshi Warita, Takashi Lmai, Hiroaki Ito, Mitsumasa Fukuchi, Etsuko Osumi, Manabu Wada, Lmaharu Nakanol, Mitsuya Morita, Katsuhisa Ogata, Yuichi Maruki, Kimiko Ito, Osamu Kano, Mineo Yamazaki, Yuji Takahashi, Hiroyuki Ishiura, Micko Ogino, Ryoko Koike, Chiho Ishida, Tsuyoshi Uchiyama, Koichi Mizoguchi, Tomokazu Obi, Hirohisa Watanabe, Naoki Atsuta, Ikuko Aiba, Akira Taniguchi, Hideyuki Sawada, Takanori Hazama, Harutoshi Fujimura, Hirofumi Kusaka, Takenobu Kunieda, Hiroshi Kikuchi, Hidenori Matsuo, Hidetsug-U Ueyama, Kazutoshi Uekawa, Masahiko Tanaka, Makoto Akimoto, Kazue Nakamura, Masaki Ueda, Kuniko Kotani, Hiroshi Matsui, Takatomo Yoneoka, Kazunori Morimoto, Kouichi Sasaki, Nianabu Hirai, Aiko Murakami, Tomoko Natori, Rie Sumii, Hidetomo Terai, Takuya Kudou, Fumihiro Takahashi, Tomohisa Iwasaki, Kazuoki Kondo, Hiide Yoshino : Open-label 24-week extension study of edaravone (MCI-186) in amyotrophic lateral sclerosis. *AMYOTROPHIC LATERAL SCLEROSIS AND FRONTOTEMPORAL DEGENERATION* 2017; 18 (10) :55-63. doi: 10.1080/21678421.2017.1364269.
- 29) Kiyofumi Yamada, Shinichi Yoshimura, Masatomo Miura, Takuya Kanamaru, Seigo Shindo, Kazutaka Uchida, Manabu Shirakawa, Masahiko Shibuya, Takahiro Imanaka, Masaharu Ishihara, Tohru Masuyama, Reiichi Ishikura, Masanori Kawasaki : Potential of New-Generation Double-Layer Micromesh Stent for Carotid Artery Stenting in Patients with Unstable Plaque: A Preliminary Result Using OFDI Analysis. *WORLD NEUROSURGERY* 2017; 105:321-326. doi: 10.1016/j.wneu.2017.05.171.
- 30) Satoshi Suda, Takashi Shimoyama, Shizuka Suzuki, Takahiro Ouchi, Masafumi Arakawa, Junya Aoki, Kentaro Suzuki, Yuki Sakamoto, Seiji Okubo, Yasuhiro Nishiyama, Chikako Nito, Masahiro Mishina, Kazumi Kimura : Prevalence and clinical characteristics of cortical superficial siderosis in patients with acute stroke. *Journal of neurology* 2017; 264 (12) :2413-2419. doi: 10.1007/s00415-017-8646-1.
- 31) Yuki Sakamoto, Seiji Okubo, Kazumi Kimura, Takashi Shimoyama : Prior Doac Therapy is Related to Small Infarct Size and No Major Artery Occlusion in Patients With Acute Stroke and Nvaf. *STROKE* 2018; 49
- 32) Koji Abe, Masashi Aoki, Shoji Tsuji, Yasuto Itoyama, Gen Sobue, Masanori Togo, Chikuma Hamada, Masahiko Tanaka, Makoto Akimoto, Kazue Nakamura, Fumihiro Takahashi, Kazuoki Kondo, Hiide Yoshino : Safety and efficacy of edaravone in well defined patients with amyotrophic lateral sclerosis: a randomised, double-blind, placebo-controlled trial. *LANCET NEUROLOGY* 2017; 16 (7) :505-512. doi: 10.1016/S1474-4422(17)30115-1.
- 33) Satoshi Suda, Junya Aoki, Takashi Shimoyama, Kentaro Suzuki, Yuki Sakamoto, Takehiro Katano, Seiji Okubo, Chikako Nito, Yasuhiro Nishiyama, Masahiro Mishina, Kazumi Kimura : Stroke-associated infection independently predicts 3-month poor functional outcome and mortality. *Journal of neurology* 2018; 265 (2) :370-375. doi: 10.1007/s00415-017-8714-6.
- 34) Takahiro Sato, Satoshi Suda, Takashi Shimoyama, Junya Aoki, Kentaro Suzuki, Yasuhiro Nishiyama, Kazumi Kimura : T2 Spotty Sign on Magnetic Resonance Imaging Should be Associated With Hematoma Expansion in Patients With Intracerebral Hemorrhage. *STROKE* 2018; 49
- 35) Yuki Sakamoto, Seiji Okubo, Chikako Nito, Satoshi Suda, Noriko Matsumoto, Arata Abe, Junya Aoki, Takashi Shimoyama, Kanako Muraga, Takuya Kanamaru, Kentaro Suzuki, Yuki Go, Masahiro Mishina, Kazumi Kimura : The Prevalence of and Factors Related to Vascular Hyperintensity on T1-Weighted Imaging in Acute Ischemic Stroke. *Cerebrovascular diseases (Basel, Switzerland)* 2017; 44 (3-4) :203-209. doi: 10.1159/000479593.
- 36) Y. Sakamoto, S. Okubo, C. Nito, S. Suda, N. Matsumoto, A. Abe, J. Aoki, T. Shimoyama, Y. Takayama, K. Suzuki, M. Mishina, K. Kimura : The relationship between stroke severity and prior direct oral anticoagulant therapy in patients with acute ischaemic stroke and non-valvular atrial fibrillation. *EUROPEAN JOURNAL OF NEUROLOGY* 2017; 24 (11) :1399-1406. doi: 10.1111/ene.13405.
- 37) 金丸 拓也, 木村 和美 : 【脳梗塞の急性期治療 現状と課題】 血栓溶解療法の現状と課題. *Medical Science Digest* 2017; 43 (11) :548-551.
- 38) 山田 剛久, 肥後 清一郎, 柏木 哲也, 小澤 明子, 戸田 諭補, 山崎 峰雄 : コンサルトがきっかけになった水電解質異常 低 Na 血症に関してコンサルトを受け SIADH を併発した視神経脊髄炎スペクトラム疾患と診断した 1 例. *臨床体液* 2017; 44:3-7.
- 39) 外間 裕之, 戸田 諭補, 小澤 明子, 江畑 琢矢, 山崎 峰雄, 木村 和美 : ステロイド治療で筋力低下を発症した純粋感覚障害型慢性進

- 行性脱髄性多発神経炎の74歳男性例. 臨床神経学 2017; 57 (6) :333.
- 40) 西村拓哉, 岡崎周平, 猪原匡史, 田中智貴, 梶本勝文, 山上宏, 長束一行: テトリス様の幻視による想起障害で発症した側頭葉内側てんかんの一例. 臨床神経学 2017; 57 (3)
- 41) 鈴木 静香, 荒川 将史, 大内 崇弘, 高山 洋平, 下山 隆, 須田 智, 大久保 誠二, 永山 寛, 木村 和美: プリオン蛋白遺伝子 E200K 変異を認めたクロイツフェルト・ヤコブ病の53歳の男性例. 臨床神経学 2017; 57 (4) :197.
- 42) 山田 清文, 三浦 正智, 川崎 雅規, 内田 和孝, 白川 学, 金丸 拓也, 吉村 紳一: 不安定プラークはCAS後にIrregular protrusionを来たしやすいOFDIによる解析から. 脳血管内治療 2017; 2 (Suppl) :S17.
- 43) 江畑 琢矢, 戸田 諭補, 高橋 史郎, 小澤 明子, 山崎 峰雄, 木村 和美: 中大脳動脈および内頸動脈狭窄を認め脳梗塞を発症したTurner症候群の一例. 臨床神経学 2017; 57 (4) :191.
- 44) 鈴木 健太郎, 青木 淳哉, 西 佑治, 荒川 将史, 杓名 章仁, 片野 雄大, 西山 康裕, 木村 和美: 主幹動脈閉塞例に対する神経学的重症度及び梗塞体積別の再開通療法後の転帰. 脳血管内治療 2017; 2 (Suppl.) :S145.
- 45) 竹子 優歩, 下山 隆, 金丸 拓也, 荒川 将史, 青木 淳哉, 西山 康裕, 木村 和美: 亜鉛製剤とトリエンチンを併用し神経症状の改善が見られた肝神経型Wilson病の1例. 日本内科学会関東地方会 2018; 639:39.
- 46) 須田 智: 出血性脳梗塞モデルにおける歯髄由来幹細胞の治療効果の検討. 先進医薬研究振興財団研究成果報告集 2018; 2017年度:198-199.
- 47) 高橋 史郎, 下山 隆, 熊谷 智昭, 須田 智, 大久保 誠二, 木村 和美, 守屋 慶一, 猪口 孝一, 石坂 栄太郎, 森田 明夫: 原発性脳室内出血を契機に診断に至った孤発性先天性血友病Aの77歳男性例. 日本内科学会関東地方会 2017; 632回:42.
- 48) 長井 弘一郎, 須田 智, 永山 寛, 野上 茜, 鈴木 健太郎, 鈴木 文昭, 西山 康裕, 木村 和美: 多彩な症状を呈したペラグラ脳症の1例. 臨床神経学 2018; 58 (1) :57.
- 49) 小野 貴央, 佐藤 英一, 出川 まなか, 魯 紅梅, 松村 大輔, 野村 まゆみ, 天羽 蘭子, 三品 雅洋, 中村 司: 多発性脳塞栓をきたした感染性心内膜炎の1例. 日本内科学会関東地方会 2017; 635回:43.
- 50) 重枝 諒太, 高山 洋平, 片野 雄大, 山岡 由美子, 大久保 誠二, 井上 智弘, 木村 和美: 左下葉切除後脳塞栓に対し血管内治療によって再開通を得られた一例. 脳血管内治療 2017; 2 (Suppl.) :S305.
- 51) 荒川 将史, 下山 隆, 高山 洋平, 大内 崇弘, 須田 智, 鈴木 静香, 松本 典子, 大久保 誠二, 永山 寛, 木村 和美: 左房内腫瘤様血栓摘出術及びMAZE手術後に左房内血栓の再発を認めた脳梗塞の1例. Neurosonology 2017; 30 (増刊) :121.
- 52) 荒川 将史, 下山 隆, 松本 典子, 須田 智, 栗田 二郎, 木村 和美: 左房内腫瘤様血栓摘出術及びメイズ術後に左房内血栓の再発を認めた心原性脳塞栓症の1例. 臨床神経学 2017; 57 (10) :584-590.
- 53) 竹子 優歩, 下山 隆, 青木 淳哉, 金丸 拓也, 西山 康裕, 木村 和美: 左椎骨動脈解離により両側延髄内側梗塞を発症した1例. 日本医科大学医学会雑誌 2017; 13 (4) :245.
- 54) 新井田 美里, 木富 奈穂子, 千葉 ゆうき, 谷口 恵理, 目黒 真喜子, 亀山 雅弥, 山崎 峰雄: 当院における気道可逆性検査について. 日本医科大学医学会雑誌 2017; 13 (4) :249.
- 55) 鈴木 健太郎, 青木 淳哉, 西 佑治, 杓名 章仁, 金丸 拓也, 西山 康裕, 木村 和美: 当院における病因別の治療戦略. 脳血管内治療 2017; 2 (Suppl) :S55.
- 56) 下山 隆, 須田 智, 西山 康裕, 大久保 誠二, 木村 和美: 後方循環系急性期脳梗塞患者におけるFLAIR-hyper vesselsは閉塞血管の診断に有用である. 脳循環代謝 2017; 29 (1) :201.
- 57) 西 佑治, 熊谷 智昭, 片野 雄大, 西村 拓哉, 林 俊行, 金丸 拓也, 木村 和美: 心原性脳塞栓症に対する血栓回収術後に造影剤脳症を来した1例. 脳血管内治療 2017; 2 (Suppl) :S327.
- 58) 荒川 将史, 鈴木 健太郎, 杓名 章仁, 片野 雄大, 西 祐司, 阿部 新, 青木 淳哉, 木村 和美: 急性期再開通療法1年後の予後の検討. 脳血管内治療 2017; 2 (Suppl.) :S101.
- 59) 野上 茜, 須田 智, 石渡 明子, 木村 和美: 急性期脳卒中患者における認知機能の検討. Dementia Japan 2017; 31 (4) :587.
- 60) 杓名 章仁, 仁藤 智香子, 熊谷 智昭, 鈴木 健太郎, 荒川 将史, 武井 悠香子, 大久保 誠二, 木村 和美: 急性期脳梗塞に対する血管内治療後に造影剤による広範な白質脳症を呈した1例. 脳循環代謝 2017; 29 (1) :208.
- 61) 杓名 章仁, 熊谷 智昭, 鈴木 健太郎, 荒川 将史, 武井 悠香子, 仁藤 智香子, 大久保 誠二, 木村 和美: 急性期脳梗塞に対する血行再建術後に広範な白質脳症を呈した76歳男性例. 臨床神経学 2017; 57 (6) :327.



- 62) 青木 淳哉, 武井 悠香子, 澤田 和貴, 片野 雄大, 高山 洋平, 鈴木 健太郎, 野上 茜, 大久保 誠二, 木村 和美 : 急性期血行再建術が奏功した DWI-ASPECTS 3 点の 1 例. 臨床神経学 2017; 57 (10) :626.
- 63) 清家 麻央, 根井 貴仁, 杉本 諒司, 田代 彩香, 篠山 明宏, 中村 祐三, 橋本 政子, 遠藤 康実, 熊谷 智昭, 林 俊行, 西 佑治, 石井 庸介 : 感染性心内膜炎患者より分離した *Enterococcus faecalis* の small colony variant の一例. 日本臨床微生物学雑誌 2017; 28 (Suppl.1) :342.
- 64) 坂本 悠記, 木村 和美 : 抗凝固療法中発症の脳梗塞の特徴 (FEATURE 抗凝固療法中発症の脳卒中の特徴). 脳梗塞と心房細動 2017; 4 (3) :65-69.
- 65) 須田智, 青木淳哉, 下山隆, 鈴木健太郎, 片野雄大, 杵名章仁, 大久保誠二, 仁藤智香子, 三品雅洋, 木村和美 : 抗凝固薬内服中の脳出血の特徴. 日本心血管脳卒中学会学術集会プログラム・抄録集 2017; 4th:131.
- 66) 渡辺 翔吾, 木村 裕一, 根本 充貴, 山田 誉大, 藤井 康介, 林 俊行, 三品 雅洋 : 機械学習による DatSCAN の PD・健常の自動鑑別. 核医学 2017; 54 (Suppl.) :S210.
- 67) 太田 智大, 山崎 峰雄, 戸田 諭補, 小澤 明子, 木村 和美 : 皮疹に 1 週間先行して頭痛と複視が出現した眼部帯状疱疹の 1 例. 臨床神経学 2017; 57 (4) :163-167. doi: 10.5692/clinicalneurology.000972.
- 68) 鈴木 文昭, 鈴木 健太郎, 長井 弘一郎, 野上 茜, 須田 智, 西山 康裕, 木村 和美 : 石灰化を伴う塞栓源に対し血管内治療を行い良好な結果を得た 1 例. 日本内科学会関東地方会 2017; 638 回:40.
- 69) 関口 一星, 楮佐古 晃大, 横堀 将司, 朝倉 隆之, 金谷 貴大, 瀧口 徹, 増野 智彦, 布施 明, 横田 裕行, 吉野 由紀子, 須田 智, 中島 壯崇, 岨 康太, 塚本 剛志 : 神経再生治療法の確立を目指したラット急性硬膜下血腫モデルの行動実験評価. 日本医科大学医学会雑誌 2017; 13 (4) :246.
- 70) 谷口 洋, 宮川 晋治, 下山 隆, 小山 誠太, 安達 世, 荒川 廣志 : 筋萎縮性側索硬化症における非侵襲的陽圧換気療法下での経皮内視鏡的胃瘻造設術についての検討. 東京慈恵会医科大学附属柏病院医学年報 2017; 23:28.
- 71) 櫻井 星羅, 戸田 諭補, 小澤 明子, 江畑 琢矢, 飯塚 高浩, 山崎 峰雄, 木村 和美 : 胸腺腫合併重症筋無力症の経過中に発症した抗 LGI1 抗体陽性自己免疫性脳炎の 73 歳女性例. 臨床神経学 2018; 58 (1) :59.
- 72) 須田 智, 青木 淳哉, 下山 隆, 金丸 拓也, 鈴木 健太郎, 坂本 悠記, 仁藤 智香子, 西山 康裕, 三品 雅洋, 木村 和美 : 脳卒中後の感染は 3 ヶ月後の転帰不良と関連する. 脳循環代謝 2017; 29 (1) :203.
- 73) 須田智, 青木淳哉, 下山隆, 金丸拓也, 鈴木健太郎, 坂本悠記, 仁藤智香子, 西山康裕, 三品雅洋, 木村和美 : 脳卒中後の感染は 3 ヶ月後の転帰不良と関連する. 脳循環代謝 2017; 29 (1) :203.
- 74) 須田 智, 石渡 明子, 野上 茜, 木村 和美 : 脳卒中後認知機能障害の発症率および予知因子に関する検討. 大和証券ヘルス財団研究業績集 2018; (41) :20-23.
- 75) 高山 洋平, 大久保 誠二, 山岡 由美子, 片野 雄大, 本間 博邦, 大島 聡人, 熊谷 真一, 重枝 諒太, 井上 智弘, 木村 和美 : 脳底動脈解離に伴う脳梗塞に対し血管内治療によって良好な転帰を得られた一例. 脳血管内治療 2017; 2 (Suppl.) :S186.
- 76) 田熊彩子, 斎藤芳和, 阿部新, 上田雅之, 仁藤智香子, 木村和美, 阿部啓子, 阿部啓子, 朝倉富子 : 脳梗塞重症化予防効果を持つ食品成分探索のためのヒトバイオマーカーの開発. 日本農芸化学会大会講演要旨集 2018; 2018:ROMBUNNO.3A13a04 (WEB ONLY).
- 77) 戸田 諭補, 小澤 明子, 江畑 琢矢, 外間 裕之, 大村 朋子, 羽鳥 努, 山崎 峰雄, 木村 和美 : 脳腫瘍の診断目的で行われた脳生検で血管中心性炎症細胞浸潤を認め、中枢神経血管炎が疑われた 62 歳男性例. 臨床神経学 2017; 57 (10) :631.
- 78) 金丸 拓也, 吉村 紳一 : 血管内治療・デバイス総覧(第 6 回) Trevo XP ProVue Retriever. 分子脳血管病 2017; 16 (2) :164-167.
- 79) 金丸 拓也, 吉村 紳一, 木村 和美 : 術前血小板凝集能補正の初期経験. 脳血管内治療 2017; 2 (Suppl) :S241.
- 80) 西村拓哉, 斎藤こずえ, 瀬口理, 猪原匡史, 藤田知之, 福嶋教偉, 小林順二郎, 長束一行 : 補助人工心臓(VAD)装着患者における貼り付け型プローブ HITS 検出装置(FURUHATA)の有用性. Neurosonology 2017; 30 (Supplement)
- 81) 山下 真里, 川西 智也, 稲垣 千草, 根本 留美, 並木 香奈子, 井上 志津子, 長久 美江子, 三品 雅洋, 野村 俊明, 北村 伸 : 認知症の早期発見・相談を妨げる要因に関する一考察 認知症相談センター初回来所時の認知機能に着目して. 老年精神医学雑誌 2017; 28 (増刊 II) :215.
- 82) 三品 雅洋, 北村 伸, 水越 元気, 窪田 裕子, 上原 嘉子, 酒巻 雅典, 阿部 新, 木村 和美 : 認知症ケア回診の初年度実態調査. 神経治療学 2017; 34 (6) :S194.

- 83) 片野 雄大, 木村 和美 : 超実践! 脳卒中に用いる薬の基礎知識 ダビガトラン. 脳神経外科速報 2017; 27 (4) :402-406.
- 84) 稲垣 千草, 根本 留美, 川西 智也, 山下 真里, 並木 香奈子, 井上 志津子, 長久 美枝子, 三品 雅洋, 野村 俊明, 北村 伸 : 軽度認知障害の臨床症状と地域における相対対応の留意点 アルツハイマー型認知症の臨床症状との比較から. 日本認知症ケア学会誌 2017; 16 (1) :181.
- 85) 坂本悠記, 仁藤智香子, 木村和美 : 非弁膜症性心房細動を有する急性期脳梗塞患者における病前抗凝固療法と梗塞体積・閉塞血管の関連の検討. 脳循環代謝 2017; 29 (1) :161.
- 86) 林 俊行, 熊谷 智昭, 青木 淳哉, 鈴木 健太郎, 長井 弘一郎, 木村 和美 : 頻回の経静脈的免疫グロブリン療法(IVIg)が著効した慢性炎症性脱髄性多発神経炎(CIDP)の1例. 日本内科学会関東地方会 2017; 635 回:39.

## 著書

- 1) 青木淳哉 : 〔分担執筆〕DWI-FLAIR mismatch (Negative-FLAIR). 分子脳血管病. 16: 65-69, 2017.
- 2) 山崎峰雄 : 〔分担執筆〕錐体路の構成とその機能. 図説神経機能解剖テキスト. 2017, 文光堂.
- 3) 須田 智 : 〔分担執筆〕脳出血モデル. 脳卒中病態学のススム. 2018, 南山堂.
- 4) 青木淳哉 : 〔分担執筆〕脳梗塞超急性期に対する治療 rt-PA. 日獨医報. 2017;62(2):29-41.
- 5) 青木淳哉, 木村和美 : 〔分担執筆〕【脳血管障害 診療のエッセンス】脳卒中の診断手順 脳血管障害発症直後の医療連携 救急搬送システム. 日本医師会雑誌 日本医師会生涯教育シリーズ 92. 2017;146(特別 1):S59-S61.
- 6) 青木淳哉, 木村和美 : 〔分担執筆〕血栓溶解療法. 必携脳卒中ハンドブック改訂第3版. pp.229-238, 2017, 診断と治療社.
- 7) 山崎峰雄 : 〔分担執筆〕認知症治療薬の考え方、使い方. 2017, 中外医学社.

## 学会発表

- 1) 三品 雅洋, 鈴木 正彦, 石井 賢二, 石橋 賢士, 坂田 宗之, 我妻 慧, 豊原 潤, 張 明栄, 木村 和美, 石渡 喜一, 東京都健康長寿医療センター研究所神経画像研究チーム : 11C-ITMM PET を用いた未治療パーキンソン病における mGluR1 密度と症状との関係. 核医学, 2017. 9.
- 2) 青木淳哉 : rtPA 静注療法. 第 42 回日本脳卒中学会学術集会;大阪;2017. , 2017.
- 3) 三品 雅洋 : パーキンソニズムを伴う認知症疾患 パーキンソニズムを伴う認知症疾患の多様性. Japanese Journal of Diagnostic Imaging, 2018. 2.
- 4) 小野 貴央, 佐藤 英一, 出川 まなか, 魯 紅梅, 松村 大輔, 野村 まゆみ, 天羽 繭子, 三品 雅洋, 中村 司 : 多発性脳塞栓をきたした感染性心内膜炎の1例. 日本内科学会関東地方会, 2017. 9.
- 5) 渡辺 翔吾, 木村 裕一, 根本 充貴, 山田 誉大, 藤井 康介, 林 俊行, 三品 雅洋 : 機械学習による DatSCAN の PD・健常の自動鑑別. 核医学, 2017. 9.
- 6) 須田 智, 青木 淳哉, 下山 隆, 金丸 拓也, 鈴木 健太郎, 坂本 悠記, 仁藤 智香子, 西山 康裕, 三品 雅洋, 木村 和美 : 脳卒中後の感染は3ヵ月後の転帰不良と関連する. 脳循環代謝, 2017. 11.
- 7) 山下 真里, 川西 智也, 稲垣 千草, 根本 留美, 並木 香奈子, 井上 志津子, 長久 美江子, 三品 雅洋, 野村 俊明, 北村 伸 : 認知症の早期発見・相談を妨げる要因に関する一考察 認知症相談センター初回来所時の認知機能に着目して. 老年精神医学雑誌, 2017. 6.
- 8) 三品 雅洋, 北村 伸, 水越 元気, 窪田 裕子, 上原 嘉子, 酒巻 雅典, 阿部 新, 木村 和美 : 認知症ケア回診の初年度実態調査. 神経治療学, 2017. 11.

## 4 腎臓内科学分野

### 研究業績

#### 論文等

- 1) 牛島 健太郎, 荒川 裕輔, 鈴木 智理, 相澤 健一, 藤村 昭夫 : 5/6 腎摘出ラットにおける sacubitril/valsartan の腎保護作用. 日本薬学会年会要旨集 2018; 138 年会 (3) :87.
- 2) Sae Aratani, Yukinao Sakai, Shuichi Tsuruoka : A Case of Microscopic Polyangiitis with Subarachnoid Hemorrhage and Cardiovascular Complications. JOURNAL OF NIPPON MEDICAL SCHOOL 2017; 84 (5) :251-255. doi: 10.1272/jnms.84.251.
- 3) Sae Aratani, Masahiko Hara, Masahiko Nagahama, Fumika Taki, Miyuki Futatsuyama, Shuichi Tsuruoka, Yasuhiro Komatsu : A low initial serum sodium level is associated with an increased risk of overcorrection in patients with chronic profound hyponatremia: a retrospective cohort analysis. BMC NEPHROLOGY 2017; 18 (1) :316. doi: 10.1186/s12882-017-0732-1.
- 4) 八幡恵里子, 曾我彬美, 岡島史宜, 麦島康司, 板垣史朗, 山田剛久, 杉原仁, 江本直也 : Basedow 病の治療中断後に、プロバジールによる薬剤性の ANCA 関連血管炎が疑われた症例. 日本内分泌学会関東甲信越支部学術集会プログラム抄録集 2017; 18th:115.
- 5) 八幡 恵里子, 曾我 彬美, 岡島 史宜, 麦島 康司, 板垣 史朗, 山田 剛久, 杉原 仁, 江本 直也 : Basedow 病の治療中断後に、プロバジールによる薬剤性の ANCA 関連血管炎が疑われた症例. 日本内分泌学会雑誌 2017; 93 (3) :790.
- 6) Takashi Tani, Hideo Orimo, Akira Shimizu, Shuichi Tsuruoka : Development of a novel chronic kidney disease mouse model to evaluate the progression of hyperphosphatemia and associated mineral bone disease. SCIENTIFIC REPORTS 2017; 7 (1) :2233. doi: 10.1038/s41598-017-02351-6.
- 7) Tomohiro Kaneko, Momoko Arai, Atsushi Watanabe, Shuichi Tsuruoka : Effectiveness of Measuring Genetic Polymorphisms in Metabolizing Enzymes of Tacrolimus within One Medical Facility. JOURNAL OF NIPPON MEDICAL SCHOOL 2017; 84 (6) :274-279. doi: 10.1272/jnms.84.274.
- 8) Sae Aratani, Akiko Mii, Ryo Yuzawa, Megumi Morita, Tomoaki Kumagai, Yukinao Sakai, Akira Shimizu, Shuichi Tsuruoka : LONG-TERM COMPLETE REMISSION IN A PATIENT WITH FOCAL SEGMENTAL GLOMERULOSCLEROSIS ASSOCIATED WITH GUILLAIN-BARRE SYNDROME. NEPHROLOGY 2017; 22 (10) :821. doi: 10.1111/nep.12944.
- 9) 北村 広子, 牛島 健太郎, 鈴木 智理, 荒川 裕輔, 相澤 健一, 藤村 昭夫, 今井 靖 : OLETF ラットを用いた Rivaroxaban の糖尿病性腎症進展抑制効果に関する検討. 臨床薬理 2017; 48 (Suppl.) :S294.
- 10) Kentaro Ushijima, Hitoshi Ando, Yusuke Arakawa, Kenichi Aizawa, Chisato Suzuki, Ken Shimada, Shu-Ichi Tsuruoka, Akio Fujimura : Prevention against renal damage in rats with subtotal nephrectomy by sacubitril/valsartan (LCZ696), a dual-acting angiotensin receptor-neprilysin inhibitor. Pharmacology Research and Perspectives 2017; 5 (4) doi: 10.1002/prp2.336.
- 11) Ichiyama S, Matayoshi T, Kaneko T, Shimizu A, Osada SI, Watanabe A, Kanzaki A, Mitsui K, Tsuruoka S, Iwakiri K, Kawana S, Saeki H : Successful multitarget therapy using prednisolone, mizoribine and tacrolimus for Henoch-Schönlein purpura nephritis in children. The Journal of dermatology 2017; 44 (4) :E56-E57. doi: 10.1111/1346-8138.13614.
- 12) 宮本 大資, 船越 俊貴, 荒川 裕輔, 平間 章郎, 三井 亜希子, 酒井 行直, 杉崎 祐一, 清水 章, 鶴岡 秀一 : TAFRO 様症状と腎血栓性微小血管症の病理像を認めたステロイドが奏功した 1 例. 日本腎臓学会誌 2017; 59 (6) :864.
- 13) 川崎 小百合, 三井 亜希子, 酒井 行直, 鶴岡 秀一 : 【腎泌尿器と凝固線溶系】悪性疾患による腎障害と凝固・線溶系異常. 腎臓内科・泌尿器科 2017; 6 (4) :311-317.
- 14) 寺田 光佑, 酒井 行直, 鶴岡 秀一 : 【腎臓病ガイドライン総まとめ 薬物治療のエッセンスが全部わかる!】 (第 3 章)薬剤性 AKI の予防と治療 NSAIDs、抗微生物薬、免疫抑制薬による AKI. 薬事 2017; 59 (10) :2026-2032.
- 15) 宮本 大資, 酒井 行直, 鶴岡 秀一 : 【薬剤性腎障害 発症を疑ったときの実践的アプローチ】 いかに考え対応するか! 薬剤性腎障害が疑われる各種患者への実践アプローチ! 降圧薬と血糖降下薬を投与中の高齢患者. 薬局 2017; 68 (6) :2497-2502.
- 16) 山田 剛久, 肥後 清一郎, 柏木 哲也, 小澤 明子, 戸田 論補, 山崎 峰雄 : コンサルトがきっかけになった水電解質異常 低 Na 血症に関してコンサルトを受け SIADH を併発した視神経脊髄炎スペクトラム疾患と診断した 1 例. 臨床体液 2017; 44:3-7.

- 17) 荒谷 紗絵, 楊 朋洋, 平間 章郎, 酒井 行直, 鶴岡 秀一: コンサルトがきっかけになった水電解質異常 回腸導管造設術後の患者で著明な下痢を契機に発症したアニオン・ギャップ開大性代謝性アシドーシスの 1 例 Stewart 法と古典的方法の日常診療での相補的な活用法. 臨床体液 2017; 44:47-48.
- 18) 宮下 裕夫, 重成 勇介, 須藤 直美, 野崎 泰代, 金子 奈緒美, 成美 雄人, 仲田 将義, 樋上 信幸, 下田 奈央子, 斎藤 京子, 鎌野 千佐子, 大沢 弘和: バスキュラーアクセス(VA)マップを活用した管理の試み. 日本透析医学会雑誌 2017; 50 (Suppl.1) :599.
- 19) 山本 伸也, 三井 亜希子, 山本 恵則, 今村 博臣, 山本 正道, 柳田 素子: ミトコンドリア・メディスン 腎障害と ATP in vivo imaging. 日本腎臓学会誌 2017; 59 (3) :197.
- 20) 荒川 裕輔, 鶴岡 秀一, 藤村 昭夫: ラット虚血再灌流モデルでの NGAL とメガリン、24p3R の関連. 日本腎臓学会誌 2017; 59 (3) :290.
- 21) 佐藤 有紀, 三井 亜希子, 中田 紘介, 西山 信吾, 柳田 素子: 三次リンパ組織を介した高齢者腎臓病増悪メカニズムの解明. 日本腎臓学会誌 2017; 59 (3) :374.
- 22) 荒谷紗絵, 楊朋洋, 平間章郎, 酒井行直, 鶴岡秀一: 回腸導管造設術後の患者で著明な下痢を契機に発症したアニオン・ギャップ開大性代謝性アシドーシスの 1 例-Stewart 法と古典的方法の日常診療での相補的な活用法-. 臨床体液 2017; 44
- 23) 小谷英太郎, 金子朋広, 藤井仁美, 中村弘之, 佐々部一, 伊野勲, 田村豊: 国民健康保険加入者の特定健診を利用した心房細動の早期検出の試み-多摩市医師会プロジェクト AF-. 日本心臓病学会学術集会 2017; 65th
- 24) 古川幸信, 笹間まゆみ, 後藤優子, 瀬戸悠貴, 松信精一, 柏木哲也, 鎌田有子, 山田剛久, 鶴岡秀一: 在宅血液透析導入を経験して. 日本透析医学会雑誌 2017; 50 (Supplement 1) :895.
- 25) 小谷 英太郎, 金子 朋広, 藤井 仁美, 中村 弘之, 佐々部 一, 伊野 勲, 田村 豊, 新 博次: 心房細動の検出とリスク評価 国民健康保険加入者の特定健診を利用した心房細動の検出 多摩市医師会プロジェクト AF. 心電図 2018; 38 (Suppl.1) :S-35.
- 26) 川崎 小百合, 宮本 大資, 荒川 裕輔, 平間 章郎, 鶴岡 秀一: 急性腎障害(AKI)を呈した微小変化型ネフローゼ症候群(MCNS)の一例. 日本透析医学会雑誌 2017; 50 (Suppl.1) :934.
- 27) 山本 伸也, 三井 亜希子, 山本 正道, 柳田 素子: 急性腎障害における近位尿細管のエネルギー代謝回復が腎予後を決定する 生体腎 ATP イメージング解析の検討. 日本腎臓学会誌 2017; 59 (3) :271.
- 28) 山田剛久, 柏木哲也, 鶴岡秀一: 急速進行性糸球体腎炎に対する診療ガイドラインと腎病理所見との関連. 日本内科学会雑誌 2018; 107 (Suppl.) :170.
- 29) 宮本 大資, 荒川 裕輔, 河合 貴弘, 湯澤 令, 平間 章郎, 三井 亜希子, 酒井 行直, 鶴岡 秀一: 抗 GBM 抗体陽性急速進行性糸球体腎炎において血漿交換と免疫抑制療法の併用で透析導入を回避できた一例. 日本透析医学会雑誌 2017; 50 (Suppl.1) :488.
- 30) 麦島康司, 山田剛久, 由井静香, 板垣史朗, 柏木哲也, 鶴岡秀一, 吉田幸恵, 清水章, 肥後清一郎: 早期診断によって治療に成功した抗糸球体基底膜(GBM)抗体病の一例. 日本腎臓学会誌 2017; 59 (6) :889.
- 31) 樋口 将人, 北川 貴祥, 成美 雄人, 高地 由紀子, 仲田 将義, 樋上 信幸, 楠 正昭, 下田 奈央子, 斎藤 京子, 鎌野 千佐子, 大沢 弘和, 橋本 和政, 鶴岡 秀一: 機械更新による環境の変化と生菌の推移. 日本透析医学会雑誌 2017; 50 (Suppl.1) :957.
- 32) 木村 英人, 三井 亜希子, 若松 恭子, 鶴岡 秀一, 清水 章: 糸球体腎炎における NETs 形成に関わるシトルリン化ヒストンを有する好中球. 日本腎臓学会誌 2017; 59 (3) :245.
- 33) 寺田 光佑, 楊 朋洋, 麦島 康司, 住 祐一郎, 平間 章郎, 酒井 行直, 鶴岡 秀一: 肝硬変に伴う難治性腹水を合併する患者に腹膜透析を導入し社会復帰を果たした 1 例. 腎と透析 2017; 83 (別冊 腹膜透析 2017) :266-267.
- 34) 三井 亜希子, 山本 伸也, 山本 恵則, 今村 博臣, 山本 正道, 柳田 素子: 腎発生過程におけるエネルギー代謝の検討. 日本腎臓学会誌 2017; 59 (3) :262.
- 35) 山本伸也, 三井亜希子, 山本恵則, 今村博臣, 山本正道, 柳田素子: 腎障害と ATP in vivo imaging. 日本腎臓学会誌 2017; 59 (3)
- 36) 片山 安奈, 久能木 俊之介, 森 剛, 由井 静香, 大塚 祐介, 住 祐一郎, 麦島 康司, 大塚 智之, 酒井 行直, 鶴岡 秀一: 腹膜透析導入後に胸水が出現し、結核性胸膜炎と診断した一例. 日本透析医学会雑誌 2017; 50 (Suppl.1) :772.
- 37) 住 祐一郎, 久能木 俊之助, 森 剛, 浅井 理沙, 由井 静香, 片山 安奈, 麦島 康司, 大塚 智之, 酒井 行直, 鶴岡 秀一: 腹膜透析患者に対するクエン酸第二鉄の有効性と安全性. 腎と透析 2017; 83 (別冊 腹膜透析 2017) :280-281.
- 38) 平野 良隆, 渡辺 容子, 川崎 小百合, 山田 祥子, 船越 俊貴, 杉野 健太, 三井 亜希子, 平間 章郎, 酒井 行直, 鶴岡 秀一: 腹膜透析開始 2 年後に陰嚢水腫を認め、保存的治療が奏効した 1 例. 腎と透析 2017; 83 (別冊 腹膜透析 2017) :154-155.

- 39) 谷 崇, 金子 朋広, 池田 まり子, 清水 章, 鶴岡 秀一 : 透析導入期における末梢動脈の中膜石灰化合併リスクの検討. 日本透析医学会雑誌 2017; 50 (Suppl.1) :586.
- 40) 大辻 弘朗, 片山 安奈, 麦島 康司, 大塚 祐介, 住 祐一郎, 大塚 智之, 酒井 行直, 鶴岡 秀一 : 透析患者における Saxagliptin と Mitiglinide の有効性の比較. 日本透析医学会雑誌 2017; 50 (Suppl.1) :932.
- 41) 肥後 清一郎, 山田 剛久, 板垣 史朗, 吉田 幸恵, 酒井 行直, 清水 章, 鶴岡 秀一 : 限定地域に発症した抗 GBM 抗体、ANCA 関連疾患発症患者の病理学的・検査データの検討. 日本腎臓学会誌 2017; 59 (3) :328.
- 42) 山田剛久, 板垣史朗, 吉田幸恵, 肥後清一郎, 柏木哲也 : 難治性ネフローゼ症候群の病態を呈し LDL 吸着が奏功した膜性腎症の 2 例. 日本透析医学会雑誌 2017; 50 (Supplement 1) :645.
- 43) 山田剛久, 柏木哲也 : 高齢者の急速進行性糸球体腎炎(RPGN)に対する当院の治療成績. 日本腎臓学会誌 2017; 59 (3) :364.

## 著書

- 1) 三井 亜希子, 鶴岡 秀一 : [分担執筆] 医学と医療の最前線 薬剤性腎障害 最近の話題. 2018, (一社)日本内科学会.

## 学会発表

- 1) 三井 亜希子, 山本 伸也, 山本 恵則, 今村 博臣, 山本 正道, 柳田 素子 : 腎発生過程におけるエネルギー代謝の検討. 日本腎臓学会誌, 2017. 4.

## 5 内分泌糖尿病代謝内科学分野

### 研究業績

#### 論文等

- 1) 江本 直也, 岡島 史宜, 杉原 仁, 後藤 励 : 1型および2型糖尿病患者における社会経済状況が合併症進行へ及ぼす影響の比較検討. 糖尿病 2017; 60 (Suppl.1) :S-373.
- 2) 岡島 史宜, 杉原 仁, 江本 直也 : 2型糖尿病患者における ipragliflozin 併用強化インスリン療法の脂質日内変動に対する影響. 日本動脈硬化学会総会プログラム・抄録集 2017; 49 回:226.
- 3) 及川 眞一, 佐々木 淳, 稲垣 恭子, 原田 太郎, 長尾 元嗣, 杉原 仁, 古野 純典, SLIM 研究会 : 2型糖尿病患者におけるシタグリプチン治療とコレステロール合成および吸収マーカーについて SLIM 研究からの解析. 日本動脈硬化学会総会プログラム・抄録集 2017; 49 回:271.
- 4) 及川 眞一, 稲垣 恭子, 原田 太郎, 長尾 元嗣, 杉原 仁, 佐々木 淳 : 2型糖尿病患者における脂質合成および吸収マーカーと関連する因子の検討 SLIM 研究から. 糖尿病 2017; 60 (Suppl.1) :S-455.
- 5) Ayako Moriya, Masaaki Yamamoto, Shunsuke Kobayashi, Tomoko Nagamine, Naomi Takeichi-Hattori, Mototsugu Nagao, Taro Harada, Kyoko Tanimura-Inagaki, Shiro Onozawa, Satoru Murata, Hideki Tamura, Izumi Fukuda, Shinichi Oikawa, Hitoshi Sugihara : ACTH stimulation test and computed tomography are useful for differentiating the subtype of primary aldosteronism. ENDOCRINE JOURNAL 2017; 64 (1) :65-73. doi: 10.1507/endoctr.EJ16-0297.
- 6) 栗林英吾, 林達郎, 程塚直人, 上田貴之, 柴崎幹生, 長谷川裕也, 大林康太郎, 佐野雅之, 田邊邦明, 飯ヶ谷重来, 赤塚純, 中山聡子, 戸山友香, 濱崎務, 木村剛, 稲垣恭子, 福田いずみ, 杉原仁, 近藤幸尋 : ACTH 非依存性大結節性副腎過形成と原発性アルドステロン症を合併した右副腎腫瘍に対し, 腹腔鏡下右副腎摘除術を施行した一例. 日本泌尿器科学会東部総会プログラム・抄録集 2017; 82nd:247.
- 7) Kosuke Uchida, Yuji Tanaka, Hitoshi Ichikawa, Masato Watanabe, Sachiyo Mitani, Koji Morita, Hiroko Fujii, Mayumi Ishikawa, Gen Yoshino, Hiroko Okinaga, Genta Nagae, Hiroyuki Aburatani, Yoshifumi Ikeda, Takao Susa, Mimi Tamamori-Adachi, Toshio Fukusato, Hiroshi Uozaki, Tomoki Okazaki, Masayoshi Iizuka : An Excess of CYP24A1, Lack of CaSR, and a Novel lncRNA Near the PTH Gene Characterize an Ectopic PTH-Producing Tumor. Journal of the Endocrine Society 2017; 1 (6) :691-711. doi: 10.1210/js.2017-00063.
- 8) 八幡 恵里子, 曾我 彬美, 岡島 史宜, 麦島 康司, 板垣 史朗, 山田 剛久, 杉原 仁, 江本 直也 : Basedow 病の治療中断後に、プロバジュールによる薬剤性の ANCA 関連血管炎が疑われた症例. 日本内分泌学会雑誌 2017; 93 (3) :790.
- 9) M. Nagao, J. L. S. Esguerra, J. K. Ofori, A. Wendt, A. Asai, H. Sugihara, S. Oikawa, C. B. Wollheim, L. Eliasson : CD36 is increased in human islets from obese type 2 diabetes donors, and affects beta cell function by the modulation of exocytotic proteins and insulin content. DIABETOLOGIA 2017; 60 (1) :S185-S186.
- 10) 満島 勝, 酒井 真志人, 松本 雅記, 八木 孝, 飯田 智, 長沼 孝雄, 矢野 宏行, 高峰英, 春日 雅人 : DYRK1B による肝糖新生制御機構の解析. 日本臨床分子医学会学術総会プログラム・抄録集 2017; 54 回:73.
- 11) Akihiro Shirakabe, Noritake Hata, Nobuaki Kobayashi, Hirotake Okazaki, Masato Matsushita, Yusaku Shibata, Suguru Nishigoori, Saori Uchiyama, Kazutaka Kiuchi, Fumitaka Okajima, Toshiaki Otsuka, Kuniya Asai, Wataru Shimizu : Decreased blood glucose at admission has a prognostic impact in patients with severely decompensated acute heart failure complicated with diabetes mellitus. Heart and Vessels 2018; 33 (9) :1-14. doi: 10.1007/s00380-018-1151-3.
- 12) 満島 勝, 酒井 真志人, 八木 孝, 矢野 宏行, 長沼 孝雄, 飯田 智, 高峰英, 春日 雅人, 松本 道宏 : Dyrk1B による肝糖新生制御機構の解明. 糖尿病 2017; 60 (Suppl.1) :S-282.
- 13) Fumitaka Okajima, Naoya Emoto, Katsuhito Kato, Hitoshi Sugihara : Effect of Glycemic Control on Chylomicron Metabolism and Correlation between Postprandial Metabolism of Plasma Glucose and Chylomicron in Patients with Type 2 Diabetes Treated with Basal-bolus Insulin Therapy with or without Vildagliptin. JOURNAL OF ATHEROSCLEROSIS AND THROMBOSIS 2017; 24 (2) :157-168. doi: 10.5551/jat.32409.
- 14) Taro Harada, Kyoko Inagaki-Tanimura, Mototsugu Nagao, Yuki Sato, Mariko Sudo, Fumitaka Okajima, Hitoshi Sugihara, Shinichi

- Oikawa : Frequency of achilles tendon xanthoma in patients with acute coronary syndrome. *Journal of Atherosclerosis and Thrombosis* 2017; 24 (9) :949-953. doi: 10.5551/jat.37770.
- 15) 山口 りか, 藤原 元嗣, 大石 透, 西山 雅則, 大串 昭彦, 多胡 雅毅, 山下 秀一, 福田 いずみ : IGF(Insulin-like Growth Factor)-II 産生腫瘍による低血糖で意識障害を起こした高齢男性. *日本病院総合診療医学会雑誌* 2018; 14 (1) :51.
  - 16) Ueyama M, Kokuto H, Sugihara H, Oikawa S, Suzuki F, Goto H, Kudoh S : Investigation of Obstructive Sleep Apnea Using Portable Monitors and Health Check Data in Japanese Drivers. *Journal of atherosclerosis and thrombosis* 2018 doi: 10.5551/jat.41806.
  - 17) Izumi Fukuda, Akira Asai, Tomoko Nagamine, Taro Harada, Kyoko Tanimura-Inagaki, Naomi Hizuka, Hitoshi Sugihara : Levels of glucose-regulatory hormones in patients with non-islet cell tumor hypoglycemia: including a review of the literature. *ENDOCRINE JOURNAL* 2017; 64 (7) :719-726. doi: 10.1507/endocrj.EJ17-0072.
  - 18) Daisuke Sanoyama, Mototsugu Nagao, Akira Asai, Yuko Nakamura, Kazumi Sato, Yasushi Nakajima, Shinichi Oikawa, Hitoshi Sugihara : Postprandial Increase in Energy Expenditure Correlates with Body Weight Reduction in Patients with Type 2 Diabetes Receiving Diet Therapy. *Journal of atherosclerosis and thrombosis* 2017; 24 (4) :422-429. doi: 10.5551/jat.35303.
  - 19) Fumitaka Okajima, Tomoko Nagamine, Yuko Nakamura, Naomi Hattori, Hitoshi Sugihara, Naoya Emoto : Preventive effect of ipragliflozin on nocturnal hypoglycemia in patients with type 2 diabetes treated with basal-bolus insulin therapy: An open-label, single-center, parallel, randomized control study. *Journal of Diabetes Investigation* 2017; 8 (3) :341-345. doi: 10.1111/jdi.12588.
  - 20) 中野 温子, 瀧川 優子, 荻原 彩, 高田 絵美, 木股 邦恵, 竹田 章彦, 井上 明香, 松岡 弘典, 柁屋 大輝, 福田 いずみ : REM 睡眠行動障害が疑われた IGF-II 産生腫瘍による低血糖症の一例. *糖尿病* 2017; 60 (Suppl.1) :S-253.
  - 21) A. Asai, M. Nagao, T. Tsuduki, T. Miyazawa, J. L. S. Esguerra, L. Eliasson, H. Sugihara, S. Oikawa : Reduced insulin secretion in a diet-induced glucose intolerance susceptible mouse model is coupled with increased CD36 and triglycerides in the beta cells. *DIABETOLOGIA* 2017; 60 (1) :S61.
  - 22) Hitoshi Sugihara : Review on Recent Topics in Hypophysitis. *JOURNAL OF NIPPON MEDICAL SCHOOL* 2017; 84 (5) :201-208. doi: 10.1272/jnms.84.201.
  - 23) 小笠原 純子, 宇都宮 慧, 竹田 康佑, 反町 衣里紗, 岡本 英子, 福田 いずみ, 菱木 三佳乃 : TACE 後に低血糖が改善した NICTH の一例. *日本内分泌学会雑誌* 2017; 93 (2) :631.
  - 24) 中島 誠, 権田 未来, 吉田 和彦, 今井 和政, 山本 瞳, 小林 淳晃, 廣瀬 悟, 杉原 仁, 下山 博身 : VA トラブルの予防と対処 当院のバスキュラーアクセス管理. *埼玉透析医学会誌* 2017; 6 (1) :22.
  - 25) 岡島 史宜, 山口 祐司, 仲村 優子, 杉原 仁, 江本 直也 : インスリン グルギン U-100 あるいはインスリン グルギン U-300 を用いた強化インスリン療法の比較検討. *糖尿病* 2017; 60 (Suppl.1) :S-209.
  - 26) 山口祐司, 岡崎幹子, 久保田万葉, 山田裕士, 大庭健史, 周東佑樹, 仲村優子, 原田太郎, 稲垣恭子, 眞野あすか, 松下晃, 中村慶春, 福田いずみ, 内田英二, 杉原仁 : クッシング症候群を合併したパラガングリオーマの 1 例. *日本臨床内分泌病理学会学術総会プログラム・抄録集* 2017; 21st:62.
  - 27) 山口 祐司, 岡崎 幹子, 久保田 万葉, 山田 裕士, 大庭 健史, 周東 佑樹, 仲村 優子, 原田 太郎, 稲垣 恭子, 眞野 あすか, 松下 晃, 中村 慶春, 福田 いずみ, 内田 英二, 杉原 仁 : クッシング症候群を合併したパラガングリオーマの 1 例. *日本内分泌学会雑誌* 2017; 93 (4) :1462.
  - 28) 山口 祐司, 稲垣 恭子, 原田 太郎, 長尾 元嗣, 杉原 仁, 佐々木 淳, 及川 眞一, SLIM 研究会 : シタグリブチンによる尿中アルブミン排泄量改善効果の検討 SLIM 研究サブ解析結果. *糖尿病* 2017; 60 (Suppl.1) :S-151.
  - 29) 名尾 敬子, 岡崎 幹子, 大庭 健史, 山口 祐司, 小林 俊介, 原田 太郎, 福田 いずみ, 杉原 仁 : テリパラチドが投与された原発性副甲状腺機能亢進症の 1 例. *日本内分泌学会雑誌* 2017; 93 (2) :567.
  - 30) 田沼 里衣子, 八木 孝, 蓮田 可奈子, 横関 知子, 松村 由紀子, 菊池 孝徳, 黒川 美子, 南 史朗, 廣木 とよ子, 井上 宏司 : デュラグルチドの隔週投与における血糖コントロールおよび食行動への影響. *糖尿病* 2017; 60 (Suppl.1) :S-168.
  - 31) 岡崎 幹子, 根本 崇宏, 長尾 元嗣, 芝崎 保, 杉原 仁 : ニコチン投与母ラットからの出生仔における成長後の耐糖能異常の検討. *日本内分泌学会雑誌* 2017; 93 (1) :329.
  - 32) 石川 真由美, 豊村 順子, 立花 利公, 南 史郎 : ラット小腸の上皮幹細胞から誘導分化させたインスリン産生細胞の性状と Akita マウス

- への移植の検討. 糖尿病 2017; 60 (Suppl.1) :S-371.
- 33) 八木 孝, 大槻 昌子, 石川 真由美, 南 史朗 : 一過性の高度脂肪肝と膵腫大を認めた劇症 1 型糖尿病の 1 例. 日本内分泌学会雑誌 2017; 93 (2) :632.
- 34) 曾我彬美, 福田いずみ, 小林俊介, 稲垣恭子, 田原重志, 石坂栄太郎, 榎本弘之, 長濱清隆, 大橋隆治, 和田隆一, 井下尚子, 杉原仁 : 下垂体後葉の前方に腫瘍性病変を認め Xanthomatous hypophysitis が疑われた 1 例. 日本内分泌学会雑誌 2017; 93 (Suppl. HPT) :101 - 103-103.
- 35) 江川 絵里香, 八木 孝, 大槻 昌子, 伊波 早乃, 金子 佳世, 福永 ヒトミ, 石川 真由美, 南 史朗 : 低栄養・慢性腎不全を背景に Cibenzoline により遷延性の低血糖をきたした 1 例. 糖尿病 2017; 60 (Suppl.1) :S-206.
- 36) 横関 知子, 田沼 里衣子, 蓮田 加奈子, 大森 香奈恵, 福田 寿枝, 廣木 とよ子, 黒川 美子, 菊池 孝徳, 八木 孝, 南 史朗, 井上 宏司 : 健常者および耐糖能異常者における大麦混合米飯の継続摂取による食後血糖抑制効果. 糖尿病 2017; 60 (Suppl.1) :S-366.
- 37) 江崎 英子, 船坂 陽子, 山下 裕子, 大塚 流音, 真弓 暢子, 杉原 仁, 佐伯 秀久 : 先端巨大症に生じた cutaneous plasmacytosis の 1 例. 日本皮膚科学会雑誌 2017; 127 (5) :1189.
- 38) 福田いずみ, 田原重志, 杉原仁 : 先端巨大症の治療と長期予後. 日本間脳下垂体腫瘍学会プログラム・抄録集 2018; 28th:107.
- 39) 曾我 彬美, 岡島 史宜, 江本 直也, 杉原 仁 : 全身麻酔による手術のために早急な甲状腺機能の正常化を必要とした Basedow 病妊婦の一例. 日本内分泌学会雑誌 2017; 93 (4) :1133.
- 40) 山田 裕士, 稲垣 恭子, 岡崎 幹子, 大庭 健史, 曾我 彬美, 山口 祐司, 小林 俊介, 周東 佑樹, 仲村 優子, 長峯 朋子, 原田 太郎, 福田 いずみ, 杉原 仁 : 内科的治療に抵抗性の高度肥満の一例. 肥満研究 2017; 23 (Suppl.) :230.
- 41) 柴山 雅行, 大庭 健史, 岡崎 幹子, 山田 裕士, 山口 祐司, 仲村 優子, 周東 佑樹, 原田 太郎, 稲垣 恭子, 松下 晃, 中村 慶春, 福田 いずみ, 内田 英二, 杉原 仁 : 切除後に膵性糖尿病による耐糖能が著しく改善したグルカゴノーマ. 日本内分泌学会雑誌 2017; 93 (2) :582.
- 42) 三好 優香, 城下 彰宏, 小川 剛鑑, 小川 理, 榊澤 政広, 福田 いずみ : 反復性低血糖から診断に至った大分子 IGF-II 産生腫瘍による NICTH の一例. 日本内分泌学会雑誌 2017; 93 (Suppl.Update) :67-69.
- 43) 稲垣 恭子, 杉原 仁, 及川 眞一, 石田 均, 志村 雅彦 : 合併症のリスク因子 その指標を考える 糖尿病における脂質管理. 糖尿病合併症 2017; 31 (1) :28-31.
- 44) 山田裕士, 曾我彬美, 山口祐司, 長峯朋子, 原田太郎, 稲垣恭子, 田原重志, 福田いずみ, 杉原仁 : 外転神経麻痺を伴った IgG4 関連下垂体炎に対してステロイドパルス療法を施行した 1 例. 日本神経内分泌学会学術集会プログラム・抄録集 2017; 44th:46.
- 45) 山田 裕士, 曾我 彬美, 山口 祐司, 長峯 朋子, 原田 太郎, 稲垣 恭子, 田原 重志, 福田 いずみ, 杉原 仁 : 外転神経麻痺を伴った IgG4 関連下垂体炎に対してステロイドパルス療法を施行した 1 例. 日本内分泌学会雑誌 2017; 93 (4) :1230.
- 46) 會澤 美和, 土岐 明子, 福田 いずみ : 女性医師・研究者の現状と問題点を年代別に考えよう. 日本内分泌学会雑誌 2017; 93 (3) :742.
- 47) 山口祐司, 稲垣恭子, 山田裕士, 原田太郎, 福田いずみ, 杉原仁 : 妊娠糖尿病患者において非妊時肥満が周産期合併症へ与える影響の検討. 肥満研究 2017; 23 (Supplement) :215.
- 48) 山口 祐司, 稲垣 恭子, 山田 裕士, 大庭 健史, 小林 俊介, 長峯 朋子, 原田 太郎, 福田 いずみ, 及川 眞一, 杉原 仁 : 妊娠糖尿病患者における脂質と周産期因子の関連の検討. 日本動脈硬化学会総会プログラム・抄録集 2017; 49 回:257.
- 49) 塩田 美桜, 八木 孝, 大槻 昌子, 赤須 東樹, 石川 真由美, 南 史朗 : 巨大な副甲状腺腺腫により高カルシウムクリーゼをきたした一例. 日本内分泌学会雑誌 2017; 93 (2) :567.
- 50) 田原重志, 服部裕次郎, 石坂栄太郎, 大山健一, 石井雄道, 福田いずみ, 杉原仁, 寺本明, 森田明夫 : 微小 ACTH 産生下垂体腺腫の治療成績一局在同定困難な症例の診断と治療. 日本間脳下垂体腫瘍学会プログラム・抄録集 2018; 28th:76.
- 51) 中島 譲, 吉田 和彦, 権田 未来, 今井 和政, 山本 瞳, 小林 淳晃, 廣瀬 悟, 杉原 仁, 下山 博身 : 心拍出量と除水速度の関連. 日本透析医学会雑誌 2017; 50 (Suppl.1) :961.
- 52) 羽田 幹子, 稲垣 恭子, 大庭 健史, 長峯 朋子, 小林 俊介, 原田 太郎, 福田 いずみ, 杉原 仁 : 急性発症 1 型糖尿病とパセドウ病合併による糖尿病ケトアシドーシスの報告. 糖尿病合併症 2017; 31 (Suppl.1) :380.
- 53) 山田 裕士, 稲垣 恭子, 山口 祐司, 小林 俊介, 原田 太郎, 福田 いずみ, 及川 眞一, 杉原 仁 : 急性膵炎発症前にリポ蛋白リパーゼ欠損を認めず高 TG 誘発急性膵炎を発症した一例. 日本動脈硬化学会総会プログラム・抄録集 2017; 49 回:240.



- 54) 福田 いずみ：性差医学・医療の進歩と臨床展開(Vol.11) 内分泌疾患における性差. 医学のあゆみ 2017; 261 (3) :259-264.
- 55) 高橋 裕, 福田 いずみ, 肥塚 直美：成人成長ホルモン分泌不全症患者における NAFLD/NASH 合併に関連する因子の解析. 成長科学協会研究年報 2017; (40) :41-44.
- 56) 曾我 彬美, 岡島 史宜, 佐藤 陽三, 田中 庸介, 日野 光紀, 杉原 仁, 江本 直也：抗 PD-1 抗体ニボルマブによる ACTH 単独欠損症が疑われた症例. 日本内分泌学会雑誌 2017; 93 (2) :608.
- 57) 長峯 朋子, 浅井 明, 岡崎 幹子, 大庭 健史, 岡本 彬美, 山田 裕士, 山口 祐司, 小林 俊介, 周東 佑樹, 仲村 優子, 高谷 磨紀代, 原田 太郎, 稲垣 恭子, 福田 いずみ, 杉原 仁：抗 Tpit 抗体の有無を検索した ACTH 単独欠損症の 4 例. 日本内分泌学会雑誌 2017; 93 (1) :276.
- 58) 伊藤 公一, 笠井 由隆, 榎屋 大輝, 高田 尚哉, 田中 悠也, 久米 佐知枝, 井上 明香, 玉井 浩二, 門田 和也, 岡田 信彦, 松岡 弘典, 吉松 昭和, 鈴木 雄二郎, 福田 いずみ：摘出により低血糖症状が改善した孤立性線維性胸膜腫瘍の 1 例. 日本呼吸器外科学会雑誌 2017; 31 (3) :P67-6.
- 59) 山田 裕士, 稲垣 恭子, 安田 和弘, 長尾 元嗣, 小林 俊介, 仲村 優子, 及川 眞一, 杉原 仁：救急搬送患者における耐糖能異常の関連因子の検討. 糖尿病 2017; 60 (Suppl.1) :S-443.
- 60) 大庭 健史, 福田 いずみ, 岡崎 幹子, 山田 裕士, 小林 俊介, 仲村 優子, 井上 達哉, 原田 太郎, 稲垣 恭子, 白田 実男, 杉原 仁：治療に難渋した定型カルチノイドによる異所性 ACTH 症候群の 1 例. 日本内分泌学会雑誌 2017; 93 (2) :590.
- 61) 江本 直也, 岡島 史宜：治療困難な糖尿病患者の血糖コントロールに関する行動経済学的要因分析. 行動経済学 2017; 10:26-28.
- 62) 久保田万葉, 長峯朋子, 山田裕士, 曾我彬美, 山口祐司, 福田いずみ, 杉原仁：甲状腺 Tc シンチグラフィでは診断困難であった自律機能性甲状腺結節の一例. 日本内分泌学会関東甲信越支部学術集会プログラム抄録集 2017; 18th:110.
- 63) 久保田 万葉, 長峯 朋子, 山田 裕士, 曾我 彬美, 山口 祐司, 福田 いずみ, 杉原 仁：甲状腺 Tc シンチグラフィでは診断困難であった自律機能性甲状腺結節の一例. 日本内分泌学会雑誌 2017; 93 (3) :785.
- 64) 山口 祐司, 岡崎 幹子, 久保田 万葉, 山田 裕士, 大庭 健史, 周東 佑樹, 仲村 優子, 高谷 磨紀代, 原田 太郎, 稲垣 恭子, 松下 晃, 中村 慶春, 福田 いずみ, 内田 英二, 杉原 仁：異所性 ACTH 症候群疑いで精査中偶然発見されたパラングリオーマ. 日本内分泌学会雑誌 2017; 93 (2) :625.
- 65) Marine Durand, 後町 清子, 久保田 大紀, 明尾 慶一郎, 岡島 史宜, 山木 邦比古, 高橋 浩, 亀谷 修平：糖尿病に対する補償光学眼底カメラで網膜動脈分枝指数の検討. 日本医科大学医学会雑誌 2017; 13 (3) :160.
- 66) 曾我 彬美, 原田 太郎, 周東 佑樹, 小林 俊介, 岡崎 幹子, 山田 裕士, 大庭 健史, 山口 祐司, 長峯 朋子, 仲村 優子, 守屋 綾子, 真山 大輔, 福田 いずみ, 稲垣 恭子, 杉原 仁, 及川 眞一：糖尿病自律神経障害による起立性低血圧と動脈硬化の関連. 糖尿病 2017; 60 (Suppl.1) :S-347.
- 67) 矢野 宏行, 長沼 孝雄, 酒井 真志人, 飯田 智, 満島 勝, 高峰英, 八木 孝, 南 史朗, 春日 雅人, 松本 道宏：絶食応答性プロリン水酸化酵素による糖代謝・炎症制御機構. 糖尿病 2017; 60 (Suppl.1) :S-282.
- 68) 岡崎幹子, 小林俊介, 大庭健史, 山口祐司, 長峯朋子, 五十嵐健人, 稲垣恭子, 原田太郎, 福田いずみ, 杉谷巖, 杉原仁：肝膿瘍を合併した右褐色細胞腫の 1 例. 日本内分泌学会関東甲信越支部学術集会プログラム抄録集 2017; 18th:125.
- 69) 岡崎 幹子, 小林 俊介, 大庭 健史, 山口 祐司, 長峯 朋子, 五十嵐 健人, 稲垣 恭子, 原田 太郎, 福田 いずみ, 杉谷 巖, 杉原 仁：肝膿瘍を合併した右褐色細胞腫の 1 例. 日本内分泌学会雑誌 2017; 93 (3) :800.
- 70) 浅井 明, 長尾 元嗣, 都築 毅, 宮澤 陽夫, 杉原 仁, 及川 眞一：臍島における CD36/FAT の発現と脂肪酸動態、インスリン分泌能との関係 新規耐糖能異常モデルマウスを用いた解析. 糖尿病 2017; 60 (Suppl.1) :S-468.
- 71) 大庭 健史, 山口 祐司, 羽田 幹子, 山田 裕士, 小林 俊介, 周東 佑樹, 仲村 優子, 原田 太郎, 稲垣 恭子, 福田 いずみ, 杉原 仁：血糖管理 一般病棟における周術期血糖管理方法と術後合併症についての検討. 糖尿病合併症 2017; 31 (Suppl.1) :280.
- 72) 張 かおり, 金子 正儀, 佐藤 陽子, 松林 泰弘, 山田 貴穂, 松永 佐澄志, 藤原 和哉, 羽入 修, 曾根 博仁, 福田 いずみ, 長嶋 洋治：重症低血糖を契機に発見された IGF-2 産生腫瘍による NICTH の一例. 日本内分泌学会雑誌 2017; 93 (1) :329.
- 73) 張かおり, 金子正儀, 佐藤陽子, 松林泰弘, 松永佐澄志, 岩永みどり, 山田貴穂, 藤原和哉, 羽入修, 曾根博仁, 福田いずみ, 長嶋洋治：重症低血糖を契機に発見された IGF-2 産生腫瘍による NICTH の 1 例. 新潟医学会雑誌 2017; 131 (11) :667.
- 74) 岡本 彬美, 福田 いずみ, 小林 俊介, 田原 重志, 杉原 仁：非機能性下垂体腺腫において下垂体機能低下症の重症度を反映する因子.

## 学会発表

- 1) 山口 祐司, 岡崎 幹子, 久保田 万葉, 山田 裕士, 大庭 健史, 周東 佑樹, 仲村 優子, 原田 太郎, 稲垣 恭子, 眞野 あすか, 松下 晃, 中村 慶春, 福田 いずみ, 内田 英二, 杉原 仁 : クッシング症候群を合併したパラガングリオーマの 1 例. 日本内分泌学会雑誌, 2017. 12.
- 2) 山田 裕士, 稲垣 恭子, 岡崎 幹子, 大庭 健史, 曾我 彬美, 山口 祐司, 小林 俊介, 周東 佑樹, 仲村 優子, 長峯 朋子, 原田 太郎, 福田 いずみ, 杉原 仁 : 内科的治療に抵抗性の高度肥満の一例. 肥満研究, 2017. 9.
- 3) 柴山 雅行, 大庭 健史, 岡崎 幹子, 山田 裕士, 山口 祐司, 仲村 優子, 周東 佑樹, 原田 太郎, 稲垣 恭子, 松下 晃, 中村 慶春, 福田 いずみ, 内田 英二, 杉原 仁 : 切除後に糖尿病による耐糖能が著しく改善したグルカゴノーマ. 日本内分泌学会雑誌, 2017. 10.
- 4) 山田 裕士, 曾我 彬美, 山口 祐司, 長峯 朋子, 原田 太郎, 稲垣 恭子, 田原 重志, 福田 いずみ, 杉原 仁 : 外転神経麻痺を伴った IgG4 関連下垂体炎に対してステロイドパルス療法を施行した 1 例. 日本内分泌学会雑誌, 2017. 12.
- 5) 山田 裕士, 稲垣 恭子, 山口 祐司, 小林 俊介, 原田 太郎, 福田 いずみ, 及川 眞一, 杉原 仁 : 急性膵炎発症前にリポ蛋白リパーゼ欠損を認めず高 TG 誘発急性膵炎を発症した一例. 日本動脈硬化学会総会プログラム・抄録集, 2017. 6.
- 6) 長峯 朋子, 浅井 明, 岡崎 幹子, 大庭 健史, 岡本 彬美, 山田 裕士, 山口 祐司, 小林 俊介, 周東 佑樹, 仲村 優子, 高谷 磨紀代, 原田 太郎, 稲垣 恭子, 福田 いずみ, 杉原 仁 : 抗 Tpit 抗体の有無を検索した ACTH 単独欠損症の 4 例. 日本内分泌学会雑誌, 2017. 4.
- 7) 大庭 健史, 福田 いずみ, 岡崎 幹子, 山田 裕士, 小林 俊介, 仲村 優子, 井上 達哉, 原田 太郎, 稲垣 恭子, 白田 実男, 杉原 仁 : 治療に難渋した定型カルチノイドによる異所性 ACTH 症候群の 1 例. 日本内分泌学会雑誌, 2017. 10.
- 8) 山口 祐司, 岡崎 幹子, 久保田 万葉, 山田 裕士, 大庭 健史, 周東 佑樹, 仲村 優子, 高谷 磨紀代, 原田 太郎, 稲垣 恭子, 松下 晃, 中村 慶春, 福田 いずみ, 内田 英二, 杉原 仁 : 異所性 ACTH 症候群疑いで精査中偶然発見されたパラガングリオーマ. 日本内分泌学会雑誌, 2017. 10.
- 9) 曾我 彬美, 原田 太郎, 周東 佑樹, 小林 俊介, 岡崎 幹子, 山田 裕士, 大庭 健史, 山口 祐司, 長峯 朋子, 仲村 優子, 守屋 綾子, 眞山 大輔, 福田 いずみ, 稲垣 恭子, 杉原 仁, 及川 眞一 : 糖尿病自律神経障害による起立性低血圧と動脈硬化の関連. 糖尿病, 2017. 4.
- 10) 岡崎 幹子, 小林 俊介, 大庭 健史, 山口 祐司, 長峯 朋子, 五十嵐 健人, 稲垣 恭子, 原田 太郎, 福田 いずみ, 杉谷 巖, 杉原 仁 : 肝膿瘍を合併した右褐色細胞腫の 1 例. 日本内分泌学会雑誌, 2017. 12.
- 11) 大庭 健史, 山口 祐司, 羽田 幹子, 山田 裕士, 小林 俊介, 周東 佑樹, 仲村 優子, 原田 太郎, 稲垣 恭子, 福田 いずみ, 杉原 仁 : 血糖管理 一般病棟における周術期血糖管理方法と術後合併症についての検討. 糖尿病合併症, 2017. 10.

## 6 アレルギー膠原病内科学分野

### 研究業績

#### 論文等

- 1) 天野 方一, 小林 政司, 保科 斉生, 岡田 秀雄, 長谷川 俊男, 川口 良人, 横尾 隆 : *Salmonella enterica ssp. arizonae* 菌血症に腸腰筋膿瘍および胸椎椎間板炎を合併した78歳女性の1例. 日本内科学会雑誌 2017; 106 (1) :84-89. doi: 10.2169/naika.106.84.
- 2) Masataka Kuwana : A To-Do List at Diagnosis of Systemic Sclerosis with Positive Anti-RNA Polymerase III Antibodies. JOURNAL OF RHEUMATOLOGY 2017; 44 (5) :550-552. doi: 10.3899/jrheum.170037.
- 3) Eri Watanabe, Takahisa Gono, Shinji Watanabe, Hiroki Yabe, Masataka Kuwana, Chihiro Terai : Analysis of Required Dose of Corticosteroid As Maintenance Therapy and Related Factors in Patients with Polymyositis/Dermatomyositis. ARTHRITIS & RHEUMATOLOGY 2017; 69
- 4) 岳野 光洋 : Behcet 病の診断と治療. 日本リウマチ学会総会・学術集会プログラム・抄録集 2018; 62 回:330.
- 5) Masataka Kuwana : Circulating Anti-Nuclear Antibodies in Systemic Sclerosis: Utility in Diagnosis and Disease Subsetting. JOURNAL OF NIPPON MEDICAL SCHOOL 2017; 84 (2) :56-63. doi: 10.1272/jnms.84.56.
- 6) Takehito Ishido, Nobuyuki Horita, Mitsuhiro Takeno, Mizuho Ishido, Yohei Kirino, Nobuhisa Mizuki : Clinical Manifestations of Behcet's Disease Depending on Sex and Age: Nationwide Japanese Registration. ARTHRITIS & RHEUMATOLOGY 2017; 69
- 7) Ishido Takehito, Horita Nobuyuki, Takeuchi Masaki, Kawagoe Tatsukata, Shibuya Etsuko, Yamane Takahiro, Hayashi Takahiko, Meguro Akira, Ishido Mizuho, Minegishi Kaoru, Yoshimi Ryusuke, Kirino Yohei, Kato Shingo, Arimoto Jun, Ishigatsubo Yoshiaki, Takeno Mitsuhiro, Kurosawa Michiko, Kaneko Takeshi, Mizuki Nobuhisa : Clinical manifestations of Behçet's disease depending on sex and age: results from Japanese nationwide registration. Rheumatology (Oxford, England) 2017; 56 ( 11 ) :1918-1927. doi: 10.1093/rheumatology/kex285.
- 8) Yasuhito Hamaguchi, Masataka Kuwana, Kazuhiko Takehara : Comparison of anti-OJ antibody detection assays between an immunoprecipitation assay and line blot assay. MODERN RHEUMATOLOGY 2017; 27 (3) :551-552. doi: 10.1080/14397595.2016.1213947.
- 9) Yuichiro Shirai, Masataka Kuwana : Complex pathophysiology of pulmonary hypertension associated with systemic sclerosis: potential unfavorable effects of vasodilators. Journal of Scleroderma and Related Disorders 2017; 2 (2) :92-99. doi: 10.5301/jsrd.5000235.
- 10) 桐木 園子, 宮本 正章, 高木 元, 高圓 雅博, 久保田 芳明, 太良 修平, 白井 悠一郎, 桑名 正隆, 清水 渉 : DDS 徐放化 b-FGF 血管再生治療等の治療が奏功した好酸球性多発血管炎性肉芽腫症による指尖部難治性潰瘍の一例. 日本創傷治癒学会プログラム・抄録集 2017; 47 回:157.
- 11) Takashi Satoh, Masataka Kuwana : Differential diagnosis: Secondary ITP. Autoimmune Thrombocytopenia 2017:97-105. doi: 10.1007/978-981-10-4142-6\_9.
- 12) Ishido Mizuho, Horita Nobuyuki, Takeuchi Masaki, Shibuya Etsuko, Yamane Takahiro, Kawagoe Tatsukata, Ishido Takehito, Minegishi Kaoru, Yoshimi Ryusuke, Kirino Yohei, Hirohata Shunsei, Ishigatsubo Yoshiaki, Takeno Mitsuhiro, Kaneko Takeshi, Mizuki Nobuhisa : Distinct clinical features between acute and chronic progressive parenchymal neuro-Behçet disease: meta-analysis. Scientific reports 2017; 7 (1) :10196. doi: 10.1038/s41598-017-09938-z.
- 13) Zhiyong Chen, Yan Wang, Masataka Kuwana, Xue Xu, Wei Hu, Xuebing Feng, Hong Wang, Akinori Kimura, Lingyun Sun : HLA-DRB1 Alleles as Genetic Risk Factors for the Development of Anti-MDA5 Antibodies in Patients with Dermatomyositis. JOURNAL OF RHEUMATOLOGY 2017; 44 (9) :1389-1393. doi: 10.3899/jrheum.170165.
- 14) Yukie Yamaguchi, Masataka Kuwana, Miwa Kanaoka, Tomoya Watanabe, Naoko Okiyama, Takahisa Gono, Masanari Kodera, Takeshi Kambara, Yasuhito Hamaguchi, Mariko Seishima, Kazuhiko Takehara, Manabu Fujimoto, Michiko Aihara : HLA-DRB1\*04:03/\*04:06 As the Genetic Susceptibility to Dermatomyositis Positive for Anti-Transcriptional Intermediary Factor 1-gamma Antibody in Japanese Population. ARTHRITIS & RHEUMATOLOGY 2017; 69
- 15) Eri Watanabe, Kumiko Nishina, Hiroki Yabe, Takahisa Gono, Chihiro Terai : Hughes–Stovin syndrome with pulmonary aneurysms and

- renal dysfunction mimicking polyarteritis nodosa. *Modern Rheumatology Case Reports* 2017; 2 ( 1 ) :107-112. doi: 10.1080/24725625.2017.1379168.
- 16) John Gerry Coghlan, Nazzareno Galie, Joan Albert Barbera, Adaani E. Frost, Hossein-Ardeschir Ghofrani, Marius M. Hoepfer, Masataka Kuwana, Vallerie V. McLaughlin, Andrew J. Peacock, Gerald Simonneau, Jean-Luc Vachiery, Christiana Blair, Hunter Gillies, Karen L. Miller, Julia H. N. Harris, Jonathan Langley, Lewis J. Rubin : Initial combination therapy with ambrisentan and tadalafil in connective tissue disease-associated pulmonary arterial hypertension (CTD-PAH): subgroup analysis from the AMBITION trial. *ANNALS OF THE RHEUMATIC DISEASES* 2017; 76 (7) :1219-1227. doi: 10.1136/annrheumdis-2016-210236.
- 17) 藤井 隆夫, 桑名 正隆, 三森 経世, 針谷 正祥, 渥美 達也, 武井 修治, 田村 直人, 松野 博明, 桃原 茂樹, 山本 一彦, 野村 和也, 遠藤 穰, 杉山 直伸, 廣瀬 智弘, 森嶋 洋輔, 吉井 規敏, 高木 理彰 : JAK 阻害剤/開発中の薬物 トファシチニブを投与された日本人関節リウマチ患者における感染症の発現状況 市販後調査の中間解析結果. *日本リウマチ学会総会・学術集会プログラム・抄録集* 2018; 62 回:529.
- 18) 針谷 正祥, 三森 経世, 桑名 正隆, 渥美 達也, 武井 修治, 田村 直人, 藤井 隆夫, 松野 博明, 桃原 茂樹, 山本 一彦, 野村 和也, 遠藤 穰, 杉山 直伸, 廣瀬 智弘, 森嶋 洋輔, 吉井 規敏, 高木 理彰 : JAK 阻害剤/開発中の薬物 日本人関節リウマチ患者を対象としたトファシチニブ市販後調査における安全性中間解析結果. *日本リウマチ学会総会・学術集会プログラム・抄録集* 2018; 62 回:528.
- 19) 五野貴久, 岡崎有佳, 桑名正隆 : MESACUP anti - MDA5 テストと従来測定法による抗 MDA5 抗体測定結果の比較. *日本臨床免疫学会会誌* 2017; 40 (4) :299.
- 20) Nishimoto T, Okazaki Y, Numajiri M, Kuwana M : Mouse immune thrombocytopenia is associated with Th1 bias and expression of activating Fc $\gamma$  receptors. *International journal of hematology* 2017; 105 (5) :598-605. doi: 10.1007/s12185-016-2172-2.
- 21) Toshimasa Shimizu, Tomohiro Koga, Yoshiro Horai, Keita Fujikawa, Yushiro Endo, Sousuke Tsuji, Ayuko Takatani, Masataka Umeda, Shoichi Fukui, Remi Sumiyoshi, Ayako Nishino, Shinya Kawashiri, Naoki Iwamoto, Takashi Igawa, Kunihiro Ichinose, Mami Tamai, Norihiro Sakamoto, Hideki Nakamura, Tomoki Origuchi, Hiroshi Mukae, Masataka Kuwana, Atsushi Kawakami : Multiple Serum Cytokine and Chemokine Profiling to Identify Combinational Biomarkers Toward Patients of Polymyositis/Dermatomyositis Complicated with Rapidly Progressive Interstitial Lung Disease. *ARTHRITIS & RHEUMATOLOGY* 2017; 69
- 22) Nobuyuki Horita, Akiko Suwa, Mitsuhiro Takeno, Takehito Ishido, Yohei Kirino, Nobuhisa Mizuki : Ocular Involvement Is Exclusive with Genital Ulcer and Skin Lesion in the Early Phase of Behcet's Disease: Nationwide Japanese Registration. *ARTHRITIS & RHEUMATOLOGY* 2017; 69
- 23) 五野 貴久, 岡崎 有佳, 桑名 正隆 : P1-7 MESACUP™ anti-MDA5 テストと従来測定法による抗 MDA5 抗体測定結果の比較. *日本臨床免疫学会会誌* 2017; 40 (4) :299c. doi: 10.2177/jsci.40.299c.
- 24) 渡邊 駿介, 白井 悠一郎, 岡崎 有佳, 五野 貴久, 岳野 光洋, 桑名 正隆 : P2-21 抗 KS 抗体陽性患者では嚢胞性病変を伴う肺病変が多い. *日本臨床免疫学会会誌* 2017; 40 (4) :314a. doi: 10.2177/jsci.40.314a.
- 25) Yasushi Kondo, Yuko Kaneko, Hiroaki Sugiura, Shunsuke Matsumoto, Naoshi Nishina, Masataka Kuwana, Masahiro Jinzaki, Tsutomu Takeuchi : Pre-treatment interleukin-6 levels strongly affect bone erosion progression and repair detected by magnetic resonance imaging in rheumatoid arthritis patients. *RHEUMATOLOGY* 2017; 56 (7) :1089-1094. doi: 10.1093/rheumatology/kex046.
- 26) Eri Watanabe, Takahisa Gono, Shinji Watanabe, Hiroki Yabe, Masataka Kuwana, Chihiro Terai : Predictive Factors for Achievement of Sustained Remission with Polymyositis/Dermatomyositis: A Retrospective Single Center Cohort Study in Japan. *ARTHRITIS & RHEUMATOLOGY* 2017; 69
- 27) Takahisa Gono, Kenichi Masui, Yasushi Kawaguchi, Kei Ikeda, Atsushi Kawakami, Maasa Tamura, Yoshinori Tanino, Takahiro Nunokawa, Yuko Kaneko, Shinji Sato, Katsuaki Asakawa, Naoshi Nishina, Masataka Kuwana : Predictive Modeling of Mortality in Polymyositis/Dermatomyositis Patients with Interstitial Lung Disease Based on Combination of Serum Myositis-Specific Autoantibodies and Conventional Biomarkers. *ARTHRITIS & RHEUMATOLOGY* 2017; 69
- 28) H. Kikuchi, T. Sawada, M. Okada, M. Takeno, M. Kuwana, Y. Ishigatsubo, I. Kawachi, H. Mochizuki, S. Kusunoki, S. Hirohata : RECOMMENDATIONS FOR THE MANAGEMENT OF NEURO-BEHET DISEASE BY JAPANESE RESEARCH COMMITTEE FOR BEHET DISEASE. *ANNALS OF THE RHEUMATIC DISEASES* 2017; 76:610-611. doi: 10.1136/annrheumdis-2017-eular.1201.

- 29) Oka A, Asano Y, Hasegawa M, Fujimoto M, Ishikawa O, Kuwana M, Kawaguchi Y, Yamamoto T, Takahashi H, Goto D, Endo H, Jinnin M, Mano S, Hosomichi K, Mabuchi T, Ueda MT, Nakagawa S, Beck S, Bahram S, Takehara K, Sato S, Ihn H : RXRB Is an MHC-Encoded Susceptibility Gene Associated with Anti-Topoisomerase I Antibody-Positive Systemic Sclerosis. *The Journal of investigative dermatology* 2017; 137 (9) :1878-1886. doi: 10.1016/j.jid.2017.04.028.
- 30) Hirotohi Kikuchi, Tetsuji Sawada, Masato Okada, Mitsuhiro Takeno, Masataka Kuwana, Yoshiaki Ishigatsubo, Izumi Kawachi, Hideki Mochizuki, Susumu Kusunoki, Shunsei Hirohata : Recommendations for the Management of Neuro-Behcet's Disease By the Japanese National Research Committee for Behcet's Disease. *ARTHRITIS & RHEUMATOLOGY* 2017; 69
- 31) Shinji Watanabe, Takahisa Gono, Kumiko Nishina, Naohiro Sugitani, Eri Watanabe, Hiroki Yabe, Chihiro Terai : Rheumatoid factor is correlated with disease activity and inflammatory markers in antineutrophil cytoplasmic antibody-associated vasculitis. *BMC IMMUNOLOGY* 2017; 18 (1) :53. doi: 10.1186/s12865-017-0234-8.
- 32) 矢部寛樹, 寺井千尋, 五野貴久, 小柳貴裕, 越智健介 : SAPHO 症候群における臨床的特徴および HLA タイピングの検討. *日本整形外科学会雑誌* 2018; 92 (2) :S101.
- 33) 矢嶋 宣幸, 佐田 憲映, 高橋 良, 浅野 善英, 東 光久, 亀田 秀人, 桑名 正隆, 上阪 等, 鈴木 勝也, 竹内 勤, 田中 良哉, 田村 直人, 松井 利浩, 三森 経世, 渥美 達也 : SLE・抗リン脂質抗体症候群 1 全身性エリテマトーデス患者の診療の質指標の開発. *日本リウマチ学会総会・学術集会プログラム・抄録集* 2018; 62 回:445.
- 34) 小林 政司, 門田 寛子, 福栄 亮介, 白井 悠一郎, 五野 貴久, 岳野 光洋, 桑名 正隆 : SLE・抗リン脂質抗体症候群 8 SLE 患者におけるヒドロキシクロロキン(HCQ)導入不適合となる眼病変のリスク因子の検討. *日本リウマチ学会総会・学術集会プログラム・抄録集* 2018; 62 回:551.
- 35) 小林政司, 門田寛子, 福栄亮介, 白井悠一郎, 五野貴久, 岳野光洋, 桑名正隆 : SLE 患者におけるヒドロキシクロロキン(HCQ)導入不適合となる眼病変のリスク因子の検討. *日本リウマチ学会総会・学術集会プログラム・抄録集* 2018; 62nd:551.
- 36) Tsuneyo Mimori, Masayoshi Harigai, Tatsuya Atsumi, Takao Fujii, Masataka Kuwana, Hiroaki Matsuno, Shigeki Momohara, Syuji Takei, Naoto Tamura, Yoshinari Takasaki, Satoshi Ikeuchi, Satoru Kushimoto, Takao Koike : Safety and effectiveness of 24-week treatment with iguratimod, a new oral disease-modifying antirheumatic drug, for patients with rheumatoid arthritis: interim analysis of a post-marketing surveillance study of 2679 patients in Japan. *MODERN RHEUMATOLOGY* 2017; 27 ( 5 ) :755-765. doi: 10.1080/14397595.2016.1265695.
- 37) T. Mimori, M. Harigai, T. Atsumi, T. Fujii, M. Kuwana, H. Matsuno : Safety and effectiveness of 24-week treatment with iguratimod, a new oral disease-modifying antirheumatic drug, for patients with rheumatoid arthritis: interim analysis of a post-marketing surveillance study of 2679 patients in Japan (vol 27, pg 755, 2017). *MODERN RHEUMATOLOGY* 2017; 27 (5) :V. doi: 10.1080/14397595.2017.1288842.
- 38) Shoichi Hasegawa, Hiroki Yabe, Naoya Kaneko, Eri Watanabe, Takahisa Gono, Chihiro Terai : Synovitis-acne-pustulosis-hyperostosis-osteitis (SAPHO) Syndrome with Significant Bilateral Pleural Effusions. *INTERNAL MEDICINE* 2017; 56 ( 20 ) :2779-2783. doi: 10.2169/internalmedicine.8250-16.
- 39) Salem D, Subang R, Kuwana M, Levine JS, Rauch J : T cells from induced and spontaneous models of SLE recognize a common T cell epitope on  $\beta$  2-glycoprotein I. *Cellular & molecular immunology* 2018:1-9. doi: 10.1038/s41423-018-0013-3.
- 40) Takashi Satoh, Masataka Kuwana : T-cell abnormalities. *Autoimmune Thrombocytopenia* 2017:63-72. doi: 10.1007/978-981-10-4142-6\_6.
- 41) C. Terao, T. Kawaguchi, P. Dieude, J. Varga, M. Kuwana, M. Hudson, Y. Kawaguchi, M. Matucci-Cerinic, K. Ohmura, G. Riemekasten, A. Kawasaki, P. Airo, T. Horita, A. Oka, E. Hachulla, H. Yoshifuji, P. Caramaschi, N. Hunzelmann, M. Baron, T. Atsumi, P. Hassouns, A. Tochimoto, N. Ayuzawa, H. Yanagida, H. Furukawa, S. Tohma, M. Hasegawa, M. Fujimoto, O. Ishikawa, T. Yamamoto, D. Goto, Y. Asano, M. Jinnin, H. Endo, H. Takahashi, K. Takehara, S. Sato, H. Ihn, S. Raychaudhuri, K. Liao, P. Gregersen, N. Tsuchiya, V. Ricciari, I. Melchers, G. Valentini, A. Cauvet, M. Martinez, T. Mimori, F. Matsuda, Y. Allnore : TRANS-ETHNIC META-ANALYSIS OF GENOME-WIDE ASSOCIATION STUDIES IDENTIFIES GSDMA AND PRDM1 AS SUSCEPTIBILITY GENES TO SYSTEMIC SCLEROSIS. *ANNALS OF THE RHEUMATIC DISEASES* 2017; 76:202. doi: 10.1136/annrheumdis-2017-eular.2165.
- 42) I. Kobayashi, Y. Tozawa, M. Ueki, S. Takezaki, S. Watanabe, H. Iwafuchi, M. Yamada, M. Kuwana, T. Ariga : Tacrolimus in

- combination with methotrexate and corticosteroid for the treatment of child-onset anti-signal recognition particle antibody-positive necrotizing myopathy. SCANDINAVIAN JOURNAL OF RHEUMATOLOGY 2017; 46 (5) :409-410. doi: 10.1080/03009742.2016.1241297.
- 43) Yumiko Sugiyama, Ryusuke Yoshimi, Maasa Tamura, Mitsuhiro Takeno, Yosuke Kunishita, Daiga Kishimoto, Yuji Yoshioka, Kouji Kobayashi, Kaoru Takase-Minegishi, Toshiyuki Watanabe, Naoki Hamada, Hideto Nagai, Naomi Tsuchida, Yutaro Soejima, Hiroto Nakano, Reikou Kamiyama, Takeaki Uehara, Yohei Kirino, Akiko Sekiguchi, Atsushi Ihata, Shigeru Ohno, Shouhei Nagaoka, Hideaki Nakajima : The predictive prognostic factors for polymyositis/dermatomyositis-associated interstitial lung disease. Arthritis research & therapy 2018; 20 (1) :7. doi: 10.1186/s13075-017-1506-7.
- 44) Ryuichi Togawa, Yoshinori Tanino, Takefumi Nikaido, Naoko Fukuhara, Manabu Uematsu, Kenichi Misa, Yuki Sato, Nozomu Matsuda, Yoshihiro Sugiura, Sachiko Namatame, Hiroko Kobayashi, Yasuhito Hamaguchi, Manabu Fujimoto, Masataka Kuwana, Mitsuru Munakata : Three cases of interstitial pneumonia with anti-signal recognition particle antibody. ALLERGOLOGY INTERNATIONAL 2017; 66 (3) :485-487. doi: 10.1016/j.alit.2016.10.009.
- 45) Ayano Fukushima, Yoshiko Ichimura, Shoko Obata, Misaki Kinoshita-Ise, Yumi Fujio, Mitsuhiro Takeno, Izumi Konohana : Thymoma-associated multi-organ autoimmunity: A case of graft-versus-host disease-like erythroderma complicated by Good syndrome successfully treated by thymectomy. The Journal of dermatology 2017; 44 (7) :830-835. doi: 10.1111/1346-8138.13777.
- 46) Chikashi Terao, Takahisa Kawaguchi, Philippe Dieude, John Varga, Masataka Kuwana, Marie Hudson, Yasushi Kawaguchi, Marco Matucci-Cerinic, Koichiro Ohmura, Gabriela Riemekasten, Aya Kawasaki, Paolo Airo, Tetsuya Horita, Akira Oka, Eric Hachulla, Hajime Yoshifuji, Paola Caramaschi, Nicolas Hunzelmann, Murray Baron, Tatsuya Atsumi, Paul Hassoun, Takeshi Torii, Meiko Takahashi, Yasuharu Tabara, Masakazu Shimizu, Akiko Tochimoto, Naho Ayuzawa, Hidetoshi Yanagida, Hiroshi Furukawa, Shigeto Tohma, Minoru Hasegawa, Manabu Fujimoto, Osamu Ishikawa, Toshiyuki Yamamoto, Daisuke Goto, Yoshihide Asano, Masatoshi Jinnin, Hirahito Endo, Hiroki Takahashi, Kazuhiko Takehara, Shinichi Sato, Hironobu Ihn, Soumya Raychaudhuri, Katherine Liao, Peter Gregersen, Naoyuki Tsuchiya, Valeria Riccieri, Inga Melchers, Gabriele Valentini, Anne Cauvet, Maria Martinez, Tsuneyo Mimori, Fumihiko Matsuda, Yannick Allanore : Transethnic meta-analysis identifies GSDMA and PRDM1 as susceptibility genes to systemic sclerosis. Annals of the rheumatic diseases 2017; 76 (6) :1150-1158. doi: 10.1136/annrheumdis-2016-210645.
- 47) 桑名正隆 : 〈Basic Science〉異なる2病態の免疫学的関連 特発性血小板減少性紫斑病とピロリ菌感染. 炎症と免疫 2017; 26 (1) :2 - 7.
- 48) 岳野 光洋 : 【リウマチ性疾患の神経・筋病変-clinical update 2017】 ベーチェット病の神経病変. リウマチ科 2017; 57 (5) :473-480.
- 49) 岳野 光洋 : 【リウマチ性疾患の遺伝要因】 ベーチェット病の遺伝要因. リウマチ科 2017; 58 (4) :412-419.
- 50) 白井 悠一郎, 桑名 正隆 : 【病気とくすり 2018 基礎と実践 Expert's Guide】 免疫・炎症・アレルギーの病気とくすり 強皮症. 薬局 2018; 69 (4) :827-830.
- 51) 白井 悠一郎, 桑名 正隆 : 【病気とくすり 2018 基礎と実践 Expert's Guide】 免疫・炎症・アレルギーの病気とくすり 混合性結合組織病. 薬局 2018; 69 (4) :831-835.
- 52) 岳野 光洋, 桑名 正隆 : 【経口抗リウマチ薬を総括する】 レフルノミド. 分子リウマチ治療 2017; 10 (4) :189-192.
- 53) 岳野 光洋 : 【膠原病の難治性病態】 ベーチェット病の中樞神経病変. リウマチ科 2017; 58 (1) :33-39.
- 54) 岳野 光洋 : 【血管炎の臨床 UPDATE】 血管型ベーチェット病. 医学のあゆみ 2017; 263 (6) :521-524.
- 55) 由井 智子, 岳野 光洋, 大内 望, 堀 純子 : インフリキシマブ投与中に正常な妊娠と分娩を遂行できた難治性ベーチェット病の一例. 日本眼科学会雑誌 2018; 122 (臨増) :257.
- 56) 桑名正隆 : バイオ医薬品と抗製剤抗体. 月刊リウマチ科 2017; 58 (1) :134 - 140.
- 57) 岳野 光洋, 堀田 信之, 桐野 洋平 : ベーチェット病 性別、発症年齢とベーチェット病の臨床像 臨床調査個人票を用いた解析. 日本リウマチ学会総会・学術集会プログラム・抄録集 2018; 62 回:442.
- 58) 副島 裕太郎, 桐野 洋平, 岳野 光洋, 渡邊 俊幸, 上原 武晃, 峯岸 薫, 吉見 竜介, 山崎 哲, 浅見 由希子, 関口 章子, 井畑 淳, 大野 滋, 五十嵐 俊久, 長岡 章平, 中島 秀明 : ベーチェット病 臨床像に基づく主成分分析によるベーチェット病患者の亜群分類の試み. 日本リウマチ学会総会・学術集会プログラム・抄録集 2018; 62 回:442.
- 59) 石ヶ坪良明, 岳野光洋, 桐野洋平, 吉見隆介, 蕪城俊克, 迫野卓士, 渋谷悦子, 安倍清美, 水木信久 : ベーチェット病に関する調査研究 ベーチェット病班作成 HP の患者相談の実情の解析に関する研究. ベーチェット病に関する調査研究 平成 28 年度 総括・分担研究報

告書 2017

- 60) 菊地弘敏, 沢田哲治, 岳野光洋, 桑名正隆, 石ヶ坪良明, 廣畑俊成 : ペーチェット病に関する調査研究 神経ペーチェット病の診療のガイドライン改訂に向けての研究. ペーチェット病に関する調査研究 平成 28 年度 総括・分担研究報告書 2017
- 61) 岳野光洋, 菊地弘敏, 永瀨裕子, 廣畑俊成, 沢田哲司, 石ヶ坪良明, 水木信久, 桑名正隆, 石橋宏之, 荻野均, 前田英明 : ペーチェット病に関する調査研究 血管型ペーチェット病の診療ガイドライン案. ペーチェット病に関する調査研究 平成 28 年度 総括・分担研究報告書 2017:61 - 75 (WEB ONLY).
- 62) 岳野光洋 : ペーチェット病の神経病変. リウマチ科 2017; 57 (5) :473-480.
- 63) 岳野光洋 : ペーチェット病遺伝素因. リウマチ科 2017; 58 (4) :412-419.
- 64) 桑名正隆 : リウマチ性疾患の腎病変 抗 RNA ポリメラーゼ III 抗体と強皮症腎クリーゼ. 月刊リウマチ科 2018; 59 (2) :138 - 144.
- 65) 岳野光洋, 桑名正隆 : レフルノミド. 分子リウマチ治療 11 2017; 10 (4) :15-18.
- 66) 桑名正隆 : 全身性強皮症—現状の課題と将来展望. SRL 宝函 2017; 38 (2) :21 - 27.
- 67) 桑名正隆 : 各臓器障害 SLE に伴う血液障害. Visual Dermatology 2017; 16 (8) :799 - 804.
- 68) 渡邊 萌理, 五野 貴久, 阿部 麻衣, 渡邊 晋二, 矢部 寛樹, 桑名 正隆, 加藤 和則, 寺井 千尋 : 多発性筋炎/皮膚筋炎における血清 CD146 の検討. 日本リウマチ学会総会・学術集会プログラム・抄録集 2018; 62 回:666.
- 69) 清水 俊匡, 古賀 智裕, 坂本 憲穂, 中村 英樹, 迎 寛, 桑名 正隆, 川上 純 : 多発性筋炎/皮膚筋炎関連間質性肺炎におけるサイトカインネットワークと重症度に関する検討. 日本内科学会雑誌 2018; 107 (Suppl.) :227.
- 70) 門田 寛子, 五野 貴久, 山口 由衣, 渡邊 萌理, 岡崎 有佳, 小林 政司, 白井 悠一郎, 岳野 光洋, 寺井 千尋, 桑名 正隆 : 多発性筋炎・皮膚筋炎 1 悪性腫瘍関連筋炎(CAM)の予後規定因子の同定. 日本リウマチ学会総会・学術集会プログラム・抄録集 2018; 62 回:439.
- 71) 五野 貴久, 川口 鎮司, 川上 純, 佐藤 慎二, 桐野 洋平, 池田 啓, 布川 貴博, 金子 祐子, 仁科 直, 桑名 正隆 : 多発性筋炎・皮膚筋炎 4 多発性筋炎・皮膚筋炎合併間質性肺病変(Myositis-ILD)における三剤併用療法の有効性の検討. 日本リウマチ学会総会・学術集会プログラム・抄録集 2018; 62 回:553.
- 72) 五野貴久, 川口鎮司, 川上純, 佐藤慎二, 桐野洋平, 池田啓, 布川貴博, 金子祐子, 仁科直, 桑名正隆 : 多発性筋炎・皮膚筋炎合併間質性肺病変(Myositis - ILD)における三剤併用療法の有効性の検討. 日本リウマチ学会総会・学術集会プログラム・抄録集 2018; 62nd:553.
- 73) 石川輝, 渡邊萌理, 杉谷直大, 渡邊晋二, 矢部寛樹, 五野貴久, 寺井千尋 : 多発腎梗塞と大量の腎動脈出血を来し結節性多発動脈炎(PAN)との鑑別を要した分節性動脈中膜融解(segmental arterial mediolysis:SAM)の 1 例. 日本内科学会関東支部関東地方会 2017; 630th:76.
- 74) 白井 悠一郎, 桑名 正隆 : 強皮症 (特集 関節痛をどう診るか). 成人病と生活習慣病 : 日本成人病(生活習慣病)学会準機関誌 2017; 47 (9) :1161-1164.
- 75) 白井 悠一郎 : 強皮症における肺高血圧症 その多様性と治療戦略. リウマチ科 2017; 57 (4) :430-436.
- 76) 白井 悠一郎 : 強皮症の血管障害における neuropilin-1 の意義. リウマチ科 2017; 58 (6) :625-629.
- 77) 安岡 秀剛, 坂田 康明, 桑名 正隆, 竹内 勤 : 強皮症・MCTD・重複症候群 3 全身性硬化症における血小板の活性化状態と臨床的特徴との関連. 日本リウマチ学会総会・学術集会プログラム・抄録集 2018; 62 回:505.
- 78) 川口鎮司, 浅野善英, 桑名正隆, 後藤大輔, 神人正寿, 竹原和彦, 波多野将, 藤本学, 佐藤伸一, 高木香恵, 栃本明子, 樋口智昭, 市村裕輝, 尹浩信 : 強皮症・皮膚線維化疾患の診断基準・重症度分類・診療ガイドライン作成 全身性強皮症の腎障害の重症度分類と診療ガイドライン. 強皮症・皮膚線維化疾患の診断基準・重症度分類・診療ガイドライン作成事業 平成 28 年度 総括・分担研究報告書 2017
- 79) 門田 寛子, 五野 貴久, 海野 幸紀, 福栄 亮介, 中島 義雄, 西川 あゆみ, 小林 政司, 白井 悠一郎, 岳野 光洋, 桑名 正隆 : 悪性黒色腫に対するニボルマブ投与に皮膚筋炎が増悪した一例. 関東リウマチ 2018; 51 (51) :111-114.
- 80) 門田寛子, 五野貴久, 海野幸紀, 福栄亮介, 中島義雄, 西川あゆみ, 小林政司, 白井悠一郎, 岳野光洋, 桑名正隆 : 悪性黒色腫に対するニボルマブ投与後に皮膚筋炎が増悪した一例. 関東リウマチ 2018; 51:111 - 114-114.
- 81) 五野貴久 : 成人 PM/DM における 2016ACR/EULAR clinical response criteria の概要. 月刊リウマチ科 2018; 59 (3) :330 - 336.
- 82) 五野貴久, 桑名正隆 : 抗 TNF $\alpha$  抗体はなぜ効くのか. 消化器病学サイエンス 2017; 1 (1) :18 - 21-33.
- 83) 桑名正隆 : 早期の KL - 6 上昇が強皮症に伴う間質性肺疾患の肺機能低下の予測因子になる. 月刊リウマチ科 2017; 58 (3) :319 - 325.
- 84) 五野貴久, 福栄亮介, 白井悠一郎, 岳野光洋, 桑名正隆 : 早期関節リウマチにおけるリウマトイド因子の推移と疾患活動性との関連. 日本医科大学医学会雑誌 2017; 13 (4) :244 - 245(J - STAGE)-245.

- 85) 岳野光洋：神経ペーチェット. リウマチ科 2017; 58 (1) :33-39.
- 86) 五野貴久：筋病変を伴うリウマチ性疾患の診断と治療 多発性筋炎・皮膚筋炎におけるマクロファージ活性化症候群. 月刊リウマチ科 2018; 59 (1) :21 - 25.
- 87) 須賀 実佑里, 中島 義雄, 宮下 稜太, 小林 政司, 白井 悠一郎, 五野 貴久, 岳野 光洋, 桑名 正隆：腎動脈瘤破裂で発症した結節性多発動脈炎の一例. 日本リウマチ学会関東支部学術集会プログラム・抄録集 2017; 28 回:74.
- 88) 岳野光洋：血管型ペーチェット病. 医学のあゆみ 2017; 263 (6) :521-524.
- 89) 五野貴久：診療ガイドライン at a glance 関節リウマチ治療におけるメトトレキサート(MTX)診療ガイドライン 2016 年改訂版(簡易版). 日本内科学会雑誌 2017; 106 (7) :1433 - 1439. doi: 10.2169/naika.106.1433.
- 90) 五野 貴久：関節リウマチ治療におけるメトトレキサート(MTX)診療ガイドライン 2016 年改訂版(簡易版) (診療ガイドライン at a glance). 日本内科学会雑誌 2017; 106 (7) :1433-1439.
- 91) 桐木 園子, 宮本 正章, 高木 元, 高圓 雅博, 久保田 芳明, 太良 修平, 白井 悠一郎, 桑名 正隆, 清水 渉：集学的治療が奏効した好酸球性多発血管炎性肉芽腫症による指尖部難治性潰瘍の一例. 日本高気圧環境・潜水医学会雑誌 2017; 52 (4) :259.
- 92) 伊澤 有香, 篠原 理恵, 松田 秀則, 百瀬 葉子, 荻田 あづさ, 安齋 眞一, 佐伯 秀久, 桑名 正隆：食道癌、胃癌を伴った抗 TIF1 $\gamma$  抗体陽性の皮膚筋炎の 1 例. 日本皮膚科学会雑誌 2017; 127 (6) :1358.

## 著書

- 1) 白井 悠一郎, 桑名 正隆：〔分担執筆〕CTD-PAH 治療におけるリオシグアトへの期待. sGC 刺激薬リオシグアトによる肺高血圧症治療. 2017, メディカルレビュー社.
- 2) 岳野光洋：〔分担執筆〕免疫病・アレルギー性疾患・膠原病. year note 2019. 2018
- 3) 岳野光洋：〔単著〕移植免疫. やさしい臨床医学テキスト. 2018; pp. 396-398, 薬事日報社.
- 4) 岳野光洋：〔単著〕多発筋炎・皮膚筋炎. やさしい臨床医学テキスト. 2018; pp. 389-390, 薬事日報社.
- 5) 岳野光洋：〔単著〕全身性強皮症. やさしい臨床医学テキスト. 2018; pp.386-388, 薬事日報社.
- 6) 岳野光洋：〔単著〕免疫病・アレルギー性疾患・膠原病. イヤーノート Topics 2018-2019. 2018; pp.F-43-59-87-90, メディックメディア.
- 7) 岳野光洋：〔分担執筆〕クエスチョン・バンク CBT 2019 vol.6 最新復元問題 第9版. 2018
- 8) 岳野光洋：〔単著〕免疫・アレルギー性疾患・膠原病. 内科系専門医試験 Quick Question16 版. 2018; pp.204-245, メディックメディア.
- 9) 岳野光洋：〔単著〕免疫・アレルギー疾患・膠原病. 医師国家試験のためのレビューブック 内科・外科 2018-2019. 2017, メディックメディア.
- 10) 白井 悠一郎, 桑名 正隆：〔分担執筆〕膠原病に伴う肺動脈性肺高血圧症 基礎知識・膠原病に伴う肺動脈性肺高血圧症 実践. 循環器診療ザ・ベーシック 肺高血圧症. 2018, メディカルレビュー社.
- 11) 岳野光洋：〔単著〕多彩な血管を侵す血管炎 Behcet 病. 臨床脈管学. 2017; pp.333-334, 日本医学出版.

## 学会発表

- 1) Kuwana M, Blair C, Langley J, Coghlan J : Ambition Study: Initial Combination Therapy of AmbriSentan and Tadalafil in Connective tissue disease associated Pulmonary Arterial HypertenSion (ctd- pah) in the Modified Intention to Treat Population. 5th Systemic Sclerosis World Congress, 2018. 2.
- 2) Yamaguchi Y, Shirai Y, Ono J, Kawaguchi Y, Izuhara K, Kuwana M, Aihara M : An increased circulating level of periostin in patients with systemic sclerosis: associations with functional impairment in various affected organs. The 76th Annual Meeting of Society for Investigative Dermatology, 2017. 4.
- 3) Kuwana M : Autoantibodies in Systemic sclerosis. SNUH Rheumatology Symposium 2017, 2017. 6.
- 4) Kuwana M : Autoantibody detection and standardization. 2nd Global Conference on Myositis., 2017. 5.
- 5) 桑名正隆：CDT-PAH に対する国際共同治験. 第 2 回日本肺高血圧症・肺循環学会学術集会., 2017. 6.
- 6) Shirai Y, Okazaki Y, Kuwana M : Clinical characteristics of critical limb ischemia in patients with systemic sclerosis. 5th Systemic Sclerosis World Congress, 2018. 2.



- 7) 桐木 園子, 宮本 正章, 高木 元, 高圓 雅博, 久保田 芳明, 太良 修平, 白井 悠一郎, 桑名 正隆, 清水 渉 : DDS 徐放化 b-FGF 血管再生治療等の治療が奏功した好酸球性多発血管炎性肉芽腫症による指尖部難治性潰瘍の一例. 第 47 回日本創傷治癒学会プログラム・抄録集, 2017. 11.
- 8) Takeno M, Nagafuchi H, Ishibashi H, Ogino H, Maeda H, Kikuchi H, Ishigatsubo Y : Draft of recommendations for the management of vasculo-Behçet's disease in Japan. 8th Japan-Korea Joint Meeting on Behçet's Disease, 2017. 12.
- 9) Kuwana M : Immunogenetics of Scleroderma. 19th Asia Pacific League of Associations for Rheumatology Congress.APLAR2017, 2017. 10.
- 10) Kuwana M : Immunology Session. 19th Asia Pacific League of Associations for Rheumatology Congress.APLAR2017, 2017. 10.
- 11) 安岡 秀剛, 白井 悠一郎, 竹内 勤, 桑名 正隆 : MCTD・重複症候群/強皮症 DETECT アルゴリズムによる全身性強皮症(SSc)患者に合併する肺動脈性肺高血圧症(PAH)のスクリーニング 当施設での validation. 第 61 回日本リウマチ学会総会・学術集会プログラム・抄録集, 2017. 4.
- 12) 白井 悠一郎, 竹内 勤, 桑名 正隆 : MCTD・重複症候群/強皮症 強皮症における重症虚血肢の臨床特徴. 第 61 回日本リウマチ学会総会・学術集会プログラム・抄録集, 2017. 4.
- 13) 安岡 秀剛, 武井 裕史, 白井 悠一郎, 山岡 邦宏, 桑名 正隆, 竹内 勤 : MCTD・重複症候群/強皮症 抗 U1RNP 抗体陽性膠原病における肺動脈性肺高血圧症の特徴は抗体よりも疾患に規定されている. 第 61 回日本リウマチ学会総会・学術集会プログラム・抄録集, 2017. 4.
- 14) Kuwana M : New Autoantibodies, organ involvement and disease progression. 5th Systemic Sclerosis World Congress, 2018. 2.
- 15) Takei H, Yasuoka H, Shirai Y, Sugiura H, Yamaoka K, Kuwana M, Takeuchi T : Patients with earlier and milder disease with interstitial lung involvement in systemic sclerosis have better response to immunosuppressive treatment. 15th International Workshop on Scleroderma Research (Pittsburgh), 2017. 8.
- 16) Fukue R, Gono T, Kadota H, Kobayashi S, Nakajima Y, Shirai Y, Takeno M, Kuwana M : Rapid decline of rheumatoid factor in association with improved disease activity index in patients with early rheumatoid arthritis. The 7th East Asian Group of Rheumatology, 2017. 7.
- 17) Yasuoka H, Shirai Y, Tamura Y, Takeuchi T, Kuwana M : Screening of pulmonary arterial hypertension in patients with systemic sclerosis using detect algorithm - validation in the cohort of Japanese single center. Annual European Congress of Rheumatology, EULAR 2017, 2017. 6.
- 18) Yasuoka H, Shirai Y, Tamura Y, Takeuchi T, Kuwana M : Validation of DETECT algorithm in patients with systemic sclerosis - validation in a cohort of Japanese single center. 15th International Workshop on Scleroderma Research, 2017. 8.
- 19) 岳野光洋 : ベーチェット病と toll 様受容体. 日本眼科学会総会 (第 121 回) . (東京) , 2017. 4.
- 20) 副島祐太郎, 桐野洋平, 岳野光洋, 出口治子, 須田昭子, 杉山裕美子, 土田奈緒美, 國下洋輔, 神山玲光, 渡邊俊幸, 上原武晃, 峯岸薫, 浜真麻, 吉見竜介, 山崎哲 : ベーチェット病患者のサブグループ化と個別改良に向けての展望. 日本リウマチ学会総会・学術集会. (福岡) , 2017. 4.
- 21) 岳野光洋, 出口治子, 桑名正隆, 菊池弘敏, 齊藤和義, 永渕裕子, 廣畑俊成, 石ヶ坪良明 : ベーチェット病深部静脈血栓症に対する抗凝固療法. 日本リウマチ学会総会・学術集会 (第 61 回) . (福岡) , 2017. 4.
- 22) 門田 寛子, 五野 貴久, 渡邊 萌理, 岡崎 有佳, 福栄 亮介, 西川 あゆみ, 白井 悠一郎, 岳野 光洋, 寺井 千尋, 桑名 正隆 : 多発性筋炎・皮膚筋炎 抗 TIF1- $\gamma$  抗体陽性の有無で見た悪性腫瘍関連筋炎の臨床的特徴. 第 61 回日本リウマチ学会総会・学術集会プログラム・抄録集, 2017. 4.
- 23) 桑名正隆 : 多発性筋炎・皮膚筋炎に合併する間質性肺疾患治療のトレンド. 第 29 回中部リウマチ学会・日本リウマチ学会中部支部学術集会, 2017. 9.
- 24) 高山良子, 船坂陽子, 清水愛, 岳野光洋, 佐伯秀久 : 好中球性皮膚症を呈した壊死性リンパ節炎の 1 例. 日皮会東京支部学術大会 (第 81 回) . (東京) , 2017. 9.
- 25) 秀川賀春, 月山秀明, 小宮孝章, 小林幸司, 峯岸薫, 岳野光洋, 大野滋, 中島秀明 : 広範な大静脈血栓症にて診断された血管 Behcet 病の 1 例. 日本リウマチ学会総会・学術集会 (第 61 回) . (福岡) , 2017. 4.
- 26) 桑名正隆 : 強皮症に伴う間質性肺炎. 第 61 回日本リウマチ学会総会・学術集会, 2017. 4.
- 27) 門田 寛子, 五野 貴久, 海野 幸紀, 福栄 亮介, 中島 義雄, 西川 あゆみ, 小林 政司, 白井 悠一郎, 岳野 光洋, 桑名 正隆 : 悪性

- 黒色腫に対するニボルマブ投与に皮膚筋炎が増悪した一例. 第 58 回関東リウマチ研究会, 2017. 7.
- 28) 門田寛子, 五野貴久, 海野幸紀, 福栄亮介, 中島義雄, 西川あゆみ, 小林政司, 白井悠一郎, 岳野光洋, 桑名正隆: 悪性黒色腫に対するニボルマブ投与後に皮膚筋炎が増悪した 1 例. 関東リウマチ研究会 (第 58 回). (東京), 2017. 7.
- 29) 渡邊駿介, 白井悠一郎, 岡崎有佳, 五野貴久, 岳野光洋, 桑名正隆: 抗 KS 抗体陽性患者では嚢胞性病変を伴う病変が多い. 日本臨床免疫学会総会 (第 45 回). (東京), 2017. 9.
- 30) 渡邊 駿介, 白井 悠一郎, 岡崎 有佳, 五野 貴久, 岳野 光洋, 桑名 正隆: 抗 KS 抗体陽性患者では嚢胞性病変を伴う肺病変が多い. 第 45 回日本臨床免疫学会総会, 2017. 9.
- 31) 門田寛子, 五野貴久, 渡邊萌理, 岡崎有佳, 福栄亮介, 西川あゆみ, 白井悠一郎, 岳野光洋, 寺井千尋, 桑名正隆: 抗 TIF1- $\gamma$  抗体陽性の有無で見た悪性腫瘍関連筋炎の臨床的特徴. 日本リウマチ学会総会・学術集会 (第 61 回). (福岡), 2017. 4.
- 32) 白井 悠一郎, 桑名 正隆: 日本における膠原病関連肺高血圧症の疫学と予後—諸外国との比較. 第 2 回日本肺高血圧症・肺循環学会学術集会, 2017. 6.
- 33) 福栄亮介, 五野貴久, 白井悠一郎, 岳野光洋, 桑名正隆: 早期関節リウマチにおけるリウマトイド因子の推移と疾患活動性との関連. 日本リウマチ学会総会・学術集会 (第 61 回). (福岡), 2017. 4.
- 34) 菊池弘敏, 沢田哲治, 岡田正人, 岳野光洋, 桑名正隆, 石ヶ坪良明, 廣畑俊成: 神経ペーチェット病の診療のガイドライン改訂に向けて. 日本リウマチ学会総会・学術集会 (第 61 回). (福岡), 2017. 4.
- 35) 須賀実佑里, 中島義雄, 宮下稜太, 小林政司, 白井悠一郎, 五野貴久, 岳野光洋, 桑名正隆: 腎動脈瘤破裂で発症した結節性多発動脈炎の 1 例. 日本リウマチ学会関東支部学術集会 (第 28 回). (東京), 2017. 12.
- 36) 須賀 実佑里, 中島 義雄, 宮下 稜太, 小林 政司, 白井 悠一郎, 五野 貴久, 岳野 光洋, 桑名 正隆: 腎動脈瘤破裂で発症した結節性多発動脈炎の一例. 第 28 回日本リウマチ学会関東支部学術集会プログラム・抄録集, 2017. 12.
- 37) 桑名正隆: 膠原病における個別化医療の現状と将来展望. 第 23 回国際個別化医療学会学術集会, 2017. 10.
- 38) 桑名正隆: 膠原病における自己抗体検査の活用法. 平成 29 年度第 2 回日本内科学会生涯教育講演会, 2017. 9.
- 39) 白井 悠一郎: 膠原病に伴う肺動脈性肺高血圧症 (CTD-PAH) の診断・治療 up to date. 第 65 回日本心臓病学会, 2017. 10.
- 40) 桑名正隆: 膠原病診療に必要な血栓止血異常の基本知識. 第 61 回日本リウマチ学会総会・学術集会, 2017. 4.
- 41) 桑名正隆: 関節リウマチ治療で遭遇する合併症とその対策. 第 27 回日本整形外科学会認定リウマチ医研修会, 2017. 7.
- 42) 桐木 園子, 宮本 正章, 高木 元, 高圓 雅博, 久保田 芳明, 太良 修平, 白井 悠一郎, 桑名 正隆, 清水 渉: 集学的治療が奏効した好酸球性多発血管炎性肉芽腫症による指尖部難治性潰瘍の一例. 第 52 回日本高気圧環境・潜水医学会学術総会, 2017. 11.
- 43) 桑名正隆: 高齢者の RA の特徴と治療の選択. 第 27 回日本リウマチ学会近畿支部学術集会, 2017. 9.

## 7 血液内科学分野

### 研究業績

#### 論文等

- 1) 黒澤修兵, 五十嵐愛子, 小西達矢, 永田啓人, 箱崎泰貴, 山田裕太, 竹崎俊晶, 海渡智史, 阪口正洋, 原田介斗, 吉岡康介, 安田峻一郎, 稲本恭子, 名島悠峰, 萩野剛史, 土岐典子, 小林武, 垣花和彦, 坂巻壽, 大橋一輝 : 71 歳 7 カ月時に非血縁者間同種骨髄ニ移植を行い長期生存している症例について. 老年者造血器疾患研究会会誌 2017; 25
- 2) Tamai H, Yamaguchi H, Miyake K, Takatori M, Kitano T, Yamanaka S, Yui S, Fukunaga K, Nakayama K, Inokuchi K : Amlexanox Downregulates S100A6 to Sensitize *KMT2A/AFF1*-Positive Acute Lymphoblastic Leukemia to TNF  $\alpha$  Treatment. Cancer research 2017; 77 (16) :4426-4433. doi: 10.1158/0008-5472.CAN-16-2974.
- 3) 玉井勇人, 猪口孝一 : Amlexanox 併用造血細胞移植による切除不能膀胱癌治療の可能性. 日本内科学会雑誌 2018; 107 (Suppl.) :152.
- 4) 玉井勇人, 猪口孝一 : Atg7 抑制による AML 細胞の抗がん剤感受性増強. 血液内科 2017; 74 (6) :830-832.
- 5) Shuntaro Ikegawa, Noriko Doki, Satoshi Kaito, Shuhei Kurosawa, Masahiro Sakaguchi, Kaito Harada, Keita Yamamoto, Yutaro Hino, Naoki Shingai, Yasushi Senoo, Daisuke Watanabe, Takeshi Hagino, Kosuke Yoshioka, Kyoko Watakabe, Aiko Igarashi, Yuho Najima, Takeshi Kobayashi, Kazuhiko Kakihana, Hisashi Sakamaki, Kazuteru Ohashi : Central Nervous System Involvement at the Time of Allogeneic Hematopoietic Stem Cell Transplantation Is Associated with a Poor Outcome in Patients with Acute Myeloid Leukemia. Pathology & Oncology Research 2017; 23 (2) :433-437. doi: 10.1007/s12253-016-0162-6.
- 6) Hideki Muramatsu, Yusuke Okuno, Kenichi Yoshida, Yuichi Shiraishi, Sayoko Doisaki, Atsushi Narita, Hirotohi Sakaguchi, Nozomu Kawashima, Xinan Wang, Yinyan Xu, Kenichi Chiba, Hiroko Tanaka, Asahito Hama, Masashi Sanada, Yoshiyuki Takahashi, Hitoshi Kanno, Hiroki Yamaguchi, Shouichi Ohga, Atsushi Manabe, Hideo Harigae, Shinji Kunishima, Eiichi Ishii, Masao Kobayashi, Kenichi Koike, Kenichiro Watanabe, Etsuro Ito, Minoru Takata, Miharuru Yabe, Seishi Ogawa, Satoru Miyano, Seiji Kojima : Clinical Sequencing of 347 Children with Acquired and Inherited Bone Marrow Failure Syndromes. BLOOD 2017; 130
- 7) Genki Yamato, Hiroki Yamaguchi, Hiroshi Handa, Norio Shiba, Machiko Kawamura, Satoshi Wakita, Koiti Inokuchi, Yusuke Hara, Kentaro Ohki, Jun Okubo, Myoung-Ja Park, Manabu Sotomatsu, Hirokazu Arakawa, Yasuhide Hayashi : Clinical features and prognostic impact of PRDM16 expression in adult acute myeloid leukemia. Genes Chromosomes & Cancer 2017; 56 (11) :800-809. doi: 10.1002/gcc.22483.
- 8) A Kawajiri, S Fujii, Y Tanaka, C Kono, T Hirakawa, T Tanaka, R Ito, Y Inoue, K Okinaka, S Kurosawa, Y Inamoto, S-W Kim, T Yamashita, T Fukuda : Clinical impact of hyperglycemia on days 0-7 after allogeneic stem cell transplantation. Bone marrow transplantation 2017; 52 (8) :1156-1163. doi: 10.1038/bmt.2017.27.
- 9) Hideki Muramatsu, Yusuke Okuno, Kenichi Yoshida, Yuichi Shiraishi, Sayoko Doisaki, Atsushi Narita, Hirotohi Sakaguchi, Nozomu Kawashima, Xinan Wang, Yinyan Xu, Kenichi Chiba, Hiroko Tanaka, Asahito Hama, Masashi Sanada, Yoshiyuki Takahashi, Hitoshi Kanno, Hiroki Yamaguchi, Shouichi Ohga, Atsushi Manabe, Hideo Harigae, Shinji Kunishima, Eiichi Ishii, Masao Kobayashi, Kenichi Koike, Kenichiro Watanabe, Etsuro Ito, Minoru Takata, Miharuru Yabe, Seishi Ogawa, Satoru Miyano, Seiji Kojima : Clinical utility of next-generation sequencing for inherited bone marrow failure syndromes. Genetics in Medicine 2017; 19 (7) :796-802. doi: 10.1038/gim.2016.197.
- 10) 山田裕太, 福島一彰, 阪口正洋, 関谷紀貴 : *Corynebacterium jeikeium* による蜂窩織炎を来した 1 例. 日本化学療法学会雑誌 2017; 65 (Supplement-A)
- 11) Shunsuke Yui, Saiko Kurosawa, Hiroki Yamaguchi, Heiwa Kanamori, Toshimitsu Ueki, Nobuhiko Uoshima, Ishikazu Mizuno, Katsuhiko Shono, Kensuke Usuki, Shigeru Chiba, Yukinori Nakamura, Masamitsu Yanada, Junya Kanda, Kenji Tajika, Seiji Gomi, Keiko Fukunaga, Satoshi Wakita, Takeshi Ryotokuji, Takahiro Fukuda, Koiti Inokuchi : D816 mutation of the KIT gene in core binding factor acute myeloid leukemia is associated with poorer prognosis than other KIT gene mutations. Annals of Hematology 2017; 96 (10) :1641-1652. doi: 10.1007/s00277-017-3074-y.

- 12) Ikuko Omori, Hiroki Yamaguchi, Koichi Miyake, Noriko Miyake, Tomoaki Kitano, Koiti Inokuchi : D816V mutation in the KIT gene activation loop has greater cell-proliferative and anti-apoptotic ability than N822K mutation in core-binding factor acute myeloid leukemia. *Experimental Hematology* 2017; 52:56-64. doi: 10.1016/j.exphem.2017.05.003.
- 13) Kosei Nagata, Hirotaka Chikuda, Koichi Inokuchi, Keisuke Ishii, Atsuki Kobayashi, Hiroyuki Kanai, Kota Miyoshi : Direct Damage to a Vertebral Artery Better Predicts a Vertebral Artery Injury than Elongation in Cervical Spine Dislocation. *Acta Medica Okayama* 2017; 71 (5) :427-432. doi: 10.18926/AMO/55441.
- 14) Inokuchi K, Sawano M, Yamamoto K, Yamaguchi A, Sugiyama S : Early administration of fibrinogen concentrates improves the short-term outcomes of severe pelvic fracture patients. *Acute medicine & surgery* 2017; 4 (3) :271-277. doi: 10.1002/ams2.268.
- 15) Kosei Nagata, Koichi Inokuchi, Hirotaka Chikuda, Keisuke Ishii, Atsuki Kobayashi, Hiroyuki Kanai, Hiroyuki Nakarai, Kota Miyoshi : Early versus delayed reduction of cervical spine dislocation with complete motor paralysis: a multicenter study. *EUROPEAN SPINE JOURNAL* 2017; 26 (4) :1272-1276. doi: 10.1007/s00586-017-5004-z.
- 16) Yutaro Hino, Noriko Doki, Shuhei Kurosawa, Keita Yamamoto, Masahiro Sakaguchi, Kaito Harada, Shuntaro Ikegawa, Naoki Shingai, Kenichiro Hattori, Yasushi Senoo, Aiko Igarashi, Yuho Najima, Takeshi Kobayashi, Kazuhiko Kakihana, Hisashi Sakamaki, Kazuteru Ohashi : Erythrocytosis after allogeneic hematopoietic stem cell transplantation. *Clinical Transplantation* 2017; 31 (4) :e12918. doi: 10.1111/ctr.12918.
- 17) Ikeuchi Kazuhiko, Doki Noriko, Takao Akinari, Hishima Tsunekazu, Yamada Yuta, Konishi Tatsuya, Nagata Akihito, Takezaki Toshiaki, Kaito Satoshi, Kurosawa Shuhei, Sakaguchi Masahiro, Harada Kaito, Yasuda Shunichiro, Yoshioka Kosuke, Watakabe-Inamoto Kyoko, Igarashi Aiko, Najima Yuho, Muto Hideharu, Kobayashi Takeshi, Kakihana Kazuhiko, Sakamaki Hisashi, Ohashi Kazuteru : Extramedullary Gastric Relapse at the Time of Bone Marrow Relapse of Acute Lymphoblastic Leukemia after Allogeneic Bone Marrow Transplantation. *Internal Medicine* 2017; 56 (23) :3215-3217. doi: 10.2169/internalmedicine.8646-16.
- 18) T. Asayama, M. Ishibashi, H. Tamura, Y. Kuribayashi-Hamada, N. Takada-Okuyama, A. Onodera-Kondo, K. Moriya, N. Yokose, K. Inokuchi : FUNCTIONAL EXPRESSION OF TIM-3 AND CLINICAL SIGNIFICANCE OF PLASMA GALECTIN-9 LEVELS IN MYELODYSPLASTIC SYNDROMES. *HAEMATOLOGICA* 2017; 102:482.
- 19) Kazuki Terada, Hiroki Yamaguchi, Toshimitsu Ueki, Kensuke Usuki, Yutaka Kobayashi, Kenji Tajika, Seiji Gomi, Saiko Kurosawa, Keiki Miyadera, Taichiro Tokura, Ikuko Omori, Atushi Marumo, Yusuke Fujiwara, Shunsuke Yui, Takeshi Ryotokuji, Yoshiki Osaki, Kunihito Arai, Tomoaki Kitano, Fumiko Kosaka, Satoshi Wakita, Hayato Tamai, Takahiro Fukuda, Koiti Inokuchi : Full-length mutation search of the TP53 gene in acute myeloid leukemia has increased significance as a prognostic factor. *Annals of Hematology* 2018; 97 (1) :51-61. doi: 10.1007/s00277-017-3143-2.
- 20) 由井 俊輔, 藤原 裕介, 横瀬 紀夫, 猪口 孝一 : Picture in Clinical Hematology(No.110) S 状結腸がん術後に発症し急性増悪を来した非白血性皮膚白血病. *臨床血液* 2018; 59 (2) :135.
- 21) Kaito Harada, Noritaka Sekiya, Tatsuya Konishi, Akihito Nagata, Yuta Yamada, Toshiaki Takezaki, Satoshi Kaito, Shuhei Kurosawa, Masahiro Sakaguchi, Shunichiro Yasuda, Shugo Sasaki, Kosuke Yoshioka, Kyoko Watakabe-Inamoto, Aiko Igarashi, Yuho Najima, Takeshi Hagino, Hideharu Muto, Takeshi Kobayashi, Noriko Doki, Kazuhiko Kakihana, Hisashi Sakamaki, Kazuteru Ohashi : Predictive implications of albumin and C-reactive protein for progression to pneumonia and poor prognosis in *Stenotrophomonas maltophilia* bacteremia following allogeneic hematopoietic stem cell transplantation. *BMC Infectious Diseases* 2017; 17 (1) doi: 10.1186/s12879-017-2745-6.
- 22) 由井俊輔, 藤原裕介, 横瀬紀夫, 猪口孝一 : S 状結腸がん術後に発症し急性増悪を来した非白血性皮膚白血病. *臨床血液* 2018; 59(2):135.
- 23) Koiti Inokuchi, Kazutaka Nakayama, Tetsuzo Tauchi, Tomoiku Takaku, Norio Yokose, Hiroki Yamaguchi, Takashi Kumagai, Norio Komatsu, Kazuma Ohyashiki : Therapeutic effects of tyrosine kinase inhibitors and subtypes of BCR-ABL1 transcripts in Japanese chronic myeloid leukemia patients with three-way chromosomal translocations. *Leukemia Research* 2018; 65:74-79. doi: 10.1016/j.leukres.2018.01.005.
- 24) S. Yamasaki, R. Suzuki, K. Hatano, K. Fukushima, H. Iida, S. Morishima, Y. Suehiro, T. Fukuda, N. Uchida, H. Uchiyama, H. Ikeda, A. Yokota, K. Tsukasaki, H. Yamaguchi, J. Kuroda, H. Nakamae, Y. Adachi, K-I Matsuoka, Y. Nakamura, Y. Atsuta, J. Suzumiya : Therapy-related acute myeloid leukemia and myelodysplastic syndrome after hematopoietic cell transplantation for lymphoma.

BONE MARROW TRANSPLANTATION 2017; 52 (7) :969-976. doi: 10.1038/bmt.2017.52.

- 25) 安田峻一郎, 名島悠峰, 小西達矢, 山田裕太, 竹崎俊晶, 阪口正洋, 原田介斗, 吉岡康介, 五十嵐愛子, 稲本恭子, 小林武, 土岐典子, 垣花和彦, 坂巻壽, 大橋一輝 : T 細胞リンパ芽球性白血病/リンパ腫の同種移植の成績;単施設における検討. 日本造血細胞移植学会総会プログラム・抄録集 2017; 39th
- 26) 小西達矢, 名島悠峰, 山田裕太, 永田啓人, 海渡智史, 黒澤修兵, 阪口正洋, 原田介斗, 竹崎俊晶, 安田峻一郎, 稲本恭子, 吉岡康介, 五十嵐愛子, 萩野剛史, 武藤秀治, 小林武, 土岐典子, 垣花和彦, 坂巻壽, 大橋一輝 : t-MDS/AML に対する移植成績(単一施設における検討). 日本造血細胞移植学会総会プログラム・抄録集 2017; 39th
- 27) 太良 修平, 黄 俊憲, 増永 直久, 大森 郁子, 高橋 健太, 三軒 豪仁, 細川 雄亮, 山口 博樹, 山本 剛, 清水 渉 : シクロフォスファミド心筋炎に対して補助循環を確立し骨髄移植を成功し得た再生不良性貧血の一例. 日本集中治療医学会雑誌 2018; 25 (Suppl.) :[O39-3].
- 28) 木下 量介, 中山 一隆, 守屋 慶一, 藤原 裕介, 猪口 孝一 : ステロイド不応で tocilizumab が有効だった TAFRO 症候群の 1 例. 臨床血液 2017; 58 (8) :1075.
- 29) 村松秀城, 奥野友介, 吉田健一, 白石友一, 濱麻人, 真田昌, 高橋義行, 菅野仁, 山口博樹, 大賀正一, 真部淳, 張替秀郎, 國島伸治, 石井榮一, 小林正夫, 小池健一, 渡邊健一郎, 伊藤悦朗, 高田稔, 矢部みはる, 小川誠司, 宮野悟, 小島勢二 : ターゲットシーケンス解析を施行した小児造血不全移植例の解析. 日本造血細胞移植学会総会プログラム・抄録集 2017; 40th
- 30) 五十嵐愛子, 小西達矢, 永田啓人, 山田裕太, 海渡智史, 黒澤修兵, 阪口正洋, 原田介斗, 竹崎俊晶, 安田峻一郎, 稲本恭子, 吉岡康介, 萩野剛史, 遠矢嵩, 名島悠峰, 小林武, 土岐典子, 垣花和彦, 坂巻壽, 大橋一輝 : 下大静脈フィルター留置もしくは人工骨頭置換術後に同種造血幹細胞移植を施行した 4 例の報告. 日本造血細胞移植学会総会プログラム・抄録集 2017; 39th
- 31) 石橋真理子, 田村秀人, 高橋理紗, 坪田朝子, 朝山敏夫, 栗林泰子, 小野寺麻加, 守屋慶一, 今井陽一, 半田寛, 佐々木純, 小松則夫, 田野崎栄, 伊藤薫樹, 猪口孝一 : 免疫関連分子 SLAMF3 による多発性骨髄腫の増悪メカニズム. International Journal of Myeloma 2017; 7 (1) :ROMBUNNO.SY1 - 2 (WEB ONLY).
- 32) 山口博樹 : 再生不良性貧血と骨髄異形成症候群はどう鑑別するのか? 血球の形態異常や染色体異常のみでは鑑別不能. 日本医事新報 2017; (4855) :58-60.
- 33) 高橋史郎, 下山隆, 熊谷智昭, 須田智, 大久保誠二, 木村和美, 守屋慶一, 猪口孝一, 石坂栄太郎, 森田明夫 : 原発性脳室内出血を契機に診断に至った孤発性先天性血友病 A の 77 歳男性例. 日本内科学会関東支部関東地方会 2017; 632nd:42.
- 34) 阪口正洋, 吉岡康介, 太田哲人, 安藤稔, 小西達矢, 山田裕太, 竹崎俊晶, 海渡智史, 黒澤修兵, 原田介斗, 安田峻一郎, 稲本恭子, 五十嵐愛子, 萩野剛史, 名島悠峰, 小林武, 土岐典子, 垣花和彦, 坂巻壽, 大橋一輝 : 同種造血幹細胞移植後の腎障害. 日本造血細胞移植学会総会プログラム・抄録集 2017; 39th
- 35) 由井俊輔, 山口博樹, 木下量介, 大森郁子, 丸毛淳史, 山中聡, 朝山敏夫, 藤原裕介, 福永景子, 栗林泰子, 了徳寺剛, 平川経晃, 岡部雅弘, 脇田知志, 玉井勇人, 守屋慶一, 岡本宗雄, 中山一隆, 猪口孝一 : 大量シタラピンでの MEAM 療法を前処置とした自家末梢血幹細胞移植の成績. 日本造血細胞移植学会総会プログラム・抄録集 2017; 40th:295.
- 36) 黒澤 修兵, 関谷 紀貴, 村長 保憲, 亀井 克彦, 永田 啓人, 山田 裕太, 小西 達矢, 竹崎 俊晶, 海渡 智史, 阪口 正洋, 原田 介斗, 安田 俊一郎, 吉岡 康介, 稲本 恭子, 遠矢 嵩, 五十嵐 愛子, 名島 悠峰, 武藤 秀治, 土岐 典子, 小林 武, 垣花 和彦, 坂巻 壽, 大橋 一輝 : 急性白血病の経過中に播種性フザリウム症を発症した 3 例の後方視的検討. 臨床血液 2017; 58 (12) :2375-2379.
- 37) Marumo Atsushi, Yamaguchi Hiroki, Yamanaka Satoshi, Fujiwara Yusuke, Terada Kazuki, Yui Shunsuke, Fukunaga Keiko, Ryotokuji Takeshi, Hirakawa Tsuneaki, Okabe Masahiro, Wakita Satoshi, Osaki Yoshiki, Arai Kunihito, Kitano Tomoaki, Kosaka Fumiko, Okamoto Muneo, Tamai Hayato, Nakayama Kazutaka, Inokuchi Koiti : 急性骨髄性白血病における微小残存病変としての NPM1 変異高感度検出法の有用性(High sensitivity analysis of NPM1 mutation is useful for minimal residual disease in AML). 臨床血液 2017; 58 (9) :1473.
- 38) 山中聡, 中山一隆, 玉井勇人, 酒巻雅典, 猪口孝一 : 抗 CCR4 抗体治療後にたこぼ型心筋症と HTLV-1 関連脊髄症を併発した成人 T 細胞白血病・リンパ腫. 臨床血液 2017; 58 (4) :309 - 314(J - STAGE)-314. doi: 10.11406/rinketsu.58.309.
- 39) 阪口正洋, 四方田真紀子, 長又誠, 渡邊景明, 善家義貴, 大熊裕介, 細見幸生, 岡村樹 : 既治療 EGFR 遺伝子変異陽性肺腺癌に対する再生検とその治療方針への寄与についての検討. 日本臨床腫瘍学会学術集会(CD-ROM) 2017; 15th

- 40) 石橋 真理子, 田村 秀人, 高橋 理紗, 坪田 朝子, 朝山 敏夫, 栗林 泰子, 小野寺 麻加, 守屋 慶一, 今井 陽一, 半田 寛, 佐々木 純, 小松 則夫, 田野崎 栄, 伊藤 薫樹, 猪口 孝一: 病因・病態・予後 免疫関連分子 SLAMF3 による多発性骨髄腫の増悪化メカニズム. *International Journal of Myeloma* 2017; 7 (1) :35.
- 41) 永田 啓人, 吉岡 康介, 竹崎 俊晶, 黒澤 修兵, 阪口 正洋, 原田 介斗, 安田 峻一郎, 稲本 恭子, 五十嵐 愛子, 名島 悠峰, 萩野 剛史, 小林 武, 土岐 典子, 垣花 和彦, 坂巻 壽, 大橋 一輝: 白血化した PDGFRB 遺伝子の再構成を伴った骨髄系およびリンパ系腫瘍の1例. *臨床血液* 2017; 58 (8) :1070.
- 42) 砂川 実香, 中山 一隆, 平川 経晃, 木下 量介, 田村 秀人, 猪口 孝一: 肺炎球菌性髄膜炎を契機に MGUS および多発性骨髄腫(MM) と診断された2例. *臨床血液* 2017; 58 (11) :2271.
- 43) 猪口 孝一, 木村 和美, 山口 博樹: 脳卒中の見えざる危険因子 本態性血小板血症(ET)患者におけるリスク管理. *血液フロンティア* 2017; 27 (7) :1042-1050.
- 44) 猪口孝一, 木村和美, 山口博樹: 脳卒中の見えざる危険因子: 本態性血小板血症 (ET) 患者におけるリスク管理 (提供: シャイアー・ジャパン株式会社). *血液フロンティア* 2017; 7 (27) :122-129.
- 45) 小西達矢, 小林武, 竹崎俊晶, 阪口正洋, 押川学, 田口淳, 吉岡康介, 遠矢嵩, 五十嵐愛子, 名島悠峰, 土岐典子, 垣花和彦, 坂巻壽, 大橋一輝: 臍帯血移植により著明に改善した難治性薬剤性過敏症候群(DIHS). *臨床血液* 2017; 58 (11)
- 46) 萩野剛史, 原口京子, 土岐典子, 垣花和彦, 吉岡康介, 原田介斗, 阪口正洋, 黒澤修兵, 安田峻一郎, 海渡智史, 武藤秀治, 稲本恭子, 五十嵐愛子, 名島悠峰, 小林武, 奥山美樹, 坂巻壽, 大橋一輝: 血縁者間 HLA 不適合移植における移植後 HGs 発現の臨床的特徴. *日本造血細胞移植学会総会プログラム・抄録集* 2017; 39th
- 47) 帆足 俊彦, 浅原 麻里子, 白川 典子, 真弓 暢子, 中山 一隆, 大森 郁子, 猪口 孝一, 菅谷 誠, 船坂 陽子, 佐伯 秀久: 診断に苦慮した anaplastic large cell lymphoma の1例. *日本皮膚悪性腫瘍学会学術大会プログラム・抄録集* 2017; 33 回:139.
- 48) 山口 博樹: 貧血の検査, 診断の変遷と展望. *日本臨床* 2017; 75:19-23.
- 49) 敦賀 剛気, 平川 経晃, 輪 湖 哲也, 林 太祐, 野口 智佳, 中山 一隆, 山口 博樹, 猪口 孝一, 片山 志郎: 造血幹細胞移植におけるシクロスポリン1日1回10時間投与方法の有効性と腎障害発現に関する調査. *日本腎臓病薬物療法学会誌* 2017; 6 (2) :S132.
- 50) 山田裕太, 吉岡康介, 四方田真紀子, 小西達矢, 竹崎俊晶, 海渡智史, 黒澤修兵, 阪口正洋, 原田介斗, 安田峻一郎, 稲本恭子, 五十嵐愛子, 萩野剛史, 名島悠峰, 小林武, 土岐典子, 垣花和彦, 坂巻壽, 大橋一輝: 造血幹細胞移植後に発症した閉塞性細気管支炎患者における予後悪化因子の検討. *日本造血細胞移植学会総会プログラム・抄録集* 2017; 39th
- 51) Muramatsu Hideki, Okuno Yusuke, Yoshida Kenichi, Shiraiishi Yuichi, Narita Atsushi, Sakaguchi Hirotoishi, Kawashima Nozomu, Xu Yinyan, Chiba Kenichi, Tanaka Hiroko, Hama Asahito, Sanada Masashi, Takahashi Yoshiyuki, Kanno Hitoshi, Yamaguchi Hiroki, Ohga Shouichi, Manabe Atsushi, Harigae Hideo, Kunishima Shinji, Ishii Eiichi, Kobayashi Masao, Koike Kenichi, Watanabe Kenichiro, Ito Etsuro, Takata Minoru, Yabe Miharu, Miyano Satoru, Ogawa Seishi, Kojima Seiji: 遺伝性および後天性骨髄不全症候群の患者 375 名の臨床的配列決定. *臨床血液* 2017; 58 (9) :1519.
- 52) 後藤総太郎, 疋田絵梨, 阪口正洋, 土岐典子, 白石範子, 大橋一輝: 院内製剤であるベクロメタゾンプロピオン酸エステル内用液の新旧製剤での比較検討. *日本薬学会年会要旨集(CD-ROM)* 2017; 137th
- 53) 吉岡康介, 小西達矢, 山田裕太, 海渡智史, 黒澤修兵, 阪口正洋, 原田介斗, 竹崎俊晶, 安田峻一郎, 稲本恭子, 萩野剛史, 名島悠峰, 小林武, 土岐典子, 垣花和彦, 坂巻壽, 大橋一輝: 非寛解期同種造血幹細胞移植における day0 の骨髄芽球割合と移植成績に関する検討. *日本造血細胞移植学会総会プログラム・抄録集* 2017; 39th
- 54) 平川 経晃, 黒澤 彩子, 田島 絹子, 山崎 裕介, 池田 奈未, 小島 裕人, 田中 秀則, 金森 平和, 宮村 耕一, 小寺 良尚, 福田 隆浩, 公益財団法人日本骨髄バンク: 骨髄バンクコーディネートの現状. *臨床血液* 2018; 59 (2) :153-160.
- 55) 海渡智史, 名島悠峰, 小西達矢, 永田啓人, 山田裕太, 竹崎俊晶, 黒澤修兵, 阪口正洋, 原田介斗, 安田峻一郎, 吉岡康介, 稲本恭子, 五十嵐愛子, 萩野剛史, 武藤秀治, 土岐典子, 小林武, 垣花和彦, 坂巻壽, 大橋一輝: 高リスク骨髄性腫瘍に対する azacitidine と gemtuzumab ozogamicin による造血幹細胞移植後における維持療法. *日本造血細胞移植学会総会プログラム・抄録集* 2017; 39th
- 56) 尾内 大志, 中山 一隆, 岡本 宗雄, 守屋 慶一, 玉井 勇人, 岡部 雅弘, 平川 経晃, 栗林 泰子, 木下 量介, 阪口 正洋, 由井 俊輔, 朝山 敏夫, 大森 郁子, 丸毛 淳史, 山田 晃子, 海渡 裕太, 砂川 実香, 田村 秀人, 山口 博樹, 猪口 孝一: 高齢者 de novo AML に対する減量寛解導入療法"2+5"療法の試み. *老年者造血器疾患研究会誌* 2017; 25:12.

- 57) 尾内大志, 中山一隆, 岡本宗雄, 守屋慶一, 玉井勇人, 岡部雅弘, 平川経晃, 栗林泰子, 木下量介, 阪口正洋, 由井俊輔, 朝山敏夫, 大森郁子, 丸毛淳史, 山田晃子, 海渡裕太, 砂川実香, 田村秀人, 山口博樹, 猪口孝一: 高齢者 de novo AML に対する減量寛解導入療法“2+5”療法の試み. 老年者造血器疾患研究会誌 2017; 25:12.

## 著書

- 1) 猪口孝一: [分担執筆] 正球性正色素性貧血. ドクターサロン. 2017; pp.11-14, キョーリンメディカルサプライ.
- 2) 猪口孝一: [単著] 白血病に関する基本的な知識. メディカルスタッフのための白血病診療ハンドブック. 2017; pp.23-38, 中外医学社.
- 3) 山口博樹: [分担執筆] 先天性角化不全症. 先天性骨髄不全症診療ガイドライン 2017. 2017; pp.40-47, 診断と治療社.
- 4) 猪口孝一, 木村和美, 山口博樹: [分担執筆] 脳卒中の見えざる危険因子 本態性血小板血症 (ET) 患者におけるリスク管理. 血液フロンティア 27 巻 7 号. 2017; pp.1042-1050, 医療ジャーナル.

## 学会発表

- 1) 砂川実香, 田村秀人, 萩原政夫, 華見, 今井洋介, 石田禎夫, 林敏昭, 宮崎浩二, 中村裕一, 半田寛, 山口賢, 横山明弘, 猪口孝一, 村上博和: IgE 型多発性骨髄腫に関する多施設共同後方視的調査研究. 日本血液学会学術集会 (第 79 回). (東京都), 2017. 10.
- 2) 玉井勇人, 三宅弘一, 山口博樹, 田近賢二, 五味聖二, 猪口孝一: KMT2A/AFF1 (MLL/AF4) 陽性急性リンパ性白血病の GVL 効果や腫瘍免疫の回避を標的とする新規治療法. 日本血液学会学術集会 (第 79 回). (東京都), 2017. 10.
- 3) 黒澤 修兵, 遠矢 嵩, 永田 啓人, 山田 裕太, 小西 達矢, 竹崎 俊晶, 海渡 智史, 阪口 正洋, 原田 介斗, 安田 峻一郎, 吉岡 康介, 稲本 恭子, 五十嵐 愛子, 名島 悠峰, 武藤 秀治, 小林 武, 土岐 典子, 垣花 和彦, 坂巻 壽, 大橋 一輝: MLL-AF6 融合遺伝子を認めた急性未分化白血病. 第 79 回日本血液学会学術集会, 2017. 10.
- 4) 岡本宗雄, 五味聖二, 田近賢二, 福永景子, 中山一隆, 山口博樹, 猪口孝一: Micro bcr-abl mRNA を有する CML2 症例. 日本血液学会学術集会 (第 79 回). (東京都), 2017. 10.
- 5) Ishibashi M, Tamura H, Asayama T, Onodera A, Moriya K, Sasaki M, Handa H, Imai Y, Tanaka J, Tanosaki S, Ito S, Komatsu N, Inokuchi K: Pathophysiological functions and clinical impact of the new immunoreceptor SLAMF3 in multiple myeloma. The 22nd European Hematology Association (2017EHA). (Madrid, Spain), 2017. 6.
- 6) 中込峻, 山口博樹, 植木俊充, 白杵憲祐, 小林裕, 田近賢二, 五味聖二, 黒澤彩子, 中島菜々, 齊藤理帆, 古田穰, 丸毛淳史, 阪口正洋, 藤原裕介, 猪口孝一: RUNX1 変異陽性急性骨髄性白血病の臨床的特徴と治療成績. 日本血液学会学術総会 (第 79 回). (東京都), 2017. 10.
- 7) 中山一隆, 横瀬紀夫, 岡本宗雄, 二木真琴, 檀和夫, 猪口孝一: TKI 時代における, 慢性骨髄性白血病 bcr/abl 転写産物サブタイプと臨床パラメータとの関連性についての再検討. 日本血液学会学術総会 (第 79 回). (東京), 2017. 10.
- 8) Kuribayashi, Ishibashi M, Tamura H, Moriya K, Asayama T, Jeon Y, Choi I, Inokuchi K: V-set and immunoglobulin domain-containing 4 (VSIG4) expressed on monocytes including tumor-associated macrophages suppressed antitumor immune responses in myelodysplastic syndromes. The 22nd European Hematology Association (2017EHA). (Madrid, Spain), 2017. 6.
- 9) 平川経晃, 福田隆浩: コーディネート期間短縮に向けた骨髄バンク開始ドナー増加 (5 人→10 人) トライアル. 平成 29 年度 第 2 回造血細胞移植合同班会議, 2018. 1.
- 10) 井上正章, 黄俊憲, 三宅友彬, 大森郁子, 増永直久, 高橋健太, 三軒豪仁, 了徳寺剛, 細川雄亮, 太良修平, 山口博樹, 山本剛, 清水渉: シクロフォスファミドによる劇症型心筋炎に対して集中治療管理を行い異なる転帰を辿った 2 例. 東京 CCU 研究会 (第 37 回). (東京), 2017. 12.
- 11) 太良修平, 黄俊憲, 増永直久, 大森郁子, 高橋健太, 三軒豪仁, 細川雄亮, 山口博樹, 山本剛, 清水渉: シクロフォスファミド心筋炎に対して補助循環を確立し骨髄移植を成功し得た再生不良性貧血の 1 例. 日本集中治療医学会学術集会 (第 45 回). (千葉), 2018. 2.
- 12) 安田峻一郎, 名島悠峰, 小西達矢, 山田裕太, 竹崎俊晶, 黒澤修兵, 阪口正洋, 原田介斗, 吉岡康介, 稲本恭子, 遠矢嵩, 五十嵐愛子, 小林武, 土岐典子, 垣花和彦, 坂巻壽, 関谷紀貴, 大橋一輝: ポマリドミド療法後に播種性アデノウイルス感染症を発症した治療抵抗性骨髄腫. 第 79 回日本血液学会学術集会, 2017. 10.
- 13) 石橋真理子, 田村秀人, 高橋理紗, 坪田朝子, 朝山敏夫, 栗林泰子, 小野寺麻加, 守屋慶一, 今井陽一, 半田寛, 佐々木純, 小松則

- 夫, 田野崎栄, 伊藤薫樹, 猪口孝一: 免疫関連分子 SLAMF3 による多発性骨髄腫の増悪化メカニズム. 日本骨髄腫学会学術集会 (第 42 回). (東京都), 2017. 5.
- 14) 小西 達, 原田 介斗, 永田 啓人, 山田 裕太, 竹崎 俊晶, 海渡 智史, 黒澤 修兵, 阪口 正洋, 安田 峻一郎, 吉岡 康介, 稲本 恭子, 五十嵐 愛子, 遠矢 嵩, 名島 悠峰, 小林 武, 土岐 典子, 花 和彦, 坂巻 壽, 大橋 一輝: 再発/難治急性白血病に対する低用量抗ヒト胸腺 細胞免疫グロブリンを用いた HLA 半合致移植の成績. 第 79 回日本血液学会学術集会, 2017. 10.
- 15) 木下量介, 石橋真理子, 猪口孝一, 半田寛, 佐々木純, 小松則夫, 今井陽一, 田中紀奈, 田中淳司, 田野崎栄, 伊藤薫樹, 磯田淳, 松本守生, 小池道明, 田村秀人: 多発性骨髄腫における病期分類と予後因子の検討:KT-MM 予後因子解析. 日本血液学会学術集会 (第 79 回). (東京都), 2017. 10.
- 16) 石橋真理子, 田村秀人, 朝山敏夫, 栗林(濱田)泰子, 守屋慶一, 今井陽一, 田中淳司, 半田寛, 佐々木純, 田野崎栄, 伊藤薫樹, 小松則夫, 猪口孝一: 多発性骨髄腫患者における CD86 可溶型と細胞表面発現の臨床的意義. 第 79 回日本血液学会学術総会. (東京), 2017. 10.
- 17) 由井俊輔, 山口博樹, 木下量介, 大森郁子, 朝山敏夫, 了徳寺剛, 岡部雅弘, 脇田知志, 丸毛淳史, 山中聡, 玉井勇人, 守屋慶一, 岡本宗雄, 中山一隆, 猪口孝一: 大量シタラピンでの MEAM 療法を前処置とした自家末梢血幹細胞移植の成績. 日本造血細胞移植学会総会 (第 40 回). (札幌市), 2018. 2.
- 18) 中島奈々, 山口博樹, 植木俊充, 白杵憲祐, 小林裕, 田近賢二, 五味聖二, 中込峻, 齊藤里穂, 古田稜, 丸毛淳史, 阪口正洋, 藤原裕介, 由井俊輔, 猪口孝一: 急性骨髄性白血病における FLT3-ITD アレル比の予後因子としての重要性. 日本血液学会学術集会 (第 79 回). (東京都), 2017. 10.
- 19) 丸毛淳史, 山口博樹, 山中聡, 藤原裕介, 寺田和樹, 由井俊輔, 福永景子, 了徳寺剛, 平川経晃, 岡部雅弘, 脇田知志, 大崎由喜, 荒井邦仁, 北野智章, 猪口孝一: 急性骨髄性白血病における微小残存病変としての NPM1 変異高感度検出法の有用性. 日本血液学会学術総会 (第 79 回). (東京都), 2017. 10.
- 20) 海渡 智史, 吉岡 康介, 小西 達矢, 永田 啓人, 山田 裕太, 黒澤 修兵, 阪口 正洋, 原田 介斗, 竹崎 俊晶, 安田 峻一郎, 稲本 恭子, 五十嵐 愛子, 遠矢 嵩, 名島 悠峰, 武藤 秀治, 土岐 典子, 小林 武, 垣花 和彦, 比島 恒和, 大橋 一輝, 坂巻 壽: 慢性 C 型肝炎を合併した骨髄異形成症候群に対する造血幹細胞移植後、急激な肝障害を来した 1 例. 第 79 回日本血液学会学術集会, 2017. 10.
- 21) 阪口正洋, 四方田真紀子, 細見幸生, 岡村樹: 既治療 EGFR 遺伝子変異陽性肺腺癌に対する再生検とその治療方針への寄与についての検討. 第 15 回日本臨床腫瘍学会学術集会, 2017. 7.
- 22) 平川経晃, 山口博樹, 了徳寺剛, 藤原裕介, 丸毛淳史, 木下量介, 山中聡, 朝山敏夫, 由井俊輔, 福永景子, 岡部雅弘, 脇田知志, 玉井勇人, 中山一隆, 猪口孝一: 短期メトトレキサート投与におけるロイコポリンレスキューが毒性軽減に与える影響. 日本血液学会学術総会 (第 79 回). (東京都), 2017. 10.
- 23) 砂川実香, 中山一隆, 平川経晃, 木下量介, 田村秀人, 猪口孝一: 肺炎球菌性髄膜炎を契機に MGUS および多発性骨髄腫 (MM) と診断された 2 例. 第 7 回 日本血液学会関東甲信越地方会. (長野県松本市), 2017. 7.
- 24) 栗林泰子, 田村秀人, 水木太郎, 田野崎栄, 築根豊, 佐々木純, 小松則夫, 小磯博美, 半田寛, 大蔵美幸, 山内高弘, 河野和, 奥野豊, 角南一貴, 猪口孝一: 胃形質細胞腫の関する多施設共同後方視的調査研究と文献的考察. 日本血液学会学術集会 (第 79 回). (東京都), 2017. 10.
- 25) 阪口 正洋, 関谷紀貴, 小西 達矢, 永田啓人, 竹崎俊晶, 山田裕太, 海渡智史, 黒澤修兵, 原田介斗, 安田峻一郎, 吉岡康介, 稲本恭子, 遠矢嵩, 五十嵐愛子, 名島悠峰, 小林武, 土岐典子, 垣花 和彦, 坂巻壽, 大橋一輝: 血液疾患患者に発症した Elizabethkingia meningoseptica 感染症の 6 例. 第 79 回日本血液学会学術集会, 2017. 10.
- 26) 帆足俊彦, 浅原麻里子, 白川典子, 真弓暢子, 中山一隆, 大森郁子, 猪口孝一, 菅谷誠, 船坂陽子, 佐伯秀久: 診断に苦慮した anaplastic large cell lymphoma の 1 例. 日本皮膚悪性腫瘍学会学術大会 (第 33 回). (秋田), 2017. 6.
- 27) 山口博樹: 輸血を必要とする血液疾患と輸血副反応のマネジメント 本邦における慢性骨髄増殖性腫瘍の診断と治療 (会議録). 日本輸血細胞治療学会誌. (幕張メッセ 国際会議場), 2017. 6.
- 28) 敦賀 剛気, 平川 経晃, 輪湖 哲也, 林 太祐, 野口 智佳, 中山 一隆, 山口 博樹, 猪口 孝一, 片山 志郎: 造血幹細胞移植におけるシクロスポリン 1 日 1 回 10 時間投与法の有効性と腎障害発現に関する調査. 第 11 回日本腎臓病薬物療法学会学術集会, 2017. 10.
- 29) 原田介斗, 関谷紀貴, 小西達矢, 山田裕太, 永田啓人, 竹崎俊晶, 海渡智史, 黒澤修兵, 阪口正洋, 安田峻一郎, 吉岡 康介, 稲本



恭子, 遠矢嵩, 名島悠峰, 五十嵐愛子, 武藤秀治, 小林武, 土岐典子, 垣花和彦, 坂巻壽, 大橋一輝: 造血幹細胞移植後 HHV-6 脊髄炎の臨床的特徴. 第 79 回日本血液学会学術集会, 2017. 10.

- 30) 尾内 大志, 中山 一隆, 岡本 宗雄, 守屋 慶一, 玉井 勇人, 岡部 雅弘, 平川 経晃, 栗林 泰子, 木下 量介, 阪口 正洋, 由井 俊輔, 朝山 敏夫, 大森 郁子, 丸毛 淳史, 山田 晃子, 海渡 裕太, 砂川 実香, 田村 秀人, 山口 博樹, 猪口 孝一: 高齢者 de novo AML に対する減量寛解導入療法"2+5"療法の試み. 日本老年造血器疾患研究会, 2017. 6.

## 8 消化器内科学分野

### 研究業績

#### 論文等

- 1) 星野 慎太郎, 川見 典之, 星川 吉正, 花田 優理子, 竹ノ内 菜菜, 梅澤 まり子, 佐野 弘仁, 貝瀬 満, 岩切 勝彦 : "Esophageal Rosette"を認めないアカラシア患者の下部食道内視鏡所見. 日本消化器病学会雑誌 2017; 114 (臨増大会) :A708.
- 2) 葉山 惟信, 金沢 秀典, 岩切 勝彦 : 2型肝腎症候群に合併した難治性腹水に対する TIPS の治療成績. 肝臓 2017; 58 (Suppl.1) :A408.
- 3) 佐野 弘仁, 四宮 航, 宮本 真由子, 星川 吉正, 星野 慎太郎, 梅澤 まり子, 川見 典之, 柴田 喜明, 岩切 勝彦 : 6年の経過で Champagne glass 様の食道狭小化像を呈するに至った食道アカラシアの一例. Gastroenterological Endoscopy 2017; 59 (Suppl.1) :1077.
- 4) 星野 慎太郎, 川見 典之, 星川 吉正, 竹之内 菜菜, 梅澤 まり子, 小泉 英里子, 花田 優理子, 貝瀬 満, 岩切 勝彦 : 80歳以上の PPI 抵抗性逆流性食道炎患者の臨床的特徴. 日本消化管学会雑誌 2018; 2 (Suppl.) :331.
- 5) 石川 裕美子, 星野 慎太郎, 小泉 英里子, 星川 吉正, 花田 優理子, 竹ノ内 菜菜, 梅澤 まり子, 川見 典之, 貝瀬 満, 岩切 勝彦 : 80歳以上の PPI 抵抗性逆流性食道炎患者の臨床的特徴. 日本消化器病学会雑誌 2018; 115 (臨増総会) :A266.
- 6) 植木 信江, 野田 啓人, 阿川 周平, 池田 剛, 樋口 和寿, 飽本 哲兵, 丸木 雄太, 山脇 博士, 小高 康裕, 名見耶 浩幸, 河越 哲郎, 二神 生爾, 三宅 一昌, 岩切 勝彦 : 80歳以上高齢者の胃腫瘍性病変における ESD の有効性と安全性. Gastroenterological Endoscopy 2017; 59 (Suppl.1) :917.
- 7) Katsuhiko Iwakiri, Yuuichi Sakurai, Madoka Shiino, Hiroyuki Okamoto, Kentaro Kudou, Akira Nishimura, Naoki Hiramatsu, Eiji Umegaki, Kiyoshi Ashida : A randomized, double-blind study to evaluate the acid-inhibitory effect of vonoprazan (20 mg and 40 mg) in patients with proton-pump inhibitor-resistant erosive esophagitis. THERAPEUTIC ADVANCES IN GASTROENTEROLOGY 2017; 10 (6) :439-451. doi: 10.1177/1756283X17705329.
- 8) Tomomi Okubo, Masanori Atsukawa, Akihito Tsubota, Noritomo Shimada, Hiroshi Abe, Kai Yoshizawa, Taeang Arai, Ai Nakagawa, Norio Itokawa, Chisa Kondo, Yoshio Aizawa, Katsuhiko Iwakiri : Association between vitamin D deficiency and pre-existing resistance-associated hepatitis C virus NS5A variants. Hepatology research : the official journal of the Japan Society of Hepatology 2017; 47 (7) :641-649. doi: 10.1111/hepr.12784.
- 9) Ryota Niikura, Atsuo Yamada, Koutarou Maki, Masanao Nakamura, Hirotugu Watabe, Mitsuhiro Fujishiro, Shiro Oka, Motohiro Esaki, Shunji Fujimori, Atsushi Nakajima, Naoki Ohmiya, Takayuki Matsumoto, Shinji Tanaka, Kazuhiko Koike, Choitsu Sakamoto : Associations between drugs and small-bowel mucosal bleeding: Multicenter capsule-endoscopy study. Digestive endoscopy : official journal of the Japan Gastroenterological Endoscopy Society 2018; 30 (1) :79-89. doi: 10.1111/den.12922.
- 10) 肥田 舞, 糸川 典夫, 大久保 知美, 新井 泰央, 岩下 愛, 近藤 千紗, 厚川 正則, 島田 紀朋, 岩切 勝彦 : B型慢性肝炎に対する Peg-IFN 療法における HBs 抗原量低下予測因子と適応症例の検討. 肝臓 2017; 58 (Suppl.2) :A627.
- 11) 糸川 典夫, 厚川 正則, 肥田 舞, 大久保 知美, 新井 泰央, 岩下 愛, 近藤 千紗, 島田 紀朋, 岩切 勝彦 : B型慢性肝炎患者の自然経過における HBs 抗原量および HBs 抗原量低下速度の検討 Vitamin D 濃度に着目して. 日本消化器病学会雑誌 2018; 115(臨増総会):A280.
- 12) 厚川 正則, 三上 繁, 島田 紀朋, 池上 正, 浅野 徹, 安部 宏, 加藤 慶三, 佐藤 慎一, 甲嶋 洋平, 近藤 千紗, 糸川 典夫, 新井 泰央, 大久保 知美, 仁平 武, 田中 靖人, 忠願寺 義通, 松崎 靖司, 岩切 勝彦 : CKD 合併 C型慢性肝炎患者に対する IFN-free 治療の成績. 肝臓 2017; 58 (Suppl.1) :A220.
- 13) Etsuko Iio, Noritomo Shimada, Koichi Takaguchi, Tomonori Senoh, Yuichiro Eguchi, Masanori Atsukawa, Akihito Tsubota, Hiroshi Abe, Keizo Kato, Atsunori Kusakabe, Tomokatsu Miyaki, Kentaro Matsuura, Kayoko Matsunami, Noboru Shinkai, Kei Fujiwara, Shunsuke Nojiri, Yasuhito Tanaka : Clinical evaluation of sofosbuvir/ledipasvir in patients with chronic hepatitis C genotype 1 with and without prior daclatasvir/asunaprevir therapy. Hepatology research : the official journal of the Japan Society of Hepatology 2017; 47 (12) :1308-1316. doi: 10.1111/hepr.12898.
- 14) 近藤 千紗, 厚川 正則, 岩切 勝彦 : C型肝炎 SVR 例の予後改善 DAAs 投与による SVR 後の C型慢性肝炎患者の血清 vitamin D 濃度を含めた生化学的マーカーおよび骨密度の検討. 日本消化器病学会雑誌 2017; 114 (臨増大会) :A639.

- 15) 近藤 千紗, 厚川 正則, 岩切 勝彦 : C 型肝炎 SVR 例の予後改善 DAA 投与による SVR 後の C 型肝炎患者の血清 vitamin D 濃度を含めた生化学的マーカーおよび骨密度の検討. 肝臓 2017; 58 (Suppl.2) :A549.
- 16) 近藤 千紗, 厚川 正則, 大久保 知美, 新井 泰央, 糸川 典夫, 川本 智章, 岩切 勝彦 : DAA 投与による C 型肝炎患者の血清 vitamin D 濃度を含めた生化学的マーカーおよび骨密度の変化. 肝臓 2017; 58 (Suppl.1) :A328.
- 17) Nakada Koji, Matsuhashi Nobuyuki, Joh Takashi, Higuchi Kazuhide, Iwakiri Katsuhiko, Oshio Atsushi, Haruma Ken : Development and Validation of a Simple and Multifaceted Instrument, Gastroesophageal Reflux and Dyspepsia-Therapeutic Efficacy and Satisfaction Test (Gerd-Test). Gastroenterology 2017; 152 (5) :S468. doi: 10.1016/S0016-5085(17)31758-4.
- 18) 吉田 祐士, 新井 泰央, 肥田 舞, 大久保 知美, 岩下 愛, 糸川 典夫, 近藤 千紗, 厚川 正則, 岩切 勝彦 : DM 合併 NAFLD 患者における SGLT2 阻害薬の肝への影響. 日本消化器病学会雑誌 2018; 115 (臨増総会) :A320.
- 19) Chisa Kondo, Masanori Atsukawa, Akihito Tsubota, Noritomo Shimada, Hiroshi Abe, Toru Asano, Kai Yoshizawa, Tomomi Okubo, Yoshimichi Chuganji, Yoshio Aizawa, Etsuko Iio, Yasuhito Tanaka, Katsuhiko Iwakiri : Daclatasvir and asunaprevir for genotype 1b chronic hepatitis C patients with chronic kidney disease. Hepatology Research 2017; 47 (11) :1165-1173. doi: 10.1111/hepr.12879.
- 20) Koji Nakada, Nobuyuki Matsuhashi, Katsuhiko Iwakiri, Atsushi Oshio, Takashi Joh, Kazuhide Higuchi, Ken Haruma : Development and validation of a simple and multifaceted instrument, GERD-TEST, for the clinical evaluation of gastroesophageal reflux and dyspeptic symptoms. World journal of gastroenterology 2017; 23 (28) :5216-5228. doi: 10.3748/wjg.v23.i28.5216.
- 21) Shintaro Hoshino, Mariko Umezawa, Noriyuki Kawami, Yoshimasa Hoshikawa, Hiroaki Kataoka, Yuriko Hanada, Nana Takenouchi, Yoshio Hoshihara, Katsuhiko Iwakiri : Effectiveness of on-demand therapy using 20-mg vonoprazan for mild reflux esophagitis. Gastroenterology 2017; 152 (5) :S461.
- 22) Nobue Ueki, Seiji Futagami, Teppei Akimoto, Yuta Maruki, Hiroshi Yamawaki, Yasuhiro Kodaka, Hiroyuki Nagoya, Tomotaka Shindo, Masafumi Kusunoki, Tetsuro Kawagoe, Katya Gudis, Kazumasa Miyake, Katsuhiko Iwakiri : Effect of Antithrombotic Therapy and Long Endoscopic Submucosal Dissection Procedure Time on Early and Delayed Postoperative Bleeding. Digestion 2017; 96 (1) :21-28. doi: 10.1159/000475924.
- 23) Masanori Atsukawa, Akihito Tsubota, Chisa Kondo, Noritomo Shimada, Hiroshi Abe, Keizo Kato, Tomomi Okubo, Taeang Arai, Norio Itokawa, Etsuko Iio, Yasuhito Tanaka, Katsuhiko Iwakiri : Effectiveness and safety of community-based treatment with sofosbuvir plus ribavirin for elderly patients with genotype 2 chronic hepatitis C. Digestive and liver disease : official journal of the Italian Society of Gastroenterology and the Italian Association for the Study of the Liver 2017; 49 (9) :1029-1035. doi: 10.1016/j.dld.2017.04.012.
- 24) Shintaro Hoshino, Nana Takenouchi, Yuriko Hanada, Mariko Umezawa, Hirohito Sano, Noriyuki Kawami, Yoshimasa Hoshikawa, Tetsuro Kawagoe, Tsutomu Nomura, Yoshio Hoshihara, Katsuhiko Iwakiri : Effects of acotiamide on esophageal motility in healthy subjects: a randomized, double-blind, placebo-controlled crossover study. ESOPHAGUS 2017; 14 (2) :146-152. doi: 10.1007/s10388-016-0559-z.
- 25) Shintaro Hoshino, Nana Takenouchi, Yuriko Hanada, Mariko Umezawa, Hirohito Sano, Noriyuki Kawami, Yoshimasa Hoshikawa, Tetsuro Kawagoe, Tsutomu Nomura, Yoshio Hoshihara, Katsuhiko Iwakiri : Effects of acotiamide on esophageal motility in healthy subjects: a randomized, double-blind, placebo-controlled crossover study (vol 14, pg 146, 2017). ESOPHAGUS 2017; 14 (3) :272-273. doi: 10.1007/s10388-017-0576-6.
- 26) Yoshikazu Kinoshita, Motoyasu Kusano, Katsuhiko Iwakiri, Mitsuhiro Fujishiro, Naoto Tachikawa, Ken Haruma : Efficacy and Safety Profile of Z-215 (Azeloprazole Sodium), a Proton Pump Inhibitor, Compared with Rabeprazole Sodium in Patients with Reflux Esophagitis: A Phase II, Multicenter, Randomized, Double-Blind, Comparative Study. Current Therapeutic Research - Clinical and Experimental 2018; 88:26-34. doi: 10.1016/j.curtheres.2018.03.004.
- 27) Masanori Atsukawa, Kazuaki Chayama, Fumitaka Suzuki, Ken Sato, Yoshiyasu Karino, Tomofumi Atarashi, Yoshiiku Kawakami, Atsushi Naganuma, David Pugatch, Katia Alves, Koji Kato, Rebecca Redman, Margaret Burroughs, Manal Abunimeh, Wangang Xie, Hiromitsu Kumada : Efficacy and Safety of Glecaprevir/Pibrentasvir in Patients Infected with HCV GT1-3 by Renal Impairment Status: A Pooled Analysis of Two Phase 3 Japanese Trials. Hepatology 2017; 66:634A-635A.
- 28) Hidenori Toyoda, Kazuaki Chayama, Fumitaka Suzuki, Ken Sato, Tomofumi Atarashi, Tsunamasa Watanabe, Masanori Atsukawa,

- Atsushi Naganuma, Kazuo Notsumata, Yukio Osaki, Makoto Nakamura, Koichi Takaguchi, Satoru Saito, Koji Kato, David Pugatch, Margaret Burroughs, Rebecca Redman, Katia Alves, Tami J Pilot-Matias, Rajneet K Oberoi, Bo Fu, Hiromitsu Kumada : Efficacy and safety of glecaprevir/pibrentasvir in Japanese patients with chronic genotype 2 hepatitis C virus infection. *Hepatology* (Baltimore, Md.) 2018; 67 (2) :505-513. doi: 10.1002/hep.29510.
- 29) Tomomi Okubo, Masanori Atsukawa, Akihito Tsubota, Hidenori Toyoda, Noritomo Shimada, Hiroshi Abe, Keizo Kato, Korenobo Hayama, Taeang Arai, Ai Nakagawa-Iwashita, Norio Itokawa, Chisa Kondo, Chiaki Kawamoto, Etsuko Iio, Yasuhito Tanaka, Takashi Kumada, Katsuhiko Iwakiri : Efficacy and safety of ledipasvir/sofosbuvir for genotype 1b chronic hepatitis C patients with moderate renal impairment. *Hepatology international* 2018; 12 (2) :133-142. doi: 10.1007/s12072-018-9859-9.
- 30) Masanori Atsukawa, Akihito Tsubota, Yohei Koushima, Tadashi Ikegami, Kouji Watanabe, Noritomo Shimada, Shinichi Sato, Keizo Kato, Hiroshi Abe, Tomomi Okubo, Taeang Arai, Norio Itokawa, Chisa Kondo, Shigeru Mikami, Toru Asano, Yoshimichi Chuganji, Yasushi Matsuzaki, Katsuhiko Iwakiri : Efficacy and safety of ombitasvir/paritaprevir/ritonavir in dialysis patients with genotype 1b chronic hepatitis C. *Hepatology research : the official journal of the Japan Society of Hepatology* 2017; 47 (13) :1429-1437. doi: 10.1111/hepr.12910.
- 31) Umezawa M, Kawami N, Hoshino S, Hoshikawa Y, Koizumi E, Takenouchi N, Hanada Y, Kaise M, Iwakiri K : Efficacy of On-Demand Therapy Using 20-mg Vonoprazan for Mild Reflux Esophagitis. *Digestion* 2018; 97 (4) :309-315. doi: 10.1159/000485795.
- 32) Shintaro Hoshino, Noriyuki Kawami, Nana Takenouchi, Mariko Umezawa, Yuriko Hanada, Yoshimasa Hoshikawa, Tetsuro Kawagoe, Hirohito Sano, Yoshio Hoshihara, Tsutomu Nomura, Katsuhiko Iwakiri : Efficacy of Vonoprazan for Proton Pump Inhibitor-Resistant Reflux Esophagitis. *DIGESTION* 2017; 95 (2) :156-161. doi: 10.1159/000456072.
- 33) Yoshimasa Hoshikawa, Shintaro Hoshino, Noriyuki Kawami, Hiroaki Kataoka, Yuriko Hanada, Nana Takenouchi, Mariko Umezawa, Yoshio Hoshihara, Katsuhiko Iwakiri : Efficacy of Vonoprazan for Proton Pump Inhibitor-Resistant Reflux Esophagitis. *GASTROINTESTINAL ENDOSCOPY* 2017; 85 (5) :AB598.
- 34) Hanada Y, Hoshino S, Hoshikawa Y, Takenouchi N, Umezawa M, Kawami N, Iwakiri K : Endoscopic diagnosis of hiatus hernia under deep inspiration is not consistent with esophageal manometric diagnosis. *Journal of gastroenterology* 2017; 53 (6) :712-717. doi: 10.1007/s00535-017-1403-5.
- 35) 川見 典之, 星野 慎太郎, 梅澤 まり子, 竹之内 菜菜, 花田 優理子, 星川 吉正, 星原 芳雄, 岩切 勝彦 : EoE を解明する 好酸球性食道炎の臨床像と食道運動機能. 日本食道学会学術集会プログラム・抄録集 2017; 71 回:W3-9.
- 36) Satomi Hashimoto, Seiji Futagami, Hiroshi Yamawaki, Keiko Kaneko, Yasuhiro Kodaka, Mako Wakabayashi, Noriko Sakasagawa, Shuhei Agawa, Kazutoshi Higuchi, Teppei Akimoto, Nobue Ueki, Tetsuro Kawagoe, Hitomi Sato, Katsuhisa Nakatsuka, Kaya Gudis, Chiaki Kawamoto, Takashi Akamizu, Choitsu Sakamoto, Katsuhiko Iwakiri : Epigastric pain syndrome accompanying pancreatic enzyme abnormalities was overlapped with early chronic pancreatitis using endosonography. *JOURNAL OF CLINICAL BIOCHEMISTRY AND NUTRITION* 2017; 61 (2) :140-145. doi: 10.3164/jcbrn.17-41.
- 37) 秋元 直彦, 三井 啓吾, 寺本 忠, 梅田 隆満, 高木 信介, 西本 崇良, 大森 順, 佐藤 航, 馬來 康太郎, 鈴木 将大, 小杉 友紀, 江原 彰仁, 米澤 真興, 田中 周, 辰口 篤志, 藤森 俊二, 貝瀬 満, 岩切 勝彦 : Expert と trainee にみる大腸 ESD の learning curve の相違. *Gastroenterological Endoscopy* 2017; 59 (Suppl.2) :2202.
- 38) Takeshi Kamiya, Yuzuru Toki, Ryo Yamauchi, Eizo Kayashima, Kyoichi Adachi, Kiyohiko Kishi, Hiroshi Suetsugu, Tsuneya Wada, Hiroyoshi Endo, Hajime Yamada, Satoshi Osaga, Koji Nakada, Katsuhiko Iwakiri, Ken Haruma, Takashi Joh : Gender differences of clinical parameters for years before re onset in reflux esophagitis (re) patients compared with non-re subjects. *Gastroenterology* 2017; 152 (5) :S237.
- 39) 岩切 勝彦, 星野 慎太郎, 川見 典之 : GERD(逆流性食道炎、非びらん性逆流症)の病態と治療の新展開. *東京都医師会雑誌* 2017; 70 (4) :301-307.
- 40) 川見 典之, 岩切 勝彦 : GERD の病態と診断 (特集 酸関連疾患診療の進歩). *消化器・肝臓内科* 2017; 2 (4) :353-361.
- 41) 岩切 勝彦, 星野 慎太郎, 川見 典之 : GERD 治療の新展開. *胃病態機能研究会誌* 2018; 50:39.
- 42) 川見 典之, 貝瀬 満, 岩切 勝彦 : GERD 診断、治療の最前線 P-CAB による酸分泌抑制効果と P-CAB 抵抗性 NERD の病態. *日本消化器*

- 病学会雑誌 2018; 115 (臨増総会) :A92.
- 43) 田邊 智英, 厚川 正則, 安部 宏, 浅野 徹, 大久保 知美, 新井 泰央, 糸川 典夫, 近藤 千紗, 岩切 勝彦 : Genotype2 C 型慢性肝炎に対する DAAs の治療成績. 肝臓 2017; 58 (Suppl.2) :A576.
- 44) 小杉 友紀, 藤森 俊二, 高木 信介, 大森 順, 秋元 直彦, 佐藤 航, 馬來 康太郎, 鈴木 将大, 江原 彰仁, 瀬尾 継彦, 三井 啓吾, 米澤 真興, 田中 周, 辰口 篤志, 岩切 勝彦 : H.pylori 感染は小腸粘膜傷害を増悪させる可能性がある. Gastroenterological Endoscopy 2017; 59 (Suppl.1) :971.
- 45) 小高 康裕, 二神 生爾, 山脇 博士, 桐田 久美子, 阿川 周平, 樋口 和寿, 池田 剛, 野田 啓人, 丸木 雄太, 飽本 哲兵, 佐藤 ひとみ, 名児耶 浩幸, 植木 信江, 河越 哲郎, 千原 直人, 渡邊 昌則, 鈴木 英之, 岩切 勝彦 : H.pylori 陽性胃炎における京都分類と COX-2 1195、IL-1 $\beta$  511、mPGES-1 の SNP を用いた胃癌ハイリスク群予測の試み. 日本消化器病学会雑誌 2017; 114 (臨増大会) :A716.
- 46) 桐田 久美子, 二神 生爾, 植木 信江, 山脇 博士, 小高 康裕, 樋口 和寿, 池田 剛, 阿川 周平, 野田 啓人, 岩切 勝彦 : H.pylori 陽性胃炎における京都分類と OLGIM 分類、COX-2 1195、IL-1 $\beta$  511、mPGES-1 を用いた胃癌ハイリスク群予測. 日本ヘリコバクター学会学術集会プログラム・抄録集 2017; 23 回:194.
- 47) 新海 登, Chuaypen Natthaya, 松居 剛志, 榎本 大, 柘植 雅貴, 厚川 正則, 日下部 篤宣, 田中 靖人 : HBe 抗原陽性 B 型慢性肝炎に対するペグインターフェロン単独療法の有用性-タイと本邦の症例の比較. 肝臓 2017; 58 (Suppl.1) :A419.
- 48) Yoshimasa Hoshikawa, Yoshio Hoshihara, Noriyuki Kawami, Shintaro Hoshino, Yuriko Hanada, Hiroaki Kataoka, Nana Takenouchi, Mariko Umezawa, Junko Aida, Kaiyo Takubo, Katsuhiko Iwakiri : How to Decide the Circumferential Distribution of the Location of a Small Lesion in the Lower Esophagus?. Gastrointestinal Endoscopy 2017; 85 (5) :AB577.
- 49) 山脇 博士, 二神 生爾, 若林 眞子, 酒瀬川 典子, 阿川 周平, 樋口 和寿, 小高 康裕, 佐藤 ひとみ, 金子 恵子, 植木 信江, 川本 智章, 岩切 勝彦 : Hp 除菌時代における心窩部痛症候群に対する新たな治療戦略. 日本ヘリコバクター学会学術集会プログラム・抄録集 2017; 23 回:162.
- 50) Yasuhiro Kodaka, Seiji Futagami, Atsushi Tatsuguchi, Hiroshi Yamawaki, Hitomi Sato, Satomi Hashimoto, Tetsuro Kawagoe, Nobue Ueki, Hiroyuki Nagoya, Yuuta Maruki, Kazumasa Miyake, Katya Gudis, Choitsu Sakamoto, Katsuhiko Iwakiri : Impact of Cyclooxygenase-2 1195 G-Carrier Genotype Associated with Intestinal Metaplasia and Endoscopic Findings Based on Kyoto Classification. DIGESTION 2017; 96 (3) :173-183. doi: 10.1159/000479864.
- 51) Etsuko Iio, Noritomo Shimada, Kentaro Matsuura, Masanori Atsukawa, Koichi Takaguchi, Yuichiro Eguchi, Hideyuki Nomura, Noboru Hirashima, Akihito Tsubota, Atsunori Kusakabe, Tomokatsu Miyaki, Shunsuke Nojiri, Kei Fujiwara, Kayoko Matsunami, Yasuhito Tanaka : Investigating the association of TLL1 variant with development of hepatocellular carcinoma after eradication of hepatitis C virus by interferon-free regimens. HEPATOLOGY 2017; 66:521A.
- 52) 小泉 英里子, 川見 典之, 星野 慎太郎, 梅澤 まり子, 竹之内 菜菜, 花田 優理子, 星川 吉正, 貝瀬 満, 岩切 勝彦 : Jackhammer esophagus の臨床的特徴と治療. 日本消化器病学会雑誌 2017; 114 (臨増大会) :A709.
- 53) 小泉 英里子, 川見 典之, 星野 慎太郎, 梅澤 まり子, 竹之内 菜菜, 花田 優理子, 星川 吉正, 星原 芳雄, 岩切 勝彦 : Jackhammer esophagus の臨床的特徴と治療法に関する検討. 日本食道学会学術集会プログラム・抄録集 2017; 71 回:P69-8.
- 54) 酒瀬川 典子, 二神 生爾, 山脇 博士, 佐藤 ひとみ, 若林 眞子, 桐田 久美子, 阿川 周平, 樋口 和寿, 野田 啓人, 池田 剛, 小高 康裕, 名児耶 浩幸, 植木 信江, 河越 哲郎, 岩切 勝彦 : LPS 刺激 urocortin 脳槽内投与ラットにおける消化管粘膜内炎症細胞浸潤の検討. 日本ヘリコバクター学会学術集会プログラム・抄録集 2017; 23 回:232.
- 55) Hiroshi Yamawaki, Seiji Futagami, Mako Wakabayashi, Noriko Sakasegawa, Shuhei Agawa, Kazutoshi Higuchi, Yasuhiro Kodaka, Katsuhiko Iwakiri : Management of functional dyspepsia: state of the art and emerging therapies. Therapeutic Advances in Chronic Disease 2018; 9 (1) :23-32. doi: 10.1177/2040622317725479.
- 56) Katsuhiko Iwakiri, Shintaro Hoshino, Noriyuki Kawami : Mechanisms underlying excessive esophageal acid exposure in patients with gastroesophageal reflux disease. ESOPHAGUS 2017; 14 (3) :221-228. doi: 10.1007/s10388-017-0575-7.
- 57) 新井 泰央, 厚川 正則, 肥田 舞, 吉田 祐士, 大久保 知美, 岩下 愛, 糸川 典夫, 近藤 千紗, 溝上 雅史, 岩切 勝彦 : NAFLD 患者における動脈硬化症の特徴 動脈硬化症のバイオマーカーとしての M2BPGi の有用性を含めて. 日本消化器病学会雑誌 2018; 115 (臨増総会) :A320.

- 58) 新井 泰央, 厚川 正則, 岩切 勝彦 : NAFLD 患者における動脈硬化症は肝線維化の進展と関連し血清 M2BPGi は早期動脈硬化症の指標として有用である. 肝臓 2017; 58 (Suppl.1) :A400.
- 59) 花田 優理子, 川見 典之, 星野 慎太郎, 梅澤 まり子, 竹之内 菜菜, 星川 吉正, 星原 芳雄, 岩切 勝彦 : P-CAB 抵抗性 NERD の病態と P-CAB による胃酸分泌抑制効果. 日本食道学会学術集会プログラム・抄録集 2017; 71 回:P79-5.
- 60) Hiroaki Kataoka, Noriyuki Kawami, Shintaro Hoshino, Mariko Umezawa, Nana Takenouchi, Yuriko Hanada, Yoshimasa Hoshikawa, Yoshio Hoshihara, Katsuhiko Iwakiri : Pathogenesis of double-dose proton pump inhibitor-resistant non-erosive reflux disease, and mechanism of reflux symptoms and gastric acid secretion-suppressive effect in the presence or absence of helicobacter pylori infection. Gastroenterology 2017; 152 (5) :S236.
- 61) Noriyuki Kawami, Shintaro Hoshino, Mariko Umezawa, Nana Takenouchi, Yuriko Hanada, Yoshimasa Hoshikawa, Hiroaki Kataoka, Yoshio Hoshihara, Katsuhiko Iwakiri : Pathogenesis of potassium-competitive acid blocker (p-cab)-resistant non-erosive reflux disease (nerd). Gastroenterology 2017; 152 (5) :S235.
- 62) 小泉 英里子, 星野 慎太郎, 川見 典之, 星川 吉正, 竹之内 菜菜, 花田 優理子, 梅澤 まり子, 貝瀬 満, 岩切 勝彦 : PPI 治療が有効である NERD 患者に対するポノプラザン 20mg による on demand 療法の有効性. 日本消化管学会雑誌 2018; 2 (Suppl.) :330.
- 63) 星野 慎太郎, 川見 典之, 星川 吉正, 小泉 英里子, 竹之内 菜菜, 花田 優理子, 梅澤 まり子, 貝瀬 満, 岩切 勝彦 : PPI 治療が有効である NERD 患者に対するポノプラザン 20mg による on demand 療法の有効性. 日本消化器病学会雑誌 2018; 115 (臨増総会) :A267.
- 64) Noriyuki Kawami, Nana Takenouchi, Mariko Umezawa, Shintaro Hoshino, Yuriko Hanada, Yoshimasa Hoshikawa, Hirohito Sano, Yoshio Hoshihara, Tsutomu Nomura, Eiji Uchida, Katsuhiko Iwakiri : Pathogenesis of Double-Dose Proton Pump Inhibitor-Resistant Non-Erosive Reflux Disease, and Mechanism of Reflux Symptoms and Gastric Acid Secretion-Suppressive Effect in the Presence or Absence of Helicobacter pylori Infection. DIGESTION 2017; 95 (2) :140-145. doi: 10.1159/000455834.
- 65) Hiroataka Shoji, Sachiyo Yoshio, Yohei Mano, Hiroyoshi Doi, Masaya Sugiyama, Yosuke Osawa, Kiminori Kimura, Taeng Arai, Norio Itokawa, Masanori Atsukawa, Yoshihiko Aoki, Moto Fukai, Akinobu Taketomi, Masashi Mizokami, Tatsuya Kanto : Pro-angiogenic TIE-2-expressing monocytes/TEMs as a biomarker of the effect of sorafenib in patients with advanced hepatocellular carcinoma. International journal of cancer 2017; 141 (5) :1011-1017. doi: 10.1002/ijc.30804.
- 66) Atsuo Yamada, Ryota Niikura, Koutarou Maki, Masanao Nakamura, Hirotsugu Watabe, Mitsuhiro Fujishiro, Shiro Oka, Shunji Fujimori, Atsushi Nakajima, Naoki Ohmiya, Takayuki Matsumoto, Shinji Tanaka, Kazuhiko Koike, Choitsu Sakamoto : Proton pump inhibitor therapy did not increase the prevalence of small-bowel injury: A propensity-matched analysis. PloS one 2017; 12 (8) :e0182586. doi: 10.1371/journal.pone.0182586.
- 67) 星川 吉正, 川見 典之, 星野 慎太郎, 梅澤 まり子, 竹之内 菜菜, 花田 優理子, 貝瀬 満, 岩切 勝彦 : Starlet(HRM)による IRP 値を用いたアカラシア診断の妥当性. 日本消化器病学会雑誌 2017; 114 (臨増大会) :A708.
- 68) Ichiyama S, Matayoshi T, Kaneko T, Shimizu A, Osada SI, Watanabe A, Kanzaki A, Mitsui K, Tsuruoka S, Iwakiri K, Kawana S, Saeki H : Successful multitarget therapy using prednisolone, mizoribine and tacrolimus for Henoch-Schönlein purpura nephritis in children. The Journal of dermatology 2017; 44 (4) :E56-E57. doi: 10.1111/1346-8138.13614.
- 69) Nakada Koji, Matsuhashi Nobuyuki, Joh Takashi, Higuchi Kazuhide, Iwakiri Katsuhiko, Oshio Atsushi, Haruma Ken : THE INFLUENCE OF DEPRESSION AND ANXIETY STATUS ON THE THERAPEUTIC EFFICACY OF PPI ON THE GERD AND FD SYMPTOMS. NEW INSIGHTS BY THE CROSS-LAGGED EFFECTS MODEL. GASTROENTEROLOGY 2017; 152 (5) :S467-S468.
- 70) Koji Nakada, Nobuyuki Matsuhashi, Takashi Joh, Kazuhide Higuchi, Katsuhiko Iwakiri, Ken Haruma : THE OPTIMAL TIMING TO MODIFY THE TREATMENT FOR THE SYMPTOMATIC GERD PATIENTS REFRACTORY TO PPI THERAPY. GASTROENTEROLOGY 2017; 152 (5) :S467.
- 71) 宇田川 愛実, 福田 健, 新井 泰央, 葉山 惟信, 岩下 愛, 糸川 典夫, 三木 洋子, 金子 恵子, 大久保 知美, 吉田 祐士, 厚川 正則, 金沢 秀典, 川本 智章, 岩切 勝彦 : TIPS 閉鎖術後に IFN フリー-DAA 治療を行った C 型肝炎の 1 例. 日本門脈圧亢進症学会雑誌 2017; 23 (3) :141.
- 72) 由雄 祥代, 正司 裕隆, 島垣 智成, 土肥 弘義, 杉山 真也, 大澤 陽介, 青木 孝彦, 新井 泰央, 糸川 典夫, 厚川 正則, 木村 公則, 溝上 雅史, 考藤 達哉 : Tie2 陽性単球(TEM)は切除不能進行肝がん患者におけるソラフェニブ治療効果に寄与する. 肝臓 2017; 58

(Suppl.2) :A602.

- 73) Katsuhiko Iwakiri : Treatment Strategy for Standard-Dose Proton Pump Inhibitor-Resistant Reflux Esophagitis. JOURNAL OF NIPPON MEDICAL SCHOOL 2017; 84 (5) :209-214. doi: 10.1272/jnms.84.209.
- 74) 山脇 博士, 二神 生爾, 岩切 勝彦 : WHITE PAPER 女性の健康をめぐる新たな潮流 女性の便秘 : これまでとこれから. White = ホワイト : women's health initiative for total care and education 2017; 5 (1) :44-47.
- 75) 阿川 周平, 二神 生爾, 山脇 博士, 池田 剛, 樋口 和寿, 野田 啓人, 飽本 哲兵, 小高 康裕, 金子 恵子, 植木 信江, 河越 哲郎, 岩切 勝彦 : 「消化管機能性疾患の新展開」機能性ディスベプシアの病態・標的分子 超音波内視鏡を用いた早期慢性膵炎および膵酵素異常を伴う FD 患者の病態比較検討. 日本消化管学会雑誌 2018; 2 (Suppl.) :87.
- 76) 岩切 勝彦, 星野 慎太郎, 川見 典之 : 【GERD 診療の進歩と問題点】食道裂孔ヘルニアと酸逆流. 日本消化器病学会雑誌 2017; 114 (10) :1774-1780. doi: 10.11405/nisshoshi.114.1774.
- 77) 貝瀬 満, 岩切 勝彦 : 【ここまでできる IEE】 【胃・十二指腸】スクリーニング 発見(detection)から質的診断(characterization) NBI を中心に. 消化器内視鏡 2017; 29 (12) :2148-2158.
- 78) 川見 典之, 岩切 勝彦 : 【これでわかる!食道胃接合部疾患】 炎症性疾患 GERD の食道運動機能と内視鏡診断. 消化器内視鏡 2017; 29 (9) :1662-1669.
- 79) 川見 典之, 岩切 勝彦 : 【プライマリ・ケア医のための消化器症候学】口腔および上部消化管に関連した症状 嚥下障害・嚥下痛 「飲み込みにくい」「食べ物がつかえます」. Medicina 2017; 54 (6) :842-845.
- 80) 岩切 勝彦 : 【上部消化管疾患 ピロリ菌陰性時代への過渡期をむかえて】 実地医家が知っておくべき診断と治療の基礎知識 最新の胃食道逆流症(GERD)診療 ガイドライン 2015 に準じて. Medical Practice 2018; 35 (1) :31-36.
- 81) 藤森 俊二, 岩切 勝彦 : 【内視鏡データリファレンスブック 2017】 十二指腸・小腸 カプセル内視鏡. 消化器内視鏡 2017; 29 (8) :1446-1449.
- 82) 星野 慎太郎, 川見 典之, 岩切 勝彦 : 【内視鏡データリファレンスブック 2017】 咽頭・食道 食道アカラシア. 消化器内視鏡 2017; 29 (8) :1359-1364.
- 83) 植木 信江, 貝瀬 満, 岩切 勝彦 : 【内視鏡データリファレンスブック 2017】 胃 早期胃癌の内視鏡診断. 消化器内視鏡 2017; 29(8):1419-1422.
- 84) 貝瀬 満, 岩切 勝彦 : 【内視鏡検診時代の胃診断学-胃粘膜を観る!胃癌を診る!】 実臨床ですぐに使える画像強調観察. 消化器内視鏡 2017; 29 (7) :1234-1243.
- 85) 山脇 博士, 二神 生爾, 岩切 勝彦 : 【十二指腸疾患診療の最前線】 十二指腸粘膜からみた消化管機能異常. 日本消化器病学会雑誌 2018; 115 (2) :177-183. doi: 10.11405/nisshoshi.115.177.
- 86) 貝瀬 満, 岩切 勝彦, 布袋屋 修, 井下 尚子 : 【変わりゆく早期胃癌のスペクトラム-H.pylori 未感染・現感染・除菌後は違う!】 H.pylori 未感染早期胃癌の内視鏡診断と治療. 消化器内視鏡 2018; 30 (1) :58-68.
- 87) 田中 周, 三井 啓吾, 江原 彰仁, 鈴木 将大, 岩切 勝彦 : 【消化器内視鏡-私の流儀】 ダブルバルーン内視鏡の挿入のコツと挿入困難例の克服へ 細かいコツの積み重ねで結果が大きく変わる!. 消化器内視鏡 2017; 29 (6) :1136-1138.
- 88) 阿川 周平, 二神 生爾, 岩切 勝彦 : 【消化管の慢性炎症】 機能性ディスベプシアと炎症. 別冊 Bio Clinica: 慢性炎症と疾患 2017; 6 (3) :47-51.
- 89) 山脇 博士, 二神 生爾, 金子 恵子, 川本 智章, 岩切 勝彦 : 【消化管機能障害と内視鏡】 腹部不定愁訴と早期慢性膵炎 FD における早期慢性膵炎の頻度、EUS の適応など. 消化器内視鏡 2017; 29 (10) :1924-1928.
- 90) 川見 典之, 岩切 勝彦 : 【酸関連疾患診療の進歩】 GERD の病態と診断. 消化器・肝臓内科 2017; 2 (4) :353-361.
- 91) 星川吉正, 星野慎太郎, 花田優理子, 竹之内菜菜, 梅澤まり子, 佐野弘仁, 川見典之, 星原芳雄, 岩切勝彦 : アコチアミドの食道運動機能に及ぼす影響. 日本消化器病学会雑誌 2017; 114
- 92) 糸川 典夫, 厚川 正則, 島田 紀朋 : ウイルス制御を目指した B 型肝炎の治療戦略 B 型慢性肝炎に対する Sequential 療法における HBs 抗原量低下予測因子と適応症例の検討. 肝臓 2017; 58 (Suppl.1) :A85.
- 93) 西本 崇良, 三井 啓吾, 片岡 宏章, 梅田 隆満, 高木 信介, 大森 順, 秋元 直彦, 佐藤 航, 鈴木 将大, 馬來 康太郎, 江原 彰仁, 米澤 真興, 田中 周, 辰口 篤志, 藤森 俊二, 岩切 勝彦 : クロウン病の薬物療法・手術療法のすべて クロウン病のバルーン内視鏡によ

- る病勢評価と内視鏡的バルーン拡張術の外科手術率に対する影響. 日本消化管学会雑誌 2018; 2 (Suppl.) :192.
- 94) 久保田 潔, 山口 拓洋, 大宮 直木, 藤森 俊二, 坂本 長逸 : ケース・クロスオーバー研究における Mantel-Haenszel 法によるオッズ比と条件付きロジスティック回帰によるオッズ比の乖離. 日本薬剤疫学会学術総会抄録集 2017; 23 回:70-71.
- 95) 近藤 千紗, 厚川 正則, 坪田 昭人, 飯尾 悦子, 田中 靖人, 大久保 知美, 新井 泰央, 糸川 典夫, 岩切 勝彦 : ソホスブビル・リバビリン併用療法で再燃後オムビタスビル・パリタプレビル・リトナビル・リバビリンによる再治療で SVR が得られた C 型慢性肝炎 genotype 2a の 1 例. 肝臓 2017; 58 (8) :455-457. doi: 10.2957/kanzo.58.455.
- 96) 厚川 正則, 加藤 慶三, 安部 宏, 島田 紀朋, 浅野 徹, 池上 正, 岩切 勝彦 : トルバプタンによる胸水腹水治療戦略 多施設共同研究より得られた肝性浮腫に対するトルバプタンの効果予測規定因子の解析. 日本門脈圧亢進症学会雑誌 2017; 23 (3) :66.
- 97) 西本 崇良, 藤森 俊二, 野田 啓人, 大久保 知美, 大森 順, 新井 泰央, 秋元 直彦, 糸川 典夫, 厚川 正則, 米澤 真興, 岩切 勝彦 : ポノプラザンを用いた H.Pylori 除菌治療の検討. 日本消化器病学会雑誌 2017; 114 (臨増大会) :A718.
- 98) 二神 生爾, 山脇 博士 : 上皮機能変容薬 (特集 これでスッキリ! 便秘治療薬の悩みを解決) -- (作用機序別 使用のポイント・注意点). 月刊薬事 = The pharmaceuticals monthly 2017; 59 (11) :2228-2232.
- 99) 今枝 博之, 岩切 勝彦, 中島 淳 : 今月の問題点 鼎談 機能性消化管障害の病態と治療 (特集 機能性消化管障害の Up to date). 成人病と生活習慣病 2018; 48 (2) :121-141.
- 100) 川見 典之, 星野 慎太郎, 竹之内 菜菜, 梅澤 まり子, 花田 優理子, 星川 吉正, 小泉 英里子, 貝瀬 満, 岩切 勝彦 : 全身性強皮症患者における high resolution manometry(HRM)を用いた食道運動機能の評価. 日本消化器病学会雑誌 2018; 115 (臨増総会) :A266.
- 101) 新井 泰央, 糸川 典夫, 大久保 知美, 牧田 智彦, 西本 崇良, 大森 順, 秋元 直彦, 米澤 真興, 厚川 正則, 藤森 俊二, 岩切 勝彦 : 出血を伴う切除不能上部消化管悪性狭窄に対する partially covered self-expandable metal stent 留置の有用性. Gastroenterological Endoscopy 2017; 59 (Suppl.1) :1122.
- 102) 河越 哲郎, 池田 剛, 丸木 雄太, 植木 信江, 江原 彰仁, 三井 啓吾, 田中 周, 辰口 篤志, 岩切 勝彦 : 切除不能小腸腺癌に対する mFOLFOX6 治療報告. 日本消化管学会雑誌 2018; 2 (Suppl.) :279.
- 103) 河越 哲郎, 池田 剛, 丸木 雄太, 植木 信江, 三井 啓吾, 田中 周, 辰口 篤志, 二神 生爾, 岩切 勝彦 : 切除不能小腸腺癌に対する mFOLFOX6 治療経験. 日本消化器病学会雑誌 2017; 114 (臨増大会) :A788.
- 104) 糸川 典夫, 厚川 正則, 大久保 知美, 新井 泰央, 岩下 愛, 近藤 千紗, 藤森 俊二, 岩切 勝彦 : 切除不能進行膵癌に対する GEM+nab-PTX 療法における治療効果予測因子の検討. 肝臓 2017; 32 (3) :509.
- 105) 貝瀬 満, 岩切 勝彦 : 医学と医療の最前線 大腸憩室疾患の現況 予防から治療まで. 日本内科学会雑誌 2018; 107 (3) :571-578.
- 106) 肥田 舞, 厚川 正則, 大久保 知美, 池上 正, 熊田 卓, 中牟田 誠, 渡邊 綱正, 高口 浩一, 忠願寺 義通, 加藤 慶三, 安部 宏, 新井 泰央, 糸川 典夫, 近藤 千紗, 岩切 勝彦 : 多施設共同研究による Genotype 2a 型 C 型肝炎に対する OBV/PTV/r/RBV の有効性と安全性の検討. 日本消化器病学会雑誌 2018; 115 (臨増総会) :A307.
- 107) 鈴木 将大, 大森 順, 藤森 俊二, 西本 崇良, 高木 信介, 梅田 隆満, 秋元 直彦, 佐藤 航, 馬來 康太郎, 江原 彰仁, 三井 啓吾, 米澤 真興, 田中 周, 辰口 篤志, 貝瀬 満, 岩切 勝彦 : 大腸憩室出血に対する内視鏡によるクリップ治療の有用性の検討. Gastroenterological Endoscopy 2017; 59 (Suppl.2) :2164.
- 108) 鈴木 将大, 藤森 俊二, 高木 信介, 西本 崇良, 秋元 直彦, 大森 順, 佐藤 航, 小杉 友紀, 馬來 康太郎, 江原 彰仁, 三井 啓吾, 米澤 真興, 田中 周, 辰口 篤志, 岩切 勝彦 : 大腸憩室出血の内視鏡によるクリップ治療の検討. Gastroenterological Endoscopy 2017; 59 (Suppl.1) :1082.
- 109) 竹之内 菜菜, 川見 典之, 星野 慎太郎, 梅澤 まり子, 花田 優理子, 星川 吉正, 貝瀬 満, 岩切 勝彦 : 好酸球性食道炎の臨床的特徴と食道運動機能. 日本消化管学会雑誌 2018; 2 (Suppl.) :271.
- 110) 厚川 正則, 豊田 秀徳, 高口 浩一, 島田 紀朋, 加藤 慶三, 安部 宏, 浅野 徹, 三上 繁, 正木 勉, 大久保 知美, 新井 泰央, 糸川 典夫, 近藤 千紗, 飯尾 悦子, 田中 靖人, 熊田 卓, 岩切 勝彦 : 実臨床における C 型慢性肝炎に対する Elbasvir/Grazoprevir の治療成績. 日本消化器病学会雑誌 2018; 115 (臨増総会) :A309.
- 111) 三井 啓吾, 藤森 俊二, 岩切 勝彦 : 小腸出血と OGIB 患者の長期予後 小腸出血に対する止血方法と再出血の相関. Gastroenterological Endoscopy 2017; 59 (Suppl.1) :782.
- 112) 大森 順, 三井 啓吾, 片岡 宏章, 梅田 隆満, 西本 崇良, 高木 信介, 秋元 直彦, 佐藤 航, 鈴木 将大, 馬來 康太郎, 江原 彰仁,



- 米澤 真興, 田中 周, 辰口 篤志, 藤森 俊二, 岩切 勝彦: 小腸疾患の診断と内視鏡開発の歴史 ダブルバルーン小腸内視鏡を施行した小腸悪性リンパ腫の診断および臨床的特徴の検討. 日本消化管学会雑誌 2018; 2 (Suppl.) :185.
- 113)大森 順, 藤森 俊二, 西本 崇良, 高木 信介, 秋元 直彦, 佐藤 航, 鈴木 将大, 小杉 友紀, 馬來 康太郎, 江原 彰仁, 三井 啓吾, 米澤 真興, 田中 周, 辰口 篤志, 岩切 勝彦: 当院における大腸憩室出血の検討. Gastroenterological Endoscopy 2017; 59 (Suppl.1) :975.
- 114)糸川 典夫, 大久保 知美, 新井 泰央, 岩下 愛, 近藤 千紗, 厚川 正則, 藤森 俊二, 岩切 勝彦: 悪性胆道狭窄の病理診断における新規デバイスの使用経験 ブラシ擦過細胞診との比較検討. Gastroenterological Endoscopy 2017; 59 (Suppl.1) :934.
- 115)近藤 千紗, 厚川 正則, 大久保 知美, 肥田 舞, 新井 泰央, 糸川 典夫, 岩切 勝彦: 慢性肝疾患患者における尿中 Titin-N fragment 濃度測定の意義. 日本消化器病学会雑誌 2018; 115 (臨増総会) :A318.
- 116)厚川 正則, 小川 力, 出口 章広, 守屋 昭男, 尾立 磨琴, 谷 丈二, 正木 勉, 大久保 知美, 新井 泰央, 糸川 典夫, 近藤 千紗, 豊田 秀徳, 福田 健, 長田 祐二, 坪田 昭人, 飯尾 悦子, 田中 靖人, 熊田 卓, 高口 浩一, 島田 紀朋, 安部 宏, 加藤 慶三, 浅野 徹, 忠願寺 義通, 三上 繁: 慢性腎臓病合併 C型慢性肝炎に対するエルバスビル・グラゾプレビル療法の有効性と安全性. 肝臓 2017; 58 (12) :678-680.
- 117)厚川 正則, 豊田 秀徳, 高口 浩一, 島田 紀朋, 安部 宏, 加藤 慶三, 浅野 徹, 忠願寺 義通, 三上 繁, 小川 力, 出口 章広, 守屋 昭男, 尾立 磨琴, 谷 丈二, 正木 勉, 大久保 知美, 新井 泰央, 糸川 典夫, 近藤 千紗, 福田 健, 長田 祐二, 坪田 昭人, 飯尾 悦子, 田中 靖人, 熊田 卓: 慢性腎臓病合併 C型慢性肝炎に対するエルバスビル・グラゾプレビル療法の有効性と安全性. 肝臓 2017; 58 (12) :678-680. doi: 10.2957/kanzo.58.678.
- 118)宇田川 愛実, 金子 恵子, 吉田 祐士, 田邊 智英, 大久保 知美, 新井 泰央, 葉山 惟信, 岩下 愛, 糸川 典夫, 福田 健, 三木 洋子, 張本 滉智, 厚川 正則, 川本 智章, 岩切 勝彦: 抗生剤肝動注療法にて改善した多房性肝膿瘍の2例. 肝臓 2017; 58 (Suppl.3) :A926.
- 119)糸川 典夫, 厚川 正則, 大久保 知美, 新井 泰央, 岩下 愛, 近藤 千紗, 島田 紀朋, 岩切 勝彦: 既存の核酸アナログ治療中の B型慢性肝炎に対する、Sequential 療法およびテノホビル治療における治療効果と適応症例の比較検討. 肝臓 2017; 58 (Suppl.2) :A627.
- 120)樋口 和寿, 二神 生爾, 山脇 博士, 佐藤 ひとみ, 金子 恵子, 岩切 勝彦: 早期慢性膵炎の症状・消化管運動能の特徴 EUS スコアの経過観察. 日本消化器病学会雑誌 2017; 114 (臨増大会) :A774.
- 121)植木 信江, 阿川 周平, 池田 剛, 野田 啓人, 樋口 和寿, 飽本 哲兵, 丸木 雄太, 山脇 博士, 小高 康裕, 名見耶 浩幸, 河越 哲郎, 二神 生爾, 三宅 一昌, 岩切 勝彦: 早期胃癌 ESD 後に適応外病変と診断された症例の検討. Gastroenterological Endoscopy 2017; 59 (Suppl.2) :2226.
- 122)新井 泰央, 厚川 正則, 吉田 祐士, 大久保 知美, 岩下 愛, 糸川 典夫, 近藤 千紗, 羽鳥 努, 加藤 慶三, 島田 紀朋, 坪田 昭人, 岩切 勝彦: 本邦の NAFLD 症例の病態に vitamin D 代謝関連 SNPs の与える影響. 肝臓 2017; 58 (Suppl.2) :A636.
- 123)山脇 博士, 二神 生爾, 岩切 勝彦: 機能性消化器疾患の病態解明と診療の進歩 膵酵素異常を伴う心窩部痛症候群に対する新たな治療戦略 EUS を用いた cross over 試験の試み. Gastroenterological Endoscopy 2017; 59 (Suppl.2) :2026.
- 124)山脇 博士, 二神 生爾, 岩切 勝彦: 機能性消化器疾患の病態解明と診療の進歩 膵酵素異常を伴う心窩部痛症候群に対する新たな治療戦略 EUS を用いた cross over 試験の試み. 日本消化器病学会雑誌 2017; 114 (臨増大会) :A564.
- 125)山脇 博士, 二神 生爾, 岩切 勝彦: 消化器機「能性消化管疾患の新たな展開」 Acotiamide 及び PPI 併用における消化管運動能ならびに摂食関連ホルモンの解析. 日本臨床生理学会雑誌 2017; 47 (4) :81.
- 126)星野 慎太郎, 川見 典之, 岩切 勝彦: 消化管機能検査 最新技術とその応用 High-resolution manometry により診断された"Esophageal Rosette"を認めないアカラシア症例の内視鏡所見. 日本消化器病学会雑誌 2018; 115 (臨増総会) :A134.
- 127)小泉 英里子, 岩切 勝彦: 特集 GERD 診療 2018-現状と課題 2 .GERD の病態. 臨床消化器内科 2018; 33 (3) :265-272. doi: 10.19020/cg.0000000254.
- 128)辰口 篤志, 三井 啓吾, 田中 周, 江原 彰仁, 鈴木 将大, 馬來 康太郎, 佐藤 航, 秋元 直彦, 大森 順, 梅田 隆満, 高木 信介, 西本 崇良, 米澤 真興, 藤森 俊二, 岩切 勝彦: 空腸・回腸腺癌における上皮成長因子受容体(EGFR)ファミリーの発現の臨床病理学的意義. 日本消化管学会雑誌 2018; 2 (Suppl.) :279.
- 129)葉山 惟信, 三木 洋子, 福田 健, 張本 滉智, 吉田 祐士, 大久保 知美, 新井 泰央, 岩下 愛, 糸川 典夫, 厚川 正則, 金子 恵子, 中塚 雄久, 金沢 秀典, 川本 智章, 岩切 勝彦: 肝右葉切除後の C 型肝硬変難治性肝性胸水例に TIPS を施行した 1 例. 日本門脈圧亢進症学会雑誌 2017; 23 (2) :167-171.

- 130) 岩下 愛, 厚川 正則, 加藤 慶三, 安部 宏, 島田 紀朋, 浅野 徹, 池上 正, 肥田 舞, 吉田 祐士, 葉山 惟信, 大久保 知美, 新井 泰央, 糸川 典夫, 近藤 千紗, 岩切 勝彦: 肝性浮腫に対して tolvaptan が中長期予後に与える影響. 日本消化器病学会雑誌 2018; 115(臨増総会):A296.
- 131) 葉山惟信, 厚川正則, 岩切勝彦: 肝性浮腫に対する Tolvaptan の効果予測因子と予後の検討. 日本消化器病学会雑誌 2017; 114
- 132) 肥田 舞, 厚川 正則, 岩下 愛, 大久保 知美, 新井 泰央, 糸川 典夫, 近藤 千紗, 岩切 勝彦: 肝性浮腫に対する tolvaptan の治療効果予測因子と中長期予後に与える影響. 肝臓 2017; 58 (Suppl.1):A459.
- 133) 吉田 祐士, 福田 健, 田邊 智英, 大久保 知美, 新井 泰央, 葉山 惟信, 岩下 愛, 糸川 典夫, 張本 滉智, 三木 洋子, 厚川 正則, 金子 恵子, 川本 智章, 岩切 勝彦: 肝性脳症を繰り返す巨大 P-V shunt 患者に対して B-RTO を施行した一例. 日本門脈圧亢進症学会雑誌 2017; 23 (3):153.
- 134) 厚川 正則, 加藤 慶三, 岩切 勝彦: 肝硬変合併症対策の進歩 腎機能から考える肝性浮腫に対する Tolvaptan の効果予測. Gastroenterological Endoscopy 2017; 59 (Suppl.2):2043.
- 135) 厚川 正則, 加藤 慶三, 岩切 勝彦: 肝硬変合併症対策の進歩 腎機能から考える肝性浮腫に対する Tolvaptan の効果予測. 日本消化器病学会雑誌 2017; 114 (臨増大会):A599.
- 136) 厚川 正則, 加藤 慶三, 岩切 勝彦: 肝硬変合併症対策の進歩 腎機能から考える肝性浮腫に対する Tolvaptan の効果予測. 肝臓 2017; 58 (Suppl.2):A540.
- 137) 秋元 直彦, 三井 啓吾, 西本 崇良, 高木 信介, 大森 順, 佐藤 航, 馬來 康太郎, 鈴木 将大, 小杉 友紀, 江原 彰仁, 楠 正典, 米澤 真興, 田中 周, 辰口 篤, 藤森 俊二, 岩切 勝彦: 胃 ESD における dexmedetomidine の有用性. Gastroenterological Endoscopy 2017; 59 (Suppl.1):1104.
- 138) 野田 啓人, 植木 信江, 鮑本 哲兵, 池田 剛, 樋口 和寿, 阿川 周平, 丸木 雄太, 山脇 博士, 小高 康裕, 河越 哲郎, 二神 生爾, 岩切 勝彦: 胃 ESD における抗血栓薬服用患者の後出血の検討. 日本消化器病学会雑誌 2017; 114 (臨増大会):A763.
- 139) 植木 信江, 阿川 周平, 池田 剛, 野田 啓人, 樋口 和寿, 鮑本 哲兵, 山脇 博士, 小高 康裕, 河越 哲郎, 二神 生爾, 岩切 勝彦: 胃 ESD 後潰瘍治癒における P-CAB の効果について. 日本ヘリコバクター学会学術集会プログラム・抄録集 2017; 23 回:190.
- 140) 野田 啓人, 貝瀬 満, 岩切 勝彦: 胃の精密内視鏡診断〜どこまで病理に迫れるか?〜 早期胃癌診断における Endocytoscopy の有用性. 日本消化管学会雑誌 2018; 2 (Suppl.):107.
- 141) 小泉 英里子, 貝瀬 満, 丸木 雄太, 鮑本 哲兵, 山脇 博士, 小高 康裕, 新福 摩弓, 植木 信江, 二神 生爾, 岩切 勝彦: 胃粘膜下血腫を動脈塞栓術で止血し経時的内視鏡所見の変化を観察し得た 1 例. Progress of Digestive Endoscopy 2017; 92 (Suppl.):s112.
- 142) 川見 典之, 星野 慎太郎, 梅澤 まり子, 竹之内 菜菜, 花田 優理子, 星川 吉正, 貝瀬 満, 岩切 勝彦: 胃酸分泌抑制効果から見た PPI 倍量又は P-CAB 抵抗性 NERD の病態. 日本高齢消化器病学会誌 2017; 20 (1):42.
- 143) 川見 典之, 星野 慎太郎, 竹之内 菜菜, 梅澤 まり子, 花田 優理子, 星川 吉正, 貝瀬 満, 岩切 勝彦: 胃食道逆流症の病態と治療戦略 P-CAB による胃酸分泌抑制効果からみた P-CAB 抵抗性 NERD の病態. 日本消化管学会雑誌 2018; 2 (Suppl.):95.
- 144) 岩切 勝彦: 胃食道逆流症の病態と治療戦略 PPI 抵抗性 GERD の疫学、病態、治療. 日本消化管学会雑誌 2018; 2 (Suppl.):94.
- 145) 大宮 直木, 藤森 俊二, 坂本 長逸: 薬剤性消化管障害の現状と課題 カプセル内視鏡データベースを用いた全国多施設ケースクロスオーバー研究による小腸顕性出血の薬剤リスク. 日本消化器病学会雑誌 2017; 114 (臨増大会):A649.
- 146) 大宮 直木, 藤森 俊二, 坂本 長逸: 薬剤性消化管障害の現状と課題 カプセル内視鏡データベースを用いた全国多施設ケースクロスオーバー研究による小腸顕性出血の薬剤リスク. Gastroenterological Endoscopy 2017; 59 (Suppl.2):2083.
- 147) 藤森 俊二, 小杉 友紀, 勝矢 由紀子, 馬來 康太郎, 西本 崇良, 星本 相理, 佐藤 航, 高木 信介, 大森 順, 秋元 直彦, 鈴木 将大, 江原 彰仁, 瀬尾 継彦, 三井 啓吾, 米澤 真興, 田中 周, 辰口 篤志, 岩切 勝彦: 薬剤性消化管障害の診断・治療の課題 H.pylori 感染は小腸粘膜傷害を増加・増悪させる可能性が高い. 日本消化管学会雑誌 2018; 2 (Suppl.):156.
- 148) 大久保 知美, 厚川 正則, 新井 泰央, 岩下 愛, 糸川 典夫, 近藤 千紗, 鶴岡 秀一, 岩切 勝彦: 血液透析施設における C 型慢性肝炎患者の治療の現状と血液透析症例における肝線維化マーカーの検討. 肝臓 2017; 58 (Suppl.2):A626.
- 149) 大久保 知美, 厚川 正則, 島田 紀朋, 安部 宏, 加藤 慶三, 新井 泰央, 岩下 愛, 糸川 典夫, 近藤 千紗, 岩切 勝彦: 血液透析施設における C 型慢性肝炎患者の現状と抗ウイルス治療導入状況の検討. 肝臓 2017; 58 (Suppl.1):A430.
- 150) 厚川正則, 池上正, 岩切勝彦: 血液透析症例の C 型慢性肝炎患者に対する DAAs 治療の現状と疫学調査. 日本消化器病学会雑誌 2017;

- 151)星野 慎太郎, 川見 典之, 星川 吉正, 竹之内 菜菜, 花田 優理子, 梅澤 まり子, 貝瀬 満, 岩切 勝彦 : 超高齢者における消化器・内視鏡の診断治療(消化管) 80歳以上のPPI抵抗性逆流性食道炎患者の臨床的特徴. 日本高齢消化器病学会誌 2017; 20 (1) :52.
- 152)梅澤 まり子, 川見 典之, 星野 慎太郎, 星川 吉正, 竹之内 菜菜, 花田 優理子, 貝瀬 満, 岩切 勝彦 : 軽症逆流性食道炎患者の維持療法におけるボノプラザン 20mg による on demand 療法の有効性. 日本消化器病学会雑誌 2017; 114 (臨増大会) :A710.
- 153)梅澤 まり子, 川見 典之, 星野 慎太郎, 小泉 英里子, 星川 吉正, 竹之内 菜菜, 花田 優理子, 貝瀬 満, 岩切 勝彦 : 軽症逆流性食道炎患者の維持療法におけるボノプラザン 20mg による on demand 療法の有効性. 日本消化管学会雑誌 2018; 2 (Suppl.) :271.
- 154)梅澤 まり子, 川見 典之, 星野 慎太郎, 小泉 英里子, 星川 吉正, 竹之内 菜菜, 花田 優理子, 貝瀬 満, 岩切 勝彦 : 軽症逆流性食道炎患者の維持療法におけるボノプラザン 20mg による on demand 療法の有効性. 日本消化器病学会雑誌 2018; 115 (臨増総会) :A267.
- 155)大森 順, 鈴木 将大, 藤森 俊二, 梅田 隆満, 西本 崇良, 高木 信介, 秋元 直彦, 佐藤 航, 小杉 友紀, 馬來 康太郎, 江原 彰仁, 三井 啓吾, 米澤 真興, 田中 周, 辰口 篤志, 貝瀬 満, 岩切 勝彦 : 輸血による大腸憩室出血のリスク因子の検討. 日本消化器病学会雑誌 2017; 114 (臨増大会) :A808.
- 156)岩切 勝彦 : 逆流性食道炎の病態と治療. 日本臨床生理学会雑誌 2017; 47 (4) :62.
- 157)神谷 武, 土岐 讓, 山内 亮, 萱嶋 英三, 足立 経一, 岸 清彦, 末次 浩, 和田 恒哉, 遠藤 広貴, 山田 元, 大佐賀 智, 中田 浩二, 岩切 勝彦, 春間 賢, 城 卓志 : 逆流性食道炎発症に関連する因子の年齢層による差異(GERD 研究会調査研究). 日本消化管学会雑誌 2018; 2 (Suppl.) :271.
- 158)鈴木 将大, 三井 啓吾, 貝瀬 満, 岩切 勝彦 : 連載 内視鏡の読み方 終末回腸に多発する潰瘍・狭窄により再発性腸閉塞をきたした回腸結核の1例. 臨床消化器内科 2017; 33 (1) :124-128. doi: 10.19020/cg.0000000209.
- 159)川見 典之, 星野 慎太郎, 星川 吉正, 竹之内 菜菜, 梅澤 まり子, 花田 優理子, 貝瀬 満, 岩切 勝彦 : 酸分泌抑制効果からみたPPI倍量及びP-CAB抵抗性NERDの病因. 胃病態機能研究会誌 2018; 50:35.
- 160)小高 康裕, 二神 生爾, 山脇 博士, 桐田 久美子, 酒瀬川 典子, 阿川 周平, 樋口 和寿, 池田 剛, 野田 啓人, 丸木 雄太, 佐藤 ひとみ, 名児耶 浩幸, 植木 信江, 河越 哲郎, 岩切 勝彦 : 除菌時代における胃癌診療(診断・治療・予防) H.pylori陽性胃炎における京都分類とCOX-2 1195、IL-1 $\beta$  511、mPGES-1を用いた胃癌ハイリスク群予測の試み. 日本ヘリコバクター学会学術集会プログラム・抄録集 2017; 23回:139.
- 161)川見 典之, 星野 慎太郎, 岩切 勝彦 : 難治性GERDを取り巻く新知見 P-CAB抵抗性NERDの症状出現の機序及びP-CABによる胃酸分泌抑制効果. Gastroenterological Endoscopy 2017; 59 (Suppl.2) :2024.
- 162)川見 典之, 星野 慎太郎, 岩切 勝彦 : 難治性GERDを取り巻く新知見 P-CAB抵抗性NERDの症状出現の機序及びP-CABによる胃酸分泌抑制効果. 日本消化器病学会雑誌 2017; 114 (臨増大会) :A562.
- 163)吉田 祐士, 新井 泰央, 大久保 知美, 岩下 愛, 糸川 典夫, 近藤 千紗, 厚川 正則, 岩切 勝彦 : 非アルコール性脂肪性肝疾患に合併する動脈硬化症の特徴. 日本消化器病学会雑誌 2017; 114 (臨増大会) :A768.
- 164)大久保 知美, 厚川 正則, 肥田 舞, 新井 泰央, 糸川 典夫, 近藤 千紗, 岩切 勝彦 : 非代償性肝硬変症例におけるサルコペニア、骨代謝とビタミンD濃度の関連性についての検討. 日本消化器病学会雑誌 2018; 115 (臨増総会) :A286.
- 165)星川 吉正, 川見 典之, 星野 慎太郎, 竹之内 菜菜, 梅澤 まり子, 花田 優理子, 貝瀬 満, 岩切 勝彦 : 食道アカラシアの診断と治療戦略 アカラシア診断に用いるStarlet(HRM)によるIRPカットオフ値の検討. 日本消化管学会雑誌 2018; 2 (Suppl.) :132.
- 166)星野 慎太郎, 花田 優理子, 川見 典之, 星川 吉正, 竹之内 菜菜, 梅澤 まり子, 佐野 弘二, 河越 哲郎, 星原 芳雄, 岩切 勝彦 : 食道内圧検査は臨床を変えるか? 滑脱型裂孔ヘルニアの内視鏡診断は食道内圧診断と一致するか?. 日本食道学会学術集会プログラム・抄録集 2017; 71回:S3-7.
- 167)野村 務, 松谷 毅, 萩原 信敏, 藤田 逸郎, 金沢 義一, 牧野 浩司, 太田 恵一朗, 岩切 勝彦, 宮下 正夫, 内田 英二 : 食道良性疾患の外科治療 III型食道裂孔ヘルニア術後障害の検討. 日本食道学会学術集会プログラム・抄録集 2017; 71回:W1-4.
- 168)野村 務, 松谷 毅, 萩原 信敏, 藤田 逸郎, 金沢 義一, 中村 慶春, 牧野 浩司, 柿沼 大輔, 太田 恵一朗, 岩切 勝彦, 宮下 正夫, 内田 英二 : 食道裂孔ヘルニア患者に対する腹腔鏡下手術 メッシュの種類による治療成績の検討. 日本消化器外科学会雑誌 2017; 50 (Suppl.2) :250.
- 169)野村 務, 松谷 毅, 萩原 信敏, 藤田 逸郎, 金沢 義一, 中村 慶春, 柿沼 大輔, 菅野 仁士, 牧野 浩司, 太田 恵一朗, 岩切 勝彦,

- 宮下 正夫, 内田 英二 : 食道運動機能障害に対する治療 POEM vs.胸腔鏡下手術 胸腔鏡下手術の立場から. 消化器外科 2017; 40 (8) :1215-1220.
- 170) 葉山 惟信, 福田 健, 吉田 祐士, 大久保 知美, 新井 泰央, 岩下 愛, 糸川 典夫, 三木 洋子, 張本 滉智, 金子 恵子, 厚川 正則, 金沢 秀典, 川本 智章, 岩切 勝彦 : 食道静脈瘤治療を繰り返す Budd-Chiari 症候群の若年女性 1 例. 日本門脈圧亢進症学会雑誌 2017; 23 (3) :138.
- 171) 萩原 信敏, 松谷 毅, 野村 務, 藤田 逸郎, 金沢 義一, 柿沼 大輔, 川見 典之, 岩切 勝彦, 太田 恵一朗, 内田 英二 : 高齢者食道裂孔ヘルニア患者に対する外科治療の工夫. 日本食道学会学術集会プログラム・抄録集 2017; 71 回:P79-3.

## 著書

- 1) 川見典之, 岩切勝彦 : 〔分担執筆〕アカラシア. 食道・胃・十二指腸の診療アップデート (プリンシプル消化器疾患の臨床1) .2017,中山書店.
- 2) 阿川周平, 二神生爾, 岩切勝彦 : 機能性ディスペプシアと炎症. 別冊 BIO Clinica 慢性炎症と疾患. 2017; 6(3) : 47-51.
- 3) 二神生爾, 山脇博士 : 上皮機能変容薬. 月間薬事. 2017;59(11) : 2228-2232.
- 4) 樋口和寿, 二神生爾 : 機能性ディスペプシアの治療. 消化器・肝臓内科. 2017; 2(4) : 414-421.

## 学会発表

- 1) 星野 慎太郎, 川見 典之, 星川 吉正, 花田 優理子, 竹ノ内 菜菜, 梅澤 まり子, 佐野 弘仁, 貝瀬 満, 岩切 勝彦 : "Esophageal Rosette"を認めないアカラシア患者の下部食道内視鏡所見. 日本消化器病学会雑誌, 2017. 9.
- 2) 葉山 惟信, 金沢 秀典, 岩切 勝彦 : 2型肝腎症候群に合併した難治性腹水に対する TIPS の治療成績. 肝臓, 2017. 4.
- 3) 佐野 弘仁, 四宮 航, 宮本 真由子, 星川 吉正, 星野 慎太郎, 梅澤 まり子, 川見 典之, 柴田 喜明, 岩切 勝彦 : 6 年の経過で Champagne glass 様の食道狭小化像を呈するに至った食道アカラシアの一例. Gastroenterological Endoscopy, 2017. 4.
- 4) 星野慎太郎, 川見典之, 星川吉正, 竹之内菜菜, 花田優理子, 梅澤まり子, 貝瀬 満, 岩切勝彦 : 80 歳以上の PPI 抵抗性逆流性食道炎患者の臨床的特徴. 日本高齢消化器病学会総会 (第 20 回) , 2017. 7.
- 5) 石川 裕美子, 星野 慎太郎, 小泉 英里子, 星川 吉正, 花田 優理子, 竹ノ内 菜菜, 梅澤 まり子, 川見 典之, 貝瀬 満, 岩切 勝彦 : 80 歳以上の PPI 抵抗性逆流性食道炎患者の臨床的特徴. 日本消化器病学会雑誌, 2018. 3.
- 6) Hoshino S, Umezawa M, Kawami N, Hoshikawa Y, Kataoka H, Hanada Y, Takenouchi N, Hoshihara Y, Iwakiri K : Effectiveness of on-demand therapy using 20-mg vonoprazan for mild reflux esophagitis. Digestive Disease Week 2017, 2017. 5.
- 7) Hoshikawa Y, Hoshino S, Kawami N, Kataoka H, Hanada Y, Takenouchi N, Umezawa M, Hoshihara Y, Iwakiri K : Efficacy of vonoprazan for proton pump inhibitor-resistant reflux esophagitis. Digestive Disease Week 2017, 2017. 5.
- 8) 川見 典之, 星野 慎太郎, 梅澤 まり子, 竹之内 菜菜, 花田 優理子, 星川 吉正, 星原 芳雄, 岩切 勝彦 : EoE を解明する 好酸球性食道炎の臨床像と食道運動機能. 日本食道学会学術集会プログラム・抄録集, 2017. 6.
- 9) 星野慎太郎, 川見典之, 星川吉正, 花田優理子, 竹之内菜菜, 梅澤まり子, 佐野弘仁, 貝瀬 満, 岩切勝彦 : "Esophageal Rosette"を認めないアカラシア患者の下部食道内視鏡所見. 日本消化器病学会大会 (第 59 回) , 2017. 10.
- 10) 星野慎太郎, 川見典之, 小泉英里子, 星川吉正, 花田優理子, 竹之内菜菜, 梅澤まり子, 貝瀬 満, 岩切勝彦 : "Esophageal Rosette"を認めないアカラシア患者の下部食道内視鏡所見. 消化器疾患病態治療研究会(第 26 回) , 2017. 9.
- 11) 岩切 勝彦, 星野 慎太郎, 川見 典之 : GERD(逆流性食道炎、非びらん性逆流症)の病態と治療の新展開. 東京都医師会雑誌, 2017. 5.
- 12) 岩切 勝彦, 星野 慎太郎, 川見 典之 : GERD 治療の新展開. 胃病態機能研究会誌, 2018. 2.
- 13) 川見 典之, 貝瀬 満, 岩切 勝彦 : GERD 診断、治療の最前線 P-CAB による酸分泌抑制効果と P-CAB 抵抗性 NERD の病態. 日本消化器病学会雑誌, 2018. 3.
- 14) 小高康裕, 二神生爾, 山脇博士, 桐田久美子, 阿川周平, 樋口和寿, 池田剛, 野田啓人, 丸木雄太, 鮑本哲兵, 佐藤ひとみ, 名見郁浩幸, 植木信江, 河越哲郎, 千原直人, 渡邊昌則, 鈴木英之, 岩切勝彦 : H.pylori 陽性胃炎における京都分類と cox-2 1195、IL-1 $\beta$  511、mPGES-1 の SNP を用いた胃がん張りリスク群予測の試み. JDDW2017 第 25 回日本消化器関連学会週間, 2017. 10.
- 15) Hoshikawa Y, Hoshihara Y, Kawami N, Hoshino S, Hanada Y, Takenouchi N, Umezawa M, Aida, Takubo K, Iwakiri K : How to

- decide the circumferential distribution of the location of a small lesion in the lower esophagus?. Digestive Disease Week 2017, 2017. 5.
- 16) 小泉英里子, 川見典之, 星野慎太郎, 梅澤まり子, 竹之内菜菜, 花田優理子, 星川吉正, 貝瀬 満, 岩切勝彦 : Jackhammer esophagus の臨床的特徴と治療. 日本消化器病学会大会 (第 59 回), 2017. 10.
  - 17) 小泉英里子, 川見典之, 星野慎太郎, 梅澤まり子, 竹之内菜菜, 花田優理子, 星川吉正, 星原芳雄, 岩切勝彦 : Jackhammer esophagus の臨床的特徴と治療法に関する検討. 日本食道学会学術集会 (第 71 回), 2017. 6.
  - 18) 大野弘貴, 河越哲郎, 池田剛, 阿川周平, 樋口和寿, 野田啓人, 山脇博士, 小高康裕, 名児耶浩幸, 植木信江, 辰口篤志, 二神生爾, 岩切勝彦 : Key drug の rechallenge 治療が有効であった切除不能大腸癌の 1 例. 第 344 回日本消化器病学会関東支部例会, 2017. 5.
  - 19) 小泉英里子, 川見典之, 星野慎太郎, 星川吉正, 花田優理子, 竹之内菜菜, 梅澤まり子, 貝瀬 満, 岩切勝彦 : P-CAB 抵抗性 NERD の病態. 消化器疾患病態治療研究会(第 26 回), 2017. 9.
  - 20) 花田優理子, 川見典之, 星野慎太郎, 梅澤まり子, 竹之内菜菜, 星川吉正, 星原芳雄, 岩切勝彦 : P-CAB 抵抗性 NERD の病態と P-CAB による胃酸分泌抑制効果. 日本食道学会学術集会 (第 71 回), 2017. 6.
  - 21) 川見典之, 星野慎太郎, 岩切勝彦 : P-CAB 抵抗性 NERD の症状出現の機序及び P-CAB による胃酸分泌抑制効果. 日本消化器病学会大会 (第 59 回), 2017. 10.
  - 22) 小泉 英里子, 星野 慎太郎, 川見 典之, 星川 吉正, 竹之内 菜菜, 花田 優理子, 梅澤 まり子, 貝瀬 満, 岩切 勝彦 : PPI 治療が有効である NERD 患者に対するポロプラゼン 20mg による on demand 療法の有効性. 日本消化管学会雑誌, 2018. 2.
  - 23) Kataoka H, Kawami N, Hoshino S, Umezawa M, Takenouchi N, Hanada Y, Hoshikawa Y, Hoshihara Y, Iwakiri K : Pathogenesis of double-dose proton pump inhibitor-resistant non-erosive reflux disease, and mechanism of reflux symptoms and gastric secretion-suppressive effect in the presence or absence of Helicobacter pylori infection. Digestive Disease Week 2017, 2017. 5.
  - 24) Kawami N, Hoshino S, Umezawa M, Takenouchi N, Hanada Y, Hoshikawa Y, Kataoka Y, Hoshihara Y, Iwakiri K : Pathogenesis of potassium-competitive acid blocker (P-CAB)-resistant non-erosive reflux disease (NERD). Digestive Disease Week 2017, 2017. 5.
  - 25) 星川吉正, 川見典之, 星野慎太郎, 梅澤まり子, 竹之内菜菜, 花田優理子, 貝瀬 満, 岩切勝彦 : Starlet(HRM)による IRP 値を用いたアカラシア診断の妥当性. 日本消化器病学会大会 (第 59 回), 2017. 10.
  - 26) 宇田川 愛実, 福田 健, 新井 泰央, 葉山 惟信, 岩下 愛, 糸川 典夫, 三木 洋子, 金子 恵子, 大久保 知美, 吉田 祐士, 厚川 正則, 金沢 秀典, 川本 智章, 岩切 勝彦 : TIPS 閉鎖術後に IFN フリー-DAA 治療を行った C 型肝炎の 1 例. 日本門脈圧亢進症学会雑誌, 2017. 8.
  - 27) 岩切 勝彦, 星野 慎太郎, 川見 典之 : 【GERD 診療の進歩と問題点】食道裂孔ヘルニアと酸逆流. 日本消化器病学会雑誌, 2017. 10.
  - 28) 星野 慎太郎, 川見 典之, 星川 吉正, 小泉 英里子, 花田 優理子, 竹之内 菜菜, 梅澤 まり子, 貝瀬 満, 岩切 勝彦 : アカラシア診断に用いる Starlet (HRM)による IRP 値の妥当性. 日本平滑筋学会総会 (第 59 回), 2017. 8.
  - 29) 川見 典之, 星野 慎太郎, 竹之内 菜菜, 梅澤 まり子, 花田 優理子, 星川 吉正, 小泉 英里子, 貝瀬 満, 岩切 勝彦 : 全身性強皮症患者における high resolution manometry(HRM)を用いた食道運動機能の評価. 日本消化器病学会雑誌, 2018. 3.
  - 30) 星野慎太郎, 川見典之, 星川吉正, 花田優理子, 竹之内菜菜, 梅澤まり子, 貝瀬満, 岩切勝彦 : 典型的な内視鏡所見を認めないアカラシア患者の新規内視鏡所見. 日本消化器病学会関東支部第 350 回例会, 2017. 7.
  - 31) 川越哲郎, 池田剛, 丸木雄太, 植木信江, 三井啓吾, 田中周, 辰口篤志, 二神生爾, 岩切勝彦 : 切除不能小腸腺癌に対する mFOLFOX6 治療経験. JDDW2017 第 25 回日本消化器関連学会週間, 2017. 10.
  - 32) 川見典之, 星野慎太郎, 梅澤まり子, 竹之内菜菜, 花田 優理子, 星川吉正, 星原芳雄, 岩切勝彦 : 好酸球性食道炎の臨床像と食道運動機能. 日本食道学会学術集会 (第 71 回), 2017. 6.
  - 33) 竹之内 菜菜, 川見 典之, 星野 慎太郎, 梅澤 まり子, 花田 優理子, 星川 吉正, 貝瀬 満, 岩切 勝彦 : 好酸球性食道炎の臨床的特徴と食道運動機能. 日本消化管学会雑誌, 2018. 2.
  - 34) 宇田川 愛実, 金子 恵子, 吉田 祐士, 田邊 智英, 大久保 知美, 新井 泰央, 葉山 惟信, 岩下 愛, 糸川 典夫, 福田 健, 三木 洋子, 張本 滉智, 厚川 正則, 川本 智章, 岩切 勝彦 : 抗生剤肝動注療法にて改善した多房性肝膿瘍の 2 例. 肝臓, 2017. 11.
  - 35) 樋口和寿, 二神生爾, 山脇博士, 佐藤ひとみ, 金子恵子, 岩切勝彦 : 早期慢性膵炎の症状・消化管運動能の特徴=EUS スコアの経過観察 -. JDDW2017 第 25 回日本消化器関連学会週間, 2017. 10.
  - 36) 植木信江, 阿川周平, 池田剛, 野田啓人, 樋口和寿, 飽本哲兵, 丸木雄太, 山脇博士, 小高康裕, 名児郁浩幸, 河越哲郎, 二神生爾,

- 三宅一昌, 岩切勝彦: 早期胃癌 ESD 後に適応外病変と診断された症例の検討. JDDW2017 第 25 回日本消化器関連学会週間, 2017. 10.
- 37) 小泉英里子, 川見典之, 星野慎太郎, 星川吉正, 花田優理子, 竹之内菜菜, 梅澤まり子, 貝瀬 満, 岩切勝彦: 治療法別にみる Jackhammer esophagus の臨床的特徴. 日本平滑筋学会総会(第 59 回), 2017. 8.
- 38) 星野 慎太郎, 川見 典之, 岩切 勝彦: 消化管機能検査 最新技術とその応用 High-resolution manometry により診断された"Esophageal Rosette"を認めないアカラシア症例の内視鏡所見. 日本消化器病学会雑誌, 2018. 3.
- 39) 星野慎太郎, 花田優理子, 川見典之, 星川吉正, 竹之内菜菜, 梅澤まり子, 佐野弘仁, 河越哲郎, 星原芳雄, 岩切勝彦: 滑脱型裂孔ヘルニアの内視鏡診断は食道内圧診断と一致するか?. 日本食道学会学術集会(第 71 回), 2017. 6.
- 40) 菅原望央, 阿川周平, 山脇博士, 小高康裕, 張本滉智, 二神生爾, 岩切勝彦: 総胆管結石治療後に高度な黄疸を呈し、診断に難渋した胆汁うっ滞型薬物肝障害(DILI)の1例. 第 348 日本消化器病学会関東支部例会, 2018. 2.
- 41) 岩下 愛, 厚川 正則, 加藤 慶三, 安部 宏, 島田 紀朋, 浅野 徹, 池上 正, 肥田 舞, 吉田 祐士, 葉山 惟信, 大久保 知美, 新井 泰央, 糸川 典夫, 近藤 千紗, 岩切 勝彦: 肝性浮腫に対して tolvaptan が中長期予後に与える影響. 日本消化器病学会雑誌, 2018. 3.
- 42) 吉田 祐士, 福田 健, 田邊 智英, 大久保 知美, 新井 泰央, 葉山 惟信, 岩下 愛, 糸川 典夫, 張本 滉智, 三木 洋子, 厚川 正則, 金子 恵子, 川本 智章, 岩切 勝彦: 肝性脳症を繰り返す巨大 P-V shunt 患者に対して B-RTO を施行した一例. 日本門脈圧亢進症学会雑誌, 2017. 8.
- 43) 小泉英里子, 貝瀬満, 丸木雄太, 飽本哲兵, 山脇博士, 小高康裕, 新福摩弓, 植木信江, 二神生爾, 岩切勝彦: 胃粘膜下血腫を動脈塞栓術で止血し経時的内視鏡所見の変化を観察し得た 1 例. 第 105 回日本消化器内視鏡学会関東支部例会, 2017. 12.
- 44) 川見典之, 星野慎太郎, 梅澤まり子, 竹之内菜菜, 花田優理子, 星川吉正, 貝瀬 満, 岩切勝彦: 胃酸分泌抑制効果から見た PPI 倍量又は P-CAB 抵抗性 NERD の病態. 日本高齢消化器病学会総会(第 20 回), 2017. 7.
- 45) 川見 典之, 星野 慎太郎, 竹之内 菜菜, 梅澤 まり子, 花田 優理子, 星川 吉正, 貝瀬 満, 岩切 勝彦: 胃食道逆流症の病態と治療戦略 P-CAB による酸分泌抑制効果からみた P-CAB 抵抗性 NERD の病態. 日本消化管学会雑誌, 2018. 2.
- 46) 山脇博士, 二神生爾, 岩切勝彦: 膵酵素異常を伴う心窩部痛症候群に対する新たな治療戦略 ~EUS を用いた cross over 試験の試み~. JDDW2017, 2017. 10.
- 47) 星野 慎太郎, 川見 典之, 星川 吉正, 竹之内 菜菜, 花田 優理子, 梅澤 まり子, 貝瀬 満, 岩切 勝彦: 超高齢者における消化器・内視鏡の診断治療(消化管) 80 歳以上の PPI 抵抗性逆流性食道炎患者の臨床的特徴. 日本高齢消化器病学会誌, 2017. 7.
- 48) 梅澤 まり子, 川見 典之, 星野 慎太郎, 星川 吉正, 竹之内 菜菜, 花田 優理子, 貝瀬 満, 岩切 勝彦: 軽症逆流性食道炎患者の維持療法におけるボノプラザン 20mg による on demand 療法の有効性. 日本消化器病学会雑誌, 2017. 9.
- 49) 梅澤 まり子, 川見 典之, 星野 慎太郎, 小泉 英里子, 星川 吉正, 竹之内 菜菜, 花田 優理子, 貝瀬 満, 岩切 勝彦: 軽症逆流性食道炎患者の維持療法におけるボノプラザン 20mg による on demand 療法の有効性. 日本消化器病学会雑誌, 2018. 3.
- 50) 梅澤まり子, 川見典之, 星野慎太郎, 星川吉正, 竹之内菜菜, 花田優理子, 貝瀬 満, 岩切勝彦: 軽症逆流性食道炎患者の維持療法におけるボノプラザン 20 mgによる on demand 療法の有効性. 日本消化器病学会大会(第 59 回), 2017. 10.
- 51) 岩切 勝彦: 逆流性食道炎の病態と治療. 日本臨床生理学会総会(第 54 回), 2017. 11.
- 52) 川見 典之, 星野 慎太郎, 星川 吉正, 竹之内 菜菜, 梅澤 まり子, 花田 優理子, 貝瀬 満, 岩切 勝彦: 酸分泌抑制効果からみた PPI 倍量及び P-CAB 抵抗性 NERD の病因. 胃病態機能研究会誌, 2018. 2.
- 53) 齊藤 英正, 村田 智, 三樹 いずみ, 安井 大祐, 杉原 史恵, 上田 達夫, 葉山 惟信, 福田 健, 金子 恵子, 川本 智章, 谷合 信彦, 汲田 伸一郎: 重症門脈血栓症に対する IVR 治療成績と適応の検討. IVR: Interventional Radiology, 2017. 4.
- 54) 川見 典之, 星野 慎太郎, 岩切 勝彦: 難治性 GERD を取り巻く新知見 P-CAB 抵抗性 NERD の症状出現の機序及び P-CAB による胃酸分泌抑制効果. 日本消化器病学会雑誌, 2017. 9.
- 55) 星川 吉正, 川見 典之, 星野 慎太郎, 竹之内 菜菜, 梅澤 まり子, 花田 優理子, 貝瀬 満, 岩切 勝彦: 食道アカラシアの診断と治療戦略 アカラシア診断に用いる Starlet(HRM)による IRP カットオフ値の検討. 日本消化管学会雑誌, 2018. 2.
- 56) 星野 慎太郎, 花田 優理子, 川見 典之, 星川 吉正, 竹之内 菜菜, 梅澤 まり子, 佐野 弘二, 河越 哲郎, 星原 芳雄, 岩切 勝彦: 食道内圧検査は臨床を変えるか? 滑脱型裂孔ヘルニアの内視鏡診断は食道内圧診断と一致するか?. 日本食道学会学術集会プログラム・抄録集, 2017. 6.
- 57) 葉山 惟信, 福田 健, 吉田 祐士, 大久保 知美, 新井 泰央, 岩下 愛, 糸川 典夫, 三木 洋子, 張本 滉智, 金子 恵子, 厚川 正則,

金沢 秀典, 川本 智章, 岩切 勝彦 : 食道静脈瘤治療を繰り返し要する Budd-Chiari 症候群の若年女性 1 例. 日本門脈圧亢進症学会雑誌, 2017. 8.

58) 萩原 信敏, 松谷 毅, 野村 務, 藤田 逸郎, 金沢 義一, 柿沼 大輔, 川見 典之, 岩切 勝彦, 太田 恵一朗, 内田 英二 : 高齢者食道裂孔ヘルニア患者に対する外科治療の工夫. 日本食道学会学術集会プログラム・抄録集, 2017. 6.

## 9 呼吸器内科学分野

### 研究業績

#### 論文等

- 1) 田中 徹, 齋藤 好信, 松田 久仁子, 神尾 孝一郎, 阿部 信二, 久保田 馨, 吾妻 安良太, 弦間 昭彦 : 2 型肺胞上皮細胞の周期的伸展刺激モデルにおける酸化ストレス及びピルフェニドンの作用の検討. 日本呼吸器学会誌 2018; 7 (増刊) :158.
- 2) Yu Kubomura, Yuya Ise, Tetsuya Wako, Shirou Katayama, Rintaro Noro, Kaoru Kubota : A Drug Interaction between Crizotinib and Warfarin in Non-Small-Cell Lung Cancer: A Case Report. Journal of Nippon Medical School = Nippon Ika Daigaku zasshi 2017; 84 (6) :291-293. doi: 10.1272/jnms.84.291.
- 3) Tomoyuki Naito, Yosuke Tanaka, Mitsunori Hino, Akihiko Gemma : A case of anti-aminoacyl tRNA synthetase (ARS) antibody-positive polymyositis (PM)/dermatomyositis (DM)-associated interstitial pneumonia (IP) successfully controlled with bosentan therapy. Respiratory Medicine Case Reports 2017; 21:62-65. doi: 10.1016/j.rmcr.2017.03.021.
- 4) Toshihiko Hoashi, Kazue Fujita, Yoko Funasaka, Akihiko Gemma, Hidehisa Saeki : A case of cutaneous metastatic lung cancer difficult to distinguish from malignant nodular hidradenoma. Australasian Journal of Dermatology 2018; 59 (1) :e80-e81. doi: 10.1111/ajd.12643.
- 5) Satoru Miura, Makoto Maemondo, Akira Iwashima, Toshiyuki Harada, Shunichi Sugawara, Kunihiko Kobayashi, Akira Inoue, Taku Nakagawa, Yuichi Takiguchi, Hiroshi Watanabe, Takashi Ishida, Masaki Terada, Hiroshi Kagamu, Akihiko Gemma, Hirohisa Yoshizawa : A phase II study of carboplatin plus weekly paclitaxel with bevacizumab for elderly patients with non-squamous non-small-cell lung cancer (NEJ016). INVESTIGATIONAL NEW DRUGS 2017; 35 (2) :227-234. doi: 10.1007/s10637-017-0436-1.
- 6) Yosuke Tanaka, Chika Yajima, Mitsunori Hino, Yozo Saitoh, Shunichi Nishima, Seiji Kosahira, Norihisa Motohashi, Akihiko Gemma : ADDITIONAL EFFECT OF INHALED CORTICO STEROID (ICS) ON PATIENTS WITH CHRONIC OBSTRUCTIVE PULMONARY DISEASE RECEIVING LONG-ACTING MUSCARINIC ANTAGONIST(LAMA)/ LONG-ACTING beta 2-AGONIST(LABA) - SINGLE-CENTRE, PROSPECTIVE, REAL-WORLD STUDY. RESPIROLOGY 2017; 22:178.
- 7) Masahiro Seike, Cheol-Hong Kim, Fenfei Zou, Rintaro Noro, Mika Chiba, Arimi Ishikawa, Shinobu Kunugi, Kaoru Kubota, Akihiko Gemma : AXL and GAS6 co-expression in lung adenocarcinoma as a prognostic classifier. ONCOLOGY REPORTS 2017; 37 (6) :3261-3269. doi: 10.3892/or.2017.5594.
- 8) 中道真仁, 清家正博, 宮永晃彦, 高橋明子, 野呂林太郎, 久保田馨, 弦間昭彦 : AXL と EMT 克服を標的とした ALK 陽性非小細胞肺癌根絶に向けた新規治療戦略. 日本肺癌学会総会号 2017; 58th (5) :377.
- 9) Hideaki Shiraishi, Yutaka Fujiwara, Takanori Kakuya, Koji Tsuta, Noriko Motoi, Nami Miura, Yukio Watabe, Shun-Ichi Watanabe, Rintaro Noro, Kengo Nagashima, Wilber Huang, Tesshi Yamada, Hisao Asamura, Yuichiro Ohe, Kazufumi Honda : Actinin-4 protein overexpression as a predictive biomarker in adjuvant chemotherapy for resected lung adenocarcinoma. Biomarkers in medicine 2017; 11 (9) :721-731. doi: 10.2217/bmm-2017-0150.
- 10) Iwama E, Goto Y, Murakami H, Harada T, Tsumura S, Sakashita H, Mori Y, Nakagaki N, Fujita Y, Seike M, Bessho A, Ono M, Okazaki A, Akamatsu H, Morinaga R, Ushijima S, Shimose T, Tokunaga S, Hamada A, Yamamoto N, Nakanishi Y, Sugio K, Okamoto I : Alectinib for Patients with ALK Rearrangement-Positive Non-Small Cell Lung Cancer and a Poor Performance Status (Lung Oncology Group in Kyushu 1401). Journal of thoracic oncology : official publication of the International Association for the Study of Lung Cancer 2017; 12 (7) :1161-1166. doi: 10.1016/j.jtho.2017.02.012.
- 11) Yasuhiro Kato, Jumpei Kashima, Kageaki Watanabe, Makiko Yomota, Yosataka Zenke, Yusuke Okuma, Yukio Hosomi, Akihiko Gemma, Masahiro Seike, Tatsuru Okamura : Association between clinicopathological features and Programmed death ligand 1 expression in non-small cell lung cancer. Anticancer Research 2018; 38 (2) :1077-1083. doi: 10.21873/anticancer.12326.
- 12) Hiroki Hayashi, Takahito Nei, Shinji Abe, Yoshinobu Saito, Nariaki Kokuho, Kenichiro Atsumi, Kazue Fujita, Takefumi Saito, Takahiro Tanaka, Akihiko Gemma, Arata Azuma : BODY MASS INDEX AND ARTERIAL BLOOD OXYGENATION AS PROGNOSTIC FACTORS IN PATIENTS WITH IDIOPATHIC PLEUROPARENCHYMAL FIBROELASTOSIS. SARCOIDOSIS VASCULITIS AND



- DIFFUSE LUNG DISEASES 2017; 34 (1) :35-40. doi: 10.36141/svldd.v34i1.5172.
- 13) Shunichi Nishima, Yosuke Tanaka, Chika Yajima, Yozo Satoh, Seiji Kosaihiro, Norihisa Motohashi, Akihiko Gemma, Mitunori Hino : CHANGES IN PULMONARY FUNCTION AND PULMONARY ARTERY PRESSURE IN COMBINED PULMONARY FIBROSIS AND EMPHYSEMA: FOLLOW-UP EXAMINATION. RESPIROLOGY 2017; 22:143.
- 14) 阿部 芳憲, 武内 進, 枝川 聖子, 三次 亮太郎, 田中 信之 : CRISPR/Cas9 システムによる GLI1 ノックアウト肺腺癌細胞の解析. 生命科学系学会合同年次大会 2017; 2017 年度:[1P-1048].
- 15) Yasuhiro Terasaki, Soichiro Ikushima, Shoko Matsui, Akira Hebisawa, Yasunori Ichimura, Shinyu Izumi, Masuo Ujita, Machiko Arita, Keisuke Tomii, Yuko Komase, Isoko Owan, Tetsuji Kawamura, Yasuo Matsuzawa, Miho Murakami, Hiroshi Ishimoto, Hiroshi Kimura, Masashi Bando, Norihiro Nishimoto, Yoshinori Kawabata, Yuh Fukuda, Takashi Ogura : Comparison of clinical and pathological features of lung lesions of systemic IgG4-related disease and idiopathic multicentric Castleman's disease. HISTOPATHOLOGY 2017; 70 (7) :1114-1124. doi: 10.1111/his.13186.
- 16) 久保田 馨 : Current Organ Topics Central Nervous System Tumor 脳腫瘍 転移性脳腫瘍 肺癌の脳転移マネジメント. 癌と化学療法 2017; 44 (6) :475-478.
- 17) Toru Tanaka, Yoshinobu Saito, Kuniko Matsuda, Koichiro Kamio, Shinji Abe, Kaoru Kubota, Arata Azuma, Akihiko Gemma : Cyclic mechanical stretch-induced oxidative stress occurs via a NOX-dependent mechanism in type II alveolar epithelial cells. RESPIRATORY PHYSIOLOGY & NEUROBIOLOGY 2017; 242:108-116. doi: 10.1016/j.resp.2017.04.007.
- 18) Antonia SJ, Villegas A, Daniel D, Vicente D, Murakami S, Hui R, Yokoi T, Chiappori A, Lee KH, de Wit M, Cho BC, Bourhaba M, Quantin X, Tokito T, Mekhail T, Planchard D, Kim YC, Karapetis CS, Hired S, Ostoros G, Kubota K, Gray JE, Paz-Ares L, de Castro Carpeño J, Wadsworth C, Melillo G, Jiang H, Huang Y, Dennis PA, Özgüroğlu M, PACIFIC Investigators : Durvalumab after Chemoradiotherapy in Stage III Non-Small-Cell Lung Cancer. The New England journal of medicine 2017; 377 (20) :1919-1929. doi: 10.1056/NEJMoa1709937.
- 19) 高橋 聡, 渥美 健一郎, 樋口 明日香, 矢嶋 知佳, 中山 幸治, 蓮見 健太, 青山 純一, 久世 眞之, 小林 研一, 蛸井 浩行, 高橋 明子, 柏田 建, 揖斐 孝之, 武内 進, 井上 達哉, 林 宏紀, 藤田 和恵, 齋藤 好信, 清家 正博, 白田 実男, 久保田 馨, 弦間 昭彦 : EBUS-TBNA 後に生じた縦隔炎の 2 症例. 気管支学 2017; 39 (Suppl.) :S385.
- 20) 高橋 聡, 渥美 健一郎, 樋口 明日香, 矢嶋 知佳, 中山 幸治, 蓮見 健太, 青山 純一, 久世 眞之, 小林 研一, 蛸井 浩行, 高橋 明子, 柏田 建, 揖斐 孝之, 武内 進, 井上 達哉, 林 宏紀, 藤田 和恵, 齋藤 好信, 清家 正博, 白田 実男, 久保田 馨, 弦間 昭彦 : EBUS-TBNA 後に生じた縦隔炎の 2 症例. 第 38 回日本呼吸器内視鏡学会学術集会 2017; 39 (Suppl.) :S385.
- 21) Ying-Ji Li, Maiko Kobayashi, Takako Shimizu, Yukiyo Hirata, Hirofumi Inagaki, Arata Azuma, Hajime Takizawa, Tomoyuki Kawada : EFFECTS OF DIESEL EXHAUST PARTICLE IN HUMAN BRONCHIAL EPITHELIAL CELL MIGRATION AND THE INTRACELLULAR SIGNALING PATHWAY. RESPIROLOGY 2017; 22:172.
- 22) 渡部 聡, 大泉 聡史, 菅原 俊一, 湊 浩一, 原田 敏之, 井上 彰, 藤田 結花, 前門戸 任, 伊藤 和彦, 弦間 昭彦, 出村 芳樹, 原田 眞雄, 磯部 宏, 木下 一郎, 森田 智視, 小林 国彦, 萩原 弘一, 栗原 稔, 貫和 敏博 : EGFR 遺伝子変異陽性 NSCLC のゲフィチニブ/化学療法併用の第 II 相試験(NEJ005/TCOG0902)最新アップデート結果. 肺癌 2017; 57 (5) :442.
- 23) 宮林 貴大, 大泉 聡史, 菅原 俊一, 湊 浩一, 原田 敏之, 井上 彰, 藤田 結花, 前門戸 任, 渡部 聡, 弦間 昭彦, 出村 芳樹, 原田 眞雄, 磯部 宏, 木下 一郎, 森田 智視, 小林 国彦, 萩原 弘一, 相羽 恵介, 貫和 敏博 : EGFR 遺伝子変異陽性 NSCLC のゲフィチニブ/化学療法併用の第二相試験(NEJ005/TCOG0902) 最新アップデート解析. 日本呼吸器学会誌 2018; 7 (増刊) :128.
- 24) Tamura Y, Kumamaru H, Satoh T, Miyata H, Ogawa A, Tanabe N, Hatano M, Yao A, Abe K, Tsujino I, Fukuda K, Kimura H, Kuwana M, Matsubara H, Tatsumi K, Japan PH Registry, JAPHR) Network : Effectiveness and Outcome of Pulmonary Arterial Hypertension-Specific Therapy in Japanese Patients with Pulmonary Arterial Hypertension. Circ J. 2017; 82 (1) :275-282.
- 25) A Karam, J A Ledermann, J-W Kim, J Sehouli, K Lu, C Gourley, N Katsumata, R A Burger, B-H Nam, M Bacon, C Ng, J Pfisterer, RLM Bekkers, A Casado Herráez, A Redondo, H Fujiwara, N Gleeson, O Rosengarten, G Scambia, J Zhu, A Okamoto, G Stuart, K Ochiai : Fifth Ovarian Cancer Consensus Conference of the Gynecologic Cancer InterGroup: first-line interventions. Annals of oncology : official journal of the European Society for Medical Oncology 2017; 28 (4) :711-717. doi: 10.1093/annonc/mdx011.

- 26) Takeru Kashiwada, Yoshinobu Saito, Yuji Minegishi, Nariaki Kokuho, Akihiko Takahashi, Satoshi Takahashi, Kenichiro Atsumi, Masahiro Seike, Arata Azuma, Kaoru Kubota, Yasuhiro Terasaki, Akihiko Gemma : Granuloma-forming interstitial pneumonia induced by nivolumab: a possible immune-related adverse event of the lung. *International cancer conference journal* 2017; 6 (3) :131-134. doi: 10.1007/s13691-017-0291-0.
- 27) 神尾 孝一郎, 吾妻 安良太, 白杵 二郎, 松田 久仁子, 猪俣 稔, 西島 伸彦, 國保 成暁, 板倉 潮人, 林 宏紀, 山口 朋禎, 藤田 和恵, 齋藤 好信, 阿部 信二, 久保田 馨, 弦間 昭彦 : HDAC inhibitor による XPLN を介する mTORC2-SPARC 経路の制御. *分子呼吸器病* 2018; 22 (1) :111-115.
- 28) 神尾 孝一郎, 吾妻 安良太, 白杵 二郎, 松田 久仁子, 猪俣 稔, 西島 伸彦, 國保 成暁, 板倉 潮人, 山口 朋禎, 藤田 和恵, 齋藤 好信, 阿部 信二, 久保田 馨, 弦間 昭彦 : HDAC inhibitor による XPLN を介する mTORC2-SPARC 経路の制御. *日本呼吸器学会誌* 2018; 7 (増刊) :157.
- 29) 時任 高章, 村上 修司, 倉田 宝保, 久保田 馨, 菅原 俊一, 熊谷 明子, Dennis Phillip, Jiang Haiyi, Huang Yifan, Antonia Scott J : Immunotherapy Update 切除不可能な局所進行性(stage 3)非小細胞肺癌患者における durvalumab の第 III 相試験 PACIFIC. *肺癌* 2017; 57 (5) :356.
- 30) Takeo Ishii, Takashi Angata, Emily S. Wan, Michael H. Cho, Takashi Motegi, Congxiao Gao, Kazuaki Ohtsubo, Shinobu Kitazume, Akihiko Gemma, Peter D. Pare, David A. Lomas, Edwin K. Silverman, Naoyuki Taniguchi, Kozui Kida : Influence of SIGLEC9 polymorphisms on COPD phenotypes including exacerbation frequency. *RESPIROLOGY* 2017; 22 (4) :684-690. doi: 10.1111/resp.12952.
- 31) 野呂 林太郎, 本田 一文, 三浦 奈美, 白石 英晶, 藤原 豊, 大江 裕一郎, 石井 源一郎, 葛 幸治, 浅村 尚生, 山田 哲司, 清家 正博, 久保田 馨, 弦間 昭彦 : I 期肺腺癌再発予測システムの構築 術後化学療法と ACTN4 遺伝子増幅. 第 55 回日本癌治療学会学術集会 2017; 55 回:O25-3.
- 32) 野呂林太郎, 本田一文, 三浦奈美, 白石英晶, 藤原豊, 大江裕一郎, 石井源一郎, 葛幸治, 浅村尚生, 山田哲司, 清家正博, 久保田馨, 弦間昭彦 : I 期肺腺癌再発予測システムの構築-術後化学療法と ACTN4 遺伝子増幅-. *日本癌治療学会学術集会* 2017; 55th:O25-3.
- 33) Sakae Homma, Masashi Bando, Susumu Sakamoto, Arata Azuma : JAPANESE FIRST GUIDELINE FOR THE TREATMENT OF IDIOPATHIC PULMONARY FIBROSIS 2017. *RESPIROLOGY* 2017; 22:45-46.
- 34) Akimasa Sekine, Takefumi Saito, Hiroaki Satoh, Yukio Morishita, Yoshiya Tsunoda, Toru Tanaka, Yohei Yatagai, Shih-Yuen Lin, Kunihiko Miyazaki, Yukiko Miura, Kenji Hayashihara : Limited value of transbronchial lung biopsy for diagnosing Mycobacterium avium complex lung disease. *CLINICAL RESPIRATORY JOURNAL* 2017; 11 (6) :1018-1023. doi: 10.1111/crj.12459.
- 35) Nariaki Kokuho, Yasuhiro Terasaki, Shinobu Kunugi, Naomi Onda, Hirokazu Urushiyama, Mika Terasaki, Mitsunori Hino, Akihiko Gemma, Tsutomu Hatori, Akira Shimizu : Localized pulmonary crystal-storing histiocytosis complicating pulmonary mucosa-associated lymphoid tissue lymphoma presenting with multiple mass lesions. *Human pathology* 2017; 65:180-186. doi: 10.1016/j.humpath.2016.10.028.
- 36) Taira T, Yoh K, Nagase S, Kubota K, Ohmatsu H, Niho S, Onozawa M, Akimoto T, Ohe Y, Goto K : Long-term results of S-1 plus cisplatin with concurrent thoracic radiotherapy for locally advanced non-small-cell lung cancer. *Cancer chemotherapy and pharmacology* 2018; 81 (3) :565-572. doi: 10.1007/s00280-018-3530-y.
- 37) 清水 理光, 宮 敏路, 高橋 彬彦, 小林 由美子, 久保田 馨, 弦間 昭彦, 廣瀬 敬 : Nab-パクリタキセルによる二次治療により完全奏効に近い効果が維持された再発進行非小細胞肺癌の 1 例. *癌と化学療法* 2017; 44 (8) :699-702.
- 38) Azuma A, Taniguchi H, Inoue Y, Kondoh Y, Ogura T, Homma S, Fujimoto T, Sakamoto W, Sugiyama Y, Nukiwa T : Nintedanib in Japanese patients with idiopathic pulmonary fibrosis: A subgroup analysis of the INPULSIS® randomized trials. *Respirology* 2017; 22 (4) :750-757. doi: 10.1111/resp.12960.
- 39) Terufumi Kato, Fumikazu Sakai, Tomohisa Baba, Masahiko Kusumoto, Hirotsugu Kenmotsu, Hiroaki Sugiura, Junya Tominaga, Katsunori Oikado, Masafumi Sata, Masahiro Endo, Noriyo Yanagawa, Shinichi Sasaki, Tae Iwasawa, Yoshinobu Saito, Yutaka Fujiwara, Yuichiro Ohe, Yoshihiko Ito, Yasuhiro Tahara, Kazuyoshi Kuwano : Nivolumab-induced interstitial lung disease (ILD) in Japanese patients with non-small cell lung cancer: A study on risk factors for fatal outcome. *JOURNAL OF CLINICAL ONCOLOGY* 2017; 35 doi: 10.1200/JCO.2017.35.15\_suppl.9077.
- 40) Hirotsugu Kenmotsu, Fumikazu Sakai, Terufumi Kato, Masahiko Kusumoto, Tomohisa Baba, Kazuyoshi Kuwano, Akihiko Gemma,

- Kazuhiko Nakagawa, Yoichi Nakanishi, Nobuyuki Yamamoto, Yoshihiko Ito, Yasuhiro Tahara, Yuichiro Ohe : Nivolumab-induced interstitial lung disease (ILD) in Japanese patients with non-small cell lung cancer: A study on risk factors using interim results of post-marketing all-case surveillance. *JOURNAL OF CLINICAL ONCOLOGY* 2017; 35 doi: 10.1200/JCO.2017.35.15\_suppl.9078.
- 41) Shigeaki Suzuki, Nobuhisa Ishikawa, Fumie Konoeda, Nobuhiko Seki, Satoshi Fukushima, Kikuko Takahashi, Hisashi Uhara, Yoshikazu Hasegawa, Shinichiro Inomata, Yasushi Otani, Kenji Yokota, Takashi Hirose, Ryo Tanaka, Norihiro Suzuki, Makoto Matsui : Nivolumab-related myasthenia gravis with myositis and myocarditis in Japan. *Neurology* 2017; 89 (11) :1127-1134. doi: 10.1212/WNL.0000000000004359.
- 42) 樋口 明日香, 野呂 林太郎, 加藤 友美, 高橋 明子, 松本 優, 武内 進, 小林 研一, 高橋 聡, 峯岸 裕司, 清家 正博, 久保田 馨, 弦間 昭彦, 田中 真百合, 市山 進, 帆足 俊彦 : Nivolumab 投与終了後に尋常性乾癬と間質性腎炎を認めた肺扁平上皮癌の 1 例. *日本肺癌学会関東支部学術集会* 2017; 57 (2) :129.
- 43) 北川 真吾, 武内 進, 高野 夏希, 久金 翔, 高橋 聡, 菅野 哲平, 野呂 林太郎, 峯岸 裕司, 清家 正博, 久保田 馨, 弦間 昭彦 : Nivolumab 治療中に免疫介在性脳症を発症した非小細胞肺癌の 1 例. 第 179 回日本肺癌学会関東支部学術集会 2017
- 44) 北川 真吾, 武内 進, 高野 夏希, 久金 翔, 高橋 聡, 菅野 哲平, 野呂 林太郎, 峯岸 裕司, 清家 正博, 久保田 馨, 弦間 昭彦 : Nivolumab 治療中に免疫介在性脳症を発症した非小細胞肺癌の 1 例. *肺癌* 2018; 58 (1) :64-65.
- 45) Hidehito Horinouchi, Kaoru Kubota, Akihiko Miyanaga, Shinji Nakamichi, Masahiro Seike, Akihiko Gemma, Yuki Yamane, Futoshi Kurimoto, Hiroshi Sakai, Shintaro Kanda, Yutaka Fujiwara, Hiroshi Nokihara, Noboru Yamamoto, Tomohide Tamura, Yuichiro Ohe : Oral rehydration solution (OS-1) as a substitute of intravenous hydration after cisplatin administration in patients with lung cancer: A prospective multicenter trial. *ESMO Open* 2018; 3 (1) :e000288. doi: 10.1136/esmoopen-2017-000288.
- 46) H. Murakami, Y. Ohe, T. Hida, H. Sakai, K. Kasahara, F. Imamura, T. Baba, K. Kubota, Y. Hosomi, T. Shimokawa, H. Hayashi, K. Miyadera, T. Tamura, M. Nishio : Phase I study of TAS-121, a novel third-generation epidermal growth factor receptor (EGFR) inhibitor, in patients with EGFR mutation-positive non-small-cell lung cancer (NSCLC). *ANNALS OF ONCOLOGY* 2017; 28
- 47) Rintaro Noro, Kunihiko Kobayashi, Jiro Usuki, Yukio Hosomi, Masaru Nishitsuji, Hiroaki Okamoto, Mitsunori Hino, Koichi Hagiwara, Akihiko Miyanaga, Masahiro Seike, Kaoru Kubota, Akihiko Gemma : Phase II study of efficacy of bevacizumab plus chemotherapy in management of malignant pleural effusion (MPE) in non-squamous non-small cell lung cancer (NSCLC) patients with MPE unsuccessfully controlled by tube drainage or pleurodesis (North East Japan Study Group Trial NEJ-013B-2). *JOURNAL OF CLINICAL ONCOLOGY* 2017; 35 doi: 10.1200/JCO.2017.35.15\_suppl.e21660.
- 48) Kubota K, Yoshioka H, Oshita F, Hida T, Yoh K, Hayashi H, Kato T, Kaneda H, Yamada K, Tanaka H, Ichinose Y, Park K, Cho EK, Lee KH, Lin CB, Yang JC, Hara K, Asato T, Nakagawa K : Phase III, Randomized, Placebo-Controlled, Double-Blind Trial of Motesanib (AMG-706) in Combination With Paclitaxel and Carboplatin in East Asian Patients With Advanced Nonsquamous Non-Small-Cell Lung Cancer. *Journal of clinical oncology : official journal of the American Society of Clinical Oncology* 2017; 35 (32) :3662-3670. doi: 10.1200/JCO.2017.72.7297.
- 49) Noro Rintaro, Masahiro Seike, Fenfei Zou, Akihiko Miyanaga, Kaoru Kubota, Akihiko Gemma : Polo-like kinase 1 as a new molecular target for small cell lung carcinoma. *CANCER RESEARCH* 2017; 77 doi: 10.1158/1538-7445.AM2017-3209.
- 50) Takeyama M, Nogami K, Matsumoto T, Taguchi M, Yada K, Okahashi N, Amano I, Kimura H, Shima M : Possible assessment of coagulation function and haemostasis therapy using comprehensive coagulation assays in a patient with acquired haemophilia A. *Haemophilia*. 2017; 23:46-50.
- 51) Junji Furuse, Akihiko Gemma, Wataru Ichikawa, Takuji Okusaka, Akihiro Seki, Tadashi Ishii : Postmarketing surveillance study of erlotinib plus gemcitabine for pancreatic cancer in Japan: POLARIS final analysis. *JAPANESE JOURNAL OF CLINICAL ONCOLOGY* 2017; 47 (9) :832-839. doi: 10.1093/jjco/hyx075.
- 52) Yosuke Tanaka, Mitsunori Hino, Akihiko Gemma : Potential benefit of bosentan therapy in borderline or less severe pulmonary hypertension secondary to idiopathic pulmonary fibrosis-an interim analysis of results from a prospective, single-center, randomized, parallel-group study. *BMC PULMONARY MEDICINE* 2017; 17 (1) :200. doi: 10.1186/s12890-017-0523-2.
- 53) Yoshikawa M, Yamamoto Y, Tomoda K, Fujita Y, Yamauchi M, Osa T, Uyama H, Okamoto N, Kurumatani N, Kimura H :

- Prevalence of chronic obstructive pulmonary disease in independent community-dwelling elderly: The Fujiwara-kyo Study. *Geriatr Gerontol Int.* 2017; 17:2421-2426.
- 54) Atsumi Kenichiro, Saito Yoshinobu, Kuse Naoyuki, Kobayashi Kenichi, Tanaka Toru, Kashiwada Takeru, Inomata Minoru, Kokuho Nariaki, Hayashi Hiroki, Kamio Koichiro, Fujita Kazue, Abe Shinji, Azuma Arata, Kubota Kaoru, Gemma Akihiko : Prognostic Factors in the Acute Exacerbation of Idiopathic Pulmonary Fibrosis: A Retrospective Single-center Study. *Internal medicine (Tokyo, Japan)* 2018; 57 (5) :655-661. doi: 10.2169/internalmedicine.9331-17.
  - 55) Kenichi Kobayashi, Masahiro Seike, Fenfei Zou, Rintaro Noro, Mika Chiba, Arimi Ishikawa, Shinobu Kunugi, Kaoru Kubota, Akihiko Gemma : Prognostic Significance of NSCLC and Response to EGFR-TKIs of EGFR-Mutated NSCLC Based on PD-L1 Expression. *Anticancer research* 2018; 38 (2) :753-762. doi: 10.21873/anticancer.12281.
  - 56) Fenfei Zou, Masahiro Seike, Rintaro Noro, Shinobu Kunugi, Kaoru Kubota, Akihiko Gemma : Prognostic significance of ABCB1 in stage I lung adenocarcinoma. *ONCOLOGY LETTERS* 2017; 14 (1) :313-321. doi: 10.3892/ol.2017.6145.
  - 57) Hitomi Sakai, Noriyuki Katsumata, Miyako Takahashi : Providing written information increases patient satisfaction: a web-based questionnaire survey of Japanese cancer survivors. *Japanese journal of clinical oncology* 2017; 47 (7) :611-617. doi: 10.1093/jjco/hyx043.
  - 58) Shinji Nakamichi, Masahiro Seike, Akihiko Miyanaga, Mika Chiba, Kuniko Matsuda, Kenichi Kobayashi, Akiko Takahashi, Susumu Takeuchi, Yuji Minegishi, Kaoru Kubota, Akihiko Gemma : RT-PCR for Detecting ALK Translocations in Cytology Samples from Lung Cancer Patients. *ANTICANCER RESEARCH* 2017; 37 (6) :3295-3299. doi: 10.21873/anticancer.11696.
  - 59) Makiko Yomota, Yukio Hosomi, Tsuneo Shimokawa, Hiroaki Okamoto, Kazuhiko Yamada, Hiroshi Tanaka, Kaoru Kubota, Kazuma Kishi, Takeharu Yamanaka, Koshiro Watanabe : Randomized Phase II Trial Comparing CDDP+TS-1+TRT and CDDP plus DTX plus TRT in Locally Advanced NSCLC (TORG1018). *ANNALS OF ONCOLOGY* 2017; 28
  - 60) Kaoru Kubota, Tsuneo Shimokawa, Kazuhiko Yamada, Hiroshi Tanaka, Kazuma Kishi, Haruhiro Saito, Yuichi Takiguchi, Yukio Hosomi, Terufumi Kato, Naoyuki Nogami, Takeharu Yamanaka, Noriyuki Masuda, Koshiro Watanabe : Randomized phase II trial of S-1 plus cisplatin or docetaxel plus cisplatin with concurrent thoracic radiotherapy for inoperable stage III non-small cell lung cancer (TORG1018). *JOURNAL OF CLINICAL ONCOLOGY* 2017; 35 doi: 10.1200/JCO.2017.35.15\_suppl.8534.
  - 61) Smid DE, Franssen FME, Kimura H, Yoshikawa M : Redefining cut-points for high symptom burden of the Global Initiative for Chronic Obstructive Lung Disease classification in 18,577 patients with chronic obstructive pulmonary disease. *J Am Med Dir Assoc.* 2017; 18 (1097) :11-24.
  - 62) Yukiko Miura, Takefumi Saito, Toru Tanaka, Hiroyuki Takoi, Yohei Yatagai, Minoru Inomata, Takahito Nei, Yoshinobu Saito, Akihiko Gemma, Arata Azuma : Reduced incidence of lung cancer in patients with idiopathic pulmonary fibrosis treated with pirfenidone. *Respiratory Investigation* 2018; 56 (1) :72-79. doi: 10.1016/j.resinv.2017.09.007.
  - 63) Takahashi S, Okuma Y, Watanabe K, Hosomi Y, Imamura A, Okamura T, Gemma A : Single-institutional experience of clinicopathological analysis and treatment for lung cancer patients with human immunodeficiency virus infection. *Molecular and clinical oncology* 2017; 6 (5) :765-769. doi: 10.3892/mco.2017.1214.
  - 64) Kotaro Shirai, Kaoru Kubota, Naoko Murakami-Sugihara, Koji Seike, Masataka Hakozaiki, Kazushige Tanabe : Stimpson's hard clam *Mercenaria stimpsoni*; A multi-decadal climate recorder for the northwest Pacific coast. *Marine environmental research* 2018; 133:49-56. doi: 10.1016/j.marenvres.2017.10.009.
  - 65) Sugano Teppei, Masuda Mar, Uno Yuko, Moriyama Hideki, Goto Naoko, Seike Masahiro, Sawa Masaaki, Gemma Akihiko, Yamada Tesshi : Suppression of epithelial mesenchymal transition by a novel Traf2-and Nck-interacting kinase inhibitory compound. *CANCER SCIENCE* 2018; 109:871.
  - 66) Gaku Moriyama, Maya Tanigawa, Kosuke Sakai, Yusuke Hirata, Satoshi Kikuchi, Yuriko Saito, Hiroyuki Kyoyama, Kuniko Matsuda, Masahiro Seike, Akihiko Gemma, Kazutsugu Uematsu : Synergistic effect of targeting dishevelled-3 and the epidermal growth factor receptor-tyrosine kinase inhibitor on mesothelioma cells in vitro. *Oncology Letters* 2018; 15 (1) :833-838. doi: 10.3892/ol.2017.7382.
  - 67) Y. Terasaki, N. Kokuho, S. Kunugi, Y. Saito, M. Terasa, H. Urushiyama, A. Gemma : The Analyses Of Alveolar Epithelial Injury Through The Lipid Metabolic Stress In The Mammalian Target Of Rapamycin Inhibitor Induced Lung Disease. *AMERICAN JOURNAL OF*

- 68) Kari Chansky, IASLC Staging and Prognostic Factors Committee, Advisory Boards, and Participating Institutions, Frank C. Detterbeck, Andrew G. Nicholson, Valerie W. Rusch, Eric Vallières, Patti Groome, Catherine Kennedy, Mark Krasnik, Michael Peake, Lynn Shemanski, Vanessa Bolejack, John J. Crowley, Hisao Asamura, Ramón Rami-Porta, Peter Goldstraw, Ramón Rami-Porta, Hisao Asamura, David Ball, David G. Beer, Ricardo Beyruti, Vanessa Bolejack, Kari Chansky, John Crowley, Frank Detterbeck, Wilfried Ernst Erich Eberhardt, John Edwards, Françoise Galateau-Sallé, Dorothy Giroux, Fergus Gleeson, Patti Groome, James Huang, Catherine Kennedy, Jhingook Kim, Young Tae Kim, Laura Kingsbury, Haruhiko Kondo, Mark Krasnik, Kaoru Kubota, Antoon Lerut, Gustavo Lyons, Mirella Marino, Edith M. Marom, Jan van Meerbeek, Alan Mitchell, Takashi Nakano, Andrew G. Nicholson, Anna Nowak, Michael Peake, Thomas Rice, Kenneth Rosenzweig, Enrico Ruffini, Valerie Rusch, Nagahiro Saijo, Paul Van Schil, Jean-Paul Sculier, Lynn Shemanski, Kelly Stratton, Kenji Suzuki, Yuji Tachimori, Charles F. Thomas, William Travis, Ming S. Tsao, Andrew Turrisi, Johan Vansteenkiste, Hirokazu Watanabe, Yi-Long Wu, Paul Baas, Jeremy Erasmus, Seiki Hasegawa, Kouki Inai, Kemp Kernstine, Hedy Kindler, Lee Krug, Kristiaan Nackaerts, Harvey Pass, David Rice, Conrad Falkson, Pier Luigi Filosso, Giuseppe Giaccone, Kazuya Kondo, Marco Lucchi, Meinoshin Okumura, Eugene Blackstone, F. Abad Cavaco, E. Ansótegui Barrera, J. Abal Arca, I. Parente Lamelas, A. Arnau Obrer, R. Guijarro Jorge, D. Ball, G. K. Bascom, A. I. Blanco Orozco, M. A. González Castro, M. G. Blum, D. Chimondeguy, V. Cvijanovic, S. Defranchi, B. de Olaiz Navarro, I. Escobar Campuzano, I. Macía Videuira, E. Fernández Araujo, F. Andreo García, K. M. Fong, G. Francisco Corral, S. Cerezo González, J. Freixinet Gilart, L. García Arangüena, S. García Barajas, P. Girard, T. Goksel, M. T. González Budiño, G. González Casaurrán, J. A. Gullón Blanco, J. Hernández Hernández, H. Hernández Rodríguez, J. Herrero Collantes, M. Iglesias Heras, J. M. Izquierdo Elena, E. Jakobsen, S. Kostas, P. León Atance, A. Núñez Ares, M. Liao, M. Losanovsky, G. Lyons, R. Magaroles, L. De Esteban Júlvez, M. Mariñán Gorospe, B. McCaughan, C. Kennedy, R. Melchor Íñiguez, L. Miravet Sorribes, S. Naranjo Gozalo, C. Álvarez de Arriba, M. Núñez Delgado, J. Padilla Alarcón, J. C. Peñalver Cuesta, J. S. Park, H. Pass, M. J. Pavón Fernández, M. Rosenberg, V. Rusch, J. Sánchez de Cos Escuin, A. Saura Vinuesa, M. Serra Mitjans, T. E. Strand, D. Subotic, S. Swisher, R. Terra, C. Thomas, K. Tournoy, P. Van Schil, M. Velasquez, Y. L. Wu, K. Yokoi : The IASLC Lung Cancer Staging Project: External Validation of the Revision of the TNM Stage Groupings in the Eighth Edition of the TNM Classification of Lung Cancer. *Journal of Thoracic Oncology* 2017; 12 ( 7 ) :1109-1121. doi: 10.1016/j.jtho.2017.04.011.
- 69) Yasuhiro Tsume, Kazuki Matsui, Amanda L Searls, Susumu Takeuchi, Gregory E Amidon, Duxin Sun, Gordon L Amidon : The impact of supersaturation level for oral absorption of BCS class IIb drugs, dipyridamole and ketoconazole, using in vivo predictive dissolution system: Gastrointestinal Simulator (GIS). *European journal of pharmaceutical sciences : official journal of the European Federation for Pharmaceutical Sciences* 2017; 102:126-139. doi: 10.1016/j.ejps.2017.02.042.
- 70) Otsubo K, Kishimoto J, Kenmotsu H, Minegishi Y, Ichihara E, Shiraki A, Kato T, Atagi S, Horinouchi H, Ando M, Kondoh Y, Kusumoto M, Ichikado K, Yamamoto N, Nakanishi Y, Okamoto I : Treatment Rationale and Design for J-SONIC: A Randomized Study of Carboplatin Plus Nab-paclitaxel With or Without Nintedanib for Advanced Non-Small-cell Lung Cancer With Idiopathic Pulmonary Fibrosis. *Clinical lung cancer* 2018; 19 (1) :e5-e9. doi: 10.1016/j.clc.2017.06.003.
- 71) 原田 大二郎, 山田 一彦, 田中 洋史, 久保田 馨, 岸 一馬, 下川 恒生, 齊藤 春洋, 滝口 裕一, 細見 幸生, 加藤 晃史, 野上 尚之, 益田 典幸, 笠井 尚, 湊 浩一, 鎗木 孝之, 猶木 克彦, 中村 洋一, 山中 竹春, 岡本 浩明 : Treatment strategy for stage IIIA-N2 non-small cell lung cancer 根治照射可能 III 期 NSCLC に対する CDDP+S-1+TRT 併用療法と CDDP+DTX+TRT 併用療法のランダム化第 II 相試験. *肺癌* 2017; 57 (5) :360.
- 72) Uchiyama T, Ota H, Itaya-Hironaka A, Shobatake R, Yamauchi A, Sakuramoto-Tsuchida S, Makino M, Kimura H, Takeda M, Ohbayashi C, Takasawa S : Up-regulation of selenoprotein P and HIP/PAP mRNAs in hepatocytes by intermittent hypoxia via down-regulation of miR-203. *Biochem Biophys Rep.* 2017; 11:130-137. doi: 10.1016/j.bbrep.2017.07.005.
- 73) Kazuki Matsui, Yasuhiro Tsume, Susumu Takeuchi, Amanda Searls, Gordon L Amidon : Utilization of Gastrointestinal Simulator, an in Vivo Predictive Dissolution Methodology, Coupled with Computational Approach To Forecast Oral Absorption of Dipyridamole. *Molecular pharmaceutics* 2017; 14 (4) :1181-1189. doi: 10.1021/acs.molpharmaceut.6b01063.

- 74) Koichiro Kamio, Arata Azuma, Jiro Usuki, Kuniko Matsuda, Minoru Inomata, Nobuhiko Nishijima, Shioto Itakura, Hiroki Hayashi, Takeru Kashiwada, Nariaki Kokuho, Kenichiro Atsumi, Tomoyoshi Yamaguchi, Kazue Fujita, Yoshinobu Saito, Shinji Abe, Kaoru Kubota, Akihiko Gemma : XPLN is modulated by HDAC inhibitors and negatively regulates SPARC expression by targeting mTORC2 in human lung fibroblasts. *Pulmonary pharmacology & therapeutics* 2017; 44:61-69. doi: 10.1016/j.pupt.2017.03.003.
- 75) Masamitsu Shimizu, Toshimichi Miya, Akihiko Takahashi, Yumiko Kobayashi, Kaoru Kubota, Akihiko Gemma, Takashi Hirose : [Nearly Complete Response after Second-Line Therapy with Nab-Paclitaxel Monotherapy in a Patient with Recurrent Advanced Non-Small Cell Lung Cancer]. *Gan to kagaku ryoho. Cancer & chemotherapy* 2017; 44 (8) :699-702.
- 76) 嶋井 浩行, 国保 成暁, 久世 眞之, 柏田 建, 林 宏紀, 神尾 孝一郎, 齋藤 好信, 藤田 和恵, 阿部 信二, 功刀 しのぶ, 寺崎 泰弘, 久保田 馨, 吾妻 安良太, 弦間 昭彦 : possible UIP パターンに対する TBLB の有用性. *気管支学* 2017; 39 (Suppl.) :S275.
- 77) 勝俣 範之, 小笠原 涼, 豊岡 達志, 赤石 優子, 横山 雄章, 門倉 玄武, 大井 公子, 日暮 弓美, 田中 由香里, 鈴木 信行 : 「それぞれの生」IT を活用した新たなサポート体制、キャンサーボードの実践と応用 がん治療のインターネット情報の信頼度に関する調査研究. *日本癌治療学会学術集会抄録集* 2017; 55 回:WS12-3.
- 78) 勝俣 範之 : 「それぞれの癌」診断・治療の現状と展望 子宮頸癌 進行子宮頸がんの薬物療法の進歩. *日本癌治療学会学術集会抄録集* 2017; 55 回:OSY5-5.
- 79) 門倉 玄武, 勝俣 範之 : 【View-point がん診療 「卵巣がん・卵管がん・腹膜がん」】卵巣がん・卵管がん・原発性腹膜がんについての臨床的概論. *Cancer Board Square* 2017; 3 (2) :272-279.
- 80) 中道 真仁, 弦間 昭彦 : 【がんの化学療法】肺癌の化学療法と分子標的療法. *BIO Clinica* 2018; 33 (2) :106-110.
- 81) 小野寺 恵子, 勝俣 範之 : 【がん患者のココロを支える】「がん」の告知と治療・ケアの意思決定支援 がん治療の効果とその伝え方. *薬局* 2017; 68 (8) :2793-2798.
- 82) 金 容彦, 勝俣 範之 : 【がん診療-内科医が知りたい 30 のエッセンス】内科医が知っておくべきがん患者のマネジメント がんサバイバーが経験する問題にどう対応すればよいでしょうか(がんサバイバーシップ). *Medicina* 2017; 54 (8) :1282-1285.
- 83) 高橋 聡, 久保田 馨 : 【免疫療法の進歩と問題点】免疫チェックポイント阻害薬と分子標的薬の併用. *腫瘍内科* 2017; 20 (2) :106-110.
- 84) 長尾 和宏, 勝俣 範之, 山口 育子 : 【医療不信患者への対処術 2】情報洪水時代の医師と患者. *日本医事新報* 2017; (4855) :22-29.
- 85) 武内 進, 久保田 馨 : 【医療経済の現状分析と将来】医療経済からみた肺癌治療薬. *THE LUNG-perspectives* 2017; 25 (3) :275-279.
- 86) 勝俣 範之 : 【婦人科がん(第 2 版)-最新の研究動向-】卵巣がん 卵巣癌の治療 卵巣癌の dose-dense 化学療法. *日本臨床* 2018; 76 (増刊 2 婦人科がん) :610-617.
- 87) 久保田 馨 : 【心を開くコミュニケーション】悪い知らせをどう伝えるのか がん診療の事例から. *保団連* 2017; (1240) :13-18.
- 88) 勝俣 範之 : 【患者のハートをつかむ切り札&裏ワザを伝授! どう答える? がん化学療法患者からのディフィカルト・クエスチョン 34】(1 章) 患者さんのハートをはがっちりつかむ勝俣メソッドを伝授します. *プロフェッショナルがんナーシング* 2017; 7 (5) :425-428.
- 89) 此松 晶子, 勝俣 範之 : 【最新! 婦人科がん薬物療法-化学療法薬から分子標的薬・免疫療法薬まで】最新の副作用対策 婦人科悪性腫瘍化学療法時の制吐剤使用. *臨床婦人科産科* 2017; 71 (10) :908-912.
- 90) 栗原 香織, 勝俣 範之, 神林 祐子 : 【病気とくすり 2018 基礎と実践 Expert's Guide】悪性新生物とくすり 悪性腫瘍 がん疼痛. *薬局* 2018; 69 (4) :2133-2145.
- 91) 小野寺 恵子, 勝俣 範之 : 【病気とくすり 2018 基礎と実践 Expert's Guide】悪性新生物とくすり 悪性腫瘍 乳癌. *薬局* 2018; 69 (4) :2118-2126.
- 92) 此松 晶子, 勝俣 範之 : 【病気とくすり 2018 基礎と実践 Expert's Guide】悪性新生物とくすり 悪性腫瘍 卵巣癌. *薬局* 2018; 69 (4) :2114-2117.
- 93) 宮田 広樹, 勝俣 範之 : 【病気とくすり 2018 基礎と実践 Expert's Guide】悪性新生物とくすり 悪性腫瘍 子宮癌. *薬局* 2018; 69 (4) :2109-2113.
- 94) 輪湖 哲也, 勝俣 範之 : 【病気とくすり 2018 基礎と実践 Expert's Guide】悪性新生物とくすり 悪性腫瘍 肉腫(骨・軟部腫瘍). *薬局* 2018; 69 (4) :2127-2132.
- 95) 松本 優, 清家 正博, 弦間 昭彦 : 【肺癌-最新の治療戦略と失敗しないための秘訣】進行・再発肺癌の最新治療 EGFR 遺伝子変異陽性非小細胞肺癌の 1 次治療. *呼吸器ジャーナル* 2017; 65 (4) :602-607. doi: 10.11477/mf.1437200083.

- 96) 林 宏紀, 吾妻 安良太 : 【間質性肺炎・肺線維症 難解な疾患が見えてくる】 この症例から何を学ぶか 特発性肺線維症の経過中に急性増悪をきたした症例. *Medical Practice* 2017; 34 (4) :670-674.
- 97) 吾妻 安良太, 小池 和彦, 坂東 政司, 富岡 洋海 : 【間質性肺炎・肺線維症 難解な疾患が見えてくる】 早期発見・治療をめざす間質性肺炎・肺線維症診療. *Medical Practice* 2017; 34 (4) :524-540.
- 98) 勝俣 範之 : がん治療および緩和ケア選択における意思決定支援 腫瘍内科医の立場から. *死の臨床* 2017; 40 (1) :70-71.
- 99) 藤原 佳美, 酒井 瞳, 栗原 香織, 小野寺 恵子, 高橋 順子, 勝俣 範之 : がん治療選択の満足度と医療者に求める意思決定支援. *Palliative Care Research* 2017; 12 (Suppl.) :S543.
- 100) 本橋 典久, 小齊平 聖治, 内藤 智之, 二島 駿一, 加藤 泰裕, 田中 庸介, 日野 光紀, 羽鳥 努, 久保田 馨, 弦間 昭彦 : アファチニブ投与中に小細胞肺癌に形質転換した EGFR 遺伝子変異陽性非小細胞肺癌の 1 例. *肺癌* 2017; 57 (2) :134-135.
- 101) 猪俣 稔, 神尾 孝一郎, 吾妻 安良太, 松田 久仁子, 柏田 建, 國保 成暁, 渥美 健一郎, 林 宏紀, 藤田 和恵, 齋藤 好信, 阿部 信二, 弦間 昭彦 : エクソソーム由来 microRNA の肺線維化マーカー抑制効果に関する検討. *日本呼吸器学会誌* 2018; 7 (増刊) :166.
- 102) 柏田 建, 齋藤 好信, 峯岸 裕司, 蛸井 浩行, 渥美 健一郎, 武内 進, 松本 優, 林 宏紀, 野呂 林太郎, 阿部 信二, 藤田 和恵, 清家 正博, 吾妻 安良太, 久保田 馨, 弦間 昭彦 : ニボルマブによる薬剤性肺障害症例の検討. 第 57 回日本呼吸器学会学術集会 2017; 6 (増刊) :183.
- 103) 井坂 有里, 清水 愛, 山田 麻以, 五十嵐 由美, 松田 秀則, 荻田 あづさ, 伊東 慶悟, 安齋 眞一, 勝俣 範之, 佐伯 秀久 : ニボルマブ投与中に生じた苔癬型反応を伴う皮膚障害の 1 例. *日本皮膚科学会雑誌* 2018; 128 (3) :444.
- 104) 戸塚 猛大, 高橋 彬彦, 高野 夏希, 久金 翔, 高橋 聡, 田中 徹, 菅野 哲平, 武内 進, 峯岸 裕司, 野呂 林太郎, 久保田 馨, 清家 正博, 弦間 昭彦 : ペムブロリズマブによる無顆粒球症、薬剤性肺障害、重症筋無力症を合併した肺多形癌の 1 例. 第 180 回日本肺癌学会関東支部会学術集会 2018
- 105) 清家 正博 : 中島ら"超音波気管支鏡ガイド下針生検(EBUS-TBNA)で診断された悪性胸膜中皮腫の 1 例". *気管支学* 2018; 40 (2) :107-108. doi: 10.18907/jjsre.40.2\_125.
- 106) 村田 泰規, 小林 由美子, 清水 理光, 谷内 七三子, 久保田 馨, 弦間 昭彦, 廣瀬 敬 : 再発進行非小細胞肺癌に対する PD-1 阻害剤投与後の殺細胞性抗癌剤の有効性と安全性の検討. *肺癌* 2017; 57 (5) :607.
- 107) 渡辺 昌則, 野村 聡, 埜 秀暁, 三島 圭介, 黒田 誠司, 門倉 玄武, 勝俣 範之, 水谷 聡, 鈴木 英之, 内田 英二 : 分割 paclitaxel 投与を応用した食道癌に対する新規多剤併用 weekly PCF 療法の第 1 相試験. *日本食道学会学術集会プログラム・抄録集* 2017; 71 回:P26-2.
- 108) 中道 真仁, 清家 正博, 宮永 晃彦, 高橋 明子, 野呂 林太郎, 久保田 馨, 弦間 昭彦 : 分子標的薬への耐性機構の解明 AXL と EMT 克服を標的とした ALK 陽性非小細胞肺癌根絶に向けた新規治療戦略. *肺癌* 2017; 57 (5) :377.
- 109) 中道 真仁, 清家 正博, 宮永 晃彦, 高橋 明子, 野呂 林太郎, 久保田 馨, 弦間 昭彦 : 分子標的薬への耐性機構の解明 AXL と EMT 克服を標的とした ALK 陽性非小細胞肺癌根絶に向けた新規治療戦略. 第 58 回日本肺癌学会学術集会 2017; 57 (5) :377.
- 110) 村田 泰規, 矢嶋 知佳, 清水 理光, 谷内 七三子, 久保田 馨, 弦間 昭彦, 廣瀬 敬 : 化学療法の導入時期と生存期間の相関について. *日本呼吸器学会誌* 2018; 7 (増刊) :243.
- 111) 武内進, 久保田馨 : 医療経済の現状分析と将来 医療経済からみた肺癌治療薬. *Lung Perspectives* 2017; 25 (3)
- 112) 鎗木 翔太, 高野 夏希, 菅野 哲平, 松本 優, 野呂 林太郎, 武内 進, 加藤 友美, 中山 幸治, 高橋 聡, 小林 研一, 峯岸 裕司, 清家 正博, 久保田 馨, 弦間 昭彦, 山本 晃人, 黒瀬 圭輔, 大橋 隆治, 寺崎 泰弘, 功刀 しのぶ, 白田 実男 : 卵巣莢膜細胞腫への腫瘍内転移をきたした肺大細胞神経内分泌癌の 1 例. 第 178 回日本肺癌学会関東支部会学術集会 2017
- 113) 鎗木 翔太, 高野 夏希, 菅野 哲平, 松本 優, 野呂 林太郎, 武内 進, 加藤 友美, 中山 幸治, 高橋 聡, 小林 研一, 峯岸 裕司, 清家 正博, 久保田 馨, 弦間 昭彦, 山本 晃人, 黒瀬 圭輔, 大橋 隆治, 寺崎 泰弘, 功刀 しのぶ, 白田 実男 : 卵巣莢膜細胞腫への腫瘍内転移をきたした肺大細胞神経内分泌癌の 1 例. *肺癌* 2017; 57 (6) :794.
- 114) 久保田 馨 : 呼吸器「COPD(慢性閉塞性肺疾患)の全身併存症と肺合併症:病態と治療法、将来の展望」 COPD 合併肺がん患者のマネジメント. *日本臨床生理学会雑誌* 2017; 47 (4) :92.
- 115) 清家 正博 : 呼吸器腫瘍のトピックス. *呼吸器内科* 2017; 32 (5) :481-485.
- 116) 富田 眞紀子, 加藤 友康, 池田 俊一, 石川 光也, 宇津木 久仁子, 宮城 悦子, 鈴木 幸雄, 米山 剛一, 黒木 睦実, 酒井 瞳, 勝俣 範之, 小熊 祐子, 高橋 都 : 婦人科がん患者の治療後の身体的不調が QOL に与える影響と stress coping、social support、自己効力感の関

- 連性. 日本サイコオンコロジー学会総会・日本臨床死生学会総会合同大会プログラム・抄録集 2017; 30 回・23 回:222.
- 117)加藤 友康, 富田 真紀子, 池田 俊一, 石川 光也, 宇津木 久仁子, 宮城 悦子, 鈴木 幸雄, 米山 剛一, 黒木 睦実, 酒井 瞳, 勝俣 範之, 小熊 祐子, 高橋 都: 婦人科がん治療後の下肢リンパ浮腫と排尿困難に関する治療内容別頻度と、QOL への影響. 日本癌治療学会学術集会抄録集 2017; 55 回:P149-1.
- 118)峯岸 裕司, 大森 美和子, 福泉 彩, 高野 夏希, 久金 翔, 高橋 聡, 小林 研一, 菅野 哲平, 武内 進, 野呂 林太郎, 清家 正博, 久保田 馨, 弦間 昭彦: 小細胞肺癌(HGNEC)に対する治療法の進歩 間質性肺炎合併進行小細胞肺癌に対する化学療法の有用性と急性増悪リスク. 肺癌 2017; 57 (5) :382.
- 119)峯岸 裕司, 大森 美和子, 福泉 彩, 高野 夏希, 久金 翔, 高橋 聡, 小林 研一, 菅野 哲平, 武内 進, 野呂 林太郎, 清家 正博, 久保田 馨, 弦間 昭彦: 小細胞肺癌(HGNEC)に対する治療法の進歩 間質性肺炎合併進行小細胞肺癌に対する化学療法の有用性と急性増悪リスク. 第 58 回日本肺癌学会学術集会 2017
- 120)松本 優: 平成 28 年度 丸山記念研究助成金受賞記念講演 (3). 日本医科大学医学会雑誌 2017; 13 (4) :236. doi: 10.1272/manms.13.236.
- 121)高橋 聡, 峯岸 裕司, 中山 幸治, 小林 研一, 高橋 明子, 柏田 建, 武内 進, 松本 優, 野呂 林太郎, 清家 正博, 久保田 馨, 弦間 昭彦: 当科における既治療非小細胞肺癌に対する Nivolumab の使用経験. 日本癌治療学会学術集会抄録集 2017; 55 回:P147-6.
- 122)峯岸 裕司, 大森 美和子, 福泉 彩, 高橋 聡, 菅野 哲平, 武内 進, 吾妻 安良太, 清家 正博, 久保田 馨, 弦間 昭彦: 当院での間質性肺炎合併小細胞肺癌に対する化学療法の成績. 日本内科学会学術集会 2018; 107 (Suppl.) :232.
- 123)清水 理光, 小林 由美子, 高橋 彬彦, 村田 泰規, 谷内 七三子, 久保田 馨, 弦間 昭彦, 廣瀬 敬: 当院における FDG-PET が低集積な肺癌についての検討. 肺癌 2017; 57 (5) :557.
- 124)清水 理光, 谷内 七三子, 矢嶋 知佳, 村田 泰規, 久保田 馨, 弦間 昭彦, 廣瀬 敬: 当院における FDG-PET が低集積な肺癌についての検討. 日本呼吸器学会誌 2018; 7 (増刊) :279.
- 125)勝俣 範之: 抗がん剤中止をどうやって患者さんに伝えればよいのか? 抗がん剤治療 どこまでやるのか? いつ止めるのか?. 大学病院の緩和ケアを考える会誌総会・研究会記録号 2017; 23 回:64-72.
- 126)勝俣 範之: 抗がん治療が終了するとどうなりますか? 医療者が患者のためにできる最適な医療の在り方を考える がん治療医は、「治療は終了した」と言わないこと. Palliative Care Research 2017; 12 (Suppl.) :S159.
- 127)細谷 恵子, 常泉 道子, 緒方 秀昭, 九富 五郎, 河合 佑子, 杉崎 勝好, 勝俣 範之, 魚森 俊喬, 三浦 佳代, 倉田 麻美, 新田 由香里, 松岡 浄, 齊藤 光江: 抗悪性腫瘍薬の有害事象に対するマネジメント 発熱性好中球減少への対処から骨塩量低下に対する支持療法まで AC 療法に対する標準制吐療法を確認するための多施設共同二重盲検ランダム化比較試験. 日本乳癌学会総会プログラム抄録集 2017; 25 回:221.
- 128)吾妻 安良太: 教育講演 特発性肺線維症の分子機構と医薬品開発: Relationship between Specialty and Generality (第 114 回(2017 年)日本内科学会講演会 超世代の内科学: Generality と Specialty の先へ). 日本内科学会雑誌 2017; 106 (9) :2028-2034.
- 129)菅野 哲平, 増田 万里, 宇野 佑子, 森山 英樹, 後藤 尚子, 清家 正博, 澤 匡明, 弦間 昭彦, 山田 哲司: 新規 TNIK 阻害薬による EMT 制御. 日本癌学会総会記事 2017; 76 回:J-3100.
- 130)菅野 哲平, 増田 万理, 宇野 佑子, 森山 英樹, 後藤 尚子, 清家 正博, 澤 匡明, 弦間 昭彦, 山田 哲司: 新規 TNIK 阻害薬による上皮間葉移行の制御. 第 58 回日本肺癌学会学術集会 2017
- 131)鎌田 芳則, 佐藤 博, 城 謙輔, 土屋 善慎, 田熊 淑男, 功刀 しのぶ, 清水 章, 今田 恒夫, 吾妻 安良太: 日本において腎生検により評価した腎サルコイドーシスの臨床的特徴(Clinical Features of Renal Sarcoidosis Evaluated by Renal Biopsy in Japan). 日本腎臓学会誌 2017; 59 (3) :261.
- 132)須崎 真, 藤田 和恵, 渥美 健一郎, 林 宏紀, 小野寺 直子, 兵働 英也, 小原 俊彦, 宮内 雅人, 齋藤 好信, 弦間 昭彦, 安武 正弘: 日本医科大学付属病院総合診療センターにおける感染症診療の現状と課題. 感染症学雑誌 2017; 91 (3) :459.
- 133)温泉川 真由, 恩田 貴志, 三橋 暁, 松元 隆, 沖 明典, 徳永 英樹, 澤崎 隆, 高野 浩邦, 田代 浩徳, 山口 聡, 野村 弘行, 寺尾 泰久, 菊池 朗, 鹿島 大靖, 岡留 雅夫, 渡利 英道, 馬場 長, 八杉 利治, 勝俣 範之, 牛嶋 公生, 石川 光也, 八重樫 伸生, Japan Clinical Oncology Group(JCOG)婦人科腫瘍グループ: 本邦における高齢婦人科悪性腫瘍に対する治療の実態を明らかにするためのアンケート調査 Japan Clinical Oncology Group(JCOG)婦人科腫瘍グループ. 日本産科婦人科学会雑誌 2018; 70 (2) :776.
- 134)藤田 和恵, 中山 幸治, 高橋 明子, 中道 真仁, 齋藤 好信, 清家 正博, 久保田 馨, 弦間 昭彦: 気管支鏡検査が診断に有用であった



- Nocardia exalbida による肺化膿症の一例. 第 38 回日本呼吸器内視鏡学会学術集会 2017; 39 (Suppl.) :S332.
- 135) 戸塚 猛大, 加藤 友美, 高野 夏希, 久金 翔, 高橋 聡, 小林 研一, 柏田 建, 菅野 哲平, 武内 進, 野呂 林太郎, 峯岸 裕司, 清家 正博, 久保田 馨, 弦間 昭彦: 治療により PD-L1 高発現に変化した EGFR 陽性肺腺癌の 1 例. 気管支学 2017; 39 (6) :541.
- 136) 矢嶋 知佳, 清水 理光, 村田 泰規, 谷内 七三子, 久保田 馨, 弦間 昭彦, 廣瀬 敬: 無治療で自然軽快した防風通聖散による薬剤性肺障害の 1 例. 日本結核病学会関東支部学会・日本呼吸器学会関東地方会合同学会プログラム・抄録集 2018; 173 回・228 回:25.
- 137) 吾妻 安良太, Kreuter Michael, Quaresma Manuel: 特発性肺線維症(IPF)患者を対象とした INPULSIS 試験における併用薬別でのニンテダニブの有効性. 日本呼吸器学会誌 2018; 7 (増刊) :160.
- 138) 吾妻 安良太: 特発性肺線維症の分子機構と医薬品開発 Relationship between Specialty and Generality. 日本内科学会雑誌 2017; 106 (9) :2028-2034.
- 139) 國保成暁, 阿部信二, 神尾孝一郎, 弦間昭彦, 早坂明哲, 竹内正弘, 近藤康博, 迎寛, 坂東政司, 本間米, 馬場智尚, 小倉高志, 吾妻安良太: 特発性肺線維症の急増悪患者に対するトレミキシンを用いた血液浄化療法 (PMX 療法) の有効性及び安全に関する探索的試験. 厚生労働科学研究費補助金難治性疾患等政策研究事業 (難治性疾患政策研究事業) びまん性肺疾患に関する調査研究班 平成 29 年度研究報告書 2018:98-108.
- 140) 久保田馨: 癌と化学療法脳腫瘍 I. 肺癌の脳転移マネジメント. 癌と化学療法社 2017; 44 (6) :475-478.
- 141) 清家 正博: 癌免疫治療の新たな潮流 肺癌に対する免疫 Check Point 阻害剤の有効性. 日本医科大学医学会雑誌 2017; 13 (3) :145-149.
- 142) 清水 理光, 名児耶 浩幸, 高橋 彬彦, 小林 由美子, 竹ヶ原 京志郎, 吉野 直之, 吾妻 安良太, 久保田 馨, 弦間 昭彦, 廣瀬 敬: 経気管支肺生検にて診断した TS-1 による薬剤性肺傷害の 1 例. 気管支学 2017; 39 (Suppl.) :S305.
- 143) 清水 理光, 谷内 七三子, 了徳寺 剛, 尾崎 勝俊, 小林 由美子, 村田 泰規, 久保田 馨, 弦間 昭彦, 廣瀬 敬: 経気管支肺生検にて診断した加齢性 EBV 陽性びまん性大細胞型 B 細胞リンパ腫の 1 例. 気管支学 2017; 39 (6) :536.
- 144) 門倉 玄武, 勝俣 範之, 高橋 順子, 永野 楠津紀, 吉永 美保, 蒔田 益次郎: 経過中に急速な右上肢単麻痺を呈し, FDG-PET で右腕神経叢転移が判明した再発乳がんの一例. 日本乳癌学会総会プログラム抄録集 2017; 25 回:630.
- 145) 淀川 顕司, 清水 渉, 吾妻 安良太, 清野 精彦: 緩徐進行性の房室伝導障害に対し早期にステロイドを導入し伝導改善を認めたサルコイドーシスの 1 例. 日本サルコイドーシス/肉芽腫性疾患学会雑誌 2017; 37 (1-2) :70-71.
- 146) 弦間 昭彦: 肺癌臨床研究の現況と展望: 分子生物学の急速な進歩の恩恵と医用工学の嵐の前 (特集 肺癌治療の進歩: 最新の基礎と臨床研究状況). 日本臨床 = Japanese journal of clinical medicine 2017; 75 (7) :1005-1009.
- 147) 高橋明子, 野呂林太郎, 高橋聡, 小林研一, 武内進, 松本優, 峯岸裕司, 清家正博, 久保田薫, 弦間昭彦: 胸腺癌に対する CBDCA+nabPTX の有用性. 日本臨床腫瘍学会学術集会(CD-ROM) 2017; 15th:ROMBUNNO.P1 - 144.
- 148) 菅野 哲平, 本田 一文, 弦間 昭彦, 山田 哲司, 吉田 正行, 増田 万里, 小野 麻紀子, 角屋 貴則, 後藤 尚子, 田村 研治, 木下 貴之, 津田 均: 腋窩リンパ節転移陰性、ホルモン受容体陽性・HER2 陰性乳癌における予後因子としての ACTN4 の検討. 日本分子腫瘍マーカー研究会誌 2017; 32 (0)
- 149) 齋藤 好信, 弦間 昭彦: 薬物療法と間質性肺炎: 治療と対策 (これからの乳癌診療 2016-2017) -- (チーム医療に必要な最新の知識). これからの乳癌診療 2017:160-164.
- 150) 齋藤 浩子, 板倉 潮人, 月岡 悦子, 上野 訓子, 小林 和陽, 中村 康一, 吾妻 安良太, 高木 聡: 認知症のある慢性呼吸器疾患に対し外来で包括的呼吸ケアを実施した一例. 日本呼吸ケア・リハビリテーション学会誌 2017; 27 (Suppl.) :186s.
- 151) 鍋木 翔太, 蛸井 浩行, 田中 徹, 渥美 健一郎, 林 宏紀, 藤田 和恵, 齋藤 好信, 阿部 信二, 木村 弘, 久保田 馨, 清家 正博, 弦間 昭彦: 過粘稠性肺炎桿菌による重症肺炎・肺膿瘍の 2 例. 日本結核病学会関東支部学会・日本呼吸器学会関東地方会合同学会プログラム・抄録集 2018; 173 回・228 回:29.
- 152) 柏田 建, 阿部 信二, 蛸井 浩行, 渥美 健一郎, 林 宏紀, 藤田 和恵, 齋藤 好信, 弦間 昭彦, 久保田 馨, 國保 成暁, 寺崎 泰弘, 吾妻 安良太: 金属加工業者に発症し, DLST, HLA-DPBI アレルより診断した慢性ペリリウム肺の一例. 日本サルコイドーシス/肉芽腫性疾患学会雑誌 2017; 37 (1-2) :69.
- 153) 村田 泰規, 矢嶋 知佳, 清水 理光, 谷内 七三子, 廣瀬 敬, 久保田 馨, 清家 正博, 弦間 昭彦: 長期間 bevacizumab 投与により効果が持続している 3 症例. 第 180 回日本肺癌学会関東支部学会学術集会 2018
- 154) 峯岸裕司, 大森美和子, 福泉彩, 高野夏希, 久金翔, 高橋聡, 小林研一, 菅野哲平, 武内進, 野呂林太郎, 清家正博, 久保田馨, 弦

- 間昭彦：間質性肺炎合併進行小細胞肺癌に対する化学療法の有用性と急性増悪リスク. 日本肺癌学会総会号 2017; 58th (5) :382.
- 155)小林研一, 清家正博, 中山幸治, 加藤友美, 高橋聡, 高橋明子, 中道真仁, 武内進, 松本優, 野呂林太郎, 峯岸裕司, 久保田馨, 弦間昭彦：非小細胞肺癌における PD-L1 発現と予後及び EGFR-TKI 治療効果との相関の検討. 日本肺癌学会学術集會号 2017; 58th
- 156)小林 研一, 清家 正博, 中山 幸治, 加藤 友美, 高橋 聡, 高橋 明子, 武内 進, 松本 優, 野呂 林太郎, 峯岸 裕司, 白田 実男, 久保田 馨, 弦間 昭彦：非小細胞肺癌における PD-L1 発現と予後及び EGFR-TKI 治療効果との相関の検討. 気管支学 2017; 39 (Suppl.) :S241.
- 157)小林 研一, 清家 正博, 中山 幸治, 加藤 友美, 高橋 聡, 高橋 明子, 武内 進, 松本 優, 野呂 林太郎, 峯岸 裕司, 白田 実男, 久保田 馨, 弦間 昭彦：非小細胞肺癌における PD-L1 発現と予後及び EGFR-TKI 治療効果との相関の検討. 第 38 回日本呼吸器内視鏡学会学術集會 2017; 39 (Suppl.) :S241.
- 158)小林 研一, 清家 正博, 中山 幸治, 加藤 友美, 高橋 聡, 高橋 明子, 中道 真仁, 武内 進, 松本 優, 野呂 林太郎, 峯岸 裕司, 久保田 馨, 弦間 昭彦：非小細胞肺癌における PD-L1 発現と予後及び EGFR-TKI 治療効果との相関の検討. 肺癌 2017; 57 (5) :424.
- 159)田中 真百合, 帆足 俊彦, 市山 進, 船坂 陽子, 野呂 林太郎, 清家 正博, 久保田 馨, 弦間 昭彦, 佐伯 秀久：非小細胞肺癌に対するニボルマブ投与により乾癬様皮疹を来した 1 例. 日本皮膚科学会雑誌 2017; 127 (5) :1199.
- 160)戸塚猛大, 加藤友美, 高野夏希, 久金翔, 高橋聡, 小林研一, 菅野哲平, 武内進, 野呂林太郎, 峯岸裕司, 清家正博, 久保田馨, 弦間昭彦：非小細胞肺癌に対する免疫チェックポイント阻害薬の後治療の検討. 日本呼吸器学会誌 2018; 7 (増刊) :245.
- 161)高野 夏希, 有安 亮, 神山 潤二, 園田 智明, 齊木 雅史, 川嶋 庸介, 小栗 知世, 西川 晋吾, 北園 聡, 柳谷 典子, 大柳 文義, 堀池 篤, 弦間 昭彦, 西尾 誠人：非小細胞肺癌の薬物療法と生存期間の変遷. 肺癌 2017; 57 (5) :424.
- 162)柏田 建, 齋藤 好信, 高橋 聡, 小林 研一, 渥美 健一郎, 菅野 哲平, 武内 進, 林 宏紀, 野呂 林太郎, 峯岸 裕司, 藤田 和恵, 阿部 信二, 清家 正博, 久保田 馨, 弦間 昭彦：非小細胞肺癌へ対する nab-Paclitaxel 療法による薬剤性肺障害の検討. 日本呼吸器学会誌 2018; 7 (増刊) :235.
- 163)松本優：非小細胞肺癌細胞株における,シスプラチンによるアポトーシスについての考察. 日本医科大学医学会雑誌 2017; 13 (4) :[2P-0381].
- 164)中道 真仁, 中嶋 亘, 松本 優, 田中 信之：非小細胞肺癌細胞株におけるシスプラチンによるアポトーシスの考察. 生命科学系学会合同年次大会 2017; 2017 年度:[2P-0381].
- 165)渡辺 昌則, 野村 聡, 埜 秀暁, 三島 圭介, 黒田 誠司, 門倉 玄武, 勝俣 範之, 千原 直人, 水谷 聡, 鈴木 英之, 内田 英二：食道癌に対する weekly paclitaxel+CDDP/5FU 療法の第 I-II 相試験. 日本消化器外科学会雑誌 2017; 50 (Suppl.2) :450.
- 166)渡辺 昌則, 勝俣 範之, 野村 聡, 埜 秀暁, 門倉 玄武, 三島 圭介, 黒田 誠司, 前島 顕太郎, 千原 直人, 水谷 聡, 鈴木 英之, 内田 英二：食道癌に対する weekly paclitaxel+CDDP/5FU 療法の第 I 相臨床試験結果. 日本外科学会定期学術集會抄録集 2017; 117 回:SF-4.
- 167)弘實 透, 増田 万里, 後藤 尚子, 菅野 哲平, 浅野 尚文, 小林 英介, 川井 章, 堀内 圭輔, 松本 守雄, 中村 雅也, 澤 匡明, 森岡 秀夫, 山田 哲司：骨肉腫治療における TNiK 阻害剤の可能性. 日本分子腫瘍マーカー研究会プログラム・講演抄録 2017; 37 回:76-77.
- 168)弘實 透, 増田 万里, 後藤 尚子, 菅野 哲平, 浅野 尚文, 小林 英介, 川井 章, 堀内 圭輔, 松本 守雄, 中村 雅也, 澤 匡明, 森岡 秀夫, 山田 哲司：骨肉腫治療における TNiK 阻害剤の可能性. 日本分子腫瘍マーカー研究会誌 2018; 33:57-58.

## 著書

- 1) Azuma Arata：〔編集〕Treatment of Cystic Fibrosis and Other Rare Lung Diseases. 2017, Springer Book.
- 2) 武内 進, 久保田 馨：【医療経済の現状分析と将来】医療経済からみた肺癌治療薬. THE LUNG perspectives Vol.25 No.3, 55-59,2017, メディカルレビュー社.
- 3) 高橋聡, 弦間昭彦：〔分担執筆〕【肺がん-個別化医療の時代】治療薬解説 血管新生阻害薬. カレントセラピー. 2017; pp.789-795, ライフメディコム.
- 4) 泉 孝英：〔分担執筆〕間質性肺炎. ガイドライン外来診療 2018. 2018, 日経メディカル開発.
- 5) 松本優, 清家正博, 弦間昭彦：〔分担執筆〕EGFR 遺伝子変異陽性非小細胞肺癌の 1 次治療. 呼吸器ジャーナル. 2017; pp.602-607, 医学書院.
- 6) 高橋聡, 弦間昭彦：〔分担執筆〕最適使用推進ガイドラインとは?. 呼吸器内科. 2017; pp.572-578, 科学評論社.

- 7) 渥美健一郎, 吾妻安良太 : [分担執筆] II 呼吸器疾患 9. 間質性肺炎 (特発性・膠原病性・薬剤性). 日常臨床に活かす診療ガイドライン UP-TO-DATE 2018-2019. 2018; pp.113-120, メディカルレビュー社.
- 8) 齋藤 好信, 弦間 昭彦 : 薬物療法と間質性肺炎 : 治療と対策 (これからの乳癌診療 2016-2017) -- (チーム医療に必要な最新の知識). 2017, 金原出版.

## 学会発表

- 1) 田中 徹, 齋藤 好信, 松田 久仁子, 神尾 孝一郎, 阿部 信二, 久保田 馨, 吾妻 安良太, 弦間 昭彦 : 2 型肺胞上皮細胞の周期的伸展刺激モデルにおける酸化ストレス及びピルフェニドンの作用の検討. 日本呼吸器学会誌, 2018. 3.
- 2) Seike M, Kim C, Zou F, Miyanaga A, Noro R, Kubota K, Gemma A : AXL and GAS6 Co-expression in lung adenocarcinoma as a prognostic classifier. 2017 AACR Annual Meeting, Washington DC, 2017. 4.
- 3) 田中庸介, 日野光紀, 矢嶋知佳, 佐藤陽三, 二島俊一, 小齊平聖治, 本橋典久, 弦間昭彦 : Additional Effect of inhaled cortico steroid (ICS) on patients with chronic obstructive pulmonary disease receiving Long-acting muscarinic antagonist(LAMA)/ Long-acting  $\beta$ 2-agonist(LABA) - single-centre, prospective, real-world study. 22nd Congress of the APSR Sydney, 2017, 2017. 11.
- 4) 服部久弥子, 茂木孝, 楠裕司, 弦間昭彦, 木田厚瑞 : COPD における 6 分間歩行試験の心拍数回復と心肺機能に関する研究. 日本呼吸器学会学術講演会 (第 57 回) . (東京) , 2017. 4.
- 5) 阿部 芳憲, 武内 進, 枝川 聖子, 三次 亮太郎, 田中 信之 : CRISPR/Cas9 システムによる GLI1 ノックアウト肺腺癌細胞の解析. 生命科学系学会合同年次大会, 2017. 12.
- 6) 二島俊一, 田中庸介, 矢嶋知佳, 佐藤陽三, 小齊平聖治, 本橋典久, 弦間昭彦 : Changes in pulmonary function and pulmonary artery pressure in combined pulmonary fibrosis and emphysema : follow-up examination. 22nd Congress of the APSR Sydney, 2017, 2017. 11.
- 7) 高橋聡, 渥美健一郎, 樋口明日香, 矢嶋知佳, 中山幸治, 蓮見健太, 青山純一, 久世眞之, 小林研一, 蛸井浩行, 吉川明子, 柏田建, 揖斐孝之, 武内進, 井上達哉 : EBUS-TBNA 後に生じた縦隔炎の 2 症例. 日本呼吸器内視鏡学会学術集会 (第 40 回) . (長崎) , 2017. 6.
- 8) Luca Richeldi, Martin Kolb, Arata Azuma, Wibke Stansen, Manuel Quaresma, Susanne Stowasser, Bruno Crestani : FVC decline over 1 year predicts mortality but not subsequent FVC decline in patients with IPF. ERS 2017, 2017. 9.
- 9) 神尾 孝一郎, 吾妻 安良太, 白杵 二郎, 松田 久仁子, 猪俣 稔, 西島 伸彦, 國保 成暁, 板倉 潮人, 山口 朋禎, 藤田 和恵, 齋藤 好信, 阿部 信二, 久保田 馨, 弦間 昭彦 : HDAC inhibitor による XPLN を介する mTORC2-SPARC 経路の制御. 日本呼吸器学会誌, 2018. 3.
- 10) 高野賢治, 田中徹, 渥美健一郎, 林宏紀, 齋藤好信, 阿部信二, 久保田馨, 弦間昭彦, 木村弘, 國保成暁, 寺崎泰弘 : HIV 感染に合併した AFOP (Acute fibrinous and organizing pneumonia) 様の間質性肺炎の 1 例. 日本呼吸器学会 関東地方会 (第 227 回) , 2017. 11.
- 11) 講演, 吾妻安良太 : IPF の診断と治療のパラダイムシフト. Meet the Expert in Tokyo 於) 東京ドームホテル 主催 : 日本ペーリソング・インゲルハイム株式会社, 2017. 4.
- 12) 野呂林太郎, 本田一文, 三浦奈美, 白石英晶, 藤原豊, 大江裕一郎, 石井源一郎, 蔦幸治, 浅村尚生, 山田哲司, 清家正博, 久保田馨, 弦間昭彦 : I 期肺腺癌再発予測システムの構築 術後化学療法と ACTN4 遺伝子増幅. 日本癌治療学会学術集会 (第 55 回) . (横浜) , 2017. 10.
- 13) Vincent Cottin, Dirk Koschel, Andreas Guenther, Carlo Albera, Arata Azuma, Magnus Skold, Sara Tomassetti, Philip Hormel, John L. Stauffer, Indiana Strombom, Klaus-Uwe Kirchgaessler, Toby M. Maher : Late Breaking Abstract - Long-term safety of pirfenidone in a real-world setting: final results from the prospective, observational PASSPORT registry. ERS2017, 2017. 9.
- 14) Terufumi Kato, Fumikazu Sakai, Tomohisa Baba, Masahiko Kusumoto, Hirotugu Kenmotsu, Hiroaki Sugiura, Junya Tominaga, Katsunori Oikado, Masafumi Sata, Masahiro Endo, Noriyo Yanagawa, Shinichi Sasaki, Tae Iwasawa, Yoshinobu Saito, Yutaka Fujiwara, Yuichiro Ohe, Yoshihiko Ito, Yasuhiro Tahara, Kazuyoshi Kuwano : Nivolumab-induced interstitial lung disease (ILD) in Japanese patients with non-small cell lung cancer: A study on risk factors for fatal outcome. JOURNAL OF CLINICAL ONCOLOGY, 2017. 5.
- 15) 佐藤 陽三, 田中 庸介, 日野 光紀, 樋口 明日香, 二島 駿一, 本橋 典久, 小齊平 聖治, 弦間 昭彦 : Nivolumab による薬剤性 ACTH 単独欠損症が疑われた 1 例. 第 181 回日本肺癌学会関東支部学術集会, 2018. 3.
- 16) 北川真吾, 武内進, 高野夏希, 久金翔, 高橋聡, 菅野哲平, 野呂林太郎, 峯岸裕司, 清家正博, 久保田馨, 弦間昭彦 : Nivolumab 治

- 療中に免疫介在性脳症を発症した非小細胞肺癌の1例. 日本肺癌学会関東支部会(第180回). (東京), 2017. 12.
- 17) 北川 真吾, 武内 進, 高野 夏希, 久金 翔, 高橋 聡, 菅野 哲平, 野呂 林太郎, 峯岸 裕司, 清家 正博, 久保田 馨, 弦間 昭彦 : Nivolumab 治療中に免疫介在性脳症を発症した非小細胞肺癌の1例. 肺癌, 2018. 2.
- 18) Vincent Cottin, Andreas Günther, Carlo Albera, Sara Tomassetti, Arata Azuma, Karen Bartley, Tracy Burgess, Adefowope Oduyungbo, Klaus-Uwe Kirchgässler, Toby M. Maher : Risk Factors Associated With Pirfenidone Discontinuation in Patients With Idiopathic Pulmonary Fibrosis in a Real-World Setting. ATS2017, 2017. 5.
- 19) Session Chairperson(司会): at the 22nd APSR Congress 2017, ICC Sydney, Australia. APSR2017(2017.11/23-26 シドニー), 2017. 11.
- 20) Y. Terasaki, N. Kokuho, S. Kunugi, Y. Saito, M. Terasa, H. Urushiyama, A. Gemma : The Analyses Of Alveolar Epithelial Injury Through The Lipid Metabolic Stress In The Mammalian Target Of Rapamycin Inhibitor Induced Lung Disease. AMERICAN JOURNAL OF RESPIRATORY AND CRITICAL CARE MEDICINE, 2017.
- 21) 菅野哲平, 清家正博, 弦間昭彦 : Traf2- and Nck-Interacting Kinase Inhibitor Suppresses Epithelial Mesenchymal Transition. 日本臨床腫瘍学会学術集会(第15回). (神戸), 2017. 7.
- 22) 蛸井 浩行, 国保 成暁, 久世 眞之, 柏田 建, 林 宏紀, 神尾 孝一郎, 齋藤 好信, 藤田 和恵, 阿部 信二, 功刀 しのぶ, 寺崎 泰弘, 久保田 馨, 吾妻 安良太, 弦間 昭彦 : possible UIP パターンに対する TBLB の有用性. 気管支学, 2017. 5.
- 23) 蛸井浩行, 久世眞之, 柏田建, 林宏紀, 神尾孝一郎, 藤田和恵, 齋藤好信, 阿部信二, 吾妻安良太, 久保田馨, 弦間昭彦, 國保成暁, 功刀しのぶ, 寺崎泰弘 : possible UIP パターンに対する経気管支肺生検の有用性. 呼吸器内視鏡学会総会, 2017. 6.
- 24) 野呂 林太郎, 本田 一文, 三浦 奈美, 白石 英晶, 藤原 豊, 大江 裕一郎, 石井 源一郎, 葛 幸治, 浅村 尚生, 山田 哲司, 清家 正博, 久保田 馨, 弦間 昭彦 : I 期肺腺癌再発予測システムの構築—術後化学療法と ACTN4 遺伝子増幅—. 第 55 回日本癌治療学会学術集会 2017 年, 2017. 10.
- 25) 猪俣 稔, 神尾 孝一郎, 吾妻 安良太, 松田 久仁子, 柏田 建, 國保 成暁, 渥美 健一郎, 林 宏紀, 藤田 和恵, 齋藤 好信, 阿部 信二, 弦間 昭彦 : エクソソーム由来 microRNA の肺線維化マーカー抑制効果に関する検討. 日本呼吸器学会誌, 2018. 3.
- 26) 柏田建, 齋藤好信, 峯岸裕司, 蛸井浩行, 渥美健一郎, 武内進, 松本優, 林宏紀, 野呂林太郎, 阿部信二, 藤田和恵, 清家正博, 吾妻安良太, 久保田馨, 弦間昭彦 : ニボルマブによる薬剤性肺障害症例の検討. 日本呼吸器学会学術講演会(第57回). (東京), 2017. 4.
- 27) 清家 正博 : バイオマーカーに基づいた肺癌個別化医療. 次世代がん治療推進専門家ブランチシンポジウム, 2018. 3.
- 28) 戸塚猛大, 菅野哲平, 高橋彬彦, 高野夏希, 久金翔, 高橋聡, 田中徹, 武内進, 峯岸裕司, 野呂林太郎, 久保田馨, 清家正博, 弦間昭彦 : ペムブロリズマブによる無顆粒球症, 薬剤性肺障害, 重症筋無力症を合併した肺多形癌の1例. 日本肺癌学会関東支部学術集会(第181回). (東京), 2018. 3.
- 29) 渥美健一郎, 林宏紀, 青山純一, 田中徹, 蛸井浩行, 柏田建, 藤田和恵, 齋藤好信, 阿部信二, 吾妻安良太, 久保田馨, 弦間昭彦, 國保成暁, 功刀しのぶ, 寺崎泰弘 : 健常者に発症した気道侵襲性肺アスペルギルス症の1例. 日本呼吸器学会関東地方会(第224回). (東京), 2017. 5.
- 30) 村田泰規, 小林由美子, 清水理光, 谷内七三子, 久保田馨, 弦間昭彦, 廣瀬敬 : 再発進行非小細胞肺癌に対する PD-1 阻害剤投与後の殺細胞性抗癌剤の有効性と安全性の検討. 日本肺癌学会総会(第58回). (東京), 2017. 10.
- 31) 村田泰規, 矢嶋知佳, 清水理光, 谷内七三子, 久保田馨, 弦間昭彦, 廣瀬敬 : 化学療法の導入時期と生存期間の相関について. 日本呼吸器学会誌(Web), 2018. 3.
- 32) 鐮木翔太, 白田実男, 大橋隆治, 峯岸裕司, 清家正博, 久保田馨, 弦間昭彦 : 卵巣莢膜細胞腫への腫瘍内転移が疑われた肺大細胞神経内分泌癌の1例. 日本肺癌学会関東支部学術集会(第179回). (東京都新宿区), 2017. 7.
- 33) 鐮木翔太, 高野夏希, 菅野哲平, 松本優, 野呂林太郎, 武内進, 加藤友美, 中山幸治, 高橋聡, 小林研一, 峯岸裕司, 清家正博, 久保田馨, 弦間昭彦 : 卵巣莢膜細胞腫への腫瘍内転移をきたした肺大細胞神経内分泌癌の1例. 日本肺癌学会関東支部会(第179回). (東京), 2017. 7.
- 34) 峯岸裕司, 大森美和子, 福泉彩, 高野夏希, 久金翔, 高橋聡, 小林研一, 菅野哲平, 武内進, 野呂林太郎, 清家正博, 久保田馨, 弦間昭彦 : 小細胞肺癌(HGNEC)に対する治療法の進歩 間質性肺炎合併進行小細胞肺癌に対する化学療法の有用性と急性増悪リスク. 日本肺癌学会学術集会(第58回). (横浜), 2017. 10.
- 35) 高橋聡, 峯岸裕司, 中山幸治, 小林研一, 高橋明子, 武内進, 松本優, 野呂林太郎, 清家正博, 久保田馨, 弦間昭彦 : 当科における

- 既治療非小細胞肺癌に対する Nivolumab の使用経験. 日本癌治療学会学術集会 (第 55 回). (横浜), 2017. 10.
- 36) 峯岸 裕司, 大森 美和子, 福泉 彩, 高橋 聡, 菅野 哲平, 武内 進, 吾妻 安良太, 清家 正博, 久保田 馨, 弦間 昭彦: 当院での間質性肺炎合併小細胞肺癌に対する化学療法の結果. 日本内科学会雑誌, 2018. 2.
- 37) 清水理光, 小林由美子, 高橋彬彦, 村田泰規, 谷内七三子, 久保田馨, 弦間昭彦, 廣瀬敬: 当院における FDG-PET が低集積な肺癌についての検討. 日本肺癌学会総会 (第 58 回). (東京), 2017. 10.
- 38) 清水理光, 谷内七三子, 矢嶋知佳, 村田泰規, 久保田馨, 弦間昭彦, 廣瀬敬: 当院における FDG - PET が低集積な肺癌についての検討. 日本呼吸器学会誌(Web), 2018. 3.
- 39) 山下貴正, 清水理光, 中野博之, 長尾毅彦, 小林由美子, 村田泰規, 谷内七三子, 久保田馨, 弦間昭彦, 廣瀬敬: 心不全, 2 型呼吸不全を契機に診断された先天性ミオパチーの 1 例. 日本呼吸器学会関東地方会 (第 227 回). (東京), 2017. 11.
- 40) 林宏紀, 矢嶋知佳, 蛸井浩行, 柏田建, 渥美健一郎, 國保成暁, 藤田和恵, 神尾孝一郎, 齋藤好信, 阿部信二, 弦間昭彦, 久保田馨, 吾妻安良太: 慢性線維性間質性肺炎に対する nintedanib 投与例の臨床的検討. 日本呼吸器学会学術講演会 (第 57 回). (東京), 2017. 4.
- 41) 曾我彬美, 岡島史宜, 佐藤陽三, 田中庸介, 日野光紀, 杉原 仁, 江本直也: 抗 PD-1 抗体ニボルマブによる ACTH 単独欠損症が疑われた症例. 臨床内分泌代謝 Update (第 27 回). (神戸), 2017. 11.
- 42) 高野賢治, 田中徹, 渥美健一郎, 林宏紀, 齋藤好信, 阿部信二, 弦間昭彦, 久保田馨, 寺崎泰弘, 福栄亮介, 桑名正隆: 指端壊死と急速進行性間質性肺炎をきたした腫瘍関連 amyopathic dermatomyositis の 1 剖検例. 日本呼吸器学会関東地方会 (第 225 回), 2017. 7.
- 43) 高野賢治, 田中徹, 渥美健一郎, 林宏紀, 齋藤好信, 阿部信二, 弦間昭彦, 久保田馨, 寺崎泰弘, 福栄亮介, 桑名正隆: 指端壊死と急速進行性間質性肺炎をきたした腫瘍関連 amyopathic dermatomyositis の 1 剖検例. 日本呼吸器学会関東地方会 (第 225 回), 2017. 7.
- 44) 吾妻安良太: 教育講演 「特発性肺線維症: 病態論の変遷と医薬品開発」. 第 22 回エンドトキシン血症救命治療研究会, 2018. 1.
- 45) 須崎 真, 藤田 和恵, 渥美 健一郎, 林 宏紀, 小野寺 直子, 兵働 英也, 小原 俊彦, 宮内 雅人, 齋藤 好信, 弦間 昭彦, 安武 正弘: 日本医科大学付属病院総合診療センターにおける感染症診療の現状と課題. 感染症学雑誌, 2017. 5.
- 46) 青山純一, 林宏紀, 矢嶋知佳, 蛸井浩行, 柏田健, 渥美健一郎, 藤田和恵, 齋藤好信, 阿部信二, 吾妻安良太, 久保田馨, 弦間昭彦: 殺虫剤吸入後に発症した抗 MDA5 抗体陽性間質性肺炎の 1 例. 日本呼吸器学会関東地方会 (第 223 回), 2018. 2.
- 47) 野口拓哉, 谷内七三子, 佐藤陽三, 山野義光: 気管支喘息に合併した肺結核. 神奈川医学会雑誌, 2017. 7.
- 48) 小林由美子, 谷内七三子, 清水理光, 村田泰規, 藤田恵美子, 久保田馨, 弦間昭彦, 廣瀬敬: 気管支拡張症にアミロイド腎症を合併した 1 例. 日本呼吸器学会関東地方会 (第 225 回). (東京), 2017. 7.
- 49) 藤田 和恵, 中山 幸治, 高橋 明子, 中道 真仁, 齋藤 好信, 清家 正博, 久保田 馨, 弦間 昭彦: 気管支鏡検査が診断に有用であった *Nocardia exalbida* による肺化膿症の 1 例. 気管支学, 2017. 5.
- 50) 戸塚猛大, 加藤友美, 高野夏希, 久金翔, 高橋聡, 小林研一, 柏田建, 菅野哲平, 武内進, 野呂林太郎, 峯岸裕司, 清家正博, 久保田馨, 弦間昭彦: 治療により PD-L1 高発現に変化した EGFR 陽性肺腺癌の 1 例. 日本呼吸器内視鏡学会関東支部会 (第 162 回). (東京), 2017. 9.
- 51) 矢嶋 知佳, 清水 理光, 村田 泰規, 谷内 七三子, 久保田 馨, 弦間 昭彦, 廣瀬 敬: 無治療で自然軽快した防風通聖散による薬剤性肺障害の 1 例. 日本結核病学会関東支部学会・日本呼吸器学会関東地方会合同学会プログラム・抄録集, 2018. 2.
- 52) 田中徹, 高野賢治, 渥美健一郎, 林宏紀, 齋藤好信, 阿部信二, 久保田馨, 弦間昭彦, 木村弘: 特発性肺線維症に合併した重度肺高血圧症に対して sildenafil と macitentan を併用した 1 例. 日本呼吸器学会関東地方会 (第 226 回). (茨城), 2017. 9.
- 53) 清水理光, 名児耶浩幸, 高橋彬彦, 小林由美子, 竹ヶ原京志郎, 吉野直之, 吾妻安良太, 久保田馨, 弦間昭彦, 廣瀬敬: 経気管支生検にて診断した TS-1 による薬剤性肺障害の 1 例. 日本呼吸器内視鏡学会総会 (第 40 回). (長崎), 2017. 6.
- 54) 清水理光, 谷内七三子, 了徳寺剛, 尾崎勝俊, 小林由美子, 村田泰規, 久保田馨, 弦間昭彦, 廣瀬敬: 経気管支肺生検にて診断した加齢性 EBV 陽性びまん性大細胞型 B 細胞リンパ腫の 1 例. 気管支学, 2017. 11.
- 55) 蛸井浩行, 矢嶋知佳, 柏田建, 渥美健一郎, 林宏紀, 藤田和恵, 齋藤好信, 阿部信二, 吾妻安良太, 弦間昭彦, 久保田馨: 肺 MAC 症治療効果判定における抗 MAC 抗体の有用性の検討. 日本呼吸器学会学術講演会 (第 57 回). (東京), 2017. 4.
- 56) 清家 正博: 肺癌の分子標的治療の最新情報 ガイドラインを見据えて EGFR 陽性肺癌に対する治療の現状と治癒を目指した今後の課題. 第 57 回日本呼吸器学会学術集会, 2017. 4.
- 57) 高橋明子, 野呂林太郎, 高野夏希, 高橋聡, 菅野哲平, 武内進, 峯岸裕司, 清家正博, 久保田馨, 弦間昭彦: 胸腺癌に対する

- CBDCA+nabPTX の有用性. 日本臨床腫瘍学会学術集会 (第 15 回) . (神戸) , 2017. 7.
- 58) 蛸井浩行, 青山純一, 渥美健一郎, 林宏紀, 藤田和恵, 齋藤好信, 阿部信二, 久保田馨, 弦間昭彦 : 脊椎疾患による呼吸不全が疑われた 3 例. 日本呼吸器学会関東地方会 (第 224 回) . (東京) , 2017. 5.
- 59) 鑄木翔太, 蛸井浩行, 田中徹, 柏田建, 渥美健一郎, 林宏紀, 藤田和恵, 齋藤好信, 阿部信二, 清家正博, 弦間昭彦, 木村弘, 國保成暁, 寺崎泰弘 : 過粘稠性肺炎桿菌による重症肺炎・肺膿瘍の 2 例. 日本呼吸器学会関東地方会 (第 228 回) . (東京) , 2018. 2.
- 60) 柏田建, 阿部信二, 蛸井浩行, 渥美健一郎, 林宏紀, 藤田和恵, 齋藤好信, 弦間昭彦, 久保田馨, 國保成暁, 寺崎泰弘, 吾妻安良太 : 金属加工業者に発症し, DLST, HLA-DPB1 アレルより診断した慢性ペリリウム肺の 1 例. 東京サルコイドーシス/肉芽種性疾患研究会 (第 186 回) . (東京) , 2017. 10.
- 61) 村田泰規, 矢嶋知佳, 清水理光, 谷内七三子, 清家正博, 久保田馨, 弦間昭彦, 廣瀬敬 : 長期間 Bevacizumab 投与により効果が持続した 3 例. 日本肺癌学会関東支部会 (第 181 回) . (東京) , 2018. 3.
- 62) 峯岸裕司, 大森美和子, 福泉彩, 高野夏希, 久金翔, 高橋聡, 小林研一, 菅野哲平, 武内進, 野呂林太郎, 清家正博, 久保田馨, 弦間昭彦 : 間質性肺炎合併進行小細胞肺癌に対する化学療法の有効性と急性増悪リスク. 日本肺癌学会学術集会 (第 58 回) . (横浜) , 2017. 10.
- 63) 小林研一, 清家正博, 中山幸治, 加藤友美, 高橋聡, 高橋明子, 武内進, 松本優, 野呂林太郎, 峯岸裕司, 白田実男, 久保田馨, 弦間昭彦 : 非小細胞肺癌における PD-L1 発現と予後及び EGFR-TKI 治療効果との相関の検討. 日本呼吸器内視鏡学会学術集会 (第 40 回) . (長崎) , 2017. 6.
- 64) 田中真百合, 帆足俊彦, 市山進, 船坂陽子, 野呂林太郎, 清家正博, 久保田馨, 弦間昭彦, 佐伯秀久 : 非小細胞肺癌に対するニボルマブ投与により乾癬様皮疹を来した 1 例. 日本皮膚科学会総会 (第 116 回) . (仙台) , 2017. 5.
- 65) 戸塚 猛大, 加藤 友美, 高野 夏希, 久金 翔, 高橋 聡, 小林 研一, 菅野 哲平, 武内 進, 野呂 林太郎, 峯岸 裕司, 清家 正博, 久保田 馨, 弦間 昭彦 : 非小細胞肺癌に対する免疫チェックポイント阻害薬の後治療の検討. 日本呼吸器学会誌, 2018. 3.
- 66) 高野夏希, 弦間昭彦 : 非小細胞肺癌の薬物療法と生存期間の変遷. 日本肺癌学会学術集会 (第 58 回) . (横浜) , 2017. 10.
- 67) 柏田 建, 齋藤 好信, 高橋 聡, 小林 研一, 渥美 健一郎, 菅野 哲平, 武内 進, 林 宏紀, 野呂 林太郎, 峯岸 裕司, 藤田 和恵, 阿部 信二, 清家 正博, 久保田 馨, 弦間 昭彦 : 非小細胞肺癌へ対する nab-Paclitaxel 療法による薬剤性肺障害の検討. 日本呼吸器学会誌, 2018. 3.
- 68) 柏田建, 齋藤好信, 高橋聡, 小林研一, 渥美健一郎, 菅野哲平, 武内進, 林宏紀, 野呂林太郎, 峯岸裕司, 藤田和恵, 阿部信二, 清家正博, 久保田馨, 弦間昭彦 : 非小細胞肺癌へ対する nab - Paclitaxel 療法による薬剤性肺障害の検討. 日本呼吸器学会誌(Web), 2018. 3.

## 10 精神・行動医学分野

### 研究業績

#### 論文等

- 1) Tomoko Omura, Mahito Kimura, Kyongsong Kim, Masahiro Mishina, Takayuki Mizunari, Shiro Kobayashi, Akio Morita : Acute Poststroke Depression Is Associated with Thalamic Lesions and Clinical Outcomes: A Case-Control Study. *Journal of Stroke and Cerebrovascular Diseases* 2018; 27 (2) :499-505. doi: 10.1016/j.jstrokecerebrovasdis.2017.09.028.
- 2) Michihiko Koeda, Atsushi Watanabe, Kumiko Tsuda, Miwako Matsumoto, Yumiko Ikeda, Woochan Kim, Amane Tateno, Banyar Than Naing, Hiroyuki Karibe, Takashi Shimada, Hidenori Suzuki, Masato Matsuura, Yoshiro Okubo : Effect of cntnp2 polymorphisms on cerebral response to human voice perception and handedness: an fmri study. *Journal of neurology neurosurgery and psychiatry* 2017; 88 (8) :E25-E26. doi: 10.1136/jnnp-2017-BNPA.55.
- 3) Tateno A, Sakayori T, Kim WC, Koeda M, Kumita S, Suzuki H, Okubo Y : Effect of apolipoprotein E phenotype on the association of plasma amyloid  $\beta$  and amyloid positron emission tomography imaging in Japan. *Alzheimer's & dementia (Amsterdam, Netherlands)* 2017; 9:51-56. doi: 10.1016/j.dadm.2017.08.002.
- 4) Eisho Yoshikawa, Toshiatsu Taniguchi, Nanako Nakamura-Taira, Shin Ishiguro, Hiromichi Matsumura : Factors associated with unwillingness to seek professional help for depression: A web-based survey. *BMC Research Notes* 2017; 10 (1) :673. doi: 10.1186/s13104-017-3010-1.
- 5) Michihiko Koeda, Yumiko Ikeda, Amane Tateno, Hidenori Suzuki, Yoshiro Okubo : Mazindol effect on cerebral response to nonverbal affective vocalisation in healthy individuals: an fmri study. *Journal of Neurology Neurosurgery and Psychiatry* 2017; 88 (8) :E35-E36. doi: 10.1136/jnnp-2017-BNPA.80.
- 6) Yumiko Ikeda, Takuya Funayama, Amane Tateno, Haruhisa Fukayama, Yoshiro Okubo, Hidenori Suzuki : Modafinil enhances alerting-related brain activity in attention networks. *Psychopharmacology* 2017; 234 (14) :2077-2089. doi: 10.1007/s00213-017-4614-9.
- 7) 野上 毅, 守屋 洋紀, 増岡 孝浩, 坂寄 健, 館野 周, 大久保 善朗 : PET イメージングを用いたうつ病におけるセロトニン 1B 受容体評価研究. *先進医薬研究振興財団研究成果報告集* 2018; 2017 年度:24-25.
- 8) Kotaro Hatta, Yasuhiro Kishi, Ken Wada, Takashi Takeuchi, Shigeo Ito, Akiko Kurata, Kazunori Murakami, Manabu Sugita, Chie Usui, Hiroyuki Nakamura : Preventive Effects of Suvorexant on Delirium: A Randomized Placebo-Controlled Trial. *Journal of clinical psychiatry* 2017; 78 (8) :E970+. doi: 10.4088/JCP.16m11194.
- 9) 坂寄 健, キム・ウーチャン, 館野 周, 大久保 善朗 : [11C]-(+)-PHNO を用いた blonanserin によるドパミン D3 受容体占有率の評価. *日本生物学的精神医学学会・日本神経精神薬理学会合同年会プログラム・抄録集* 2017; 39 回・47 回:195.
- 10) 岸 泰宏 : 【ARDS のすべて】呼吸不全患者の精神的症状と対策. *呼吸器内科* 2018; 33 (1) :52-58.
- 11) 下田 健吾, 木村 真人 : 【うつ病と認知症;鑑別と関連性】うつ病と血管性認知症. *老年精神医学雑誌* 2018; 29 (3) :258-266.
- 12) 坂寄 健 : 【カタトニア(緊張病)の治療を問い直す】カタトニアに対するベンゾジアゼピン治療と電気けいれん療法. *精神神経学雑誌* 2018; 120 (2) :99-105.
- 13) 竹島 正, 高井 美智子, 岸 泰宏, 右田 佳子, 日隈 励, 張 賢徳 : 【本気の精神科救急-ブレイクスルーとなるか】行政を含めた精神科救急・ケア体制構築の取り組み 神奈川県川崎市における自殺対策の取り組み. *救急医学* 2017; 41 (5) :552-558.
- 14) 朝山 健太郎 : 【精神科におけるてんかん診療】精神科で遭遇する高齢者のてんかん(解説/特集). *臨床精神医学* 2017; 46 (7) :911-918.
- 15) 澤谷 篤, 木村 真人 : 【臨床スタッフのための薬のあれこれ】(第1章)主な疾患でどのように薬が使われているか 不眠に対する薬物療法. *精神科臨床サービス* 2017; 17 (4) :386-391.
- 16) 館野 周, 大久保 善朗 : 【超高齢化社会の精神科診療】 老年期うつ病におけるアミロイドイメージングの意義. *臨床精神医学* 2017; 46 (11) :1395-1401.
- 17) 太組 一朗, 饒波 正博, 嘉手川 淳, 廣中 浩平, 足立 好司, 川上 康彦, 岸 泰宏, 森田 明夫 : てんかん医療の圏内均てん化 神奈川県と沖縄県における拠点施設に対する紹介患者医療圏分布からの考察. *てんかん研究* 2017; 35 (2) :500.

- 18) 高仲 雅子, 吉川 栄省, 奥山 隆二, 大町 梨恵子, 関原 正, 浜 佳恵, 多摩緩和ケアカンファレンスグループ: スムーズな地域連携に向けて 提供する医療器具の実態調査より. Palliative Care Research 2017; 12 (Suppl.) :S560.
- 19) 高仲 雅子, 吉川 栄省, 奥山 隆二, 大町 梨恵子, 関原 正, 浜 佳恵, 多摩緩和ケアカンファレンスグループ: スムーズな地域連携に向けて 提供する医療手技の実態調査より. Palliative Care Research 2017; 12 (Suppl.) :S561.
- 20) 肥田 道彦, 濱 智子, 池田 裕美子, 館野 周, 鈴木 秀典, 大久保 善朗: プロピオンの情動認知時脳賦活に与える影響 予備的 fMRI 研究. 日本生物学的精神医学会・日本神経精神薬理学会合同年会プログラム・抄録集 2017; 39 回・47 回:154.
- 21) 岸 泰宏: プライマリーケアにおけるコラボレーティブケア 海外の動向. 総合病院精神医学 2017; 29 (3) :291-292.
- 22) 肥田道彦, 長谷武志, 濱智子, 池田裕美子, 館野周, 鈴木秀典, 大久保善朗: ロラゼパム投与時の不安軽減度と恐怖感情認知脳内ネットワークの分布の関連:機能的 MRI 研究. 日本臨床精神神経薬理学会プログラム・抄録集 2017; 27th:119.
- 23) 吉川 栄省, 西 大輔, 松岡 豊: 企業就労者における抑うつに対するレジリエンスと揚げ物の摂取頻度の関係について. 脂質栄養学 2017; 26 (2) :211.
- 24) 吉川栄省, 西大輔, 松岡豊: 企業就労者における抑うつに対するレジリエンスと揚げ物の摂取頻度の関係について. 総合病院精神医学 2017; 29 (Supplement) :S.200-200.
- 25) 高仲 雅子, 吉川 栄省, 奥山 隆二, 大町 梨恵子, 関原 正, 浜 佳恵, 多摩緩和ケアカンファレンスグループ: 地域の他職種で考える病院からの在宅療養. 日本がん看護学会誌 2018; 32 (Suppl.) :176.
- 26) 大高 靖史, 成重 竜一郎, 肥田 道彦, 野上 毅, 坂寄 健, 朝山 健太郎, 高野 亜希子, 高橋 馨, 金 禹瑱, 増岡 孝浩, 西川 律子, 飯田 謙司, 大久保 善朗: 救急患者精神科継続支援開始後の院内体制整備の取り組みに関する報告. 総合病院精神医学 2017; 29 (Suppl.) :S-137.
- 27) 木村 真人, 秋山 友美, 肥田 道彦, 下田 健吾: 気分障害患者の m-ECT 前後における脳機能の変化 NIRS による予備的研究. Journal of International Society of Life Information Science 2018; 36 (1) :26-27.
- 28) 下田 健吾: 精神医学のトピックス 認知症とせん妄. 認知症の最新医療 2017; 7 (2) :92-93.
- 29) 下田 健吾: 老年精神医学の話題. 総合病院精神医学 2018; 30 (1) :38-44.
- 30) 藤本 泰樹, 野上 毅, 肥田 道彦, 成重 竜一郎, 館野 周, 大久保 善朗: 若年性統合失調症に対し、アリピプラゾール持続型注射剤が奏功した一例. 精神神経学雑誌 2017; 119 (10) :802.
- 31) 三宅 康史, 東岡 宏明, 大塚 耕太郎, 岸 泰宏, 日野 耕介, 河嶌 譲, 木本 啓太郎, 植田 真司, 田中 裕記, 奥野 史子, 伊藤 翼, 遠藤 恵美, 篠田 香恵, 厚坊 浩史, 川島 義高: 身体科救急スタッフに向けた精神症状を有する救急症例への標準的な精神科的初期診療とケア PEEC(Psychiatric Evaluation in Emergency Care)公開コース. 総合病院精神医学 2017; 29 (Suppl.) :S-108.
- 32) 北川 順久, 正田 千穂, 島田 宏之, 篠島 亜里, 湯澤 美都子, 館野 周, 大久保 善朗: 軟性ドルーゼンと脳内アミロイド  $\beta$  の関連. 日大医学雑誌 2017; 76 (6) :326.
- 33) 伊藤 滋朗, 岸 泰宏, 長谷川 智宏, 渡邊 顕弘, 望月 徹, 松田 潔: 過換気を主訴に救急受診となったくも膜下出血の一症例. 総合病院精神医学 2017; 29 (Suppl.) :S-198.
- 34) 濱 智子, 肥田 道彦, 池田 裕美子, 館野 周, 鈴木 秀典, 大久保 善朗: 音声情動認知時の機能的結合に対するプロピオンの効果 予備的 fMRI 研究. 日本生物学的精神医学会・日本神経精神薬理学会合同年会プログラム・抄録集 2017; 39 回・47 回:164.
- 35) 樫村 正美, 野村 俊明, 館野 周, 石渡 明子: 高齢者に向けた精神療法の応用 認知症患者とその介護者を対象とした認知行動的なアプローチ. 日本抗加齢医学会総会プログラム・抄録集 2017; 17 回:113.

## 著書

- 1) 下田 健吾: 〔編集〕認知症の最新医療 Vol.7 No.4 特集:アルツハイマー病に対する治療薬の現状と展望 ―進行予防から根治治療へ. 2017, フジメディカル出版.
- 2) 上田 諭: 〔分担執筆〕1. プロコン「抗認知症薬は効く?効かない?」, 2. レビー小体型認知症. 認知症はこう診る. 2017; pp.1. 194-206, 2. 230-237, 医学書院.



## 学会発表

- 1) Michihiko Koeda, Daisuke Tomizawa, Tomoko Hama, Yuichi Kato, Hiroyuki Karibe, Amane Tateno, Yoshiro Okubo : Cerebral response to non-verbal painful vocalization: A preliminary fMRI study. 24th World Congress on Psychosomatic Medicine. (China national convention center, Beijing, China) , 2017. 9.
- 2) 肥田 道彦 : Frontotemporal functional connectivity in recognition of vocal attractiveness and hallucinatory behavior: An fMRI study. The 4th International Consortium Meeting on Hallucination Research, 2017. 11.
- 3) Michihiko Koeda, Hidehiko Takahashi, Kunihiko Asai, Yoshiro Okubo : Frontotemporal functional connectivity in recognition of vocal attractiveness in schizophrenia: An fMRI study. The British Neuropsychiatry Association - 31st AGM. (Kings Place, London, UK) , 2018. 3.
- 4) 肥田 道彦 : Interaction effect of voice-specific function and BDNF Val66Met: An fMRI study. The 23rd Organization for Human Brain Mapping 2017 Annual Meeting. (Vancouver Convention Centre, Canada) , 2017. 6.
- 5) 坂寄 健, 金 禹瓚, 館野 周, 大久保 善朗 : [11C]-(+)-PHNO を用いた blonanserin によるドパミン D3 受容体占有率の評価. 第 39 回日本生物学的精神医学会・第 47 回日本神経精神薬理学会合同年会, 2017.
- 6) 濱 智子, 肥田道彦, 館野 周, 川良 徳弘, 大久保善朗 : アルツハイマー病と高齢者うつ病患者における seed-based 解析を用いた安静時脳内ネットワークの比較に関する予備的検討. 第 20 回日本ヒト脳機能マッピング学会, 2017. 10.
- 7) 坂寄健 : カタトニアに対するベンゾジアゼピン治療と ECT. 第 113 回日本精神神経学会学術総会シンポジウム, 2017.
- 8) 朝山 健太郎 : スリープクリニックにおける過眠を主訴とする若年者の受診動向と背景疾患についての考察. 精神神経学会学術総会, 2017. 7.
- 9) 肥田道彦, 濱 智子, 池田裕美子, 館野 周, 鈴木秀典, 大久保善朗 : ブロピオンの情動認知時脳賦活に与える影響:予備的 fMRI 研究. 第 39 回日本生物学的精神医学会・第 47 回日本神経精神薬理学会合同年会. (札幌コンベンションセンター、北海道) , 2017. 9.
- 10) 肥田 道彦 : ロラゼパム投与時の不安軽減度と恐怖感情認知脳内ネットワークの関連:機能的 MRI 研究. 第 27 回日本臨床精神神経薬理学会. (松江テルサ、島根) , 2017. 11.
- 11) 肥田 道彦 : 統合失調症の選択的音声感受領域の脳病態と FOXP2 関連遺伝子の影響に関する検討:日本生物学的精神医学会若手研究者育成プログラム. 第 39 回日本生物学的精神医学会・第 47 回日本神経精神薬理学会合同年会. (札幌コンベンションセンター、北海道) , 2017. 9.

## 11 小児・思春期医学分野

### 研究業績

#### 論文等

- 1) 矢代健太郎, 松川昇平, 横山愛子, 松村好克, 松村好克, 島義雄 : 1歳を越えて肺高血圧クリーゼを発症した慢性肺疾患の超SGA児の1例. 日本周産期・新生児医学会雑誌 2017; 53 (2) :704.
- 2) 松川昇平, 横山愛子, 矢代健太郎, 松村好克, 島義雄 : 2番染色体長腕部分欠失を認めた難治性てんかんの1例. 日本周産期・新生児医学会雑誌 2017; 53 (2) :745.
- 3) 宮武千晴, 佐野透美, 西郡綾子, 小泉慎也, 海津聖彦, 藤田敦士, 上砂光裕, 浅野健 : 7価小児用肺炎球菌結合型ワクチン接種後に肺炎球菌性髄膜炎に罹患した5歳男児例. 日本小児科学会雑誌 2017; 121 (4) :761.
- 4) Masaki Miyao, Tsubasa Takahashi, Eiji Uchida : A Case of Anomalous Congenital Band that Was Difficult to Differentiate from Omphalomesenteric Duct Anomaly. JOURNAL OF NIPPON MEDICAL SCHOOL 2017; 84 (6) :304-307. doi: 10.1272/jnms.84.304.
- 5) Kiyohiko Kaizu, Makoto Migita, Atsushi Fujita, Yumiko Nakajima, Yasuhiro Katsube, Takeshi Asano, Miho Maeda, Yasuhiko Itoh : A Case of Congenital Sideroblastic Anemia (CSA) with a Frameshift Mutation in SLC25A38. PEDIATRIC BLOOD & CANCER 2017; 64:S27-S28.
- 6) Kandai Nozu, Kazumoto Iijima, Toru Igarashi, Shiro Yamada, Jana Kralovicova, Yoshimi Nozu, Tomohiko Yamamura, Shogo Minamikawa, Ichiro Morioka, Takeshi Ninchoji, Hiroshi Kaito, Koichi Nakanishi, Igor Vorechovsky : A birth of bipartite exon by intragenic deletion. Molecular Genetics & Genomic Medicine 2017; 5 (3) :287-294. doi: 10.1002/mgg3.277.
- 7) Tanno LK, Casale T, Papadopoulos NG, Sanchez-Borges M, Thiens F, Pawankar R : A call to arms of specialty societies to review the WHO International Classification of Diseases, Eleventh Revision terms appropriate for the diseases they manage: The example of the Joint Allergy Academies. Allergy Asthma Proc. 2017; 38 (4) :54-55. doi: 10.2500/aap.2017.38.4063.
- 8) Jan L. Brozek, Jean Bousquet, Ioana Agache, Arnav Agarwal, Claus Bachert, Sinthia Bosnic-Anticevich, Romina Brignardello-Petersen, G. Walter Canonica, Thomas Casale, Niels H. Chavannes, Jaime Correia de Sousa, Alvaro A. Cruz, Carlos A. Cuello-Garcia, Pascal Demoly, Mark Dykewicz, Itziar Etxeandia-Ikobaltzeta, Ivan D. Florez, Wytse Fokkens, Joao Fonseca, Peter W. Hellings, Ludger Klimek, Sergio Kowalski, Piotr Kuna, Kaja-Triin Laisaar, Desiree E. Larenas-Linnemann, Karin C. Lodrup Carlsen, Peter J. Manning, Eli Meltzer, Joaquim Mullol, Antonella Muraro, Robyn O'Hehir, Ken Ohta, Petr Panzner, Nikolaos Papadopoulos, Hae-Sim Park, Gianni Passalacqua, Ruby Pawankar, David Price, John J. Riva, Yetiani Roldan, Dermot Ryan, Behnam Sadeghirad, Boleslaw Samolinski, Peter Schmid-Grendelmeier, Aziz Sheikh, Alkis Togias, Antonio Valero, Arunas Valiulis, Erkka Valovirta, Matthew Ventresca, Dana Wallace, Susan Wasserman, Magnus Wickman, Wojtek Wiercioch, Juan Jose Yepes-Nunez, Luo Zhang, Yuan Zhang, Mihaela Zidarn, Torsten Zuberbier, Holger J. Schunemann : Allergic Rhinitis and its Impact on Asthma (ARIA) guidelines-2016 revision. JOURNAL OF ALLERGY AND CLINICAL IMMUNOLOGY 2017; 140 (4) :950-958. doi: 10.1016/j.jaci.2017.03.050.
- 9) Tomohiro Udagawa, Tohaku Jo, Takeshi Yanagihara, Akira Shimizu, Jun Mitsui, Shoji Tsuji, Shinichi Morishita, Reiko Onai, Kenichiro Miura, Shoichiro Kanda, Yuko Kajihō, Haruko Tsurumi, Akira Oka, Motoshi Hattori, Yutaka Harita : Altered expression of Crb2 in podocytes expands a variation of CRB2 mutations in steroid-resistant nephrotic syndrome. PEDIATRIC NEPHROLOGY 2017; 32 (5) :801-809. doi: 10.1007/s00467-016-3549-4.
- 10) Nonaka M, Sakitani E, Ono E, Yamamura Y, Seo Y, Shibata N, Pawankar R, Yoshihara T : Basophils are increased and express increased levels of interleukin-4 in the parotid lesions of Kimura disease. Asia Pac Allergy. 2017; 7 (4) :221-226. doi: 10.5415/apallergy.2017.7.4.221.
- 11) A. Bonertz, G. C. Roberts, M. Hoefnagel, M. Timon, J. E. Slater, R. L. Rabin, J. Bridgewater, C. Pini, O. Pfaar, C. Akdis, J. Goldstein, L. K. Poulsen, R. van Ree, C. Rhyner, D. Barber, O. Palomares, A. Sheikh, R. Pawankar, D. Hamerlijnck, L. Klimek, I. Agache, E. Angier, T. Casale, M. Fernandez-Rivas, S. Halken, M. Jutel, S. Lau, G. Pajno, G. Sturm, E. M. Varga, R. Gerth van Wijk, S. Bonini, A. Muraro, S. Vieths : Challenges in the implementation of EAACI guidelines on allergen immunotherapy: A global

- perspective on the regulation of allergen products. *Allergy: European Journal of Allergy and Clinical Immunology* 2018; 73 (1) :64-76. doi: 10.1111/all.13266.
- 12) Ryuji Ohashi, Ryuji Fukazawa, Makoto Watanabe, Koji Hashimoto, Nobuko Suzuki, Noriko Nagi-Miura, Naohito Ohno, Akira Shimizu, Yasuhiko Itoh : Characterization of a murine model with arteritis induced by Nod1 ligand, FK565: A comparative study with a CAWS-induced model. *MODERN RHEUMATOLOGY* 2017; 27 (6) :1024-1030. doi: 10.1080/14397595.2017.1287150.
  - 13) Sveva Castelli, Stefania Arasi, Ruby Pawankar, Paolo M. Matricardi : Collection of nasal secretions and tears and their use in allergology. *Current Opinion in Allergy and Clinical Immunology* 2018; 18 (1) :1-9. doi: 10.1097/ACI.0000000000000412.
  - 14) 高木 篤史, 喜納 裕美, 笠原 優子, 川上 康彦, 岡田 尚巳, 伊藤 保彦 : DMD マウス行動解析における情動障害定量的評価システムの構築. *脳と発達* 2017; 49 (Suppl.) :S415.
  - 15) Yasuyuki Negishi, Yoshio Shima, Toshiyuki Takeshita, Hidemi Takahashi : Distribution of invariant natural killer T cells and dendritic cells in late pre-term birth without acute chorioamnionitis. *AMERICAN JOURNAL OF REPRODUCTIVE IMMUNOLOGY* 2017; 77 (6) doi: 10.1111/aji.12658.
  - 16) Tomoyuki Imagawa, Ken-ichi Yamaguchi, Yuzaburo Inoue, Hidehiko Narasaki, Yasuhito Nerome, Yasuhiko Itoh : Establishment of registry for pediatric rheumatic diseases in Japan: Pediatric Rheumatology International Collaboration Unit Registry (PRICURE) survey. *ARTHRITIS & RHEUMATOLOGY* 2017; 69:173-174.
  - 17) Yasuhiko Kawakami, Yasuhiko Itoh : Forced Normalization: Antagonism Between Epilepsy and Psychosis. *PEDIATRIC NEUROLOGY* 2017; 70:16-19. doi: 10.1016/j.pediatrneurol.2017.02.007.
  - 18) Sarah K. Wise, Sandra Y. Lin, Elina Toskala, Richard R. Orlandi, Cezmi A. Akdis, Jeremiah A. Alt, Antoine Azar, Fuad M. Baroody, Claus Bachert, G. Walter Canonica, Thomas Chacko, Cemal Cingi, Giorgio Ciprandi, Jacquelynne Corey, Linda S. Cox, Peter Socrates Creticos, Adnan Custovic, Cecelia Damask, Adam DeConde, John M. DelGaudio, Charles S. Ebert, Jean Anderson Eloy, Carrie E. Flanagan, Wytse J. Fokkens, Christine Franzese, Jan Gosepath, Ashleigh Halderman, Robert G. Hamilton, Hans Jürgen Hoffman, Jens M. Hohlfeld, Steven M. Houser, Peter H. Hwang, Cristoforo Incorvaia, Deborah Jarvis, Ayesha N. Khalid, Maritta Kilpeläinen, Todd T. Kingdom, Helene Krouse, Desiree Larenas-Linnemann, Adrienne M. Laury, Stella E. Lee, Joshua M. Levy, Amber U. Luong, Bradley F. Marple, Edward D. McCoul, K. Christopher McMains, Erik Melén, James W. Mims, Gianna Moscato, Joaquim Mullol, Harold S. Nelson, Monica Patadia, Ruby Pawankar, Oliver Pfaar, Michael P. Platt, William Reisacher, Carmen Rondón, Luke Rudmik, Matthew Ryan, Joaquin Sastre, Rodney J. Schlosser, Russell A. Settipane, Hemant P. Sharma, Aziz Sheikh, Timothy L. Smith, Pongsakorn Tantilipikorn, Jody R. Tversky, Maria C. Veling, De Yun Wang, Marit Westman, Magnus Wickman, Mark Zacharek : International Consensus Statement on Allergy and Rhinology: Allergic Rhinitis. *International Forum of Allergy and Rhinology* 2018; 8 (2) :108-352. doi: 10.1002/alr.22073.
  - 19) Shoichiro Kanda, Shigeru Horita, Takeshi Yanagihara, Akira Shimizu, Motoshi Hattori : M-type phospholipase A(2) receptor (PLA(2)R) glomerular staining in pediatric idiopathic membranous nephropathy. *PEDIATRIC NEPHROLOGY* 2017; 32 (4) :713-717. doi: 10.1007/s00467-016-3552-9.
  - 20) Takeshi Asano, Kiyohiko Kaizu, Itabashi Toshikazu, Fujita Atsushi, Yamanishi Miho, Hayakawa Jun, Ueda Takahiro, Iguchi Akihiro, Miyasho Taku, Maeda Miho : MTX-induced Leukoencephalopathy may be Caused by Inflammation Mediated by IL-6 and IL-8. *PEDIATRIC BLOOD & CANCER* 2017; 64:S98.
  - 21) C. Cingi, P. Gevaert, R. Moesges, C. Rondon, V. Hox, M. Rudenko, N. B. Muluk, G. Scadding, F. Manole, C. Hupin, W. J. Fokkens, C. Akdis, C. Bachert, P. Demoly, J. Mullol, A. Muraro, N. Papadopoulos, R. Pawankar, P. Rombaux, E. Toskala, L. Kalogjera, E. Prokopakis, P. W. Hellings, J. Bousquet : Multi-morbidities of allergic rhinitis in adults: European Academy of Allergy and Clinical Immunology Task Force Report. *CLINICAL AND TRANSLATIONAL ALLERGY* 2017; 7 doi: 10.1186/s13601-017-0153-z.
  - 22) Masaaki Mori, Syuji Takei, Yasuhiko Itoh, Ichiro Kobayashi, Minako Tomiita, Nami Okamoto, Kazuko Yamazaki : National Survey of Childhood-Onset Rheumatic Diseases Followed up in the Clinical Pediatric Facilities in Japan. *ARTHRITIS & RHEUMATOLOGY* 2017; 69
  - 23) P. W. Hellings, L. Klimek, C. Cingi, I. Agache, C. Akdis, C. Bachert, J. Bousquet, P. Demoly, P. Gevaert, V. Hox, C. Hupin, L. Kalogjera, F. Manole, R. Moesges, J. Mullol, N. B. Muluk, A. Muraro, N. Papadopoulos, R. Pawankar, C. Rondon, M.

- Rundenko, S. F. Seys, E. Toskala, L. Van Gerven, L. Zhang, N. Zhang, W. J. Fokkens : Non-allergic rhinitis: Position paper of the European Academy of Allergy and Clinical Immunology. ALLERGY 2017; 72 (11) :1657-1665. doi: 10.1111/all.13200.
- 24) ルビー パワンカール : Optimal control of asthma improved eosinophilic otitis media. Int Forum Allergy Rhinol 2018; 8 (1) :5-11. doi: 10.5415/apallergy.2018.8.e5.
- 25) Mario E. Zernotti, Ruby Pawankar, Ignacio Ansotegui, Hector Badellino, Juan Sebastian Croce, Elham Hossny, Motohiro Ebisawa, Nelson Rosario, Mario Sanchez Borges, Yuan Zhang, Luo Zhang : Otitis media with effusion and atopy: is there a causal relationship?. WORLD ALLERGY ORGANIZATION JOURNAL 2017; 10 (1) :37. doi: 10.1186/s40413-017-0168-x.
- 26) 赤羽洋祐, 来住修, 熊坂栄, 島義雄 : PDA 治療法変更による治療効果の検討. 日赤医学 2017; 69 (1) :286.
- 27) Wise SK, Lin SY, Toskala E, Orlandi RR, Akdis CA, Pawankar R : Pet al International Consensus Statement on Allergy and Rhinology: Allergic Rhinitis. Int Forum Allergy Rhinol. 2018 Feb;8(2):108-352. Int Forum Allergy Rhinol. 2018; 8 (2) :108-352.
- 28) C. Cuello-Garcia, A. Fiocchi, R. Pawankar, J. J. Yepes-Nunez, G. P. Morgano, Y. Zhang, A. Agarwal, S. Gandhi, L. Terracciano, H. J. Schunemann, J. L. Brozek : Prebiotics for the prevention of allergies: A systematic review and meta-analysis of randomized controlled trials. CLINICAL AND EXPERIMENTAL ALLERGY 2017; 47 (11) :1468-1477. doi: 10.1111/cea.13042.
- 29) Yasuyuki Negishi, Tomoko Ichikawa, Yoshio Shima, Toshiyuki Takeshita, Hidemi Takahashi : Role of innate immune cells in preterm birth and miscarriages induced by sterile inflammation in mice and humans. JOURNAL OF REPRODUCTIVE IMMUNOLOGY 2017; 124:73. doi: 10.1016/j.jri.2017.10.007.
- 30) Takako Miyamae, Syuji Takei, Yasuhiko Itoh, Hisashi Yamanaka : Survey of attitudes of non-pediatric rheumatologists among councilors of the Japan College of Rheumatology regarding transitional care. MODERN RHEUMATOLOGY 2017; 27 (6) :1047-1050. doi: 10.1080/14397595.2017.1285846.
- 31) Fiocchi A, Schunemann H, Ansotegui I, Assa'ad A, Bahna S, Pawankar R : The global impact of the DRACMA guidelines cow's milk allergy clinical practice. World Allergy Organ J. 2018; 4 (11) :2. doi: 10.1186/s40413-017-0179-7.
- 32) Marcus Maurer, Markus Magerl, Ignacio Ansotegui, Emel Aygören-Pürsün, Stephen Betschel, Konrad Bork, Tom Bowen, Henrik Balle Boysen, Henriette Farkas, Anete S. Grumach, Michihiro Hide, Constance Katelaris, Richard Lockey, Hilary Longhurst, William R. Lumry, Inmaculada Martinez-Saguer, Dumitru Moldovan, Alexander Nast, Ruby Pawankar, Paul Potter, Marc Riedl, Bruce Ritchie, Lanny Rosenwasser, Mario Sánchez-Borges, Yuxiang Zhi, Bruce Zuraw, Timothy Craig : The international WAO/EAACI guideline for the management of hereditary angioedema - The 2017 revision and update. World Allergy Organization Journal 2018; 11 (1) doi: 10.1186/s40413-017-0180-1.
- 33) Maurer M, Magerl M, Ansotegui I, Aygören-Pürsün E, Pawankar R : The international WAO/EAACI guideline for the management of hereditary angioedema. The 2017 Allergy 2018
- 34) Hidehiko Narazaki, Yusuke Terada, Kiyohiko Kaizu, Toyo Jitsukawa, Yasuhiko Ito, Takeshi Asano : Therapeutic Drug Monitoring Simulator for Antibiotic Dosage for Methicillin-Resistant Staphylococcus aureus Sepsis in a Patient with Primary Immunodeficiency on Peritoneal Dialysis. JOURNAL OF NIPPON MEDICAL SCHOOL 2017; 84 (4) :177-182. doi: 10.1272/jnms.84.177.
- 35) Tohru Okanishi, Ayataka Fujimoto, Hirotaka Motoi, Sotaro Kanai, Mitsuyo Nishimura, Tomohiro Yamazoe, Atsushi Takagi, Takamichi Yamamoto, Hideo Enoki : Total corpus callosotomy for epileptic spasms after acute encephalopathy with biphasic seizures and late reduced diffusion (AESD) in a case with tuberous sclerosis complex. BRAIN & DEVELOPMENT 2017; 39 (5) :431-434. doi: 10.1016/j.braindev.2016.11.010.
- 36) Shima Y, Kumasaka S, Nishimaki S : Urinary  $\beta$ 2-microglobulin and bronchopulmonary dysplasia: Trends in preterm infants. Pediatrics international : official journal of the Japan Pediatric Society 2017; 59 (11) :1169-1173. doi: 10.1111/ped.13407.
- 37) Minako Tomiita, Ichiro Kobayashi, Yuzaburo Inoue, Nami Okamoto, Naomi Iwata, Yukiko Nonaka, Ryoki Hara, Hiroaki Umebayashi, Yasuhiko Itoh, Masaaki Mori : Validation of New Criteria in "The Guidance for Diagnosis of Sjogren's Syndrome in Pediatric Patients". ARTHRITIS & RHEUMATOLOGY 2017; 69
- 38) J. J. Yepes-Nuñez, J. L. Brozek, A. Fiocchi, R. Pawankar, C. Cuello-García, Y. Zhang, G. P. Morgano, A. Agarwal, S. Gandhi, L. Terracciano, H. J. Schünemann : Vitamin D supplementation in primary allergy prevention: Systematic review of randomized and non-

- randomized studies. *Allergy: European Journal of Allergy and Clinical Immunology* 2018; 73 (1) :37-49. doi: 10.1111/all.13241.
- 39) 山西 慎吾 : 【小児リウマチ性疾患の最近の知見】 JIA の鑑別診断. *リウマチ科* 2017; 58 (3) :246-252.
- 40) 柳原 剛: 【小児科領域のクリニカルパス】 腎・泌尿器疾患. *小児科* 2017; 58 (11) :1307-1313.
- 41) 海津 聖彦, 浅野 健 : 【小児臨床検査のポイント 2017】 血液凝固・線溶系検査 循環抗凝血素. *小児内科* 2017; 49 (増刊) :130-132.
- 42) 植田 高弘 : 【日常生活にひそむ小児血液・腫瘍性疾患】 赤血球、血小板の異常 小球性貧血. *小児科診療* 2017; 80 (10) :1163-1168.
- 43) 太組 一朗, 饒波 正博, 嘉手川 淳, 廣中 浩平, 足立 好司, 川上 康彦, 岸 泰宏, 森田 明夫 : てんかん医療の圏内均てん化 神奈川県と沖縄県における拠点施設に対する紹介患者医療圏分布からの考察. *てんかん研究* 2017; 35 (2) :500.
- 44) 武田 彩佳, 国重 智之, 五十嵐 徹, 堀 純子 : アダリムマブが著効した間質性腎炎ぶどう膜炎症候群の一卵性双生児. *日本眼科学会雑誌* 2018; 122 (臨増) :258.
- 45) 勝部康弘, 今中恭子, 武田充人, 阿部淳, 小林徹, 益田博司, 大熊喜彰, 深澤隆治, 高月晋一, 加藤太一, 三谷義英, 廣野恵一, 池田和幸, 吉兼由佳子, 須田憲治, 永田弾 : テネイシンC, ペントラキシン3, 腫瘍壊死因子による免疫グロブリン大量療法への不応例予測の可能性—多施設共同研究—. *日本川崎病学会学術集会抄録集* 2017; 37th:147.
- 46) 小笠原 敦子, 泉 維昌, 鎌崎 穂高, 岩崎 信明, 五十嵐 徹, 村上 卓, 塩野 淳子 : スーナン類縁疾患である Noonan-like syndrome with loose anagen hair(NS/LAH)の成長障害は高度である. *日本内分泌学会雑誌* 2017; 93 (1) :258.
- 47) 上春 光司, 橋本 佳亮, 橋本 康司, 山西 慎吾, 五十嵐 徹, 清水 章, 伊藤 保彦 : ネフローゼ症候群(NS)を呈した ISKDC grade 2 の紫斑病性腎炎(HSPN)の1例. *日本小児科学会雑誌* 2018; 122 (2) :404.
- 48) 根岸靖幸, 島義雄, 市川智子, 竹下俊行, 高橋秀実 : ヒト, マウスにおける無菌性炎症を機転とする流早産の発症と自然免疫の役割. *Reproductive Immunology and Biology* 2017; 32 (1-2) :87.
- 49) 前田美穂 : フェリチン、トランスフェリン、Fe、TIBC. 小児臨床検査のポイント 2017. *小児内科* 2017; 49 (増刊号) :186-189.
- 50) 五十嵐 徹, 林 美雪, Pawankar Ruby, 山西 慎吾, 田辺 雄次郎, 竹下 輝, 尾崎 優介, 檜崎 秀彦, 五十嵐 勉, 伊藤 保彦 : ミルクアレルギーの乳児に4年間調整粉末大豆乳を使用し、大豆アレルギーを発症しない例. *アレルギー* 2017; 66 (4-5) :710.
- 51) 松本 多絵, 峯 牧子, 右田 真, 坂巻 健一, 小林 浩一 : 一般小児科における HCV 母子感染フォロー. *感染症学雑誌* 2017; 91 (3) :478-479.
- 52) 西田理子, 今井丈英, 竹田幸代, 高瀬真人, 鈴木美子, 加藤はる : 中毒性巨大結腸症を呈した重症 Clostridium difficile 感染症の小児の1例. *日本臨床腸内微生物学会誌* 2017; 19 (1) :47 - 48.
- 53) 高木豊, 小河原佳奈, 田村祥子, 渡辺敬志, 中島由美子, 森本進, 岸恵, 勝部康弘 : 凝固プロファイル曲線解析によるフィブリノゲン量の推定(第一報)凝固終了点の散乱光値を表す処理値による方法. *日本医学検査学会* 2017; 66th:ROMBUNNO.131 (WEB ONLY)-131.
- 54) 小河原佳奈, 高木豊, 田村祥子, 中島由美子, 菅原通, 森本進, 岸恵, 勝部康弘 : 凝固プロファイル曲線解析によるフィブリノゲン量の推定(第二報)凝固時間の散乱光値による方法について. *日本医学検査学会* 2017; 66th:ROMBUNNO.132 (WEB ONLY)-132.
- 55) 熊坂栄, 赤羽洋祐, 来住修, 寺田有佑, 島義雄 : 出生時における低亜鉛血症と周産期因子, 特に周産期感染との関連. *日本新生児育成医学学会雑誌* 2017; 29 (3) :640.
- 56) 松本 多絵 : 子どもの渡航医学(第1回) 子どもの発達と渡航. *チャイルドヘルス* 2017; 20 (6) :448-450.
- 57) 松本 多絵, 近 利雄 : 子どもの渡航医学(第4回) 山・海での注意点. *チャイルドヘルス* 2017; 20 (9) :698-701.
- 58) 松本 多絵 : 子どもの渡航医学(第5回) 発達障害のある子どもとの渡航. *チャイルドヘルス* 2017; 20 (10) :786-787.
- 59) 前田美穂 : 小児小児 ALL に対する造血幹細胞移植 : 晩期合併症とその対策. *血液内科* 2017; 75 (9) :309-315.
- 60) 柳原 剛, 楊井 瑛美, 伊藤 康彦 : 就職(宅配業)を契機に尿所見が増悪した IgA 腎症の1例. *日本小児科学会雑誌* 2018; 122 (2) :516.
- 61) 勝部康弘, 今中恭子, 武田充人, 阿部淳, 小林徹, 益田博司, 大熊喜彰, 深澤隆治, 高月晋一, 加藤太一, 三谷義英, 廣野恵一, 池田和幸, 吉兼由佳子, 須田憲治, 永田弾 : 川崎病バイオマーカーのエビデンス分類—バイオマーカー小委員会報告—. *日本川崎病学会学術集会抄録集* 2017; 37th:78.
- 62) 橋本康司, 築野香苗, 橋本佳亮, 渡邊誠, 赤尾見春, 上砂光祐, 勝部康弘, 深澤隆治 : 川崎病急性期冠動脈径と OCT(光干渉断層法)による血管壁破壊像との関係. *日本川崎病学会学術集会抄録集* 2017; 37th:176.
- 63) 内村 僚一, 植田 高弘, 深澤 隆治, 大橋 隆治, 右田 真, 前田 美穂, 伊藤 保彦 : 川崎病血管炎モデルマウスに対する脂肪由来間葉系幹細胞投与の効果検証. *日本小児科学会雑誌* 2018; 122 (2) :534.

- 64) 小池翠, 深澤隆治, 橋本佳亮, 橋本康司, 築野香苗, 渡邊誠, 赤尾見春, 上砂光裕, 勝部康弘: 川崎病診断時の冠動脈径 Z スコアは川崎病診断・重症度判定に寄与するか. 日本川崎病学会学術集会抄録集 2017; 37th:98.
- 65) 小泉 慎也, 宮武 千晴, 海津 聖彦, 上砂 光弘, 藤野 修, 浅野 健: 当科でフォロー中の発達障害症例について 7 年前との比較. 日本小児科学会雑誌 2018; 122 (2) :422.
- 66) 根岸靖幸, 島義雄, 高橋秀実, 竹下俊行: 後期早産脱着膜中に存在する樹状細胞の機能と絨毛膜羊膜炎との相関. 日本絨毛性疾患研究会・日本胎盤学会学術集会プログラム・抄録集 2017; 35th-25th:91.
- 67) 山西 未穂, 植田 高弘, 早川 潤, 藤田 敦士, 今井 耕輔, 中澤 温子, 浅野 健, 前田 美穂, 伊藤 保彦: 悪性リンパ腫診断後に免疫不全症を診断された 1 症例. 日本小児血液・がん学会雑誌 2017; 54 (4) :320.
- 68) 早坂 明哲, 井上 千鹿子, 伊藤 保彦, 竹下 俊行, 藤倉 輝道: 日本医科大学における全授業 LMS 利用の現状と課題. 医学教育 2017; 48 (Suppl.) :212.
- 69) 渡辺 敬志, 鳴海 武長, 若松 孝嘉, 作間 俊介, 渡部 百合子, 森本 進, 勝部 康弘: 日本医科大学付属四病院における血液凝固・線溶検査のデータ共有と標準化への取り組み(第 2 報). 日本医学検査学会抄録集 2017; 66 回:118.
- 70) 赤羽洋祐, 熊坂栄, 一木邦彦, 来住修, 島義雄: 日齢 2 の ALTE を契機に診断に至った新生児期発症型 MCAD 欠損症の 1 例. 日本周産期・新生児医学会雑誌 2017; 53 (2) :641.
- 71) 来住修, 赤羽洋祐, 寺田有佑, 熊坂栄, 島義雄: 極低出生体重児における新生児型 Bartter 症候群の 1 例. 日本新生児成育医学会雑誌 2017; 29 (3) :769.
- 72) 熊坂栄, 一木邦彦, 赤羽洋祐, 来住修, 寺田有佑, 島義雄: 構音障害を契機に診断を確定できた Moebius 症候群の 1 例. 日本周産期・新生児医学会雑誌 2017; 53 (2) :753.
- 73) 佐野透美, 松川昇平, 矢代健太郎, 橋本愛子, 島義雄: 欠損孔に比して呼吸不全が軽度であった有嚢性横隔膜ヘルニアの 1 例. 日本新生児成育医学会雑誌 2017; 29 (3) :710.
- 74) 赤羽洋祐, 熊坂栄, 来住修, 寺田有佑, 島義雄: 気道狭窄を合併した超低出生体重児についての検討. 日本新生児成育医学会雑誌 2017; 29 (3) :763.
- 75) 柳原 剛: 水腎は増悪するが閉塞性腎障害が進行しない巨大水腎症の 2 例. 日本医大雑誌 2017; 13(3):136-139. doi: 10.1272/manms.13.136.
- 76) 徐 東博, 柳原 剛, 楊井 瑛美, 吉崎 薫, 五十嵐 徹, 伊藤 保彦: 水腎症が増悪するにもかかわらず腎機能障害を認めない先天性巨大水腎症 2 例の検討. 日本小児腎臓病学会雑誌 2017; 30 (1Suppl.) :194.
- 77) 築野 香苗, 深澤 隆治, 橋本 佳亮, 橋本 康司, 伊藤 保彦: 生後 45 日目に突然死をきたした 2:1 房室ブロックを伴う先天性 QT 延長症候群の 1 例. 日本医科大学医学会雑誌 2018; 14 (1) :14-17.
- 78) 来住修, 赤羽洋祐, 寺田有佑, 一木邦彦, 熊坂栄, 島義雄: 産科クリニックで出生し沐浴後に急変した正期産児 2 例の検討. 日本周産期・新生児医学会雑誌 2017; 53 (2) :558.
- 79) 田辺 雄次郎, 楊井 瑛美, 尾崎 優介, 山西 慎吾, 徐 東博, 柳原 剛, 五十嵐 徹, 清水 章, 伊藤 保彦, 上杉 憲子: 細動脈の壊死性動脈炎を伴った紫斑病性腎炎の 13 歳女児例. 日本小児腎臓病学会雑誌 2017; 30 (2) :194.
- 80) 阿曾 亮子, 桑原 健太郎, 前田 美穂, 伊藤 保彦: 臨床実習前の医学生に対する小児科診療シミュレーショントレーニングの経験. 日本シミュレーション医療教育学会雑誌 2017; 5:49-55.
- 81) 島義雄, 根岸靖幸, 根岸靖幸, 竹下俊行, 高橋秀実: 自然免疫から考える後期早産. 日本周産期・新生児医学会雑誌 2017; 53 (2) :489.
- 82) 島義雄, 根岸靖幸, 根岸靖幸, 竹下俊行, 高橋秀実: 自然炎症としての後期早産. 日本新生児成育医学会雑誌 2017; 29 (3) :602.
- 83) 橋本康司, 築野香苗, 橋本佳亮, 渡邊誠, 赤尾見春, 上砂光裕, 勝部康弘, 深澤隆治, 新居正基: 著明な心不全を呈する心筋症を伴う Ebstein 奇形の 1 例. 日本小児心筋疾患学会学術集会プログラム・抄録集 2017; 26th:46.
- 84) 海津 聖彦, 小泉 慎也, 宮武 千晴, 上砂 光裕, 佐野 透美, 築野 香苗, 鈴木 たまほ, 橋本 佳亮, 星野 レイ, 寺田 有佑, 高木 篤史, 山西 未穂, 稲垣 真一郎, 藤田 敦士, 橋崎 秀彦, 藤野 修, 屋代 亜弓, 白 承炯, 浅野 健, 伊藤 保彦: 薬剤耐性(AMR)アクションプラン政策による入院患者への抗菌薬処方行動の変化. 日本小児科学会雑誌 2018; 122 (2) :410.
- 85) 山西未穂, 橋崎秀彦, 北川泰之, 前田美穂, 伊藤保彦, 伊藤保彦: 複数の抗菌薬に過敏反応を示し薬剤選択に苦慮した急性血行性化膿性骨髄炎の 10 歳女児. 日本小児感染症学会総会・学術集会プログラム・抄録集 2017; 49th
- 86) 高木豊, 田村祥子, 三橋太, 影山憲貴, 中島由美子, 森本進, 岸恵, 勝部康弘: 試験紙反射率を利用した高値尿検体の迅速定量測定の

試み. 医学検査 2017; 66 (5) :463 - 470-470. doi: 10.14932/jamt.16-78.

- 87) 橋本佳亮, 橋本康司, 築野香苗, 渡邊誠, 阿部正徳, 赤尾見春, 勝部康弘, 深澤隆治 : 遠隔期に左冠動脈前下行枝閉塞をきたした川崎病冠動脈瘤の2例. 心臓 2017; 49 (12) :1284 - 1285-1285.

## 著書

- 1) 松本 多絵, 近 利雄, 三島 伸介 : [分担執筆] 小児、アレルギー、トラベル&グローバルメディスン: 渡航前から帰国後・インバウンドまで. 2017, 南山堂.
- 2) 伊藤 保彦 [監修] : 日本小児リウマチ学会編 : 自己炎症性疾患診療ガイドライン 2017. 2017, 診断と治療社.

## 学会発表

- 1) ルビー パワンカール : Asthma and Rhinitis : Current perspectives to future directions. Mongolian Society of Allergy, 2017. 6.
- 2) 高木 篤史, 喜納 裕美, 笠原 優子, 川上 康彦, 岡田 尚巳, 伊藤 保彦 : DMD マウス行動解析における情動障害定量的評価システムの構築. 脳と発達, 2017. 5.
- 3) ルビー パワンカール : Early life Microbiome and Allergies. Chinese Society of Allergy Zhuhai, China, 2017. 8.
- 4) 深澤 隆治 : Evaluation of coronary vascular destruction by Optical Coherence Tomography and coronary artery diameter in acute phase of Kawasaki disease. The 8th Japan-China-Korea Heart Forum, 2017. 7.
- 5) ルビー パワンカール : FDEIA to soy and Glym 4 and 5 in Japanese children. Japanese Society of Pediatric Allergy Annual Congress, 2017. 10.
- 6) 深澤 隆治 : Functional Assessment of Coronary Arteries. 7th World Congress of Pediatric Cardiology and Cardiac Surgery, 2017.
- 7) 伊藤 保彦 : JIA Overview. 第1回 Co-stimulators' Assembly, 2017. 5.
- 8) 原 良紀, 梅林 宏明, 武井 修治, 岡本 奈美, 岩田 直美, 河野 嘉文, 天野 徳仁, 高橋 陽子, 森 雅亮, 伊藤 保彦, 横田 俊平 : MTX 又は生物学的製剤で効果不十分の若年性特発性関節炎(JIA)におけるアバタセプトの有効性および安全性の検討 多施設共同非盲検第3相試験. 日本小児リウマチ学会総会・学術集会プログラム・抄録集, 2017. 10.
- 9) ルビー パワンカール : Microbiome, air pollution and allergies. European Academy of Allergy and Clinical Immunology, Munich, 2018. 5.
- 10) Minako Tomiita, Ichiro Kobayashi, Yuzaburo Inoue, Nami Okamoto, Naomi Iwata, Yukiko Nonaka, Ryoki Hara, Hiroaki Umebayashi, Yasuhiko Itoh, Masaaki Mori : Validation of New Criteria in "The Guidance for Diagnosis of Sjögren's Syndrome in Pediatric Patients". 2017 ACR/ARHP Annual Meeting, 2017. 9.
- 11) 杉本 諒司, 根井 貴仁, 榎原 岳, 伊藤 寿彦, 須藤 悦宏, 金 竜, 榎崎 秀彦, 泉谷 秀昌 : 「主治医を感激させた微生物検査-検査技師の知識・経験と第六感-」 part 3 血液培養から分離された塗抹鏡検像が物議を醸した化膿性脊椎炎の1例. 日本臨床微生物学雑誌, 2017. 12.
- 12) 上春 光司, 橋本 佳亮, 橋本 康司, 山西 慎吾, 五十嵐 徹, 清水 章, 伊藤 保彦 : ネフローゼ症候群(NS)を呈した ISKDC grade 2 の紫斑病性腎炎(HSPN)の1例. 日本小児科学会雑誌, 2018. 2.
- 13) 五十嵐 徹, 林 美雪, Pawankar Ruby, 山西 慎吾, 田辺 雄次郎, 竹下 輝, 尾崎 優介, 榎崎 秀彦, 五十嵐 勉, 伊藤 保彦 : ミルクアレルギーの乳児に4年間調整粉末大豆乳を使用し、大豆アレルギーを発症しない例. アレルギー, 2017. 5.
- 14) 三浦 大, 鮎澤 衛, 磯貝 俊明, 塩野 淳子, 津田 悦子, 深澤 隆治, 三谷 義英, 須田 憲治, 脇 研自 : 多施設共同による川崎病冠動脈瘤の予後と管理 後方視的研究からレジストリ研究へ. 日本心臓病学会学術集会抄録, 2017. 9.
- 15) 柳原 剛 : 学校検尿の基礎と臨床. 東京北医療センター 小児科公開勉強会, 2018. 3.
- 16) 深澤 隆治 : 川崎病の心臓障害-総まとめと最新情報-. 第37回日本川崎病学会市民公開講座, 2017. 10.
- 17) 深澤 隆治 : 川崎病冠動脈瘤の発生機序と巨大瘤の遠隔期管理・予後について. 第17回福島県川崎病研究会, 2017. 5.
- 18) 深澤 隆治 : 川崎病急性期と遠隔期の治療と問題点. 第68回富士循環疾患研究会, 2017. 10.
- 19) 内村 僚一, 植田 高弘, 深澤 隆治, 大橋 隆治, 右田 真, 前田 美穂, 伊藤 保彦 : 川崎病血管炎モデルマウスに対する脂肪由来間葉系幹細胞投与の効果検証. 日本小児科学会雑誌, 2018. 2.
- 20) 山西 未穂, 植田 高弘, 早川 潤, 藤田 敦士, 今井 耕輔, 中澤 温子, 浅野 健, 前田 美穂, 伊藤 保彦 : 悪性リンパ腫診断後に免疫不全症を診断された1症例. 日本小児血液・がん学会雑誌, 2017. 10.
- 21) 早坂 明哲, 井上 千鹿子, 伊藤 保彦, 竹下 俊行, 藤倉 輝道 : 日本医科大学における全授業 LMS 利用の現状と課題. 医学教育, 2017. 8.

- 22) 徐 東博, 柳原 剛, 楊井 瑛美, 吉崎 薫, 五十嵐 徹, 伊藤 保彦: 水腎症が増悪するにもかかわらず腎機能障害を認めない先天性巨大水腎症 2 例の検討. 日本小児腎臓病学会雑誌, 2017. 5.
- 23) 田辺 雄次郎, 楊井 瑛美, 尾崎 優介, 山西 慎吾, 徐 東博, 柳原 剛, 五十嵐 徹, 清水 章, 伊藤 保彦, 上杉 憲子: 細動脈の壊死性動脈炎を伴った紫斑病性腎炎の 13 歳女児例. 日本小児腎臓病学会雑誌, 2017. 11.
- 24) 伊藤 保彦: 自己抗原から考えるシェーグレン症候群と小児の自己免疫疾患. 第 26 回日本シェーグレン症候群学会学術集会, 2017. 9.
- 25) 海津 聖彦, 小泉 慎也, 宮武 千晴, 上砂 光裕, 佐野 透美, 築野 香苗, 鈴木 たまほ, 橋本 佳亮, 星野 レイ, 寺田 有佑, 高木 篤史, 山西 未穂, 稲垣 真一郎, 藤田 敦士, 檜崎 秀彦, 藤野 修, 屋代 亜弓, 白 承炯, 浅野 健, 伊藤 保彦: 薬剤耐性(AMR)アクションプラン政策による入院患者への抗菌薬処方行動の変化. 日本小児科学会雑誌, 2018. 2.
- 26) 橋本 佳亮, 橋本 康司, 築野 香苗, 渡邊 誠, 阿部 正徳, 赤尾 見春, 勝部 康弘, 深澤 隆治: 遠隔期に左冠動脈前下行枝閉塞をきたした川崎病冠動脈瘤の 2 例. 心臓, 2017. 12.



## 12 臨床放射線医学分野

### 研究業績

#### 論文等

- 1) Tetsuro Sekine, Ryo Takagi, Yasuo Amano, Yasuo Murai, Erika Orita, Yoshimitsu Fukushima, Yoshio Matsumura, Shin-Ichiro Kumita : 4D Flow MR Imaging of Ophthalmic Artery Flow in Patients with Internal Carotid Artery Stenosis. *Magnetic resonance in medical sciences : MRMS : an official journal of Japan Society of Magnetic Resonance in Medicine* 2018; 17 (1) :13-20. doi: 10.2463/mrms.mp.2016-0074.
- 2) 関根 鉄朗 : 4D Flow MRI を用いた脳血管バイパス術前・術後の血流動態評価. *日本医科大学医学会雑誌* 2017; 13 (4) :237-238.
- 3) 村田 智, 上田 達夫, 杉原 史恵, 安井 大祐, 齊藤 英正, 三樹 いずみ, 小野澤 志郎, 汲田 伸一郎 : AMPLATZER VASCULAR Plug の適用とテクニック AVP 4 を中心に. *Rad Fan* 2017; 15 (5) :2-5.
- 4) 平良 美紀, 上田 遥香, 平戸 基輝, 稲嶺 達夫, 近藤 新二, 福田 大輔, 磯本 一, 塚元 和弘 : ATG16L1 と ATG12 の遺伝子多型は *H.pylori* 陽性者の胃粘膜萎縮の進展と相関する. *日本薬学会年会要旨集* 2018; 138 年会 (4) :60.
- 5) 上田 達夫, 林 宏光, 齊藤 英正, 岩田 琴美, 汲田 伸一郎 : CT/MRI 画像診断 (特集 大動脈疾患を見直す) -- (画像で大動脈疾患をどうみるか). *Heart view* 2017; 21 (7) :701-710.
- 6) 黒岩 愛里, 市川 太郎, 富山 毅, 橋和 聡文, 一色 彩子, 竹ノ下 尚子, 金城 忠志, 田島 廣之 : Cornelia de Lange 症候群(CDLS)に伴う盲腸捻転症の一例. *神奈川医学会雑誌* 2017; 44 (2) :285.
- 7) Tatsuo Ueda, Hiroyuki Tajima, Satoru Murata, Ryo Takagi, Hiroyuki Yokota, Shin-Ichiro Kumita : Chopstick Injury: Successful Stent-Graft Therapy for Traumatic Left Subclavian Artery Aneurysm. *Journal of Nippon Medical School* 2017; 84(1):41-44.
- 8) Tateno A, Sakayori T, Kim WC, Koeda M, Kumita S, Suzuki H, Okubo Y : Effect of apolipoprotein E phenotype on the association of plasma amyloid  $\beta$  and amyloid positron emission tomography imaging in Japan. *Alzheimer's & dementia (Amsterdam, Netherlands)* 2017; 9:51-56. doi: 10.1016/j.dadm.2017.08.002.
- 9) Tatsuo Ueda, Satoru Murata, Izumi Miki, Daisuke Yasui, Fumie Sugihara, Hiroyuki Tajima, Tetsuro Morota, Shin-Ichiro Kumita : Endovascular Treatment Strategy Using Catheter-Directed Thrombolysis, Percutaneous Aspiration Thromboembolectomy, and Angioplasty for Acute Upper Limb Ischemia. *CARDIOVASCULAR AND INTERVENTIONAL RADIOLOGY* 2017; 40 (7) :978-986. doi: 10.1007/s00270-017-1599-z.
- 10) Tajima H, Kaneshiro T, Takenoshita N, Ichikawa T, Isshiki S, Murata S, Onozawa S, Nakazawa K : Endovenous Treatment for Acute Massive Pulmonary Thromboembolism. *Annals of vascular diseases* 2017; 10 (4) :338-344. doi: 10.3400/avd.ra.17-00082.
- 11) Rie Aoyama, Hitoshi Takano, Yasuhiro Kobayashi, Mitsunobu Kitamura, Kuniya Asai, Yasuo Amano, Shin-ichiro Kumita, Wataru Shimizu : Evaluation of myocardial glucose metabolism in hypertrophic cardiomyopathy using F-18-fluorodeoxyglucose positron emission tomography. *PLOS ONE* 2017; 12 (11) :e0188479. doi: 10.1371/journal.pone.0188479.
- 12) Izumi Miki, Satoru Murata, Fumio Uchiyama, Daisuke Yasui, Tatsuo Ueda, Fumie Sugihara, Hidemasa Saito, Hidenori Yamaguchi, Ryusuke Murakami, Chiaki Kawamoto, Eiji Uchida, Shin-Ichiro Kumita : Evaluation of the relationship between hepatocellular carcinoma location and transarterial chemoembolization efficacy. *WORLD JOURNAL OF GASTROENTEROLOGY* 2017; 23 (35) :6437-6447. doi: 10.3748/wjg.v23.i35.6437.
- 13) Keisuke Inui, Kuniya Asai, Masaki Tachi, Aya Yoshinaga, Yuki Izumi, Yoshiaki Kubota, Koji Murai, Yayoi Tetsuo Tsukada, Yasuo Amano, Shinichiro Kumita, Wataru Shimizu : Extracellular volume fraction assessed using cardiovascular magnetic resonance can predict improvement in left ventricular ejection fraction in patients with dilated cardiomyopathy. *Heart and Vessels* 2018; 33 (10) :1-9. doi: 10.1007/s00380-018-1154-0.
- 14) Tomonari Kiriya, Yoshimitsu Fukushima, Hiromitsu Hayashi, Hitoshi Takano, Shin-Ichiro Kumita : Feasibility of combined risk stratification with coronary CT angiography and stress myocardial SPECT in patients with chronic coronary artery disease. *Annals of nuclear medicine* 2018; 32 (1) :22-33. doi: 10.1007/s12149-017-1214-z.

- 15) Hidenobu Hashimoto, Yoshimitsu Fukushima, Shin-ichiro Kumita, Takeshi Tomiyama, Tomonari Kiriya : Feasibility of myocardial flow reserve prediction without the use of dynamic data from myocardial perfusion positron emission tomography. *International Journal of Cardiovascular Imaging* 2018;1-7. doi: 10.1007/s10554-018-1335-z.
- 16) 廣本 敦之, 石井 庸介, 山田 直輝, 井関 陽平, 青山 純也, 上田 仁美, 森嶋 素子, 鈴木 憲治, 栗田 二郎, 佐々木 孝, 坂本 俊一郎, 宮城 泰雄, 師田 哲郎, 新田 隆, 桐山 智成, 福嶋 善光, 汲田 伸一郎 : GEAを用いて右冠動脈系へin-situ bypassを行ったCABG症例の検討. *日本心臓血管外科学会学術総会抄録集* 2018; 48回:94.
- 17) Fumie Sugihara, Satoru Murata, Tatsuo Ueda, Daisuke Yasui, Hidenori Yamaguchi, Izumi Miki, Chiaki Kawamoto, Eiji Uchida, Shin-ichiro Kumita : Haemodynamic changes in hepatocellular carcinoma and liver parenchyma under balloon occlusion of the hepatic artery. *EUROPEAN RADIOLOGY* 2017; 27 (6) :2474-2481. doi: 10.1007/s00330-016-4573-2.
- 18) 栗田 二郎, 上田 達夫, 村田 智, 田島 廣之, 師田 哲郎, 新田 隆 : High Risk 胸腹部大動脈瘤に対するVisceral Debranching TEVARの遠隔期成績. *日本血管外科学会雑誌* 2017; 26 (Suppl.) :P19-10.
- 19) 小野澤 志郎, 村田 悟, 上田 達夫, 田島 廣之, 興梠 征典 : IVR技術のいろは IVRのいろは ゼラチンスポンジ. *IVR: Interventional Radiology* 2017; 32 (Suppl.) :131.
- 20) Tetsuro Sekine, Felipe de Galiza Barbosa, Gaspar Delso, Irene A. Burger, Paul Stolzmann, Edwin E. ter Voert, Gerhard F. Huber, Spyros S. Kollias, Gustav K. von Schulthess, Patrick Veit-Haibach, Martin W. Huellner : Local resectability assessment of head and neck cancer: Positron emission tomography/MRI versus positron emission tomography/CT. *HEAD AND NECK-JOURNAL FOR THE SCIENCES AND SPECIALTIES OF THE HEAD AND NECK* 2017; 39 (8) :1550-1558. doi: 10.1002/hed.24783.
- 21) Yasuo Amano, Fumi Yanagisawa, Masaki Tachi, Hidenobu Hashimoto, Shogo Imai, Shinichiro Kumita : Myocardial T2 Mapping in Patients With Hypertrophic Cardiomyopathy. *JOURNAL OF COMPUTER ASSISTED TOMOGRAPHY* 2017; 41 (3) :344-348. doi: 10.1097/RCT.0000000000000521.
- 22) Yanagisawa F, Amano Y, Tachi M, Inui K, Asai K, Kumita S : Non-contrast-enhanced T<sub>1</sub> Mapping of Dilated Cardiomyopathy: Comparison between Native T<sub>1</sub> Values and Late Gadolinium Enhancement. *Magnetic resonance in medical sciences: MRMS: an official journal of Japan Society of Magnetic Resonance in Medicine* 2018; 18 (1) :12-18. doi: 10.2463/mrms.mp.2017-0136.
- 23) Kenshiro Takeda, Takeshi Hara, Xiangrong Zhou, Tetsuro Katafuchi, Masaya Kato, Satoshi Ito, Keiichi Ishihara, Shinichiro Kumita, Hiroshi Fujita : Normal model construction for statistical image analysis of torso FDG-PET images based on anatomical standardization by CT images from FDG-PET/CT devices. *INTERNATIONAL JOURNAL OF COMPUTER ASSISTED RADIOLOGY AND SURGERY* 2017; 12 (5) :777-787. doi: 10.1007/s11548-017-1526-4.
- 24) Daisuke Yasui, Satoru Murata, Tatsuo Ueda, Fumie Sugihara, Shiro Onozawa, Chiaki Kawamoto, Shinichiro Kumita : Novel treatment strategy for advanced hepatocellular carcinoma: combination of conventional transcatheter arterial chemoembolization and modified method with portal vein occlusion for cases with arteriportal shunt: a preliminary study. *ACTA RADIOLOGICA* 2018; 59 (3) :266-274. doi: 10.1177/0284185117717762.
- 25) 関根 鉄朗, 小林 靖宏, 木村 克美, 汲田 伸一郎 : PET/MR機におけるMRを用いた吸収補正法の進歩. *臨床核医学* 2017; 50 (4) :56-61.
- 26) Tetsuro Sekine, Gaspar Delso, Konstantinos G. Zeimpekis, Felipe De Galiza Barbosa, Edwin E.G.W.Ter Voert, Martin Huellner, Patrick Veit-Haibach : Reduction of 18F-FDG dose in clinical PET/MR imaging by using silicon photomultiplier detectors. *Radiology* 2018; 286 (1) :249-259. doi: 10.1148/radiol.2017162305.
- 27) Yasuo Amano, Fumi Yanagisawa, Mitsunobu Kitamura, Masaki Tachi, Shinichiro Kumita : Relationship of Nonseptal Late Gadolinium Enhancement to Ventricular Tachyarrhythmia in Hypertrophic Cardiomyopathy. *JOURNAL OF COMPUTER ASSISTED TOMOGRAPHY* 2017; 41 (5) :768-771. doi: 10.1097/RCT.0000000000000599.
- 28) Obayashi Kotaro, Kimura Go, Kuribayashi Shigehiko, Shibayama Keita, Sano Masayuki, Tanabe Kuniaki, Akatsuka Jun, Hayashi Tatsuro, Toyama Yuka, Hamasaki Tsutomu, Maebayashi Katsuya, Kumita Shinichiro, Kondo Yukihiro : Secondary malignancies following low-dose-rate brachytherapy for prostate cancer in a single institution. *JOURNAL OF CLINICAL ONCOLOGY* 2018; 36 (6) doi: 10.1200/JCO.2018.36.6\_suppl.142.

- 29) 岩田 琴美, 村上 隆介, 谷 瞳, 福嶋 善光, 汲田 伸一郎, 中井 麻木, 栗田 智子, 柳原 恵子, 武井 寛幸, 松原 美幸 : T1-T2N0 乳癌における PET/CT 検査の検討. 日本乳癌学会総会プログラム抄録集 2017; 25 回:570.
- 30) Masaya Suda, Tomonari Kiriya, Keiichi Ishihara, Masahisa Onoguchi, Yasuhiro Kobayashi, Minoru Sakurai, Takayuki Shibutani, Shin-ichiro Kumita : The high matrix acquisition technique for imaging of atherosclerotic plaque inflammation in fluorine-18 fluorodeoxyglucose positron emission tomography/computed tomography with time-of-flight: Phantom study. JOURNAL OF NUCLEAR CARDIOLOGY 2017; 24 (4) :1161-1170. doi: 10.1007/s12350-016-0510-7.
- 31) Yasuo Amano, Fumi Yanagisawa, Masaki Tachi, Kuniya Asai, Yasuyuki Suzuki, Hidenobu Hashimoto, Kiyohisa Ishihara, Shinichiro Kumita : Three-dimensional Cardiac MR Imaging: Related Techniques and Clinical Applications. MAGNETIC RESONANCE IN MEDICAL SCIENCES 2017; 16 (3) :183-189. doi: 10.2463/mrms.rev.2016-0116.
- 32) Mitsunobu Kitamura, Yasuo Amano, Morimasa Takayama, Junsuke Shibuya, Junya Matsuda, Hideto Sangen, Shunichi Nakamura, Hitoshi Takano, Kuniya Asai, Shinichiro Kumita, Wataru Shimizu : Usefulness of Non-Anteroseptal Region Left Ventricular Hypertrophy Using Cardiac Magnetic Resonance to Predict Repeat Alcohol Septal Ablation for Refractory Obstructive Hypertrophic Cardiomyopathy. AMERICAN JOURNAL OF CARDIOLOGY 2017; 120 (1) :124-130. doi: 10.1016/j.amjcard.2017.03.248.
- 33) 福嶋 善光, 杉原 康朗, 汲田 伸一郎 : [99m]Tc-MIBI-SPECT/CT による腎腫瘍の病理組織学的な鑑別診断 (組織診断と浸潤診断). 腎臓内科・泌尿器科 = Nephrology & urology 2017; 6 (1) :61-64.
- 34) 金城 忠志, 竹ノ下 尚子, 田島 廣之 : 【動脈・静脈の疾患(上)-最新の診断・治療動向-】 動脈・静脈疾患の検査 静脈疾患の検査 血管造影. 日本臨床 2017; 75 (増刊 4 動脈・静脈の疾患(上)) :213-217.
- 35) 上田 達夫, 林 宏光 : 【大動脈疾患の画像診断:画像所見・画像からみた自然史・治療効果判定】 急性期大動脈疾患の画像診断. 臨床画像 2018; 34 (1) :16-29.
- 36) 上田 達夫, 林 宏光, 齊藤 英正, 岩田 琴美, 汲田 伸一郎 : 【大動脈疾患を見直す】 診る 画像で大動脈疾患をどうみるか CT/MRI 画像診断. Heart View 2017; 21 (7) :701-710.
- 37) 上田 達夫, 林 宏光, 齊藤 英正, 岩田 琴美 : 【放射線科研修医の胸腹部画像診断 must know】 心・大血管. 臨床画像 2017; 33 (10 月増刊) :70-83.
- 38) 汲田 伸一郎, 桐山 智成, 上田 達夫 : 【深部静脈血栓症・肺血栓塞栓症-わが国の現状と最近の進歩】 深部静脈血栓症・肺血栓塞栓症の画像診断. 日本医師会雑誌 2017; 146 (1) :33-36.
- 39) 関根 鉄朗 : 【腎泌尿器疾患の画像診断の進歩】 腎疾患の MRI. 腎臓内科・泌尿器科 2017; 6 (1) :8-16.
- 40) 汲田 伸一郎, 桐山 智成, 今井 祥吾, 福嶋 善光 : 【虚血性心疾患の画像診断,マルチモダリティ-私ならこう使う-】 心筋虚血診断における心筋血流 PET の有用性. 臨床放射線 2018; 63 (3) :281-290. doi: 10.18888/rp.0000000368.
- 41) 石井 庸介, 福嶋 善光, 坂本 俊一郎, 宮城 泰雄, 栗田 二郎, 廣本 敦之, 青山 純也, 井関 陽平, 山田 直輝, 汲田 伸一郎, 新田 隆 : ハイブリッド心臓 SPECT/CT 画像により心筋血流および代謝を評価した冠動脈バイパス術の有効性(Efficacy of Coronary Artery Bypass Grafting Evaluated Myocardial Perfusion and Metabolism by Hybrid Cardiac SPECT/CT Imaging). 日本循環器学会学術集会抄録集 2018; 82 回:PJ038-6.
- 42) 嶺 貴彦, 齊藤 英正, 田島 廣之 : 【内科救急と画像診断・IVR-検査から治療法の選択まで-】 IVR を考慮すべき内科救急疾患:画像診断から治療方針決定へ 急性呼吸不全 肺塞栓症と深部静脈血栓症. 診断と治療 2017;105(12) : 1535-1541.
- 43) 天野康雄, 柳澤美美, 城正樹, 汲田伸一郎, 乾恵輔, 浅井邦也, 鈴木康之, 松本直也 : マルチモダリティによる Cardiac Imaging 2017 臨床編 II MRI のストラテジー&アウトカム 心臓 MRI の最新動向と今後の展望. Innervision 2017; 32 (5)
- 44) 谷 瞳, 岩田 琴美, 桑子 智之, 村上 隆介, 汲田 伸一郎, 中井 麻木, 栗田 智子, 柳原 恵子, 武井 寛幸, 松原 美幸, 吉田 民子, 菊池 真理, 内山 菜智子 : 乳房デジタルトモシンセシスが診断に有用であった乳癌の検討. 日本乳癌学会総会プログラム抄録集 2017; 25 回:414.
- 45) Fukushima Yoshimitsu, Ishii Yosuke, Nitta Takashi, Kumita Shinichiro : 冠動脈バイパス術後の冠動脈疾患を有する患者における心灌流ハイブリッド SPECT/CT 診断検査の影響(Diagnostic Impact of Hybrid Cardiac Perfusion SPECT/CT for Patients with Coronary Artery Disease after Coronary Artery Bypass Grafting). 日本循環器学会学術集会抄録集 2018; 82 回:OE04-7.
- 46) 桐山 智成 : 半導体検出器ガンマカメラの光と影 GE 社製 Discovery NM530c の臨床的価値と課題について. 日本心臓核医学会ニュースレ

- ター 2017; 19 (2) :32.
- 47) 石井 庸介, 坂本 俊一郎, 宮城 泰雄, 佐々木 孝, 栗田 二郎, 鈴木 憲治, 廣本 敦之, 青山 純也, 上田 仁美, 井関 陽平, 山田 直輝, 師田 哲郎, 福嶋 善光, 桐山 智成, 汲田 伸一郎, 新田 隆: 回旋枝の sequential graft は動脈グラフトを用いるべきか? 負荷心筋シンチによる検証. 日本心臓血管外科学会学術総会抄録集 2018; 48 回:140.
- 48) 岩田 琴美, 林 宏光, 上田 達夫, 齋藤 英正, 汲田 伸一郎: 大動脈解離における Ulcer-like projection の経時的变化に関する検討. 脈管学 2017; 57 (Suppl.) :S170.
- 49) 小野 真平, 小川 令, 林 宏光, 大井 宏之: 安全な皮弁手術を行うために 安全な皮弁手術を行うための MDCT による穿通枝術前造影検査の有用性. 日本形成外科学会誌 2017; 37 (6) :320.
- 50) 今井 祥吾, 関根 鉄朗: 実践!画像診断 Q&A このサインを見落とすな (Case 1) 救急画像編 "ある物"を誤飲したとして来院した 80 歳代女性. レジデントノート 2017; 19 (9) :1547-1548.
- 51) 田中 泉, 関根 鉄朗: 実践!画像診断 Q&A このサインを見落とすな (Case1)[救急画像編] アルコール依存症の 30 歳代女性. レジデントノート 2018; 19 (16) :2711-2712.
- 52) 岩田 琴美, 関根 鉄朗: 実践!画像診断 Q&A このサインを見落とすな (Case1)救急画像編 突然の意識障害、左不全麻痺を発症した 70 歳代男性. レジデントノート 2017; 19 (10) :1703-1704.
- 53) 齋藤 英正, 関根 鉄朗: 実践!画像診断 Q&A このサインを見落とすな [救急画像編] 腹痛と嘔気て救急外来を受診した 50 歳代男性. レジデントノート 2017; 19 (13) :2213-2214.
- 54) 安藤 嵩浩, 関根 鉄朗: 実践!画像診断 Q&A このサインを見落とすな 救急画像編 発熱、会陰部痛で来院した 90 歳代男性. レジデントノート 2017; 19 (12) :2065-2066.
- 55) 関根 鉄朗: 実践!画像診断 Q&A このサインを見落とすな 救急画像編 首の痛みと一過性健忘を認めた 70 歳代男性. レジデントノート 2017; 19 (4) :605-606.
- 56) 山根 彩, 関根 鉄朗: 実践!画像診断 Q&A-このサインを見落とすな 救急画像編 下腹部痛・右下肢痛を主訴に受診した 40 歳代女性. レジデントノート 2018; 19 (18) :3147-3148.
- 57) 濱名 輝彦, 関根 鉄朗: 実践!画像診断 Q&A-このサインを見落とすな 救急画像編 割り箸を持ちながら転倒した小児. レジデントノート 2018; 19 (15) :2575-2576.
- 58) 安藤 嵩浩, 関根鉄朗: 実践!画像診断 Q&A—このサインを見落とすな Case1[救急画像編]急性膀胱炎をくり返し、右上腹部痛を主訴に来院した 30 歳代男性. レジデントノート 2017; 19 (6) :983 - 984.
- 59) 大林康太郎, 木村剛, 栗林茂彦, 武田隼人, 柴山慶太, 田邊邦明, 林達郎, 柴崎幹生, 赤塚純, 戸山友香, 濱崎務, 前林勝也, 近藤幸尋: 当院における I-125 密封小線源永久挿入療法後における 2 次発がんの検討. 日本泌尿器科学会東部総会プログラム・抄録集 2017; 82nd:268.
- 60) 安藤 嵩浩, 福嶋 善光, 汲田 伸一郎, 橋本 英伸, 杉原 康朗: 心臓サルコイドーシス例における心筋病変炎症活性の定量解析を用いた FDG-PET/CT の予後予測能. 核医学 2017; 54 (Suppl.) :S174.
- 61) 上田 達夫, 村田 智, 齋藤 英正, 三樹 いずみ, 安井 大祐, 杉原 史恵, 師田 哲郎, 田島 廣之, 汲田 伸一郎: 急性上肢虚血に対する IVR 治療戦略に関する検討. IVR: Interventional Radiology 2017; 32 (Suppl.) :192.
- 62) 齋藤 英正, 村田 智, 上田 達夫, 杉原 史恵, 安井 大祐, 田島 廣之, 横田 裕行, 汲田 伸一郎: 急速な動脈瘤の発達及び腹腔内出血を生じた Segmental arterial mediolysis(SAM)に対し経皮的動脈塞栓術(TAE)を施行した 1 例. 日本腹部救急医学会雑誌 2018; 38 (2) :456.
- 63) 杉原 史恵, 村田 智, 上田 達夫, 安井 大祐, 齋藤 英正, 鈴木 健一, 坂本 篤裕, 汲田 伸一郎: 治療抵抗性・再発子宮頸癌に対する閉鎖循環下骨盤内非均衡灌流療法(NIPP). IVR: Interventional Radiology 2017; 32 (Suppl.) :182.
- 64) 齋藤 英正, 村田 智, 上田 達夫, 杉原 史恵, 安井 大祐, 高木 亮, 田島 廣之, 清水 渉, 汲田 伸一郎: 浅大腿動脈(SFA)・深大腿動脈(DFA)の多発性動脈瘤に対してカバードステント(VIABAHNR)留置と経皮的動脈塞栓術(TAE)の併用が有用であった 1 例. 日本医学放射線学会秋季臨床大会抄録集 2017; 53 回:S550.
- 65) 汲田 伸一郎, 桐山 智成, 上田 達夫: 深部静脈血栓症・肺血栓症の画像診断 (特集 深部静脈血栓症・肺血栓症: わが国の現状と最近の進歩). 日本医師会雑誌 = The Journal of the Japan Medical Association 2017; 146 (1) :33-36.
- 66) 安井 大祐, 村田 智, 上田 達夫, 杉原 史恵, 齋藤 英正, 米澤 美令, 竹下 俊行, 汲田 伸一郎: 産科的処置にて制御困難な産科出血

- に対する経皮的動脈塞栓術の有用性. *IVR: Interventional Radiology* 2017; 32 (Suppl.) :178.
- 67) 関根鉄朗：画像診断の基本 2.CT. レジデントノート 2017; 19 (5) :774 - 779,764.
- 68) 杉原 史恵, 村田 智, 上田 達夫, 安井 大祐, 齋藤 英正, 川本 智章, 内田 英二, 汲田 伸一郎：肝動脈バルーン閉塞下での肝細胞癌および肝実質の血流動態の変化. *IVR: Interventional Radiology* 2017; 32 (Suppl.) :175.
- 69) 上田 達夫, 林 宏光：脈管疾患に対する核医学検査 役割と進歩を考える. *脈管学* 2017; 57 (Suppl.) :S95.
- 70) 岩田 琴美, 関根 鉄朗, 町田 幹, 高木 亮, 汲田 伸一郎：脳動脈空気塞栓症の MRI 評価 皮質下白質における血管性浮腫の併存. *日本医学放射線学会秋季臨床大会抄録集* 2017; 53 回:S549.
- 71) 上田 達夫, 村田 智, 齋藤 英正, 安井 大祐, 杉原 史恵, 内田 英二, 汲田 伸一郎：腹部血管損傷に対するカバーステント治療の初期経験. *日本腹部救急医学会雑誌* 2018; 38 (2) :417.
- 72) 村垣善浩, 村垣善浩, 丸山隆志, 丸山隆志, 石川栄一, 新田雅之, 生田聡子, 山本哲哉, 坪井康次, 松村明, 中村英夫, 黒田順一郎, 阿部竜也, 梶井泰朋, 齋藤竜太, 富永悌二, 田部井勇介, 鈴木一郎, 荒川芳輝, 宮本享, 松谷雅生, 唐澤克之, 中里洋一, 大野忠夫, 前林勝也, 齋藤太一, 川俣貴一：自家腫瘍ワクチンによる初発膠芽腫に対する第 IIb/III 相ランダム化比較試験. *日本脳腫瘍学会プログラム・抄録集* 2017; 35th:215.
- 73) 桐山 智成：虚血性心疾患における SPECT の適切な使用法とは？疫学的データのみならず演繹的手法から考える. *日本心臓核医学会ニュースレター* 2017; 19 (2) :37.
- 74) 汲田 伸一郎, 桐山 智成, 今井 祥吾, 福嶋 善光：虚血性心疾患の画像診断、マルチモダリティ 私ならこう使う 心筋虚血診断における心筋血流 PET の有用性. *日本医学放射線学会秋季臨床大会抄録集* 2017; 53 回:S378.
- 75) 桐山 智成：虚血性疾患に対する画像診断技術の進歩 虚血性心疾患における PET の有用性と心筋血流量の臨床的価値. *医工学治療* 2018; 30 (Suppl.) :78.
- 76) 齋藤 英正, 村田 智, 上田 達夫, 林 宏光, 杉原 史恵, 安井 大祐, 田島 廣之, 内田 英二, 清水 渉, 坪 宏一, 汲田 伸一郎：血管損傷に対するステントグラフト(VIABAHNR)治療の初期経験. *脈管学* 2017; 57 (Suppl.) :S138.
- 77) 中田 淳, 山本 剛, 高野 仁司, 清水 渉, 田邊 潤, 新田 隆, 上田 達夫, 田島 廣之, 栗田 二郎：誰がステントグラフト治療の未来を開きますか?-Aortic team の重要性- 低侵襲治療を考慮した大動脈疾患の最適治療のための aortic team における心臓専門医の役割(The Role of Cardiologist in Aortic Team for Appropriate Management of Aortic Diseases in Consideration of Minimal Invasive Treatment). *日本循環器学会学術集会抄録集* 2018; 82 回:SY03-3.
- 78) Fukushima Yoshimitsu, Kimura Go, Akatsuka Jun, Hamana Teruhiko, Sugihara Yasuro, Ando Takahiro, Kumita Shinichiro：転移性去勢抵抗性前立腺癌例における定量解析を用いた骨 SPECT/CT の予後予測能(Prognostic Impact of Quantitative Bone SPECT/CT for Patients with Metastatic Castration-resistant Prostate Cancer). *日本医学放射線学会学術集会抄録集* 2018; 77 回:S261.
- 79) Fukushima Yoshimitsu, Kimura Go, Akatsuka Jun, Hamana Teruhiko, Sugihara Yasuro, Ando Takahiro, Kumita Shin-ichiro：転移性去勢抵抗性前立腺癌患者に対する骨 SPECT/CT の予後の影響(Prognostic impact of bone SPECT/CT for metastatic castration-resistant prostate cancer patients). *核医学* 2017; 54 (Suppl.) :S316.
- 80) 齋藤 英正, 村田 智, 三樹 いずみ, 安井 大祐, 杉原 史恵, 上田 達夫, 葉山 惟信, 福田 健, 金子 恵子, 川本 智章, 谷合 信彦, 汲田 伸一郎：重症門脈血栓症に対する IVR 治療成績と適応の検討. *IVR: Interventional Radiology* 2017; 32 (Suppl.) :234.
- 81) 田中 泉, 村田 智, 上田 達夫, 杉原 史恵, 安井 大祐, 齋藤 英正, 清水 渉, 汲田 伸一郎：高度石灰化を伴う長区域の浅大腿動脈慢性完全閉塞に対し、subintimal approach により血行再建に成功した一例. *脈管学* 2017; 57 (Suppl.) :S255-S256.

## 著書

- 1) 井田 正博, 高木 亮, 藤田 安彦：〔分担執筆〕すぐ役立つ救急の CT・MRI. 2018, 学研メディカル秀潤社.
- 2) 上田 達夫, 三樹 いずみ, 川俣 博志, 齋藤 英正, 杉原 史恵, 田島 廣之：〔共著〕第 1 章 ⑦Type I エンドリークへの対処法 Aortic-extension、第 2 章 ③偽腔閉鎖への対処法 Primary entry 閉鎖、第 3 章 ①上行大動脈アプローチ、第 3 章 ②アクセス損傷 (解離、穿通、引き抜き)。ステントグラフトの大技・小技. 2017, メジカルビュー社.
- 3) 松永 尚文, 江原 茂, 後閑 武彦, 松本 俊郎, 浮洲 龍太郎：〔分担執筆〕読影の手立てとなる局所解剖と画像診断：エキスパートから学ぶ. 2018, メジカルビュー社.

- 4) 竹ノ下尚子, 金城忠志, 田島廣之 : [分担執筆] 胃大網動脈瘤(特発性大出血). 腹部救急疾患の画像診断とインターベンション. 2018. メジカルビュー.
- 5) 田島廣之, : [分担執筆] 末梢肺癌のラジオ波治療の適応や注意点を教えて下さい.. 肺癌診療 Q&A. 第 3 版. 2017. 中外医学社
- 6) 田島廣之, 小野澤志郎 : [分担執筆] 末梢血管. 血栓吸引療法. 臨牀脈管学. 2017. 日本医学出版

## 学会発表

- 1) 村田 智, 上田 達夫, 杉原 史恵, 安井 大祐, 齋藤 英正, 三樹 いずみ, 小野澤 志郎, 汲田 伸一郎 : AMPLATZER VASCULAR Plug の適用とテクニック AVP 4 を中心に. Rad Fan, 2017. 4.
- 2) 上田 達夫 : Case discussion Case② 肺外病変-骨病変の検体採取と処理方法. T790M Tissue Test Table discussion, 2018. 2.
- 3) 上田 達夫 : New Technique of Balloon-Assisted Transcatheter Arterial Embolization using N-Butyl Cyanoacrylate for Iatrogenic Femoral Arterial Bleeding. ECR 2018, 2018. 3.
- 4) 関根 鉄朗 : PET/MR との 1 年半とそれから 1 年半とこれから. 57th annual meeting of JSNM. 2017.11. (受賞記念講演, 15 分), 2017. 9.
- 5) 上田 達夫 : 急性上肢虚血に対する IVR 治療戦略に関する検討. 第 46 回日本 IVR 学会総会, 2017. 5.
- 6) 関根 鉄朗 : 急性期脳梗塞診療における MRI の役割. 救急放射線セミナープレミアム, 東京. 2017.06. (査読なし, 教育講演, 日本語, 口演 20 分), 2017. 6.
- 7) 齋藤 英正, 村田 智, 上田 達夫, 杉原 史恵, 安井 大祐, 田島 廣之, 横田 裕行, 汲田 伸一郎 : 急速な動脈瘤の発達及び腹腔内出血を生じた Segmental arterial mediolysis(SAM)に対し経皮的動脈塞栓術(TAE)を施行した 1 例. 日本腹部救急医学会雑誌, 2018. 2.
- 8) 杉原 史恵, 村田 智, 上田 達夫, 安井 大祐, 齋藤 英正, 鈴木 健一, 坂本 篤裕, 汲田 伸一郎 : 治療抵抗性・再発子宮頸癌に対する閉鎖循環下骨盤内非均衡灌流療法(NIPP). IVR: Interventional Radiology, 2017. 4.
- 9) 齋藤 英正, 村田 智, 上田 達夫, 杉原 史恵, 安井 大祐, 高木 亮, 田島 廣之, 清水 渉, 汲田 伸一郎 : 浅大腿動脈(SFA)・深大腿動脈(DFA)の多発仮性動脈瘤に対してカバードステント(VIABAHNR)留置と経皮的動脈塞栓術(TAE)の併用が有用であった 1 例. 日本医学放射線学会秋季臨床大会抄録集, 2017. 8.
- 10) 安井 大祐, 村田 智, 上田 達夫, 杉原 史恵, 齋藤 英正, 米澤 美令, 竹下 俊行, 汲田 伸一郎 : 産科的処置にて制御困難な産科出血に対する経皮的動脈塞栓術の有用性. IVR: Interventional Radiology, 2017. 4.
- 11) 関根 鉄朗 : 画像検査が有用であった意識障害症例のケースレビュー第 6 回 Cerebral and Cardiac Disease Seminar, 東京. 2017.9. (査読無し, 教育講演, 日本語, 口演 30 分), 2017. 9.
- 12) 関根 鉄朗 : 直腸癌と肝転移の画像診断. 日本医科大学 EOB-MRI 診断勉強会, 東京. 2017.11. (依頼講演, 日本語, 30 分), 2017. 11.
- 13) 杉原 史恵, 村田 智, 上田 達夫, 安井 大祐, 齋藤 英正, 川本 智章, 内田 英二, 汲田 伸一郎 : 肝動脈バルーン閉塞下での肝細胞癌および肝実質の血流動態の変化. IVR: Interventional Radiology, 2017. 4.
- 14) 上田 達夫 : 脈管疾患に対する核医学検査 : 役割と進歩を考える. 第 58 回日本脈管学会総会, 2017. 10.
- 15) 上田 達夫 : 腹部血管損傷に対するカバードステント治療の初期経験. 第 54 回日本腹部救急医学会総会, 2018. 3.
- 16) 上田 達夫 : 血管損傷に対するカバードステント治療～VIABAHNR®10 例の初期経験～. 東京アンギオ・IVR 会, 2017. 11.
- 17) 齋藤 英正, 村田 智, 上田 達夫, 林 宏光, 杉原 史恵, 安井 大祐, 田島 廣之, 内田 英二, 清水 渉, 坪 宏一, 汲田 伸一郎 : 血管損傷に対するステントグラフト(VIABAHNR)治療の初期経験. 脈管学, 2017. 10.
- 18) 齋藤 英正, 村田 智, 三樹 いずみ, 安井 大祐, 杉原 史恵, 上田 達夫, 葉山 惟信, 福田 健, 金子 恵子, 川本 智章, 谷合 信彦, 汲田 伸一郎 : 重症門脈血栓症に対する IVR 治療成績と適応の検討. IVR: Interventional Radiology, 2017. 4.
- 19) 田中 泉, 村田 智, 上田 達夫, 杉原 史恵, 安井 大祐, 齋藤 英正, 清水 渉, 汲田 伸一郎 : 高度石灰化を伴う長区域の浅大腿動脈慢性完全閉塞に対し, subintimal approach により血行再建に成功した一例. 脈管学, 2017. 10.

## 13 皮膚粘膜病態学分野

### 研究業績

#### 論文等

- 1) Maki Mizuno, Toshihiko Hoashi, Akiko Hisano, Susumu Ichiyama, Yoko Funasaka, Hidehisa Saeki : A Case of External Dental Fistula Related to a Fixed Cantilever Bridge. JOURNAL OF NIPPON MEDICAL SCHOOL 2017; 84 (4) :198-200. doi: 10.1272/jnms.84.198.
- 2) Kanzaki A, Ansai SI, Ueno T, Kawana S, Shimizu A, Naito Z, Saeki H : A Case of Metastatic Basal Cell Carcinoma Treated with Cisplatin and Adriamycin. Journal of Nippon Medical School = Nippon Ika Daigaku zasshi 2017; 84 (6) :286-290. doi: 10.1272/jnms.84.286.
- 3) Keigo Ito, Shin-ichi Ansai, Hidehisa Saeki : A Case of Syringocystadenoma Papilliferum with Tubular Papillary Adenoma of the Chest. JOURNAL OF NIPPON MEDICAL SCHOOL 2017; 84 (2) :79-82.
- 4) Keigo Ito, Shin-Ichi Ansai, Hidehisa Saeki : A Case of Syringocystadenoma Papilliferum with Tubular Papillary Adenoma of the Chest. Journal of Nippon Medical School = Nippon Ika Daigaku zasshi 2017; 84 (2) :79-82. doi: 10.1272/jnms.84.79.
- 5) Kyochika Okabe, Toshihiko Hoashi, Mariko Asahara, Eiko Esaki, Michiko Ito, Rui Otsuka, Yoko Funasaka, Hidehisa Saeki : A Case of a Giant Cell Tumor of the Tendon Sheath of the Middle Phalanx of the Fourth Toe. JOURNAL OF NIPPON MEDICAL SCHOOL 2017; 84 (6) :308-310. doi: 10.1272/jnms.84.308.
- 6) Yuri Kinoshita, Hidehisa Saeki : A Review of the Active Treatments for Toxic Epidermal Necrolysis. JOURNAL OF NIPPON MEDICAL SCHOOL 2017; 84 (3) :110-117.
- 7) Yuri Kinoshita, Hidehisa Saeki : A Review of the Active Treatments for Toxic Epidermal Necrolysis. Journal of Nippon Medical School = Nippon Ika Daigaku zasshi 2017; 84 (3) :110-117. doi: 10.1272/jnms.84.110.
- 8) T. Nako, T. Hoashi, A. Kanzaki, N. Serizawa, Y. Funasaka, H. Saeki : A case of blue naevus of the mucocutaneous junction of the lower eyelid margin associated with acquired bilateral naevus of Ota-like macule. CLINICAL AND EXPERIMENTAL DERMATOLOGY 2017; 42 (3) :339-341. doi: 10.1111/ced.13037.
- 9) Hoashi Toshihiko, Fujita Kazue, Funasaka Yoko, Gemma Akihiko, Saeki Hidehisa : A case of cutaneous metastatic lung cancer difficult to distinguish from malignant nodular hidradenoma. The Australasian journal of dermatology 2018; 59 (1) :e80-e81. doi: 10.1111/ajd.12643.
- 10) Min Li, Naoyuki Higashi, Hajime Nakano, Hidehisa Saeki : An ATP2A2 Missense Mutation in a Japanese Family with Darier Disease: A Case Report and Review of the Japanese Darier Disease Patients with ATP2A2 Mutations. JOURNAL OF NIPPON MEDICAL SCHOOL 2017; 84 (5) :246-250. doi: 10.1272/jnms.84.246.
- 11) Takashi Ueno, Takemi Nomoto, Ryoko Takayama, Shin-Ichi Osada, Hidehisa Saeki : Arteriovenous malformation manifested after subclavian central venous catheterization. Journal of Dermatology 2018; 45 (1) :e13-e14. doi: 10.1111/1346-8138.14073.
- 12) Yuri Kinoshita, Toshihiko Hoashi, Shizuka Okazaki, Kasho Kataoka, Toshie Nako, Nobuko Mayumi, Takeshi Kouno, Yoko Funasaka, Shin-ichi Ansai, Hidehisa Saeki : Atypical case of Merkel cell carcinoma difficult to diagnose clinically. JOURNAL OF DERMATOLOGY 2017; 44 (7) :E158-E159. doi: 10.1111/1346-8138.13815.
- 13) 水野 真希, 秋山 美知子, 岡部 杏慈, 市山 進, 山瀬 綾, 真弓 暢子, 森本 健介, 幸野 健, 佐伯 秀久 : Basedow 病に伴う脛骨前粘液水腫を背景に右下腿蜂窩織炎を3度発症した1例. 皮膚科の臨床 2017; 59 (9) :1445-1448. doi: 10.18888/hi.0000000170.
- 14) 山田 麻以, 松田 秀則, 五十嵐 由美, 井坂 有里, 荻田 あづさ, 伊東 慶悟, 安齋 眞一, 伊澤 有香, 佐伯 秀久, 高野 温子 : Bowen 病に伴った Merkel 細胞癌の1例. 日本皮膚科学会雑誌 2018; 128 (3) :442.
- 15) 荻田 あづさ, 松田 秀則, 安齋 眞一, 細根 勝, 佐伯 秀久 : CD8+lymphomatoid papulosis の1例. 西日本皮膚科 2017; 79 (3) :306.
- 16) Shimizu Ai, Funasaka Yoko, Ueno Takashi, Kanzaki Akiko, Saeki Hidehisa : Case of lupus miliaris disseminatus faciei associated with marked formation of cysts, successfully treated with intralesional injections of triamcinolone acetonide. The Journal of dermatology 2017; 44 (7) :e164-e165. doi: 10.1111/1346-8138.13835.
- 17) Mariko Asahara, Toshihiko Hoashi, Noriko Shirakawa, Yoko Matano, Yoko Funasaka, Hidehisa Saeki : Case of nodular melanoma on the upper eyelid dermoscopically mimicking pigmented basal cell carcinoma. JOURNAL OF DERMATOLOGY 2017; 44 (5) :543-545. doi:

- 10.1111/1346-8138.13615.
- 18) Toshie Nako, Toshihiko Hoashi, Nobuko Mayumi, Shizuka Okazaki, Kasho Kataoka, Michiko Ito, Erina Mikami, Yoko Funasaka, Masaru Tanaka, Hidehisa Saeki : Case of pigmented Bowen's disease on the volar aspect of the finger dermoscopically mimicking melanoma in situ. JOURNAL OF DERMATOLOGY 2017; 44 (5) :545-546. doi: 10.1111/1346-8138.13643.
  - 19) Asahara Mariko, Hoashi Toshihiko, Shirakawa Noriko, Matano Yoko, Funasaka Yoko, Takayama Yasuhiro, Saeki Hidehisa : Chronic tophaceous gout with multiple large tophi. The Journal of dermatology 2017; 44 (7) :852-853. doi: 10.1111/1346-8138.13567.
  - 20) Yuri Kinoshita, Hidehisa Saeki, Akihiko Asahina, Toyoko Ochiai, Masafumi Iijima : Drug-induced hypersensitivity syndrome in Japan in the past 10 years based on data from the relief system of the Pharmaceuticals and Medical Devices Agency. ALLERGOLOGY INTERNATIONAL 2017; 66 (2) :363-365. doi: 10.1016/j.alit.2016.09.003.
  - 21) Susumu Ichiyama, Akiharu Kubo, Takemitsu Matayoshi, Hidehisa Saeki, Yoko Funasaka : Effects of glycolic acid peeling on the cutaneous manifestation of generalized acanthosis nigricans caused by FGFR3 mutation: A report of one sporadic and two familial cases. JOURNAL OF DERMATOLOGY 2017; 44 (10) :E250-E251. doi: 10.1111/1346-8138.13939.
  - 22) Hideshi Torii, Masayuki Nakano, Toshiro Yano, Kazuoki Kondo, Hidemi Nakagawa, Yasuyuki Fujita, Keita Horie, Miki Ito, Mari Iitani, Kei Ito, Takahide Kaneko, Toshihide Akasaka, Mamitaro Ohtuki, Masato Yasuda, Masatoshi Abe, Yurika Tanida, Tadashi Terui, Satoru Arai, Toshiaki Nakano, Takafumi Etoh, Yoshihide Asano, Yoshinori Umezawa, Hidehisa Saeki, Makoto Adachi, Mariko Seishima, Yoshiki Tokura, Akimichi Morita, Keiichi Yamanaka, Mamoru Tani, Hirotsugu Tanimura, Fumikazu Yamazaki, Chikako Nishigori, Sakae Kaneko, Masahiko Muto, Motonobu Nakamura, Ryosuke Hino, Juichiro Nakayama, Teruaki Nakano, Atsushi Utani, Toshihiro Sato, Hironobu Ihn : Efficacy and safety of dose escalation of infliximab therapy in Japanese patients with psoriasis: Results of the SPREAD study. Journal of Dermatology 2017; 44 (5) :552-559. doi: 10.1111/1346-8138.13698.
  - 23) Hidehisa Saeki, Hidemi Nakagawa, Ko Nakajo, Taeko Ishii, Yoji Morisaki, Takehiro Aoki, Gregory S. Cameron, Olawale O. Osuntokun : Efficacy and safety of ixekizumab treatment for Japanese patients with moderate to severe plaque psoriasis, erythrodermic psoriasis and generalized pustular psoriasis: Results from a 52-week, open-label, phase 3 study (UNCOVER-J). JOURNAL OF DERMATOLOGY 2017; 44 (4) :355-362. doi: 10.1111/1346-8138.13622.
  - 24) H. Saeki, K. Kabashima, Y. Tokura, Y. Murata, A. Shiraishi, R. Tamamura, B. Randazzo, K. Imanaka : Efficacy and safety of ustekinumab in Japanese patients with severe atopic dermatitis: a randomized, double-blind, placebo-controlled, phase II study. BRITISH JOURNAL OF DERMATOLOGY 2017; 177 (2) :419-427. doi: 10.1111/bjd.15493.
  - 25) 三神 絵理奈, 船坂 陽子, 川原崎 麻以, 神崎 亜希子, 佐伯 秀久 : HIV 陽性患者に発症した晩発性皮膚ポルフィリン症の 1 例. 皮膚科の臨床 2017; 59(8): 1299-1302.
  - 26) 松田 秀則, 安齋 眞一, 荻田 あづさ, 佐伯 秀久, 阿南 隆, 福本 隆也 : Hybrid 末梢神経鞘腫瘍の 2 例. 皮膚科の臨床 2018; 60(2):261-265.
  - 27) Mitsuha Hayashi, Koichi Yanaba, Yoshinori Umezawa, Yuki Yoshihara, Sota Kikuchi, Yozo Ishiujii, Hidehisa Saeki, Hidemi Nakagawa : IL-10-producing regulatory B cells are decreased in patients with psoriasis. JOURNAL OF DERMATOLOGICAL SCIENCE 2017; 86 (1) :79. doi: 10.1016/j.jdermsci.2017.01.010.
  - 28) Oyama Satomi, Funasaka Yoko, Tsuchiya Shin-Ichi, Kawana Seiji, Saeki Hidehisa : Increased number of mast cells in the dermis in actinic keratosis lesions effectively treated with imiquimod. The Journal of dermatology 2017; 44 (8) :944-949. doi: 10.1111/1346-8138.13821.
  - 29) 岡崎 静, 船坂 陽子, 佐伯 秀久 : Intense Pulsed Light の UVB によるしわ形成の抑制効果. Aesthetic Dermatology 2017; 27 (2) :213.
  - 30) Mayuri Tanaka, Yoko Funasaka, Kyoko Tsuruta, Akiko Kanzaki, Kenji Takahashi, Hidehisa Saeki : Intralymphatic Histiocytosis with Massive Interstitial Granulomatous Foci in a Patient with Rheumatoid Arthritis. ANNALS OF DERMATOLOGY 2017; 29 (2) :237-238. doi: 10.5021/ad.2017.29.2.237.
  - 31) Ichiro Katayama, Michiko Aihara, Yukihiro Ohya, Hidehisa Saeki, Naoki Shimojo, Shunsuke Shoji, Masami Taniguchi, Hidekazu Yamada : Japanese guidelines for atopic dermatitis 2017. ALLERGOLOGY INTERNATIONAL 2017; 66 (2) :230-247. doi: 10.1016/j.alit.2016.12.003.
  - 32) Susumu Ichiyama, Yoko Funasaka, Hiroko Yamashita, Hideto Tamura, Koiti Inokuchi, Hidehisa Saeki : Leukocytoclastic vasculitis with



- eosinophilic infiltration associated with thalidomide therapy for multiple myeloma: A case report. *Allergology international : official journal of the Japanese Society of Allergology* 2017; 66 (3) :497-498. doi: 10.1016/j.alit.2016.12.006.
- 33) Hidehisa Saeki : Management of atopic dermatitis in Japan. *Journal of Nippon Medical School* 2017; 84 (1) :2-11. doi: 10.1272/jnms.84.2.
- 34) 市山 進, 船坂 陽子, 水野 真希, 芹澤 直隆, 佐伯 秀久 : Multiple in-focus blue-gray dots 主体のダーモスコピー所見を呈した基底細胞癌の1例. *日本皮膚科学会雑誌* 2017; 127 (9) :2123.
- 35) 廣瀬 京, 星野 雄一郎, 貞安 杏奈, 渡邊 莊子, 石崎 純子, 田中 勝, 後藤 浩之, 伊東 慶悟, 安齋 眞一, 大山 克己 : Multiple miliary osteomas of the face の1例. *日本皮膚科学会雑誌* 2018; 128 (3) :451.
- 36) Mayuri Tanaka, Toshihiko Hoashi, Naotaka Serizawa, Kyochika Okabe, Susumu Ichiyama, Rie Shinohara, Yoko Funasaka, Hidehisa Saeki : Multiple unilaterally localized dermatofibromas in a patient with Down syndrome. *JOURNAL OF DERMATOLOGY* 2017; 44 (9) :1074-1076. doi: 10.1111/1346-8138.13625.
- 37) 樋口明日香, 野呂林太郎, 加藤友美, 高橋明子, 松本優, 武内進, 小林研一, 高橋聡, 峯岸裕司, 清家正博, 久保田馨, 弦間昭彦, 田中真百合, 市山進, 帆足俊彦 : Nivolumab 投与終了後に尋常性乾癬と間質性腎炎を認めた肺扁平上皮癌の1例. *肺癌* 2017; 57 (2) :129(J-STAGE)-129.
- 38) Toshihiko Hoashi, Megumi Hirabayashi, Rina Nakajima, Naomi Takahashi, Hidehisa Saeki : Paradoxical antitumor effects of pazopanib in a cutaneous angiosarcoma patient. *Journal of dermatology* 2017; 44 (9) :1078-1079. doi: 10.1111/1346-8138.13636.
- 39) Serizawa N, Funasaka Y, Goto H, Kanzaki A, Hori J, Takano Y, Saeki H : Platelet-Rich Plasma Injection and Cutaneous Sarcoidal Granulomas. *Annals of Dermatology* 2017; 29 (2) :239-241. doi: 10.5021/ad.2017.29.2.239.
- 40) 杉田 美樹, 伊東 慶悟, 川瀬 正昭, 江藤 隆史 : Soft fibroma 様に有茎性に生じた臀部の plexiform schwannoma の1例. *通信医学* 2017; 69 (2) :87-89.
- 41) Yamase Aya, Funasaka Yoko, Ueno Takashi, Ito Michiko, Otsuka Yohei, Kawana Seiji, Saeki Hidehisa : Squamous Cell Carcinomas on Bilateral Feet Arising in Long-Standing Eczematous Lesions. *Journal of Nippon Medical School = Nippon Ika Daigaku zasshi* 2017; 84 (2) :105-107. doi: 10.1272/jnms.84.105.
- 42) Susumu Ichiyama, Takemitsu Matayoshi, Tomohiro Kaneko, Akira Shimizu, Shin-Ichi Osada, Atsushi Watanabe, Akiko Kanzaki, Keigo Mitsui, Shuichi Tsuruoka, Katsuhiko Iwakiri, Seiji Kawana, Hidehisa Saeki : Successful multitarget therapy using prednisolone, mizoribine and tacrolimus for Henoch-Schönlein purpura nephritis in children. *J Dermatol* 2017; 44 (4) :e56-e57-E57. doi: 10.1111/1346-8138.13614.
- 43) Sota Kikuchi, Koichi Yanaba, Yoshimasa Nobeyama, Shigeharu Yabe, Masahiro Kiso, Hidehisa Saeki, Yayoi Tada, Hidemi Nakagawa, Hitoshi Okochi : Suppressive Effects of Mesenchymal Stem Cells in Adipose Tissue on Allergic Contact Dermatitis. *Annals of dermatology* 2017; 29 (4) :391-399. doi: 10.5021/ad.2017.29.4.391.
- 44) Elke Weisshaar, Joerg Kupfer, Antoinette van Laarhoven, Uwe Gieler, Masutaka Furue, Hidehisa Saeki, Andrea Evers, Gil Yosipovitch : THE SPECIAL INTEREST GROUP (SIG) "QUESTIONNAIRES TO ASSESS CHRONIC ITCH" OF THE INTERNATIONAL FORUM ON THE STUDY OF ITCH (IFSI). *ACTA DERMATO-VENEREOLOGICA* 2017; 97 (8) :1012.
- 45) Ansai S, Anan T, Fukumoto T, Saeki H : Tubulopapillary Cystic Adenoma With Apocrine Differentiation: A Unifying Concept for Syringocystadenoma Papilliferum, Apocrine Gland Cyst, and Tubular Papillary Adenoma. *Am J Dermatopathol* 2017; 39:829-837.
- 46) Shimizu A, Hoashi T, Kataoka K, Shirakawa N, Mayumi N, Funasaka Y, Saeki H : Two Cases of Verrucous Carcinoma: Revisiting the Definition. *Journal of Nippon Medical School = Nippon Ika Daigaku zasshi* 2018; 85 (1) :47-50. doi: 10.1272/jnms.2018\_85-7.
- 47) Jun Hirata, Tomomitsu Hirota, Takeshi Ozeki, Masahiro Kanai, Takeaki Sudo, Toshihiro Tanaka, Nobuyuki Hizawa, Hidemi Nakagawa, Shinichi Sato, Taisei Mushiroda, Hidehisa Saeki, Mayumi Tamari, Yukinori Okada : Variants at HLA-A, HLA-C, and HLA-DQB1 Confer Risk of Psoriasis Vulgaris in Japanese. *Journal of Investigative Dermatology* 2018; 138 (3) :542-548. doi: 10.1016/j.jid.2017.10.001.
- 48) 原 みづき, 江藤 隆史, 伊東 慶悟 : Your Diagnosis! 表在型基底細胞癌(superficial type basal cell carcinoma). *Visual Dermatology* 2017; 16 (11) :1112-1114.
- 49) 新井 悠江, 秋山 美知子, 市山 進, 船坂 陽子, 佐伯 秀久 : 【角化症・炎症性角化症】家族内発症を伴う固定性扁平豆状角化症の1例. *皮*

- 膚科の臨床 2017; 59(4) : 431-434.
- 50) 三神 絵理奈, 又吉 武光, 高山 良子, 福田 健, 川名 誠司, 佐伯 秀久 : 【血管炎・血行障害】IgG4 関連疾患にみられた白血球破砕性血管炎の1例. 皮膚科の臨床 2017; 59(5) : 549-553.
- 51) 加藤 真梨子, 川瀬 正昭, 江藤 隆史, 伊東 慶悟 : 【リンフォーマ・白血病】非特異疹を呈し診断に難渋した血管免疫芽球形T細胞リンパ腫の1例. 皮膚科の臨床 2017; 59 (8) :1227-1230.
- 52) 安齋 眞一, 荻田 あづさ, 松田 秀則 : 【心に残る症例-40 周年記念特別号】<臨床例> 自然経過をみざるをえなかった無色素性悪性黒色腫. 皮膚病診療 2018; 40 (1) :19-22.
- 53) 芹澤 直隆, 帆足 俊彦, 奈古 利恵, 水野 真希, 岡崎 静, 亦野 蓉子, 船坂 陽子, 佐伯 秀久 : 【痛みを伴う皮膚病】<臨床例> 外陰部脂肪腫の2症例. 皮膚病診療 2017; 39 (4) :389-392.
- 54) 琴 基天, 李 民, 東 直行, 宇谷 厚志 : 【頸部・項部の皮膚病】<臨床例>弾性線維性仮性黄色腫. 皮膚病診療 2018; 40 (3) :261-264.
- 55) 伊澤 有香, 荻田 あづさ, 松田 秀則, 安齋 眞一 : 【顔の結節】<臨床例>上眼瞼に生じた脂腺腫. 皮膚病診療 2017; 39 (11) :1141-1144.
- 56) 原 みずき, 川瀬 正昭, 江藤 隆史, 利根川 守, 伊東 慶悟 : 【顔の腫瘍(悪性腫瘍)】<臨床例> 右頬部に生じた無色素性斑状強皮症型基底細胞癌. 皮膚病診療 2017; 39 (9) :937-940.
- 57) 奈古 利恵, 安齋 眞一, 松田 秀則, 篠原 理恵, 荻田 あづさ, 佐伯 秀久 : 【顔の腫瘍(悪性腫瘍)】<臨床例> 皮膚粘液癌. 皮膚病診療 2017; 39 (9) :957-960.
- 58) 中條 聡美, 吉田 寿斗志, 福地 修, 伊東 慶悟, 中川 秀己 : 【顔の腫瘍(悪性腫瘍)】<臨床例> 頬部の後天性真皮メラノサイトーシスに合併した悪性黒子. 皮膚病診療 2017; 39 (9) :969-972.
- 59) 琴 基天, 東 直行, 橋本 知幸 : お好み焼きに混入した *Dermatophagoides Siboney* による Oral mite anaphylaxis の1例. 日本医科大学医学雑誌 2018; 14 (1) :18-24. doi: 10.1272/manms.14.18.
- 60) 橋本知幸, 琴基天, 東直行 : お好み焼き粉から見つかったヒョウヒダニの一種 *Dermatophagoides siboney*. 衛生動物 2017; 68 (3) :113 - 117-117. doi: 10.7601/mez.68.113.
- 61) 福田 浩孝, 石氏 陽三, 福地 修, 伊藤 寿啓, 梅澤 慶紀, 朝比奈 昭彦, 中川 秀己, 佐伯 秀久 : アトピー素因を有する乾癬にウステキヌマブを投与した2例. 日本皮膚科学会雑誌 2017; 127 (7) :1562.
- 62) 藤本 和久 : アニサキスアレルギー (特集: 急増中! 大人の食物アレルギー) 2017; 105 (5) :643-645.
- 63) 木下 侑里, 山瀬 綾, 森田 孝, 三羽 英之, 多賀 麻里奈, 秋元 正宇, 幸野 健, 佐伯 秀久, 安齋 眞一 : アポクリン分化をともなう管状乳頭状嚢胞状腺腫の1例. 日本皮膚科学会雑誌 2017; 127 (10) :2321-2324.
- 64) 白川 典子, 藤本 和久, 市山 進, 小林 征洋, 佐伯 秀久 : ウナギ目を含む多種類の魚類にアナフィラキシー症状を呈した1例. 接触皮膚炎学会雑誌 2017; 11 (1) :50-54. doi: 10.18934/jedca.11.1\_50.
- 65) 大塚流音, 船坂陽子, 佐伯秀久 : エキシマライト照射とビタミン D3 外用の併用が有効であった Sjogren 症候群を合併した尋常性白斑の1例. 日医大医会誌 2017; 13 (2) :97-100. doi: 10.1272/manms.13.97.
- 66) 井坂 有里, 清水 愛, 山田 麻以, 五十嵐 由美, 松田 秀則, 荻田 あづさ, 伊東 慶悟, 安齋 眞一, 勝俣 範之, 佐伯 秀久 : ニボルマブ投与中に生じた苔癬型反応を伴う皮膚障害の1例. 日本皮膚科学会雑誌 2018; 128 (3) :444.
- 67) 五十嵐 由美, 荻田 あづさ, 松田 秀則, 安齋 眞一, 福本 瞳, 佐伯 秀久, 片野 晴隆 : ヒト乳頭腫ウイルス 73 型が陽性であった爪部色素性 Bowen 病の1例. 日本皮膚科学会雑誌 2017; 127 (4) :654.
- 68) 伊藤 路子, 藤本 和久, 新井 悠江, 佐伯 秀久, 森山 達哉 : ヤーコンによるアナフィラキシーの1例. アレルギー 2017; 66 (4-5) :681.
- 69) 川原井 晋平, 松田 秀則, 荻田 あづさ, 伊東 慶悟, 安齋 眞一 : ロジックで学ぶ 犬と猫の臨床テクニック(第5回) 人医療から学ぶ獣医療の皮膚生検. CAP: Companion Animal Practice 2018; 33 (3) :52-57.
- 70) 白川 典子, 船坂 陽子, 上野 孝, 江崎 英子, 石井 文人, 橋本 隆, 佐伯 秀久 : 抗 LAD-1 抗体が検出された粘膜類天疱瘡の1例. 皮膚科の臨床 2017;59(7) : 1145-1148.
- 71) 山根 理恵, 利根川 守, 川瀬 正昭, 江藤 隆史, 伊東 慶悟, 岸田 由起子 : 下腹部に生じた Nerve Sheath Myxoma の1例. 皮膚科の臨床 2017; 59 (11) :1749-1752.
- 72) 五十嵐 由美, 伊澤 有香, 井坂 有里, 松田 秀則, 百瀬 葉子, 荻田 あづさ, 安齋 眞一, 佐伯 秀久 : 乳癌化学療法後に生じた多発性汗孔腫の1例. 皮膚科の臨床 2018; 60 (1) :109-112.

- 73) 浅原 麻里子, 帆足 俊彦, 田中 真百合, 大橋 実奈, 白川 典子, 真弓 暢子, 伊藤 路子, 船坂 陽子, 佐伯 秀久: 乳輪縁に生じた基底細胞癌の1例(特集 悪性上皮系腫瘍). 皮膚科の臨床 2018; 60 (3) :319-321.
- 74) 江崎 英子, 船坂 陽子, 山下 裕子, 大塚 流音, 真弓 暢子, 杉原 仁, 佐伯 秀久: 先端巨大症に生じた cutaneous plasmacytosis の1例. 日本皮膚科学会雑誌 2017; 127 (5) :1189.
- 75) 井坂 有里, 五十嵐 由美, 伊澤 有香, 松田 秀則, 百瀬 葉子, 荻田 あづさ, 安齋 眞一, 佐伯 秀久, 田中 勝: 前胸部に発生した warty dyskeratoma の1例. 日本皮膚病理組織学会抄録集 2017; 33 回:56,33.
- 76) 井坂 有里, 五十嵐 由美, 伊澤 有香, 松田 秀則, 百瀬 葉子, 荻田 あづさ, 安齋 眞一, 佐伯 秀久, 田中 勝: 前胸部に発生した疣贅状異常角化症 warty dyskeratoma の1例. 皮膚の科学 2017; 16 (3) :229.
- 77) 江崎 英子, 帆足 俊彦, 山崎 香里, 市山 進, 田中 真百合, 伊澤 有香, 船坂 陽子, 佐伯 秀久: 前腕に生じた myopericytoma の1例. 日本皮膚科学会雑誌 2018; 128 (3) :438.
- 78) 浅原 麻里子, 帆足 俊彦, 大橋 実奈, 白川 典子, 真弓 暢子, 船坂 陽子, 佐伯 秀久: 単純縫縮した下眼瞼基底細胞癌の1例. 日本皮膚外科学会誌 2017; 21 (2 別冊) :218.
- 79) 原 みずき, 江藤 隆史, 大石 展也, 伊東 慶悟: 原発不明癌に対するニボルマブ投与により乾癬様皮疹を来した1例. 日本皮膚科学会雑誌 2017; 127 (12) :2655-2656.
- 80) 市山進, 帆足俊彦, 船坂陽子, 三神絵理奈, 秋山美知子, 江崎英子, 久保正英, 安齋眞一, 佐伯秀久, 田中勝: 基底細胞癌との鑑別を要した頭部の色素性エクリン汗孔腫の2例. 皮膚かたち研究学会学術大会プログラム・抄録集 2017; 44th
- 81) 後藤 あかね, 岩間 理沙, 小林 祐香莉, 貞安 杏奈, 石崎 純子, 田中 勝, 伊東 慶悟, 安齋 眞一, 大山 克己: 左大腿に生じた clear cell acanthoma の1例. 日本皮膚科学会雑誌 2018; 128 (3) :449.
- 82) 井坂 有里, 百瀬 葉子, 五十嵐 由美, 伊澤 有香, 松田 秀則, 荻田 あづさ, 安齋 眞一, 福本 隆也, 佐伯 秀久: 手指に発生した硬化性神経周膜腫の1例. 皮膚科の臨床 2018; 60 (1) :138-139.
- 83) 藤本 和久: 抗菌薬(特集/皮膚科治療薬処方ガイド). MB Derma 増刊号 2017; 255:31-37.
- 84) 木下 侑里, 岡崎 静, 帆足 俊彦, 片岡 佳憧, 奈古 利恵, 真弓 暢子, 幸野 健, 船坂 陽子, 安齋 眞一, 佐伯 秀久: 放射線単独療法が奏効した診断に苦慮したメルケル細胞癌の1例. 西日本皮膚科 2017; 79 (3) :307.
- 85) 船坂陽子: 最新基礎講座 顔面の皮膚の生理学 第1回 角層. Bella Pelle 2017; 2 (2) :46-47.
- 86) 松田 秀則, 安齋 眞一, 荻田 あづさ, 松岡 保子, 佐伯 秀久: 汗孔癌 2 例のダーモスコピー像の検討. 臨床皮膚科 2018; 72 (3) :255-259.
- 87) 芹澤 直隆, 帆足 俊彦, 奈古 利恵, 水野 真希, 岡崎 静, 亦野 蓉子, 船坂 陽子, 佐伯 秀久: 特集 痛みを伴う皮膚病 臨床例 外陰部脂肪腫の2症例. 皮膚病診療 2017; 39 (4) :389-392. doi: 10.24733/j01268.2017188329.
- 88) 百瀬 葉子, 五十嵐 由美, 伊坂 有里, 伊澤 有香, 松田 秀則, 荻田 あづさ, 安齋 眞一, 岩崎 隆: 病理組織学的にサルコイドーシスと鑑別を要した脂肪類壊死症. 西日本皮膚科 2017; 79 (3) :319.
- 89) 奈古 利恵, 船坂 陽子, 神崎 亜希子, 青山 純一, 福本 裕子, 佐伯 秀久: 症例報告 アートメイクにより皮膚サルコイド反応が多発してみられ肺門リンパ節が腫脹した1例. 臨床皮膚科 = Japanese journal of clinical dermatology 2017; 71 (4) :307-312.
- 90) 山根 理恵, 江藤 隆史, 岸田 由起子, 伊東 慶悟, 塩田 曜子: 皮膚に局限した Langerhans cell histiocytosis の1例. 通信医学 2017; 69 (3) :123-127.
- 91) 山根 理恵, 江藤 隆史, 岸田 由起子, 伊東 慶悟, 塩田 曜子: 皮膚に局限した Langerhans cell histiocytosis の1例. 日本皮膚科学会雑誌 2017; 127 (12) :2654.
- 92) 香西 達一, 石井 暢明, 秋元 正宇, 櫻井 透, 森田 孝, 荻田 あづさ, 安齋 眞一, 小川 令: 皮膚原発腺様嚢胞癌 2 例の治療経験. 日本医科大学医学会雑誌 2018; 14 (1) :25-30.
- 93) 伊東 慶悟: 皮膚癌治療 最新のかたち Melanoma の病理組織診断の pitfall. 西日本皮膚科 2017; 79 (3) :296.
- 94) 浅原 麻里子, 帆足 俊彦, 大橋 実奈, 白川 典子, 亦野 蓉子, 真弓 暢子, 船坂 陽子, 佐伯 秀久: 眼瞼外脂腺癌の3例. 日本皮膚悪性腫瘍学会学術大会プログラム・抄録集 2017; 33 回:192.
- 95) 伊藤 祐太, 朝比奈 昭彦, 伊東 慶悟, 中川 秀己: 組織学的に表皮の棘融解と異常角化細胞を認めた毛孔性紅色靴糠疹の1例. 日本皮膚科学会雑誌 2017; 127 (6) :1372.

- 96) 水野真希, 帆足俊彦, 市山進, 田中真百合, 伊藤路子, 藤本和久, 船坂陽子, 佐伯秀久: 耳介軟骨の切除を伴う右耳甲介の基底細胞癌に対し分層植皮術を施行した1例. 皮膚臨床 2017; 59 (9) :1395-1398. doi: 10.18888/hi.0000000156.
- 97) 水野 真希, 帆足 俊彦, 市山 進, 田中 真百合, 藤本 和久, 船坂 陽子, 佐伯 秀久: 耳介軟骨の切除を伴う右耳甲介の基底細胞癌に対し分層植皮術を施行した1例. 日本皮膚科学会雑誌 2017; 127 (9) :2123.
- 98) 芹澤 直隆, 帆足 俊彦, 三神 絵理奈, 奈古 利恵, 神崎 亜希子, 船坂 陽子, 佐伯 秀久, 菅 隼人: 肛門部基底細胞癌の1例. 日本皮膚外科学会誌 2017; 21 (2) :160-161.
- 99) 山崎 香里, 帆足 俊彦, 市山 進, 田中 真百合, 伊澤 有香, 船坂 陽子, 佐伯 秀久: 肺塞栓症をきたした類天疱瘡の1例. 日本皮膚科学会雑誌 2018; 128 (3) :449.
- 100) 杉田 美樹, 川瀬 正昭, 伊東 慶悟, 江藤 隆史: 胸部に生じた乳頭状汗管嚢胞腺腫の1例. 皮膚科の臨床 2017; 59 (11) :1733-1736.
- 101) 柴田 夕夏, 中島 英貴, 齋藤 生朗, 伊東 慶悟, 朝比奈 昭彦, 中川 秀己, 佐野 栄紀: 臨床像や生検所見が最終診断とは異なった付属器腫瘍の2例. 西日本皮膚科 2017; 79 (2) :198.
- 102) 藤本 和久, 佐伯 秀久, 真弓 暢子, 伊藤 路子, 福本 瞳, 亦野 蓉子, 江崎 英子, 市山 進, 新井 悠江, 奈古 利恵, 片岡 佳憧, 岡部 杏慈, 白川 典子: 薬物アレルギー H.pylori 除菌療法による薬疹の原因薬剤の検討. アレルギー 2017; 66 (4-5) :577.
- 103) 田中 真百合, 帆足 俊彦, 水野 真希, 市山 進, 伊藤 路子, 船坂 陽子, 佐伯 秀久: 蛍光抗体法により診断に至った抗 BP230 抗体陽性の結節性類天疱瘡の1例. 日本皮膚科学会雑誌 2017; 127 (9) :2138.
- 104) 帆足 俊彦, 浅原 麻里子, 白川 典子, 真弓 暢子, 中山 一隆, 大森 郁子, 猪口 孝一, 菅谷 誠, 船坂 陽子, 佐伯 秀久: 診断に苦慮した anaplastic large cell lymphoma の1例. 日本皮膚悪性腫瘍学会学術大会プログラム・抄録集 2017; 33 回:139.
- 105) 船坂陽子: 赤外線は皮膚老化を軽減する? 加速する?. MB Derma 2017; 262 (62) :50-63.
- 106) 木下 侑里, 山瀬 綾, 森田 孝, 幸野 健, 澤谷 倫史: 陰茎壊死を契機に診断に至ったカルシフィラキシスの1例. 日本皮膚科学会雑誌 2018; 128 (2) :226-227.
- 107) 田中 真百合, 帆足 俊彦, 市山 進, 船坂 陽子, 野呂 林太郎, 清家 正博, 久保田 馨, 弦間 昭彦, 佐伯 秀久: 非小細胞肺癌に対するニボルマブ投与により乾癬様皮疹を来した1例. 日本皮膚科学会雑誌 2017; 127 (5) :1199.
- 108) 吉原 有希, 朝比奈 昭彦, 宇野 優, 伊東 慶悟, 梅澤 慶紀, 中川 秀己: 頭部に生じた Warty Dyskeratoma の1例. 皮膚科の臨床 2017; 59 (10) :1567-1570.
- 109) 浅原 麻里子, 帆足 俊彦, 大橋 実奈, 白川 典子, 真弓 暢子, 船坂 陽子, 佐伯 秀久: 頭部に生じた dermatofibrosarcoma protuberans の1例. 日本皮膚科学会雑誌 2017; 127 (6) :1371.
- 110) 伊澤 有香, 篠原 理恵, 松田 秀則, 百瀬 葉子, 荻田 あづさ, 安齋 眞一, 佐伯 秀久, 桑名 正隆: 食道癌、胃癌を伴った抗 TIF1 $\gamma$  抗体陽性の皮膚筋炎の1例. 日本皮膚科学会雑誌 2017; 127 (6) :1358.
- 111) 原 みずき, 川瀬 正昭, 江藤 隆史, 伊東 慶悟: 鼻背部の小さなびらんとして生じた低悪性度脂腺癌の1例. 日本臨床皮膚科医会雑誌 2017; 34 (2) :299.

## 著書

- 1) 船坂陽子: [分担執筆] 老人性色素斑. 猿田享男, 北村惣一郎 監修 1336 専門家による私の治療 2017-2018 年度版. 2017; pp.1021-1022, 日本医事出版社.
- 2) 藤本 和久: [分担執筆] 金属アレルギー. 猿田享男, 北村惣一郎 監修 1336 専門家による私の治療 2017-2018 年度版. 2017; pp.858-860, 日本医事新報社.

## 学会発表

- 1) 帆足俊彦, 原田太郎, 船坂陽子, 佐伯秀久: A case of destructive thyroiditis in a nivolumab-treated melanoma patient. 日本臨床腫瘍学会学術集会 (第 15 回). (神戸), 2017. 7.
- 2) 白勢彩, 松村佳世子, 東直行: A 病院における褥瘡保有入院患者の傾向. 日本じょくそう学会誌, 2017. 8.
- 3) 片山 博貴, 新井 悠江, 東 直行: Clear cell acanthoma の1例. 日本皮膚科学会雑誌, 2017. 11.
- 4) 水野真希, 船坂陽子, 佐伯秀久: Hailey-Hailey 病の兄弟例. 日本皮膚科学会東京地方会 (第 874 回). (東京), 2017. 9.

- 5) 岡崎静, 船坂陽子, 佐伯秀久 : Intense Pulsed Light の UVB によるしわ形成の抑制効果. 日本美容皮膚科学会総会学術大会 (第 35 回) . (大阪) , 2017. 7.
- 6) 堺則康, 山田宗治, 尾田高志, 東直行, 川名誠司, 坪井良治, 吉田雅治 : MPO - ANCA 関連血管炎患者 55 例における皮膚症状の臨床病理学的検討—第 2 報—. 皮膚脈管膠原病研究会抄録集, 2017.
- 7) 市山 進, 船坂陽子, 水野真希, 芹澤直隆, 佐伯秀久 : Multiple in-focus blue-gray dots 主体のダーモスコープ所見を呈した基底細胞癌の 1 例. 第 872 回東京地方会, 2017. 6.
- 8) 李 民, 東 直行, 今井 丈英, 石河 晃, 中野 創 : NEMO/IKBKG 遺伝子の新規変異を同定した色素失調症の 1 例. 日本皮膚科学会雑誌, 2018. 1.
- 9) 新井 悠江, 李 民, 東 直行, 高山 良子, 佐伯 秀久, 細根 勝, 安齋 眞一 : Nuchal-type fibroma の 1 例. 日本皮膚科学会雑誌, 2018. 3.
- 10) Funasaka Y, Wolf AM, Kamimura N, Yabuki Y, Oda F, Ohta S, Saeki H : UVA and UVB-induced oxidative stress in live mouse skin-lack of XPA prolongs recovery from oxidative stress-. The 42nd Annual Meeting of the Japanese Society for Investigative Dermatology. (高知) , 2017. 12.
- 11) Funasaka.Y : Whitening agents: basics and therapeutics. International Pigment Cell Conference (IPCC) 2017. (Denver/USA) , 2017. 8.
- 12) 江崎英子, 帆足俊彦, 船坂陽子, 佐伯秀久 : reticulohistiocytosis の 1 例. 日本小児皮膚科学会学術大会 (第 41 回) . (福井) , 2017. 7.
- 13) 船坂陽子 : “しみ”の外用療法(ロドデノールやハイドロキノノンなど)の作用メカニズムと注意点 教育講演. 日本皮膚科学会総会(第 116 回) . (仙台) , 2017. 6.
- 14) 船坂陽子 : みためのアンチエイジング : エビデンスに基づいた美容皮膚科(しみ、しわ治療) 特別講演. 平成 29 年度神緑会関東支部・講演会. (東京) , 2017. 7.
- 15) 船坂陽子 : エビデンスに基づいたシミ治療 教育講演. 日本皮膚科学会東京支部学術大会 (第 81 回) . (東京) , 2017. 11.
- 16) 東直行, 李民, 井上理恵 : クリンダマイシン含有ゲルによるアレルギー性接触皮膚炎. Journal of Environmental Dermatology and Cutaneous Allergology, 2017. 11.
- 17) 船坂陽子 : シミの病態と治療の最前線 特別講演. 愛知県皮膚科医会例会 (第 207 回) . (名古屋) , 2017. 11.
- 18) 船坂陽子 : シミの診断とメカニズム 教育講演. 日本美容外科学会 (第 105 回) . (東京) , 2017. 5.
- 19) 水野真希, 帆足俊彦, 上春光司, 橋本佳亮, 橋本康司, 船坂陽子, 佐伯秀久 : 乳児肛門周囲膿瘍の 1 例. 日本皮膚科学会東京地方会(第 875 回) . (東京) , 2017. 11.
- 20) 佐伯秀久, 市山進, 伊藤路子, 船坂陽子, 安部正敏, 西田絵美, 村松伸之介, 西原春奈, 加藤裕史, 森田明理, 今福信一 : 乾癬治療に対するアドヒアランスおよび満足度調査. 日本乾癬学会学術集会 (第 32 回) . (東京) , 2017. 9.
- 21) 山口華央, 船坂陽子, 山瀬綾, 亦野蓉子, 高山良子, 佐伯秀久 : 低フルエンス Q-スイッチ Nr : YAG レーザー治療が有効であった尋常性白斑の 2 例. 日本皮膚科学会東京支部学術大会 (第 81 回) . (東京) , 2017. 11.
- 22) 江崎英子, 船坂陽子, 山下裕子, 大塚流音, 真弓暢子, 杉原仁, 佐伯秀久 : 先端巨大症に生じた cutaneous plasmacytosis の 1 例. 日本皮膚科学会総会 (第 116 回) . (仙台) , 2017. 6.
- 23) 船坂陽子 : 光発がん. 太陽紫外線防御研究委員会シンポジウム (第 28 回) . (京都) , 2018. 3.
- 24) 江崎英子, 帆足俊彦, 山崎香里, 市山進, 田中真百合, 伊澤有香, 船坂陽子, 佐伯秀久 : 前腕に生じた myopericytoma の 1 例. 日本皮膚科学会東京地方会 (第 876 回) . (東京) , 2017. 12.
- 25) 浅原麻里子, 帆足俊彦, 大橋実奈, 白川典子, 真弓暢子, 船坂陽子, 佐伯秀久 : 単純縫縮した下眼瞼基底細胞癌の 1 例. 日本皮膚外科学会総会学術集会 (第 32 回) . (埼玉) , 2017. 7.
- 26) 高山良子, 船坂陽子, 奈古利恵, 佐伯秀久 : 右環指から小指の疣状局面を呈した表皮母斑の 1 例. 日本皮膚科学会東京地方会(第 874 回) . (東京) , 2017. 9.
- 27) 市山 進, 帆足 俊彦, 船坂 陽子, 三神 絵理奈, 秋山 美知子, 江崎 英子, 久保 正英, 安齋 眞一, 佐伯 秀久, 田中 勝 : 基底細胞癌との鑑別を要した pigmented poroma の 2 例. 第 44 回皮膚かたち研究会学術大会, 2017. 7.
- 28) 市山進, 帆足俊彦, 船坂陽子, 三神絵理奈, 秋山美知子, 江崎英子, 久保正英, 安齋眞一, 佐伯秀久, 田中勝 : 基底細胞癌との鑑別を要した頭部の色素性エクリン汗孔腫の 2 例. 皮膚かたち研究会学術大会 (第 44 回) . (名古屋) , 2017. 7.
- 29) 高山良子, 船坂陽子, 清水愛, 丘野光洋, 佐伯秀久 : 好中球性皮膚症を呈した壊死性リンパ節炎の 1 例. 日本皮膚科学会東京支部学術大

- 会 (第 81 回) . (東京) , 2017. 11.
- 30) 中平奈那美, 高山良子, 船坂陽子, 佐伯秀久: 左乳輪部に生じ balloon cell が多数みられた色素性母斑の 1 例. 日本皮膚科学会東京地方会 (第 877 回) . (東京) , 2018. 1.
- 31) 江崎英子, 山瀬綾, 船坂陽子, 佐伯秀久: 男児の耳前部に生じた solitary cutaneous reticulohistiocytoma. 日本小児皮膚科学会学術大会 (第 41 回) . (福井) , 2017. 7.
- 32) 船坂陽子: 皮膚科医として知っておくべき疾患 教育講演. Sendagi Dermatology forum 2018. (東京) , 2018. 1.
- 33) 浅原麻里子, 帆足俊彦, 大橋実奈, 白川典子, 赤野蓉子, 真弓暢子, 船坂陽子, 佐伯秀久: 眼瞼外脂腺癌の 3 例. 日本皮膚悪性腫瘍学会学術大会 (第 33 回) . (秋田) , 2017. 6.
- 34) 小松知美, 帆足俊彦, 浅原麻里子, 江崎英子, 山瀬綾, 船坂陽子, 佐伯秀久: 硝酸による右拇指化学熱傷の 1 例. 日本皮膚科学会東京地方会 (第 877 回) . (東京) , 2018. 1.
- 35) 鈴木香緒里, 帆足俊彦, 江崎英子, 山瀬綾, 船坂陽子, 佐伯秀久: 糖尿病に伴う低 Mg, 低 K 血症による横紋筋融解症を合併した蜂窩織炎の 1 例. 日本皮膚科学会東京地方会 (第 875 回) . (東京) , 2017. 11.
- 36) 船坂陽子: 美白剤 Now シンポジウム. 日本美容皮膚科学会総会学術大会 (第 35 回) . (大阪) , 2017. 7.
- 37) 船坂陽子: 美白剤 (ロドデノール含む) の作用メカニズムと注意点 シンポジウム. 日本美容皮膚科学会総会学術大会 (第 35 回) . (大阪) , 2017. 7.
- 38) 水野真希, 帆足俊彦, 市山進, 田中真百合, 藤本和久, 船坂陽子, 佐伯秀久: 耳介軟骨の切除を伴う右耳甲介の基底細胞癌に対し分層植皮術を施行した 1 例. 日本皮膚科学会東京地方会 (第 872 回) . (東京) , 2017. 6.
- 39) 芹澤直隆, 帆足俊彦, 三神絵理奈, 奈古利恵, 神崎亜希子, 船坂陽子, 佐伯秀久, 菅隼人: 肛門部基底細胞癌の 1 例. 日本皮膚外科学会総会学術集会 (第 32 回) . (埼玉) , 2017. 7.
- 40) 山崎香里, 帆足俊彦, 市山進, 田中真百合, 伊澤有香, 船坂陽子, 佐伯秀久: 肺塞栓症をきたした類天疱瘡の 1 例. 日本皮膚科学会東京地方会 (第 877 回) . (東京) , 2018. 1.
- 41) 船坂陽子: 色素異常症 (シミ) のメカニズムと治療最前線 特別講演. 東京都皮膚科医学会学術講演会 (第 79 回) 臨床研究会 (第 53 回) . (東京) , 2017. 9.
- 42) 田中真百合, 帆足俊彦, 水野真希, 市山進, 伊藤路子, 船坂陽子, 佐伯秀久: 蛍光抗体法により診断に至った抗 BP230 抗体陽性の結節性類天疱瘡の 1 例. 日本皮膚科学会東京地方会合同臨床地方会 (第 873 回) . (東京) , 2017. 7.
- 43) 帆足俊彦, 浅原麻里子, 白川典子, 真弓暢子, 中山一隆, 大森郁子, 猪口孝一, 菅谷誠, 船坂陽子, 佐伯秀久: 診断に苦慮した anaplastic large cell lymphoma の 1 例. 日本皮膚悪性腫瘍学会学術大会 (第 33 回) . (秋田) , 2017. 6.
- 44) 田中真百合, 帆足俊彦, 市山進, 船坂陽子, 野呂林太郎, 清家正博, 久保田馨, 弦間昭彦, 佐伯秀久: 非小細胞肺癌に対するニボルマブ投与により乾癬様皮疹を来した 1 例. 日本皮膚科学会総会 (第 116 回) . (仙台) , 2017. 6.

## 14 消化器外科学分野

### 研究業績

#### 論文等

- 1) Daisuke Shigemi, Seiryu Kamoi, Akihisa Matsuda, Toshiyuki Takeshita : A Complicated Case of Pregnancy Involving a Presacral Epidermoid Cyst. JOURNAL OF NIPPON MEDICAL SCHOOL 2017; 84 (2) :100-104. doi: 10.1272/jnms.84.100.
- 2) Ueda J, Yoshida H, Makino H, Maruyama H, Yokoyama T, Hirakata A, Takata H, Seki N, Kikuchi Y, Uchida E : A case of sigmoid colon adenocarcinoma diagnosed as facial cutaneous metastasis for survival after operation for 37 months. Clinical journal of gastroenterology 2017; 10 (5) :420-425. doi: 10.1007/s12328-017-0767-7.
- 3) Yasuyuki Yokoyama, Ryuichi Wada, Takeshi Yamada, Eiji Uchida, Zenya Naito : A case of ulcerative colitis with squamous cell carcinomas and multiple foci of squamous dysplasia. PATHOLOGY INTERNATIONAL 2017; 67 (8) :414-418. doi: 10.1111/pin.12539.
- 4) Takeshi Yamada, Tatsuya Morita, Isseki Maeda, Satoshi Inoue, Masayuki Ikenaga, Yoshihisa Matsumoto, Mika Baba, Ryuichi Sekine, Takashi Yamaguchi, Takeshi Hirohashi, Tsukasa Tajima, Ryohei Tataru, Hiroaki Watanabe, Hiroyuki Otani, Chizuko Takigawa, Yoshinobu Matsuda, Shigeki Ono, Taketoshi Ozawa, Ryo Yamamoto, Hideki Shishido, Naoki Yamamoto : A prospective, multicenter cohort study to validate a simple performance status-based survival prediction system for oncologists. Cancer 2017; 123 (8) :1442-1452. doi: 10.1002/cncr.30484.
- 5) Yoshio Takesue, Shinya Kusachi, Hiroshige Mikamo, Junko Sato, Akira Watanabe, Hiroshi Kiyota, Satoshi Iwata, Mitsuo Kaku, Hideaki Hanaki, Yoshinobu Sumiyama, Yuko Kitagawa, Toru Mizuguchi, Yoshiyasu Ambo, Masafumi Konosu, Keiichiro Ishibashi, Akihisa Matsuda, Kazuo Hase, Yasushi Harihara, Koji Okabayashi, Shiko Seki, Takuo Hara, Koshi Matsui, Yoichi Matsuo, Minako Kobayashi, Shoji Kubo, Kazuhisa Uchiyama, Junzo Shimizu, Ryohei Kawabata, Hiroki Ohge, Shinji Akagi, Masaaki Oka, Toshiro Wakatsuki, Katsunori Suzuki, Kohji Okamoto, Katsunori Yanagihara : Antimicrobial susceptibility of pathogens isolated from surgical site infections in Japan: Comparison of data from nationwide surveillance studies conducted in 2010 and 2014-2015. JOURNAL OF INFECTION AND CHEMOTHERAPY 2017; 23 (5-6) :339-348. doi: 10.1016/j.jiac.2017.03.010.
- 6) Akihisa Matsuda, Eiji Uchida : Author's reply: sliding versus conventional functional end-to-end anastomosis for colon cancer surgery: a randomized controlled trial. JOURNAL OF SURGICAL RESEARCH 2017; 217:242-243. doi: 10.1016/j.jss.2017.03.047.
- 7) Tsutomu Nomura, Katsuhiko Iwakiri, Takeshi Matsutani, Nobutoshi Hagiwara, Itsuo Fujita, Yoshiharu Nakamura, Yoshikazu Kanazawa, Hiroshi Makino, Noriyuki Kawami, Masao Miyashita, Eiji Uchida : Characteristics and Outcomes of Laparoscopic Surgery in Patients with Gastroesophageal Reflux and Related Disease: A Single Center Experience. Journal of Nippon Medical School = Nippon Ika Daigaku zasshi 2017; 84 (1) :25-31. doi: 10.1272/jnms.84.25.
- 8) Tsutomu Nomura, Takeshi Matsutani, Nobutoshi Hagiwara, Itsuo Fujita, Yoshiharu Nakamura, Yoshikazu Kanazawa, Hiroshi Makino, Yasuhiro Mamada, Terumichi Fujikura, Masao Miyashita, Eiji Uchida : Characteristics predicting laparoscopic skill in medical students: nine years' experience in a single center. Surgical Endoscopy and Other Interventional Techniques 2018; 32 (1) :96-104. doi: 10.1007/s00464-017-5643-5.
- 9) 武田 幸樹, 山田 岳史, 小泉 岐博, 進士 誠一, 横山 康行, 高橋 吾郎, 岩井 拓磨, 原 敬介, 太田 恵一郎, 内田 英二 : Circulating cell free DNA を用いた大腸癌化学療法の効果予測. 日本外科学会定期学術集会抄録集 2017; 117 回:PS-110.
- 10) 山田 岳史, 高橋 吾郎, 岩井 拓磨, 武田 幸樹, 小泉 岐博, 進士 誠一, 松田 明久, 横山 康行, 原 敬介, 松本 智司, 太田 恵一郎, 内田 英二 : Circulating cell free DNA を用いた遠隔転移を有する大腸癌に対する治療戦略. 日本外科学会定期学術集会抄録集 2017; 117 回:SF-11.
- 11) Takahashi Goro, Yamada Takeshi, Iwai Takuma, Takeda Kohki, Koizumi Michihiro, Shinji Seiichi, Yokoyama Yasuyuki, Hara Keisuke, Furuki Hiroyasu, Watanabe Atsushi, Ohta Keiichiro, Uchida Eiji : Circulating tumour DNA following decompression using selfexpandable metallic stent. CANCER RESEARCH 2017; 77 doi: 10.1158/1538-7445.AM2017-5682.
- 12) Furuki Hiroyasu, Yamada Takeshi, Koizumi Michihiro, Shinji Seiichi, Uchida Eiji : Clonal evolution of tumors in patients with liver

- metastases from colorectal cancer using next generation sequencing. 日本癌学会学術総会抄録集 2017; 76th:ROMBUNNO.J - 2095 (WEB ONLY).
- 13) Furuki Hiroyasu, Yamada Takeshi, Koizumi Michihiro, Shinji Seiichi, Uchida Eiji : Clonal evolution of tumors in patients with liver metastases from colorectal cancer using next generation sequencing. *Cancer Science* 2018; 109:528.
  - 14) Seiichi Shinji, Yoshibumi Ueda, Takeshi Yamada, Michihiro Koizumi, Yasuyuki Yokoyama, Goro Takahashi, Masahiro Hotta, Takuma Iwai, Keisuke Hara, Kohki Takeda, Mikihiko Okusa, Hayato Kan, Eiji Uchida : Combined use of preoperative lymphocyte counts and the post/preoperative lymphocyte count ratio as a prognostic marker of recurrence after curative resection of stage II colon cancer. *Oncotarget* 2018; 9 (2) :2553-2564. doi: 10.18632/oncotarget.23510.
  - 15) 原 敬介, 山田 岳史, 小泉 岐博, 進士 誠一, 横山 康行, 高橋 吾郎, 堀田 正啓, 岩井 拓磨, 武田 幸樹, 太田 恵一朗, 内田 英二 : Complicated appendicitis の診断と治療戦略 複雑性虫垂炎に対する待機的虫垂切除の妥当性. *日本腹部救急医学会雑誌* 2018; 38(2):326.
  - 16) Kazutaka Nishiwaki, Takeshi Yamada, Takuma Iwai, Goro Takahashi, Eiji Uchida, Hayato Ohwada : Detecting small bowel strangulation using circulating cell-free DNA with machine learning. *International Journal of Machine Learning and Computing* 2017; 7 (3) :35-39. doi: 10.18178/ijmlc.2017.7.3.616.
  - 17) Fuminori Moriyasu, Yoshihiro Furuichi, Atsushi Tanaka, Hajime Takikawa, Hiroshi Yoshida, Isao Sakaida, Katsutoshi Obara, Makoto Hashizume, Masayoshi Kage, Satoko Ohfuji, Seigo Kitano, Seiji Kawasaki, Shigehiro Kokubu, Shoichi Matsutani, Susumu Eguchi, Susumu Shiomi, Tetsuhito Kojima, Yoshihiko Maehara, Yukio Kuniyoshi : Diagnosis and treatment guidelines for aberrant portal hemodynamics: The Aberrant Portal Hemodynamics Study Group supported by the Ministry of Health, Labor and Welfare of Japan. *HEPATOLOGY RESEARCH* 2017; 47 (5) :373-386. doi: 10.1111/hepr.12862.
  - 18) 清水哲也, 神田知洋, 古木裕康, 吉岡正人, 松下晃, 中村慶春, 谷合信彦, 内田英二 : ERCP 関連後腹膜穿孔 12 例の検討. *胆道* 2017; 31 (3) :488.
  - 19) 高田 英志, 吉田 寛, 牧野 浩司, 横山 正, 丸山 弘, 平方 敦史, 上田 純志, 関 奈紀, 菊池 友太, 上田 康二, 谷合 信彦, 真々田 裕宏, 内田 英二 : EVL 私はこうしている 標準化を目指して 食道静脈瘤に対する戦略的内視鏡的静脈瘤結紮術 Bi-monthly 法. *日本門脈圧亢進症学会雑誌* 2017; 23 (3) :107.
  - 20) Hoshino Shintaro, Takenouchi Nana, Hanada Yuriko, Umezawa Mariko, Sano Hirohito, Kawami Noriyuki, Hoshikawa Yoshimas, Kawagoe Tetsuro, Nomura Tsutomu, Hoshihara Yoshio, Iwakiri Katsuhiko : Effects of acotiamide on esophageal motility in healthy subjects : a randomized, double-blind, placebo-controlled crossover study. *Esophagus : official journal of the Japan Esophageal Society* 2017; 14 (2) :146-152.
  - 21) Shintaro Hoshino, Nana Takenouchi, Yuriko Hanada, Mariko Umezawa, Hirohito Sano, Noriyuki Kawami, Yoshimasa Hoshikawa, Tetsuro Kawagoe, Tsutomu Nomura, Yoshio Hoshihara, Katsuhiko Iwakiri : Effects of acotiamide on esophageal motility in healthy subjects: a randomized, double-blind, placebo-controlled crossover study (vol 14, pg 146, 2017). *ESOPHAGUS* 2017; 14 (3) :272-273. doi: 10.1007/s10388-017-0576-6.
  - 22) Shintaro Hoshino, Noriyuki Kawami, Nana Takenouchi, Mariko Umezawa, Yuriko Hanada, Yoshimasa Hoshikawa, Tetsuro Kawagoe, Hirohito Sano, Yoshio Hoshihara, Tsutomu Nomura, Katsuhiko Iwakiri : Efficacy of Vonoprazan for Proton Pump Inhibitor-Resistant Reflux Esophagitis. *DIGESTION* 2017; 95 (2) :156-161. doi: 10.1159/000456072.
  - 23) Takeshi Yamada, Goro Takahashi, Takuma Iwai, Kohki Takeda, Kohji Ueda, Michihiro Koizumi, Seiichi Shinji, Yasuyuki Yokoyama, Keisuke Hara, Akihisa Matsuda, Satoshi Matsumoto, Keiichiro Ohta, Uchida Eiji : Emergence of KRAS mutations and acquisition of resistance to EGFR blockade. *Journal of clinical oncology* 2017; 35 doi: 10.1200/JCO.2017.35.15\_suppl.3598.
  - 24) Chang Moo Kang, Akira Matsushita, Hokyung Hwang, Yoko Matsuda, Hyunki Kim, Yoshiharu Nakamura, Woo Jung Lee : Experience-based surgical approach to pancreatic mucinous cystic neoplasms with ovarian-type stroma. *Oncology Letters* 2018; 15 (2) :2451-2458. doi: 10.3892/ol.2017.7627.
  - 25) Ko K, Shimanuki K, Sakamoto W, Hara K, Uchida E : Extragastrintestinal stromal tumor of the inferior vena cava: a case report. *Surgical case reports* 2017; 3 (1) :53. doi: 10.1186/s40792-017-0329-8.
  - 26) Yoshikazu Kanazawa, Itsuo Fujita, Daisuke Kakinuma, Yuto Aoki, Hitoshi Kanno, Hiroki Arai, Kunihiko Matsuno, Tomohiro



- Shimoda, Takeshi Matsutani, Nobutoshi Hagiwara, Tsutomu Nomura, Takeshi Yamada, Shunji Kato, Zenya Naito, Hideaki Takasaki, Eiji Uchida : Five-year Survival After Surgical Removal and Gamma Knife Stereotactic Radiosurgery for a Cerebellar Metastasis from an Esophagogastric Junction Cancer: A Case Report and Literature Review. *IN VIVO* 2017; 31 (6) :1209-1214. doi: 10.21873/invivo.11192.
- 27) Kanazawa Y, Fujita I, Kakinuma D, Kanno H, Arai H, Matsutani T, Hagiwara N, Nomura T, Kato S, Naito Z, Uchida E : Five-year survival of Advanced Esophagogastric junction cancer with achieved by complete response preoperative S-1 + CDDP combination therapy and surgical resection. *International cancer conference journal* 2017; 6 (2) :60-64. doi: 10.1007/s13691-017-0279-9.
- 28) 山田 岳史, 高橋 吾郎, 岩井 拓磨, 武田 幸樹, 上田 康二, 小泉 岐博, 進士 誠一, 横山 康行, 原 敬介, 太田 惠一郎, 内田 英二 : From Bench to Bedside 臨床と基礎の連携研究 Liquid biopsy を用いた消化器がん Multi-biopsy Bank Project. *日本外科系連合学会誌* 2017; 42 (3) :411.
- 29) 山初 和也, 横室 茂樹, 川野 陽一, 宮下 正夫, 内田 英二 : GEM+nab-PTX 療法により切除可能となった膵尾部癌一切除例. *膵臓* 2017; 32 (3) :632.
- 30) 吉岡 正人, 谷合 信彦, 川野 陽一, 清水 哲也, 近藤 亮太, 金谷 洋平, 青木 悠人, 神田 知博, 松下 晃, 中村 慶春, 内田 英二 : ICG 蛍光法をナビゲーションとした腹腔鏡下再肝切除術. *日本内視鏡外科学会雑誌* 2017; 22 (7) :SF090-01.
- 31) 野村 務, 松谷 毅, 萩原 信敏, 藤田 逸郎, 金沢 義一, 中村 慶春, 柿沼 大輔, 太田 惠一郎, 宮下 正夫, 内田 英二 : III 型食道裂孔ヘルニア術後食道炎の検討. *日本消化器外科学会総会* 2017; 72 回:RS1-20.
- 32) 近藤 亮太, 中村 慶春, 金谷 洋平, 勝野 暁, 内田 英二, 和田 龍一, 清水 道生, 内藤 善哉 : IPMC と鑑別が困難であった Follicular pancreatitis の一例. *膵臓* 2017; 32 (3) :659.
- 33) 香中 伸太郎, 川野 陽一, 横室 茂樹, 飯田 信也, 松本 智司, 櫻澤 信行, 松田 明久, 山初 和也, 原田 潤一郎, 関口 久美子, 安藤 文彦, 川島 万平, 増田 寛喜, 羽鳥 務, 松本 光司, 宮下 正夫, 内田 英二 : IgG4 関連疾患に伴う自己免疫性肝炎を背景に発生したと考えられる肝細胞癌の一例. *日本臨床外科学会雑誌* 2018; 79 (3) :626.
- 34) Takeshi Matsutani, Kazuhiro Tamura, Masahiko Kutsukake, Akihisa Matsuda, Eiichi Tachikawa, Eiji Uchida : Impact of Pioglitazone on Macrophage Dynamics in Adipose Tissues of Cecal Ligation and Puncture-Treated Mice. *BIOLOGICAL & PHARMACEUTICAL BULLETIN* 2017; 40 (5) :638-644. doi: 10.1248/bpb.b16-00883.
- 35) Yoshikazu Kanazawa, Takeshi Yamada, Itsuo Fujita, Daisuke Kakinuma, Kunihiko Matsuno, Hiroki Arai, Tomohiro Shimoda, Kazuhide Ko, Shunji Kato, Takeshi Matsutani, Nobutoshi Hagiwara, Tsutomu Nomura, Eiji Uchida : In Vitro Chemosensitivity Test for Gastric Cancer Specimens Predicts Effectiveness of Oxaliplatin and 5-Fluorouracil. *ANTICANCER RESEARCH* 2017; 37 (11) :6401-6405. doi: 10.21873/anticancer.12093.
- 36) Ueda Yoshiyumi, Shinji Seiichi, Matsuda Yoko, Arai Tomio, Aida Junko, Ishiwata Toshiyuki : In vivo imaging of the infiltration of T cell lymphoma into the mucosal layer of the colon. *CANCER SCIENCE* 2018; 109:1018.
- 37) Yoshikazu Kanazawa, Itsuo Fujita, Daisuke Kakinuma, Hiroki Arai, Kunihiko Matsuno, Tomohiro Shimoda, Kazuhide Ko, Shunji Kato, Eiji Uchida : Initial Experience with Nab-Paclitaxel for Patients with Advanced Gastric Cancer: Safety and Efficacy. *ANTICANCER RESEARCH* 2017; 37 (5) :2715-2720. doi: 10.21873/anticancer.11622.
- 38) 山田 岳史, 高橋 吾郎, 岩井 拓磨, 武田 幸樹, 小泉 岐博, 進士 誠一, 松田 明久, 横山 康行, 原 敬介, 堀田 正啓, 松本 智司, 金沢 義一, 内田 英二 : Liquid biopsy を用いた大腸癌 Real-time Precision Medicine. *日本大腸肛門病学会雑誌* 2017; 70 (抄録号) :A214.
- 39) 山田 岳史, 高橋 吾郎, 岩井 拓磨, 武田 幸樹, 小泉 岐博, 進士 誠一, 松田 明久, 横山 康行, 原 敬介, 内田 英二 : Liquid biopsy を用いた大腸癌肝転移に対する治療戦略. *日本消化器外科学会総会* 2017; 72 回:WS04-8.
- 40) 岩井 拓磨, 山田 岳史, 小泉 岐博, 進士 誠一, 横山 康行, 高橋 吾郎, 武田 幸樹, 原 敬介, 太田 惠一郎, 内田 英二 : Liquid biopsy を用いた大腸癌肝転移肝切除後の早期再発リスク評価. *日本外科学会定期学術集会抄録集* 2017; 117 回:SF-11.
- 41) Makino Hiroshi, Yoshida Hiroshi, Maruyama Hiroshi, Kikuchi Yuta, Ueda Koji, Yoshioka Masafumi, Nomura Tsutomu, Matsutani Takeshi, Hagiwara Nobutoshi, Sakurazawa Nobuyuki, Miyashita Masao, Uchida Eiji : Lymph-node dissection along the left recurrent laryngeal nerve after esophageal stripping in VATS-E. *Journal of Gastroenterology and Hepatology* 2017; 32:301.
- 42) Kusakabe Makoto, Makino Hiroshi, Yoshida Hiroshi, Maruyama Hiroshi, Yokoyama Tadashi, Hirakata Atsushi, Ueda Jyunji, Takata Hideyuki, Kikuchi Yuta, Ueda Koji, Yoshioka Masafumi, Asami Keiichi, Irie Toshiyuki, Kakinuma Daisuke, Kanazawa Yoshikazu,

- Fujita Itsuro, Uchida Eiji : Mediastinal lymph-adenectomy and esophago-gastric anastomosis for Esophago-gastric junctional cancer in VATS-E. *Journal of gastroenterology and hepatology* 2017; 32:301.
- 43) Seiichi Shinji, Hayato Kan, Takeshi Yamada, Michihiro Koizumi, Aya Yamagishi, Yasuyuki Yokoyama, Goro Takahashi, Takuma Iwai, Keisuke Hara, Kohki Takeda, Keiichiro Ohta, Eiji Uchida : Modified Marionette Technique for Laparoscopic Colorectal Surgery. *Journal of Nippon Medical School = Nippon Ika Daigaku zasshi* 2017; 84 (1) :49-53. doi: 10.1272/jnms.84.49.
- 44) Takeshi Yamada, Yasuyuki Yokoyama, Kouki Takeda, Goro Takahashi, Takuma Iwai, Michihiro Koizumi, Akihisa Matsuda, Seiichi Shinji, Keisuke Hara, Satoshi Matsumoto, Keiichiro Ohta, Eiji Uchida : Negative effects of mechanical bowel preparation on the postoperative intestinal motility of patients with colorectal cancer. *Enhanced Recovery After Surgery* 2018:101-107. doi: 10.1007/978-981-10-6796-9\_9.
- 45) Goro Takahashi, Takeshi Yamada, Takuma Iwai, Kohki Takeda, Michihiro Koizumi, Seiichi Shinji, Eiji Uchida : Oncological Assessment of Stent Placement for Obstructive Colorectal Cancer from Circulating Cell-Free DNA and Circulating Tumor DNA Dynamics. *Annals of surgical oncology* 2018; 25 (3) :737-744. doi: 10.1245/s10434-017-6300-x.
- 46) Takuma Iwai, Takeshi Yamada, Michihiro Koizumi, Seiichi Shinji, Yasuyuki Yokoyama, Goro Takahashi, Kohki Takeda, Keisuke Hara, Keiichiro Ohta, Eiji Uchida : Oxaliplatin-induced increase in splenic volume; irreversible change after adjuvant FOLFOX. *Journal of surgical oncology* 2017; 116 (7) :947-953. doi: 10.1002/jso.24756.
- 47) 藤田 逸郎, 金澤 義一, 柿沼 大輔, 菅野 仁士, 松野 邦彦, 高 和英, 下田 朋宏, 新井 洋紀, 萩原 信敏, 松谷 毅, 野村 務, 加藤 俊二, 太田 恵一朗, 内田 英二 : PEG 造設困難症例における腹腔鏡下胃内手術を応用した胃ろう造設術. *Gastroenterological Endoscopy* 2017; 59 (Suppl.2) :2235.
- 48) Noriyuki Kawami, Nana Takenouchi, Mariko Umezawa, Shintaro Hoshino, Yuriko Hanada, Yoshimasa Hoshikawa, Hirohito Sano, Yoshio Hoshihara, Tsutomu Nomura, Eiji Uchida, Katsuhiko Iwakiri : Pathogenesis of Double-Dose Proton Pump Inhibitor-Resistant Non-Erosive Reflux Disease, and Mechanism of Reflux Symptoms and Gastric Acid Secretion-Suppressive Effect in the Presence or Absence of *Helicobacter pylori* Infection. *DIGESTION* 2017; 95 (2) :140-145. doi: 10.1159/000455834.
- 49) 山田 岳史, 高橋 吾郎, 岩井 拓磨, 武田 幸樹, 小泉 岐博, 松田 明久, 進士 誠一, 横山 康行, 原 敬介, 堀田 正啓, 松本 智司, 太田 恵一朗, 内田 英二 : Precision Medicine への橋渡しとしての Tumor Location による治療選択. *日本臨床外科学会雑誌* 2017; 78 (増刊) :662.
- 50) Takeshi Yamada, Yasuyuki Yokoyama, Kouki Takeda, Goro Takahashi, Takuma Iwai, Michihiro Koizumi, Akihisa Matsuda, Seiichi Shinji, Keisuke Hara, Satoshi Matsumoto, Keiichiro Ohta, Eiji Uchida : Preoperative bowel preparation in ERAS program: Would-be merits or demerits. *Enhanced Recovery After Surgery* 2018:21-27. doi: 10.1007/978-981-10-6796-9\_3.
- 51) 松野邦彦, 柿沼大輔, 下田朋宏, 新井洋紀, 菅野仁士, 金沢義一, 藤田逸郎, 萩原信敏, 松谷毅, 野村務, 桜澤信行, 牧野浩二, 太田恵一朗, 内田英二 : Press Through Package 誤飲による十二指腸穿孔の1例. *日本外科系連合学会誌* 2017; 42 (3) :581.
- 52) Yamada Takeshi, Takahashi Goro, Iwai Takuma, Takeda Kohki, Furuki Hiroyasu, Koizumi Michihiro, Shinji Seiichi, Matsuda Akihisa, Yokoyama Yasuyuki, Hara Keisuke, Matsumoto Satoshi, Ohta Keiichiro, Uchida Eiji : Real time Precision Medicine for colorectal cancer by using liquid biopsy. *日本消化器癌発生学会総会プログラム・抄録集* 2017; 28th:68.
- 53) 大塚 悠介, 山田 岳史, 小泉 岐博, 進士 誠一, 横山 康行, 高橋 吾郎, 堀田 正啓, 岩井 拓磨, 原 敬介, 武田 幸樹, 太田 恵一朗, 内田 英二 : Regorafenib dose-escalation therapy の経験. *日本大腸肛門病学会雑誌* 2017; 70 (抄録号) :A269.
- 54) 金沢 義一, 藤田 逸郎, 柿沼 大輔, 松野 邦彦, 新井 洋樹, 高 和英, 下田 朋宏, 加藤 俊二, 太田 恵一郎, 輪湖 哲也, 岸田 悦子, 田中 弘人, 内田 英二 : S-1 plus oxaliplatin による進行胃癌術前化学療法の実績. *日本癌治療学会学術集会抄録集* 2017; 55 回:P171-5.
- 55) 安藤 文彦, 松田 明久, 松本 智司, 櫻澤 信行, 川野 陽一, 山初 和也, 篠塚 恵理子, 原田 潤一郎, 関口 久美子, 増田 寛喜, 川島 万平, 香中 伸太郎, 横室 茂樹, 宮下 正夫, 内田 英二 : S-1 投与により長期 CR が得られた胃癌浸潤の1例. *日本消化管学会雑誌* 2018; 2 (Suppl.) :325.
- 56) 水谷 聡, 鈴木 英之, 相本 隆幸, 中村 慶春, 山岸 征嗣, 小山 裕司, 大山 莉奈, 渡辺 昌則, 北山 康彦, 内田 英二 : SMA 神経叢全周温存膵頭十二指腸切除標本における膵鉤部周辺細分類による病理学的検討. *膵臓* 2017; 32 (3) :487.
- 57) 関口 久美子, 松田 明久, 渡辺 郷美, 高橋 一美, 松本 智司, 櫻澤 信行, 川野 陽一, 山初 和也, 宮下 正夫, 内田 英二 : SSI サー

- バランスの質の改善に対する取り組み. 日本外科感染症学会雑誌 2017; 14 (5) :629.
- 58) Takeshi Matsutani, Tsutomu Nomura, Nobutoshi Hagiwara, Akihisa Matsuda, Eiji Uchida : Salvage Endoscopic Argon Plasma Coagulation After Chemoradiotherapy for Inoperable Esophageal Cancer. SURGICAL LAPAROSCOPY ENDOSCOPY & PERCUTANEOUS TECHNIQUES 2017; 27 (5) :384-390. doi: 10.1097/SLE.0000000000000454.
- 59) 大野 崇, 松谷 毅, 萩原 信敏, 新井 洋紀, 野村 務, 内田 英二 : Schloffer 腫瘍疑いで摘出後に明細胞癌と診断された 1 例. 日本臨床外科学会雑誌 2017; 78 (12) :2742-2747.
- 60) Toshiyuki Irie, Takeshi Matsutani, Nobutoshi Hagiwara, Tsutomu Nomura, Itsuo Fujita, Yoshikazu Kanazawa, Daisuke Kakinuma, Eiji Uchida : Successful treatment of non-occlusive mesenteric ischemia with indocyanine green fluorescence and open-abdomen management. Clinical Journal of Gastroenterology 2017; 10 (6) :514-518. doi: 10.1007/s12328-017-0779-3.
- 61) 金沢義一, 藤田逸郎, 柿沼大輔, 松野邦彦, 新井洋樹, 高和英, 下田朋宏, 加藤俊二, 太田恵一郎, 輪湖哲也, 岸田悦子, 田中弘人, 内田英二 : S - 1plus oxaliplatin による進行胃癌術前化学療法の結果. 日本癌治療学会学術集会 2017; 55th:ROMBUNNO.P171 - 5 (WEB ONLY)-5.
- 62) 久保田 友紀, 原 敬介, 進士 誠一, 山田 岳史, 小泉 岐博, 横山 康行, 高橋 吾郎, 堀田 正啓, 岩井 拓磨, 武田 幸樹, 内田 英二 : S 状結腸腸間膜窩ヘルニアに対して reduced port surgery で手術しえた 1 例. 日本腹部救急医学会雑誌 2018; 38 (2) :449.
- 63) Yuto Aoki, Junko Aida, Youichi Kawano, Ken-ichi Nakamura, Naotaka Izumiyama-Shimomura, Naoshi Ishikawa, Tomio Arai, Yoshiharu Nakamura, Nobuhiko Taniai, Eiji Uchida, Kaiyo Takubo, Toshiyuki Ishiwata : Telomere length of gallbladder epithelium is shortened in patients with congenital biliary dilatation: measurement by quantitative fluorescence in situ hybridization. Journal of Gastroenterology 2018; 53 (2) :302-303. doi: 10.1007/s00535-017-1418-y.
- 64) Osamu Nishida, Hiroshi Ogura, Moritoki Egi, Seitaro Fujishima, Yoshiro Hayashi, Toshiaki Iba, Hitoshi Imaizumi, Shigeaki Inoue, Yasuyuki Kakihana, Joji Kotani, Shigeaki Kushimoto, Yoshiki Masuda, Naoyuki Matsuda, Asako Matsushima, Taka-Aki Nakada, Satoshi Nakagawa, Shin Nunomiya, Tomohito Sadahiro, Nobuaki Shime, Tomoaki Yatabe, Yoshitaka Hara, Kei Hayashida, Yutaka Kondo, Yuka Sumi, Hideto Yasuda, Kazuyoshi Aoyama, Takeo Azuhata, Kent Doi, Matsuyuki Doi, Naoyuki Fujimura, Ryota Fuke, Tatsuma Fukuda, Koji Goto, Ryuichi Hasegawa, Satoru Hashimoto, Junji Hatakeyama, Mineji Hayakawa, Toru Hifumi, Naoki Higashibeppu, Katsuki Hirai, Tomoya Hirose, Kentaro Ide, Yasuo Kaizuka, Tomomichi Kan'o, Tatsuya Kawasaki, Hiromitsu Kuroda, Akihisa Matsuda, Shotaro Matsumoto, Masaharu Nagae, Mutsuo Onodera, Tetsu Ohnuma, Kiyohiro Oshima, Nobuyuki Saito, So Sakamoto, Masaaki Sakuraya, Mikio Sasano, Norio Sato, Atsushi Sawamura, Kentaro Shimizu, Kunihiko Shirai, Tetsuhiro Takei, Muneyuki Takeuchi, Kohei Takimoto, Takumi Taniguchi, Hiroomi Tatsumi, Ryosuke Tsuruta, Naoya Yama, Kazuma Yamakawa, Chizuru Yamashita, Kazuto Yamashita, Takeshi Yoshida, Hiroshi Tanaka, Shigeto Oda : The Japanese Clinical Practice Guidelines for Management of Sepsis and Septic Shock 2016 (J-SSCG 2016). Acute medicine & surgery 2018; 5 (1) :3-89. doi: 10.1002/ams2.322.
- 65) Takeshi Yamada, Satoshi Matsumoto, Michihiro Koizumi Akihisa Matsuda, Seiichi Shinji, Yasuyuki Yokoyama, Goro Takahashi, Takuma Iwai, Kouki Takeda, Keiichiro Ohta, Eiji Uchida : The effect of Daikenchuto on postoperative intestinal motility in patients with right-side colon cancer. Surgery today 2017; 47 (7) :865-871. doi: 10.1007/s00595-016-1449-7.
- 66) Y Kawano, Y Sanada, T Urahashi, Y Ihara, N Okada, N Yamada, Y Hirata, T Katano, N Taniai, A Matsuda, M Miyashita, H Yoshida, K Mizuta : Transition of Spleen Volume Long After Pediatric Living Donor Liver Transplantation for Biliary Atresia. Transplantation proceedings 2018 doi: 10.1016/j.transproceed.2018.03.071.
- 67) 松野 邦彦, 高 和英, 下田 朋弘, 新井 洋樹, 柿沼 大輔, 松谷 毅, 野村 務, 金沢 義一, 藤田 逸郎, 内田 英二 : V-P シャント造設 20 年後に婦人科手術をきっかけに腹腔内髄液仮性嚢胞を発症し、嚢胞開窓術を要した 1 例. 日本消化器外科学会総会 2017; 72 回:PP11-3.
- 68) 櫻澤 信行, 宮下 正夫, 原田 潤一郎, 安藤 文彦, 藤田 逸郎, 金沢 義一, 牧野 浩司, 内田 英二 : 「台形トンネル法」早期胃癌、食道胃接合部癌に対する LAPG 後の新しい吻合法(The "Trapezoidal Tunneling method", a new reconstruction after LAPG for early Gastric and EGJ cancer). 日本胃癌学会総会記事 2018; 90 回:345.
- 69) 松田 明久, 宮下 正夫, 山田 真史奈, 松本 智司, 櫻澤 信行, 川野 陽一, 関口 久美子, 松谷 毅, 山田 岳史, 内田 英二 : 【侵襲

- 時の生体反応を改善する新しい試み】脂質メディエーターに着目した外科侵襲後の生体反応 リゾリン脂質に注目して. 外科と代謝・栄養 2017; 51 (4) :157-164.
- 70) 清水 哲也, 中村 慶春, 松下 晃, 吉岡 正人, 川野 陽一, 神田 知洋, 谷合 信彦, 野村 務, 真々田 裕宏, 内田 英二 : 【再確認しよう!内視鏡外科の基本手技;体位からデバイスの使用法まで】鉗子の選択と使用方法. 消化器外科 2017; 40 (8) :1149-1156.
- 71) 吉岡 正人, 谷合 信彦, 清水 哲也, 吉田 寛, 内田 英二 : 【合併症ゼロを目指した最新の低侵襲内視鏡外科手術】肝臓 腹腔鏡下肝切除術における reduced port surgery の工夫. 手術 2018; 72 (4) :485-492. doi: 10.18888/op.0000000638.
- 72) 松田 明久, 宮下 正夫, 松本 智司, 櫻澤 信行, 川野 陽一, 関口 久美子, 山田 岳史, 内田 英二 : 【外科手術器具の理論と使用法】 VI.ステント・チューブ類 下部消化管(大腸)に用いる減圧チューブ・ステントの種類と使用法. 外科 2017; 79 (12) :1238-1244.
- 73) 山田 岳史, 高橋 吾郎, 岩井 拓磨, 武田 幸樹, 小泉 岐博, 進士 誠一, 松田 明久, 横山 康行, 原 敬介, 内田 英二 : 【大腸癌バイオマーカー入門】 II.各論 大腸癌の cell free DNA. 外科 2017; 79 (13) :1371-1373.
- 74) 中村 慶春, 松下 晃, 山初 和也, 住吉 宏樹, 吉岡 正人, 清水 哲也, 神田 知洋, 内田 英二 : 【徹底解説!-痔頭十二指腸切除の手術手技】手術手技 腹腔鏡下痔頭十二指腸切除術 小開腹下痔消化管吻合. 臨床外科 2018; 73 (3) :336-341.
- 75) 松田 明久, 宮下 正夫, 松本 智司, 櫻澤 信行, 川野 陽一, 関口 久美子, 山田 岳史, 内田 英二 : 【急性腹症に対する低侵襲アプローチ-適応と手技】閉塞性大腸癌 大腸ステント留置後の手術(BTS). 外科 2017; 79 (9) :833-837.
- 76) 菅野 仁士, 内田 英二 : 【急性腹症ガイドラインの検証】消化器疾患による急性腹症術後の栄養管理. 日本腹部救急医学会雑誌 2017; 37 (4) :559-563.
- 77) 山田 岳史, 青木 悠人, 小泉 岐博, 進士 誠一, 高橋 吾郎, 岩井 琢磨, 武田 幸樹, 横山 康行, 堀田 正啓, 原 敬介, 松田 明久, 松本 智司, 太田 恵一朗, 内田 英二 : 【急性腹症ガイドラインの検証】絞扼性腸閉塞診断における造影 CT の有用性. 日本腹部救急医学会雑誌 2017; 37 (4) :581-585.
- 78) 川野 陽一, 松本 智司, 櫻澤 信行, 松田 明久, 山初 和也, 横室 茂樹, 宮下 正夫 : 【新人ナースにドレドレ博士が伝授!消化器外科 留置部位別のドレーン 観察・管理のポイント】モリソン窩. 消化器外科 Nursing 2017; 22(6) : 507-514.
- 79) 野村 務, 松谷 毅, 萩原 信敏, 内田 英二 : 【成人鼠径部ヘルニア 2018】大腿ヘルニア 切開法. 消化器外科 2018; 41 (3) :390-396.
- 80) 川野 陽一, 松本 智司, 櫻澤 信行, 松田 明久, 山初 和也, 横室 茂樹, 宮下 正夫 : 【新人ナースにドレドレ博士が伝授!消化器外科 留置部位別のドレーン 観察・管理のポイント】ウインスロー孔. 消化器外科 Nursing 2017; 22 (6) :499-506.
- 81) 谷合 信彦, 吉岡 正人, 川野 陽一, 清水 哲也, 青木 悠人, 近藤 亮太, 金谷 洋平, 沖野 哲也, 吉田 寛 : 【胆汁漏と膵液瘻の管理】肝切除術後胆汁漏発生のリスク因子としての肝管空腸吻合. 日本外科感染症学会雑誌 2018; 15 (1) :57-62.
- 82) 平方 敦史, 吉田 寛, 牧野 浩司, 上田 純志, 高田 英志, 真々田 裕宏, 谷合 信彦, 内田 英二 : 【腹水管理の最近の進歩】難治性腹水に対する治療法の選択 腹水濾過濃縮再静注法、経静脈的肝内門脈短絡路、腹腔静脈シャントの長所、短所と適応について. 肝臓 2017; 58 (2) :91-96. doi: 10.2957/kanzo.58.91.
- 83) 清水 哲也, 谷合 信彦, 吉岡 正人, 川野 陽一, 真々田 裕宏, 内田 英二 : 【腹腔鏡下肝切除に必要な外科解剖と手術手技】腹腔鏡下肝外側区域切除の手術手技. 手術 2017; 71 (13) :1731-1737.
- 84) 丸山 弘, 吉田 寛 : 【診療科別 プロが示す『抗菌薬適正使用』の理論と実践】消化器外科. 感染と抗菌薬 2018; 21 (1) :21-26.
- 85) 平方 敦史, 吉田 寛, 上田 純志, 高田 英志, 内田 英二 : 【門脈圧亢進症治療の進歩】難治性腹水に対する TIPS とデンバーシャントの適応と実際. 消化器・肝臓内科 2017; 2 (5) :550-557.
- 86) 松田 明久, 宮下 正夫, 松本 智司, 櫻澤 信行, 川野 陽一, 関口 久美子, 山田 岳史, 内田 英二 : 【閉塞性大腸癌-ベストプラクティスを探す】閉塞性大腸癌に対するステント留置 術前減圧はどちらを選ぶ? ステント versus イレウス管. 臨床外科 2018; 73 (1) :20-26.
- 87) 松田 明久, 宮下 正夫, 山田 真史奈, 関口 久美子, 松谷 毅, 内田 英二 : 【集中治療医学領域における基礎研究最近のトピックス】炎症と脂質メディエーター. ICU と CCU 2018; 42 (1) :9-16.
- 88) 櫻澤 信行, 宮下 正夫, 横室 茂樹, 松本 智司, 川野 陽一, 松田 明久, 山初 和也, 篠塚 恵理子, 原田 潤一郎, 関口 久美子, 安藤 文彦, 保田 智彦, 金沢 義一, 藤田 逸郎, 内田 英二 : ここを工夫した、新しい6番リンパ節郭清手技(GEAR DOWN 郭清). 日本臨床外科学会雑誌 2017; 78 (増刊) :501.
- 89) 松本 智司, 松田 明久, 川野 陽一, 櫻澤 信行, 山初 和也, 原田 潤一郎, 関口 久美子, 安藤 文彦, 篠塚 恵理子, 川島 万平, 増田 寛喜, 香中 伸太郎, 横室 茂樹, 宮下 正夫, 内田 英二 : ここを工夫した私の手術手技(Reduced port surgery) 外科医 2 人で行う鏡

- 視下大腸手術の導入と定型化. 日本臨床外科学会雑誌 2017; 78 (増刊) :445.
- 90) 金沢義一, 山田岳史, 横山康行, 相原恵美, 山口文子, 菊永恭子, 林太祐, 星川美夕紀, 中村博子, 内田英二 : より低侵襲な腸管前処置の導入からみた術式別大腸癌パスの有用性. 日本クリニカルパス学会誌 2017; 19 (4) :404.
- 91) 高 和英, 吉田 寛, 進士 誠一, 菅 隼人, 山田 岳史, 内田 英二 : イレウス管留置による逆行性小腸重積症の 1 例. 日本腹部救急医学雑誌 2017; 37 (4) :603-606. doi: 10.11231/jaem.37.603.
- 92) 山口 祐司, 岡崎 幹子, 久保田 万葉, 山田 裕士, 大庭 健史, 周東 佑樹, 仲村 優子, 原田 太郎, 稲垣 恭子, 眞野 あすか, 松下 晃, 中村 慶春, 福田 いずみ, 内田 英二, 杉原 仁 : クッシング症候群を合併したパラガングリオーマの 1 例. 日本内分泌学会雑誌 2017; 93 (4) :1462.
- 93) 谷合 信彦, 吉岡 正人, 川野 陽一, 清水 哲也, 近藤 亮太, 金谷 洋平, 青木 悠人, 吉田 寛, 内田 英二 : シミュレーション手術の新展開 腹腔鏡下肝部分切除におけるナビゲーションシステム. 日本臨床外科学会雑誌 2017; 78 (増刊) :401.
- 94) 安藤 文彦, 櫻澤 信行, 原田 潤一郎, 金沢 義一, 藤田 逸郎, 牧野 浩司, 宮下 正夫, 内田 英二 : ストラップガーゼ法を用いた進行胃癌に対する腹腔鏡下胃切除術(Laparoscopic gastrectomy for advanced gastric cancer using the strap gauze method). 日本胃癌学会総会記事 2018; 90 回:335.
- 95) 金沢 義一, 山田 岳史, 横山 康行, 小泉 岐博, 進士 誠一, 原 啓介, 高橋 吾郎, 岩井 拓磨, 相原 恵美, 山口 文子, 菊永 恭子, 林 太祐, 星川 美夕紀, 中村 博子, 内田 英二 : チーム医療を推進するためのクリニカルパスの活用 Patient oriented clinical path を観点とした術式別大腸癌パス. 日本外科系連合学会誌 2017; 42 (3) :421.
- 96) 吉岡 正人, 谷合 信彦, 川野 陽一, 清水 哲也, 近藤 亮太, 金谷 洋平, 神田 知洋, 青木 悠人, 古木 裕康, 松下 晃, 中村 慶春, 内田 英二 : 上腹部手術や肝切除既往のある患者に対する腹腔鏡下再肝切除術の有用性. 日本消化器外科学会雑誌 2017; 50 (Suppl.2) :286.
- 97) 川野 陽一, 松本 智司, 櫻澤 信行, 松田 明久, 山初 和也, 久城 正紀, 中山 文彦, 益子 一樹, 川俣 博志, 横室 茂樹, 松本 尚, 宮下 正夫, 内田 英二 : 下大静脈出血に対する縫合止血を要した右肝切除の術後に下大静脈閉塞を来した 1 例. Japanese Journal of Acute Care Surgery 2017; 7 (1) :229.
- 98) 川野 陽一, 松本 智司, 櫻澤 信行, 松田 明久, 山初 和也, 吉岡 正人, 清水 哲也, 谷合 悠人, 横室 茂樹, 宮下 正夫, 内田 英二 : 中規模病院における腹腔鏡下肝部分切除術の最前線. 日本消化器外科学会雑誌 2017; 50 (Suppl.2) :290.
- 99) 飯田 信也, 柳原 恵子, 栗田 智子, 中井 麻木, 鈴木 えりか, 関口 久美子, 羽鳥 努, 宮下 正夫, 武井 寛幸 : 乳癌腋窩リンパ節転移(N 因子)の術前診断(画像診断ならびに細胞診)の精度の検討. 日本乳癌学会総会プログラム抄録集 2017; 25 回:497.
- 100) 稲田 浩美, 山田 岳史, 小泉 岐博, 進士 誠一, 佐川 愛子 : 人工肛門粘膜皮膚接合部の粘膜過形成に対する処置法の工夫. 日本ストーマ・排泄リハビリテーション学会誌 2018; 34 (1) :210.
- 101) 中尾 淳一, 梅澤 裕己, 進士 誠一, 小川 令 : 会陰周囲再建に対する治療戦略 後大腿皮弁の応用. 日本外科系連合学会誌 2017; 42 (3) :535.
- 102) 高橋 吾郎, 山田 岳史, 小泉 岐博, 松田 明久, 進士 誠一, 横山 康行, 岩井 拓磨, 武田 幸樹, 内田 英二 : 保存的治療非奏効例における虫垂炎手術の周術期治療成績. 日本外科感染症学会雑誌 2017; 14 (3) :137-142.
- 103) 中村 慶春, 松下 晃, 神田 知洋, 古木 裕康, 清水 哲也, 吉岡 正人, 谷合 信彦, 山初 和也, 住吉 宏樹, 横山 正, 松本 智司, 内田 英二 : 先天性胆道拡張症成人例に対する腹腔鏡下分流術の手術成績について. 日本消化器病学会雑誌 2017; 114 (臨増大会) :A773.
- 104) 上田 善文, 進士 誠一, 松田 陽子, 新井 富生, 相田 順子, 石渡 俊行 : 免疫を有するマウスにおける悪性リンパ腫の大腸の粘膜層への浸潤、転移巣形成の動態可視化法の確立. 日本癌学会総会記事 2017; 76 回:P-3098.
- 105) 増田 寛喜, 櫻澤 信行, 香中 伸太郎, 川島 万平, 安藤 文彦, 関口 久美子, 保田 智彦, 篠塚 恵理子, 宮下 正夫, 内田 英二 : 内視鏡下に摘出困難であった義歯食道異物に対し緊急食道異物摘出術を施行した 1 例. 日本食道学会学術集会プログラム・抄録集 2017; 71 回:P40-4.
- 106) 川野 陽一, 松本 智司, 谷合 信彦, 櫻澤 信行, 松田 明久, 山初 和也, 吉岡 正人, 清水 哲也, 近藤 亮太, 金谷 洋平, 青木 悠人, 横室 茂樹, 宮下 正夫, 内田 英二 : 内視鏡手術による新たな外科解剖の展開(肝胆膵) 腹腔鏡下肝切除術における Caudal & Magnifying view による新たな解剖認識とアプローチ法. 日本内視鏡外科学会雑誌 2017; 22 (7) :WS1-2.
- 107) 吉岡 正人, 谷合 信彦, 川野 陽一, 清水 哲也, 近藤 亮太, 金谷 洋平, 青木 悠人 : 再発肝癌に対する腹腔鏡下再肝切除術の有用性と成績. 肝臓 2017; 58 (Suppl.1) :A455.

- 108)吉岡 正人, 谷合 信彦, 川野 陽一, 清水 哲也, 近藤 亮太, 金谷 洋平, 青木 悠人, 神田 知洋, 勝野 暁, 松下 晃, 中村 慶春, 真々田 裕宏, 内田 英二: 再肝切除における腹腔鏡下肝切除術の有用性と成績. 日本外科学会定期学術集会抄録集 2017; 117 回:PS-6.
- 109)上田 康二, 進士 誠一, 石井 庸介, 山脇 博士, 山田 岳史, 小泉 岐博, 横山 康行, 堀田 正啓, 高橋 吾郎, 岩井 拓磨, 武田 幸樹, 原 敬介, 太田 惠一朗, 新田 隆, 内田 英二: 冠動脈三枝病変の狭心症を伴う閉塞性大腸癌に対し大腸ステント留置により安全な根治切除が可能となった1例. 癌と化学療法 2017; 44 (12) :1868-1870.
- 110)清水 哲也, 谷合 信彦, 吉岡 正人, 川野 陽一, 近藤 亮太, 金谷 洋平, 青木 悠人, 神田 知洋, 松下 晃, 中村 慶春, 真々田 裕宏, 内田 英二: 出血・胆汁漏を起こさない腹腔鏡下肝切除の工夫. 日本内視鏡外科学会雑誌 2017; 22 (7) :SF114-05.
- 111)柴山 雅行, 大庭 健史, 岡崎 幹子, 山田 裕士, 山口 祐司, 仲村 優子, 周東 佑樹, 原田 太郎, 稲垣 恭子, 松下 晃, 中村 慶春, 福田 いずみ, 内田 英二, 杉原 仁: 切除後に糖尿病による耐糖能が著しく改善したグルカゴノーマ. 日本内分泌学会雑誌 2017; 93 (2) :582.
- 112)松谷 毅, 野村 務, 萩原 信敏, 藤田 逸郎, 金沢 義一, 柿沼 大輔, 菅野 仁士, 新井 洋紀, 太田 惠一朗, 内田 英二: 初回治療後の遺残再発食道癌に対する治療戦略. 日本消化器外科学会雑誌 2017; 50 (Suppl.2) :453.
- 113)佐藤 寛之, 中原 慶, 手塚 尚美, 久保田 久子, 金子 朋広, 佐野 雅之, 尾形 吉彦, 塩路 豪, 佐藤 三洋, 吉田 寛: 前立腺肥大症における前立腺動脈血流測定の有用性. 超音波医学 2017; 44 (Suppl.) :S617.
- 114)犬飼 惇, 松谷 毅, 萩原 信敏, 野村 務, 藤田 逸郎, 金沢 義一, 柿沼 大輔, 菅野 仁士, 新井 洋紀, 下田 朋宏, 太田 惠一朗, 内田 英二: 化学放射線療法後の胃管内局所再発食道癌に対して光線力学的療法にて局所コントロールが可能であった1例. Progress of Digestive Endoscopy 2017; 91 (Supplement) :s90. doi: 10.11641/pde.91.Supplement\_90.
- 115)Kyaw Lin Phyu, 松田 明久, 安藤 文彦, 松本 智司, 関口 久美子, 宮下 正夫: 千葉北総病院における外科臨床経験および閉塞性大腸癌に対する大腸ステント治療の現況と長期成績. 日本医科大学医学会雑誌 2017; 13 (3) :160-161.
- 116)高橋 吾郎, 山田 岳史, 小泉 岐博, 進士 誠一, 横山 康行, 堀田 正啓, 岩井 拓磨, 武田 幸樹, 原 敬介, 太田 惠一郎, 内田 英二: 単孔式経臍腹腔鏡補助下手術で行う Interval Appendectomy. 日本内視鏡外科学会雑誌 2017; 22 (7) :EP143-03.
- 117)横山 康行, 山田 岳史, 小泉 岐博, 進士 誠一, 高橋 吾郎, 岩井 拓磨, 武田 幸樹, 原 敬介, 太田 惠一郎, 内田 英二: 右側結腸癌手術の前処置としてピコスルファートナトリウム内服が術後腸管運動の回復に与える影響. 日本外科学会定期学術集会抄録集 2017; 117 回:SF-14.
- 118)菊池 友太, 牧野 浩司, 吉田 寛, 丸山 弘, 横山 正, 平方 敦史, 上田 純志, 上田 康二, 藤田 逸郎, 内田 英二: 右胃大網動脈を用いた冠動脈バイパス術後の胃癌に対し経皮的冠動脈形成術後に根治的胃切除術を施行した1例. 日本消化器外科学会総会 2017; 72 回:PH2-7.
- 119)安藤 文彦, 金沢 義一, 藤田 逸郎, 柿沼 大輔, 菅野 仁士, 萩原 信敏, 松谷 毅, 野村 務, 塩田 吉宣, 内田 英二: 右胃大網動脈を用いた冠動脈バイパス術後の胃癌に対し胃切除術を施行した3例. 日本医科大学医学会雑誌 2017; 13 (1) :42-47. doi: 10.1272/manms.13.42.
- 120)的場 秀亮, 横山 正, 日下部 誠, 高田 英志, 上田 純志, 平方 敦史, 丸山 弘, 牧野 浩司, 吉田 寛, 内田 英二: 右胃大網動脈を用いた冠動脈バイパス術後の膵内分泌腫瘍に対し亜全胃温存膵頭十二指腸切除術を施行した1例. 日本消化器外科学会総会 2017; 72 回:PL11-4.
- 121)清水 哲也, 谷合 信彦, 吉岡 正人, 川野 陽一, 近藤 亮太, 金谷 洋平, 青木 悠人, 神田 知洋, 真々田 裕宏, 内田 英二: 合併症を減らすための術式の工夫 合併症を起こさない安全で確実な腹腔鏡下肝切除を施行するための様々な工夫. 日本外科系連合学会誌 2017; 42 (3) :430.
- 122)進士 誠一, 山田 岳史, 小泉 岐博, 横山 康行, 高橋 吾郎, 堀田 正啓, 岩井 拓磨, 原 敬介, 武田 幸樹, 太田 惠一郎, 内田 英二: 合併症を減らすための術式の工夫 腹腔鏡下腹会陰式直腸切断術における合併症を減らすための工夫. 日本外科系連合学会誌 2017; 42 (3) :429.
- 123)丸山 弘, 草地 信也, 内田 英二, 吉田 寛, 新妻 徹, 三鴨 廣繁, 竹末 芳生, 炭山 嘉伸: 周術期感染対策の現状と医療費 術後肺炎が与える医療費への影響の多施設共同調査. 日本外科感染症学会雑誌 2017; 14 (5) :497.
- 124)堀田 正啓, 山田 岳史, 小泉 岐博, 進士 誠一, 横山 康行, 高橋 吾郎, 武田 幸樹, 原 敬介, 内田 英二: 地域医療における超高齢者に対する腹腔鏡下大腸切除術の安全性の検討. 日本内視鏡外科学会雑誌 2017; 22 (7) :SF018-07.

- 125)松田 明久, 宮下 正夫, 山田 真吏奈, 松本 智司, 川野 陽一, 松谷 毅, 山田 岳史, 内田 英二 : 外科侵襲とアディポサイトカイン:ービスファチンに注目してー. 外科と代謝・栄養 2017; 51 (1) :33-39.
- 126)松本 智司, 松田 明久, 川野 陽一, 櫻澤 信行, 山初 和也, 原田 潤一郎, 関口 久美子, 安藤 文彦, 篠塚 恵理子, 川島 万平, 増田 寛喜, 香中 伸太郎, 横室 茂樹, 宮下 正夫, 内田 英二 : 外科医 2 人で行う鏡視下大腸手術、定型化の試み. 日本内視鏡外科学会雑誌 2017; 22 (7) :EP220-06.
- 127)的場 秀亮, 横山 正, 丸山 弘, 平方 敦史, 上田 純志, 高田 英志, 関 奈紀, 菊池 友太, 上田 康二, 宮下 哲平, 吉岡 将史, 日下部 誠, 牧野 浩司, 吉田 寛, 内田 英二 : 多発性肺転移を伴う閉経後の炎症性の切除不能進行乳癌に対して化学療法が奏効し乳房部分切除術後も画像上 CR を維持している 1 症例. 日本臨床外科学会雑誌 2017; 78 (増刊) :858.
- 128)松田 明久, 松本 智司, 櫻澤 信行, 川野 陽一, 山初 和也, 関口 久美子, 山田 岳史, 宮下 正夫, 内田 英二 : 大腸ステント留置後閉塞性大腸癌手術における術後合併症のリスク因子に関する検討. 日本外科感染症学会雑誌 2017; 14 (5) :597.
- 129)丸山 弘, 牧野 浩司, 吉田 寛, 内田 英二 : 大腸手術における手術時手袋表面の汚染度調査. 日本手術医学会誌 2017; 38 (4) :299-305.
- 130)山田 岳史, 高橋 吾郎, 岩井 拓磨, 武田 幸樹, 小泉 岐博, 進士 誠一, 松田 明久, 横山 康行, 原 敬介, 内田 英二 : 大腸癌の cell free DNA (特集 大腸癌バイオマーカー入門). 外科 = Surgery : 臨床雑誌 2017; 79 (13) :1371-1373. doi: 10.15106/j\_geka79\_1371.
- 131)進士 誠一, 山田 岳史, 小泉 岐博, 横山 康行, 高橋 吾郎, 岩井 拓磨, 原 敬介, 武田 幸樹, 大草 幹大, 菅 隼人, 金沢 義一, 内田 英二 : 大腸癌手術における心血管系評価と対策. 日本大腸肛門病学会雑誌 2017; 70 (抄録号) :A176.
- 132)原 敬介, 山田 岳史, 小泉 岐博, 進士 誠一, 横山 康行, 高橋 吾郎, 堀田 正啓, 岩井 琢磨, 金沢 義一, 太田 恵一郎, 内田 英二 : 大腸癌肝転移切除後における補助化学療法の治療効果. 日本大腸肛門病学会雑誌 2017; 70 (抄録号) :A107.
- 133)近藤亮太, 吉岡正人, 谷合信彦, 清水哲也, 神田知洋, 金谷洋平, 古木裕康, 青木悠人, 川野陽一, 内藤善哉, 内田英二 : 大腸癌肝転移巣の化学療法効果判定(画像所見と病理学的所見の対比). 日本外科学会定期学術集会 2017; 117th:ROMBUNNO.PS - 122 - 4 (WEB ONLY)-122.
- 134)近藤 亮太, 吉岡 正人, 谷合 信彦, 清水 哲也, 神田 知洋, 金谷 洋平, 古木 裕康, 青木 悠人, 川野 陽一, 内藤 善哉, 内田 英二 : 大腸癌肝転移巣の化学療法効果判定(画像所見と病理学的所見の対比). 日本外科学会定期学術集会抄録集 2017; 117 回:PS-4.
- 135)入江 利幸, 青木 悠人, 谷合 信彦, 吉岡 正人, 清水 哲也, 神田 知洋, 近藤 亮太, 金谷 洋平, 古木 裕康, 内田 英二 : 大腸癌肝転移肝切除例における術前肝機能評価の検討. 日本消化器外科学会総会 2017; 72 回:PP15-6.
- 136)中村 慶春, 松下 晃, 勝野 暁, 水口 義昭, 山初 和也, 住吉 宏樹, 神田 知洋, 古木 裕康, 谷合 信彦, 松本 智司, 内田 英二 : 安全性に配慮した肝胆膵領域における腹腔鏡下手術 腹腔鏡下膵切除術の標準化における考察. 日本外科学会定期学術集会抄録集 2017; 117 回:WS-3.
- 137)川野 陽一, 松本 智司, 谷合 信彦, 桜澤 信行, 松田 明久, 山初 和也, 吉岡 正人, 清水 哲也, 横室 茂樹, 宮下 正夫, 内田 英二 : 安全性に配慮した腹腔鏡下肝切除における当科オリジナルの工夫. 日本外科学会定期学術集会抄録集 2017; 117 回:PS-1.
- 138)宮坂 俊光, 松谷 毅, 野村 務, 萩原 信敏, 藤田 逸郎, 金沢 義一, 柿沼 大輔, 新井 洋紀, 太田 恵一郎, 内田 英二 : 完全腹腔鏡下に修復術を行った成人 Bochdalek 孔ヘルニアの 1 例. 日本内視鏡外科学会雑誌 2017; 22 (7) :EP069-03.
- 139)小泉 岐博, 山田 岳史, 岩井 拓磨, 高橋 吾郎, 武田 幸樹, 進士 誠一, 横山 康行, 原 敬介, 太田 恵一郎, 内田 英二 : 局所進行直腸癌に対する集学的治療戦略 術前化学療法を行った直腸癌症例における循環血液中 cell-free DNA を用いた予後予測. 日本消化器外科学会総会 2017; 72 回:O2-95.
- 140)犬飼 惇, 横山 康行, 山田 岳史, 小泉 岐博, 進士 誠一, 高橋 吾郎, 堀田 正啓, 岩井 琢磨, 武田 幸樹, 原 敬介, 金沢 義一, 太田 恵一郎, 内田 英二 : 左側結腸癌術前処置としてのピコスルファートナトリウム内服が術後腸管運動および合併症に与える影響. 日本大腸肛門病学会雑誌 2017; 70 (抄録号) :A140.
- 141)進士 誠一, 山田 岳史, 小泉 岐博, 横山 康行, 高橋 吾郎, 堀田 正啓, 岩井 拓磨, 原 敬介, 武田 幸樹, 太田 恵一郎, 内田 英二 : 左側閉塞性大腸癌に対する治療戦略. 日本消化器外科学会雑誌 2017; 50 (Suppl.2) :343.
- 142)金谷 洋平, 谷合 信彦, 青木 悠人, 近藤 亮太, 高田 英志, 上田 純志, 神田 知洋, 清水 哲也, 川野 陽一, 平方 敦史, 吉岡 正人, 真々田 裕宏, 吉田 寛, 内田 英二 : 巨大肝嚢胞に対する腹腔鏡手術の有用性 当科における 16 例の症例検討. 日本外科学会定期学術集会抄録集 2017; 117 回:PS-5.
- 143)野村務, 松谷毅, 萩原信敏, 藤田逸郎, 金沢義一, 中村慶春, 牧野浩司, 柿沼大輔, 太田恵一郎, 宮下正夫, 内田英二 : 巨大食道裂

- 孔ヘルニア患者に対する腹腔鏡手術:当施設における治療戦略. 日本ヘルニア学会学術集会抄録集(CD-ROM) 2017; 15th:ROMBUNNO.VS5 - 7.
- 144)神田知洋, 真々田裕宏, 谷合信彦, 中村慶春, 松下晃, 吉岡正人, 清水哲也, 古木裕康, 内田英二: 当教室における腹腔鏡下胆嚢摘出術による胆管損傷の検討. 胆道 2017; 31 (3) :562.
- 145)原田潤一郎, 櫻澤信行, 横室茂樹, 松本智司, 川野陽一, 松田明久, 山初和也, 篠塚恵理子, 関口久美子, 安藤文彦, 増田寛喜, 川島万平, 香中伸太郎, 宮下正夫, 内田英二: 当施設における腹腔鏡下幽門側胃切除術の定型化および若手教育. 日本内視鏡外科学会雑誌 2017; 22 (7) :EP019-05.
- 146)日下部誠, 平方敦史, 牧野浩司, 丸山弘, 横山正, 上田純志, 高田英志, 菊池友太, 上田康二, 吉岡将史, 浅見敬一, 入江利幸, 吉田寛, 内田英二: 当科での腹腔鏡下胆嚢摘出術における器材コスト削減の工夫および従来法との比較. 日本内視鏡外科学会雑誌 2017; 22 (7) :EP010-07.
- 147)櫻澤信行, 宮下正夫, 保田智彦, 横室茂樹, 松本智司, 川野陽一, 松田明久, 山初和也, 藤田逸郎, 内田英二: 当科における6番リンパ節郭清の工夫、GEAR DOWN郭清とスティックガーゼによる術野の展開. 日本消化器外科学会総会 2017; 72回:RS2-3.
- 148)櫻澤信行, 宮下正夫, 横室茂樹, 松本智司, 川野陽一, 松田明久, 山初和也, 篠塚恵理子, 原田潤一郎, 関口久美子, 保田智彦, 安藤文彦, 金沢義一, 藤田逸郎, 内田英二: 当科におけるLAPGの再建の工夫「台形トンネル法」. 日本臨床外科学会雑誌 2017; 78 (増刊) :512.
- 149)瀬谷知子, 宮下正夫, 横室茂樹, 飯田信也, 堀場光二, 松本智司, 桜澤信行, 川野陽一, 松田明久, 山初和也, 関口久美子: 当科におけるstage IIIC胃癌術後化学療法の現況. 日本外科学会定期学術集会抄録集 2017; 117回:PS-3.
- 150)古木裕康, 神田知洋, 真々田裕宏, 谷合信彦, 中村慶春, 松下晃, 吉岡正人, 清水哲也, 青木悠人, 内田英二: 当科における中等症急性胆嚢炎に対する腹腔鏡下胆嚢摘出術治療成績と検討. 胆道 2017; 31 (3) :561.
- 151)菊池友太, 丸山弘, 横山正, 平方敦史, 上田純志, 高田英志, 関奈紀, 上田康二, 吉岡将史, 日下部誠, 浅見敬一, 入江利幸, 牧野浩司, 吉田寛, 内田英二: 当科における後期高齢者に対する胃腹腔鏡手術後、手術部位感染の検討. 日本外科感染症学会雑誌 2017; 14 (5) :560.
- 152)上田康二, 吉田寛, 牧野浩司, 横山正, 丸山弘, 平方敦史, 上田純志, 高田英志, 菊池友太, 内田英二: 当科における急性虫垂炎の検討. 日本消化器外科学会総会 2017; 72回:PE15-5.
- 153)松下晃, 中村慶春, 山初和也, 住吉宏樹, 神田知洋, 清水哲也, 吉岡正人, 横山正, 谷合信彦, 真々田裕宏, 内田英二: 当科における悪性腫瘍に対する腹腔鏡下尾側脾切除術の手術成績. 日本内視鏡外科学会雑誌 2017; 22 (7) :EP162-08.
- 154)進士誠一, 山田岳史, 小泉岐博, 横山康行, 高橋吾郎, 堀田正啓, 岩井拓磨, 原敬介, 武田幸樹, 太田恵一朗, 内田英二: 当科における脾彎曲部横行結腸癌に対する腹腔鏡下手術手技と成績. 日本内視鏡外科学会雑誌 2017; 22 (7) :SPS01-12.
- 155)柿沼大輔, 藤田逸郎, 金沢義一, 松野邦彦, 高和英, 保田智彦, 新井洋紀, 下田朋宏, 萩原信敏, 松谷毅, 野村務, 牧野浩司, 桜澤信行, 太田恵一朗, 内田英二: 当科における腹腔鏡下胃切除における11p郭清. 日本内視鏡外科学会雑誌 2017; 22 (7) :EP169-03.
- 156)丸山弘, 牧野浩司, 吉田寛, 横山正, 平方敦史, 上田純志, 高田英志, 菊池友太, 上田康二, 吉岡将史, 萩原信敏, 松谷毅, 野村務, 内田英二: 当科における腹腔鏡下逆流防止手術症例の検討. 日本消化器外科学会雑誌 2017; 50 (Suppl.2) :250.
- 157)松谷毅, 萩原信敏, 野村務, 藤田逸郎, 金沢義一, 柿沼大輔, 菅野仁士, 新井洋紀, 太田恵一朗, 内田英二: 当科における腹臥位胸腔鏡下食道切除・再建術の定型化への試み. 日本食道学会学術集会プログラム・抄録集 2017; 71回:P63-7.
- 158)平方敦史, 吉田寛, 牧野浩司, 上田純志, 高田英志, 丸山弘, 横山正, 入江利幸, 菊池友太, 上田康二, 吉岡将史, 日下部誠, 浅見敬一, 内田英二: 当科における鏡視下Hassab手術と治療成績. 日本内視鏡外科学会雑誌 2017; 22 (7) :SF049-05.
- 159)神田知洋, 真々田裕宏, 谷合信彦, 中村慶春, 松下晃, 吉岡正人, 清水哲也, 近藤亮太, 金谷洋平, 古木裕康, 青木悠斗, 内田英二: 当院での単孔式腹腔鏡下胆嚢摘出術の工夫. 日本内視鏡外科学会雑誌 2017; 22 (7) :EP139-05.
- 160)古木裕康, 神田知洋, 真々田裕宏, 谷合信彦, 中村慶春, 松下晃, 吉岡正人, 清水哲也, 金谷洋平, 近藤亮太, 青木悠人, 内田英二: 当院における80歳以上高齢者の急性胆嚢炎に対する早期・緊急腹腔鏡下胆嚢摘出術の手術成績. 日本内視鏡外科学会雑誌 2017; 22 (7) :EP183-05.
- 161)松野邦彦, 柿沼大輔, 金沢義一, 新井洋紀, 萩原信敏, 松谷毅, 藤田逸郎, 内田英二: 当院における切除不能幽門狭窄胃癌に



- 対してバイパス術を施行した患者の生存期間や経口摂取可能期間の検討. 日本胃癌学会総会記事 2018; 90 回:416.
- 162)永嶋 裕司, 福士 剛蔵, 岩田 乃理子, 福士 誠一, 小泉 岐博, 山田 岳史, 金沢 義一, 内田 英二: 当院における大腸ポリープ切除後出血例の検討. 日本大腸肛門病学会雑誌 2017; 70 (抄録号):A156. doi: 10.3862/jcoloproctology.70.156.
- 163)横山 正, 牧野 浩司, 平方 敦史, 上田 純志, 高田 英志, 日下部 誠, 吉田 寛, 内田 英二: 当院における局所進行痔瘻に対する術前術後補助療法への取り組み. 痔臓 2017; 32 (3):491.
- 164)進士 誠一, 中尾 淳一, 山田 岳史, 小泉 岐博, 横山 康行, 高橋 吾郎, 岩井 拓磨, 武田 幸樹, 原 敬介, 青木 悠人, 菅 隼人, 藪野 雄大, 梅澤 裕己, 小川 令, 太田 恵一朗, 内田 英二: 当院における皮弁再建を要する局所進行大腸癌に対する治療戦略. 日本外科学会定期学術集会抄録集 2017; 117 回:PS-189.
- 165)横山 康行, 山田 岳史, 小泉 岐博, 進士 誠一, 高橋 吾郎, 堀田 正啓, 岩井 拓磨, 武田 幸樹, 原 敬介, 金沢 義一, 太田 恵一郎, 内田 英二: 待機的右側結腸癌手術における腸管前処置省略の妥当性. 日本大腸肛門病学会雑誌 2017; 70 (抄録号):A201.
- 166)萩原 信敏, 松谷 毅, 野村 務, 藤田 逸郎, 金沢 義一, 柿沼 大輔, 菅野 仁士, 新井 洋紀, 松野 邦彦, 寺崎 浩司, 太田 恵一朗, 内田 英二: 微量な消化管間質腫瘍検体からの高感度な特定変異遺伝子の検出. 日本消化器外科学会雑誌 2017; 50 (Suppl.2):187.
- 167)高橋 吾郎, 山田 岳史, 小泉 岐博, 進士 誠一, 横山 康行, 堀田 正啓, 岩井 拓磨, 原 敬介, 武田 幸樹, 内田 英二: 急性腹症診療ガイドラインの評価 膿瘍形成性虫垂炎に対する治療戦略 待機的虫垂切除は標準治療になりうるか?. 日本腹部救急医学会雑誌 2018; 38 (2):323.
- 168)大野 崇, 原 敬介, 松下 晃, 山田 岳史, 小泉 岐博, 進士 誠一, 横山 康行, 高橋 吾郎, 堀田 正啓, 岩井 拓磨, 武田 幸樹, 太田 恵一朗, 内田 英二: 成人腸重積症を契機に診断された横行結腸平滑筋肉腫の 1 例. 日本大腸肛門病学会雑誌 2017; 70 (抄録号):A336.
- 169)高野 竜太郎, 松谷 毅, 萩原 信敏, 野村 務, 内田 英二: 成人鼠径ヘルニア用半吸収性メッシュで修復した特発性上腰ヘルニアの 1 例. 日本腹部救急医学会雑誌 2017; 37 (3):421-425. doi: 10.11231/jaem.37.421.
- 170)丸山 弘, 吉田 寛, 牧野 浩司, 内田 英二: 手術室における周術期感染対策 周術期感染対策としての手術室環境整備 手術部位感染の予防のための各種ガイドラインの実践. 日本外科感染症学会雑誌 2017; 14 (5):447.
- 171)丸山 弘: 手術部位感染に対する抗菌薬治療 (特集 手術部位感染の予防と治療). オペナース 2017; 4 (1):72-78.
- 172)櫻澤 信行, 宮下 正夫, 横室 茂樹, 松本 智司, 川野 陽一, 松田 明久, 山初 和也, 篠塚 恵理子, 原田 潤一郎, 関口 久美子, 安藤 文彦, 藤田 逸郎, 保田 智彦, 牧野 浩司, 内田 英二: 新規考案「先端吸引鉗子」の腹腔鏡手術における有用性. 日本内視鏡外科学会雑誌 2017; 22 (7):SF023-07.
- 173)関 奈紀, 横山 正, 中井 麻木, 栗田 智子, 柳原 恵子, 蒔田 益次郎, 飯田 信也, 内田 英二, 吉田 寛, 武井 寛幸: 早期乳癌初診時における PET-CT の有用性について. 日本乳癌学会総会プログラム抄録集 2017; 25 回:570.
- 174)松下晃, 中村慶春, 山初和也, 住吉宏樹, 古木裕康, 神田知洋, 清水哲也, 吉岡正人, 谷谷信彦, 真々田裕宏, 内田英二: 早期十二指腸乳頭部癌に対する経十二指腸的乳頭切除術の治療成績. 胆道 2017; 31 (3):545.
- 175)松田 明久, 増田 寛喜, 松本 智司, 櫻澤 信行, 川野 陽一, 山初 和也, 関口 久美子, 宮下 正夫, 内田 英二: 末梢側 Sac の縫合閉鎖による腹腔鏡下鼠径ヘルニア修復術における術後漿液腫予防. 日本臨床外科学会雑誌 2017; 78 (増刊):516.
- 176)岩井 拓磨, 山田 岳史, 小泉 岐博, 進士 誠一, 横山 康行, 高橋 吾郎, 堀田 正啓, 武田 幸樹, 原 敬介, 太田 恵一郎, 内田 英二: 末梢血 DNA 分解酵素活性による絞扼性腸閉塞の診断. 日本大腸肛門病学会雑誌 2017; 70 (抄録号):A155.
- 177)進士 誠一, 山田 岳史, 小泉 岐博, 横山 康行, 高橋 吾郎, 岩井 拓磨, 原 敬介, 武田 幸樹, 太田 恵一朗, 内田 英二: 横行結腸脾彎曲部癌に対する安全なアプローチ法. 日本消化器外科学会総会 2017; 72 回:RS1-8.
- 178)古木 裕康, 山田 岳史, 小泉 岐博, 進士 誠一, 内田 英二: 次世代シーケンサーを用いた大腸癌肝転移のクローン性進化の同定. 日本癌学会総会記事 2017; 76 回:J-2095.
- 179)横山 康行, 山田 岳史, 小泉 岐博, 進士 誠一, 高橋 吾郎, 堀田 正啓, 岩井 拓磨, 武田 幸樹, 原 敬介, 内田 英二: 消化器外科における術後回復促進策(ERAS) 結腸癌 ERAS 消化管運動の術後早期回復に影響を与える因子は? 放射線不透過マーカーを用いた客観的評価. 日本消化器外科学会総会 2017; 72 回:O2-54.
- 180)岩井 拓磨, 山田 岳史, 小泉 岐博, 進士 誠一, 横山 康行, 高橋 吾郎, 堀田 正啓, 武田 幸樹, 原 敬介, 内田 英二: 消化器外科の診断・手技・治療に役立つ先進技術 末梢血循環 DNA に着目した絞扼性腸閉塞の新しい診断法. 日本消化器外科学会総会 2017; 72 回:O3-153.

- 181)高橋 吾郎, 山田 岳史, 小泉 岐博, 進士 誠一, 松田 明久, 横山 康行, 岩井 拓磨, 武田 幸樹, 原 敬介, 内田 英二: 消化器領域における oncologic emergency に対する治療戦略 閉塞性大腸癌に対する治療戦略. 日本消化器外科学会総会 2017; 72 回:WS11-3.
- 182)松田 明久, 宮下 正夫, 山田 真吏奈, 関口 久美子, 松谷 毅, 内田 英二: 炎症と脂質メディエーター (特集 集中治療医学領域における基礎研究最近のトピックス). ICU と CCU = Japanese journal of intensive care medicine : 集中治療医学 2018; 42 (1) :9-16.
- 183)山口祐司, 岡崎幹子, 久保田万葉, 山田裕士, 大庭健史, 周東佑樹, 仲村優子, 高谷磨紀代, 原田太郎, 稲垣恭子, 松下晃, 中村慶春, 福田いずみ, 内田英二, 杉原仁: 異所性 ACTH 症候群疑いで精査中偶然発見されたパラガングリオーマ. 日本内分泌学会雑誌 2017; 93 (2) :625.
- 184)大野 崇, 松谷 毅, 萩原 信敏, 新井 洋紀, 野村 務, 内田 英二: 症例 Schloffer 腫瘍疑いで摘出後に明細胞癌と診断された 1 例. 日本臨床外科学会雑誌 2017; 78 (12) :2742-2747. doi: 10.3919/jjsa.78.2742.
- 185)松田 明久, 宮下 正夫, 安藤 文彦, 松本 智司, 櫻澤 信行, 川野 陽一, 山初 和也, 関口 久美子, 山田 岳史, 内田 英二: 癒着性腸閉塞に対する治療戦略の構築 減圧法および手術移行時期に注目して. 日本消化器外科学会雑誌 2017; 50 (Suppl.2) :323.
- 186)安藤 文彦, 松田 明久, 松本 智司, 櫻澤 信行, 川野 陽一, 山初 和也, 関口 久美子, 保田 智彦, 増田 寛喜, 川島 万平, 香中 伸太郎, 堀場 光二, 瀬谷 知子, 横室 茂樹, 宮下 正夫, 内田 英二: 癒着性腸閉塞の保存治療の最終効果判定時期に関する検討. 日本外科学会定期学術集会抄録集 2017; 117 回:SF-2.
- 187)吉森大悟, 柿沼大輔, 藤田逸郎, 金沢義一, 松野邦彦, 高和英, 新井洋紀, 下田朋宏, 太田恵一朗, 内田英二: 皮膚筋炎合併胃癌の 1 例. 外科集談会プログラム・抄録集 2017; 846th:24.
- 188)関口 久美子, 飯田 信也, 栗田 智子, 中井 麻木, 鈴木 えりか, 宮下 正夫, 武井 寛幸: 皮膚筋炎治療中に発症した乳腺腺様嚢胞癌の 1 例. 日本臨床外科学会雑誌 2017; 78 (増刊) :732.
- 189)小泉 岐博, 山田 岳史, 進士 誠一, 横山 康行, 高橋 吾郎, 堀田 正啓, 岩井 拓磨, 武田 幸樹, 原 敬介, 金沢 義一, 太田 恵一朗, 内田 英二: 直腸癌術前化学療法例における組織学的効果判定と予後の検討. 日本大腸肛門病学会雑誌 2017; 70 (抄録号) :A216.
- 190)高橋吾郎, 山田岳史, 松本智司, 小泉岐博, 進士誠一, 松田明久, 横山康行, 堀田正啓, 岩井拓磨, 武田幸樹, 古木裕康, 太田恵一朗, 内田英二: 直腸肛門部悪性黒色腫における循環腫瘍 DNA. 日本消化管学会雑誌 2018; 2 (Supplement) :121.
- 191)松野 邦彦, 藤田 逸朗, 金沢 義一, 柿沼 大輔, 高 和英, 保田 智彦, 新井 洋紀, 下田 朋宏, 萩原 信敏, 松谷 毅, 野村 務, 牧野 浩司, 桜澤 信行, 内田 英二: 神経外層先行剥離を利用した、No6 郭清の工夫. 日本内視鏡外科学会雑誌 2017; 22 (7) :EP170-03.
- 192)金沢 義一, 山田 岳史, 横山 康行, 相原 恵美, 山口 文子, 菊永 恭子, 林 太祐, 星川 美夕紀, 中村 博子, 内田 英二: 科学的根拠のあるパス作成 より低侵襲な腸管前処置の導入からみた術式別大腸癌パスの有用性. 日本クリニカルパス学会誌 2017; 19 (4) :404.
- 193)野村務, 松谷毅, 萩原信敏, 藤田逸郎, 金沢義一, 中村慶春, 柿沼大輔, 菅野仁士, 牧野浩司, 太田恵一朗, 岩切勝彦, 宮下正夫, 内田英二: 第 3 回 食道運動機能障害に対する治療 POEM vs.胸腔鏡下手術 胸腔鏡下手術の立場から. 消化器外科 2017; 40 (8) :1215 - 1220-1220.
- 194)沼尾 紳一郎, 小泉 岐博, 山田 岳史, 進士 誠一, 横山 康行, 高橋 吾郎, 堀田 正啓, 岩井 拓磨, 原 敬介, 武田 幸樹, 太田 恵一朗, 内田 英二: 結腸間膜内に発生した孤立性悪性リンパ腫の 1 例. 日本大腸肛門病学会雑誌 2017; 70 (抄録号) :A332.
- 195)春名 孝洋, 原 敬介, 山田 岳史, 小泉 岐博, 進士 誠一, 横山 康行, 高橋 吾郎, 堀田 正啓, 岩井 琢磨, 武田 幸樹, 太田 恵一朗, 内田 英二: 結腸間膜内に発生した孤立性線維性腫瘍の一例. 日本大腸肛門病学会雑誌 2017; 70 (抄録号) :A314.
- 196)安藤 文彦, 松谷 毅, 萩原 信敏, 野村 務, 内田 英二: 結腸間膜裂孔から後腹膜腔へ陥入した小腸によるポートサイトヘルニアの 1 例. 日本腹部救急医学会雑誌 2018; 38 (1) :57-61.
- 197)岩井 拓磨, 山田 岳史, 小泉 岐博, 進士 誠一, 横山 康行, 高橋 吾郎, 堀田 正啓, 武田 幸樹, 原 敬介, 太田 恵一郎, 内田 英二: 絞扼性腸閉塞の診断と治療 末梢血 DNA 分解酵素活性による絞扼性腸閉塞の診断の試み. 日本臨床外科学会雑誌 2017; 78 (増刊) :409.
- 198)山田 岳史, 青木 悠人, 高橋 吾郎, 岩井 拓磨, 小泉 岐博, 進士 誠一, 松田 明久, 横山 康行, 原 敬介, 内田 英二: 絞扼性腸閉塞の診断と治療 造影 CT による非壊死性絞扼性腸閉塞の診断. 日本腹部救急医学会雑誌 2018; 38 (2) :317.
- 199)山田 岳史, 青木 悠人, 小泉 岐博, 進士 誠一, 高橋 吾郎, 岩井 琢磨, 武田 幸樹, 横山 康行, 堀田 正啓, 原 敬介, 松田 明久, 松本 智司, 太田 恵一郎, 内田 英二: 絞扼性腸閉塞診断における造影 CT の有用性. 日本腹部救急医学会雑誌 2017; 37 (4) :581-585. doi: 10.11231/jaem.37.581.
- 200)安藤 文彦, 櫻澤 信行, 原田 潤一郎, 松本 智司, 川野 陽一, 松田 明久, 山初 和也, 篠塚 恵理子, 関口 久美子, 増田 寛喜, 川

- 島 万平, 香中 伸太郎, 横室 茂樹, 宮下 正夫, 内田 英二 : 維持透析中の胃癌患者に対して腹腔鏡下胃切除術を施行した 3 例. 日本内視鏡外科学会雑誌 2017; 22 (7) :EP017-08.
- 201) 香中 伸太郎, 松田 明久, 横室 茂樹, 松本 智司, 櫻澤 信行, 川野 陽一, 山初 和也, 原田 潤一郎, 関口 久美子, 増田 寛喜, 宮下 正夫, 内田 英二 : 緊急手術症例における抗血栓薬内服は術後合併症のリスクとなりうるか?. 日本腹部救急医学会雑誌 2018; 38 (2) :463.
- 202) 高田 英志, 牧野 浩司, 横山 正, 丸山 弘, 平方 敦史, 上田 純志, 菊池 友太, 上田 康二, 吉岡 将史, 日下部 誠, 浅見 敬一, 入江 利幸, 吉田 寛, 内田 英二 : 総胆管結石症に対する腹腔鏡下胆管十二指腸吻合術の有用性. 日本内視鏡外科学会雑誌 2017; 22 (7) :SF037-03.
- 203) 上田 純志, 吉田 寛, 牧野 浩司, 横山 正, 丸山 弘, 平方 敦史, 高田 英志, 菊池 友太, 上田 康二, 吉岡 将史, 日下部 誠, 浅見 敬一, 入江 利幸, 内田 英二 : 総胆管結石症に対する腹腔鏡下胆管十二指腸吻合術の適応と手術手技. 日本内視鏡外科学会雑誌 2017; 22 (7) :SF091-03.
- 204) 谷合 信彦, 吉岡 正人, 清水 哲也, 近藤 亮太, 青木 悠太, 金谷 洋平, 川野 陽一, 高田 英志, 上田 純志, 吉田 寛, 内田 英二 : 肝シミュレーション普及に伴う系統的肝切除術における肝静脈の役割. 日本外科学会定期学術集会抄録集 2017; 117 回:PS-2.
- 205) 上田 純志, 吉田 寛, 牧野 浩司, 横山 正, 丸山 弘, 平方 敦史, 高田 英志, 関 奈紀, 菊池 友太, 上田 康二, 宮下 哲平, 吉岡 将史, 日下部 誠, 浅見 敬一, 谷合 信彦, 真々田 裕宏, 吉岡 正人, 清水 哲也, 神田 知洋, 内田 英二 : 肝切除の Pringle 法における肝十二指腸間膜マッサージの有用性の検討. 日本消化器外科学会雑誌 2017; 50 (Suppl.2) :276.
- 206) 青木 悠人, 谷合 信彦, 吉岡 正人, 川野 陽一, 清水 哲也, 神田 知洋, 近藤 亮太, 金谷 洋平, 古木 裕康, 内田 英二 : 肝切除術後血清プロカルシトニン値への影響因子の検討. Japanese Journal of Acute Care Surgery 2017; 7 (1) :91.
- 207) 青木 悠人, 谷合 信彦, 吉岡 正人, 川野 陽一, 清水 哲也, 近藤 亮太, 金谷 洋平 : 肝硬変による難治性腹水に対する腹腔静脈シャントの適応. 肝臓 2017; 58 (Suppl.1) :A407.
- 208) 谷合 信彦, 吉田 寛, 内田 英二 : 肝硬変合併症対策の進歩 肝硬変合併症に対する部分的脾動脈塞栓術(PSE). 日本消化器病学会雑誌 2017; 114 (臨増大会) :A601.
- 209) 谷合 信彦, 吉田 寛, 内田 英二 : 肝硬変合併症対策の進歩 肝硬変合併症に対する部分的脾動脈塞栓術(PSE). 肝臓 2017; 58 (Suppl.2) :A542.
- 210) 谷合 信彦, 吉田 寛, 内田 英二 : 肝硬変合併症対策の進歩 肝硬変合併症に対する部分的脾動脈塞栓術(PSE). Gastroenterological Endoscopy 2017; 59 (Suppl.2) :2045.
- 211) 大黒 聖二, 川野 文裕, 松平 慎一, 市田 洋文, 伊古田 正憲, 中山 昇, 徳川 友彦, 藤原 典子, 吉本 次郎, 今村 宏, 石崎 陽一, 川崎 誠治 : 肝細胞癌に対する肉眼的切除断端 0mm 肝切除. 日本消化器外科学会雑誌 2017; 50 (Suppl.2) :274.
- 212) 米 琛, 萩原 信敏, 内田 英二 : 胃消化管間質腫瘍における PIK3CA および KIT 遺伝子変異の検討. 日本医科大学医学会雑誌 2017; 13 (3) :163.
- 213) 高 和英, 松野 邦彦, 藤田 逸郎, 金沢 義一, 柿沼 大輔, 新井 洋紀, 下田 朋弘, 保田 智彦, 萩原 信敏, 松谷 毅, 野村 務, 太田 恵一郎, 内田 英二 : 胃癌周術期における cell free DNA 濃度の推移(ccf-DNA concentration in the perioperative period of gastric cancer). 日本胃癌学会総会記事 2018; 90 回:459.
- 214) 山下 直行, 山岸 杏彌, 栗山 翔, 櫻澤 信行, 萩原 信敏, 藤田 逸郎, 金沢 義一, 宮下 正夫, 内田 英二 : 胃癌術後結腸孤立性再発を腹腔鏡補助下に切除した 1 例. 日本内視鏡外科学会雑誌 2017; 22 (7) :EP020-08.
- 215) 犬飼 惇, 下田 朋宏, 太田 恵一郎, 内田 英二, 松谷 毅, 萩原 信敏, 野村 務, 藤田 逸郎, 金沢 義一, 柿沼 大輔, 松野 邦彦, 新井 洋紀 : 胃管内再発食道扁平上皮癌に対し光線力学療法にて局所制御し得た 1 例. 消化器内視鏡の進歩:Progress of Digestive Endoscopy 2017; 91 (1) :132-133. doi: 10.11641/pde.91.1\_132.
- 216) 犬飼 惇, 松谷 毅, 萩原 信敏, 野村 務, 藤田 逸郎, 金沢 義一, 柿沼 大輔, 松野 邦彦, 新井 洋紀, 下田 朋宏, 太田 恵一郎, 内田 英二 : 胃管内再発食道扁平上皮癌に対し光線力学療法にて局所制御し得た 1 例. Progress of Digestive Endoscopy 2017; 91 (1) :132,7-133,7.
- 217) 神田 知洋, 真々田 裕宏, 谷合 信彦, 中村 慶春, 松下 晃, 吉岡 正人, 清水 哲也, 勝野 暁, 古木 裕康, 内田 英二 : 胆嚢炎に対する腹腔鏡下胆嚢全摘出術. 日本消化器外科学会総会 2017; 72 回:PM4-7.

- 218)谷合 信彦, 吉岡 正人, 清水 哲也, 近藤 亮太, 金谷 洋平, 青木 悠人, 神田 知洋, 川野 陽一, 吉田 寛, 内田 英二:胆管細胞癌に対する治療戦略 肝内胆管癌に対するリンパ節廓清と化学療法の意義. 日本消化器外科学会総会 2017; 72 回:O2-3.
- 219)上田 純志, 吉田 寛, 牧野 浩司, 横山 正, 丸山 弘, 平方 敦史, 高田 英志, 関 奈紀, 菊池 友太, 的場 秀亮, 内田 英二:胆道再建を伴う肝切除における SSI. 日本外科学会定期学術集会抄録集 2017; 117 回:PS-042.
- 220)上田 純志, 吉田 寛, 牧野 浩司, 丸山 弘, 横山 正, 平方 敦史, 高田 英志, 菊池 友太, 関 奈紀, 上田 康二, 吉岡 将史, 宮下 哲平, 日下部 誠, 浅見 敬一, 内田 英二:胆道再建を伴う肝切除における肝管空腸吻合と SSI. 日本外科感染症学会雑誌 2017; 14 (5):582.
- 221)牧野 浩司, 吉田 寛, 丸山 弘, 横山 正, 平方 敦史, 上田 純志, 高田 英志, 菊池 友太, 上田 康二, 吉岡 将史, 日下部 誠, 萩原 信敏, 松谷 毅, 野村 務, 内田 英二:胸腔鏡食道切除術(VATS-E)で離断後の食道をストリッピングして術野展開後、左反回神経周囲リンパ節(106recL)を郭清し麻痺を減らす工夫とアンピル先行装着後、頸部吻合し縫合不全を減らす工夫. 日本臨床外科学会雑誌 2017; 78 (増刊):512.
- 222)鈴木幹人, 松谷毅, 萩原信敏, 野村務, 藤田逸郎, 金沢義一, 柿沼大輔, 新月洋紀, 松野邦彦, 太田恵一郎, 井上達哉, 白田実男, 内田英二:胸部食道扁平上皮癌と右肺腺癌の同時性重複癌に対し胸腔鏡下手術後に左下腿三頭(腓腹)筋に孤立性転移した1例. 日本臨床外科学会雑誌 2017; 78 (増刊):778.
- 223)松田 明久, 内田 英二, 宮下 正夫, 山田 真吏奈, 松本 智司, 櫻澤 信行, 川野 陽一, 関口 久美子, 松谷 毅, 山田 岳史:脂質メディエーターに着目した外科侵襲後の生体反応:-リゾリン脂質に注目して-. 外科と代謝・栄養 2017; 51 (4):157-164.
- 224)松田明久, 山田真吏奈, 松本智司, 櫻澤信行, 川野陽一, 関口久美子, 宮下正夫, 内田英二:脂質関連メディエーターに着目した消化器外科術後合併症の早期診断. 日本エンドトキシン・自然免疫研究会プログラム・抄録集 2017; 23rd
- 225)銭 真臣, 岩井 拓磨, 山田 岳史, 小泉 岐博, 進士 誠一, 横山 康行, 高橋 吾郎, 武田 幸樹, 原 敬介, 太田 恵一郎, 内田 英二:脾動脈瘤消化管内穿破を契機に発見された大腸癌の1例. 日本腹部救急医学会雑誌 2018; 38 (2):447.
- 226)吉森 大悟, 原 敬介, 山田 岳史, 小泉 岐博, 進士 誠一, 横山 康行, 高橋 吾郎, 岩井 拓磨, 武田 幸樹, 内田 英二:腸閉塞を来した虫垂原発 Mixed adenoneuroendocrine carcinomas(MANECs)の一例. 日本消化器外科学会総会 2017; 72 回:PE6-6.
- 227)春名 孝洋, 松谷 毅, 萩原 信敏, 藤田 逸郎, 金沢 義一, 柿沼 大輔, 松野 邦彦, 新井 洋紀, 下田 朋宏, 太田 恵一郎, 内田 英二:腹壁癒痕ヘルニア修復術後メッシュ感染に対し灌流療法が有効であった2例. 日本外科感染症学会雑誌 2017; 14 (5):540.
- 228)柿沼 大輔, 藤田 逸郎, 金沢 義一, 松野 邦彦, 高 和英, 新井 洋紀, 下田 朋宏, 萩原 信敏, 松谷 毅, 野村 務, 櫻澤 信行, 牧野 浩司, 山下 直行, 太田 恵一郎, 内田 英二:腹腔内孤立リンパ節転移をきっかけに診断された原発不明扁平上皮癌に対し、外科的切除を施行した1例. 日本消化器外科学会雑誌 2017; 50 (Suppl.2):555.
- 229)山岸 征嗣, 水谷 聡, 鈴木 英之, 中村 慶春, 三島 圭介, 大山 莉奈, 助川 誠, 山際 亮, 渡辺 昌則, 内田 英二:腹腔鏡下右副腎摘出術における当院での工夫. 日本内視鏡外科学会雑誌 2017; 22 (7):SF099-07.
- 230)勝野 暁, 中村 慶春, 松下 晃, 住吉 宏樹, 山初 和也, 横山 正, 神田 知洋, 清水 哲也, 吉岡 正人, 谷合 信彦, 真々田 裕宏, 内田 英二:腹腔鏡下尾側膵切除術(Lap-DP)における手術部位感染と膵液瘻との関連について. 日本消化器外科学会雑誌 2017; 50 (Suppl.2):235.
- 231)勝野 暁, 中村 慶春, 松下 晃, 住吉 宏樹, 山初 和也, 横山 正, 神田 知洋, 清水 哲也, 吉岡 正人, 谷合 信彦, 前田 基博, 谷口 和樹, 角崎 秀文, 小平 祐造, 内田 英二:腹腔鏡下尾側膵切除術(Lap-DP)における手術部位感染と膵液瘻との関連について. 日本外科感染症学会雑誌 2017; 14 (5):546.
- 232)柿沼大輔, 藤田逸郎, 金澤義一, 松野邦彦, 萩原信敏, 松谷毅, 櫻澤信行, 牧野浩司, 野村務, 太田恵一郎, 内田英二:腹腔鏡下幽門保存胃切除における6番リンパ節郭清. 胃外科・術後障害研究会プログラム・抄録集 2017; 47th:81-73.
- 233)藤田 逸郎, 柿沼 大輔, 金澤 義一, 松野 邦彦, 櫻澤 信行, 萩原 信敏, 松谷 毅, 牧野 浩司, 野村 務, 内田 英二:腹腔鏡下幽門保存胃切除における6番リンパ節郭清. 日本消化器外科学会総会 2017; 72 回:RS2-6.
- 234)柿沼 大輔, 藤田 逸郎, 金沢 義一, 松野 邦彦, 高 和英, 新井 洋紀, 下田 朋宏, 萩原 信敏, 松谷 毅, 野村 務, 櫻澤 信行, 牧野 浩司, 太田 恵一郎, 内田 英二:腹腔鏡下幽門側胃切除におけるドレーン留置有用性の検討(Study of drainage tube placement for laparoscopic distal gastrectomy). 日本胃癌学会総会記事 2018; 90 回:382.
- 235)岡本 浩和, 横山 康行, 山田 岳史, 小泉 岐博, 進士 誠一, 高橋 吾郎, 岩井 拓磨, 武田 幸樹, 原 敬介, 内田 英二:腹腔鏡下結

- 腸癌手術後の消化管運動に影響を与える因子は？放射線不透過マーカーを用いた客観的評価. 日本消化器外科学会総会 2017; 72 回:PF11-7.
- 236)上田 康二, 吉田 寛, 牧野 浩司, 横山 正, 丸山 弘, 平方 敦史, 上田 純志, 高田 英志, 菊池 友太, 吉岡 将史, 日下部 誠, 浅見 敬一, 入江 利幸, 内田 英二: 腹腔鏡下総胆管切開切石術においてリトリールバルーンが有用であった 1 例. 日本内視鏡外科学会雑誌 2017; 22 (7) :EP227-03.
- 237)吉岡 正人, 谷合 信彦, 川野 陽一, 清水 哲也, 近藤 亮太, 金谷 洋平, 神田 知洋, 松下 晃, 中村 慶春, 内田 英二: 腹腔鏡下肝切除術における Reduced port surgery 導入と意義. 日本消化器外科学会総会 2017; 72 回:RS3-6.
- 238)川野 陽一, 松本 智司, 櫻澤 信行, 松田 明久, 山初 和也, 谷合 信彦, 吉岡 正人, 清水 哲也, 横室 茂樹, 宮下 正夫, 内田 英二: 腹腔鏡下肝切除術におけるここを工夫した私の手術手技. 日本臨床外科学会雑誌 2017; 78 (増刊) :521.
- 239)清水 哲也, 谷合 信彦, 吉岡 正人, 川野 陽一, 近藤 亮太, 金谷 洋平, 青木 悠人, 神田 知洋, 真々田 裕宏, 内田 英二: 腹腔鏡下肝外側区域切除の定型化と今後の適応拡大に向けた展望. 日本消化器外科学会総会 2017; 72 回:PP6-6.
- 240)川野 陽一, 松本 智司, 櫻澤 信行, 松田 明久, 山初 和也, 谷合 信彦, 吉岡 正人, 清水 哲也, 宮下 正夫, 内田 英二: 腹腔鏡下肝部分切除を極めるべく工夫. 日本消化器外科学会総会 2017; 72 回:RS3-6.
- 241)原田 潤一郎, 櫻澤 信行, 安藤 文彦, 藤田 逸郎, 金沢 義一, 牧野 浩司, 宮下 正夫, 内田 英二: 腹腔鏡下胃切除における 6 番リンパ節郭清の工夫 "絹糸の輪"(Laparoscopic technic, 'Silk ring method', prevented for bleeding on dissection of no.6 lymph node). 日本胃癌学会総会記事 2018; 90 回:405.
- 242)川島 万平, 横室 茂樹, 山初 和也, 松本 智司, 櫻澤 信行, 川野 陽一, 松田 明久, 篠塚 恵理子, 関口 久美子, 原田 潤一郎, 安藤 文彦, 増田 寛喜, 香中 伸太郎, 宮下 正夫, 内田 英二: 腹腔鏡下胆嚢摘出術を施行した異所性肝の 1 切除例. 日本内視鏡外科学会雑誌 2017; 22 (7) :EP010-03.
- 243)山初 和也, 横室 茂樹, 川野 陽一, 松本 智司, 櫻澤 信行, 松田 明久, 宮下 正夫: 腹腔鏡下脾温存脾体尾部切除術を施行した脾内副脾類上皮嚢胞の一例. 日本臨床外科学会雑誌 2017; 78 (11) :2563.
- 244)中村 慶春, 松下 晃, 神田 知洋, 古木 裕康, 清水 哲也, 吉岡 正人, 谷合 信彦, 横山 正, 山初 和也, 住吉 宏樹, 内田 英二: 腹腔鏡下脾臓温存脾体尾部切除術後の胃静脈瘤発生頻度における検討. Gastroenterological Endoscopy 2017; 59 (Suppl.2) :2150.
- 245)萩原 信敏, 松谷 毅, 野村 務, 藤田 逸郎, 金沢 義一, 柿沼 大輔, 新井 洋紀, 松野 邦彦, 太田 恵一朗, 内田 英二: 腹腔鏡下腹壁癒痕ヘルニア修復術における当科での工夫. 日本臨床外科学会雑誌 2017; 78 (増刊) :803.
- 246)萩原信敏, 松谷毅, 野村務, 藤田逸郎, 金沢義一, 柿沼大輔, 新井洋紀, 松野邦彦, 太田恵一朗, 内田英二: 腹腔鏡下腹壁癒痕ヘルニア修復術における当科での工夫. 日本臨床外科学会雑誌 2017; 78 (増刊) :803. doi: 10.3919/jjsa.78.803.
- 247)Nakamura Yoshiharu, Matsushita Akira, Katsuno Akira, Mizuguchi Yoshiaki, Yamahatsu Kazuya, Samahatsuiroki, Kanda Tomohiro, Furuki Hiroyasu, Taniai Nobuhiko, Matsumoto Satoshi, Uchida Eiji: 腹腔鏡下膵切除術の標準化における考察. 日本外科学会定期学術集会 2017; 117th:ROMBUNNO.WS - 3 - 3 (WEB ONLY)-3.
- 248)中村 慶春, 松下 晃, 神田 知洋, 古木 裕康, 谷合 信彦, 吉岡 正人, 清水 哲也, 山初 和也, 住吉 宏樹, 内田 英二: 腹腔鏡下膵頭十二指腸切除術(Lap-PD)を施行する上で学ぶべきこと. 日本消化器外科学会総会 2017; 72 回:ES03-3.
- 249)松下 晃, 中村 慶春, 勝野 暁, 住吉 宏樹, 山初 和也, 古木 裕康, 神田 知洋, 清水 哲也, 吉岡 正人, 横山 正, 内田 英二: 腹腔鏡下膵頭十二指腸切除術における SMA 周囲の安全な術野展開法について. 日本消化器外科学会雑誌 2017; 50 (Suppl.2) :234.
- 250)中村 慶春, 松下 晃, 神田 知洋, 野村 務, 牧野 浩司, 古木 裕康, 清水 哲也, 吉岡 正人, 谷合 信彦, 山初 和也, 住吉 宏樹, 横山 正, 田尻 孝, 内田 英二: 腹腔鏡下膵頭十二指腸切除術の導入とその成績 安全に腹腔鏡下膵頭十二指腸切除術(Lap-PD)を導入するために学ぶべきこと. 日本内視鏡外科学会雑誌 2017; 22 (7) :WS3-1.
- 251)野村 務, 松谷 毅, 萩原 信敏, 藤田 逸郎, 金沢 義一, 中村 慶春, 柿沼 大輔, 牧野 浩司, 太田 恵一朗, 宮下 正夫, 内田 英二: 腹腔鏡下食道裂孔ヘルニア修復術・噴門形成術の実際 混合型食道裂孔ヘルニア患者に対する腹腔鏡手術. 日本内視鏡外科学会雑誌 2017; 22 (7) :WS3-4.
- 252)松田 明久, 増田 寛喜, 松本 智司, 櫻澤 信行, 川野 陽一, 山初 和也, 関口 久美子, 宮下 正夫, 内田 英二: 腹腔鏡下鼠径ヘルニア修復術における術後漿液腫の機序とその予防 末梢側 Sac 閉鎖の可能性. 日本内視鏡外科学会雑誌 2017; 22 (7) :SF022-04.
- 253)中村 慶春, 松下 晃, 勝野 暁, 山初 和也, 住吉 宏樹, 近藤 亮太, 横山 正, 内藤 善哉, 内田 英二: 腹腔鏡手術時代の膵鉤部解剖について 膵頭神経叢を適切に把握するために. 膵臓 2017; 32 (3) :485.

- 254)松谷毅, 萩原信敏, 野村務, 藤田逸郎, 金沢義一, 柿沼大輔, 新井洋紀, 松野邦彦, 太田恵一朗, 内田英二: 腹臥位胸腔鏡下食道切除術における右胸壁から左胸腔へのドレーン留置は後肺合併症を軽減するか?. 日本臨床外科学会雑誌 2017; 78 (増刊) :514.
- 255)菊池友太, 菊池友太, 安武正弘, 兵働英也, 古木裕康, 内田英二: 腹部救急疾患に対する診断と初期治療—総合診療医の役割—急性腹症における大学病院総合診療部門の役割. 日本腹部救急医学会雑誌 2017; 37 (6) :853 - 857-857. doi: 10.11231/jaem.37.853.
- 256)松下 晃, 中村 慶春, 勝野 暁, 山初 和也, 住吉 宏樹, 神田 知洋, 清水 哲也, 吉岡 正人, 横山 正, 内田 英二: 膵切除術における膵切離・断端処理の手術手技 当科における腹腔鏡下尾側膵切除術の手術成績と膵先行圧挫による膵切離法の検討. 日本消化器外科学会総会 2017; 72 回:SY14-9.
- 257)松下 晃, 中村 慶春, 勝野 暁, 山初 和也, 住吉 宏樹, 横山 正, 内田 英二: 膵神経内分泌腫瘍に対する腹腔鏡下膵切除術の手術成績. 膵臓 2017; 32 (3) :476.
- 258)高田 英志, 横山 正, 牧野 浩司, 丸山 弘, 平方 敦史, 上田 純志, 関 奈紀, 菊池 友太, 上田 康二, 宮下 哲平, 吉岡 将史, 日下部 誠, 浅見 敬一, 吉田 寛, 内田 英二: 膵管チューブ持続低圧吸引による膵頭十二指腸切除術後膵液瘻への対策. 日本外科感染症学会雑誌 2017; 14 (5) :584.
- 259)横山 正, 牧野 浩司, 平方 敦史, 上田 純志, 高田 英志, 菊池 友太, 的場 秀亮, 日下部 誠, 吉田 寛, 内田 英二: 膵頭十二指腸切除術における我々が工夫している膵消化管吻合法. 日本消化器外科学会総会 2017; 72 回:RS2-79.
- 260)上田 純志, 吉田 寛, 牧野 浩司, 横山 正, 平方 敦史, 高田 英志, 関 奈紀, 菊池 友太, 的場 秀亮, 内田 英二: 膵頭十二指腸切除術における術前胆道ドレナージ法の検討. 日本消化器外科学会総会 2017; 72 回:RS3-145.
- 261)高田 英志, 横山 正, 牧野 浩司, 丸山 弘, 平方 敦史, 上田 純志, 関 奈紀, 的場 秀亮, 吉田 寛, 内田 英二: 膵頭十二指腸切除術後膵液瘻における膵管チューブ持続低圧吸引の有用性. 日本消化器外科学会総会 2017; 72 回:RS3-145.
- 262)小泉 はるか, 下川 陽子, 松本 智司, 平野 知子, 古山 めぐみ, 澤谷 篤, 井上 大輔: 苦痛のスクリーニングに対する初期対応について. Palliative Care Research 2017; 12 (Suppl.) :S323.
- 263)金沢 義一, 藤田 逸郎, 柿沼 大輔, 新井 洋樹, 松野 邦彦, 下田 朋宏, 高 和英, 保田 智彦, 菅野 仁士, 古木 裕康, 松谷 毅, 萩原 信敏, 山田 岳史, 加藤 俊二, 内田 英二: 薬剤感受性試験(CD-DST)からみた SOX 治療の検討 相乗効果の意義(In Vitro Chemosensitivity Test for Gastric Cancer Specimens Predicts Effectiveness of L-OHP and 5-FU). 日本胃癌学会総会記事 2018; 90 回:559.
- 264)横山 康行, 山田 岳史, 小泉 岐博, 進士 誠一, 高橋 吾郎, 堀田 正啓, 岩井 拓磨, 武田 幸樹, 原 敬介, 太田 恵一郎, 内田 英二: 虫垂炎治療はどう変わるか? 待機的虫垂切除の妥当性 複雑性虫垂炎に対する保存的治療逸脱症例の解析から得た教訓. 日本臨床外科学会雑誌 2017; 78 (増刊) :381.
- 265)関口 久美子, 松田 明久, 山田 真吏奈, 松本 智司, 櫻澤 信行, 川野 陽一, 宮下 正夫, 内田 英二: 血中ガレクチン 3 は大腸癌手術における術後合併症の予測因子である. Shock: 日本 Shock 学会雑誌 2017; 32 (1) :69.
- 266)青木 悠人, 谷合 信彦, 吉岡 正人, 川野 陽一, 清水 哲也, 神田 知洋, 近藤 亮太, 金谷 洋平, 古木 裕康, 内田 英二: 血清プロカルシトニンを用いた肝切除術後胆汁漏の早期予測. 日本消化器外科学会総会 2017; 72 回:RS3-110.
- 267)青木 悠人, 谷合 信彦, 吉岡 正人, 川野 陽一, 清水 哲也, 神田 知洋, 近藤 亮太, 金谷 洋平, 古木 裕康, 内田 英二: 血清プロカルシトニン値を用いた肝切除術後合併症予測. 日本消化器外科学会雑誌 2017; 50 (Suppl.2) :508.
- 268)春名孝洋, 松谷毅, 萩原信敏, 藤田逸郎, 金沢義一, 柿沼大輔, 新井洋紀, 下田朋宏, 金谷洋平, 近藤亮太, 野村務, 内田英二: 術前 CT 検査にて診断し得た膀胱ヘルニア嵌頓の 1 例. 日本腹部救急医学会雑誌 2018; 38 (2) :416.
- 269)瀬谷 知子, 宮下 正夫, 横室 茂樹, 堀場 光二, 松本 智司, 桜澤 信行, 川野 陽一, 松田 明久, 山初 和也, 関口 久美子, 篠塚 恵理子, 安藤 文彦, 増田 寛喜, 川島 万平, 内田 英二: 術前 DCS 療法にて同時性肝転移が病理学的に完全奏功となった胃癌の 1 例. 日本癌治療学会学術集会抄録集 2017; 55 回:P178-7.
- 270)松田 明久, 松本 智司, 櫻澤 信行, 川野 陽一, 山初 和也, 関口 久美子, 安藤 文彦, 山田 岳史, 宮下 正夫, 内田 英二: 術前リンパ球-単球比は腹腔鏡下大腸切除後感染性合併症の予測因子である. 外科と代謝・栄養 2017; 51 (3) :87.
- 271)山岸 杏彌, 湖山 信篤, 小泉 岐博, 山田 岳史, 内田 英二: 術前化学放射線療法を行った直腸癌症例における distal spread の検討. 日本大腸肛門病学会雑誌 2017; 70 (抄録号) :A170.
- 272)日下部 誠, 牧野 浩司, 吉田 寛, 丸山 弘, 横山 正, 平方 敦史, 上田 純志, 高田 英志, 菊池 友太, 上田 康二, 吉岡 将史, 浅見 敬一, 入江 利幸, 内田 英二: 術前化学療法により組織学的完全奏功が得られたステージIV胃癌の1例. 日本胃癌学会総会記事 2018;

90回:393.

- 273)小泉 岐博, 山田 岳史, 進士 誠一, 横山 康行, 高橋 吾郎, 堀田 正啓, 岩井 拓磨, 武田 幸樹, 原 敬介, 太田 惠一朗, 内田 英二: 術前化学療法を行った直腸癌症例における distal spread の検討. 日本外科学会定期学術集会抄録集 2017; 117回:PS-114.
- 274)小泉 岐博, 山田 岳史, 進士 誠一, 横山 康行, 高橋 吾郎, 堀田 正啓, 岩井 拓磨, 武田 幸樹, 原 敬介, 太田 惠一朗, 内田 英二: 術前化学療法を行った直腸癌症例における腫瘍肛門側進展の検討. 日本外科系連合学会誌 2017; 42 (5) :895.
- 275)小泉 岐博, 山田 岳史, 進士 誠一, 横山 康之, 高橋 吾郎, 堀田 正啓, 岩井 拓磨, 原 敬介, 武田 幸樹, 太田 惠一朗, 内田 英二: 術前化学療法施行した直腸癌症例における腹腔鏡下手術の短期成績. 日本内視鏡外科学会雑誌 2017; 22 (7) :EP111-05.
- 276)入江 利幸, 上田 純志, 吉田 寛, 牧野 浩司, 横山 正, 丸山 弘, 平方 敦史, 高田 英志, 菊池 友太, 上田 康二, 日下部 誠, 浅見 敬一, 内田 英二: 術前診断が困難であった肝原発悪性リンパ腫の1例. 日本内視鏡外科学会雑誌 2017; 22 (7) :EP029-06.
- 277)萩原 信敏, 松谷 毅, 野村 務, 藤田 逸郎, 金沢 義一, 柿沼 大輔, 松野 邦彦, 新井 洋紀, 太田 惠一朗, 内田 英二: 術前誤嚥性肺炎併発食道裂孔ヘルニアに対する腹腔鏡下手術時の胃瘻併置の有用性. 日本内視鏡外科学会雑誌 2017; 22 (7) :EP187-10.
- 278)上田 康二, 草地 信也, 丸山 弘, 菅野 仁士, 内田 英二, 吉田 寛, 牧野 浩司, 新妻 徹, 三嶋 廣繁, 竹末 芳生, 炭山 嘉伸: 術式から見た周術期感染の現状を知る 大腸手術における周術期感染の現状. 日本外科感染症学会雑誌 2017; 14 (5) :467.
- 279)萩原 信敏, 松谷 毅, 野村 務, 藤田 逸郎, 金沢 義一, 柿沼 大輔, 菅野 仁士, 新井 洋紀, 牧野 浩司, 太田 惠一朗, 内田 英二: 術後上部内視鏡観察による再建胃管内腔の粘膜変化の評価および ICG 蛍光法による術中胃管血流評価の有用性. 日本外科学会定期学術集会抄録集 2017; 117回:SF-2.
- 280)萩原信敏, 松谷毅, 野村務, 藤田逸郎, 金沢義一, 柿沼大輔, 菅野仁士, 新井洋紀, 牧野浩司, 太田惠一朗, 内田英二: 術後上部内視鏡観察による再建胃管内腔の粘膜変化の評価および ICG 蛍光法による術中胃管血流評価の有用性. 日本外科学会定期学術集会 2017; 117th:ROMBUNNO.SF - 52 - 2 (WEB ONLY)-52.
- 281)原 敬介, 山田 岳史, 小泉 岐博, 進士 誠一, 横山 康行, 高橋 吾郎, 岩井 拓磨, 武田 幸樹, 太田 惠一朗, 内田 英二: 複雑性虫垂炎に対する待機的虫垂切除術と緊急虫垂切除術の総入院期間と治療成績の検討. 日本消化器外科学会総会 2017; 72回:PM10-1.
- 282)松谷 毅, 萩原 信敏, 野村 務, 藤田 逸郎, 金沢 義一, 柿沼 大輔, 新井 洋紀, 松野 邦彦, 太田 惠一朗, 内田 英二: 進行食道癌に対する腹腔鏡下食道バイパス術と従来法 術後生体反応の比較. 日本内視鏡外科学会雑誌 2017; 22 (7) :EP012-06.
- 283)原 敬介, 山田 岳史, 目泰 朋貴, 小泉 岐博, 進士 誠一, 横山 康行, 高橋 吾郎, 堀田 正啓, 岩井 琢磨, 武田 幸樹, 太田 惠一朗, 大和田 勇人, 内田 英二: 運動量と睡眠時間が化学療法の効果と有害事象に与える影響の検討. 日本消化管学会雑誌 2018; 2 (Suppl.) :251.
- 284)松田 明久, 松本 智司, 櫻澤 信行, 川野 陽一, 山初 和也, 関口 久美子, 保田 智彦, 安藤 文彦, 宮下 正夫, 内田 英二: 閉塞性大腸癌に対する大腸ステント挿入後の至適手術待機期間に関する検討. 日本外科学会定期学術集会抄録集 2017; 117回:PS-8.
- 285)高橋 吾郎, 山田 岳史, 松本 智司, 小泉 岐博, 進士 誠一, 松田 明久, 横山 康行, 岩井 拓磨, 武田 幸樹, 太田 惠一朗, 内田 英二: 閉塞性大腸癌に対する大腸ステント留置は循環腫瘍 DNA 量を増加させる. 日本外科学会定期学術集会抄録集 2017; 117回:SF-36.
- 286)松田 明久, 松本 智司, 櫻澤 信行, 川野 陽一, 山初 和也, 関口 久美子, 安藤 文彦, 山田 岳史, 宮下 正夫, 内田 英二: 閉塞性大腸癌の治療方針 術後合併症を起こさない閉塞性大腸癌に対する BTS を目指して. 日本大腸肛門病学会雑誌 2017; 70 (抄録号) :A61.
- 287)進士 誠一, 山田 岳史, 小泉 岐博, 横山 康行, 高橋 吾郎, 岩井 拓磨, 原 敬介, 武田 幸樹, 菅 隼人, 松本 智司, 太田 惠一郎, 内田 英二: 開腹移行症例からみた腹腔鏡下大腸癌手術の適応. 日本大腸肛門病学会雑誌 2017; 70 (5) :372.
- 288)原 敬介, 進士 誠一, 山田 岳史, 小泉 岐博, 横山 康行, 高橋 吾郎, 堀田 正啓, 岩井 拓磨, 武田 幸樹, 太田 惠一朗, 内田 英二: 開腹移行症例からみた腹腔鏡下大腸癌手術の適応. 日本内視鏡外科学会雑誌 2017; 22 (7) :EP130-04.
- 289)柿沼大輔, 金沢義一, 藤田逸郎, 松野邦彦, 高和英, 新井洋紀, 下田朋宏, 萩原信敏, 松谷毅, 野村務, 牧野浩司, 桜澤信行, 加藤俊二, 太田惠一朗, 内田英二: 集学的治療にて長期生存を得た進行食道胃接合部癌小脳転移症の1例. 日本外科系連合学会誌 2017; 42 (3) :545.
- 290)高橋 吾郎, 山田 岳史, 松本 智司, 小泉 岐博, 進士 誠一, 松田 明久, 横山 康行, 堀田 正啓, 岩井 拓磨, 武田 幸樹, 古木 裕康, 太田 惠一朗, 内田 英二: 非遺伝性大腸癌のバイオマーカーと治療戦略 直腸肛門部悪性黒色腫における循環腫瘍 DNA. 日本消化管学会雑誌 2018; 2 (Suppl.) :121.
- 291)入江 利幸, 牧野 浩司, 丸山 弘, 横山 正, 平方 敦史, 上田 純志, 高田 英志, 関 奈紀, 菊池 友太, 上田 康二, 宮下 哲平, 吉岡 将史, 日下部 誠, 浅見 敬一, 吉田 寛, 内田 英二: 食思不振を主訴に発見された高齢者の巨大胃 GIST の一例. 日本胃癌学会総会

- 記事 2018; 90回:441.
- 292)牧野 浩司, 吉田 寛, 丸山 弘, 横山 正, 平方 敦史, 上田 純志, 高田 英志, 関 奈紀, 菊池 友太, 的場 秀亮, 篠塚 恵理子, 上田 康二, 吉岡 将史, 宮下 哲平, 浅見 敬一, 櫻澤 信行, 宮下 正夫, 萩原 信敏, 松谷 毅, 野村 務, 内田 英二 : 食道アンビル先行装着後の頸部器械吻合の工夫とステープルライン内翻する胃管作成の工夫. 日本外科学会定期学術集会抄録集 2017; 117回:PS-1.
- 293)牧野 浩司, 丸山 弘, 横山 正, 平方 敦史, 上田 純志, 萩原 信敏, 松谷 毅, 野村 務, 吉田 寛, 内田 英二 : 食道切除後再建法の工夫と成績 アンビル先行装着の頸部吻合でのサーキュラステイプラーと内翻胃管作成でのリニアステイプラー使用の工夫. 日本消化器外科学会総会 2017; 72回:O1-1.
- 294)萩原 信敏, 松谷 毅, 野村 務, 藤田 逸郎, 金沢 義一, 柿沼 大輔, 菅野 仁士, 牧野 浩司, 太田 恵一朗, 内田 英二 : 食道切除後再建法の工夫と成績 食道手術における術中再建胃管血流評価による臨床的有用性と胃管挙上法の工夫. 日本消化器外科学会総会 2017; 72回:O1-2.
- 295)梅澤 裕己, 中尾 淳一, 松谷 毅, 中溝 宗永, 横島 一彦, 小川 令 : 食道癌再建患者の予後と再建方法. 日本マイクロサージャリー学会学術集会プログラム・抄録集 2017; 44回:118.
- 296)篠塚 恵理子, 牧野 浩司, 吉田 寛, 丸山 弘, 菊池 友太, 野村 務, 松谷 毅, 萩原 信敏, 宮下 正夫, 内田 英二 : 食道癌術後の頸部吻合部縫合不全に対し一時的カバードステント留置が有用であった1例. 日本食道学会学術集会プログラム・抄録集 2017; 71回:P18-5.
- 297)松谷 毅, 萩原 信敏, 野村 務, 藤田 逸郎, 金沢 義一, 柿沼 大輔, 菅野 仁士, 新井 洋紀, 太田 恵一朗, 内田 英二 : 食道癌術後再発の予測因子と治療戦略. 日本消化器外科学会総会 2017; 72回:PM18-1.
- 298)牧野 浩司, 吉田 寛, 丸山 弘, 横山 正, 平方 敦史, 上田 純志, 高田 英志, 菊池 友太, 上田 康二, 吉岡 将史, 入江 利幸, 浅見 敬一, 内田 英二 : 食道癌術後縫合不全、瘻孔時の低侵襲な内視鏡的治療の工夫. 日本内視鏡外科学会雑誌 2017; 22 (7) :EP171-03.
- 299)日下部 誠, 牧野 浩司, 横山 正, 丸山 弘, 平方 敦史, 上田 純志, 高田 英志, 菊池 友太, 上田 康二, 吉岡 将史, 浅見 敬一, 入江 利幸, 関 奈紀, 吉田 寛, 内田 英二 : 食道胃接合部癌(Siewert Type II)に対する右側からの胸腔鏡下下部食道切除・郭清と胸腔鏡下吻合. 日本臨床外科学会雑誌 2017; 78 (増刊) :526.
- 300)牧野 浩司, 吉田 寛, 丸山 弘, 横山 正, 平方 敦史, 上田 純志, 高田 英志, 菊池 友太, 上田 康二, 吉岡 将史, 藤田 逸郎, 内田 英二 : 食道胃接合部癌(Siewert Type II)に対する胸部操作における胸腔鏡下手術の有効性. 日本消化器外科学会雑誌 2017; 50 (Suppl.2) :253.
- 301)牧野 浩司, 吉田 寛, 丸山 弘, 横山 正, 平方 敦史, 上田 純志, 萩原 信敏, 松谷 毅, 野村 務, 内田 英二 : 食道胃接合部癌に対する胸腔鏡(右側)下下部食道切除・郭清と胸腔鏡下吻合. 日本食道学会学術集会プログラム・抄録集 2017; 71回:P9-3.
- 302)野村 務, 松谷 毅, 萩原 信敏, 藤田 逸郎, 金沢 義一, 牧野 浩司, 太田 恵一朗, 岩切 勝彦, 宮下 正夫, 内田 英二 : 食道良性疾患の外科治療 III型食道裂孔ヘルニア術後障害の検討. 日本食道学会学術集会プログラム・抄録集 2017; 71回:W1-4.
- 303)野村 務, 松谷 毅, 萩原 信敏, 藤田 逸郎, 金沢 義一, 中村 慶春, 牧野 浩司, 柿沼 大輔, 太田 恵一朗, 岩切 勝彦, 宮下 正夫, 内田 英二 : 食道裂孔ヘルニア患者に対する腹腔鏡下手術 メッシュの種類による治療成績の検討. 日本消化器外科学会雑誌 2017; 50 (Suppl.2) :250.
- 304)野村 務, 松谷 毅, 萩原 信敏, 藤田 逸郎, 金沢 義一, 中村 慶春, 柿沼 大輔, 菅野 仁士, 牧野 浩司, 太田 恵一朗, 岩切 勝彦, 宮下 正夫, 内田 英二 : 食道運動機能障害に対する治療 POEM vs.胸腔鏡下手術 胸腔鏡下手術の立場から. 消化器外科 2017; 40 (8) :1215-1220.
- 305)中川 まどか, 山田 岳史, 小泉 岐博, 進士 誠一, 横山 康行, 高橋 吾郎, 岩井 拓磨, 武田 幸喜, 原 敬介, 倉藤 晶子, 内田 英二 : 高反発傾斜付きクッションによる腹腔鏡下左側大腸切除術における褥瘡発症率の減少. 日本外科系連合学会誌 2017; 42 (3) :593.
- 306)浅見 敬一, 牧野 浩司, 吉田 寛, 丸山 弘, 横山 正, 平方 敦史, 上田 純志, 高田 英志, 関 奈紀, 内田 英二 : 高度貧血の原因となった胃ポリポイド腫瘍に対し、内視鏡下胃内手術にて治癒しえた1例. 日本消化器外科学会総会 2017; 72回:PG18-3.
- 307)柿沼 大輔, 藤田 逸郎, 金沢 義一, 菅野 仁士, 新井 洋紀, 下田 朋宏, 松野 邦彦, 萩原 信敏, 松谷 毅, 野村 務, 内田 英二 : 高度進行胃癌に対する化学療法による Conversion 症例の検討. 日本外科学会定期学術集会抄録集 2017; 117回:PS-169.
- 308)吉岡 将史, 丸山 弘, 吉田 寛, 牧野 浩司, 横山 正, 平方 敦史, 上田 純志, 高田 英志, 菊池 友太, 上田 康二, 内田 英二 : 高齢者における腹腔鏡補助下大腸切除術における SSI の検討. 日本外科感染症学会雑誌 2017; 14 (5) :559.
- 309)山田 岳史, 横山 康行, 小泉 岐博, 進士 誠一, 松田 明久, 高橋 吾郎, 岩井 拓磨, 武田 幸樹, 原 敬介, 堀田 正啓, 松本 智司,



内田 英二：高齢者結腸癌手術における腹腔鏡手術と機械的術前処置が術後消化管運動に与える影響. 日本癌治療学会学術集会抄録集 2017; 55 回:P23-1.

310) 萩原 信敏, 松谷 毅, 野村 務, 藤田 逸郎, 金沢 義一, 柿沼 大輔, 川見 典之, 岩切 勝彦, 太田 恵一郎, 内田 英二：高齢者食道裂孔ヘルニア患者に対する外科治療の工夫. 日本食道学会学術集会プログラム・抄録集 2017; 71 回:P79-3.

311) 松田 明久, 松本 智司, 櫻澤 信行, 川野 陽一, 山初 和也, 関口 久美子, 安藤 文彦, 宮下 正夫, 内田 英二：鼠径部ヘルニア嵌頓に対する TAPP 法の意義. Japanese Journal of Acute Care Surgery 2017; 7 (1) :244.

## 著書

- 1) Makino H, Yoshida H, Uchida E : 〔分担執筆〕 Lymph Node Dissection Along the Recurrent Laryngeal Nerve in Video Assisted Thoracoscopic Surgery (Vats-e) for Esophageal Squamous Cell Carcinoma. Esophagus Abnormalities. 2017, In Tech (USA).
- 2) 吉田寛 : 〔分担執筆〕 III. 治療法総論 ⑨脾臓摘出術、部分的脾動脈塞栓術(PSE). プリンシプル消化器病疾患の臨床 ここまできた肝臓病診療. 2017, 中山書店.
- 3) 吉田寛 : 〔分担執筆〕 VI. 治療法各論〔肝疾患〕 ②腫瘍性肝疾患 D. 肝嚢胞. プリンシプル消化器病疾患の臨床 ここまできた肝臓病診療. 2017, 中山書店.
- 4) 吉田寛 : 〔分担執筆〕 VI. 治療法各論〔肝疾患〕 ②腫瘍性肝疾患 E. 肝良性腫瘍. プリンシプル消化器病疾患の臨床 ここまできた肝臓病診療. 2017, 中山書店.
- 5) 吉田寛 : 〔分担執筆〕 肝胆膵 膵切除術 脾門部からの出血. 一消化器外科手術— 起死回生の一手! . 2017, メジカルビュー社.
- 6) 吉田寛 : 〔分担執筆〕 III-3 内視鏡的治療 (EVL, EIS 等) . 肝疾患治療マニュアル. 2017, 南江堂.
- 7) 吉田寛 : 〔分担執筆〕 第四章 肝胆道の手術療法 3.胆道再建法. 肝臓専門医テキスト. 2017, 南江堂
- 8) 川野陽一, 吉田寛 : 〔分担執筆〕 第七章 画像診断 4.胆道鏡検査. 肝臓専門医テキスト. 2017, 南江堂
- 9) 吉田寛 : 〔分担執筆〕 第 X 章 胆道疾患 4.胆嚢胆道腫瘍. 肝臓専門医テキスト. 2017, 南江堂
- 10) 川野陽一, 吉田寛 : 〔分担執筆〕 第 X 章 胆道疾患 5.膵・胆管合流異常. 肝臓専門医テキスト. 2017, 南江堂
- 11) 吉田寛 : 〔分担執筆〕 第 X V 章 門脈圧亢進症の治療 8.部分的脾動脈塞栓術・脾摘. 肝臓専門医テキスト. 2017, 南江堂

## 学会発表

- 1) 武田 幸樹, 山田 岳史, 小泉 岐博, 進士 誠一, 横山 康行, 高橋 吾郎, 岩井 拓磨, 原 敬介, 太田 恵一郎, 内田 英二 : Circulating cell free DNA を用いた大腸癌化学療法の効果予測. 日本外科学会定期学術集会抄録集, 2017. 4.
- 2) 山田 岳史, 高橋 吾郎, 岩井 拓磨, 武田 幸樹, 小泉 岐博, 進士 誠一, 松田 明久, 横山 康行, 原 敬介, 松本 智司, 太田 恵一郎, 内田 英二 : Circulating cell free DNA を用いた遠隔転移を有する大腸癌に対する治療戦略. 日本外科学会定期学術集会抄録集, 2017. 4.
- 3) Takahashi Goro, Yamada Takeshi, Iwai Takuma, Takeda Kohki, Koizumi Michihiro, Shinji Seiichi, Yokoyama Yasuyuki, Hara Keisuke, Furuki Hiroyasu, Watanabe Atsushi, Ohta Keiichiro, Uchida Eiji : Circulating tumour DNA following decompression using selfexpandable metallic stent. CANCER RESEARCH, 2017. 7.
- 4) Furuki Hiroyasu, Yamada Takeshi, Koizumi Michihiro, Shinji Seiichi, Uchida Eiji : Clonal evolution of tumors in patients with liver metastases from colorectal cancer using next generation sequencing. CANCER SCIENCE, 2018. 1.
- 5) Takeshi Yamada, Goro Takahashi, Takuma Iwai, Kohki Takeda, Kohji Ueda, Michihiro Koizumi, Seiichi Shinji, Yasuyuki Yokoyama, Keisuke Hara, Akihisa Matsuda, Satoshi Matsumoto, Keiichiro Ohta, Uchida Eiji : Emergence of KRAS mutations and acquisition of resistance to EGFR blockade. JOURNAL OF CLINICAL ONCOLOGY, 2017. 5.
- 6) 山田 岳史, 高橋 吾郎, 岩井 拓磨, 武田 幸樹, 上田 康二, 小泉 岐博, 進士 誠一, 横山 康行, 原 敬介, 太田 恵一郎, 内田 英二 : From Bench to Bedside 臨床と基礎の連携研究 Liquid biopsy を用いた消化器がん Multi-biopsy Bank Project. 日本外科系連合学会誌, 2017. 5.
- 7) 野村 務, 松谷 毅, 萩原 信敏, 藤田 逸郎, 金沢 義一, 中村 慶春, 柿沼 大輔, 太田 恵一郎, 宮下 正夫, 内田 英二 : III 型食道裂孔ヘルニア術後食道炎の検討. 日本消化器外科学会総会, 2017. 7.
- 8) 山田 岳史, 高橋 吾郎, 岩井 拓磨, 武田 幸樹, 小泉 岐博, 進士 誠一, 松田 明久, 横山 康行, 原 敬介, 堀田 正啓, 松本 智司,

- 金沢 義一, 内田 英二 : Liquid biopsy を用いた大腸癌 Real-time Precision Medicine. 日本大腸肛門病学会雑誌, 2017. 9.
- 9) 山田 岳史, 高橋 吾郎, 岩井 拓磨, 武田 幸樹, 小泉 岐博, 進士 誠一, 松田 明久, 横山 康行, 原 敬介, 内田 英二 : Liquid biopsy を用いた大腸癌肝転移に対する治療戦略. 日本消化器外科学会総会, 2017. 7.
- 10) 岩井 拓磨, 山田 岳史, 小泉 岐博, 進士 誠一, 横山 康行, 高橋 吾郎, 武田 幸樹, 原 敬介, 太田 恵一郎, 内田 英二 : Liquid biopsy を用いた大腸癌肝転移肝切除後の早期再発リスク評価. 日本外科学会定期学術集会抄録集, 2017. 4.
- 11) 藤田 逸郎, 金澤 義一, 柿沼 大輔, 菅野 仁士, 松野 邦彦, 高 和英, 下田 朋宏, 新井 洋紀, 萩原 信敏, 松谷 毅, 野村 務, 加藤 俊二, 太田 恵一郎, 内田 英二 : PEG 造設困難症例における腹腔鏡下胃内手術を応用した胃ろう造設術. Gastroenterological Endoscopy, 2017. 9.
- 12) 山田 岳史, 高橋 吾郎, 岩井 拓磨, 武田 幸樹, 小泉 岐博, 松田 明久, 進士 誠一, 横山 康行, 原 敬介, 堀田 正啓, 松本 智司, 太田 恵一郎, 内田 英二 : Precision Medicine への橋渡しとしての Tumor Location による治療選択. 日本臨床外科学会雑誌, 2017. 10.
- 13) 松野 邦彦, 柿沼 大輔, 下田 朋宏, 新井 洋紀, 菅野 仁士, 金沢 義一, 藤田 逸郎, 萩原 信敏, 松谷 毅, 野村 務, 桜澤 信行, 牧野 浩二, 太田 恵一郎, 内田 英二 : Press Through Package 誤飲による十二指腸穿孔の 1 例. 日本外科系連合学会誌, 2017. 5.
- 14) Yamada Takeshi, Takahashi Goro, Iwai Takuma, Takeda Kohki, Furuki Hiroyasu, Koizumi Michihiro, Shinji Seiichi, Matsuda Akihisa, Yokoyama Yasuyuki, Hara Keisuke, Matsumoto Satoshi, Ohta Keiichiro, Uchida Eiji : Real time Precision Medicine for colorectal cancer by using liquid biopsy. 日本消化器癌発生学会総会プログラム・抄録集, 2017.
- 15) 大塚 悠介, 山田 岳史, 小泉 岐博, 進士 誠一, 横山 康行, 高橋 吾郎, 堀田 正啓, 岩井 拓磨, 原 敬介, 武田 幸樹, 太田 恵一郎, 内田 英二 : Regorafenib dose-escalation therapy の経験. 日本大腸肛門病学会雑誌, 2017. 9.
- 16) 久保田 友紀, 原 敬介, 進士 誠一, 山田 岳史, 小泉 岐博, 横山 康行, 高橋 吾郎, 堀田 正啓, 岩井 拓磨, 武田 幸樹, 内田 英二 : S 状結腸腸間膜窩ヘルニアに対して reduced port surgery で手術しえた 1 例. 日本腹部救急医学会雑誌, 2018. 2.
- 17) 金沢 義一, 山田 岳史, 横山 康行, 小泉 岐博, 進士 誠一, 原 啓介, 高橋 吾郎, 岩井 拓磨, 相原 恵美, 山口 文子, 菊永 恭子, 林 太祐, 星川 美夕紀, 中村 博子, 内田 英二 : チーム医療を推進するためのクリニカルパスの活用 Patient oriented clinical path を観点とした術式別大腸癌パス. 日本外科系連合学会誌, 2017. 5.
- 18) 松谷 毅, 野村 務, 萩原 信敏, 藤田 逸郎, 金沢 義一, 柿沼 大輔, 菅野 仁士, 新井 洋紀, 太田 恵一郎, 内田 英二 : 初回治療後の遺残再発食道癌に対する治療戦略. 日本消化器外科学会雑誌, 2017. 10.
- 19) 犬飼 惇, 松谷 毅, 萩原 信敏, 野村 務, 藤田 逸郎, 金沢 義一, 柿沼 大輔, 菅野 仁士, 新井 洋紀, 下田 朋宏, 太田 恵一郎, 内田 英二 : 化学放射線療法後の胃管内局所再発食道癌に対して光線力学的療法にて局所コントロールが可能であった 1 例. Progress of Digestive Endoscopy, 2017. 6.
- 20) 高橋 吾郎, 山田 岳史, 小泉 岐博, 進士 誠一, 横山 康行, 堀田 正啓, 岩井 拓磨, 武田 幸樹, 原 敬介, 太田 恵一郎, 内田 英二 : 単孔式経臍腹腔鏡補助下手術で行う Interval Appendectomy. 日本内視鏡外科学会雑誌, 2017. 12.
- 21) 横山 康行, 山田 岳史, 小泉 岐博, 進士 誠一, 高橋 吾郎, 岩井 拓磨, 武田 幸樹, 原 敬介, 太田 恵一郎, 内田 英二 : 右側結腸癌手術の前処置としてピコスルファートナトリウム内服が術後腸管運動の回復に与える影響. 日本外科学会定期学術集会抄録集, 2017. 4.
- 22) 進士 誠一, 山田 岳史, 小泉 岐博, 横山 康行, 高橋 吾郎, 堀田 正啓, 岩井 拓磨, 原 敬介, 武田 幸樹, 太田 恵一郎, 内田 英二 : 合併症を減らすための術式の工夫 腹腔鏡下腹会陰式直腸切断術における合併症を減らすための工夫. 日本外科系連合学会誌, 2017. 5.
- 23) 堀田 正啓, 山田 岳史, 小泉 岐博, 進士 誠一, 横山 康行, 高橋 吾郎, 武田 幸樹, 原 敬介, 内田 英二 : 地域医療における超高齢者に対する腹腔鏡下大腸切除術の安全性の検討. 日本内視鏡外科学会雑誌, 2017. 12.
- 24) 進士 誠一, 山田 岳史, 小泉 岐博, 横山 康行, 高橋 吾郎, 岩井 拓磨, 原 敬介, 武田 幸樹, 大草 幹大, 菅 隼人, 金沢 義一, 内田 英二 : 大腸癌手術における心血管系評価と対策. 日本大腸肛門病学会雑誌, 2017. 9.
- 25) 原 敬介, 山田 岳史, 小泉 岐博, 進士 誠一, 横山 康行, 高橋 吾郎, 堀田 正啓, 岩井 琢磨, 金沢 義一, 太田 恵一郎, 内田 英二 : 大腸癌肝転移切除後における補助化学療法の治療効果. 日本大腸肛門病学会雑誌, 2017. 9.
- 26) 宮坂 俊光, 松谷 毅, 野村 務, 萩原 信敏, 藤田 逸郎, 金沢 義一, 柿沼 大輔, 新井 洋紀, 太田 恵一郎, 内田 英二 : 完全腹腔鏡下に修復術を行った成人 Bochdalek 孔ヘルニアの 1 例. 日本内視鏡外科学会雑誌, 2017. 12.
- 27) 小泉 岐博, 山田 岳史, 岩井 拓磨, 高橋 吾郎, 武田 幸樹, 進士 誠一, 横山 康行, 原 敬介, 太田 恵一郎, 内田 英二 : 局所進行直腸癌に対する集学的治療戦略 術前化学療法を行った直腸癌症例における循環血液中 cell-free DNA を用いた予後予測. 日本消化器外科学

会総会, 2017. 7.

- 28) 犬飼 惇, 横山 康行, 山田 岳史, 小泉 岐博, 進士 誠一, 高橋 吾郎, 堀田 正啓, 岩井 琢磨, 武田 幸樹, 原 敬介, 金沢 義一, 太田 恵一郎, 内田 英二: 左側結腸癌術前処置としてのピコスルファートナトリウム内服が術後腸管運動および合併症に与える影響. 日本大腸肛門病学会雑誌, 2017. 9.
- 29) 進士 誠一, 山田 岳史, 小泉 岐博, 横山 康行, 高橋 吾郎, 堀田 正啓, 岩井 拓磨, 原 敬介, 武田 幸樹, 太田 恵一郎, 内田 英二: 当科における脾彎曲部横行結腸癌に対する腹腔鏡下手術手技と成績. 日本内視鏡外科学会雑誌, 2017. 12.
- 30) 柿沼 大輔, 藤田 逸郎, 金沢 義一, 松野 邦彦, 高 和英, 保田 智彦, 新井 洋紀, 下田 朋宏, 萩原 信敏, 松谷 毅, 野村 務, 牧野 浩司, 桜澤 信行, 太田 恵一郎, 内田 英二: 当科における腹腔鏡下胃切除における 11p 郭清. 日本内視鏡外科学会雑誌, 2017. 12.
- 31) 松谷 毅, 萩原 信敏, 野村 務, 藤田 逸郎, 金沢 義一, 柿沼 大輔, 菅野 仁士, 新井 洋紀, 太田 恵一郎, 内田 英二: 当科における腹臥位胸腔鏡下食道切除・再建術の定型化への試み. 日本食道学会学術集会プログラム・抄録集, 2017. 6.
- 32) 松野 邦彦, 柿沼 大輔, 金沢 義一, 新井 洋紀, 萩原 信敏, 松谷 毅, 藤田 逸郎, 内田 英二: 当院における切除不能幽門狭窄胃癌に対してバイパス術を施行した患者の生存期間や経口摂取可能期間の検討. 日本胃癌学会総会記事, 2018. 3.
- 33) 進士 誠一, 中尾 淳一, 山田 岳史, 小泉 岐博, 横山 康行, 高橋 吾郎, 岩井 拓磨, 武田 幸樹, 原 敬介, 青木 悠人, 菅 隼人, 藪野 雄大, 梅澤 裕己, 小川 令, 太田 恵一郎, 内田 英二: 当院における皮弁再建を要する局所進行大腸癌に対する治療戦略. 日本外科学会定期学術集会抄録集, 2017. 4.
- 34) 横山 康行, 山田 岳史, 小泉 岐博, 進士 誠一, 高橋 吾郎, 堀田 正啓, 岩井 拓磨, 武田 幸樹, 原 敬介, 金沢 義一, 太田 恵一郎, 内田 英二: 待機的右側結腸癌手術における腸管前処置省略の妥当性. 日本大腸肛門病学会雑誌, 2017. 9.
- 35) 萩原 信敏, 松谷 毅, 野村 務, 藤田 逸郎, 金沢 義一, 柿沼 大輔, 菅野 仁士, 新井 洋紀, 松野 邦彦, 寺崎 浩司, 太田 恵一郎, 内田 英二: 微量な消化管間質腫瘍検体からの高感度な特定変異遺伝子の検出. 日本消化器外科学会雑誌, 2017. 10.
- 36) 大野 崇, 原 敬介, 松下 晃, 山田 岳史, 小泉 岐博, 進士 誠一, 横山 康行, 高橋 吾郎, 堀田 正啓, 岩井 拓磨, 武田 幸樹, 太田 恵一郎, 内田 英二: 成人腸重積症を契機に診断された横行結腸平滑筋肉腫の 1 例. 日本大腸肛門病学会雑誌, 2017. 9.
- 37) 岩井 拓磨, 山田 岳史, 小泉 岐博, 進士 誠一, 横山 康行, 高橋 吾郎, 堀田 正啓, 武田 幸樹, 原 敬介, 太田 恵一郎, 内田 英二: 末梢血 DNA 分解酵素活性による絞扼性腸閉塞の診断. 日本大腸肛門病学会雑誌, 2017. 9.
- 38) 進士 誠一, 山田 岳史, 小泉 岐博, 横山 康行, 高橋 吾郎, 岩井 拓磨, 原 敬介, 武田 幸樹, 太田 恵一郎, 内田 英二: 横行結腸脾彎曲部癌に対する安全なアプローチ法. 日本消化器外科学会総会, 2017. 7.
- 39) 古木 裕康, 山田 岳史, 小泉 岐博, 進士 誠一, 内田 英二: 次世代シーケンサーを用いた大腸癌肝転移のクローン性進化の同定. 日本癌学会総会記事, 2017. 9.
- 40) 横山 康行, 山田 岳史, 小泉 岐博, 進士 誠一, 高橋 吾郎, 堀田 正啓, 岩井 拓磨, 武田 幸樹, 原 敬介, 内田 英二: 消化器外科における術後回復促進策(ERAS) 結腸癌 ERAS 消化管運動の術後早期回復に影響を与える因子は? 放射線不透過マーカーを用いた客観的評価. 日本消化器外科学会総会, 2017. 7.
- 41) 岩井 拓磨, 山田 岳史, 小泉 岐博, 進士 誠一, 横山 康行, 高橋 吾郎, 堀田 正啓, 武田 幸樹, 原 敬介, 内田 英二: 消化器外科の診断・手技・治療に役立つ先進技術 末梢血循環 DNA に着目した絞扼性腸閉塞の新しい診断法. 日本消化器外科学会総会, 2017. 7.
- 42) 高橋 吾郎, 山田 岳史, 小泉 岐博, 進士 誠一, 松田 明久, 横山 康行, 岩井 拓磨, 武田 幸樹, 原 敬介, 内田 英二: 消化器領域における oncologic emergency に対する治療戦略 閉塞性大腸癌に対する治療戦略. 日本消化器外科学会総会, 2017. 7.
- 43) 小泉 岐博, 山田 岳史, 進士 誠一, 横山 康行, 高橋 吾郎, 堀田 正啓, 岩井 拓磨, 武田 幸樹, 原 敬介, 金沢 義一, 太田 恵一郎, 内田 英二: 直腸癌術前化学療法例における組織学的効果判定と予後の検討. 日本大腸肛門病学会雑誌, 2017. 9.
- 44) 松野 邦彦, 藤田 逸郎, 金沢 義一, 柿沼 大輔, 高 和英, 保田 智彦, 新井 洋紀, 下田 朋宏, 萩原 信敏, 松谷 毅, 野村 務, 牧野 浩司, 桜澤 信行, 内田 英二: 神経外層先行剥離を利用した、No6 郭清の工夫. 日本内視鏡外科学会雑誌, 2017. 12.
- 45) 沼尾 紳一郎, 小泉 岐博, 山田 岳史, 進士 誠一, 横山 康行, 高橋 吾郎, 堀田 正啓, 岩井 拓磨, 原 敬介, 武田 幸樹, 太田 恵一郎, 内田 英二: 結腸間膜内に発生した孤立性悪性リンパ腫の 1 例. 日本大腸肛門病学会雑誌, 2017. 9.
- 46) 春名 孝洋, 原 敬介, 山田 岳史, 小泉 岐博, 進士 誠一, 横山 康行, 高橋 吾郎, 堀田 正啓, 岩井 琢磨, 武田 幸樹, 太田 恵一郎, 内田 英二: 結腸間膜内に発生した孤立性線維性腫瘍の一例. 日本大腸肛門病学会雑誌, 2017. 9.
- 47) 岩井 拓磨, 山田 岳史, 小泉 岐博, 進士 誠一, 横山 康行, 高橋 吾郎, 堀田 正啓, 武田 幸樹, 原 敬介, 太田 恵一郎, 内田 英

- 二：絞扼性腸閉塞の診断と治療 末梢血 DNA 分解酵素活性による絞扼性腸閉塞の診断の試み. 日本臨床外科学会雑誌, 2017. 10.
- 48) 高 和英, 松野 邦彦, 藤田 逸郎, 金沢 義一, 柿沼 大輔, 新井 洋紀, 下田 朋弘, 保田 智彦, 萩原 信敏, 松谷 毅, 野村 務, 太田 惠一郎, 内田 英二：胃癌周術期における cell free DNA 濃度の推移(ccf-DNA concentration in the perioperative period of gastric cancer). 日本胃癌学会総会記事, 2018. 3.
- 49) 山下 直行, 山岸 杏彌, 栗山 翔, 桜澤 信行, 萩原 信敏, 藤田 逸郎, 金沢 義一, 宮下 正夫, 内田 英二：胃癌術後結腸孤立性再発を腹腔鏡補助下に切除した 1 例. 日本内視鏡外科学会雑誌, 2017. 12.
- 50) 牧野 浩司, 吉田 寛, 丸山 弘, 横山 正, 平方 敦史, 上田 純志, 高田 英志, 菊池 友太, 上田 康二, 吉岡 将史, 日下部 誠, 萩原 信敏, 松谷 毅, 野村 務, 内田 英二：胸腔鏡食道切除術(VATS-E)で離断後の食道をストリッピングして術野展開後、左反回神経周囲リンパ節(106recL)を郭清し麻痺を減らす工夫とアンピル先行装着後、頸部吻合し縫合不全を減らす工夫. 日本臨床外科学会雑誌, 2017. 10.
- 51) 鈴木 幹人, 松谷 毅, 萩原 信敏, 野村 務, 藤田 逸郎, 金沢 義一, 柿沼 大輔, 新井 洋紀, 松野 邦彦, 太田 惠一郎, 井上 達哉, 白田 実男, 内田 英二：胸部食道扁平上皮癌と右肺腺癌の同時性重複癌に対し胸腔鏡下手術後に左下腿三頭(腓腹)筋に孤立性転移した 1 例. 日本臨床外科学会雑誌, 2017. 10.
- 52) 吉森 大悟, 原 敬介, 山田 岳史, 小泉 岐博, 進士 誠一, 横山 康行, 高橋 吾郎, 岩井 拓磨, 武田 幸樹, 内田 英二：腸閉塞を来した虫垂原発 Mixed adenoneuroendocrine carcinomas(MANECs)の一例. 日本消化器外科学会総会, 2017. 7.
- 53) 春名 孝洋, 松谷 毅, 萩原 信敏, 藤田 逸郎, 金沢 義一, 柿沼 大輔, 松野 邦彦, 新井 洋紀, 下田 朋宏, 太田 惠一郎, 内田 英二：腹壁癒痕ヘルニア修復術後メッシュ感染に対し灌流療法が有効であった 2 例. 日本外科感染症学会雑誌, 2017. 10.
- 54) 藤田 逸郎, 柿沼 大輔, 金澤 義一, 松野 邦彦, 櫻澤 信行, 萩原 信敏, 松谷 毅, 牧野 浩司, 野村 務, 内田 英二：腹腔鏡下幽門保存胃切除における 6 番リンパ節郭清. 日本消化器外科学会総会, 2017. 7.
- 55) 柿沼 大輔, 藤田 逸郎, 金沢 義一, 松野 邦彦, 高 和英, 新井 洋紀, 下田 朋宏, 萩原 信敏, 松谷 毅, 野村 務, 櫻澤 信行, 牧野 浩司, 太田 惠一郎, 内田 英二：腹腔鏡下幽門側胃切除におけるドレーン留置有用性の検討(Study of drainage tube placement for laparoscopic distal gastrectomy). 日本胃癌学会総会記事, 2018. 3.
- 56) 岡本 浩和, 横山 康行, 山田 岳史, 小泉 岐博, 進士 誠一, 高橋 吾郎, 岩井 拓磨, 武田 幸樹, 原 敬介, 内田 英二：腹腔鏡下結腸癌手術後の消化管運動に影響を与える因子は？放射線不透過マーカーを用いた客観的評価. 日本消化器外科学会総会, 2017. 7.
- 57) 萩原 信敏, 松谷 毅, 野村 務, 藤田 逸郎, 金沢 義一, 柿沼 大輔, 新井 洋紀, 松野 邦彦, 太田 惠一郎, 内田 英二：腹腔鏡下腹壁癒痕ヘルニア修復術における当科での工夫. 日本臨床外科学会雑誌, 2017. 10.
- 58) 野村 務, 松谷 毅, 萩原 信敏, 藤田 逸郎, 金沢 義一, 中村 慶春, 柿沼 大輔, 牧野 浩司, 太田 惠一郎, 宮下 正夫, 内田 英二：腹腔鏡下食道裂孔ヘルニア修復術・噴門形成術の実際 混合型食道裂孔ヘルニア患者に対する腹腔鏡手術. 日本内視鏡外科学会雑誌, 2017. 12.
- 59) 松谷 毅, 萩原 信敏, 野村 務, 藤田 逸郎, 金沢 義一, 柿沼 大輔, 新井 洋紀, 松野 邦彦, 太田 惠一郎, 内田 英二：腹臥位胸腔鏡下食道切除術における右胸壁から左胸腔へのドレーン留置は後肺合併症を軽減するか？. 日本臨床外科学会雑誌, 2017. 10.
- 60) 金沢 義一, 藤田 逸郎, 柿沼 大輔, 新井 洋樹, 松野 邦彦, 下田 朋宏, 高 和英, 保田 智彦, 菅野 仁士, 古木 裕康, 松谷 毅, 萩原 信敏, 山田 岳史, 加藤 俊二, 内田 英二：薬剤感受性試験(CD-DST)からみた SOX 治療の検討 相乗効果の意義(In Vitro Chemosensitivity Test for Gastric Cancer Specimens Predicts Effectiveness of L-OHP and 5-FU). 日本胃癌学会総会記事, 2018. 3.
- 61) 横山 康行, 山田 岳史, 小泉 岐博, 進士 誠一, 高橋 吾郎, 堀田 正啓, 岩井 拓磨, 武田 幸樹, 原 敬介, 太田 惠一郎, 内田 英二：虫垂炎治療はどう変わるか？待機的虫垂切除の妥当性 複雑性虫垂炎に対する保存的治療逸脱症例の解析から得た教訓. 日本臨床外科学会雑誌, 2017. 10.
- 62) 春名 孝洋, 松谷 毅, 萩原 信敏, 藤田 逸郎, 金沢 義一, 柿沼 大輔, 新井 洋紀, 下田 朋宏, 金谷 洋平, 近藤 亮太, 野村 務, 内田 英二：術前 CT 検査にて診断し得た膀胱ヘルニア嵌頓の 1 例. 日本腹部救急医学会雑誌, 2018. 2.
- 63) 小泉 岐博, 山田 岳史, 進士 誠一, 横山 康行, 高橋 吾郎, 堀田 正啓, 岩井 拓磨, 武田 幸樹, 原 敬介, 太田 惠一郎, 内田 英二：術前化学療法を行った直腸癌症例における distal spread の検討. 日本外科学会定期学術集会抄録集, 2017. 4.
- 64) 小泉 岐博, 山田 岳史, 進士 誠一, 横山 康行, 高橋 吾郎, 堀田 正啓, 岩井 拓磨, 武田 幸樹, 原 敬介, 太田 惠一郎, 内田 英二：術前化学療法を行った直腸癌症例における腫瘍肛門側進展の検討. 日本外科系連合学会誌, 2017. 10.
- 65) 小泉 岐博, 山田 岳史, 進士 誠一, 横山 康之, 高橋 吾郎, 堀田 正啓, 岩井 拓磨, 原 敬介, 武田 幸樹, 太田 惠一郎, 内田 英二：術前化学療法施行した直腸癌症例における腹腔鏡下手術の短期成績. 日本内視鏡外科学会雑誌, 2017. 12.

- 66) 萩原 信敏, 松谷 毅, 野村 務, 藤田 逸郎, 金沢 義一, 柿沼 大輔, 松野 邦彦, 新井 洋紀, 太田 恵一朗, 内田 英二 : 術前誤嚥性肺炎併発食道裂孔ヘルニアに対する腹腔鏡下手術時の胃瘻併置の有用性. 日本内視鏡外科学会雑誌, 2017. 12.
- 67) 上田 康二, 草地 信也, 丸山 弘, 菅野 仁士, 内田 英二, 吉田 寛, 牧野 浩司, 新妻 徹, 三鴨 廣繁, 竹末 芳生, 炭山 嘉伸 : 術式から見た周術期感染の現状を知る 大腸手術における周術期感染の現状. 日本外科感染症学会雑誌, 2017. 10.
- 68) 萩原 信敏, 松谷 毅, 野村 務, 藤田 逸郎, 金沢 義一, 柿沼 大輔, 菅野 仁士, 新井 洋紀, 牧野 浩司, 太田 恵一朗, 内田 英二 : 術後上部内視鏡観察による再建胃管内腔の粘膜変化の評価および ICG 蛍光法による術中胃管血流評価の有用性. 日本外科学会定期学術集会抄録集, 2017. 4.
- 69) 原 敬介, 山田 岳史, 小泉 岐博, 進士 誠一, 横山 康行, 高橋 吾郎, 岩井 拓磨, 武田 幸樹, 太田 恵一朗, 内田 英二 : 複雑性虫垂炎に対する待機的虫垂切除術と緊急虫垂切除術の総入院期間と治療成績の検討. 日本消化器外科学会総会, 2017. 7.
- 70) 松谷 毅, 萩原 信敏, 野村 務, 藤田 逸郎, 金沢 義一, 柿沼 大輔, 新井 洋紀, 松野 邦彦, 太田 恵一朗, 内田 英二 : 進行食道癌に対する腹腔鏡下食道バイパス術と従来法 術後生体反応の比較. 日本内視鏡外科学会雑誌, 2017. 12.
- 71) 原 敬介, 山田 岳史, 目泰 朋貴, 小泉 岐博, 進士 誠一, 横山 康行, 高橋 吾郎, 堀田 正啓, 岩井 琢磨, 武田 幸樹, 太田 恵一朗, 大和田 勇人, 内田 英二 : 運動量と睡眠時間が化学療法の効果と有害事象に与える影響の検討. 日本消化管学会雑誌, 2018. 2.
- 72) 高橋 吾郎, 山田 岳史, 松本 智司, 小泉 岐博, 進士 誠一, 松田 明久, 横山 康行, 岩井 拓磨, 武田 幸樹, 太田 恵一朗, 内田 英二 : 閉塞性大腸癌に対する大腸ステント留置は循環腫瘍 DNA 量を増加させる. 日本外科学会定期学術集会抄録集, 2017. 4.
- 73) 進士 誠一, 山田 岳史, 小泉 岐博, 横山 康行, 高橋 吾郎, 岩井 拓磨, 原 敬介, 武田 幸樹, 菅 隼人, 松本 智司, 太田 恵一郎, 内田 英二 : 開腹移行症例からみた腹腔鏡下大腸癌手術の適応. 日本大腸肛門病学会雑誌, 2017. 5.
- 74) 柿沼 大輔, 金沢 義一, 藤田 逸郎, 松野 邦彦, 高 和英, 新井 洋紀, 下田 朋宏, 萩原 信敏, 松谷 毅, 野村 務, 牧野 浩司, 桜澤 信行, 加藤 俊二, 太田 恵一朗, 内田 英二 : 集学的治療にて長期生存を得た進行食道胃接合部癌小脳転移症の 1 例. 日本外科系連合学会誌, 2017. 5.
- 75) 高橋 吾郎, 山田 岳史, 松本 智司, 小泉 岐博, 進士 誠一, 松田 明久, 横山 康行, 堀田 正啓, 岩井 拓磨, 武田 幸樹, 古木 裕康, 太田 恵一朗, 内田 英二 : 非遺伝性大腸癌のバイオマーカーと治療戦略 直腸肛門部悪性黒色腫における循環腫瘍 DNA. 日本消化管学会雑誌, 2018. 2.
- 76) 牧野 浩司, 吉田 寛, 丸山 弘, 横山 正, 平方 敦史, 上田 純志, 高田 英志, 関 奈紀, 菊池 友太, 的場 秀亮, 篠塚 恵理子, 上田 康二, 吉岡 将史, 宮下 哲平, 浅見 敬一, 櫻澤 信行, 宮下 正夫, 萩原 信敏, 松谷 毅, 野村 務, 内田 英二 : 食道アンビル先行装着後の頸部器械吻合の工夫とステープルライン内翻する胃管作成の工夫. 日本外科学会定期学術集会抄録集, 2017. 4.
- 77) 牧野 浩司, 丸山 弘, 横山 正, 平方 敦史, 上田 純志, 萩原 信敏, 松谷 毅, 野村 務, 吉田 寛, 内田 英二 : 食道切除後再建法の工夫と成績 アンビル先行装着の頸部吻合でのサーキュラステイプラーと内翻胃管作成でのリニアステイプラー使用の工夫. 日本消化器外科学会総会, 2017. 7.
- 78) 萩原 信敏, 松谷 毅, 野村 務, 藤田 逸郎, 金沢 義一, 柿沼 大輔, 菅野 仁士, 牧野 浩司, 太田 恵一朗, 内田 英二 : 食道切除後再建法の工夫と成績 食道手術における術中再建胃管血流評価による臨床的有用性と胃管挙上法の工夫. 日本消化器外科学会総会, 2017. 7.
- 79) 篠塚 恵理子, 牧野 浩司, 吉田 寛, 丸山 弘, 菊池 友太, 野村 務, 松谷 毅, 萩原 信敏, 宮下 正夫, 内田 英二 : 食道癌術後の頸部吻合部縫合不全に対し一時的カバードステント留置が有用であった 1 例. 日本食道学会学術集会プログラム・抄録集, 2017. 6.
- 80) 松谷 毅, 萩原 信敏, 野村 務, 藤田 逸郎, 金沢 義一, 柿沼 大輔, 菅野 仁士, 新井 洋紀, 太田 恵一朗, 内田 英二 : 食道癌術後再発の予測因子と治療戦略. 日本消化器外科学会総会, 2017. 7.
- 81) 牧野 浩司, 吉田 寛, 丸山 弘, 横山 正, 平方 敦史, 上田 純志, 萩原 信敏, 松谷 毅, 野村 務, 内田 英二 : 食道胃接合部癌に対する胸腔鏡(右側)下部食道切除・郭清と胸腔鏡下吻合. 日本食道学会学術集会プログラム・抄録集, 2017. 6.
- 82) 野村 務, 松谷 毅, 萩原 信敏, 藤田 逸郎, 金沢 義一, 牧野 浩司, 太田 恵一朗, 岩切 勝彦, 宮下 正夫, 内田 英二 : 食道良性疾患の外科治療 III 型食道裂孔ヘルニア術後障害の検討. 日本食道学会学術集会プログラム・抄録集, 2017. 6.
- 83) 中川 まどか, 山田 岳史, 小泉 岐博, 進士 誠一, 横山 康行, 高橋 吾郎, 岩井 拓磨, 武田 幸喜, 原 敬介, 倉藤 晶子, 内田 英二 : 高反発傾斜付きクッションによる腹腔鏡下左側大腸切除術における褥瘡発症率の減少. 日本外科系連合学会誌, 2017. 5.
- 84) 柿沼 大輔, 藤田 逸郎, 金沢 義一, 菅野 仁士, 新井 洋紀, 下田 朋宏, 松野 邦彦, 萩原 信敏, 松谷 毅, 野村 務, 内田 英二 : 高度進行胃癌に対する化学療法による Conversion 症例の検討. 日本外科学会定期学術集会抄録集, 2017. 4.

- 85) 山田 岳史, 横山 康行, 小泉 岐博, 進士 誠一, 松田 明久, 高橋 吾郎, 岩井 拓磨, 武田 幸樹, 原 敬介, 堀田 正啓, 松本 智司, 内田 英二 : 高齢者結腸癌手術における腹腔鏡手術と機械的術前処置が術後消化管運動に与える影響. 日本癌治療学会学術集会抄録集, 2017. 10.
- 86) 萩原 信敏, 松谷 毅, 野村 務, 藤田 逸郎, 金沢 義一, 柿沼 大輔, 川見 典之, 岩切 勝彦, 太田 恵一朗, 内田 英二 : 高齢者食道裂孔ヘルニア患者に対する外科治療の工夫. 日本食道学会学術集会プログラム・抄録集, 2017. 6.

## 15 乳腺外科学分野

### 研究業績

#### 論文等

- 1) Kazuyuki Kubo, Hiroyuki Takei, Hiroshi Matsumoto, Atsumori Hamahata : Application of a rhomboid flap for the coverage of defects after malignant breast tumor resection: A case report. ONCOLOGY LETTERS 2017; 14 (2) :2347-2352. doi: 10.3892/ol.2017.6411.
- 2) Mamoru Takada, Shigenori Nagai, Masayuki Haruta, Ryuichi P. Sugino, Katsunori Tozuka, Hiroyuki Takei, Fumie Ohkubo, Kenichi Inoue, Masafumi Kurosumi, Masaru Miyazaki, Aiko Sato-Otsubo, Yusuke Sato, Seishi Ogawa, Yasuhiko Kaneko : BRCA1 alterations with additional defects in DNA damage response genes may confer chemoresistance to BRCA-like breast cancers treated with neoadjuvant chemotherapy. GENES CHROMOSOMES & CANCER 2017; 56 (5) :405-420. doi: 10.1002/gcc.22445.
- 3) 金子 安比古, 高田 護, 永井 成勲, 春田 雅之, 杉野 隆一, 戸塚 勝理, 武井 寛幸, 井上 賢一, 黒住 昌史, 宮崎 勝, 佐藤 悠佑, 小川 誠司 : BRCA1 異常に合併する付加的 DNA 損傷修復遺伝子異常は BRCA-like 乳癌に化学療法抵抗性をもたらす. 日本癌学会総会記事 2017; 76 回:E-2002.
- 4) Hiroyuki Takei : Brain metastasis of breast cancer. Japanese Journal of Cancer and Chemotherapy 2017; 44 (6) :479-484.
- 5) 栗田智子 : Comparison of Residual Risk-Based Eligibility vs Tumor Size and Nodal Status for Power Estimates in Adjuvant Trials of Breast Cancer Therapies. JAMA Oncology Original Investigation 2018
- 6) Ohnishi Hiroshi, Endo Itaru, Nakamura Seigo, Ishikawa Takashi, Kubo Michiaki, Udagawa Chihiro, Kutomi Goro, Sagara Yasuaki, Hasegawa Yoshie, Zaha Hisamitsu, Takei Hiroyuki, Zembutsu Hitoshi : Genome-wide association study to identify the novel biomarker for response to tamoxifen. CANCER SCIENCE 2018; 109:902.
- 7) Ryuji Ohashi, Maoka Sangen, Shigeki Namimatsu, Hiroyuki Takei, Zenya Naito : IMP3 contributes to poor prognosis of patients with metaplastic breast carcinoma: A clinicopathological study. ANNALS OF DIAGNOSTIC PATHOLOGY 2017; 31:30-35. doi: 10.1016/j.anndiagpath.2017.05.015.
- 8) Ryuji Ohashi, Keiko Yanagihara, Shigeki Namimatsu, Takashi Sakatani, Hiroyuki Takei, Zenya Naito, Akira Shimizu : Osteoclast-like giant cells in invasive breast cancer predominantly possess M2-macrophage phenotype. Pathology Research and Practice 2018; 214 (2) :253-258. doi: 10.1016/j.prp.2017.11.002.
- 9) R. Ohashi, M. Matsubara, Y. Watarai, K. Yanagihara, K. Yamashita, S. -I. Tsuchiya, H. Takei, Z. Naito : Pleomorphic lobular carcinoma of the breast: a comparison of cytopathological features with other lobular carcinoma variants. CYTOPATHOLOGY 2017; 28 (2) :122-130. doi: 10.1111/cyt.12362.
- 10) Ryuji Ohashi, Maoka Sangen, Shigeki Namimatsu, Keiko Yanagihara, Koji Yamashita, Takashi Sakatani, Hiroyuki Takei, Zenya Naito : Prognostic value of IMP3 expression as a determinant of chemosensitivity in triple-negative breast cancer. PATHOLOGY RESEARCH AND PRACTICE 2017; 213 (9) :1160-1165. doi: 10.1016/j.prp.2017.07.002.
- 11) Hitoshi Zembutsu, Seigo Nakamura, Sadako Akashi-Tanaka, Takashi Kuwayama, Chie Watanabe, Tomoko Takamaru, Hiroyuki Takei, Takashi Ishikawa, Kana Miyahara, Hiroshi Matsumoto, Yoshie Hasegawa, Goro Kutomi, Hiroaki Shima, Fukino Satomi, Minoru Okazaki, Hisamitsu Zaha, Mai Onomura, Ayami Matsukata, Yasuaki Sagara, Shinichi Baba, Akimitsu Yamada, Kazuhiro Shimada, Daisuke Shimizu, Koichiro Tsugawa, Arata Shimo, Ern Yu Tan, Mikael Hartman, Ching-Wan Chan, Soo Chin Lee, Yusuke Nakamura : Significant Effect of Polymorphisms in CYP2D6 on Response to Tamoxifen Therapy for Breast Cancer: A Prospective Multicenter Study. Clinical Cancer Research 2017; 23 (8) :2019-2026. doi: 10.1158/1078-0432.CCR-16-1779.
- 12) Kouki Tsuboi, Takamasa Nagatomo, Tatsuyuki Gohno, Toru Higuchi, Shunta Sasaki, Natsu Fujiki, Masafumi Kurosumi, Hiroyuki Takei, Yuri Yamaguchi, Toshifumi Niwa, Shin-ichi Hayashi : Single CpG site methylation controls estrogen receptor gene transcription and correlates with hormone therapy resistance. Journal of Steroid Biochemistry and Molecular Biology 2017; 171:209-217. doi: 10.1016/j.jsbmb.2017.04.001.
- 13) Takehiko Sakai, Takuji Iwase, Natsuki Teruya, Akemi Kataoka, Dai Kitagawa, Eri Nakashima, Akiko Ogiya, Yumi Miyagi, Kotaro

- Iijima, Hidetomo Morizono, Masujiro Makita, Naoya Gomi, Masahiko Oguchi, Yoshinori Ito, Rie Horii, Futoshi Akiyama, Shinji Ohno : Surgical excision without whole breast irradiation for complete resection of ductal carcinoma in situ identified using strict, unified criteria. AMERICAN JOURNAL OF SURGERY 2017; 214 (1) :111-116. doi: 10.1016/j.amjsurg.2016.10.024.
- 14) 岩田琴美, 村上隆介, 谷瞳, 福嶋善光, 汲田伸一郎, 中井麻木, 栗田智子, 柳原恵子, 武井寛幸, 松原美幸 : T1-T2N0 乳癌における PET/CT 検査の検討. 日本乳癌学会学術総会プログラム・抄録集 2017; 25th:570.
- 15) 岩田 琴美, 村上 隆介, 谷 瞳, 福嶋 善光, 汲田 伸一郎, 中井 麻木, 栗田 智子, 柳原 恵子, 武井 寛幸, 松原 美幸 : T1-T2N0 乳癌における PET/CT 検査の検討. 日本乳癌学会総会プログラム抄録集 2017; 25 回:570.
- 16) 蒔田 益次郎 : 【手術ステップごとに理解する-標準術式アトラス】乳腺 乳房部分切除術. 臨床外科 2017; 72 (11) :326-332. doi: 10.11477/mf.1407211830.
- 17) 大西 宙, 遠藤 格, 中村 清吾, 石川 孝, 久保 充明, 宇田川 智野, 九富 五郎, 相良 安昭, 長谷川 善枝, 座波 久光, 武井 寛幸, 前佛 均 : ゲノムワイド関連解析による新たなタモキシフェン効果予測マーカーの探索. 日本癌学会総会記事 2017; 76 回:J-3132.
- 18) 林直輝, 中村清吾, 角田博子, 岩瀬拓士, 秋山太, 津川浩一郎, 武井寛幸, 大出幸子, 山内英子 : マンモトーム生検導入による原発乳癌の術前化学療法後完全消失判定精度の向上. 日本癌治療学会学術集会 2017; 55th:ROMBUNNO.SR - 4 (WEB ONLY)-4.
- 19) 垂野 香苗, 中村 清吾, 柳原 恵子, 蒔田 益次郎, 榎戸 克年, 中井 麻木, 栗田 智子, 桑山 隆志, 沢田 晃陽, 明石 定子, 吉田 美和, 桑波田 晃弘, 金子 美樹, 佐伯 浩平, 中川 貴之, 関野 正樹, 日下部 守昭, 武井 寛幸 : リゾビスト・磁気プローブ開発機を用いた乳癌センチネルリンパ節生検の多施設臨床研究. 日本乳癌学会総会プログラム抄録集 2017; 25 回:320.
- 20) 桑波田 晃弘, 隣 真一, 金子 美樹, 塩澤 幹雄, 武井 寛幸, 中村 清吾, 中川 貴之, 佐伯 亘平, 齊藤 逸郎, 日下部 守昭, 関野 正樹 : 乳がんセンチネルリンパ節生検に用いる永久磁石型磁気プローブの空間分解能の評価. 生体医工学 2017; 55Annual (5AM-Abstract) :390. doi: 10.11239/jsmbe.55annual.390.
- 21) 谷瞳, 岩田琴美, 桑子智之, 村上隆介, 汲田伸一郎, 中井麻木, 栗田智子, 柳原恵子, 武井寛幸, 松原美幸, 吉田民子, 菊池真理, 内山菜智子 : 乳房デジタルトモシンセシスが診断に有用であった乳癌の検討. 日本乳癌学会学術総会プログラム・抄録集 2017; 25th:414.
- 22) 柳原 恵子, 鈴木 えりか, 中井 麻木, 栗田 智子, 浅川 英輝, 二宮 淳, 山下 浩二, 武井 寛幸 : 乳房内再発時の再 SNB に SPECT-CT が有用であった 1 例. 乳癌基礎研究 2017; 25:71-75.
- 23) 范姜明志, 佐藤あい, 中井麻木, 栗田智子, 柳原恵子, 武井寛幸 : 乳癌における血管新生阻害治療の重要性 2017; 26:25-29.
- 24) 蒔田 益次郎, 鈴木 えりか, 赤須 東樹, 軸菌 智雄 : 乳癌の広がり診断における造影超音波の有用性について. 日本外科学会定期学術集会抄録集 2017; 117 回:SF-75.
- 25) 武井寛幸 : 乳癌の治療 乳癌の薬物療法と支持療法 内分泌療法 閉経後早期乳癌. 日本臨床 2017; 75
- 26) 飯田 信也, 柳原 恵子, 栗田 智子, 中井 麻木, 鈴木 えりか, 関口 久美子, 羽鳥 努, 宮下 正夫, 武井 寛幸 : 乳癌腋窩リンパ節転移(N 因子)の術前診断(画像診断ならびに細胞診)の精度の検討. 日本乳癌学会総会プログラム抄録集 2017; 25 回:497.
- 27) 吉永 美保, 永野 楠津紀, 蒔田 益次郎, 鈴木 えりか : 外来における乳がん患者の予約チャートの作成とその評価. 日本乳癌学会総会プログラム抄録集 2017; 25 回:324.
- 28) 蒔田 益次郎, 赤須 東樹 : 安全性の向上と効率化を目指した乳癌手術と術後管理法. 日本臨床外科学会雑誌 2017; 78 (増刊) :519.
- 29) 永野 楠津紀, 吉永 美保, 鈴木 えりか, 蒔田 益次郎 : 当院における乳癌術後のドレーン在宅自己管理のセルフケア指導. 日本乳癌学会総会プログラム抄録集 2017; 25 回:499.
- 30) 関 奈紀, 横山 正, 中井 麻木, 栗田 智子, 柳原 恵子, 蒔田 益次郎, 飯田 信也, 内田 英二, 吉田 寛, 武井 寛幸 : 早期乳癌初診時における PET-CT の有用性について. 日本乳癌学会総会プログラム抄録集 2017; 25 回:570.
- 31) 金丸 里奈, 中井 麻木, 栗田 智子, 柳原 恵子, 山下 浩二, 坂谷 貴司, 土屋 慎一, 武井 寛幸 : 比較的稀な経過をたどった悪性葉状腫瘍の一例. 日本乳癌学会総会プログラム抄録集 2017; 25 回:656.
- 32) 蒔田 益次郎, 鈴木 えりか, 武井 寛幸, 中村 清吾, 日下部 守昭, 関野 正樹 : 注射後数分で検出、マッサージのいらないセンチネルリンパ節生検 磁気プローブシステムでの磁石誘導法. 日本乳癌学会総会プログラム抄録集 2017; 25 回:686.
- 33) 関口 久美子, 飯田 信也, 栗田 智子, 中井 麻木, 鈴木 えりか, 宮下 正夫, 武井 寛幸 : 皮膚筋炎治療中に発症した乳腺腺様嚢胞癌の 1 例. 日本臨床外科学会雑誌 2017; 78 (増刊) :732.
- 34) 大橋 隆治, 葉山 綾子, 松原 美幸, 渡會 泰彦, 石井 英昭, 坂谷 貴司, 武井 寛幸, 内藤 善哉, 清水 章 : 破骨型巨細胞を伴う乳癌



- の細胞病理組織像の検討. 日本臨床細胞学会雑誌 2017; 56 (Suppl.2) :856.
- 35) 門倉 玄武, 勝俣 範之, 高橋 順子, 永野 楠津紀, 吉永 美保, 蒔田 益次郎 : 経過中に急速な右上肢単麻痺を呈し, FDG-PET で右腕神経叢転移が判明した再発乳がんの一例. 日本乳癌学会総会プログラム抄録集 2017; 25 回:630.
- 36) 金丸 里奈, 范姜 明志, 中井 麻木, 栗田 智子, 柳原 恵子, 原 絵津子, 坂谷 貴司, 土屋 眞一, 武井 寛幸 : 線維腺腫内に発生した浸潤性乳管癌の 1 例. 日本臨床外科学会雑誌 2017; 78 (増刊) :731.
- 37) 武井寛幸 : 脳腫瘍 転移性脳腫瘍 II.乳癌の脳転移. 癌と化学療法 2017; 44 (6)
- 38) 范姜明志, 金丸里奈, 中井麻木, 栗田智子, 武井寛幸, 坂谷貴司, 石井英昭 : 臨床的に乳癌が疑われた巨大葉状腫瘍の 1 症例. 日本臨床外科学会雑誌 2017; 78 (増刊) :730.
- 39) 葉山 綾子, 土屋 紳一, 松澤 こず恵, 松原 美雪, 渡會 泰彦, 大橋 隆治, 坂谷 貴司, 石井 英昭, 内藤 善哉, 武井 寛幸, 清水 章 : 良悪の鑑別が問題になった乳管内乳頭腫の 1 例. 日本臨床細胞学会雑誌 2017; 56 (Suppl.2) :736.
- 40) 鈴木 えりか, 武井 寛幸, 山下 浩二, 柳原 恵子, 栗田 智子, 中井 麻木, 坂谷 貴司, 長嶋 隆 : 若年で認めた乳腺過誤腫の 1 例. 日本臨床外科学会雑誌 2017; 78 (増刊) :631.
- 41) 谷 佳緒梨, 森 美樹, 許田 典男, 森谷 卓也, 鈴木 えりか, 北山 康彦, 蒔田 益次郎 : 葉状腫瘍を疑った Nodular fasciitis の一例. 日本乳癌学会総会プログラム抄録集 2017; 25 回:671.
- 42) 栗田 智子, 中井 麻木, 鈴木 えりか, 柳原 恵子, 山下 浩二, 村上 隆介, 坂谷 貴司, 土屋 眞一, 武井 寛幸 : 術前ホルモン療法による抗腫瘍効果と TILs との関係. 日本乳癌学会総会プログラム抄録集 2017; 25 回:558.
- 43) 中井 麻木, 栗田 智子, 柳原 恵子, 山下 浩二, 坂谷 貴司, 武井 寛幸 : 術前化学療法における weekly nab-paclitaxel の有効性および安全性に関する臨床研究報告. 日本乳癌学会総会プログラム抄録集 2017; 25 回:591.
- 44) 武井寛幸 : 診断・治療の進歩 乳癌の腋窩マネジメント-郭清省略を中心に. 医学のあゆみ 2017; 261 (5)
- 45) 蒔田 益次郎, 赤須 東樹, 軸菌 智雄, 市川 太郎, 五味 直哉, 菊池 真理, 許田 典男, 北山 康彦 : 造影超音波による乳癌の広がり診断. 日本臨床外科学会雑誌 2018; 79 (3) :459-466.
- 46) 鈴木 えりか, 蒔田 益次郎, 許田 典男, 北山 康彦 : 造影超音波による乳癌の広がり診断と樹脂塗料による広がりシミュレーション模型を使った乳腺部分切除. 日本乳癌学会総会プログラム抄録集 2017; 25 回:426.

## 学会発表

- 1) 栗田智子 : FEC100 における RDI のジールスタ使用前後比較. Expert Breast Conferense, 2017. 5.
- 2) 兼行慎太郎, 中尾淳一, 久保村憲, 梅澤裕己, 小川令, 武井寛幸 : SBI を用いた乳房再建術におけるデコルテの陥凹を改善するための新しい手術法-大胸筋弁充填術-. 日本医科大学医学会雑誌, 2017.
- 3) 岩田琴美, 村上隆介, 谷腫, 福嶋善光, 汲田伸一郎, 中井麻木, 栗田智子, 柳原恵子, 武井寛幸, 松原美幸 : T1-T2N0 乳癌における PET/CT 検査の検討. 日本乳癌学会学術総会プログラム・抄録集, 2017.
- 4) 山下浩二, 菊池潔, 武井寛幸 : より安全で整容性の高い治療を目指した乳腺内視鏡手術の工夫. 日本臨床外科学会雑誌, 2017.
- 5) 中島一毅, 中島一毅, 中島一毅, 朝戸裕貴, 三鍋俊春, 福間英祐, 澤泉雅之, 岩平佳子, 上尾裕昭, 関堂充, 浅野裕子, 武井寛幸, 津川浩一郎, 林光弘, 森弘樹 : エキスパンダー/インプラントを用いた乳房再建手術の現状と有害事象. 日本乳癌学会学術総会プログラム・抄録集, 2017.
- 6) 武井寛幸, 土屋眞一 : チームプレストとしての針生検の有用性-深切り標本による病理側からの提言-. 日本臨床細胞学会雑誌(Web), 2017.
- 7) 林直輝, 中村清吾, 角田博子, 岩瀬拓士, 秋山太, 津川浩一郎, 武井寛幸, 大出幸子, 山内英子 : マンモトーム生検導入による原発乳癌の術前化学療法後完全消失判定精度の向上. 日本癌治療学会学術集会(Web), 2017.
- 8) 垂野香苗, 中村清吾, 柳原恵子, 蒔田益次郎, 榎戸克年, 中井麻木, 栗田智子, 桑山隆志, 沢田晃陽, 明石定子, 吉田美和, 桑波田晃弘, 金子美樹, 佐伯浩平, 中川貴之, 関野正樹, 日下部守昭, 武井寛幸 : リゾビスト・磁気プローブ開発機を用いた乳癌センチネルリンパ節生検の多施設臨床研究. 日本乳癌学会学術総会プログラム・抄録集, 2017.
- 9) 桑波田晃弘, 隣真一, 金子美樹, 塩澤幹雄, 武井寛幸, 中村清吾, 中川貴之, 佐伯亘平, 齊藤逸郎, 日下部守昭, 関野正樹 : 乳がんセンチネルリンパ節生検に用いる永久磁石型磁気プローブの空間分解能の評価. 日本生体医工学会大会プログラム・抄録集(Web), 2017.
- 10) 桑波田晃弘, ERGIN Asli, 金子美樹, 隣真一, 田邊記生, 塩澤幹雄, 武井寛幸, 中村清吾, 中川貴之, 佐伯亘平, 齊藤逸郎, 日下部

- 守昭, 日下部守昭, 関野正樹: 乳がんセンチネルリンパ節生検に用いる永久磁石型磁気プローブの空間感度分布特性. 電気学会基礎・材料・共通部門大会講演論文集(CD-ROM), 2017.
- 11) 谷瞳, 岩田琴美, 桑子智之, 村上隆介, 汲田伸一郎, 中井麻木, 栗田智子, 柳原恵子, 武井寛幸, 松原美幸, 吉田民子, 菊池真理, 内山菜智子: 乳房デジタルトモシンセシスが診断に有用であった乳癌の検討. 日本乳癌学会学術総会プログラム・抄録集, 2017.
  - 12) 中嶋亘, 浅野由ミ, 武井寛幸, 田中信之: 乳癌細胞株の微小管阻害薬パクリタキセルに対する分子機構の解析. 日本生化学会大会(Web), 2017.
  - 13) 飯田信也, 柳原恵子, 栗田智子, 中井麻木, 鈴木えりか, 関口久美子, 羽鳥努, 宮下正夫, 武井寛幸: 乳癌腋窩リンパ節転移(N因子)の術前診断(画像診断ならびに細胞診)の精度の検討. 日本乳癌学会学術総会プログラム・抄録集, 2017.
  - 14) 山下浩二, 武井寛幸: 乳腺内視鏡手術における乳腺切離断端の術中蛍光超音波検索. 日本内視鏡外科学会雑誌, 2017.
  - 15) 山下浩二, 武井寛幸: 乳腺内視鏡手術による oncoplastic surgery. 日本外科系連合学会誌, 2017.
  - 16) 山下浩二, 武井寛幸: 乳腺内視鏡手術による乳癌局所療法の有効性: 仮想内視鏡モード 3D-CT と MRI ナビゲーション. 日本乳癌学会学術総会プログラム・抄録集, 2017.
  - 17) 大橋隆治, 森田真央香, 並松茂樹, 坂谷貴司, 武井寛幸, 内藤善哉: 乳腺化生癌における IMP3 発現の意義. 日本病理学会会誌, 2017.
  - 18) 栗田智子: 当院における、アフニトールの治療経験. 第5回橋桜乳腺研究会, 2017. 6.
  - 19) 関奈紀, 横山正, 中井麻木, 栗田智子, 柳原恵子, 蒔田益次郎, 飯田信也, 内田英二, 吉田寛, 武井寛幸: 早期乳癌初診時における PET-CT の有用性について. 日本乳癌学会学術総会プログラム・抄録集, 2017.
  - 20) 金丸里奈, 中井麻木, 栗田智子, 柳原恵子, 山下浩二, 坂谷貴司, 土屋慎一, 武井寛幸: 比較的稀な経過をたどった悪性葉状腫瘍の一例. 日本乳癌学会学術総会プログラム・抄録集, 2017.
  - 21) 蒔田益次郎, 鈴木えりか, 武井寛幸, 中村清吾, 日下部守昭, 関野正樹: 注射後数分で検出, マッサージのいらぬセンチネルリンパ節生検~磁気プローブシステムでの磁石誘導法. 日本乳癌学会学術総会プログラム・抄録集, 2017.
  - 22) 関口久美子, 飯田信也, 栗田智子, 中井麻木, 鈴木えりか, 宮下正夫, 武井寛幸: 皮膚筋炎治療中に発症した乳腺腺様嚢胞癌の1例. 日本臨床外科学会雑誌, 2017.
  - 23) 大橋隆治, 葉山綾子, 松原美幸, 渡會泰彦, 石井英昭, 坂谷貴司, 武井寛幸, 内藤善哉, 清水章: 破骨型巨細胞を伴う乳癌の細胞病理組織像の検討. 日本臨床細胞学会雑誌(Web), 2017.
  - 24) 金丸里奈, 范姜明志, 中井麻木, 栗田智子, 柳原恵子, 原絵津子, 坂谷貴司, 土屋慎一, 武井寛幸: 線維腺腫内に発生した浸潤性乳管癌の1例. 日本臨床外科学会雑誌, 2017.
  - 25) 武井寛幸: 脳腫瘍 転移性脳腫瘍 II. 乳癌の脳転移. 癌と化学療法, 2017.
  - 26) 范姜明志, 金丸里奈, 中井麻木, 栗田智子, 武井寛幸, 坂谷貴司, 石井英昭: 臨床的に乳癌が疑われた巨大葉状腫瘍の1症例. 日本臨床外科学会雑誌, 2017.
  - 27) 葉山綾子, 土屋紳一, 松澤こず恵, 松原美雪, 渡會泰彦, 大橋隆治, 坂谷貴司, 石井英昭, 内藤善哉, 武井寛幸, 清水章: 良悪の鑑別が問題になった乳管内乳頭腫の1例. 日本臨床細胞学会雑誌(Web), 2017.
  - 28) 鈴木えりか, 武井寛幸, 山下浩二, 柳原恵子, 栗田智子, 中井麻木, 坂谷貴司, 長嶋隆: 若年で認めた乳腺過誤腫の1例. 日本臨床外科学会雑誌, 2017.
  - 29) 栗田智子: 術前ホルモン療法による抗腫瘍効果と TILs との関係. 第25回日本乳癌学会学術集会, 2017. 7.
  - 30) 中井麻木, 栗田智子, 柳原恵子, 山下浩二, 坂谷貴司, 武井寛幸: 術前化学療法における weekly nab-paclitaxel の有効性および安全性に関する臨床研究報告. 日本乳癌学会学術総会プログラム・抄録集, 2017.

## 16 内分泌外科学分野

### 研究業績

#### 論文等

- 1) 清水 一雄, 五十嵐 健人, 岡村 律子, 長岡 竜太, 赤須 東樹, 杉谷 巖 : 919 例の経験と 3446 例の JSES アンケート調査結果に基づく甲状腺内視鏡手術の現況と将来展望. 日本内視鏡外科学会雑誌 2017; 22 (7) :SF057-06.
- 2) Ryuji Ohashi, Kiyoko Kawahara, Shigeki Namimatsu, Takehito Igarashi, Takashi Sakatani, Iwao Sugitani, Zenya Naito : Clinicopathological significance of a solid component in papillary thyroid carcinoma. HISTOPATHOLOGY 2017; 70 (5) :775-781. doi: 10.1111/his.13132.
- 3) 杉谷 巖 : DEBATE 甲状腺乳頭癌に対する外側区域郭清は推奨できるか? 両論文に対するコメント. Thyroid Cancer Explore 2018; 3 (2) :132-133.
- 4) Ryuji Ohashi, Kiyoko Kawahara, Shigeki Namimatsu, Ritsuko Okamura, Takehito Igarashi, Iwao Sugitani, Zenya Naito : Expression of MRP1 and ABCG2 is associated with adverse clinical outcomes of papillary thyroid carcinoma with a solid component. HUMAN PATHOLOGY 2017; 67:11-17. doi: 10.1016/j.humpath.2017.03.012.
- 5) Ryuji Ohashi, Yukihiko Murase, Miyuki Matsubara, Yasuhiko Watarai, Takehito Igarashi, Iwao Sugitani, Zenya Naito : Fine needle aspiration cytology of the papillary thyroid carcinoma with a solid component: A cytological and clinical correlation. DIAGNOSTIC CYTOPATHOLOGY 2017; 45 (5) :391-398. doi: 10.1002/dc.23679.
- 6) Marcia S. Brose, Fabian Pitoia, Johannes W. A. Smit, Chia-Chi Lin, Marc Mardoche Fellous, Yoriko De Sanctis, Iwao Sugitani, Martin Schlumberger : Interim baseline characteristics from RIFTOS MKI, a global non-interventional study assessing the use of multikinase inhibitors (MKIs) in the treatment of patients with asymptomatic radioactive iodine-refractory differentiated thyroid cancer (RAI-R DTC). JOURNAL OF CLINICAL ONCOLOGY 2017; 35 doi: 10.1200/JCO.2017.35.15\_suppl.6084.
- 7) 軸菌 智雄, 石橋 宰, 石川 朋子, 廣川 満良, 杉谷 巖 : LBC 固定液の違いによる甲状腺癌培養細胞からの RNA 抽出条件の比較検討. 日本内分泌・甲状腺外科学会雑誌 2017; 34 (Suppl.1) :S130.
- 8) 長岡 竜太, 杉谷 巖, 眞田 麻梨恵, 軸菌 智雄, 岡村 律子, 五十嵐 健人, 赤須 東樹, 清水 一雄 : Learning curve for endoscopic thyroidectomy using the VANS method. World J Endocr Surg 2018; 10 (1) :66-67.
- 9) 井上由佳理, 井上由佳理, 杉谷巖, 五十嵐健人, 岡村律子, 長岡竜太, 眞田麻梨恵, 清水一雄, 赤須東樹, 軸菌智雄, 梶本雄介, 寺崎泰弘, 清水章, 渡邊淳 : MEN2A の甲状腺髄様癌に乳頭癌が合併した一例. 日本内分泌学会関東甲信越支部学術集会プログラム抄録集 2017; 18th (Suppl.2) :109-S269.
- 10) 井上 由佳理, 杉谷 巖, 五十嵐 健人, 岡村 律子, 長岡 竜太, 眞田 麻梨恵, 清水 一雄, 赤須 東樹, 軸菌 智雄, 渡邊 淳 : MEN2A の甲状腺髄様癌に乳頭癌が合併した一例. 日本内分泌・甲状腺外科学会雑誌 2017; 34 (Suppl.2) :S269.
- 11) 井上 由佳理, 杉谷 巖, 五十嵐 健人, 岡村 律子, 長岡 竜太, 眞田 麻梨恵, 清水 一雄, 赤須 東樹, 軸菌 智雄, 梶本 雄介, 寺崎 泰弘, 清水 章, 渡邊 淳 : MEN2A の甲状腺髄様癌に乳頭癌が合併した一例. 日本内分泌学会雑誌 2017; 93 (3) :784.
- 12) Yasuhiro Ito, Naoyoshi Onoda, Ken-ichi Ito, Iwao Sugitani, Shunji Takahashi, Iku Yamaguchi, Koki Kabu, Katsuya Tsukada : Sorafenib in Japanese Patients with Locally Advanced or Metastatic Medullary Thyroid Carcinoma and Anaplastic Thyroid Carcinoma. THYROID 2017; 27 (9) :1142-1148. doi: 10.1089/thy.2016.0621.
- 13) 杉谷 巖 : State of the Art 臨床 甲状腺癌の臨床研究 藤本吉秀先生の教えに導かれて. Thyroid Cancer Explore 2017; 3 (1) :32-37.
- 14) Wataru Shimbashi, Iwao Sugitani, Kazuyoshi Kawabata, Hiroki Mitani, Kazuhisa Toda, Keiko Yamada, Yukiko Sato : Thick tumor capsule is a valuable risk factor for distant metastasis in follicular thyroid carcinoma. Auris Nasus Larynx 2018; 45 (1) :170-174. doi: 10.1016/j.anl.2017.05.002.
- 15) Marcia S. Brose, Johannes Smit, Chia-Chi Lin, Fabian Pitoia, Marc Fellous, Yoriko DeSanctis, Martin Schlumberger, Masayuki Tori, Iwao Sugitani : Timing of multikinase inhibitor initiation in differentiated thyroid cancer. ENDOCRINE-RELATED CANCER 2017; 24 (5) :237-242. doi: 10.1530/ERC-17-0016.

- 16) 眞田 麻梨恵, 長岡 竜太, 軸菌 智雄, 岡村 律子, 五十嵐 健人, 呉 壮香, 和田 龍一, 内藤 善哉, 杉谷 巖, 清水 一雄 : VANS 法で治療した小児の低分化成分を伴う乳頭癌の一例. 日本内分泌・甲状腺外科学会雑誌 2017; 34 (Suppl.2) :S273. doi: 10.11226/jaesjsts.34.Supplement2\_S273.
- 17) 岡村 律子, 清水 一雄, 五十嵐 健人, 赤須 東樹, 軸菌 智雄, 長岡 竜太, 杉谷 巖 : VANS 法の工夫. 日本内分泌・甲状腺外科学会雑誌 2017; 34 (Suppl.1) :S82.
- 18) 岡村 律子, 清水 一雄, 五十嵐 健人, 長岡 竜太, 杉谷 巖 : VANS 法の工夫と教育. 日本内視鏡外科学会雑誌 2017; 22 (7) :SF057-04.
- 19) 長岡 竜太, 岡村 律子, 五十嵐 健人, 赤須 東樹, 杉谷 巖, 清水 一雄 : VANS 法手術開始後 15 例でのラーニングカーブの検討. 日本内視鏡外科学会雑誌 2017; 22 (7) :SF057-01.
- 20) 長岡 竜太, 眞田 麻梨恵, 軸菌 智雄, 岡村 律子, 五十嵐 健人, 赤須 東樹, 杉谷 巖, 清水 一雄 : VANS 法手術開始後のラーニングカーブの検討. 日本内分泌・甲状腺外科学会雑誌 2017; 34 (Suppl.2) :S260.
- 21) 杉谷 巖 : 【がん医療トピックス】 甲状腺癌 甲状腺乳頭癌の治療方針 『改訂版甲状腺腫瘍診療ガイドライン』における risk-adapted management. クリニシアン 2018; 65 (2-3) :255-261.
- 22) 吉村 弘, 杉谷 巖, 山田 正信 : 【甲状腺臨床の最前線】 甲状腺学の基礎と臨床 現状と今後の展開. 最新医学 2017; 72(10) :1361-1372.
- 23) 岡村 律子, 杉谷 巖 : 【頭頸部癌に対する薬物療法-最新情報】 甲状腺癌に対する分子標的薬治療. 耳鼻咽喉科・頭頸部外科 2018; 90 (3) :238-242.
- 24) 蒔田 益次郎, 鈴木 えりか, 赤須 東樹, 軸菌 智雄 : 乳癌の広がり診断における造影超音波の有用性について. 日本外科学会定期学術集会抄録集 2017; 117 回:SF-75.
- 25) 杉谷 巖 : 分子標的薬導入により変わる甲状腺癌治療の現状と課題. 日本臨床外科学会雑誌 2018; 79 (1) :1-11.
- 26) 軸菌 智雄, 石橋 幸, 堀川 彩, 杉下 佳之, 石川 朋子, 廣川 満良, 乾隆, 杉谷 巖, 山田 哲 : 分子生物学は甲状腺腫瘍の外科を変えうるか 甲状腺癌における RNA 抽出とその解析について. 日本内分泌・甲状腺外科学会雑誌 2017; 34 (Suppl.2) :S225.
- 27) 岡村 律子, 眞田 麻梨恵, 長岡 竜太, 杉谷 巖 : 女性甲状腺外科医の会 日本医科大学付属病院の職場環境. 日本内分泌・甲状腺外科学会雑誌 2017; 34 (Suppl.2) :S235.
- 28) 蒔田 益次郎, 赤須 東樹 : 安全性の向上と効率化を目指した乳癌手術と術後管理法. 日本臨床外科学会雑誌 2017; 78 (増刊) :519.
- 29) 伊藤 研一, 伊藤 康弘, 小野田 尚佳, 杉谷 巖, 高橋 俊二, 山口 郁, 加峰 弘毅, 塚田 克也 : 局所進行あるいは転移性の甲状腺髄様癌、または甲状腺未分化癌の日本人患者を対象とした第 II 相臨床試験. 日本内分泌・甲状腺外科学会雑誌 2017; 34 (Suppl.1) :S105.
- 30) 長岡 竜太, 杉谷 巖 : 幼少期より特徴的所見を認めていた MEN2B の 1 例. 日本医科大学医学会雑誌 2017; 13 (3) :118-119. doi: 10.1272/manms.13.118.
- 31) 長岡 竜太, 杉谷 巖 : 微小乳頭癌のリスクに応じた取扱い: 非手術経過観察の適応. 医学のあゆみ 2017; 260 (9) :791-796.
- 32) 岡村 律子, 杉谷 巖 : 甲状腺がんの分子標的薬の最前線. 最新医学 2017; 72 (10) :1446-1451.
- 33) 岡本 高宏, 杉谷 巖, 小川 和久, 和田 修幸, 伊藤 康弘, 小野田 尚佳, 甲状腺腫瘍診療ガイドライン作成委員会 : 甲状腺乳頭癌に対して予防的リンパ節郭清は勧められるか? 新ガイドライン. 日本内分泌・甲状腺外科学会雑誌 2017; 34 (Suppl.1) :S88.
- 34) 清水 一雄, 福森 龍也, 吉川 啓一, 軸菌 智雄, 山田 哲, 五十嵐 健人, 岡村 律子, 長岡 竜太, 赤須 東樹, 杉谷 巖 : 甲状腺内視鏡手術 19 年の歩み 900 例を超えた経験に基づく現状と将来展望. 日本内分泌・甲状腺外科学会雑誌 2017; 34 (Suppl.2) :S261.
- 35) 清水 一雄, 福森 龍也, 吉川 啓一, 軸菌 智雄, 後藤 真弓, 小野瀬 裕之, 石井 新哉, 山田 恵美子, 山田 哲, 五十嵐 健人, 岡村 律子, 長岡 竜太, 眞田 真里恵, 杉谷 巖 : 甲状腺内視鏡手術の現状と将来展望 919 例の経験と 3446 例の日本内視鏡外科学会アンケート調査結果を基に. 日本内分泌学会雑誌 2017; 93 (4) :1130.
- 36) 並里 大, 岩崎 雅江, 長岡 竜太, 源田 雄紀, 杉谷 巖, 岸川 洋昭, 坂本 篤裕 : 甲状腺悪性腫瘍手術における術中神経モニタリングの精度向上を目指した麻酔管理の確立に向けて. 日本臨床麻酔学会誌 2017; 37 (6) :S262.
- 37) 長岡 竜太, 眞田 麻梨恵, 軸菌 智雄, 岡村 律子, 五十嵐 健人, 赤須 東樹, 杉谷 巖, 清水 一雄 : 甲状腺未分化癌が疑われた再発喉頭癌の一例. 日本内分泌・甲状腺外科学会雑誌 2017; 34 (Suppl.1) :S129.
- 38) 杉谷 巖, 蛭名 彩, 大迫 智, 山本 智理子 : 甲状腺未分化癌と診断・治療した結果長期生存したが、後に未分化癌ではなかったと判明した 2 例. 日本内分泌学会雑誌 2017; 93 (1) :223.
- 39) 小野田 尚佳, 廣川 満良, 覚道 健一, 坂本 穆彦, 杉野 公則, 中島 範昭, 菅沼 伸康, 鈴木 眞一, 伊藤 研一, 杉谷 巖 : 甲状腺未

- 分化癌に対する Weekly Paclitaxl による化学療法の効果予測因子の検討. 日本内分泌・甲状腺外科学会雑誌 2017; 34 (Suppl.2) :S266.
- 40) 杉谷 巖 : 甲状腺未分化癌に対する weekly paclitaxel 療法についての多施設共同医師主導前向き臨床試験. 日本医事新報 2017; 4886:58.
- 41) 杉谷 巖, 小野田 尚佳, 伊藤 研一, 鈴木 眞一 : 甲状腺未分化癌研究コンソーシアム(ATCCJ)の現状と今後. 日本内分泌・甲状腺外科学会雑誌 2017; 34 (Suppl.1) :S93.
- 42) 杉谷 巖 : 甲状腺癌のオーバービューと問題点 : 藤本イズムの継承と世界の潮流. 医学のあゆみ 2017; 260 (9) :761-766.
- 43) 岡村 律子, 眞田麻梨恵, 長岡 竜太, 杉谷 巖 : 甲状腺癌手術における術中神経モニタリング. 日本臨床外科学会雑誌 2017; 78 (増刊) :402.
- 44) 五十嵐 健人, 岡村 律子, 清水 一雄, 赤須 東樹, 長岡 竜太, 眞田 麻梨絵, 杉谷 巖 : 甲状腺視鏡下手術・保険収載の道のりと今後の展望. 小切開・鏡視外科学会雑誌 2017; 8 (1) :49.
- 45) 鈴木 茂一, 軸 智雄, 小坂井 守, 松原 美幸, 村瀬 幸宏, 渡会 泰彦, 酒主 敦子, 中溝 宗永, 大橋 隆治, 杉谷 巖, 清水 一雄, 山田 哲 : 穿刺吸引細胞診が診断に有用であった気管原発腺様嚢胞癌甲状腺浸潤の一例. 日本臨床細胞学会雑誌 2017; 56 (Suppl.2) :795.
- 46) 岡崎 幹子, 小林俊介, 大庭健史, 山口祐司, 長峯 朋子, 五十嵐 健人, 稲垣 恭子, 原田 太郎, 福田 いずみ, 杉谷 巖, 杉原 仁 : 肝膿瘍を合併した右褐色細胞腫の 1 例. 日本内分泌学会関東甲信越支部学術集会プログラム抄録集 2017; 18th:125.
- 47) 岡崎 幹子, 小林 俊介, 大庭 健史, 山口 祐司, 長峯 朋子, 五十嵐 健人, 稲垣 恭子, 原田 太郎, 福田 いずみ, 杉谷 巖, 杉原 仁 : 肝膿瘍を合併した右褐色細胞腫の 1 例. 日本内分泌学会雑誌 2017; 93 (3) :800.
- 48) 蒔田 益次郎, 赤須 東樹, 軸 智雄, 市川 太郎, 五味 直哉, 菊池 真理, 許田 典男, 北山 康彦 : 造影超音波による乳癌の広がり診断. 日本臨床外科学会雑誌 2018; 79 (3) :459-466.

## 著書

- 1) 杉谷 巖 : [共著] Management of Papillary Thyroid Carcinoma in Japan. Thyroid Cancer and Nuclear Accidents: Long-Term Aftereffects of Chernobyl and Fukushima. 2017, Academic Press.
- 2) 杉谷 巖 : [分担執筆] Anaplastic thyroid carcinoma. WHO Classification of Tumours of Endocrine Organs, 4th edition. 2017, IARC.

## 学会発表

- 1) 清水一雄, 五十嵐健人, 岡村律子, 長岡竜太, 赤須東樹, 杉谷巖 : 919 例の経験と 3446 例の JSES アンケート調査結果に基づく甲状腺内視鏡手術の現状と将来展望. 日本内視鏡外科学会総会 (第 30 回) . (京都) , 2017. 12.
- 2) Marie Sanada, Nagaoka Ryuta, Iwao Sugitani : Anaplastic Transformation at the Huge Axillary Lymph Node Metastasis : A Case Report. 29th Annual Meeting;of;Asia-Pacific Endocrine, 2018. 3.
- 3) 杉谷 巖, 蛭名彩, 大迫智, 山本智理子 : CPC/症例検討 1 未分化癌, 低分化癌を疑う甲状腺癌の診断 甲状腺未分化癌と診断・治療した結果長期生存したが, 後に未分化癌ではなかったと判明した 2 例. 日本内分泌学会学術総会 (第 90 回) . (京都) , 2017. 4.
- 4) 杉谷 巖 : IONM の導入意義 大学病院の立場から. 日本内分泌・甲状腺外科学会雑誌, 2017. 10.
- 5) 杉谷 巖 : IONM の導入意義—大学病院の立場から. 甲状腺副甲状腺術中神経モニタリング研究会 (第 4 回) . (福島) , 2017. 10.
- 6) 軸 智雄, 石橋 宰, 石川 朋子, 廣川 満良, 杉谷 巖 : LBC 固定液の違いによる甲状腺癌培養細胞からの RNA 抽出条件の比較検討. 日本内分泌・甲状腺外科学会雑誌, 2017. 4.
- 7) 井上由佳理, 杉谷 巖, 五十嵐健人, 岡村律子, 長岡竜太, 眞田麻梨恵, 清水一雄, 赤須東樹, 軸 智雄, 梶本雄介, 寺崎泰弘, 清水章, 渡邊 淳 : MEN2A の甲状腺髄様癌に乳頭癌が合併した 1 例. 日本内分泌学会関東甲信越支部学術集会 (第 18 回) . (群馬県高崎市) , 2017. 9.
- 8) 井上 由佳理, 杉谷 巖, 五十嵐 健人, 岡村 律子, 長岡 竜太, 眞田 麻梨恵, 清水 一雄, 赤須 東樹, 軸 智雄, 渡邊 淳 : MEN2A の甲状腺髄様癌に乳頭癌が合併した一例. 日本内分泌・甲状腺外科学会雑誌, 2017. 10.
- 9) 長岡 竜太, 眞田麻梨恵, 軸 智雄, 岡村律子, 五十嵐健人, 赤須東樹, 杉谷 巖, 清水一雄 : MEN2B 診断の現状～特徴的身体所見の重要性. 日本家族性腫瘍学会学術集会 (第 23 回) . (札幌) , 2017. 8.
- 10) 杉谷 巖 : NIFTP の概念と日本での解釈 外科医から見た甲状腺境界病変 乳頭癌診療への影響. 日本内分泌・甲状腺外科学会雑誌, 2017. 10.
- 11) 杉谷 巖, Brose Marcia S, Pitoia Fabian, Smit Johannes W.A, Fellous Marc, De Sanctis Yoriko, Lin Chia-Chi, Schlumberger Martin : RIFTOS MKI 研究における患者背景データの日本人サブ解析. 日本内分泌・甲状腺外科学会雑誌, 2017. 10.

- 12) 坂井 利彦, 杉谷 巖, 蛭名 彩, 福岡 修, 戸田 和寿, 三谷 浩樹, 山田 恵子 : T1bN0M0 乳頭癌のアクティブ・サーベイランス. 第 3 回世界甲状腺癌会議, 2017. 7.
- 13) 眞田麻梨恵, 長岡竜太, 軸菌智雄, 岡村律子, 五十嵐健人, 呉壮香, 和田龍一, 内藤善哉, 杉谷巖, 清水一雄 : VANS 法で治療した小児の低分化成分を伴う乳頭癌の 1 例. 日本甲状腺外科学会学術集会 (第 50 回) . (福島), 2017. 10.
- 14) 眞田 麻梨恵, 長岡 竜太, 軸菌 智雄, 岡村 律子, 五十嵐 健人, 呉 壮香, 和田 龍一, 内藤 善哉, 杉谷 巖, 清水 一雄 : VANS 法で治療した小児の低分化成分を伴う乳頭癌の一例. 日本内分泌・甲状腺外科学会雑誌, 2017. 10.
- 15) 岡村 律子, 清水 一雄, 五十嵐 健人, 赤須 東樹, 軸菌 智雄, 長岡 竜太, 杉谷 巖 : VANS 法の工夫. 日本内分泌・甲状腺外科学会雑誌, 2017. 4.
- 16) 岡村律子, 清水一雄, 五十嵐健人, 長岡竜太, 杉谷巖 : VANS 法の工夫と教育. 日本内視鏡外科学会総会 (第 30 回) . (京都), 2017. 12.
- 17) 長岡竜太, 眞田麻梨恵, 軸菌智雄, 岡村律子, 五十嵐健人, 赤須東樹, 杉谷巖, 清水一雄 : VANS 法手術開始後 15 例でのラーニングカーブの検討. 日本内視鏡外科学会総会 (第 30 回) . (京都), 2017. 12.
- 18) 長岡 竜太, 眞田 麻梨恵, 軸菌 智雄, 岡村 律子, 五十嵐 健人, 赤須 東樹, 杉谷 巖, 清水 一雄 : VANS 法手術開始後のラーニングカーブの検討. 日本内分泌・甲状腺外科学会雑誌, 2017. 10.
- 19) 嶋本 光兵, 安田 睦子, 吉原 彩, 玉木 香菜, 渡邊 睦房, 南雲 彩子, 眞田 麻梨恵, 岡村 律子, 薬師寺 史厚 : 亜急性に進行する認知機能障害のため神経疾患を疑われた上皮小体機能亢進症の 1 例. 日本内科学会関東地方会, 2018. 2.
- 20) 杉谷 巖 : 低リスク甲状腺癌の非手術経過観察. オーストラリア甲状腺学会, 2018. 3.
- 21) 軸菌 智雄, 石橋 宰, 堀川 彩, 杉下 佳之, 石川 朋子, 廣川 満良, 乾 隆, 杉谷 巖, 山田 哲 : 分子生物学は甲状腺腫瘍の外科を変えうるか 甲状腺癌における RNA 抽出とその解析について. 日本内分泌・甲状腺外科学会雑誌, 2017. 10.
- 22) 杉谷巖 : 外科医から見た甲状腺境界病変 : 乳頭癌診療への影響. 日本甲状腺外科学会学術集会 (第 50 回) . (福島), 2017. 10.
- 23) 岡村 律子, 眞田 麻梨恵, 長岡 竜太, 杉谷 巖 : 女性甲状腺外科医の会 日本医科大学付属病院の職場環境. 日本内分泌・甲状腺外科学会雑誌, 2017. 10.
- 24) 蛭名 彩, 杉谷 巖, 竹内 賢吾, 三谷 浩樹 : 小児甲状腺癌長期経過観察後に未分化転化を生じた ETV6-NTRK3 融合遺伝子陽性の 1 例. 日本内分泌・甲状腺外科学会雑誌, 2017. 10.
- 25) 伊藤 研一, 伊藤 康弘, 小野田 尚佳, 杉谷 巖, 高橋 俊二, 山口 郁, 加峰 弘毅, 塚田 克也 : 局所進行あるいは転移性の甲状腺髄様癌、または甲状腺未分化癌の日本人患者を対象とした第 II 相臨床試験. 日本内分泌・甲状腺外科学会雑誌, 2017. 4.
- 26) 伊藤研一, 伊藤康弘, 小野田尚佳, 杉谷巖, 高橋俊二, 山口郁, 加峰弘毅, 塚田克也 : 局所進行あるいは転移性の甲状腺髄様癌、または甲状腺未分化癌の日本人患者を対象とした第 III 相臨床試験. 日本内分泌外科学会総会 (第 29 回) . (神戸), 2017. 5.
- 27) 岡村律子, 眞田麻梨恵, 長岡竜太, 杉谷巖 : 日本医科大学付属病院の職場環境. 日本甲状腺外科学会学術集会 (第 50 回) . (福島), 2017. 10.
- 28) 眞田麻梨恵, 長岡竜太, 岡村律子, 軸菌智雄, 赤須東樹, 五十嵐健人, 杉谷巖, 清水一雄 : 根治までに 2 回手術を要した異所性原発性副甲状腺機能亢進症の 1 例. 大江戸内分泌手術手技懇話会 (第 12 回) . (東京都), 2017. 5.
- 29) 杉谷 巖, 田原 信, 伊藤 康弘, 岡山 豊, 村上 秀雄, 砂谷 敏行, 坂口 敏晃, 南 博信, 今井 常夫, ネクサバール適正使用委員会 : 根治切除不能な分化型甲状腺癌患者を対象としたソラフェニブの製造販売後調査(全例調査) 中間報告. 日本内分泌・甲状腺外科学会雑誌, 2017. 10.
- 30) 杉谷巖, 田原信, 伊藤康弘, 岡山豊, 村上秀雄, 砂谷敏行, 坂口敏晃, 南博信, 今井常夫 : 根治切除不能な分化型甲状腺癌患者を対象としたソラフェニブの製造販売後調査 (全例調査) : 中間報告. 日本甲状腺外科学会学術集会 (第 50 回) . (福島), 2017. 10.
- 31) 杉谷巖 : 検診により発見される甲状腺微小乳頭癌のリスクに応じた取扱い. 日本内分泌学会学術総会 (第 90 回) . (京都), 2017. 4.
- 32) 杉谷 巖 : 検診により発見される甲状腺癌診療のエビデンス 検診により発見される甲状腺微小乳頭癌のリスクに応じた取扱い. 日本内分泌学会雑誌, 2017. 4.
- 33) 井上 由佳理, 蛭名 彩, 戸田 和寿, 三谷 浩樹, 杉谷 巖 : 気管全層浸潤をきたした甲状腺乳頭癌における気管切除・再建術式選択 袖状切除・端々吻合と円窓切除・気管皮膚瘻造設との比較. 日本内分泌・甲状腺外科学会雑誌, 2017. 10.
- 34) 井上由佳理, 蛭名彩, 戸田和寿, 三谷浩樹, 杉谷巖 : 気管全層浸潤をきたした甲状腺乳頭癌における気管切除・再建術式選択: 袖状切除・端々吻合と円窓切除・気管皮膚瘻造設との比較. 日本甲状腺外科学会学術集会 (第 50 回) . (福島), 2017. 10.

- 35) 久保田万葉, 長峯朋子, 山田祐士, 岡本彬美, 山口祐司, 福田いづみ, 寺崎泰弘, 長岡竜太, 杉谷巖, 杉原仁: 甲状腺テクネシウム (Tc) シンチグラフィでは診断困難であった自律機能性甲状腺結節の1例. 日本内分泌学会, 関東甲信越支部 学術集会, 2017. 9.
- 36) 坂井 利彦, 杉谷 巖, 蛭名 彩, 福岡 修, 戸田 和寿, 三谷 浩樹, 山田 恵子: 甲状腺乳頭癌 T1bN0M0 に対する active surveillance の妥当性とリスク因子についての検討. 日本内分泌・甲状腺外科学会雑誌, 2017. 4.
- 37) 岡本 高宏, 杉谷 巖, 小川 和久, 和田 修幸, 伊藤 康弘, 小野田 尚佳, 甲状腺腫瘍診療ガイドライン作成委員会: 甲状腺乳頭癌に対して予防的リンパ節郭清は勧められるか? 新ガイドライン. 日本内分泌・甲状腺外科学会雑誌, 2017. 4.
- 38) 岡本高宏, 杉谷巖, 小川利久, 和田修幸, 伊藤康弘, 小野田尚佳: 甲状腺乳頭癌に対して予防的リンパ節郭清は勧められるか?: 新ガイドライン. 日本内分泌外科学会総会 (第 29 回). (神戸), 2017. 5.
- 39) 蛭名 彩, 杉谷 巖, 戸田 和寿, 山田 恵子, 三谷 浩樹: 甲状腺乳頭癌に対するリンパ節郭清の至適範囲の検討. 日本内分泌・甲状腺外科学会雑誌, 2017. 4.
- 40) 清水 一雄, 福森 龍也, 吉川 啓一, 軸菌 智雄, 山田 哲, 五十嵐 健人, 岡村 律子, 長岡 竜太, 赤須 東樹, 杉谷 巖: 甲状腺内視鏡手術 19 年の歩み 900 例を超えた経験に基づく現況と将来展望. 日本内分泌・甲状腺外科学会雑誌, 2017. 10.
- 41) 清水一雄, 福森龍也, 吉川啓一, 軸菌智雄, 山田哲, 五十嵐健人, 岡村律子, 長岡竜太, 赤須東樹, 杉谷巖: 甲状腺内視鏡手術 19 年の歩み—900 例を超えた経験に基づく現況と将来展望. 日本甲状腺外科学会学術集会 (第 50 回). (福島), 2017. 10.
- 42) 清水 一雄, 福森 龍也, 吉川 啓一, 軸菌 智雄, 後藤 真弓, 小野瀬 裕之, 石井 新哉, 山田 恵美子, 山田 哲, 五十嵐 健人, 岡村 律子, 長岡 竜太, 眞田 真里恵, 杉谷 巖: 甲状腺内視鏡手術の現況と将来展望 919 例の経験と 3446 例の日本内視鏡外科学会アンケート調査結果を基に. 日本内分泌学会雑誌, 2017. 12.
- 43) 清水一雄, 福森龍也, 吉川啓一, 軸菌智雄, 後藤真弓, 小野瀬裕之, 石井新哉, 山田恵美子, 山田哲, 五十嵐健人, 岡村律子, 長岡竜太, 眞田麻梨恵, 杉谷巖: 甲状腺内視鏡手術の現況と将来展望: 919 例の経験と 3446 例の日本内視鏡外科学会アンケート調査結果を基に. 日本甲状腺学会学術集会 (第 60 回). (大分県別府市), 2017. 10.
- 44) 杉谷巖: 甲状腺分化癌の診断と治療: 最近のトピックス. 日本甲状腺学会学術集会 (第 60 回). (大分県別府市), 2017. 10.
- 45) 並里 大, 岩崎 雅江, 長岡 竜太, 源田 雄紀, 杉谷 巖, 岸川 洋昭, 坂本 篤裕: 甲状腺悪性腫瘍手術における術中神経モニタリングの精度向上を目指した麻酔管理の確立に向けて. 日本臨床麻酔学会誌, 2017. 10.
- 46) 並里大, 岩崎雅江, 長岡竜太, 源田雄紀, 杉谷巖, 岸川洋昭, 坂本篤裕: 甲状腺悪性腫瘍手術患者における術中神経モニタリングの精度向上を目指した麻酔管理, モニタリング方法の確立にむけて. 日本臨床麻酔学会 (第 37 回). (東京), 2017. 11.
- 47) 長岡竜太, 眞田麻梨恵, 軸菌智雄, 岡村律子, 五十嵐健人, 赤須東樹, 杉谷巖, 清水一雄: 甲状腺未分化癌が疑われた再発喉頭癌の 1 例. 日本内分泌外科学会学術集会 (第 29 回). (神戸), 2017. 5.
- 48) 長岡 竜太, 眞田 麻梨恵, 軸菌 智雄, 岡村 律子, 五十嵐 健人, 赤須 東樹, 杉谷 巖, 清水 一雄: 甲状腺未分化癌が疑われた再発喉頭癌の一例. 日本内分泌・甲状腺外科学会雑誌, 2017. 4.
- 49) 杉谷 巖, 蛭名 彩, 大迫 智, 山本 智理子: 甲状腺未分化癌と診断・治療した結果長期生存したが、後に未分化癌ではなかったと判明した 2 例. 日本内分泌学会雑誌, 2017. 4.
- 50) 小野田尚佳, 廣川満良, 覚道健一, 坂本穆彦, 杉野公則, 中島範昭, 菅沼伸康, 鈴木眞一, 伊藤研一, 杉谷巖: 甲状腺未分化癌に対する Weekly Paclitaxel による化学療法の効果予測因子の検討. 日本甲状腺外科学会学術集会 (第 50 回). (福島), 2017. 10.
- 51) 小野田 尚佳, 廣川 満良, 覚道 健一, 坂本 穆彦, 杉野 公則, 中島 範昭, 菅沼 伸康, 鈴木 眞一, 伊藤 研一, 杉谷 巖: 甲状腺未分化癌に対する Weekly Paclitaxel による化学療法の効果予測因子の検討. 日本内分泌・甲状腺外科学会雑誌, 2017. 10.
- 52) 杉谷 巖, 小野田 尚佳, 伊藤 研一, 鈴木 眞一: 甲状腺未分化癌研究コンソーシアム(ATCCJ)の現状と今後. 日本内分泌・甲状腺外科学会雑誌, 2017. 4.
- 53) 軸菌智雄, 石橋宰, 堀川彩, 杉下佳之, 石川朋子, 廣川満良, 乾隆, 杉谷巖, 山田哲: 甲状腺癌における RNA 抽出とその解析について. 日本甲状腺外科学会学術集会 (第 50 回). (福島), 2017. 10.
- 54) 杉谷巖: 甲状腺癌に対する分子標的薬の適応と外科手術の役割. 日本気管食道科学会総会ならびに学術講演会 (第 69 回). (大阪), 2017. 11.
- 55) 岡村律子, 眞田麻梨恵, 長岡竜太, 杉谷巖: 甲状腺癌手術における術中神経モニタリング. 日本臨床外科学会総会 (第 79 回). (東京), 2017. 11.

- 56) 岡村 律子, 眞田 麻梨恵, 長岡 竜太, 杉谷 巖 : 甲状腺癌手術の最前線 甲状腺癌手術における術中神経モニタリング. 日本臨床外科学会雑誌, 2017. 10.
- 57) 杉谷 巖 : 甲状腺腫瘍の診断と治療 甲状腺分化癌の診断と治療 最近のトピックス. 日本内分泌学会雑誌, 2017. 12.
- 58) 五十嵐 健人, 岡村 律子, 清水 一雄, 赤須 東樹, 長岡 竜太, 眞田 麻梨絵, 杉谷 巖 : 甲状腺鏡視下手術・保険記載の道のりと今後の展望. 小切開・鏡視外科学会雑誌, 2017. 5.
- 59) 五十嵐健人, 岡村律子, 清水一雄, 赤須東樹, 長岡竜太, 眞田麻梨恵, 杉谷巖 : 甲状腺鏡視下手術・保険記載の道のりと今後の展望. 日本小切開・鏡視外科学会 (第 30 回) . (東京都) , 2017. 6.
- 60) 鈴木茂一, 軸菌智雄, 小坂井守智雄, 松原美幸, 村瀬幸宏, 渡会泰彦, 酒主敦子, 中溝宗永, 大橋隆治, 杉谷巖, 清水一雄, 山田哲 : 穿刺吸引細胞診が診断に有用であった気管原発腺様嚢胞癌甲状腺浸潤の 1 例. 日本臨床細胞学会秋期大会 (第 56 回) . (福岡) , 2017. 11.
- 61) 鈴木 茂一, 軸菌 智雄, 小坂井 守, 松原 美幸, 村瀬 幸宏, 渡会 泰彦, 酒主 敦子, 中溝 宗永, 大橋 隆治, 杉谷 巖, 清水 一雄, 山田 哲 : 穿刺吸引細胞診が診断に有用であった気管原発腺様嚢胞癌甲状腺浸潤の一例. 日本臨床細胞学会雑誌, 2017. 10.
- 62) 岡崎 幹子, 小林 俊介, 大庭 健史, 山口 祐司, 長峯 朋子, 五十嵐 健人, 稲垣 恭子, 原田 太郎, 福田 いずみ, 杉谷 巖, 杉原 仁 : 肝膿瘍を合併した右褐色細胞腫の 1 例. 日本内分泌学会雑誌, 2017. 12.



## 17 心臓血管外科学分野

### 研究業績

#### 論文等

- 1) 廣本 敦之, 石井 庸介, 山田 直輝, 井関 陽平, 青山 純也, 上田 仁美, 森嶋 素子, 鈴木 憲治, 栗田 二郎, 佐々木 孝, 坂本 俊一郎, 宮城 泰雄, 師田 哲郎, 新田 隆, 桐山 智成, 福嶋 善光, 汲田 伸一郎 : GEAを用いて右冠動脈系へin-situ bypassを行ったCABG症例の検討. 日本心臓血管外科学会学術総会抄録集 2018; 48回:94.
- 2) 太田 恵介, 別所 竜蔵, 藤井 正大, 仁科 大, 村田 智洋 : MVP術後5年でパンス形成により生じたMSに対し再手術となった1例. 日本胸部外科学会関東甲信越地方会要旨集 2017; (175回) :10.
- 3) 藤井 正大, 太田 恵介, 仁科 大, 別所 竜蔵 : 心臓手術周術期のaquaporin-2の反応 (Perioperative Response of Aquaporin-2 in Cardiac Surgery). 日本循環器学会学術集会抄録集 2018; 82回:PJ055-4.
- 4) Yosuke Ishii, Richard B Schuessler, Sydney L Gaynor, Kiyomi Hames, Ralph J Damiano Jr : Postoperative atrial fibrillation: The role of the inflammatory response. The Journal of thoracic and cardiovascular surgery 2017; 153 (6) :1357-1365. doi: 10.1016/j.jtcvs.2016.12.051.
- 5) Ishii Y, Sakamoto SI, Miyagi Y, Kawase Y, Otsuka T, Nitta T : Risk Factors of Recurrence of Atrial Fibrillation (AF) After AF Surgery in Patients With AF and Mitral Valve Disease. Seminars in thoracic and cardiovascular surgery 2018; 30 (3) :271-278. doi: 10.1053/j.semctvs.2018.01.004.
- 6) Yasuhiro Kawase, Yosuke Ishii, Takahide Yoshio, Dai Nishina, Ryuzo Bessho, Takashi Nitta : Three Year Follow-Up of a Vein Patch Repair for a Coronary Artery Saccular Aneurysm of the Left Main Bifurcation. ANNALS OF THORACIC AND CARDIOVASCULAR SURGERY 2017; 23 (2) :104-107. doi: 10.5761/atcs.cr.16-00064.
- 7) 中田 淳, 山本 剛, 高野 仁司, 清水 渉, 田邊 潤, 新田 隆, 上田 達夫, 田島 廣之, 栗田 二郎 : 誰がステントグラフト治療の未来を開きますか?-Aortic teamの重要性- 低侵襲治療を考慮した大動脈疾患の最適治療のための aortic teamにおける心臓専門医の役割(The Role of Cardiologist in Aortic Team for Appropriate Management of Aortic Diseases in Consideration of Minimal Invasive Treatment). 日本循環器学会学術集会抄録集 2018; 82回:SY03-3.
- 8) 石井 庸介, 福嶋 善光, 坂本 俊一郎, 宮城 泰雄, 栗田 二郎, 廣本 敦之, 青山 純也, 井関 陽平, 山田 直輝, 汲田 伸一郎, 新田 隆 : ハイブリッド心臓 SPECT/CT 画像により心筋血流および代謝を評価した冠動脈バイパス術の有効性(Efficacy of Coronary Artery Bypass Grafting Evaluated Myocardial Perfusion and Metabolism by Hybrid Cardiac SPECT/CT Imaging). 日本循環器学会学術集会抄録集 2018; 82回:PJ038-6.
- 9) 佐々木 孝, 川瀬 康裕, 吉野 美緒, 橋本 佳亮, 深澤 隆治 : 乳児開心術時の脳組織酸素飽和度と術後神経発達の関係. 日本小児循環器学会雑誌 2017; 33 (Suppl.1) :s1-262.
- 10) 佐々木 孝, 鈴木 憲治, 山田 直輝, 井関 陽平, 上田 仁美, 青山 純也, 森嶋 素子, 廣本 敦之, 栗田 二郎, 坂本 俊一郎, 宮城 泰雄, 石井 庸介, 師田 哲郎, 新田 隆 : 低侵襲を目指した右腋窩小切開による小児心房中隔欠損閉鎖術. 日本心臓血管外科学会学術総会抄録集 2018; 48回:475.
- 11) 鈴木 憲治, 佐々木 孝, 山田 直輝, 井関 陽平, 青山 純也, 上田 仁美, 森嶋 素子, 廣本 敦之, 栗田 二郎, 坂本 俊一郎, 宮城 泰雄, 石井 庸介, 師田 哲郎, 新田 隆 : 側開胸小児心臓手術後疼痛管理における、持続肋間神経ブロックの有効性に関する検討. 日本心臓血管外科学会学術総会抄録集 2018; 48回:974-975.
- 12) 上田 康二, 進士 誠一, 石井 庸介, 山脇 博士, 山田 岳史, 小泉 岐博, 横山 康行, 堀田 正啓, 高橋 吾郎, 岩井 拓磨, 武田 幸樹, 原 敬介, 太田 恵一朗, 新田 隆, 内田 英二 : 冠動脈三枝病変の狭心症を伴う閉塞性大腸癌に対し大腸ステント留置により安全な根治切除が可能となった1例. 癌と化学療法 2017; 44 (12) :1868-1870.
- 13) 井関 陽平, 栗田 二郎, 師田 哲郎, 石井 庸介, 山田 直輝, 青山 純也, 上田 仁美, 森嶋 素子, 廣本 敦之, 鈴木 憲治, 佐々木 孝, 坂本 俊一郎, 宮城 泰雄, 新田 隆 : 冠動脈病変、ARを合併した広範囲胸部大動脈瘤に対して二次的手術を施行した一例. 日本胸部外科学会関東甲信越地方会要旨集 2017; (175回) :28.
- 14) 藤井 正大, 別所 竜蔵 : 周術期の心拍数コントロールはどのようにするべきか 非心臓手術、心臓手術、敗血症 周術期の心拍数コントロー

- ルについて考える 心臓手術. 日本臨床麻酔学会誌 2017; 37 (6) :S197.
- 15) 石井 庸介, 坂本 俊一郎, 宮城 泰雄, 佐々木 孝, 栗田 二郎, 鈴木 憲治, 廣本 敦之, 青山 純也, 上田 仁美, 井関 陽平, 山田 直輝, 師田 哲郎, 福嶋 善光, 桐山 智成, 汲田 伸一郎, 新田 隆: 回旋枝の sequential graft は動脈グラフトを用いるべきか? 負荷心筋シロニチによる検証. 日本心臓血管外科学会学術総会抄録集 2018; 48 回:140.
  - 16) 山田 直輝, 新田 隆, 青山 純也, 井関 陽平, 上田 仁美, 森嶋 素子, 廣本 敦之, 鈴木 憲治, 栗田 二郎, 佐々木 孝, 坂本 俊一郎, 宮城 泰雄, 石井 庸介, 師田 哲郎: 左心耳閉鎖デバイス AtriClip を用いた VSD 閉鎖・僧帽弁三尖弁形成術・肺動脈隔離の一例. 日本胸部外科学会関東甲信越地方会要旨集 2017; 175th (175 回) :10.
  - 17) 久保田芳明, 岩崎雄樹, 齊藤研, 轟崇弘, 菅原一樹, 藤本雄飛, 萩原かな子, 泉佑樹, 淀川顕司, 浅井邦也, 清水涉, 川瀬康裕, 坂本俊一郎, 石井庸介, 新田隆: 巨大左心耳内に頻脈性心房細動を伴う心不全発症により血栓を生じた滲出性収縮性心膜炎の一例. 日本循環器学会関東甲信越地方会 2017; 243rd
  - 18) 高橋 賢一郎, 丸山 雄二, 吉尾 敬秀, 森嶋 素子, 新田 隆: 広範囲胸部大動脈瘤に対する long elephant trunk を用いた弓部大動脈置換術後に胸部下行大動脈瘤の急速拡大と DIC を来した 1 例. 日本心臓血管外科学会雑誌 2017; 46 (3) :130-133. doi: 10.4326/jjcv.46.130.
  - 19) 伴 望, 石井 庸介, 遠藤 竜一郎, 井関 陽平, 青山 純也, 廣本 敦之, 鈴木 憲治, 栗田 二郎, 佐々木 孝, 坂本 俊一郎, 宮城 泰雄, 師田 哲郎, 新田 隆: 心拍動下冠動脈バイパス術 訓練装置(BEAT)を使用したトレーニングの有用性. 日本胸部外科学会関東甲信越地方会要旨集 2018; (176 回) :6.
  - 20) 藤井 正大, 太田 恵介, 仁科 大, 別所 竜蔵: 心臓手術周術期の aquaporin-2 の反応(Perioperative Response of Aquaporin-2 in Cardiac Surgery). 日本循環器学会学術集抄録集 2018; 82 回:PJ055-4.
  - 21) 川瀬 康裕, 石井 庸介, 山田 直輝, 井関 陽平, 青山 純也, 上田 仁美, 高橋 賢一郎, 森嶋 素子, 廣本 敦之, 鈴木 憲治, 栗田 二郎, 佐々木 孝, 宮城 泰雄, 仁科 大, 坂本 俊一郎, 師田 哲郎, 別所 竜蔵, 新田 隆: 心臓手術後心房細動の予防に関する炎症と心房興奮のばらつきに関する関係についての検討. 日本心臓血管外科学会学術総会抄録集 2018; 48 回:796.
  - 22) 栗田 二郎, 師田 哲郎, 坂本 俊一郎, 廣本 敦之, 芝田 匡史, 新田 隆: 慢性大動脈解離に対する左開胸術中に Stanford A 型解離を発生し、Limited Clamshell 切開追加にて緊急上行大動脈置換を施行した 1 例. 脈管学 2017; 57 (Suppl.) :S214-S215.
  - 23) 山田直輝, 石井庸介, 青山純也, 上田仁美, 森嶋素子, 栗田二郎, 川瀬康裕, 佐々木孝, 坂本俊一郎, 宮城泰雄, 師田哲郎, 新田隆: 拡大結腸右半切除+腹壁切除・形成術前に OPCAB による血行再建を施行し周術期リスクの低減を図った一例. 日本循環器学会関東甲信越地方会 2017; 245th
  - 24) 宮城 泰雄, 山田 直輝, 井関 陽平, 上田 仁美, 森嶋 素子, 廣本 敦之, 鈴木 憲治, 栗田 二郎, 佐々木 孝, 坂本 俊一郎, 石井 庸介, 師田 哲郎, 新田 隆: 末梢動脈人工血管感染に対する人工血管温存を目指した治療戦略. 日本心臓血管外科学会学術総会抄録集 2018; 48 回:33-34.
  - 25) 御園 恒一郎, 片山 靖史, 佐久間 健, 別所 竜蔵: 災害時における中央管理機器の運用について. 日本医療安全学会学術総会抄録集 2018; 4 回:145.
  - 26) 黄 俊憲, 小野寺 健太, 鈴木 啓士, 高橋 健太, 三軒 豪仁, 太良 修平, 坪 宏一, 山本 剛, 石井 庸介, 清水 涉: 硬膜外血腫の手術翌日に心停止となり、浮遊性右心腔内血栓による三尖弁閉塞の関与が疑われた肺塞栓症の 1 例. 心臓 2017; 49 (7) :754.
  - 27) 石井 庸介, 坂本 俊一郎, 宮城 泰雄, 佐々木 孝, 栗田 二郎, 鈴木 憲治, 廣本 敦之, 上田 仁美, 青山 純也, 井関 陽平, 山田 直輝, 師田 哲郎, 新田 隆: 胃大網動脈のスパズムを予防するグラフト採取 ムササビ法. 日本冠疾患学会雑誌 2017; (Suppl.) :116.
  - 28) 山本 賢二, 山田 知行, 羽室 護, 川東 正英, 榎本 栄, 瀬在 明, 藤井 正大, 新田 隆: 胸部外科の指針 開心術後の発作性心房細動に対する経皮吸収型  $\beta$ 1 遮断薬の有用性. 胸部外科 2017; 70 (12) :971-977. doi: 10.15106/j\_kyobu70\_971.
  - 29) 森嶋 素子, 本田 二郎, 高橋 賢一郎: 腹部大動脈瘤人工血管置換術後に発症した中結腸動脈破裂の 1 例. 日本血管外科学会雑誌 2017; 26 (2) :139-142. doi: 10.11401/jsvs.17-00013.
  - 30) 井関 陽平, 佐々木 孝, 鈴木 憲治, 青山 純也, 上田 仁美, 高橋 賢一郎, 廣本 敦之, 栗田 二郎, 坂本 俊一郎, 宮城 泰雄, 石井 庸介, 師田 哲郎, 新田 隆: 術前 IE への抗生剤治療で胆石を合併した 1 例. 日本胸部外科学会関東甲信越地方会要旨集 2018; (176 回):15.
  - 31) 栗田 二郎, 師田 哲郎, 山田 直輝, 井関 陽平, 青山 純也, 上田 仁美, 森嶋 素子, 廣本 敦之, 鈴木 憲治, 佐々木 孝, 宮城 泰雄, 坂本 俊一郎, 石井 庸介, 新田 隆: 超高齢者の Stanford A 型急性大動脈解離に対する外科治療の妥当性. 日本心臓血管外科学会学術総会抄録集 2018; 48 回:131.

- 32) 山田 直輝, 坂本 俊一郎, 青山 純也, 芝田 匡史, 森嶋 素子, 栗田 二郎, 川瀬 康裕, 佐々木 孝, 宮城 泰雄, 石井 庸介, 師田 哲郎, 新田 隆 : 重度の心不全を呈した心房細動合併の収縮性心膜炎に対して外科的根治術を施行した一例. 日本胸部外科学会関東甲信越地方会要旨集 2017; (174 回) :25.

## 学会発表

- 1) 佐々木 孝, 川瀬 康裕, 吉野 美緒, 橋本 佳亮, 深澤 隆治 : 乳児開心術時の脳組織酸素飽和度と術後神経発達の関係. 日本小児循環器学会雑誌, 2017. 7.
- 2) 鈴木憲治 : 二心室修復術が可能であった Heterotaxy 症例の形態的特徴について. 第 53 回日本小児循環器学会総会学術集会, 2017. 7.
- 3) 鈴木憲治 : 側開胸小児心臓手術後疼痛管理における、持続肋間神経ブロックの有効性に関する検討. 第 48 回日本心臓血管外科学会学術総会, 2018. 2.
- 4) 久保田芳明, 岩崎雄樹, 斉藤研, 轟崇弘, 菅原一樹, 藤本雄飛, 萩原かな子, 泉佑樹, 淀川顕司, 浅井邦也, 清水涉, 川瀬康裕, 坂本俊一郎, 石井庸介, 新田隆 : 巨大左心耳内に頻脈性心房細動を伴う心不全発症により血栓を生じた滲出性収縮性心膜炎の一例. 日本循環器学会関東甲信越地方会(Web), 2017.
- 5) 川瀬 康裕, 石井 庸介, 山田 直輝, 井関 陽平, 青山 純也, 上田 仁美, 高橋 賢一朗, 森嶋 素子, 廣本 敦之, 鈴木 憲治, 栗田 二郎, 佐々木 孝, 宮城 泰雄, 仁科 大, 坂本 俊一郎, 師田 哲郎, 別所 竜蔵, 新田 隆 : 心臓手術後心房細動の予防に関する炎症と心房興奮のばらつき関係についての検討. 日本心臓血管外科学会学術総会抄録集, 2018. 2.
- 6) 中原 嘉則, 金村 賦之, 山名 孝治, 川瀬 康裕, 塩屋 雅人 : 急性 A 型大動脈解離における経心房左室送血の安全性と有効性. 日本心臓血管外科学会学術総会抄録集, 2018. 2.
- 7) 山田 直輝, 坂本 俊一郎, 青山 純也, 芝田 匡史, 森嶋 素子, 栗田 二郎, 川瀬 康裕, 佐々木 孝, 宮城 泰雄, 石井 庸介, 師田 哲郎, 新田 隆 : 重度の心不全を呈した心房細動合併の収縮性心膜炎に対して外科的根治術を施行した一例. 日本胸部外科学会関東甲信越地方会要旨集, 2017. 6.
- 8) 豊原瑛理, 江浦重義, 本田梓, 杉本貴子, 若林奈緒, 川瀬康裕, 宮城泰雄, 小川令 : 鼠径部人工血管感染に対する大腿直筋弁の有効性. 日本医科大学医学会雑誌, 2017.

## 18 呼吸器外科学分野

### 研究業績

#### 論文等

- 1) Ogawa Emiyu, Uno Yuko, Ohtani Keishi, Maehara Sachio, Imai Kentaro, Ono Shotaro, Usuda Jitsuo, Arai Tsunenori : 3-compartment dynamic model of talaporfin sodium pharmacokinetics in silico. *Optical Methods for Tumor Treatment and Detection: Mechanisms and Techniques in Photodynamic Therapy XXVI* 2017; 10047 doi: 10.1117/12.2250716.
- 2) Takegahara K, Yoshino N, Usuda J : A Case of Recurrent Pneumothorax Associated with Birt-Hogg-Dubé Syndrome Treated with Bilateral Simultaneous Surgery and Total Pleural Covering. *Annals of thoracic and cardiovascular surgery : official journal of the Association of Thoracic and Cardiovascular Surgeons of Asia* 2017; 23 (6) :309-312. doi: 10.5761/atcs.cr.16-00295.
- 3) K. Takegahara, N. Yoshino, J. Usuda : Atypical Carcinoid Originating In The Bronchus And Accompanied By Diffuse Idiopathic Pulmonary Neuroendocrine Cell Hyperplasia: A Case Report. *American Journal of Respiratory and Critical Care Medicine* 2017; 195
- 4) Kyoshiro Takegahara, Akira Sato, Takayuki Ibi, Tatsuya Inoue, Jitsuo Usuda : Atypical carcinoid localized at the bronchus accompanied by diffuse idiopathic pulmonary neuroendocrine cell hyperplasia in the distal lung: a rare case report. *Journal of Thoracic Disease* 2017; 9 (9) :E774-E778. doi: 10.21037/jtd.2017.08.75.
- 5) 平田 知己, 秋山 博彦, 木下 裕康, 中島 由貴, 飯島 慶仁, 吉野 直之, 白田 実男 : C.D.I/VATS による呼吸器外科疾患の治療経験. *日本呼吸器外科学会雑誌* 2017; 31 (3) :RO13-4.
- 6) 高橋 聡, 渥美 健一郎, 樋口 明日香, 矢嶋 知佳, 中山 幸治, 蓮見 健太, 青山 純一, 久世 眞之, 小林 研一, 蛸井 浩行, 高橋 明子, 柏田 建, 揖斐 孝之, 武内 進, 井上 達哉, 林 宏紀, 藤田 和恵, 齋藤 好信, 清家 正博, 白田 実男, 久保田 馨, 弦間 昭彦 : EBUS-TBNA 後に生じた縦隔炎の 2 症例. *気管支学* 2017; 39 (Suppl.) :S385.
- 7) 高橋 聡, 渥美 健一郎, 樋口 明日香, 矢嶋 知佳, 中山 幸治, 蓮見 健太, 青山 純一, 久世 眞之, 小林 研一, 蛸井 浩行, 高橋 明子, 柏田 建, 揖斐 孝之, 武内 進, 井上 達哉, 林 宏紀, 藤田 和恵, 齋藤 好信, 清家 正博, 白田 実男, 久保田 馨, 弦間 昭彦 : EBUS-TBNA 後に生じた縦隔炎の 2 症例. 第 38 回日本呼吸器内視鏡学会学術集会 2017; 39 (Suppl.) :S385.
- 8) Kyoji Hirai, Yutaka Enomoto, Jitsuo Usuda : For which thoracic operation is U-VATS superior?. *Journal of visualized surgery* 2017; 3:103. doi: 10.21037/jovs.2017.07.06.
- 9) Takayuki Ibi, Jitsuo Usuda, Tatsuya Inoue, Akira Sato, Kyoshiro Takegahara : Klotho expression is correlated to molecules associated with epithelial-mesenchymal transition in lung squamous cell carcinoma. *ONCOLOGY LETTERS* 2017; 14 (5) :5526-5532. doi: 10.3892/ol.2017.6862.
- 10) Kyoshiro Takegahara, Jitsuo Usuda, Tatsuya Inoue, Takayuki Ibi, Akira Sato : Preoperative management using inhalation therapy for pulmonary complications in lung cancer patients with chronic obstructive pulmonary disease. *General Thoracic and Cardiovascular Surgery* 2017; 65 (7) :388-391. doi: 10.1007/s11748-017-0761-5.
- 11) Naoyuki Yoshino, Tomomi Hirata, Chie Takeuchi, Jitsuo Usuda, Masaru Hosone : Primary Pulmonary Mucosa-Associated Lymphoid Tissue Lymphoma with a Nodular Opacity: Report of a Case. *JOURNAL OF NIPPON MEDICAL SCHOOL* 2017; 84 (2) :87-89. doi: 10.1272/jnms.84.87.
- 12) Junichi Okamoto, Hirotohi Kubokura, Jitsuo Usuda : Prognostic effect of incompletely lobulated fissures in p-Stage i non-small-cell lung cancer. *Interactive Cardiovascular and Thoracic Surgery* 2018; 26 (2) :264-270. doi: 10.1093/icvts/ivx305.
- 13) Okamoto J, Kubokura H, Usuda J : Prognostic effect of incompletely lobulated fissures in p-stage I non-small-cell lung cancer. *Interact Cardiovasc Thorac Surg* 2017; 26:264-270.
- 14) Keishi Ohtani, Jitsuo Usuda, Emiyu Ogawa, Sachio Maehara, Kentaro Imai, Yujin Kudo, Shotaro Ono, Shunsuke Shigefuku, Daisuke Eriguchi, Tatsuya Inoue, Junichi Maeda, Koichi Yoshida, Masaru Hagiwara, Masatoshi Kakihana, Naohiro Kajiwara, Tatsuo Ohira, Tsunenori Arai, Norihiko Ikeda : Skin fluorescence following photodynamic therapy with NPe6 photosensitizer. *PHOTODIAGNOSIS AND PHOTODYNAMIC THERAPY* 2017; 20:210-214. doi: 10.1016/j.pdpdt.2017.10.001.

- 15) Hiroyuki Agatsuma, Kazuo Yoshida, Ichiro Yoshino, Meinoshin Okumura, Masahiko Higashiyama, Kenji Suzuki, Masanori Tsuchida, Jitsuo Usuda, Hiroshi Niwa : Video-Assisted Thoracic Surgery Thymectomy Versus Sternotomy Thymectomy in Patients With Thymoma. ANNALS OF THORACIC SURGERY 2017; 104 (3) :1047-1053. doi: 10.1016/j.athoracsur.2017.03.054.
- 16) Inoue T, Takegahara K, Sonokawa T, Usuda J : [Complete Surgical Resection for Lung Cancer Invading Anterior Apex after Preoperative Chemoradiotherapy Via Transmanubrial Approach and Anterolateral Thoracotomy]. Kyobu geka. The Japanese journal of thoracic surgery 2017; 70 (11) :910-914.
- 17) 井上 達哉, 竹ヶ原 京志郎, 園川 卓海, 白田 実男 : 【局所進行肺癌の治療と成績】術前化学放射線療法施行後に transmanubrial approach および前側方切開により切除した肺尖部浸潤肺癌. 胸部外科 2017; 70 (11) :910-914.
- 18) 竹ヶ原 京志郎, 園川 卓海, 井上 達哉, 白田 実男 : アンチエイジング遺伝子 Klotho 発現による上皮間葉転換(EMT)の制御. 肺癌 2017; 57 (5) :626.
- 19) 小川 恵美悠, 相吉 英太郎, 荒井 恒憲, 大谷 圭志, 白田 実男, 前原 幸夫, 今井 健太郎, 工藤 勇人, 小野 祥太郎, 池田 徳彦 : タラボルフィンナトリウム投与後の皮膚組織中薬物動態 皮膚光線過敏症リスクの検討. 日本レーザー医学会誌 2017; 38 (3) :280.
- 20) 小川 恵美悠, 相吉 英太郎, 荒井 恒憲, 大谷 圭志, 白田 実男, 前原 幸夫, 今井 健太郎, 小野 祥太郎, 池田 徳彦 : タラボルフィンナトリウム静注後の皮膚組織中薬物動態計算モデルによる光線過敏症リスクの検討. 日本レーザー医学会誌 2017; 38 (3) :379.
- 21) 井上 達哉, 竹ヶ原 京志郎, 白田 実男 : ナビゲーションシステムを用いた TBLB-3 例の経験. 気管支学 2017; 39 (Suppl.) :S230.
- 22) 小川 恵美悠, 荒井 恒憲, 白田 実男, 大谷 圭志, 前原 幸夫, 今井 健太郎, 工藤 勇人, 小野 祥太郎, 池田 徳彦 : 医療用光ファイバー技術の最先端 プラスチック光ファイバーを用いた細径拡散光照射プローブによる光線力学的治療の展開. 日本レーザー医学会誌 2017; 38 (3) :262.
- 23) 鑄木 翔太, 高野 夏希, 菅野 哲平, 松本 優, 野呂 林太郎, 武内 進, 加藤 友美, 中山 幸治, 高橋 聡, 小林 研一, 峯岸 裕司, 清家 正博, 久保田 馨, 弦間 昭彦, 山本 晃人, 黒瀬 圭輔, 大橋 隆治, 寺崎 泰弘, 功刀 しのぶ, 白田 実男 : 卵巣莖膜細胞腫への腫瘍内転移をきたした肺大細胞神経内分泌癌の 1 例. 肺癌 2017; 57 (6) :794.
- 24) 井上 達哉, 竹ヶ原 京志郎, 園川 卓海, 大崎 能伸, 土田 敬明, 池田 徳彦, 白田 実男 : 呼吸器疾患に対する最新のレーザー治療 末梢肺癌に対する PDT. 日本レーザー医学会誌 2017; 38 (3) :253.
- 25) 竹ヶ原 京志郎, 井上 達哉, 園川 卓海, 白田 実男 : 呼吸器疾患に対する最新のレーザー治療 進行肺癌に対するレーザー治療 高出力レーザーVS PDT. 日本レーザー医学会誌 2017; 38 (3) :254.
- 26) 園川 卓海, 竹ヶ原 京志郎, 井上 達哉, 白田 実男 : 多発性気管乳頭腫に対して内視鏡的治療を施行した 1 例. 気管支学 2017; 39 (5) :459.
- 27) 窪倉 浩俊, 岡本 淳一, 白田 実男 : 当院における高齢者気胸症例に対する治療方針. 日本呼吸器外科学会雑誌 2017; 31 (3) :P48-4.
- 28) 竹ヶ原 京志郎, 園川 卓海, 井上 達哉, 白田 実男 : 急速に増大した縦隔脂肪肉腫の 1 切除例. 日本胸部外科学会関東甲信越地方会要旨集 2018; (176 回) :19.
- 29) 竹ヶ原 京志郎, 園川 卓海, 井上 達哉, 白田 実男 : 新しい COPD 合併肺癌の周術期治療戦略. 日本臨床外科学会雑誌 2017; 78 (増刊) :525.
- 30) 井上 達哉, 竹ヶ原 京志郎, 平井 理子, 佐々木 高明, 今井 健太郎, 前原 幸夫, 大谷 圭志, 大崎 能伸, 土田 敬明, 池田 徳彦, 白田 実男 : 末梢型小型肺癌に対する光線力学治療に関する臨床試験. 気管支学 2017; 39 (Suppl.) :S246.
- 31) 竹ヶ原 京志郎, 吉野 直之, 白田 実男 : 根治的放射線治療 10 年後に再発をきたした原発不明縦隔リンパ節癌の 1 例. 日本呼吸器外科学会雑誌 2017; 31 (3) :P19-4.
- 32) 竹ヶ原 京志郎, 吉野 直之, 小林 由美子, 清水 理光, 廣瀬 敬, 白田 実男 : 気管・気管支腔内に限局した MALT リンパ腫の 1 例. 気管支学 2017; 39 (Suppl.) :S320.
- 33) 大庭健史, 福田いづみ, 岡崎幹子, 山田裕士, 小林俊介, 仲村優子, 井上達哉, 原田太郎, 稲垣恭子, 白田実男, 杉原仁 : 治療に難渋した定型カルチノイドによる異所性 ACTH 症候群の 1 例. 日本内分泌学会雑誌 2017; 93 (2) :590.
- 34) 清水 理光, 名見耶 浩幸, 高橋 彬彦, 小林 由美子, 竹ヶ原 京志郎, 吉野 直之, 吾妻 安良太, 久保田 馨, 弦間 昭彦, 廣瀬 敬 : 経気管支肺生検にて診断した TS-1 による薬剤性肺傷害の 1 例. 気管支学 2017; 39 (Suppl.) :S305.
- 35) 園川 卓海, 竹ヶ原 京志郎, 井上 達哉, 白田 実男 : 肺化膿症で左下葉切除術後、咯血に対して ECMO 導入のもと左肺全摘術を施行し

- て救命した一例. 日本臨床外科学会雑誌 2017; 78 (増刊) :771.
- 36) 岡本 淳一, 窪倉 浩俊, 白田 実男 : 肺合併症のある肺癌症例に対して, 周術期の吸入薬 LABA、LAMA は予後を変えうるか?. 日本呼吸器外科学会雑誌 2017; 31 (3) :P89-2.
- 37) 岡田 知之, 岡本 淳一, 窪倉 浩俊, 許田 典男, 北山 康彦, 白田 実男 : 肺悪性腫瘍を疑われて手術を行った肺クリプトコッカス症の 1 例. 肺癌 2018; 58 (1) :57.
- 38) 岡本 淳一, 許田 典男, 窪倉 浩俊, 北山 康彦, 白田 実男 : 肺扁平上皮癌におけるリンパ節病期分類(cN、sN、pN)に関する 24 症例の検討. 肺癌 2017; 57 (5) :436.
- 39) 竹内 真吾, 吉野 直之, 白田 実男 : 肺癌を背景因子とする気胸・膿胸症例にたいする手術治療. 日本気胸・嚢胞性肺疾患学会雑誌 2017; 17 (2) :90.
- 40) 吉野 直之, 竹ヶ原 京志郎, 白田 実男 : 肺癌化学療法・化学放射線療法後の胸部疾患に対して手術を施行した症例の検討. 日本呼吸器外科学会雑誌 2017; 31 (3) :P8-4.
- 41) 井上 達哉, 蓮実 健太, 揖斐 孝之, 佐藤 明, 白田 実男 : 肺癌外科治療は進歩しているのか 外科治療による予後改善を評価する 術前化学放射線療法施行後の肺尖部胸壁浸潤肺癌の検討. 日本外科学会定期学術集会抄録集 2017; 117 回:SY-15.
- 42) 塩田 美桜, 岡本 淳一, 窪倉 浩俊, 白田 実男, 許田 典男, 北山 康彦 : 肺部分切除術の 11 年後に断端再発した肺腺癌の 1 例. 肺癌 2018; 58 (1) :63.
- 43) 鈴木幹人, 松谷毅, 萩原信敏, 野村務, 藤田逸郎, 金沢義一, 柿沼大輔, 新月洋紀, 松野邦彦, 太田恵一朗, 井上達哉, 白田実男, 内田英二 : 胸部食道扁平上皮癌と右肺腺癌の同時性重複癌に対し胸腔鏡下手術後に左下腿三頭(腓腹)筋に孤立性転移した 1 例. 日本臨床外科学会雑誌 2017; 78 (増刊) :778.
- 44) 園川 卓海, 竹ヶ原 京志郎, 井上 達哉, 白田 実男 : 膿胸による咯血に対して ECMO 導入下に左肺全摘術を施行し救命した一例. 日本胸部外科学会関東甲信越地方会要旨集 2017; (175 回) :19.
- 45) 竹ヶ原 京志郎, 園川 卓海, 井上 達哉, 白田 実男 : 間質性肺炎合併同時性多発肺癌に対し, 手術及び PDT を施行した 1 例. 気管支学 2018; 40 (1) :86.
- 46) 小林 研一, 清家 正博, 中山 幸治, 加藤 友美, 高橋 聡, 高橋 明子, 武内 進, 松本 優, 野呂 林太郎, 峯岸 裕司, 白田 実男, 久保田 馨, 弦間 昭彦 : 非小細胞肺癌における PD-L1 発現と予後及び EGFR-TKI 治療効果との相関の検討. 気管支学 2017; 39 (Suppl.) :S241.
- 47) 竹ヶ原 京志郎, 吉野 直之, 白田 実男 : 高齢者続発性気胸の治療戦略 当院における 80 歳以上の高齢者続発性気胸症例の検討. 日本呼吸器外科学会雑誌 2017; 31 (3) :P48-6.

## 著書

- 1) 白田実男, 井上達哉, 竹ヶ原京志郎, 宮島邦治 : [分担執筆] 2-1.早期肺癌に対する PDT. PDT 実践ガイド-光線力学的療法の最新エビデンス-. 2017; pp.48-56, メディカルレビュー社.
- 2) 池田徳彦, 白田実男 : [分担執筆] 気管(気管支)腫瘍-評価・治療例. 今日の臨床サポート. 2017, エルゼビア・ジャパン.
- 3) 井上達哉, 白田実男 : [分担執筆] 末梢型肺癌に対する光線力学的治療 (Photodynamic therapy : PDT) の臨床研究. 光アライアンス. 2017, 日本工業出版.
- 4) 白田実男 : [分担執筆] 解説) 蛍光内視鏡・レーザー治療. 呼吸器内科. 2017; pp.491-497, 科学評論社.
- 5) 白田実男 : [分担執筆] 呼吸器外科領域の光線力学的治療 (Photodynamic therapy : PDT) . 日本気管食道科学会「専門医通信」. 2017; pp.23-29
- 6) 白田実男 : [分担執筆] 9.肺がんの診断 3) 気管支鏡. 肺がん 改訂 5 版. 2017, 医薬ジャーナル社.
- 7) 竹ヶ原京志郎, 白田実男 : [分担執筆] ④肺癌の診断 6.小結節診断における新技術について教えてください. 肺癌診療 Q&A 第 3 版-一つ上を行く診療の実践-. 2017; pp.132-134, 中外医学社.
- 8) 白田実男 : [分担執筆] ④肺癌の診断 17.多発 GGO 病変に対する治療方針. 肺癌診療 Q&A 第 3 版-一つ上を行く診療の実践-. 2017; pp. 170-172, 中外医学社.
- 9) 白田実男 : [分担執筆] ⑤治療方針 A.非小細胞癌 8.末梢病変治療の新技術について教えてください. 肺癌診療 Q&A 第 3 版-一つ上を行く診

療の実践-. 2017; pp. 222-224, 中外医学社.

- 10) 井上達哉, 竹ヶ原京志郎, 園川卓海, 白田実男 : [分担執筆] 術前化学放射線療法施行後に transmanubrial approach および前側方切開により切除した肺尖部浸潤肺癌. 胸部外科. 2017; pp.910-914, 南江堂.
- 11) 白田実男 : [分担執筆] まい・てくにつく : 肋骨床開胸の要点. 胸部外科 vol.71. 2018, 南江堂.

## 学会発表

- 1) 窪倉浩俊 : A new technique in continuous ambulatory peritoneal dialysis patients: Ligation of the communication site and PGA sheet covering. 25th International Congress of the European Association for Endoscopic Surgery, 2017. 6.
- 2) Kyoji Hirai, Yutaka Enomoto, Jitsuo Usuda : Converting unipoetal VATS –Multiport or Open?. 6th Asian single Port VATS symposium. (Manila Philippines) , 2018. 3.
- 3) Kyoji Hirai, Yutaka Enomoto, Jitsuo Usuda : Posterior fissure approach in single port VATS. 6th Asian single Port VATS symposium. (Manila Philippines) , 2018. 3.
- 4) 井上達哉, 蓮実健太, 揖斐孝之, 佐藤明, 白田実男 : Transmanubrial approach による胸腔頂部に発生した神経鞘腫の 2 切除例. 日本呼吸器外科学会 (第 34 回) . (福岡県福岡市) , 2017. 5.
- 5) 竹ヶ原京志郎, 園川卓海, 井上達哉, 白田実男 : アンチエイジング遺伝子 Klotho 発現による上皮間葉転換 (EMT) の制御. 日本肺癌学会 学術集会 (第 58 回) . (神奈川県横浜市) , 2017. 10.
- 6) 井上達哉, 竹ヶ原京志郎, 白田実男 : ナビゲーションシステムを用いた TBLB-3 例の経験. 日本呼吸器内視鏡学会学術集会 (第 40 回) . (長崎県長崎市) , 2017. 6.
- 7) 榎本豊, 平井恭二, 白田実男 : 縦隔腫瘍として発見された 特発性奇静脈瘤を胸腔鏡下 (単孔式) に切除しえた 1 例. 第 30 回日本内視鏡外科学会. (福岡) , 2017. 12.
- 8) 鍋本翔太, 白田実男, 大橋隆治, 峯岸裕司, 清家正博, 久保田馨, 弦間昭彦 : 卵巣莢膜細胞腫への腫瘍内転移が疑われた肺大細胞神経内分泌癌の 1 例. 日本肺癌学会関東支部学術集会 (第 179 回) . (東京都新宿区) , 2017. 7.
- 9) 園川卓海, 竹ヶ原京志郎, 井上達哉, 白田実男, 寺崎泰弘 : 多発性気管乳頭腫に対して内視鏡治療を施行した 1 例. 呼吸器内視鏡学会関東地方会, 2017. 6.
- 10) 平井恭二, 竹内真吾, 白田実男 : 当科での単孔式胸腔鏡手術 (single-port VATS) 手術習得への教育の現況について. 第 117 回日本外科学会定期学術集会. (横浜) , 2017. 4.
- 11) 平井恭二, 榎本豊, 白田実男 : 当科における単孔式胸腔鏡手術 (Uniportal VATS : U-VATS) のトレーニング法について. 第 30 回日本内視鏡外科学会総会. (京都) , 2017. 12.
- 12) 窪倉浩俊, 岡本淳一, 白田実男 : 当院における高齢者気胸症例に対する治療方針. 日本呼吸器外科学会学術集会 (第 34 回) . (博多) , 2017. 5.
- 13) 竹ヶ原京志郎, 園川卓海, 井上達哉, 白田実男 : 急速に増大した縦隔脂肪肉腫の 1 切除術. 日本胸部外科学会関東甲信越地方会 (第 176 回) . (東京) , 2018. 3.
- 14) 竹ヶ原京志郎, 園川卓海, 井上達哉, 白田実男 : 新しい COPD 合併肺癌の周術期治療戦略. 日本臨床外科学会 (第 79 回) . (東京都千代田区) , 2017. 11.
- 15) 井上達哉, 竹ヶ原京志郎, 平井理子, 佐々木高明, 今井健太郎, 前原幸夫, 大谷圭志, 大崎能伸, 土田敬明, 池田徳彦, 白田実男 : 末梢型小型肺癌に対する光線力学治療に関する臨床試験. 日本呼吸器内視鏡学会学術集会 (第 40 回) . (長崎県長崎市) , 2017. 6.
- 16) 井上達哉, 竹ヶ原京志郎, 園川卓海, 大崎能伸, 土田敬明, 池田徳彦, 白田実男 : 末梢肺癌に対する PDT. 日本レーザー医学会総会 (第 38 回) . (神奈川県) , 2017. 11.
- 17) 竹ヶ原京志郎, 吉野直之, 白田実男 : 根治的放射線治療 10 年後に再発をきたした原発不明縦隔リンパ節癌の 1 例. 日本呼吸器外科学会 (第 34 回) . (福岡県福岡市) , 2017. 5.
- 18) 竹ヶ原京志郎, 吉野直之, 小林由美子, 清水理光, 廣瀬敬, 寺崎泰弘, 清水章, 白田実男 : 気管・気管支腔内に限局した MALT リンパ腫の 1 例. 呼吸器内視鏡学会総会, 2017. 6.
- 19) 竹ヶ原京志郎, 吉野直之, 小林由美子, 清水理光, 廣瀬敬, 白田実男 : 気管・気管支腔内限局した MALT リンパ腫の 1 例. 日本呼吸器

- 内視鏡学会総会（第 40 回）．（長崎）, 2017. 6.
- 20) 大庭健史, 福田いづみ, 岡崎幹子, 山田裕士, 小林俊介, 仲村優子, 井上達哉, 原田太郎, 稲垣恭子, 白田実男, 杉原仁 : 治療に難渋した定型カルチノイドによる異所性 ACTH 症候群の 1 例. 臨床内分泌代謝 Update (第 27 回) . (神戸) , 2017. 11.
- 21) 園川卓海, 竹ヶ原京志郎, 井上達哉, 白田実男 : 肺化膿症で左下葉切除術後, 咯血に対して ECMO 導入のもと左肺全摘術を施行して救命した 1 例. 日本臨床外科学会 (第 79 回) . (東京都千代田区) , 2017. 11.
- 22) 岡本淳一, 窪倉浩俊, 白田実男 : 肺合併症のある肺癌症例に対して, 周術期の吸入薬 LABA, LAMA は予後を変えうるか?. 日本呼吸器外科学会 (第 34 回) . (福岡市) , 2017. 5.
- 23) 岡田知之, 岡本淳一, 許田典男, 窪倉浩俊, 北山康彦, 白田実男 : 肺悪性腫瘍を疑われて手術を行った肺クリプトコッカス症の 1 例. . 日本肺癌学会関東支部学術集会 (第 180 回) . (東京都) , 2017. 12.
- 24) 岡本淳一, 許田典男, 窪倉浩俊, 北山康彦, 白田実男 : 肺扁平上皮癌におけるリンパ節病期分類 (cN, sN, pN) に関する 24 症例の検討. . 日本肺癌学会学術集会 (第 58 回) . (神奈川県横浜市) , 2017. 10.
- 25) 白田実男 : 肺癌に対する光線力学的治療法の適応拡大にむけた研究. 日本肺癌学会学術集会 (第 58 回) . (神奈川県横浜市) , 2017. 10.
- 26) 吉野直之, 竹ヶ原京志郎, 白田実男 : 肺癌化学療法・化学放射線療法後の胸部疾患に対して手術を施行した症例の検討. 日本呼吸器外科学会総会 (第 34 回) . (福岡) , 2017. 5.
- 27) 塩田美桜, 岡本淳一, 許田典男, 窪倉浩俊, 北山康彦, 白田実男 : 肺部分切除術の 11 年後に断端再発した肺腺癌の 1 例. 日本肺癌学会関東支部学術集会 (第 180 回) . (東京都) , 2017. 12.
- 28) 鈴木幹人, 松谷毅, 萩原信敏, 野村務, 藤田逸郎, 金沢義一, 柿沼大輔, 新井洋紀, 松野邦彦, 太田恵一朗, 井上達哉, 白田実男, 内田英二 : 胸部食道扁平上皮癌と右肺腺癌の同時性重複癌に対し胸腔鏡下手術後に左下腿三頭 (腓腹) 筋に孤立性転移した 1 例. 日本臨床外科学会総会 (第 70 回) . (東京都) , 2017. 11.
- 29) 園川卓海, 竹ヶ原京志郎, 井上達哉, 白田実男 : 膿胸による咯血に対して ECMO 導入下に左肺全摘術を施行し救命した 1 例. 日本胸部外科学会関東甲信越地方会 (第 175 回) . (東京都千代田区) , 2017. 11.
- 30) 井上達哉, 蓮実健太, 揖斐孝之, 佐藤明, 白田実男 : 術前化学放射線療法施工後の肺尖部胸壁浸潤肺癌の検討. 日本外科学会定期学術集会 (第 117 回) . (神奈川県横浜市) , 2017. 4.
- 31) 竹ヶ原京志郎, 園川卓海, 井上達哉, 白田実男 : 進行肺癌に対するレーザー治療 : 高出力レーザー4 VS PDT. 日本レーザー医学会総会 (第 38 回) . (神奈川県) , 2017. 11.
- 32) 竹ヶ原京志郎, 園川卓海, 井上達哉, 白田実男 : 間質性肺炎合併症同時性多発肺癌に対し, 手術及び PDT を施行した 1 例. 日本呼吸器内視鏡学会関東支部会 (第 163 回) . (東京都新宿区) , 2017. 12.
- 33) 小林研一, 清家正博, 中山幸治, 加藤友美, 高橋聡, 高橋明子, 武内進, 松本優, 野呂林太郎, 峯岸裕司, 白田実男, 久保田馨, 弦間昭彦 : 非小細胞肺癌における PD-L1 発現と予後及び EGFR-TKI 治療効果との相関の検討. 日本呼吸器内視鏡学会学術集会 (第 40 回) . (長崎) , 2017. 6.
- 34) 竹ヶ原京志郎, 吉野直之, 白田実男 : 高齢者続発性気胸の治療戦略-当院における 80 歳以上の高齢者続発性気胸症例の検討-. 日本呼吸器外科学会 (第 34 回) . (福岡県福岡市) , 2017. 5.



## 19 脳神経外科学分野

### 研究業績

#### 論文等

- 1) Tetsuro Sekine, Ryo Takagi, Yasuo Amano, Yasuo Murai, Erika Orita, Yoshimitsu Fukushima, Yoshio Matsumura, Shin-Ichiro Kumita : 4D Flow MR Imaging of Ophthalmic Artery Flow in Patients with Internal Carotid Artery Stenosis. *Magnetic resonance in medical sciences : MRMS : an official journal of Japan Society of Magnetic Resonance in Medicine* 2018; 17 (1) :13-20. doi: 10.2463/mrms.mp.2016-0074.
- 2) 磯 博和, 山口 文雄, 樋口 直司, 朝倉 隆之, 森田 明夫 : 5-ALA とレーザーを用いた神経膠芽腫への影響. *日本医科大学医学会雑誌* 2017; 13 (4) :248.
- 3) 玉置智規, 山崎道生, 齊藤寛浩, 梅岡克哉, 立山幸次郎, 水成隆之, 森田明夫 : 85 歳以上の超高齢者における頸動脈内膜摘出術の検討. *日本老年脳神経外科学会プログラム・抄録集* 2017; 30th
- 4) Toshiaki Nozaki, Daijiro Morimoto, Kyongsong Kim, Takao Kitamura, Rinko Kokubo, Fumio Yamaguchi, Toyohiko Isu, Akio Morita : A case of meralgia paresthetica treated with neurolysis. *Neurological Surgery* 2017; 45 (5) :431-436. doi: 10.11477/mf.1436203528.
- 5) Tomoko Omura, Mahito Kimura, Kyongsong Kim, Masahiro Mishina, Takayuki Mizunari, Shiro Kobayashi, Akio Morita : Acute Poststroke Depression Is Associated with Thalamic Lesions and Clinical Outcomes: A Case-Control Study. *Journal of Stroke and Cerebrovascular Diseases* 2018; 27 (2) :499-505. doi: 10.1016/j.jstrokecerebrovasdis.2017.09.028.
- 6) Yasuo Murai, Kazutaka Shirokane, Takao Kitamura, Fumihiro Matano, Akio Morita : Aneurysm Tears Caused by an Aneurysm Clip Springing from the Clip Applier. *The Canadian journal of neurological sciences. Le journal canadien des sciences neurologiques* 2017; 44 (3) :326-328. doi: 10.1017/cjn.2016.434.
- 7) Yasuo Murai, Toshimasa Yamada, Eitaro Ishisaka, Shun Sato, Fumihiro Matano, Akio Morita : Bilateral suboccipital approach for a giant vertebral artery aneurysm. *Journal of clinical neuroscience : official journal of the Neurosurgical Society of Australasia* 2017; 45:315-318. doi: 10.1016/j.jocn.2017.08.019.
- 8) Yusuke Kurose, Atsushi Nakazawa, Kanako Harada, Hirofumi Nakatomi, Nobuhito Saito, Akio Morita, Eiju Watanabe, Naohiko Sugita, Mamoru Mitsuishi : Blood vessel recognition with microscopic image toward robotic autonomous anastomosis. *International Journal of Computer Assisted Radiology and Surgery* 2017; 12 (1) :S118-S119.
- 9) Yamaguchi F : Central Nervous System Tumor Metastatic Brain Tumor. *Gan to kagaku ryoho. Cancer & chemotherapy* 2017; 44 (6) :473-474.
- 10) Yutaka Igarashi, Yasuo Murai, Osamu Yamada, Kazutaka Shirokane, Kohei Hironaka, Shun Sato, Makoto Sugiyama, Takayuki Tachizawa, Akio Morita : Cerebral Aneurysm Associated with an Arachnoid Cyst: 3 Case Reports and a Systematic Review of the Literature. *World neurosurgery* 2018; 109:e203-e209-e209. doi: 10.1016/j.wneu.2017.09.139.
- 11) 金景成 : Common diseases mimicking lumbar disc herniation and their treatment. *Mini-invasive surgery* 2017; 1:43-51.
- 12) Kim K, Isu T, Morimoto D, Iwamoto N, Kokubo R, Matsumoto J, Kitamura T, Sugawara A, Morita A : Common diseases mimicking the symptoms of lumbar disc herniation and their treatment. *Mini-invasive surgery* 2017
- 13) 阿部 雅志, 富田 尚樹, 藤井 美華, 小南 修司, 水成 隆之, 森田 明夫 : DSA 装置における画像表示遅延と撮影条件. *日本放射線技術学会雑誌* 2017; 73 (9) :880-881.
- 14) Naohisa Miyagi, Ryou Doi, Terukazu Kuramoto, Kiyohiko Sakata, Shigeyuki Tahara, Yasuo Sugita, Motohiro Morioka : Double pituitary adenomas associated with persistent trigeminal artery: a rare case report and the review of literature. *Neurosurgical Review* 2018; 41 (1) :341-345. doi: 10.1007/s10143-017-0924-y.
- 15) Takao Kitamura, Kyongsong Kim, Daijiro Morimoto, Rinko Kokubo, Naotaka Iwamoto, Toyohiko Isu, Akio Morita : Dynamic factors involved in common peroneal nerve entrapment neuropathy. *ACTA NEUROCHIRURGICA* 2017; 159 (9) :1777-1781. doi: 10.1007/s00701-017-3265-2.

- 16) Shigeyuki Tahara, Mami Murakami, Tomomi Kaneko, Akira Shimatsu : Efficacy and safety of long-acting pasireotide in Japanese patients with acromegaly or pituitary gigantism: results from a multicenter, open-label, randomized, phase 2 study. *ENDOCRINE JOURNAL* 2017; 64 (7) :735-747. doi: 10.1507/endocrj.EJ16-0624.
- 17) Keisuke Kadooka, Michihiro Tanaka, Yoshinori Sakata, Minoru Ideguchi, Maki Inaba, Hiromu Hadeishi : Efficacy of Cone Beam Computed Tomography in Treating Cavernous Sinus Dural Arteriovenous Fistula. *World Neurosurgery* 2018; 109:328-332. doi: 10.1016/j.wneu.2017.10.026.
- 18) Fumihiko Matano, Takayuki Mizunari, Keiko Yamada, Shiro Kobayashi, Yasuo Murai, Akio Morita : Environmental and Clinical Risk Factors for Delirium in a Neurosurgical Center: A Prospective Study. *World neurosurgery* 2017; 103:424-430. doi: 10.1016/j.wneu.2017.03.139.
- 19) Shunsuke Nakagawa, Yasuo Murai, Fumihiko Matano, Eitaro Ishisaka, Akio Morita : Evaluation of Patency After Vascular Anastomosis Using Quantitative Evaluation of Visualization Time in Indocyanine Green Video Angiography. *World neurosurgery* 2018; 110:e699-e709-e709. doi: 10.1016/j.wneu.2017.11.072.
- 20) Sunho Ko, Atsushi Nakazawa, Yusuke Kurose, Kanako Harada, Mamoru Mitsuishi, Shigeo Sora, Naoyuki Shono, Hirofumi Nakatomi, Nobuhito Saito, Akio Morita : Intelligent control of neurosurgical robot MM-3 using dynamic motion scaling. *Neurosurgical focus* 2017; 42 (5) :E5. doi: 10.3171/2017.2.FOCUS16568.
- 21) Daijiro Morimoto, Toyohiko Isu, Kyongsong Kim, Yasuhiro Chiba, Naotaka Iwamoto, Masanori Isobe, Akio Morita : Long-term Outcome of Surgical Treatment for Superior Cluneal Nerve Entrapment Neuropathy. *SPINE* 2017; 42 ( 10 ) :783-788. doi: 10.1097/BRS.0000000000001913.
- 22) Kyongsong Kim, Toyohiko Isu, Juntaro Matsumoto, Kazuyoshi Yamazaki, Masanori Isobe : Low back pain due to middle cluneal nerve entrapment neuropathy. *European Spine Journal* 2017; 27 (Suppl 3) :1-5. doi: 10.1007/s00586-017-5208-2.
- 23) Tomohiro Aoki, Makoto Saito, Hirokazu Koseki, Keiichi Tsuji, Atsushi Tsuji, Kiyoshi Murata, Hidetoshi Kasuya, Akio Morita, Shuh Narumiya, Kazuhiko Nozaki : Macrophage Imaging of Cerebral Aneurysms with Ferumoxytol: an Exploratory Study in an Animal Model and in Patients. *Journal of stroke and cerebrovascular diseases : the official journal of National Stroke Association* 2017; 26 (10) :2055-2064. doi: 10.1016/j.jstrokecerebrovasdis.2016.10.026.
- 24) Michinori Nariai, Kyongsong Kim, Masaaki Kawauchi, Akihiro Ishii, Misa Kido, Toyohiko Isu, Rinko Kokubo, Daijiro Morimoto, Naotaka Iwamoto, Akio Morita : Magnetic resonance imaging conditions for imaging of the tarsal tunnel. *Neurological Surgery* 2018; 46 (1) :11-19. doi: 10.11477/mf.1436203667.
- 25) Yamaguchi F : Metastatic brain tumor. *Japanese Journal of Cancer and Chemotherapy* 2017; 44 (6) :473-474.
- 26) 森田明夫 : Monthly View : Mahmud Gazi Yasargil 先生のお話. *脳神経外科速報* 2017; 27:101-105.
- 27) Kazunari Kogure, Michio Yamazaki, Tomonori Tamaki, Yoji Node, Akio Morita : Neck and Occipital Pain Caused by Deep Cervical Intramuscular Lipoma: A Surgical Case. *Journal of Nippon Medical School = Nippon Ika Daigaku zasshi* 2017; 84 (2) :96-99. doi: 10.1272/jnms.84.96.
- 28) Atsushi Tsukiyama, Yujiro Hattori, Shigeyuki Tahara, Eitaro Ishisaka, Daijiro Morimoto, Kenichi Oyama, Akira Teramoto, Akio Morita : New Technique for Chiasmopathy Using Iliac Crest Bone Graft: 2 Cases of Visual Impairment Caused by Empty Sella Syndrome. *World neurosurgery* 2017; 107:1051.e19-1051.e25-1051.e25. doi: 10.1016/j.wneu.2017.08.080.
- 29) Toshikazu Kimura, Akio Morita : Occipital Artery to Middle Cerebral Artery Bypass: Operative Nuances. *World neurosurgery* 2017; 108:201-205. doi: 10.1016/j.wneu.2017.08.126.
- 30) Fumihiko Matano, Takayuki Mizunari, Yasuo Murai, Asami Kubota, Yu Fujiki, Shiro Kobayashi, Akio Morita : Quantitative Comparison of the Intraoperative Utility of Indocyanine Green and Fluorescein Videoangiographies in Cerebrovascular Surgery. *Operative neurosurgery (Hagerstown, Md.)* 2017; 13 (3) :361-366. doi: 10.1093/ons/opw020.
- 31) Eitaro Ishisaka, Yasuo Murai, Akio Morita, Kazutaka Shirokane, Yujiro Hattori, Eiichi Baba : Radiological findings of transorbital penetrating intracranial injury in a child. *CHILDS NERVOUS SYSTEM* 2017; 33 (11) :2061-2064. doi: 10.1007/s00381-017-3510-2.
- 32) Fumihiko Matano, Takayuki Mizunari, Shushi Kominami, Masanori Suzuki, Yu Fujiki, Asami Kubota, Shiro Kobayashi, Yasuo Murai, Akio Morita : Retrograde suction decompression of a large internal carotid aneurysm using a balloon guide catheter combined with a

- blood-returning circuit and STA-MCA bypass: a technical note. *Neurosurgical review* 2017; 40 (2) :351-355. doi: 10.1007/s10143-016-0808-6.
- 33) Yasuo Murai, Eitaro Ishisaka, Atsushi Tsukiyama, Shunsuke Nakagawa, Fumihiro Matano, Kojiro Tateyama, Akio Morita : Reuse of a Reversed "Bone Pad" to Perforate Incompletely Penetrated Burr Holes Created by Automatic-Releasing Cranial Perforators. *Operative neurosurgery (Hagerstown, Md.)* 2017; 13 (3) :324-328. doi: 10.1093/ons/opw043.
- 34) Kazunori Oda, Daijiro Morimoto, Kyongsong Kim, Kanako Yui, Takao Kitamura, Akio Morita : Spinal Cavernous Angioma Associated with Klippel-Trenaunay-Weber Syndrome: Case Report and Literature Review. *World Neurosurgery* 2018; 109:333-337. doi: 10.1016/j.wneu.2017.10.040.
- 35) Ryuta Nakae, Yu Fujiki, Shoji Yokobori, Yasutaka Naoe, Hiroyuki Yokota : Subarachnoid Aneurysmal Hemorrhage Associated with Coarctation of the Aorta: Case Report and Review of the Literature. *JOURNAL OF NIPPON MEDICAL SCHOOL* 2017; 84 (4) :186-192. doi: 10.1272/jnms.84.186.
- 36) Toyohiko Isu, Kyongsong Kim, Daijiro Morimoto, Naotaka Iwamoto : Superior and Middle Cluneal Nerve Entrapment as a Cause of Low Back Pain. *Neurospine* 2018; 15 (1) :25-32. doi: 10.14245/ns.1836024.012.
- 37) Kenichi Oyama, Shigeyuki Tahara, Toshio Hirohata, Yudo Ishii, Daniel M Prevedello, Ricardo L Carrau, Sebastien Froelich, Akira Teramoto, Akio Morita, Akira Matsuno : Surgical Anatomy for the Endoscopic Endonasal Approach to the Ventrolateral Skull Base. *Neurologia medico-chirurgica* 2017; 57 (10) :534-541. doi: 10.2176/nmc.ra.2017-0039.
- 38) Kazunori Oda, Tadashi Higuchi, Yasuo Murai, Fumio Yamaguchi, Akio Morita : Teflon granuloma after microvascular decompression for hemifacial spasm: a case report and literature review. *Neurosurgical review* 2017; 40 (3) :513-516. doi: 10.1007/s10143-017-0865-5.
- 39) Shibahashi K, Sugiyama K, Houda H, Takasu Y, Hamabe Y, Morita A : The effect of tracheostomy performed within 72 h after traumatic brain injury. *British journal of neurosurgery* 2017; 31 (5) :564-568. doi: 10.1080/02688697.2017.1302071.
- 40) Fumio Yamaguchi : Therapy Decisions for Patients with High-Grade Glioma and Their Families. *WORLD NEUROSURGERY* 2017; 102:671-672. doi: 10.1016/j.wneu.2017.03.094.
- 41) Motohiro Nomura, Kentaro Mori, Akira Tamase, Tomoya Kamide, Syunsuke Seki, Yu Iida, Kazutaka Shirokane, Eiichi Baba, Atsushi Tsuchiya, Hiroshi Shima : Thromboembolic complications during endovascular treatment of ruptured cerebral aneurysms. *Interventional Neuroradiology* 2018; 24 (1) :29-39. doi: 10.1177/1591019917739448.
- 42) Hiroaki Ueda, Ryoya Suzuki, Atsushi Nakazawa, Yusuke Kurose, Murilo M. Marinho, Naoyuki Shono, Hirofumi Nakatomi, Nobuhito Saito, Eiju Watanabe, Akio Morita, Kanako Harada, Naohiko Sugita, Mamoru Mitsuishi : Toward Autonomous Collision Avoidance for Robotic Neurosurgery in Deep and Narrow Spaces in the Brain. *Procedia CIRP* 2017; 65:110-114. doi: 10.1016/j.procir.2017.04.027.
- 43) Yasuo Murai, Fumihiro Matano, Shoji Yokobori, Hidetaka Onda, Hiroyuki Yokota, Akio Morita : Treatment Strategies of Subarachnoid Hemorrhage from Bilateral Vertebral Artery Dissection: A Case Report and Literature Review Focusing on the Availability of Stent Placement. *World neurosurgery* 2017; 106:1050.e11-1050.e20-1050.e20. doi: 10.1016/j.wneu.2017.06.167.
- 44) Iwamoto N, Isu T, Kim K, Chiba Y, Morimoto D, Matsumoto J, Isobe M : Treatment of low back pain elicited by superior cluneal nerve entrapment neuropathy after lumbar fusion surgery. *Spine Surgery and Related Research* 2017; 1 (3) :152-157. doi: 10.22603/ssrr.1.2016-0027.
- 45) Yamaguchi F : [Central Nervous System Tumor Metastatic Brain Tumor]. *Gan to kagaku ryoho. Cancer & chemotherapy* 2017; 44 (6) :473-474.
- 46) 服部 裕次郎, 田原 重志 : 【機能的内分泌疾患に対する外科治療と内科治療】クッシング病 外科治療. *内分泌・糖尿病・代謝内科* 2017; 45 (5) :312-319.
- 47) 亦野 文宏, 森田 明夫 : 【脳卒中】(Part 2)各論 くも膜下出血治療の実際 開頭手術. *Intensivist* 2017; 9 (4) :861-870.
- 48) 柴田 あみ, 金子 純也 : 【脳卒中】(Part 2)各論 脳出血治療の実際 開頭手術,低侵襲手術. *Intensivist* 2017; 9 (4) :901-908.
- 49) 森田 明夫 : 【脳血管障害 診療のエッセンス】無症候性脳血管障害 未破裂脳動脈瘤. *日本医師会雑誌* 2017; 146 (特別 1) :S240-S244.
- 50) 服部 裕次郎, 田原 重志 : 【視床下部と下垂体-神経内分泌の最新情報】内分泌機能障害の診断と治療 SIADH(SIAD). *Clinical Neuroscience*

- 2017; 35 (4) :422-426.
- 51) 藤木 悠, 亦野 文宏, 水成 隆之, 村井 保夫, 立山 幸次郎, 額瀨 健太, 山田 敏雅, 久保田 麻紗美, 横田 裕行, 森田 明夫 : くも膜下出血予後予測因子としての glucose/K ratio の有用性. 日本救急医学会雑誌 2017; 28 (9) :637.
- 52) 太組 一朗, 饒波正博, 嘉手川淳, 廣中浩平, 足立好司, 川上康彦, 岸泰宏, 森田明夫 : てんかん医療の圏内均てん化 神奈川県と沖縄県における拠点施設に対する紹介患者医療圏分布からの考察. てんかん研究 2017; 35 (2) :500.
- 53) 村井保夫, 森田明夫, 田原重志, 佐藤俊, 森本大二郎, 野崎俊樹, 由井奏子, 尾関友博 : オリンパス社製新規 4K3D Video Microexoscope を用いた脳神経外科手術の初期経験. 日本神経内視鏡学会プログラム・抄録集 2017; 24th:61.
- 54) 野崎 俊樹, 浦 裕之, 太組 一朗, 丸 栄一, 小林 士郎, 森田 明夫 : キンドリングてんかん焦点形成に対する ATII 受容体拮抗薬 (Losartan) の抑制効果. てんかん研究 2017; 35 (2) :540.
- 55) 服部 裕次郎, 田原 重志 : クッシング病 : 外科治療 (特集 機能性内分泌疾患に対する外科治療と内科治療). 内分泌・糖尿病・代謝内科 = Endocrinology, diabetology & metabolism 2017; 45 (5) :312-319.
- 56) 野村 素弘, 馬場 栄一, 杉山 誠, 白銀 一貴, 立澤 孝幸, 鈴木 衛, 土屋 敦史 : ステント併用コイル塞栓術後早期に再増大した破裂椎骨動脈解離性動脈瘤の 1 例. 脳血管内治療 2017; 2 (Suppl.) :S318.
- 57) 山王直子, 田原重志, 大山健一, 石井雄道, 松野彰, 森田明夫, 寺本明 : パシレオチドによる難治性先端巨大症の治療経験. 日本間脳下垂体腫瘍学会プログラム・抄録集 2018; 28th:99.
- 58) 大橋豊, 太組一郎, 廣中浩平, 喜多村孝幸, 三品雅洋 : パーキンソン病に対する脳深部刺激術後, 運動症状と首下がりの著明な改善を認めた一例-理学療法士の立場から見た評価と介入-. 神奈川県理学療法士学会電子抄録集 2017; 34th:52 (WEB ONLY).
- 59) 井須 豊彦, 金 景成 : 上殿皮神経障害による腰痛. 臨床整形外科 2017; 52 (4) :349-355. doi: 10.11477/mf.1408200791.
- 60) 曾我 彬美, 福田 いずみ, 小林 俊介, 稲垣 恭子, 田原 重志, 石坂 栄太郎, 榎本 弘之, 長濱 清隆, 大橋 隆治, 和田 隆一, 井下尚子, 杉原 仁 : 下垂体後葉の前方に腫瘍性病変を認め Xanthomatous hypophysitis が疑われた 1 例. 日本内分泌学会雑誌 2017; 93 (Suppl.HPT) :101-103.
- 61) 高野 晋吾, 成田 善孝, 岩立 康男, 山口 文雄, 永根 基雄, 秋元 治朗, 岡 秀宏, 田中 聡, 山本 哲哉, 松村 明 : 中枢神経原発リンパ腫の MyD88 遺伝子変異と予後解析. Brain Tumor Pathology 2017; 34 (Suppl.) :107.
- 62) 福田いずみ, 田原重志, 杉原仁 : 先端巨大症の治療と長期予後. 日本間脳下垂体腫瘍学会プログラム・抄録集 2018; 28th:107.
- 63) 山王 直子, 田原 重志, 石井 雄道, 大山 健一, 松野 彰, 森田 明夫, 寺本 明 : 先端巨大症患者長期薬物治療による寛解例の検討. 日本内分泌学会雑誌 2017; 93 (1) :277.
- 64) 大山 健一, 石井 雄道, 廣畑 倫生, 渡邊 丈博, 田原 重志, 喜多村 孝幸, 森田 明夫, 寺本 明, 松野 彰 : 内視鏡下経鼻的手術の際の鼻腔機能温存のための工夫. 日本内分泌学会雑誌 2017; 93 (Suppl.HPT) :41-42.
- 65) 大山健一, 田原重志, 石井雄道, 廣畑倫生, 寺本明, 森田明夫, 松野彰 : 内視鏡下経鼻的手術の際の鼻腔機能温存のための工夫. 日本神経内視鏡学会プログラム・抄録集 2017; 24th:56.
- 66) 石井雄道, 渡邊丈博, 田原重志, 大山健一, 森田明夫, 寺本明, 松野彰 : 内視鏡下経鼻頭蓋底手術における縫合手技による完全な頭蓋底閉鎖. 日本脳腫瘍の外科学会プログラム・抄録集 2017; 22nd:102.
- 67) 石井 雄道, 蘇 ぎょく凱, 田原 重志, 森田 明夫, 大山 健一, 寺本 明, 松野 彰 : 再発ラトケ嚢胞に対する治療戦略. 日本内分泌学会雑誌 2017; 93 (Suppl.HPT) :32-34.
- 68) 大山健一, 田原重志, 展広智, 石井雄道, 松野彰, 寺本明, 森田明夫 : 前立腺癌に対する LH - RH アゴニスト投与により惹起された高齢者下垂体卒中の一例. 日本老年脳神経外科学会プログラム・抄録集 2017; 30th:74.
- 69) 諸江 雄太, 畝本 恭子, 田上 隆, 久野 将宗, 福田 令雄, 金子 純也, 田中 知恵, 工藤 小織, 柴田 あみ, 小柳 正雄 : 単なる転倒外傷でも頭部 CT 撮影は無難である. 日本外傷学会雑誌 2017; 31 (2) :296.
- 70) 高橋 史郎, 下山 隆, 熊谷 智昭, 須田 智, 大久保 誠二, 木村 和美, 守屋 慶一, 猪口 孝一, 石坂 栄太郎, 森田 明夫 : 原発性脳室内出血を契機に診断に至った孤発性先天性血友病 A の 77 歳男性例. 日本内科学会関東地方会 2017; 632 回:42.
- 71) 金 景成, 井須 豊彦, 國保 倫子, 森本 大二郎, 岩本 直高, 中嶋 隆夫 : 吸収性スクリューによる頸椎後方固定術の生体力学的研究. 日本脊髄障害医学会雑誌 2017; 30 (1) :120-121.
- 72) 大山健一, 廣畑倫生, 石井雄道, 田原重志, 山王なほ子, 寺本明, 森田明夫, 松野彰 : 嚢胞性下垂体偶発腫の治療指針. 日本間脳下垂

- 体腫瘍学会プログラム・抄録集 2018; 28th:88.
- 73) 野崎俊樹, 森本大二郎, 金景成, 喜多村孝雄, 國保倫子, 山口文雄, 井須豊彦, 森田明夫: 外側大腿皮神経障害に対して神経剥離術が有効であった1例. *Neurological Surgery 脳神経外科* 2017; 45 (5) :431-436.
- 74) 野崎 俊樹, 森本 大二郎, 金 景成, 喜多村 孝雄, 國保 倫子, 山口 文雄, 井須 豊彦, 森田 明夫: 外側大腿皮神経障害に対して神経剥離術が有効であった1例. *Neurological Surgery* 2017; 45 (5) :431-436.
- 75) 國保 倫子, 金 景成, 森本 大二郎, 井須 豊彦, 岩本 直高, 喜多村 孝雄, 森田 明夫: 外側大腿皮神経障害に対する手術治療経験. *末梢神経* 2017; 28 (2) :325.
- 76) 山田 裕士, 曾我 彬美, 山口 祐司, 長峯 朋子, 原田 太郎, 稲垣 恭子, 田原 重志, 福田 いずみ, 杉原 仁: 外転神経麻痺を伴ったIgG4関連下垂体炎に対してステロイドパルス療法を施行した1例. *日本内分泌学会雑誌* 2017; 93 (4) :1230.
- 77) 喜多村孝雄, 渡邊顕弘, 長谷川智宏, 立山幸次郎, 鈴木雅規, 廣中浩平, 足立好司, 松田潔, 森田明夫: 多発性骨折後早期に発症した脂肪塞栓による多発性脳梗塞の1例. *日本脳神経外傷学会プログラム・抄録集* 2018; 41st:126.
- 78) 金 景成, 井須 豊彦: 専門医に求められる最新の知識 脊椎脊髄 末梢神経治療の最新知見. *脳神経外科速報* 2018; 28 (3) :264-271.
- 79) 渡邊 顕弘, 松田 潔, 菊池 広子, 石丸 直樹, 秋山 豪, 城戸 教裕, 長谷川 智宏, 足立 好司, 立山 幸次郎, 鈴木 雅規, 廣中 浩平, 喜多村 孝雄: 当施設における頭部外傷症例へのイダルシズマップの使用経験. *日本脳神経外傷学会プログラム・抄録集* 2018; 41回:82.
- 80) 田原重志, 服部裕次郎, 石坂栄太郎, 大山健一, 石井雄道, 福田いずみ, 杉原仁, 寺本明, 森田明夫: 微小 ACTH 産生下垂体腺腫の治療成績一局在同定困難な症例の診断と治療一. *日本間脳下垂体腫瘍学会プログラム・抄録集* 2018; 28th:76.
- 81) 宮本 康平, 黒瀬 優介, 富木 勇嗣郎, 原田 香奈子, 中富 浩文, 斎藤 延人, 渡辺 英寿, 森田 明夫, 杉田 直彦, 光石 衛: 微細手術支援システムにおける顕微鏡拡大倍率とマスタ・スレーブ間動作倍率の協調に関する研究. *ロボティクス・メカトロニクス講演会講演概要集* 2017; 2017:2A1-O07. doi: 10.1299/jsmermd.2017.2A1-O07.
- 82) 渡瀬 絵里加, 梁井 由香子, 磯 博和, 山口 文雄, 樋口 直司, 朝倉 隆之, 森田 明夫: 悪性神経膠腫に対するアミノレブリン酸併用光線力学的治療による免疫チェックポイント因子への影響. *日本医科大学医学会雑誌* 2017; 13 (4) :248.
- 83) 梁井 由香子, 渡瀬 絵里加, 磯 博和, 山口 文雄, 樋口 直司, 朝倉 隆之, 森田 明夫: 悪性神経膠腫に対するアミノレブリン酸併用光線力学的治療の効果と線維芽細胞成長因子の役割. *日本医科大学医学会雑誌* 2017; 13 (4) :247.
- 84) 立澤 孝幸, 杉山 誠, 野村 素弘, 築山 敦, 馬場 栄一, 服部 裕次郎, 白銀 一貴, 廣中 浩平, 茂野 卓, 森田 明夫: 慢性硬膜下血腫 179 件における術後再発因子の検討. *日本脳神経外傷学会プログラム・抄録集* 2018; 41回:103.
- 85) 國本 健太, 立澤 孝幸, 杉山 誠, 茂野 卓, 森田 明夫: 慢性硬膜下血腫に対する one burr-hole and closed drainage system without irrigation 手術について. *日本脳神経外傷学会プログラム・抄録集* 2018; 41回:119.
- 86) 日高 可奈子, 足立 好司, 高山 幸芳, 築山 敦, 廣中 浩平, 立山 幸次郎, 太組 一朗, 高橋 弘: 慢性硬膜下血腫の術前および術後急性期における認知機能の特徴とその評価法について. *Journal of Japan Coma Society: JJCS* 2017; 26 (1) :99.
- 87) 諸江 雄太, 畝本 恭子, 田上 隆, 福田 令雄, 金子 純也, 柴田 あみ, 田中 知恵, 小柳 正雄, 久野 将宗, 工藤 小織: 救急隊による外傷患者の重症判断の精度は高められるか?. *日本外傷学会雑誌* 2017; 31 (2) :332.
- 88) 廣中浩平, 太組一朗, 足立好司, 森田明夫: 日本医科大学武蔵小杉病院における迷走神経刺激療法症例の検討. *てんかん研究* 2017; 35 (2) :639.
- 89) 川端 友徳, 森田 明夫, 原田 香奈子, 松永 忠雄, 鶴岡 典子, 芳賀 洋一: 最適な脳圧排のための光ファイバ圧力センサを搭載した脳べら. *東北支部総会・講演会 講演論文集* 2017; 2017 (0) :186. doi: 10.1299/jsmeth.2017.52.186.
- 90) 森田明夫: 未破裂脳動脈瘤. *日本医師会雑誌 特別号 生涯教育シリーズ 92 脳血管障害治療のエッセンス* 2017; 146:240-244.
- 91) 野崎俊樹, 森田明夫, 木村真人, 村井保夫, 水成隆之, 玉置智規, 立山幸次郎: 未破裂脳動脈瘤保有患者に対するインターネットを利用した情報提供のリスクコミュニケーション改善への試み. *日本脳ドック学会総会プログラム・抄録集* 2017; 26th
- 92) 坂田 義則, 波出石 弘, 田中 美千裕, 島田 健司, 門岡 慶介, 井手口 稔, 稲葉 眞貴: 末梢性中大脳動脈瘤の特徴および手術アプローチ. *脳卒中の外科* 2017; 45 (3) :183-188. doi: 10.2335/scs.45.183.
- 93) 藤木 悠, 鈴木 雅規, 小南 修史, 横田 裕行, 森田 明夫: 板間静脈へ流出する硬膜動静脈瘻に対して経動脈的塞栓術を行った一例. *脳血管内治療* 2017; 2 (Suppl.) :S206.
- 94) 成合 倫典, 金 景成, 河内 雅章, 石井 彰宏, 木戸 美佐, 井須 豊彦, 國保 倫子, 森本 大二郎, 岩本 直高, 森田 明夫: 研究 足根

- 管症候群のMRI診断 MRIによる足根管部の撮影条件に関する検討. *Neurological Surgery* 2018; 46 (1) :11-19.
- 95) 亦野文宏, 水成隆之, 藤木悠, 久保田麻沙美, 鈴木雅則, 小南修史, 村井保夫, 小林士郎, 森田明夫: 破裂脳動脈瘤に対する多角的アプローチと当施設における急性期治療の現状と展望. *Neurosurgical Emergency* 2017; 21 (3)
- 96) 森田 明夫: 神経線維腫2型症例の聴覚回復について 蝸牛インプラントと脳幹インプラント. *日本医科大学医学会雑誌* 2018; 14 (1) :6-7.
- 97) 大山健一, 廣畑倫生, 石井雄道, 田原重志, 寺本明, 森田明夫, 松野彰: 第三脳室近傍腫瘍に対する神経内視鏡手術. *日本脳腫瘍の外科学会プログラム・抄録集* 2017; 22nd:114.
- 98) 山下樹里, 田原重志, 森田明夫: 粘膜剥離操作の研修が可能な鼻中隔モデルの開発. *日本神経内視鏡学会プログラム・抄録集* 2017; 24th:117.
- 99) 森本大二郎, 森田明夫: 脊椎・脊髄腫瘍. *神経疾患最新の治療 2018-2020* 2018
- 100) 川端 友徳, 松永 忠雄, 鶴岡 典子, 芳賀 洋一, 森田 明夫, 原田 香奈子: 脳圧排量化のための光ファイバセンサを搭載した脳べら. 「センサ・マイクロマシンと応用システム」シンポジウム論文集 電気学会センサ・マイクロマシン部門 [編] 2017; 34:4p.
- 101) 鈴木 雅規, 小南 修史, 藤木 悠, 水成 隆之, 森田 明夫: 脳底動脈閉塞症例に対する治療戦略. *脳血管内治療* 2017; 2 (Suppl.) :S149.
- 102) 鈴木 亮矢, 森田 明夫, 光石 衛, 中澤 敦士, 上田 博明, 黒瀬 優介, 原田 香奈子, 杉田 直彦, 中富 浩文, 斉藤 延人, 渡辺 英寿: 脳深部手術支援システムにおける生体組織との衝突回避手法の開発. *ロボティクス・メカトロニクス講演会講演概要集* 2017; 2017 (0) :2A1-N12. doi: 10.1299/jsmermd.2017.2A1-N12.
- 103) 山口 文雄: 脳神経外科先端技術と地域医療システム. *日本医科大学医学会雑誌* 2017; 13 (4) :232.
- 104) 佐藤 俊, 額 健太, 森田 明夫: 脳血管内治療における大動脈弓の新たな分類. *脳血管内治療* 2017; 2 (Suppl.) :S134.
- 105) 村井保夫, 水成隆之, 鈴木紀成, 立山幸次郎, 額健太, 廣中公平, 亦野文宏, 白銀一貴, 森田明夫, 上山博康: 脳血管吻合術の基本手技とその20年間の変遷-上山博康先生にご指導いただいた手技と我々の応用-. *Neurosurgical Emergency* 2017; 21 (3) :285.
- 106) 小西 愛美, 苛原 隆之, 藤木 悠, 鈴木 剛, 米沢 光平, 中野 公介, 田上 正茂, 小川 太志, 直江 康孝: 膝管ドレナージによる内視鏡的治療が奏功したIIIb型外傷性膝損傷の一例. *日本救急医学会関東地方会雑誌* 2018; 39 (1) :130.
- 107) 村井 保夫, 水成 隆之, 鈴木 紀成, 立山 幸次郎, 額 健太, 廣中 浩平, 亦野 文宏, 白銀 一貴, 森田 明夫, 上山 博康: 虚血性合併症を予防するための脳血管吻合術の基本手技. *Neurosurgical Emergency* 2017; 22 (2) :85-92.
- 108) 服部 裕次郎, 田原 重志, 石坂 栄太郎, 森田 明夫: 術前診断が困難であった鞍上部血管芽腫の一例. *日本内分泌学会雑誌* 2017; 93 (2) :605.
- 109) 服部裕次郎, 田原重志, 山田理, 山口昌紘, 石坂栄太郎, 森田明夫: 術前診断が困難であった鞍上部血管芽腫の一例. *日本神経内視鏡学会プログラム・抄録集* 2017; 24th:70.
- 110) 服部裕次郎, 田原重志, 山田理, 山口昌紘, 石坂栄太郎, 森田明夫: 術前診断が困難であった鞍上部血管芽腫の一例. *日本間脳下垂体腫瘍学会プログラム・抄録集* 2018; 28th:121.
- 111) 田原重志, 服部裕次郎, 石坂栄太郎, 喜多村孝幸, 寺本明, 森田明夫: 被膜外摘出後にくも膜下出血・水頭症を来した非機能性下垂体腺腫の一例. *日本神経内視鏡学会プログラム・抄録集* 2017; 24th:95.
- 112) 梅岡克哉, 大村朋子, 山田敏男, 水成隆之, 田草川豊, 森田明夫: 責任血管がVII/VIIIを貫通していた顔面痙攣の手術工夫. *日本脳神経減圧術学会プログラム・抄録集* 2017; 20th
- 113) 成合倫典, 金景成, 河内雅章, 石井彰宏, 木戸美佐, 井須豊彦, 國保倫子, 森本大二郎, 岩本直高, 森田明夫: 足根管症候群のMRI診断: MRIによる足根管部の撮影条件に関する検討. *脳神経外科* 2018;11-19.
- 114) 村井保夫, 森田明夫, 石坂栄太郎, 築山敦, 梅沢裕己, 小川令: 遊離皮弁によるsecond free flapによる頭蓋底髄膜腫再建手術の経験. *日本脳腫瘍の外科学会プログラム・抄録集* 2017; 22nd
- 115) 柴田 あみ, 亦野 文宏, 山田 敏雅, 山口 昌紘, 馬場 栄一, 國保 倫子, 大村 朋子, 梅岡 克哉, 金 景成, 小南 修司, 水成 隆之, 村井 保夫, 森田 明夫, 横田 裕行: 重症頭部外傷子後予測因子としてのバイオマーカーの検討. *日本脳神経外傷学会プログラム・抄録集* 2018; 41回:93.
- 116) 岡本 彬美, 福田 いずみ, 小林 俊介, 田原 重志, 杉原 仁: 非機能性下垂体腺腫において下垂体機能低下症の重症度を反映する因子. *日本内分泌学会雑誌* 2017; 93 (1) :350.
- 117) 石井雄道, 田原重志, 森良介, 川村大地, 寺本明, 村山雄一, 森田明夫, 松野彰: 非機能性腺腫に対する腫瘍形態に基づいた摘出戦略.

日本脳下垂体腫瘍学会プログラム・抄録集 2018; 28th:74.

- 118)石坂 栄太郎, 村井 保夫, 築山 敦, 森田 明夫 : 頭部 CT における慢性硬膜下血腫の推定血腫量の測定法の比較. 日本脳神経外傷学会プログラム・抄録集 2018; 41 回:104.
- 119)直江 康孝, 鈴木 剛, 藤木 悠, 中江 竜太, 横田 裕行 : 頭部外傷合併多発外傷症例において頭蓋内出血増大をきたす因子の検討. 日本脳神経外傷学会プログラム・抄録集 2018; 41 回:92.
- 120)藤木 悠, 鈴木 剛, 苛原 隆之, 米沢 光平, 中野 公介, 小川 太志, 直江 康孝, 横田 裕行 : 頭部外傷症例における予後予測因子としての Glucose/K 比の有用性. 日本脳神経外傷学会プログラム・抄録集 2018; 41 回:129.
- 121)玉置 智規, 森田 明夫 : 頸動脈内膜摘出術の工夫と術中声帯筋電図モニタリング. 日本医科大学医学会雑誌 2017; 13 (2) :79-87.
- 122)崔祥大, 渡邊顕弘, 松田潔, 菊池広子, 石丸直樹, 城戸教裕, 長谷川智宏, 足立好司, 立山幸次郎, 鈴木雅規, 廣中浩平, 喜多村孝雄 : 髄液耳漏に対するスパイナルドレナージにて脳腫脹をきたした 1 例. 日本脳神経外傷学会プログラム・抄録集 2018; 41st:114.
- 123)亦野文宏, 水成隆之, 村井保夫, 玉置智規, 立山幸次郎, 谷川緑野, 上山博康, 小林士郎, 森田明夫 : 高齢者における未破裂脳動脈瘤外科治療の危険因子解析研究. 日本老年脳神経外科学会プログラム・抄録集 2017; 30th
- 124)亦野文宏, 水成隆之, 村井保夫, 玉置智規, 立山幸次郎, 小林士郎, 森田明夫 : 高齢者における未破裂脳動脈瘤外科治療の危険因子解析研究. 日本脳ドック学会総会プログラム・抄録集 2017; 26th
- 125)田中 伸一, 苛原 隆之, 藤木 悠, 鈴木 剛, 米沢 光平, 中野 公介, 田上 正茂, 小川 太志, 直江 康孝 : 高齢者に生じた腎盂腎炎からの血流感染が原因と考えられた大腸菌単独による壊死性筋膜炎の 1 例. 日本救急医学会関東地方会雑誌 2018; 39 (1) :127.
- 126)森田明夫, 亦野文宏, 立山幸次郎, 村井保夫, 玉置智規, 水成隆之 : 高齢者未破裂脳動脈瘤治療成績とエビデンス. 日本老年脳神経外科学会プログラム・抄録集 2017; 30th
- 127)立山幸次郎, 廣中浩平, 足立好司, 太組一朗, 喜多村孝幸, 森田明夫 : 高齢者頸部内頸動脈病変の治療と問題点について. 日本老年脳神経外科学会プログラム・抄録集 2017; 30th:65.

## 著書

- 1) 吉村 紳一, 伊達 勲, 森田 明夫, 菊田 健一郎 : Advanced 脳血管内治療 : 一歩上の治療を目指して. 2017, メジカルビュー社.
- 2) 亦野文宏, 森田明夫 : [共著] くも膜下出血治療の実際 : 開頭手術. INTENSIVIST. 2017; pp.861-870, メディカルサイエンスインターナショナル.
- 3) 森田 明夫, 伊達 勲, 菊田 健一郎 : Minimally invasive neurosurgery : up date : 脳・神経・外科低侵襲手術の今. 2017, メジカルビュー社.
- 4) 森本大二郎, 井須 豊彦 : [分担執筆] しびれ, 痛みの外来 Q&A—脊椎脊髄外来の疑問に答える. 2017, 中外医学社.
- 5) 寺尾 亨, 金 景成 : 外来で診る! 手足のしびれ・痛み診療. 2017, 日本医事新報社.
- 6) 森田明夫 : [序文] 新 NS NOW No.12 Minimally Invasive Neurosurgery : Up date-脳・神経・外科 低侵襲手術の今. 2017, 株式会社メジカルビュー社.
- 7) 森田明夫 : Minimally invasive surgery の歴史と展望. 新 NS NOW No.12 Minimally Invasive Neurosurgery : Up date-脳・神経・外科 低侵襲手術の今. 2017; pp.8-12, 株式会社メジカルビュー社.
- 8) 森田明夫, 伊達勲, 菊田健一郎 : [編集] 脳動静脈奇形治療のこれまでとこれから脳神経外科のエベレスト登山. 新 NS Now.10. 2017, Medical View 社.
- 9) 森田明夫 : [編集] Minimally Invasive Surgery : Up date. 新 NS Now.12. 2017, Medical View 社.
- 10) 新井 一, 井川 房夫, 森田 明夫 : [分担執筆] 脳血管障害 未破裂脳動脈瘤-高齢者の特徴と対応-. 老年脳神経外科診療マニュアル. 2018; pp.108-111, メジカルビュー社.
- 11) 伊達 勲, 森田 明夫, 菊田 健一郎 : 脳動静脈奇形治療のこれまでとこれから : 脳神経外科のエベレスト登山. 2017, メジカルビュー社.
- 12) 伊達 勲, 森田 明夫, 菊田 健一郎 : 脳室を征服する : アプローチとテクニックの王道. 2018, メジカルビュー社.

## 学会発表

- 1) 森田明夫 : 21 世紀の脳神経外科医 : 一考-全身管理・血圧管理の重要性を含めて-. 新三水会 (第 11 回) . (東京) , 2017. 9.

- 2) 大村朋子, 梅岡克哉, 水成隆之, 森田明夫 : 3D 人工骨モデルデーターによる術中ナビゲーションを使用し, 腫瘍摘出術と頭蓋形成術を 1 期的に施行した髄膜腫の 3 例. 一般社団法人日本脳神経外科学会学術総会 (第 76 回) . (名古屋), 2017. 10.
- 3) 足立好司, 山口文雄, 森田明夫, 高橋弘 : 8 種の抗腫瘍性サイトカインによる抗グリオーマ効果の解析. 脳腫瘍学会 (第 35 回) . (高松), 2017. 11.
- 4) 由井奏子, 森本大二郎, 喜多村孝雄, 金景成, 森田明夫 : CIDP に頸椎性脊髄症を合併していた 1 例. 一般社団法人日本脳神経外科学会学術総会 (第 76 回) . (愛知県), 2017. 10.
- 5) 阿部雅志, 富田尚樹, 藤井美華, 小南修史, 水成隆之, 森田明夫 : DSA 装置における画像表示遅延と撮影条件. 日本放射線技術学会秋季学術大会 (第 45 回) . (広島), 2017. 10.
- 6) 柴田あみ, 亦野文宏, 藤木悠, 水成隆之, 村井保夫, 横田裕行, 森田明夫 : Efficacy of thyrotropin releasing hormone analogue for protraction of consciousness due to aneurysmal subarachnoid hemorrhage. 第 76 回 日本脳神経外科学会総会, 2017. 10.
- 7) 金景成, 井須豊彦, 森本大二郎, 國保倫子, 岩本直高, 松本順太郎, 森田明夫 : FBSS 腰椎周辺疾患治療の役割について考える. 房総脊椎脊髄手術手技研究会 (第 14 回) . (千葉), 2017. 7.
- 8) 金景成, 井須豊彦, 國保倫子, 森本大二郎, 岩本直高, 森田明夫 : FBSS における傍腰椎疾患治療の果たす役割. 第 7 回低侵襲・内視鏡脊椎神経外科研究会, 2017. 7.
- 9) 築山敦, 足立好司, 廣中浩平, 立山幸次郎, 太組一朗, 安斎眞一, 山口文雄, 森田明夫 : Neurohypophyseal germinomal にみられる無汗症の解析. 一般社団法人日本脳神経外科学会学術総会 (第 76 回) . (名古屋), 2017. 10.
- 10) 水成隆之, 亦野文宏, 山田敏雅, 玉置智規, 村井保夫, 立山幸次郎, 瀬藤健太, 白銀一貴, 久保田麻紗美, 森田明夫 : RA グラフト術を安全に行うための種々のチェックポイントとトラブルシューティング. 脳卒中の外科学会学術集会 (第 47 回) . (福岡), 2018. 3.
- 11) 森田明夫 : UCAS-JAPAN 発表後の未破裂脳動脈瘤への対応と課題. 一般社団法人日本脳神経外科学会学術総会 (第 76 回) . (名古屋), 2017. 10.
- 12) 田原重志, 森田明夫 : 「手技の定量化を目指して」-医工連携の道程-. 日本コンピュータ外科学会 (第 26 回) . (愛知県), 2017. 10.
- 13) 森田明夫 : 【指定発言】老年脳神経外科診療ガイドライン構築の必要性. 日本老年脳神経外科学会 (第 31 回) . (東京), 2018. 2.
- 14) 柴田あみ, 亦野文宏, 久保田麻紗美, 山田敏雅, 國保倫子, 大村朋子, 鈴木敏雅, 梅岡克哉, 金景成, 小南修史, 水成隆之, 森田明夫 : くも幕下出血における酒石酸プロチレリン (TRH-T) の有用性とその特徴に関する解析. 日本脳神経外科学会学術総会 (第 76 回) . (名古屋), 2017. 10.
- 15) 柴田あみ, 亦野文宏, 藤木悠, 水成隆之, 村井保夫, 横田裕行, 森田明夫 : くも膜下出血における酒石酸プロチレリン (TRH-T) の有効性とその特徴に関する解析. STROKE 2018. (東京), 2018. 3.
- 16) 藤木悠, 亦野文宏, 水成隆之, 村井保夫, 立山幸次郎, 瀬藤健太, 久保田麻紗美, 小林士郎, 横田裕行, 森田明夫 : くも膜下出血予後予測因子としての glucose/ K ratio の有用性. 日本救急医学会総会・学術集会 (第 45 回) . (大阪), 2017. 10.
- 17) 藤木悠, 亦野文宏, 水成隆之, 村井保夫, 立山幸次郎, 瀬藤健太, 久保田麻紗美, 小林士郎, 横田裕行, 森田明夫 : くも膜下出血予後予測因子としての glucose/ K ratio の有用性. 日本脳卒中学会学術集会 (第 43 回) . (福岡), 2018. 3.
- 18) 太組一朗, 饒波正博, 嘉手川淳, 足立好司, 川上康彦, 岸泰宏, 森田明夫 : てんかん医療の圏内均てん化 神奈川県と沖縄県における拠点施設に対する紹介患者医療圏分布からの考察. 第 51 回日本てんかん学会学術集会. (京都), 2017. 11.
- 19) 小田一徳, 榎本弘幸, 山口文雄, 森田明夫 : てんかん発作コントロールに苦慮した長期罹患神経腫の 1 例. BTSG (Brain Tumor Study Group) 研究会. (東京都), 2017. 7.
- 20) 國保倫子, 金景成, 井須豊彦, 岩本直高, 森本大二郎, 喜多村孝雄, 森田明夫 : はじめての外側大腿皮神経障害. 第 1 回末梢神経の外科研究会, 2017. 4.
- 21) 足立好司, 山口文雄, 森田明夫 : アバスチンの臨床意義について. 千駄木脳腫瘍研究会 (第 7 回) . (川崎), 2017. 6.
- 22) 野崎俊樹, 浦裕之, 太組一朗, 丸柴一, 小林士郎, 森田明夫 : キンドリングてんかん焦点形成に対する ATII 受容体拮抗薬 (Losartan) の抑制効果. 日本てんかん学会総会 (第 51 回) . (京都), 2017. 11.
- 23) 水成隆之, 亦野文宏, 山田敏雅, 玉置智規, 村井保夫, 立山幸次郎, 瀬藤健太, 白銀一貴, 久保田麻紗美, 森田明夫 : クモ膜下出血で発症した内頸動脈 blister like aneurysm に対する Trap & RA graft による治療の有用性. 脳神経外科手術と機器学会 (第 26 回) . (愛知), 2017. 4.



- 24) 野崎俊樹, 浦裕之, 太組一朗, 丸栄一, 小林士郎, 森田明夫: ラット扁桃核キンドリングモデルにおける Losartan の効果の検討. 一般社団法人日本脳神経外科学会学術総会 (第 76 回). (名古屋), 2017. 10.
- 25) 喜多村孝雄, 足立好司, 立山幸次郎, 鈴木雅規, 廣中浩平, 森田明夫: 上衣下巨細胞性星細胞腫合併結節性硬化症に生じた放射線誘発グリオーマの治療例. 神奈川脳腫瘍フォーラム (第 35 回). (横浜), 2018. 3.
- 26) 馬場 栄一: 中大脳動脈瘤に対する我々のクリップワークの特徴について. 第 47 回 日本脳卒中の外科学会, 2018. 3.
- 27) 金景成, 井須豊彦, 國保倫子, 森本大二郎, 岩本直高: 中殿皮神経障害の治療が有効であったパーキンソン病に併発した腰下肢痛の 1 例. 第 52 回日本脊髄障害医学会, 2017. 11.
- 28) 田原重志, 石坂栄太郎, 服部裕次郎, 大山健一, 石井雄道, 寺本明, 森田明夫: 今更だけど下垂体腫瘍は本当に内視鏡がいいのか, それとも顕微鏡なのか? 内視鏡術者の立場から. 一般社団法人日本脳神経外科学会第 76 回学術総会 (第 78 回). (愛知県), 2017. 10.
- 29) 田原重志, 石坂栄太郎, 服部裕次郎, 大山健一, 石井雄道, 寺本明, 森田明夫: 内視鏡下経鼻的手術における新たな ICG 蛍光内視鏡 (KARL STORZ NIR/ICG-System) の有用性. 日本頭蓋底外科学会 (第 29 回). (長野県), 2017. 6.
- 30) 水成隆之, 亦野文宏, 山田敏雅, 玉置智規, 村井保夫, 立山幸次郎, 額綱健太, 白銀一貴, 久保田麻紗美, 森田明夫: 内頸動脈解離 (IC terminal dissecting neurysm / IC blister like aneurysm) に対する治療. 脳卒中の外科学会学術集会 (第 47 回). (福岡県), 2018. 3.
- 31) 森田明夫: 出血性血管障害病変「無症候性血管病変の自然経過と治療の適応」. 日本脳神経外科コンgres (第 37 回). (横浜), 2017. 5.
- 32) 立山幸次郎, 喜多村孝雄, 廣中浩平, 鈴木雅規, 足立好司, 森田明夫: 動脈硬化性頭蓋内動脈狭窄における STA-MCA 吻合術の標準術式確立に向けて. 日本脳卒中の外科学会 (第 47 回). (福岡), 2018. 3.
- 33) 足立好司, 崎村耕二, GautamD, 安武正弘, 山口文雄, 森田明夫: 医学生に対する英語医療面接実習の学習効果評価. 日本脳神経外科学会学術総会 (第 76 回). (名古屋), 2017. 10.
- 34) 諸江雄太, 畝本恭子, 田上隆, 久野将宗, 福田令雄, 金子純也, 田中知恵, 工藤小織, 柴田あみ, 小柳正雄: 単なる転倒外傷でも頭部 CT 撮影は無難である. 日本外傷学会, 2017. 5.
- 35) 鈴木雅規, 柴田あみ, 亦野文宏, 國保倫子, 大村朋子, 山田敏雅, 梅岡克哉, 金景成, 小南修史, 水成隆之, 小田一徳, 久保田麻紗美, 森田明夫: 地域基幹病院における ESUS の検出率及びその背景. 第 43 回日本脳卒中学会. (福岡), 2018. 3.
- 36) 國保倫子, 金景成, 森本大二郎, 井須豊彦, 岩本直高, 喜多村孝雄, 森田明夫.: 外側大腿皮神経障害に対する手術治療経験. 第 28 回日本末梢神経学会学術集会, 2017. 8.
- 37) 森本大二郎, 金景成, 喜多村孝雄, 國保倫子, 松本順太郎, 岩本直高, 井須豊彦, 森田明夫.: 外側大腿皮神経障害の外科的治療成績. 第 32 回日本脊髄外科学会, 2017. 6.
- 38) 國保倫子, 金景成, 井須豊彦, 森本大二郎, 岩本直高, 喜多村孝雄, 森田明夫.: 外来腰痛患者における腰椎周辺疾患に関する前向き研究. 第 32 回日本脊髄外科学会, 2017. 6.
- 39) 梅岡克哉, 大村朋, 水成隆之, 小林士郎, 森田明夫: 小脳橋角部神経鞘腫による顔面痙攣の 1 例. 日本頭蓋底外科学会 (第 29 回), 2017. 6.
- 40) 廣中浩平, 太組一朗, 大橋豊, 饒波正博, 嘉手川淳, 足立好司, 森田明夫: 局所麻酔下での GPi-DBS 手術がターゲットの決定に有効であった遅発性ジストニアの 2 例. 第 57 回日本定位・機能神経外科学会, 2018. 1.
- 41) 田原重志, 服部裕次郎, 石坂栄太郎, 大山健一, 石井雄道, 福田いづみ, 杉原仁, 寺本明, 森田明夫: 微小 ACTH 産生下垂体腺腫の治療成績 - 局在同定困難な症例の診断と治療 -. 日本間脳下垂体腫瘍学会 (第 28 回). (浜松), 2018. 2.
- 42) 岩本直高, 井須豊彦, 金景成, 森本大二郎, 國保倫子, 内海喜晴, 山田創, 松野彰: 手根管症候群に対する我々の手術法. 第 1 回末梢神経の外科研究会, 2017. 4.
- 43) 太組一朗, 高柳俊作, 森田明夫, 齊藤延人: 手術器機トラッキングシステムの有用性 脳神経外科手術における予見不能な CJD インシデントへの対応. 脳神経外科手術と機器学会 (CNTT2017) (第 26 回). (山梨), 2017. 4.
- 44) 廣中浩平, 太組一朗, 足立好司, 森田明夫: 日本医科大学武蔵小杉病院における成人症例に対する迷走神経刺激療法の検討. 第 76 回日本脳神経外科学会学術総会, 2017. 10.
- 45) 廣中浩平, 太組一朗, 足立好司, 森田明夫: 日本医科大学武蔵小杉病院における迷走神経刺激療法症例の検討. 第 51 回日本てんかん学会学術集会, 2017. 11.
- 46) 森田明夫: 未破裂脳動脈瘤の疫学と治療: 脂質管理を含めて. 大阪 CVD 研究会 (第 11 回). (大阪), 2017. 11.

- 47) 森田明夫：未破裂脳動脈瘤の破裂・治療リスクの検証. 日本脳ドック学会総会（第 26 回）.（福岡）,2017. 6.
- 48) 小南修史, 鈴木雅規, 渡辺玲, 森田明夫：未破裂脳動脈瘤奇形に対する NBCA を用いた血管内治療の治療成績. 一般社団法人日本脳神経外科学会学術総会（第 76 回）,2017. 10.
- 49) 森元大二郎, 金景成, 喜多村孝雄, 岩本直高, 松本順太郎, 國保倫子, 井須豊彦, 森田明夫：末梢神経障害手術を行う上での工夫とその有用性. 日本脳神経外科学会学術総会（第 76 回）.（愛知）,2017. 10.
- 50) 藤木悠, 小南修史, 鈴木雅規, 森田明夫：板間静脈へ流出する硬膜動静脈瘻に対して経動脈的塞栓術を行った 1 例. NPO 法人日本脳血管内治療学会学術総会（第 33 回）.（東京）,2017. 11.
- 51) 水成隆之, 亦野文宏, 山田敏雅, 山口昌紘, 馬場栄一, 柴田あみ, 玉置智規, 村井保夫, 立山幸次郎, 額綱健太, 白銀一貴, 久保田麻紗美, 森田明夫：治療困難な内頸動脈瘤に対する外科治療とその成績. 一般社団法人 日本脳神経外科学会学術総会（第 76 回）.（愛知県）,2017. 10.
- 52) 金景成, 國保倫子, 森本大二郎, 岩本直高, 井須豊彦, 森田明夫：特発性腰椎椎弓骨折の 1 例. 第 12 回東京脊髄倶楽部,2018. 1.
- 53) 亦野文宏, 水成隆之, 村井保夫, 玉置智規, 立山幸次郎, 藤木悠, 久保田麻紗美, 谷川緑野, 上山博康, 小林士郎, 森田明夫：眼症状を有する大型巨大内頸動脈瘤の Flow Alteration を用いた治療戦略と機能予後の解析. 日本頭蓋底外科学会（第 29 回）.（長野）,2017. 6.
- 54) 佐藤俊, 喜多村孝幸, 森田明夫：硬膜下血腫合併脳脊髄液漏出症の明確な治療法の確立ガイドライン作成へ向けた明確な指標. 一般社団法人日本脳神経外科学会学術総会（第 76 回）.（名古屋）,2017. 10.
- 55) 佐藤俊, 喜多村孝幸, 森田明夫：硬膜下血腫合併脳脊髄液漏出症の明確な治療法の確立ガイドライン作成へ. 日本頭痛学会総会（第 45 回）.（大阪）,2017. 11.
- 56) 國保倫子, 金景成, 井須豊彦, 森本大二郎, 岩本直高, 喜多村孝雄, 森田明夫：硬膜外麻酔が一因と思われた脊髄硬膜外血腫の 1 例. 第 32 回日本脊髄外科学会,2017. 6.
- 57) 森田明夫：神経線維腫症 2 型の聴覚温存と再建. 多摩脳神経外科懇話会（第 55 回）.（東京）,2017. 5.
- 58) 國保倫子, 金景成, 井須豊彦, 岩本直高, 森本大二郎, 喜多村孝雄, 森田明夫：絞扼性末梢神経障害が患者 QOL へ及ぼす影響に関する研究. 日本脳神経外科学会第 76 回学術総会,2017. 10.
- 59) 國保倫子, 金景成, 井須豊彦, 岩本直高, 森本大二郎, 喜多村孝雄, 森田明夫：絞扼性末梢神経障害が高齢患者の QOL に及ぼす影響に関する研究. 第 31 回日本老年脳神経外科学会,2018. 2.
- 60) 金景成, 井須豊彦, 國保倫子, 森本大二郎, 松本順太郎, 喜多村孝雄, 森田明夫：絞扼性末梢神経障害に対する基本外科治療. 日本脳神経外科コンgres総会（第 37 回）.（横浜）,2017. 5.
- 61) 岩本直高, 井須豊彦, 金景成, 森本大二郎, 國保倫子, 内海喜晴, 山田創, 松野彰：絞扼性総腓骨神経障害の治療が奏功した高齢者 FBSS の 1 例. 第 7 回低侵襲・内視鏡脊髄神経外科研究会,2017. 7.
- 62) 山田敏雅, 鈴木雅規, 小南修史, 亦野文宏, 藤木悠, 久保田麻紗美, 小田一徳, 柴田あみ, 水成隆之, 森田明夫：緊急 CAS の 1 か月後に発症したステント部巨大仮性動脈瘤の 1 例. 一般社団法人日本脳神経外科学会学術総会（第 76 回）.（名古屋）,2017. 10.
- 63) 山田敏雅, 鈴木雅規, 小南修史, 亦野文宏, 藤木悠, 久保田麻紗美, 小田一徳, 柴田あみ, 水成隆之, 森田明夫：緊急 CAS の 1 か月後ステント留置部に発生した巨大仮性動脈瘤の 1 例. 日本脳神経外科学会関東支部学術集会（第 134 回）.（東京）,2017. 12.
- 64) 喜多村孝雄, 金景成, 森本大二郎, 國保倫子, 岩本直高, 井須豊彦, 森田明夫：総腓骨神経の絞扼性障害における dynamic factor の検討. 日本脳神経外科学会学術総会（第 76 回）.（愛知）,2017. 10.
- 65) 鈴木雅規, 藤木悠, 亦野文宏, 小南修史, 水成隆之, 森田明夫：繰り返し発症した急性期主幹動脈閉塞に対し, 機械的血栓回収術を各々施行した 1 例. 日本脳神経血管内治療学会関東地方会学術集会（第 14 回）.（東京）,2017. 6.
- 66) 足立好司, 山口文雄, 樋口直司, 森田明夫：胚細胞性腫瘍の治療効果. 千駄木脳腫瘍カンファレンス（第 6 回）.（東京）,2017. 7.
- 67) 木暮一成, 山崎道生, 玉置智規, 井須豊彦, 森田明夫：脊椎基本手技～前方固定術における低侵襲の工夫. 脳神経外科手術と機器学会（第 26 回）.（山梨）,2017. 4.
- 68) 岩本直高, 井須豊彦, 金景成, 森本大二郎, 國保倫子, 松野彰：脊椎術後の FBSS に腓骨神経障害の治療が奏功した 1 例. 第 1 回橘桜脊椎脊髄研究会,2017. 10.
- 69) 鈴木雅規, 小南修史, 水成隆之, 藤木悠, 森田明夫：脳低動脈閉塞症例に対する治療戦略. 日本脳神経血管内治療学会（第 33 回）.（東京）,2017. 11.

- 70) 森田明夫：脳動脈瘤に対する脳ドックの貢献と今後の方向性：5つの課題. 日本脳卒中の外科学会学術集会（第47回）.（福岡）,2018.3.
- 71) 足立好司, 立山幸次郎, 鈴木雅規, 廣中浩平, 喜多村孝雄, 山口文雄, 森田明夫：脳室上衣下巨細胞性星細胞腫に対する放射線治療後に発生した悪性神経膠腫の治療症例. 文京脳腫瘍研究会（第28回）.（東京）,2018.2.
- 72) 金景成, 井須豊彦, 森本大二郎, 岩本直高, 國保倫子, 松本順太郎, 菅原淳, 石垣大哉, 森田明夫：脳神経外科医として知るべき末梢神経障害. 日本脳神経外科学会学術総会（第76回）.（愛知）,2017.10.
- 73) 森田明夫：脳神経外科手術の失敗と対処・予防：二度と同じことを来さぬように. 手技にこだわる脳神経外科ビデオカンファレンス（第5回）.（東京）,2018.1.
- 74) 森田明夫：脳神経疾患.JAMEP 総合診療スキルアップセミナー.（東京）,2017.7.
- 75) 小田一徳, 山口文雄, 樋口直司, 森田明夫：脳腫瘍患者の補足運動野症候群からの回復メカニズム—トラクトグラフィによる機能回復術前予測の試み. ニューロ・オンコロジーの会（第53回）.（東京）,2017.8.
- 76) 小田一徳, 山口文雄, 樋口直司, 森田明夫：脳腫瘍患者の補足運動野症候群からの回復メカニズム—トラクトグラフィによる機能回復術前予測の試み—. 千駄木脳腫瘍研究会.（東京）,2017.6.
- 77) 森田明夫：脳腫瘍手術における合併症と回避・対策. 道南脳神経外科懇話会（第116回）.（函館）,2017.11.
- 78) 森田明夫：脳腫瘍手術における血管系合併症：おこった時の対応と予防. 富山マイクロ手術道場.（富山）,2017.9.
- 79) 山口文雄, 樋口直司, 喜多村孝雄, 大村朋子, 展広智, 足立好司, 森田明夫：脳腫瘍摘出術における脳虚血を意識した術中神経路モニタリング. 一般社団法人日本脳神経外科学会学術総会（第76回）.（愛知県）,2017.10.
- 80) 佐藤俊, 瀬戸健太, 森田明夫：脳血管内治療における大動脈弓の新たな分類.NPO 法人日本脳神経血管内治療学会学術総会（第33回）.（東京都）,2017.11.
- 81) 岩本直高, 井須豊彦, 金景成, 森本大二郎, 國保倫子, 松本順太郎, 山内朋裕, 磯部正則, 松野彰：腰椎変性側弯を伴う腰下肢痛に対する治療. 第32回日本脊髄外科学会,2017.6.
- 82) 岩本直高, 井須豊彦, 金景成, 森本大二郎, 國保倫子, 松本順太郎, 山内朋裕, 磯部正則, 松野彰：腰椎変性側弯を伴う腰下肢痛への治療. 日本脳神経外科学会第76回学術総会,2017.10.
- 83) 岩本直高, 井須豊彦, 金景成, 森本大二郎, 國保倫子, 松本順太郎, 山内朋裕, 磯部正則, 松野彰：腰椎疾患を有した腰椎周辺疾患への治療成績. 第32回日本脊髄外科学会,2017.6.
- 84) 岩本直高, 井須豊彦, 金景成, 森本大二郎, 國保倫子, 森田明夫：腰部疾患と高安動脈炎を有する高齢者足底部痛に対し足根管症候群の治療が奏功した1例. 第12回東京脊髄倶楽部,2018.1.
- 85) 梅岡克哉, 田草川豊, 森田明夫：舌咽神経痛と三叉神経痛の鑑別困難症例に対する手術方法. 脳神経外科手術と機器学会（第26回）.（山梨県）,2017.4.
- 86) 立山幸次郎, 喜多村孝雄, 廣中浩平, 鈴木雅規, 足立好司, 森田明夫：舞踏病様運動にて発症した成人もやもや病の1例. 日本脳神経外科学会関東支部学術集会（第134回）.（東京）,2017.12.
- 87) 白銀一貴, 玉置智規, 山崎道生, 森田明夫：血栓回収術後の主幹動脈再狭窄に対して EC-IC バイパスにて治療した1例. 日本脳卒中学会学術集会（第47回）.（福岡）,2018.3.
- 88) 鈴木雅規, 小南修史, 水成隆之, 藤木悠, 森田明夫：血栓回収術時代の脳底動脈閉塞に対する治療戦略—どこまで治療適応とすべきか—. 一般社団法人日本脳神経外科学会学術総会（第76回）.（名古屋）,2017.10.
- 89) 服部裕次郎, 田原重志, 石坂栄太郎, 森田明夫：術前診断が困難であった鞍上部血管芽腫の1例. 臨床内分泌代謝 Update（第27回）.（兵庫県）,2017.11.
- 90) 服部裕次郎, 田原重志, 山田理, 山口昌紘, 石坂栄太郎, 森田明夫：術前診断が困難であった鞍上部血管芽腫の1例. 日本間脳下垂体腫瘍学会（第28回）.（浜松）,2018.2.
- 91) 小田一徳, 樋口直司, 山口文雄, 森田明夫：補足運動野症候群の臨床的経過とその回復メカニズム—トラクトグラフィによる機能回復術前予測の試み—. 一般社団法人日本脳神経外科学会学術総会（第76回）.（名古屋）,2017.10.
- 92) 梅岡克哉, 大村朋子, 山田敏雅, 水成隆之, 森田明夫：責任血管が VII/VIII を貫通していた顔面痙攣の手術工夫. 日本脳神経減圧術学会（第20回）.（奈良）,2018.1.
- 93) 國保倫子, 金景成, 井須豊彦, 岩本直高, 森本大二郎, 喜多村孝雄, 森田明夫：超高齢者の難治性腰下肢痛に対する新たな治療の試み.

第 30 回日本老年脳神経外科学会, 2017. 4.

- 94) 成合倫典, 金景成, 河内雅章, 石井彰宏, 木戸美佐, 井須豊彦, 國保倫子, 森本大二郎, 岩本直高, 森田明夫 : 足根管症候群に対する MRI 撮影に関する検討. 日本脊髄外科学会 (第 32 回) . (大阪) , 2017. 6.
- 95) 柴田あみ, 亦野文宏, 山田敏雅, 山口昌紘, 馬場栄一, 國保倫子, 大村朋子, 梅岡克哉, 金景成, 小南修司, 水成隆之, 村井保夫, 森田明夫, 横田裕行 : 重症頭部外傷予後予測因子としてのバイオマーカーの検討. 日本脳神経外傷学会 (第 41 回) . (東京) , 2018. 2.
- 96) 國保倫子, 金景成, 井須豊彦, 岩本直高, 森本大二郎, 森田明夫 : 院内発症の高齢者胸椎硬膜外血腫の 1 例. 千駄木脊髄倶楽部, 2018. 2.
- 97) 梅岡克哉, 田草川豊, 小林士郎, 森田明夫 : 静脈の圧迫も考えられた三叉神経痛の手術方法. 一般社団法人日本脳神経外科学会学術総会 (第 76 回) . (名古屋) , 2017. 10.
- 98) 尾関友博, 村井保夫, 玉置智規, 築山敦, 立山幸次郎, 喜多村孝雄, 樋口直司, 山口昌紘, 石坂栄太郎, 水成隆之, 亦野文宏, 森田明夫 : 頸部術後皮下出血の trouble shooting. 一般社団法人日本脳神経外科学会学術総会 (第 76 回) . (愛知県) , 2017. 10.
- 99) 樋口直司, 山口文雄, 森田明夫 : 頭蓋外転移を来し致死的経過を辿った神経膠芽腫の 2 症例. 東京脳腫瘍治療懇話会 (第 33 回) . (東京) , 2017. 6.
- 100) 玉置智規, 山崎道生, 斎藤寛浩, 梅岡克也, 立山幸次郎, 水成隆之, 森田明夫 : 頸動脈内膜摘出術における迷走神経刺激と声帯筋電図モニタリング : 単極刺激装置, 連続刺激装置および経頭蓋刺激法の比較. 一般社団法人日本脳神経外科学会第 76 回学術総会 (第 76 回) . (名古屋) , 2017. 10.
- 101) 木暮一成, 森田明夫, 井須豊彦 : 頸椎椎弓形成術にチタン製スパーサーを用いる意義, その中期的フォロー. 日本脊椎・脊髄神経手術手技学会 (第 24 回) . (新潟) , 2017. 9.
- 102) 梅岡克哉, 大村朋子, 水成隆之, 小林士郎, 森田明夫 : 顔面痙攣で発症した小脳橋角部神経鞘腫の 1 例. 日本頭蓋底外科学会 (第 29 回) . (長野) , 2017. 6.
- 103) 村井保夫, 森田明夫, 築山敦, 石坂栄太郎, 水成隆之, 久保田麻紗美, 玉置智規 : 顕微鏡手技修練の客観的評価法としての 5 minutes championship. 新三水会 (第 11 回) . (東京) , 2017. 9.
- 104) 立山幸次郎, 喜多村孝雄, 廣中浩平, 鈴木雅規, 足立好司, 森田明夫 : 高位頸部内頸動脈狭窄症に対する術式の工夫. 第 47 回日本脳卒中の外科学会. (福岡) , 2018. 3.
- 105) 亦野文宏, 水成隆之, 玉置智規, 村井保夫, 立山幸次郎, 森田明夫 : 高齢者における未破裂脳動脈瘤外科治療危険因子の解析研究. 日本脳ドック学会 (第 26 回) . (福岡) , 2017. 6.
- 106) 岩本直高, 井須豊彦, 金景成, 森本大二郎, 國保倫子, 山田創, 松野彰 : 高齢者の Failed back surgery syndrome に対して腓骨神経障害の治療が奏功した 1 例. 第 30 回日本老年脳神経外科学会, 2017. 4.
- 107) 木暮一成, 玉置智規, 山崎道生, 井須豊彦, 森田明夫 : 高齢者変形性頸椎症に対する手術方針. 一般社団法人日本脳神経外科学会学術総会 (第 76 回) . (名古屋) , 2017. 10.
- 108) 森田明夫 : 高齢者未破裂脳動脈瘤治療成績とエビデンス. 日本老年脳神経外科学会 (第 30 回) . (東京) , 2017. 4.

## 20 整形外科学分野

### 研究業績

#### 論文等

- 1) 水野 祥寛, 北川 泰之, 山岡 卓司, 角田 隆, 大橋 隆治, 高井 信朗 : 13 歳男児に発生した大腿部粘液型脂肪肉腫の 1 例. 東日本整形災害外科学会雑誌 2017; 29 (3) :342.
- 2) Yasushi Oshima, Norishige Iizawa, Tatsunori Kataoka, Tokifumi Majima, Shinro Takai : A computed-tomography-scan-based template to place the femoral component in accurate rotation with respect to the surgical epicondylar axis in total knee arthroplasty. *The Knee* 2018; 25 (1) :195-202. doi: 10.1016/j.knee.2017.11.009.
- 3) 南野 光彦, 小寺 訓江, 友利 裕二, 萩原 祐介, 園木 謙太郎, 高井 信朗 : A.L.P.S.Elbow Plating System を用いた上腕骨遠位端骨折に対する手術治療. 日本肘関節学会雑誌 2018; 25 (1) :S102.
- 4) Hiroshi Hashiguchi, Satoshi Iwashita, Atsushi Okubo, Shinro Takai : Arthroscopic Removal and Tendon Repair for Refractory Rotator Cuff Calcific Tendinitis of the Shoulder. *Journal of Nippon Medical School = Nippon Ika Daigaku zasshi* 2017; 84 (1) :19-24. doi: 10.1272/jnms.84.19.
- 5) Kenji Takahashi, Sanshiro Hashimoto, Shinji Kiuchi, Atsuya Watanabe, Hiroshi Nakamura, Futoshi Ikuta, Tomoyuki Okuaki, Tatsunori Kataoka, Tokifumi Majima, Shinro Takai : Bone morphological factors influencing cartilage degeneration in the knee. *Modern rheumatology* 2018; 28 (2) :351-357. doi: 10.1080/14397595.2017.1332539.
- 6) 大島康史, 飯澤典茂, 片岡達紀, 眞島任史, 高井信朗 : CT テンプレートを用いた人工膝関節置換術における大腿骨コンポーネント回旋の決定法. 日本整形外科学会雑誌 2018; 92 (3) :S588.
- 7) 南野 光彦, 小寺 訓江, 友利 裕二, 萩原 祐介, 高井 信朗 : Complex elbow instability の治療戦略 肘関節 varus posteromedial rotatory injury の治療成績. 日本手外科学会雑誌 2017; 34 (1) :S544.
- 8) 丸山 剛, 橋口 宏, 岩下 哲, 大久保 敦, 米田 稔, 高井 信朗 : Cuff tear arthropathy に対するリバーズ型人工肩関節後の肩甲下筋腱の修復状態. 肩関節 2017; 41 (2) :578-580.
- 9) Mitsuhiko Nanno, Norie Kodera, Yuji Tomori, Yusuke Hagiwara, Shinro Takai : Electrophysiological Assessment for Splinting in the Treatment of Carpal Tunnel Syndrome. *NEUROLOGIA MEDICO-CHIRURGICA* 2017; 57 (9) :472-480. doi: 10.2176/nmc.oa.2017-0075.
- 10) Toru Yoshioka, Nobukazu Okimoto, Yoshifumi Fuse, Makoto Kawasaki, Toshiharu Mori, Akinori Sakai, Tokifumi Majima : In-vivo postoperative motion analysis of metal and ceramic bipolar hip hemiarthroplasty. *Journal of Orthopaedic Science* 2018; 23 (2) :371-376. doi: 10.1016/j.jos.2017.11.015.
- 11) Tomori Y, Ohashi R, Sawaizumi T, Naito Z, Nanno M, Takai S : Intramuscular Epithelioid Sarcoma Presenting as Extrinsic Flexor Tightness in the Forearm. *The Journal of hand surgery* 2018 doi: 10.1016/j.jhsa.2018.02.020.
- 12) Yuji Tomori, Ken Takumi, Norio Iijima, Shinro Takai, Hitoshi Ozawa : Kisspeptin expression is decreased in the arcuate nucleus of hypothyroid female rats with irregular estrus cycles. *NEUROSCIENCE RESEARCH* 2017; 117:35-41. doi: 10.1016/j.neures.2016.11.005.
- 13) Mitsuhiko Nanno, Norie Kodera, Yuji Tomori, Yusuke Hagiwara, Shinro Takai : Median nerve movement in the carpal tunnel before and after carpal tunnel release using transverse ultrasound. *Journal of Orthopaedic Surgery* 2017; 25 (3) :2309499017730422. doi: 10.1177/2309499017730422.
- 14) Tomori Y, Sawaizumi T, Mitsuhiko N, Takai S : Medium-term outcome of closed radial wedge osteotomy of the distal radius for Preiser disease with concomitant Kienböck disease: Two case reports and a literature review. *Medicine* 2017; 96 (48) :e9002. doi: 10.1097/MD.0000000000009002.
- 15) Yasushi Oshima, Norishige Iizawa, Shinro Takai : Midterm Result of Arthroscopic Bicruciate Ligament Sutures for Multiligament Knee Injury in an Adolescent Patient. *JOURNAL OF NIPPON MEDICAL SCHOOL* 2017; 84 (6) :301-303. doi: 10.1272/jnms.84.301.
- 16) Naoki Seito, Tomohiro Onodera, Yasuhiko Kasahara, Eiji Kondo, Norimasa Iwasaki, Tokifumi Majima : Preoperative knee deformity and kinematics impact postoperative knee kinematics in total knee arthroplasty. *The Knee* 2017; 24 (6) :1462-1468. doi:

- 10.1016/j.knee.2017.08.056.
- 17) Tomori Y, Sawaizumi T, Nanno M, Takai S : Radiological comparison of conventional versus modified sauvé-kapandji procedure with stabilization of the proximal ulnar stump using the extensor carpi ulnaris tendon: A retrospective case-control study. *Medicine* 2018; 97 (11) :e0118. doi: 10.1097/MD.00000000000010118.
  - 18) Oshima Y, Fetto J : Reestablishment of the Posterior Stability After the Posterior Cruciate Ligament-Released Cruciate Retaining Total Knee Arthroplasty. *Bulletin of the Hospital for Joint Disease* (2013) 2017; 75 (3) :180-185.
  - 19) Yasushi Sato, Hisashi Mera, Daisuke Takahashi, Tokifumi Majima, Norimasa Iwasaki, Shigeyuki Wakitani, Mutsumi Takagi : Synergistic effect of ascorbic acid and collagen addition on the increase in type 2 collagen accumulation in cartilage-like MSC sheet. *Cytotechnology* 2017; 69 (3) :405-416. doi: 10.1007/s10616-015-9924-3.
  - 20) 植松 卓哉, 河路 秀巳, 阿部 一雅, 丸山 剛, 岡崎 愛未, 佐竹 美彦, 牧野 晃, 眞嶋 任史, 高井 信朗 : THA アプローチを再考する 股関節後方アプローチを考察する. *関東整形災害外科学会雑誌* 2018; 49 (臨増号外) :71.
  - 21) Nanno M, Kodera N, Tomori Y, Takai S : Ultrasonographic movement of the flexor pollicis longus tendon before and after removal of a volar plate for the distal radius fracture. *Journal of orthopaedic surgery (Hong Kong)* 2018; 26 (1) :2309499018760131. doi: 10.1177/2309499018760131.
  - 22) 平林 篤志, 本村 友一, 松本 尚, 横田 裕行 : 「外傷センター」が PTD を撲滅する(千葉県交通死亡事故調査の結果から). *日本救急医学会雑誌* 2017; 28 (9) :586.
  - 23) 南野 光彦, 小寺 訓江, 友利 裕二 : 【Complex elbow instability の治療の現状】 Posteromedial rotatory injury の治療. *整形・災害外科* 2017; 60 (9) :1107-1112. doi: 10.18888/se.0000000113.
  - 24) 園木 謙太郎, 萩原 祐介, 南野 光彦, 橋口 宏, 高井 信朗 : キーンバック病に対して同一掌側皮切による橈骨楔状短縮骨切術と橈骨掌側血管柄付骨移植を施行した 1 例. *日本マイクロサージャリー学会学術集会プログラム・抄録集* 2017; 44 回:177.
  - 25) 園木 謙太郎, 飯澤 典茂, 橋口 宏, 片岡 達紀, 高井 信朗 : マラソン中に生じた腸骨翼疲労骨折の一例. *日本整形外科スポーツ医学会雑誌* 2017; 37 (4) :587.
  - 26) 橋口 宏, 岩下 哲, 平林 篤志, 阿部 一雅, 園木 謙太郎, 米田 稔, 高井 信朗 : リバース型人工肩関節における機種の変遷とその選択 TMReverse Shoulder System の治療成績. *日本関節病学会誌* 2017; 36 (3) :352.
  - 27) 園木 謙太郎, 橋口 宏, 阿部 一雅, 平林 篤志, 萩原 祐介, 中嶋 隆夫, 岩下 哲, 米田 稔, 高井 信朗 : リバース型人工肩関節置換術におけるベースプレート下方傾斜のための関節窩楔状骨移植術の有用性. *日本整形外科学会雑誌* 2018; 92 (3) :S747.
  - 28) 飯澤典茂, 大島康史, 片岡達紀, 高井信朗 : 人工膝関節置換術における内側骨棘切除が変形矯正に及ぼす影響. *日本人工関節学会プログラム・抄録集* 2017; 47th:583-792.
  - 29) 飯澤典茂, 大島康史, 片岡達紀, 篠塚洋祐, 大園翔太, 高井信朗 : 人工膝関節置換術における内側骨棘切除が変形矯正に及ぼす影響. *JOSKAS* 2017; 42 (4) :725.
  - 30) 飯澤典茂, 大島康史, 片岡達紀, 高井信朗 : 人工膝関節置換術における内側骨棘切除が変形矯正に及ぼす影響. *日本人工関節学会誌* 2017; 47:791 - 792-792.
  - 31) 飯澤 典茂, 大島 康史, 松井 秀平, 片岡 達紀, 大久保 敦, 高井 信朗 : 人工膝関節置換術における内側骨棘切除が変形矯正に及ぼす影響 変形の程度と矯正角との関連について. *日本関節病学会誌* 2017; 36 (3) :316.
  - 32) 片岡達紀, 飯澤典茂, 大島康史, 高林直也, 奥村瞬, 高井信朗 : 人工膝関節置換術における脛骨インプラント設置の新たな指標としての関節包後傾角:解剖死体を用いた研究. *日本人工関節学会プログラム・抄録集* 2017; 47th:358.
  - 33) 大島康史, 渡邊信佳, 大槻康雄, 四本忠彦, 竹岡亨, 稲岡秀陽, 飯澤典茂, 眞嶋任史, 高井信朗 : 全人工膝関節置換術で異常姿勢は改善するか?. *日本関節病学会誌* 2017; 36 (3) :319.
  - 34) 片岡達紀, 飯澤典茂, 大島康史, 篠塚洋佑, 高井信朗 : 変形性膝関節症における内側膝蓋大腿関節症と下肢回旋の関係. *JOSKAS* 2017; 42 (4) :344.
  - 35) 丸山 剛, 植松 卓哉, 河路 秀巳, 眞嶋 任史, 高井 信朗 : 大腿骨彎曲変形に大腿骨頸部骨折を合併した 1 例. *日本関節病学会誌* 2017; 36 (3) :384.
  - 36) 岡崎 愛未, 河路 秀巳, 植松 卓哉, 大場 良輔, 星川 直哉, 渡部 寛, 阿部 一雅, 小林 俊之, 高井 信朗 : 大腿骨転子部骨折術後に

- カットアウトを生じた3症例の骨折型に関する検討. Hip Joint 2017; 43 (1) :723-726.
- 37) 植松 卓哉, 河路 秀巳, 小林 俊之, 大場 良輔, 佐竹 美彦, 星川 直哉, 岡崎 愛未, 渡部 寛, 阿部 一雅, 高井 信朗 : 大腿骨転子部骨折術後のカットアウトに対してGTR Cable Readyを併用して人工股関節置換術を施行した3例. 日本人工関節学会誌 2017; 47:465-466.
- 38) 植松 卓哉, 河路 秀巳, 小林 俊之, 大場 良輔, 佐竹 美彦, 星川 直哉, 岡崎 愛未, 渡部 寛, 阿部 一雅, 高井 信朗 : 大腿骨転子部骨折術後のカットアウトに対して人工股関節全置換術を施行した4例. Hip Joint 2017; 43 (1) :732-735.
- 39) 園木 謙太郎, 南野 光彦, 小寺 訓江, 友利 裕二, 萩原 祐介 : 小児 Monteggia 脱臼骨折 equivalent lesion type I の1例. 日本手外科学会雑誌 2017; 34 (2) :253.
- 40) 佐竹 美彦, 友利 裕二, 南野 光彦, 小寺 訓江, 高井 信朗 : 小児上腕骨内側上顆骨折に対する手術治療の治療成績 内側側副靭帯損傷の合併に注目して. 日本手外科学会雑誌 2018; 34 (5) :779-782.
- 41) 佐竹 美彦, 河路 秀巳, 植松 卓哉, 岡崎 愛未, 高井 信朗 : 後外側骨片を伴う不安定型大腿骨転子部骨折に対する CM アジアネイルターゲティングガイドを利用した前方支持スクリュー挿入法. 関東整形災害外科学会雑誌 2018; 49 (臨増号外) :179.
- 42) 我妻 朋美, 萩原 祐介, 伏屋 洋志, 菅野 麻希, 高橋 美香, 土屋 麻代, 園木 謙太郎, 矢崎 潔, 大林 茂, 松元 秀次 : 手のアーチと内在筋に着目した中指外転運動 母指 CM 関節症の手術後療法としての効果と作用機序の検証. The Japanese Journal of Rehabilitation Medicine 2017; 54 (秋季特別号) :S294.
- 43) 奥村 瞬, 北川 泰之, 水野 祥寛, 高井 信朗 : 手指骨に骨びらんを生じ腱滑膜巨細胞腫との鑑別を要した小指蔓状神経鞘腫の1例. 関東整形災害外科学会雑誌 2018; 49 (臨増号外) :223.
- 44) 小原 良規, 高井 信朗, 塚本 剛志, 川井 真 : 手術前に静脈血栓塞栓症を認めた寛骨臼骨折の一例. 骨折 2017; 39 (Suppl.) :S244.
- 45) 五谷 寛之, 松浦 慎太郎, 前川 尚宜, 中井 生男, 工藤 文孝, 萩原 祐介, 辻井 雅也, 東盛 貴光 : 指用イリザロフ創外固定器を使った手外科手術 そのコツとピットフォール. 日本手外科学会雑誌 2017; 34 (1) :S789.
- 46) 南野 光彦, 小寺 訓江, 友利 裕二, 高井 信朗 : 橈骨掌側月状骨窩骨片を有する橈骨遠位端関節内骨折の治療成績. 関東整形災害外科学会雑誌 2017; 48 (4) :215.
- 47) 萩原 祐介, 南野 光彦, 園木 謙太郎, 橋口 宏, 高井 信朗 : 母指 CM 関節症の動態解析および形成術後 MP 関節変形に対する EPB 腱短縮術の短期成績. 日本整形外科学会雑誌 2018; 92 (3) :S1151.
- 48) 萩原 祐介, 南野 光彦 : 母指 CM 関節症の関節形成術前後における透視下動態観察. 日本手外科学会雑誌 2017; 34 (2) :237.
- 49) 萩原 祐介, 南野 光彦, 吉田 竜, 橋口 宏, 高井 信朗 : 注射針を追加して用いた石黒変法による骨性 mallet finger の治療成績. 日本手外科学会雑誌 2017; 33 (6) :904-907.
- 50) 園木 謙太郎, 萩原 祐介, 南野 光彦, 阿部 一雅, 平林 篤志, 中嶋 隆夫, 橋口 宏, 高井 信朗 : 注射針を追加して用いた石黒変法による骨性槌指の治療成績. 日本整形外科学会雑誌 2018; 92 (2) :S318.
- 51) 原田 和弘, 眞島 任史, 高井 信朗 : 症例報告 骨侵食を伴った膝関節樹枝状脂肪腫の1例. 東日本整形災害外科学会雑誌 = Journal of the Eastern Japan Association of Orthopaedics and Traumatology 2017; 29 (2) :169-173.
- 52) 岩下 哲, 橋口 宏, 大久保 敦, 米田 稔, 高井 信朗 : 糖尿病患者における腱板断裂例の臨床的検討. 東日本整形災害外科学会雑誌 2017; 29 (3) :303.
- 53) 南野 光彦, 小寺 訓江, 友利 裕二, 萩原 祐介, 園木 謙太郎, 高井 信朗 : 肘関節 varus posteromedial rotatory injury の治療成績. 日本手外科学会雑誌 2017; 34 (3) :467-470.
- 54) 園木 謙太郎, 萩原 祐介, 南野 光彦, 阿部 一雅, 橋口 宏, 高井 信朗 : 肘頭骨折非粉碎症例に対する PERI-LOC Ti Olecranon Locking Plate の使用経験. 日本肘関節学会雑誌 2018; 25 (1) :S96.
- 55) 阿部 一雅, 橋口 宏, 岩下 哲, 大久保 敦, 米田 稔, 高井 信朗 : 肩石灰性腱炎に対する関節鏡視下手術の治療成績. JOSKAS 2017; 42 (4) :467.
- 56) 岩下 哲, 橋口 宏, 大久保 敦, 阿部 一雅, 米田 稔, 高井 信朗 : 肩腱板不全断裂に対する鏡視下修復術の治療成績 残存腱温存群と完全断裂移行群の比較. JOSKAS 2017; 42 (4) :552.
- 57) 岩下 哲, 橋口 宏, 大久保 敦, 阿部 一雅, 米田 稔, 高井 信朗 : 肩腱板不全断裂に対する鏡視下修復術の治療成績 残存腱温存群と完全断裂移行群の比較. JOSKAS 2018; 43 (1) :42-43.
- 58) 萩原 祐介, 南野 光彦, 橋口 宏, 園木 謙太郎, 高井 信朗 : 脂肪幹細胞と運動器再生 脂肪由来幹細胞と皮弁生着. 臨床整形外科 2018;

- 53 (1) :13-20.
- 59) 渡部 寛, 眞島 任史, 飯澤 典茂, 高井 信朗 : 脛骨後傾角は屈曲型 Salter-Harris2 型および Watson-Jones4 型の脛骨近位骨端線損傷の危険因子である. JOSKAS 2017; 42 (4) :260.
- 60) 岩下 哲, 橋口 宏, 大久保 敦, 飯澤 典茂, 米田 稔, 高井 信朗 : 腱板断裂例に対する糖尿病の影響. 日本整形外科学会雑誌 2018; 92 (3) :S756.
- 61) 山岡 卓司, 北川 泰之, 水野 祥寛, 角田 隆, 中尾 淳一, 中山 一隆, 大橋 隆治, 高井 信朗 : 腹直筋に発生した限局型 Castleman 病の 1 例. 東日本整形災害外科学会雑誌 2017; 29 (3) :283.
- 62) 大島康史, 眞島任史, 片岡達紀, 飯澤典茂, 高井信朗 : 膝内側軟部組織剥離を行わない状態で PCL 切離は屈曲ギャップに影響を与えるか?. 日本人工関節学会プログラム・抄録集 2017; 47th:607.
- 63) 友利 裕二, 南野 光彦, 高井 信朗 : 臨床 小児上腕骨顆上骨折に対する整復操作による治療成績の比較 : closed vs open reduction. 整形・災害外科 2018; 61 (3) :343-349. doi: 10.18888/se.0000000381.
- 64) 水野 祥寛, 南野 光彦, 小寺 訓江, 友利 裕二, 萩原 祐介, 高井 信朗 : 臨床室 尺骨急性骨塑性変形を伴った小児 Monteggia 脱臼骨折の 1 例. 整形外科 = Orthopedic surgery 2018; 69 (1) :32-35. doi: 10.15106/j\_seikei69\_32.
- 65) 青木 宏信, 塚本 剛志, 小原 良規, 梅澤 裕己, 上田 百蔵, 小川 令, 横田 裕行 : 血流障害を伴う上腕不全切断に自家血管移植を行わない患肢を温存できた 1 例. 日本組織移植学会雑誌 2017; 16 (1) :35.
- 66) 酒田 美香, 大橋 隆治, 北川 泰之, 松原 美幸, 渡曾 泰彦, 石井 英昭, 坂谷 貴司, 内藤 善哉, 清水 章 : 術前診断に苦慮した仙骨脊索腫の一例. 日本臨床細胞学会雑誌 2017; 56 (Suppl.2) :864.
- 67) 南野 光彦, 小寺 訓江, 友利 裕二, 萩原 祐介, 園木 謙太郎, 高井 信朗 : 超音波による橈骨遠位端部における長母指屈筋腱滑動の検討 掌側プレート固定抜去前後の変化. 日本整形外科学会雑誌 2018; 92 (3) :S1255.
- 68) 南野 光彦, 小寺 訓江, 友利 裕二, 萩原 祐介, 園木 謙太郎, 高井 信朗 : 超音波短軸像による正中神経の手根管内的移動 手根管開放術前後の経時的変化. 日本手外科学会雑誌 2017; 34 (2) :67-69.
- 69) 南野 光彦, 小寺 訓江, 友利 裕二, 萩原 祐介, 園木 謙太郎, 高井 信朗 : 超音波短軸像による正中神経の手根管内的移動 手根管開放術前後の経時的変化. 日本整形外科学会雑誌 2018; 92 (3) :S800.
- 70) 小寺 訓江, 南野 光彦, 友利 裕二, 園木 謙太郎, 高井 信朗 : 超音波短軸像による母指球筋の評価法について. 日本手外科学会雑誌 2017; 33 (6) :855-857.
- 71) 小寺 訓江, 南野 光彦, 友利 裕二, 園木 謙太郎, 高井 信朗 : 超音波短軸像による母指球筋の評価法について(第 2 報). 日本手外科学会雑誌 2017; 34 (1) :S677.
- 72) 南野 光彦, 小寺 訓江, 友利 裕二, 萩原 祐介, 高井 信朗 : 重度手根管症候群に対する小皮切 Camitz 変法による母指対立再建術の治療成績. 日本最小侵襲整形外科学会誌 2017; 17 (1) :66.
- 73) 岩下 哲, 橋口 宏, 大久保 敦, 飯澤 典茂, 米田 稔, 高井 信朗 : 鏡視下腱板修復術後の臨床成績低下例に関する検討. 日本肩関節学会抄録集 2017; 44 回:89.
- 74) 友利 裕二, 澤泉 卓哉, 南野 光彦, 高井 信朗 : 関節外 Smith 骨折に対する保存治療の問題点. 日本手外科学会雑誌 2017; 33 (6) :936-939.
- 75) 篠塚洋祐, 飯澤典茂, 片岡達紀, 大島康史, 高井信朗 : 陳旧性大腿直筋皮下断裂に対し筋縫合術を施行した 1 例. JOSKAS 2017; 42 (4) :472.
- 76) 篠塚洋祐, 飯澤典茂, 大島康史, 片岡達紀, 明石裕貴, 小田雅治, 高井信朗 : 陳旧性大腿直筋皮下断裂に対し筋縫合術を施行した 1 例. 日本整形外科スポーツ医学会雑誌 2017; 37 (4) :601.
- 77) 平林 篤志, 中嶋 隆夫, 橋口 宏, 萩原 祐介, 阿部 一雅, 園木 謙太郎, 飯田 浩章, 原 義明, 松本 尚, 高井 信朗 : 頸髄損傷症例における初診時重症度と予後の関連. 日本整形外科学会雑誌 2018; 92 (3) :S1077.
- 78) 小原 良規, 大島 康史, 片岡 達紀, 高井 信朗 : 骨軟骨移植ドナーサイトとしての近位脛腓関節軟骨の検討. 東日本整形災害外科学会雑誌 2017; 29 (3) :409.
- 79) 北川 泰之, 水野 祥寛, 須藤 悦宏, 金 竜, 角田 隆, 高井 信朗 : 骨転移の初診時の単純 X 線所見. 日本整形外科学会雑誌 2017; 91 (6) :S1450.



- 80) 橋口 宏, 岩下 哲, 平林 篤志, 阿部 一雅, 園木 謙太郎, 米田 稔, 高井 信朗: 高齢者上腕骨近位部粉碎骨折・脱臼骨折に対する人工骨頭置換術とリバーズ型人工肩関節置換術の治療成績の比較. 関東整形災害外科学会雑誌 2018; 49 (臨増号外) :182.
- 81) 友利 裕二, 南野 光彦, 高井 信朗: 高齢者女性の上腕骨遠位端骨折に対するロッキングプレートを用いた dual plate 固定の治療成績. 日本手外科学会雑誌 2018; 34 (4) :652-657.

## 著書

- 1) 眞島 任史: 変形のタイプ別手術手技. 外傷・骨切り後. 人工膝関節置換術 (TKA) のすべて. 2017, メジカルビュー社.
- 2) 寺尾 亨, 金 景成: [分担執筆] 第2章 上肢のしびれ 4 採血後に出現する上肢のしびれ—知っておきたい情報. 外来で診る! 手足のしびれ・痛み診療. 2017, 日本医事新報社.
- 3) 眞島 任史: [分担執筆] 人工関節置換術 (THA および TKA) 膝関節鏡視下手術. 日本整形外科学会 症候性静脈血栓塞栓症予防ガイドライン. 2017, 南江堂.

## 学会発表

- 1) 水野 祥寛, 北川 泰之, 山岡 卓司, 角田 隆, 大橋 隆治, 高井 信朗: 13 歳男児に発生した大腿部粘液型脂肪肉腫の 1 例. 東日本整形災害外科学会雑誌, 2017. 8.
- 2) 北川泰之: 外来診療において骨転移を見逃さない方法. 第 33 回荒川整形外科フォーラム, 2017. 11.
- 3) 北川泰之: 外来診療にて骨転移を見逃さないコツと診断の限界. 第 4 回整形外科那須セミナー, 2017. 8.
- 4) 奥村 瞬, 北川 泰之, 水野 祥寛, 高井 信朗: 手指骨に骨びらんを生じ腱滑膜巨細胞腫との鑑別を要した小指蔓状神経鞘腫の 1 例. 関東整形災害外科学会雑誌, 2018. 3.
- 5) 北川泰之: 日常診療における骨転移の早期診断. 第 4 回東京都臨床整形外科医会統合研修会, 2018. 1.
- 6) 北川泰之: 有効的な抗癌剤選択のための骨転移早期診断. Tokyo Bone Tumor Club, 2017. 10.
- 7) 山岡 卓司, 北川 泰之, 水野 祥寛, 角田 隆, 中尾 淳一, 中山 一隆, 大橋 隆治, 高井 信朗: 腹直筋に発生した限局型 Castleman 病の 1 例. 東日本整形災害外科学会雑誌, 2017. 8.
- 8) 酒田 美香, 大橋 隆治, 北川 泰之, 松原 美幸, 渡曾 泰彦, 石井 英昭, 坂谷 貴司, 内藤 善哉, 清水 章: 術前診断に苦慮した仙骨脊索腫の一例. 日本臨床細胞学会雑誌, 2017. 10.
- 9) 北川 泰之, 水野 祥寛, 須藤 悦宏, 金 竜, 角田 隆, 高井 信朗: 骨転移の初診時の単純 X 線所見. 日本整形外科学会雑誌, 2017. 6.

## 21 女性生殖発達病態学分野

### 研究業績

#### 論文等

- 1) 川端 伊久乃, 清田 裕美, 黒木 睦実, 高屋 茜, 針金 幸代, 角田 陽平, 深見 武彦, 松島 隆, 米山 剛一, 竹下 俊行 : 40 歳以上の高齢妊婦における満期試験的経膈分娩に関する検討. 日本周産期・新生児医学会雑誌 2017; 53 (2) :540.
- 2) Daisuke Shigemi, Seiryu Kamoi, Akihisa Matsuda, Toshiyuki Takeshita : A Complicated Case of Pregnancy Involving a Presacral Epidermoid Cyst. JOURNAL OF NIPPON MEDICAL SCHOOL 2017; 84 (2) :100-104. doi: 10.1272/jnms.84.100.
- 3) 上野 悠太, 山口 暁, 重見 大介, 印出 佑介, 都甲 明子, 竹下 俊行 : CMV スクリーニングと感染予防啓発の効果における後方視的検討. 日本産科婦人科学会雑誌 2018; 70 (2) :719.
- 4) Yusuke Inde, Akihito Nakai, Atsuko Sekiguchi, Masako Hayashi, Toshiyuki Takeshita : Cervical Dilatation Curves of Spontaneous Deliveries in Pregnant Japanese Females. International journal of medical sciences 2018; 15 (6) :549-556. doi: 10.7150/ijms.23505.
- 5) 瀧澤 俊広, 高橋 宏典, Kyi-Tha-Thu Chaw, 小古山 学, 大口 昭英, 竹下 俊行, 松原 茂樹 : DICER1 はヒト満期胎盤の合胞体栄養膜細胞に発現している. Reproductive Immunology and Biology 2017; 32 (1-2) :88.
- 6) Reiko Nagano, Masatoshi Nagano, Akihito Nakai, Toshiyuki Takeshita, Hidenori Suzuki : DIFFERENTIAL EFFECTS OF NEONATAL SSRI TREATMENTS ON HYPOXIA-INDUCED BEHAVIORAL CHANGES IN MALE AND FEMALE OFFSPRING. NEUROSCIENCE 2017; 360:95-105. doi: 10.1016/j.neuroscience.2017.07.051.
- 7) Yasuyuki Negishi, Yoshio Shima, Toshiyuki Takeshita, Hidemi Takahashi : Distribution of invariant natural killer T cells and dendritic cells in late pre-term birth without acute chorioamnionitis. AMERICAN JOURNAL OF REPRODUCTIVE IMMUNOLOGY 2017; 77 (6) doi: 10.1111/aji.12658.
- 8) Yoshimitsu Kuwabara, Akira Katayama, Sachiko Kurihara, Marie Ito, Mirei Yonezawa, Nozomi Ouchi, Ryuhei Kurashina, Tomoko Ichikawa, Rintaro Sawa, Akihito Nakai, Hideo Orimo, Toshiyuki Takeshita : Diversity of progesterone action on lipopolysaccharide-induced expression changes in cultured human cervical fibroblasts according to inflammation and treatment timing. AMERICAN JOURNAL OF REPRODUCTIVE IMMUNOLOGY 2017; 78 (5) doi: 10.1111/aji.12731.
- 9) Kimihiko Nakao, Kinuyo Iwata, Toshiyuki Takeshita, Hitoshi Ozawa : Expression of hypothalamic kisspeptin, neurokinin B, and dynorphin A neurons attenuates in female Zucker fatty rats. Neuroscience Letters 2018; 665:135-139. doi: 10.1016/j.neulet.2017.12.002.
- 10) Tamura K, Ishikawa G, Yoshie M, Ohneda W, Nakai A, Takeshita T, Tachikawa E : Glibenclamide inhibits NLRP3 inflammasome-mediated IL-1 $\beta$  secretion in human trophoblasts. Journal of pharmacological sciences 2017; 135 (2) :89-95. doi: 10.1016/j.jphs.2017.09.032.
- 11) 松島 隆, 明樂 重夫, 角田 陽平, 針金 幸代, 加藤 雅彦, 黒木 睦実, 深見 武彦, 川端 伊久乃, 米山 剛一, 竹下 俊行 : GnRH アゴニスト投与後の子宮筋腫に対するジェノゲストの効果. 日本産科婦人科学会雑誌 2018; 70 (2) :1023.
- 12) 関口敦子, 深見武彦, 石川源, 奥田直貴, 林昌子, 印出佑介, 菊地恵理子, 山岸絵美, 尾崎景子, 米山剛一, 中井章人, 竹下俊行 : HELLP 症候群 72 例の検討-血小板数が分娩予後に与える影響-. 日本産科婦人科学会雑誌 2017; 69 (2)
- 13) Sayuri Kondo, Yosuke Sugita, Shunji Suzuki : Hematological Characteristics in Neonates with Twin-Twin Blood Transfusion. Journal of Medical Cases 2017; 8 (9) :269-270.
- 14) 瀧康紀, 浅野仁覚, 石川源, 鈴木昭太郎 : IVR-匂の話題~子宮筋腫治療としての子宮動脈塞栓術. Rad Fan 2017; 15 (5) :49 - 50.
- 15) Masako Hayashi, Keiya Fujimori, Seiji Yasumura, Akihito Nakai : Impact of the Great East Japan Earthquake and Fukushima Nuclear Power Plant Accident on Assisted Reproductive Technology in Fukushima Prefecture: The Fukushima Health Management Survey. Journal of clinical medicine research 2017; 9 (9) :776-781. doi: 10.14740/jocmr3105w.
- 16) Miwa Miyazaki, Yoshimitsu Kuwabara, Toshiyuki Takeshita : Influence of perinatal low-dose acetylsalicylic acid therapy on fetal hemodynamics evaluated by determining the acceleration-time/ejection-time ratio in the ductus arteriosus. Journal of Obstetrics and Gynaecology Research 2018; 44 (1) :87-92. doi: 10.1111/jog.13465.
- 17) 市川 雅男, 明樂 重夫, 白井 有香, 可世木 華子, 渡辺 健一郎, 小野 修一, 竹下 俊行 : LSC の進化 LSC の安全と進化について. 日

- 本産科婦人科内視鏡学会雑誌 2017; 33 (Suppl.I) :1332.
- 18) Tomohiko Matsuhashi, Ryoko Matsui, Chikako Hasegawa, Tsutomu Hatori, Seiryu Kamoi, Toshiyuki Takeshita : Laparoscopic Excision of a Uterine Adenomatoid Tumor and a Coexisting Ovarian Teratoma: A Case Report and Literature Review. JOURNAL OF NIPPON MEDICAL SCHOOL 2017; 84 (3) :139-143. doi: 10.1272/jnms.84.139.
  - 19) Tomohiko Matsuhashi, Kazuho Nakanishi, Eri Hamano, Seiryu Kamoi, Toshiyuki Takeshita : Laparoscopic Repair of Vaginal Evisceration after Abdominal Hysterectomy for Uterine Corpus Cancer: A Case Report and Literature Review. JOURNAL OF NIPPON MEDICAL SCHOOL 2017; 84 (2) :90-95. doi: 10.1272/jnms.84.90.
  - 20) Masao Ichikawa, Shigeo Akira, Toshiyuki Takeshita : Laparoscopic posterior colporrhaphy using a unidirectional barbed suture for risk hedging laparoscopic sacrocolpopexy. Gynecology and minimally invasive therapy 2017; 6 (2) :96-97. doi: 10.1016/j.gmit.2017.02.001.
  - 21) Ichikawa M, Kaseki H, Akira S : Laparoscopic versus abdominal sacrocolpopexy for treatment of multi-compartmental pelvic organ prolapse: A systematic review. Asian journal of endoscopic surgery 2018; 11 (1) :15-22. doi: 10.1111/ases.12478.
  - 22) T. Matsushima, S. Akira, H. Asakura, T. Takeshita : Low-dose gonadotropin-releasing hormone agonist therapy (draw-back therapy) for successful long-term management of adenomyosis associated with cerebral venous and sinus thrombosis from low-dose oral contraceptive use. CLINICAL AND EXPERIMENTAL OBSTETRICS & GYNECOLOGY 2017; 44 (1) :143-145. doi: 10.12891/ceog3214.2017.
  - 23) Shigemi D, Kawai N, Takeshita T : Ovarian Mature and Immature Teratomas in Monozygotic Twins: A Case Report of Simultaneous Presentation. Case reports in obstetrics and gynecology 2017; 2017:5810515. doi: 10.1155/2017/5810515.
  - 24) Shuichi Ono, Mirei Yonezawa, Kenichiro Watanabe, Takashi Abe, Katsuya Mine, Yoshimitsu Kuwabara, Shigeo Akira, Toshiyuki Takeshita : Retrospective cohort study of the risk factors for secondary infertility following hysteroscopic metroplasty of the uterine septum in women with recurrent pregnancy loss. Reproductive Medicine and Biology 2018; 17 (1) :77-81. doi: 10.1002/rmb2.12072.
  - 25) Yasuyuki Negishi, Tomoko Ichikawa, Yoshio Shima, Toshiyuki Takeshita, Hidemi Takahashi : Role of innate immune cells in preterm birth and miscarriages induced by sterile inflammation in mice and humans. JOURNAL OF REPRODUCTIVE IMMUNOLOGY 2017; 124:73. doi: 10.1016/j.jri.2017.10.007.
  - 26) Tomoko Ichikawa, Toshiyuki Negishi, Masumi Shimizu, Hidemi Takahashi, Toshiyuki Takeshita : Selective activation of DEC-205(+) DCs in the pregnant myometrium by inoculation of alpha-galactosylceramide in mice. JOURNAL OF REPRODUCTIVE IMMUNOLOGY 2017; 124:81. doi: 10.1016/j.jri.2017.10.031.
  - 27) Tomohiko Matsuhashi, Toshiyuki Takeshita, Akihito Yamamoto, Rieko Kawase, Takashi Yamada, Keisuke Kurose, Daisuke Doi, Katsuyuki Konnai, Ryo Onose, Hisamori Kato : Serum CA 125 Level after Neoadjuvant Chemotherapy is Predictive of Prognosis and Debulking Surgery Outcomes in Advanced Epithelial Ovarian Cancer. JOURNAL OF NIPPON MEDICAL SCHOOL 2017; 84 (4) :170-176. doi: 10.1272/jnms.84.170.
  - 28) Sayuri Kondo, Shunji Suzuki : Ultrasonographic Findings of Uterine Artery Pseudoaneurysm. Journal of Medical Cases 2017; 8 (8) :241-242.
  - 29) 中尾 仁彦, 岩田 衣世, 竹下 俊行, 小澤 一史 : Zucker fatty 雌ラットにおける神経内分泌学的生殖制御機構の組織化学的解析. 日本内分泌学会雑誌 2017; 93 (4) :1221.
  - 30) 菊地 恵理子, 中井 章人 : 【妊婦さんへの内科治療-リスクと安全を考える-】妊婦さんへの内科治療の考え方 妊婦が内科医に尋ねる困りごと Q&A. 診断と治療 2017; 105 (10) :1253-1258.
  - 31) 竹下 俊行 : 【産婦人科画像診断トレーニング-この所見をどう読むか?】生殖・婦人科疾患 症例:婦人科疾患(1). 臨床婦人科産科 2017; 71 (4) :223-228. doi: 10.11477/mf.1409209043.
  - 32) 上野 悠太 : 【産科の薬物療法-update】インフルエンザ 日本産科婦人科学会が推奨する予防と治療. 周産期医学 2018; 48 (1) :123-125.
  - 33) 中井 章人, 林 昌子 : 【脳性麻痺をいかに予防するか?-産科医療補償制度再発防止に関する報告書をもとに】産科 脳性麻痺を予防する常位胎盤早期剥離の早期診断と対処法. 周産期医学 2018; 48 (3) :313-317.
  - 34) 由井 智子, 岳野 光洋, 大内 望, 堀 純子 : インフリキシマブ投与中に正常な妊娠と分娩を遂行できた難治性ベーチェット病の一例. 日本眼科学会雑誌 2018; 122 (臨増) :257.
  - 35) 山本 晃人, 川瀬 里衣子, 黒瀬 圭輔, 米山 剛一, 鴨井 青龍, 竹下 俊行 : カルボプラチン脱感作投与法の臨床的検討. 日本産科婦人科学会雑誌 2018; 70 (2) :778.

- 36) 毛野恵理子, 吉江幹浩, 田村和広, 石川源, 井坂恵一, 桑原直子, 立川英一: ニフェジピンによる胎盤栄養膜細胞の分化促進機構. 日本薬学会年会要旨集(CD-ROM) 2017; 137th:ROMBUNNO.26PB - pm048S.
- 37) 根岸 靖幸, 島 義雄, 市川 智子, 竹下 俊行, 高橋 秀実: ヒト、マウスにおける無菌性炎症を機転とする流産の発症と自然免疫の役割. *Reproductive Immunology and Biology* 2017; 32 (1-2) :87.
- 38) 瀧澤 俊広, 高橋 宏典, Chaw Kyi-Tha-Thu, 小古山 学, 大口 昭英, 竹下 俊行, 松原 茂樹: ヒト胎盤合体栄養膜細胞は miRNA 合成酵素の DICER1 を発現している. *日本産科婦人科学会雑誌* 2018; 70 (2) :882.
- 39) 太田 啓明, 安藤 正明, 浅井 哲, 羽田 智則, 山本 泰弘, 菊地 盤, 平池 修, 竹下 俊行, 日本産科婦人科内視鏡学会教育委員会結紮縫合ワーキンググループ: ブタ気管および食道を用いた新規腹腔鏡 wet box training 法の開発とその概要. *日本産科婦人科学会雑誌* 2018; 70 (2) :922.
- 40) 渡邊 建一郎, 桑原 慶充, 米澤 美令, 小野 修一, 市川 智子, 明楽 重夫, 竹下 俊行: プロゲステロン/エストラジオール比はクロミフェン法による低刺激周期における有効胚取得の予測因子である. *日本生殖医学会雑誌* 2017; 62 (4) :473.
- 41) 市川 智子, 根岸 靖幸, 高橋 秀実, 竹下 俊行: マウス妊娠子宮筋層の DEC-205+DCs の  $\alpha$ -Galactosylceramide による選択的活性化. *Reproductive Immunology and Biology* 2017; 32 (1-2) :99.
- 42) 小川 淳, 稲垣 知子, 滝澤 彩子, 新村 裕樹, 庄田 有里, 加藤 雅彦, 川端 伊久乃, 深見 武彦, 松島 隆, 米山 剛一: 下腹部痛を主訴に診断に至った OHVIRA 症候群の 1 例. *関東連合産科婦人科学会誌* 2017; 54 (3) :320.
- 43) 米澤 美令, 大内 望, 倉品 隆平, 市川 智子, 峯 克也, 里見 操緒, 澤 倫太郎, 桑原 慶充, 竹下 俊行: 不育症検査診断後に流産に至った症例の絨毛染色体分析結果の検討. *日本産科婦人科学会雑誌* 2018; 70 (2) :827.
- 44) 石川源: 事例からみた妊産婦死亡防止に向けた提言 1)無痛分娩の合併症を防ぐためには 1)産婦人科医の立場から. *日本産科婦人科学会雑誌* 2018; 70 (2) :479.
- 45) 小川 淳, 黒木 睦実, 針金 永佳, 加藤 雅彦, 山田 舞夕, 角田 陽平, 針金 幸代, 新村 裕樹, 稲垣 知子, 島田 学, 深見 武彦, 川端 伊久乃, 松島 隆, 米山 剛一: 低悪性度子宮内膜間質肉腫術後再発に対して、尿管、膀胱及び内腸骨動脈の部分切除を施行した 1 例. *神奈川産科婦人科学会誌* 2018; 54 (2) :180.
- 46) 小川 淳, 黒木 睦実, 針金 永佳, 加藤 雅彦, 山田 舞夕, 角田 陽平, 針金 幸代, 新村 裕樹, 稲垣 裕子, 島田 学, 深見 武彦, 川端 伊久乃, 松島 隆, 米山 剛一: 低悪性度子宮内膜間質肉腫術後再発に対して、尿管、膀胱および内腸骨動脈の部分切除を施行した一例. *神奈川医学会雑誌* 2018; 45 (1) :45.
- 47) 林 昌子, 明楽 重夫, 竹下 俊行: 体外受精からの妊娠でみた子宮内膜症候群の周産期リスク. *日本エンドメトリオーシス学会会誌* 2017; 38:123-127.
- 48) 渡邊 建一郎, 可世木 華子, 小野 修一, 市川 雅男, 明楽 重夫: 内視鏡手術前の説明 (特集 産婦人科におけるリスクマネジメント). *産婦人科の実際 = Obstetrical and gynecological practice* 2017; 66 (6) :729-734.
- 49) 新村 裕樹, 坂田 明子, 今道 小百合, 渡邊 朝子, 宮崎 美和, 柴田 良枝, 林 瑞成, 鈴木 俊治: 出生前診断を行った内臓錯位症候群の 3 例. *東京産科婦人科学会会誌* 2017; 66 (2) :310-315.
- 50) 小川 淳, 川端 伊久乃, 針金 幸代, 角田 陽平, 稲垣 知子, 島田 学, 加藤 雅彦, 深見 武彦, 松島 隆, 米山 剛一, 竹下 俊行: 出血や超音波検査を契機に診断された子宮仮性動脈瘤および胎盤ポリープの臨床的検討. *日本産科婦人科学会雑誌* 2018; 70 (2) :697.
- 51) 倉品 隆平, 桑原 慶充, 伊藤 麻利江, 米澤 美令, 大内 望, 市川 智子, 澤 倫太郎, 明楽 重夫, 竹下 俊行: 分娩第 2 期所要時間と臍帯動脈血乳酸値についての検討. *日本周産期・新生児医学会雑誌* 2017; 53 (2) :544.
- 52) 桑原慶充: 分娩誘発における効果的な器械的頸管熟化処置は?. *産婦人科の実際* 2017; 66 (11) :1333 - 1341. doi: 10.18888/sp.0000000169.
- 53) 米山 剛一, 角田 陽平, 新村 裕樹, 山本 晃人, 川瀬 里衣子, 山田 隆, 黒瀬 圭輔, 深見 武彦, 松島 隆, 鴨井 青龍, 竹下 俊行: 卵巣チョコレート嚢胞の類内膜癌への癌化に関する比較トランスクリプトーム解析. *日本産科婦人科学会雑誌* 2018; 70 (2) :858.
- 54) 久保田 夢音, 山本 晃人, 川瀬 里衣子, 磯村 真理子, 中西 一步, 松橋 智彦, 山田 隆, 米山 剛一, 鴨井 青龍, 寺崎 美佳, 彭 為霞, 黒瀬 圭輔: 卵巣低悪性度漿液性腺癌の一例. *日本臨床細胞学会雑誌* 2017; 56 (Suppl.2) :742.
- 55) 可世木 華子, 明楽 重夫, 納富 継人, 白石 達典, 寺田 展子, 白井 有香, 渡邊 建一郎, 小野 修一, 峯 克也, 市川 雅男, 竹下 俊行: 卵巣嚢腫合併妊娠に対する腹腔鏡補助下手術の検討. *小切開・鏡視外科学会雑誌* 2017; 8 (1) :30.
- 56) 奥田 直貴, 山岸 絵美, 尾崎 景子, 川端 英恵, 佐野 めぐみ, 寺田 佳世子, 菊地 恵理子, 印出 佑介, 林 昌子, 石川 源, 関口 敦

- 子, 中井 章人: 卵巣癌終末期の難治性腹水に対し、デンプーシャントが患者 QOL 改善に寄与したと考えられた 1 例. 関東連合産科婦人科学会誌 2017; 54 (2) :190.
- 57) 三浦 愛, 米山 剛一, 加藤 雅彦, 奥田 直史, 山田 舞夕, 清田 裕美, 針金 永佳, 針金 幸代, 川端 伊久乃, 深見 武彦, 松島 隆, 竹下 俊行: 卵巣癌術後化学療法中に発症したメトロニダゾール誘発性脳症の 1 例. 関東連合産科婦人科学会誌 2017; 54 (2) :165.
- 58) 三浦 愛, 米山 剛一, 加藤 雅彦, 山田 舞夕, 針金 永佳, 角田 陽平, 針金 幸代, 高屋 茜, 黒木 睦実, 松島 隆, 土居 大祐, 竹下 俊行: 卵巣癌術後化学療法中に発症したメトロニダゾール誘発性脳症の 1 例. 日本婦人科腫瘍学会雑誌 2017; 35 (3) :615.
- 59) 松橋 智彦, 浜野 愛理, 庄田 有里, 杉田 洋佑, 松井 遼子, 中西 一步, 西方 紀子, 山田 隆, 鴨井 青龍, 竹下 俊行: 原発性卵巣大細胞神経内分泌癌 症例報告と全 55 例の文献的考察. 産婦人科の実際 2018; 67 (1) :87-92.
- 60) 納富 嗣人, 市川 智子, 井野 創, 海渡 由貴, 米澤 美令, 大内 望, 倉品 隆平, 桑原 慶充, 澤 倫太郎, 竹下 俊行: 反復帝王切開後に発症した急性大腸偽性腸閉塞症(Ogilvie 症候群)の 1 例. 東京産科婦人科学会誌 2018; 67 (1) :75-78.
- 61) 長田久夫, 坂上明子, 青木まり子, 石川源, 鈴木真: 周産期急変対応シミュレーション教育の評価(第 1 報)知識獲得及び専門職連携能力に関する分析. 母性衛生 2017; 58 (3) :208.
- 62) 坂上明子, 長田久夫, 青木まり子, 石川源, 鈴木真: 周産期急変対応シミュレーション教育の評価(第 2 報)意識・行動変容の分析. 母性衛生 2017; 58 (3) :208.
- 63) 角田 陽平, 米山 剛一, 高屋 茜, 山田 舞夕, 三浦 愛, 針金 永佳, 針金 幸代, 黒木 睦実, 松島 隆, 竹下 俊行: 品胎に合併した胎児共存奇胎の 1 例. 日本婦人科腫瘍学会雑誌 2017; 35 (3) :674.
- 64) 三幣百合愛, 寺田展子, 三浦愛, 杉田洋佑, 中西一步, 松橋智彦, 西方紀子, 山田隆, 石川源, 鴨井青龍: 奇形腫の悪性転化を背景とした横紋筋肉腫の一例. 関東連合産科婦人科学会誌 2017; 54 (3) :317 (WEB ONLY).
- 65) 奥田 直史, 高屋 茜, 角田 陽平, 黒木 睦実, 川端 伊久乃, 深見 武彦, 松島 隆, 米山 剛一: 妊娠 37 週に急性腹症を発症した腎血管脂肪腫破裂の 1 例. 神奈川医学会雑誌 2018; 45 (1) :36.
- 66) 奥田 直史, 高屋 茜, 角田 陽平, 黒木 睦実, 川端 伊久乃, 深見 武彦, 松島 隆, 米山 剛一: 妊娠 37 週に急性腹症を発症した腎血管脂肪腫破裂の 1 例. 神奈川産科婦人科学会誌 2018; 54 (2) :172.
- 67) 今道 小百合, 坂田 明子, 新村 裕樹, 宮崎 美和, 柴田 良枝, 林 瑞成, 鈴木 俊治: 妊娠～産褥期にかけてのメンタル・スクリーニング結果の検討. 関東連合産科婦人科学会誌 2017; 54 (2) :181.
- 68) 川端 伊久乃, 山田 舞夕, 加藤 雅彦, 稲垣 智子, 伊藤 友希, 清田 裕美, 深見 武彦, 松島 隆, 米山 剛一, 竹下 俊行: 妊娠を契機に診断された特発性洞不全症候群合併妊娠の一例. 日本妊娠高血圧学会雑誌 2017; 24:98.
- 69) 上野 悠太, 山口 暁, 重見 大介, 都甲 明子, 竹下 俊行: 妊娠中の Cytomegalovirus 感染を疑い Avidity Index を測定した 6 例の検討. 日本周産期・新生児医学会雑誌 2017; 53 (2) :627.
- 70) 庄田 有里, 山口 暁, 横田 明重, 杉田 洋佑, 松井 遼子, 浜野 愛理, 中西 一步, 松橋 智彦, 西方 紀子, 山田 隆, 鴨井 青龍: 妊娠終了後に子宮筋層に動脈奇形形成が疑われた 6 例. 関東連合産科婦人科学会誌 2017; 54 (2) :198.
- 71) 田村和広, 吉江幹浩, 大丸貴子, 加藤聖子, 石川源, 奥隅奈都希, 桑原直子, 立川英一: 妊娠高血圧腎症患者の胎盤における SERPINA1 とセリンプロテアーゼ HTRA1 の発現. 日本薬学会年会要旨集(CD-ROM) 2017; 137th:ROMBUNNO.25PB - am154.
- 72) 三倉 麻子, 奥田 直史, 今道 小百合, 渡邊 朝子, 伊藤 麻利江, 宮崎 美和, 柴田 良枝, 林 瑞成, 鈴木 俊治: 妊娠高血圧腎症発症例における妊娠中体重増加量の検討. 関東連合産科婦人科学会誌 2017; 54 (3) :329.
- 73) 庄田 有里, 松橋 智彦, 杉田 洋佑, 松井 遼子, 重見 大介, 浜野 愛理, 中西 一步, 西方 紀子, 山田 隆, 鴨井 青龍: 婦人科腹腔鏡手術における深部静脈血栓症および静脈血栓塞栓症に対する術前一次スクリーニングとしての下肢超音波検査の有用性の検討. 千葉県産科婦人科医学会雑誌 = Chiba journal of obstetrics and gynecology 2017; 10 (2) :97-101.
- 74) 川端英恵, 林昌子, 原田寛子, 佐野めぐみ, 寺田佳世子, 尾崎景子, 山岸絵美, 橋本恵理子, 印出佑介, 奥田直貴, 石川源, 関口敦子, 中井章人: 子宮内バルーンタンポナーデが整復に有効であった産褥子宮内反症の 1 例. 東京産科婦人科学会誌 2017; 66 (1)
- 75) 針金 幸代, 高屋 茜, 奥田 直史, 三浦 愛, 針金 永佳, 角田 陽平, 加藤 雅彦, 黒木 睦実, 川端 伊久乃, 深見 武彦, 松島 隆, 米山 剛一: 子宮内小血管壁の平滑筋から発生した子宮血管平滑筋腫の 1 例. 関東連合産科婦人科学会誌 2017; 54 (2) :173.
- 76) 林 昌子, 明楽 重夫, 竹下 俊行: 子宮内膜症では体外受精後の妊娠で前置胎盤と癒着胎盤が増加する. 日本生殖医学会雑誌 2017; 62 (4) :384.

- 77) 渡邊 建一郎, 明樂 重夫, 白井 有香, 可世木 華子, 米澤 美令, 市川 智子, 桑原 慶充, 市川 雅男, 竹下 俊行 : 子宮内膜症術後の妊娠に関する検討. 関東連合産科婦人科学会誌 2017; 54 (2) :185.
- 78) 磯村 真理子, 川瀬 里衣子, 山本 晃人, 黒瀬 圭輔, 竹下 俊行 : 子宮捻転により出血性ショックを呈した 1 例. 日本医科大学医学会雑誌 2017; 13 (4) :260.
- 79) 磯村 真理子, 川瀬 里衣子, 久保田 夢音, 松田 繁, 山本 晃人, 黒瀬 圭輔, 竹下 俊行 : 子宮捻転による子宮動脈破綻により出血性ショックを来した 1 例. 関東連合産科婦人科学会誌 2017; 54 (3) :315.
- 80) 白石 達典, 明樂 重夫, 白井 有香, 可世木 華子, 渡邊 建一郎, 小野 修一, 峯 克也, 市川 雅男, 竹下 俊行 : 子宮腺筋症に対する LNG-IUS 療法において、GnRH アゴニスト併用は有効か. 日本エンドメトリオーシス学会誌 2017; 38:204-206.
- 81) 松島隆, 明樂重夫, 米山剛一, 竹下俊行 : 子宮腺筋症のホルモン療法—GnRH アゴニスト長期投与を目指して : draw-back therapy. 日本エンドメトリオーシス会誌 2017; 38 (1) :108-113.
- 82) 角田 陽平, 松島 隆, 山田 舞夕, 針金 幸代, 米山 剛一, 竹下 俊行 : 子宮鏡で確定診断された子宮仮性動脈瘤の 1 例. 日本産科婦人科内視鏡学会雑誌 2017; 33 (Suppl.1) :739.
- 83) 小野 修一, 米澤 美令, 渡邊 建一郎, 市川 智子, 峯 克也, 桑原 慶充, 明樂 重夫, 竹下 俊行 : 子宮鏡下中隔切除術に対する術前ジェノゲスト投与の有用性と術後妊娠予後. 日本生殖医学会雑誌 2017; 62 (4) :400.
- 84) 小野 修一, 米澤 美令, 渡邊 建一郎, 市川 智子, 桑原 慶充, 明樂 重夫, 竹下 俊行 : 子宮鏡下中隔切除術を施行した症例の妊娠・分娩予後. 日本産科婦人科学会雑誌 2018; 70 (2) :1032.
- 85) 山田 舞夕, 加藤 雅彦, 松島 隆, 奥田 直史, 三浦 愛, 清田 裕美, 針金 永佳, 角田 陽平, 針金 幸代, 高屋 茜, 黒木 睦実, 松村 好克, 川端 伊久乃, 深見 武彦, 米山 剛一 : 子宮鏡併用下により診断に至った Asherman 症候群合併子宮体癌の 1 例. 神奈川医学会雑誌 2017; 44 (2) :209-210.
- 86) 山田 舞夕, 松島 隆, 角田 陽平, 針金 幸代, 米山 剛一, 竹下 俊行 : 子宮鏡併用下により診断に至った Asherman 症候群合併子宮体癌の 1 例. 日本産科婦人科内視鏡学会雑誌 2017; 33 (Suppl.1) :737.
- 87) 山田 舞夕, 加藤 雅彦, 松島 隆, 奥田 直久, 三浦 愛, 清田 裕美, 針金 永佳, 角田 陽平, 針金 幸代, 高屋 茜, 黒木 睦実, 松村 好克, 川端 伊久乃, 深見 武彦, 米山 剛一 : 子宮鏡併用下により診断に至った Asherman 症候群合併子宮体癌の 1 例. 神奈川産科婦人科学会誌 2017; 54 (1) :87.
- 88) 池田 真利子, 上原 萌美, 上西園 幸子, 内山 亜弥, 最上 多恵, 近内 勝幸, 小野瀬 亮, 加藤 久盛 : 子宮頸癌における術中腹水細胞診について. 日本産科婦人科学会雑誌 2018; 70 (2) :943.
- 89) 池田 真利子, 上原 萌美, 上西園 幸子, 内山 亜弥, 最上 多恵, 近内 勝幸, 小野瀬 亮, 加藤 久盛 : 子宮頸癌放射線治療後の局所残存症例における子宮頸部細胞診の検討. 日本臨床細胞学会雑誌 2017; 56 (Suppl.2) :683.
- 90) 石原彩子, 倉品隆平, 伊藤麻利江, 米澤美令, 大内望, 市川智子, 桑原慶充, 澤倫太郎, 竹下俊行 : 子宮頸管妊娠 7 症例の臨床的検討. 東京産科婦人科学会誌 2017; 66 (3) :438 - 443-443.
- 91) 大峯 広貴, 笹谷 昌司, 長谷川 千花子, 平野 孝幸, 佐藤 春明, 清水 秀樹, 三枝 順子, 京本 晃典, 京本 絢美, 羽鳥 努, 鴨井 青龍, 山田 隆, 中西 一步, 松橋 智彦 : 子宮頸部 Large cell neuroendocrine carcinoma と Mucinous adenocarcinoma intestinal type が合併した一例. 日本臨床細胞学会雑誌 2017; 56 (Suppl.2) :808.
- 92) 上西園 幸子, 池田 真利子, 今井 一章, 川野 藍子, 井浦 文香, 近内 勝幸, 小野瀬 亮, 加藤 久盛, 北村 和久, 宮城 悦子 : 子宮頸部および体部神経内分泌癌における細胞診の後方視的検討. 日本臨床細胞学会雑誌 2017; 56 (Suppl.1) :219.
- 93) 深見 武彦, 黒木 睦実, 針金 幸代, 針金 永佳, 角田 陽平, 加藤 雅彦, 島田 学, 新村 裕樹, 川端 伊久乃, 松島 隆, 米山 剛一, 竹下 俊行 : 子宮頸部円錐切除後妊娠における妊娠中期の頸管長スクリーニングと早期早産予測. 日本産科婦人科学会雑誌 2018; 70(2):785.
- 94) 川瀬里衣子, 黒瀬圭輔, 山本晃人, 米山剛一, 竹下俊行 : 子宮頸部初期病変に対する円錐切除術後の予後に関する検討. 日本産科婦人科学会雑誌 2017; 69 (2)
- 95) 三幣 百合愛, 黒瀬 圭輔, 北島 展子, 山本 晃人, 川瀬 里衣子, 竹下 俊行 : 子宮頸部原発顆粒球肉腫の 1 例. 東京産科婦人科学会誌 2017; 66 (2) :345-349.
- 96) 川瀬里衣子, 黒瀬圭輔, 海渡由貴, 納富嗣人, 松田繁, 山本晃人, 米山剛一, 竹下俊行 : 子宮頸部細胞診にて ASC-US と診断された症例の臨床病理学的検討. 日本産科婦人科学会雑誌 2018; 70 (2) :756.

- 97) 池田 真利子, 上西園 幸子, 今井 一章, 川野 藍子, 井浦 文香, 近内 勝幸, 小野瀬 亮, 加藤 久盛 : 子宮頸部腺癌における腹水細胞診の臨床的意義について. 日本婦人科腫瘍学会雑誌 2017; 35 (3) :584.
- 98) 倉品隆平, 桑原慶充, 米澤美令, 大内望, 市川智子, 澤倫太郎, 竹下俊行 : 子癇発作に Posterior Reversible Encephalopathy Syndrome(PRES)を合併した4例. 日本妊娠高血圧学会雑誌 2017; 24:84.
- 99) 海渡 由貴, 倉品 隆平, 井野 創, 納富 嗣人, 米澤 美令, 大内 望, 市川 智子, 桑原 慶充, 澤 倫太郎, 竹下 俊行 : 帝王切開後に *Serratia marcescens* による菌血症を呈した一例. 関東連合産科婦人科学会誌 2017; 54 (3) :292.
- 100) 清田 裕美, 川端 伊久乃, 高屋 茜, 黒木 睦実, 針金 永佳, 加藤 雅彦, 針金 幸代, 角田 陽平, 深見 武彦, 松島 隆, 米山 剛一 : 帝王切開時の脊椎くも膜下硬膜外併用麻酔により発症した産褥期慢性硬膜下血腫の2例. 関東連合産科婦人科学会誌 2017; 54 (2) :157.
- 101) 新村 裕樹, 今道 小百合, 坂田 明子, 宮崎 美和, 柴田 良枝, 林 瑞成, 鈴木 俊治 : 常位胎盤早期剥離に関する保健指導再啓発の必要性. 日本周産期・新生児医学会雑誌 2017; 53 (2) :487.
- 102) 沼崎令子, 杉浦賢, 仲沢経夫, 磯崎太一, 新井務, 大原樹, 木挽貢慈, 佐々木康, 茂田博行, 高田恭臣, 林康子, 平澤猛, 宮城悦子, 森岡幹, 米山剛一 : 平成28年度神奈川産科婦人科学会婦人科悪性腫瘍登録集計報告. 神奈川産科婦人科学会誌 2018; 54 (2) :122-130.
- 103) 山岸 絵美, 関口 敦子, 印出 佑介, 佐野 めぐみ, 原田 寛子, 尾崎 景子, 菊地 恵理子, 林 昌子, 奥田 直貴, 中井 章人 : 当科で過去5年間に経験した臨床的癒着胎盤の後方視的検討. 東京産科婦人科学会誌 2017; 66 (4) :618-623.
- 104) 山田 隆, 寺田 展子, 三幣 百合愛, 庄田 有里, 三浦 愛, 杉田 洋佑, 大和田 桃子, 中西 一步, 西方 紀子, 松橋 智彦, 石川 源, 鴨井 青龍, 竹下 俊行 : 当院における婦人科がん術後下肢リンパ浮腫ケアの現状. 日本癌治療学会学術集会抄録集 2017; 55 回:P149-2.
- 105) 可世木 華子, 市川 雅男, 佐野 めぐみ, 白井 有香, 渡邊 建一郎, 小野 修一, 峯 克也, 明樂 重夫, 竹下 俊行 : 当院における急性腹症を呈したチョコレート嚢胞症例の検討. 日本エンドメトリオーシス学会誌 2017; 38:162-164.
- 106) 加藤 僚子, 篠崎 香, 峯 克也, 小野 修一, 米澤 美令, 渡邊 建一郎, 市川 智子, 桑原 慶充, 明樂 重夫, 竹下 俊行 : 当院における生殖医療安全管理のピットフォール. 日本生殖医学会雑誌 2017; 62 (4) :519.
- 107) 坂田 明子, 中井 章人, 関口 敦子, 奥田 直貴, 林 昌子, 印出 佑介, 菊池 恵理子, 山岸 絵美, 原田 寛子, 上野 悠太, 佐野 めぐみ, 白石 達典 : 当院に搬送された産後出血症例の母体予後. 日本医科大学医学会雑誌 2017; 13 (4) :260.
- 108) 可世木 華子, 市川 雅男, 関根 仁樹, 渡邊 建一郎, 小野 修一, 明樂 重夫, 竹下 俊行 : 当院のNTRにおける成績. 日本女性骨盤底医学会誌 2017; 14 (1) :46-49.
- 109) 可世木 華子, 明樂 重夫, 白井 有香, 渡邊 建一郎, 小野 修一, 峯 克也, 市川 雅男, 竹下 俊行 : 当院のチョコレート嚢胞手術による卵巣予備能への影響. 日本産科婦人科内視鏡学会雑誌 2017; 33 (Suppl.I) :574.
- 110) 原田 寛子, 関口 敦子, 川端 英恵, 寺田 佳世子, 尾崎 景子, 山岸 絵美, 菊地 恵理子, 印出 佑介, 林 昌子, 奥田 直貴, 中井 章人 : 当院の妊娠34週から36週における前期破水の管理成績. 関東連合産科婦人科学会誌 2017; 54 (3) :340.
- 111) 竹下 俊行 : 技術認定医と施設認定を得るために. 東海産婦人科内視鏡手術研究会雑誌 2017; 5:27.
- 112) 米澤 美令, 渡邊 建一郎, 小野 修一, 市川 智子, 峯 克也, 里見 操緒, 桑原 慶充, 明樂 重夫, 竹下 俊行 : 抗 Phosphatidylethanolamine 抗体持続的陽性の意義に関する検討. 日本生殖医学会雑誌 2017; 62 (4) :451.
- 113) 早坂 明哲, 井上 千鹿子, 伊藤 保彦, 竹下 俊行, 藤倉 輝道 : 日本医科大学における全授業 LMS 利用の現状と課題. 医学教育 2017; 48 (Suppl.) :212.
- 114) 米山剛一, 山本晃人, 川瀬里衣子, 山田隆, 黒瀬圭輔, 高屋茜, 深見武彦, 松島隆, 土居大祐, 鴨井青龍, 黒木睦実, 竹下俊行 : 早期子宮体癌患者の血液中マイクロRNAの動態に関する検討. 日本産科婦人科学会雑誌 2017; 69 (2)
- 115) 大内 望, 桑原 慶充, 伊藤 麻利江, 米澤 美令, 倉品 隆平, 市川 智子, 澤 倫太郎, 竹下 俊行 : 未分画ヘパリン投与は妊娠期間及び分娩時間に影響するか?. 日本周産期・新生児医学会雑誌 2017; 53 (2) :549.
- 116) Negishi Yasuyuki, Ichikawa Tomoko, Watanabe Eri, Takeshita Hikaru, Takeshita Toshiyuki, Takahashi Hidemi : 樹状細胞とマクロファージ(1) 臓器特異的免疫寛容 マウスにおける自然免疫細胞の養子移植は胎仔死亡を誘発する(Dendritic cells and Macrophages: Organ-specific Immune Tolerance Adoptive transfer of innate immune cells induce murine fetal loss). 日本免疫学会総会・学術集会記録 2017; 46 (Proceedings) :2-P.
- 117) 佐野 めぐみ, 尾崎 景子, 川端 英恵, 寺田 佳世子, 山岸 絵美, 菊地 恵理子, 印出 佑介, 林 昌子, 奥田 直貴, 石川 源, 関口 敦子, 中井 章人, 赤枝 朋嘉 : 母児ともに救命し得た子宮手術既往のない子宮破裂の1例. 東京産科婦人科学会誌 2017; 66 (2) :277-281.

- 118)尾崎 景子, 佐野 めぐみ, 川端 英恵, 寺田 佳世子, 山岸 絵美, 菊地 恵理子, 印出 佑介, 林 昌子, 奥田 直貴, 石川 源, 関口 敦子, 中井 章人: 母児ともに救命し得た子宮破裂の1例. 関東連合産科婦人科学会誌 2017; 54 (4) :551-555.
- 119)市川 雅男, 明楽 重夫, 白井 有香, 可世木 華子, 渡辺 健一郎, 小野 修一, 竹下 俊行: 深部子宮内膜症の腹腔鏡治療 適応と限界をどう見極めるか 新しい子宮内膜症術前診断法 NMS-E に基づいた深部病変へのアプローチ 適応と限界を見極める. 日本エンドメトリオーシス学会誌 2017; 38:72-76.
- 120)針金 幸代, 黒木 睦実, 角田 陽平, 稲垣 知子, 高屋 茜, 川端 伊久乃, 深見 武彦, 松島 隆, 米山 剛一, 竹下 俊行: 深部静脈血栓症合併妊娠に対する回収型下大静脈フィルターの使用経験. 日本周産期・新生児医学会雑誌 2017; 53 (2) :552.
- 121)竹下 俊行, 加藤 僚子, 林 昌子, 重見 大介, 桑原 章, 苛原 稔: 生殖補助医療において流産リスクに影響を与える因子の探索. 日本産科婦人科学会雑誌 2018; 70 (2) :828.
- 122)中西 一步, 寺田 展子, 三幣 百合愛, 三浦 愛, 杉田 洋佑, 松橋 智彦, 西方 紀子, 山田 隆, 石川 源, 鴨井 青龍, 竹下 俊行: 産婦人科手術における危機的出血への戦略的アプローチ Vacuum Packing Closure を用いたダメージコントロール手術の有用性. 日本産科婦人科学会雑誌 2018; 70 (2) :936.
- 123)関口 敦子, 林 昌子, 坂田 明子, 白石 達典, 上野 悠太, 原田 寛子, 山岸 絵美, 菊地 恵理子, 印出 佑介, 奥田 直貴, 中井 章人, 竹下 俊行: 産後出血搬送症例の検討 搬送前のショックインデックスと搬送後の輸血必要量. 日本産科婦人科学会雑誌 2018; 70 (2) :997.
- 124)安井 大祐, 村田 智, 上田 達夫, 杉原 史恵, 齋藤 英正, 米澤 美令, 竹下 俊行, 汲田 伸一郎: 産科的処置にて制御困難な産科出血に対する経皮的動脈塞栓術の有用性. IVR: Interventional Radiology 2017; 32 (Suppl.) :178.
- 125)上西園 幸子, 池田 真利子, 今井 一章, 川野 藍子, 井浦 文香, 近内 勝幸, 小野瀬 亮, 加藤 久盛: 症例 子宮がん検診を契機に発覚した無症状の進行卵巣癌の1例. 神奈川県臨床細胞学会誌 2017; 22 (1) :6-10.
- 126)松井 遼子, 鴨井 青龍, 庄田 有里, 杉田 洋祐, 浜野 愛理, 中西 一步, 西方 紀子, 松橋 智彦, 山田 隆, 竹下 俊行: 癌性髄膜炎を発症した卵巣癌IV期の1例. 日本婦人科腫瘍学会雑誌 2017; 35 (3) :610.
- 127)寺崎 美佳, 米山 剛一, 山本 晃人, 川瀬 里衣子, 黒瀬 圭輔, 竹下 俊行, 清水 章: 破骨細胞型巨細胞を伴う平滑筋肉腫の腫瘍発現因子の検討. 日本婦人科腫瘍学会雑誌 2017; 35 (3) :528.
- 128)柴田良枝, 坂田明子, 今道小百合, 新村裕樹, 宮崎美和, 林瑞成, 鈴木俊治: 社会的ハイリスク妊産婦に対する妊娠・出産・育児における継続的な支援への取り組み. 日本周産期・新生児医学会雑誌 2017; 53 (2) :619.
- 129)山本 晃人, 川瀬 里衣子, 黒瀬 圭輔, 池田 真利子, 山田 隆, 米山 剛一, 鴨井 青龍, 竹下 俊行: 神経温存広汎性子宮全摘出術の検討. 産婦人科手術 2017; (28) :160.
- 130)Yonezawa Mirei, Ito Marie, Yoshikawa Saori, Kaseki Hanako, Ouchi Nozomi, Kurashina Ryuhei, Ichikawa Tomoko, Mine Katsuya, Kuwabara Yoshimitsu, Satomi Misao, Sawa Rintaro, Takeshita Toshiyuki: 第9染色体逆位が不育症に及ぼす影響(Impact of inversion of chromosome 9 on recurrent pregnancy loss). The Journal of Obstetrics and Gynaecology Research 2017; 43 (12) :2021.
- 131)市川 智子, 桑原 慶充, 米澤 美令, 大内 望, 倉品 隆平, 竹下 俊行: 第一三半期に急性腹症を来した尿管腫大の一例. 日本周産期・新生児医学会雑誌 2017; 53 (2) :699.
- 132)山田 舞夕, 加藤 雅彦, 深見 武彦, 奥田 直史, 三浦 愛, 清田 裕美, 針金 永佳, 角田 陽平, 針金 幸代, 高屋 茜, 黒木 睦実, 松村 好克, 川端 伊久乃, 松島 隆, 米山 剛一: 絨毛膜下血腫との鑑別を要した胎児共存奇胎の1例. 神奈川医学会雑誌 2017; 44 (2) :216.
- 133)山田 舞夕, 加藤 雅彦, 深見 武彦, 奥田 直久, 三浦 愛, 清田 裕美, 針金 永佳, 角田 陽平, 針金 幸代, 高屋 茜, 黒木 睦実, 松村 好克, 川端 伊久乃, 松島 隆, 米山 剛一: 絨毛膜下血腫との鑑別を要した胎児共存奇胎の1例. 神奈川産科婦人科学会誌 2017; 54 (1) :93.
- 134)土佐 眞美子, 松島 隆, 米山 剛一, 赤石 諭史, 小川 令: 肥厚性癍痕の予防と治療 手術後肥厚性癍痕の予防と早期治療を目的とした特殊外来の有効性についての検討. 日本創傷治療学会プログラム・抄録集 2017; 47回:108.
- 135)中尾 仁彦, 岩田 衣世, 竹下 俊行, 小澤 一史: 肥満、不妊を呈するレプチン受容体異常ラットにおける神経内分泌学的生殖制御機構の変化に関する組織化学的解析. 日本生殖医学会雑誌 2017; 62 (4) :521.
- 136)井野 創, 黒瀬 圭輔, 石原 彩子, 三幣 百合愛, 原田 寛子, 山本 晃人, 川瀬 里衣子, 竹下 俊行: 肺癌を原発巣とする転移性卵巣腫瘍の一例. 関東連合産科婦人科学会誌 2017; 54 (2) :167.



- 137)杉田洋佑, 山田隆, 石川源, 西方紀子, 中西一步, 松橋智彦, 鴨井青龍, 羽鳥努, 竹下俊行: 肺絨毛癌の一例. 日本絨毛性疾患研究会・日本胎盤学会学術集会プログラム・抄録集 2017; 35th-25th:49.
- 138)磯村 真理子, 黒瀬 圭輔, 山本 晃人, 川瀬 里衣子, 久保田 夢音, 中西 一步, 松橋 智彦, 山田 隆, 米山 剛一, 彭 為霞, 寺崎 美佳, 大橋 隆治, 鴨井 青龍: 胆嚢癌を原発とする転移性卵巣腫瘍の1例. 日本臨床細胞学会雑誌 2017; 56 (Suppl.2) :742.
- 139)菊地 恵理子, 印出 佑介, 佐野 めぐみ, 川端 英恵, 寺田 佳世子, 尾崎 景子, 山岸 絵美, 林 昌子, 奥田 直貴, 石川 源, 関口 敦子, 中井 章人: 胎盤ポリープ治療後妊娠における帝王切開時子宮出血に対して子宮圧縮縫合術を要した1例. 東京産科婦人科学会誌 2017; 66 (3) :544-548.
- 140)松井 遼子, 鴨井 青龍, 山田 隆, 松橋 智彦, 中田 真理世, 森 瑛子, 浜野 愛理, 重見 大介, 大和田 桃子, 竹下 俊行: 膣壁の開窓・形成に難渋したOHVIRA症候群の1例. 産婦人科手術 2017; (28) :165.
- 141)清田 裕美, 川端 伊久乃, 黒木 睦実, 高屋 茜, 針金 幸代, 角田 陽平, 深見 武彦, 松島 隆, 米山 剛一, 竹下 俊行: 腱鞘炎が契機となった産後うつ病の1例 本症例から検討した妊産婦メンタルヘルスケアに対する取り組み. 日本周産期・新生児医学会雑誌 2017; 53 (2) :615.
- 142)池田 真利子, 近内 勝幸, 上西園 幸子, 今井 一章, 川野 藍子, 井浦 文香, 小野瀬 亮, 加藤 久盛: 腹水細胞診が診断の契機となった卵巣小細胞癌の1例. 神奈川県臨床細胞学会誌 2017; 22 (1) :11-15.
- 143)鈴木 美沙子, 渡邊 建一郎, 磯村 真理子, 井野 創, 佐川 慧, 可世木 華子, 小野 修一, 桑原 慶充, 市川 雅男, 明樂 重夫, 竹下 俊行: 腹腔鏡下子宮筋腫核出術の出血量と手術時間に影響を与える因子について. 関東連合産科婦人科学会誌 2017; 54 (3) :353.
- 144)島 義雄, 根岸 靖幸, 竹下 俊行, 高橋 秀実: 自然免疫から考える後期早産. 日本周産期・新生児医学会雑誌 2017; 53 (2) :489.
- 145)島 義雄, 根岸 靖幸, 竹下 俊行, 高橋 秀実: 自然炎症としての後期早産. 日本新生児保育医学会雑誌 2017; 29 (3) :602.
- 146)Kuwabara Yoshimitsu, Ito Marie, Yonezawa Mirei, Ouchi Nozomi, Kurashina Ryuhei, Ichikawa Tomoko, Satomi Misao, Sawa Rintaro, Takeshita Toshiyuki: 血清反応陰性の産科学的な抗リン脂質抗体症候群を有する患者における病態関連分子を特定するためのプロテオミクス的アプローチ(A proteomic approach to identify pathology-related molecules in patients with seronegative obstetric antiphospholipid syndrome). The Journal of Obstetrics and Gynaecology Research 2017; 43 (12) :2019.
- 147)松田 繁, 黒瀬 圭輔, 納富 嗣人, 海渡 由貴, 山本 晃人, 川瀬 里衣子, 市川 雅男, 明樂 重夫, 竹下 俊行: 術前 BMI 値が腹腔鏡下子宮体がん手術に与える影響. 日本産科婦人科学会雑誌 2018; 70 (2) :842.
- 148)針金 永佳, 新村裕樹, 加藤雅彦, 角田陽平, 山田舞夕, 小川淳, 針金幸代, 稲垣知子, 島田学, 黒木睦実, 深見武彦, 川端伊久乃, 松島隆, 米山剛一: 術前に成熟奇形腫の悪性転化を強く疑った症例. 神奈川産科婦人科学会誌 2018; 54 (2) :181.
- 149)針金 永佳, 新村 裕樹, 加藤 雅彦, 角田 陽平, 山田 舞夕, 小川 淳, 針金 幸代, 稲垣 裕子, 島田 学, 黒木 睦実, 深見 武彦, 川端 伊久乃, 松島 隆, 米山 剛一: 術前に成熟奇形腫悪性転化を強く疑った一例. 神奈川医学会雑誌 2018; 45 (1) :46.
- 150)池田 真利子, 上西園 幸子, 今井 一章, 川野 藍子, 井浦 文香, 近内 勝幸, 小野瀬 亮, 北村 和久, 岩撫 成子, 加藤 久盛: 術前診断が過小評価であった子宮頸癌3例の細胞診断学的検討. 日本臨床細胞学会雑誌 2017; 56 (Suppl.1) :337.
- 151)山田 舞夕, 加藤 雅彦, 米山 剛一, 奥田 直史, 三浦 愛, 清田 裕美, 針金 永佳, 角田 陽平, 針金 幸代, 高屋 茜, 黒木 睦実, 松村 好克, 川端 伊久乃, 深見 武彦, 松島 隆, 竹下 俊行: 術前診断に苦慮した中腎管腺癌の一例. 日本婦人科腫瘍学会雑誌 2017; 35 (3) :572.
- 152)岡田 知之, 黒木 睦実, 清田 裕美, 針金 永佳, 奥田 直史, 三浦 愛, 山田 舞夕, 角田 陽平, 針金 幸代, 稲垣 知子, 加藤 雅彦, 高屋 茜, 深見 武彦, 川端 伊久乃, 松島 隆, 村木 輝, 豊田 哲鎬, 鈴木 英之, 米山 剛一: 術前診断に苦慮した虫垂原発転移性卵巣がんの1例. 神奈川医学会雑誌 2017; 44 (2) :213.
- 153)岡田 知之, 黒木 睦実, 清田 裕美, 針金 永佳, 奥田 直史, 三浦 愛, 山田 舞夕, 角田 陽平, 針金 幸代, 稲垣 知子, 加藤 雅彦, 高屋 茜, 深見 武彦, 川端 伊久乃, 松島 隆, 米山 剛一, 村木 輝, 豊田 哲鎬, 鈴木 英之: 術前診断に苦慮した虫垂原発転移性卵巣がんの1例. 神奈川産科婦人科学会誌 2017; 54 (1) :90.
- 154)一木愛, 北島展子, 春名百合愛, 皆川友希, 中西一步, 松橋智彦, 西方紀子, 山田隆, 石川源, 鴨井青龍: 術後10年以上良好な経過を示した後に再発が疑われた婦人科癌の2症例. 千葉県産科婦人科医学会雑誌 2018; 11 (2) :85.
- 155)井野 創, 山本 晃人, 石原 彩子, 三幣 百合愛, 原田 寛子, 川瀬 里衣子, 黒瀬 圭輔, 竹下 俊行: 閉経後の子宮筋腫増大を契機に診断された充実性卵巣腫瘍の1例. 東京産科婦人科学会誌 2017; 66 (4) :652-656.

- 156)清田 裕美, 松島 隆, 川端 伊久乃, 黒木 睦実, 稲垣 知子, 針金 永佳, 高屋 茜, 加藤 雅彦, 針金 幸代, 角田 陽平, 三浦 愛, 山田 舞夕, 奥田 直史, 松村 好克, 深見 武彦, 米山 剛一: 非典型的な胎児心拍モニターを呈した常位胎盤早期剥離の1例. 神奈川医学学会雑誌 2017; 44 (2) :210.
- 157)清田 裕美, 松島 隆, 川端 伊久乃, 黒木 睦実, 稲垣 知子, 針金 永佳, 高屋 茜, 加藤 雅彦, 針金 幸代, 角田 陽平, 三浦 愛, 山田 舞夕, 奥田 直史, 松村 好克, 深見 武彦, 米山 剛一: 非典型的な胎児心拍モニターを呈した常位胎盤早期剥離の1例. 神奈川産科婦人科学会誌 2017; 54 (1) :87.
- 158)戸山 友香, 鈴木 康友, 中山 聡子, 川田 由里子, 遠藤 勇氣, 佐々木 崇, 高橋 圭吾, 安岡 正太郎, 松岡 諒, 市川 雅男, 明楽 重夫, 竹下 俊行, 近藤 幸尋: 骨盤臓器脱に対するLSC術前後における排尿機能. 日本泌尿器科学会総会 2017; 105回:PP14-08.
- 159)山田隆, 鴨井青龍, 三枝順子, 京本絢美, 中西一步, 松橋智彦, 石川源, 小黒辰夫, 竹下俊行: 高用量黄体ホルモン療法における子宮内膜の経時的形態変化の検討. 日本臨床分子形態学会総会・学術集会講演プログラム・要旨集 2017; 49th:83.

## 学会発表

- 1) 川端伊久乃, 清田裕美, 三浦愛, 山田舞夕, 奥田直史, 針金永佳, 針金幸代, 黒木睦実, 深見武彦, 松島隆, 米山剛一, 竹下俊行: 40歳以上の正期産では陣痛促進剤使用例と緊急帝王切開率が高くなる. 日本産科婦人科学会学術講演会(第69回). (広島), 2017. 4.
- 2) 川端伊久乃, 清田裕美, 黒木睦実, 高屋茜, 針金幸代, 角田陽平, 深見武彦, 松島隆, 米山剛一, 竹下俊行: 40歳以上の高齢妊婦における満期試験的経膈分娩に関する検討. 日本周産期・新生児医学会総会および学術集会(第53回). (横浜市), 2017. 7.
- 3) 松田 繁: 9番染色体逆位と不育症の関連性について. 産科婦人科遺伝診療学会, 2017.
- 4) 上野 悠太, 山口 暁, 重見 大介, 印出 佑介, 都甲 明子, 竹下 俊行: CMVスクリーニングと感染予防啓発の効果における後方視的検討. 日本産科婦人科学会雑誌, 2018. 2.
- 5) 関口敦子, 深見武彦, 石川源, 奥田直貴, 林昌子, 印出佑介, 菊地恵理子, 山岸絵美, 尾崎景子, 米山剛一, 中井章人, 竹下俊行: HELLP症候群72例の検討-血小板数が分娩後後に与える影響-. 日本産科婦人科学会学術講演会(第69回). (広島), 2017. 4.
- 6) 市川 雅男, 明楽 重夫, 白井 有香, 可世木 華子, 渡辺 健一郎, 小野 修一, 竹下 俊行: LSCの進化 LSCの安全と進化について. 日本産科婦人科内視鏡学会雑誌, 2017. 8.
- 7) 庄田有里, 川端伊久乃, 小川淳, 滝澤彩子, 山田舞夕, 針金永佳, 新村裕樹, 針金幸代, 角田陽平, 島田学, 稲垣知子, 加藤雅彦, 深見武彦, 松島隆, 米山剛一: てんかんのコントロールに難渋し満期で緊急帝王切開に至った2例. 神奈川産科婦人科学会学術講演会(第420回). (相模原市), 2017. 11.
- 8) 中岡 博史, 井ノ上 逸朗, 山本 晃人, 黒瀬 圭輔, 明楽 重夫: アレル特異的クロマチン相互作用を介した子宮内膜症感受性領域の転写制御メカニズム解明. 第38回日本エンドメトリオーシス学会学術講演会, 2017. 1.
- 9) 小川淳, 稲垣知子, 滝澤彩子, 新村裕樹, 庄田有里, 加藤雅彦, 川端伊久乃, 深見武彦, 松島隆, 米山剛一: 下腹部痛を主訴に診断に至ったOHVIRA症候群の1例. 第134回関東連合産科婦人科学会総会. (栃木県宇都宮市), 2017. 12.
- 10) 滝澤彩子, 川端伊久乃, 針金永佳, 針金幸代, 新村裕樹, 稲垣知子, 島田学, 加藤雅彦, 深見武彦, 松島隆, 米山剛一: 中期流産時に発症した敗血症の1例. 神奈川産科婦人科学会学術講演会(第421回). (横浜市), 2018. 3.
- 11) 小川淳, 松島隆, 山田舞夕, 角田陽平, 針金幸代, 島田学, 川端伊久乃, 深見武彦, 米山剛一: 中隔子宮内腔の病変を診断する上で子宮鏡が有用だった2症例の検討. 神奈川産婦人科内視鏡研究会(第42回). (横浜市), 2018. 3.
- 12) 小川淳, 黒木睦実, 針金永佳, 加藤雅彦, 山田舞夕, 角田陽平, 針金幸代, 新村裕樹, 稲垣知子, 島田学, 深見武彦, 川端伊久乃, 松島隆, 米山剛一: 低悪性度子宮内膜間質肉腫術後再発に対して, 尿管, 膀胱および内腸骨動脈の部分切除を施行した1例. 神奈川産科婦人科学会学術講演会(第418回). (横浜市), 2017. 7.
- 13) 米山剛一: 劇症型溶血性レンサ球菌感染症, 妊娠オウム病そして羊水塞栓症 - 妊産婦死亡原因疾患として -. 川崎市産科婦人科医会 新年学術講演会. (神奈川県川崎市), 2018. 1.
- 14) 久保田夢音, 山本晃人, 川瀬里衣子, 磯村真理子, 中西一步, 松橋智彦, 山田隆, 米山剛一, 鴨井青龍, 寺崎美佳, 彭為霞, 黒瀬圭輔: 卵巣低悪性度漿液性腺癌の1例. 第56回 日本臨床細胞学会 秋期大会. (福岡県福岡市), 2017. 11.
- 15) 可世木 華子, 明楽 重夫, 納富 継人, 白石 達典, 寺田 展子, 白井 有香, 渡邊 建一郎, 小野 修一, 峯 克也, 市川 雅男, 竹下 俊行: 卵巣嚢腫合併妊娠に対する腹腔鏡補助下手術の検討. 小切開・鏡視外科学会雑誌, 2017. 5.

- 16) 奥田 直貴, 山岸 絵美, 尾崎 景子, 川端 英恵, 佐野 めぐみ, 寺田 佳世子, 菊地 恵理子, 印出 佑介, 林 昌子, 石川 源, 関口 敦子, 中井 章人: 卵巣癌終末期の難治性腹水に対し、デンプーシャントが患者 QOL 改善に寄与したと考えられた 1 例. 関東連合産科婦人科学会誌, 2017. 5.
- 17) 三浦愛, 米山剛一, 加藤雅彦, 山田舞夕, 針金永佳, 角田陽平, 針金幸代, 高屋茜, 黒木睦実, 松島隆, 土居大祐, 竹下俊行: 卵巣癌術後化学療法中に発症したメトロニダゾール誘発性脳症の 1 例. 日本婦人科腫瘍学会 (第 59 回). (熊本県), 2017. 7.
- 18) 鍋木 翔太, 高野 夏希, 菅野 哲平, 松本 優, 野呂 林太郎, 武内 進, 加藤 友美, 中山 幸治, 高橋 聡, 小林 研一, 峯岸 裕司, 清家 正博, 久保田 馨, 弦間 昭彦, 山本 晃人, 黒瀬 圭輔, 大橋 隆治, 寺崎 泰弘, 功刀 しのぶ, 白田 実男: 卵巣莖膜細胞腫への腫瘍内転移をきたした肺大細胞神経内分泌癌の 1 例. 第 58 回日本肺癌学会学術集会, 2017. 10.
- 19) 海渡 由貴, 山本 晃人, 磯村 真理子, 久保田 夢音, 納富 嗣人, 松田 繁, 川瀬 里衣子, 黒瀬 圭輔, 竹下 俊行: 原発巣の診断に苦慮した転移性卵巣腫瘍の 1 例. 第 384 回東京産科婦人科学会例会, 2017. 12.
- 20) 角田陽平, 米山剛一, 高屋茜, 山田舞夕, 三浦愛, 針金永佳, 針金幸代, 黒木睦実, 松島隆, 竹下俊行: 品胎に合併した胎児共存奇胎の 1 例. 日本婦人科腫瘍学会 (第 59 回). (熊本), 2017. 7.
- 21) 川端伊久乃: 女性競技者の為のコンディショニングについて考える 精査と女性の身体的特性. 日本女子体育大学スポーツ栄養フォーラム, 2017. 7.
- 22) 川端伊久乃, 山田舞夕, 加藤雅彦, 稲垣智子, 伊藤友希, 清田裕美, 深見武彦, 松島隆, 米山剛一: 妊娠を契機に診断された洞不全症候群合併妊娠の一例, 2017. 10.
- 23) 川端伊久乃, 山田舞夕, 加藤雅彦, 稲垣智子, 伊藤友希, 清田裕美, 深見武彦, 松島隆, 米山剛一, 竹下俊行: 妊娠を契機に診断された特発性洞不全症候群合併妊娠の 1 例. 日本妊娠高血圧学会総会・学術講演会. (熊本), 2017. 9.
- 24) 川端伊久乃, 山田舞夕, 加藤雅彦, 稲垣知子, 伊藤友希, 清田裕美, 深見武彦, 松島隆, 米山剛一: 妊娠を契機に診断された特発性洞不全症候群合併妊娠の 1 例. 日本妊娠高血圧学会総会・学術講演会 (第 38 回). (熊本市), 2017. 9.
- 25) 上野 悠太, 山口 暁, 重見 大介, 都甲 明子, 竹下 俊行: 妊娠中の Cytomegalovirus 感染を疑い Avidity Index を測定した 6 例の検討. 日本周産期・新生児医学会雑誌, 2017. 6.
- 26) 富田真紀子, 加藤友康, 池田俊一, 石川光也, 宇津木久仁子, 宮城悦子, 鈴木幸雄, 米山剛一, 黒木睦実, 酒井瞳, 勝俣範之, 小熊祐子, 高橋都: 婦人科がん患者の治療後の身体的不調が QOL に与える影響と stress coping, social support, 自己効力感の関連性. 30 回日本サイコオンコロジー学会総会・23 回日本臨床死生学会総会合同大会. (東京), 2017. 10.
- 27) 加藤友康, 富田真紀子, 池田俊一, 石川光也, 宇津木久仁子, 宮城悦子, 鈴木幸雄, 米山剛一, 黒木睦実, 酒井瞳, 勝俣範之, 小熊祐子, 高橋都: 婦人科がん治療後の下肢リンパ浮腫と排尿困難に関する治療内容別頻度と, QOL への影響. 55 回日本癌治療学会学術集会. (神奈川県横浜市), 2017. 10.
- 28) 川端英恵, 林昌子, 原田寛子, 佐野めぐみ, 寺田佳世子, 尾崎景子, 山岸絵美, 橋本恵理子, 印出佑介, 奥田直貴, 石川源, 関口敦子, 中井章人: 子宮内バルーンタンポナーデが整復に有効であった産褥子宮内反症の 1 例. 東京産科婦人科学会誌, 2017.
- 29) 針金幸代, 高屋茜, 奥田直史, 三浦愛, 針金永佳, 角田陽平, 加藤雅彦, 黒木睦実, 川端伊久乃, 深見武彦, 松島隆, 米山剛一: 子宮内小血管壁の平滑筋から発生した子宮血管平滑筋腫の 1 例. 第 133 回 関東連合産科婦人科学会 総会・学術集会. (東京), 2017. 6.
- 30) 磯村 真理子, 川瀬 里衣子, 山本 晃人, 黒瀬 圭輔, 竹下 俊行: 子宮捻転により出血性ショックを呈した 1 例. 第 85 回日本医科大学医学部総会, 2017. 9.
- 31) 磯村 真理子, 川瀬 里衣子, 久保田 夢音, 松田 繁, 山本 晃人, 黒瀬 圭輔, 竹下 俊行: 子宮捻転による子宮動脈破綻により出血性ショックを来した 1 例. 第 134 回 関東連合産科婦人科学会 総会・学術集会, 2017. 12.
- 32) 角田陽平, 松島隆, 米山剛一, 山田舞夕, 針金幸代, 竹下俊行: 子宮鏡で確定診断された子宮仮性動脈瘤の 1 例. 日本産科婦人科内視鏡学会 (第 57 回). (岡山県), 2017. 9.
- 33) 山田舞夕, 松島隆, 米山剛一, 角田陽平, 針金幸代, 竹下俊行: 子宮鏡併用下により診断に至った Asherman 症候群合併子宮体癌の 1 例. 日本産科婦人科内視鏡学会 (第 57 回). (岡山県), 2017. 9.
- 34) 山本晃人, 黒瀬圭輔, 川瀬里衣子, 米山剛一, 鴨井青龍, 竹下俊行: 子宮頸癌合併妊娠における子宮頸部細胞診の検討. 日本産科婦人科学会学術講演会 (第 69 回). (広島), 2017. 4.
- 35) 池田 真利子: 子宮頸癌放射線治療後の局所残存症例における子宮頸部細胞診の検討. 日本臨床細胞学会秋期大会, 2017. 11.

- 36) 川瀬里衣子, 黒瀬圭輔, 山本晃人, 米山剛一, 竹下俊行: 子宮頸部初期病変に対する円錐切除後の予後に関する検討. 日本産科婦人科学会学術講演会(第69回). (広島), 2017. 4.
- 37) 清田裕美, 川端伊久乃, 高屋茜, 黒木睦実, 針金佳佳, 加藤雅彦, 針金幸代, 角田陽平, 深見武彦, 松島隆, 米山剛一: 帝王切開時の脊椎くも膜下硬膜外併用麻酔により発症した産褥期慢性硬膜下血腫の2例. 第133回 関東連合産科婦人科学会 総会・学術集会. (東京都), 2017. 7.
- 38) 新村裕樹, 今道小百合, 坂田明子, 宮崎美和, 柴田良枝, 林瑞成, 鈴木俊治: 常位胎盤早期剥離に関する保健指導再啓発の必要性. 日本周産期・新生児医学会雑誌, 2017. 6.
- 39) 沼崎令子, 杉浦賢, 仲沢経夫, 磯崎太一, 新井努, 大原樹, 木挽貢慈, 佐々木康, 茂田博行, 高田恭臣, 林康子, 平澤猛, 宮城悦子, 森岡幹, 米山剛一: 平成28年度 神奈川産科婦人科学会 婦人科悪性腫瘍登録集計報告. 第418回神奈川産科婦人科学会 学術講演会. (神奈川県横浜市), 2017. 7.
- 40) 松田 繁: 当センターにおける卵子提供後分娩例の周産期予後. 日本産科婦人科学会, 2017.
- 41) 可世木 華子, 市川 雅男, 佐野 めぐみ, 白井 有香, 渡邊 建一郎, 小野 修一, 峯 克也, 明樂 重夫, 竹下 俊行: 当院における急性腹症を呈したチョコレート嚢胞症例の検討. 日本エンドメトリオーシス学会誌, 2017. 7.
- 42) 坂田明子, 中井章人, 関口敦子, 奥田直貴, 林昌子, 印出佑介, 菊池恵理子, 山岸絵美, 原田寛子, 上野悠太, 佐野めぐみ, 白石達典: 当院に搬送された産後出血症例の母体予後. 日本医科大学医学会雑誌, 2017.
- 43) 可世木 華子, 明樂 重夫, 白井 有香, 渡邊 建一郎, 小野 修一, 峯 克也, 市川 雅男, 竹下 俊行: 当院のチョコレート嚢胞手術による卵巣予備能への影響. 日本産科婦人科内視鏡学会雑誌, 2017. 8.
- 44) 原田 寛子, 関口 敦子, 川端 英恵, 寺田 佳世子, 尾崎 景子, 山岸 絵美, 菊地 恵理子, 印出 佑介, 林 昌子, 奥田 直貴, 中井 章人: 当院の妊娠34週から36週における前期破水の管理成績. 関東連合産科婦人科学会誌, 2017. 10.
- 45) 土佐眞美子, 松島隆, 米山剛一, 赤石論史, 小川令: 手術後肥厚性瘢痕の予防と早期治療を目的とした特殊外来の有効性についての検討. 日本創傷治療学会(第47回). (京都), 2017. 11.
- 46) 滝澤彩子, 稲垣知子, 針金幸代, 新村裕樹, 島田学, 加藤雅彦, 川端伊久乃, 深見武彦, 松島隆, 米山剛一: 既往帝王切開創部の菲薄化, 膨隆に対し妊娠29週に児娩出を図った1例. 神奈川産科婦人科学会学術講演会(第419回). (川崎市), 2017. 9.
- 47) 米山剛一, 山本晃人, 川瀬里衣子, 山田隆, 黒瀬圭輔, 高屋茜, 深見武彦, 松島隆, 土居大祐, 鴨井青龍, 黒木睦実, 竹下俊行: 早期子宮体癌患者の血液中マイクロRNAの動態に関する検討. 日本産科婦人科学会学術講演会(第69回). (広島), 2017. 4.
- 48) 黒瀬圭輔, 山本晃人, 川瀬里衣子, 米山剛一, 鴨井青龍, 竹下俊行: 早期子宮体癌症例における術前評価の検討. 日本産科婦人科学会学術講演会(第69回). (広島), 2017. 4.
- 49) 川端伊久乃: 早産のリスク評価と診断 膣・頸管の感染症(細菌性膣症、マイコプラズマ、ウレアプラズマ). 第11回日本早産学会学術集会, 2017. 10.
- 50) 川端伊久乃: 本邦における妊娠高血圧症候群の診断と治療の現状. 神奈川県東部周産期病診連絡会, 2018. 2.
- 51) 佐野めぐみ, 尾崎景子, 川端英恵, 寺田佳世子, 山岸絵美, 菊地恵理子, 印出佑介, 林昌子, 奥田直貴, 石川源, 関口敦子, 中井章人, 赤枝朋嘉: 母児ともに救命し得た子宮手術既往のない子宮破裂の1例. 東京産科婦人科学会誌, 2017.
- 52) 尾崎 景子, 佐野 めぐみ, 川端 英恵, 寺田 佳世子, 山岸 絵美, 菊地 恵理子, 印出 佑介, 林 昌子, 奥田 直貴, 石川 源, 関口 敦子, 中井 章人: 母児ともに救命し得た子宮破裂の1例. 関東連合産科婦人科学会誌, 2017. 11.
- 53) 小川淳, 黒木睦実, 深見武彦, 川端伊久乃, 米山剛一: 水腎症を呈した低悪性度子宮内膜間質肉腫術後再発の治療経験. 日本医科大学医学会総会(第85回). (東京都), 2017. 9.
- 54) 針金幸代, 黒木睦実, 角田陽平, 稲垣知子, 高屋茜, 川端伊久乃, 深見武彦, 松島隆, 米山剛一, 竹下俊行: 深部静脈血栓症合併妊娠に対する回収型下大静脈フィルターの使用経験. 日本周産期・新生児医学会総会および学術集会(第53回). (横浜市), 2017. 7.
- 55) 関口 敦子, 林 昌子, 坂田 明子, 白石 達典, 上野 悠太, 原田 寛子, 山岸 絵美, 菊地 恵理子, 印出 佑介, 奥田 直貴, 中井 章人, 竹下 俊行: 産後出血搬送症例の検討 搬送前のショックインデックスと搬送後の輸血必要量. 日本産科婦人科学会雑誌, 2018. 2.
- 56) 寺崎美佳, 米山剛一, 山本晃人, 川瀬里衣子, 黒瀬圭輔, 竹下俊行, 清水章: 破骨細胞型巨細胞を伴う平滑筋肉腫の腫瘍発現因子の検討. 日本婦人科腫瘍学会学術講演会(第59回). (熊本県), 2017. 7.
- 57) 佐々木康, 大原樹, 新井務, 磯崎太一, 木挽貢慈, 茂田博行, 杉浦賢, 高田恭臣, 仲沢経夫, 沼崎令子, 林康子, 平澤猛, 宮城悦子,

- 森岡幹, 米山剛一: 神奈川県産科婦人科医会 絨毛性疾患登録事業 集計報告. 神奈川県産科婦人科学会学術講演会 (第 418 回). (横浜市), 2017. 7.
- 58) 川端伊久乃, 島田 学, 深見武彦, 松島 隆, 米山剛一, 竹下俊行: 習慣流産例の NIPT に関する 1 次施設での遺伝カウンセリングについて. 第 3 回日本産科婦人科遺伝診療学会学術講演会, 2017. 12.
- 59) 川端伊久乃, 柴田良枝, 深見武彦, 松島隆, 米山剛一, 竹下俊行: 習慣流産例の NIPT1 に関する 1 次施設での遺伝カウンセラー. 日本産科婦人科遺伝診療学会 (第 3 回). (徳島), 2017. 12.
- 60) 川端伊久乃, 島田学, 深見武彦, 松島隆, 米山剛一, 竹下俊行: 習慣流産例の NIPT に関する 1 次施設での遺伝カウンセリング. 日本産科婦人科遺伝診療学会学術講演会 (第 3 回). (兵庫県), 2017. 12.
- 61) 土佐眞美子, 松島隆, 米山剛一, 赤石論史, 小川令: 肥厚性瘢痕の予防と治療 手術後肥厚性瘢痕の予防と早期治療を目的とした特殊外来の有効性についての検討. 47 回日本創傷治療学会. (京都府), 2017. 11.
- 62) 井野 創, 黒瀬 圭輔, 石原 彩子, 三幣 百合愛, 原田 寛子, 山本 晃人, 川瀬 里衣子, 竹下 俊行: 肺癌を原発巣とする転移性卵巣腫瘍の一例. 第 133 回 関東連合産科婦人科学会 総会・学術集会, 2017. 6.
- 63) 磯村真理子, 黒瀬圭輔, 山本晃人, 川瀬里衣子, 久保田夢音, 中西一步, 松橋智彦, 山田隆, 米山剛一, 彭為霞, 寺崎美佳, 大橋隆治, 鴨井青龍: 胆嚢癌を原発とする転移性卵巣腫瘍の 1 例. 日本臨床細胞学会秋期大会 (第 56 回). (福岡), 2017. 11.
- 64) 清田裕美, 川端伊久乃, 黒木睦実, 高屋茜, 針金幸代, 角田陽平, 深見武彦, 松島隆, 米山剛一, 竹下俊行: 腱鞘炎が契機となった産後うつ病の 1 例—本症例から検討した妊産婦メンタルヘルスケアに対する取り組み—. 日本周産期・新生児医学会総会および学術集会 (第 53 回). (横浜市), 2017. 7.
- 65) 鈴木 美沙子, 渡邊 建一郎, 磯村 真理子, 井野 創, 佐川 慧, 可世木 華子, 小野 修一, 桑原 慶充, 市川 雅男, 明楽 重夫, 竹下俊行: 腹腔鏡下子宮筋腫核出術の出血量と手術時間に影響を与える因子について. 関東連合産科婦人科学会誌, 2017. 10.
- 66) 関口敦子, 深見武彦, 石川源, 奥田直貴, 林昌子, 印出佑介, 菊地恵理子, 山岸絵美, 尾崎景子, 米山剛一, 中井章人, 竹下俊行: 血小板数が分娩後後に与える影響: HELLP 症候群 72 例の検討. 日本産科婦人科学会学術講演会 (第 69 回). (広島県), 2017. 4.
- 67) 中村優圭, 針金幸代, 小川淳, 庄田有里, 島田学, 加藤雅彦, 川端伊久乃, 深見武彦, 松島隆, 米山剛一: 術前に変性漿膜下筋腫との鑑別が困難だった autoamputation による遊離卵巣腫瘍が疑われた 1 例. 神奈川県産科婦人科学会学術講演会 (第 419 回). (川崎市), 2017. 9.
- 68) 針金永佳, 新村裕樹, 加藤雅彦, 角田陽平, 山田舞夕, 小川淳, 針金幸代, 稲垣知子, 島田学, 黒木睦実, 深見武彦, 川端伊久乃, 松島隆, 米山剛一: 術前に成熟奇形腫悪性転化を強く疑った 1 例. 神奈川県産科婦人科学会学術講演会 (第 418 回). (横浜市), 2017. 7.
- 69) 山田舞夕, 加藤雅彦, 米山剛一, 奥田直史, 三浦愛, 清田裕美, 針金永佳, 角田陽平, 針金幸代, 高屋茜, 黒木睦実, 松村好克, 川端伊久乃, 深見武彦, 松島隆: 術前診断に苦慮した中腎管腺癌の 1 例. 日本婦人科腫瘍学会学術講演会 (第 59 回). (熊本県), 2017. 7.
- 70) 川端伊久乃, 前田佳紀, 鈴木僚, 中尾真大, 河村卓弥, 小野良子, 吉田純, 藤巻晴香, 歌野原祐子, 長友祐司, 高見澤格, 関敦, 桃原哲也, 吉川勉, 友池仁暢, 高梨秀一郎, 桂木真司: 重症心不全を発症した大動脈弁閉鎖不全合併妊娠の 1 例. 第 37 回日本妊娠高血圧学会学術集会, 2017. 9.
- 71) 井野 創, 山本 晃人, 石原 彩子, 三幣 百合愛, 原田 寛子, 川瀬 里衣子, 黒瀬 圭輔, 竹下 俊行: 閉経後の子宮筋腫増大を契機に診断された充実性卵巣腫瘍の 1 例. 第 382 回東京産科婦人科学会例会, 2017. 5.
- 72) 松島隆, 米山剛一, 明楽重夫, 竹下俊行: 鼠径部子宮内膜症に対するジェノグストの治療経験. 日本エンドメトリオーシス学会 (第 39 回). (京都), 2018. 1.

## 22 頭頸部・感覚器科学分野

### 研究業績

#### 論文等

- 1) Hirokuni Otsuka, Kuninori Otsuka, Shoji Matsune, Kimihiro Okubo : Assessing the onset of allergic rhinitis by nasal cytology and immunoglobulin e antibody levels in children. *American Journal of Rhinology and Allergy* 2018; 32 (1) :16-22. doi: 10.2500/ajra.2018.32.4503.
- 2) Yonekura Syuji, Okamoto Yoshitaka, Sakurai Daiju, Sakurai Toshioki, Inuma Tomohisa, Yamamoto Heizaburou, Hanazawa Toyoyuki, Horiguchi Shigetoshi, Kurono Yuichi, Honda Kohei, Majima Yuichi, Masuyama Keisuke, Takeda Noriaki, Fujieda Shigeharu, Okano Mitsuhiro, Ogino Satoshi, Okubo Kimihiro : Complementary and alternative medicine for allergic rhinitis in Japan. *Allergology International* 2017; 66 (3) :425-431. doi: 10.1016/j.alit.2016.10.006.
- 3) Nozomu Wakayama, Shoji Matsune, Kimihiro Okubo : Delayed type of allergic skin reaction to *Candida albicans* in eosinophilic rhinosinusitis cases. *Auris Nasus Larynx* 2018; 45 (1) :170-174. doi: 10.1016/j.anl.2017.05.009.
- 4) Kimihiro Okubo, Keisuke Masuyama, Toru Imai, Kazuhiro Okamiya, Brian Sonne Stage, Dorthe Seitzberg, Akiyoshi Konno : Efficacy and safety of the SQ house dust mite sublingual immunotherapy tablet in Japanese adults and adolescents with house dust mite-induced allergic rhinitis. *JOURNAL OF ALLERGY AND CLINICAL IMMUNOLOGY* 2017; 139 (6) :1840-+. doi: 10.1016/j.jaci.2016.09.043.
- 5) Kuwon Sekine, Tomohiro Matsumura, Toshihiro Takizawa, Yurika Kimura, Shiho Saito, Kyoko Shiiba, Susumu Shindo, Kimihiro Okubo, Tetsuo Ikezono : Expression Profiling of MicroRNAs in the Inner Ear of Elderly People by Real-Time PCR Quantification. *AUDIOLOGY AND NEURO-OTOLOGY* 2017; 22 (3) :135-145. doi: 10.1159/000479724.
- 6) Minoru Gotoh : GUIDE TO ALLERGEN IMMUNOTHERAPY FOR MITE ALLERGY. *Arerugi = [Allergy]* 2017; 66 (6) :788-791. doi: 10.15036/arerugi.66.788.
- 7) Minoru Gotoh, Osamu Kaminuma, Akihiro Nakaya, Kazufumi Katayama, Yuji Motoi, Nobumasa Watanabe, Mayumi Saeki, Tomoe Nishimura, Noriko Kitamura, Kazuko Yamaoka, Kimihiro Okubo, Takachika Hiroi : Identification of biomarker sets for predicting the efficacy of sublingual immunotherapy against pollen-induced allergic rhinitis. *International immunology* 2017; 29 (6) :291-300. doi: 10.1093/intimm/dxx034.
- 8) 松延 毅, 松延 華子 : IgA 腎症の進展に関わる扁桃樹状細胞の検討. *耳鼻咽喉科免疫アレルギー* 2017; 35 (2) :100.
- 9) Kimihiro Okubo, Yuichi Kurono, Keiichi Ichimura, Tadao Enomoto, Yoshitaka Okamoto, Hideyuki Kawauchi, Harumi Suzuki, Shigeharu Fujieda, Keisuke Masuyama : Japanese guidelines for allergic rhinitis 2017. *ALLERGOLOGY INTERNATIONAL* 2017; 66 (2) :205-219. doi: 10.1016/j.alit.2016.11.001.
- 10) 吉野 綾穂, 小町 太郎, 加藤 大星, 長谷川 賢作, 馬場 俊吉 : Lemierre 症候群が疑われた血栓性静脈炎の一例. *日本耳鼻咽喉科学会会報* 2017; 120 (4) :661.
- 11) Kimihiro Okubo, Minoru Gotoh, Michinori Togawa, Akihiro Saito, Yoshihiro Ohashi : Long-term safety and efficacy of bilastine following up to 12 weeks or 52 weeks of treatment in Japanese patients with allergic rhinitis: Results of an open-label trial. *Auris, nasus, larynx* 2017; 44 (3) :294-301. doi: 10.1016/j.anl.2016.07.021.
- 12) Wataru Nagazumi, Hideto Saigusa, Osamu Kadosono, Satoshi Yamaguchi, Taro Komachi, Hiroyuki Ito : Recovery of vocal communication and oral intake in a patient with sensory aphasia accompanying severe dysphagia. *Japan Journal of Logopedics and Phoniatrics* 2017; 58 (4) :350-356. doi: 10.5112/jjlp.58.350.
- 13) Taisei Kato, Munenaga Nakamizo, Kazuhiko Yokoshima, Shunta Inai, Atsuko Sakanushi, Ryuji Ohashi, Kimihiro Okubo : Superficial temporal artery aneurysm with abdominal aortic aneurysm: Case report. *Otolaryngology - Head and Neck Surgery (Japan)* 2017; 89:1111-1115.
- 14) Katsuki Niwa, Takeshi Matsunobu, Takaomi Kurioka, Daisuke Kamide, Atsushi Tamura, Shin Tadokoro, Yasushi Satoh, Akihiro Shiotani : The beneficial effect of Hangesha-shin-to (TJ-014) in gentamicin-induced hair cell loss in the rat cochlea. *Journal of Otolaryngology of Japan* 2017; 120 (3) :272-273. doi: 10.3950/jibiinkoka.120.272.
- 15) Atsushi Tamura, Yoshiro Wada, Akihiro Kurita, Takeshi Matsunobu, Takuo Inui, Akihiro Shiotani : Visual effects on the subjective

- visual vertical and subjective postural head vertical during static roll-tilt. *Laryngoscope investigative otolaryngology* 2017; 2 (3) :125-130. doi: 10.1002/lio.2.72.
- 16) 後藤 穰 : 【アレルギー 最近の話題】新しい抗ヒスタミン薬 ビラスチンとデスロラタジンについて. *アレルギー・免疫* 2017; 24 (10) :1338-1344.
  - 17) 松根 彰志 : 【アレルギー 最近の話題】舌下免疫の最近の進歩. *アレルギー・免疫* 2017; 24 (10) :1354-1361.
  - 18) 三輪 正人 : 【アレルギー疾患とバリア障害】鼻粘膜バリアとアレルギー. *アレルギー・免疫* 2017; 24 (6) :768-776.
  - 19) 村上 亮介, 大久保 公裕 : 【アレルギー疾患診療ガイドライン・手引きの妥当性と実臨床】耳鼻科領域(鼻アレルギー、花粉症など). *臨床免疫・アレルギー科* 2018; 69 (2) :161-166.
  - 20) 松延 毅 : 【レーザー治療の最前線-コツとピットフォール】《口腔・咽頭領域》唾液腺管内視鏡手術へのレーザーの応用. *耳鼻咽喉科・頭頸部外科* 2017; 89 (10) :810-815.
  - 21) 松根 彰志, 若山 望 : 【好酸球性副鼻腔炎の効果的な治療法-私の治療戦略-】好酸球性副鼻腔炎に対する外科的治療 私の工夫(3). *ENTONI* 2017; (209) :47-50.
  - 22) 後藤 穰 : 【最新アレルギー予防・治療戦略-これからのアレルギーを考える-】アレルギー性鼻炎・副鼻腔炎・花粉症 季節性アレルギー性鼻炎(舌下免疫療法を含む). *小児科臨床* 2017; 70 (12) :1992-1996.
  - 23) 大久保 公裕, 村上 亮介 : 【環境による健康リスク】環境汚染に伴う健康リスク その他(公共・企業・個人の活動)の健康リスク 花粉症. *日本医師会雑誌* 2017; 146 (特別 2) :S286-S288.
  - 24) 三輪 正人 : 【臨床力 UP! 耳鼻咽喉科検査マニュアル】鼻・副鼻腔の検査 鼻粘膜誘発テスト. *耳鼻咽喉科・頭頸部外科* 2017; 89 (5) :219-222.
  - 25) 後藤 穰 : 【花粉症の基礎と臨床 アップデート】(序)花粉症研究・臨床の近未来. *アレルギー・免疫* 2018; 25 (2) :151-154.
  - 26) 村上 亮介, 大久保 公裕 : 【診断と治療の ABC[127]アレルギー性鼻炎】(第 4 章)治療 下鼻甲介に対する手術療法. *最新医学* 2017; 別冊(アレルギー性鼻炎) :121-127.
  - 27) 三輪 正人 : 【診断と治療の ABC[127]アレルギー性鼻炎】(第 1 章)疫学 疫学. *最新医学* 2017; 別冊(アレルギー性鼻炎) :10-18.
  - 28) 松根 彰志 : 【診断と治療の ABC[127]アレルギー性鼻炎】(第 3 章)診断 鑑別診断. *最新医学* 2017; 別冊(アレルギー性鼻炎) :50-55.
  - 29) 三輪 正人 : 【長引く咳へのアプローチ】咳に関連する喉頭病変 laryngeal hypersensitivity syndrome と喉頭アレルギー. *小児科* 2017; 58 (7) :649-652.
  - 30) 横島 一彦, 中溝 宗永 : 【頭頸部悪性腫瘍の疑問に答える】治療選択 高齢者の頭頸部癌の治療選択について教えてください. *JOHNS* 2017; 33 (9) :1248-1250.
  - 31) 村上 亮介, 清水 真澄, 若林 あや子, 根岸 靖幸, 大久保 公裕, 高橋 秀実 : その他の動物モデル 樹状細胞亜群の選択的活性化によるアレルギー制御の可能性. *アレルギー* 2017; 66 (4-5) :573.
  - 32) 後藤 穰 : アレルギー性鼻炎治療 小児から成人まで. *小児耳鼻咽喉科* 2017; 38 (2) :95.
  - 33) 司会, 大久保 公裕, 岡野 光博, 演者, 松岡 伴和, 春名 威範, 後藤 穰, 湯田 厚司 : アレルゲン免疫療法. *日鼻誌 (J p n . J . R h i n o l .)* 2017; 56 (3) :279-282. doi: 10.7248/jjrhi.56.279.
  - 34) 後藤 穰 : アレルゲン免疫療法 アレルゲン免疫療法の現況 皮下免疫療法から舌下免疫療法まで. *日本鼻科学会誌* 2017; 56 (3) :281.
  - 35) 後藤 穰 : アレルゲン舌下免疫療法の最新知見. *耳鼻咽喉科免疫アレルギー* 2017; 35 (2) :24.
  - 36) 後藤 穰 : ガイドラインのワンポイント解説 ダニアレルギーにおけるアレルゲン免疫療法の手引き. *アレルギー* 2017; 66 (6) :788-791.
  - 37) 高原 恵理子, 松根 彰志, 若山 望, 大久保 公裕 : スギ舌下免疫療法症例における臨床症状と血液中バイオマーカーの変動. *耳鼻咽喉科免疫アレルギー* 2017; 35 (2) :132.
  - 38) 鈴木宏隆, 三輪正人, 加藤大星, 大久保公裕, 奥村康 : スギ花粉症におけるドライノーズの客観的評価の試み. *アレルギー* 2017; 66 (4/5)
  - 39) 後藤 穰 : スギ花粉症に対する舌下免疫療法 安全性の観点から. *アレルギー* 2017; 66 (4-5) :451.
  - 40) 濱田 聡子, 河内 理咲, 小林 良樹, 神田 晃, 朝子 幹也, 後藤 穰, 大久保 公裕, 岩井 大 : スギ花粉症舌下免疫療法 3 シーズン目の検討. *日本鼻科学会誌* 2017; 56 (3) :374.
  - 41) 濱田 聡子, 朝子 幹也, 小林 良樹, 河内 理咲, 神田 晃, 後藤 穰, 大久保 公裕, 岩井 大 : スギ花粉症舌下免疫療法 3 シーズン目の

- 治療効果. アレルギー 2017; 66 (4-5) :727.
- 42) 横山 彩佳, 濱田 聡子, 小林 良樹, 河内 理咲, 神田 晃, 朝子 幹也, 後藤 穰, 大久保 公裕, 岩井 大 : スギ花粉症舌下免疫療法の重症例における経年治療効果. アレルギー 2017; 66 (4-5) :726.
- 43) 横山 彩佳, 濱田 聡子, 河内 理咲, 小林 良樹, 神田 晃, 朝子 幹也, 後藤 穰, 大久保 公裕, 岩井 大 : スギ花粉症舌下免疫療法のヒノキ花粉症抑制効果に関する検討. 耳鼻咽喉科免疫アレルギー 2017; 35 (2) :206-207.
- 44) 三輪 正人, 鈴木 宏隆, 加藤 大星, 村上 亮介, 大久保 公裕, 奥村 康 : ドライノーズの病態評価の試み. 日本耳鼻咽喉科学会会報 2017; 120 (4) :601.
- 45) 佐藤 一樹, 三輪 正人, 大久保 由布, 吉岡 邦暁, 鈴木 宏隆, 村上 亮介, 酒主 敦子, 大久保 公裕 : ドライノーズの鼻腔細菌叢. 日本耳鼻咽喉科感染症・エアロゾル学会誌 2017; 5 (3) :58.
- 46) 松根 彰志 : マクロライドの新展開 II 耳鼻咽喉科領域 副鼻腔炎と喘息・COPD の合併症例への対応. The Japanese Journal of Antibiotics 2018; 71 (Suppl.A) :36-40.
- 47) 酒主 敦子, 中溝 宗永, 横島 一彦, 稲井 俊太, 坂井 梓, 加藤 大星, 大久保 公裕, 梅澤 裕己, 中尾 淳一, 大橋 隆治 : 上顎洞 sarcoma の 2 例. 頭頸部癌 2017; 43 (2) :243.
- 48) 石田 麻里子, 松根 彰志, 若山 望, 大久保 公裕 : 下鼻甲介粘膜局所における特異的 IgE 抗体検出についての検討 局所アレルギー反応性鼻炎の可能性. 日本鼻科学会誌 2017; 56 (3) :484.
- 49) 横島 一彦, 中溝 宗永, 稲井 俊太, 酒主 敦子, 坂井 梓, 加藤 大星, 大久保 公裕 : 低悪性度耳下腺癌の術前穿刺吸引細胞診の成績. 日本耳鼻咽喉科学会会報 2017; 120 (4) :610. doi: 10.3950/jibiinkoka.120.610.
- 50) 松延 毅, 鈴木 宏隆, 大久保 由布, 青木 秀治, 大久保 公裕 : 側頭骨線維性骨異形成症の 1 例. Otology Japan 2017; 27 (4) :591.
- 51) 丹羽 克樹, 水足 邦雄, 栗岡 隆臣, 松延 毅, 塩谷 彰浩 : 免疫組織学的評価による耳鳴発生機序の考察. Audiology Japan 2017; 60 (5) :273.
- 52) 大久保 由布, 松延 毅, 鈴木 宏隆, 青木 秀治, 大久保 公裕 : 入院加療を要した急性化膿性中耳炎の内耳波及症例. Otology Japan 2017; 27 (4) :633.
- 53) 大久保 由布, 松延 毅, 鈴木 宏隆, 青木 秀治, 大久保 公裕 : 入院加療を要した急性化膿性中耳炎内耳波及症例の平衡機能の検討. Equilibrium Research 2017; 76 (5) :506.
- 54) 細矢 慶, 小町 太郎, 浅香 大也, 児玉 悟, 小林 正佳, 中川 隆之, 伊藤 伸, 横井 秀格, 許 芳行, 朝子 幹也, 大久保 公裕 : 内視鏡下副鼻腔手術のインフォームド・コンセントにおける手術説明に関するアンケート調査 眼窩損傷・髄液漏の説明の重要性. 日本鼻科学会誌 2017; 56 (4) :557-563. doi: 10.7248/jjrhi.56.557.
- 55) 松根 彰志, 池田 浩己, 飯島 正道, 中村 晶彦, 川内 秀之 : 副鼻腔炎のカテーテル治療. 耳鼻咽喉科臨床 2017; 110 (4) :238-239. doi: 10.5631/jibirin.110.238.
- 56) 松延 毅, 奥 雄介, 富岡 拓矢 : 唾液腺内視鏡を用いた唾液腺疾患診療の今後の展開. 日本耳鼻咽喉科学会会報 2017; 120 (4) :582.
- 57) 倉野 香, 岩佐 英之, 三輪 正人, 大久保 由布, 鈴木 宏隆, 大久保 公裕, 中島 規幸, 大津 有二郎 : 多施設での耳管開放症に対するルゴールジェル耳管内注入療法の検討. Otology Japan 2017; 27 (4) :640.
- 58) 若山 望, 石田 麻里子, 松根 彰志, 大久保 公裕, 北山 康彦 : 好酸球性副鼻腔炎粘膜における局所 IgE 増多及び濾胞樹状細胞の検討. 日本鼻科学会誌 2017; 56 (3) :428.
- 59) 大久保 公裕, 後藤 穰, 土河 三千紀, 齋藤 晶洋, 大橋 淑宏 : 季節性および通年性アレルギー性鼻炎患者を対象としたピラスチンの長期投与試験. 日本耳鼻咽喉科学会会報 2017; 120 (11) :1381-1382. doi: 10.3950/jibiinkoka.120.1381.
- 60) 後藤 穰 : 季節性アレルギー性鼻炎(舌下免疫療法を含む)(特集 最新アレルギー予防・治療戦略: これからのアレルギーを考える)--(アレルギー性鼻炎・副鼻腔炎・花粉症). 小児科臨床 2017; 70 (12) :1992-1996.
- 61) 大久保 公裕, 岡本 美孝, 東 竜二, 夏井 謙介, 増山 敬祐 : 小児ダニアレルギー性鼻炎に対する TO-203 舌下錠の有効性と安全性の検討 国内第 III 相臨床試験より. 日本鼻科学会誌 2017; 56 (3) :372.
- 62) 岡本 美孝, 大久保 公裕, 東 竜二, 増山 敬祐 : 小児ダニアレルギー性鼻炎に対する舌下免疫療法薬 TO-203 錠の年齢区分別の有効性と安全性の検討 国内第 III 相臨床試験より. 日本小児アレルギー学会誌 2017; 31 (4) :564.
- 63) 後藤 穰 : 序 : 花粉症研究・臨床の近未来 (特集 花粉症の基礎と臨床 アップデート). アレルギー・免疫 2018; 25 (2) :151-154.



- 64) 大久保 公裕, 大西 正樹, 藤枝 重治 : 座談会 (FOREFRONT 最新の傾向と対策についてのアンケート調査&座談会 好酸球性副鼻腔炎), 鼻アレルギーフロンティア 2017; 17 (2) :68-73.
- 65) 小町 太郎, 後藤 稜, 細矢 慶, 吉野 綾穂, 加藤 大星, 馬場 俊吉, 長谷川 賢作 : 当科における副鼻腔真菌症手術症例の検討. 日本耳鼻咽喉科学会会報 2017; 120 (4) :540. doi: 10.3950/jibiinkoka.120.540.
- 66) 石田 麻里子, 松根 彰志, 若山 望, 吉岡 友真, 関根 久遠, 山口 智, 大久保 公裕 : 当科鼻科手術症例における Local Allergic Rhinitis の可能性に関する検討. 耳鼻咽喉科臨床 補冊 2017; (補冊 150) :101.
- 67) 鈴木 宏隆, 松延 毅, 大久保 由布, 青木 秀治, 大久保 公裕 : 当院で経験した ANCA 関連血管炎性中耳炎の 3 症例 当院における他科との診療体制. Otology Japan 2017; 27 (4) :629.
- 68) 梅澤 裕己, 中尾 淳一, 中溝 宗永, 横島 一彦, 小川 令 : 当院における喉頭癌関連の再建手術. 頭頸部癌 2017; 43 (2) :169.
- 69) 若山 望, 高原 恵理子, 松根 彰志, 大久保 公裕, 北山 康彦 : 当院における好酸球性副鼻腔炎粘膜における IgE 局所増多の検討. 耳鼻咽喉科免疫アレルギー 2017; 35 (2) :118.
- 70) 稲井 俊太, 中溝 宗永, 横島 一彦, 酒主 敦子, 坂井 梓, 加藤 大星, 吉岡 邦暁, 大久保 公裕 : 後発頸部転移を認めた頬粘膜低悪性度粘表皮癌の 1 例. 耳鼻咽喉科臨床 補冊 2017; (補冊 150) :125.
- 71) 加藤 大星, 長谷川 賢作, 小町 太郎, 吉野 綾穂, 青木 秀治, 馬場 俊吉, 大久保 公裕 : 急激に悪化した ANCA 関連中耳炎の 1 例. 耳鼻咽喉科臨床 補冊 2017; (補冊 150) :110.
- 72) 野原 秀明, 山口 智, 永積 渉, 田尾 清一, 橋本 政子, 遠藤 康実, 横島 一彦, 中溝 宗永 : 放射線治療を行った T1 声門癌 2 例に対する発声機能検査の成績. 日本医学検査学会抄録集 2017; 66 回:551.
- 73) 米倉 修二, 土井 雅津代, 金子 真也, 大久保 公裕, 岡本 美孝, 今野 昭義 : 新規スギ花粉舌下免疫療法薬(TO-206 錠)投与における血中抗体価の変動. アレルギー 2017; 66 (4-5) :727.
- 74) 稲井 俊太, 中溝 宗永, 横島 一彦, 酒主 敦子, 坂井 梓, 加藤 大星, 大久保 公裕 : 早期下咽頭癌症例の検討. 頭頸部癌 2017; 43 (2) :200.
- 75) 村上亮介, 清水真澄, 若林あや子, 根岸靖幸, 大久保公裕, 高橋秀実 : 樹状細胞亜群の選択的活性化によるアレルギー制御の可能性. アレルギー 2017; 66 (4/5) :573.
- 76) 吉野 綾穂, 小町 太郎, 加藤 大星, 山崎 愛語, 長谷川 賢作 : 片側性副鼻腔炎に対する手術症例の検討. 日本鼻科学会誌 2017; 56 (3) :391.
- 77) 加藤 大星, 中溝 宗永, 横島 一彦, 稲井 俊太, 酒主 敦子, 坂井 梓, 寺崎 泰弘, 大久保 公裕 : 片側耳下腺腫瘍を呈した IgG4 関連疾患の 1 例. 頭頸部外科 2018; 27 (3) :363-367. doi: 10.5106/jjshns.27.363.
- 78) 後藤 稜 : 病態・治療 Q&A アレルギー性鼻炎 Up To Date 診療ガイドラインにおける抗ヒスタミン薬の位置づけについてお教えください. 臨床のあゆみ 2018; (104) :11-12.
- 79) 松根 彰志 : 私の診療経験から アレルギー性鼻炎の病態に基づく治療についての新しい話題. 臨牀と研究 2017; 94 (7) :906-909.
- 80) 三輪 正人, 鈴木 宏隆, 佐藤 一樹, 加藤 大星, 廣瀬 壮, 中島 規幸, 狩野 信和, 大久保 公裕 : 種々薬剤の点鼻前後における鼻粘膜上皮バリア機能の非侵襲的測定. 耳鼻咽喉科免疫アレルギー 2017; 35 (2) :174.
- 81) 松延 毅, 大久保 公裕 : 耳下腺唾石に対する術式選択について. 口腔・咽頭科 2017; 30 (3) :380.
- 82) 横島 一彦, 中溝 宗永, 稲井 俊太, 酒主 敦子, 坂井 梓, 加藤 大星, 大橋 隆治, 梅澤 裕己, 中尾 淳一, 大久保 公裕 : 耳下腺癌に対する穿刺吸引細胞診の悪性度別正診率と改善に向けての戦略. 頭頸部癌 2017; 43 (2) :187.
- 83) 鈴木 宏隆, 岩佐 英之, 倉野 香, 中島 規幸, 廣瀬 壮, 大津 有二郎, 三輪 正人, 大久保 公裕 : 耳管開放症における耳管咽頭口ジェル注入療法の実施による検討. 日本耳鼻咽喉科学会会報 2017; 120 (4) :596. doi: 10.3950/jibiinkoka.120.596.
- 84) 加藤 大星, 中溝 宗永, 横島 一彦, 稲井 俊太, 酒主 敦子, 大橋 隆治, 大久保 公裕 : 腹部大動脈瘤を合併した浅側頭動脈瘤の 1 例. 耳鼻咽喉科・頭頸部外科 2017; 89 (13) :1111-1115.
- 85) 小町 太郎, 後藤 稜, 北村 紀子, 佐伯 真弓, 廣井 隆親, 大久保 公裕 : 舌下免疫療法における治療効果予測因子の検索. 日本鼻科学会誌 2017; 56 (3) :481.
- 86) 松根 彰志, 岡本 美孝 : 舌下免疫療法の今後 最近の知見から. 医薬の門 2017; 57 (5) :266-269.
- 87) 野村 泰之, 金子 真也, 大久保 公裕, 岡本 美孝 : 花粉症(治療・管理) シダトレンスギ花粉舌下液の製造販売後臨床試験(中間報告). ア

- レルギー 2017; 66 (4-5) :616.
- 88) 後藤 穰, 大久保 公裕, 岡本 美孝, 米倉 修二, 金子 真也, 今野 昭義 : 花粉症(治療・管理) スギ花粉症に対する新規舌下免疫療法薬 TO-206 錠の安全性の検討 国内第 II/III 相臨床試験より. アレルギー 2017; 66 (4-5) :617.
- 89) 栗岡 隆臣, 水足 邦雄, 松延 毅, 塩谷 彰浩, Raphael Yehoash : 蝸牛有毛細胞死のプロセスにおける支持細胞の役割について. 日本耳鼻咽喉科学会会報 2017; 120 (4) :588.
- 90) 栗岡 隆臣, 水足 邦雄, 松延 毅, 塩谷 彰浩 : 蝸牛神経の生存に有毛細胞は必要か?. Audiology Japan 2017; 60 (5) :277.
- 91) 山口 智, 若山 望, 日高 可奈子, 五味 真也, 高山 幸芳, 佐藤 一樹, 吉岡 友真, 石田 麻里子, 関根 久遠, 松根 彰志, 大久保 公裕 : 認知機能の嚥下機能への影響. 日本気管食道科学会会報 2017; 68 (4) :284-293. doi: 10.2468/jbes.68.284.
- 92) 吉岡 邦暁, 稲井 俊太, 中溝 宗永, 横島 一彦, 酒主 敦子, 坂井 梓, 加藤 大星, 大久保 公裕 : 転移性耳下腺癌の 1 例. 耳鼻咽喉科臨床 補冊 2017; (補冊 150) :166.
- 93) 栗岡 隆臣, 水足 邦雄, 松延 毅, 塩谷 彰浩 : 選択的有毛細胞死がミエリン鞘に及ぼす影響について. Otology Japan 2017; 27 (4) :554.
- 94) 永積 渉, 三枝 英人, 門園 修, 山口 智, 小町 太郎, 伊藤 裕之 : 重度嚥下障害を伴う感覚性失語症患者における音声表出および経口摂取の回復. 音声言語医学 2017; 58 (4) :350-356.
- 95) 中村 加奈恵, 梅澤 裕己, 小川 令, 横島 一彦 : 頭頸部悪性腫瘍手術の際に発見されたまれな総頸動脈の分岐の 1 例. 日本医科大学医学雑誌 2017; 13 (4) :244.
- 96) 坂井 梓, 中溝 宗永, 横島 一彦, 稲井 俊太, 酒主 敦子, 加藤 大星, 大久保 公裕 : 顎下腺癌に対する手術療法の成績. 頭頸部癌 2017; 43 (2) :190.
- 97) 梅澤 裕己, 中尾 淳一, 松谷 毅, 中溝 宗永, 横島 一彦, 小川 令 : 食道癌再建患者の予後と再建方法. 日本マイクロサージャリー学会学術集会プログラム・抄録集 2017; 44 回:118.
- 98) 大久保由布, 三輪正人, 佐藤一樹, 村上亮介, 酒主敦子, 大久保公裕, ハウリー亜紀, 飯島史朗 : 高張食塩水点鼻による鼻粘膜上皮機能の変化. 日本耳鼻咽喉科感染症・エアロゾル学会会誌 2017; 5 (3)
- 99) 鈴木 宏隆, 三輪 正人, 加藤 大星, 佐藤 一樹, 吉岡 邦暁, 村上 亮介, 酒主 敦子, 大久保 公裕, 池田 勝久, 奥村 康 : 鼻および口呼吸凝集液の採取とその有用性の検討. 耳鼻咽喉科免疫アレルギー 2017; 35 (2) :48.
- 100) 大久保 公裕 : 鼻アレルギー診療ガイドライン : 通年性鼻炎と花粉症 2016 年度版(改訂第 8 版) (診療ガイドライン at a glance). 日本内科学会雑誌 2017; 106 (6) :1159-1164.
- 101) 佐藤 一樹, 村上 亮介, 酒主 敦子, 三輪 正人, 大久保 公裕 : 鼻シルマーテストの試み. 日本鼻科学会会誌 2017; 56 (3) :362.
- 102) 若山 望, 松根 彰志, 大久保 公裕 : 鼻副鼻腔炎における黄色ブドウ球菌の病態意義. 日本耳鼻咽喉科感染症・エアロゾル学会会誌 2017; 5 (3) :55.
- 103) 石田麻里子, 吉岡友真, 若山望, 関根久遠, 山口智, 松根彰志 : 鼻副鼻腔炎症例における Local Allergic Rhinitis(局所アレルギー反応性鼻炎)の検討. 神奈川医学会雑誌 2018; 45 (1) :60.
- 104) 富岡 拓矢, 松延 毅, 奥 雄介 : 鼻骨骨折整復術における術中超音波検査の有用性. 日本耳鼻咽喉科学会会報 2017; 120 (4) :546.

## 著書

- 1) 猿田 享男, 北村 惣一郎 : [分担執筆] 鼻骨骨折. 1336 専門家による私の治療. 2017, 日本医事新報社.
- 2) 大久保 公裕 : アレルギー性鼻炎. 2017, 最新医学社.
- 3) 大久保公裕 : [分担執筆] 鑑別診断. 最新医学 別冊 アレルギー性鼻炎 診断と治療の ABC. 2017, 最新医学社.

## 学会発表

- 1) 後藤 穰 : Development of a generic drug with different pharmaceutical features: A study of the therapeutic equivalence of mometasone nasal spray in patients with seasonal allergic rhinitis (Japanese cedar pollinosis). 3rd International Conference on Advanced Clinical Research and Clinical Trials, 2017. 9.
- 2) 吉野 綾穂, 小町 太郎, 加藤 大星, 長谷川 賢作, 馬場 俊吉 : Lemierre 症候群が疑われた血栓性静脈炎の一例. 日本耳鼻咽喉科学会会報, 2017. 4.

- 3) 村上 亮介, 清水 真澄, 若林 あや子, 根岸 靖幸, 大久保 公裕, 高橋 秀実 : その他の動物モデル 樹状細胞亜群の選択的活性化によるアレルギー制御の可能性. 日本アレルギー学会(第 66 回). (東京), 2017. 5.
- 4) 後藤 穰 : アレルゲン免疫療法の現状. 第 56 回日本鼻科学会, 2017. 9.
- 5) 後藤 穰 : アレルゲン舌下免疫療法の最新知見. 第 35 回耳鼻咽喉科免疫アレルギー学会, 2017. 4.
- 6) 後藤 穰 : スギ花粉症に対する新規舌下免疫療法 TO-206 安全性の検討. 第 66 回日本アレルギー学会, 2017. 6.
- 7) 後藤 穰 : スギ花粉症に対する舌下免疫療法. 第 66 回日本アレルギー学会, 2017. 6.
- 8) 佐藤 一樹, 三輪 正人, 大久保 由布, 吉岡 邦暁, 村上 亮介, 酒主 敦子, 大久保 公裕 : ドライノーズの鼻腔細菌叢. 第 5 回日本耳鼻咽喉科感染症・エアロゾル学会総会・学術講演会, 2017. 9.
- 9) 佐藤 一樹, 三輪 正人, 大久保 由布, 吉岡 邦暁, 村上 亮介, 酒主 敦子, 大久保 公裕 : ドライノーズの鼻腔細菌叢. 第 36 回日本耳鼻咽喉科免疫アレルギー学会, 2018. 2.
- 10) 後藤 穰 : マスト細胞脱顆粒抑制因子の同定. 第 36 回耳鼻咽喉科免疫アレルギー学会, 2018. 2.
- 11) 小町 太郎, 後藤 穰, 細矢 慶, 吉野 綾穂, 加藤 大星, 馬場 俊吉, 長谷川 賢作 : 当科における副鼻腔真菌症手術症例の検討. 日本耳鼻咽喉科学会会報, 2017. 4.
- 12) 加藤 大星, 長谷川 賢作, 小町 太郎, 吉野 綾穂, 青木 秀治, 馬場 俊吉, 大久保 公裕 : 急激に悪化した ANCA 関連中耳炎の 1 例. 耳鼻咽喉科臨床 補冊, 2017. 7.
- 13) 吉野 綾穂, 小町 太郎, 加藤 大星, 山崎 愛語, 長谷川 賢作 : 片側性副鼻腔炎に対する手術症例の検討. 日本鼻科学会誌, 2017. 9.
- 14) 小町 太郎, 後藤 穰, 北村 紀子, 佐伯 真弓, 廣井 隆親, 大久保 公裕 : 舌下免疫療法における治療効果予測因子の検索. 日本鼻科学会誌, 2017. 9.
- 15) 永積 渉, 三枝 英人, 門園 修, 山口 智, 小町 太郎, 伊藤 裕之 : 重度嚥下障害を伴う感覚性失語症患者における音声表出および経口摂取の回復. 音声言語医学, 2017. 10.
- 16) 佐藤 一樹, 村上 亮介, 酒主 敦子, 三輪 正人, 大久保 公裕 : 鼻シルマーテストの試み. 第 56 回日本鼻科学会, 2017. 9.

## 23 男性生殖器・泌尿器科学分野

### 研究業績

#### 論文等

- 1) Naoto Hodotsuka, Kaoru Nemoto, Masato Yanagi, Takurni Hasegawa, Yukihiro Kondo : A case of dedifferentiated liposarcoma of the spermatic cord. *Acta Urologica Japonica* 2017; 63 (6) :251-254. doi: 10.14989/ActaUrolJap\_63\_6\_251.
- 2) 栗林英吾, 林達郎, 程塚直人, 上田貴之, 柴崎幹生, 長谷川裕也, 大林康太郎, 佐野雅之, 田邊邦明, 飯ヶ谷重来, 赤塚純, 中山聡子, 戸山友香, 濱崎務, 木村剛, 稲垣恭子, 福田いずみ, 杉原仁, 近藤幸尋 : ACTH 非依存性大結節性副腎過形成と原発性アルドステロン症を合併した右副腎腫瘍に対し, 腹腔鏡下右副腎摘除術を施行した一例. *日本泌尿器科学会東部総会プログラム・抄録集* 2017; 82nd:247.
- 3) Tomohiko Hara, Hiroyuki Fujimoto, Tsunenori Kondo, Nobuo Shinohara, Wataru Obara, Go Kimura, Haruki Kume, Norio Nonomura, Fumiya Hongo, Takayuki Sugiyama, Hiro-omi Kanayama, Masayuki Takahashi, Tomoharu Fukumori, Masatoshi Eto : Active heavy cigarette smoking is associated with poor survival in Japanese patients with advanced renal cell carcinoma: sub-analysis of the multi-institutional national database of the Japanese Urological Association. *JAPANESE JOURNAL OF CLINICAL ONCOLOGY* 2017; 47 (12) :1162-1169. doi: 10.1093/jjco/hyx129.
- 4) Ryuichi Mizuno, Go Kimura, Satoshi Fukasawa, Takeshi Ueda, Tsunenori Kondo, Hidehiko Hara, Sunao Shoji, Kent Kanao, Hayakazu Nakazawa, Kazunari Tanabe, Shigeo Horie, Mototsugu Oya : Angiogenic, inflammatory and immunologic markers in predicting response to sunitinib in metastatic renal cell carcinoma. *CANCER SCIENCE* 2017; 108 (9) :1858-1863. doi: 10.1111/cas.13320.
- 5) 戸山 友香, 赤塚 純, 新藤 貴雄, 高橋 圭吾, 濱崎 務, 木村 剛, 近藤 幸尋 : BCG 膀胱内注入療法後両側腎盂腎炎を発症し敗血症及び慢性腎不全に移行した一例. *日本老年泌尿器科学会誌* 2018; 30:105.
- 6) 柴山 慶太, 木村 剛, 林 達郎, 木全 亮二, 堀内 和孝, 濱崎 務, 近藤 幸尋 : CT における腎腫瘍内低吸収域の臨床病理学的解析と予後. *日本癌治療学会学術集会抄録集* 2017; 55 回:P37-5.
- 7) Hayashi Tatsuro, Kimura Go, Takahashi Keigo, Shibayama Keita, Obayashi Kotaro, Sano Masayuki, Tanabe Kuniaki, Akatsuka Jun, Toyama Yuka, Hamasaki Tsutomu, Kondo Yukihiro : Clinicopathological features of lipid cell variant of urothelial carcinoma. *JOURNAL OF CLINICAL ONCOLOGY* 2018; 36 (6) doi: 10.1200/JCO.2018.36.6\_suppl.487.
- 8) Masafumi Oyama, Takayuki Sugiyama, Masahiro Nozawa, Kiyohide Fujimoto, Takeshi Kishida, Go Kimura, Noriaki Tokuda, Shiro Hinotsu, Kojiro Shimozuma, Hideyuki Akaza, Seiichiro Ozono : Efficacy and safety of sequential use of everolimus in Japanese patients with advanced renal cell carcinoma after failure of first-line treatment with vascular endothelial growth factor receptor tyrosine kinase inhibitor: a multicenter phase II clinical trial. *JAPANESE JOURNAL OF CLINICAL ONCOLOGY* 2017; 47 (6) :551-559. doi: 10.1093/jjco/hyw194.
- 9) Sano M, Nemoto K, Miura T, Suzuki Y : Endoscopic Treatment of Intrauterine Device Migration into the Bladder with Stone Formation. *Journal of endourology case reports* 2017; 3 (1) :105-107. doi: 10.1089/cren.2017.0038.
- 10) 稲津 宏紀, 大澤 秀一, 木全 亮二, 濱崎 務, 木村 剛, 近藤 幸尋 : G-CSF 産生腎盂癌の 1 例. *泌尿器外科* 2017; 30 (臨増) :925.
- 11) 木村 剛 : Genitourinary Tumor 泌尿器系腫瘍 膀胱癌(尿路上皮癌)に関する四つの疑問 話題の抗 PD-1 抗体薬の膀胱癌治療における役割とは?. *癌と化学療法* 2018; 45 (1) :38-43.
- 12) Go Kimura : IV. The role of immune checkpoint blockade in the treatment of bladder cancer. *Japanese Journal of Cancer and Chemotherapy* 2018; 45 (1) :38-43.
- 13) Shibayama Keita, Kimura Go, Hayashi Tatsuro, Akatsuka Jun, Kimata Ryoji, Horiuchi Kazutaka, Hamasaki Tsutomu, Kondo Yukihiro : Meaning and significance of low density area (LDA) of renal cell carcinoma (RCC) on computed tomography (CT). *JOURNAL OF CLINICAL ONCOLOGY* 2018; 36 (6) doi: 10.1200/JCO.2018.36.6\_suppl.628.
- 14) Yoshihiko Tomita, Satoshi Fukasawa, Nobuo Shinohara, Hiroshi Kitamura, Mototsugu Oya, Masatoshi Eto, Kazunari Tanabe, Go Kimura, Junji Yonese, Masahiro Yao, Robert J Motzer, Hirotsugu Uemura, M Brent McHenry, Elmer Berghorn, Seiichiro Ozono : Nivolumab versus everolimus in advanced renal cell carcinoma: Japanese subgroup analysis from the CheckMate 025 study. *Japanese journal of clinical oncology* 2017; 47 (7) :639-646. doi: 10.1093/jjco/hyx049.

- 15) Nobuaki Matsubara, Satsohi Nagamori, Yoshiaki Wakumoto, Hirotsugu Uemura, Go Kimura, Akira Yokomizo, Hiroaki Kikukawa, Atsushi Mizokami, Takeo Kosaka, Naoya Masumori, Yoshihide Kawasaki, Junji Yonese, Yasutomo Nasu, Satoshi Fukasawa, Takayuki Sugiyama, Seigo Kinuya, Makoto Hosono, Iku Yamaguchi, Hirokazu Tsutsui, Hiroji Uemura : Phase II study of radium-223 dichloride in Japanese patients with symptomatic castration-resistant prostate cancer. *International journal of clinical oncology* 2018; 23 (1) :173-180. doi: 10.1007/s10147-017-1176-0.
- 16) Kim C.S, Choi Y.D, Lee S.E, Lee H.M, Ueda T, Yonese J, Fukagai T, Chiong E, Lau W, Abhyankar S, Theeuwes A, Tombal B, Beer T.M, Kimura G : Post hoc analyses of East Asian patients from the randomized placebo-controlled PREVAIL trial of enzalutamide in patients with chemotherapy-naïve, metastatic castration-resistant prostate cancer. *Medicine (United States)* 2017; 96 (27) doi: 10.1097/MD.0000000000007223.
- 17) 田邊 邦明, 木村 剛, 柴崎 幹生, 松岡 諒, 大林 康太郎, 遠藤 勇気, 赤塚 純, 中山 聡子, 戸山 友香, 濱崎 務, 近藤 幸尋 : Ra-223 投与後に緊急手術を要した転移性去勢抵抗性前立腺癌の 1 例 手術室の RI 汚染対策. *日本癌治療学会学術集会抄録集* 2017; 55 回:P73-3.
- 18) Yuka Sasaki, Tsubasa Ochiai, Masaya Takamura, Yukihiko Kondo, Chieko Yokoyama, Shuntaro Hara : Role of prostacyclin synthase in carcinogenesis. *PROSTAGLANDINS & OTHER LIPID MEDIATORS* 2017; 133:49-52. doi: 10.10164/j.prostaglandins.2017.05.001.
- 19) Obayashi Kotaro, Kimura Go, Kuribayashi Shigehiko, Shibayama Keita, Sano Masayuki, Tanabe Kuniaki, Akatsuka Jun, Hayashi Tatsuro, Toyama Yuka, Hamasaki Tsutomu, Maebayashi Katsuya, Kumita Shinichiro, Kondo Yukihiko : Secondary malignancies following low-dose-rate brachytherapy for prostate cancer in a single institution. *JOURNAL OF CLINICAL ONCOLOGY* 2018; 36 (6) doi: 10.1200/JCO.2018.36.6\_suppl.142.
- 20) 稲津 宏紀, 木村 剛, 遠藤 勇気, 松沢 一郎, 鈴木 康友, 濱崎 務, 近藤 幸尋 : Sunitinib 投与後の血小板輸血にて早期に抗 HLA 抗体産生による血小板輸血不応状態を示した転移性腎癌の 2 例. *腎癌研究会会報* 2017; (47) :93.
- 21) Yasutomo Suzuki, Yuka Toyama, Satoko Nakayama, Shunichiro Nomura, Tadaaki Minowa, Kuniaki Tanabe, Yukihiko Kondo : Treatment Results of Transurethral Resection of the Prostate by Non-Japanese Board-Certified Urologists for Benign Prostate Hyperplasia: Analysis by Resection Volume. *JOURNAL OF NIPPON MEDICAL SCHOOL* 2017; 84 (2) :73-78. doi: 10.1272/jnms.84.73.
- 22) 林 達郎, 木村 剛, 佐野 雅弘, 赤塚 純, 柴山 慶太, 大林 康太郎, 近藤 幸尋 : Urothelial carcinoma, lipid cell variant の 6 例. *日本癌治療学会学術集会抄録集* 2017; 55 回:P50-8.
- 23) Hikaru Mikami, Yuki Endo, Masato Yanagi, Kaoru Nemoto, Tsutomu Hamasaki, Go Kimura, Yasutomo Suzuki, Yasuhiro Kondo : [LAPAROSCOPIC LYMPHADENECTOMY FOR POSTOPERATIVE LYMPH-NODE METASTASIS OF RENAL MUCINOUS TUBULAR AND SPINDLE CELL CARCINOMA: A CASE REPORT]. *Nihon Hinyokika Gakkai zasshi. The japanese journal of urology* 2017; 108 (1) :30-34. doi: 10.5980/jpnjurol.108.30.
- 24) 五十嵐 敦, 深貝 隆志, 山中 英壽, 木村 剛, 柏原 剛, 大家 基嗣, 門間 哲雄, 中島 洋介, 森山 正敏, 井上 啓史, 斉藤 史郎 : 「2016 年度前立腺がん啓発週間」の活動実績報告. *日本腎泌尿器疾患予防医学研究会誌* 2018; 26 (1) :72-74.
- 25) 富田 善彦, 神波 大己, 藤井 靖久, 加藤 智幸, 大庭 康司郎, 木村 剛, 高橋 俊二, 山名 一寿 : 『腎癌診療ガイドライン 2017 年版』 全身治療を考える. *泌尿器外科* 2018; 31 (1) :47-54.
- 26) 富田 祐司, 近藤 幸尋 : 【まるごと ウロエマージェンシー】泌尿器感染症にかかわるエマージェンシー 急性精巣上体炎. *Uro-Lo: 泌尿器 Care & Cure* 2017; 22 (3) :307-310.
- 27) 濱崎 務, 近藤 幸尋 : 【エネルギーデバイスの極意-原理と特性を手術に活かす】バイポーラ電気メス・剪刀. *臨床泌尿器科* 2017; 71 (5) :312-315.
- 28) 木村 剛 : 【前立腺癌における骨のマネジメント】前立腺癌骨転移に対する Ra-223 の臨床. *泌尿器外科* 2017; 30 (10) :1527-1532.
- 29) 鈴木 康友, 近藤 幸尋 : 【前立腺肥大症に対する手術-古くて新しい泌尿器科の標準治療】経尿道的前立腺切除術 バイポーラ TURP/TURis. *臨床泌尿器科* 2017; 71 (8) :580-585. doi: 10.11477/mf.1413206056.
- 30) 西村 泰司, 栗田 晋, 近藤 幸尋, 秋元 成太 : 【尿道狭窄プラクティス】尿道狭窄の治療 保存的治療. *泌尿器外科* 2018; 31 (1) :19-23.
- 31) 木村 剛 : 【新腎・泌尿器癌(上)-基礎・臨床研究の進歩-】腎癌 腎癌の治療 薬物療法 分子標的療法 ソラフェニブ. *日本臨床* 2017; 75 (増刊 6 新腎・泌尿器癌(上)) :306-313.
- 32) 赤塚 純, 近藤 幸尋 : 【新腎・泌尿器癌(下)-基礎・臨床研究の進歩-】精巣癌 性腺外胚細胞腫瘍. *日本臨床* 2017; 75 (増刊 7 新腎・泌尿

- 器癌(下) :468-471.
- 33) 林 達郎, 近藤 幸尋 : 【新腎・泌尿器癌(下)-基礎・臨床研究の進歩-】膀胱癌 膀胱癌の治療 手術療法 膀胱癌手術の進歩. 日本臨床 2017; 75 (増刊7 新腎・泌尿器癌(下)) :169-172.
- 34) 木村 剛 : 【日本の去勢抵抗性前立腺癌(CRPC)の治療を考える】 エンザルタミドの日本人に対する有効性と安全性. 泌尿器外科 2017; 30 (5) :549-555.
- 35) 鈴木 康友, 近藤 幸尋 : 【泌尿器科処置とトラブル対処法-日常臨床に潜むピットフォール】 <カテーテルおよびステント> 尿道カテーテルの留置と管理. 臨床泌尿器科 2017; 71 (12) :967-972. doi: 10.11477/mf.1413206129.
- 36) 坂井千紗, 山口彩香, 栢沼直史, 中野宏一, 戸山友香, 坪井成美, 羽鳥信郎 : クエン酸第二鉄の経済効果についての検討. 日本透析医学雑誌 2017; 50 (Supplement 1) :819.
- 37) 濱崎 務, 近藤 幸尋 : バイポーラ電気メス・剪刀 (特集 エネルギーデバイスの極意 : 原理と特性を手術に活かす). 臨床泌尿器科 = Japanese journal of clinical urology 2017; 71 (5) :312-315. doi: 10.11477/mf.1413205999.
- 38) 佐々木 由香, 遠藤 勇気, 鈴木 康友, 近藤 幸尋, 横山 知永子, 原 俊太郎 : プロスタサイクリン合成酵素の化学発がんにおける役割. The Journal of Toxicological Sciences 2017; 42 (Suppl.) :S214.
- 39) 大澤 秀一, 稲津 宏紀, 新藤 貴雄, 濱崎 務, 近藤 幸尋 : ペリニ管癌に対し GC 療法により延命効果が得られた一例. 泌尿器外科 2017; 30 (臨増) :910.
- 40) 大林 康太郎, 新藤 貴雄, 飯ヶ谷 重来, 赤塚 純, 遠藤 勇気, 林 達郎, 中山 聡子, 戸山 友香, 濱崎 務, 木村 剛, 大永 崇, 近藤 幸尋 : マイクロ流体チップシステムを用いた未治療転移性前立腺癌患者における末梢血循環腫瘍細胞捕捉の試み. 日本泌尿器科学会総会 2017; 105 回:PP17-03.
- 41) 大家 基嗣, 近藤 幸尋, 小島 祥敬編 : 泌尿器科検査パーフェクトガイド. 臨床泌尿器科 2017 ; 71(4)増刊号
- 42) 蓑輪 忠明, 根本 勺, 柳 雅人, 中森 央貴, 三神 晃, 近藤 幸尋, 鈴木 康友. : 術前化学療法が奏功し骨盤内臓器全摘術にて治療し得た前立腺肉腫の一例. 泌尿器外科 2017;30(臨増) :917.
- 43) 中山 聡子, 戸山 友香, 鈴木 康友, 木村 剛, 近藤 幸尋 : 他科入院時みられた尿閉におけるフォーレイカテーテル抜去不能症例の検討. 日本排尿機能学会誌 2017; 28 (1) :278.
- 44) 濱崎 務, 長澤 正人, 安岡 正太郎, 赤塚 純, 尾形 吉彦, 松澤 一郎, 木村 剛, 近藤 幸尋 : 前立腺摘出重量がロボット支援腹腔鏡下根治的前立腺全摘除術の術中成績に与える影響. Japanese Journal of Endourology 2017; 30 (3) :266.
- 45) 佐藤 寛之, 中原 慶, 手塚 尚美, 久保田 久子, 金子 朋広, 佐野 雅之, 尾形 吉彦, 塩路 豪, 佐藤 三洋, 吉田 寛 : 前立腺肥大症における前立腺動脈血流測定の有用性. 超音波医学 2017; 44 (Suppl.) :S617.
- 46) 佐野 雅之, 尾形 吉彦, 塩路 豪, 佐藤 三洋 : 副腎褐色細胞腫自然破裂と同時に急性心不全を呈した 1 例. 日本泌尿器科学会総会 2017; 105 回:PP36-07.
- 47) 尾形 吉彦, 佐藤 三洋, 濱崎 務, 近藤 幸尋 : 単孔式腹腔鏡下尿管管切除術における当科の工夫. Japanese Journal of Endourology 2017; 30 (3) :246.
- 48) 佐野 雅之, 木村 剛, 赤塚 純, 林 達郎, 濱崎 務, 近藤 幸尋 : 去勢抵抗性前立腺癌に対するエンザルタミドの効果予測因子. 日本癌治療学会学術集会抄録集 2017; 55 回:P79-2.
- 49) 富田 祐司, 木全 亮二, 川田 由里子, 堀内 和孝, 大林 康太郎, 近藤 幸尋 : 去勢抵抗性前立腺癌の腹膜透析患者に対するアピラテロンの使用経験. 臨床泌尿器科 2017; 71 (13) :1115-1117. doi: 10.11477/mf.1413206158.
- 50) 新藤 貴雄, 木村 剛, 程塚 直人, 香山 重軌, 武田 隼人, 松沢 一郎, 濱崎 務, 近藤 幸尋 : 周術期の管理に難渋した腎細胞癌 IVC 腫瘍塞栓の臨床的検討. 腎癌研究会会報 2017; (47) :88.
- 51) 香山 重軌, 蓑輪 忠明, 柳 雅人, 赤塚 純, 竹中 圭, 近藤 幸尋 : 外傷性気胸に続発した陰嚢内気腫の一例. 泌尿器外科 2017; 30 (臨増) :922.
- 52) 大澤 秀一, 稲津 宏紀, 新藤 貴雄, 武田 隼人, 木全 亮二, 近藤 幸尋 : 平成立石病院における f-TUL の臨床的検討. 日本泌尿器科学会総会 2017; 105 回:PP63-04.
- 53) 赤塚 純, 遠藤 勇気, 武田 隼人, 松沢 一郎, 濱崎 務, 木村 剛, 近藤 幸尋 : 当科におけるロボット支援下腹腔鏡下前立腺全摘除術の初期検討. 泌尿器外科 2017; 30 (臨増) :937.

- 54) 赤塚 純, 木村 剛, 佐野 雅之, 遠藤 勇気, 濱崎 務, 近藤 幸尋 : 当科における転移性去勢抵抗性前立腺癌に対するアピラテロンの有効性の検討. 日本癌治療学会学術集会抄録集 2017; 55 回:P80-4.
- 55) 尾形 吉彦, 濱崎 務, 佐野 雅之, 塩路 豪, 佐藤 三洋, 近藤 幸尋 : 当科の尿膜管疾患に対する単孔式腹腔鏡下尿膜管摘除術・臍形成術の創部の経時的变化. 日本泌尿器科学会総会 2017; 105 回:PP68-06.
- 56) 山口彩香, 坂井千紗, 栢沼直史, 中野宏一, 中村寿美子, 但野美子, 関野菜津子, 大西文恵, 戸山友香, 坪井成美, 羽鳥信郎 : 当院での超音波診断装置を用いた VA 管理について. 日本透析医学会雑誌 2017; 50 (Supplement 1) :920.
- 57) 遠藤 州馬, 大澤 秀一, 稲津 宏紀, 木全 亮二, 近藤 幸尋 : 当院における 80 歳以上の高齢者に対する TUL の臨床的検討. Japanese Journal of Endourology 2017; 30 (3) :248.
- 58) 大林康太郎, 木村剛, 栗林茂彦, 武田隼人, 柴山慶太, 田邊邦明, 林達郎, 柴崎幹生, 赤塚純, 戸山友香, 濱崎務, 前林勝也, 近藤幸尋 : 当院における I-125 密封小線源永久挿入療法後における 2 次発がんの検討. 日本泌尿器科学会東部総会プログラム・抄録集 2017; 82nd:268.
- 59) 飯ヶ谷 重来, 林 達郎, 赤塚 純, 安岡 正太郎, 井上 泰, 新藤 貴雄, 遠藤 勇気, 戸山 友香, 濱崎 務, 木村 剛, 近藤 幸尋 : 当院における前立腺全摘後再発に対する救済放射線療法の臨床的検討. 日本泌尿器科学会総会 2017; 105 回:PP54-05.
- 60) 稲津 宏紀, 大澤 秀一, 濱崎 務, 近藤 幸尋 : 当院における単孔式腹腔鏡下尿膜管摘除術の検討. Japanese Journal of Endourology 2017; 30 (3) :246.
- 61) 塩路 豪, 佐野 雅之, 尾形 吉彦, 佐藤 三洋, 木村 剛, 近藤 幸尋 : 急性腹症を呈した感染性仮性後腹膜嚢胞の一例. 日本泌尿器科学会総会 2017; 105 回:PP01-05.
- 62) 安岡 正太郎, 濱崎 務, 長沢 正人, 新藤 貴雄, 赤塚 純, 木村 剛, 近藤 幸尋 : 抗血小板剤継続下に腹腔鏡下根治的腎摘除術を施行した腫瘍塞栓を伴う左腎癌の 1 例. Japanese Journal of Endourology 2017; 30 (3) :270.
- 63) 遠藤 裕, 上村 夏生, 間 崇史, 本多 忠幸, 岡部 康之, 新田 正和, 鈴木 康友, 本田 博之 : 敗血症患者における 24 時間の整数心拍数のエントロピーと ICU 重症度スコアとの関連. 日本集中治療医学会雑誌 2018; 25 (Suppl.) :[O74-2].
- 64) 西村 泰司, 渡辺 晃秀, 森川 泰如, 李 哲洙, 一ノ瀬 義雄, 栗田 晋, 木村 剛, 近藤 幸尋 : 気腫性腎盂腎炎 経皮的ドレナージの適応と施行時期の検討. 日本外科系連合学会誌 2017; 42 (5) :763-767.
- 65) 大林 康太郎, 近藤 幸尋 : 泌尿器癌における末梢血循環腫瘍細胞捕捉の試み. 日本医科大学医学会雑誌 2018; 14 (1) :31-32.
- 66) 鈴木 康友, 柳 雅人, 田邊 邦明, 中森 央貴, 守田 晃二郎, 根本 勺, 近藤 幸尋 : 泌尿器経験 10 年未満の術者による開腹順行性前立腺全摘術の初期成績について. 日本泌尿器科学会総会 2017; 105 回:PP90-02.
- 67) 濱崎 務, 大林 康太郎, 高橋 亮, 武田 隼人, 野村 俊一郎, 遠藤 勇気, 松澤 一郎, 富田 祐司, 鈴木 康友, 木村 剛, 近藤 幸尋 : 筋層非浸潤性巨大膀胱癌に対する膀胱温存. 日本泌尿器科学会総会 2017; 105 回:PP11-11.
- 68) 安岡 正太郎, 林 達郎, 渡邊 晃秀, 戸山 由香, 濱崎 務, 木村 剛, 近藤 幸尋 : 筋層非浸潤性膀胱癌 Ta 腫瘍に対する 2nd TURBT の意義. 日本泌尿器科学会総会 2017; 105 回:PP78-09.
- 69) 程塚 直人, 根本 勺, 柳 雅人, 長谷川 匡, 近藤 幸尋 : 精索原発脱分化型脂肪肉腫の 1 例. 泌尿器科紀要 2017; 63 (6) :251-254.
- 70) 佐々木崇, 天河亮, 尾形吉彦, 佐藤三洋, 近藤幸尋 : 胃への転移を来した腎癌の 1 例. 日本泌尿器科学会東部総会プログラム・抄録集 2017; 82nd:308.
- 71) 井上 泰, 尾形 吉彦, 塩路 豪, 佐藤 三洋, 近藤 幸尋 : 胆道再建した腎細胞癌胆嚢管転移. 泌尿器外科 2017; 30 (臨増) :924.
- 72) 富田 祐司, 木全 亮二, 川田 由里子, 堀内 和孝, 北山 康彦, 近藤 幸尋 : 腎平滑筋肉腫の一例. 泌尿器外科 2017; 30 (臨増) :910.
- 73) 西村 泰司, 李 哲洙, 栗田 晋, 布村 眞季, 三浦 剛史, 高橋 さゆり, 木村 剛, 近藤 幸尋 : 腎癌の陰茎転移の 1 例. 日本外科系連合学会誌 2017; 42 (5) :860-863.
- 74) 田邊 邦明, 根本 勺, 柳 雅人, 中森 央貴, 守田 晃二郎, 鈴木 康友, 戸山 友香, 赤塚 純, 野村 俊一郎, 松澤 一郎, 濱崎 務, 木村 剛, 近藤 幸尋 : 腹腔鏡下前立腺全摘術後尿失禁に対する術前患者因子の検討. 泌尿器外科 2017; 30 (臨増) :936.
- 75) 水口 滋仁, 小林 博仁, 牧 泰宏, 中井 暖, 小池 響子, 服部 智任, 川村 直樹, 近藤 幸尋 : 腹腔鏡下手術にて摘出し得た後腹膜成熟嚢胞性奇形腫の 1 例. 泌尿器外科 2017; 30 (11) :1713.
- 76) 遠藤 勇気, 赤塚 純, 武田 隼人, 高橋 亮, 中山 聡子, 松澤 一郎, 濱崎 務, 木村 剛, 近藤 幸尋 : 膀胱子宮内膜症に対する経尿道的切除併用腹腔鏡膀胱部分切除術の有用性についての検討. 日本泌尿器科学会総会 2017; 105 回:PP35-08.

- 77) 西村 泰司, 渡辺 晃秀, 森川 泰如, 李 哲洙, 栗田 晋, 野崎 哲夫, 佐々木 崇, 阿部 裕行, 新藤 貴雄, 飯ヶ谷 重来, 遠藤 勇気, 戸山 友香, 近藤 幸尋, 秋元 成太 : 膀胱瘻の現状 特に合併症と患者ケアについて. 日本外科系連合学会誌 2017; 42 (2) :145-153.
- 78) 中山 聡子, 鈴木 康友, 近藤 幸尋, 依田 恵美子, 原 俊太郎 : 膀胱癌に対するシスプラチン(CPPD)の癌増殖抑制と iPLA2 $\gamma$ (カルシウム非依存性 PLA2 $\gamma$ )の関与について. 日本泌尿器科学会総会 2017; 105 回:PP04-05.
- 79) 渡邊 晃秀, 林 達郎, 安岡 正太郎, 松岡 諒, 高橋 圭吾, 李 哲洙, 森川 泰如, 栗田 晋, 濱崎 務, 木村 剛, 西村 泰司, 近藤 幸尋 : 膀胱腫瘍における術前膀胱鏡所見と MRI による深達度評価と術後病理学的深達度の乖離. 日本泌尿器科学会総会 2017; 105 回:PP74-04.
- 80) 西村 泰司, 渡辺 晃秀, 森川 泰如, 李 哲洙, 一ノ瀬 義雄, 栗田 晋, 中本 壽宏, 高橋 雅哉, 布村 眞希, 高橋 圭吾, 近藤 幸尋 : 膿瘍を介した S 状結腸膀胱瘻の 1 例. 日本外科系連合学会誌 2017; 42 (4) :698-702.
- 81) 程塚 直人, 林 達郎, 栗林 英吾, 高橋 圭吾, 大林 康太郎, 佐野 雅之, 飯ヶ谷 重来, 田邊 邦明, 遠藤 勇気, 中山 聡子, 戸山 友香, 濱崎 務, 木村 剛, 近藤 幸尋 : 術後早期に転移再発をきたした尿管原発小細胞癌の一例. 日本癌治療学会学術集会抄録集 2017; 55 回:P50-7.
- 82) 富田祐司, 木全亮二, 川田由里子, 柴山慶太, 堀内和孝, 大林康太郎, 濱崎務, 近藤幸尋, 井上泰 : 進行性尿路上皮癌に対するセカンドライン化学療法としてパクリタキセル+ゲムシタピン療法を施行した 3 例. 日本泌尿器科学会東部総会プログラム・抄録集 2017; 82nd:347.
- 83) 鈴木翔太, 武井圭一, 藪崎純, 栗原達也, 赤塚萌子, 山岸宏江, 山本満 : 長下肢装具を使用した歩行練習が麻痺側大腿四頭筋へ与える有用性についての検討 single case study. 日本理学療法学会大会 2017; 52nd
- 84) 天河亮, 赤塚純, 鈴木康友, 濱崎務, 木村剛, 石井英昭, 近藤幸尋 : 閉鎖リンパ節郭清にて診断し得た腎盂壁の肥厚性病変を伴った IgG4 関連腎臓病の 1 例. 日本泌尿器科学会雑誌 2017; 108 (4) :229-233. doi: 10.5980/jpnjurol.108.229.
- 85) 佐藤三洋, 天河亮, 佐々木崇, 尾形吉彦 : 限局性膀胱アミロイドーシスの一例. 日本泌尿器科学会東部総会プログラム・抄録集 2017; 82nd:321.
- 86) 柳 雅人, 三神 晃, 守田 晃二郎, 中森 央貴, 簗輪 忠明, 田邊 邦明, 鈴木 健太, 根本 勺, 鈴木 康友, 近藤 幸尋 : 離断した腎の尿漏を血管塞栓術とドレナージでコントロールした腎外傷の 1 例. 日本泌尿器科学会総会 2017; 105 回:PP03-01.
- 87) 木全 亮二, 富田 祐司, 川田 由里子, 堀内 和孝, 近藤 幸尋 : 非典型的な腎腫瘍の画像について. 日本泌尿器科学会総会 2017; 105 回:PP65-09.
- 88) 戸山 友香, 鈴木 康友, 中山 聡子, 川田 由里子, 遠藤 勇気, 佐々木 崇, 高橋 圭吾, 安岡 正太郎, 松岡 諒, 市川 雅男, 明楽 重夫, 竹下 俊行, 近藤 幸尋 : 骨盤臓器脱に対する LSC 術前後における排尿機能. 日本泌尿器科学会総会 2017; 105 回:PP14-08.
- 89) 木村剛, 赤塚純, 林達郎, 遠藤勇気, 中山聡子, 戸山友香, 濱崎務, 近藤幸尋 : 骨転移を伴う去勢抵抗性前立腺がん患者に対する Ra - 223 治療:初期 11 症例の検討. 日本泌尿器科学会総会 2017; 105th:ROMBUNNO.OP40 - 5 (WEB ONLY)-5.
- 90) 木村 剛, 福嶋 善光, 赤塚 純, 林 達郎, 中山 聡子, 戸山 友香, 濱崎 努, 近藤 幸尋 : 骨転移を伴う去勢抵抗性前立腺癌に対する Ra-223 治療 6 回完遂予測因子の検討. 日本癌治療学会学術集会抄録集 2017; 55 回:P74-1.

## 著書

- 1) 赤塚純 : 新腎・泌尿器癌 (下) —基礎・臨床研究の進歩— 性腺外胚細胞腫瘍. 2017, 日本臨牀.
- 2) 天河 亮, 赤塚 純, 鈴木 康友, 濱崎 務, 木村 剛, 石井 英昭, 近藤 幸尋 : 閉鎖リンパ節郭清にて診断し得た腎盂壁の肥厚性病変を伴った IgG4 関連腎臓病の 1 例. 2017, 日泌尿会誌 108 (4): 229-233.

## 学会発表

- 1) 戸山 友香, 赤塚 純, 新藤 貴雄, 高橋 圭吾, 濱崎 務, 木村 剛, 近藤 幸尋 : BCG 膀胱内注入療法後両側腎盂腎炎を発症し敗血症及び慢性腎不全に移行した一例. 日本老年泌尿器科学会誌, 2018. 3.
- 2) 柴山 慶太, 木村 剛, 林 達郎, 木全 亮二, 堀内 和孝, 濱崎 務, 近藤 幸尋 : CT における腎腫瘍内低吸収域の臨床病理学的解析と予後. 日本癌治療学会学術集会抄録集, 2017. 10.
- 3) 稲津 宏紀, 大澤 秀一, 木全 亮二, 濱崎 務, 木村 剛, 近藤 幸尋 : G-CSF 産生腎盂癌の 1 例. 泌尿器外科, 2017. 5.



- 4) Fukushima Y, Kimura G, Akatsuka J, Hamamna T, Sugihara Y, Ando T, Kumita S : Prognostic impact of bone SPECT/CT for metastatic castration-resistant prostate cancer patients. The 12th Asia Oceania Congress of Nuclear Medicine and Biology, 2017. 10.
- 5) 田邊 邦明, 木村 剛, 柴崎 幹生, 松岡 諒, 大林 康太郎, 遠藤 勇気, 赤塚 純, 中山 聡子, 戸山 友香, 濱崎 務, 近藤 幸尋 : Ra-223 投与後に緊急手術を要した転移性去勢抵抗性前立腺癌の 1 例 手術室の RI 汚染対策. 日本癌治療学会学術集会抄録集, 2017. 10.
- 6) Akatsuka, J. Kimura G, Shibayama K, Sano M, Endo Y, Takeda Hamasaki T, Kondo Y : Starting with low dose pazopanib in the treatment of Japanese patients with metastatic renal cell carcinoma.ESMO Asia. ESMO Asia 2018 Congress, 2017.
- 7) 稲津 宏紀, 木村 剛, 遠藤 勇気, 松沢 一郎, 鈴木 康友, 濱崎 務, 近藤 幸尋 : Sunitinib 投与後の血小板輸血にて早期に抗 HLA 抗体産生による血小板輸血不応状態を示した転移性腎癌の 2 例. 腎癌研究会会報, 2017. 7.
- 8) 林 達郎, 木村 剛, 佐野 雅弘, 赤塚 純, 柴山 慶太, 大林 康太郎, 近藤 幸尋 : Urothelial carcinoma、lipid cell variant の 6 例. 日本癌治療学会学術集会抄録集, 2017. 10.
- 9) 中島 信幸, 宮嶋 哲, 金山 博臣, 福森 知治, 近藤 恒徳, 篠原 信雄, 小原 航, 木村 剛, 久米 春喜, 藤元 博行, 野々村 祝夫, 本郷 文弥, 杉山 貴之, 高橋 正幸, 江藤 正俊, 日本泌尿器科学会がん登録推進委員会 : pT1a 腎癌における術後再発危険因子の検討 日本泌尿器科学会がん登録二次解析. 日本癌治療学会学術集会抄録集, 2017. 10.
- 10) 大林 康太郎, 新藤 貴雄, 飯ヶ谷 重来, 赤塚 純, 遠藤 勇気, 林 達郎, 中山 聡子, 戸山 友香, 濱崎 務, 木村 剛, 大永 崇, 近藤 幸尋 : マイクロ流体チップシステムを用いた未治療転移性前立腺癌患者における末梢血循環腫瘍細胞捕捉の試み. 日本泌尿器科学会総会, 2017. 4.
- 11) 濱崎 務, 長澤 正人, 安岡 正太郎, 赤塚 純, 尾形 吉彦, 松澤 一郎, 木村 剛, 近藤 幸尋 : 前立腺摘出重量がロボット支援腹腔鏡下根治的前立腺全摘除術の術中成績に与える影響. Japanese Journal of Endourology, 2017. 11.
- 12) 佐野 雅之, 木村 剛, 赤塚 純, 林 達郎, 濱崎 務, 近藤 幸尋 : 去勢抵抗性前立腺癌に対するエンザルタミドの効果予測因子. 日本癌治療学会学術集会抄録集, 2017. 10.
- 13) 新藤 貴雄, 木村 剛, 程塚 直人, 香山 重軌, 武田 隼人, 松沢 一郎, 濱崎 務, 近藤 幸尋 : 周術期の管理に難渋した腎細胞癌 IVC 腫瘍塞栓の臨床的検討. 腎癌研究会会報, 2017. 7.
- 14) 香山 重軌, 蓑輪 忠明, 柳 雅人, 赤塚 純, 竹中 圭, 近藤 幸尋 : 外傷性気胸に続発した陰嚢内気腫の一例. 泌尿器外科, 2017. 5.
- 15) 赤塚 純, 遠藤 勇気, 武田 隼人, 松沢 一郎, 濱崎 務, 木村 剛, 近藤 幸尋 : 当科におけるロボット支援下腹腔鏡下前立腺全摘除術の初期検討. 泌尿器外科, 2017. 5.
- 16) 赤塚 純, 木村 剛, 佐野 雅之, 遠藤 勇気, 濱崎 務, 近藤 幸尋 : 当科における転移性去勢抵抗性前立腺癌に対するアピラテロンの有効性の検討. 日本癌治療学会学術集会抄録集, 2017. 10.
- 17) 大林康太郎, 木村剛, 栗林茂彦, 武田隼人, 柴山慶太, 田邊邦明, 林達郎, 柴崎幹生, 赤塚純, 戸山友香, 濱崎務, 前林勝也, 近藤幸尋 : 当院における I - 125 密封小線源永久挿入療法後における 2 次発がんの検討. 日本泌尿器科学会東部総会プログラム・抄録集, 2017.
- 18) 飯ヶ谷 重来, 林 達郎, 赤塚 純, 安岡 正太郎, 井上 泰, 新藤 貴雄, 遠藤 勇気, 戸山 友香, 濱崎 務, 木村 剛, 近藤 幸尋 : 当院における前立腺全摘後再発に対する救済放射線療法 of 臨床的検討. 日本泌尿器科学会総会, 2017. 4.
- 19) 塩路 豪, 佐野 雅之, 尾形 吉彦, 佐藤 三洋, 木村 剛, 近藤 幸尋 : 急性腹症を呈した感染性仮性後腹膜嚢胞の一例. 日本泌尿器科学会総会, 2017. 4.
- 20) 鈴木 康友, 柳 雅人, 田邊 邦明, 中森 央貴, 守田 晃二郎, 根本 勺, 近藤 幸尋 : 泌尿器経験 10 年未満の術者による開腹順行性前立腺全摘術の初期成績について. 日本泌尿器科学会総会, 2017. 4.
- 21) 濱崎 務, 大林 康太郎, 高橋 亮, 武田 隼人, 野村 俊一郎, 遠藤 勇気, 松澤 一郎, 富田 祐司, 鈴木 康友, 木村 剛, 近藤 幸尋 : 筋層非浸潤性巨大膀胱癌に対する膀胱温存. 日本泌尿器科学会総会, 2017. 4.
- 22) 安岡 正太郎, 林 達郎, 渡邊 晃秀, 戸山 由香, 濱崎 務, 木村 剛, 近藤 幸尋 : 筋層非浸潤性膀胱癌 Ta 腫瘍に対する 2nd TURBT の意義. 日本泌尿器科学会総会, 2017. 4.
- 23) 程塚 直人, 根本 勺, 柳 雅人, 長谷川 匡, 近藤 幸尋 : 精索原発脱分化型脂肪肉腫の 1 例. 泌尿器科紀要, 2017. 6.
- 24) 田邊 邦明, 根本 勺, 柳 雅人, 中森 央貴, 守田 晃二郎, 鈴木 康友, 戸山 友香, 赤塚 純, 野村 俊一郎, 松沢 一郎, 濱崎 務, 木村 剛, 近藤 幸尋 : 腹腔鏡下前立腺全摘術後尿失禁に対する術前患者因子の検討. 泌尿器外科, 2017. 5.
- 25) 遠藤 勇気, 赤塚 純, 武田 隼人, 高橋 亮, 中山 聡子, 松澤 一郎, 濱崎 務, 木村 剛, 近藤 幸尋 : 膀胱子宮内膜症に対する経尿道

- 的切除併用腹腔鏡膀胱部分切除術の有用性についての検討. 日本泌尿器科学会総会, 2017. 4.
- 26) 渡邊 晃秀, 林 達郎, 安岡 正太郎, 松岡 諒, 高橋 圭吾, 李 哲洙, 森川 泰如, 栗田 晋, 濱崎 務, 木村 剛, 西村 泰司, 近藤 幸尋: 膀胱腫瘍における術前膀胱鏡所見とMRIによる深達度評価と術後病理学的深達度の乖離. 日本泌尿器科学会総会, 2017. 4.
- 27) 箕輪 忠明, 根本 勺, 柳 雅人, 中森 央貴, 三神 晃, 近藤 幸尋, 鈴木 康友: 術前化学療法が奏功し骨盤内臓器全摘術にて治療し得た前立腺肉腫の一例. 泌尿器外科, 2017. 5.
- 28) 程塚 直人, 林 達郎, 栗林 英吾, 高橋 圭吾, 大林 康太郎, 佐野 雅之, 飯ヶ谷 重来, 田邊 邦明, 遠藤 勇氣, 中山 聡子, 戸山 友香, 濱崎 務, 木村 剛, 近藤 幸尋: 術後早期に転移再発をきたした尿管原発小細胞癌の一例. 日本癌治療学会学術集会抄録集, 2017. 10.
- 29) Fukushima Yoshimitsu, Kimura Go, Akatsuka Jun, Hamana Teruhiko, Sugihara Yasuro, Ando Takahiro, Kumita Shin-ichiro: 転移性去勢抵抗性前立腺癌患者に対する骨 SPECT/CT の予後的影響(Prognostic impact of bone SPECT/CT for metastatic castration-resistant prostate cancer patients). 核医学, 2017. 9.
- 30) 柳 雅人, 三神 晃, 守田 晃二郎, 中森 央貴, 箕輪 忠明, 田邊 邦明, 鈴木 健太, 根本 勺, 鈴木 康友, 近藤 幸尋: 離断した腎の尿漏を血管塞栓術とドレナージでコントロールした腎外傷の1例. 日本泌尿器科学会総会, 2017. 4.
- 31) 木村 剛, 赤塚 純, 林 達郎, 遠藤 勇氣, 中山 聡子, 戸山 友香, 濱崎 務, 近藤 幸尋: 骨転移を伴う去勢抵抗性前立腺がん患者に対するRa-223治療 初期11症例の検討. 日本泌尿器科学会総会, 2017. 4.
- 32) 木村 剛, 福嶋 善光, 赤塚 純, 林 達郎, 中山 聡子, 戸山 友香, 濱崎 努, 近藤 幸尋: 骨転移を伴う去勢抵抗性前立腺癌に対するRa-223治療 6回完遂予測因子の検討. 日本癌治療学会学術集会抄録集, 2017. 10.

## 24 眼科学分野

### 研究業績

#### 論文等

- 1) Azusa Kominami, Shinji Ueno, Taro Kominami, Ayami Nakanishi, Yasuki Ito, Kaoru Fujinami, Kazushige Tsunoda, Takaaki Hayashi, Sachiko Kikuchi, Shuhei Kameya, Takeshi Iwata, Hiroko Terasaki : Case of cone dystrophy with normal fundus appearance associated with biallelic POC1B variants. *Ophthalmic Genetics* 2018; 39 (2) :255-262. doi: 10.1080/13816810.2017.1408846.
- 2) Kunihiro Ishikawa, Tamaki Gekka, Takaaki Hayashi, Sachiko Kikuchi, Shuhei Kameya, Hiroshi Tsuneoka : Closure of a full-thickness macular hole without vitrectomy in choroideaemia. *CLINICAL AND EXPERIMENTAL OPTOMETRY* 2017; 100 (3) :294-295. doi: 10.1111/cxo.12467.
- 3) 島奈津子, 小早川信一郎, 北原由紀, 薫一帆, 中島大司, 中元兼二, 高橋浩 : EX-PRESS 併用濾過手術の中期術後成績. *眼科手術* 2017; 31
- 4) Igarashi T, Kobayashi M, Yaguchi C, Fujimoto C, Suzuki H, Takahashi H : Efficacy of Rebamipide Instillation for Contact Lens Discomfort With Dry Eye. *Eye & contact lens* 2017; 44 Suppl 2 (2) :S137-S142. doi: 10.1097/ICL.0000000000000438.
- 5) Nobuyuki Shoji, Yoshikuni Arakaki, Kenji Nakamoto, Tetsuya Yamamoto, Yasuaki Kuwayama, Yumiko Aoyama, Kazuhide Kawase, Takahiro Ban, Akira Sawada, Kiyofumi Mochizuki, Ryusuke Futa, Noriko Yasuda, Masayuki Nakajima, Tetsuya Sugiyama, Shota Kojima, Norihiko Hirotsuji, Kiyoshi Kano, Atsushi Ohura, Eriko Kawai, Atsuko Nakata, Rika Kuwamura, Kensuke Okuno, Kenji Yawata, Shun Matsumoto, Haruki Abe, Takeo Fukuchi, Motohiro Shirakashi, Jun Ueda, Takayuki Tanaka, Akira Negi, Makoto Nakamura, Akiyasu Kanamori, Yuko Yamada, Akihiko Tawara, Toshiaki Kubota, Norihiko Tou, Tairo Kimura, Chiaki Furusawa, Naoki Inoue, Kiho Kawabata, Nobuhiko Tachibana, Akira Matsuda, Takahiko Seto, Satoshi Kimura, Satoki Ueno, Naoto Tokuda, Jun Inoue, Kazuhisa Sugiyama, Shinji Ohkubo, Tomomi Higashide, Yoshiaki Saito, Hisashi Takeda, Atsushi Nagata, Yukitaka Uji, Hideyuki Tsukitome, Kunio Ito, Kengo Ikesugi, Miyo Matsumura, Hiroyuki Nambu, Teruhiko Hamanaka, Takayasu Omata, Yukiko Watanabe, Keiko Sakuma, Yoko Amari, Genichiro Takahashi, Takahiko Noro, Hiroshi Miyata, Manabu Hirasawa, Yuichiro Ohtake, Kenya Yuki, Makoto Araie, Goji Tomita, Makoto Aihara, Atsuo Tomidokoro, Hiroshi Matsuo, Takuya Atarashi, Chihiro Mayama, Junkichi Yamagami, Satoshi Okinami, Shinichiro Ishikawa, Tetsuya Morita, Tomohiro Otsuki, Hiromasa Suzuki, Ryoko Naruse, Yayoi Yamakawa, Masayuki Kasahara, Takeshi Yoshitomi, Kenji Kashiwagi, Fumihiko Mabuchi, Tatsuya Chiba, Yasuyuki Suzuki, Satoko Shimizu, Hiromu K. Mishima, Yoshiaki Kiuchi, Hideki Mochizuki, Takashi Sone, Hidetoshi Tsukamoto, Koji Okada, Shoichi Sawaguchi, Hiroshi Sakai : Efficacy of predetermined therapeutic measures against bleb-related infection in the Collaborative Bleb-related Infection Incidence and Treatment Study. *Acta Ophthalmologica* 2018; 96 (2) :e229-e236. doi: 10.1111/aos.13523.
- 6) Kazuhisa Takahashi, Tsutomu Igarashi, Koichi Miyake, Maika Kobayashi, Chiemi Yaguchi, Osamu Iijima, Yoshiyuki Yamazaki, Noriko Miyake, Shuhei Kameya, Takashi Shimada, Hiroshi Takahashi, Takashi Okada : Efficient Transduction of Inner Retina by Surgical Internal Limiting Membrane (ILM) Peeling Before Intravitreal AAV Vector Injection in Cynomolgus Monkeys. *MOLECULAR THERAPY* 2017; 25 (5) :111.
- 7) Takaaki Hayashi, Hiroyuki Sasano, Satoshi Katagiri, Kazushige Tsunoda, Shuhei Kameya, Mitsuru Nakazawa, Takeshi Iwata, Hiroshi Tsuneoka : Heterozygous deletion of the OPA1 gene in patients with dominant optic atrophy. *JAPANESE JOURNAL OF OPHTHALMOLOGY* 2017; 61 (5) :395-401. doi: 10.1007/s10384-017-0522-0.
- 8) Hisaharu Suzuki, Yoichiro Masuda, Yuki Hamajima, Hiroshi Takahashi : Irrigation port hydration in phacoemulsification surgery. *Clinical Ophthalmology* 2018; 12:185-190. doi: 10.2147/OPHTH.S152798.
- 9) 中野 優治, 堀 純子 : PD-1 阻害薬投与後に急性前部ぶどう膜炎と原田病様眼底の2つの臨床像を呈した1例. *日本眼科学会雑誌* 2018; 122 (臨増) :257.
- 10) 藤波 芳, 亀谷 修平, 菊地 佐知子, 林 孝彰, 片桐 聡, 上野 真治, 小南 梓, 出田 隆一, 三宅 養三, 岩田 岳, 角田 和繁 : POC1B 関連網膜症における表現型スペクトラム 眼底正常な錐体ジストロフィ. *日本眼科学会雑誌* 2018; 122 (3) :251.

- 11) Takeshi Arima, Masaaki Uchiyama, Yuichiro Nakano, Shinya Nagasaka, Dedong Kang, Akira Shimizu, Hiroshi Takahashi : Peroxisome proliferator-activated receptor alpha agonist suppresses neovascularization by reducing both vascular endothelial growth factor and angiopoietin-2 in corneal alkali burn. SCIENTIFIC REPORTS 2017; 7 (1) :17763. doi: 10.1038/s41598-017-18113-3.
- 12) 仲野 裕一郎, 内山 昌明, 有馬 武志, 清水 明, 高橋 浩 : Peroxisome proliferator-activated receptor  $\alpha$  agonist による NF- $\kappa$ B 核内移行抑制. 日本眼科学会雑誌 2018; 122 (臨増) :204.
- 13) Naotaka Serizawa, Yoko Funasaka, Hitomi Goto, Akiko Kanzaki, Junko Hori, Yasuko Takano, Hidehisa Saeki : Platelet-Rich Plasma Injection and Cutaneous Sarcoidal Granulomas. ANNALS OF DERMATOLOGY 2017; 29 (2) :239-241. doi: 10.5021/ad.2017.29.2.239.
- 14) Taniguchi Hiroko, Hase Hidenori, Akiba Hisaya, Yagita Hideo, Azuma Miyuki, Hori Junko : Role of B7-H3/TLT-2 pathway in immune privilege of corneal allografts. INVESTIGATIVE OPHTHALMOLOGY & VISUAL SCIENCE 2017; 58 (8)
- 15) Kenji Nakamoto, Masahiko Takeshi, Toshihiko Hiraoka, Mayuko Eguchi, Yuichiro Nakano, Naomi Otsuka, Hiroko Hizaki, Hiromi Akai, Masayo Hashimoto : The 24-hour intraocular pressure control by tafluprost/timolol fixed combination after switching from the concomitant use of tafluprost and timolol gel-forming solution, in patients with primary open-angle glaucoma. Clinical Ophthalmology 2018; 12:359-367. doi: 10.2147/OPHTH.S152507.
- 16) Yoshinori Itoh, Kenji Nakamoto, Hiroshi Horiguchi, Shumpei Ogawa, Takahiko Noro, Makoto Sato, Tadashi Nakano, Hiroshi Tsuneoka, Noriko Yasuda : Twenty-Four-Hour Variation of Intraocular Pressure in Primary Open-Angle Glaucoma Treated with Triple Eye Drops. JOURNAL OF OPHTHALMOLOGY 2017 doi: 10.1155/2017/4398494.
- 17) 有馬 武志, 内山 昌明, 仲野 裕一郎, 清水 章, 高橋 浩 : peroxisome proliferator activated receptor alpha 点眼剤の治療効果. 日本眼科学会雑誌 2018; 122 (臨増) :181.
- 18) 中元 兼二 : 【点眼治療戦略:Pros & Cons】 緑内障における点眼治療戦略 豊富なバリエーションをどう使い分けるのか?. あたらしい眼科 2017; 34 (9) :1221-1225.
- 19) 高野 靖子, 白鳥 宙, 中元 兼二 : 【眼圧を評価する】 眼圧日内変動を評価する. 眼科 2018; 60 (1) :9-13. doi: 10.18888/ga.0000000532.
- 20) 由井智子, 堀 純子 : 【眼科救急 Q&A】 救急疾患ごとの基本的な対処法 角膜・結膜・強膜 強膜炎で痛みを訴える患者が来院しました。 診断と治療法を教えてください(Q&A/特集). あたらしい眼科 2017; 34:166-170.
- 21) 中元 兼二 : 【緑内障診療に役立つ検査ノウハウ】 ゴールドマン圧平眼圧計による眼圧検査および眼圧日内変動測定. OCULISTA 2017; (55) :1-6.
- 22) 武田 彩佳, 国重 智之, 五十嵐 徹, 堀 純子 : アダリムマブが著効した間質性腎炎ぶどう膜炎症候群の一卵性双生児. 日本眼科学会雑誌 2018; 122 (臨増) :258.
- 23) 五十嵐 勉, 高橋 和久, 三宅 弘一, 小林 舞香, 矢口 智恵美, 山崎 吉之, 三宅 紀子, 亀谷 修平, 島田 隆, 岡田 尚巳, 高橋 浩 : アデノ随伴ウイルスベクターによる遺伝子治療と内境界膜剥離. 日本眼科学会雑誌 2018; 122 (3) :251-252.
- 24) 由井 智子, 岳野 光洋, 大内 望, 堀 純子 : インフリキシマブ投与中に正常な妊娠と分娩を遂行できた難治性パーチェット病の一例. 日本眼科学会雑誌 2018; 122 (臨増) :257.
- 25) 明尾 慶一郎, 久保田 大紀, 菊地 佐知子, 後町 清子, 林 孝彰, 常岡 寛, 山木 邦比古, 高橋 浩, 亀谷 修平 : コロイデレミアの保因者のAO解析について. 眼科臨床紀要 2017; 10 (7) :591.
- 26) 五十嵐 勉, 高橋 和久, 三宅 弘一, 小林 舞香, 矢口 智恵美, 山崎 吉之, 喜納 裕美, 三宅 紀子, 亀谷 修平, 島田 隆, 岡田 尚巳, 高橋 浩 : サルに対する AAV ベクター硝子体投与による血中抗体価の検討. 日本眼科学会雑誌 2018; 122 (臨増) :260.
- 27) 高橋和久, 五十嵐勉, 三宅弘一, 小林舞香, 矢口智恵美, 飯島修, 山崎吉之, 亀谷修平, 島田隆, 高橋浩, 岡田尚巳 : サルに対する内境界膜剥離併用硝子体手術による遺伝子導入法の開発. 日本緑内障学会抄録集 2017; 28th
- 28) 五十嵐 徹, 林 美雪, Pawankar Ruby, 山西 慎吾, 田辺 雄次郎, 竹下 輝, 尾崎 優介, 檜崎 秀彦, 五十嵐 勉, 伊藤 保彦 : ミルクアレルギーの乳児に4年間調整粉末大豆乳を使用し、大豆アレルギーを発症しない例. アレルギー 2017; 66 (4-5) :710.
- 29) 丸山 佳織, 鈴木 久晴, 大木 孝太郎, 増田 洋一郎, 高橋 浩 : ワンポートスリーブにおける前房内粘弾性物質残存率の検討. IOL & RS 2018; 32 (1) :90-96.
- 30) 藤波 芳, 亀谷 修平, 上野 真治, 近藤 峰生, 林 孝彰, 篠田 啓, 町田 繁樹, 三宅 養三, 岩田 岳, 角田 和繁 : 三宅病 オカルト黄斑ジストロフィの遺伝子型表現型関連. 眼科臨床紀要 2017; 10 (7) :586.

- 31) 山本 光宏, 村上 正洋 : 上眼瞼皮膚弛緩症に対する眉毛下皮膚切除術. 眼科臨床紀要 2017; 10 (8) :690.
- 32) 久保田 大紀, 菊地 佐知子, 後町 清子, 明尾 慶一郎, 山木 邦比古, 高橋 浩, 亀谷 修平 : 全エクソーム解析にて DFNB31 遺伝子に複合ヘテロ変異を認めた非典型アッシュャー症候群の一家系. 眼科臨床紀要 2017; 10 (7) :584-585.
- 33) 中野優治, 鈴木久晴, 白鳥宙, 高橋浩 : 前眼部手術における術中 OCT の有用性の検討. 眼科手術 2017; 31
- 34) 中嶋 信人, 林 俊行, 五十嵐 勉, 上田 雅之 : 大量免疫グロブリン療法後に遅発性に眼瞼下垂の再燃を認めた Miller Fisher 症候群の 40 歳男性例. 臨床神経学 2017; 57 (6) :356.
- 35) 堀 純子 : 強膜炎に伴う白内障手術のコツ. 眼科手術 2017; 30 (3) :467-469.
- 36) 白鳥 宙, 中元 兼二 : 新しい検査機器の読み方 icare. IOL & RS 2017; 31 (3) :463-466.
- 37) 桑原 広輔, 奈良 慎平, 小野 真平, 村上 正洋, 小川 令 : 新鮮熱傷創に対する銀含有創傷被覆材(アクアセル Ag、アクアセル Ag BURN) の使用の現状 同創傷被覆材を採用している 42 施設に対するアンケート調査より. 熱傷 2018; 44 (1) :49-57.
- 38) 鈴木 久晴, 増田 洋一郎, 白鳥 宙, 宮里 佑未, 中島 大司, 宮田 康平, 高橋 浩 : 灌流ハイドレーションによる前房虚脱防止と切開創安定性の評価. 日本眼科学会雑誌 2017; 121 (10) :777.
- 39) 高橋 浩 : 白内障の治療を科学する 角膜内皮保護を考えた低侵襲白内障手術. 日本眼科学会雑誌 2018; 122 (臨増) :38.
- 40) 宮田 康平, 鈴木 久晴, 白鳥 宙, 宮里 佑未, 中島 大司, 高橋 浩 : 白内障手術におけるディスコビスクの角膜乾燥予防効果. 眼科手術 2018; 31 (1) :122-125.
- 41) 鈴木 久晴, 高橋 浩 : 眼内レンズセミナー 白内障術後の角膜裏面沈着物と温流. あたらしい眼科 2017; 34 (7) :1001-1002.
- 42) 高橋 浩 : 眼手術関連薬物治療 周術期ドライアイの薬物治療. 眼薬理 2017; 31 (1) :53-55.
- 43) 村上 正洋 : 眼瞼下垂手術における上眼瞼形成術 美容外科にとっての眼瞼下垂手術を考える 眼瞼下垂手術における上眼瞼形成術 保険診療における整容とは. 日本美容外科学会会報 2017; 39 (4) :173.
- 44) 高橋 浩 : 眼科保険の抱える未来 平成 28 年度外保連実態調査に関する報告. 日本の眼科 2018; 89 (2) :228.
- 45) 高橋 浩 : 眼科保険の抱える未来 平成 28 年度外保連実態調査に関する報告. 日本眼科学会雑誌 2018; 122 (3) :269.
- 46) 五十嵐勉, 三宅弘一, 小林舞香, 高橋和久, 中元兼二, 岡田尚巳, 高橋浩 : 眼科分野における遺伝子導入法の開発. 日本医科大学医学雑誌 2017; 13 (2) :88 - 96(J - STAGE)-96. doi: 10.1272/manms.13.88.
- 47) 日本 IHE 協会眼科企画委員会, 篠崎和美, 吉富健志, 永田 啓, 柏木賢治, 川瀬和秀, 野田佳宏, 山西茂喜, 小野真史, 奥田保男 : 眼科領域の医療情報「標準化」の国際化、眼科部門システムからのレポート送信「標準化」に向けて-2016 年度「標準化」でコストダウン・相互運用性を目指した快適な眼科領域の医療情報環境への活動報告-. 日本の眼科 2017; 88 (3) :54-57.
- 48) 高橋 浩 : 眼薬理研究のための眼科臨床 ドライアイ治療の現状と将来. 日本眼薬理学会プログラム・抄録集 2017; 37 回:35.
- 49) 窪倉 真樹子, 由井 智子, 國重 智之, 堀 純子 : 硝子体液 IL-6 の高値により診断に苦慮した眼内原発悪性リンパ腫の一例. 日本眼科学会雑誌 2018; 122 (臨増) :290.
- 50) Marine Durand, 後町 清子, 久保田 大紀, 明尾 慶一郎, 岡島 史宜, 山木 邦比古, 高橋 浩, 亀谷 修平 : 糖尿病に対する補償光学眼底カメラで網膜動脈分枝指数の検討. 日本医科大学医学雑誌 2017; 13 (3) :160.
- 51) 鮫島 智子, 鈴木 静奈美, 藤森 映葉, 井上 万里子, 中元 兼二, 高橋 浩 : 緑内障性上下半視野異常と黄斑部網膜神経節細胞複合体厚の関係. 日本視能矯正学会プログラム抄録集 2017; 58 回:83.
- 52) 清水 愛, 北原 由紀, 竹内 修子, 前田 沙恵香, 岩本 雅代, 中山 滋章, 高橋 浩, 小早川 信一郎 : 複数回の斜視手術を施行した症例の検討. 眼科臨床紀要 2017; 10 (4) :336.
- 53) 百瀬 あゆみ, 高橋 浩 : 角膜移植後早期に眼内レンズ挿入術となった一例. 眼科臨床紀要 2018; 11 (3) :238.
- 54) 小野 永渚, 鮫島 智子, 西村 佳代子, 吉岡 香澄, 小野 真史, 高橋 浩 : 超広角走査レーザー検眼鏡の網膜血管描出で黄斑低形成を疑った幼児眼皮膚白皮症の 1 例. 日本視能矯正学会プログラム抄録集 2017; 58 回:84.
- 55) 五十嵐勉, 三宅弘一, 高橋和久, 中元兼二, 岡田尚巳, 高橋浩 : 遺伝子治療による網膜神経節細胞保護治療の現状と問題点. 日本緑内障学会抄録集 2017; 28th
- 56) 大石 典子, 由井 智子, 白鳥 宙, 堀 純子 : 難治性強膜炎に対する免疫抑制剤と生物学的製剤による治療の後方視的検討. 日本眼科学会雑誌 2018; 122 (臨増) :192.
- 57) 横田 隆, Alexander Wolf, 上村 尚美, 小原澤 英彰, 五十嵐 勉, 高橋 浩, 太田 成男 : 青色光照射後の酸化ストレスによるマウス網

膜組織への影響. 生命科学系学会合同年次大会 2017; 2017 年度:[2P-1035].

58) 堀 純子 : 非感染性のコンタクトレンズ障害. 日本の眼科 2017; 88 (7) :827-830.

59) 林 俊行, 中嶋 信人, 五十嵐 勉, 木村 和美 : 非特異的な症状を呈し大量免疫グロブリン療法が奏功した抗 GT1b 抗体陽性免疫性ニューロパチーの 56 歳男性例. 臨床神経学 2017; 57 (6) :352.

## 学会発表

- 1) 五十嵐勉, 高橋和久, 三宅弘一, 小林舞香, 矢口智恵美, 山崎吉之, 三宅紀子, 亀谷修平, 島田隆, 岡田尚巳, 高橋浩 : AAV ベクターの硝子体投与における内境界膜\_離併用硝子体手術とサル網膜への遺伝子導入改善効果と安全性の検討. 第 65 回 日本臨床視覚電気生理学会. (大阪), 2017.
- 2) 由井智子, 武田彩香, 柏淵恭子, 桑名正隆, 堀 純子 : ANCA 関連血管炎に眼病変を伴った 7 症例の臨床所見と治療成績. 第 121 回日本眼科学会総会, 2017. 4.
- 3) 高尾和弘, 五十嵐勉, 高橋永幸, 矢口智恵美, 小林舞香, 藤本千明, 高橋浩 : CL 装用ドライアイ患者に対するレバミピド点眼による自覚症状・他覚所見への効果. 日本角膜学会, 2018. 2.
- 4) T Kunishige, K Miyata, S Yui, K Nakamoto, J Hori : Clinical statistics for secondary glaucoma in patients with scleritis. ARVO, 2017. 5.
- 5) Takahashi K, Igarashi T, Miyake K, Kobayashi M, Yaguchi C, Iijima O, Yamazaki Y, Katakai Y, Miyake N, Kameya S, Shimada T, Takahashi H, Okada T : Efficient transduction of inner retina by surgical internal limiting membrane (ILM) peeling before intravitreal AAV vector injection in cynomolgus monkeys. American society of gene therapy. (Washington DC, USA) , 2017.
- 6) Takahashi K, Igarashi T, Miyake K, Kobayashi M, Yaguchi C, Iijima O, Yamazaki Y, Katakai Y, Miyake N, Kameya S, Shimada T, Takahashi H, Okada T : Improved intravitreal AAV-mediated inner retinal gene transduction by surgical internal limiting membrane (ILM) peeling in cynomolgus monkeys. The association of research in vision and ophthalmology. (Baltimore. USA) , 2017.
- 7) 堀 純子 : New Molecular Mechanisms of Immune Privilege. International Ocular Inflammation Society Meeting (IOIS), 2017. 10.
- 8) Suzuki H, Igarashi T, Shiwa T, Takahashi H : Observation of Anterior Chamber with a Slitlamp During Cataract Surgery. 42th American Society of Cataract and Refractive Surgery. (Los angels, USA) , 2017.
- 9) A Takeda, Y Sugita, J Hori : Ocular manifestations of SAPHO syndrome. International Ocular Inflammation Society Meeting (IOIS), 2017. 10.
- 10) H Taniguchi, H Akiba, H Yagita, M Azuma, J Hori : Protective role of B7-H3/TLT-2 pathway in acceptance of corneal allografts. International Ocular Inflammation Society Meeting (IOIS), 2017. 10.
- 11) H Taniguchi, H Hase, H Akiba, H Yagita, M Azuma, J Hori : Role of B7-H3/TLT-2 pathway in immune privilege of corneal allografts. ARVO, 2017. 5.
- 12) 高橋和久, 鈴木久晴, 浜島由希, 宮田康平, 宮里佑未, 白鳥 宙, 高橋 浩 : TECNIS Symphony OptiBlue® の早期臨床成績. 第 41 回 日本眼科手術学会学術総会, 2018. 1.
- 13) 堀 純子 : The Great Debate Part6 (2) 強膜炎の治療、強膜炎は全身治療で治す！. 第 51 回日本眼炎症学会, 2017. 7.
- 14) Takahashi K, Igarashi T, Miyake K, Kobayashi M, Yaguchi C, Iijima O, Yamazaki Y, Katakai Y, Miyake N, Kameya S, Shimada T, Takahashi H, Okada T : Transduction of anterior segment is not affected by vitrectomy before triple\_mutated scAAV2 vector injection into vitreous. Japanese society of gene and cell therapy. Japanese society of gene and cell therapy. (岡山) , 2017.
- 15) Kobayashi M, Igarashi T, Miyake K, Miyake N, Nakamoto K, Hirai Y, Takahashi H, Okada T : Tyrosine-mutated AAV2 (Y730, 500, 444F) mediated BDNF rescued inner retina in rat retinal ischemic injury model., 2017. 10.
- 16) 五十嵐 勉, 高橋 和久, 三宅 弘一, 小林 舞香, 矢口 智恵美, 山崎 吉之, 三宅 紀子, 亀谷 修平, 島田 隆, 岡田 尚巳, 高橋 浩 : アデノ随伴ウイルスベクターによる遺伝子治療と内境界膜剥離. 日本眼科学会雑誌, 2018. 3.
- 17) 片上千加子, 高村悦子, 堀 純子, 篠崎和美, 外園千恵, 加藤直子, 佐々木香る : インストラクションコース 51 やさしい角結膜感染症クリニックー難治症例から学ぶー. 第 71 回日本臨床眼科学会, 2017. 10.
- 18) 島奈津子, 高野靖子, 五十嵐勉, 高橋浩 : サイトメガロウイルス角膜内皮炎の一例. 日本角膜学会. (福岡) , 2017.
- 19) 武田幸人, 武田彩香, 杉田智子, 堀 純子 : サイトメガロウイルス角膜内皮炎 3 症例の臨床所見と治療経過. 第 121 回日本眼科学会総会,

2017. 4.
- 20) 高橋和久, 五十嵐勉, 三宅弘一, 小林舞香, 矢口智恵美, 飯島修, 山崎吉之, 喜納裕美, 片貝 祐子, 三宅紀子, 亀谷修平, 島田隆, 高橋浩, 岡田尚巳: サルに対する AAV ベクター硝子体投与による眼外への影響. 第 10 回 Retina Research Meeting. (東京), 2017.
  - 21) 五十嵐勉, 高橋和久, 三宅弘一, 小林舞香, 矢口智恵美, 山崎吉之, 喜納裕美, 三宅紀子, 亀谷修平, 島田隆, 岡田尚巳, 高橋浩: サルに対する AAV ベクター硝子体投与による血中抗体価の検討. 日本眼科学会. (大阪), 2018. 3.
  - 22) 高橋和久, 五十嵐勉, 三宅弘一, 小林舞香, 矢口智恵美, 飯島修, 山崎吉之, 片貝祐子, 三宅紀子, 亀谷修平, 島田隆, 高橋浩, 岡田尚巳: サルに対する内境界膜\_離併用硝子体手術による遺伝子導入法の開発. 日本緑内障学会. (岡山), 2017.
  - 23) 鈴木久晴, 五十嵐勉, 志和利彦, 高橋浩: スリーブの灌流口の位置が OVD 残存状態へ影響するか定性的に評価する. 日本眼科手術学会. (東京), 2017.
  - 24) 小野眞史, 鈴木雅也, 熊谷直也, 高橋 浩: ドライアイと網膜色素変性における青色光と前頭葉賦活の相関. 第 121 回日本眼科学会総会, 2017. 4.
  - 25) 中元兼二, 高野靖子, 白鳥宙, 高橋浩: ニードリングによる濾過胞再建術後一過性の著しい視力低下を来した 1 例. 第 40 回日本眼科手術学会学術総会, 2017.
  - 26) 五十嵐徹, 林美雪, Pawankar Ruby, 山西慎吾, 田辺雄次郎, 竹下輝, 尾崎優介, 檜崎秀彦, 五十嵐勉, 伊藤 保彦: ミルクアレルギーの乳児に 4 年間調整粉末大豆乳を使用し、大豆アレルギーを発症しない例. 日本アレルギー学会学術大会. (東京), 2017. 5.
  - 27) 山本真里奈, 有馬武志, 内山昌明, 仲野裕一郎, 清水章, 高橋 浩: 低真空走査型電子顕微鏡を用いた新しい角膜観察法. 角膜カンファレンス 2018, 2018. 2.
  - 28) 村上正洋: 保険診療における眼瞼手術のエステティックマインドと元再建外科医のマインド. 第 8 回北海道眼瞼涙道セミナー, 2018. 3.
  - 29) 由井智子, 根本裕次, 高橋 浩: 切開排膿術が著効した小児眼窩骨膜下膿瘍の 1 例. 第 41 回日本眼科手術学会総会, 2018. 1.
  - 30) 中野優治, 鈴木久晴, 白鳥 宙, 高橋 浩: 前眼部手術における術中 OCT の有用性の検討. 第 41 回 日本眼科手術学会学術総会, 2018. 1.
  - 31) 窪倉真樹子, 中元兼二, 白鳥宙, 高野靖子, 高橋浩: 原発閉塞隅角緑内障に対する予防的レーザー虹彩切開術の角膜内皮細胞に及ぼす影響. 第 121 回 日本眼科学会総会., 2017.
  - 32) 中嶋信人, 林俊行, 五十嵐勉, 上田雅之: 大量免疫グロブリン療法後に遅発性に眼瞼下垂の再燃を認めた Miller Fisher 症候群の 40 歳男性例. 第 99 回神経学会東北地方会. (宮城), 2017. 6.
  - 33) 堀 純子: 実践! 強膜炎診療～全身性疾患を見抜き、最適治療を選択する～. 第 21 回 Cornea Update Seminar Tokyo, 2017. 10.
  - 34) 堀 純子: 強膜炎の治療方針. Bunkyo Ophthalmologic Bio Seminar, 2017. 8.
  - 35) 堀 純子: 打倒! 角膜炎. 見極めよう! 感染・非感染. 第 51 回日本眼炎症学会ランチョンセミナー, 2017. 7.
  - 36) 村上正洋: 日本で 2 番目のヘビーユーザーが語る RF ナイフを用いた形成的手術. 第 33 回日本小児外科学会秋季シンポジウム, 2017. 10.
  - 37) 石原 麻美, 目黒 明, 南場 研一, 大野 重昭, 蕪城 俊克, 高瀬 博, 望月 學, 後藤 浩, 竹内 大, 堀 純子, 北市 伸義, 水木 信久: 日本人サルコイドーシスにおける HLA 領域の疾患感受性遺伝子. 第 121 回日本眼科学会総会, 2017. 4.
  - 38) 由井智子, 武田彩佳, 堀 純子: 日本医大眼科におけるアダリムマブ導入症例の臨床像と治療成績の検討. 第 51 回日本眼炎症学会, 2017. 7.
  - 39) 鈴木久晴, 増田洋一郎, 白鳥宙, 宮里佑未, 中島大司, 宮田康平, 高橋浩: 灌流ハイドレーションによる前房虚脱防止と切開創安定性の評価. 第 32 回日本白内障屈折矯正手術学会, 2017.
  - 40) 山本真里奈, 鈴木久晴, 中島大司, 宮田康平, 宮里佑未, 白鳥宙, 高橋浩: 灌流口を下方に設置したスリーブによる術中における前房内 OVD 残存率の検討. 第 32 回日本白内障屈折矯正手術学会., 2017.
  - 41) 宮里佑未, 鈴木久晴, 白鳥宙, 中島大司, 宮田康平, 高橋浩: 灌流液で満たした Vivinex iSertTM による 1.8mm 切開からの挿入. 第 40 回日本眼科手術学会, 2017.
  - 42) 宮田康平, 鈴木久晴, 白鳥宙, 宮里佑未, 中島大司, 高橋浩: 白内障手術中のディスコビスク\_による角膜乾燥予防効果の検討. 第 40 回日本眼科手術学会, 2017.
  - 43) 中島大司, 鈴木久晴, 白鳥宙, 宮里佑未, 宮田康平, 高橋浩: 白内障手術教育に対する患者の意識調査. 第 32 回日本白内障屈折矯正手術学会, 2017.
  - 44) 村上正洋: 眼形成術における unfavorable result 過矯正・低矯正の要因と対策 -至適な矯正とは-. 第 29 回日本眼瞼義眼床手術学会, 2018. 2.

- 45) 村上正洋：眼瞼下垂手術における上眼瞼形成術-保険診療における整容とは-。第 40 回日本美容外科学会総会, 2017. 9.
- 46) 宮里佑未, 村上正洋, 鈴木久晴, 根本裕次, 高橋 浩：眼瞼下垂手術を行った成人 Marcus Gunn 現象の 3 例. 第 41 回 日本眼科手術学会 学術総会, 2018. 1.
- 47) 村上正洋：眼瞼下垂症の機能再建 -形成外科医の知っておくべき視機能の変化を中心に。第 35 回日本頭蓋顎顔面外科学会学術集会, 2017. 11.
- 48) 村上正洋：眼瞼下垂症手術のバリエーション 皮膚切除の方法・デザイン。第 5 回日本眼形成再建外科学会学術集会, 2017. 6.
- 49) 五十嵐 勉, 三宅 弘一, 小林 舞香, 高橋 和久, 中元 兼二, 岡田 尚巳, 高橋 浩：眼科分野における遺伝子導入法の開発. 日本医科大学医学雑誌, 2017. 4.
- 50) 鮫島 智子, 鈴木 静奈美, 藤森 映葉, 井上 万里子, 中元 兼二, 高橋 浩：緑内障性上下半視野異常と黄斑部網膜神経節細胞複合体厚の関係. 第 58 回日本視能矯正学会。(仙台), 2017. 10.
- 51) 山崎将志, 高野靖子, 中元兼二, 白鳥 宙, 橋 浩：緑内障濾過手術施行眼における水晶体再建術の眼圧への中期的影響. 日本眼科手術学会総会, 2018. 1.
- 52) 浜島由希, 鈴木久晴, 白鳥宙, 宮里佑未, 中島大司, 宮田康平, 高橋浩：術中 OCT による灌流ハイドレーションの切開創に対する形態学的評価. 第 32 回日本白内障屈折矯正手術学会., 2017.
- 53) 山\_将志, 有馬武志, 仲野裕一郎, 内山昌明, 五十嵐勉, 高橋浩：角膜アルカリ外傷モデルに対する水素水点眼効果の病理学的検討. 日本角膜学会。(福岡), 2017.
- 54) 谷口ヒロ子, 秋葉久弥, 八木田秀雄, 橋口昌章, 東みゆき, 堀 純子：角膜移植の生着における B7-H3/TLT-2 経路の役割. 第 4 回 日本医科大学・東京理科大学合同シンポジウム, 2017. 12.
- 55) 國重智之, 谷口ヒロ子, 大野建州, 東みゆき, 堀 純子：角膜移植の生着における V-domain Ig suppressor of T cell activation (VISTA) の役割. 第 4 回 日本医科大学・東京理科大学合同シンポジウム, 2017. 12.
- 56) 小野永渚, 鈴木静奈美, 鮫島智子, 西村佳代子, 小野眞史, 高橋 浩：超広角走査レーザー検眼鏡の網膜血管描出で黄斑低形成を疑った幼児眼皮膚白皮症の 1 例. 第 58 回日本視能矯正学会, 2017. 10.
- 57) 百瀬あゆみ, 根本裕次, 浜島由希, 高橋 浩：部分切除を行った眼窩静脈瘤の 1 例. 第 41 回日本眼科手術学会総会, 2018. 1.
- 58) 堀 純子：難治性ぶどう膜炎の新しい治療-免疫抑制剤と生物学的製剤の使い方-. 愛媛県眼科学術講演会, 2017. 11.
- 59) 大石 典子, 由井 智子, 白鳥 宙, 堀 純子：難治性強膜炎に対する免疫抑制剤と生物学的製剤による治療の後方視的検討. 日本眼科学会雑誌, 2018. 3.
- 60) 横田 隆, Alexander Wolf, 上村 尚美, 小原澤 英彰, 五十嵐 勉, 高橋 浩, 太田 成男：青色光照射後の酸化ストレスによるマウス網膜組織への影響. 生命科学系学会合同年次大会, 2017. 12.
- 61) 林俊行, 中嶋信人, 五十嵐勉, 木村和美：非特異的な症状を呈し大量免疫グロブリン療法が奏功した抗 GT1b 抗体陽性免疫性ニューロパチーの 56 歳男性例. 第 99 回神経学会東北地方会。(宮城), 2017. 6.
- 62) 小野眞史, 鈴木雅也, 熊谷直也, 高橋 浩：風負荷眼不快による前頭葉賦活と角膜知覚の相関. 第 71 回日本臨床眼科学会, 2017. 10.
- 63) 小野眞史, 鈴木雅也, 熊谷直也, 高橋 浩：風負荷誘発ドライアイにおける前頭葉賦活低下例の原因. 角膜カンファレンス 2018, 2018. 2.



## 25 疼痛制御麻酔科学分野

### 研究業績

#### 論文等

- 1) 亀井 信孝, 梅井 菜央, 市場 晋吾, 間瀬 大司, 池田 督司, 竹内 純平, 坂本 篤裕 : 65 歳以上の急性呼吸不全の患者の予後予測 後方視観察研究. 日本集中治療医学会雑誌 2018; 25 (Suppl.) :[O69-5].
- 2) Iwase Y, Suzuki M, Bito H : A case report of intracranial hemorrhage after spinal anesthesia. JA clinical reports 2017; 3 (1) :11. doi: 10.1186/s40981-017-0081-x.
- 3) 岩崎宏俊, 山本真記子, 佐藤真美子, 石川真士, 岸川洋昭, 坂本篤裕 : StanfordB 型慢性偽腔開存型解離に対する下行置換術中に逆行性上行大動脈解離をきたした 1 例. Cardiovascular Anesthesia 2017; 21 (Suppl) :327.
- 4) Hiroaki Kishikawa, Zen'ichiro Wajima, Toshiro Shitara, Toru Shimizu, Hitoshi Adachi, Atsuhiko Sakamoto : Subarachnoid Block-Induced Deafferentation Pain Successfully Treated with Pentazocine. Journal of Nippon Medical School = Nippon Ika Daigaku zasshi 2017; 84 (4) :183-185. doi: 10.1272/jnms.84.183.
- 5) 梅井菜央, 市場晋吾, 坂本篤裕 : VV-ECMO 管理中の早期リハビリテーション. 日本集中治療医学会学術集会 2017; 44th
- 6) Tadashi Okabe, Hideo Terashima, Atsuhiko Sakamoto : What is the manner of gastric emptying after ingestion of liquids with differences in the volume under uniform glucose-based energy content?. CLINICAL NUTRITION 2017; 36 (5) :1283-1287. doi: 10.1016/j.clnu.2016.08.014.
- 7) 鈴木 規仁, 花井 紗弥子, 岩崎 雅江, 保利 陽子, 源田 雄紀, 岸川 洋昭, 坂本 篤裕 : がん疼痛に対するオピオイド使用で退薬症状、乱用を認めた症例. 日本ペインクリニック学会誌 2017; 24 (3) :327.
- 8) 石川 真士, 坂本 篤裕 : インフォームドコンセント 再考 医療事故調査制度とインフォームドコンセント. 日本臨床麻酔学会誌 2018; 38 (1) :63-66. doi: 10.2199/jjsca.38.63.
- 9) 井野 佑佳, 寺川 依里, 保利 陽子, 安齋 めぐみ, 岸川 洋昭, 坂本 篤裕 : タラポルフィンナトリウムを用いた光線力学療法の全身麻酔経験. 日本臨床麻酔学会誌 2017; 37 (6) :S320.
- 10) 保利 陽子, 松尾 いつみ, 安齋 めぐみ, 花井 紗弥子, 源田 雄紀, 鈴木 規仁, 岸川 洋昭, 坂本 篤裕 : トラマドール塩酸塩とワルファリンカリウムの併用により PT-INR が著明に延長した症例. 日本ペインクリニック学会誌 2017; 24 (3) :185.
- 11) 岩井 愛, 伊藤 公亮, 神谷 一郎, 設楽 敏朗, 金 徹, 坂本 篤裕 : プレガバリンとアセトアミノフェンが奏功した CRPS の一症例. 日本臨床麻酔学会誌 2017; 37 (6) :S328.
- 12) 谷口 佳奈, 伊藤 公亮, 神谷 一郎, 設楽 敏朗, 金 徹, 坂本 篤裕 : マグネシウムとセボフルランが奏功した喘息重積発作の一症例. 日本臨床麻酔学会誌 2017; 37 (6) :S296.
- 13) 飯塚 ますみ, 中川 真志, 山本 真記子, 源田 雄紀, 坂本 篤裕 : 低心機能を併存する気管狭窄を呈する症例への気管内焼灼術に対する気道管理. 日本臨床麻酔学会誌 2017; 37 (6) :S285.
- 14) 古市 結富子, 清水 淳, 佐藤 真美子, 森田 智教, 大槻 達郎, 坂本 篤裕 : 冠動脈バイパス術中に中心静脈カテーテルの右内胸静脈への迷入が判明した一症例. 日本臨床麻酔学会誌 2017; 37 (6) :S241.
- 15) 岡田 慧, 石川真士, 岸川洋昭, 坂本篤裕 : 区域麻酔における抗血小板薬・抗凝固薬中止プロトコールの導入. 日本臨床麻酔学会誌 2017; 37 (6) :S273.
- 16) 蔭山 慎平, 森 啓介, 岸川 洋昭, 坂本 篤裕 : 右冠動脈洞から右房へと穿破した Valsalva 洞動脈瘤破裂の一例. 日本臨床麻酔学会誌 2017; 37 (6) :S276.
- 17) 森田 智教, 岸川 洋昭, 坂本 篤裕 : 右大動脈弓に合併した Kommerell 憩室切除時の脳組織酸素飽和度低下への対処方法. Cardiovascular Anesthesia 2017; 21 (Suppl.) :346.
- 18) 保利 陽子, 坂本 篤裕 : 周術期麻酔科コンサルテーション (第 38 回総会特集 周術期患者管理). 日本手術医学会誌 2017; 38 (2) :97-99.
- 19) 菊入 麻紀子, 伊藤 公亮, 神谷 一郎, 金 徹 : 咽頭型 ALS 患者に全身麻酔を行った一例. 日本臨床麻酔学会誌 2017; 37 (6) :S245.
- 20) 山森 未希, 山下 碧, 並里 大, 源田 雄紀, 坂本 篤裕 : 小児急性喉頭蓋炎に対し予防的気道管理を行った症例. 日本臨床麻酔学会誌 2017; 37 (6) :S284.

- 21) 高橋 亜紗子, 森 啓介, 山岡 真美, 日野浦 果歩, 寺川 依里, 竹田 寛恵, 岸川 洋昭, 坂本 篤裕 : 当施設におけるアナフィラキシーにより手術中止となった4症例についての検討. 日本臨床麻酔学会誌 2017; 37 (6) :S300.
- 22) 森 啓介, 清水 淳, 古市 結富子, 岸川 洋昭, 坂本 篤裕 : 当施設における冠動脈バイパス手術後の心臓再手術における systemic hyperkalemia による心筋保護の検討. Cardiovascular Anesthesia 2017; 21 (Suppl.) :286.
- 23) 古市結富子, 森啓介, 佐藤真美子, 森田智教, 大槻達郎, 高橋祐生, 清水淳, 坂本篤裕 : 当院における成人再開心術症例の周術期管理に関する検討. Cardiovascular Anesthesia 2017; 21 (Suppl.) :376.
- 24) 水野 友喜, 並里 大, 石川 真士, 安齋 めぐみ, 岸川 洋昭, 坂本 篤裕 : 後頭骨-頸椎後方固定術後で挿管困難が予想され、覚醒下気管支ファイバー挿管で全身麻酔を施行した症例. 日本臨床麻酔学会誌 2017; 37 (6) :S267.
- 25) 影山 敦子, 岩崎 雅江, 石川 真士, 岸川 洋昭, 坂本 篤裕 : 心嚢ドレナージカテーテルによる医原性心臓損傷に対し緊急手術を行った症例. 日本臨床麻酔学会誌 2017; 37 (6) :S241.
- 26) 関口 舞, 森 啓介, 松尾 いづみ, 岸川 洋昭, 坂本 篤裕 : 心房中隔欠損閉鎖術後妊娠で全身麻酔下での緊急帝王切開となった症例. 日本臨床麻酔学会誌 2017; 37 (6) :S247.
- 27) 松尾 いづみ, 森田 智教, 保利 陽子, 源田 雄紀, 阿部 聖孝, 鈴木 規仁, 岸川 洋昭, 坂本 篤裕 : 急性動脈血栓除去術後の疼痛治療中にアルツハイマー型認知症を併発した症例. 日本ペインクリニック学会誌 2017; 24 (3) :197.
- 28) 大槻 達郎, 清水 淳, 古市 結富子, 森田 智教, 佐藤 真美子, 坂本 篤裕 : 急性大動脈解離の緊急手術中に悪性高熱症が疑われた1例. Cardiovascular Anesthesia 2017; 21 (Suppl.) :255.
- 29) 古市 結富子, 佐藤 真美子, 森田 智教, 大槻 達郎, 清水 淳, 高梨 秀一郎, 坂本 篤裕 : 急性大動脈解離症例における術前止血凝固機能についての検討. 日本集中治療医学会雑誌 2018; 25 (Suppl.) :[P32-7].
- 30) 古市結富子, 佐藤真美子, 森田智教, 大槻達郎, 清水淳, 高梨秀一郎, 坂本篤裕 : 急性大動脈解離症例における術前止血凝固機能についての検討. 日本集中治療医学会学術集会 2018; 45th (Suppl.) :ROMBUNNO.P32 - 7 (WEB ONLY)-7].
- 31) 花井 紗弥子, 坂本 篤裕, 岸川 洋昭, 鈴木 規仁, 源田 雄紀, 保利 陽子, 間瀬 大司, 阿部 聖孝 : 急性帯状疱疹痛に対するプレガバリン投与時期が疼痛強度に与える影響. 日本ペインクリニック学会誌 2017; 24 (3) :138.
- 32) 木村 祐輔, 神谷 一郎, 金 徹, 設楽 敏朗, 坂本 篤裕 : 急速に悪化した門脈ガス血症の麻酔経験. 日本臨床麻酔学会誌 2017; 37 (6) :S292.
- 33) 窪田 麻美, 竹田 寛恵, 小林 克也, 赤田 信二, 坂本 篤裕 : 手術中のデクスメデトミジン鎮静は術後の睡眠障害に効果的か. 日本臨床麻酔学会誌 2017; 37 (6) :S260.
- 34) 金 徹 : 新しいデータから術前絶食ガイドラインを検証する. 日本臨床麻酔学会誌 2017; 37 (3) :331-336.
- 35) 高 弘宇, 山本 真記子, 石川 真士, 岸川 洋昭, 坂本 篤裕 : 未指摘喉頭蓋腫瘍により全身麻酔導入後に換気困難となった一例. 日本臨床麻酔学会誌 2017; 37 (6) :S264.
- 36) 古市 結富子, 坂本 篤裕 : 気道確保困難症例における気道確保器具の使用状況の調査. 麻酔 2017; 66 (8) :879-883.
- 37) 森 啓介, 清水 淳, 岸川 洋昭, 坂本 篤裕 : 特発性肺動脈性肺高血圧症合併の急性大動脈解離に対する上行大動脈置換術の麻酔経験. 日本臨床麻酔学会誌 2017; 37 (6) :S242.
- 38) 並里 大, 岩崎 雅江, 長岡 竜太, 源田 雄紀, 杉谷 巖, 岸川 洋昭, 坂本 篤裕 : 甲状腺悪性腫瘍手術における術中神経モニタリングの精度向上を目指した麻酔管理の確立に向けて. 日本臨床麻酔学会誌 2017; 37 (6) :S262.
- 39) 内木 亮介, 米内 大輔, 清水 祐一郎, 水野 幸一, 杖下 隆哉, 坂本 篤裕 : 硬膜外洗滌(癒着剥離)が腰部脊柱管狭窄症の痛みに及ぼす効果. 日本ペインクリニック学会誌 2017; 24 (3) :350.
- 40) 金子 美穂, 仲野 耕平, 源田 雄紀, 岸川 洋昭, 坂本 篤裕 : 硬膜外穿刺後に胸腔鏡で判明した胸膜下血腫の一例. 日本臨床麻酔学会誌 2017; 37 (6) :S234.
- 41) 古市 結富子, 清水 淳, 佐藤 真美子, 森田 智教, 大槻 達郎, 坂本 篤裕 : 経カテーテル的大動脈弁植え込み術における全身麻酔と局所麻酔での術中輸液量の比較. 日本循環制御医学会総会プログラム・抄録集 2017; 38回:100.
- 42) 古市結富子, 清水淳, 佐藤真美子, 森田智教, 大槻達郎, 坂本篤裕 : 経カテーテル的大動脈弁植え込み術における全身麻酔と局所麻酔での術中輸液量の比較. 日本循環制御医学会総会 2017; 38th:ROMBUNNO.O - 41 (WEB ONLY)-100.
- 43) 山本真記子, 佐藤真美子, 保利陽子, 岸川洋昭, 坂本篤裕 : 肺アスペルギルス症による動脈気管支瘻に対して緊急片肺全摘術を施行し

- た症例. 日本臨床麻酔学会誌 2017; 37 (6) :S320.
- 44) 松浦 加恵, 源田 雄紀, 井野 佑佳, 岸川 洋昭, 坂本 篤裕 : 自然気胸併発の帝王切開手術後に PDPH 発症した症例に対して頭痛残存下で胸腔鏡下気胸手術を施行した一例. 日本臨床麻酔学会誌 2017; 37 (6) :S246.
- 45) 小川 雄太郎, 間瀬 大司, 岸川 洋昭, 坂本 篤裕 : 血管内悪性リンパ腫による多臓器不全に対して集中治療を要した一例. 日本臨床麻酔学会誌 2017; 37 (6) :S293.
- 46) 岩崎 雅江, 岸川 洋昭, 坂本 篤裕 : 超高齢者の麻酔管理と周術期合併症についての検討. 日本手術医学会誌 2017; 38 (Suppl.) :158.
- 47) 古市 結富子, 清水 淳, 佐藤 真美子, 森田 智教, 大槻 達郎, 坂本 篤裕 : 逆行性脳灌流中に中心静脈圧の上昇を認めず、後日肺静脈の還流異常が判明した一症例. 日本臨床麻酔学会誌 2017; 37 (6) :S277.
- 48) 宮崎 有, 仲野 耕平, 岩崎 雅江, 亀井 信孝, 岸川 洋昭, 坂本 篤裕 : 重症筋無力症合併患者の甲状腺悪性腫瘍手術に神経モニタリングを行った症例. 日本臨床麻酔学会誌 2017; 37 (6) :S288.
- 49) 亀井信孝, 佐藤真美子, 石川真士, 岸川洋昭, 坂本篤裕 : 重複大動脈弓を合併した開心術の麻酔経験. Cardiovascular Anesthesia 2017; 21 (Suppl) :312.
- 50) 寺川 依里, 間瀬 大司, 亀井 信孝, 山本 真記子, 松尾 いづみ, 石川 真士, 岸川 洋昭, 坂本 篤裕 : 閉塞性肥大型心筋症を有する消化器外科手術の周術期管理. 日本臨床麻酔学会誌 2017; 37 (6) :S275.
- 51) 池田 督司, 梅井 菜央, 市場 晋吾, 竹内 純平, 間瀬 大司, 坂本 篤裕 : 間質性肺炎患者の特徴と予後因子の検討 後方視観察研究. 日本集中治療医学会雑誌 2018; 25 (Suppl.) :[P1-2].
- 52) 中山 絢未, 杉田 彩子, 金子 美穂, 源田 雄紀, 石川 真士, 岸川 洋昭, 坂本 篤裕 : 顔面変形のため気道確保に難渋した一例. 日本臨床麻酔学会誌 2017; 37 (6) :S265.
- 53) 梅井菜央, 市場晋吾, 坂本篤裕 : 高齢者の重症呼吸不全に対する veno venous ECMO. 日本集中治療医学会学術集会 2017; 44th

## 学会発表

- 1) 岩崎宏俊, 山本真記子, 佐藤真美子, 石川真士, 岸川洋昭, 坂本篤裕 : StanfordB 型慢性偽腔開存型解離に対する下行置換術中に逆行性上行大動脈解離をきたした 1 例. 日本心臓血管麻酔学会 (第 22 回) . (栃木県下野市) , 2017. 9.
- 2) Masae Iwasaki : Volatile anaesthetic effects on ovarian cancer cells. 日本臨床麻酔学会 第 37 回大会 日中麻酔セミナー, 2017. 11.
- 3) 鈴木 規仁, 花井 紗弥子, 岩崎 雅江, 保利 陽子, 源田 雄紀, 岸川 洋昭, 坂本 篤裕 : がん疼痛に対するオピオイド使用で退薬症状、乱用を認めた症例. 日本ペインクリニック学会誌, 2017. 6.
- 4) 水野友喜, 岩崎宏俊, 石川真士, 岸川洋昭, 坂本篤裕 : 下行大動脈浸潤進行肺癌に対する下行大動脈置換術と左肺上葉切除術同時手術の麻酔経験. 日本心臓血管麻酔学会 (第 22 回) . (栃木県下野市) , 2017. 9.
- 5) 岡田慧, 石川真士, 岸川洋昭, 坂本篤裕 : 区域麻酔における抗血小板薬・抗凝固薬中止プロトコルの導入. 日本臨床麻酔学会(第 37 回). (東京都) , 2017. 11.
- 6) 仲野耕平, 石川真士, 坂本篤裕 : 局所麻酔薬中毒の迅速な初期対応: 当院での取り組み. 日本区域麻酔学会 (第 4 回) . (名古屋市) , 2017. 4.
- 7) 水野友喜, 並里大, 石川真士, 石橋めぐみ, 岸川洋昭, 坂本篤裕 : 後頭骨-頸椎後方固定術後で挿管困難が予想され、覚醒下気管支ファイバー挿管で全身麻酔を施行した症例. 日本臨床麻酔学会 (第 37 回) . (東京都) , 2017. 11.
- 8) 影山敦子, 岩崎雅江, 石川真士, 岸川洋昭, 坂本篤裕 : 心嚢ドレナージカテーテルによる医原性心臓損傷に対し緊急手術を行った症例. 日本臨床麻酔学会 (第 37 回) . (東京都) , 2017. 11.
- 9) 高弘宇, 山本真記子, 石川真士, 岸川洋昭, 坂本篤裕 : 末指摘喉頭蓋腫瘍により全身麻酔導入後に換気困難となった 1 例. 日本臨床麻酔学会 (第 37 回) . (東京都) , 2017. 11.
- 10) 並里 大, 岩崎 雅江, 長岡 竜太, 源田 雄紀, 杉谷 巖, 岸川 洋昭, 坂本 篤裕 : 甲状腺悪性腫瘍手術における術中神経モニタリングの精度向上を目指した麻酔管理の確立に向けて. 日本臨床麻酔学会誌, 2017. 10.
- 11) 中室貴代, 石川真士, 岸川洋昭, 坂本篤裕 : 術中異常高血圧により判明した未診断異所性褐色細胞腫の 1 症例. 日本臨床麻酔学会 (第 37 回) . (東京都) , 2017. 11.
- 12) 岩崎 雅江, 岸川 洋昭, 坂本 篤裕 : 超高齢者の麻酔管理と周術期合併症についての検討. 日本手術医学会誌, 2017. 9.

- 13) 宮崎 有, 仲野 耕平, 岩崎 雅江, 亀井 信孝, 岸川 洋昭, 坂本 篤裕 : 重症筋無力症合併患者の甲状腺悪性腫瘍手術に神経モニタリングを行った症例. 日本臨床麻酔学会誌, 2017. 10.
- 14) 亀井信孝, 佐藤真美子, 石川真士, 岸川洋昭, 坂本篤裕 : 重複大動脈弓を合併した開心術の麻酔経験. 日本心臓血管麻酔学会(第 22 回). (栃木県下野市), 2017. 9.
- 15) 寺川依里, 間瀬大司, 亀井信孝, 山本真記子, 松尾いづみ, 石川真士, 岸川洋昭, 坂本篤裕 : 閉塞性肥大型心筋症を有する消化器外科手術の周術期管理. 日本臨床麻酔学会(第 37 回). (東京都), 2017. 11.
- 16) 中山絢未, 杉田彩子, 金子美穂, 源田雄紀, 石川真士, 岸川洋昭, 坂本篤裕 : 顔面変形のため気道確保に難渋した 1 例. 日本臨床麻酔学会(第 37 回). (東京都), 2017. 11.

## 26 救急医学分野

### 研究業績

#### 論文等

- 1) 中山文彦, 市川頼子, 阪本太吾, 岡田一宏, 瀬尾卓生, 服部陽, 安松比呂志, 本村友一, 飯田浩章, 益子一樹, 齋藤伸行, 八木貴典, 原義明, 松本尚 : 2ヶ所の胸部大動脈損傷を含む多発外傷の一例. 日本外傷学会雑誌 2017; 31 (4)
- 2) 中山文彦, 市川頼子, 阪本太吾, 岡田一宏, 瀬尾卓生, 服部陽, 安松比呂志, 本村友一, 飯田浩章, 益子一樹, 齋藤伸行, 八木貴典, 原義明, 松本尚 : 2ヶ所の胸部大動脈損傷を含む多発外傷の一例. 日本外傷学会雑誌 2017; 31 (4) :457-460. doi: 10.11382/jjast.31.457.
- 3) Akiko Akashi, Masahiro Kashiura, Kazuhiro Sugiyama, Yuichi Hamabe, Atsushi Sakurai, Yoshio Tahara, Naohiro Yonemoto, Ken Nagao, Arino Yaguchi, Naoto Morimura, Tagami Takashi, Dai Miyazaki, Tomoko Ogasawara, Kei Hayashida, Masaru Suzuki, Mari Amino, Nobuya Kitamura, Tomohisa Nomura, Naoki Shimizu, Sadaki Inokuchi, Yoshihiro Masui, Kunihisa Miura, Haruhiko Tsutsumi, Kiyotsugu Takuma, Ishihara Atsushi, Minoru Nakano, Hiroshi Tanaka, Keiichi Ikegami, Takao Arai, Shigeto Oda, Kenji Kobayashi, Takayuki Suda, Kazuyuki Ono, Ryosuke Furuya, Yuichi Koido, Fumiaki Iwase, Shigeru Kanesaka, Yasusei Okada, Kyoko Unemoto, Tomohito Sadahiro, Masayuki Iyanaga, Asaki Muraoka, Munehiro Hayashi, Shinichi Ishimatsu, Yasufumi Miyake, Hideo Yokokawa, Yasuaki Koyama, Asuka Tsuchiya, Tetsuya Kashiya, Munetaka Hayashi, Kiyohiro Oshima, Kazuya Kiyota, Hiroyuki Yokota, Shingo Hori, Shin Inaba, Tetsuya Sakamoto, Naoshige Harada, Akio Kimura, Masayuki Kanai, Yasuhiro Otomo, Manabu Sugita, Kosaku Kinoshita, Takatoshi Sakurai, Mitsuhide Kitano, Kiyoshi Matsuda, Kotaro Tanaka, Katsunori Yoshihara, Kikuo Yoh, Junichi Suzuki, Hiroshi Toyoda, Kunihiro Mashiko, Naoki Shimizu, Takashi Muguruma, Tadanaga Shimada, Yoshiro Kobe, Tomohisa Shoko, Kazuya Nakanishi, Takashi Shiga, Takefumi Yamamoto, Kazuhiko Sekine, Shinichi Izuka : A NEW RULE FOR TERMINATING RESUSCITATION OF OUT-OF-HOSPITAL CARDIAC ARREST PATIENTS IN JAPAN: A PROSPECTIVE STUDY. JOURNAL OF EMERGENCY MEDICINE 2017; 53 (3) :345-352. doi: 10.1016/j.jemermed.2017.05.025.
- 4) Nakae R, Suzuki K, Hirata K, Kawamura Y, Suzuki R, Shimizu N, Nagaishi M, Tanaka Y, Hyodo A : A Pipeline embolization device for the treatment of large and giant intracranial aneurysms: initial experience at a single center. Journal of Neuroendovascular Therapy 2017; 11 (7) :359-370.
- 5) Suzuki K, Suzuki R, Takigawa T, Shimizu N, Matsumoto Y, Fujii Y, Inoue Y, Sugiura Y, Hirata K, Tsuda K, Kawamura Y, Takano I, Nakae R, Nagaishi M, Tanaka Y, Hyodo A : A single center experience with coil embolization for cerebral aneurysms greater than 10 mm in the internal carotid artery. Neurologia Medico-Chirurgica 2017; 57 (5) :231-237.
- 6) 田上 隆 : ARDS 患者の輸液量は制限すべきか? (ARDS : その常識は正しいか?) -- (ARDS 治療に関連する諸問題 : その常識は正しいか?). 救急・集中治療 2017; 29 (1) :114-118.
- 7) 新井 正徳, 金 史英, 重田 健太, 秋山 真之, 石木 義人, 瀧口 徹, 萩原 純, 石井 浩統, 小笠原 智子, 増野 智彦, 辻井 厚子, 久志本 成樹, 横田 裕行 : Abdominal Compartment Syndrome(ACS)の治療戦略 閉腹困難な Open abdomen 症例における両側腹直筋鞘前葉反転法による腹壁再建の長期成績. 日本腹部救急医学会雑誌 2018; 38 (2) :333.
- 8) Ryuta Nakae, Shoji Yokobori, Yasuhiro Takayama, Kentaro Kuwamoto, Yasutaka Naoe, Hiroyuki Yokota : Age-related differences in fibrinolytic parameters in patients with acute traumatic brain injury. Surgical neurology international 2017; 8 (8) :214. doi: 10.4103/sni.sni\_56\_17.
- 9) Markus S Spurlock, Aminul I Ahmed, Karla N Rivera, Shoji Yokobori, Stephanie W Lee, Pingdewinde N Sam, Deborah A Shear, Michael P Hefferan, Thomas G Hazel, Karl K Johe, Shyam Gajavelli, Frank C Tortella, Ross M Bullock : Amelioration of Penetrating Ballistic-Like Brain Injury Induced Cognitive Deficits after Neuronal Differentiation of Transplanted Human Neural Stem Cells. Journal of neurotrauma 2017; 34 (11) :1981-1995. doi: 10.1089/neu.2016.4602.
- 10) T. Tagami, T. Tagami, T. Tagami : Antithrombin concentrate use in sepsis-associated disseminated intravascular coagulation: re-evaluation of a 'pendulum effect' drug using a nationwide database. Journal of Thrombosis and Haemostasis 2018; 16 (3) :458-461. doi: 10.1111/jth.13948.

- 11) Takashi Tagami, Hiroki Matsui, Yuuta Moroe, Reo Fukuda, Ami Shibata, Chie Tanaka, Kyoko Unemoto, Kiyohide Fushimi, Hideo Yasunaga : Antithrombin use and 28-day in-hospital mortality among severe-burn patients: an observational nationwide study. *Annals of intensive care* 2017; 7 (1) :18. doi: 10.1186/s13613-017-0244-y.
- 12) Masahiro Kashiura, Yuichi Hamabe, Akiko Akashi, Atsushi Sakurai, Yoshio Tahara, Naohiro Yonemoto, Ken Nagao, Arino Yaguchi, Naoto Morimura, Naoto Morimura, Atsushi Sakurai, Yoshio Tahara, Arino Yaguchi, Ken Nagao, Tagami Takashi, Dai Miyazaki, Tomoko Ogasawara, Kei Hayashida, Masaru Suzuki, Mari Amino, Nobuya Kitamura, Tomohisa Nomura, Naoki Shimizu, Akiko Akashi, Sadaki Inokuchi, Yoshihiro Masui, Kunihiisa Miura, Haruhiko Tsutsumi, Kiyotsugu Takuma, Ishihara Atsushi, Minoru Nakano, Hiroshi Tanaka, Keiichi Ikegami, Takao Arai, Arino Yaguchi, Nobuya Kitamura, Shigeto Oda, Kenji Kobayashi, Takayuki Suda, Kazuyuki Ono, Naoto Morimura, Ryosuke Furuya, Yuichi Koido, Fumiaki Iwase, Ken Nagao, Shigeru Kanesaka, Yasusei Okada, Kyoko Unemoto, Tomohito Sadahiro, Masayuki Iyanaga, Asaki Muraoka, Munehiro Hayashi, Shinichi Ishimatsu, Yasufumi Miyake, Hideo Yokokawa, Yasuaki Koyama, Asuka Tsuchiya, Tetsuya Kashiya, Munetaka Hayashi, Kiyohiro Oshima, Kazuya Kiyota, Yuichi Hamabe, Hiroyuki Yokota, Shingo Hori, Shin Inaba, Tetsuya Sakamoto, Naoshige Harada, Akio Kimura, Masayuki Kanai, Manabu Sugita, Kosaku Kinoshita, Takatoshi Sakurai, Mitsuhide Kitano, Kiyoshi Matsuda, Kotaro Tanaka, Katsunori Yoshihara, Kikuo Yoh, Junichi Suzuki, Hiroshi Toyoda, Kunihiro Mashiko, Naoki Shimizu, Takashi Muguruma, Tadanaga Shimada, Yoshiro Kobe, Tomohisa Shoko, Kazuya Nakanishi, Takashi Shiga, Takefumi Yamamoto, Kazuhiko Sekine, Shinichi Izuka : Association between cardiopulmonary resuscitation duration and one-month neurological outcomes for out-of-hospital cardiac arrest: A prospective cohort study. *BMC Anesthesiology* 2017; 17 (1) doi: 10.1186/s12871-017-0351-1.
- 13) 篠山 明宏, 武井 美滯, 清家 麻央, 杉本 諒司, 田代 彩香, 中村 祐三, 根井 貴仁, 齋藤 良一, 横堀 将司, 富永 直樹, 萩原 純, 金 史英, 横田 裕行 : *Bacteroides fragilis* による腸腰筋膿瘍から脳室炎・硬膜内膿瘍をきたした一例. *日本臨床微生物学雑誌* 2017; 28 (Suppl.1) :346.
- 14) 井上 真梨子, 横堀 将司, 阿部 舞香, 白井 清香, 大元 文香, 上田 百蔵, 富永 直樹, 萩原 純, 金 史英, 瀧口 徹, 布施 明, 横田 裕行, 根井 貴仁, 清水 章 : *Bacteroides* 属による腸腰筋膿瘍から脳室炎・硬膜内膿瘍をきたした 1 例. *日本医科大学医学会雑誌* 2017; 13 (4) :243.
- 15) 布施明 : CBRNE テロ・災害への医療対応. *日本高気圧環境・潜水医学会雑誌* 2017; 52 (3) :167.
- 16) 坪井昭典, 西本哲也, 富永茂, 本村友一 : CT データに基づくシートベルト着用乗員の胸部損傷の解析(第 2 報). *自動車技術会大会学術講演会講演予稿集(CD-ROM)* 2017; 2017
- 17) Yutaka Igarashi, Yasuo Murai, Osamu Yamada, Kazutaka Shirokane, Kohei Hironaka, Shun Sato, Makoto Sugiyama, Takayuki Tachizawa, Akio Morita : Cerebral Aneurysm Associated with an Arachnoid Cyst: 3 Case Reports and a Systematic Review of the Literature. *World neurosurgery* 2018; 109:e203-e209-e209. doi: 10.1016/j.wneu.2017.09.139.
- 18) 服部 陽, 山本 真梨子, 阪本 太吾, 安松 比呂志, 中山 文彦, 本村 友一, 益子 一樹, 松本 尚 : Clamshell Thoracotomy を主軸とした心損傷の治療成績. *Japanese Journal of Acute Care Surgery* 2017; 7 (1) :193.
- 19) Hideto Yasuda, Masamitsu Sanui, Takayuki Abe, Nobuaki Shime, Tetsuya Komuro, Junji Hatakeyama, Shohei Matsukubo, Shinji Kawano, Hiroshi Yamamoto, Kohkichi Andoh, Ryutarō Seo, Kyo Inoue, Eiichiro Noda, Nobuyuki Saito, Satoshi Nogami, Kentaro Okamoto, Ryota Fuke, Yasuhiro Gushima, Atsuko Kobayashi, Toru Takebayashi, Alan Kawarai Lefor : Comparison of the efficacy of three topical antiseptic solutions for the prevention of catheter colonization: a multicenter randomized controlled study. *Critical care (London, England)* 2017; 21 (1) :320. doi: 10.1186/s13054-017-1890-z.
- 20) 本村 友一, 松本 尚, 益子 邦洋, 石川 博敏, 西本 哲也 : D-Call Net(救急自動通報システム)試験運用と課題. *日本航空医療学会雑誌* 2017; 18 (2) :93.
- 21) Yoshiaki Hara, Mohammad Ghazizadeh, Hajime Shimizu, Hisashi Matsumoto, Nobuyuki Saito, Takanori Yagi, Kazuki Mashiko, Kunihiro Mashiko, Makoto Kawai, Hiroyuki Yokota : Delayed Expression of Circulating TGF- $\beta$  1 and BMP-2 Levels in Human Nonunion Long Bone Fracture Healing. *Journal of Nippon Medical School = Nippon Ika Daigaku zasshi* 2017; 84 (1) :12-18. doi: 10.1272/jnms.84.12.
- 22) Nobuyuki Saito, Kazuhiro Sugiyama, Testu Ohnuma, Takashi Kanemura, Michitaka Nasu, Yuya Yoshidomi, Yuta Tsujimoto, Hiroshi Adachi, Hiroyuki Koami, Aito Tochiki, Kota Hori, Yukiko Wagatsuma, Hisashi Matsumoto : Efficacy of polymyxin B-

- immobilized fiber hemoperfusion for patients with septic shock caused by Gram-negative bacillus infection. *PLoS one* 2017; 12 (3) :e0173633. doi: 10.1371/journal.pone.0173633.
- 23) Nakae R, Nagaishi M, Hyodo A, Suzuki K : Embolization of a spinal dural arteriovenous fistula with ethylene-vinyl alcohol copolymer (Onyx) using a dual-lumen microballoon catheter and buddy wire technique. *Surgical Neurology International* 2017; 8:166.
- 24) Yumiko Ishikawa, Takashi Tagami, Hayato Hirashima, Reo Fukuda, Yuuta Moroe, Kyoko Unemoto : Endoscopic Treatment of Boerhaave Syndrome Using Polyglycolic Acid Sheets and Fibrin Glue: A Report of Two Cases. *Journal of Nippon Medical School = Nippon Ika Daigaku zasshi* 2017; 84 (5) :241-245. doi: 10.1272/jnms.84.241.
- 25) Akihiko Inoue, Toru Hifumi, Yasuhiro Kuroda, Hirotaka Sawano, Yoshio Tahara, Mamoru Hase, Kenji Nishioka, Shinichi Shirai, Hiroshi Hazui, Hideki Arimoto, Kazunori Kashiwase, Shunji Kasaoka, Tomokazu Motomura, Yuji Yasuga, Naohiro Yonemoto, Hiroyuki Yokoyama, Ken Nagao, Hiroshi Nonogi : HEART RATE RESPONSE DURING THERAPEUTIC HYPOTHERMIA IN OUT-OF-HOSPITAL CARDIAC ARREST PATIENTS. *CRITICAL CARE MEDICINE* 2018; 46 (1) :126. doi: 10.1097/01.ccm.0000528307.55486.36.
- 26) 黒柳 美里, 松本 尚, 大田 聡美, 小田 有哉, 山本 真梨子, 太田黒 崇伸, 八木 貴典, 原 義明, 横田 裕行 : Halo 型骨延長器を用いた創外固定による顔面多発骨折の治療. *日本救急医学会雑誌* 2017; 28 (9) :687.
- 27) 金 史英, 瀧口 徹, 萩原 一樹, 萩原 純, 石井 浩統, 萩原 令彦, 増野 智彦, 新井 正徳, 横田 裕行 : Hybrid ER 外傷診療のパラダイムシフト 我々の施設に Hybrid ER を導入するメリットはあるか?. *日本外傷学会雑誌* 2017; 31 (2) :186.
- 28) Mineji Hayakawa, Kunihiko Maekawa, Shigeki Kushimoto, Hiroshi Kato, Junichi Sasaki, Hiroshi Ogura, Tetsuya Matsuoka, Toshifumi Uejima, Naoto Morimura, Hiroyasu Ishikura, Akiyoshi Hagiwara, Munekazu Takeda, Naoyuki Kaneko, Daizoh Saitoh, Daisuke Kudo, Takashi Kanemura, Takayuki Shibusawa, Shintaro Furugori, Yoshihiko Nakamura, Atsushi Shiraishi, Kiyoshi Murata, Gou Mayama, Arino Yaguchi, Shiei Kim, Osamu Takasu, Kazutaka Nishiyama : Hyperfibrinolysis in severe isolated traumatic brain injury may occur without tissue hypoperfusion: a retrospective observational multicentre study. *Critical care (London, England)* 2017; 21 (1) :222. doi: 10.1186/s13054-017-1811-1.
- 29) 本村 友一, 飯田 浩章, 八木 貴典, 齋藤 信行, 益子 一樹, 原 義明, 松本 尚, 横田 裕行 : IABO/REBOA 外傷診療における適応と活用法 当施設における大動脈遮断方法の比較検討. *日本外傷学会雑誌* 2017; 31 (2) :177.
- 30) 横堀 将司 : ICP モニタリングは神経集中治療に必須のモニターである!. *日本救急医学会雑誌* 2017; 28 (9) :485.
- 31) Hisashi Matsumoto, Yoshiaki Hara, Takanori Yagi, Nobuyuki Saito, Kazuki Mashiko, Hiroaki Iida, Tomokazu Motomura, Fumihiko Nakayama, Kazuhiro Okada, Hiroshi Yasumatsu, Taigo Sakamoto, Takao Seo, Yusuke Konda, You Hattori, Hiroyuki Yokota : Impact of urgent resuscitative surgery for life-threatening torso trauma. *SURGERY TODAY* 2017; 47 (7) :827-835. doi: 10.1007/s00595-016-1451-0.
- 32) Koichiro Shinozaki, Masaru Suzuki, Shigeto Oda, Lance B. Becker, Takashi Tagami, Atsushi Sakurai, Yoshio Tahara, Ken Nagao, Naohiro Yonemoto, Arino Yaguchi, Naoto Morimura, Dai Miyazaki, Tomoko Ogasawara, Kei Hayashida, Mari Amino, Tomohisa Nomura, Akiko Akashi, Sadaki Inokuchi, Yoshihiro Masui, Kunihisa Miura, Haruhiko Tsutsumi, Kiyotsugu Takuma, Ishihara Atsushi, Minoru Nakano, Hiroshi Tanaka, Keiichi Ikegami, Takao Arai, Arino Yaguchi, Nobuya Kitamura, Kenji Kobayashi, Takayuki Suda, Kazuyuki Ono, Naoto Morimura, Ryosuke Furuya, Yuichi Koido, Fumiaki Iwase, Shigeru Kanesaka, Yasusei Okada, Kyoko Unemoto, Tomohito Sadahiro, Masayuki Iyanaga, Asaki Muraoka, Munehiro Hayashi, Shinichi Ishimatsu, Yasufumi Miyake, Hideo Yokokawa, Yasuaki Koyama, Asuka Tsuchiya, Tetsuya Kashiwayama, Munetaka Hayashi, Kiyohiro Oshima, Kazuya Kiyota, Yuichi Hamabe, Hiroyuki Yokota, Shingo Hori, Shin Inaba, Tetsuya Sakamoto, Naoshige Harada, Akio Kimura, Masayuki Kanai, Yasuhiro Otomo, Manabu Sugita, Kosaku Kinoshita, Takatoshi Sakurai, Mitsuhide Kitano, Kiyoshi Matsuda, Kotaro Tanaka, Katsunori Yoshihara, Kikuo Yoh, Junichi Suzuki, Hiroshi Toyoda, Kunihiko Mashiko, Naoki Shimizu, Takashi Muguruma, Tadanaga Shimada, Yoshiro Kobe, Tomohisa Shoko, Kazuya Nakanishi, Takashi Shiga, Takefumi Yamamoto, Kazuhiko Sekine, Shinichi Izuka : Initial Blood Ammonia Level Is a Useful Prognostication Tool in Out-of-Hospital Cardiac Arrest - Multicenter Prospective Study (SOS-KANTO 2012 Study). *CIRCULATION JOURNAL* 2017; 81 (12) :1839-+. doi: 10.1253/circj.CJ-17-0335.
- 33) 田上 隆, 康永 秀生, 畝本 恭子, 横田 裕行 : IoT で築く救急医療連携、点から線 線から面へ 救急医療を big picture(面)でとらえるための提案 DPC データと SS-MIX2 の活用. *日本救急医学会関東地方会雑誌* 2018; 39 (1) :62.

- 34) 敵本 恭子, 工藤 小織, 久野 将宗, 北橋 章子, 田上 隆, 福田 令雄, 金子 純也, 佐藤 慎, 田中 知恵, 小林 純子, 齋藤 研, 横田 裕行 : JATEC から JETEC へ～脳神経外科医のかかわり～ 多発外傷における脳神経外科医かつ救命医としてのメリットとジレンマ. 日本脳神経外傷学会プログラム・抄録集 2018; 41 回:63.
- 35) Samir G Sakka, Takashi Tagami, Mikhail Kirov, Azriel Perel : Letter to: acute respiratory distress syndrome in traumatic brain injury: how do we manage it?. *Journal of thoracic disease* 2018; 10 (3) :E221-E223-E223. doi: 10.21037/jtd.2018.02.45.
- 36) Yusuke Iizuka, Masamitsu Sanui, Yusuke Sasabuchi, Alan Kawarai Lefor, Mineji Hayakawa, Shinjiro Saito, Shigehiko Uchino, Kazuma Yamakawa, Daisuke Kudo, Kohei Takimoto, Toshihiko Mayumi, Takeo Azuhata, Fumihito Ito, Shodai Yoshihiro, Katsura Hayakawa, Tsuyoshi Nakashima, Takayuki Ogura, Eiichiro Noda, Yoshihiko Nakamura, Ryosuke Sekine, Yoshiaki Yoshikawa, Motohiro Sekino, Keiko Ueno, Yuko Okuda, Masayuki Watanabe, Akihito Tampo, Nobuyuki Saito, Yuya Kitai, Hiroki Takahashi, Iwao Kobayashi, Yutaka Kondo, Wataru Matsunaga, Sho Nachi, Toru Miike, Hiroshi Takahashi, Shuhei Takauji, Kensuke Umakoshi, Takafumi Todaka, Hiroshi Kodaira, Kohkichi Andoh, Takehiko Kasai, Yoshiaki Iwashita, Hideaki Arai, Masato Murata, Masahiro Yamane, Kazuhiro Shiga, Naoto Hori : Low-dose immunoglobulin G is not associated with mortality in patients with sepsis and septic shock. *Critical care (London, England)* 2017; 21 (1) :181. doi: 10.1186/s13054-017-1764-4.
- 37) 齋藤 伸行, 志馬 伸朗, 小林 敦子 : MRSA 感染症治療の実態調査 PORTRAIT study. *日本救急医学会雑誌* 2017; 28 (9) :583.
- 38) Kei Hayashida, Takashi Tagami, Tatsuma Fukuda, Masaru Suzuki, Naohiro Yonemoto, Yutaka Kondo, Tomoko Ogasawara, Atsushi Sakurai, Yoshio Tahara, Ken Nagao, Arino Yaguchi, Naoto Morimura : Mechanical Cardiopulmonary Resuscitation and Hospital Survival Among Adult Non-traumatic Out-of-hospital Cardiac Arrest Patients Attending the Emergency Department: A Prospective, Multicenter, Observational Study in Japan (SOS-KANTO 2012 Study). *CIRCULATION* 2017; 136
- 39) Kei Hayashida, Takashi Tagami, Tatsuma Fukuda, Masaru Suzuki, Naohiro Yonemoto, Yutaka Kondo, Tomoko Ogasawara, Atsushi Sakurai, Yoshio Tahara, Ken Nagao, Arino Yaguchi, Naoto Morimura : Mechanical Cardiopulmonary Resuscitation and Hospital Survival Among Adult Patients With Nontraumatic Out-of-Hospital Cardiac Arrest Attending the Emergency Department: A Prospective, Multicenter, Observational Study in Japan (SOS-KANTO [Survey of Survivors after Out-of-Hospital Cardiac Arrest in Kanto Area] 2012 Study). *Journal of the American Heart Association* 2017; 6 (11) doi: 10.1161/JAHA.117.007420.
- 40) Yutaka Igarashi, Shoji Yokobori, Yudai Yoshino, Tomohiko Masuno, Masato Miyauchi, Hiroyuki Yokota : Prehospital removal improves neurological outcomes in elderly patient with foreign body airway obstruction. *AMERICAN JOURNAL OF EMERGENCY MEDICINE* 2017; 35 (10) :1396-1399. doi: 10.1016/j.ajem.2017.04.016.
- 41) Suzuki K, Nagaishi M, Matsumoto Y, Fujii Y, Inoue Y, Sugiura Y, Hirata K, Suzuki R, Kawamura Y, Nakae R, Tanaka Y, Hyodo A : Preoperative embolization for skull base meningiomas. *Journal of Neurological Surgery. Part B, Skull base* 2017; 78 (4) :308-314.
- 42) Chie Tanaka, Takashi Tagami, Hisashi Matsumoto, Kiyoshi Matsuda, Shie Kim, Yuta Moroe, Reo Fukuda, Kyoko Unemoto, Hiroyuki Yokota : Recent trends in 30-day mortality in patients with blunt splenic injury: A nationwide trauma database study in Japan. *PLOS ONE* 2017; 12 (9) :e0184690. doi: 10.1371/journal.pone.0184690.
- 43) Yutaka Igarashi, Shoji Yokobori, Hidetaka Onda, Tomohiko Masuno, Hiroyuki Yokota : Relation between extracellular chemistry and patient outcome for severe traumatic brain injury within the first 24 hours: A microdialysis study. *Indian J Neurotrauma* 2017; 14 (2) :122-128. doi: 10.1055/s-0038-1649283.
- 44) 石木 義人, 萩原 一樹, 瀧口 徹, 萩原 純, 石井 浩統, 小笠原 智子, 辻井 厚子, 金 史英, 新井 正徳, 増野 智彦, 横田 裕行 : SAM(Segmental Arterial Mediolytic)に対して開腹止血術、コイル塞栓術を行った1例. *日本病院総合診療医学会雑誌* 2018; 14 (1) :92.
- 45) Ryuta Nakae, Yu Fujiki, Shoji Yokobori, Yasutaka Naoe, Hiroyuki Yokota : Subarachnoid Aneurysmal Hemorrhage Associated with Coarctation of the Aorta: Case Report and Review of the Literature. *Journal of Nippon Medical School = Nippon Ika Daigaku zasshi* 2017; 84 (4) :186-192. doi: 10.1272/jnms.84.186.
- 46) Shoji Yokobori, Ryuta Nakae, Hiroyuki Yokota, Markus S Spurlack, Stefania Mondello, Shyam Gajavelli, Ross M Bullock : Subdural hematoma decompression model: A model of traumatic brain injury with ischemic-reperfusional pathophysiology: A review of the literature. *Behavioural brain research* 2018; 340:23-28. doi: 10.1016/j.bbr.2016.05.055.
- 47) Osamu Nishida, Hiroshi Ogura, Moritoki Egi, Seitaro Fujishima, Yoshiro Hayashi, Toshiaki Iba, Hitoshi Imaizumi, Shigeaki Inoue,



- Yasuyuki Kakihana, Joji Kotani, Shigeki Kushimoto, Yoshiki Masuda, Naoyuki Matsuda, Asako Matsushima, Taka-Aki Nakada, Satoshi Nakagawa, Shin Nunomiya, Tomohito Sadahiro, Nobuaki Shime, Tomoaki Yatabe, Yoshitaka Hara, Kei Hayashida, Yutaka Kondo, Yuka Sumi, Hideto Yasuda, Kazuyoshi Aoyama, Takeo Azuhata, Kent Doi, Matsuyuki Doi, Naoyuki Fujimura, Ryota Fuke, Tatsuma Fukuda, Koji Goto, Ryuichi Hasegawa, Satoru Hashimoto, Junji Hatakeyama, Mineji Hayakawa, Toru Hifumi, Naoki Higashibeppu, Katsuki Hirai, Tomoya Hirose, Kentaro Ide, Yasuo Kaizuka, Tomomichi Kan'o, Tatsuya Kawasaki, Hiromitsu Kuroda, Akihisa Matsuda, Shotaro Matsumoto, Masaharu Nagae, Mutsuo Onodera, Tetsu Ohnuma, Kiyohiro Oshima, Nobuyuki Saito, So Sakamoto, Masaaki Sakuraya, Mikio Sasano, Norio Sato, Atsushi Sawamura, Kentaro Shimizu, Kunihiro Shirai, Tetsuhiro Takei, Muneyuki Takeuchi, Kohei Takimoto, Takumi Taniguchi, Hiroomi Tatsumi, Ryosuke Tsuruta, Naoya Yama, Kazuma Yamakawa, Chizuru Yamashita, Kazuto Yamashita, Takeshi Yoshida, Hiroshi Tanaka, Shigeto Oda : The Japanese Clinical Practice Guidelines for Management of Sepsis and Septic Shock 2016 (J-SSCG 2016). *Acute medicine & surgery* 2018; 5 (1) :3-89. doi: 10.1002/ams2.322.
- 48) Yuki Sakamoto, Seiji Okubo, Chikako Nito, Satoshi Suda, Noriko Matsumoto, Arata Abe, Junya Aoki, Takashi Shimoyama, Kanako Muraga, Takuya Kanamaru, Kentaro Suzuki, Yuki Go, Masahiro Mishina, Kazumi Kimura : The Prevalence of and Factors Related to Vascular Hyperintensity on T1-Weighted Imaging in Acute Ischemic Stroke. *CEREBROVASCULAR DISEASES* 2017; 44 (3-4) :203-209. doi: 10.1159/000479593.
- 49) Katsuya Kitamura, Masayasu Horibe, Masamitsu Sanui, Mitsuhiro Sasaki, Akira Yamamiya, Yu Ishii, Hitoshi Yoshida, Hirotaka Sawano, Takashi Goto, Tsukasa Ikeura, Tsuyoshi Hamada, Takuya Oda, Hideto Yasuda, Yuki Ogura, Dai Miyazaki, Kaoru Hirose, Nobutaka Chiba, Tetsu Ozaki, Takahiro Yamashita, Toshitaka Koinuma, Taku Oshima, Tomonori Yamamoto, Morihisa Hirota, Yoshinori Azumi, Keiji Nagata, Nobuyuki Saito, Mizuki Sato, Kyohei Miyamoto, Eisuke Iwasaki, Takanori Kanai, Toshihiko Mayumi : The Prognosis of Severe Acute Pancreatitis Varies According to the Segment Presenting With Low Enhanced Pancreatic Parenchyma on Early Contrast-Enhanced Computed Tomography: A Multicenter Cohort Study. *Pancreas* 2017; 46 ( 7 ) :867-873. doi: 10.1097/MPA.0000000000000851.
- 50) Shimizu N, Nagaishi M, Fuji Y, Inoue Y, Sugiura Y, Kawamura Y, Suzuki R, Nakae R, Tanaka Y, Hyodo A, Suzuki K : The endovascular treatment of traumatic cavernous sinus arteriovenous fistulas: a single-center experience. *Journal of Neuroendovascular Therapy* 2017; 11 (9) :450-456.
- 51) Nakae R, Nagaishi M, Takano I, Tanaka Y, Hyodo A, Suzuki K : Transvenous coil embolization for the treatment of carotid cavernous fistula after Pipeline placement: a case report. *Journal of Stroke and Cerebrovascular Diseases* 2017; 27 (4) :e65-e69.
- 52) Yasuo Murai, Fumihiko Matano, Shoji Yokobori, Hidetaka Onda, Hiroyuki Yokota, Akio Morita : Treatment Strategies of Subarachnoid Hemorrhage from Bilateral Vertebral Artery Dissection: A Case Report and Literature Review Focusing on the Availability of Stent Placement. *World neurosurgery* 2017; 106:1050.e11-1050.e20. doi: 10.1016/j.wneu.2017.06.167.
- 53) 松田明久, 宮下正夫, 山田真史奈, 松本智司, 櫻澤信行, 川野陽一, 関口久美子, 松谷毅, 山田岳史, 内田英二 : 「侵襲時の生体反応を改善する新しい試み」 脂質メディエーターに着目した外科侵襲後の生体反応-リゾリン脂質に注目して-. *外科と代謝・栄養* 2017; 51 (4) :157-164.
- 54) 平林 篤志, 本村 友一, 松本 尚, 横田 裕行 : 「外傷センター」がPTDを撲滅する(千葉県交通死亡事故調査の結果から). *日本救急医学会雑誌* 2017; 28 (9) :586.
- 55) 富永 直樹, 横堀 将司, 横田 裕行 : 【ERでの鎮痛と鎮静-非日常へのレジリエントな対応】 鎮痛・鎮静の実際 状態別編 頭蓋内疾患 初期治療を中心に. *救急医学* 2017; 41 (12) :1646-1652.
- 56) 安松 比呂志, 松本 尚 : 【救急外科手術アトラス;治療戦略と緊急手術】 蘇生的開胸術と開腹術. *救急医学* 2017; 41(10)1167-1173.
- 57) 須崎 真, 安武 正弘, 横田 裕行 : 【すぐそこにある心血管エマージェンシー】 心血管エマージェンシーに対するERの役割と展望. *内科* 2017; 120 (6) :1207-1212. doi: 10.15106/j\_naika120\_1207.
- 58) 安松 比呂志, 本村 友一 : 【主訴から攻める!救急画像 内因性疾患から外傷まで、すばやく正しく、撮る・読む・動く!】 (第4章)外因性疾患の画像診断 胸部外傷の画像診断. *レジデントノート* 2017; 19 (5) :956-963.
- 59) 田上 隆 : 【心臓突然死にいかに対応するか-ここが知りたい-】 院外心停止例に対する薬物療法 難治性心室細動に対するIII群薬のリアル

- ワールドデータ. 臨床医のための循環器診療 2017; (27) :38-42.
- 60) 横堀 将司, 佐々木 和馬, 金谷 貴大, 五十嵐 豊, 瀧口 徹, 萩原 純, 恩田 秀賢, 増野 智彦, 金 史英, 布施 明, 横田 裕行 : 【挑戦】命を救う喜びがわたしたちを突き動かす. 日本救急医学会雑誌 2017; 28 (9) :474.
- 61) 安松 比呂志, 本村 友一, 松本 尚 : 【救急×家庭医療 よりよい連携を目指して】社会システム 救急医の視点. 治療 2017; 99(10) :1267-1270.
- 62) 横堀 将司, 横田 裕行 : 【救急医療における外傷診療の最前線】頭部外傷の病態と治療. 日本医師会雑誌 2018; 146 (11) :2220-2224.
- 63) 横堀 将司, 金谷 貴大, 横田 裕行 : 【救急外来で役立つ!-意識障害の診かた-"あたま"と"からだ"で考える】意識障害 "あたま"が原因の意識障害 非痙攣性てんかん重積. Medicina 2017; 54 (12) :1991-1996.
- 64) 横堀 将司 : 【新人ナース応援号 日本一カンタン・わかりやすい 脳神経外科疾患ノート】脳挫傷. Brain Nursing 2017; 33 (4) :345-348.
- 65) 横堀 将司 : 【日本一カンタン・わかりやすい 脳神経の解剖&疾患ノート】(2章)ゆる〜く、やさしく脳神経疾患 脳挫傷. Brain Nursing 2018; 別冊 (脳神経の解剖&疾患ノート-日本一カンタン・わかりやすい) :97-100.
- 66) 横堀 将司, 横田 裕行 : 【神経集中治療】頭部外傷の病態と頭蓋内圧管理. ICU と CCU 2017; 41 (11) :669-681.
- 67) 新井 正徳, 久志本 成樹, 金 史英, 萩原 純, 石井 浩統, 横田 裕行 : 【腹壁癍痕ヘルニアの予防と治療】 両側腹直筋鞘前葉反転法による急性期腹壁再建と shoelace darn repair 法による腹壁癍痕ヘルニア修復法. 外科 2018; 80 (3) :231-236. doi: 10.15106/j\_geka80\_231.
- 68) 小原 俊彦, 若栗 太郎, 出川 龍哉, 三枝 太郎, 須崎 真, 桐木 園子, 小野寺 麻加, 小野寺 直子, 兵働 英也, 松村 典昭, 川井 真, 安武 正弘 : たこつぼ心筋症経過観察中に脳梗塞を合併した1例. 日本病院総合診療医学会雑誌 2017; 13 (1) :106.
- 69) 金 史英, 萩原 一樹, 瀧口 徹, 石木 義人, 石井 浩統, 横堀 将司, 塚本 剛志, 増野 智彦, 布施 明, 横田 裕行 : わが国の外傷センターはどうあるべきか? 東京都における外傷センターの要件はなにか Acute care surgeon の立場から. 日本臨床救急医学会雑誌 2017; 20 (2) :241.
- 70) 渡邊顕弘, 松田潔, 望月徹, 菊池広子, 遠藤広史, 石丸直樹, 城戸教裕, 長谷川智宏, 竹ノ下尚子, 大熊慧 : イレウスによる敗血症性ショックにタコツボ心筋症を合併し治療に難渋した一例. 日本救急医学会雑誌 2017; 28 (9) :629.
- 71) 横堀 将司, 金谷 貴大, 山口 昌紘, 五十嵐 豊, 瀧口 徹, 石木 義人, 萩原 純, 石井 浩統, 恩田 秀賢, 増野 智彦, 布施 明, 横田 裕行 : ガイドライン 2020 に向けての課題 心停止後症候群に対する神経集中治療 Tailored treatment strategy への挑戦. J-ReSS 2017; 10:26.
- 72) 佐々木 和馬, 金谷 貴大, 五十嵐 豊, 石木 義人, 中江 竜太, 恩田 秀賢, 横堀 将司, 布施 明, 横田 裕行 : ケイセントラを使用し迅速に凝固異常を改善し、開頭手術を行えた一例. 日本脳神経外傷学会プログラム・抄録集 2018; 41 回:82.
- 73) 佐々木 和馬, 金谷 貴大, 重田 健太, 五十嵐 豊, 石木 義人, 塚本 剛志, 恩田 秀賢, 横堀 将司, 布施 明, 横田 裕行 : スキューバダイビング後に両側椎骨動脈解離から小脳梗塞を来した一例. Neurosurgical Emergency 2018; 22 (3) :279.
- 74) 白石 淳, 久志本 成樹, 齋藤 大蔵, 中原 慎二, 萩原 章嘉, 早川 峰司, 関根 和彦, 小倉 崇以, 田上 隆, 一二三 亨, 工藤 大介, 吉矢 和久 : トラネキサム酸投与はどのような外傷患者に対して有効なのか? J-OCTET 研究、FORECAST 研究、日本外傷学会多施設臨床研究の pooled data analysis. 日本外傷学会雑誌 2017; 31 (2) :225.
- 75) 永倉 康佑, 五十嵐 豊, 野中 将矢, 萩原 隆弘, 秋山 真之, 萩原 純, 横堀 将司, 増野 智彦, 小笠原 智子, 新井 正徳, 辻井 厚子, 布施 明, 横田 裕行 : ドクターカーの運用状況に関する全国調査. 日本医科大学医学会雑誌 2017; 13 (4) :246-247.
- 76) 久城 正紀, 益子 一樹, 本村 友一, 安松 比呂志, 岡田 一宏, 中山 文彦, 八木 貴典, 齋藤 伸行, 原 義明, 松本 尚 : ドクターカー・ラピッドカー普及のための方策 ドクターヘリ運航時間外におけるラピッドカー運用システム構築の必要性. 日本臨床救急医学会雑誌 2017; 20 (2) :276.
- 77) 黒柳 美里, 松本 尚, 阪本 太吾, 安松 比呂志, 中山 文彦, 本村 友一, 齋藤 伸行, 益子 一樹, 原 義明, 横田 裕行 : ヒアルロン酸を基材とした上皮成長因子含有組織癒着防止材の設計. 日本救急医学会雑誌 2017; 28 (9) :708.
- 78) 萩原純, 中村真寿美, 瀧口徹, 山口昌紘, 桑原広輔, 横堀将司, 金史英, 増野智彦, 根井貴仁, 横田裕行 : ピロリ菌 3 次除菌を契機に劇症型クロストリジウム・ディフィシル感染症を発症した一例. 日本集中治療医学会学術集会 2017; 44th:ROMBUNNO.DP95 - 1 (WEB ONLY).
- 79) 益子 一樹, 山本 真梨子, 阪本 太吾, 中山 文彦, 安松 比呂志, 松本 尚 : フレイルチェストに対する肋骨固定術の成績. Japanese Journal of Acute Care Surgery 2017; 7 (1) :224.

- 80) 重田 健太, 佐々木 和馬, 小林 純子, 瀧口 徹, 五十嵐 豊, 石木 義人, 塚本 剛志, 増野 智彦, 宮内 雅人, 横田 裕行 : 三環系抗鬱薬中毒による致死的不整脈に対して VA ECMO および血漿交換を導入し救命し得た 1 例. 日本医科大学医学会雑誌 2017; 13 (4) :252.
- 81) 重田 健太, 佐々木 和馬, 小林 純子, 金谷 貴大, 富永 直樹, 瀧口 徹, 石木 義人, 増野 智彦, 宮内 雅人, 横田 裕行 : 三環系抗鬱薬中毒による致死的不整脈に対して VA ECMO および血漿交換を導入し救命し得た一例. 日本集中治療医学会雑誌 2018; 25 (Suppl.) :[O68-2].
- 82) 秋山 真之, 重田 健太, 瀧口 徹, 金谷 貴大, 萩原 純, 石木 義人, 石井 浩統, 恩田 秀賢, 増野 智彦, 小笠原 智子, 金 史英, 新井 正徳, 辻井 厚子, 横田 裕行 : 上腸間膜静脈を貫通した千枚通しによる腹部刺創の 1 例. 日本救急医学会関東地方会雑誌 2018; 39 (1) :131.
- 83) 川野 陽一, 松本 智司, 櫻澤 信行, 松田 明久, 山初 和也, 久城 正紀, 中山 文彦, 益子 一樹, 川俣 博志, 横室 茂樹, 松本 尚, 宮下 正夫, 内田 英二 : 下大静脈出血に対する縫合止血を要した右肝切除の術後に下大静脈閉塞を来した 1 例. Japanese Journal of Acute Care Surgery 2017; 7 (1) :229.
- 84) 本村友一, 松本尚, 西本哲也, 石川敏博, 益子邦洋 : 世界初の日本版医師派遣 AACN(Advanced Automatic collision Notification)救急自動通報システム(D-Call Net)の開発. 日本救急医学会関東地方会雑誌 2017; 38 (1)
- 85) 久保田和広, 西本哲也, 富永茂, 本村友一, 三好朋之 : 乗車位置別・衝突方向別・傷害部位別の傷害予測アルゴリズム Ver.2017 の検証. 自動車技術会大会学術講演会講演予稿集(CD-ROM) 2017; 2017
- 86) 須崎 真, 小原 俊彦, 若栗 大朗, 桐木 園子, 小野寺 直子, 兵働 英也, 柴田 泰史, 宮内 雅人, 川井 真, 安武 正弘, 横田 裕行 : 二次救急医療における臨床検査の現状と課題 救急医が必要とする検査情報とその要件 時間・精度・安全. 日本臨床救急医学会雑誌 2017; 20 (2) :250.
- 87) 本村 友一, 松本 尚, 西本 哲也, 石川 博敏, 益子 邦洋 : 交通事故工学データに基づくドクターヘリ出動 救急自動通報システム(D-Call Net)開発と試験運用. 日本臨床救急医学会雑誌 2017; 20 (2) :344.
- 88) 田上 隆 : 人工呼吸関連機器 ユーザーレポート PulsioFlex の使用経験 PiCCO、PiCCO Plus、PiCCO2、そして PulsioFlex へ. 人工呼吸 2017; 34 (2) :208-209.
- 89) 一二三 亨, 久志本 成樹, 齋藤 大蔵, 中原 慎二, 萩原 章嘉, 早川 峰司, 白石 淳, 小倉 崇以, 関根 和彦, 田上 隆, 工藤 大介, 吉矢 和久 : 低血圧容認蘇生戦略の可能性を探る. 日本外傷学会雑誌 2017; 31 (2) :227.
- 90) 萩原 一樹, 金 史英, 瀧口 徹, 石木 義人, 萩原 令彦, 萩原 純, 石井 浩統, 小笠原 智子, 増野 智彦, 辻井 厚子, 新井 正徳, 横田 裕行 : 体幹部外傷における Delayed operation 症例の検討. 日本外傷学会雑誌 2017; 31 (2) :329.
- 91) 萩原 令彦, 金 史英, 石井 浩統, 萩原 純, 小笠原 智子, 増野 智彦, 辻井 厚子, 新井 正徳, 横田 裕行 : 傍ストーマ穿孔によって腸重積をきたした 1 例. 日本救急医学会雑誌 2017; 28 (9) :595.
- 92) 松本 勉, 松本 尚, 益子 一樹, 安松 比呂志, 中西 加寿也 : 傷病者の救命効果向上に向けた取り組み～ガイドライン 2015 を踏まえて～ 院外心停止例に対する薬剤投与実施までの時間を検討. 日本救急医学会関東地方会雑誌 2018; 39 (1) :187.
- 93) 萩原 純, 山田 真史奈, 新井 正徳, 増野 智彦, 横田 裕行 : 免疫グロブリンは、敗血症の予後を改善するか マウス敗血症モデルにおける免疫グロブリン静脈投与(IVIG)の有効性. 日本救急医学会雑誌 2017; 28 (9) :731.
- 94) 大桃丈知, 猪口正孝, 加納繁照, 安藤高夫, 神野正博, 布施明, 山本保博, 林秀樹 : 全日本病院協会の災害時医療救護支援班(AMAT)の体制整備と熊本地震における活動検証. 日本臨床救急医学会雑誌 2017; 20 (2) :364.
- 95) 大桃丈知, 大桃丈知, 猪口正孝, 猪口正孝, 布施明, 山本保博, 加納繁照 : 全日本病院協会災害医療支援チーム AMAT の活動. 日本救急医学会雑誌 2017; 28 (9) :639.
- 96) 若栗 大朗, 出川 龍哉, 三枝 太郎, 須崎 真, 桐木 園子, 小野寺 麻加, 小野寺 直子, 松村 典昭, 兵働 英也, 小原 俊彦, 安武 正弘, 川井 真 : 全身性炎症反応症候群(SIRS)患者における血清ヘプシジン-25 値の臨床的意義. 日本病院総合診療医学会雑誌 2017; 13 (1) :98.
- 97) 布施明, 布施理美 : 内科系医師のための災害医療エッセンシャル 組織内での活動 IMAT(事件現場派遣医療チーム). 診断と治療 2017; 105 (4) :513 - 517-424.
- 98) 萩原 一樹, 金 史英, 瀧口 徹, 石木 義人, 石井 浩統, 萩原 純, 小笠原 智子, 増野 智彦, 辻井 厚子, 新井 正徳, 横田 裕行 : 内視鏡下止血術困難な出血性胃十二指腸潰瘍に対する止血方法の検討. 日本救急医学会雑誌 2017; 28 (9) :551.

- 99)横堀將司, PURLOCK Markus, LEE Stefania, GAJAVELLI Shyam, BULLOCK Ross, 金谷貴大, 山口昌紘, 五十嵐豊, 恩田秀賢, 金子純也, 荒木尚, 増野智彦, 畝本恭子, 布施明, 横田裕行:再生医療を基にした頭部外傷治療戦略確立への挑戦. 日本外傷学会抄録号 2017; 31st:191.
- 100)阪本 太吾, 齋藤 伸行, 安松 比呂志, 樽本 浩司, 山本 真梨子, 中山 文彦, 服部 陽, 益子 一樹, 本村 友一, 八木 貴典, 原 義明, 松本 尚, 横田 裕行:出血制御のための蘇生的大動脈遮断による脊髄梗塞の2例. 日本外傷学会雑誌 2017; 31 (2) :285.
- 101)金 史英, 萩原 純, 瀧口 徹, 萩原 一樹, 石木 義人, 石井 浩統, 増野 智彦, 新井 正徳, 横田 裕行:出血性イベントに対する医療安全対策. 日本救急医学会雑誌 2017; 28 (9) :720.
- 102)萩原 一樹, 金 史英, 瀧口 徹, 秋山 真之, 石木 義人, 萩原 純, 石井 浩統, 小笠原 智子, 増野 智彦, 辻井 厚子, 新井 正徳, 横田 裕行:出血性胃十二指腸潰瘍に対する Acute care surgery. Japanese Journal of Acute Care Surgery 2017; 7 (1) :187.
- 103)坪井昭典, 菊池厚躬, 富永茂, 本村友一, 西本哲也:前面衝突におけるシートベルト着用乗員の重傷胸腹部傷害の解析. 自動車技術会大会学術講演会講演予稿集(CD-ROM) 2017; 2017
- 104)布施明:化学・爆弾テロ等重大事案(事件)に対する机上シミュレーションによる訓練・対応手法検討に関する研究. 化学・爆弾テロ等重大事案(事件)に対する机上シミュレーションによる訓練・対応手法検討に関する研究 平成 28 年度 総括・分担研究報告書 2017:3 - 70 (WEB ONLY).
- 105)布施明:化学・爆弾テロ等重大事案(事件)に対する机上シミュレーションによる訓練・対応手法検討に関する研究 爆弾テロ対応と化学・爆弾テロ等重大事案(事件)に対する机上シミュレーションによる訓練・対応手法の整合性に関する研究. 化学・爆弾テロ等重大事案(事件)に対する机上シミュレーションによる訓練・対応手法検討に関する研究 平成 28 年度 総括・分担研究報告書 2017:130 - 150 (WEB ONLY).
- 106)松本 尚, 原 義明, 八木 貴典, 齋藤 伸行, 益子 一樹, 本村 友一, 飯田 浩章, 横田 裕行:北総救命に「ワークライフバランス」は成立するか?. 日本救急医学会雑誌 2017; 28 (9) :462.
- 107)坪井 昭典, 西本 哲也, 富永 茂, 本村 友一:医工連携による交通事故調査解析とその自動車安全への応用. 公開研究会・講演会技術と社会の関連を巡って:技術史から経営戦略まで:講演論文集 2017; 2017:114. doi: 10.1299/jsmetsd.2017.114.
- 108)久城 正紀, 本村 友一, 松本 尚:医療羅針盤 私の提言(第 121 回)災害医療へのドローンの活用を目指して 2018; 45 (2) :18-21.
- 109)諸江 雄太, 畝本 恭子, 田上 隆, 久野 将宗, 福田 令雄, 金子 純也, 田中 知恵, 工藤 小織, 柴田 あみ, 小柳 正雄:単なる転倒外傷でも頭部 CT 撮影は無難である. 日本外傷学会雑誌 2017; 31 (2) :296.
- 110)萩原 令彦, 金 史英, 小林 純子, 寺岡 晋太郎, 石井 浩統, 萩原 純, 増野 智彦, 新井 正徳, 辻井 厚子, 横田 裕行:口腔内から食道粘膜が逸脱した類天疱瘡の一例. 日本呼吸器外科学会雑誌 2017; 31 (3) :P47-5.
- 111)布施明:国民保護法と救急医療一緊急対処事態に備えて 事態対処医療 日本の事態対処医療. 救急医学 2018; 42 (1) :79 - 85.
- 112)鈴木 基継, 西本 哲也, 本村 友一, 宇治橋 貞幸:圧迫負荷状態における健常被験者の呼吸特性. シンポジウム:スポーツ・アンド・ヒューマン・ダイナミクス講演論文集 2017; 2017:D-26. doi: 10.1299/jsmeshd.2017.d-26.
- 113)布施明, 鈴木進吾, 布施理美, 宮内雅人, 横田裕行:地震シミュレーションを活用した災害医療対応シミュレーションの開発. 日本救急医学会雑誌 2017; 28 (9) :426.
- 114)新井 正徳, 金 史英, 横田 裕行, 寺岡 晋太郎, 石木 義人, 瀧口 徹, 萩原 一樹, 萩原 令彦, 萩原 純, 石井 浩統, 増野 智彦, 辻井 厚子:外傷における open abdomen の有用性と課題. 日本外傷学会雑誌 2017; 31 (2) :347.
- 115)石木 義人, 萩原 一樹, 瀧口 徹, 石井 浩統, 萩原 純, 塚本 剛志, 小笠原 智子, 辻井 厚子, 金 史英, 新井 正徳, 横田 裕行:外傷による凝血性血気胸に対し胸腔鏡補助下血腫除去術を行った 1 例. Japanese Journal of Acute Care Surgery 2017; 7 (1) :221.
- 116)阿部 舞香, 井上 真梨子, 白井 清香, 大元 文香, 上田 百蔵, 富永 直樹, 萩原 純, 横堀 將司, 瀧口 徹, 金 史英, 布施 明, 横田 裕行:外傷後心停止から完全回復し得たびまん性脳損傷の 1 例. 日本医科大学医学会雑誌 2017; 13 (4) :243.
- 117)早川 峰司, 久志本 成樹, 齋藤 大蔵, 中原 慎二, 萩原 章嘉, 白石 淳, 小倉 崇以, 関根 和彦, 田上 隆, 一二三 亨, 工藤 大介, 吉矢 和久:外傷急性期における赤血球輸血の至適閾値 Cluster randomized, double-crossover trial. 日本外傷学会雑誌 2017; 31 (2) :223.
- 118)阿部 舞香, 横堀 將司, 長嶺 嘉通, 佐々木 和馬, 重田 健太, 五十嵐 豊, 増野 智彦, 宮内 雅人, 辻井 厚子, 横田 裕行:外傷性心停止から完全回復し得たびまん性脳損傷の一例. 日本集中治療医学会雑誌 2018; 25 (Suppl.) :[P91-5].
- 119)浅井聡子, 城戸教裕, 松田潔, 望月徹, 菊池広子, 石丸直樹, 遠藤広史, 渡邊顕弘, 長谷川智弘, 石井菖太郎, 中村優圭:外傷性腹壁ヘルニアの一例. 日本救急医学会雑誌 2017; 28 (9) :524.

- 120)久城正紀, 齋藤伸行, 岡田一宏, 太田黒崇伸, 本村友一, 益子一樹, 八木貴典, 原義明, 松本尚, 横田裕行: 外傷患者に対する挿管回避・肺炎予防を目的としたNPPV(Noninvasive Positive Pressure Ventilation). 日本集中治療医学会学術集会 2017; 44th
- 121)藤田 基生, 宮川 乃理子, 川副 友, 宮田 茂樹, 前田 琢磨, 齋藤 大蔵, 中原 慎二, 萩原 章嘉, 早川 峰司, 白石 淳, 小倉 崇以, 関根 和彦, 田上 隆, 一二三 亨, 工藤 大介, 吉矢 和久, 久志本 成樹: 外傷患者のヘパリン起因性血小板減少症(heparin-induced thrombocytopenia:HIT)発症と HIT 抗体陽性化のメカニズムを探る前向き観察研究. 日本外傷学会雑誌 2017; 31 (2) :226.
- 122)吉矢 和久, 工藤 大介, 久志本 成樹, 齋藤 大蔵, 中原 慎二, 萩原 章嘉, 早川 峰司, 白石 淳, 小倉 崇以, 田上 隆, 一二三 亨: 外傷症例における多施設共同脂肪塞栓症候群レジストリの構築. 日本外傷学会雑誌 2017; 31 (2) :222.
- 123)諸江 雄太, 畝本 恭子, 田上 隆, 福田 令雄, 久野 将宗: 多数熱傷患者の重症度評価は熱傷面積だけでよい. 熱傷 2017; 43 (4) :214.
- 124)讚井 将満, 安田 英人, 武居 哲洋, 齋藤 伸行, 堀部 昌靖, 早川 峰司, 植西 憲達, 倉橋 清泰, 東別府 直紀, 真弓 俊彦: 多施設研究による日本からの情報発信 JSEPTIC-CTG の歩み. 日本救急医学会雑誌 2017; 28 (9) :436.
- 125)荒木尚, 横田裕行, 布施明, 横堀将司, 恩田秀賢: 多死社会における脳死の位置付けについて—臓器提供を前提としない脳死に関する全国調査より—. 日本救急医学会雑誌 2017; 28 (9) :604.
- 126)中江 竜太, 高山 泰広, 横堀 将司, 直江 康孝, 佐藤 秀貴, 横田 裕行, 兵頭 明夫, 鈴木 謙介: 多発外傷に合併する重症頭部外傷の治療戦略. 日本救急医学会雑誌 2017; 28 (9) :454.
- 127)山本 瑞樹, 立石 鉄也, 中村 光伸, 町田 浩志, 本村 友一: 大規模災害時における DH 連絡調整要員の活動内容の標準化について. 日本航空医療学会雑誌 2017; 18 (2) :105.
- 128)齋藤 伸行: 大量輸血プロトコルに関する実態調査. 日本輸血細胞治療学会誌 2017; 63 (3) :414.
- 129)小倉 崇以, 久志本 成樹, 齋藤 大蔵, 中原 慎二, 萩原 章嘉, 早川 峰司, 白石 淳, 関根 和彦, 田上 隆, 一二三 亨, 工藤 大介, 吉矢 和久: 大量輸血予測スコアの妥当性評価 前向き観察研究. 日本外傷学会雑誌 2017; 31 (2) :220.
- 130)望月 康廣, 西本 哲也, 本村 友一, 宇治橋 貞幸: 女性の胸腹部圧迫耐性値に関する研究. バイオエンジニアリング講演会講演論文集 2017; 2017.29:2E17. doi: 10.1299/jsmebio.2017.29.2e17.
- 131)萩原 令彦, 金 史英, 瀧口 徹, 萩原 一樹, 石木 義人, 石井 浩統, 萩原 純, 小笠原 智子, 増野 智彦, 新井 正徳, 辻井 厚子, 横田 裕行: 子宮内掻爬によりメッケル憩室を伴う回腸が陥頓、穿孔をきたした1例. Japanese Journal of Acute Care Surgery 2017; 7 (1) :237.
- 132)齋藤 研, 金子 純也, 小林 純子, 賀 亮, 佐藤 慎, 田中 知恵, 福田 令雄, 北橋 章子, 田上 隆, 工藤 小織, 久野 将宗, 畝本 恭子, 横田 裕行: 小児急性硬膜下血腫の術後に"Big Black Brain"様変化を来した一例. 日本脳神経外傷学会プログラム・抄録集 2018; 41 回:110.
- 133)八木 貴典, 齋藤 伸行, 本村 友一, 益子 一樹, 原 義明, 松本 尚, 横田 裕行: 小児救命救急:今日の課題と明日へのビジョン JTDB に登録された小児外傷患者数と転帰の関係性. 日本救急医学会雑誌 2017; 28 (9) :419.
- 134)荒川 将史, 下山 隆, 高山 洋平, 大内 崇弘, 須田 智, 鈴木 静香, 松本 典子, 大久保 誠二, 永山 寛, 木村 和美: 左房内腫瘍様血栓摘出術及び MAZE 手術後に左房内血栓の再発を認めた脳梗塞の1例. Neurosonology 2017; 30 (増刊) :121.
- 135)荒川 将史, 下山 隆, 松本 典子, 須田 智, 栗田 二郎, 木村 和美: 左房内腫瘍様血栓摘出術及びメイズ術後に左房内血栓の再発を認めた心原性脳塞栓症の1例. 臨床神経 2017; 87:524-590.
- 136)杉本 貴史, 塩田 浩平, 桑原 広輔, 瀧口 徹, 金 史英, 横堀 将司, 萩原 純, 横田 裕行: 広汎な消化管壁内気腫と門脈気腫を認めたが、腸管切除をせず良好な転帰を得た一例. 日本臨床救急医学会雑誌 2017; 20 (2) :460.
- 137)樽本 浩司, 市川 頼子, 五味 基央, 服部 陽, 安松 比呂志, 瀬尾 卓生, 阪本 太吾, 中山 文彦, 飯田 浩章, 益子 一樹, 原 義明, 松本 尚, 横田 裕行: 当センターにおける肋骨固定術の成績. 日本外傷学会雑誌 2017; 31 (2) :321.
- 138)遠藤広史, 松田潔, 望月徹, 菊池広子, 石丸直樹, 渡邊頭弘, 城戸教裕, 長谷川智宏: 当救命救急センターで治療した病院外心停止患者の経年動向. 日本病院総合診療医学会雑誌 2018; 14 (1) :99.
- 139)安松 比呂志, 松本 尚, 益子 一樹, 山本 真梨子, 服部 陽, 阪本 太吾, 中山 文彦, 本村 友一, 横田 裕行: 当施設における damage control resuscitation の検討. Japanese Journal of Acute Care Surgery 2017; 7 (2) :287-293.
- 140)安松比呂志, 本村友一, 飯田浩章, 八木貴典, 齋藤信行, 益子一樹, 原義明, 松本尚, 横田裕行: 当施設における大動脈遮断方法の比較検討. 日本外傷学会抄録号 2017; 31st
- 141)渡邊頭弘, 松田潔, 菊池広子, 石丸直樹, 秋山豪, 城戸教裕, 長谷川智宏, 足立好司, 立山幸次郎, 鈴木雅規, 廣中浩平, 喜多村孝

- 雄：当施設における頭部外傷症例へのイダルズマズの使用経験. 日本脳神経外傷学会プログラム・抄録集 2018; 41st:82.
- 142)望月徹, 松田潔, 菊池広子, 遠藤広史, 石丸直樹, 山村村治, 渡邊顕弘, 長谷川智宏, 城戸教裕：当院におけるメトロニダゾール脳症2例の検討. 日本救急医学会雑誌 2017; 28 (9) :651.
- 143)石井 浩統, 寺岡 晋太郎, 瀧口 徹, 萩原 一樹, 石木 義人, 萩原 純, 萩原 令彦, 増野 智彦, 小笠原 智子, 金 史英, 新井 正徳, 辻井 厚子, 横田 裕行：当院における腹部刺創31例の検討. 日本外傷学会雑誌 2017; 31 (2) :305.
- 144)宮内 雅人, 須崎 真, 増野 智彦, 川井 真, 横田 裕行：当院総合診療センターに外傷で来院、画像検査を契機に悪性腫瘍が偶然発見された2症例. 日本救急医学会関東地方会雑誌 2018; 39 (1) :144.
- 145)横堀将司, 金谷貴大, 山口昌紘, 五十嵐豊, 瀧口徹, 石木義人, 萩原純, 石井浩統, 恩田秀賢, 増野智彦, 布施明, 横田裕行：心停止後症候群に対する神経集中治療:Tailored treatment strategy への挑戦. Journal of Japan Resuscitation Science Symposium 2017; 10:26.
- 146)横堀 将司, 佐々木 和馬, 金谷 貴大, 五十嵐 豊, 瀧口 徹, 石井 浩統, 石木 義人, 恩田 秀賢, 増野 智彦, 布施 明, 横田 裕行：心停止患者における多角的モニタリングを用いた蘇生限界の検討. 日本救急医学会雑誌 2017; 28 (9) :613.
- 147)長嶺 嘉通, 横堀 将司, 佐々木 和馬, 金谷 貴大, 五十嵐 豊, 榎本 弘幸, 恩田 秀賢, 増野 智彦, 布施 明, 横田 裕行：心停止患者における迅速モニタリングを用いた蘇生子測因子の検討. 脳死・脳蘇生 2017; 30 (1) :23.
- 148)中山 文彦, 松本 尚, 安松 比呂志, 本村 友一, 益子 一樹, 齋藤 伸行, 八木 貴典, 原 義明, 横田 裕行：心損傷治療の課題. 日本救急医学会雑誌 2017; 28 (9) :536.
- 149)若井英恵, 松田潔, 望月徹, 菊池広子, 石丸直樹, 渡邊顕弘, 秋山豪, 城戸教裕, 長谷川智宏, 竹ノ下尚子：心肺蘇生によって縦隔気腫を生じた一例. 日本救急医学会関東地方会雑誌 2018; 39 (1) :145.
- 150)多村 知剛, 並木 淳, 菅原 洋子, 関根 和彦, 葉 季久雄, 金谷 貴大, 横堀 将司, 横田 裕行, 佐々木 淳一：心肺蘇生ガイドライン2020への挑戦 院外心停止後患者に対する自己心拍再開直後の定量的瞳孔計による予後予測. 日本救急医学会雑誌 2017; 28 (9) :428.
- 151)益子 一樹, 松本 尚, 本村 友一, 平林 篤志, 齋藤 伸行, 八木 貴典, 原 義明：成田国際空港の航空機事故に対する災害医療体制の再構築. 日本航空医療学会雑誌 = Journal of Japanese Society for Aeromedical Services 2017; 18 (1) :9-14.
- 152)中江 竜太, 横堀 将司, 佐々木 和馬, 金谷 貴大, 五十嵐 豊, 恩田 秀賢, 布施 明, 横田 裕行, 鈴木 謙介：抗血栓薬と頭部外傷 抗血栓療法中の患者における頭部外傷の特徴と、抗血栓薬中止・再開に関する検討. 日本脳神経外傷学会プログラム・抄録集 2018; 41 回:58.
- 153)瀧口 徹, 金 史英, 萩原 一樹, 石木 義人, 石井 浩統, 萩原 純, 萩原 令彦, 小笠原 智子, 増野 智彦, 新井 正徳, 辻井 厚子, 横田 裕行：救命できなかった十二指腸断端縫合不全の2例. 日本外傷学会雑誌 2017; 31 (2) :172.
- 154)齋藤 伸行, 八木 貴典, 松本 尚, 宮田 茂樹, 横田 裕行：救命救急センターにおける大量輸血プロトコルに関する実態調査. 日本救急医学会雑誌 2017; 28 (10) :787-793.
- 155)齋藤 伸行, 八木 貴典, 益子 一樹, 飯田 浩章, 本村 友一, 中山 文彦, 岡田 一宏, 阪本 太吾, 原 義昭, 松本 尚, 横田 裕行：救命救急センターにおける大量輸血プロトコルの実態. 日本外傷学会雑誌 2017; 31 (2) :272.
- 156)近藤匡慶, 小澤正弥, 玉木綾音, 菅谷量俊, 長野慎彦, 津田充穂, 田杭直哉, 田上隆, 久野将宗, 畝本恭子：救命救急センターにおける汎用注射薬の3剤配合変化試験. 日本医療薬学会年会講演要旨集 2017; 27
- 157)齋藤 伸行, 八木 貴典, 益子 一樹, 原 義明, 松本 尚：救命救急センターの新設は、既存の救命救急センターの重症患者数に影響を及ぼすか?. 日本救急医学会雑誌 2017; 28 (9) :445.
- 158)長野 慎彦, 近藤 匡慶, 田上 隆, 金子 純也, 田中 知恵, 諸江 雄太, 工藤 小織, 久野 将宗, 畝本 恭子, 高瀬 久光：救命救急センター常駐薬剤師による配合変化防止と投与ルート管理への取り組み. 日本臨床救急医学会雑誌 2017; 20 (2) :455.
- 159)中山 文彦, 松本 尚, 小田 有哉, 山本 真梨子, 久城 正紀, 阪本 太吾, 安松 比呂志, 益子 一樹, 横田 裕行：救命率を向上させる外科とIVRとのコラボレーション 外傷診療におけるIVR-best performanceのために必要なこと. Japanese Journal of Acute Care Surgery 2017; 7 (1) :118.
- 160)金 史英, 萩原 純, 長嶺 嘉通, 重田 健太, 萩原 一樹, 瀧口 徹, 秋山 真之, 石木 義人, 石井 浩統, 増野 智彦, 小笠原 智子, 新井 正徳, 辻井 厚子, 横田 裕行：救命率を向上させる外科とIVRとのコラボレーション 腹部非外傷性疾患に対するIVR症例の検討. Japanese Journal of Acute Care Surgery 2017; 7 (1) :132.
- 161)荒木尚, 横田裕行, 布施明, 横堀将司, 恩田秀賢：救急・集中治療における臓器提供を前提としない脳死判定と患者対応の現況について. 脳死・脳蘇生 2017; 30 (1) :33.

- 162)須崎 真, 小原 俊彦, 若栗 大朗, 桐木 園子, 小野寺 直子, 兵働 英也, 宮内 雅人, 川井 真, 横田 裕行, 安武 正弘: 救急医療現場における他科連携 当院総合診療センターでの外科系他科との連携. 日本外科系連合学会誌 2017; 42 (3) :481.
- 163)布施明: 救急外科手術アトラス;治療戦略と緊急手術 38 爆傷への対応. 救急医学 2017; 41 (10) :1419 - 1426-1131.
- 164)本村 友一: 救急自動通報システム(D-Call Net)実通報とドクターヘリ出動事例 (特集 医療と自動車工学連携による交通事故対策) -- (交通事故自動通報). 自動車技術 2017; 71 (12) :40-44.
- 165)諸江 雄太, 畝本 恭子, 田上 隆, 福田 令雄, 金子 純也, 柴田 あみ, 田中 知恵, 小柳 正雄, 久野 将宗, 工藤 小織: 救急隊による外傷患者の重症判断の精度は高められるか?. 日本外傷学会雑誌 2017; 31 (2) :332.
- 166)田上 隆, 康永 秀生, 畝本 恭子, 久野 将宗, 工藤 小織, 北橋 章子, 福田 令雄, 金子 純也, 田中 知恵, 諸江 雄太, 横田 裕行: 救急領域における DPC データの活用. 日本救急医学会雑誌 2017; 28 (9) :377.
- 167)恩田 秀賢, 佐々木 和馬, 金谷 貴大, 五十嵐 豊, 中江 竜太, 横堀 将司, 布施 明, 横田 裕行: 断らない救急と脳神経外科 救命救急センターに搬送された血液透析患者における脳卒中症例の検討. Neurosurgical Emergency 2018; 22 (3) :275.
- 168)遠藤 彰, 白石 淳, 久志本 成樹, 齋藤 大蔵, 中原 慎二, 萩原 章嘉, 早川 峰司, 関根 和彦, 小倉 崇以, 田上 隆, 一二三 亨, 工藤 大介, 吉矢 和久: 新たな「外傷死の三徴」基準の外的妥当性を検証する前向き縦断研究. 日本外傷学会雑誌 2017; 31 (2) :224.
- 169)長嶺 嘉通, 金谷 貴大, 佐々木 和馬, 秋山 真之, 五十嵐 豊, 石井 浩統, 恩田 秀賢, 横堀 将司, 小笠原 智子, 新井 正徳, 辻井 厚子, 横田 裕行: 新規経口抗凝固薬内服中に脳出血を発生し、二期的手術により救命し得た 1 例. 日本医科大学医学会雑誌 2017; 13 (4) :251.
- 170)須崎 真, 藤田 和恵, 渥美 健一郎, 林 宏紀, 小野寺 直子, 兵働 英也, 小原 俊彦, 宮内 雅人, 齋藤 好信, 弦間 昭彦, 安武 正弘: 日本医科大学付属病院総合診療センターにおける感染症診療の現状と課題. 感染症学雑誌 2017; 91 (3) :459.
- 171)益子 一樹, 安松 比呂志, 飯田 浩章, 本村 友一, 齋藤 伸行, 八木 貴典, 原 義明, 松本 尚: 本邦における外傷センターの整備 社会に対する Outcome を重視した外傷センター整備が必要である. 日本外傷学会雑誌 2017; 31 (2) :182.
- 172)益子 一樹, 松本 尚, 原 義明, 本村 友一, 齋藤 伸行, 八木 貴典: 本邦における外傷センターの整備 社会に対する Outcome を重視した外傷センター整備が必要である. 日本外傷学会雑誌 2018; 32 (1) :34-37.
- 173)布施明, 坂慎弥, 布施理美, 宮内雅人, 横田裕行: 東京五輪・パラ大会期間中における SNS を用いた熱中症の予防対策と効果的対応手法についての検討. 日本救急医学会雑誌 2017; 28 (9) :446.
- 174)金 史英, 宮内 雅人, 重田 健太, 秋山 真之, 瀧口 徹, 石井 浩統, 小笠原 智子, 増野 智彦, 新井 正徳, 横田 裕行: 消化管出血の診断と治療 重症上部消化管出血に対する治療方針と成績. 日本腹部救急医学会雑誌 2018; 38 (2) :316.
- 175)瀧口 徹, 金 史英, 萩原 一樹, 石木 義人, 石井 浩統, 萩原 純, 小笠原 智子, 増野 智彦, 新井 正徳, 辻井 厚子, 横田 裕行: 消化管穿孔に対する open abdomen management の検討. 日本救急医学会雑誌 2017; 28 (9) :552.
- 176)布施明, 坂慎弥, 布施理美, 宮内雅人, 横田裕行: 熱中症の発生数を SNS ビッグデータから予測する. 日本救急医学会雑誌 2017; 28 (9) :433.
- 177)諸江 雄太, 田上 隆, 畝本 恭子, 久野 将宗, 工藤 小織, 武原 章子, 金子 純也, 小柳 正雄, 田中 知恵, 福田 令雄: 熱傷患者の病院前重症度評価では熱傷面積だけで十分である. 日本臨床救急医学会雑誌 2017; 20 (2) :342.
- 178)畝本 恭子, 田中 知恵, 金子 純也, 福田 令雄, 北橋 章子, 田上 隆, 諸江 雄太, 工藤 小織, 久野 将宗, 横田 裕行: 生産年齢層の遷延性意識障害症例に関する臨床的検討. Journal of Japan Coma Society: JJCS 2017; 26 (1) :61.
- 179)松田潔, 菊池広子, 石丸直樹, 遠藤広史, 山村英治, 渡邊頭弘, 長谷川智宏, 竹ノ下尚子, 望月徹: 病院前における熱傷診療標準化の取り組み. 熱傷 2017; 43 (5) :290.
- 180)益子 一樹, 安松 比呂志, 本村 友一, 飯田 浩章, 齋藤 伸行, 八木 貴典, 原 義明, 松本 尚: 病院前蘇生の開胸術からの社会復帰 6 例. 日本航空医療学会雑誌 2017; 18 (2) :224.
- 181)菊池広子, 松田潔, 望月徹, 遠藤広史, 石丸直樹, 渡邊頭弘, 城戸教裕, 長谷川智宏: 痙攣を主訴に当院三次救急へ搬送された症例の検討. 日本救急医学会雑誌 2017; 28 (9) :608.
- 182)小原 俊彦, 若栗 太朗, 出川 龍哉, 三枝 太郎, 須崎 真, 桐木 園子, 小野寺 麻加, 小野寺 直子, 兵働 英也, 松村 典昭, 川井 真, 安武 正弘: 発熱に伴い一過性の Brugada 症候群様の心電図変化をきたした 4 症例の検討. 日本病院総合診療医学会雑誌 2017; 13 (1) :104.
- 183)長嶺 嘉通, 瀧口 徹, 重田 健太, 秋山 真之, 石木 義人, 萩原 純, 石井 浩統, 増野 智彦, 小笠原 智子, 金 史英, 新井 正徳,

- 辻井 厚子, 横田 裕行 : 直腸穿通、壊死性腸炎に対し2度の緊急手術を要した潰瘍性大腸炎の1例. 日本救急医学会関東地方会雑誌 2018; 39 (1) :151.
- 184) 益子 一樹, 久城 正紀, 安松 比呂志, 本村 友一, 八木 貴典, 原 義明, 松本 尚 : 県境を越えたドクターヘリ広域連携 目指すべきは「広域連携」なのか?. 日本航空医療学会雑誌 2017; 18 (2) :60.
- 185) 関口 一星, 楮佐古 晃大, 横堀 将司, 朝倉 隆之, 金谷 貴大, 瀧口 徹, 増野 智彦, 布施 明, 横田 裕行, 吉野 由紀子, 須田 智, 中島 壯崇, 岨 康太, 塚本 剛志 : 神経再生治療法の確立を目指したラット急性硬膜下血腫モデルの行動実験評価. 日本医科大学医学会雑誌 2017; 13 (4) :246.
- 186) 松本 尚, 原 義明, 齋藤 伸行 : 私立医科大学における経営改善のための提案(Proposal to improve the profitability of private medical schools). 日本医療経営学会誌 2018; 12 (1) :5-14.
- 187) 永射 新司, 倉持 有希, 増野 智彦, 横堀 将司, 金 史英, 小笠原 智子, 新井 正徳, 宮内 雅人, 布施 明, 横田 裕行 : 緊急度判定による救急医療の最適化 救急現場でのqSOFA活用の可能性について. 日本臨床救急医学会雑誌 2017; 20 (2) :249.
- 188) 本村 友一, 松本 尚, 鈴木 基継, 西本 哲也, 宇治橋 貞幸 : 群集事故(胸腹部圧迫による外傷性窒息)のメカニズム解明に関する研究. 日本救急医学会雑誌 2017; 28 (9) :654.
- 189) 柴田 泰史, 横堀 将司, 横田 裕行, 橋本 政子, 遠藤 康実 : 聴性脳幹反応および瞳孔記録計 NPi-100 によって経時的に脳幹機能を評価した蘇生後脳症の2例. 日本臨床救急医学会雑誌 2017; 20 (2) :359.
- 190) 鈴木 基継, 西本 哲也, 本村 友一, 宇治橋 貞幸 : 胸部および腹部への圧迫状態が肺活量に及ぼす影響. バイオエンジニアリング講演会講演論文集(CD-ROM) 2017; 30th
- 191) 松田 明久, 山田 真吏奈, 松本 智司, 櫻澤 信行, 川野 陽一, 関口 久美子, 宮下 正夫, 内田 英二 : 脂質関連メディエーターに着目した消化器外科術後合併症の早期診断. 日本エンドトキシン・自然免疫研究会プログラム・抄録集 2017; 23rd
- 192) 横堀 将司 : 脳卒中を取り巻く社会の変化と対応. Intensivist 2017; 9 (4) :827-828.
- 193) 大田 聡美, 小田 有哉, 久城 正紀, 中山 文彦, 齋藤 伸行, 松本 尚 : 脾損傷に対する経カテーテル動脈塞栓術後に仮性動脈瘤を生じた小児の一例. 日本救急医学会雑誌 2017; 28 (9) :691.
- 194) 五味 基央, 原 義明, 飯田 浩章, 瀬尾 卓生, 安松 比呂志, 本村 友一, 益子 一樹, 八木 貴典, 松本 尚, 横田 裕行, 川井 真 : 腰椎破裂骨折に合併した頸髄硬膜外血腫の一例. 日本救急医学会関東地方会雑誌 2017; 38 (2) :422-427.
- 195) 瀧口 徹, 金 史英, 重田 健太, 萩原 一樹, 石木 義人, 石井 浩統, 萩原 純, 秋山 真之, 小笠原 智子, 増野 智彦, 新井 正徳, 辻井 厚子, 横田 裕行 : 腹腔内出血で発症し Segmental Arterial Mediolyysis(SAM)が原因と考えられた1例. Japanese Journal of Acute Care Surgery 2017; 7 (1) :185.
- 196) 原口 英里奈, 山本 真梨子, 阪本 太吾, 中山 文彦, 安松 比呂志, 本村 友一, 益子 一樹, 松本 尚 : 腹腔内血腫を契機に診断に至った右横隔膜損傷の1例. 日本腹部救急医学会雑誌 2018; 38 (2) :414.
- 197) 安松 比呂志, 益子 一樹, 松本 尚, 横田 裕行 : 腹部外傷治療戦略 当施設における腹部外傷治療戦略. 日本腹部救急医学会雑誌 2018; 38 (2) :328.
- 198) 関根 和彦, 久志本 成樹, 齋藤 大蔵, 中原 慎二, 萩原 章嘉, 早川 峰司, 白石 淳, 小倉 崇以, 田上 隆, 一二三 亨, 工藤 大介, 吉矢 和久 : 脾・十二指腸損傷に関する多施設レジストリー. 日本外傷学会雑誌 2017; 31 (2) :221.
- 199) 小田 有哉, 大田 聡美, 太田 崇伸, 山本 真梨子, 黒柳 美里, 本村 友一, 八木 貴典, 齋藤 伸行, 原 義明, 松本 尚, 横田 裕行 : 自動車事故における意識消失患者の検討. 日本救急医学会雑誌 2017; 28 (9) :654.
- 200) 石丸 直樹, 菊池 広子, 松田 潔 : 虫垂炎による高度癒着を認めた外傷性小腸損傷の術後に,短腸症候群となった1例. 日本腹部救急医学会雑誌 2018; 38 (2) :439.
- 201) 関口 久美子, 松田 明久, 山田 真吏奈, 松本 智司, 櫻澤 信行, 川野 陽一, 宮下 正夫, 内田 英二 : 血中ガレクチン3は大腸癌手術における術後合併症の予測因子である. Shock: 日本 Shock 学会雑誌 2017; 32 (1) :69.
- 202) 服部 裕次郎, 田原 重志, 山田 理, 山口 昌紘, 石坂 栄太郎, 森田 明夫 : 術前診断が困難であった鞍上部血管芽腫の一例. 日本神経内視鏡学会プログラム・抄録集 2017; 24th:70.
- 203) 服部 裕次郎, 田原 重志, 山田 理, 山口 昌紘, 石坂 栄太郎, 森田 明夫 : 術前診断が困難であった鞍上部血管芽腫の一例. 日本間脳下垂体腫瘍学会プログラム・抄録集 2018; 28th:121.



- 204)高橋 慶, 富永 直樹, 瀧口 徹, 川端 真里佐, 土合 昌巳, 五十嵐 豊, 萩原 純, 横堀 将司, 根井 貴人, 小泉 信夫, 増野 智彦, 辻井 厚子, 金 史英, 布施 明, 横田 裕行 : 詳細な病歴聴取により予測しえたレプトスピラ症の一例. 日本救急医学会関東地方会雑誌 2018; 39 (1) :110.
- 205)萩原純, 石井浩統, 金史英, 布施理美, 宮内雅人, 布施明, 横田裕行 : 警視庁 IMAT 誕生以降の当施設での取り組み. 日本臨床救急医学会雑誌 2017; 20 (2) :274.
- 206)五十嵐 豊, 萩原 純, 横堀 将司, 小笠原 智子, 増野 智彦, 布施 明, 横田 裕行 : 都市部におけるドクターカー運用の課題と展望 東京都におけるドクターカーの活動概況. 日本救急医学会関東地方会雑誌 2018; 39 (1) :76.
- 207)山本 真梨子, 齋藤 伸行, 益子 一樹, 八木 貴典, 原 義明, 松本 尚, 横田 裕行 : 重症体幹部外傷に対して大動脈遮断施行後に脳塞栓症を発生した4例の検討. 日本救急医学会雑誌 2017; 28 (9) :646.
- 208)恩田 秀賢, 佐々木 和馬, 金谷 貴大, 五十嵐 豊, 横堀 将司, 布施 明, 横田 裕行 : 重症外傷診療のイノベーション:基礎的、臨床的アプローチ 両側瞳孔散大急性硬膜下血腫に対する穿頭術の有用性. 日本救急医学会雑誌 2017; 28 (9) :430.
- 209)横堀 将司, 小井土 雄一, 宍戸 肇, 一二三 亨, 河北 賢哉, 白石 振一郎, 山村 英治, 黒田 泰弘, 松本 尚, 横田 裕行 : 重症熱中症に対する血管内冷却法の有効性と安全性 多施設前向き研究. 日本脳低温療法・体温管理学会プログラム・抄録集 2017; 20 回:60.
- 210)横堀 将司, 小井土 雄一, 宍戸 肇, 一二三 亨, 河北 賢哉, 白石 振一郎, 山村 英治, 黒田 泰弘, 松本 尚, 横田 裕行 : 重症熱中症に対する血管内冷却法の有効性と安全性 多施設前向き研究. 日本集中治療医学会雑誌 2018; 25 (Suppl.) :[CP10-6].
- 211)田上 隆, 畝本 恭子, 久野 将宗, 工藤 小織, 諸江 雄太, 北橋 章子, 福田 令雄, 金子 純也, 田中 知恵, 小林 純子, 横田 裕行 : 重症熱傷患者における初期輸液の指標として動的循環パラメーターは有用か? Pro. 日本救急医学会雑誌 2017; 28 (9) :489.
- 212)佐々木 和馬, 榎本 弘幸, 金谷 貴大, 瀧口 徹, 五十嵐 豊, 恩田 秀賢, 横堀 将司, 布施 明, 横田 裕行 : 重症肺炎球菌性髄膜炎から脳出血に至った一例. Journal of Japan Society of Neurological Emergencies & Critical Care 2017; 30 (1) :29.
- 213)横堀 将司, Bullock Ross, Gajavelli Shyam, Spurlock Markus, 佐々木 和馬, 金谷 貴大, 五十嵐 豊, 恩田 秀賢, 布施 明, 横田 裕行 : 重症頭部外傷における神経再生医療の応用 ラット銃創モデルによる検討. 脳死・脳蘇生 2017; 30 (1) :25.
- 214)横堀 将司 : 重症頭部外傷における脳蘇生の有効性と限界. 蘇生 2017; 36 (3) :138. doi: 10.11414/jjreanimatology.36.3\_138.
- 215)柴田あみ, 亦野文宏, 山田敏雅, 山口昌紘, 馬場栄一, 國保倫子, 大村朋子, 梅岡克哉, 金景成, 小南修司, 水成隆之, 村井保夫, 森田明夫, 横田裕行 : 重症頭部外傷予後予測因子としてのバイオマーカーの検討. 日本脳神経外傷学会プログラム・抄録集 2018; 41st:93.
- 216)萩原 章嘉, 久志本 成樹, 齋藤 大蔵, 中原 慎二, 早川 峰司, 白石 淳, 小倉 崇以, 関根 和彦, 田上 隆, 一二三 亨, 工藤 大介, 吉矢 和久 : 鈍的脾損傷および肝損傷治療の現状 前向き観察研究. 日本外傷学会雑誌 2017; 31 (2) :219.
- 217)新井 正徳, 金 史英, 萩原 純, 石井 浩統, 増野 智彦, 辻井 厚子, 萩原 一樹, 瀧口 徹, 横田 裕行 : 閉腹困難な open abdomen 症例に対し、両側腹直筋前葉反転法による早期腹壁再建を施行した症例の長期成績. Japanese Journal of Acute Care Surgery 2017; 7 (1) :177.
- 218)石丸直樹, 松田潔, 望月徹, 菊池広子, 遠藤広史, 渡邊頭弘, 城戸教裕, 長谷川智宏, 竹之下尚子 : 降下性壊死性縦隔炎 1 例の検討. 日本救急医学会雑誌 2017; 28 (9) :699.
- 219)長谷川智宏, 城戸教裕, 渡邊頭弘, 遠藤広史, 石丸直樹, 菊池広子, 松田潔, 松田潔, 望月徹, 竹ノ下尚子 : 院外心停止における早期アドレナリン投与と自己心拍再開の関係. 日本救急医学会雑誌 2017; 28 (9) :587.
- 220)横堀 将司, 関口 一星, 楮佐古 晃大, 中井 将人, 朝倉 隆之, 佐々木 和馬, 金谷 貴大, 五十嵐 豊, 中江 竜太, 恩田 秀賢, 増野 智彦, 布施 明, 横田 裕行 : 頭部外傷の基礎から臨床 重症頭部外傷における神経再生医療の応用 ラット急性硬膜下血腫モデルによる検討-パイロット研究. 日本脳神経外傷学会プログラム・抄録集 2018; 41 回:50.
- 221)横堀 将司, Spurlock Markus, Lee Stefania, Gajavelli Shyam, Bullock Ross, 金谷 貴大, 山口 昌紘, 五十嵐 豊, 恩田 秀賢, 金子 純也, 荒木 尚, 増野 智彦, 畝本 恭子, 布施 明, 横田 裕行 : 頭部外傷の治療限界への挑戦 再生医療を基にした頭部外傷治療戦略確立への挑戦. 日本外傷学会雑誌 2017; 31 (2) :191.
- 222)中江 竜太, 高山 泰広, 横堀 将司, 直江 康孝, 佐藤 秀貴, 横田 裕行, 鈴木 謙介, 兵頭 明夫 : 頭部外傷の治療限界への挑戦 重症頭部外傷の予後予測因子と治療戦略. 日本外傷学会雑誌 2017; 31 (2) :190.
- 223)田中 知恵, 畝本 恭子, 工藤 小織, 武原 章子, 金子 純也, 佐藤 慎 : 頭部外傷データベースを用いた来院時軽症であった重症化頭部外傷症例の周術期頭蓋内圧管理と予後の解析. 日本脳神経外傷学会プログラム・抄録集 2018; 41 回:99.
- 224)横堀将司, 金谷貴大, 山口昌紘, 五十嵐豊, 恩田秀賢, 荒木尚, 布施明, 横田裕行, 横堀将司, 金谷貴大, 山口昌紘, 五十嵐豊, 恩

- 田秀賢, 荒木尚, 布施明, 横田裕行: 頭部外傷治療における Targeted Temperature Management の趨勢. 日本集中治療医学会学術集会 2017; 44th:ROMBUNNO.SS8 - 4 (WEB ONLY).
- 225)横堀將司, 金谷貴大, 山口昌紘, 五十嵐豊, 恩田秀賢, 荒木尚, 布施明, 横田裕行, 横堀將司, 金谷貴大, 山口昌紘, 五十嵐豊, 恩田秀賢, 荒木尚, 布施明, 横田裕行: 頭部外傷治療における Targeted Temperature Management の趨勢. 日本集中治療医学会学術集会 2017; 27 (3) :468-487. doi: 10.1007/s12028-017-0469-5.
- 226)小林 純子, 土合 昌巳, 金谷 貴大, 萩原 一樹, 石木 義人, 塚本 剛志, 恩田 秀賢, 横堀 將司, 新井 正徳, 横田 裕行: 頸椎後方脱臼に椎骨動脈閉塞を合併し待機的に頸椎固定術を行った一例. 日本外傷学会雑誌 2017; 31 (2) :288.
- 227)田中 知恵, 畝本 恭子, 久野 将宗, 工藤 小織, 田上 隆, 諸江 雄太, 北橋 章子, 福田 令雄, 金子 純也: 頸髄損傷急性期における固定術の施行時期(24時間以内と7日以内)と死亡率. 日本救急医学会雑誌 2017; 28 (9) :724.
- 228)平林 篤志, 中嶋 隆夫, 橋口 宏, 萩原 祐介, 阿部 一雅, 園木 謙太郎, 飯田 浩章, 原 義明, 松本 尚, 高井 信朗: 頸髄損傷症例における初診時重症度と予後の関連. 日本整形外科学会雑誌 2018; 92 (3) :S1077.
- 229)久城 正紀, 齋藤 伸行, 中山 文彦, 川俣 博志, 小田 有哉, 岡田 一宏, 本村 友一, 八木 貴典, 原 義明, 松本 尚, 横田 裕行: 骨盤外傷における Angiography の適応. 日本救急医学会雑誌 2017; 28 (9) :596.
- 230)崔祥大, 渡邊頭弘, 松田潔, 菊池広子, 石丸直樹, 城戸教裕, 長谷川智宏, 足立好司, 立山幸次郎, 鈴木雅規, 廣中浩平, 喜多村孝雄: 髄液耳漏に対するスパイナルドレナージにて脳腫脹をきたした1例. 日本脳神経外傷学会プログラム・抄録集 2018; 41st:114.
- 231)山村英治, 松田潔, 菊池広子, 石丸直樹, 遠藤広史, 渡邊頭弘, 長谷川智宏: 高齢者の歩行中の転倒は危険だ—高位頸髄損傷の2例—. 日本外傷学会抄録号 2017; 31st (2) :334.
- 232)坪井 昭典, 西本 哲也, 本村 友一: 高齢者シートベルト着用乗員の胸部損傷の解析. バイオエンジニアリング講演会講演論文集 2017; 2017.29:2E13. doi: 10.1299/jsmebio.2017.29.2e13.
- 233)中江 竜太, 横堀 將司, 佐々木 和馬, 金谷 貴大, 五十嵐 豊, 恩田 秀賢, 高山 泰広, 直江 康孝, 佐藤 秀貴, 布施 明, 横田 裕行: 高齢者頭部外傷における凝固線溶系マーカーの経時変化の特徴と治療戦略. 日本脳神経外傷学会プログラム・抄録集 2018; 41回:86.

## 著書

- 1) 横堀將司: [分担執筆]【新人ナース応援号 日本一カンタン・わかりやすい 脳神経外科疾患ノート】 脳挫傷. Brain Nursing. 2017; pp.345-348, メディカ出版.
- 2) 横堀將司, 横田裕行: [分担執筆] 特集 神経集中治療 頭部外傷の病態と頭蓋内圧管理. ICU と CCU. 2017; pp.669-681, 医学図書出版.
- 3) 横堀將司: [共著] 脳卒中を取り巻く社会の変化と対応. Intensivist. 2017; pp.827-828, メディカルサイエンスインターナショナル.
- 4) 宮内 雅人: [分担執筆] 酸・アルカリ中毒. Intensivist. 2017, メディカルサイエンスインターナショナル.
- 5) 横堀將司, 金谷貴大, 横田裕行: [共著]【救急外来で役立つ!-意識障害の診かた-"あたま"と"からだ"で考える】 意識障害 "あたま"が原因の意識障害 非痙攣性てんかん重積. Medicina. 2017; pp.1991-1996, 医学書院.
- 6) 富永直樹, 横堀將司, 横田裕行: [分担執筆] 鎮痛 鎮静の実際 頭蓋内疾患. 救急医学. 2017; pp.1646-1652, へるす出版.
- 7) 横堀將司, 横田裕行: [分担執筆] 熱中症の集中治療. (改訂第2版) 熱中症~日本を襲う熱波の恐怖~. 2017; pp.38-47, へるす出版.

## 学会発表

- 1) Takashi Tagami (Invited Speaker): Amiodarone Compared with Lidocaine for Out-Of-Hospital Cardiac Arrest with Refractory Ventricular Fibrillation on Hospital Arrival: a Nationwide Database Study. Tokyo Resuscitation Academy 2017. (March 15, 2017, Tokyo, Japan)., 2017.
- 2) Shoji Yokobori: Benefit of surface cooling or intravascular cooling in TTM. International Conference, Neurological and Neurosurgical Critical Care 2018, March 31, Seoul, Korea, 2018. 3.
- 3) 松本典子: CAS・CEA の術前術後の評価. 第131回医用超音波講義講習会, 2017. 12.
- 4) Shoji Yokobori: Clinical Trials Update of recent evidences in TBI Treatment. AO NEURO March 11, 2017 Tokyo., 2017.
- 5) Takashi Tagami (Invited speaker): Emergency Medicine Research 4.0 Collaboration is a key. Annual Meeting of Thai College of Emergency Physicians, 2018. 3.
- 6) Shoji Yokobori: HOPES Trial: The randomized multicenter controlled trial for preoperative early-induced hypothermia for TBI. 8th annual

- Therapeutic Hypothermia and Temperature Management: Current and Future Directions March 15-16 Miami FL USA. 2018, 2018. 3.
- 7) Takashi Tagami (Invited Speaker) : Hemodynamic monitoring: what is new?. The 37th International Symposium on Intensive Care and Emergency Medicine (March 22, 2017, Brussels, Belgium), 2017.
  - 8) Takashi Tagami (Invited Speaker) : Hospital triage of the patient after cardiac arrest - Before the ICU. The 37th International Symposium on Intensive Care and Emergency Medicine (March 23, 2017, Brussels, Belgium), 2017.
  - 9) 横堀将司 : ICP モニタリングは神経集中治療に必須のモニターである！. 日本救急医学会総会・学術集会 (第 45 回) . (大阪) , 2017. 11.
  - 10) 横堀将司, 佐々木和馬, 金谷貴大, 五十嵐豊, 瀧口徹, 石木義人, 石井浩統, 恩田秀賢, 増野智彦, 布施明, 横田裕行 : III 度熱中症に対する血管内冷却法を用いた治療の検討 : 単施設観察研究. 日本救命医療学会総会・学術集会 (第 32 回) . (横浜) , 2017. 9.
  - 11) Takanobu Otaguro, Kazuhiro Okada, Nobuyuki Saito, Takanori Yagi, Yoshiaki Hara, Hisashi Matsumoto : Impact of admission hyperfibrinolysis diagnosed by Fibrin/Fibrinogen Degradation Product in patients with severe trauma. American Association for Surgery of Trauma 76th Annual Meeting, 2017. 9.
  - 12) Shoji Yokobori : Intravascular Temperature Management for Heat Stroke. 8th annual Therapeutic Hypothermia and Temperature Management: Current and Future Directions March 15-16 Miami FL USA. 2018, 2018. 3.
  - 13) 田上隆(教育講演) : JAAM 統合データベース構想. 日本臨床救急医学会総会・学術集会(第 20 回) 2017 年 5 月大阪, 2017.
  - 14) 中江竜太, 松本佳之, 藤井淑子, 杉浦嘉樹, 平田浩二, 河村洋介, 鈴木亮太郎, 高野一成, 永石雅也, 田中喜展, 兵頭明夫, 鈴木謙介 : Pipeline Embolization Device を用いた大型・巨大脳動脈瘤治療の初期・中期成績と問題点. 第 33 回 日本脳神経血管内治療学会総会, 2017. 11.
  - 15) 中江竜太, 滝川知司, 松本佳之, 藤井淑子, 井上佑樹, 杉浦嘉樹, 平田浩二, 河村洋介, 鈴木亮太郎, 高野一成, 永石雅也, 田中喜展, 兵頭明夫, 鈴木謙介, 横田裕行 : Pipeline 留置後における MRI T2\*による微小出血検出の意義. Stroke2018, 2018. 3.
  - 16) Takashi Tagami (Invited Speaker) : Scientific Research on Resuscitation. Identifying a question, choosing a study design: PICO and FINER. The art of resuscitation workshop 2017. (November 30, 2017, Penang, Malaysia), 2017.
  - 17) Takashi Tagami (Invited Speaker) : Severe burns. The 37th International Symposium on Intensive Care and Emergency Medicine (March 23, 2017, Brussels, Belgium), 2017.
  - 18) Takashi Tagami (Invited Speaker) : Still a place for any antiarrhythmic agents?. The 37th International Symposium on Intensive Care and Emergency Medicine (March 24, 2017, Brussels, Belgium), 2017.
  - 19) Shoji Yokobori : TTM in Emergency Medicine: Past, Present and Future. The 20th Annual Congress of the Chinese Society of Emergency Medicine June 22-25, 2017 (Jinan, China) invited, 2017. 7.
  - 20) Takashi Tagami (Invited Speaker) : The fifth link in the chain of survival concept. Tokyo Resuscitation Academy 2017. (March 15, 2017, Tokyo, Japan), 2017.
  - 21) 横堀将司, 佐々木和馬, 金谷貴大, 五十嵐豊, 瀧口徹, 萩原純, 恩田秀賢, 増野智彦, 布施明, 横田裕行 : “Love EM 救急への想い” 命を救う喜びがわたしたちを突き動かす. 日本救急医学会総会・学術集会 (第 45 回) . (大阪) , 2017. 11.
  - 22) 横堀 将司 : III 度熱中症に対する血管内冷却法を用いた治療の検討 : 単施設観察研究. 180. 横堀将司 佐々木和馬 金谷貴大 五十嵐豊 瀧口徹 石木義人 石井浩統 恩田秀賢 増野智彦 布施明 横田裕行, 2017. 12.
  - 23) 田上隆(教育講演) : はじめて臨床研修を行う際に必要な「発想・実行・執筆」の方法 : 私の失敗経験から将来展望まで. 第 1 回 JSEPTIC-CTG 臨床研修セミナー, 2017.
  - 24) 佐々木和馬, 金谷貴大, 五十嵐豊, 石木義人, 中江竜太, 恩田秀賢, 横堀将司, 布施明, 横田裕行 : ケイセントラを使用し迅速に凝固異常を改善し, 開頭手術を行えた 1 例. 日本脳神経外傷学会 (第 41 回) . (東京) , 2018. 2.
  - 25) 佐々木和馬, 金谷貴大, 重田健太, 五十嵐豊, 石木義人, 塚本剛志, 恩田秀賢, 横堀将司, 布施明, 横田裕行 : スキューバダイビング後に両側椎骨動脈解離から小脳梗塞を来した 1 例. 日本脳神経外科救急学会 (第 23 回) . (奈良) , 2018. 2.
  - 26) 中江竜太, 松本佳之, 藤井淑子, 杉浦嘉樹, 平田浩二, 河村洋介, 鈴木亮太郎, 高野一成, 永石雅也, 田中喜展, 兵頭明夫, 鈴木謙介 : ステント併用脳動脈瘤コイル塞栓術の中期・長期治療成績と今後の展望. 第 33 回 日本脳神経血管内治療学会総会, 2017. 11.
  - 27) 中川敦寛, 刈部博, 萩野雅宏, 横堀将司, 末廣栄一, 前田剛 : スポーツ関連脳振盪:トレンド,ステークホルダー,アンメットニーズ. 日本脳神経外傷学会プログラム・抄録集, 2018. 2.

- 28) 永倉康佑, 五十嵐豊, 野中将太, 萩原隆弘, 秋山真之, 萩原純, 横堀将司, 増野智彦, 小笠原智子, 新井正徳, 辻井厚子, 布施明, 横田裕行: ドクターカーの運用状況に関する全国調査. 日本医科大学医学会総会(第85回). (東京), 2017. 9.
- 29) 三環系抗鬱薬中毒による致死的不整脈に対してVA ECMO および血漿交換を導入し救命し得た一例. 第45回日本集中治療医学会学術集会, 2018. 2.
- 30) 恩田秀賢, 佐々木和馬, 金谷貴大, 五十嵐豊, 横堀将司, 布施明, 横田裕行: 両側瞳孔散大急性硬膜下血腫に対する穿頭術の有用性. 日本救急医学会総会・学術集会(第45回). (大阪), 2017. 10.
- 31) 須崎 真, 小原 俊彦, 若栗 大朗, 桐木 園子, 小野寺 直子, 兵働 英也, 柴田 泰史, 宮内 雅人, 川井 真, 安武 正弘, 横田 裕行: 二次救急医療における臨床検査の現状と課題 救急医が必要とする検査情報とその要件 時間・精度・安全. 日本臨床救急医学会雑誌, 2017. 4.
- 32) 横堀 将司: 再生医療を基にした頭部外傷治療戦略確立への挑戦. 第31回 日本外傷学会総会, 2017. 5.
- 33) 田上 隆(教育セミナー): 医学論文構造の理解と執筆メソッド. 第45回日本救急医学会総会・学術集会 2017年10月大阪, 2017.
- 34) 瀧口徹, 金史英, 萩原純, 石井浩統, 小笠原智子, 萩原令彦, 石木義人, 萩原一樹, 小林純子, 土合昌巳, 新井正徳, 増野智彦, 辻井厚子, 横田裕行: 外傷にECMOを導入し、送血により肝臓傷部に再出血を来した一例. 日本救急医学会 関東地方会, 2017.
- 35) 荒木尚, 横田裕行, 布施明, 横堀将司, 恩田秀賢: 多死社会における脳死の位置付けについて 一臓器提供を前提としない脳死に関する全国調査より一. 日本救急医学会総会・学術集会(第45回). (大阪), 2017. 10.
- 36) 荒木尚, 横田裕行, 布施明, 横堀将司, 恩田秀賢: 多死社会における脳死の位置付けについて一臓器提供を前提としない脳死に関する全国調査より一. 日本救急医学会雑誌, 2017. 9.
- 37) 中江竜太, 高山泰広, 横堀将司, 直江康孝, 佐藤秀貴, 横田裕行, 鈴木謙介, 兵頭明夫: 多発外傷に合併する重症頭部外傷の治療戦略. 日本救急医学会総会・学術集会(第45回). (大阪), 2017. 10.
- 38) 田上 隆(教育セミナー): 循環呼吸動態管理 現時点のエビデンスとこれから向かうべき方向. 第44回日本集中治療医学会学術集会 2017年3月北海道, 2017.
- 39) 横堀将司, 金谷貴大, 山口昌紘, 五十嵐豊, 瀧口徹, 石木義人, 萩原純, 石井浩統, 恩田秀賢, 増野智彦, 布施明, 横田裕行: 心停止後症候群に対する神経集中治療: Tailored treatment strategy への挑戦. 日本蘇生科学シンポジウム(第10回). (横浜), 2017. 7.
- 40) 横堀将司, 佐々木和馬, 金谷貴大, 五十嵐豊, 瀧口徹, 石井浩統, 石木義人, 恩田秀賢, 増野智彦, 布施明, 横田裕行: 心停止患者における多元的モニタリングを用いた蘇生限界の検討. 日本救急医学会総会・学術集会(第45回). (大阪), 2017. 10.
- 41) 長嶺嘉通, 横堀将司, 佐々木和馬, 金谷貴大, 五十嵐豊, 榎本弘幸, 恩田秀賢, 増野智彦, 布施明, 横田裕行: 心停止患者における迅速モニタリングを用いた蘇生予測因子の検討. 日本脳死・脳蘇生学会・学術集会(第30回). (福岡), 2017. 6.
- 42) 風間洸哉, 横堀将司, 佐々木和馬, 長嶺嘉通, 金谷貴大, 重田健太, 瀧口徹, 石井浩統, 石木義人, 恩田秀賢, 増野智彦, 布施明, 横田裕行: 心肺停止後症候群患者における自動瞳孔径を用いた患者転帰予測. 日本医科大学医学会総会(第85回). (東京), 2017. 9.
- 43) 中江竜太, 横堀将司, 佐々木和馬, 金谷貴大, 五十嵐豊, 恩田秀賢, 布施明, 横田裕行, 鈴木謙介: 抗血栓療法中の患者における頭部外傷の特徴と、抗血栓薬中止・再開に関する検討. 日本脳神経外傷学会(第41回). (東京), 2018. 2.
- 44) 瀧口徹, 金史英, 萩原一樹, 石木義人, 石井浩統, 萩原純, 萩原令彦, 小笠原智子, 増野智彦, 新井正徳, 辻井厚子, 横田裕行: 救命できなかった十二指腸断端縫合不全の2例. 日本外傷学会, 2017.
- 45) 恩田秀賢, 佐々木和馬, 金谷貴大, 五十嵐豊, 中江竜太, 横堀将司, 布施明, 横田裕行: 救命救急センターに搬送された血液透析患者における脳卒中症例の検討. 日本脳神経外科救急学会(第23回). (奈良), 2018. 2.
- 46) 荒木尚, 横田裕行, 布施明, 横堀将司, 恩田秀賢: 救急・集中治療における臓器提供を前提としない脳死判定と患者対応の現況について. 脳死・脳蘇生, 2017. 6.
- 47) 須崎 真, 小原 俊彦, 若栗 大朗, 桐木 園子, 小野寺 直子, 兵働 英也, 宮内 雅人, 川井 真, 横田 裕行, 安武 正弘: 救急医療現場における他科連携 当院総合診療センターでの外科系他科との連携. 日本外科系連合学会誌, 2017. 5.
- 48) 太田黒 崇伸, 久城 正紀, 近田 祐介, 岡田 一宏, 八木 貴典, 齋藤 伸行, 原 義明, 松本 尚, 横田 裕行: 救急外来受診患者における quick Sepsis-Related Organ Failure Assessment(qSOFA)を用いた敗血症診断の検証. 第44回日本救急医学会総会・学術集会, 2017. 10.
- 49) 永射新司, 倉持有希, 増野智彦, 横堀将司, 金史英, 小笠原智子, 新井正徳, 宮内雅人, 布施明, 横田裕行: 救急現場でのqSOFA活用の可能性について. 日本臨床救急医学会総会・学術集会(第20回). (東京), 2017. 7.
- 50) 田上隆(教育講演): 救急領域におけるDPCデータの活用. 第45回日本救急医学会総会・学術集会 2017年10月大阪, 2017.

- 51) 田上 隆(教育講演)：敗血症とDICの総合管理. 日本婦人科・新生児血液学会学術集会(第27回) 2017年6月福島, 2017.
- 52) 萩原純, 増野智彦, 五十嵐豊, 横堀将司, 高橋聡子, 榎由里, 竹原典子, 布施明, 横田裕行：新病棟への移転に伴う多数の重症患者の搬送経験・病院避難を想定して. 日本集団災害医学会総会・学術集会(第23回). (横浜), 2018. 2.
- 53) 長嶺嘉通, 金谷貴大, 佐々木和馬, 秋山真之, 五十嵐豊, 石井浩統, 恩田秀賢, 横堀将司, 小笠原智子, 新井正徳, 辻井厚子, 横田裕行：新規経口抗凝固薬内服中に脳出血を発生し, 二期の手術により救命し得た1例. 日本医科大学医学会総会(第85回). (東京), 2017. 9.
- 54) 須崎 真, 藤田 和恵, 渥美 健一郎, 林 宏紀, 小野寺 直子, 兵働 英也, 小原 俊彦, 宮内 雅人, 齋藤 好信, 弦間 昭彦, 安武 正弘：日本医科大学付属病院総合診療センターにおける感染症診療の現状と課題. 感染症学雑誌, 2017. 5.
- 55) 五十嵐豊, 萩原純, 横堀将司, 小笠原智子, 増野智彦, 布施明, 横田裕行：東京都におけるドクターカーの活動概況. 日本救急医学会関東地方会(第68回). (東京), 2018. 1.
- 56) 金史英, 萩原一樹, 瀧口徹, 石木義人, 石井浩統, 横堀将司, 塚本剛志, 増野智彦, 布施明, 横田裕行：東京都における外傷センターの要件はないか～Acute care surgeonの立場から～. 日本臨床救急医学会総会・学術集会(第20回). (東京), 2017. 5.
- 57) 中江竜太, 滝川知司, 松本佳之, 藤井淑子, 井上佑樹, 杉浦嘉樹, 平田浩二, 河村洋介, 鈴木亮太郎, 高野一成, 永石雅也, 田中喜展, 兵頭明夫, 鈴木謙介, 横田裕行：母血管温存が必要な紡錘状椎骨動脈解離に対するステント併用コイル塞栓術. Stroke2018, 2018. 3.
- 58) 横堀将司, 佐々木和馬, 金谷貴大, 山口昌紘, 五十嵐豊, 中江竜太, 鈴木剛, 金子純也, 恩田秀賢, 高山泰広, 直江康孝, 佐藤秀貴, 畝本恭子, 布施明, 横田裕行：治療標準化は頭部外傷合併多発外傷患者の転帰を改善させたのか? - JATECの先に目指すもの -. 日本脳神経外科学会第76回学術総会(第76回). (名古屋), 2017. 10.
- 59) 瀧口徹, 金史英, 萩原一樹, 石木義人, 石井浩統, 萩原純, 小笠原智子, 増野智彦, 新井正徳, 辻井厚子, 横田裕行：消化管穿孔に対するopen abdomen managementの検討. 日本救急医学会, 2017.
- 60) 関口一星, 楮佐古晃大, 横堀将司, 朝倉隆之, 金谷貴大, 瀧口徹, 増野智彦, 布施明, 横田裕行, 塚本剛志, 吉野由紀子, 須田智, 中島壯崇, 岨康太：神経再生治療法の確立を目指したとしたラット急性硬膜下血腫モデルの行動実験評価. 日本医科大学医学会総会(第85回). (東京), 2017. 9.
- 61) 横堀 将司：神経集中治療における体温管理のコツとピットフォール. 福岡大学体温管理・蘇生セミナー, 2018. 3.
- 62) 柴田泰史, 横堀将司, 横田裕行, 橋本政子, 遠藤康史：聴性脳幹反応および瞳孔記録計 NPi-100 によって経時的に脳幹機能を評価した蘇生後脳症の2例. 日本臨床救急医学会総会・学術集会(20). (東京都), 2017. 5.
- 63) 恩田秀賢, 佐々木和馬, 金谷貴大, 五十嵐豊, 横堀将司, 布施明, 横田裕行：脳卒中後てんかんへの対応 NCSEを含めて. 日本脳卒中学会総会学術集会(第43回). (福岡), 2018. 3.
- 64) 松本典子, 木村和美：脳卒中急性期治療と神経超音波. 第36回日本脳神経超音波学会総会, 2017. 6.
- 65) 横堀将司：脳蘇生を図るための方策 てんかん治療を中心として. 群馬 Critical Trauma Meeting(第1回). (前橋), 2017. 12.
- 66) 瀧口徹, 金史英, 重田健太, 萩原一樹, 石木義人, 石井浩統, 萩原純, 秋山真之, 小笠原智子, 増野智彦, 新井正徳, 辻井厚子, 横田裕行：腹腔内出血で発生し Segmental Arterial Mediolyysis(SAM)が原因と考えられた1例. 日本 Acute Care Surgery 学会, 2017.
- 67) 田上 隆, 教育セミナー：臨床研究を行う際に必要な「発想」と「解析方法」：提案と今後の展望. 第45回日本救急医学会総会・学術集会 2017年10月大阪, 2017.
- 68) 田上隆(教育講演)：若手集中治療医・看護師・臨床工学士が、はじめて臨床研究を行う際に必要な発想・解析・執筆方法. 日本集中治療医学会第1回東海北陸支部学術集会 2017年6月愛知, 2017.
- 69) 高橋慶, 富永直樹, 瀧口徹, 川端真里佐, 土合昌巳, 五十嵐豊, 萩原純, 横堀将司, 根井貴人, 小泉信夫, 増野智彦, 辻井厚子, 金史英, 布施明, 横田裕行：詳細な病歴聴取により予測しえたレプトスピラ症の1例. 日本救急医学会関東地方会(第68回). (東京), 2018. 1.
- 70) 横堀将司, 小井土雄一, 一二三亨, 河北賢哉, 白石振一郎, 山村英治, 黒田泰弘, 松本尚, 横田裕行：重症熱中症に対する血管内冷却法の有効性と安全性：多施設前向き研究. 日本脳低温療法学会(第20回). (熊本), 2017. 7.
- 71) 横堀将司, 小井土雄一, 宍戸肇, 一二三亨, 河北賢哉, 白石振一郎, 山村英治, 黒田泰弘, 松本尚, 横田裕行：重症熱中症に対する血管内冷却法の有効性と安全性：多施設前向き研究. 第45回日本集中治療学会, 2018. 2.
- 72) 佐々木和馬, 榎本弘幸, 金谷貴大, 瀧口徹, 五十嵐豊, 恩田秀賢, 横堀将司, 布施明, 横田裕行：重症肺炎球菌性髄膜炎から脳出血

- に至った1例. 日本神経救急学会学術集会(第31回). (東京), 2017. 6.
- 73) 横堀将司, BullockR, ShyamG, MarkusS, 佐々木和馬, 金谷貴大, 五十嵐豊, 恩田秀賢, 布施明, 横田裕行: 重症頭部外傷における神経再生医療の応用: ラット銃創モデルによる検討. 日本脳死・脳蘇生学会総会・学術集会(第30回). (福岡), 2017. 6.
- 74) 横堀将司, 関口一星, 楮佐古晃大, 中井将人, 朝倉隆之, 佐々木和馬, 金谷貴大, 五十嵐豊, 中江竜太, 恩田秀賢, 増野智彦, 布施明, 横田裕行: 重症頭部外傷における神経再生医療の応用: ラット急性硬膜下血腫モデルによる検討-パイロット研究. 日本脳神経外傷学会(第41回). (東京), 2018. 2.
- 75) 横堀将司: 重症頭部外傷における脳蘇生の有効性と限界. 日本蘇生学会第36回大会. (東京), 2017. 11.
- 76) 中江竜太, 高山泰広, 横堀将司, 直江康孝, 佐藤秀貴, 横田裕行, 鈴木謙介, 兵頭明夫: 重症頭部外傷の予後予測因子と治療戦略. 日本外傷学会総会・学術集会(第31回). (横浜), 2017. 6.
- 77) 多村知剛, 並木淳, 菅原洋子, 関根和彦, 葉季久雄, 金谷貴大, 横堀将司, 横田裕行, 佐々木淳一: 院外心停止後患者に対する自己心拍再開直後の定量的瞳孔計による予後予測. 日本救急医学会総会・学術集会(第45回). (大阪), 2017. 10.
- 78) 田上隆(特別講演): 集中治療室での「循環呼吸動態管理」: 経肺熱希釈法モニターによる評価. 第46回沖縄県麻酔・集中治療研究会 2017年3月沖縄, 2017.
- 79) 小林純子, 横田裕行, 新井正徳, 横堀将司, 恩田秀賢, 塚本剛志, 石木義人, 萩原一樹, 金谷貴大, 土合昌巳: 頸椎後方脱臼に椎骨動脈閉塞を合併し待機的に頸椎固定術を行った1例. 日本外傷学会総会・学術集会(第31回). (横浜), 2017. 6.
- 80) 高齢者のV-A ECMO 送血管留置に伴う合併症を生じた2例. 第68回日本救急医学会関東地方会学術集会, 2018. 1.
- 81) 中江竜太, 横堀将司, 佐々木和馬, 金谷貴大, 五十嵐豊, 恩田秀賢, 高山泰広, 直江康孝, 佐藤秀貴, 布施明, 横田裕行: 高齢者頭部外傷における凝固線溶系マーカーの経時変化の特徴と治療戦略. 日本脳神経外傷学会(第41回). (東京), 2018. 2.

## 27 形成再建再生医学分野

### 研究業績

#### 論文等

- 1) ABDELHAKIM Mohamed, ABDELHAKIM Mohamed, 小川 令 : 2014 年に形成再建再生医学分野において百束比古教授,小川令教授の下で学んだ経験. 日本医科大学医学会雑誌 2017; 13 (3)
- 2) 権 知華, 秋元 正宇 : 3D プリンタによるカスタム鼻孔レティナ作成の試み. 日本シミュレーション外科学会誌 2017; 25 (1) :14.
- 3) 秋元 正宇 : 3D プリンタによる医用計測器自家製作の試み. 日本医科大学医学会雑誌 2017; 13 (4) :255-256.
- 4) Whitney L. Quong, Yasuji Kozai, Rei Ogawa : A Case of Keloids Complicated by Castleman's Disease: Interleukin-6 as a Keloid Risk Factor. PLASTIC AND RECONSTRUCTIVE SURGERY-GLOBAL OPEN 2017; 5 (5) :e1336. doi: 10.1097/GOX.0000000000001336.
- 5) Hiroshi Mizuno, Morikuni Tobita, Rei Ogawa, Hakan Orbay, Juri Fujimura, Shimpei Ono, Natsuko Kakudo, Kenji Kusumoto, Hiko Hyakusoku : Adipose-Derived Stem Cells in Regenerative Medicine. Principles of Gender-Specific Medicine: Gender in the Genomic Era: Third Edition 2017:459-479. doi: 10.1016/B978-0-12-803506-1.00050-4.
- 6) Yukiko Yoshino, Hyakuzoh Ueda, Simpei Ono, Rei Ogawa : An External Wire Frame Fixation Method of Skin Grafting for Burn Reconstruction. JOURNAL OF BURN CARE & RESEARCH 2018; 39 (1) :60-64. doi: 10.1097/BCR.0000000000000614.
- 7) Hsu CK, Lin HH, Harn HI, Ogawa R, Wang YK, Ho YT, Chen WR, Lee YC, Lee JY, Shieh SJ, Cheng CM, McGrath JA, Tang MJ : Caveolin-1 Controls Hyperresponsiveness to Mechanical Stimuli and Fibrogenesis-Associated RUNX2 Activation in Keloid Fibroblasts. The Journal of investigative dermatology 2018; 138 (1) :208-218. doi: 10.1016/j.jid.2017.05.041.
- 8) 秋元正宇 : DIY 三次元処理のスズメ. 日本形成外科学会総会・学術集会プログラム・抄録集 2017; 60th
- 9) Al Azrak M, Ogawa R : Dermatologic Microsutures Using Human Hair: A Useful Technique in Cutaneous Stitching. Eplasty 2017; 17:e24.
- 10) Rei Ogawa, Mahendra Daya, Dennis P. Orgill : Discussion: Percutaneous Mesh Expansion: A Regenerative Wound Closure Alternative. PLASTIC AND RECONSTRUCTIVE SURGERY 2018; 141 (2) :458-459. doi: 10.1097/PRS.00000000000004058.
- 11) Chikage Noishiki, Gen Takagi, Yoshiaki Kubota, Rei Ogawa : Endothelial dysfunction may promote keloid growth. WOUND REPAIR AND REGENERATION 2017; 25 (6) :976-983. doi: 10.1111/wrr.12601.
- 12) Takuya Yagi, Motohiko Yamazaki, Riuko Ohashi, Rei Ogawa, Hiroyuki Ishikawa, Norihiko Yoshimura, Masanori Tsuchida, Yoichi Ajioka, Hideo Aoyama : HRCT texture analysis for pure or part-solid ground-glass nodules: distinguishability of adenocarcinoma in situ or minimally invasive adenocarcinoma from invasive adenocarcinoma. JAPANESE JOURNAL OF RADIOLOGY 2018; 36 (2) :113-121. doi: 10.1007/s11604-017-0711-2.
- 13) Noriko M Matsumoto, Wei-Xia Peng, Masayo Aoki, Satoshi Akaishi, Ryuji Ohashi, Rei Ogawa, Zenya Naito : Histological analysis of hyalinised keloidal collagen formation in earlobe keloids over time: collagen hyalinisation starts in the perivascular area. International wound journal 2017; 14 (6) :1088-1093. doi: 10.1111/iwj.12763.
- 14) Chenyu Huang, Longwei Liu, Zhifeng You, Bingjie Wang, Yanan Du, Rei Ogawa : Keloid progression: a stiffness gap hypothesis. INTERNATIONAL WOUND JOURNAL 2017; 14 (5) :764-771. doi: 10.1111/iwj.12693.
- 15) Nao Wakabayashi, Hiroki Umezawa, Noriko M Matsumoto, Yoko Endo, Zenya Naito, Rei Ogawa : Low-grade Cribriform Cystadenocarcinoma: A Review of the Literature and Case Report. Plastic and reconstructive surgery. Global open 2017; 5 (4) :e1306. doi: 10.1097/GOX.0000000000001306.
- 16) 権 知華, 小野 真平, 小川 令 : MDCT を用いた伏在動脈・下行膝動脈穿通枝の解剖学的検討. 日本マイクロサージャリー学会学術集会プログラム・抄録集 2017; 44 回:183.
- 17) Shimpei Ono, Sandeep J. Sebastin, Hiroyuki Ohi, Kevin C. Chung : Microsurgical Flaps in Repair and Reconstruction of the Hand. HAND CLINICS 2017; 33 (3) :425-+. doi: 10.1016/j.hcl.2017.04.001.
- 18) Masayo Aoki, Satoshi Akaishi, Noriko M Matsumoto, Takuya Tsuge, Ken Kubomura, Midori Nishikawa, Shunichi Nomoto, Rei Ogawa : Periauricular Keloids on Face-Lift Scars in a Patient with Facial Nerve Paralysis. Plastic and reconstructive surgery. Global open 2017;

- 5 (7) :e1417. doi: 10.1097/GOX.0000000000001417.
- 19) Goh Akiyama, Hiroaki Kuwahara, Rintaro Asahi, Ryoichi Tosa, Hiroyuki Yokota : Prompt Procedures Have a Great Impact on the Consequences of Asiatic Black Bear Mauling. Journal of Nippon Medical School = Nippon Ika Daigaku zasshi 2017; 84 (6) :294-300. doi: 10.1272/jnms.84.294.
- 20) Mai Watanabe, Naomi Kamimura, Katsuya Iuchi, Kiyomi Nishimaki, Takashi Yokota, Rei Ogawa, Shigeo Ohta : Protective Effect of Hydrogen Gas Inhalation on Muscular Damage Using a Mouse Hindlimb Ischemia-Reperfusion Injury Model. PLASTIC AND RECONSTRUCTIVE SURGERY 2017; 140 (6) :1195-1206. doi: 10.1097/PRS.0000000000003878.
- 21) Nao Wakabayashi, Mamiko Tosa, Shinichi Anzai, Rei Ogawa : Pyoderma Gangrenosum Secondary to Severe Congenital Neutropenia. PLASTIC AND RECONSTRUCTIVE SURGERY-GLOBAL OPEN 2018; 6 (3) :e1676. doi: 10.1097/GOX.0000000000001676.
- 22) Yoshihiro Noda, Hiroaki Kuwahara, Maya Morimoto, Rei Ogawa : Reconstruction of Anterior Neck Scar Contracture Using A Perforator-Supercharged Transposition Flap. Plastic and reconstructive surgery. Global open 2018; 6 (2) :e1485. doi: 10.1097/GOX.0000000000001485.
- 23) Vu Quang Vinh, Tran Van Anh, Nguyen Gia Tien, Hiko Hyakusoku, Rei Ogawa : Reconstruction of neck and face scar contractures using occipito-cervico-dorsal supercharged "super-thin flaps": A retrospective analysis of 82 cases in Vietnam. BURNS 2018; 44 (2) :462-467. doi: 10.1016/j.burns.2017.07.020.
- 24) 兼行 慎太郎, 中尾 淳一, 久保村 憲, 梅澤 裕己, 小川 令, 武井 寛幸 : SBIを用いた乳房再建術におけるデコルテの陥凹を改善するための新しい手術法 大胸筋弁充填術. 日本医科大学医学会雑誌 2017; 13 (4) :254.
- 25) 石井 暢明, 秋元 正宇, 香西 達一, 三羽 英之, 権 知華, 張 萌雄, 小川 令 : Skin-splitting concept の考案と新たな皮弁の開発. 日本医科大学医学会雑誌 2017; 13 (4) :253.
- 26) Harn HI, Ogawa R, Hsu CK, Hughes MW, Tang MJ, Chuong CM : The tension biology of wound healing. Experimental dermatology 2017 doi: 10.1111/exd.13460.
- 27) 小川 令 : 【Advanced Wound Care の最前線】 これからの局所陰圧閉鎖療法. PEPARS 2017; (126) :38-43.
- 28) 小川 令 : 【ちょっと気になる新生児-お母さんの不安に答える】 手・足の異常 手指・足趾. 周産期医学 2017; 47 (9) :1187-1190.
- 29) 小野 真平 : 【感染症をもっと知ろう!-外科系医師のために-】 上肢の感染症と治療. PEPARS 2017 ; 129 : 51-66.
- 30) 小川 令, 赤石 諭史, 青木 雅代, 土肥 輝之, 渡邊 真泉, 有馬 樹里, 松本 典子, 野一色 千景 : 【創傷治療のトピックス-第5回世界創傷治療学会連合会議-】 ケロイド・肥厚性瘢痕の病態とその最新治療 ケロイド・肥厚性瘢痕は治療できる!. 形成外科 2017; 60 (11) :1240-1245.
- 31) 松本 典子, 青木 雅代, 赤石 諭史, 小川 令 : 【創傷治療のトピックス-第5回世界創傷治療学会連合会議-】 耳垂ケロイド組織における硝子化した膠原線維の病理組織学的検討. 形成外科 2017; 60 (11) :1256-1263.
- 32) 小川 令, 高田 弘弥 : 【呼吸器科医に役立つ最先端のメカノバイオロジー研究】 メカノセラピー メカノバイオロジーをどのように臨床応用するか?. 呼吸臨床 2017; 1 (3) :1/10-10/10.
- 33) 小川 令, 小野 真平, 梅澤 裕己, 中尾 淳一 : 【形成外科 珠玉のオベ[1]基本編-次世代に継承したい秘伝のテクニック-】 皮弁 SC 皮弁スーパーチャージ皮弁による前頸部熱傷後瘢痕拘縮再建. 形成外科 2017; 60 (増刊) :S202-S206.
- 34) 兼行 慎太郎, 佐野 仁美, 小川 令 : 【感染症をもっと知ろう!-外科系医師のために-】 下肢の感染症と治療. PEPARS 2017; (129) :68-74.
- 35) 小川 令 : 【感染症をもっと知ろう!-外科系医師のために-】 手術部位感染(SSI)の概念と対策. PEPARS 2017; (129) :1-7.
- 36) 梅澤 裕己 : 【感染症をもっと知ろう!-外科系医師のために-】 頭頸部顔面領域の感染に対処する. PEPARS 2017; (129) :32-39.
- 37) 張 萌雄, 秋元 正宇, 石井 暢明, 香西 達一, 小川 令 : まれな後頭部骨腫の1例. 日本医科大学医学会雑誌 2017; 13 (4) :258.
- 38) 中尾 淳一, 梅澤 裕己, 権 知華, 小川 令 : よりきれいに正確に 乳房再建 インプラントサイザーを用いた簡便な皮弁のマウント. 日本形成外科学会誌 2017; 37 (6) :316.
- 39) 木下 侑里, 山瀬 綾, 森田 孝, 三羽 英之, 多賀 麻里奈, 秋元 正宇, 幸野 健, 佐伯 秀久, 安齋 眞一 : アポクリン分化をとまなう管状乳頭状嚢胞状腺腫の1例. 日本皮膚科学会雑誌 2017; 127 (10) :2321-2324.
- 40) 野田 良博, 青木 雅代, 本田 梓, 西川 みどり, 野本 俊一, 赤石 諭史, 小川 令 : ケロイドとの鑑別に苦慮した皮膚平滑筋腫の一例. 日本創傷治療学会プログラム・抄録集 2017; 47 回:181.
- 41) 本田 梓, 青木 雅代, 野田 良博, 西川 みどり, 野本 俊一, 赤石 諭史, 小川 令 : ケロイドに類似した Atypical intradermal smooth



- muscle neoplasm の一例. 日本創傷治癒学会プログラム・抄録集 2017; 47 回:181.
- 42) 小川 令, 元村 尚嗣 : ケロイドの外科的治療 手術だけでは再発するが, 手術直後から 2~3 回の放射線照射で再発予防が可能. 日本医事新報 2017; (4851) :61.
- 43) 小川 令 : ケロイドの新たな診断と治療法 いわゆる「ケロイド体質」の理解とその治療 重症例に対する副腎皮質ホルモン剤内服治療の可能性. 日本創傷治癒学会プログラム・抄録集 2017; 47 回:106.
- 44) 渡邊 真泉, 松本 典子, 小川 令 : ケロイド・肥厚性瘢痕と糖尿病は合併するか? 292 症例の解析から. 瘢痕・ケロイド治療ジャーナル 2017; (11) :1-6.
- 45) 小川令, 赤石論史, 青木雅代, 土肥輝之, 渡邊真泉, 有馬樹里, 松本典子, 野一色千景 : ケロイド・肥厚性瘢痕の病態解明に向けて. 日本医科大学医学会雑誌 2017; 13 (4) :252-253.
- 46) 設楽 洸介, 井出 彩香, 赤石 論史, 小川 令 : ケロイド外来におけるアンケート調査の解析. 瘢痕・ケロイド治療ジャーナル 2017; (11) :36-41.
- 47) 田中里佳, 梅山悠伊, 萩原裕子, 平野理恵, 藤村聡, 小川令, 水野博司 : ケロイド患者末梢血における血管内皮前駆細胞の機能評価. 日本形成外科学会基礎学術集会プログラム・抄録集 2017; 26th
- 48) 森本 摩耶, 中尾 淳一, 梅澤 裕己, 中村 加奈恵, 野本 俊一, 小川 令 : シリコンインプラントの破損原因. 日本美容外科学会会報 2017; 39 (4) :195.
- 49) 児玉 信, 佐野 仁美, 大久保 ゆり, 小川 令 : ハイドロ銀チタンガーゼの難治性創傷における感染制御効果. 日本創傷治癒学会プログラム・抄録集 2017; 47 回:136.
- 50) 野本 俊一, 小川 令 : ヒアルロニダーゼの使用方法に関する考察. 日本美容外科学会会報 2017; 39 (4) :205-206.
- 51) 松永宜子, 青木雅代, 本田梓, 野本俊一, 小川令 : マウス肥厚性瘢痕モデルにおけるフィンゴリモド(FTY720)の瘢痕抑制効果. 日本医科大学医学会雑誌 2017; 13 (4) :253.
- 52) 松永 宜子, 青木 雅代, 本田 梓, 大久保 ゆり, 赤石 論史, 小川 令 : マウス肥厚性瘢痕モデルにおけるフィンゴリモド(FTY720)の瘢痕抑制効果(第1報). 日本創傷治癒学会プログラム・抄録集 2017; 47 回:177.
- 53) 桑原 大彰, コルヨネン・ヴィルベ, 小川 令 : メルケル細胞癌の実際と本邦における現状. 日本形成外科学会誌 2017; 37 (7) :365-373.
- 54) 森本 摩耶, 飯村 剛史, 小川 令 : リンパ管細静脈吻合術における lymphoscintigraphy、SPECT-CT、ICG 検査の最適化. 日本マイクロサージャリー学会学術集会プログラム・抄録集 2017; 44 回:154.
- 55) 青木 宏信, 小野 真平, 梅澤 裕己, 上田 百蔵, 小川 令, 塚本 剛志, 小原 良規, 横田 裕行 : 上腕不全切断に有茎広背筋皮弁を用いて欠損閉鎖と肘機能再建を同時に試みた 1 例. 日本医科大学医学会雑誌 2017; 13 (4) :254.
- 56) 酒主 敦子, 中溝 宗永, 横島 一彦, 稲井 俊太, 坂井 梓, 加藤 大星, 大久保 公裕, 梅澤 裕己, 中尾 淳一, 大橋 隆治 : 上顎洞 sarcoma の 2 例. 頭頸部癌 2017; 43 (2) :243.
- 57) 杉本 貴子, 青木 律, 小川 令 : 乳児血管腫におけるヘマンジオルシロップ早期投与による瘢痕抑制効果の検討. 日本創傷治癒学会プログラム・抄録集 2017; 47 回:182.
- 58) 杉本 貴子, 青木 律, 小川 令 : 乳児血管腫に対するヘマンジオルシロップ内服の効果と展望. 日本美容外科学会会報 2017; 39 (4) :207-208.
- 59) 香西 達一, 秋元 正宇, 石井 暢明, 三羽 英之, 安藤 玲奈, 権 知華, 張 萌雄, 小川 令 : 乳房ティッシュエキスパンダーに非結核性抗酸菌感染をきたした症例の経験. 日本医科大学医学会雑誌 2017; 13 (4) :250-251.
- 60) 香西達一, 秋元正宇, 石井暢明, 三羽英之, 安藤玲奈, 吉野由希子, 小川令 : 乳房再建用エキスパンダー拡張時に創傷被覆材を使用した際の有限要素法を用いた力学的効果の解析. 日本形成外科学会総会・学術集会プログラム・抄録集 2017; 60th
- 61) 野田 良博, 中尾 淳一, 久保村 憲, 柘植 拓哉, 梅澤 裕己, 小川 令 : 乳房再建術後に高アミラーゼ血症をきたした 2 症例の検討. 日本外科系連合学会誌 2017; 42 (3) :570.
- 62) 矢富 良寛, 桑原 広輔, 小野 真平, 小川 令 : 人工真皮と陰圧閉鎖療法を併用した段階的デブリードマンが有効であった上肢圧挫熱傷の 1 例. 日本医科大学医学会雑誌 2017; 13 (4) :254.
- 63) 矢富 良寛, 桑原 広輔, 小野 真平, 小川 令 : 人工真皮を併用した段階的デブリードマンが効果的であった上肢圧挫熱傷の 1 例. 熱傷 2017; 43 (4) :206.

- 64) 中尾 淳一, 梅澤 裕己, 進士 誠一, 小川 令 : 会陰周囲再建に対する治療戦略 後大腿皮弁の応用. 日本外科系連合学会誌 2017; 42 (3) :535.
- 65) 佐野 仁美, 石井 暢明, 石井 薫, 小川 令 : 初期型ポケットに対する花卉状固定の有用性. 日本褥瘡学会誌 2017; 19 (3) :322.
- 66) 小野 真平 : 医療従事者が満足する治療から患者が喜ぶ治療へ 患者立脚型アウトカム(Patient-reported outcomes;PROs)研究への扉. 日本医科大学医学会雑誌 2018; 14 (1) :8-13. doi: 10.1272/manms.14.8.
- 67) 秋山 豪, 小野 真平, 岩永 洋平, 森本 摩耶, 小川 令, 彭 為霞, 和田 龍一, 恩田 宗彦 : 右肩甲部に発生した成人のリンパ管腫の 1 例. 日本医科大学医学会雑誌 2017; 13 (4) :257.
- 68) 兼行 慎太郎, 佐野 仁美, 小川 令 : 喫煙による経皮酸素分圧の変化. 日本創傷治療学会プログラム・抄録集 2017; 47 回:148.
- 69) 森本 摩耶, 小野 真平, 久保村 憲, 小川 令 : 外傷後の球後出血に伴う急激な視力低下に対して発症 8 時間後の減圧術が著効した 1 例. 日本医科大学医学会雑誌 2017; 13 (4) :259.
- 70) 権知華, 秋元正宇, 石井暢明, 香西達一, 小川令 : 多発顔面骨折をきたしたライオン外傷. 日本頭蓋顎顔面外科学会学術集会プログラム・抄録集 2017; 35th
- 71) 久保村憲, 小野真平, 櫻井透, 野田良博, 池袋東陽, 小川令 : 大腿部シャントによる透析アクセス関連血管症候群が下肢虚血の原因と考えられた 1 例~Shunt compression test の有用性について~. 日本医科大学医学会雑誌 2017; 13 (4) :259-260.
- 72) 久保村 憲, 小野 真平, 櫻井 透, 野田 良博, 池袋 東陽, 小川 令, 平田 晶子, 三上 太郎 : 大腿部シャントによる透析アクセス関連盗血症候群が下肢虚血の原因と考えられた一例 Shunt-compression test の有用性について. 日本形成外科学会誌 2018; 38 (2) :109.
- 73) 小野 真平, 小川 令, 林 宏光, 大井 宏之 : 安全な皮弁手術を行うために 安全な皮弁手術を行うための MDCT による穿通枝術前造影検査の有用性. 日本形成外科学会誌 2017; 37 (6) :320.
- 74) 杉本 貴子, 中村 加奈恵, 桑原 広輔, 大木 琴美, 小川 令 : 左鼠径部リンパ節腫脹により発見された原発不明扁平上皮癌の 1 例. 日本皮膚悪性腫瘍学会学術大会プログラム・抄録集 2017; 33 回:132.
- 75) 梅澤 裕己, 中尾 淳一, 中溝 宗永, 横島 一彦, 小川 令 : 当院における喉頭癌関連の再建手術. 頭頸部癌 2017; 43 (2) :169.
- 76) 進士 誠一, 中尾 淳一, 山田 岳史, 小泉 岐博, 横山 康行, 高橋 吾郎, 岩井 拓磨, 武田 幸樹, 原 敬介, 青木 悠人, 菅 隼人, 藪野 雄大, 梅澤 裕己, 小川 令, 太田 恵一朗, 内田 英二 : 当院における皮弁再建を要する局所進行大腸癌に対する治療戦略. 日本外科学会定期学術集会抄録集 2017; 117 回:PS-1.
- 77) 中尾 淳一, 久保村 憲, 梅澤 裕己, 兼行 慎太郎, 小野 真平, 小川 令 : 形成外科領域における近赤外線分光法を用いた組織酸素飽和度測定の活用と測定機器の開発. 日本医科大学医学会雑誌 2017; 13 (4) :244.
- 78) 野田 良博, 青木 雅代, 本田 梓, 西川 みどり, 赤石 論史, 小川 令 : 微細針を用いた手技により発生した異常瘢痕の 2 例. 日本創傷治療学会プログラム・抄録集 2017; 47 回:182.
- 79) 藪野雄大, 小野真平, 吉野由希子, 多賀麻里絵, 進士誠一, 小川令 : 感染を伴った小腸皮膚瘻に対して持続洗浄局所陰圧療法が有効であった 1 例. 日本形成外科学会総会・学術集会プログラム・抄録集 2017; 60th
- 80) 小野 真平, 大井 宏之, Chung Kevin C., 小川 令 : 手の皮弁手術 up-to-date 機能と整容の両面で良好なアウトカムを獲得するためのわれわれの皮弁選択の原則. 日本手外科学会雑誌 2017; 34 (1) :S121.
- 81) 小野 真平 : 手・手指の皮弁 (特集 ベーシック&アドバンス 皮弁テクニック). Pepars 2018; (135) :24-39.
- 82) 桑原 広輔, 奈良 慎平, 小野 真平, 村上 正洋, 小川 令 : 新鮮熱傷創に対する銀含有創傷被覆材(アクアセル Ag、アクアセル Ag BURN) の使用の現状 同創傷被覆材を採用している 42 施設に対するアンケート調査より. 熱傷 2018; 44 (1) :49-57.
- 83) 石井 暢明, 秋元 正宇, 渡辺 光子, 藤平 舞, 小川 令 : 既製品の局所陰圧閉鎖療法へのつなぎとしてのヨードホルムガーゼ吸引療法. 日本褥瘡学会誌 2017; 19 (3) :365.
- 84) 小川令 : 最新の形成外科:顔面移植からメカノセラピーまで. 日本医科大学医学会雑誌 2017; 13 (4)
- 85) 中島大智, 青木宏信, 中村加奈恵, 矢富良寛, 赤石論史, 上田百蔵, 小川令 : 橈骨動脈穿刺後に生じた仮性動脈瘤の 2 例. 日本医科大学医学会雑誌 2017; 13 (4) :244.
- 86) 岩永 洋平, 小野 真平, 小川 令 : 比較的大きな円形皮膚欠損再建における Bear-hand flap の有用性. 日本医科大学医学会雑誌 2017; 13 (4) :255.
- 87) 小野 真平, 岩永 洋平, 張 萌雄, 小川 令 : 比較的大きな円形皮膚欠損再建における Bear-hand flap の有用性. 日本マイクロサージャリ

- ー学会学術集会プログラム・抄録集 2017; 44 回:181.
- 88) 高田弘弥, 上田百蔵, 佐野仁美, 小山太郎, 小川令, 星貴之, 古家喜四夫, 喜島小翔, 長田康孝, 波間隆則, 小山太郎, 小林一広 : 毛乳頭細胞に対する周期的圧刺激およびミノキシジルの作用機序の解明. 日本医科大学医学会雑誌 2017; 13 (4) :243-244.
- 89) 吉野由希子, 上田百蔵, 小川令 : 熱傷後瘢痕拘縮解除における局所皮弁(島状皮弁と有茎皮弁)の選択および有用性について. 日本医科大学医学会雑誌 2017; 13 (4) :252.
- 90) 佐野仁美, 小川令 : 物理刺激に対するリンパ管内皮細胞の遺伝子発現変動. 日本医科大学医学会雑誌 2017; 13 (4) :257-258.
- 91) 中尾 淳一, 小野 真平, 兼行 慎太郎, 久保村 憲, 梅澤 裕己, 小川 令 : 産科用組織酸素飽和度測定器の使用経験と形成外科用測定機器の開発. 日本マイクロサージャリー学会学術集会プログラム・抄録集 2017; 44 回:178.
- 92) 香西 達一, 石井 暢明, 秋元 正宇, 櫻井 透, 森田 孝, 荻田 あづさ, 安齋 眞一, 小川 令 : 皮膚原発腺様嚢胞癌 2 例の治療経験. 日本医科大学医学会雑誌 2018; 14 (1) :25-30.
- 93) 三羽英之, 石井暢明, 秋元正宇 : 皮膚欠損を伴う皮膚剥奪創に対する私の工夫. 日本形成外科学会総会・学術集会プログラム・抄録集 2017; 60th
- 94) 三羽 英之, 秋元 正宇, 石井 暢明, 香西 達一, 安藤 玲奈, 小川 令 : 皮膚欠損を伴う皮膚剥奪創に対する私の工夫. 日本医科大学医学会雑誌 2017; 13 (4) :255.
- 95) 石井暢明, 秋元正宇, 香西達一, 三羽英之, 安藤玲奈, 吉野由希子, 小川令 : 真皮下血管網と乳頭下血管網を用いた横転皮弁時におけるドッグイヤーの軽減. 日本形成外科学会総会・学術集会プログラム・抄録集 2017; 60th
- 96) 張萌雄, 秋元正宇, 石井暢明, 香西達一, 小川令 : 稀な後頭部骨腫の 1 例. 日本頭蓋顎顔面外科学会学術集会プログラム・抄録集 2017; 35th
- 97) 野田 良博, 小野 真平, 小川 令 : 糖尿病足病変を有する患者の入院収益に関する検討. 日本医科大学医学会雑誌 2017; 13 (4) :256.
- 98) 小川 令 : 細胞はいかに力を感じているか? メカノバイオロジーからメカノセラピーまで. 気管支学 2017; 39 (Suppl.) :S160.
- 99) 兼行 慎太郎, 中尾 淳一, 久保村 憲, 小川 令 : 組織酸素飽和度測定により再手術を回避できた DIEP flap の 1 例. 日本マイクロサージャリー学会学術集会プログラム・抄録集 2017; 44 回:178.
- 100) 本田 梓, 佐野 仁美, 小川 令 : 総合診療、地域医療、チーム医療における形成外科医の役割の考察. 形成外科 2017; 60 (10) :1196-1199.
- 101) 横島 一彦, 中溝 宗永, 稲井 俊太, 酒主 敦子, 坂井 梓, 加藤 大星, 大橋 隆治, 梅澤 裕己, 中尾 淳一, 大久保 公裕 : 耳下腺癌に対する穿刺吸引細胞診の悪性度別正診率と改善に向けての戦略. 頭頸部癌 2017; 43 (2) :187.
- 102) 本田梓, 松本典子, 青木雅代, 小川令 : 耳垂ケロイド組織における血管,リンパ管形成に関する免疫組織化学的検討. 日本医科大学医学会雑誌 2017; 13 (4) :258-259.
- 103) 加来知恵美, 松本典子, 青木雅代, 赤石論史, 小川令, 安齋眞一 : 耳垂腫瘍の鑑別診断. 日本医科大学医学会雑誌 2017; 13 (4) :258.
- 104) 土佐 眞美子, 松島 隆, 米山 剛一, 赤石 論史, 小川 令 : 肥厚性瘢痕の予防と治療 手術後肥厚性瘢痕の予防と早期治療を目的とした特殊外来の有効性についての検討. 日本創傷治癒学会プログラム・抄録集 2017; 47 回:108.
- 105) Xiao Haitao, 小川令 : 胸壁ケロイドの治療:異なる治療様式のレビューと手術アルゴリズムの提案. 日本医科大学医学会雑誌 2017; 13 (3) :159-160.
- 106) 野田良博, 森本摩耶, 上田百蔵, 安藤玲奈, 桑原大彰, 中尾淳一, 小野真平, 小川令 : 胸部の穿通枝付加 Transposition flap による頸部熱傷後瘢痕拘縮再建の経験. 日本形成外科学会総会・学術集会プログラム・抄録集 2017; 60th:399.
- 107) 下元 麻梨子, 梅澤 裕己, 小川 令 : 胸骨骨髓炎に対する皮弁再建戦略. 日本マイクロサージャリー学会学術集会プログラム・抄録集 2017; 44 回:139.
- 108) 梅澤 裕己, 中尾 淳一, 中溝 宗永, 横島 一彦, 小川 令 : 舌根・中咽頭側壁・軟口蓋合併切除後の機能再建 当院における中咽頭癌切除後の再建術. 日本頭蓋顎顔面外科学会学術集会プログラム・抄録集 2017; 35 回:83.
- 109) 青木 宏信, 塚本 剛志, 小原 良規, 梅澤 裕己, 上田 百蔵, 小川 令, 横田 裕行 : 血流障害を伴う上腕不全切断に自家血管移植を行ない患肢を温存できた 1 例. 日本組織移植学会雑誌 2017; 16 (1) :35.
- 110) 三羽 英之, 秋元 正宇, 櫻井 透, 石井 暢明, 香西 達一, 渋谷 偉織, 小川 令 : 術中超音波検査を用いた鼻骨骨折整復術における「水手袋カプラー」の有用性. 日本頭蓋顎顔面外科学会誌 2017; 33 (3) :83-86.
- 111) 安藤玲奈, 秋元正宇, 石井暢明, 香西達一, 三羽英之, 吉野由希子, 小川令 : 診断・治療に難渋した皮膚石灰沈着症の経験. 日本形成

外科学会総会・学術集会プログラム・抄録集 2017; 60th

- 112) 安藤 玲奈, 秋元 正宇, 石井 暢明, 香西 達一, 三羽 英之, 吉野 由希子, 小川 令 : 診断・治療に難渋した皮膚石灰沈着症の経験. 日本医科大学医学会雑誌 2017; 13 (4) :257.
- 113) 篠原 友映, 松本 絵美, 宮川 亞弓, 岩田 尚悟, 坂本 有子, 赤城 岩夫, 佐藤 文隆, 秋元 正宇 : 診療記録監査の取り組み 医師の経過記録. 診療情報管理 2017; 29 (2) :226.
- 114) 小川 令, 小野 真平, 梅澤 裕己 : 超薄皮弁(その定義と、種類) 薄い皮弁の種類と実際. 日本マイクロサージャリー学会学術集会プログラム・抄録集 2017; 44 回:70.
- 115) 村井保夫, 森田明夫, 石坂栄太郎, 築山敦, 梅沢裕己, 小川令 : 遊離皮弁による second free flap による頭蓋底髄膜腫再建手術の経験. 日本脳腫瘍の外科学会プログラム・抄録集 2017; 22nd
- 116) 下元麻梨子, 佐野仁美, 小川令 : 銀含有創傷被覆材を用いた過湿潤による壊死組織融解効果の経験. 日本医科大学医学会雑誌 2017; 13 (4) :255.
- 117) 佐野 仁美, 小川 令 : 陥入爪を契機に発症したケロイドの治療経験. 日本下肢救済・足病学会誌 2017; 9 (2) :170.
- 118) 中村 加奈恵, 梅澤 裕己, 小川 令, 横島 一彦 : 頭頸部悪性腫瘍手術の際に発見されたまれな総頸動脈の分岐の 1 例. 日本医科大学医学会雑誌 2017; 13 (4) :244.
- 119) 野田良博, 桑原大彰, 中尾淳一, 小野真平, 小川令 : 頸部熱傷後瘢痕に対し胸部穿通枝付加 Transposition flap を用いて拘縮解除を得た 2 症例. 日本熱傷学会総会・学術集会プログラム・抄録集 2017; 43rd:141.
- 120) 野田 良博, 桑原 大彰, 中尾 淳一, 小野 真平, 小川 令 : 頸部熱傷後瘢痕に対し胸部穿通枝付加 transposition flap を用いて拘縮解除を得た 2 症例. 熱傷 2017; 43 (4) :220.
- 121) 権 知華, 秋元 正宇, 安藤 玲奈, 小川 令 : 顎顔面領域における 3 次元解析の可能性 無料ソフト"3Dslicer"の使用経験. 日本医科大学医学会雑誌 2017; 13 (4) :256.
- 122) 安藤 玲奈, 秋元 正宇 : 顔面骨折における Free Dicom Viewer 3D Slicer の使用経験 DIY 三次元処理のススメ. 形成外科 2017; 60 (11) :1306-1312.
- 123) 梅澤 裕己, 中尾 淳一, 松谷 毅, 中溝 宗永, 横島 一彦, 小川 令 : 食道癌再建患者の予後と再建方法. 日本マイクロサージャリー学会学術集会プログラム・抄録集 2017; 44 回:118.
- 124) 藪野 雄大, 小野 真平, 張 萌雄, 権 知華, 中村 加奈恵, 小川 令, 葉丸 洋秋 : 高齢者の下腿に発生したエクリン汗孔癌の一例. 日本形成外科学会誌 2017; 37 (9) :542.
- 125) 豊原瑛理, 江浦重義, 本田梓, 杉本貴子, 若林奈緒, 川瀬康裕, 宮城泰雄, 小川令 : 鼠径部人工血管感染に対する大腿直筋弁の有用性. 日本医科大学医学会雑誌 2017; 13 (4) :259.

## 著書

- 1) 小川 令, 工藤 俊哉, 平瀬 雄一 : 局所皮弁. 2017, 克誠堂出版.
- 2) 小川 令 : 顔面・頸部・体幹. 2017, 克誠堂出版.

## 学会発表

- 1) 野田良博, 青木雅代, 本田梓, 西川みどり, 野本俊一, 赤石論史, 小川令 : ケロイドとの鑑別に苦慮した皮膚平滑筋腫の 1 例. 瘢痕・ケロイド治療研究会 (第 12 回) . (京都) , 2017. 11.
- 2) 野田良博, 松本典子, 青木雅代, 小川令 : ケロイドに特徴的な硝子化した膠原線維形成における血管関連因子の検討. 日本形成外科学会基礎学術集会 (第 26 回) . (大阪) , 2017. 10.
- 3) 本田梓, 青木雅代, 野田良博, 西川みどり, 野本俊一, 赤石論史, 小川令 : ケロイドに類似した Atypical intradermal smooth muscle neoplasm の 1 例. 瘢痕・ケロイド治療研究会 (第 12 回) . (京都) , 2017. 11.
- 4) 小川令, 赤石論史, 青木雅代, 土肥輝之, 渡邊真泉, 有馬樹里, 松本典子, 野一色千景 : ケロイド・肥厚性瘢痕の病態解明に向けて. 日本医科大学医学会総会 (第 85 回) . (東京) , 2017. 9.
- 5) 松永宜子, 青木雅代, 本田梓, 野本俊一, 小川令 : マウス肥厚性瘢痕モデルにおけるフィンゴリモド (FTY720) の瘢痕抑制効果. 谷根千

- 形成懇話会（第 16 回）．（東京）, 2017. 7.
- 6) 松永宜子, 青木雅代, 本田梓, 大久保ゆり, 赤石諭史, 小川令 : マウス肥厚性瘢痕モデルにおけるフィンゴリモド (FTY720) の瘢痕抑制効果 (第 1 報) . 日本創傷治癒学会 (第 47 回) . (京都) , 2017. 11.
  - 7) 野田良博, 青木雅代, 本田梓, 西川みどり, 赤石諭史, 小川令 : 微細針を用いた手技により発生した異常瘢痕の 2 例. 瘢痕・ケロイド治療研究会 (第 12 回) . (京都) , 2017. 11.
  - 8) 加来知恵美, 松本典子, 安齋眞一, 青木雅代, 赤石諭史, 小川令 : 耳垂ケロイドの鑑別疾患に関する検討. 谷根千形成懇話会(第 16 回). (東京) , 2017. 7.
  - 9) 本田梓, 松本典子, 青木雅代, 小川令 : 耳垂ケロイド組織における血管, リンパ管形成に関する免疫組織化学的検討. 日本形成外科学会基礎学術集会 (第 26 回) . (大阪) , 2017. 10.
  - 10) 加来知恵美, 松本典子, 青木雅代, 赤石諭史, 安齋眞一, 小川令 : 耳垂腫瘍の鑑別診断. 日本医科大学医学会総会 (第 85 回) . (東京) , 2017. 9.
  - 11) 梅澤裕己 : 頭頸部再建に残された課題. 第 6 0 回日本形成外科学会学術集会, 2017. 4.
  - 12) 青木雅代, 松本典子, 小川令 : 高電圧電界治療に対するヒト皮膚由来細胞の転写応答. 日本形成外科学会基礎学術集会 (第 26 回) . (大阪) , 2017. 10.

## 28 リハビリテーション学分野

### 研究業績

#### 論文等

- 1) 大林 茂：【脳卒中】(Part 2)各論 脳卒中患者のリハビリテーション 早期介入のリハビリテーションは有益か有害か?. Intensivist 2017; 9 (4) :1007-1019.
- 2) 角南 英子, 土屋 麻代, 伏屋 洋志, 大林 茂, 辻内 和人：転倒を契機に頸髄症が進行し重度の四肢麻痺を来した成人アテトーゼ型脳性麻痺患者の一例. The Japanese Journal of Rehabilitation Medicine 2017; 54 (特別号) :2-P1.
- 3) 城之下 唯子, 松元 秀次, 野間 知一, 落水 孝紀, 下堂 蕨 恵慢性期脳卒中片麻痺上肢に対する神経筋電気刺激と促通反復療法の併用による効果の検討. 日本作業療法学会抄録集 2017 ; 51 回 Page OA-2-4.
- 4) 我妻 朋美, 萩原 祐介, 伏屋 洋志, 菅野 麻希, 高橋 美香, 土屋 麻代, 園木 謙太郎, 矢崎 潔, 大林 茂, 松元 秀次 : 手のアーチと内在筋に着目した中指外転運動 母指 CM 関節症の手術後療法としての効果と作用機序の検証. The Japanese Journal of Rehabilitation Medicine 2017; 54 巻秋季特別号 Page S294.
- 5) 松元 秀次 : 脳卒中片麻痺歩行に対する機能的電気刺激装置(ウォークエイド)を用いた歩行訓練. The Japanese Journal of Rehabilitation Medicine 2017; 54 巻秋季特別号 Page S116.
- 6) 松元 秀次 : 脳卒中片麻痺歩行に対する機能的電気刺激装置ウォークエイドを用いた歩行訓練 臨床神経生理学(1345-7101)45 巻 5 号 Page352.

## 〔5〕 付置施設等

# 1 共同研究施設

## 研究業績

### 論文等

- 1) Noriyuki Nagahara, Shin Koike, Takashi Nirasawa, Hideo Kimura, Yuki Ogasawara : Alternative pathway of H<sub>2</sub>S and polysulfides production from sulfurated catalytic-cysteine of reaction intermediates of 3-mercaptopyruvate sulfurtransferase. *Biochemical and biophysical research communications* 2018; 496 (2) :648-653. doi: 10.1016/j.bbrc.2018.01.056.
- 2) Noriyuki Nagahara, Maria Wrobel : Atomic Sulfur: An Element for Adaptation to an Oxidative Environment. *MOLECULES* 2017; 22 (11) doi: 10.3390/molecules22111821.
- 3) Noriyuki Nagahara : Multiple role of 3-mercaptopyruvate sulfurtransferase: antioxidative function, H<sub>2</sub>S and polysulfide production and possible SO<sub>x</sub> production. *British journal of pharmacology* 2018; 175 (4) :577-589. doi: 10.1111/bph.14100.
- 4) 田中水緒, 吉田美沙, 永原則之, 田中祐吉 : 小児固形腫瘍における診断に有用な新規マーカーの開発と臨床応用. *こども医療センター医学誌* 2017
- 5) 田中水緒, 吉田美沙, 永原則之, 田中祐吉 : 組織学的・細胞遺伝学的検討による先天性嚢胞性肺疾患の病因に基づく分類の試み. *こども医療センター医学誌* 2017

### 学会発表

- 1) Nagahara N, Koike S, Nirasawa T, Kimura H, Ogasawara Y : Hydrogen sulfide and polysulfides production form reaction intermediate of 3-mercaptopyruvate sulfurtransferase. 第90回日本生化学総会, 2017. 12.
- 2) Bibli SI, Davos H C, Li Z, Chatzianastasiou A, Varela A, Katsouda A, Nagahara N, Lefer J D, Papapetropoulos A : Role of 3-mercaptopyruvate sulfur transferase (3MST) in cardiac ischemia/reperfusion injury. *American Heart Association Scientific Sessions*, 2017. 11.
- 3) 木村 英雄, 宮本 亮, 小池 伸, 渋谷 典広, 木村 由佳, 小笠原 裕樹, 高野 陽子, 花岡 健二郎, 浦野 泰照, 永原 則之 : シグナル分子 : 硫化水素とポリサルファイド. 第90回日本生化学総会, 2017. 12.
- 4) 渋谷典広, 小池伸, 宮本亮, 湯浅磨里, 田中真紀子, 木村由佳, 高野陽子, 花岡健二郎, 永原則之, 福井清, 浦野泰照, 小笠原裕樹, 木村英雄 : 生理活性物質硫化水素とポリサルファイドの産生機構. *日本生化学会大会(Web)*, 2017. 12.
- 5) 木村 由佳, 豊福 優希子, 小池 伸, 渋谷 典広, 永原 則之, David Lefe, 宮本 亮, 小笠原 祐樹, 木村 英雄 : 酵素による生合成と、硫化水素/一酸化窒素の化学的相互作用. 第90回日本生化学総会, 2017. 12.



## 2 形態解析共同研究施設

研究業績

### 3 実験動物管理室

#### 研究業績

#### 論文等

- 1) Atsushi Sakai, Fumihito Saitow, Motoyo Maruyama, Noriko Miyake, Koichi Miyake, Takashi Shimada, Takashi Okada, Hidenori Suzuki : MicroRNA cluster miR-17-92 regulates multiple functionally related voltage-gated potassium channels in chronic neuropathic pain. Nature communications 2017; 8:16079. doi: 10.1038/ncomms16079.
- 2) 坂井敦, 丸山基世, 丸山基世, 岩崎宏俊, 岩崎宏俊, 鈴木秀典 : 後根神経節に高発現する長鎖非コード RNA の神経障害性疼痛における変化. Pain Research 2017; 32 (2) :129.
- 3) 宮川世志幸, 黒田誠司, 丸山基世, 丸山基世, 喜納裕美, 山本基子, VERLENGIA Gianluca, SIMONATO Michele, COHEN Justus, GLORIOSO Joseph, 岡田尚巳 : 難治性神経・筋疾患の遺伝子治療に向けた新規無毒化ヘルペスウイルスベクターの開発. 日本生化学会大会 2017; 90th

## 4 学生相談室

研究業績

## 5 医学教育センター

### 研究業績

#### 論文等

- 1) Tsutomu Nomura, Takeshi Matsutani, Nobutoshi Hagiwara, Itsuo Fujita, Yoshiharu Nakamura, Yoshikazu Kanazawa, Hiroshi Makino, Yasuhiro Mamada, Terumichi Fujikura, Masao Miyashita, Eiji Uchida : Characteristics predicting laparoscopic skill in medical students: nine years' experience in a single center. *Surgical Endoscopy and Other Interventional Techniques* 2018; 32 (1) :96-104. doi: 10.1007/s00464-017-5643-5.
- 2) 阿曾亮子, 山本剛, 井上千鹿子, 藤倉輝道 : シミュレーション・ラボの貸出機器の学内外における活用状況. *医学教育* 2017; 48 (Suppl.) :189.
- 3) 早坂明哲, 井上千鹿子, 伊藤保彦, 竹下俊行, 藤倉輝道 : 日本医科大学における全授業 LMS 利用の現状と課題. *医学教育* 2017; 48 (Suppl.) :212.
- 4) 阿曾 亮子 : 模擬患者との体験 卒後の医師が振り返った、学びのプロセスとインパクト. *医療職の能力開発* 2017; 5 (1) :40-46.
- 5) 阿曾 亮子, 桑原 健太郎, 前田 美穂, 伊藤 保彦 : 臨床実習前の医学生に対する小児科診療シミュレーショントレーニングの経験. *日本シミュレーション医療教育学会雑誌* 2017; 5:49-55.
- 6) 井上千鹿子, 早坂明哲, 藤倉輝道 : 転写シールによるシミュレーション教育用ムラージュ(特殊メイク)の開発. *医学教育* 2017; 48 (Suppl.) :185.

#### 学会発表

- 1) 藤倉輝道 : 「人間を全人的により深く理解しようと試みる」行動科学の導入とそのアウトカム; 事例紹介 : 日本医科大学. *医学教育セミナーとワークショップ (第 66 回)*, 2017. 10.
- 2) 阿曾 亮子, 山本 剛, 井上 千鹿子, 藤倉 輝道 : シミュレーション・ラボの貸出機器の学内外における活用状況. *医学教育*, 2017. 8.
- 3) 藤倉輝道 : プロフェッションと社会との契約 : 医学教育と法曹教育の接点. *臨床法学教育学会創立 10 周年記念シンポジウム*, 2017. 4.
- 4) 藤倉輝道, 井上千鹿子, 早坂明哲 : 日本における一般市民の医学教育参画に関する現状. *日本医学教育学会*, 2017. 8.
- 5) 早坂明哲, 早坂明哲, 井上千恵子, 伊藤保彦, 竹下俊行, 藤倉輝道 : 日本医科大学における全授業 LMS 利用の現状と課題. *医学教育*, 2017. 8.
- 6) 井上千鹿子, 早坂明哲, 藤倉輝道 : 転写シールによるシミュレーション教育用ムラージュ(特殊メイク)の開発. *医学教育*, 2017. 8.

## 〔6〕 付属病院付置施設等

## 1 付属病院感染制御室

研究業績

## 2 付属病院老年内科

研究業績

### 3 付属病院緩和ケア科

#### 研究業績

#### 論文等

- 1) 鈴木 規仁, 花井 紗弥子, 岩崎 雅江, 保利 陽子, 源田 雄紀, 岸川 洋昭, 坂本 篤裕 : がん疼痛に対するオピオイド使用で退薬症状、乱用を認めた症例. 日本ペインクリニック学会誌 2017; 24 (3) :327.



## 4 付属病院病理診断科

### 研究業績

#### 論文等

- 1) 水野 祥寛, 北川 泰之, 山岡 卓司, 角田 隆, 大橋 隆治, 高井 信朗 : 13 歳男児に発生した大腿部粘液型脂肪肉腫の 1 例. 東日本整形災害外科学会雑誌 2017; 29 (3) :342.
- 2) Yasuyuki Yokoyama, Ryuichi Wada, Takeshi Yamada, Eiji Uchida, Zenya Naito : A case of ulcerative colitis with squamous cell carcinomas and multiple foci of squamous dysplasia. PATHOLOGY INTERNATIONAL 2017; 67 (8) :414-418. doi: 10.1111/pin.12539.
- 3) 大橋 隆治 : BK ウイルス感染と腎臓. 腎臓内科・泌尿器科 2018; 7 (3) :286-292.
- 4) Naoko Ito, Ryuji Ohashi, Michio Nagata : C3 glomerulopathy and current dilemmas. CLINICAL AND EXPERIMENTAL NEPHROLOGY 2017; 21 (4) :541-551. doi: 10.1007/s10157-016-1358-5.
- 5) Naoko Ito, Ryuji Ohashi, Michio Nagata : C3 glomerulopathy and current dilemmas (vol 21, pg 541, 2017). CLINICAL AND EXPERIMENTAL NEPHROLOGY 2017; 21 (6) :1142. doi: 10.1007/s10157-017-1479-5.
- 6) Ryuji Ohashi, Ryuji Fukazawa, Makoto Watanabe, Koji Hashimoto, Nobuko Suzuki, Noriko Nagi-Miura, Naohito Ohno, Akira Shimizu, Yasuhiko Itoh : Characterization of a murine model with arteritis induced by Nod1 ligand, FK565: A comparative study with a CAWS-induced model. MODERN RHEUMATOLOGY 2017; 27 (6) :1024-1030. doi: 10.1080/14397595.2017.1287150.
- 7) Ryuji Ohashi, Kiyoko Kawahara, Shigeki Namimatsu, Takehito Igarashi, Takashi Sakatani, Iwao Sugitani, Zenya Naito : Clinicopathological significance of a solid component in papillary thyroid carcinoma. Histopathology 2017; 70 (5) :775-781. doi: 10.1111/his.13132.
- 8) Arai H, Wada R, Ishino K, Kudo M, Uchida E, Naito Z : Expression of DNA damage response proteins in gastric cancer: Comprehensive protein profiling and histological analysis. Int J Oncol 2018; 52:978-988.
- 9) Ryuji Ohashi, Kiyoko Kawahara, Shigeki Namimatsu, Ritsuko Okamura, Takehito Igarashi, Iwao Sugitani, Zenya Naito : Expression of MRP1 and ABCG2 is associated with adverse clinical outcomes of papillary thyroid carcinoma with a solid component. HUMAN PATHOLOGY 2017; 67:11-17. doi: 10.1016/j.humpath.2017.03.012.
- 10) Ryuji Ohashi, Yukihiko Murase, Miyuki Matsubara, Yasuhiko Watarai, Takehito Igarashi, Iwao Sugitani, Zenya Naito : Fine needle aspiration cytology of the papillary thyroid carcinoma with a solid component: A cytological and clinical correlation. DIAGNOSTIC CYTOPATHOLOGY 2017; 45 (5) :391-398. doi: 10.1002/dc.23679.
- 11) Noriko M Matsumoto, Wei-Xia Peng, Masayo Aoki, Satoshi Akaishi, Ryuji Ohashi, Rei Ogawa, Zenya Naito : Histological analysis of hyalinised keloidal collagen formation in earlobe keloids over time: collagen hyalinisation starts in the perivascular area. International wound journal 2017; 14 (6) :1088-1093. doi: 10.1111/iwj.12763.
- 12) Ryuji Ohashi, Maoka Sengen, Shigeki Namimatsu, Hiroyuki Takei, Zenya Naito : IMP3 contributes to poor prognosis of patients with metaplastic breast carcinoma: A clinicopathological study. ANNALS OF DIAGNOSTIC PATHOLOGY 2017; 31:30-35. doi: 10.1016/j.anndiagnpath.2017.05.015.
- 13) Ryuji Ohashi, Keiko Yanagihara, Shigeki Namimatsu, Takashi Sakatani, Hiroyuki Takei, Zenya Naito, Akira Shimizu : Osteoclast-like giant cells in invasive breast cancer predominantly possess M2-macrophage phenotype. Pathology Research and Practice 2018; 214 (2) :253-258. doi: 10.1016/j.prp.2017.11.002.
- 14) R. Ohashi, M. Matsubara, Y. Watarai, K. Yanagihara, K. Yamashita, S. -I. Tsuchiya, H. Takei, Z. Naito : Pleomorphic lobular carcinoma of the breast: a comparison of cytopathological features with other lobular carcinoma variants. CYTOPATHOLOGY 2017; 28 (2) :122-130. doi: 10.1111/cyt.12362.
- 15) Ryuji Ohashi, Maoka Sengen, Shigeki Namimatsu, Keiko Yanagihara, Koji Yamashita, Takashi Sakatani, Hiroyuki Takei, Zenya Naito : Prognostic value of IMP3 expression as a determinant of chemosensitivity in triple-negative breast cancer. PATHOLOGY RESEARCH AND PRACTICE 2017; 213 (9) :1160-1165. doi: 10.1016/j.prp.2017.07.002.

- 16) Taisei Kato, Munenaga Nakamizo, Kazuhiko Yokoshima, Shunta Inai, Atsuko Sakanushi, Ryuji Ohashi, Kimihiro Okubo : Superficial temporal artery aneurysm with abdominal aortic aneurysm: Case report. *Otolaryngology - Head and Neck Surgery (Japan)* 2017; 89:1111-1115.
- 17) Kubo T, Sugita S, Wada R, Kikuchi N, Iwasaki M, Ito Y, Sugawara T, Fujita H, Emori M, Tanaka R, Hirano H, Saito T, Hasegawa T : Uterine epithelioid leiomyosarcoma with c-kit expression and YWHAE gene rearrangement: a case report of a diagnostic pitfall of uterine sarcoma. *Diag Pathol* 2017; 12:26.
- 18) 杉江 知治, 佐藤 永一, 宮下 穰, 三上 芳喜, 山口 倫, 坂谷 貴司, 小塚 祐司, 森谷 鈴子, 鈴木 栄治, 垣見 和宏, 森谷 卓也 : 「それぞれの癌」難治性癌に対する治療戦略 乳腺 癌微小環境におけるトリプルネガティブ乳癌の免疫応答. *日本癌治療学会学術集会抄録集* 2017; 55 回:WS13-7.
- 19) 大橋 隆治 : 【腎生検・病理診断-臨床と病理の架け橋】 (第3章)腎病変とその成り立ち 糸球体の観察 メサンギウム融解. *腎と透析* 2017; 82 (増刊) :162-167.
- 20) 酒主 敦子, 中溝 宗永, 横島 一彦, 稲井 俊太, 坂井 梓, 加藤 大星, 大久保 公裕, 梅澤 裕己, 中尾 淳一, 大橋 隆治 : 上顎洞 sarcoma の 2 例. *頭頸部癌* 2017; 43 (2) :243.
- 21) 曾我彬美, 福田いずみ, 小林俊介, 稲垣恭子, 田原重志, 石坂栄太郎, 榎本弘之, 長濱清隆, 大橋隆治, 和田隆一, 井下尚子, 杉原仁 : 下垂体後葉の前方に腫瘍性病変を認め Xanthomatous hypophysitis が疑われた 1 例. *日本内分泌学会雑誌* 2017; 93 (Suppl. HPT) :101 - 103-103.
- 22) 大橋隆治, 森田真央香, 並松茂樹, 坂谷貴司, 坂谷貴司, 武井寛幸, 内藤善哉, 内藤善哉 : 乳腺化生癌における IMP3 発現の意義. *日本病理学会会誌* 2017; 106 (1)
- 23) 杉江 知治, 佐藤 永一, 宮下 穰, 三上 芳喜, 山口 倫, 坂谷 貴司, 小塚 祐司, 森谷 鈴子, 鈴木 栄治, 森谷 卓也 : 免疫腫瘍学による新たな乳癌治療 乳がん免疫治療の方向性 班研究「乳癌における腫瘍浸潤リンパ球の臨床病理学的研究」を踏まえて. *日本乳癌学会総会プログラム抄録集* 2017; 25 回:219.
- 24) 森谷 卓也, 三上 芳喜, 山口 倫, 佐藤 永一, 坂谷 貴司, 小塚 祐司, 森谷 鈴子, 杉江 知治 : 免疫腫瘍学による新たな乳癌治療 乳癌における tumor infiltrating lymphocyte 検索の現状. *日本乳癌学会総会プログラム抄録集* 2017; 25 回:219.
- 25) 鐙木 翔太, 高野 夏希, 菅野 哲平, 松本 優, 野呂 林太郎, 武内 進, 加藤 友美, 中山 幸治, 高橋 聡, 小林 研一, 峯岸 裕司, 清家 正博, 久保田 馨, 弦間 昭彦, 山本 晃人, 黒瀬 圭輔, 大橋 隆治, 寺崎 泰弘, 功刀 しのぶ, 白田 実男 : 卵巢莖膜細胞腫への腫瘍内転移をきたした肺大細胞神経内分泌癌の 1 例. *肺癌* 2017; 57 (6) :794.
- 26) 三軒 真央香, 工藤 光洋, 大橋 隆治, 藤井 雄文, 河本 陽子, 手塚 潔, 川原 清子, 坂谷 貴司, 和田 龍一, 内藤 善哉 : 多形腺腫由来癌(CXPA)における IMP3 の発現とその意義. *日本癌学会総会記事* 2017; 76 回:P-1317.
- 27) 坂谷 貴司, 内藤 善哉 : 専門医のためのアトラス 腹腔洗浄細胞診. *胃がん perspective* 2017; 9 (3) :210-214.
- 28) 内村 僚一, 植田 高弘, 深澤 隆治, 大橋 隆治, 右田 真, 前田 美穂, 伊藤 保彦 : 川崎病血管炎モデルマウスに対する脂肪由来間葉系幹細胞投与の効果検証. *日本小児科学会雑誌* 2018; 122 (2) :534.
- 29) 呉 壮香, 和田 龍一, 彭 為霞, 坂谷 貴司, 内藤 善哉 : 平滑筋分化を伴った低悪性度子宮内膜間質肉腫の 1 例. *診断病理* 2017; 34 (3) :167-172.
- 30) 金丸里奈, 中井麻木, 栗田智子, 柳原恵子, 山下浩二, 坂谷貴司, 土屋慎一, 武井寛幸 : 比較的稀な経過をたどった悪性葉状腫瘍の一例. *日本乳癌学会学術総会プログラム・抄録集* 2017; 25th
- 31) 石野孔祐, 工藤光洋, PENG Wei-Xia, 呉壮香, 河本陽子, 手塚潔, 藤井雄文, 恩田宗彦, 和田龍一, 内藤善哉 : 液状検体で利用可能な新規膵がん腫瘍マーカーのタンパク質網羅的探索. *日本病理学会会誌* 2017; 106 (1)
- 32) 大橋 隆治 : 病理診断とデジタルパソロジー その現状と近未来像. *日本医科大学医学会雑誌* 2018; 14(1):33-34. doi: 10.1272/manms.14.33.
- 33) 大橋 隆治, 葉山 綾子, 松原 美幸, 渡會 泰彦, 石井 英昭, 坂谷 貴司, 武井 寛幸, 内藤 善哉, 清水 章 : 破骨型巨細胞を伴う乳癌の細胞病理組織像の検討. *日本臨床細胞学会雑誌* 2017; 56 (Suppl.2) :856.
- 34) 鈴木 茂一, 軸菌 智雄, 小坂井 守, 松原 美幸, 村瀬 幸宏, 渡會 泰彦, 酒主 敦子, 中溝 宗永, 大橋 隆治, 杉谷 巖, 清水 一雄, 山田 哲 : 穿刺吸引細胞診が診断に有用であった気管原発腺様嚢胞癌甲状腺浸潤の一例. *日本臨床細胞学会雑誌* 2017; 56 (Suppl.2) :795.
- 35) 金丸里奈, 范姜明志, 中井麻木, 栗田智子, 柳原恵子, 原絵津子, 坂谷貴司, 土屋眞一, 武井寛幸 : 線維腺腫内に発生した浸潤性乳管癌の 1 例. *日本臨床外科学会雑誌* 2017; 78

- 36) 横島 一彦, 中溝 宗永, 稲井 俊太, 酒主 敦子, 坂井 梓, 加藤 大星, 大橋 隆治, 梅澤 裕己, 中尾 淳一, 大久保 公裕: 耳下腺癌に対する穿刺吸引細胞診の悪性度別正診率と改善に向けての戦略. 頭頸部癌 2017; 43 (2) :187.
- 37) 磯村 真理子, 黒瀬 圭輔, 山本 晃人, 川瀬 里衣子, 久保田 夢音, 中西 一步, 松橋 智彦, 山田 隆, 米山 剛一, 彭 為霞, 寺崎 美佳, 大橋 隆治, 鴨井 青龍: 胆嚢癌を原発とする転移性卵巣腫瘍の1例. 日本臨床細胞学会雑誌 2017; 56 (Suppl.2) :742.
- 38) 山岡 卓司, 北川 泰之, 水野 祥寛, 角田 隆, 中尾 淳一, 中山 一隆, 大橋 隆治, 高井 信朗: 腹直筋に発生した限局型 Castleman 病の1例. 東日本整形災害外科学会雑誌 2017; 29 (3) :283.
- 39) 加藤 大星, 中溝 宗永, 横島 一彦, 稲井 俊太, 酒主 敦子, 大橋 隆治, 大久保 公裕: 腹部大動脈瘤を合併した浅側頭動脈瘤の1例. 耳鼻咽喉科・頭頸部外科 2017; 89 (13) :1111-1115.
- 40) 范姜明志, 金丸里奈, 中井麻木, 栗田智子, 武井寛幸, 坂谷貴司, 石井英昭: 臨床的に乳癌が疑われた巨大葉状腫瘍の1症例. 日本臨床外科学会雑誌 2017; 78
- 41) 葉山 綾子, 土屋 紳一, 松澤 こず恵, 松原 美雪, 渡會 泰彦, 大橋 隆治, 坂谷 貴司, 石井 英昭, 内藤 善哉, 武井 寛幸, 清水 章: 良悪の鑑別が問題になった乳管内乳頭腫の1例. 日本臨床細胞学会雑誌 2017; 56 (Suppl.2) :736.
- 42) 鈴木えりか, 武井寛幸, 山下浩二, 柳原恵子, 栗田智子, 中井麻木, 坂谷貴司, 長嶋隆: 若年で認めた乳腺過誤腫の1例. 日本臨床外科学会雑誌 2017; 78
- 43) 栗田智子, 中井麻木, 鈴木えりか, 柳原恵子, 山下浩二, 村上隆介, 坂谷貴司, 土屋眞一, 土屋眞一, 武井寛幸: 術前ホルモン療法による抗腫瘍効果と TILs との関係. 日本乳癌学会学術総会プログラム・抄録集 2017; 25th
- 44) 中井麻木, 栗田智子, 柳原恵子, 山下浩二, 坂谷貴司, 武井寛幸: 術前化学療法における weekly nab-paclitaxel の有効性および安全性に関する臨床研究報告. 日本乳癌学会学術総会プログラム・抄録集 2017; 25th
- 45) 酒田 美香, 大橋 隆治, 北川 泰之, 松原 美幸, 渡會 泰彦, 石井 英昭, 坂谷 貴司, 内藤 善哉, 清水 章: 術前診断に苦慮した仙骨脊索腫の一例. 日本臨床細胞学会雑誌 2017; 56 (Suppl.2) :864.

## 著書

- 1) 坂谷貴司: [分担執筆]【乳癌学-最新の診断と治療-】乳癌の症候と検査、診断 乳癌の病理診断 HER2. 日本臨床 増刊;2017, 日本臨床社.
- 2) 大橋隆治: [分担執筆] 腎生検病理診断. 小児腎臓病学. 2017, 日本小児腎臓病学会.
- 3) 大橋隆治: [分担執筆] 血栓性微小血管症の病理. 腎生検病理アトラス. 2017, 東京医学社.

## 学会発表

- 1) 大橋隆治: Evolving concept of membranous nephropathy: stepping out of old school onto new roads. 6th China-Japan Renal Pathology conference, 2017. 9.
- 2) 大橋隆治: Reality of “indeterminate” cases in fine needle aspiration (FNA) and core needle biopsy. 25th Thailand-Japan Diagnostic Cytology Workshop, 2018. 1.
- 3) 坂谷貴司: 乳腺病理 -診断における注意点と最近のトピックス-. 第 75 回日本病理学会関東支部学術集会, 2017. 6.
- 4) 坂谷貴司, 葉山綾子, 大橋隆治, 和田龍一, 内藤善哉: 乳腺腫瘍の WHO 組織診断分類と細胞診 -乳管内増殖性病変・乳頭状病変-. 第 58 回日本臨床細胞学会総会 春期大会, 2017. 5.
- 5) 坂谷貴司, 佐々木毅, 田中伸哉, 内藤善哉: 病理部門が院内の医療安全体制に与える影響に関する検討. 第 12 回医療の質・安全学会学術集会, 2017. 11.
- 6) 大橋隆治: 膜性腎症の病因・病態～膜性腎症の病理: 免疫学的側面を中心に. 第 18 回東京腎炎・ネフローゼ研究会, 2017. 6.

## 5 付属病院外科系集中治療科

### 研究業績

#### 論文等

- 1) 市場 晋吾, 梅井 菜央 : 45歳男性,心肺停止で搬入。救急外来でPCPS・人工呼吸器が装着されICUに入室してきた : VA ECMOにおける人工呼吸管理を中心に (特集 こんなときどうする!? 事例でみる人工呼吸管理). 循環器ナーシング : 基礎知識から最新トピックスまで!ハートナースとコメディカルのための循環器看護専門誌 2017; 7 (7) :76-83.
- 2) 亀井 信孝, 梅井 菜央, 市場 晋吾, 間瀬 大司, 池田 督司, 竹内 純平, 坂本 篤裕 : 65歳以上の急性呼吸不全の患者の予後予測 後方視観察研究. 日本集中治療医学会雑誌 2018; 25 (Suppl.) :[O69-5].
- 3) Nao Umei, Shingo Ichiba : A Case of Leptospirosis-Associated Severe Pulmonary Hemorrhagic Syndrome Successfully Treated with Venovenous Extracorporeal Membrane Oxygenation. Case reports in critical care 2017; 2017:5369267. doi: 10.1155/2017/5369267.
- 4) 市場 晋吾 : ARDS : 陽圧人工呼吸の限界は? (ARDS : その常識は正しいか?) -- (ARDS 患者の人工呼吸療法 : その常識は正しいか?). 救急・集中治療 2017; 29 (1) :83-93.
- 5) 市場 晋吾, 梅井 菜央 : ARDS と ECMO の管理. 日本集中治療医学会学術集会 2017; 44th:ROMBUNNO.SS14 - 4 (WEB ONLY).
- 6) 市場 晋吾, 梅井 菜央, 池田 督司 : ARDS 診断・治療の最前線:標準治療への挑戦 重症 ARDS に対する Venovenous Extracorporeal Membrane Oxygenation(VV ECMO)の臨床的検討. 日本救急医学会雑誌 2017; 28 (9) :423.
- 7) Nao Umei, Shingo Ichiba : DURATION OF VENOVENOUS EXTRACORPOREAL MEMBRANE OXYGENATION IMPACTS SURVIVAL. CRITICAL CARE MEDICINE 2018; 46 (1) :515. doi: 10.1097/01.ccm.0000529068.06140.cd.
- 8) 片野 拓馬, 馬場 智尚, 相子 直人, 真玉 豪士, 磯本 晃佑, 大川 亮太, 田畑 恵里奈, 新谷 亮多, 佐渡山 伸子, 池田 慧, 山川 英晃, 丹羽 崇, 仲川 宏昭, 織田 恒幸, 奥田 良, 関根 朗雅, 北村 英也, 小松 茂, 萩原 恵里, 合田 真海, 蒲生 正裕, 梅井 菜央, 市場 晋吾, 小倉 高志 : ECMO 併用全肺洗浄を施行した肺胞蛋白症の2例. 気管支学 2017; 39 (5) :458-459.
- 9) 市場 晋吾, 鈴木 健一, 清水 敬樹, 高田 裕, 居石 崇志, 行光 昌宏 : ECMO 関連デバイスの特徴と注意点. 人工呼吸 2017; 34 (2) :138-148.
- 10) 市場 晋吾 : Extracorporeal Membrane Oxygenation その先へ. 医工学治療 2017; 29 (Suppl.) :53.
- 11) 戸村 泰規, 岩崎 雄樹, 萩原 かな子, 岡 英一郎, 高橋 健太, 林 洋史, 山本 哲平, 淀川 顕司, 清水 渉, 鈴木 健一, 市場 晋吾 : SOUNDSTAR による心房中隔穿刺部タグとガイドワイヤー-Contour によるアブレーションカテーテルの左房アプローチ法における有効性と安全性の検討. 日本循環器学会学術集会抄録集 2018; 82 回:CP32-5.
- 12) 木村 嵩之, 梅井 菜央, 市場 晋吾, 間瀬 大司, 坂本 篤裕 : Stanford A 型急性大動脈解離術後の挿管期間に影響する因子. 日本集中治療医学会学術集会 2017; 44th (Suppl.) :ROMBUNNO.DP90 - 1 (WEB ONLY)-1.
- 13) Nao Umei, Shingo Ichiba, Masayuki Chida : Successful use of veno-venous extracorporeal membrane oxygenation as a bridge to lung T transplantation in a patient with pulmonary fibrosis. General thoracic and cardiovascular surgery 2017; 65 (8) :478-480. doi: 10.1007/s11748-016-0726-0.
- 14) Nao Umei, Shingo Ichiba : Venovenous Extracorporeal Membrane Oxygenation as a Treatment for Obesity Hypoventilation Syndrome. Case reports in critical care 2017; 2017:9437452. doi: 10.1155/2017/9437452.
- 15) 梅井 菜央 : 【ER・ICUにおける手技の基本と実際-ベテランに学ぶトラブル回避法-】カテーテル手技 肺動脈カテーテル. 救急・集中治療 2017; 29 (臨増) :e144-e149.
- 16) 市場 晋吾, 梅井 菜央 : 【呼吸 ECMO の現状と将来】呼吸 ECMO の将来への展望. 人工臓器 2017; 46 (3) :219-221.
- 17) 梅井 菜央 : 【呼吸 ECMO の現状と将来】呼吸 ECMO の導入と管理. 人工臓器 2017; 46 (3) :208-211. doi: 10.11392/jsao.46.208.
- 18) 市場 晋吾, 梅井 菜央, 鈴木 健一 : 【補助循環の最近の進歩と近未来の展望 2017】短期補助システム CARDIOHELP 欧米並みの呼吸不全治療成績を目指して. Clinical Engineering 2017; 28 (8) :652-659.
- 19) 間瀬 大司, 市場 晋吾 : 【集中治療領域の最近のエビデンス】人工呼吸管理と至適酸素飽和度. ICU と CCU 2018; 42 (2) :99-105.
- 20) 梅井 菜央 : カテーテル手技 肺動脈カテーテル. 救急・集中治療 2017; 29:e144 - e149.

- 21) 青景 聡之, Broman L. Mikael, Malfetheriner Maximilian V., Naesheim Torvind, Pappalardo Federico, 市場 晋吾, 中村 光伸, 清水 敬樹, 清水 直樹, 織田 成人 : 一歩進んだ ECMO 管理を目指して ECMO を使用した施設間患者搬送の現状 世界の ECMO センターを対象にしたアンケート調査の結果. 日本集中治療医学会雑誌 2018; 25 (Suppl.) :[PD12-8].
- 22) 間瀬 大司 : 周術期における急性血液浄化療法. 日本臨床麻酔学会誌 2017; 37 (6) :S190.
- 23) 市場 晋吾, 梅井 菜央 : 呼吸 ECMO の将来への展望. 人工臓器 2017; 46 (3) :219-221. doi: 10.11392/jsao.46.219.
- 24) 市場 晋吾, 梅井 菜央 : 呼吸不全を ECMO で救命する. 日本救急医学会雑誌 2017; 28 (9) :365.
- 25) 戸村 泰規, 八重田 知見, 豊富 達智, 大和田 恵子, 内田 千草, 黄川田 弥生, 鈴木 健一, 市場 晋吾, 高橋 健太, 岩崎 雄樹, 林 明聡, 清水 渉, 青山 純也, 宮城 泰雄, 新田 隆 : 心室性期外収縮に対する開胸下凍結凝固術における CARTO3 システムを用いた開胸下心外膜マッピング. 日本臨床工学技士会誌 2017; (60) :167.
- 26) 花井 紗弥子, 坂本 篤裕, 岸川 洋昭, 鈴木 規仁, 源田 雄紀, 保利 陽子, 間瀬 大司, 阿部 聖孝 : 急性帯状疱疹痛に対するプレガバリン投与時期が疼痛強度に与える影響. 日本ペインクリニック学会誌 2017; 24 (3) :138.
- 27) 佐々木 拓也, 岩崎 雄樹, 淀川 颯司, 林 明総, 鈴木 健一, 市場 晋吾, 清水 渉, 新田 隆 : 日本医科大学付属病院における、着用型自動除細動器の使用経験と CE の役割. 日本臨床工学技士会誌 2017; (60) :279.
- 28) 市場 晋吾, 鈴木 健一 : 災害医療と医工学 災害医療における ECMO. 医工学治療 2017; 29 (Suppl.) :63.
- 29) 鈴木 健一, 市場 晋吾 : 臨床工学技士から見た ECMO 中のビットホール. 医工学治療 2018; 30 (Suppl.) :101.
- 30) 山下 碧, 梅井菜央, 市場晋吾, 間瀬大司, 坂本篤裕 : 血液悪性腫瘍患者の予後に影響する因子. 日本集中治療医学会学術集会 2017; 44th (Suppl.) :ROMBUNNO.DP112 - 1 (WEB ONLY)-1.
- 31) 小川 雄太郎, 間瀬 大司, 岸川 洋昭, 坂本 篤裕 : 血管内悪性リンパ腫による多臓器不全に対して集中治療を要した一例. 日本臨床麻酔学会誌 2017; 37 (6) :S293.
- 32) 鈴木 健一, 市場 晋吾, 清水 敬樹 : 補助循環施行時中の患者搬送について考える ECMO Transport の実際と問題点. 体外循環技術 2017; 44 (3) :249.
- 33) 市場晋吾, 梅井菜央, 池田督司 : 重症 ARDS に対する Venovenous Extracorporeal Membrane Oxygenation(VV ECMO)の臨床的検討. 日本救急医学会雑誌 2017; 28 (9) :423.
- 34) 市場 晋吾 : 重症呼吸不全に対する ECMO の現状と展望. エンドトキシン血症救命治療研究会誌 2017; 21 (1) :17-24.
- 35) 寺川 依里, 間瀬 大司, 亀井 信孝, 山本 真記子, 松尾 いづみ, 石川 真士, 岸川 洋昭, 坂本 篤裕 : 閉塞性肥大型心筋症を有する消化器外科手術の周術期管理. 日本臨床麻酔学会誌 2017; 37 (6) :S275.
- 36) 池田 督司, 梅井 菜央, 市場 晋吾, 竹内 純平, 間瀬 大司, 坂本 篤裕 : 間質性肺炎患者の特徴と予後因子の検討 後方視観察研究. 日本集中治療医学会雑誌 2018; 25 (Suppl.) :[P1-2].
- 37) 伊藤 英史, 市場 晋吾, 氏家 良人, 笠原 真悟, 佐野 俊二 : 集中治療における医工学の進歩 急性期集中治療における拍動流 ECMO の展望. 医工学治療 2017; 29 (Suppl.) :74.
- 38) 市場 晋吾 : 集中治療における検査・技術 補助循環(ECMO、IABP、Impella). 集中治療医学レビュー 2018; 2018-'19:122-126.
- 39) 間瀬大司, 市場晋吾 : 集中治療領域の最近のエビデンス 人工呼吸管理と至適酸素飽和度. ICU と CCU 2018; 42 (2) :99 - 105.
- 40) 鈴木 英正, 鈴木 健一, 豊富 達智, 中山 拓也, 石津 健太, 市場 晋吾, 太良 修平, 高木 元, 桐木 園子, 宮本 正章 : 高気圧環境下におけるシリンジポンプ CSP-110 の動作検証. 日本高気圧環境・潜水医学会雑誌 2017; 52 (Suppl.) :49.
- 41) 中山 拓也, 鈴木 健一, 豊富 達智, 石津 健太, 鈴木 英正, 市場 晋吾, 太良 修平, 高木 元, 桐木 園子, 宮本 正章 : 高気圧環境下における輸液ポンプ CIP-100T の動作検証. 日本高気圧環境・潜水医学会雑誌 2017; 52 (4) :281.

## 著書

- 1) 梅井菜央 : 【呼吸 ECMO の現状と将来】呼吸 ECMO の導入と管理. 2017, 人工臓器 2017;46(3) : 208-211.
- 2) 梅井 菜央 : 肺動脈カテーテル. 2017, 総合医学社.
- 3) 梅井 菜央 : 集中治療室での鎮静. 2017, 羊土社.

## 学会発表

- 1) 梅井 菜央 : Duration Of Venovenous Extracorporeal Membrane Oxygenation Impacts Survival. CCM, 2018. 2.
- 2) 梅井菜央, 市場晋吾, 坂本篤裕 : VV - ECMO 管理中の早期リハビリテーション. 日本集中治療医学会学術集会(Web), 2017.
- 3) 梅井菜央, 市場晋吾, 坂本篤裕 : 高齢者の重症呼吸不全に対する veno venous ECMO. 日本集中治療医学会学術集会(Web), 2017.

## 6 付属病院口腔科（周術期）

### 研究業績

#### 論文等

- 1) Maki Mizuno, Toshihiko Hoashi, Akiko Hisano, Susumu Ichiyama, Yoko Funasaka, Hidehisa Saeki : A Case of External Dental Fistula Related to a Fixed Cantilever Bridge. JOURNAL OF NIPPON MEDICAL SCHOOL 2017; 84 (4) :198-200. doi: 10.1272/jnms.84.198.

## 7 付属病院病理部

研究業績



## 8 付属病院内視鏡センター

### 研究業績

#### 論文等

- 1) 星野 慎太郎, 川見 典之, 星川 吉正, 花田 優理子, 竹ノ内 菜菜, 梅澤 まり子, 佐野 弘仁, 貝瀬 満, 岩切 勝彦 : "Esophageal Rosette"を認めないアカラシア患者の下部食道内視鏡所見. 日本消化器病学会雑誌 2017; 114 (臨増大会) :A708.
- 2) 佐野 弘仁, 四宮 航, 宮本 真由子, 星川 吉正, 星野 慎太郎, 梅澤 まり子, 川見 典之, 柴田 喜明, 岩切 勝彦 : 6年の経過でChampagne glass様の食道狭小化像を呈するに至った食道アカラシアの一例. Gastroenterological Endoscopy 2017; 59 (Suppl.1) :1077.
- 3) 星野 慎太郎, 川見 典之, 星川 吉正, 竹之内 菜菜, 梅澤 まり子, 小泉 英里子, 花田 優理子, 貝瀬 満, 岩切 勝彦 : 80歳以上のPPI抵抗性逆流性食道炎患者の臨床的特徴. 日本消化管学会雑誌 2018; 2 (Suppl.) :331.
- 4) 石川 裕美子, 星野 慎太郎, 小泉 英里子, 星川 吉正, 花田 優理子, 竹ノ内 菜菜, 梅澤 まり子, 川見 典之, 貝瀬 満, 岩切 勝彦 : 80歳以上のPPI抵抗性逆流性食道炎患者の臨床的特徴. 日本消化器病学会雑誌 2018; 115 (臨増総会) :A266.
- 5) 植木 信江, 野田 啓人, 阿川 周平, 池田 剛, 樋口 和寿, 飽本 哲兵, 丸木 雄太, 山脇 博士, 小高 康裕, 名児耶 浩幸, 河越 哲郎, 二神 生爾, 三宅 一昌, 岩切 勝彦 : 80歳以上高齢者の胃腫瘍性病変におけるESDの有効性と安全性. Gastroenterological Endoscopy 2017; 59 (Suppl.1) :917.
- 6) Shintaro Hoshino, Mariko Umezawa, Noriyuki Kawami, Yoshimasa Hoshikawa, Hiroaki Kataoka, Yuriko Hanada, Nana Takenouchi, Yoshio Hoshihara, Katsuhiko Iwakiri : EFFECTIVENESS OF ON-DEMAND THERAPY USING 20-MG VONOPRAZAN FOR MILD REFLUX ESOPHAGITIS. GASTROENTEROLOGY 2017; 152 (5) :S461.
- 7) 清水 哲也, 神田 知洋, 古木 裕康, 吉岡 正人, 松下 晃, 中村 慶春, 谷合 信彦, 内田 英二 : ERCP 関連後腹膜穿孔 12 例の検討. 胆道 2017; 31 (3) :488.
- 8) Nobue Ueki, Seiji Futagami, Teppei Akimoto, Yuta Maruki, Hiroshi Yamawaki, Yasuhiro Kodaka, Hiroyuki Nagoya, Tomotaka Shindo, Masafumi Kusunoki, Tetsuro Kawagoe, Katya Gudis, Kazumasa Miyake, Katsuhiko Iwakiri : Effect of Antithrombotic Therapy and Long Endoscopic Submucosal Dissection Procedure Time on Early and Delayed Postoperative Bleeding. Digestion 2017; 96 (1) :21-28. doi: 10.1159/000475924.
- 9) Shintaro Hoshino, Nana Takenouchi, Yuriko Hanada, Mariko Umezawa, Hirohito Sano, Noriyuki Kawami, Yoshimasa Hoshikawa, Tetsuro Kawagoe, Tsutomu Nomura, Yoshio Hoshihara, Katsuhiko Iwakiri : Effects of acotiamide on esophageal motility in healthy subjects: a randomized, double-blind, placebo-controlled crossover study. ESOPHAGUS 2017; 14 (2) :146-152. doi: 10.1007/s10388-016-0559-z.
- 10) Shintaro Hoshino, Nana Takenouchi, Yuriko Hanada, Mariko Umezawa, Hirohito Sano, Noriyuki Kawami, Yoshimasa Hoshikawa, Tetsuro Kawagoe, Tsutomu Nomura, Yoshio Hoshihara, Katsuhiko Iwakiri : Effects of acotiamide on esophageal motility in healthy subjects: a randomized, double-blind, placebo-controlled crossover study (vol 14, pg 146, 2017). ESOPHAGUS 2017; 14 (3) :272-273. doi: 10.1007/s10388-017-0576-6.
- 11) Shintaro Hoshino, Noriyuki Kawami, Nana Takenouchi, Mariko Umezawa, Yuriko Hanada, Yoshimasa Hoshikawa, Tetsuro Kawagoe, Hirohito Sano, Yoshio Hoshihara, Tsutomu Nomura, Katsuhiko Iwakiri : Efficacy of Vonoprazan for Proton Pump Inhibitor-Resistant Reflux Esophagitis. DIGESTION 2017; 95 (2) :156-161. doi: 10.1159/000456072.
- 12) Yoshimasa Hoshikawa, Shintaro Hoshino, Noriyuki Kawami, Hiroaki Kataoka, Yuriko Hanada, Nana Takenouchi, Mariko Umezawa, Yoshio Hoshihara, Katsuhiko Iwakiri : Efficacy of Vonoprazan for Proton Pump Inhibitor-Resistant Reflux Esophagitis. GASTROINTESTINAL ENDOSCOPY 2017; 85 (5) :AB598.
- 13) 川見 典之, 星野 慎太郎, 梅澤 まり子, 竹之内 菜菜, 花田 優理子, 星川 吉正, 星原 芳雄, 岩切 勝彦 : EoE を解明する好酸球性食道炎の臨床像と食道運動機能. 日本食道学会学術集会プログラム・抄録集 2017; 71 回:W3-9.
- 14) Satomi Hashimoto, Seiji Futagami, Hiroshi Yamawaki, Keiko Kaneko, Yasuhiro Kodaka, Mako Wakabayashi, Noriko Sakasagawa, Shuhei Agawa, Kazutoshi Higuchi, Teppei Akimoto, Nobue Ueki, Tetsuro Kawagoe, Hitomi Sato, Katsuhisa Nakatsuka, Kaya

- Gudis, Chiaki Kawamoto, Takashi Akamizu, Choitsu Sakamoto, Katsuhiko Iwakiri : Epigastric pain syndrome accompanying pancreatic enzyme abnormalities was overlapped with early chronic pancreatitis using endosonography. *JOURNAL OF CLINICAL BIOCHEMISTRY AND NUTRITION* 2017; 61 (2) :140-145. doi: 10.3164/jcfn.17-41.
- 15) Chang Moo Kang, Akira Matsushita, Hokyung Hwang, Yoko Matsuda, Hyunki Kim, Yoshiharu Nakamura, Woo Jung Lee : Experience-based surgical approach to pancreatic mucinous cystic neoplasms with ovarian-type stroma. *Oncology Letters* 2018; 15 (2) :2451-2458. doi: 10.3892/ol.2017.7627.
- 16) 秋元 直彦, 三井 啓吾, 寺本 忠, 梅田 隆満, 高木 信介, 西本 崇良, 大森 順, 佐藤 航, 馬來 康太郎, 鈴木 将大, 小杉 友紀, 江原 彰仁, 米澤 真興, 田中 周, 辰口 篤志, 藤森 俊二, 貝瀬 満, 岩切 勝彦 : Expert と trainee にみる大腸 ESD の learning curve の相違. *Gastroenterological Endoscopy* 2017; 59 (Suppl.2) :2202.
- 17) 岩切 勝彦, 星野 慎太郎, 川見 典之 : GERD(逆流性食道炎、非びらん性逆流症)の病態と治療の新展開. *東京都医師会雑誌* 2017; 70 (4) :301-307.
- 18) 岩切 勝彦, 星野 慎太郎, 川見 典之 : GERD 治療の新展開. *胃病態機能研究会誌* 2018; 50:39.
- 19) 小杉 友紀, 藤森 俊二, 高木 信介, 大森 順, 秋元 直彦, 佐藤 航, 馬來 康太郎, 鈴木 将大, 江原 彰仁, 瀬尾 継彦, 三井 啓吾, 米澤 真興, 田中 周, 辰口 篤志, 岩切 勝彦 : H.pylori 感染は小腸粘膜傷害を増悪させる可能性がある. *Gastroenterological Endoscopy* 2017; 59 (Suppl.1) :971.
- 20) 小高 康裕, 二神 生爾, 山脇 博士, 桐田 久美子, 阿川 周平, 樋口 和寿, 池田 剛, 野田 啓人, 丸木 雄太, 飽本 哲兵, 佐藤 ひとみ, 名児耶 浩幸, 植木 信江, 河越 哲郎, 千原 直人, 渡邊 昌則, 鈴木 英之, 岩切 勝彦 : H.pylori 陽性胃炎における京都分類と COX-2 1195、IL-1 $\beta$  511、mPGES-1 の SNP を用いた胃癌ハイリスク群予測の試み. *日本消化器病学会雑誌* 2017; 114 (臨増大会) :A716.
- 21) 桐田 久美子, 二神 生爾, 植木 信江, 山脇 博士, 小高 康裕, 樋口 和寿, 池田 剛, 阿川 周平, 野田 啓人, 岩切 勝彦 : H.pylori 陽性胃炎における京都分類と OLGIM 分類、COX-2 1195、IL-1 $\beta$  511、mPGES-1 を用いた胃癌ハイリスク群予測. *日本ヘリコバクター学会学術集会プログラム・抄録集* 2017; 23 回:194.
- 22) Yoshimasa Hoshikawa, Yoshio Hoshihara, Noriyuki Kawami, Shintaro Hoshino, Yuriko Hanada, Hiroaki Kataoka, Nana Takenouchi, Mariko Umezawa, Junko Aida, Kaiyo Takubo, Katsuhiko Iwakiri : How to Decide the Circumferential Distribution of the Location of a Small Lesion in the Lower Esophagus?. *GASTROINTESTINAL ENDOSCOPY* 2017; 85 (5) :AB577.
- 23) 山脇 博士, 二神 生爾, 若林 眞子, 酒瀬川 典子, 阿川 周平, 樋口 和寿, 小高 康裕, 佐藤 ひとみ, 金子 恵子, 植木 信江, 川本 智章, 岩切 勝彦 : Hp 除菌時代における心窩部痛症候群に対する新たな治療戦略. *日本ヘリコバクター学会学術集会プログラム・抄録集* 2017; 23 回:162.
- 24) 吉岡 正人, 谷合 信彦, 川野 陽一, 清水 哲也, 近藤 亮太, 金谷 洋平, 青木 悠人, 神田 知洋, 松下 晃, 中村 慶春, 内田 英二 : ICG 蛍光法をナビゲーションとした腹腔鏡下再肝切除術. *日本内視鏡外科学会雑誌* 2017; 22 (7) :SF090-01.
- 25) Yasuhiro Kodaka, Seiji Futagami, Atsushi Tatsuguchi, Hiroshi Yamawaki, Hitomi Sato, Satomi Hashimoto, Tetsuro Kawagoe, Nobue Ueki, Hiroyuki Nagoya, Yuuta Maruki, Kazumasa Miyake, Katya Gudis, Choitsu Sakamoto, Katsuhiko Iwakiri : Impact of Cyclooxygenase-2 1195 G-Carrier Genotype Associated with Intestinal Metaplasia and Endoscopic Findings Based on Kyoto Classification. *Digestion* 2017; 96 (3) :173-183. doi: 10.1159/000479864.
- 26) Chinnusamy Palanivelu, Kyoichi Takaori, Mohammad Abu Hilal, David A. Kooby, Go Wakabayashi, Anil Agarwal, Stefano Berti, Marc G. Besselink, Kuo Hsin Chen, Andrew A. Gumbs, Ho-Seong Han, Goro Honda, Igor Khatkov, Hong Jin Kim, Jiang Tao Li, Tran Cong Duy Long, Marcel Autran Machado, Akira Matsushita, Krish Menon, Zheng Min-Hua, Masafumi Nakamura, Yuichi Nagakawa, Juan Pekolj, Ignasi Poves, Shahidur Rahman, Liu Rong, Antonio Sa Cunha, Palanisamy Senthilnathan, Shailesh V. Shrikhande, S. Srivatsan Gurumurthy, Dong Sup Yoon, Yoo-Seok Yoon, Vijay P. Khatri : International Summit on Laparoscopic Pancreatic Resection (ISLPR) “Coimbatore Summit Statements”. *Surgical Oncology* 2018; 27 (1) :A10-A15. doi: 10.1016/j.suronc.2017.12.001.
- 27) 小泉 英里子, 川見 典之, 星野 慎太郎, 梅澤 まり子, 竹之内 菜菜, 花田 優理子, 星川 吉正, 貝瀬 満, 岩切 勝彦 : Jackhammer esophagus の臨床的特徴と治療. *日本消化器病学会雑誌* 2017; 114 (臨増大会) :A709.
- 28) 酒瀬川 典子, 二神 生爾, 山脇 博士, 佐藤 ひとみ, 若林 眞子, 桐田 久美子, 阿川 周平, 樋口 和寿, 野田 啓人, 池田 剛, 小高 康裕, 名児耶 浩幸, 植木 信江, 河越 哲郎, 岩切 勝彦 : LPS 刺激 urocortin 脳槽内投与ラットにおける消化管粘膜炎症細胞浸潤の検

- 討. 日本ヘリコバクター学会学術集会プログラム・抄録集 2017; 23 回:232.
- 29) Hiroshi Yamawaki, Seiji Futagami, Mako Wakabayashi, Noriko Sakasegawa, Shuhei Agawa, Kazutoshi Higuchi, Yasuhiro Kodaka, Katsuhiko Iwakiri : Management of functional dyspepsia: state of the art and emerging therapies. *Therapeutic advances in chronic disease* 2018; 9 (1) :23-32. doi: 10.1177/2040622317725479.
- 30) Katsuhiko Iwakiri, Shintaro Hoshino, Noriyuki Kawami : Mechanisms underlying excessive esophageal acid exposure in patients with gastroesophageal reflux disease. *ESOPHAGUS* 2017; 14 (3) :221-228. doi: 10.1007/s10388-017-0575-7.
- 31) 花田 優理子, 川見 典之, 星野 慎太郎, 梅澤 まり子, 竹之内 菜菜, 星川 吉正, 星原 芳雄, 岩切 勝彦 : P-CAB 抵抗性 NERD の病態と P-CAB による胃酸分泌抑制効果. 日本食道学会学術集会プログラム・抄録集 2017; 71 回:P79-5.
- 32) Hiroaki Kataoka, Noriyuki Kawami, Shintaro Hoshino, Mariko Umezawa, Nana Takenouchi, Yuriko Hanada, Yoshimasa Hoshikawa, Yoshio Hoshihara, Katsuhiko Iwakiri : PATHOGENESIS OF DOUBLE-DOSE PROTON PUMP INHIBITOR-RESISTANT NON-EROSIVE REFLUX DISEASE, AND MECHANISM OF REFLUX SYMPTOMS AND GASTRIC ACID SECRETION-SUPPRESSIVE EFFECT IN THE PRESENCE OR ABSENCE OF HELICOBACTER PYLORI INFECTION. *GASTROENTEROLOGY* 2017; 152 (5) :S236.
- 33) Noriyuki Kawami, Shintaro Hoshino, Mariko Umezawa, Nana Takenouchi, Yuriko Hanada, Yoshimasa Hoshikawa, Hiroaki Kataoka, Yoshio Hoshihara, Katsuhiko Iwakiri : PATHOGENESIS OF POTASSIUM-COMPETITIVE ACID BLOCKER (P-CAB)-RESISTANT NON-EROSIVE REFLUX DISEASE (NERD). *GASTROENTEROLOGY* 2017; 152 (5) :S235.
- 34) 小泉 英里子, 星野 慎太郎, 川見 典之, 星川 吉正, 竹之内 菜菜, 花田 優理子, 梅澤 まり子, 貝瀬 満, 岩切 勝彦 : PPI 治療が有効である NERD 患者に対するポノプラザン 20mg による on demand 療法の有効性. *日本消化管学会雑誌* 2018; 2 (Suppl.) :330.
- 35) 星野 慎太郎, 川見 典之, 星川 吉正, 小泉 英里子, 竹之内 菜菜, 花田 優理子, 梅澤 まり子, 貝瀬 満, 岩切 勝彦 : PPI 治療が有効である NERD 患者に対するポノプラザン 20mg による on demand 療法の有効性. *日本消化器病学会雑誌* 2018; 115 (臨増総会) :A267.
- 36) Noriyuki Kawami, Nana Takenouchi, Mariko Umezawa, Shintaro Hoshino, Yuriko Hanada, Yoshimasa Hoshikawa, Hirohito Sano, Yoshio Hoshihara, Tsutomu Nomura, Eiji Uchida, Katsuhiko Iwakiri : Pathogenesis of Double-Dose Proton Pump Inhibitor-Resistant Non-Erosive Reflux Disease, and Mechanism of Reflux Symptoms and Gastric Acid Secretion-Suppressive Effect in the Presence or Absence of Helicobacter pylori Infection. *DIGESTION* 2017; 95 (2) :140-145. doi: 10.1159/000455834.
- 37) 星川 吉正, 川見 典之, 星野 慎太郎, 梅澤 まり子, 竹之内 菜菜, 花田 優理子, 貝瀬 満, 岩切 勝彦 : Starlet(HRM)による IRP 値を用いたアカラシア診断の妥当性. *日本消化器病学会雑誌* 2017; 114 (臨増大会) :A708.
- 38) Ichiyama S, Matayoshi T, Kaneko T, Shimizu A, Osada SI, Watanabe A, Kanzaki A, Mitsui K, Tsuruoka S, Iwakiri K, Kawana S, Saeki H : Successful multitarget therapy using prednisolone, mizoribine and tacrolimus for Henoch-Schönlein purpura nephritis in children. *The Journal of dermatology* 2017; 44 (4) :E56-E57. doi: 10.1111/1346-8138.13614.
- 39) Katsuhiko Iwakiri, Shintaro Hoshino, Noriyuki Kawami : [Relationship between hiatus hernia and acid reflux]. *Nihon Shokakibyō Gakkai zasshi = The Japanese journal of gastro-enterology* 2017; 114 (10) :1774-1780. doi: 10.11405/nisshoshi.114.1774.
- 40) 岸 昌廣, 平井 郁仁, 矢野 豊, 松井 敏行, 高田 康道, 武田 輝之, 別府 剛志, 二宮 風夫, 山本 博則, 矢野 智則, 坂本 長逸, 三井 啓吾, 後藤 秀実, 中村 正直, 田中 信治, 岡 志郎, 江崎 幹宏, 浅野 光一, 八尾 建史, 植木 敏晴 :  $\phi$ 3.2 鉗子チャンネル搭載 DBE を使用した EBD の有用性に関する検討. *Gastroenterological Endoscopy* 2017; 59 (Suppl.2) :2161.
- 41) 阿川 周平, 二神 生爾, 山脇 博士, 池田 剛, 樋口 和寿, 野田 啓人, 鮑本 哲兵, 小高 康裕, 金子 恵子, 植木 信江, 河越 哲郎, 岩切 勝彦 : 「消化管機能性疾患の新展開」機能性ディスぺプシアの病態・標的分子 超音波内視鏡を用いた早期慢性膵炎および膵酵素異常を伴う FD 患者の病態比較検討. *日本消化管学会雑誌* 2018; 2 (Suppl.) :87.
- 42) 岩切 勝彦, 星野 慎太郎, 川見 典之 : 【GERD 診療の進歩と問題点】食道裂孔ヘルニアと酸逆流. *日本消化器病学会雑誌* 2017; 114 (10) :1774-1780.
- 43) 二神 生爾, 山脇 博士 : 【これでスッキリ!便秘治療薬の悩みを解決】作用機序別 使用のポイント・注意点 上皮機能変容薬. *薬事* 2017; 59 (11) :2228-2232.
- 44) 星野 慎太郎, 川見 典之, 岩切 勝彦 : 【内視鏡データリファレンスブック 2017】咽頭・食道 食道アカラシア. *消化器内視鏡* 2017; 29 (8) :1359-1364.
- 45) 清水 哲也, 中村 慶春, 松下 晃, 吉岡 正人, 川野 陽一, 神田 知洋, 谷合 信彦, 野村 務, 真々田 裕宏, 内田 英二 : 【再確認し

- よう!内視鏡外科の基本手技;体位からデバイスの使用法まで】鉗子の選択と使用方法. 消化器外科 2017; 40 (8) :1149-1156.
- 46) 山脇 博士, 二神 生爾, 岩切 勝彦 : 【十二指腸疾患診療の最前線】 十二指腸粘膜からみた消化管機能異常. 日本消化器病学会雑誌 2018; 115 (2) :177-183.
- 47) 中村 慶春, 松下 晃, 山初 和也, 住吉 宏樹, 吉岡 正人, 清水 哲也, 神田 知洋, 内田 英二 : 【徹底解説!-膵頭十二指腸切除の手術手技】 手術手技 腹腔鏡下膵頭十二指腸切除術 小開腹下膵消化管吻合. 臨床外科 2018; 73 (3) :336-341.
- 48) 田中 周, 三井 啓吾, 江原 彰仁, 鈴木 将大, 岩切 勝彦 : 【消化器内視鏡-私の流儀】 ダブルバルーン内視鏡の挿入のコツと挿入困難例の克服へ 細かいコツの積み重ねで結果が大きくなる!. 消化器内視鏡 2017; 29 (6) :1136-1138.
- 49) 山脇 博士, 二神 生爾, 金子 恵子, 川本 智章, 岩切 勝彦 : 【消化管機能障害と内視鏡】 腹部不定愁訴と早期慢性膵炎 FD における早期慢性膵炎の頻度、EUS の適応など. 消化器内視鏡 2017; 29 (10) :1924-1928.
- 50) 星川吉正, 星野慎太郎, 花田優理子, 竹之内菜菜, 梅澤まり子, 佐野弘仁, 川見典之, 星原芳雄, 岩切勝彦 : アコチアミドの食道運動機能に及ぼす影響. 日本消化器病学会雑誌 2017; 114
- 51) 山口祐司, 岡崎幹子, 久保田万葉, 山田裕士, 大庭健史, 周東佑樹, 仲村優子, 原田太郎, 稲垣恭子, 眞野あすか, 松下晃, 中村慶春, 福田いづみ, 内田英二, 杉原仁 : クッシング症候群を合併したパラガングリオーマの 1 例. 日本臨床内分秘病理学会学術総会プログラム・抄録集 2017; 21st:62.
- 52) 山口 祐司, 岡崎 幹子, 久保田 万葉, 山田 裕士, 大庭 健史, 周東 佑樹, 仲村 優子, 原田 太郎, 稲垣 恭子, 眞野 あすか, 松下 晃, 中村 慶春, 福田 いづみ, 内田 英二, 杉原 仁 : クッシング症候群を合併したパラガングリオーマの 1 例. 日本内分秘学会雑誌 2017; 93 (4) :1462.
- 53) 西本 崇良, 三井 啓吾, 片岡 宏章, 梅田 隆満, 高木 信介, 大森 順, 秋元 直彦, 佐藤 航, 鈴木 将大, 馬來 康太郎, 江原 彰仁, 米澤 真興, 田中 周, 辰口 篤志, 藤森 俊二, 岩切 勝彦 : クロウン病の薬物療法・手術療法のすべて クロウン病のバルーン内視鏡による病勢評価と内視鏡的バルーン拡張術の外科手術率に対する影響. 日本消化管学会雑誌 2018; 2 (Suppl.) :192.
- 54) 吉岡 正人, 谷合 信彦, 川野 陽一, 清水 哲也, 近藤 亮太, 金谷 洋平, 神田 知博, 青木 悠人, 古木 裕康, 松下 晃, 中村 慶春, 内田 英二 : 上腹部手術や肝切除既往のある患者に対する腹腔鏡下再肝切除術の有用性. 日本消化器外科学会雑誌 2017; 50 (Suppl.2) :286.
- 55) 中村 慶春, 松下 晃, 神田 知洋, 古木 裕康, 清水 哲也, 吉岡 正人, 谷合 信彦, 山初 和也, 住吉 宏樹, 横山 正, 松本 智司, 内田 英二 : 先天性胆道拡張症成人例に対する腹腔鏡下分流術の手術成績について. 日本消化器病学会雑誌 2017; 114 (臨増大会) :A773.
- 56) 川見 典之, 星野 慎太郎, 竹之内 菜菜, 梅澤 まり子, 花田 優理子, 星川 吉正, 小泉 英里子, 貝瀬 満, 岩切 勝彦 : 全身性強皮症患者における high resolution manometry(HRM)を用いた食道運動機能の評価. 日本消化器病学会雑誌 2018; 115 (臨増総会) :A266.
- 57) 鈴木 将大, 三井 啓吾, 貝瀬 満, 岩切 勝彦 : 内視鏡の読み方 終末回腸に多発する潰瘍・狭窄により再発性腸閉塞をきたした回腸結核の 1 例. 臨床消化器内科 2017; 33 (1) :124-128. doi: 10.19020/CG.0000000209.
- 58) 吉岡 正人, 谷合 信彦, 川野 陽一, 清水 哲也, 近藤 亮太, 金谷 洋平, 青木 悠人, 神田 知洋, 勝野 暁, 松下 晃, 中村 慶春, 真々田 裕宏, 内田 英二 : 再肝切除における腹腔鏡下肝切除術の有用性と成績. 日本外科学会定期学術集会抄録集 2017; 117 回:PS-6.
- 59) 上田 康二, 進士 誠一, 石井 庸介, 山脇 博士, 山田 岳史, 小泉 岐博, 横山 康行, 堀田 正啓, 高橋 吾郎, 岩井 拓磨, 武田 幸樹, 原 敬介, 太田 恵一朗, 新田 隆, 内田 英二 : 冠動脈三枝病変の狭心症を伴う閉塞性大腸癌に対し大腸ステント留置により安全な根治切除が可能となった 1 例. 癌と化学療法 2017; 44 (12) :1868-1870.
- 60) 清水 哲也, 谷合 信彦, 吉岡 正人, 川野 陽一, 近藤 亮太, 金谷 洋平, 青木 悠人, 神田 知洋, 松下 晃, 中村 慶春, 真々田 裕宏, 内田 英二 : 出血・胆汁漏を起こさない腹腔鏡下肝切除の工夫. 日本内視鏡外科学会雑誌 2017; 22 (7) :SF114-05.
- 61) 河越 哲郎, 池田 剛, 丸木 雄太, 植木 信江, 江原 彰仁, 三井 啓吾, 田中 周, 辰口 篤志, 岩切 勝彦 : 切除不能小腸腺癌に対する mFOLFOX6 治療報告. 日本消化管学会雑誌 2018; 2 (Suppl.) :279.
- 62) 河越 哲郎, 池田 剛, 丸木 雄太, 植木 信江, 三井 啓吾, 田中 周, 辰口 篤志, 二神 生爾, 岩切 勝彦 : 切除不能小腸腺癌に対する mFOLFOX6 治療経験. 日本消化器病学会雑誌 2017; 114 (臨増大会) :A788.
- 63) 柴山雅行, 大庭健史, 岡崎幹子, 山田裕士, 山口祐司, 仲村優子, 周東佑樹, 原田太郎, 稲垣恭子, 松下晃, 中村慶春, 福田いづみ, 内田英二, 杉原仁 : 切除後に膵性糖尿病による耐糖能が著しく改善したグルカゴノーマ. 日本内分秘学会雑誌 2017; 93 (2) :582.
- 64) 鈴木 将大, 大森 順, 藤森 俊二, 西本 崇良, 高木 信介, 梅田 隆満, 秋元 直彦, 佐藤 航, 馬來 康太郎, 江原 彰仁, 三井 啓吾, 米澤 真興, 田中 周, 辰口 篤志, 貝瀬 満, 岩切 勝彦 : 大腸憩室出血に対する内視鏡によるクリップ治療の有用性の検討.

- Gastroenterological Endoscopy 2017; 59 (Suppl.2) :2164.
- 65) 鈴木 将大, 藤森 俊二, 高木 信介, 西本 崇良, 秋元 直彦, 大森 順, 佐藤 航, 小杉 友紀, 馬來 康太郎, 江原 彰仁, 三井 啓吾, 米澤 真興, 田中 周, 辰口 篤, 岩切 勝彦 : 大腸憩室出血の内視鏡によるクリップ治療の検討. Gastroenterological Endoscopy 2017; 59 (Suppl.1) :1082.
- 66) 山脇 博士, 二神 生爾, 岩切 勝彦 : 女性の健康をめぐる新たな潮流 女性の便秘 これまでとこれから. White 2017; 5 (1) :44-47.
- 67) 竹之内 菜菜, 川見 典之, 星野 慎太郎, 梅澤 まり子, 花田 優理子, 星川 吉正, 貝瀬 満, 岩切 勝彦 : 好酸球性食道炎の臨床的特徴と食道運動機能. 日本消化管学会雑誌 2018; 2 (Suppl.) :271.
- 68) 中村 慶春, 松下 晃, 勝野 暁, 水口 義昭, 山初 和也, 住吉 宏樹, 神田 知洋, 古木 裕康, 谷合 信彦, 松本 智司, 内田 英二 : 安全性に配慮した肝胆膵領域における腹腔鏡下手術 腹腔鏡下膵切除術の標準化における考察. 日本外科学会定期学術集会抄録集 2017; 117 回:WS-3.
- 69) 三井 啓吾, 藤森 俊二, 岩切 勝彦 : 小腸出血と OGIB 患者の長期予後 小腸出血に対する止血方法と再出血の相関. Gastroenterological Endoscopy 2017; 59 (Suppl.1) :782.
- 70) 大森 順, 三井 啓吾, 片岡 宏章, 梅田 隆満, 西本 崇良, 高木 信介, 秋元 直彦, 佐藤 航, 鈴木 将大, 馬來 康太郎, 江原 彰仁, 米澤 真興, 田中 周, 辰口 篤志, 藤森 俊二, 岩切 勝彦 : 小腸疾患の診断と内視鏡開発の歴史 ダブルバルーン小腸内視鏡を施行した小腸悪性リンパ腫の診断および臨床的特徴の検討. 日本消化管学会雑誌 2018; 2 (Suppl.) :185.
- 71) 神田知洋, 真々田裕宏, 谷合信彦, 中村慶春, 松下晃, 吉岡正人, 清水哲也, 古木裕康, 内田英二 : 当教室における腹腔鏡下胆嚢摘出術による胆管損傷の検討. 胆道 2017; 31 (3) :562.
- 72) 古木裕康, 神田知洋, 真々田裕宏, 谷合信彦, 中村慶春, 松下晃, 吉岡正人, 清水哲也, 青木悠人, 内田英二 : 当科における中等症急性胆嚢炎に対する腹腔鏡下胆嚢摘出術治療成績と検討. 胆道 2017; 31 (3) :561.
- 73) 松下 晃, 中村 慶春, 山初 和也, 住吉 宏樹, 神田 知洋, 清水 哲也, 吉岡 正人, 横山 正, 谷合 信彦, 真々田 裕宏, 内田 英二 : 当科における悪性腫瘍に対する腹腔鏡下尾側膵切除術の手術成績. 日本内視鏡外科学会雑誌 2017; 22 (7) :EP162-08.
- 74) 神田 知洋, 真々田 裕宏, 谷合 信彦, 中村 慶春, 松下 晃, 吉岡 正人, 清水 哲也, 近藤 亮太, 金谷 洋平, 古木 裕康, 青木 悠斗, 内田 英二 : 当院での単孔式腹腔鏡下胆嚢摘出術の工夫. 日本内視鏡外科学会雑誌 2017; 22 (7) :EP139-05.
- 75) 古木 裕康, 神田 知洋, 真々田 裕宏, 谷合 信彦, 中村 慶春, 松下 晃, 吉岡 正人, 清水 哲也, 金谷 洋平, 近藤 亮太, 青木 悠人, 内田 英二 : 当院における 80 歳以上高齢者の急性胆嚢炎に対する早期・緊急腹腔鏡下胆嚢摘出術の手術成績. 日本内視鏡外科学会雑誌 2017; 22 (7) :EP183-05.
- 76) 大森 順, 藤森 俊二, 西本 崇良, 高木 信介, 秋元 直彦, 佐藤 航, 鈴木 将大, 小杉 友紀, 馬來 康太郎, 江原 彰仁, 三井 啓吾, 米澤 真興, 田中 周, 辰口 篤志, 岩切 勝彦 : 当院における大腸憩室出血の検討. Gastroenterological Endoscopy 2017; 59 (Suppl.1) :975.
- 77) 大野 崇, 原 敬介, 松下 晃, 山田 岳史, 小泉 岐博, 進士 誠一, 横山 康行, 高橋 吾郎, 堀田 正啓, 岩井 拓磨, 武田 幸樹, 大田 恵一朗, 内田 英二 : 成人腸重積症を契機に診断された横行結腸平滑筋肉腫の 1 例. 日本大腸肛門病学会雑誌 2017; 70 (抄録号) :A336.
- 78) 松下晃, 中村慶春, 山初和也, 住吉宏樹, 古木裕康, 神田知洋, 清水哲也, 吉岡正人, 谷合信彦, 真々田裕宏, 内田英二 : 早期十二指腸乳頭部癌に対する経十二指腸的乳頭切除術の治療成績. 胆道 2017; 31 (3) :545.
- 79) 樋口 和寿, 二神 生爾, 山脇 博士, 佐藤 ひとみ, 金子 恵子, 岩切 勝彦 : 早期慢性膵炎の症状・消化管運動能の特徴 EUS スコアの経過観察. 日本消化器病学会雑誌 2017; 114 (臨増大会) :A774.
- 80) 植木 信江, 阿川 周平, 池田 剛, 野田 啓人, 樋口 和寿, 飽本 哲兵, 丸木 雄太, 山脇 博士, 小高 康裕, 名児耶 浩幸, 河越 哲郎, 二神 生爾, 三宅 一昌, 岩切 勝彦 : 早期胃癌 ESD 後に適応外病変と診断された症例の検討. Gastroenterological Endoscopy 2017; 59 (Suppl.2) :2226.
- 81) 山脇 博士, 二神 生爾, 岩切 勝彦 : 機能性消化器疾患の病態解明と診療の進歩 酢酵素異常を伴う心窩部痛症候群に対する新たな治療戦略 EUS を用いた cross over 試験の試み. Gastroenterological Endoscopy 2017; 59 (Suppl.2) :2026.
- 82) 山脇 博士, 二神 生爾, 岩切 勝彦 : 機能性消化器疾患の病態解明と診療の進歩 酢酵素異常を伴う心窩部痛症候群に対する新たな治療戦略 EUS を用いた cross over 試験の試み. 日本消化器病学会雑誌 2017; 114 (臨増大会) :A564.
- 83) 山脇 博士, 二神 生爾, 岩切 勝彦 : 消化器機「能性消化管疾患の新たな展開」 Acotiamide 及び PPI 併用における消化管運動能ならびに摂食関連ホルモンの解析. 日本臨床生理学会雑誌 2017; 47 (4) :81.

- 84) 星野 慎太郎, 川見 典之, 岩切 勝彦 : 消化管機能検査 最新技術とその応用 High-resolution manometry により診断された"Esophageal Rosette"を認めないアカラシア症例の内視鏡所見. 日本消化器病学会雑誌 2018; 115 (臨増総会) :A134.
- 85) 山口祐司, 岡崎幹子, 久保田万葉, 山田裕士, 大庭健史, 周東佑樹, 仲村優子, 高谷磨紀代, 原田太郎, 稲垣恭子, 松下晃, 中村慶春, 福田いづみ, 内田英二, 杉原仁 : 異所性 ACTH 症候群疑いで精査中偶然発見されたパラガングリオーマ. 日本内分泌学会雑誌 2017; 93 (2) :625.
- 86) 辰口 篤志, 三井 啓吾, 田中 周, 江原 彰仁, 鈴木 将大, 馬來 康太郎, 佐藤 航, 秋元 直彦, 大森 順, 梅田 隆満, 高木 信介, 西本 崇良, 米澤 真興, 藤森 俊二, 岩切 勝彦 : 空腸・回腸腺癌における上皮成長因子受容体(EGFR)ファミリーの発現の臨床病理学的意義. 日本消化管学会雑誌 2018; 2 (Suppl.) :279.
- 87) 秋元 直彦, 三井 啓吾, 西本 崇良, 高木 信介, 大森 順, 佐藤 航, 馬來 康太郎, 鈴木 将大, 小杉 友紀, 江原 彰仁, 楠 正典, 米澤 真興, 田中 周, 辰口 篤, 藤森 俊二, 岩切 勝彦 : 胃 ESD における dexmedetomidine の有用性. Gastroenterological Endoscopy 2017; 59 (Suppl.1) :1104.
- 88) 野田 啓人, 植木 信江, 鮎本 哲兵, 池田 剛, 樋口 和寿, 阿川 周平, 丸木 雄太, 山脇 博士, 小高 康裕, 河越 哲郎, 二神 生爾, 岩切 勝彦 : 胃 ESD における抗血栓薬服用患者の後出血の検討. 日本消化器病学会雑誌 2017; 114 (臨増大会) :A763.
- 89) 植木 信江, 阿川 周平, 池田 剛, 野田 啓人, 樋口 和寿, 鮎本 哲兵, 山脇 博士, 小高 康裕, 河越 哲郎, 二神 生爾, 岩切 勝彦 : 胃 ESD 後潰瘍治癒における P-CAB の効果について. 日本ヘリコバクター学会学術集会プログラム・抄録集 2017; 23 回:190.
- 90) 小泉 英里子, 貝瀬 満, 丸木 雄太, 鮎本 哲兵, 山脇 博士, 小高 康裕, 新福 摩弓, 植木 信江, 二神 生爾, 岩切 勝彦 : 胃粘膜下血腫を動脈塞栓術で止血し経時的内視鏡所見の変化を観察し得た 1 例. Progress of Digestive Endoscopy 2017; 92 (Suppl.) :s112.
- 91) 川見 典之, 星野 慎太郎, 梅澤 まり子, 竹之内 菜菜, 花田 優理子, 星川 吉正, 貝瀬 満, 岩切 勝彦 : 胃酸分泌抑制効果から見た PPI 倍量又は P-CAB 抵抗性 NERD の病態. 日本高齢消化器病学会誌 2017; 20 (1) :42.
- 92) 川見 典之, 星野 慎太郎, 竹之内 菜菜, 梅澤 まり子, 花田 優理子, 星川 吉正, 貝瀬 満, 岩切 勝彦 : 胃食道逆流症の病態と治療戦略 P-CAB による胃酸分泌抑制効果からみた P-CAB 抵抗性 NERD の病態. 日本消化管学会雑誌 2018; 2 (Suppl.) :95.
- 93) 神田 知洋, 真々田 裕宏, 谷合 信彦, 中村 慶春, 松下 晃, 吉岡 正人, 清水 哲也, 勝野 暁, 古木 裕康, 内田 英二 : 胆嚢炎に対する腹腔鏡下胆嚢全摘出術. 日本消化器外科学会総会 2017; 72 回:PM4-7.
- 94) 勝野 暁, 中村 慶春, 松下 晃, 住吉 宏樹, 山初 和也, 横山 正, 神田 知洋, 清水 哲也, 吉岡 正人, 谷合 信彦, 前田 基博, 谷口 和樹, 角崎 秀文, 小平 祐造, 内田 英二 : 腹腔鏡下尾側膵切除術(Lap-DP)における手術部位感染と膵液瘻との関連について. 日本外科感染症学会雑誌 2017; 14 (5) :546.
- 95) 勝野 暁, 中村 慶春, 松下 晃, 住吉 宏樹, 山初 和也, 横山 正, 神田 知洋, 清水 哲也, 吉岡 正人, 谷合 信彦, 真々田 裕宏, 内田 英二 : 腹腔鏡下尾側膵切除術(Lap-DP)における手術部位感染と膵液瘻との関連について. 日本消化器外科学会雑誌 2017; 50 (Suppl.2) :235.
- 96) 吉岡 正人, 谷合 信彦, 川野 陽一, 清水 哲也, 近藤 亮太, 金谷 洋平, 神田 知洋, 松下 晃, 中村 慶春, 内田 英二 : 腹腔鏡下肝切除術における Reduced port surgery 導入と意義. 日本消化器外科学会総会 2017; 72 回:RS3-6.
- 97) 中村 慶春, 松下 晃, 神田 知洋, 古木 裕康, 清水 哲也, 吉岡 正人, 谷合 信彦, 横山 正, 山初 和也, 住吉 宏樹, 内田 英二 : 腹腔鏡下脾臓温存膵体尾部切除術後の胃静脈瘤発生頻度における検討. Gastroenterological Endoscopy 2017; 59 (Suppl.2) :2150.
- 98) 中村 慶春, 松下 晃, 神田 知洋, 古木 裕康, 谷合 信彦, 吉岡 正人, 清水 哲也, 山初 和也, 住吉 宏樹, 内田 英二 : 腹腔鏡下膵頭十二指腸切除術(Lap-PD)を施行する上で学ぶべきこと. 日本消化器外科学会総会 2017; 72 回:ES03-3.
- 99) 松下 晃, 中村 慶春, 勝野 暁, 住吉 宏樹, 山初 和也, 古木 裕康, 神田 知洋, 清水 哲也, 吉岡 正人, 横山 正, 内田 英二 : 腹腔鏡下膵頭十二指腸切除術における SMA 周囲の安全な術野展開法について. 日本消化器外科学会雑誌 2017; 50 (Suppl.2) :234.
- 100) 中村 慶春, 松下 晃, 神田 知洋, 野村 務, 牧野 浩司, 古木 裕康, 清水 哲也, 吉岡 正人, 谷合 信彦, 山初 和也, 住吉 宏樹, 横山 正, 田尻 孝, 内田 英二 : 腹腔鏡下膵頭十二指腸切除術の導入とその成績 安全に腹腔鏡下膵頭十二指腸切除術(Lap-PD)を導入するために学ぶべきこと. 日本内視鏡外科学会雑誌 2017; 22 (7) :WS3-1.
- 101) 中村 慶春, 松下 晃, 勝野 暁, 山初 和也, 住吉 宏樹, 近藤 亮太, 横山 正, 内藤 善哉, 内田 英二 : 腹腔鏡手術時代の膵鉤部解剖について 膵頭神経叢を適切に把握するために. 膵臓 2017; 32 (3) :485.
- 102) 松下 晃, 中村 慶春, 勝野 暁, 山初 和也, 住吉 宏樹, 神田 知洋, 清水 哲也, 吉岡 正人, 横山 正, 内田 英二 : 膵切除術におけ

- る膵切離・断端処理の手術手技 当科における腹腔鏡下尾側膵切除術の手術成績と膵先行圧挫による膵切離法の検討. 日本消化器外科学会誌 2017; 72 回:SY14-9.
- 103)松下 晃, 中村 慶春, 勝野 暁, 山初 和也, 住吉 宏樹, 横山 正, 内田 英二: 膵神経内分泌腫瘍に対する腹腔鏡下膵切除術の手術成績. 膵臓 2017; 32 (3) :476.
- 104)藤森 俊二, 小杉 友紀, 勝矢 由紀子, 馬來 康太郎, 西本 崇良, 星本 相理, 佐藤 航, 高木 信介, 大森 順, 秋元 直彦, 鈴木 将大, 江原 彰仁, 瀬尾 継彦, 三井 啓吾, 米澤 真興, 田中 周, 辰口 篤志, 岩切 勝彦: 薬剤性消化管障害の診断・治療の課題 H.pylori 感染は小腸粘膜傷害を増加・増悪させる可能性が高い. 日本消化管学会雑誌 2018; 2 (Suppl.) :156.
- 105)小林 晃, 畑 泰司, 山本 浩文, 三井 啓吾, 鈴木 真紀, 宮上 寛之: 虚血性大腸炎 22 例の臨床的検討. 日本臨床救急医学会雑誌 2017; 20 (3) :529-533. doi: 10.11240/jsem.20.529.
- 106)星野 慎太郎, 川見 典之, 星川 吉正, 竹之内 菜菜, 花田 優理子, 梅澤 まり子, 貝瀬 満, 岩切 勝彦: 超高齢者における消化器・内視鏡の診断治療(消化管) 80 歳以上の PPI 抵抗性逆流性食道炎患者の臨床的特徴. 日本高齢消化器病学会誌 2017; 20 (1) :52.
- 107)梅澤 まり子, 川見 典之, 星野 慎太郎, 星川 吉正, 竹之内 菜菜, 花田 優理子, 貝瀬 満, 岩切 勝彦: 軽症逆流性食道炎患者の維持療法におけるポノプラザン 20mg による on demand 療法の有効性. 日本消化器病学会雑誌 2017; 114 (臨増大会) :A710.
- 108)梅澤 まり子, 川見 典之, 星野 慎太郎, 小泉 英里子, 星川 吉正, 竹之内 菜菜, 花田 優理子, 貝瀬 満, 岩切 勝彦: 軽症逆流性食道炎患者の維持療法におけるポノプラザン 20mg による on demand 療法の有効性. 日本消化管学会雑誌 2018; 2 (Suppl.) :271.
- 109)梅澤 まり子, 川見 典之, 星野 慎太郎, 小泉 英里子, 星川 吉正, 竹之内 菜菜, 花田 優理子, 貝瀬 満, 岩切 勝彦: 軽症逆流性食道炎患者の維持療法におけるポノプラザン 20mg による on demand 療法の有効性. 日本消化器病学会雑誌 2018; 115 (臨増総会) :A267.
- 110)大森 順, 鈴木 将大, 藤森 俊二, 梅田 隆満, 西本 崇良, 高木 信介, 秋元 直彦, 佐藤 航, 小杉 友紀, 馬來 康太郎, 江原 彰仁, 三井 啓吾, 米澤 真興, 田中 周, 辰口 篤志, 貝瀬 満, 岩切 勝彦: 輸血歴による大腸憩室出血のリスク因子の検討. 日本消化器病学会雑誌 2017; 114 (臨増大会) :A808.
- 111)川見 典之, 星野 慎太郎, 星川 吉正, 竹之内 菜菜, 梅澤 まり子, 花田 優理子, 貝瀬 満, 岩切 勝彦: 酸分泌抑制効果からみた PPI 倍量及び P-CAB 抵抗性 NERD の病因. 胃病態機能研究会誌 2018; 50:35.
- 112)小高 康裕, 二神 生爾, 山脇 博士, 桐田 久美子, 酒瀬川 典子, 阿川 周平, 樋口 和寿, 池田 剛, 野田 啓人, 丸木 雄太, 佐藤 ひとみ, 名見耶 浩幸, 植木 信江, 河越 哲郎, 岩切 勝彦: 除菌時代における胃癌診療(診断・治療・予防) H.pylori 陽性胃炎における京都分類と COX-2 1195、IL-1 $\beta$  511、mPGES-1 を用いた胃癌ハイリスク群予測の試み. 日本ヘリコバクター学会学術集会プログラム・抄録集 2017; 23 回:139.
- 113)川見 典之, 星野 慎太郎, 岩切 勝彦: 難治性 GERD を取り巻く新知見 P-CAB 抵抗性 NERD の症状出現の機序及び P-CAB による胃酸分泌抑制効果. 日本消化器病学会雑誌 2017; 114 (臨増大会) :A562.
- 114)川見 典之, 星野 慎太郎, 岩切 勝彦: 難治性 GERD を取り巻く新知見 P-CAB 抵抗性 NERD の症状出現の機序及び P-CAB による胃酸分泌抑制効果. Gastroenterological Endoscopy 2017; 59 (Suppl.2) :2024.
- 115)星川 吉正, 川見 典之, 星野 慎太郎, 竹之内 菜菜, 梅澤 まり子, 花田 優理子, 貝瀬 満, 岩切 勝彦: 食道アカラシアの診断と治療戦略 アカラシア診断に用いる Starlet(HRM)による IRP カットオフ値の検討. 日本消化管学会雑誌 2018; 2 (Suppl.) :132.
- 116)星野 慎太郎, 花田 優理子, 川見 典之, 星川 吉正, 竹之内 菜菜, 梅澤 まり子, 佐野 弘二, 河越 哲郎, 星原 芳雄, 岩切 勝彦: 食道内圧検査は臨床を変えるか? 滑脱型裂孔ヘルニアの内視鏡診断は食道内圧診断と一致するか?. 日本食道学会学術集会プログラム・抄録集 2017; 71 回:S3-7.

## 学会発表

- 1) 山脇博士, 二神生爾, 岩切勝彦: 膵酵素異常を伴う心窩部痛症候群に対する新たな治療戦略 ~EUS を用いた cross over 試験の試み~. 第 25 回日本消化器関連学会週間, 2017. 10.

## 9 付属病院臨床検査部

研究業績



## 10 付属病院保険診療指導部

### 研究業績

#### 論文等

- 1) 藤本 雄飛, 淀川 顕司, 八島 正明, 岡 英一郎, 高橋 健太, 林 洋史, 山本 哲平, 岩崎 雄樹, 林 明聡, 清水 渉 : 心房細動に対する電氣的除細動後に認める"Notched P wave"の臨床的意義. 心電図 2018; 38 (Suppl.1) :S-67.
- 2) 加藤 貴雄, 八島 正明, 渡邊 英一, 高橋 尚彦, 池田 隆徳, 笠巻 祐二, 住友 直方, 植田 典浩, 森田 宏, 平岡 昌和, 心電図自動診断を考える会 : 心電図自動診断の精度評価ならびに有用性向上に関する研究(第1報). 日本心臓病学会学術集会抄録 2017; 65 回:O-019.
- 3) 淀川 顕司, 清野 精彦, 岩崎 雄樹, 林 明聡, 宮内 靖史, 小原 俊彦, 八島 正明, 清水 渉 : 肺サルコイドーシスにおける心室遅延電位の検出および臨床的意義. 心電図 2018; 38 (Suppl.1) :S-1.
- 4) 八島 正明 : 観察すること, 継続すること. 心電図 2017; 37 (1) :3-4. doi: 10.5105/jse.37.3.

#### 著書

- 1) 八島 正明 : 【心電図診断スキルアップ】不整脈の心電図の読み方のポイントと治療方針 心室期外収縮・副収縮 いつでも目にするがピットフォールには注意が必要な不整脈.たかがPVC,されどPVC. 2017, 医学書院. doi: 10.11477/mf.1438200044.

#### 学会発表

- 1) 加藤 貴雄, 八島 正明, 渡邊 英一, 高橋 尚彦, 池田 隆徳, 笠巻 祐二, 住友 直方, 植田 典浩, 森田 宏, 平岡 昌和 : 心電図自動診断の精度評価ならびに有用性向上に関する研究(第1報). 人間ドック, 2017. 8.
- 2) 淀川 顕司, 清野 精彦, 岩崎 雄樹, 林 明聡, 宮内 靖史, 小原 俊彦, 八島 正明, 清水 渉 : 肺サルコイドーシスにおける心室遅延電位の検出および臨床的意義. 心電図, 2018. 3.

## 11 腎クリニック

研究業績

## 12 呼吸ケアクリニック

研究業績

## 13 健診医療センター

### 研究業績

#### 論文等

- 1) Sugihara Y, Fukushima Y, Kumita SI, Takano H, Shimizu W : Diagnostic performance of hybrid cardiac SPECT/CT imaging for patients with takotsubo cardiomyopathy. *European Journal of Hybrid Imaging* 2018; 2 (1) :5. doi: 10.1186/s41824-017-0023-x.
- 2) Hidenobu Hashimoto, Yoshimitsu Fukushima, Shin-ichiro Kumita, Takeshi Tomiyama, Tomonari Kiriya : Feasibility of myocardial flow reserve prediction without the use of dynamic data from myocardial perfusion positron emission tomography. *International Journal of Cardiovascular Imaging* 2018; 34 (8) :1-7. doi: 10.1007/s10554-018-1335-z.
- 3) 廣本 敦之, 石井 庸介, 山田 直輝, 井関 陽平, 青山 純也, 上田 仁美, 森嶋 素子, 鈴木 憲治, 栗田 二郎, 佐々木 孝, 坂本 俊一郎, 宮城 泰雄, 師田 哲郎, 新田 隆, 桐山 智成, 福嶋 善光, 汲田 伸一郎 : GEAを用いて右冠動脈系へ in-situ bypassを行った CABG 症例の検討. *日本心臓血管外科学会学術総会抄録集* 2018; 48 回:94.
- 4) 汲田 伸一郎, 桐山 智成, 今井 祥吾, 福嶋 善光 : 【虚血性心疾患の画像診断,マルチモダリティ-私ならこう使う-】 心筋虚血診断における心筋血流 PET の有用性. *臨床放射線* 2018; 63 (3) :281-290. doi: 10.18888/rp.0000000368.
- 5) 石井 庸介, 福嶋 善光, 坂本 俊一郎, 宮城 泰雄, 栗田 二郎, 廣本 敦之, 青山 純也, 井関 陽平, 山田 直輝, 汲田 伸一郎, 新田 隆 : ハイブリッド心臓 SPECT/CT 画像により心筋血流および代謝を評価した冠動脈バイパス術の有効性(Efficacy of Coronary Artery Bypass Grafting Evaluated Myocardial Perfusion and Metabolism by Hybrid Cardiac SPECT/CT Imaging). *日本循環器学会学術集抄録集* 2018; 82 回:PJ038-6.
- 6) Sekine Tetsuro, Takagi Ryo, Amano Yasuo, Murai Yasuo, Orita Erika, Fukushima Yoshimitsu, Matsumura Yoshio, Kumita Shin-ichiro : 内頸動脈狭窄症患者における眼動脈血流量の 4D Flow MRI(4D Flow MR Imaging of Ophthalmic Artery Flow in Patients with Internal Carotid Artery Stenosis). *Magnetic Resonance in Medical Sciences* 2018; 17 (1) :13-20. doi: 10.2463/mrms.mp.2016-0074.
- 7) 石井 庸介, 坂本 俊一郎, 宮城 泰雄, 佐々木 孝, 栗田 二郎, 鈴木 憲治, 廣本 敦之, 青山 純也, 上田 仁美, 井関 陽平, 山田 直輝, 師田 哲郎, 福嶋 善光, 桐山 智成, 汲田 伸一郎, 新田 隆 : 回旋枝の sequential graft は動脈グラフトを用いるべきか? 負荷心筋シンチによる検証. *日本心臓血管外科学会学術総会抄録集* 2018; 48 回:140.
- 8) 安藤 嵩浩, 福嶋 善光, 汲田 伸一郎, 橋本 英伸, 杉原 康朗 : 心臓サルコイドーシス例における心筋病変炎症活性の定量解析を用いた FDG-PET/CT の予後予測能. *核医学* 2017; 54 (Suppl.) :S174.
- 9) Kiriya Tomonari, Fukushima Yoshimitsu, Hayashi Hiromitsu, Takano Hitoshi, Kumita Shin-ichiro : 慢性冠動脈疾患患者における冠動脈 CT 血管造影と負荷心筋 SPECT を用いた,併用によるリスク層別化の実行可能性(Feasibility of combined risk stratification with coronary CT angiography and stress myocardial SPECT in patients with chronic coronary artery disease). *Annals of Nuclear Medicine* 2018; 32 (1) :22-33. doi: 10.1007/s12149-017-1214-z.
- 10) 福嶋 善光, 杉原 康朗, 汲田 伸一郎 : 組織診断と浸潤診断 99mTc-MIBI-SPECT/CT による腎腫瘍の病理組織学的な鑑別診断. *腎臓内科・泌尿器科* 2017; 6 (1) :61-64.
- 11) 汲田 伸一郎, 桐山 智成, 今井 祥吾, 福嶋 善光 : 虚血性心疾患の画像診断、マルチモダリティ 私ならこう使う 心筋虚血診断における心筋血流 PET の有用性. *日本医学放射線学会秋季臨床大会抄録集* 2017; 53 回:S378.

#### 学会発表

- 1) Yoshimitsu Fukushima, Shin-ichiro Kumita, Go Kimura, Jun Akatsuka, Teruhiko Hamana, Yasuro Sugihara, Takahiro Ando : Diagnostic impact of quantitative bone SPECT/CT for patients with bone metastasis caused by castration-resistant prostate cancer. *European Association of Nuclear Medicine*, 2017. 10.
- 2) 廣本 敦之, 石井 庸介, 山田 直輝, 井関 陽平, 青山 純也, 上田 仁美, 森嶋 素子, 鈴木 憲治, 栗田 二郎, 佐々木 孝, 坂本 俊一郎, 宮城 泰雄, 師田 哲郎, 新田 隆, 桐山 智成, 福嶋 善光, 汲田 伸一郎 : GEAを用いて右冠動脈系へ in-situ bypassを行った CABG 症例の検討. *日本心臓血管外科学会学術総会抄録集*, 2018. 2.

- 3) Yoshimitsu Fukushima, Go Kimura, Jun Akatsuka, Teruhiko Hamana, Yasuro Sugihara, Takahiro Ando, Shin-ichiro Kumita : Prognostic impact of bone SPECT/CT for metastatic castration-resistant prostate cancer patients. The 12th Asia Oceania Congress of Nuclear Medicine and Biology, 2017. 10.
- 4) 岩田 琴美, 村上 隆介, 谷 瞳, 福嶋 善光, 汲田 伸一郎, 中井 麻木, 栗田 智子, 柳原 恵子, 武井 寛幸, 松原 美幸 : T1-T2N0 乳癌における PET/CT 検査の検討. 日本乳癌学会総会プログラム抄録集, 2017. 7.
- 5) 石井 庸介, 福嶋 善光, 坂本 俊一郎, 宮城 泰雄, 栗田 二郎, 廣本 敦之, 青山 純也, 井関 陽平, 山田 直輝, 汲田 伸一郎, 新田 隆 : ハイブリッド心臓 SPECT/CT 画像により心筋血流および代謝を評価した冠動脈バイパス術の有効性(Efficacy of Coronary Artery Bypass Grafting Evaluated Myocardial Perfusion and Metabolism by Hybrid Cardiac SPECT/CT Imaging). 日本循環器学会学術集会抄録集, 2018. 3.
- 6) Fukushima Yoshimitsu, Ishii Yosuke, Nitta Takashi, Kumita Shinichiro : 冠動脈バイパス術後の冠動脈疾患を有する患者における心灌流ハイブリッド SPECT/CT 診断検査の影響(Diagnostic Impact of Hybrid Cardiac Perfusion SPECT/CT for Patients with Coronary Artery Disease after Coronary Artery Bypass Grafting). 日本循環器学会学術集会抄録集, 2018. 3.
- 7) 石井 庸介, 坂本 俊一郎, 宮城 泰雄, 佐々木 孝, 栗田 二郎, 鈴木 憲治, 廣本 敦之, 青山 純也, 上田 仁美, 井関 陽平, 山田 直輝, 師田 哲郎, 福嶋 善光, 桐山 智成, 汲田 伸一郎, 新田 隆 : 回旋枝の sequential graft は動脈グラフトを用いるべきか? 負荷心筋シンチによる検証. 日本心臓血管外科学会学術総会抄録集, 2018. 2.
- 8) 安藤 嵩浩, 福嶋 善光, 汲田 伸一郎, 橋本 英伸, 杉原 康朗 : 心臓サルコイドーシス例における心筋病変炎症活性の定量解析を用いた FDG-PET/CT の予後予測能. 核医学, 2017. 9.
- 9) 汲田 伸一郎, 桐山 智成, 今井 祥吾, 福嶋 善光 : 虚血性心疾患の画像診断、マルチモダリティ 私ならこう使う 心筋虚血診断における心筋血流 PET の有用性. 日本医学放射線学会秋季臨床大会抄録集, 2017. 8.
- 10) Fukushima Yoshimitsu, Kimura Go, Akatsuka Jun, Hamana Teruhiko, Sugihara Yasuro, Ando Takahiro, Kumita Shinichiro : 転移性去勢抵抗性前立腺癌例における定量解析を用いた骨 SPECT/CT の予後予測能(Prognostic Impact of Quantitative Bone SPECT/CT for Patients with Metastatic Castration-resistant Prostate Cancer). 日本医学放射線学会学術集会抄録集, 2018. 2.
- 11) Fukushima Yoshimitsu, Kimura Go, Akatsuka Jun, Hamana Teruhiko, Sugihara Yasuro, Ando Takahiro, Kumita Shin-ichiro : 転移性去勢抵抗性前立腺癌患者に対する骨 SPECT/CT の予後的影響(Prognostic impact of bone SPECT/CT for metastatic castration-resistant prostate cancer patients). 核医学, 2017. 9.
- 12) 木村 剛, 福嶋 善光, 赤塚 純, 林 達郎, 中山 聡子, 戸山 友香, 濱崎 努, 近藤 幸尋 : 骨転移を伴う去勢抵抗性前立腺癌に対する Ra-223 治療 6 回完遂予測因子の検討. 日本癌治療学会学術集会抄録集, 2017. 10.

## 14 ワクチン療法研究施設

研究業績

## 〔 7 〕 武蔵小杉病院付置施設等

# 1 武蔵小杉病院病理診断科

## 研究業績

### 論文等

- 1) 和田 尚人, 渡邊 昌則, 埴 秀暁, 野村 聡, 三島 圭介, 山際 亮, 大山 莉奈, 豊田 哲篤, 前島 顕太郎, 千原 直人, 水谷 聡, 鈴木 英之, 許田 典男, 北山 康彦, 内田 英二 : ほぼ全胃に及ぶ粘膜下浸潤を伴った胃型胃癌の 1 例. 日本胃癌学会総会記事 2018; 90 回:384.
- 2) 岡田 知之, 岡本 淳一, 窪倉 浩俊, 許田 典男, 北山 康彦, 白田 実男 : 肺悪性腫瘍を疑われて手術を行った肺クリプトコッカス症の 1 例. 肺癌 2018; 58 (1) :57.
- 3) 岡本 淳一, 許田 典男, 窪倉 浩俊, 北山 康彦, 白田 実男 : 肺扁平上皮癌におけるリンパ節病期分類(cN、sN、pN)に関する 24 症例の検討. 肺癌 2017; 57 (5) :436.
- 4) 塩田 美桜, 岡本 淳一, 窪倉 浩俊, 白田 実男, 許田 典男, 北山 康彦 : 肺部分切除術の 11 年後に断端再発した肺腺癌の 1 例. 肺癌 2018; 58 (1) :63.
- 5) 野村 聡, 渡邊 昌則, 埴 秀暁, 三島 圭介, 黒田 誠司, 山際 亮, 和田 尚人, 大山 莉奈, 豊田 哲篤, 前島 顕太郎, 千原 直人, 水谷 聡, 小峯 修, 許田 典男, 鈴木 英之, 内田 英二 : 胃癌術後約 5 年目に腸閉塞を契機に発見された小腸転移の 1 例. 日本胃癌学会総会記事 2018; 90 回:491.
- 6) 谷 佳緒梨, 森 美樹, 許田 典男, 森谷 卓也, 鈴木 えりか, 北山 康彦, 蒔田 益次郎 : 葉状腫瘍を疑った Nodular fasciitis の一例. 日本乳癌学会総会プログラム抄録集 2017; 25 回:671.
- 7) 蒔田 益次郎, 赤須 東樹, 軸菌 智雄, 市川 太郎, 五味 直哉, 菊池 真理, 許田 典男, 北山 康彦 : 造影超音波による乳癌の広がり診断. 日本臨床外科学会雑誌 2018; 79 (3) :459-466.
- 8) 鈴木 えりか, 蒔田 益次郎, 許田 典男, 北山 康彦 : 造影超音波による乳癌の広がり診断と樹脂塗料による広がりシミュレーション模型を使った乳腺部分切除. 日本乳癌学会総会プログラム抄録集 2017; 25 回:426.



## 2 武蔵小杉病院消化器病センター

### 研究業績

#### 論文等

- 1) 小高 康裕, 二神 生爾, 山脇 博士, 桐田 久美子, 阿川 周平, 樋口 和寿, 池田 剛, 野田 啓人, 丸木 雄太, 飽本 哲兵, 佐藤 ひとみ, 名兎耶 浩幸, 植木 信江, 河越 哲郎, 千原 直人, 渡邊 昌則, 鈴木 英之, 岩切 勝彦 : H.pylori 陽性胃炎における京都分類と COX-2 1195、IL-1 $\beta$ 511、mPGES-1 の SNP を用いた胃癌ハイリスク群予測の試み. 日本消化器病学会雑誌 2017; 114 (臨増大会) :A716.
- 2) 水谷 聡, 鈴木 英之, 相本 隆幸, 中村 慶春, 山岸 征嗣, 小山 裕司, 大山 莉奈, 渡辺 昌則, 北山 康彦, 内田 英二 : SMA 神経叢全周温存膵頭十二指腸切除標本における膵鉤部周辺細分類による病理学的検討. 膵臓 2017; 32 (3) :487.
- 3) 水谷 聡, 鈴木 英之, 山岸 征嗣, 大山 莉奈, 相本 隆幸, 小山 裕司, 前島 顕太郎, 吉野 雅則, 渡辺 昌則, 北山 康彦, 内田 英二 : Tissue Marking Dyes による切除標本色分けは鉤部周辺の切離断端に対する詳細な評価を可能とした. 日本外科学会定期学術集会抄録集 2017; 117 回:SF-74.
- 4) 千原 直人, 鈴木 英之, 内田 英二 : 【急性腹症に対する低侵襲アプローチ-適応と手技】 閉鎖孔ヘルニア嵌頓. 外科 2017; 79 (9) :849-854. doi: 10.15106/J00393.2017342231.
- 5) 和田 尚人, 渡邊 昌則, 埜 秀暁, 野村 聡, 三島 圭介, 山際 亮, 大山 莉奈, 豊田 哲篤, 前島 顕太郎, 千原 直人, 水谷 聡, 鈴木 英之, 許田 典男, 北山 康彦, 内田 英二 : ほぼ全胃に及ぶ粘膜下浸潤を伴った胃型胃癌の 1 例. 日本胃癌学会総会記事 2018; 90 回:384.
- 6) 三島 圭介, 渡邊 昌則, 埜 秀暁, 黒田 誠司, 野村 聡, 前島 顕太郎, 千原 直人, 水谷 聡, 鈴木 英之, 内田 英二 : ステロイドの使用により治療方針の決定に難渋した食道胃重複癌の 1 例. 日本食道学会学術集会プログラム・抄録集 2017; 71 回:P32-5.
- 7) 助川 誠, 鈴木 英之, 豊田 哲篤, 和田 由大, 清水 貴夫, 渡辺 昌則, 吉野 雅則, 水谷 聡, 松信 哲朗, 内田 英二 : ストーマ脱出に対する自動縫合器を用いた非開腹による手術術式. 日本大腸肛門病学会雑誌 2017; 70 (抄録号) :A284.
- 8) 埜 秀暁, 渡辺 昌則, 三島 圭介, 黒田 誠司, 野村 聡, 鈴木 英之, 内田 英二 : ニトログリセリン製剤を用いた術前気管支動脈造影 CT の有用性. 日本食道学会学術集会プログラム・抄録集 2017; 71 回:P1-1.
- 9) 針金 幸平, 黒田 誠司, 渡辺 昌則, 助川 誠, 山岸 征嗣, 千原 直人, 坊 英樹, 鈴木 英之 : メッケル憩室に起因した絞扼性イレウスの 2 例. 神奈川医学会雑誌 2018; 45 (1) :23.
- 10) 豊田 哲篤, 鈴木 英之, 清水 貴夫, 和田 由大, 助川 誠, 野村 聡, 埜 秀暁, 三浦 克洋, 千原 直人, 吉野 雅則, 松信 哲朗, 大山 莉奈, 黒田 誠司, 水谷 聡, 渡辺 昌則, 内田 英二 : 下行結腸癌に対する腹腔鏡手術の治療成績の検討. 日本大腸肛門病学会雑誌 2017; 70 (抄録号) :A139.
- 11) 渡辺 昌則, 野村 聡, 埜 秀暁, 三島 圭介, 黒田 誠司, 門倉 玄武, 勝俣 範之, 水谷 聡, 鈴木 英之, 内田 英二 : 分割 paclitaxel 投与を応用した食道癌に対する新規多剤併用 weekly PCF 療法の第 1 相試験. 日本食道学会学術集会プログラム・抄録集 2017; 71 回:P26-2.
- 12) 清水 貴夫, 鈴木 英之, 豊田 哲篤, 和田 由大, 助川 誠, 渡辺 昌則, 千原 直人, 三浦 克洋, 埜 秀暁, 野村 聡, 黒田 誠司, 大山 莉奈, 山際 亮, 和田 尚人, 吉野 雅則, 松信 哲朗, 内田 英二 : 大腸ステント留置後に待機的手術を施行した閉塞性大腸癌症例の短期成績の検討. 日本大腸肛門病学会雑誌 2017; 70 (抄録号) :A275.
- 13) 清水 貴夫, 鈴木 英之, 豊田 哲篤, 和田 由大, 助川 誠, 大山 莉奈, 知原 直人, 水谷 聡, 渡辺 昌則, 内田 英二 : 大腸ステント留置後に待機的手術を施行した閉塞性大腸癌症例の短期成績の検討. 日本内視鏡外科学会雑誌 2017; 22 (7) :EP110-03.
- 14) 渡辺 昌則, 野村 聡, 埜 秀暁, 黒田 誠司, 清水 貴夫, 豊田 哲篤, 千原 直人, 水谷 聡, 鈴木 英之, 内田 英二 : 定時大腸手術における予防抗菌薬の適正使用と SSI 発生率. 日本外科感染症学会雑誌 2017; 14 (5) :627.
- 15) 西澤 雄介, 高野 道俊, 西村 洋治, 風間 伸介, 三島 圭介, 安西 紘幸, 石井 博章 : 当科における横行結腸癌に対する腹腔鏡下手術. 日本内視鏡外科学会雑誌 2017; 22 (7) :EP003-07.
- 16) 埜 秀暁, 渡辺 昌則, 野村 聡, 三島 圭介, 黒田 誠司, 鈴木 英之, 内田 英二 : 当科における胸腔鏡下食道切除術の短期治療成績. 日本内視鏡外科学会雑誌 2017; 22 (7) :EP012-04.
- 17) 大山 莉奈, 水谷 聡, 鈴木 英之, 山岸 征嗣, 渡辺 昌則, 内田 英二 : 当院の開腹総胆管結石手術における SSI の現状と問題点. 日本消

化器外科学会総会 2017; 72 回:PM6-7.

- 18) 渡辺 昌則, 千原 直人, 埴 秀暁, 野村 聡, 和田 尚人, 三島 圭介, 前島 顕太郎, 大山 莉奈, 黒田 誠司, 水谷 聡, 鈴木 英之, 内田 英二: 抗血栓薬継続患者における胃 ESD 後出血に関する検討. 日本胃癌学会総会記事 2018; 90 回:473.
- 19) 西村 洋治, 風間 伸介, 西澤 雄介, 高野 道俊, 石井 博章, 安西 紘幸, 三島 圭介: 注腸・大腸内視鏡・CT で遡及できた大腸癌の自然史. 日本大腸肛門病学会雑誌 2017; 70 (抄録号):A80.
- 20) 三島 圭介, 渡邊 昌則, 埴 秀暁, 野村 聡, 黒田 誠司, 山際 亮, 和田 尚人, 大山 莉奈, 豊田 哲篤, 前島 顕太郎, 千原 直人, 水谷 聡, 鈴木 英之, 内田 英二: 皮膚筋炎に合併した食道胃重複癌の 1 例(A case of the esophageal and gastric cancer associated with Dermatomyositis). 日本胃癌学会総会記事 2018; 90 回:566.
- 21) 山岸 征嗣, 水谷 聡, 鈴木 英之, 大山 莉奈, 三島 圭介, 渡辺 昌則, 内田 英二: 肝胆膵外科、高難易度手術における、周術期のカテーテル関連合併症の検討. 日本外科学会定期学術集会抄録集 2017; 117 回:PS-200.
- 22) 埴 秀暁, 渡辺 昌則, 野村 聡, 三島 圭介, 黒田 誠司, 山際 亮, 和田 尚人, 大山 莉奈, 豊田 哲篤, 前島 顕太郎, 水谷 聡, 小峯 修, 鈴木 英之, 内田 英二: 胃癌術後 2 年目に鼠径部再発を来し、集学的治療により長期生存を得ている若年進行胃癌の 1 例. 日本胃癌学会総会記事 2018; 90 回:492.
- 23) 野村 聡, 渡辺 昌則, 埴 秀暁, 三島 圭介, 黒田 誠司, 山際 亮, 和田 尚人, 大山 莉奈, 豊田 哲篤, 前島 顕太郎, 千原 直人, 水谷 聡, 小峯 修, 許田 典男, 鈴木 英之, 内田 英二: 胃癌術後約 5 年目に腸閉塞を契機に発見された小腸転移の 1 例. 日本胃癌学会総会記事 2018; 90 回:491.
- 24) 山岸 征嗣, 水谷 聡, 鈴木 英之, 三島 圭介, 大山 莉奈, 内田 英二: 胆嚢炎による巨大肝被膜下膿瘍の一例. 日本消化器外科学会総会 2017; 72 回:PO4-3.
- 25) 水谷 聡, 鈴木 英之, 山岸 征嗣, 大山 莉奈, 渡辺 昌則, 内田 英二: 胆石症に対する腹腔鏡下胆嚢摘出術による落下結石の検討. 日本内視鏡外科学会雑誌 2017; 22 (7):SF118-01.
- 26) 豊田 哲篤, 鈴木 英之, 清水 貴夫, 和田 由大, 助川 誠, 大山 莉奈, 千原 直人, 水谷 聡, 渡辺 昌則, 内田 英二: 脾彎曲部結腸癌に対する腹腔鏡手術の定型化について. 日本内視鏡外科学会雑誌 2017; 22 (7):EP004-02.
- 27) 山岸 征嗣, 水谷 聡, 鈴木 英之, 中村 慶春, 三島 圭介, 大山 莉奈, 助川 誠, 山際 亮, 渡辺 昌則, 内田 英二: 腹腔鏡下右副腎摘出術における当院での工夫. 日本内視鏡外科学会雑誌 2017; 22 (7):SF099-07.
- 28) 南部 弘太郎, 塩谷 猛, 渡邊 善正, 小峯 修, 澁谷 肇, 福島 慶久, 三島 圭介, 山際 亮, 澁谷 哲男: 臍頭十二指腸切除を行い 3 年半無再発生存中の下部胆管原発印環細胞癌の 1 例. 日本消化器外科学会雑誌 2017; 50 (Suppl.2):530.
- 29) 大山 莉奈, 水谷 聡, 鈴木 英之, 山岸 征嗣, 渡辺 昌則, 北山 康彦, 内田 英二: 術前画像上の鑑別診断が困難であった肝腫瘍切除例. 日本外科学会定期学術集会抄録集 2017; 117 回:PS-212.
- 30) 渡辺 昌則, 野村 聡, 埴 秀暁, 三島 圭介, 黒田 誠司, 門倉 玄武, 勝俣 範之, 千原 直人, 水谷 聡, 鈴木 英之, 内田 英二: 食道癌に対する weekly paclitaxel+CDDP/5FU 療法の第 I-II 相試験. 日本消化器外科学会雑誌 2017; 50 (Suppl.2):450.
- 31) 渡辺 昌則, 勝俣 範之, 野村 聡, 埴 秀暁, 門倉 玄武, 三島 圭介, 黒田 誠司, 前島 顕太郎, 千原 直人, 水谷 聡, 鈴木 英之, 内田 英二: 食道癌に対する weekly paclitaxel+CDDP/5FU 療法の第 I 相臨床試験結果. 日本外科学会定期学術集会抄録集 2017; 117 回:SF-07.
- 32) 和田 由大, 鈴木 英之, 豊田 哲篤, 清水 貴夫, 助川 誠, 渡邊 昌則, 水谷 聡, 千原 直人, 三浦 克洋, 埴 秀暁, 野村 聡, 山岸 征嗣, 大山 莉奈, 山際 亮, 和田 尚人, 吉野 雅則, 松信 哲朗, 内田 英二: 高齢者大腸癌に対する腹腔鏡手術の安全性の検討. 日本大腸肛門病学会雑誌 2017; 70 (抄録号):A292.

## 学会発表

- 1) 小高 康裕, 二神 生爾, 山脇 博士, 桐田 久美子, 阿川 周平, 樋口 和寿, 池田 剛, 野田 啓人, 丸木 雄太, 鮑本 哲兵, 佐藤 ひとみ, 名児耶 浩幸, 植木 信江, 河越 哲郎, 千原 直人, 渡邊 昌則, 鈴木 英之, 岩切 勝彦: H.pylori 陽性胃炎における京都分類と COX-2 1195、IL-1 $\beta$  511、mPGES-1 の SNP を用いた胃癌ハイリスク群予測の試み. 日本消化器病学会雑誌, 2017. 9.
- 2) 水谷 聡, 鈴木 英之, 相本 隆幸, 中村 慶春, 山岸 征嗣, 小山 裕司, 大山 莉奈, 渡辺 昌則, 北山 康彦, 内田 英二: SMA 神経叢全周温存臍頭十二指腸切除標本における臍鉤部周辺細分類による病理学的検討. 臍臓, 2017. 5.

- 3) 水谷 聡, 鈴木 英之, 山岸 征嗣, 大山 莉奈, 相本 隆幸, 小山 裕司, 前島 顕太郎, 吉野 雅則, 渡辺 昌則, 北山 康彦, 内田 英二 : Tissue Marking Dyes による切除標本色分けは鉤部周辺の切離断端に対する詳細な評価を可能とした. 日本外科学会定期学術集会抄録集, 2017. 4.
- 4) 和田 尚人, 渡邊 昌則, 塙 秀暁, 野村 聡, 三島 圭介, 山際 亮, 大山 莉奈, 豊田 哲鎬, 前島 顕太郎, 千原 直人, 水谷 聡, 鈴木 英之, 許田 典男, 北山 康彦, 内田 英二 : ほぼ全胃に及ぶ粘膜下浸潤を伴った胃型胃癌の 1 例. 日本胃癌学会総会記事, 2018. 3.
- 5) 三島 圭介, 渡邊 昌則, 塙 秀暁, 黒田 誠司, 野村 聡, 前島 顕太郎, 千原 直人, 水谷 聡, 鈴木 英之, 内田 英二 : ステロイドの使用により治療方針の決定に難渋した食道胃重複癌の 1 例. 日本食道学会学術集会プログラム・抄録集, 2017. 6.
- 6) 助川 誠, 鈴木 英之, 豊田 哲鎬, 和田 由大, 清水 貴夫, 渡辺 昌則, 吉野 雅則, 水谷 聡, 松信 哲朗, 内田 英二 : ストーマ脱出に対する自動縫合器を用いた非開腹による手術術式. 日本大腸肛門病学会雑誌, 2017. 9.
- 7) 豊田 哲鎬, 鈴木 英之, 清水 貴夫, 和田 由大, 助川 誠, 野村 聡, 塙 秀暁, 三浦 克洋, 千原 直人, 吉野 雅則, 松信 哲朗, 大山 莉奈, 黒田 誠司, 水谷 聡, 渡辺 昌則, 内田 英二 : 下行結腸癌に対する腹腔鏡手術の治療成績の検討. 日本大腸肛門病学会雑誌, 2017. 9.
- 8) 渡辺 昌則, 野村 聡, 塙 秀暁, 三島 圭介, 黒田 誠司, 門倉 玄武, 勝俣 範之, 水谷 聡, 鈴木 英之, 内田 英二 : 分割 paclitaxel 投与を応用した食道癌に対する新規多剤併用 weekly PCF 療法の第 1 相試験. 日本食道学会学術集会プログラム・抄録集, 2017. 6.
- 9) 渡辺昌則, 野村聡, 塙秀暁 : 分割 paclitaxel 投与を応用した食道癌に対する新規多剤併用 weekly PCF 療法の第 I 相試験. 第 71 回日本食道学会学術集会, 2017. 6.
- 10) 清水 貴夫, 鈴木 英之, 豊田 哲鎬, 和田 由大, 助川 誠, 大山 莉奈, 知原 直人, 水谷 聡, 渡辺 昌則, 内田 英二 : 大腸ステント留置後に待機的腹腔鏡下手術を施行した閉塞性大腸癌症例の短期成績の検討. 日本内視鏡外科学会雑誌, 2017. 12.
- 11) 渡辺昌則, 野村聡, 塙秀暁 : 定時大腸手術における予防抗菌薬の適正使用と SSI 発生率. 第 30 回日本外科感染症学会総会学術集会, 2017. 11.
- 12) 大山 莉奈, 水谷 聡, 鈴木 英之, 山岸 征嗣, 渡辺 昌則, 内田 英二 : 当院の開腹総胆管結石手術における SSI の現状と問題点. 日本消化器外科学会総会, 2017. 7.
- 13) 渡辺昌則, 千原直人, 塙秀暁 : 抗血栓薬継続患者における胃 ESD 後出血に関する検討. 第 90 回日本胃癌学会総会, 2018. 3.
- 14) 三島 圭介, 渡邊 昌則, 塙 秀暁, 野村 聡, 黒田 誠司, 山際 亮, 和田 尚人, 大山 莉奈, 豊田 哲鎬, 前島 顕太郎, 千原 直人, 水谷 聡, 鈴木 英之, 内田 英二 : 皮膚筋炎に合併した食道胃重複癌の 1 例(A case of the esophageal and gastric cancer associated with Dermatomyositis). 日本胃癌学会総会記事, 2018. 3.
- 15) 山岸 征嗣, 水谷 聡, 鈴木 英之, 大山 莉奈, 三島 圭介, 渡辺 昌則, 内田 英二 : 肝胆膵外科、高難易度手術における、周期のカテーテル関連合併症の検討. 日本外科学会定期学術集会抄録集, 2017. 4.
- 16) 塙 秀暁, 渡辺 昌則, 野村 聡, 三島 圭介, 黒田 誠司, 山際 亮, 和田 尚人, 大山 莉奈, 豊田 哲鎬, 前島 顕太郎, 水谷 聡, 小峯 修, 鈴木 英之, 内田 英二 : 胃癌術後 2 年目に鼠径部再発を来し、集学的治療により長期生存を得ている若年進行胃癌の 1 例. 日本胃癌学会総会記事, 2018. 3.
- 17) 野村 聡, 渡辺 昌則, 塙 秀暁, 三島 圭介, 黒田 誠司, 山際 亮, 和田 尚人, 大山 莉奈, 豊田 哲鎬, 前島 顕太郎, 千原 直人, 水谷 聡, 小峯 修, 許田 典男, 鈴木 英之, 内田 英二 : 胃癌術後約 5 年目に腸閉塞を契機に発見された小腸転移の 1 例. 日本胃癌学会総会記事, 2018. 3.
- 18) 水谷 聡, 鈴木 英之, 山岸 征嗣, 大山 莉奈, 渡辺 昌則, 内田 英二 : 胆石症に対する腹腔鏡下胆嚢摘出術による落下結石の検討. 日本内視鏡外科学会雑誌, 2017. 12.
- 19) 豊田 哲鎬, 鈴木 英之, 清水 貴夫, 和田 由大, 助川 誠, 大山 莉奈, 千原 直人, 水谷 聡, 渡辺 昌則, 内田 英二 : 脾彎曲部結腸癌に対する腹腔鏡手術の定型化について. 日本内視鏡外科学会雑誌, 2017. 12.
- 20) 山岸 征嗣, 水谷 聡, 鈴木 英之, 中村 慶春, 三島 圭介, 大山 莉奈, 助川 誠, 山際 亮, 渡辺 昌則, 内田 英二 : 腹腔鏡下右副腎摘出術における当院での工夫. 日本内視鏡外科学会雑誌, 2017. 12.
- 21) 大山 莉奈, 水谷 聡, 鈴木 英之, 山岸 征嗣, 渡辺 昌則, 北山 康彦, 内田 英二 : 術前画像上の鑑別診断が困難であった肝腫瘍切除例. 日本外科学会定期学術集会抄録集, 2017. 4.
- 22) 渡辺昌則, 野村聡, 塙秀暁 : 食道癌に対する weekly paclitaxel+CDDP/5FU 療法の第 I-II 相試験. 第 15 回日本消化器外科学会大会

(JDDW2017) , 2017. 10.

- 23) 渡辺 昌則, 勝俣 範之, 野村 聡, 塙 秀暁, 門倉 玄武, 三島 圭介, 黒田 誠司, 前島 顕太郎, 千原 直人, 水谷 聡, 鈴木 英之, 内田 英二 : 食道癌に対する weekly paclitaxel+CDDP/5FU 療法の第 I 相臨床試験結果. 日本外科学会定期学術集会抄録集, 2017. 4.
- 24) 和田 由大, 鈴木 英之, 豊田 哲篤, 清水 貴夫, 助川 誠, 渡邊 昌則, 水谷 聡, 千原 直人, 三浦 克洋, 塙 秀暁, 野村 聡, 山岸 征嗣, 大山 莉奈, 山際 亮, 和田 尚人, 吉野 雅則, 松信 哲朗, 内田 英二 : 高齢者大腸癌に対する腹腔鏡手術の安全性の検討. 日本大腸肛門病学会雑誌, 2017. 9.

### 3 武蔵小杉病院中央検査室

研究業績

〔 8 〕 多摩永山病院付置施設等

## 1 多摩永山病院病理診断部

研究業績

## 2 多摩永山病院中央検査室

研究業績



〔 9 〕 千葉北総病院付置施設等

## 1 千葉北総病院緩和ケア科

### 研究業績

## 2 千葉北総病院病理診断科・病理部

### 研究業績

#### 論文等

- 1) Tomohiko Matsuhashi, Ryoko Matsui, Chikako Hasegawa, Tsutomu Hatori, Seiryu Kamoi, Toshiyuki Takeshita : Laparoscopic Excision of a Uterine Adenomatoid Tumor and a Coexisting Ovarian Teratoma: A Case Report and Literature Review. Journal of Nippon Medical School = Nippon Ika Daigaku zasshi 2017; 84 (3) :139-143. doi: 10.1272/jnms.84.139.
- 2) Nariaki Kokuho, Yasuhiro Terasaki, Shinobu Kunugi, Naomi Onda, Hirokazu Urushiyama, Mika Terasaki, Mitsunori Hino, Akihiko Gemma, Tsutomu Hatori, Akira Shimizu : Localized pulmonary crystal-storing histiocytosis complicating pulmonary mucosa-associated lymphoid tissue lymphoma presenting with multiple mass lesions. Human pathology 2017; 65:180-186. doi: 10.1016/j.humpath.2016.10.028.
- 3) 本橋 典久, 小齊平 聖治, 内藤 智之, 二島 駿一, 加藤 泰裕, 田中 庸介, 日野 光紀, 羽鳥 努, 久保田 馨, 弦間 昭彦 : アファチニブ投与中に小細胞肺癌に形質転換した EGFR 遺伝子変異陽性非小細胞肺癌の 1 例. 肺癌 2017; 57 (2) :134-135.
- 4) 飯田 信也, 柳原 恵子, 栗田 智子, 中井 麻木, 鈴木 えりか, 関口 久美子, 羽鳥 努, 宮下 正夫, 武井 寛幸 : 乳癌腋窩リンパ節転移(N 因子)の術前診断(画像診断ならびに細胞診)の精度の検討. 日本乳癌学会総会プログラム抄録集 2017; 25 回:497.
- 5) 大峯 広貴, 笹谷 昌司, 長谷川 千花子, 平野 孝幸, 佐藤 春明, 清水 秀樹, 三枝 順子, 京本 晃典, 京本 絢美, 羽鳥 努, 鴨井 青龍, 山田 隆, 中西 一步, 松橋 智彦 : 子宮頸部 Large cell neuroendocrine carcinoma と Mucinous adenocarcinoma intestinal type が合併した一例. 日本臨床細胞学会雑誌 2017; 56 (Suppl.2) :808.
- 6) 新井 泰央, 厚川 正則, 吉田 祐土, 大久保 知美, 岩下 愛, 糸川 典夫, 近藤 千紗, 羽鳥 努, 加藤 慶三, 島田 紀朋, 坪田 昭人, 岩切 勝彦 : 本邦の NAFLD 症例の病態に vitamin D 代謝関連 SNPs の与える影響. 肝臓 2017; 58 (Suppl.2) :A636.
- 7) 清水 秀樹, 羽鳥 努, 佐藤 春明 : 脳腫瘍における細胞診の有用性 髄膜腫の細胞診. 日本臨床細胞学会雑誌 2017; 56 (Suppl.2) :616.
- 8) 戸田 諭補, 小澤 明子, 江畑 琢矢, 外間 裕之, 大村 朋子, 羽鳥 努, 山崎 峰雄, 木村 和美 : 脳腫瘍の診断目的で行われた脳生検で血管中心性炎症細胞浸潤を認め、中枢神経血管炎が疑われた 62 歳男性例. 臨床神経学 2017; 57 (10) :631.

### 3 千葉北総病院歯科

#### 研究業績

##### 論文等

- 1) 吉峰 正彌, 大木 亜悠子, 藤川 瑞穂, 村田 侑加, 鴨井 久博, 久保田 裕子 : 周術期患者に対する SOLADEYRHYTHM の効果. 日本口腔ケア学会雑誌 2017; 12 (1) :25-31.
- 2) 鴨井 久博, 後藤 祐香, 岡崎 加奈, 小木曾 令実, 村田 侑加, 大木 亜悠子, 吉峰 正彌, 和崎 佳子, 兼坂 ゆきの, 久保田 裕子 : 塩・生薬含有歯磨剤の使用時における歯周病患者に対する効果. ライフケアジャーナル 2017; 8 (1) :1-6.
- 3) 吉峰 正彌, 鴨井 久博, 瀬谷 知子, 實川 東洋, 高市 直子 : 外来化学療法患者における口腔機能管理. 日本癌治療学会学術集会抄録集 2017; 55 回:P157-3.
- 4) 藤川 瑞穂, 村田 侑加, 堀内 亜悠子, 吉峰 正彌, 鴨井 久博 : 大型太陽電池付酸化チタン電極内蔵歯ブラシのプラーク除去効果について. 特定非営利活動法人日本歯科保存学会学術大会プログラムおよび講演抄録集 2017; 146 回:166.
- 5) 小木曾 令実, 岡崎 加奈, 村田 侑加, 藤川 瑞穂, 堀内 亜悠子, 吉峰 正彌, 鴨井 久博 : 日本医科大学千葉北総病院における周術期口腔機能管理の現状と展望. 日本口腔ケア学会雑誌 2017; 11 (3) :221.

## 4 千葉北総病院集中治療室

### 研究業績

#### 論文等

- 1) 白壁 章宏, 畑 典武, 小林 宣明, 岡崎 大武, 柴田 祐作, 西郡 卓, 浅井 邦也, 清水 渉 : AKI の予防と治療は可能か? 急性心不全における急性腎障害. 日本集中治療医学会雑誌 2018; 25 (Suppl.) :[SY7-2].
- 2) Hirotake Okazaki, Akihiro Shirakabe, Nobuaki Kobayashi, Noritake Hata, Takuro Shinada, Masato Matsushita, Yoshiya Yamamoto, Yusaku Shibata, Junsuke Shibuya, Reiko Shiomura, Suguru Nishigoori, Kuniya Asai, Wataru Shimizu : Are atherosclerotic risk factors associated with a poor prognosis in patients with hyperuricemic acute heart failure? The evaluation of the causal dependence of acute heart failure and hyperuricemia. HEART AND VESSELS 2017; 32 (4) :436-445. doi: 10.1007/s00380-016-0893-z.
- 3) Masato Matsushita, Akihiro Shirakabe, Noritake Hata, Takuro Shinada, Nobuaki Kobayashi, Kazunori Tomita, Masafumi Tsurumi, Hirotake Okazaki, Yoshiya Yamamoto, Kuniya Asai, Wataru Shimizu : Association between the body mass index and the clinical findings in patients with acute heart failure: evaluation of the obesity paradox in patients with severely decompensated acute heart failure. HEART AND VESSELS 2017; 32 (5) :600-608. doi: 10.1007/s00380-016-0908-9.
- 4) Akihiro Shirakabe, Noritake Hata, Nobuaki Kobayashi, Hirotake Okazaki, Masato Matsushita, Yusaku Shibata, Suguru Nishigoori, Saori Uchiyama, Kuniya Asai, Wataru Shimizu : Clinical Usefulness of Urinary Liver Fatty Acid-Binding Protein Excretion for Predicting Acute Kidney Injury during the First 7 Days and the Short-Term Prognosis in Acute Heart Failure Patients with Non-Chronic Kidney Disease. CARDIORENAL MEDICINE 2017; 7 (4) :301-315. doi: 10.1159/000477825.
- 5) Akihiro Shirakabe, Noritake Hata, Nobuaki Kobayashi, Hirotake Okazaki, Masato Matsushita, Yusaku Shibata, Suguru Nishigoori, Saori Uchiyama, Kazutaka Kiuchi, Fumitaka Okajima, Toshiaki Otsuka, Kuniya Asai, Wataru Shimizu : Decreased blood glucose at admission has a prognostic impact in patients with severely decompensated acute heart failure complicated with diabetes mellitus. Heart and Vessels 2018; 33 (9) :1-14. doi: 10.1007/s00380-018-1151-3.
- 6) Shirakabe Akihiro, Ikeda Yoshiyuki, Saito Toshiro, Zai Peiyong, Hata Noritake, Asai Kuniya, Shimizu Wataru, Sadoshima Jyunichi : Drp1 依存的性ミトコンドリアオートファジーは圧過剰負荷誘導ミトコンドリア機能障害と心不全に対して保護的な役割を果たす. Journal of Physiological Sciences 2017; 67 (Supplement 1)
- 7) Nobuaki Kobayashi, Masamichi Takano, Masafumi Tsurumi, Yusaku Shibata, Suguru Nishigoori, Saori Uchiyama, Hirotake Okazaki, Akihiro Shirakabe, Yoshihiko Seino, Noritake Hata, Wataru Shimizu : Features and Outcomes of Patients with Calcified Nodules at Culprit Lesions of Acute Coronary Syndrome: An Optical Coherence Tomography Study. Cardiology (Switzerland) 2018; 139 (2) :90-100. doi: 10.1159/000481931.
- 8) Akihiro Shirakabe, Noritake Hata, Nobuaki Kobayashi, Hirotake Okazaki, Masato Matsushita, Yusaku Shibata, Suguru Nishigoori, Saori Uchiyama, Kuniya Asai, Wataru Shimizu : Prognostic benefit of maintaining the hemoglobin level during the acute phase in patients with severely decompensated acute heart failure. Heart and Vessels 2018; 33 (3) :264-278. doi: 10.1007/s00380-017-1057-5.
- 9) Hirotake Okazaki, Akihiro Shirakabe, Toshiaki Otsuka, Nobuaki Kobayashi, Noritake Hata, Takuro Shinada, Masato Matsushita, Yoshiya Yamamoto, Junsuke Shibuya, Reiko Shiomura, Suguru Nishigoori, Kuniya Asai, Wataru Shimizu : Response to letter regarding article, "The prognostic impact of uric acid in patients with severely decompensated acute heart failure". JOURNAL OF CARDIOLOGY 2017; 70 (1-2) :200. doi: 10.1016/j.jjcc.2017.02.001.
- 10) 柴田 祐作, 小林 宣明, 内山 沙央里, 西郡 卓, 岡崎 大武, 白壁 章宏, 畑 典武, 清水 渉 : Stanford A 型急性大動脈解離による右冠動脈入口部圧排を光干渉断層装置(OCT)で観察した 1 症例. 日本集中治療医学会雑誌 2018; 25 (Suppl.) :[P30-5].
- 11) Reiko Shiomura, Yasuhiro Takahashi, Erito Furuse, Junya Matsuda, Taisuke Sato, Wataru Shimizu : Successful Endovascular Treatment of Chronic Total Superficial Femoral Artery Occlusion Using a Side-hole Sheath and Re-entry Catheter. JOURNAL OF THE AMERICAN COLLEGE OF CARDIOLOGY 2017; 69 (16) :S300-S301.
- 12) Yasuhiro Takahashi, Reiko Shiomura, Erito Furuse, Junya Matsuda, Taisuke Sato, Wataru Shimizu : Successful Trans-collateral

- Approach for Chronic Total Occlusion of the Superficial Femoral Artery Using a Side-hole Sheath. JOURNAL OF THE AMERICAN COLLEGE OF CARDIOLOGY 2017; 69 (16) :S329-S331.
- 13) Ayaka Nozaki, Akihiro Shirakabe, Noritake Hata, Nobuaki Kobayashi, Hirotake Okazaki, Masato Matsushita, Yusaku Shibata, Suguru Nishigoori, Saori Uchiyama, Yoshiki Kusama, Kuniya Asai, Wataru Shimizu : The prognostic impact of gender in patients with acute heart failure - An evaluation of the age of female patients with severely decompensated acute heart failure. JOURNAL OF CARDIOLOGY 2017; 70 (3-4) :255-262. doi: 10.1016/j.jcc.2016.11.015.
  - 14) Akihiro Shirakabe, Noritake Hata, Nobuaki Kobayashi, Hirotake Okazaki, Masato Matsushita, Yusaku Shibata, Suguru Nishigoori, Saori Uchiyama, Kuniya Asai, Wataru Shimizu : The prognostic impact of malnutrition in patients with severely decompensated acute heart failure, as assessed using the Prognostic Nutritional Index (PNI) and Controlling Nutritional Status (CONUT) score. Heart and Vessels 2018; 33 (2) :134-144. doi: 10.1007/s00380-017-1034-z.
  - 15) Yasuhiro Takahashi, Taisuke Sato, Hirotake Okazaki, Ayaka Nozaki, Masato Matsushita, Masataka Kamiya, Wataru Shimizu : Transvenous Intravascular Ultrasound-Guided Endovascular Treatment for Chronic Total Occlusion of the Infrainguinal Arteries. JOURNAL OF ENDOVASCULAR THERAPY 2017; 24 (5) :718-726. doi: 10.1177/1526602817723139.
  - 16) 脇田 真希, 井守 洋一, 高野 仁司, 小野寺 健太, 塩村 玲子, 野間 さつき, 黄 俊憲, 三軒 豪仁, 久保田 芳明, 中村 俊一, 太良 修平, 時田 祐吉, 山本 剛, 浅井 邦也, 清水 渉 : たこつば型心筋症の院内アウトカムにおけるストレス誘因の影響. 日本心臓病学会学術集会抄録 2017; 65 回:O-213.
  - 17) 小宮山 英徳, 高野 雅充, 村上 大介, 小林 宣明, 栗原 理, 松下 誠人, 池田 健, 宮國 知世, 澤谷 倫史, 谷 憲一, 宮内 靖史, 清野 精彦, 清水 渉 : ガイドライナーを用いた Buddy Wire テクニック. 日本心血管インターベンション治療学会抄録集 2017; 26 回:MP144.
  - 18) 松田 淳也, 高橋 保裕, 塩村 玲子, 福泉 偉, 佐藤 太亮, 清水 渉 : 左主幹部入口部病変に対するステント位置決め Filtrap が有用であった一例. 日本心血管インターベンション治療学会抄録集 2017; 26 回:YI2-5.
  - 19) 岡崎 大武, 白壁 章宏, 畑 典武, 小林 宣明, 松下 誠人, 柴田 祐作, 西郡 卓, 木内 一貴, 浅井 邦也, 清水 渉 : 急性心不全におけるキサランチンオキシドレダクターゼ(XOR)活性の推移. 日本集中治療医学会雑誌 2018; 25 (Suppl.) :[P16-7].
  - 20) Shirakabe Akihiro, Hata Noritake, Kobayashi Nobuaki, Okazaki Hirotake, Matsushita Masato, Shibata Yusaku, Nishigoori Suguru, Uchiyama Saori, Asai Kuniya, Shimizu Wataru : 急性心不全における急性腎不全の評価のための腎機能悪化の定義は十分か?. 日本心不全学会学術集会プログラム・抄録集 2017; 21st
  - 21) Shirakabe Akihiro, Hata Noritake, Kobayashi Nobuaki, Okazaki Hirotake, Matsushita Masato, Shibata Yusaku, Nishigoori Suguru, Uchiyama Saori, Asai Kuniya, Shimizu Wataru : 急性心不全患者における急性腎障害の検出および予測のためのバイオマーカー戦略. 日本心不全学会学術集会プログラム・抄録集 2017; 21st
  - 22) 柴田 祐作, 小林 宣明, 辻林 亨, 木内 一貴, 内山 沙央里, 西郡 卓, 岡崎 大武, 白壁 章宏, 畑 典武, 清水 渉 : 感染性塞栓物により生じた急性心筋梗塞後に形成された冠動脈瘤. 日本心血管インターベンション治療学会抄録集 2017; 26 回:MO025.
  - 23) 澤谷 倫史, 小宮山 英徳, 高野 雅充, 小林 宣明, 清野 精彦, 宮内 靖史, 村上 大介, 松下 誠人, 栗原 理, 池田 健, 宮國 知世, 谷 憲一, 清水 渉 : 長軸方向のねじれをコバルトクロムエベロリムス溶出性ステントに認めた2症例. 日本心血管インターベンション治療学会抄録集 2017; 26 回:MP010.
  - 24) 宮國 知世, 小宮山 英徳, 高野 雅充, 谷 憲一, 澤谷 倫史, 池田 健, 松下 誠人, 栗原 理, 村上 大介, 小林 宣明, 畑 典武, 宮内 靖史, 清野 精彦, 清水 渉 : 閉塞性下肢動脈硬化症患者は下肢の筋力と関係するか. 日本心血管インターベンション治療学会抄録集 2017; 26 回:MO084.
  - 25) 栗原 健, 松田 淳也, 塩村 玲子, 福泉 偉, 佐藤 太亮, 高橋 保裕, 清水 渉 : 非閉塞性腸間膜虚血に急性下肢虚血が続発し救命し得た一例. 日本集中治療医学会雑誌 2018; 25 (Suppl.) :[O7-1].

## 5 成田国際空港クリニック

### 研究業績

#### 論文等

- 1) 新井 正徳, 金 史英, 重田 健太, 秋山 真之, 石木 義人, 瀧口 徹, 萩原 純, 石井 浩統, 小笠原 智子, 増野 智彦, 辻井 厚子, 久志本 成樹, 横田 裕行 : Abdominal Compartment Syndrome(ACS)の治療戦略 閉腹困難な Open abdomen 症例における両側腹直筋鞘前葉反転法による腹壁再建の長期成績. 日本腹部救急医学会雑誌 2018; 38 (2) :333.
- 2) 金 史英, 瀧口 徹, 萩原 一樹, 萩原 純, 石井 浩統, 萩原 令彦, 増野 智彦, 新井 正徳, 横田 裕行 : Hybrid ER 外傷診療のパラダイムシフト 我々の施設に Hybrid ER を導入するメリットはあるか?. 日本外傷学会雑誌 2017; 31 (2) :186.
- 3) 石木 義人, 萩原 一樹, 瀧口 徹, 萩原 純, 石井 浩統, 小笠原 智子, 辻井 厚子, 金 史英, 新井 正徳, 増野 智彦, 横田 裕行 : SAM(Segmental Arterial Mediolyisis)に対して開腹止血術、コイル塞栓術を行った1例. 日本病院総合診療医学会雑誌 2018; 14 (1) :92.
- 4) 新井 正徳, 久志本 成樹, 金 史英, 萩原 純, 石井 浩統, 横田 裕行 : 【腹壁癒痕ヘルニアの予防と治療】両側腹直筋鞘前葉反転法による急性期腹壁再建と shoelace darn repair 法による腹壁癒痕ヘルニア修復法. 外科 2018; 80 (3) :231-236.
- 5) 金 史英, 萩原 一樹, 瀧口 徹, 石木 義人, 石井 浩統, 横堀 将司, 塚本 剛志, 増野 智彦, 布施 明, 横田 裕行 : わが国の外傷センターはどうあるべきか? 東京都における外傷センターの要件はなにか Acute care surgeon の立場から. 日本臨床救急医学会雑誌 2017; 20 (2) :241.
- 6) 横堀 将司, 金谷 貴大, 山口 昌紘, 五十嵐 豊, 瀧口 徹, 石木 義人, 萩原 純, 石井 浩統, 恩田 秀賢, 増野 智彦, 布施 明, 横田 裕行 : ガイドライン 2020 に向けての課題 心停止後症候群に対する神経集中治療 Tailored treatment strategy への挑戦. J-ReSS 2017; 10:26.
- 7) 秋山 真之, 重田 健太, 瀧口 徹, 金谷 貴大, 萩原 純, 石木 義人, 石井 浩統, 恩田 秀賢, 増野 智彦, 小笠原 智子, 金 史英, 新井 正徳, 辻井 厚子, 横田 裕行 : 上腸間膜静脈を貫通した千枚通しによる腹部刺創の1例. 日本救急医学会関東地方会雑誌 2018; 39 (1) :131.
- 8) 萩原 純, 石井 浩統, 金 史英, 布施 理美, 宮内 雅人, 布施 明, 横田 裕行 : 事態対処医療の普及に向けた取り組み 警視庁 IMAT 誕生以降の当施設での取り組み. 日本臨床救急医学会雑誌 2017; 20 (2) :274.
- 9) 萩原 一樹, 金 史英, 瀧口 徹, 石木 義人, 萩原 令彦, 萩原 純, 石井 浩統, 小笠原 智子, 増野 智彦, 辻井 厚子, 新井 正徳, 横田 裕行 : 体幹部外傷における Delayed operation 症例の検討. 日本外傷学会雑誌 2017; 31 (2) :329.
- 10) 萩原 令彦, 金 史英, 石井 浩統, 萩原 純, 小笠原 智子, 増野 智彦, 辻井 厚子, 新井 正徳, 横田 裕行 : 傍ストーマ穿孔によって腸重積をきたした1例. 日本救急医学会雑誌 2017; 28 (9) :595.
- 11) 萩原 一樹, 金 史英, 瀧口 徹, 石木 義人, 石井 浩統, 萩原 純, 小笠原 智子, 増野 智彦, 辻井 厚子, 新井 正徳, 横田 裕行 : 内視鏡下止血術困難な出血性胃十二指腸潰瘍に対する止血方法の検討. 日本救急医学会雑誌 2017; 28 (9) :551.
- 12) 金 史英, 萩原 純, 瀧口 徹, 萩原 一樹, 石木 義人, 石井 浩統, 増野 智彦, 新井 正徳, 横田 裕行 : 出血性イベントに対する医療安全対策. 日本救急医学会雑誌 2017; 28 (9) :720.
- 13) 萩原 一樹, 金 史英, 瀧口 徹, 秋山 真之, 石木 義人, 萩原 純, 石井 浩統, 小笠原 智子, 増野 智彦, 辻井 厚子, 新井 正徳, 横田 裕行 : 出血性胃十二指腸潰瘍に対する Acute care surgery. Japanese Journal of Acute Care Surgery 2017; 7 (1) :187.
- 14) 萩原 令彦, 金 史英, 小林 純子, 寺岡 晋太郎, 石井 浩統, 萩原 純, 増野 智彦, 新井 正徳, 辻井 厚子, 横田 裕行 : 口腔内から食道粘膜が逸脱した類天疱瘡の一例. 日本呼吸器外科学会雑誌 2017; 31 (3) :P47-5.
- 15) 新井 正徳, 金 史英, 横田 裕行, 寺岡 晋太郎, 石木 義人, 瀧口 徹, 萩原 一樹, 萩原 令彦, 萩原 純, 石井 浩統, 増野 智彦, 辻井 厚子 : 外傷における open abdomen の有用性と課題. 日本外傷学会雑誌 2017; 31 (2) :347.
- 16) 石木 義人, 萩原 一樹, 瀧口 徹, 石井 浩統, 萩原 純, 塚本 剛志, 小笠原 智子, 辻井 厚子, 金 史英, 新井 正徳, 横田 裕行 : 外傷による凝血性血気胸に対し胸腔鏡補助下血腫除去術を行った1例. Japanese Journal of Acute Care Surgery 2017; 7 (1) :221.
- 17) 萩原 令彦, 金 史英, 瀧口 徹, 萩原 一樹, 石木 義人, 石井 浩統, 萩原 純, 小笠原 智子, 増野 智彦, 新井 正徳, 辻井 厚子, 横田 裕行 : 子宮内搔爬によりメッケル憩室を伴う回腸が陥頓、穿孔をきたした1例. Japanese Journal of Acute Care Surgery 2017; 7 (1) :237.

- 18) 石井 浩統, 寺岡 晋太郎, 瀧口 徹, 萩原 一樹, 石木 義人, 萩原 純, 萩原 令彦, 増野 智彦, 小笠原 智子, 金 史英, 新井 正徳, 辻井 厚子, 横田 裕行 : 当院における腹部刺創 31 例の検討. 日本外傷学会雑誌 2017; 31 (2) :305.
- 19) 横堀 将司, 佐々木 和馬, 金谷 貴大, 五十嵐 豊, 瀧口 徹, 石井 浩統, 石木 義人, 恩田 秀賢, 増野 智彦, 布施 明, 横田 裕行 : 心停止患者における多元的モニタリングを用いた蘇生限界の検討. 日本救急医学会雑誌 2017; 28 (9) :613.
- 20) 瀧口 徹, 金 史英, 萩原 一樹, 石木 義人, 石井 浩統, 萩原 純, 萩原 令彦, 小笠原 智子, 増野 智彦, 新井 正徳, 辻井 厚子, 横田 裕行 : 救命できなかった十二指腸断端縫合不全の 2 例. 日本外傷学会雑誌 2017; 31 (2) :172.
- 21) 金 史英, 萩原 純, 長嶺 嘉通, 重田 健太, 萩原 一樹, 瀧口 徹, 秋山 真之, 石木 義人, 石井 浩統, 増野 智彦, 小笠原 智子, 新井 正徳, 辻井 厚子, 横田 裕行 : 救命率を向上させる外科と IVR とのコラボレーション 腹部非外傷性疾患に対する IVR 症例の検討. Japanese Journal of Acute Care Surgery 2017; 7 (1) :132.
- 22) 長嶺 嘉通, 金谷 貴大, 佐々木 和馬, 秋山 真之, 五十嵐 豊, 石井 浩統, 恩田 秀賢, 横堀 将司, 小笠原 智子, 新井 正徳, 辻井 厚子, 横田 裕行 : 新規経口抗凝固薬内服中に脳出血を発症し、二期的手術により救命し得た 1 例. 日本医科大学医学会雑誌 2017; 13 (4) :251.
- 23) 金 史英, 宮内 雅人, 重田 健太, 秋山 真之, 瀧口 徹, 石井 浩統, 小笠原 智子, 増野 智彦, 新井 正徳, 横田 裕行 : 消化管出血の診断と治療 重症上部消化管出血に対する治療方針と成績. 日本腹部救急医学会雑誌 2018; 38 (2) :316.
- 24) 瀧口 徹, 金 史英, 萩原 一樹, 石木 義人, 石井 浩統, 萩原 純, 小笠原 智子, 増野 智彦, 新井 正徳, 辻井 厚子, 横田 裕行 : 消化管穿孔に対する open abdomen management の検討. 日本救急医学会雑誌 2017; 28 (9) :552.
- 25) 長嶺 嘉通, 瀧口 徹, 重田 健太, 秋山 真之, 石木 義人, 萩原 純, 石井 浩統, 増野 智彦, 小笠原 智子, 金 史英, 新井 正徳, 辻井 厚子, 横田 裕行 : 直腸穿通、壊死性腸炎に対し 2 度の緊急手術を要した潰瘍性大腸炎の 1 例. 日本救急医学会関東地方会雑誌 2018; 39 (1) :151.
- 26) 瀧口 徹, 金 史英, 重田 健太, 萩原 一樹, 石木 義人, 石井 浩統, 萩原 純, 秋山 真之, 小笠原 智子, 増野 智彦, 新井 正徳, 辻井 厚子, 横田 裕行 : 腹腔内出血で発症し Segmental Arterial Mediolytic(SAM)が原因と考えられた 1 例. Japanese Journal of Acute Care Surgery 2017; 7 (1) :185.
- 27) 新井 正徳, 金 史英, 萩原 純, 石井 浩統, 増野 智彦, 辻井 厚子, 萩原 一樹, 瀧口 徹, 横田 裕行 : 閉腹困難な open abdomen 症例に対し、両側腹直筋前葉反転法による早期腹壁再建を施行した症例の長期成績. Japanese Journal of Acute Care Surgery 2017; 7 (1) :177.



[ 収録データ：researchmap 掲載の公開データ（2024-10-3 時点） / 使用システム：DB-Spiral  
作成：日本医科大学中央図書館 機関リポジトリ担当 ]